整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
56001	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロに希望を持ちます。子どもたちの未来に危険なものはいりません。命より電気が大事とは思いません。今、日本は本当に変わるべきです。原発に頼らない社会を実現しリードすることが日本の未来にも繋がります。	原発に直接関わりのない生活をしていると思っていました。お恥ずかしいですが・・・無関心でした。 ですが、震災後、本当に原発被害に苦しんでいる方の姿を見て気付きました。原発は人の手におえるものではないと・・・。反論は色々ありますが、すでに多くの方が言っているのでもういいです。 　言いたいことは、「未来を考えましょう」ということです。原発ゼロにすることで、電力不足や電気量値上がりなど、マイナスの意見を言う方はもちろんいます。実際、影響もないとは思いません。ですが、だからといって、日本はまた何も学ばずに元に戻すだけでいいのでしょうか？ 　この震災は最後の学ぶ機会かもしれません。ここで、子どもたちの未来、日本の未来、を考えて過去の出来事から学び、本当に今、この国に何が必要か、これからどうしていくのかを考え、恐れずに変わることが必要だと思います。 　元に戻ってしまっては、日本は何も変わりません。変わることは、不安や負担もあるかもしれません。でも、その先に、子どもたちに少しでも明るい未来をもたらせるのであれば、今、日本は耐えるべきです。敗戦後、日本は這い上がりました。あの時とは日本人も変わったかもしれません。現在、世界から遅れをとってしまった日本が、今ここで変わらなければ、ますます世界から後退していってしまうと思います。世界も注目しています。今、ここが、日本の底力のみせどころだと思います。 　子どもたちに明るい未来を残していきたい。親としての切実な願いです。
56002	個人	その他	50代	男性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	原発利権は許せない 子供たちを守りたい！ 電気は足りる。省エネに力を入れれば簡単。
56003	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は廃止すべきであり、今後の新設は少なくともやめるべきです。 政府の出した15%案は新設含むので認められません。	制御する意思も能力も無いと証明された以上、 原発は廃止すべきであり、今後の新設は少なくともやめるべきです。 政府の出した15%案は新設含むので認められません。 ＊こちらが代替案出せねばならない立場ではないですが、複合火力、それも天然ガスタイプの新設などは、比較すれば、原発より費用も少なく工期も短かく完成するでしょう。
56004	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	国民に多大なリスクと潜在的な経済負担を強いる原子力発電は一刻も早く撤退すべきです。 原子力抜きの今年の夏も半ばを過ぎ、朝晩はかなり涼しくなりましたが、東電が発表する「電力予想」は軒並み80パーセント台前半で推移 しており電力が充分足りていることは明らかだと思われます。 今後はガス火力発電を「つなぎ」として、多様な代替エネルギーの開発を進めるべきだと考えます。 発電部門は極力自由化し、国は送電の改革をこそ積極的に進めるべきだと考えます。 原子力抜きの小規模発電事業所を統合した発送電クラウ ドシステム。 日本ならばできるはずです。
56005	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオを希望。即時0%を希望します。	始末のできない核のゴミを子供達に残さないために！
56006	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電所は速やかに廃止し（0%にし）、原発に投入していた補助金等すべての政府資金（つまり国税）を省エネルギーや新エネルギーの開発ならびに廃炉技術の開発に集中投資する。	・いったん甚発したら手に負えなくなり、破局に至る危険な原子力発電所は即時停止する。 ・放射性物質は人体やすべての生命を脅かす。これを撒き散らす原子力発電エネルギーをクリーンエネルギーと呼んではならない。 ・政府、すべての国民は広島・長崎、ビキニ、スリーマイル、チェルノブイリそして福島の災厄に学べ。 ・原子力行政は原子力村の重電各社だけを潤す歪な補助行政になっていて、日本の産業全体に資するものになっていない。 ・国民の生命と企業の収益を天秤にかけてはならない。 ・原子力発電への助成をすべて、省エネ、再生エネ関係の新技術開発や普及に投資して、すべての国民と企業を巻き込んだ運動に昇華させよ。 ・科学者の良心を捨てた原子力村の学者たちはサイエンティストではない。銭と名誉の亡者となった彼らを行政機構から永久追放すべきだ。彼らがいなくたったところで痛れるほど日本の科学技術（とくに原子力工学）は柔ではない。 ・これまでの省エネ開発はお題目を唱える程度の中途半端な取り組みばかり。まったく役に立っていない。真剣に、徹底的に、そして、迅速にやるべきだ。 ・省エネと再生エネは新しい産業の芽。斜陽した家電産業や半導体産業を再起させることができよう。 ・ただし、この分野で、原子力村のような村構造をつくらないよう注意が必要。
56007	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	未曾有の事故がいまだ収束、解明されていないのに、再稼働、継続するのは危険すぎます。大反対です。 今、大多数の原発が動いていなくても、生活できています。 私たちも生活を変えますから政界、産業界、経済界も、未来を見据えたエネルギー活用に変わってください。 原発以外の電力にもお金が落ちる仕組みをつくってください。 子どもたちの未来のためです。 きっとこれから、どんどん子どもたちが病気になってしまいますよ。 ますます未来の日本の担い手がいなくなってしまいますよ。 よろしくお願いします。
56008	個人	無職	60代	男性	福島の事故でこれだけ甚大な被害を出し、現在も苦しんでいる人がいる現状と、解決不可能な核のゴミ問題を踏まえると今後の原発依存には断固反対である。	以下のシナリオでエネルギー政策を進めていくべき。 ＞ ＞ (1)原発をすぐに冷温停止させ、燃料棒を抜き取る。 ＞ (2)暫定的に火力発電を使用する。 ＞ (3)原発を終息させるための維持費用以外の全額をクリーンエネルギーへの投資に替える。 ＞ (4)太陽光発電等、自家発電をする場合の国の補助を手厚くする。 ＞ (5)火力発電も無くし、クリーンエネルギーのみに切り替える。 ＞ ＞ 大転換になると思うが、未来の人々のためにもトップダウンですぐにでも実行して頂きたい。
56009	個人	家事専業	60代	女性	「原発依存度ゼロ」シナリオを取るべきと考えます。地震国日本で原発の安全を確保することは無理です。原発以外のエネルギーの開発に資金を投資すれば原発なしで日本の発展は確保できます。	日本の「エネルギー・環境に関する選択肢」としては「原発依存度ゼロ」シナリオを取るべきと考えます。理由は以下の通り。 1.原発は弱者の放射能被曝という、犠牲の上に成り立っており、非人間的である。 2.原発製造業、原発を運転する電力会社、原発設置自治体の利益確保のため、危険でかつ放射能廃棄物を出し続ける原発を運転していることは、子孫に対する背信行為です。
56010	個人	家事専業	20代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。	福島の事故以来原発のあり方についてとても考えさせられました。 やはり狭い日本に原発のような危ないものはどう考えてもいらないと思います。 活火山が多いので地熱発電に切り替えるのがいいのではないかと思います。 今の子供達が将来安心して暮らせるようにしてください。
56011	個人	その他	40代	男性	サスティナブルなエネルギーに移行すべき。	原子力に関しては、使用済み核燃料の処理法もまだ解決してない現在、日々使用済み核燃料が排出されています。いずれ一杯になります。いまのうちに、新たな代替エネルギー政策を進めていくべき。一つのエネルギーに頼らず、複数の方法で供給できるようなシステムが望ましい。その地域で環境が違うので、その土地にあったエネルギー開発をすべき。
56012	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	あらゆる面において事故が起こったときのコストが大きすぎます。 事故処理も含めた経済的コスト、国土の一部を半永久的に失うコスト、諸外国との信用コスト、事故によりバラバラになってしまった日本国民の精神的コストなど。 そして、この国の政府、官僚、電力会社、原子力専門家は原発のリスクマネージメント能力、運用能力は無いことが今回の事故で明らかになりました。 さらにこの国の地震リスクは歴史的、地質学的に見て小さくありませんな。 コスト、運用能力の欠如、地質学的条件。 この3つの理由から原発を残すという選択肢は無いと考えています。
56013	個人	自営業	40代	男性	原子力発電即時0%を求めます。 日本の企業の力は、それに十分耐えられると思います。	原発即時0%を求めます。 その理由の一つは、事故が起きた時の汚染です。 福島の事故の汚染レベルは、現時点ではその影響がわかりづらいですが、日々農作業に明け暮れ自分で味噌や醤油を仕込み、動物や植物、微生物たちと共に過ごす生活を営む者から見ると、放射能の汚染は生命の根本にダメージを与える存在であると感じます。都市生活の立場からは見えづらいのでしょうが、とてもこの地球上の生命の世界に馴染むものとは思えません。 また、廃棄物処理の方法も見つからぬままこの原子力発電を続け汚染物質を生み出し続け、未来へ負の遺産を蓄積し続けることを認めることはできません。 原子力発電を止めた時の不足分をどうするかという問題ですが、単純に消費量を減らすだけでもかなりの割合を賄えるはずです。消費量を減らすのは、特に我慢をしたり辛抱することもなく、少し注意して浪費を減らせば済むものです。そのためには、多少電気料金が上がることもやむを得ないでしょう。具体的にはピーク時の料金を割り増しにすればよいのではないでしょうか。 消費を抑える仕組みを作ることは、経済的にはとてもあり得ないのかもしれませんが、部分的には縮小していくことも必要であると思います。 とにかく、15%では意味がありません。 0%以外は考えられないと思います。 日本が原発に依存しない社会を作り、自然エネルギー大国になって他国を先導することは十分可能だし、強いメッセージを持つはずです。
56014	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は今すぐ止めるべき	東京電力は、メディア・国民の非難を浴びて、福島第一事故直後の社内テレビ会議の映像を公開した。ぼかし映像や音声ない映像を見せつける東電の無神経　。源発事故の原因は東電による人災であり、想定外の人災と言い張る東電の姿は謙虚さも論理観もなし。プライバシー保護の為映像をぼかしたと言ういいわけ。 時間が経過しても東電は事実を隠蔽し、大事故を起こした当事者意識なし。事故究明は出来ない。隠さないで事故の究明しなければ、対策とれない同じ事故が起きる。多額の公的資金の投入を受け実質国有化東電は血税で存続している。血税で存続している会社に企業年金必要なし。東電の持っているものすべて売り賠償にあてるべし。一日も早く売れる物を売り、避難している人にわたすように。 事故究明も出来ない会社存続させる意味無し。国民にツケを回さないで
56015	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオ希望 コントロール不能、ゴミ処理方法未決の原発。 今こそ、私たちの生活すべてを見直し、原発に頼らない方法を選択する時。	ゼロシナリオでお願いします。 　福島の原発事故により、原子力は私たち人間がコントロールできるものではないことが証明されました。原発を動かすことによって生まれるゴミの処理方法も、まだ決まっていませんな。 　広島、長崎、福島。私たちがコントロールできない力によって、あまりにもたくさんの人々が、自然が、犠牲になりました。今こそ、私たちの生活すべてを見直し、原発に頼らない方法を選択する時です。
56016	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発はもう必要ありません。再稼働反対です。	福島の原発すらまだ収束も見えない状況で、ちゃんとした情報公開すらせずに、一方的に再稼働を押し進め、値上げも承認する始末。 政治も企業も、ちょっとはまともだって所を見てみたいものです。
56017	個人	会社員・公務員	50代	男性	「原発の即時廃止」と「廃炉作業の計画的実施」及び「使用済み燃料の再処理ではない処分実現にむけた国民的議論」を望みます。	原子力発電所の事故は「全電源喪失」以外のシナリオもあり得る。津波対策をしたからと安易に大飯を再稼働させたことは大間違いだった。「直下型地震」「火山の噴火」「テロ」「航空機墜落」に対し格納容器だけではなく管理施設を含めて考えれば耐えられるとは思えない。使用済み燃料の処理方法も決まっていない「トイレ無きマンション」と批判されていた原発は「安全神話」「偽りの低コスト」を拠り所に増設されてきた。「事故が起きた時の除染・賠償・廃炉収束費用」を考えれば即時の脱原発しかないと思う。
56018	個人	無職	60代	男性	原発ゼロ、直ちに大飯原発の運転を中止し、全ての原子力発電所を廃炉にしてください。	核と人類は共存できません。 夏は暑いのが当たり前、原子力に頼って涼しい生活なんて…
56019	個人	学生	20代	女性	原発の全廃を求めます。	自分の子どもが原発のそばで安全に暮らせるかと聞かれたら、ハイとは言えません。原発は即刻全廃したいです。
56020	個人	自営業	40代	男性	全ての原子炉を即時廃炉 福島と近県の強汚染地域をフェンス等で物理的に隔離管理。 汚染が0.1μシーベルトを越える土地では食物の生産を禁止しS ベクレル以上の汚染食品流通も有期刑の犯罪行為とする。	放射性物質の内部被爆に関するリスクを解明できない以上、国は国民を守るために必要な予防処置を全て行わなければならい。 なぜならば、結果が出るのに時間がかかり、結果が出たときには既に手遅れだからだ。 その様な危険な賭に国民の命を差し出す政府など、自己否定に等しい。 なぜなら、賭に負ければ国そのものが存在しなくなってしまうからだ。 確かに、結果が出るのに長い年月が掛かるから　いま権力を行使出来る立場にいるアナタが、その責任を問われることはないかもしれない、だが、その様な計算の元に権力を行使するならば、アナタの人生の価値もまた、無くなってしまうだろう。
56021	個人	パート・アルバイト	40代	女性	選択肢の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選びますが、即刻廃炉にすべきです！	「核と人類は共存できない」―たとえ、それが平和利用のためであっても。 福島第1原発事故で、身に沁みてわかりました。 特に地震多発地帯にある日本で原子力エネルギーを完全にコントロールすることはできないのです。そして一旦事故が起こると被害は甚大です。どうやって福島の地を元に戻せるのでしょう？ 被害にあわれた方々への補償は十分にできるのですか？　廃炉の費用はいったいいくらかかるのですか？ これらのことを原子力発電のコストに含めても、まだ他の発電方法より安価ですか？ そもそも、核のゴミの処理や、定期点検等で常に被曝者を出してしまうなど解決できない問題だらけです。 そんな非人道的な発電方法にしがみつかず、日本は、再生可能エネルギーや蓄電技術の開発、原子炉の廃炉技術の確立に全力をあげるべきです。それらは経済的にもこれからの日本の支えになり、世界からも求められることでしょう。今、この危機にしっかりと未来を見据え、思い切った方向転換ができれば、日本はきっといい国になれると思います。
56022	個人	家事専業	60代	女性	原子力エネルギー依存は0%にするべきと考えます。	今夏の電力も原発に依存しなくとも、充分であることが報告されています。トイレの無いマンションといわれるような、原子力によるエネルギーをこれ以上続けるべきでないと思います。あまりにも国民の生命財産を軽んじていることに、落胆しております。田中原子力規制委員長は交替していただけないでしょうか。もう少し真面目に国民の静かな怒りを受け止めていただきたいと思います。
56023	個人	パート・アルバイト	30代	女性	今すぐ原発はいりません。想定外は必ずおきます。目先の欲だけで、決めないで。やり逃げはやめて。	安心して暮らしたい。安心して子育てしたい。子供達が未来に希望が持てますように。

56024	個人	自営業	50代	男性	原発の依存度を30年後で何%と決めるのは選択肢として不適当。福島の事故が終息せず、使用済み核燃料の処理方法が確立していない現状では、原発即時廃止が妥当。首相の終息宣言はおかしい、終息していない。	福島の原発事故が終息せずいまだ続いている最中に、同様の事故が起こらないと言えない他の原発を動かすのはあまりにも無責任。 福島原発の4号機の処理もままならず、大きな地震が起こればさらなる放射能被害が出る可能性がある。 　放射能被害についても、パニックを理由に、国民に正しい情報の提供もできないままである。 　こんな状況で、また、事故が起こった時の確実な対処法がなく、さらに、原発による使用済み燃料の処理方法が確立できていない状況で、原発を継続するのは現実的でない。 　現在火力発電その他の発電で電力は足りているはず。大飯原発の再稼働時に、関西電力は、大飯原発を動かさないと電力が足りないと言っていたが、結局は足りていることがはっきりしている。 　電力の安定供給がないと経済が立ち行かないというが、国民が健康でないと、国が立ち行かない。 　低線量被ばくの害を隠すのではなく、真剣に調査し、福島だけでなく、東日本の汚染についてまじめに調べてほしい。本当に政府は、国民のことを、国のことを考えているのか信じられない。瓦礫の拡散などばかげた事もすぐにやめてほしい。 　福島の原発の終息、被ばくに関する確実な対処、除染、避難、すべてまじめに取り組み、解決した段階で、原発依存について考えるの筋だし、政府、国の役目だ。 東京電力を守ること、原子力にかかわる利権、アメリカからの指示など考えている場合ではないのか。 　国を、国民を守るために、まじめにやってください。
56025	個人	無職	70代	男性	指定の3択から選ぶなら「15シナリオ」を選ぶ。再生可能エネでは未経験だが高所風力発電を推奨。さらに原発安全性・エネ安全保障・経済性・温暖化防止・汚染農地対策・TPP対応等を広範に見据えたエネ政策を希望	今回の原発事故はわが国が地震多発国であるという厳しい環境にあることを軽視して立地されたことに起因する。今回は地震よりも津波で被害が起こったに違いない。理由は近隣の福島第二原発と女川原発は大きな問題がなく，燃料の冷却機能は維持され，「地震の影響は軽微」(2012.8.8日経，原子力安全保安院の中間報告)だから。 　2007年7月16日の新潟中越沖地震で東電・柏崎刈羽原発が大きな被害を受けて全基停止した。揺れの最大値は2058ガル(3号機)で，2年余の修理期間ののち再稼働した。激しい揺れでも津波がなかったので核燃料の冷却機能は維持されていたものと想像している。 プレート境界で発生する地震は巨大で連動性があり津波を伴う。安政東海地震の32時間後に南海地震が発生し，昭和19年の東南海地震の2年後に南海地震が発生した。このような事情から菅直人総理(当時)は浜岡原発の停止を要請された。筆者は「大英断」と思っている。 原子力発電が始まって40年余，今なお放射性廃棄物の処分方法が未定であることが最大の脱原発理由と考える。今回の事故を踏まえて必要な追加対策を怠らず，定期点検で取り換えできない機材の耐用年限を原子炉の寿命を定め，太平洋岸の原発は原則停止もしくは如何なる津波にも耐えられるように重要機材を水密性の建屋に収納するなどで安全度を高めるなど対策する一方，建設中の島根原発3号機と大間原発は稼働させるなど，安全性と経済性を考慮して運用すべきである。新規原発の寿命をもって原発終焉年とするならば，多分2050年頃であろう 現在世界の新エネは設備容量ベースで風力発電が2.38億kW，太陽光発電が7000万kW(’12.8.5朝日)，設備利用率を風力0.2，太陽光0.12，kWhあたり単価を風力13.6円，メガソーラー38円(政府資料引用)とすれば，風力対太陽光は容量ベースで3.4倍，出力ベースで5.7倍だが，電力価格ベースで2倍と太陽光は割高である。 風力発電は欧州・米国・中国で盛んだが，日本ではそうではない。しかし欧州では陸上風力は飽和状態であり，洋上風力に伸びている。特に英国では1000億ポンドを投じて洋上風力を2020年までに3200万kW建設するという(40.6万円／kW，’12.7.6日経夕)。欧州での海域は遠浅で着床式が主体であるが，日本では浮体式の検討が始まった。台風などが心配だし，遠距離送電も難題だ。 再生エネルギー全量買取り制度でメガソーラー建設ラッシュの状態であるが，電中研の試算で買い取り条件に変更がなければ家庭負担は5年後に月額1000円(総額で年間約3兆円)としている(’12.8.2日経)。これは消費税のアップと併せて厳しい。ドイツではFITが2004年に本格的にスタートし，当初は非常に高い買取り価格で翌年に日本を抜いて世界一の導入量となったが，その後に設備価格の下落に伴って買取り価格も下落，市場が収縮し，トップメーカーのQセルズ社が2012年4月に破産した(’12.6.6朝日)。日本では制度発足と前後してトップメーカーのシャープが苦戦している。 日本では風力発電の適地が少なく，着床式洋上風力も同様で，浮体式に進もうとしているが，台風などが心配だし，遠距離送電も難題だ。筆者は高所風力発電を推奨する。この領域は未経験で，風況データもないが，感覚的に洋上並みの風力が賦存すると思う。高所風力の利用は縦軸型風車で可能で，筆者の所有する次の2件の特許に係る技術を紹介する。 1．特許：縦軸型風力発電装置(登録番号3882162) 2．特許：風力揚水発電装置(登録番号3716334) 縦軸型風力発電は次のような効果がある。 1．設備の高さに応じて大きな発電容量。 2．風車はユニット構造で，複数のユニットで如何様にも高さが得られる 3．集風構造なので受風面積を大きく，エンジンは小型 4．気流のすり抜けが少ないので，エネルギー利用効率が高い 5．送電は従来の陸上風力発電と同様で，洋上に比べて容易 6．洋上風力発電と比較して暴風に対する安全性が高い。(強風時は集風パネル閉) 7．従来のバードストライク問題や低周波騒音問題は避けられると思われる。 8．雷害対策は容易であり，航空障害灯の設置も容易。 9．出力の安定性・制御性は風力揚水(電気エネルギーに変える前に水の位置エネルギーに変換・貯蔵)，蓄勢(余剰エネルギーを可変速フライホイールで運動エネルギーに変換・貯蔵)又は電池に貯蔵する方法が選択できる。 10．全方位の風力が利用可能である。 11．グループで林立設置するときは，相互間を架線で引き合って耐倒壊性を高める。 (以上) この発電装置による出力を試算する。風力発電の出力Pは「ベッツ係数」0.539に支配され，空気密度1.247(kg／立方メートル)，受風面積(幅B×実効高さH平方メートル)に比例し，風速Vの3乗に比例する。さらに若干のロス分を仮定すると， P＝0.2494×B×H×V×V×V 幅Bを40メートル(固定値)とし，平均風速V(秒速メートル)と実効高さH(メートル)をパラメーターとして単機出力(キロワット)と1万基の年間電力量(億キロワット時)を概算する。定格風速を13メートルとし，それに対応する出力に設備の推定単価40万円／kWを乗じて，さらに1万基に対する投資額を計算する。 平均風速が10メートルもあれば実効高さ500メートルのもの1万基で44兆円程度の投資で年間出力4千万キロワット時，2030年の総発電量1兆キロワット時の4割程度が得られる。なお，この計算は少し甘めである。 この投資は巨額であるが，FITに頼らなくても短期間に回収可能と思う。また，今回の原発事故で汚染され，農業ができなくなった地域でも建設可能であり，さらに広く農地や牧場に建設して農業の兼業とすればTPPで不利な立場に立つ農業の支えとなる。地球温暖化による災害多発も軽視できない。
56026	個人	自営業	60代	女性	■　ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする	1．フクシマの事故の明確な原因究明もされず、未だに炉心に近づくことすらできない状況にも拘らず、政府と電力会社は重要不可欠な安全対策もろくに採らず、次々と再稼働を進めようとしている。この背景には相変わらず「安全神話」に固執し、フクシマの教訓を学ぼうとしない「政・官・財・学」の原発利権集団の存在がある。非常識極まりない専門家と利益追求しか眼中にない素人の連中に、原発を扱う資格はない。原子力制御技術はまだまだ未完成であり、子供に武器を持たせるようなものだ。これでは第二、第三のフクシマが起こるのは火を見るより明らかだ。 2．フクシマの事故は、地震による配管破断が津波による被害より先に起きていた可能性がある。どんなに技術が進歩しても地震大国日本では、絶対安全な原発など造り得ない。地震の活動期に入り、敷地内の活断層や破砕帯にズレが生じれば、どんなに頑丈な原発建屋や圧力容器も複雑な配管もイチコロ、予想も付かぬ大惨事となる。 3．原発過酷事故は、狭い日本の国土、海、川を半永久的に汚染し、食糧生産や経済活動に取返しの付かない甚大な被害を及ぼす。 広範囲の人々の健康、生活、人生を奪う。特に、人間や他の生物遺伝子への悪影響は、子子孫孫まで及ぶ。また、被害は国内に留まらず、大気、海洋を経て地球規模に及ぶ。 4．原発稼働によるの膨大な放射性廃棄物や使用済み核燃料の処理方法はなく、原発何千発分ものプルトニウムと共に次世代へ最大の危険なツケを残すこととなった。次世代へのツケをこれ以上増やさないためには、原発をやめるしかない。 5．原発は実は安全対策や被害賠償など莫大なコストがかかり採算に合わず、今や時代遅れ、というのが世界の趨勢。原発開発業者のGE社も、既に原発産業から撤退している。津波対策の防潮堤建設に掛ける金があるなら、再生可能エネルギーの技術開発に回す方が、余程理に適っている。 6．たかだか数十年の利便性、経済的利益のために未来の世代の安全な暮らしを脅かすことは、倫理的にも許されない。我々国民にとって、真の豊かさとは何か、を考え直さなければならない。原発で作られた電気で便利・快適な生活をする時代はもう過ぎた。企業も原発依存体質から脱し、節電の技術革新に努め未来世代に安心・安全な環境を残す社会的責任がある。 7．人間が原子力を制御出来るというのは、思い上がり、妄想に過ぎない。日本のお家芸の地熱発電、効率の良い天然ガスコンバインドサイクル火力発電、太陽光・風力・波力などの発電技術も急速に進歩している。再生可能エネルギーへの転換を国策として速やかに推進すべきである。 これ以上日本が危険極まりない原発に依存し続けたり、他国へ輸出するのは、国として恥ずべきことであり、世界への犯罪行為に等しい。
56027	個人	法人等	30代	男性	原子力発電0%シナリオを選択。原子力発電は即時廃炉にすべき。	原子力発電のゼロリスクはありえず、むしろ地震大国日本においては再び事故が起きる可能性の方が高いと考える。福島原発事故で明らかになったが、事故が起きた場合、次世代への影響に対しては不明な点が多く、現世代が責任を取れないので倫理的に原子力発電は許されないエネルギーである。
56028	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。枝野大臣は記者会見で、圧倒的多数が支持ずるシナリオ以外を政府は常識的に選択できない、と述べています。国民的議論の全てで7割を超えるゼロシナリオ支持なのです。ゼロで決定を！	その上で、今すぐ原発をエロしにしてください。 浜岡原発を例にします。 東海地震震源域の真上に立つ浜岡原発の再稼働はありえません。しかし、防潮堤の工事など、多額の投資が行われています。早く原発は意思を決定して、無駄な投資をやめ、代替エネルギー開発に投資すべきです。 政府予算 政府の技術開発予算の60%が原子力開発で、再生エネルギー開発予算は5%に過ぎませんでした。(2008年統計)今すぐ、廃炉・廃棄物管理以外の全ての原子力開発予算を取りやめ、再生可能エネルギー開発に予算を付け替えるべきです。 昨年の原子力開発予算も、例年と同じ4千数百億円が続いてます。このような固定的な予算配分は認められません。再生可能エネルギーや福島原発事故被災者への支援へ予算を付け替えてください。 国民投票で決着を 2030年までの出来るだけ早い時期に原発をゼロにする選択が国民の圧倒的多数です。そして、そのほとんどが、今すぐゼロを求めています。 今すぐゼロを決定するために、国民投票を実施してください。 徹底的な討論を ドイツでは、十数時間にわたる原発是非の討論をテレビ放送した上で、2022 年までに原発を0%とする方針を決定しました。日本においても、たとえば公共放送であるNHKが原発の是非に関する討論番組を十分な時間放送し、そのうえで国民の意見集約をおこなうなど、充実した方法が可能なはずです。形だけの”国民的議論“にしてはいけません。 原子力を進める専門家と脱原発の専門家が同数出席した上で、徹底した討論を行い、その模様をテレビ放映、ネット中継してください。
56029	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発縮小維持	将来、原子力以外の既存のエネルギーソースが枯渇するリスクがあるので、原子力発電の維持(技術の保持)は必要と考えます。 現存の原子力発電設備については、安全性の高いものを厳選して稼働。 原子力の運用については、リスクを踏まえた上での制度の再構築が必要と考えます。
56030	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	東日本大震災に端を発する福島原発事故は、何百年という暮らしに根を張った人々の生活を根本から破壊し、ディアスポラを招きました。世界有数の地震・津波国である日本で、地震学者により日本は「地震活動期に入った」と宣言され、そして原発はすべて海沿いにあり、またその多くが「活断層」という概念が成立する依然に計画・建設されました。そして例を挙げるなら、大飯原発は重要免震棟もﾍﾞﾝﾄの仕組みも2015年完成という、現在無い状態で稼動されており、大地震・津波があった際の危機的状況が福一以上に懸念されます。原発を運用する技術が未だアンコントローラブルであることが明白となった以上、生命・生活を脅かすエネルギー源を、このまま維持または増設することには賛成できません。 しかし、化石エネルギーはCo2排出の問題があり、再生可能エネルギーはその供給力脆弱の問題が指摘されています。電力供給を損なわない範囲で原発の稼動を絞りつつ、段階的廃止を進めていく方法がよいと考えます。 2050年くらいをﾒﾄﾞに、化石・原子力エネルギーの双方をゼロにすると仮定するなら、自然エネルギーは、バイオマス30%、太陽光20%、風力10%、太陽熱10%、水力・火力5%とすることで、代替が利くことになりましょう。 こうした枠組みで、実現が危ぶまれているCo2の25%削減も、到達する道筋が見えてくるはずです。 電力システムとしては、こうした自然エネルギーを最大限生かすため、自然エネルギーの優先接続の仕組みを整え、全国の「送配電網がつながっている」ことが必要となりましょう。先進国の大半で導入されている電力小売自由化、発送電分離は今後のエネルギーを考える上で不可分不可欠な課題です。 東日本大震災で、独自の電力確保に目覚めた組織もあります。こうした「自家発電」が蛸足のように、電力需給を下支えする構造も今後見られるようになってくるでしょう。自分が仄聞したところでは東工大の環境エネルギーイノベーション棟http://www.titech.ac.jp/topics/news/detail_2848.html?id=alumniがあります。自家発電を図る動きも今後増え、電力需給を見る要因のひとつとなりましょう。
56031	個人	無職	30代	男性	選択肢に提示されたシナリオでは、「ゼロシナリオ」を支持します。 ただし、温暖化防止の観点からは、「原発をゼロ」と「温暖化防止対策を強化」したシナリオが必要だと、私は考えます。	・即刻すべての原発を廃炉にし、新設も行わない、「原発ゼロ」を支持します。 ・一方で、温暖化防止対策も引き続き考慮したシナリオが必要となるのは、当然ではないでしょうか。原発が動かせないからといって、石油や天然ガスを大量に使用する現在の発電方法が容認されていることに、不思議さを感じます。 (主な理由) ・震災後も仙台に住んでいました。放射性物質の拡散による内部被曝の懸念が拭えず、食も生活も不安でいっぱいです。 人間に最低限必要である3つのうち2つ、「食」と「住」の安全・安心が保たれない以上、原発はゼロにする必要があると考えます。 ・大好きな故郷や家族がなくなるのは、これ以上見たくありません。 ・これまでも高濃度放射性廃棄物は廃棄方法が確立していませんでした。廃棄物の長期埋め立て候補地すらありません。今後は、もっと難しくなるでしょう。自分たちで使ったものを、子供達に捨てさせる、そういう負の遺産を子供に押し付けるのは信条ではありません。 ・ただし、原子力政策上や外交上、原子力政策が必要なことも少しは理解できます。よって、原子力推進者が多い地域(例えば都内)に、原発を新設・稼働させるのであれば、その点に関してはやぶさかではありません。 以上です。 どうぞよろしくお願いいたします。
56032	個人	自営業	70代	女性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。

56033	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 今すぐにそうなってもいいと思っています。	原発ゼロシナリオを支持します。 今すぐにそうなってもいいと思っています。 なぜなら、今すぐに大地震や大津波が来たときの原発による被害と、今すぐにすべての原発を停止して廃止に向けて行った時の弊害を考えると、前者の方が取り返しがつかないことだと思うからです。そして、後者の方はその弊害を乗り越えていく知恵も技術も日本にあるのではないかと思うし、もしも今は無いとしても小さい単位で工夫していけることがあると思うからです。 子どもがどうやって育つかご存知のことと思いますが、 子どもは、働いて得たお金を赤ちゃんの横にボンと置いて与えても育つものではありません。自分では使うことができずにそのうちに死んでしまいます。 子どもは、究極お金がなくても、自然の中にある食べ物からなる母乳やそれに代わるものと、世話をしてくれる人、雨風がしのげる暖をとれる場所があれば、命が育まれていきます。 原発は、事故があればあっという間に自然も人も壊してしまいます。命を育むことができなくなるということです。 命が育まれなければ、国民はどんどん減っていきます。(いまもですが･･･) 国民がいなくなれば、国家がなくなるということです。(そんなことはありえないのかもしれませんが･･･) 人がいるから家族ができ、地域社会ができ、国家があるのであって、国家があるから人がいるのではないと私は思っています。 どうぞ、国民の命を大切にする国であってください。 今はそれが感じられません。 虐待やDVがあるのに言い出せない、被害にあっているのに本人は気づかないまま、説明できない苦しさを抱えている。 それと同じで、国から見えない暴力を受けているような気がしてとても苦しいです。 原発を落とされ、世界で唯一「核」はいらないと毅然とした態度で訴えていける国だと思っています。国内から原発をなくして、世界に平和をもたらすリーダー国「日本」になって欲しいです。 感情論で政治はできませんが、感情をなくしては人間でいられません。 誇れる国になっていくことを願っています。
56034	個人	会社員・公務員	50代	男性	0%(直ちに停止) 原発がなくても、電気は不足しないことが、今夏の電力事情で明らかになった。(関電は原発を動かした後に相当する火力発電所を停止。更に、その状況で今夏1の猛暑日に15%の余力あり。)	直ちに原子力発電を停止し、使用済み核燃料の処分について、安全に処分できるよう研究を並行しながら、廃棄処分を実施すべきです。むしろ、いつまでに処分するのか目処を示すべき。 今回の事故により、原子力は現在の(近い将来を含めて)科学力では安全に利用することは無理であることが明らかになった。また、放射線被曝の影響が晩発性であることも見逃してはならない。 原発立地自治体の雇用問題については、廃炉作業により当分の間は、解決できるはず。その間に順次計画的に原発立地による依存体質からの脱却を図ることができるはず、いや、すべき。 電力の不足の問題については、今夏の電力事情をみれば、唯一稼働した関西電力管内の電気事情は全く不足なしでした。それも、火力発電所を停止して、15%の余力ありの状況。企業として、原発を動かさなければ、資産でなく、負債をなるために、動かそうとしているのは明らか。そして、事故を起こしてしまった場合の補償費用を国民に負担させる仕組みそのものが間違っている。 東電は国庫から1兆円を支出し、実質国有化されたにもかかわらず、事故当時の映像の公開方法が、各社一人で、155時間を30時間しか見せないとか、それを容認している政府も同じ穴のムジナと見られても仕方ない。もう、いい加減、軍産複合体への献身をやめて欲しい。当の米国は使用済み核燃料の処分方法が認められるまで、新規の原発を認めない方向性が打ち出された。これは、撤退といっていい。唯一の被爆国がいつまでも、核兵器の製造に協力していること自体世界から不思議に見られ、良いようにされている。
56035	個人	家事専業	30代	女性	「ゼロシナリオ」を支持する。	・問題が起きた時に人が制御不能な原発は使うべきでない ・処分の方法がない核廃棄物を出す原発は使うべきでない
56036	個人	会社員・公務員	20代	男性	原子力発電からの撤退	今すぐに原発を全て廃炉にするというのは難しいとは思いますが、電力が不足しているわけでもないのにむやみやたらに原発を再稼働してしまう事には恐怖を覚えます。私の住む石川県には志賀原発がありますが、活断層の疑いがあると発表されてからの北陸電力の対応には、県民としては納得ができません。しっかりとした機関 に調査をしていただいて、その結果を嘘偽りなく国民に知らせていただいきいです。 3.11の事故で、故郷を失ってしまった人がいて、また、日本には立ち入ってはいけない場所ができてしまいました。そのような危険な物をこれからの世代に残したくはありません。
56037	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ	またあのような事故が起こってほしくない。 違うエネルギーを考えてほしい。 時間とお金がかかっても廃炉の方向で考えてほしい。 もしまた大きな地震が起きたら･･･。 そう考えるとても怖い。
56038	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロ	使用済み核燃料は使用中よりも危険度が増し、 高レベル放射性廃棄物であり数万年以上保管する必要がありますが、 数万年の間に311と同様かそれ以上の大きな地震が一度も来ない。 という保証はどこにもないので。
56039	個人	学生	10代以下	男性	(1)ゼロを求めます。また、2030年までにゼロでなく、今すぐゼロにしてください。	これは当たり前です。子どもたちを危険な目にあわせないでください。去年の事故をもう忘れているのですか？僕たちの未来です。
56040	個人	パート・アルバイト	50代	女性	(1)(2)(3)は日本と世界の現状を考えない無責任な案であり未来に責任を持つならば原発比率を増やすべき。日本の産業・雇用・防衛・外交・国民生活全てに原発は必要。ゼロや縮小など有得ない。責任持ち逃げずに説得せよ。	(1)事故について･･･事故は津波による電源喪失の後復旧作業を妨げた元首相や政府の対応により引き起こされた人災であることは検証されている。過去何度も津波があったのに高い崖を削り海近くに建てるなど危機管理の観点が無く設計ミス、爆発は起こったがチェルノブイイ事故と全く違うのに、放射能の影響を正しく理解できてない政府やマスコミにより恐怖をあおる報道が続き反原発の風潮を煽っている。住民生活を破壊しただけの避難や立入禁止区域の設定と復興増税されたが明確な復興のビジョンがなく復旧も手間取ったままで原発に不満を持っている。事故の影響による死亡者はいないが無理な節電により熱中症で死亡した方の数は多い。 (2)産業・雇用・生活･･･日本の産業にとって安定的な電力は不可欠。会社でも工場でも家庭でも今や電気のない生活は不可能だし節電を続けて会社の業績が伸びるはずもない。法人税も高い上に法人も個人も増税、更に電力供給不安定ならば海外への産業流出、海外からの参入取止め等日本が不利・不況になるばかりである。不況期は雇用も減少し自殺者は増加する。病院でも停電で命にかかわる状態になる。生活は電力無しには成り立たない！エネルギー政策は国民の命の問題である事を認識すべき。 (3)火力発電・再生可能エネルギー・防衛・外交･･･原発停止の影響を受け火力発電が増え電気代が上昇、不満を持つ人は多い。火力発電施設も老朽化や故障が多かったりする。石油輸入のシーレーンは紛争により止められると輸入できない。太陽光発電は買い取り価格が高く電気代に上乗せされている。先行したドイツは買取制度が国の経済政策を圧迫し制度を停止。ドイツは脱原発だがフランスから電力購入し負担を増している。原子力発電所の稼働が他国からの防衛になり得るし原子力にかかわる頭脳流出を防ぐ。
56041	個人	無職	30代	女性	ゼロシナリオ。日本の全原発の即時廃止を求めます。原発と決別して、国内の海底資源に予算を投入して下さい。	安全神話の福一原発に予期せぬ事故が起き、全国の原発も老朽化して危険度は増している。 大飯原発も、様々な問題(原発へのルートが1本しか確保されていない等)が改善されぬまま再稼働となった。 仮に、南海トラフが東海、東南海、南海、さらに宮崎県沖の日向灘まで連動した時のことを考えると、現段階の技術では事故の可能性は0%にはならない。(海外でも同様だ) 原発事故は飛行機事故の何千倍も人命を奪う危険性があり、後年への影響も予測できない部分が多く、またその後処理の予算と年月も莫大な数字になる。 事故の危険性は人命や環境破壊だけでない。国内の被災者、諸外国への賠償金も場合によっては国家が破たんするほどの金額になるかもしれない。 原発がなくなることによる経済的打撃や国力低下よりも、原発を稼働によるリスクの方を私は危惧します。 今後は原発ではなく、伊豆、小笠原、沖縄周辺の海底資源に予算を投入することを望みます。
56042	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までに原子力エネルギーへの依存を0%にしたい。	2030年までに原子力エネルギーへの依存を0%にしたい。この度の大飯原発再稼働について反対します。このような判断を下した政府、ならびに野田首相に強く抗議します。
56043	個人	会社員・公務員	60代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢として、原発ゼロシナリオを支持します。直ちに原発を廃止し、原子力に頼らないエネルギー政策を推進されることを強く望みます。	エネルギー・環境に関する選択肢は国家にとって重要な選択肢であり、広く国民の意見を求められたことに感謝いたします。原子力発電施設は、東日本大震災における東京電力福島第一発電所の事故をかえりみるまでもなく大変危険なものであり、直ちに原発を廃止し、原子力に頼らないエネルギー政策を推進されることを強く望みます。 自然災害と異なり、一旦事故が起きるとその影響は莫大で、最悪の場合、被爆により子孫にまでその影響がおよぶ恐れのある原発は、直ちに廃止すべきです。 現状、エネルギーを電力に頼っている鉄鋼、自動車などの産業界は、脱源発は経済性あるエネルギーが安定的に供給されず、日本の産業の国際競争力の低下につながるとの理由から、脱源発に反対であると聞いています。かえりみれば、自動車の排ガス規制の実施のときもそうでした。自動車産業界は、コストアップにつながるとして、排ガス規制に猛反対しました。とこが、実際に排ガス規制が実施されると、技術革新により排ガスを押さえることが可能になり、その結果、日本の自動車産業は大きな発展を遂げました。この過去の例をみるまでもなく、原発ゼロを実施することは、産業界にとってもマイナスの効果ではなく、日本が世界に先駆けて、エネルギー関連産業のイノベーションを実現するチャンスであると捉えるべきです。 現在のエネルギー利用は、多くを電力に頼り過ぎているきらいがあります。電力によらずとも実現できる冷暖房などのエネルギー利用については、電力以外の利用率を高めることも重要です。 また、再生可能エネルギーの利用はもちろんのこと、原発以外の火力発電設備などの発電設備の発電効率の向上や送電効率の向上について、さらに研究開発を進めることも重要であると考えます。 国民は原発に今まで賛成していたのではないかと言う意見がありますが、それは間違っています。仮に国民がエネルギー問題に大きな感心がなく、それほど省エネに努めることなく電力を消費していたとしても、それが原発に国民は賛成だったということにはなりません。国民は、原発は安全だという「安全神話」に洗脳されていたに過ぎません。多くの国民は、このたびの東京電力福島第一発電所の事故により、原発が人類が作り上げた物の中で最も危険なものであり、洗脳されていたことに気がついたのです。エネルギー・環境に関する選択肢を検討する過程においては、この誤った「安全神話」がどのようにして形成されたのかについても検証して頂くことを希望します。
56044	個人	家事専業	30代	女性	原発は即廃炉	危険だから。死にたくないから。
56045	個人	会社員・公務員	40代	男性	0%を支持します。	生命に優先して経済は成り立ち得ないと考えます。 原子力発電所での非常時の原子力制御技術が確立されていないことが判明した以上、代替エネルギーへの転換を目標とし、発電方式において原子力発電の占める割合を可能な限り早期にゼロとする計画を支持します。将来の世代に安全な国土を引き継ぐために必要な選択です。
56046	個人	会社員・公務員	30代	男性	15シナリオが妥当。	15%程度が妥当だと考えます。 1. 電力の安定供給は豊かな国民生活と経済成長の礎。 →震災以降、オフィスビルでも電灯の間引きが行われたりしていますが、 このような状態は長く続けるべきではありません。 工場の稼働などでも節電の工夫をしていますが、所謂現場レベルでのがんばりには限界があると考えます。 2. 世界に誇る日本の原子力技術の確保と成長は重要。 →原子力技術は悪の技術のように言われていますが、震災以前には重大事故を起こしてはいないという実績を軽んじているような意見に思えます。 廃炉には原子力技術は重要で、今後ゼロになるにしても原子力発電所を解体できないでは無意味な話になると思われます。 また周辺には北朝鮮のような国家もあることから、例えばわが国の優れた原子力技術者が流出した場合、かの国の核開発が進むことも考えられます。原子力技術を確保・成長は様々な安全保障上の要件と考えます。 3. 今は過渡期。10%は議論の余地。 →将来的に原子力をどうしていくのか？という点とエネルギーをどこに求めるか？という点は、地下資源(特に化石燃料)に乏しいとされるわが国において、永遠に続く議論であると考えます。現在採用されたシナリオも永続的な拘束力を持つものではなく、弾力的な運用をすべきと考えます。そのためには、今の安定を確保しつつも、将来の議論の余地を残すべき。一方、再稼働に必要な要件を厳しくし、より安全な原子力発電を行うことの模索も国は続けるべきと考えます。 以上のことから、私は15シナリオを妥当と考えます。
56047	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオの選択を希望します	ゼロシナリオの選択を希望します。原発は全て廃炉にするための努力に力を注いで欲しいです。

56048	個人	会社員・公務員	30代	女性	すみやかに完全に撤退。議論を核ゴミの管理に移すべきです。	＜直ちにゼロシナリオ＞ 原発からは即撤退を。勿論全てをです。 そして核ゴミの管理にすみやかに議論を移しましょう。 一つの提案としてそれぞれの電力消費地でこれまでの電力消費量に見合った 核廃棄物の埋蔵と管理を行うのはいかがでしょうか。 活断層、地震の危険を唱える人もいるでしょうけれど どうせ日本はどこでも危険だらけ、どこで大地震が起きてもおかしくないのです。 それなら、各自が使用した資源への責任を等しく持ちましょう。 原発推進派は経済を盾にとりますが 廃炉費用や管理、膨大な未来への維持費まで含めた原発の経済性への疑問点 グローバリズムに屈し、日本から仕事も内需も逃げて行ってしまっている現実、 デフレ下での大増税の非合理性が棚上げされているのは矛盾しています。 彼らは自分だけがいつまでも搾取する側でいたいだけです。 この事故が起きてしまった事は地球上の誰にとっても悲しい出来事でしたが もしも、この手痛い教訓を生かせなかったら、それはもっと悲しい出来事です。 関電は大飯原発を無理矢理再稼動させてから それよりも出力のある火力を停止させました。 そして待ってましたとばかりに債権を発行しました。 彼らの一番の不安が電力不足ではなく経営難である事を もはや知らない国民はいません。 何故、一民間企業である筈の電力会社にここまで虐げられなければならないのでしょうか。 まだ仮にも民主国家としても体裁を整えておきたいのなら 彼らの経営責任をこそ問うべき です。
56049	個人	その他	40代	男性	2030年までに原発の全廃	先ず第一に、一度原発事故が起きれば、長期に渡って環境・人体その他に悪影響を及ぼし、事故ゼロは事実上不可能なことである為。 仮に原発を続ける場合は、東電の他にも原子力安全・保安院も責任を負うべき 第二に、火力を除いた代替エネルギーに対する技術のブレイクスルーには、潤沢な原子力によるエネルギーの供給は、却って妨げになると思える
56050	個人	会社員・公務員	40代	女性	1)第三者による電力供給能力の査察 2)将来的に原子力発電からの電力供給を0%にし、代替エネルギー(火力、水力、風力、潮力、地熱、太陽光 etc)に置き換える	1)第三者機関による電力供給能力の査察 　現状で30%の電力供給量を原子力が占めているが、原子力発電を将来的に廃止するに当たり、この供給量を代替エネルギーに取って代わらせる必要があるが、実際に現在の原子力を除いた発電能力がどれくらいなのか、代替エネルギーでの発電能力はどれくらいで、不足する電力は代替エネルギーで賄えるのか、代替エネルギーに変えたとするとコストはどれくらいになるのか、正確に査察する必要があると考える。 昨年は原子力発電所は止まっていたにも関わらず、節電・代替発電にて夏季の電力は賄えた。従って原子力発電所が無くても電力が賄える可能性も捨てきれない。 ただし、査察は公正を期すため、電力会社・メーカーを除くメンバーで構成。 メンバーの経歴も考慮して一般からの公募もあり。 福島第一事故の対応の拙さ、不信感から原子力安全委員会も除く。 2)効率の良い代替エネルギーを推進 　原子力発電は安いとは言われていたが、実際には建設・廃炉・使用済み燃料の廃棄、事故が起こったときの補償など、非常にコストの高い、将来への影響も多大な発電方法である事が露呈した。 従ってこれらの条件をクリアする代替エネルギーへの移行が必須である。 　原子力発電所は地方に設置されている為、送電ロスが大きい。消費地に近い場所で発電できる方策も考慮する必要がある。 高コスト・危険性の高い原子力に固執し、莫大な費用を当てることは日本の国としても得策で無く、逆に日本の技術力を持って、世界に先んじて次世代の代替エネルギーを開発できれば、日本の産業の丸進にも繋がると考えている。
56051	個人	自営業	30代	女性	原発「ゼロ」シナリオしかない！	・自然をコントロールすることなどできない！ ・お金もモノも一瞬で失うことを知った今、絶対に危険なモノを排除することが重要 ・原発「ゼロ」という大きな決断により、日本人は一つになれると信じています 日本は元来、海に囲まれ、美しい自然を身近に感じられる国であり、日本人はそんな土地を誇りにしてきたはずです。いつの間にか、便利であることこそが私たちにとって大切なことだと言わんばかりに、技術の発展に従事してきた戦後であったのだろうと思います。そうして、目標を持って進んできたこと、そのために技術開発をし、努力してきたことは誇りにすべきことですが、今回の東日本大震災により、私たちは自然の中に生きていて、自然をコントロールすることなど、絶対にできないのだということを、誰もが実感しました。 「自然をコントロールできない」このことを思い出すために、多くの人たちの命が犠牲になり、更に、原発という、やはり私たち人間がコントロールできないものを持ってしまった恐怖に、初めて多くの人が気づく結果になったと思います。 今まで、政治はどこか他人事で、国の方針がどうあろうと、結局大差はないのだと思ってしまっていましたが、今私たち国民は、以前よりもずっと多くを考え、日本の、世界の、地球の未来を考えています。 今までの誤りを正して、未来に希望を持って進むには、原発を「ゼロ」にするという大きな決断が必要です。 原発事故後、正しい情報が得られないこと、TVも新聞も、スポンサーに都合の悪い情報は流さないことなどにすっかり落胆しました。この国を諦めないためには、国民みんなで努力しようと鼓舞する力強い選択が必要です。 お金や、モノはいつでも失ってしまうのです。 そんなモノのために、私たちの命が犠牲になり続けるなんて！ 原発「ゼロ」以外の選択肢はありません！！！！！
56052	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。他のエネルギーに切り替えつつ、エネルギー量を確保するのは容易ではないと思いますが、原子力はリスクが高すぎます。他のエネルギーへの早期変換、原子力発電の廃炉を希望します。	福島の事故が起きるまで原子力発電には無関心でしたが、自戒しました。 放射性物質汚染による国土の消失、食物の安全性、人体・生態系・環境への影響をはじめ、使用済み核燃料の処分方法、被災者への支援体制と財源、子孫への負の遺産など、事故後の被害や課題は甚大です。 原子力は今の技術ではコントロールできるものではなく、よって、あらゆる問題の対処方法が確立されるまで、使うべきではありませんな。 再生可能エネルギーなどに移行するには大変な手間とお金が必要だと思いますが、短期間で回収できる、新しい産業として成り立つという話もあちらこちらで聞きます。 50年、100年レベルで今後日本がどうあるべきかを考えてください。今の経済状態も大事、変革には大きな負担もあるでしょうが、原子力を導入した世代がツケを払わなくてはなりません。 よって原子力発電を廃し、早期に他のエネルギーに移行するゼロシナリオを支持します。
56053	個人	自営業	40代	女性	2030年までに、原発ゼロを希望します。今からゼロを目指さなくては代替エネルギー政策に十分な資金が投入できないと考えます。廃炉技術国を目指せ。	原子爆弾が使われたのが1945年、日本で原発が稼働したのが1963年、それまで18年、それを考えれば不可能ではないでしょう。私は1963年生まれ、初稼働時にはまだ生まれていませんでした。その時の子ども達は今40代後半～50代です。私たちは、その時の大人達の被害者なのです。この知らぬ間にできた原発を抱えて不安と罪悪感に包まれています。動いてしまったモノを止めるのが容易くなく、経済的に非常に厳しいことはわかっています。でも、今の子ども達にこの負債は少しでも減らしたい。プルトニウムを作ってしまった今、子孫への負債は何世代と続く、だからこそ、もう一切増やさない誓いが、被害者である私たち昭和30年代生まれの人間の責務あり、私たちが加害者にならないという誓いにしたい。廃炉技術と代替エネルギーを遺産としたい。
56054	個人	会社員・公務員	40代	女性	自然に優しいフリーエネルギーを考える時代に入ったと思います！ドイツやオランダなど、日本も見習う時がきましたね～♪	原発じたいがもういらないからです！ 変わりになる エネルギーがたくさんあるのでそれを使うべき！ こんな事態になって日本は世界へ向けて新しい生き方をみせるべき！ 地球を大切に生きないと子供達の未来がないと思った！
56055	個人	会社員・公務員	40代	男性	将来のエネルギー戦略として、原子力に頼らない(1)ゼロシナリオを希望。 これに向け、原発の再稼働は行うべきではないと考えます	以下にて、将来のゼロシナリオ、及び、直近の原発再稼働に反対です。 (1)原発の必要性 将来に向けた人口減少(国の試算で8000万@2050)、省エネ技術の進歩より、電力の絶対的需要は減少。原発が無ければ成立しないことはあり得ない。まずは供給ありきでなく、需要減少の施策を含め、必要量の見極めを実施すべき。昔ながらの経済発展モデルは今の日本にはあり得ないことを前提としてほしい。 (2)優先順位 上記を補う手段として安全性とコストのポートフォリオから決める必要があると考える。まずは、水力、風力等自然の恵みを活用することは、コスト、安全から異論はないと考えるも、残りの電力を補う際のリスクと安全を秤にかけた際、安全にポートフォリオが偏っている現場、国民全体として今プラスアルファのコストであれば、安全のためにコストを払うことは問題ないと考える(真に原発が安価かは疑問だが)。また、将来は確実に今以上の大きな発電需要が見込めない状況下、身になるか分からない技術に税金を投資する事も反対である。
56056	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発0を目指して	政府の意見だとないと電力が足りないとの意見ですが、世界的に見ても原発は減少傾向にあるし、足りないのであれば、少しずつ自然エネルギーに変えていけばいいと思う。福島の事故でひとつの地域、故郷をなくした人もいるのに、稼働するのはおかしい。政府電力会社は自分たちの利益を考えてるとしか思えない。
56057	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時撤廃すべきであり、当面の電力は天然ガス・石炭・省エネで代替し、将来の発電技術の開発に力を注ぐべきである。	例えば福井県の原発を稼働させてよいかどうか、ということは、琵琶湖や京都が飯舘村の様になるリスクをとってもよいかどうか、ということを意味している。 この様なリスクはたとえどれほど経済的にメリットがあろうとも賭るべきではないし、経済的メリットそのものも、今後必要となる安全対策や放射性廃棄物処理を考えるとかなり怪しいものである。 事故の原因が人災であれ自然災害であれ、技術に完全はない以上、特に日本のような地震大国においては(地震は確率の問題ではなく、100%また起きることがわかっているものです)、原発は、メリットに比べリスクが大きすぎることが明らかであり、即時廃炉にすべきである。 今後当面は、CO2排出量に過度にこだわらず、天然ガス・石炭を安価に入手・活用する努力をし、既存の火力発電所を速やかにより効率のよいものに置き換え、それにより可能な範囲内で経済活動を行うべきである。 自然エネルギーについては、将来的にも発電量が疑問の太陽光発電に過度に肩入れするのではなく、より現実的な風力・水力・潮力・地熱発電の開発に力を入れ、それを活用するための送電設備の整備・規制緩和を進めるべきである。 また、脱化石燃料を将来的に実現するため、燃料電池・核融合・宇宙発電といった分野の研究開発をより積極的に進めるべきである。
56058	個人	会社員・公務員	60代	女性	「原発0シナリオ」支持します	一度事故を起こせば取り返しがつかない原発は無くすべきです。
56059	個人	自営業	30代	男性	原発、エネルギー政策等全般に関わる事に対して	私は基本的に原発反対です。でも今すぐに全ての原発を廃炉にする事は出来ないんだろうと思います。私はエネルギー政策に関して以前から学んでいたわけでもなく、この震災以降に関心を持ち自分なりに色々な意見、書籍等でにわかの考えを持った庶民です。経済の事に関しても表面的なことしか、それ以下かもしれませんが、その程度の知識しか持ち合わせていない人間です。 でも自分で考え、知ろうとした結果、様々な不信や疑問を震災以降に感じます。 事、原発再稼動に関しても、今、原発を稼動しない事により、原発に依存していた原子カムラの人たち、十分な電力を確保出来ない可能性により影響を受けるであろう企業等が存在することもわかります。影響を受ける人たちの立場を考えたのであれば、ただ単純に再稼動反対、停止だと言っているだけではダメなんだと思います。大きな視野で見ているのが政府なのかもしれません。でも、やはり正当な説明やビジョンを明確にしてもらわなければ、見えてこないことだらけです。今現在、福島の原発から放射能が全く洩れていないというわけでもなく、終息しているわけでもないのです。そんな中で再度地震などの災害が有った時に本当に同じ様な被害を受けないと言い切れるのか？大飯の原発にしても様々な問題を解消、説明されていないのはほとんどの国民が感じています。やらなければいけないことがあるのであれば頼むから順序を守って欲しいです。そして説明をして欲しいです。安全が担保されあれば担保するように取り組んで欲しいです。 労力と時間がかかってもしなければいけないと思います。うそや隠蔽だと思われない最低限の説明を求めます。お願いします。活断層があるのであればそのお対処を!!　そして新たなエネルギー政策を唱える方に耳を傾けて脱原発依存の方向に向ける試みを公にして下さい。
56060	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年に原発0ではなく、即時原発0を！　人間の手で制御出来ない放射能を生み出す原子力発電に依存することが誤りであることを認めるべきだ	被曝労働に頼らなければ維持できない原発は非人間的である。使用済み核燃料の処理を考えずに推進してきた原発の本当のコストを見据えるべきである。電力会社・原発メーカーに食い逃げさせてはいけない。一旦事故が起これば広範な地域で放射能汚染を引き起こし人々の生活を成り立たなくさせ、国土を失うことになる。国の責務としての国民を守ること領土を守ることに反する。
56061	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発や電力会社だけに頼らない電力確保の早急な制度構築と実施。及び原発終息に必要な人材の確保。	中部電力管内は、浜岡原発を停止しても今年（2012年）の夏は乗り切れる見通しで、既に8月のピークも超えようとしている。他の地域（特に関西電力）も原発を再稼動しなくても大丈夫だったのではないだろうか。原発に関係する企業や団体、大変申し上げ難いが原発の地元住人の一部の方も含めた明らかに利権に関わっていると感じられる方々と主な政治家の方々の原発ありきの考え方はおかしいとしか言いようの無い状態。税金を上げたり、電気料を好きに値上げさせるようなことをする前に、もっとやることがあるんじゃないでしょうか。例えば、大企業と言われる会社には、過去3年間（5年でも良いが）の電気使用量の10～30%（使用量に応じて範囲を設けて変えるべき）を自社発電で賄うような制度を整備すれば2～3年で原発などは不要にできるのではないだろうか。また、その設備投資により、関係部門はお金も動く。私のような素人でもその程度は考えられる。もっと頭の良い人たちは、何を考えているのだろう。また、片方では、こういう形で原発問題が騒がれることで、原子力技術者を志す人材が激減しているのではないだろうか。原発を終息させるための向こう50～80年の人材確保についても今から計画的に行わなければ片付けもできない。電力会社と国はそういった責任も負うべき。（原発の後処理まで原価計算してないだろう！）　自分たちの選挙や党のことばかり考えているような（そうしか見えない）政治ではなく、今やらねばならない政治を、しっかりと将来を見据えて進めて欲しい！　子供たちの未来を私利私欲の塊のような人たちに奪わせないでくれ！
56062	個人	会社員・公務員	40代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に関する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 「巨大地震のサイクルに入った」というのが日本の多くの地震学者の共通見解。今すぐ原発ゼロに。	福島の教訓から、原発事故は人の力でどうにかできるものではないことはわかったはず。巨大地震が起きる可能性のある日本は原発を動かすべきではない。 そして、ほんとうに原発がないと電力は足りないのか？ 真実を国民に示してほしい。 再生可能エネルギー比率が増えていくことでも、経済的な成長は見込めると思う。
56063	個人	自営業	40代	女性	原子力発電、電力開発に関する以下の点に関するお願い	1.大飯原発の再稼働は即時停止する。 2.現在ある原子力発電所を安全性が確保できるまで稼働しない 3.東日本大震災の義援金を核融合開通に流用しない
56064	個人	自営業	40代	男性	原発を全て即廃炉。自然エネルギー開発に全力を尽くし、日本から世界に向けて自然エネルギーのインフラの推進、廃炉技術提供、汚染除去などの技術を世界に積極的に推進して行く。	福島第一原発事故を起こし、世界中を汚染した当事国が原発の稼動をこれ以上続けるのは有り得ない。 原発政策がそもそも日本の自然環境には全く相容れず、原爆の被爆国がいかなる理由でも核だけは取り扱ってはいけなかった。そして今でも国、電力会社、原子力行政の反省は全く見られず、更に破綻した原子力行政を維持することは第2の福島原発事故を必ず起こす。日本に2度目の原発事故が起きれば日本はもとより世界的な汚染の危機に陥る。

56065	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島原発事故の計り知れない影響と損失、負担をとらえた時，今後の日本のエネルギー政策は，原発利用を直ちにやめ，一日も早く脱原発の方向を明確にして，再生可能エネルギー等への転換をはかるべきである。	1　福島原発事故の計り知れない影響と損失，国民負担 いまだに16万人もの国民が避難生活を余儀なくされ，しかも永久に住むことのできない地域が出ている。福島第一原発はまったく収束にむかっているとは言えず，特に4号機にいたっては燃料プールの崩壊によって，これまでに経験したことのないような悲劇的な状況が懸念されつづけている。放射能の飛散がうんでいる惨劇は，人々の住居を奪うのみならず，農地を奪い，漁場を奪い，それまでの豊かな自然環境を私達からうばっている。この状況を作ったのは他ならない福島の原発事故であり，それは自然災害と人災が重なった未曾有の大事故によるものである。 2　福島原発事故の直接的な責任企業である東京電力の責任を追及すべき 事故当初から，実に無責任で不過な態度を取り続けているのが東京電力だ。自らの事故責任を軽くしようという意図ばかりが見え，経営者は責任を取ろうともしない。責任を回避し，自社を存続することばかり考えている。こういう無責任で，無能力の東京電力は，実質国有化などと言わずに「完全国有化」をはかることで，徹底的な改革を断行すべきである。また，関西電力をはじめとする電力会社は，安全軽視，安全施設設置の先送りなど，とても原子力発電を担える企業とは言い難い。自社の生き残りのみを考え，何としても再稼働によって延命しようとするのみで，日本の未来を考えた企業の姿勢とはいいがたい。その本質が変わっていない以上，またもや第二の「フクシマ」が起きる危険性が極めて高いと言わざるを得ない。 3　エネルギーの大量消費を前提にした政策を見直すべき 「豊かさ」をエネルギーの大量消費とかん違いしてきた日本の姿勢そのものを改革しなければならない。地球は「未来の子ども達から借り受けたもの」という姿勢をもてば，未来の子ども達に豊かな地球環境を残していかなければならない。原発の「放射能」，核廃棄物といった「負の遺産」を，今の時代を生きる人間の満足のため（経済活動もそのうち）に，無責任に未来に残していく選択は間違っている。このことだけでも，原発や核利用はただちに中止する方向で世界は動かなくてはならないのである。 4　再生可能エネルギーの可能性を育てる姿勢こそ国のすべきこと 太陽光や風力，地熱，波力などなど，地球に自然に存在するエネルギー源を，そのまま利用して未来につなげる努力をしなければならない。いま，日本人はそういう方向性を期待しているし，そのための多少の我慢など苦にもしないだろう。企業はそういう方向で経済を動かす力を持っているし，すでに動き出している企業も多い。新たな技術開発も，日本政府そのものが「原発ゼロ」の方向性をしっかりと示すことで，一気に進むのは見えている。経団連などの経済団体は，目先の自己利益ばかりを求め，原発頼りに運営して暴利をむさぼってきた電力各社を守ることしか考えていない。再生可能エネルギーの活用によって日本を元気にする国家としてのプロジェクトを，世界に先駆けて推進すべきである。そうすることが，世界の中の「日本」の生きる道であり，「フクシマ」を経験してしまった日本の取るべき道である。
56066	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年原発ゼロ」ではなく即時原発ゼロ稼働を求めます。	今回の原発事故で安全性は完全に否定されました。地震の多発する我が国では今後も起こりうる事故だと思われますので、即時原発ゼロ稼働を求めます。 原発の代替エネルギーとしては天然ガスなどのガスにまず移行してゆくことが現実的だと思われます。この点、「ガスコンバインドサイクル発電」等の火力発電の推進・増強することでCO2削減・省エネが実現可能です。 以上、「2030年原発ゼロ」ではなく即時原発ゼロ稼働を要求し、天然ガスなどによる火力発電の推進・増強を求めます。
56067	個人	学生	20代	男性	私は「ゼロシナリオ」を支持します。	私は「ゼロシナリオ」を支持します。 原子力発電は事故のリスクが非常に高いこと、そして、電力会社にも国家にも、このリスクに対処する能力が無いことが理由です。 さらに、今回の福島原発の事故を受け、世界中で脱原発の機運が高まっています。こうした全世界的な潮流の中、「ゼロシナリオ」を選択すれば、日本国内の電力関連ビジネスの弾力化をいち早く促すことにも繋がり、ひいては日本が国際社会に於いてリーダーシップを発揮できるようになります。「ゼロシナリオ」の採択をめぐっては産業界の一部から懸念が表明されているようですが、いま述べたような「ゼロシナリオ」を選択することによるビジネスチャンスを、是非とも前向きに捉えるべきだと考えます。
56068	個人	会社員・公務員	60代	男性	エネルギー問題に関しては世界の情勢、環境問題、科学技術の進歩、安全保障、経済問題等あらゆる点からの検討が必要である。 原発を減少していく考えには日本の将来に危険であると言わざるを得ない。	世界情勢---隣国の覇権主義による石油の安定輸入路が脅かされている。 環境問題---代替えエネルギーの発電量が小さすぎる。日本の原子力の安全技術は世界一である。原子力発電を減少することで、その技術は衰退していく。 科学技術の進歩---できれば核融合の技術を早く確立すべき。 できるまでは、原子力の安全性をさらに追求すべき。 安全保障---世界情勢問題 経済問題---原子力から撤退することにより、毎年何十兆円の日本の富が失われていく。さらに増税するつもりですか。電気代が上がることにより国内企業のさらなる海外流出、そして失業率の上昇につながる。 結論----原子力を減少すべきでない。
56069	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の比率としては「ゼロシナリオ」を強く支持します。原発は今すぐ全廃に着手、再処理計画も即時中止を期待します。同時に温暖化対策のさらなる強化を推進してください。	原発の比率としては「ゼロシナリオ」を強く支持します。原発は今すぐ全廃に着手、再処理計画も即時中止を期待します。同時に温暖化対策のさらなる強化を推進してください。 【理由】 1）人間は必ずミスがあり、自然界では人間の想定外は起こり得ます。事故は起きるもので、起きる確率を下げられたとしても、ゼロにすることはできません。さらに日本は地震大国です。事故が起きたときに修復のきかない影響を及ぼす原子力は一刻も早く全廃すべきです。 2）経済は、健全な土壌と環境のもとにあってこそ意味があります。その土台を壊すリスクがある経済成長に意味はありません。経済よりも人間が生きることのできる環境を守ることが先決です。 3）安心して暮らせる生活、それは原発がある以上、実現することはできないということが、今回の福島から得た教訓です。土壌や海洋に及ぼした影響は計り知れません。また社会不安は甚大でした。これは事実です。 ぜひ政府の意思決定者の皆様、勇気ある決断をお願いします。 【温暖化対策の強化】 温暖化対策のさらなる強化も同時に進めることを希望します。省エネ努力、自然エネルギーの活用、地域分散による発電損失の削減、地熱の活用など、まだまだ削減できる余地があります。幅広い視野でより大幅な削減を推進してください。 【市場原理の導入】 電力自由化や発送電分離は不可欠です。電力システム改革を推進してください。
56070	個人	学生	10代以下	女性	今すぐ原発ぜろシナリオがいいです。	ドイツのように太陽のエネルギーで電気を作るのがいいと思います。 原発は増やさないでください。 地道にがんばっていくといいと思います。 原発がない生活に少しずつなれていったらいいと思います。 今止まっている原発は動かさないでください。 原発は今すぐゼロシナリオがいいです。
56071	個人	自営業	80代以上	男性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56072	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発、原子力産業は全廃すべき。原発輸入も当然即刻中止。世界中の人が、自然が被害を被った事故の原因究明、補償（補償出来る被害ではないが）、被害の把握すらまともにない中、原発全廃していないのは倫理に反する。	放射性物質の心配をせずに、安心して生きたい。安心して水、食べ物、空気、自然の中で生きて生きたい。後世に核のゴミを押し付けたくない。誰も被ばくしない世界で生きたい。弱い立場の人に嫌な仕事をさせて生きたくない。安心して子どもを生みたい。育てたい。それだけ。原発の為に費やすお金を、自然エネルギーの開発で新たな雇用を生み出せばよい。
56073	個人	家事専業	60代	女性	「原発ゼロシナリオ」で全原発の即時廃炉を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で全原発の即時廃炉を希望します。これ以外に道はありません。未来のために、私の子どもたちのために、ぜひお願いします。
56074	個人	その他	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	今すぐにでなくてもいいので、原発を減らしていくべきだと思います。使用済み燃料の処理方法等、根本解決していない問題があるままに、可動を続けて、更には原発を増やすのはのは間違っていると思います。一国の経済的観点でなく、大きな視点での判断をして欲しいです。
56075	個人	学生	20代	女性	2030年までに原発ゼロシナリオ	私は2030年までに原発ゼロシナリオを求めます。 福島の原発事故を経験して、原発と生き物は共存できないと思いました。 原発事故のリスクはゼロにはできないし、ここでやめないと同じ事が繰り返されるだけです。
56076	個人	学生	10代以下	男性	原発ゼロシナリオに決まってる！ それ以外はあり得ない。 経済だ何だって言っている奴等はみんな福島に住んで、原発の作業でもしてから言え。それから、命がなくて、どうやって金使うのか教えてくれ。	書ききれない理由を書いてるヒマがあったら、被災地の手伝いでもしたい。どうせ、このパブコメだって、一応募集しました、って言いたいだけなんだろう？危険だって分ってるからこそこんなことやってんだろう？俺は今の政治家にいい見本を見せてもらって感謝してるぜ。俺はアンタ達みたいな汚い生き方はしない。絶対に。
56077	個人	無職	60代	女性	原発は即時停止、廃炉	未だ福島の事故の後始末さえできず、経済界の要望に引きずられての存続は危険すぎます。 廃炉が容易でないからこそ、今、日本の針路を表明すべきです。安全神話が崩壊した原発に縋っていては、日本に未来はないと考えます。 いつ巨大地震が起きてもおかしくない、狭い国土の日本です。核廃棄物の処理法も確立していないまま、出鱈目な計算式で原発優位論を発信し続ける輩を信じられません。 日本の技術力で、原発以外のエネルギー開発を進めるべきです。 国民の声に聞く耳を持たない、政権トップにパブリックコメントが届くとも思えず、空しさが募るばかりですが。
56078	個人	自営業	30代	男性	原発即刻ゼロを望みます。	原発に頼らない経済政策をお願いします。
56079	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存は0%が大前提、かつすみやかに全面廃炉が望ましい。 現在稼働中の原子炉についても即時停止をお願いします。	＜原発依存0%とする理由＞ 最終的な廃棄物の処理方法が見いだせていない。 たとえ地中に10万年埋める方法をとったとしても、10万年後先に生きている生命に伝える術がない。（人間が残っているかどうかも定かではないと思います。）稼働すればするほどゴミが増え、将来の世代に負の遺産となるため。 ＜全面廃炉・即停止を希望する理由＞ 大飯原発については、ストレステストが十分ではなく破砕帯の問題も現在調査中の段階です。規制庁も発足してない現段階で何か事故が発生した場合、責任の所在が不明確であるため。 この夏は日本で稼働している原発は2基しかないが、電力は足りており眠っている火力発電を動かせば原発を稼働させずとも夏・冬のピーク時は乗り切れます。
56080	個人	学生	10代以下	女性	原子力発電に反対です。 一日でも早く無くしてほしい。 日本の産業や技術で原発に頼らない社会構造をつくって、世界に誇れる国を目指しましょう！そのためなら我慢もします。便利じゃなくてもいいです。	2011年3月11日東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故から、原子力の安全神話が崩壊し原子力をコントロールすることがとても難しいということが分かりました。 壊れても、止めることすらできない原子力発電はいりません。 私たち柏市は、市民をあげての除染活動に奔走しています。 庭の放射線数値も測りましたが、自分の庭で作った野菜も食べられませんでした。安心して暮らしていた毎日が無くなってしまったのです。 こういう毎日は恐ろしいことで、おかしなことだと考えます。 どうぞ政府のみなさんは「より安全な電気が欲しい、使用済み核燃料の問題を子供たちの世代におしつけたくない」などの国民の声を聞き、しっかりとした政府方針を立ててください。 特に、国民生活や産業に影響を与える電気料金の上昇に関して、原子力発電の有無による差異はほとんどないという資料も見ました。 （参考:http://jref.or.jp/images/pdf/20120810/20120810_scenario.pdf ） 原子力ゼロを現実にするために、自然エネルギーを、今この時点から最大限導入してほしいと思います。日本は温泉も豊かだし、自然エネルギーの宝庫ではありませんか。その発電量もコストも著しく改善するとおもいます。 原子力ゼロ社会を作るのは大きなチャレンジです。しかしそれらの難題の度に私たちは一丸となって、取り組む時だと思います。 いまこそ、国が大きなビジョンを示し一丸となって取り組むことで原子力のない社会を目指し、世界の見本になりましょう。
56081	個人	会社員・公務員	30代	男性	地震の規模や時期が正確に把握することができない中で、今回の地震よりさらに甚大な被害を及ぼすものがいつ起こるか分からない。想定外の際に被害が他に比べ大きな原子力発電をゼロにすることが本質的なリスク管理。	我々日本人の強みは、技術の開発及び応用力であると考える。原子力の事故を教訓に人材の育成や世界との情報共有を行うとしているが、自国であれだけ甚大な被害をこうむった中で、リスク管理をしながら継続しようとする発想自体が危険であると考える。 発電コストが一時的に上がっても、それを下げる技術を日本は生み出せるし、人々の節電意識、生活意識も改善することができる。 それよりも今後いつかあこるであろう地震が来た際に、これ以上何よりも大切な命を失う事を避けたい。 目標を掲げて目指すことで、目標は達成するのであって、立てなければ始まらない。 ゼロにするという目標を早く掲げることで日本全体の産業構造も変えていけるのではないかと考える。 当然、原子力関係の産業に従事する方々は、分野の変更や、発電所を畳むことで得ている地方の助成金で生活している自治体は難しい局面を迎えるだろう。 しかし、その方々でさえ、命なくしては生活さえあり得ない。 私は、地震の2日後、成田から海外出張に出たが、多くの外国人が急いで本国へ帰るところを目にした。このまま原子力を続けるような国であれば、多くの意識ある日本人は海外で生活する道を選ぶと思う。 なぜ、ゼロすることではだめなのか。原子力が絶対に完全に120%安全といえる根拠がない限り、ゼロを目指す。この目標に向けて各分野でアクションを起こしていくしか道はないと考えています。 数字や統計の問題ではなく、理念、信念が問われていると思います。
56082	個人	自営業	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	人間のDNAに「うっかり」という動作が組み込まれている以上、いかなる工業製品でも事故を100%防ぐことは出来ない、その上原子力発電機器というものは自動車の衝突実験のように、事故を限定した状況下での実証実験自体が難しいのではないでしょうか？実験そのものが重大な事故を起こす可能性も昔話ではないと考えます。 故に私は原発ゼロシナリオで即時0%を希望します。
56083	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシステムを選びます。 福島の悲劇を二度繰り返さない為。罪のない子供達や未来の子供達の命を守る為。日本の大地の上で日本人が安心して平和に行きていく為。国内産の食物を安心して頂ける為に。
56084	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ。もんじゅも廃止。	原子力をコントロールすることが、今の科学技術では困難なため。将来的に可能になったとしても、日本は原子力以外の方法でエネルギー政策を展開することを希望します。
56085	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオで原発に反対します。	事故が起こった時のリスクが大きすぎる。使用済み核燃料の処理ができず、ただ溜まっていくのは大きな問題であると思う。

56086	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持	そもそも、今回の震災が起こる前から私は原子力発電の推進には反対でした。 地震国日本で、「絶対安全」などということがどうして言えるのでしょうか？ いつか何かが起こるのではという不安を抱えながら、見ないふりして生きてきたような気がします。 その結果が福島の悲劇です。 被害者は、被災地の方々にとどまりません。大震災後の保障や除染にかかる費用は、今後も増大するとの話で、その負債を、国民全体が負担しなければならないのです。 大変なリスクを抱える原子力発電を今後も運転し続ける選択肢には、私は日本を愛する国民の一人として反対です。そのために家計の負担増があるとしても、仕方ないと考えます。
56087	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存度0%を実現させること。再稼働はせず、廃炉と新エネルギー開発に全力を注ぐこと。	使用済み核燃料を安全に処理する方法も知らないのに、後の人たちに危険なものを押し付けて平気な神経がわかりません。 処理には何百年もかかる。地震国である限り、どんな危険があるか分からない。責任なんか取れっこないのに、「国民の生活を守るために再稼働する、責任は私が取る」と言う野田総理を、心から軽蔑します。 福島の責任を取ってから言って下さい。むき出しの使用済み燃料を処理し、子供がいるなど福島に住み続けるのが不安な人に対しては、希望者全員を希望の土地に移転させること。（その費用は、核燃りサイクルにかける予算など、無駄な予算を回せばいいのです。） とにかく、人間として、後世に放射能を残すことを恥だと知って下さい。動物ではもう奇形が出始めています。 どうしても利権を貪りたい人がいるなら、廃炉ビジネスで貪って下さい。 このまま原子力にしがみついていたら、学ばない国だとバカにされるだけです。 石油を作る藻やメタンハイドレート、原子力に依らない揚力発電など、新しいエネルギー開発で技術と雇用を生むことが、経済を活性化させ、真に国民の生活を守ることになると思います。
56088	個人	自営業	40代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。	フクシマによって，政府が押し進めてきた原子力政策が、夢物語であることが実証されました。 第1に今回の事故について：大都市が電力を得るのに、過疎地に危険を押し付けて「大丈夫だ安心しろ」と言ってきた責任はどう取るのでしょうか。未だにフクシマの方々は，放射能被爆の危険にさらされ、放射能によって失われた土地には人が帰ることができません。世界最悪の事故はまだ終わっていないのです。フクシマ4号機では、使用済み燃料を取り出す方法さえわからない。 政府はまだ国民が充分納得できる回答を出せないまま，方法を模索している最中です。ようやく国会事故調は，7月05日に事故原因は『「自然災害」ではなく明らかに『人災』である」と断定した報告書を公表しました。当然、人災ならば、当然責任追及されるべき人がいる筈ですが、未だにどこに責任の所在があるのか不透明な状態です。もしこれからも原子力を使うようならば，これらのすべての問題点をすべてクリアーにしてから、初めて、議論の土俵に立つべきであり、それが出来ない限りその資格もない筈です。 第2に原発そのものについて：「原発がコストが安い」というのが，立命館大学の大島堅一教授によって誤りであると発表されています。教授は、有価証券報告書から発電にかかった経費を電源別に選び，総発電量を割り出し、そこにほぼ原発に使われていると言われる政府からの財政支出4000億円、電気料金に密かに上乗せされているバックエンド事業に関する費用18.8兆円を加えて新たに試算しました。その結果、水力が一番安く3.98円/kWh、火力は9.9円/kWh、原子力は一番高くて10.68円/kWh、そこに出力調整が出来ない原子力発電を補うためにつくられた揚水発電の費用を加えると12.23円/kWhにもなってしまいます。すなわち、原子力が一番高い発電方法なのです。 原材料となるウランは、利用できるエネルギー量総計算で石油の数分の１、石炭の数十分の１で、何の未来もない貧弱な資源であるばかりか、燃料棒として使える状態にするのに大量の化石燃料を必要とします。よって大量のCO2も排出します。 原子炉を作動させた時も、出した熱の1/3しか発電に利用されず、残りの2/3を捨てて海を温めるという「ロス」を考えると、現在推進されているエコという観点からはまったく外れていると言わざるを得ません。 また、トイレのないマンションと言われるように、使用済み燃料の処理方法はまったく確立されていません。これからでて来る大量の放射性物質を何万年という単位で管理できる保証があるのでしょうか？保証できないかぎり、その行為は明らかに「投棄」であります。産業廃棄物を富士山麓に不法投棄する悪徳業者が罰せられるのに、何故、毒性の強い放射性物質を数万年にわたって「投棄」する国家が罰せられないのでしょうか？ 東洋大学教授、渡辺満久氏は、活断層という視点で問題がないのは『玄海』だけだと仰っています。活断層の上には原発を作ってはならないというのに，なぜ作ってしまったのか，当時は発見する技術がなかったのかという質問に対し，渡辺満久氏はきっぱりと「いや，そうではないです。わたしは意図的に見逃したと思っています」と述べています。御用学者によってねつ造された安全神話の上に原発は建っています。 1.2の理由で原子力に断固反対します。水力、火力を主力に、必要な電力は当面確保できます。日本が出遅れているエコの本道である再生可能エネルギーを政策にするべきです。政策による全世帯LED化、省エネ家電促進等，今すぐに出来ることは沢山あります。
56089	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ。もんじゅは廃炉。	原発が無くてはエネルギーが足りないなどというのは嘘。原爆被害と原発事故という2つを知っている日本だからこそ安全なエネルギー政策を取るべき。
56090	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発稼働率は0%を目指して行く方針を指示します。 原発は危険で不要、ということを前提に考えて行きたいと思っています。	原発稼働率は0%を目指して行く方針を指示します。 私殺としては今夏の大飯原発の稼働も不要と考えています。 福島での事故は全てを考え直すきっかけには十分な事故で、数字には表れない多くの人が被害にあっています。 原発ありきで対策を考えるのではなく、原発は危険で不要、ということを前提に考えて行きたいと思っています。 原発稼働ゼロでも電力供給は十分と考えますが、もし本当に電力が足りないことに対しての国民の不満が、原発反対を訴える民意を上回るとは思えません。 よろしくお願いいたします。
56091	個人	その他	30代	女性	【原発依存ゼロ】のシナリオを選びます。	わたしは【原発依存ゼロ】のシナリオを選びます。 でも、【2030年までに原発依存ゼロ】では、遅すぎます。 遅くとも5年から8年の間には依存度をゼロにして欲しいと考えます。 わたしは、そもそも人間は原発を完全にコントロールできるとは思っていません。 環境先進国のドイツでは、原子力による発電を過度的なシステムとして捉えていると言います。 その原因は、発電で必ず産出される核廃棄物の処理を管理できないと考えているからです。 地中奥深くうずめて放射能の影響を完封する方法があると言われていますが、やっと北欧のある一国でトンネルが掘られ始めた段階です。 例えそれが上手く行ったとしても、その場での核廃棄物の影響がなくなるのは100万年後と言われています。 そもそも原発の生みの親は原子爆弾であり、その開発時に地球環境を考慮していたとは想えません。 ドイツはいち早くこれらのことに気が付き、原発は一時的な発電方式と捉えたのでしょう。 一時、日本は太陽光発電で世界の先頭を走っていましたが、ある時から政府が促進のための援助を削減したため、ドイツその他の諸国に遅れをとることになりました。 これからの地球環境と、いつ起こるかも知れない原発事故から人類の命を守り、掛け替えのない地球に負担を掛けないようにするために、なるべく早く原発依存度をゼロにするのが正しい選択だと考えます。 5年から8年の間に掛けて、国は原発に替わる再生可能な自然エネルギーによる発電のために、多くの国民の努力も得ながら、アメリカと電力会社の圧力に屈することなく邁進することが必要だと考えます。 そのためにわたし達も努力を惜しみません。 不便なこともあるでしょう、豊かさを感じられないこともあるかも知れません、でも、この5年から8年の間の期間であれば耐えることができると信じています。再生可能エネルギーはある程度の大きさの地域をカバーするひとつの会社でなく、もっと小さな地域で平均した雇用を生み出しながら、地産地消に繋げることができると思います。 例えば50年後、人類が『あの時に国民の辛抱と政府の政策で、やってて良かった！』と振り返る姿が目に見えるようです。
56092	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発しか道はありません。	一回事故が発生しただけでもその処理は難航しています。また、広大な範囲が汚染され、健康や生命を脅かします。そのような原発の再稼動に私は断固反対です。 国や電力会社が隠蔽体質なのも原発の再稼動を狙っているからであって、きっぱりと原発から撤退して、どういう危険があるのか、電気は本当に足りないのか、正しい情報を皆に知らせたうえで新しいエネルギーを模索する時代に入るべきです。 そもそも原発が低コストというのも信用できません。立地自治体へ払うお金や安全神話を植え付けるための広告費、事故の際の賠償金など莫大な金がかかっています。原発を稼動させると一部の利権者が潤うだけで、低コストというのは違うのではないでしょうか。 また、使用済み核燃料の管理の問題もあります。長い年数本当に核燃料を安全に管理できるのか、とても現実的とは思えません。
56093	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	一日も早く脱原発、脱被曝を願います。 既存の原発も一日も早く廃炉にしてください。 地震や台風の多い日本で、人間の力でコントロールできない 原発をすすめるのはなぜでしょうか。 福島の事故が収束していないのに、再稼働はありえません。 未だに故郷への帰遠の目処が立っていない方が たくさんいらっしゃっても、決して忘れてはなりません。 生活や人生、故郷、生計手段を奪われた方への 十分な補償はされていない現状で、 原発をすすめるのは人の道に反するのではないでしょうか。 水力や風力、太陽、地熱発電など、原子力以外のエネルギー活用を ぜひすすめていただきたいと思います。
56094	個人	会社員・公務員	40代	女性	すぐに廃炉　原発0%	今後　だれが　放射能のゴミを処理するのか？今の若者にそれを押しつけるのか？　若者たちが責任を持って処理すると思うのか？ 今後　健康被害、知能低下が広まるのに。 定検などの　汚い　危険な仕事も　若者が引き継いでいくのだろうか？私はただできえ　責任感のない若者たちにそれができるとは思えない。 技術的にも同じだ。大学では原子力部門の専攻も少ないと聞く。技術継承も無理だ。私たち40代も情緒不安定なのに　さらに放射能によって神経をやられた若者に責任を持ってゴミのお守りをしろ　とは言えない。日本は滅亡するだろう。 すぐに廃炉にし、次世代のエネルギー開発に取り掛かり　いろんな企業がもうかり、雇用も増えるよう対策をとるべきだ。
56095	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は即刻廃止し、エネルギー転換を図るべき。 再生可能エネルギーを重視し、化石燃料の枯渇に備えるべき。	原発の廃止は、福島の収拾が付かないことからも明らかなように、数十年間は手がつけられない。 人の命も、これまで積み上げてきたことも、全て奪い去っていく原発は廃止する方向で考える必要がある。 電力の不足が問題視されるが、企業の電気料金体系を見直し、企業の節電を促す必要がある。 スマートグリッドの実現で、エネルギーの地産地消(地域社会での小規模発電及び蓄電)への方向転換が望ましい。 主力は再生可能エネルギーとし、技術力の海外流出に歯止めをかけ、国際競争力を養うべき。
56096	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを望みます。段階的になどと甘いことを言っていたらいつまでも脱原発できません。また私たちの世代で原発に終止符をうつべきです。判断を先送りして子供たちの世代に負の遺産を残すべきではない。	再稼働はしないでください。今回の事故のように誰も責任を負えないようなことがおこってしまってからでは遅いです。 政権がころころ変わるような政治に段階的に廃止するということを信用してお任せすることはできない。まずはいますぐやめることを決めるべき。
56097	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」 今すぐにでも脱原発を進めて欲しい。	・最初から再稼働ありきの政府のシナリオ通りに進めているのが見え見えで、国民はしらけ、呆れています。 ・自然エネルギーの推進をもっと進めるべきです。日本にその技術があるのは周知の事実。経済の発展にもつながるのではないでしょうか。 ・何故2030年なのか納得できません。明確に国民に説明すべきです。馬鹿にしているとしか思えません。 ・これだけ活断層の多い国で原発って無理が有り過ぎです。再稼働するにしてもちゃんと調査してからと言う事くらい、小学生でも分かること。だからデモにも多くの子供たちが参加しているのですよ。
56098	個人	無職	60代	女性	原発0シナリオを支持	原発事故対策の技術がなく生命や住むところを奪われることになっている現状から原発0シナリオを支持する
56099	個人	学生	20代	女性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56100	個人	家事専業	20代	女性	原発をすぐにゼロにするというのは、とてもとても無理なのかもしれません。 ですが、これからの未来を考えてゼロを目標にしていくことが先進国日本の責任ではないかと思います。	政府は国民をあまり理解出来ていないかとおもいます。 便利な世の中では、あまりにも同じような物が多く、そして捨てるものも多い。 都会の大多数の人が、そういう生活に飽きています。 飽きているんです。 それを求めていると誤解されているかもしれませんし、 もちろんそれを求めてる方々もいらっしゃるかと思います。 ですが、本当に明るい未来の事を思えば 今何かを捨てなくてはいけないのではないのでしょうか。 とても沢山の日本国民、日本在住外国人が望んでいる事です。 原発依存ゼロを目標にしていただければ、きっと今の国民もついてきてくれるんじゃないでしょうか。 よろしくお願いします。

56101	個人	その他	60代	男性	原発は即時停止。 ・原発を事故なく運転することは不可能である。 ・放射性廃棄物の安全な隔離は不可能である。 ・ドイツ倫理委員会報告を参照し、再生エネルギーの早急な促進を図ることを求める。	意見を述べる当人は技術士（機械部門）であり、機械安全のコンサルタントを職業としているものである。技術士法および技術士倫理綱領が技術士に求めている「公益確保の責務」に基づき以下の意見を述べる。 1. 原発を事故なく運転することは不可能 原発はプラントの一種である。過去に事故なく運転してきた機械類は存在しない。理由は明確である。技術は科学とは異なり、明確な原理のみに基づくのではなく、十分知られていない法則性をも活用し、まだ知られていない将来の環境を予測して設計を行うものであるからである。そのためどのような機械類も使用過程で「想定外」の事態に直面することとなる。技術の方法論は、トライアルアンドエラーであり、ゆえにエラーのない機械類は存在しない。 原発も機械類の一つであり、原発を運転することは、かならず次の事故を招くこととなる。 しかも現在の原発技術は、このような高尚な議論をするに値しない程度の低い技術レベルに留まっているのが実情である。例えば、多重系安全技術が意味を持つには相互が独立でなければならないことは制御安全の教科書のイロハである。しかしながら、現在の原発の多重系といわれているものの多くは相互独立とはとても言えないものばかりである。今回の福島事故はこのことを明らかにしている。これを放置しての再稼働は、再稼働という行為そのものが犯罪である。 2. 放射性廃棄物の安全な隔離は不可能 これは多言を要しない。まじめに科学を尊重するというのであれば、10万年後にも隔離されていることをどのように論証できるのかを問いたい。それどころか、現在地層処分場として深く地層を掘り進んだ結果、地下水が湧き出して充満してしまった事例が現にあることをどのように評価するのか。地層処分によって10万年先まで隔離できるなどとは科学を騙る行為である。 3. ドイツ倫理委員会報告に則った再生可能エネルギーへの転換 ドイツメルケル首相は昨年5月、表記委員会を組織して、10年以内の原発全廃を国の方針としてまめた。日本国はドイツとは異なりすでに現に甚大な災害を起こし、深刻な被害を国の内外に生ぜしめている。ドイツよりも遙かに重大な倫理的責任を負っていることを自覚しなければならない。 幸いわが国の発電容量は原発に頼らずとも必要をまかなえる発電能力を保有している。ゆえに、当面は火力を主体とする発電を行い、同時に早急に再生可能エネルギーによる発電に切り換えていくこと、これがわが国がとるべき唯一の方向である。 （以上）
56102	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオで即時0パーセントを希望します	原発ゼロシナリオで即時0パーセントを希望します
56103	個人	学生	20代	女性	0% 即時 再稼働のものも停止	私は故郷が汚され家族ばらばらです。電気は関西電力の発表が嘘だったようにたりています。今福島第一4号機や3号機でめちゃくちゃな工事をしていますが、実質国営なのだから国がきちんと事故の始末をしてください。お願いします
56104	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオ	現時点での再稼働は断固反対。即時廃炉を強く求めます。
56105	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。再稼働反対です。即時廃炉へ一歩ずつ動きだしてゆきましょう。	原発ゼロシナリオ。支持します。 まだ今後放射能の影響がどうなるかわからないから。大丈夫だろう。という、 意図が垣間見え。毎日不安がたくさんあります。 よく考えたら、国からのコメントや。官僚や東電からのコメントも、 少しずつ矛盾があると思います。 もはや私たちは誰しもが、世界中から情報を得ることができます。 だからごまかすことなく。国民には理解できないだろうと、省略することなく、すべてを知らせて欲しい。 関東でもなんだか体調が悪いという知り合いもおります。 どうか。廃炉に向けて、日本を生き延びさせてください。 原発は、いらない。ゼロシナリオを支持します。
56106	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオに賛成します。	東日本大震災によって福島第1原発事故がおきました。政府は、原発の安全を主張してきたにもかかわらず、地域住民は避難を余儀なくされました。ふるさとを奪われた人々。原発さえなければそんなことにはならなかったはずなのにと思いました。電力不足は、本当に解消されないのでしょうか。もっと私たちの知恵を出し合えば原発のない社会は可能ないのではないでしょうか。今ある原発を廃炉にするには、多額の税金と時間が必要になります。これよりももう人々が安全に暮らせる方がいいと思います。雇用の問題も、もし、再生可能エネルギーの比率が上がれば、自ずと雇用は、生まれると思います。政府がもっと積極的になればできるのではないでしょうか。原発のない社会が理想であり、実現しなければならない社会だと考えます。
56107	個人	家事専業	30代	女性	原発への依存度を0%に。	被曝を伴う労働なんておかしいと思います。 核廃棄物を未来の世代へ残してしまうのはイヤです。
56108	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。 なお、シナリオには2030年とありますが、私は原発は一刻も早く廃炉にし、自然エネルギー100%シナリオを描ける有能な人材の結成も必須だ と思います。	理由：(1)ウランは持続不可能な希少資源である。 ウランの寿命は一番厳しい評価をしている専門家で15年、 日本国内の電気事業界で70年、平均的な予測では30年程度で ある。ピークオイルならぬオークウウランは間近に迫っており、今 現在すでにアメリカとロシアは核兵器用に最低限必要なウランは 確保しながらも、核兵器用の備蓄から発電用に回しているという。 持続不可能な資源は2030年というシナリオを待つまでに、枯渇する 可能性があり、即刻ウラン幻想から脱却するべきである。 (2)ウラン資源の上流で先住民族の土地を奪い、環境を破壊しながら 被曝させており倫理的、人道的、社会的に非常に問題である。 (3)放射性物質の人体、および生態系に及ぼす影響が甚大であることは チェルノブイリ、フクシマでの事故からすでに顕著である。 (4)原子力発電は事故がなくても、放射性物質を放出し、またその処理 方法が確立されておらず、日本国内だけでも広島原爆型の120発 分のゴミが存在する。さらにそのゴミをモンゴルや他国の土地に 捨てようと国は画策してきたがこれは犯罪行為である。 (5)原子力発電は海を温め、近海生物や台風の上陸など気象にも影響 がある。 (6)原子力発電の現場で働く労働者の非人道的被曝、労働は倫理的に 問題である。原発ジプシーといわれる人々の人権、労働環境に対 する保証は今日まで無視されている。 (7)フクシマは収束していない。 (8)1000年に一度の地震、活動期が今現在進行中。東日本大震災以降 に発生しているマグネチュード6クラスの地震は100回を超え、 原子力発電所への過酷事故の可能性が高い。 (9)電力業界ならびに政界の事故に対する責任が全く果たされておらず 責任を国民の税金に転嫁するなど犯罪行為が続けられている。 国民の意思を聞くことなしに意思決定をし、また地元や反対運動を 踏みにじっているにも関わらず、その責任をとらないというのは 犯罪行為であり、まずその責任を果たさない者が事業を継続させ ようとしたり、政策のリーダーとなること自体、言語道断である。 (10)核燃料サイクル、もんじゅは1kWも発電しておらず、技術的にも 世界は撤退している。無駄で危険な技術の幻想から撤退し、 1兆円を自然エネルギーに投入すれば技術を促進し、雇用を創出、 安全でクリーンなエネルギーに転換できる。 (11)エネルギー転換は世界中ですでに実施されており、自然エネルギー への政策転換で成功している例は数多くある。日本の自然エネル ギー技術も高く、地熱や太陽光、水力、風力と各地方の自然に 根ざした自然エネルギーを設計することが賢明である。 (12)日本のエネルギー政策は日本国内のみの問題ではない。フクシマ に至っては今現在も放射能を放出し、地球全体を汚染しつづけ、 他国に甚大な被害を及ぼしている。世界に対する謝罪とこれまでの 過ちを反省すること、政策転換こそが先決なのではないだろうか？ 以上
56109	個人	その他	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年ゼロシナリオ、だけでなく即刻全原発廃炉を希望 「想定できない事態」が起きることを想定し、 原発の即時善停止を求めます。	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年ゼロシナリオ、だけでなく即刻全原発廃炉を希望 「想定できない事態」が起きることを想定し、 安全性の確保できない原発の即時善停止を求めます。 他の発電方法でも同じことは考えられますが、 放射能汚染は他の発電方法以上に人体、環境破壊が被害が甚大です。 福島第一原発はまだ放射性物質を放出しています。 「管理」できないものには手をつけるべきではありません。 福島第一原発から放出された放射性物質については 全原発が停止したとしても、解決せずに続く問題です。 そのことに関しても対策も補償もできないことも明らかです。
56110	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロ%希望します。	福島の事故が国民や世界に取り返しのつかない悪影響を与えた。原発はなるべく早くすべて廃炉にしてほしい。 再処理施設も必要なし。 地震や津波で事故がおきたら、コントロールできないから。
56111	個人	会社員・公務員	40代	男性	電力のために本当は必要ない原発を、見えすいたもっともらしい理由をつけて一部の権力者のために原発を利用するのは即刻やめろ！ 福島の結果をしらないのか！ テロリストどもめ死ね！	ガス抜きでコメントさせても実際には反映知っている。
56112	個人	会社員・公務員	40代	男性	即時脱原発	以下の理由です。 一、福島原発事故が収束していない。つまり、原発事故をコントロールする術が確立されていない。 二、上記事故を通じて、国、監督官庁、電力会社、マスコミが真実を伝えず、結果的に国民を欺いているから。 三、そもそも日本は地震国であり、原発に依存するには 適していない。 四、原発が無くても、自然エネルギーなどで十分代替出来る。 現在の発電量、発電コスト等の問題は確かにハードルが高いが、そこをクリアするからこそ国際競争に打ち勝てる。 五、原発を導入した自民党政治は、結局は利益誘導型、アメリカ・フランス従属型の政治であったことは明白。 六、最後に。この日本に人が住めないエリアが出来たことに対して、誰も責任を取っていない。国民をバカにしないで欲しい。本当に日本の将来を熟考した結論を出して欲しい。
56113	個人	学生	10代以下	男性	シナリオ0% 原発0% 即停止でお願いいたします	福島原発事故で家族はばらばらになりました。 こんなもの要りません。

56114	個人	会社員・公務員	40代	男性	今すぐ、原発はゼロにして欲しいと思っております。	人間には扱ってよいものとそうでないものがあると思います。誰も放射性物質を完全にコントロールする事はできないし、自然界の脅威にも敵わないと私は考えておりますので、原発がこの世から無くなる事を切に願います。 原発については国民投票で決めるのが、国として自然な流れではないでしょうか？一部の権力のある方々で決めるのは国民を愚弄する行為だと思います。原発を推進する人や受け入れる地域の方々には自分や家族の命を投げ出す覚悟があるのでしょうか？もし、このままこの国に原発があり続けるのなら、せめて、原発に反対していない人に対しては事故が起きた際に自己責任で全てを処理して頂きたいと思います。原発を受け入れる行為は自分の命を差し出す事と同じです。今この国に欠けているのは自己責任と羞恥心だと思います。 自己責任と羞恥心を知っている人間は目先の利益よりも将来を考えて頑張っております。自己責任と羞恥心は本来、日本人の持ち味ではないでしょうか？目先の利益の為に危険度が高く、コントロールできない原発を推進する事に対しては断固反対です。目先の利益を優先した組織や人間は滅びるのが自然界の鉄則です。今のままなら、海外に移住しようと考える国民が増えて益々、弱い国になると思います。
56115	個人	会社員・公務員	30代	女性	エネルギー、環境に関する選択肢について	わたしは、原発ゼロシナリオしかありません。 このゼロシナリオにすることで雇用の問題などあげられているようですが、自然エネルギーにシフトいくことでも雇用は必要となる意見も聞きます。原発の処理、福島のことも何の解決方法も見つかっていない状況でこれ以上原発を稼動してくのはおかしなことだと思います。そして一つの送電網にしていくことで自然エネルギーは拡大していきます。 環境のことで意見を述べると温室効果ガス排出量について。日本は世界に向けて2020年までに25%の削減を約束していました。 このままだと約束ははたせないと思います。 日本が持つ技術はとてもすばらしく、アイスランドでも日本の会社が開発した機械で地熱発電が進められています。なぜ日本は自国でももっとこの技術を活かさないのでしょうか？処理の方法に困るような、遠い未来にも残ってしまうようなものに頼ってしまうのでしょうか？脱原発と温暖化防止は両立出来るとWWFは述べています。 http://www.wwf.or.jp/activities/2011/11/1027418.html 福島の事故は、日本だけに影響を与えたのではなく世界中に大きな影響を与えました。これ以上、世界に迷惑をかけるようなことはできません。未来に生きる大切な子どもたちのためにも、原発ゼロにして温暖化防止にも力を入れていっていただいたいです。
56116	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発反対	原発を設置、稼働するにあたり環境及び動物、人々の生活に与えるリスクが大き過ぎる為です。 国民の生活を守るために、原発を必要としない社会が必要だと考えます。
56117	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ	リスクが大きすぎる
56118	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	東日本大震災による原発事故で、想像を絶する被害を目の当たりにし、誰もコントロールできず生活に甚大な悪影響を及ぼす代物は、絶対に持つべきでないと確信しました。 人間の健全な生活あっての電力なのだから、一時期多少不便になっても、安全な代替発電を整備していくべきです。 よって私は「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。
56119	個人	家事専業	40代	女性	原子力発電による電気エネルギーの生産は直ちに停止し、それ以外の代替エネルギーの開発を望みます。	福島第一原子力発電所の事故は日本のみならず世界中に衝撃を与える事故でした。福島県民は慣れない土地でいつまで続くわかからない避難生活を続けておられます。たぶんこの先二度と自分の家に帰れない方々もいることでしょう。 私の住む茨城も放射性物質が大量に降り注ぎ、全ての産業が実質的な、または風評的な害を被っています。関東に住んでいた複数の友は、健康被害を恐れて、汚染されていない西日本に引っ越して行きました。引っ越し先でも食物に気を付けて、健康診断を受け続ける生活です。 たった一度の事故で、生活全てが一変しました。しかも福島原発は収束の目処すらたっておらず、何十年、何百年とあそこから放射能を出し続けて行く訳です。 こんな恐ろしい事態を招く危険な原子力を今後も使い続ける選択肢などある筈がありません。使用済み燃料の処分の問題もありますし、私は原子力をいかなるものにも用いることには断固として反対です。 広島、長崎、そして福島を経験した日本人は、確固として原子力を捨てるべきだと考えます。
56120	個人	自営業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。が、このパブリックコメントの設問にはそもそも問題があると思います。わたしが本当に求めているのは、2030年のゼロシナリオではなく、2012年、今すぐのゼロシナリオなのです。	日本は地震の活動期に突入しています。いつ、何時、巨大地震がまた日本を襲うかわかりません。日本には巨大地震に耐えうるだけの耐震性を備えた原発などひとつもありません。津波が来なくても、地震の直撃で原子炉や配管が壊れる可能性は非常に高いのです。福島のような事故がまた起こる可能性は十分にあります。福島はたまたま太平洋に面した海岸沿いにあり、風で放射能が国外に流れたせいで助かっている部分があります。他の原発で事故が起きたら、日本の広大な地域に人が住めなくなってしまう可能性が高いのです。2030年まで待ってなんかいられません。即時廃炉を求めます。
56121	個人	自営業	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。効率の良いガスタービン発電機を増やし、地域分散型のエネルギー供給を推進して下さい！
56122	個人	自営業	40代	女性	今回あげられている3つの中では原発ゼロシナリオを支持します。しかし、この三つの案ではどれも地球温暖化対策が不十分です。原発はゼロにしつつCO2排出も抑える方向を希望します。	原発は通常運転の状態でも運営・清掃業者の被曝、排水による周辺の海水温度上昇などの環境破壊が避けられず、また核廃棄物の問題も解決のめどが未だ立っていません。 必ず出る核廃棄物を一万年以上も安全に管理することは相当に難しく、また、ひとたび事故がおこれば今回の福島のような深刻な事態になり、数多くの不幸が生まれます。トータルでのリスク・コスト的にも他の発電方法の比ではなく甚大なものだと思います。 日本の国土、国民、次世代の為にも、安全で再生可能な自然エネルギーなどへシフトしていくべきと思います。 今回あげられている3つのシナリオの中では、原発ゼロシナリオを選ばざるを得ませんが、この三つの案ではどれも地球温暖化対策が不十分です。原発はゼロにしつつCO2排出も抑える方向を希望します。 再生可能な自然エネルギーの研究に力を注いで下さい。 目先の利益の為に、日本とその未来を滅ぼさないで下さい。どうぞよろしくお願いいたします。
56123	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発はいらない。一部の人が儲かればいいの？人の命を最優先に。	放射能汚染は目に見えないが、着実に、私たちを触んでいく。何十年後のことかもしれないが、だからこそ、これ以上犠牲者を出してはいけない。 ノーモア福島。
56124	個人	その他	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」の支持。即刻の全原発廃炉、自然エネ等に対しての全面シフト、経済界の利益から離れた、国が本来守るべき国民の生命を守観点からのビジョンを示し未来を構築して欲しい。	「原発ゼロシナリオ」を支持します。 原発をめぐる核のゴミ問題ひとつとっても、再利用などいいながらまったく処理についての解決策が 現実性を持っていない以上、その点においてだけでも他の選択はあり得ないと感じます。 また、東京電力福島第一原発の事故後の様々な事象に対しての政府、議者、電力会社等の対応を見る限り 多くの現実の被害や危険性に目を向けていないように感じ、このような状況で中長期的な脱原発依存 などという選択は国民の生命よりも経済性を優先させる選択ではないかと感じます。 地震国である日本での原発の発電がどれほど危険を伴う綱渡りの状況（既に破綻していると感じますが） であるにも関わらず、所謂安全神話を未だに支持する姿勢にもそれが色濃く反映されていると感じます。 また示された概要を見ても、発送電分離等についての記載がないなど、色々と粗が目立つ内容で どの程度政府が本気で（それこそ他の選択肢についても）取り組もうとしているのか、が全く見えてこず また電力不足といいながら実は割り増して電力不足を言いながら大飯原発の再稼動を強行する 姿勢などを支持する政府の姿勢には、国民全体の生命を守る、という観点が経済界の利益を守る、 ということとイコールになっているような（もしくはすり替えているような）印象を受けます。 そのような現状では「原発ゼロシナリオ」しか選択肢がないと思われます。 全原発の即刻廃炉、自然エネルギーへの全面的な推進、発送電完全分離による電力自由化、 効率的節電の普及、世界に対しての日本の輝けるビジョンの発信、以上のことを提言致します。
56125	個人	家事専業	50代	女性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	原発安全神話は崩壊した！ 子供たちを守りたい！ 電気は足りる。省エネに力を入れれば簡単。
56126	個人	会社員・公務員	30代	女性	今こそ原発ゼロ！	原発はたくさんの問題がありすぎると考えます。一言だけいうとすれば、今の安易な豊かさのために、子ども、孫、その先の未来の家族運に負の遺産を押し付けてはダメだと思います。どうか、未来の家族に恥じることのない判断を。
56127	個人	自営業	40代	女性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56128	個人	自営業	30代	女性	原発0%シナリオ、即時停止を希望します。	2児の母親です。3.11の原発事故以来、子供の内部被曝への心配が、まずあります。そして汚染された土地と、そこに暮らす人々を思うとやり切れない気持ちになります。 電力が必要不可欠な日本で生活をしながらも、そのような命のリスク、将来にわたるマイナスを考えると、原発に依存しない社会を実現することが、これからの日本にとって必要だと思います。 経済的発展が、必ずしも個人の幸せとイコールではないことを、私たちは知りました。 どうか本当の意味で、安全でクリーンなエネルギー政策に早急にシフトしてください。
56129	個人	自営業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で0%を希望すると共に、再生可能エネルギーの開発を国策として推進する事を求めます。	放射性廃棄物の処理方法が確立されていないのに、原発を稼働させていくことは次世代に負の遺産を作っていくことになります。これ以上、核廃棄物を増やす事をやめ、地球への影響が少ない再生可能エネルギーの開発に力を注いでいくことが、今我々ができる次世代への償いであり、軌道修正の時期なのだと思います。
56130	個人	会社員・公務員	40代	男性	早期の脱原発を望みます。原発事故の原因、責任も明確にしないままの再稼動には怒りを覚えます。すでに脱原発を決めた欧州の国も示しているように、適切な安全対策を行えば原発の発電コストの優位性もなくなります。	いまひとたび日本で事故が起きた場合、日本は本当に破滅します。事故が引き起こす想像を絶する経済的、人的損失と今現在の経済コストを比較する神経がわかりません。今、廃炉したところで、膨大な放射性廃棄物が残されることに 変わりはありませんが、これまで推進のためにつぎ込んできた膨大な資金をまわして廃炉に向けた研究を始めてほしい。今、暑い夏ですが、むりやり政府が稼動させた2基の原子炉を除いて日本では原発は稼動していませんが、誰も困っていません。発電会社がつぶれるというなら、国有化して税金を投入してでもかまいません。目先の金のためにツケを子孫にまわすのはやめましょう。誰かが消費税上げる時に言っていましたよね？　引き返すならば勇気を持って、今です。
56131	個人	無職	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。 原発は危険だからです。
56132	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを推します。そしてすべての原発を廃炉にしてください。	フクシマを繰り返してはいけません。子供たちの未来のため、これ以上の汚染は許されません。
56133	個人	法人等	20代	男性	シナリオ1の0%を目指すべきと考えます。古い原発は廃炉にし、その他の物も稼働せず徐々に廃炉にしていくことが取るべき道と考えます。	上記の考えに至った理由は、原発の被害は広範囲にわたり、予測できず、予防、治療も難しいためです。人間が把握しきれない被害を及ぼすものを発電方法として選択するべきでないと考えます。 特に発電所は都心の近くにはなく、地方の方々に事故時の負担、被害をかけることになります。その様な不平等な関係を私は望んではいません。自分の使うエネルギーは自分達の責任のもとに管理されるべきと考えます。
56134	個人	無職	50代	女性	エネルギーは愚かな人類がその浅知恵で開発した核エネルギーでは、破壊にしか向かわないため、即刻原子力の平和利用という欺瞞に満ちた政策をやめること。	私たち日本人は環境保全と言うことにかけては、戦前まで世界に類を見ない知恵を持っていました。入山権とか大型野生動物との共存とか、さまざまな知恵を持っていたのにもかかわらず、その知恵を戦後の高度経済成長の中で見事にかなぐり捨て、経済成長という名の化け物のような環境破壊をしてしまいました。美しかった田んぼや畑は農薬汚染地帯となり、魚や海草の宝庫であった日本近海も今では様々な重金属や昨年以降は放射能のダダ漏れにより各国から輸出停止という対応さえされつつあります。にもかかわらず、日本政府はこのあまりの環境破壊にまったく気づこうとしていないかのように、命への破壊へと向かっているのであります。 今すぐに求めたいこととしてニつあげます。限界集落を開放し福島の子どもや親たちを避難させ、放射能汚染で大変なところにはもう100年は人は住めないようにすること。1ミリシーベルトの国際基準を20ミリシーベルトにしたことを、今すぐに撤回し、その国際基準にしたがって避難地帯を決め直すこと。政府が人命尊重の立場に必死である事を、日本国民に示してください。 私は日本に生まれた者として、そして福島県出身である者としての誇りや、そして命さえ傷つけられる自体に直面し、余りの怒りと憤りに震えが止まりません。私たち人間の身体という最初で最高の環境を破壊する、ありとあらゆる化学物質、特に放射能に対してあまりにも軽薄な政策を今すぐにでもやめること。それを乗り切るために、無限の欲望を正当化するような持続可能な成長や開発という浅はかな用語の仕様を取りやめ、新しいエネルギーへのシフト以上に大切なことを実践すべきです。それは、富裕社層からの税金をきちんと取り、全ての人が肉食ではない食事形態をとることです。そうすることによって、個々人の身体という環境と地球の自然環境とを同時に守ることができるのです。江戸時代まで日本人は肉食をしていなかったので西洋人ほどには犬歯は発達せず、米をかみ砕くための奥歯が発達していました。日本人にとっては肉と砂糖を取ることで健康を破壊してきた明治以降でした。特に戦後の食事は日本人の体と自然環境をむちゃくちゃにしました。 世界各国の人々の知恵をあつめて、無限の欲望ではなく人々同士の助け合いによって、この地球環境を全面的に破壊し尽くすのか、それとも、次の世代、次の次の世代、そして未来の全ての生き物のために少しでも自然環境を守り抜けるのか、重大な岐路に立たされています。日本の人達の賢さと優しさが世界を救えるかどうかのターニングポイントでもあります。 今すぐ行動してください。未来の子ども達が私たちを感謝するか、それとも、憎悪し続けるか、私たちの選択にかかっているのです。
56135	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電所をゼロにしてください。いますぐにお願いします。	命より大切なものがあるでしょうか？

56136	個人	会社員・公務員	20代	男性	ゼロシナリオを支持します。一刻も早い原子力からの脱却が必要です。	福島第一原発事故は、原子力と私たち人類が共存できないということを、改めて示しました。原発は、確かに一基の原子炉から、大量の電気を生み出すことができます。しかし、核分裂反応によるエネルギーのごく一部のみを電力として利用し、また、一箇所で集中的に電気をつくるため、消費地への送電の過程で大部分が失われる、非常にロスの多い発電方法です。 ロスだけでなく、ひとたび事故を起こせば、広範な地域と長期にわたるその被害の甚大さ、深刻さは、計り知れません。 「たかが」電気のために、私たち日本の大切な国土と、私たちの未来そのものである、子どもたちを危険に晒す権利を、今の時代を生きる私達の世代が有しているとは思えません。 毎週金曜日、首相官邸前には、数万～10万人規模の国民が集まる状況がつづいています。特定の政治団体や労働組合とは無関係に集まる人々は、みんなそれぞれ違った背景を持っています。 しかし、みな共有しているのは、原発はもうやめたい、二度と放射能汚染を起こしてはならない、私たちの何よりの財産である、土地と人々を守りたい、ということです。このパブリックコメントは日本政府により実施されていますので、あえて言います。 国家にとって、一番大切なものとは何でしょうか？ それは、国土と国民ではないでしょうか。 そのいずれかが損なわれたとき、国家としての必要要件は、根底から危機に晒されます。福島の事故は、すでに半永久的に人々が暮らすことが困難なほどに汚染された地域を作り出してしまいました。 地震の活動期に入ったこの国で、原発を稼働し続けるということは、今後もそうした地域を作り出すことを、リスクとして想定しておくということを意味します。もう「想定外」は許されないのです。 今後もしそのような惨事が繰り返された時、いくら電力会社と政府が「想定外」と言ったところで、全く通用せず、意味をなしません。 多くの国民は、すでに想定しているのです。 同じような、そしてさらに悲惨な結果を繰り返してはなりません。 未来の教科書に、私たちの世代を「原始力から脱却した世代」と書き込みましょう。 いまならまだ間に合うのですから。 今すぐに原子力からの脱却へと政策転換をはかったとしても、今後、数万年のあいだにわたり、放射性廃棄物を、安全に管理し続けなければなりません。 電力会社と政府は、原発をいかに稼働し電気を得るかではなく、いかに廃炉にし、すでに生み出してしまった危険な物質をいかに管理していくか、つまり、「廃炉・管理」ビジネスへと舵を切らなければなりません。 いうまでもなく、再生可能エネルギー産業は今後大きな市場になります。それと同時に、原発の廃炉と放射性廃棄物の長期貯蔵・管理分野もまたビジネスになるはずです。脱原子力によって経済が停滞することはないのではないでしょうか。 2030年というのも先送り、過ぎだと考えますが、とにかく今から、原子力によらない社会の確立へ向け、本気の取り組みを加速させてください。 多くの国民は、政府にそのことを求めていると確信しています。 広島、長崎、ビキニ、福島でのヒバクを経験した私たち日本がどのような未来を選択するのか、いま、世界中が注目しています。
56137	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0%を支持します。想定される設定を厳しく見積もっても、万が一事故が起きたとき に起こる損害が「未知数」であるということが理由です。国の役割は、最悪な状況を避けるようにマネージすることだと考えます。	原発シナリオ0%を支持します。 事故となる要因をどんなに想定し厳しく見積もって対策しても、事故の可能性が「0%」になるということは、有り得ないと考えています。 もちろん、どんな対象でも事故を「0%」にすることは、できませんが 原発事故の場合は、被害の大きさが未知数のため、万が一、事故が起きた場合事故の収拾などできないのでは、ないでしょうか。現にチェルノブイリの現状を考えればわかります。 やはり、原発事故の場合は、他の重大事故とは違うものだと思います。いろいろなパラメータ持ち視野広げるべき対象だと考えます。 原発シナリオ0%に反対する意見として、原発事業を止めると経済や雇用が停滞するという意見がありますが、そのような意見が正しいとしても、経済面は、社会の一面に過ぎず経済的に停滞するということで、事故が起きたら「どうなるかわからない」というような「0%」以外の選択肢を選ぶ理由にはならないと考えます。 現在では、幸いにも太陽光発電や、地熱発電、スマートグリットシステムなど選択肢があります。そのような発電システムを原発に置きかえることは、原発事故を限りなく0%にするより、合理的な選択であると考えます。 以上の理由から「原発シナリオ0%」を支持します。
56138	個人	自営業	50代	男性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56139	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー問題をパブリックコメントで決めることは間違っています。 パブリックコメントではなく、有識者ではなく、体験者(現場の者)の意見により決定すべきです。	火力、原子力、再生可能エネルギー等、本当にその実情を体験している人は少ないです。 知識と体験は全く別。体験してこそ初めてそのエネルギーの利点や欠点が理解できるからです。 体験している人の意見ほど強いものは無いと考えます。 パブリックコメントではなく、有識者ではなく、体験者により決定すべきです。
56140	個人	自営業	60代	男性	福島原子力発電所及び日本の原子力発電所について早急な再生エネルギーの活用。	昨年の東日本大震災で福島原子力発電所事故で日本は多大なる被害をだしました。 1番の影響はいまでもある放射能。 それでも対応が悪く今でも苦しんでおられる方が山ほどおられますね。 そんな方々の為にも一刻も早く原子力発電所に変わる対応して頂きたいです。原子力発電所が無くっても今ある水力火力風力発電で賄える事は先日の全ての原子力発電を止めた事で実証づみです。賄える間に再生エネルギーを考えましょう！
56141	個人	自営業	20代	女性	しいていうならゼロシナリオに賛成です。	この3つのシナリオから選ぶなら、私はゼロシナリオに賛成です。何故なら、事故を起こした福島原発はアメリカから輸入したものであるにも関わらず、そのアメリカの安全基準を全く満たしていなかったからです。その上、日本の原発は浜岡のように地震大国でありながら、地震が起こることを考慮しているとは思えない場所にあります。そのような安全とは全く言えないものを使うことに、賛同など出来るはずがありません。使うのなら安全だと全国民が納得出来る基準にしてからにして下さい。それが出来ないのなら自然エネルギーへの移行に真剣に取り組むべきだと思います。安全基準を満たさないまま事故を起こして、それに対処出来る技術が日本にあるのなら、自然エネルギーに移行することだって努力すれば可能なはずです。そのために節電しろというなら多くの国民は協力するはずです。ただ原発を無くす、もしくは減らすにしても、色々選択肢はあるはずです。しかし現状ではそれを議論する場すら与えられいないように思います。まずは原発を減らすことを前提に、国民の意見を踏まえてもっと色々な議論を出来るようにして欲しいです。
56142	個人	会社員・公務員	50代	女性	0%です！	原発は核のゴミを生産もする負のエネルギーです。 この狭い国土をこれ以上汚してほしくありません。 私は青森出身でもありますから青森に押し付けるのも止めていただきたい。 何よりの理由は福島の収束もできていない、地震の多い狭い国土に 多くの原発、それも古いものが多い。。。 第二の福島が起きれば日本は終わりです。 いまの原発も見直して下さい。 第二の事故はまた起こります！ 日本だけの問題ではなく世界を汚染し続けている今、もう原発依存は 止めましょう。そして早く石棺をして福一を封じ込めて下さい。 東電は未だに高給取りの公務員待遇です。 JALのようにもっとコストカットしないのはなぜですか？ トップの発言にもいつもガッカリさせられています。 ドイツを見習い意識改革からはじめてください。
56143	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロに向かうのが日本の使命だと思います。	ふたつの原爆を受けながらも、なお原発を生産稼働(さらに他国に売る)するのは絶対におかしい。世界に原子力の恐ろしさを発信し、原子力を無くして行くべきである。電気が足りなくて不便が生まれるなら我慢もしましょう。
56144	個人	その他	30代	女性	原発0シナリオを選びます。	原発0シナリオを選択します。 2030年ではなく、今からすべての廃炉に向かっていただきたいです。 世界がどう思っているのかよく見て欲しい。 日本をこれ以上情けない国にして欲しくない。 帰れない祖国にしないでください。 よろしくお願いします。
56145	個人	会社員・公務員	40代	男性	福島の廃炉作業だけでも作業員が不足している状況では、原発を稼働することは不可能です。電力会社は原発が不良債権となって債務超過に陥るのを恐れているため、これには特別措置法で対応すべきです。	今あげられている選択肢では、減るとはいえ原発の存続が前提となっています。しかしながら、現在の福島の廃炉作業だけでも作業員が全く不足している状況です。 この状況では他の原発を稼働する要員を確保することは不可能です。被曝線量に余裕があり、技能を持った作業員は福島の廃炉作業のための貴重な要員として温存し、廃炉作業に集中投入すべきであって、他の原発を稼働するのにまわすべきではありません。福島の収束と廃炉に失敗すれば、日本は世界中から日本は見捨てられることになるでしょう。 原発は目先の燃料費が安いためにコスト安であるため、電力会社は再稼働をしたいようですが、事故のリスクは500炉年に1回と算定されています。10基稼働させれば50年に1回事故が発生するのです。その賠償費用、廃炉費用、廃棄物の処理費用、さらには原発立地にあたって地元へ支払われる様々な交付金、原子力関連の研究開発に投入される税金を全て積み上げれば決してコスト安ではありません。 電力会社にとってはこのまま原発が廃炉になれば、原発が巨額の不良債権と化し債務超過に陥るという目先のことを恐れて、長期的な見方ができていません。これについては、国が原子力政策を推進してきた責任を踏まえ、国が原発を買い取る、あるいは債務超過とみなさず、長期レンジで返済していける手法を講じるなどの特別措置法にて対応すべきです。 そうはいっても、当面のピーク電力対応でやむなく稼働するのであれば、今回の事故で一つのサイトで複数の原子炉が連鎖的に事故を起こすと、対応が困難であることが明白になったのですから、一つのサイトでは一つの原子炉のみ稼働する。30年を越える老朽炉はただちに廃炉。津波、地震のリスクの高いものは稼働しない。またこれ以上廃棄物を増やさないよう、再処理は直ちに停止、手持ちの燃料のみで稼働させ、新燃料の導入は行わない。原子力研究の予算は、全て放射性廃棄物の安全な処理方法と除染と廃炉技術の開発に振り向ける。特に三菱重工や北海道大学などで核変換の研究が進んでおり、この技術で放射性物質を無害化できる可能性があります。この分野への研究費の投入も必要です。 原発が減った分の電力は高効率の天然ガス火力で代替する。地球温暖化の原因が二酸化炭素であるという研究については、最近クライメート事件として、捏造が疑われているので、このことと震災を理由に京都議定書の公約について見直しを求めるべきです。
56146	個人	学生	10代以下	女性	原発再稼働、または現在稼働している原子力発電について	原発再稼働、または現在稼働している原子力発電は、直ちに止めるべきだし 新たな自然エネルギーを考えるべきだと思います。
56147	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオを求めます。これを補う再生可能エネルギーは国の明確な方針として拡大、普及、技術開発につとめ、財政をここに出来る限り投資すべきです。	再生可能エネルギーの拡大は、国がどうエネルギー政策の舵をきるかにかかっています。原発ゼロは生産、製造の危機であると経済界は言いますが、生存権そのものを脅かす原発を続けていく事は出来ません。 福島で学んだ事を私達国民は今後に受け継いでいかなければならないのです。 再生可能エネルギー拡大に伴う技術開発や拠点整備、法整備などに注力し、雇用を生む施策をとっていくべきです。 毎週行われている官邸前のデモで国民は何を考えているのか、国を動かしていく方たちはしっかり感じ取って下さい。 もうあのような原発事故はごめんです、いちどたりとも繰り返してはなりません。 原発はゼロにする、そこからすべてを考えるべきです。
56148	個人	無職	60代	男性	福島原発事故で顕わになった原発の危険性に鑑みて、(1)に加えて原発ゼロを実現する期限の明示を求めます。また、原発事故原因の究明と対策なしに、大飯原発ならびに他の既存原発の再稼働の強行に反対します。	歴代の政府・行政、電気事業者、関係企業等は、様々な個人や機関から指摘されてきた原発に対する基礎からの見直しや安全対策の強化を求める提言などについて、原発の安全神話に固執して聞き入れず、事故対策を怠ってきたことが福島原発事故につながったことが白日の下にさらされることになりました。この責任はどのようにとられるのでしょうか。 福島原発事故の被災者被災者の苦しみは、いつ終わるか、その目処もたっていません。事故の被害は、福島に止まらず本州の関東以北の多くの地域に広がっています。ひとたび事故が起これば、膨大な時間と空間にわたって、人々の生業を破壊する原発は国民生活と両立するものではありません。 原発を稼働させることによって出される、膨大な使用済み核燃料と放射性廃棄物の処理について目処はたっているのでしょうか？行き場のない原発廃棄物の危険なヤマに、日本列島が占められてしまう前に原発を止める選択をすべきです。 使用済み核燃料の再処理について、再処理過程が危険であり、また再処理から生み出されるプルトニウムと、それを用いた原発が通常の原発より危険なものです。膨大な費用をかけた再処理開発は直ちに止めて、その費用を福島の復旧に当てるべきだと考えます。
56149	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年ゼロシナリオを支持します。	2030年ゼロシナリオを支持します。
56150	個人	自営業	50代	男性	1. 一刻もはやく、すべての原発を廃炉にして下さい。 2.原発再稼動は、立地自治体だけで決めないで下さい。 3.すべての食品にベクレル表示を義務付けてください。	1.事実上、原発がなくても夏は乗り切れることが証明されました。もはや、原発再稼動は電力企業のご都合主義以外の何者でもありません。原発がなくても、電力は足りる、経済活動に支障はないということが証明されたからです。 2.一旦事故が起これば、被害は立地自治体に留まりません。日本国民すべてに影響を与えます。原発を自分たちの都合だけで誘致しておきながら、事故が起これば汚染された食品を食べて応援などと、まことに身勝手としか言いようがありません。再稼動は、国民投票で決めるべきです。 3.安全な放射線などありません。消費者によって放射線の許容範囲は違います。自由に食品が選べるように、すべての食品にベクレル表示して下さい。
56151	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所の稼働、再稼働に反対します。	自分達の力で処理できない猛毒を扱ってまで、利権にすがるのは愚かだと思います。 子ども達のために希望ある未来を残すことが大人達の唯一やるべきことだと思いますが、違いますか？
56152	個人	学生	10代以下	男性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56153	個人	無職	70代	男性	原発0のシナリオを主張します。	唯一被爆国日本には、核の恐ろしさを世界に発信する責務があります。 これ以上、列島が放射能に曝される愚は避けなければならないと思います。
56154	個人	会社員・公務員	50代	男性	三つの中では15シナリオであるが、さらに長期的には原発全廃を目指すことを明記するべき	福島第一原発事故によって、原発の安全性への信頼は完全に失われ、信頼回復は不可能だろう。しかしながら、経済への影響をなるべく小さくして原発全廃を目指すには時間がかかる。再生可能エネルギーの開発にも30年程度はかかるとすると、2030年に半分程度の依存度になっているのがよいのではないか。
56155	個人	家事専業	50代	女性	原発はゼロに。今ある原発はすべて停止し廃炉に。同時に自然エネルギーの普及に全力で取り組む。	原子力で甘い夢をみるのは、もうやめてください。 福島第一原発事故が引き起こした恐ろしい現状を見れば、地震国である日本に原子力発電所が存在すること自体が間違いだったことが明白です。 一旦アクシデントが起きれば、事故処理にかかる時間と費用は莫大になります。 それは、次世代へ負の遺産を押し付けることです。 人類が完全にコントロールできない「原子力」を日本のエネルギー政策から一日も早く除外し、自然エネルギーの開発と普及に注力するべきです。 福島から放射能を空へ海へとまき散らして地球を汚染してしまった日本が進む道は、「原発ゼロ」「自然エネルギーへの転換」以外にあり得ないと、私は考えます。

56156	個人	その他	30代	女性	3つのエネルギー選択肢にはどれも反対です。「原発の即時廃止」を望みます。	3つのエネルギー選択肢にはどれも反対です。「原発の即廃止」を希望します。 日本は地震の多い国とされ、地震の活動期に入ったと言われています。 富士山周辺や温泉場での異常現象は、今後来るかもしれない大地震を示唆するものであり 様々な専門家も指摘するところです。 また日本は全国的に地盤が悪いという指摘もあり、正確に調べると、原発が立つ土地など日本にはないという話もあります。 日本が持っている環境や地形等を考えると 原子力による発電はリスクが大きすぎるものだと思います。 中越沖地震で、柏崎刈羽原発は大きなダメージを受けています。 ここに新たな地震が起きたら・・・と考えると恐ろしさが一杯です。 だいたい、どこに逃げるのですか、ヨウ素の配布は、防災訓練も全くしていません。 マーク1型の改良、マーク2型の原子炉は、福島と同じような地震が起きれば 下部に水があるため、水蒸気爆発を起こし、福島以上の汚染が広がると原子炉設計をした後藤政志氏は言っています。 絶対に再稼働しないでください。 中越沖地震後、何億ベクレルのヨウ素が放出され、周辺環境を汚染し 植物に奇形が出たのは有名な話です。 あの時屋外に出ていた人がどれほどいるのでしょう。この子たちの健康は確保されるのですか。 その点、論議されないことに大きな憤りを感じます。 電力を起こすの方法は1つではありません。 しかし、日本という国土、私たちの生きるこの場所は1つです。 1つしかありません。かけがえのない物です。 原発の維持自体環境が汚染されている、その上事故が起きればその大事な土地を失うのです。福島の事故を教訓にしてください。 倫理的にも道徳的にも、他の選択肢を選ぶべきです。 安全神話が崩壊し、電力会社も保安院も、原子力安全委員会も 原子力を維持管理する事はできないというのは明白です。 電力会社は専門家の指摘を無視し続けて、立地選定から安全運転、リスクマネジメントもできない。 それを指摘する立場の保安院は素人の集団で、それを管理する能力はありませんでした。 この国に、原子力の専門家はいるのでしょうか？ それに伴い、放射能の被曝の専門家もいないのではないですか。 福島の子供たちを被曝させておきながら、避難もさせず、今までよりも高線量のところに住まわせ、安全だと言って生活させる。 ○○msvなら大丈夫・・・などたわごとです。 限界値を設けるのはおかしい。不必要な被曝は身体に悪影響を及ぼすのは分かっているではないですか。 可能な限り、低線量な安全な場所に住まわせ、被曝防護を勧めるのが本当の専門家ではないのですか。 原子力は温暖化を防止するために必要と言いますが これだけ放射性物質で汚染をまき散らし 不必要に電気を使って壊れた原発を収束し、除染し、車を動かし、人を動かし、電車を動かし、瓦礫を動かして どれだけ温暖化が進んでいる事でしょう。 人を動かすなら、被曝して傷ついた人を安全な場所に動かしてください。 がれきなどもってのほかです。汚染されていない、安全な土地を確保し、そのための施策を講ずる。 このような大事故を起こした国のやるべき事ではないですか。 もんじゅなど、毎日毎日無生産に垂れ流し、1ワットも起こさない施設など廃棄してください。 リサイクルができないなら、原子力は持続可能なエネルギー源ではありません。 安全で持続可能な自然エネルギーの開発を推進をしてください。 それを今までやって来なかったから、このような選ぶ価値のない選択肢が生まれるのでしょう。 また核廃棄物の処理はどうなるのですか。 まだ最終処分先も決まっていない中、何もなくても行先がなく、各原発や六ヶ所村でも膨れ上がっている状態に 除染で出たもの、瓦礫、汚泥など、高レベルに汚染された物はどう処分するおつもりですか？ 何万年も目の色が黒いまま管理できると言えないなら、これ以上廃棄物が出ないようにするのが当然です。 廃炉にしても、膨大な核廃棄物が出るではないですか。クリアランスレベルを上げて、生活環境に放出させるおつもりですか？ これ以上原発の増設など絶対にあり得ません。 また、原発立地体にこれ以上リスクを押し付けないでください。 漏れない施設などありません。周辺住民にがんや白血病が多い事は国内外の研究でわかっているではありませんか。 地元の電力にはならず、遠く離れた地域に電力を送る。 過疎地域に雇用が生まれ、町も活性化しますが、それは一時のまやかし。 健康被害を受け、交付金も永遠ではなく、多くを持ちすぎた市町村は経営にあえぐ。 原発は安全に維持できないと分かった今、リスクを背負わす事は納得がいきません。 安全ならば東京に作ってください。首相官邸のわき に作れればよいではないですか。 原発立地体が廃炉となっても明るい未来が持てるような施策を考えてください。 子供たちの未来を考えてください。 以上のことから、再稼働した原発は即停止し、廃炉作業を進め、他の電源による電力確保と省エネの推進を推進してください。 この声を無視しないでいただきたい。よろしくお願いします。
56157	個人	自営業	30代	男性	2030年の原発シナリオは「0%」を希望します	「0%」を希望した理由は、5つあります。 （1）2030年に原発がゼロになっても、日本はやっていけるから。 ▲現在全国で稼働する原発は2基。東電管内はゼロ基です。しかし、停電はおきていませんし、国内経済に対する著しい影響も出ていません。対して、ヨーロッパでは再生可能エネルギーの普及が飛躍的なペースで伸びています。この春、日本でも再エネ法が施行されました。再エネと省エネを組み合わせることで、「2030年に原発0」は可能なシナリオなのだと考えます。再エネが普及するまでの需給ギャップ、再エネ特有の不安定さが懸念というなら、世界で採掘がはじまっているシェールガスを組み合わせてのりきっていきましょう。それらを進めた結果、日本の電気代は短期的に値上がりするかもしれません。しかし、未来に資するのなら、自分はいっこうに構いません。 福島での原発事故の影響はこれからも長く続き、日本の産業構造も転換期です。そんないまだからこそ、国は新たなエネルギー政策を示すべきです。唯一、2030年に原発が0%になった場合、原発という巨額の不良債権を抱える電力会社の幾つかは倒産するでしょう。融資した銀行も大変なことになります。しかし、使用済燃料の問題を解決できず、今後も事故のリスクを抱えていく点で、どの道、彼らの経営は薄氷を踏んでいるようなものです。この機会に、そういうデタラメを改めましょう。また、電力会社がなくなっても電気はつくれます。市場を自由化したうえで、国と新たな民間会社で運用していけばよいのです。 （2）福島での原発事故の全容解明が行われていない点。 ▲各事故調のレポートは、多くの人にとって「暫定」という認識のはず。暫定のまま、将来も原発を保持することは正しい選択でしょうか？ （3）これだけの事故を起こしたにも関わらず、電力会社や国の関係者に対する個別の責任追及が行われていない点。 ▲きわめて公益性の高いエネルギー事業でこれだけの失策をおかした。きわめて重大な問題なのに、責任の所在を「うやむや」にしようとする意図が国に感じられます。そんな国に、将来も原発を任せることはできません。 （4）今後の原子力に関する情報開示・運用に、もはや希望が持てない点。 ▲事故前は言うに及ばず、事故後も原発再稼働に対する情報開示（電力需給データなど）が、広く国民に知らされることはありませんでした。また、本当に原発再稼働が必要なのか否か、議論をする時間も与えられていませんでした。フェアではありません。運用面では、国、電力会社、メーカー、財界、メディアが癒着することで、異論反論を許さない空気が醸造されています。このような状況では、事故時のリスクが極めて高い原子力発電を運用することはできない。 （5）「原子力規制委員人選問題」。福島の事故後、国は早くもルールを破っています。 ▲9月に発足する原発規制庁があります。これまでの過ちを改め、原発を正しく・安全に運用する組織ですが、この組織に対し、強い権限をもつのが原子力規制委員です。しかし、5人中4人が（5人中3人という意見もありますが）なんらかの形で原子力産業にかかわっている（いた）委員です。人選にあたっては、規制省庁や電力関係者から選ばないルールがあり、この人選は「研究機関ならOK」という解釈なのでしょうが、言葉遊びもいいところです。原子力関係者から選んでいる点で、「ルール違反」です。この意味で、田中氏、更田氏、中村氏の人選はあり得ません。大島氏は元外務官僚ではあるものの、原発輸出を行ってきた経歴から信頼がおけません。国民から大きな批判を浴びているにも関わらず、このような人選を出してくること自体が論外で、「日本に原発はもう扱えない」と考えるに至りました。
56158	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発依存ゼロをめざす	2011年3月11日以降、日本だけでなく、世界中でエネルギー政策の見直しがすすめられています。 原発に変わるクリーンエネルギー発電技術がこの世の中に既に存在しているわけですから、そこに向けて更なる技術開発、向上を目指すべきだと考えます。 このような事故を起こしてもなお脱原発の方向に舵を取りきれない日本は 「いずれ核兵器を持ちたいからではないか？」 事故当時外国に住んでいた私は現地の人々からいつまでたっても脱原発と意思表示を出来ない日本政府は「核所有」を計画しているのではないかと質問されました。 これは外交上にとっても、日本国民の公共の福祉にとっても有害であると考えます。 太陽光発電、風力発電など、日本にはその場の地形、環境にあわせて様々な発電方法が考えられます。 その技術があるのだから、使えばいい。どんどん技術向上させれば良い。 一般家庭や学校、公共の施設の電力については いずれ自分で使用する電力は自分で作り出す　そんなことが世の中の常識になる時が来ると思います。 そのような未来は2011年3月11日以降より早い段階の未来になったと感じています。 そして、より近い未来にそうのような常識の日本に変化させるべきだと考えます。
56159	個人	その他	50代	男性	ゼロシナリオに賛成	もうこれ以上地球を壊すのはやめましょう！ 人間がコントロールできない物を利用するなんてあり得ません。 多少の事は我慢します。皆出来ると思います。地球人なら。
56160	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢について （1）選択肢が3択である理由等を示してください。 （2）2031年以降のエネルギー・環境戦略の見通しを示してください。	2030年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢について次のとおり意見を述べます。 まず、選択肢が3択である必然性が明確ではありません。原発依存度を0%～25%の幅で考えているのであれば、選択肢は0%を起点に1%刻みの26択であっても良いのではないでしょうか。また、仮に3択であるならば、設定を「(1)ゼロ～8シナリオ」「(2)9～17シナリオ」「(3)18シナリオ～25シナリオ」となるべく選択肢の内訳幅が均等((1)及び(2)の内訳幅は9、(3)の内訳幅は8)であるようにし、%の取りこぼしをなくした方が選択肢として適当ではないでしょうか。 現在、示されている3択「(1)ゼロシナリオ」「(2)15シナリオ」「(3)20～25シナリオ」では、選択肢の内訳幅が不均等((1)及び(2)の内訳幅は1、(3)の内訳幅は6)である上、0%～25%の幅で考えているとしておきながら、例えば7%、10%、18%を選択肢の内訳から取りこぼしています。 選択肢が3択である理由、4択以上にしない理由、選択肢の内訳幅が不均等である理由及び7%等を選択肢の内訳から取りこぼしている理由を示してください。 次に、2031年以降のエネルギー・環境戦略の見通しが示されなければ、国民が、2030年時点における選択肢を判断・選択する状況としては不十分ではないでしょうか。原発依存度0%をいつの時点に設定しているのかに基づき、2030年時点における選択肢を判断・選択する必要があります。 2031年以降のエネルギー・環境戦略の見通しを示してください。
56161	個人	法人等	40代	男性	原発は即刻廃止	人が死んだら経済もなにもないから

56162	個人	無職	60代	男性	原発比率「0%」速やかに停止、廃炉 ・放射能被害が孫や未来の子供に及ぼす ・放射能閉じ込めの保障がない ・脱原発エネルギー政策への移行 ・死の灰を蓄積による環境破壊防止 ・原発震災防止	(1). 放射能被害を孩子や未来の子供に影響及ぼす 地震と津波による福島原発事故は、1年以上を経過しても未だに放射能が環境へ放出され続け、その放射能で住む場所を追われ、生活の糧を奪われ、人としての最低限の生活基盤を奪いさらに孩子、未来の子供たちの暮らしや健康への不安と心配をもたらしている。未だ収束の見通しもなく、更には未確認、未検証、未教訓、未対策、であり「事故は終わっていない」と国会事故調の指摘にあるように現況では、原発の停止、廃炉が当然です。 (2). 放射能閉じ込め「5つの壁」の完全崩壊で原発の不使用は当然。 放射能の閉じ込め「5つの壁」は、崩壊熱、メルトダ"ウン、水素爆発で大きく破損、崩壊された。原発事故は、5つの防壁を原子力のエネルギーで破損し、人間の能力では収束ができない危険な現況を作りだしている。 大量の放射性物質（死の灰）大量の放射能汚染水も8万2000トン溜っている。大量の核燃料残骸、大量の被曝者と被曝作業者、広大な放射能汚染土壌や河川等国土汚染、海洋の汚染が拡散されている。 (3)、エネルギーの大量消費から脱却して脱原発のエネルギー政策へ 電力会社は、電力の安定供給のために電力の最大需要をまかなうために発電設備を増強している。生活や産業の基盤になっている電力は、約30%が原子力発電で作られている。各電力会社は膨大な発電設備を持っています。その最大需要が必要な時期と時間帯は夏期の平日の数時間しか利用しないがそのために発電設備を建設して年間最大需要日に備えています。そのため年間の発電設備の稼働率は48%で、半分以上が発電を停止している状態です。原発を停止して火力発電で賄うこと考えるべきです。 この時期の電力需要のピーク移行、需要調整、他の電力産業からの需要調整、他産業の発電設備からの需給、大量のエネルギー消費を節減することにより改善につながる。 原子力発電から自然エネルギーへの移行と未利用の発電設備の利用により電力の安定供給を行う。 国民の放射能不安や生活不安を犠牲にした電力産業、原子力産業界の利益最優先のエネルギー政策はやめて、国民の健康と安全を守るエネルギー政策にしてください。 (4)、死の灰や放射能廃棄物を蓄える原発は停止、廃炉。 原子力発電は、他の発電設備と違いさく異なる点は、発電設備を発電すればするほど原子炉に核分裂生成物（死の灰）や放射能のごみが大量に作りだされる。作りだされた死の灰や放射能廃棄物は、100万kwの原子力発電所から1000kgのウランを燃やし1000kgの放射能のごみが生成される。広島原発が生みだした「死の灰」の1000発分が毎年1基の原発から作りだされている。 54機の原発と40数年の原発発電ですでに各電力の原子力発電所には1万4000トンほどの使用済みの核燃料が貯蔵されています。恐ろしくなる「死の灰」を日本国内に蓄えている現状。さらに「放射性廃棄物」も人間は無害化できない、100万年かかって人間に危害を及ぼさないよう管理が必要と言われていますがまだ管理の方法さえ確立できていない。まさに放置、やり一放しです。「死の灰」を作り続ける原発は今すぐ停止、廃炉です。 (5)、「死の灰」を環境へまき散らす原発は停止、廃炉 福島原発事故は、大量な放射性物質を環境へ放出しました。現在も放射能汚染水や破損した福島第一原発の周辺では収束作業ができないといわれるほどに大気へ放射能を放出し続けている。 汚染された空気を水を土壌を家屋を道路を校庭を・・・環境汚染で多くの住民避難（福島県では約16万人）を余儀なくされています。放射能汚染大気をすでに体内に吸引した人々の体内被曝や放射能汚染環境下での住民の暮らしの不安、健康の不安、仕事への不安、農作業の不安を5年先、30年先、先背負って往く事を考えると新たな原発事故をゼロにすること。 (6)、地震大国の福島原発で原発震災が起こった。再発させないために原発今すぐ停止、廃炉。 国会事故調査委員会の報告では、事故の直接原因を「1号機の地震による損傷の可能性は否定できない」と指摘されています。他の原発でも危険性があることを指摘されています。 また、各地の原発敷地内に活断層がある事も専門家から指摘されていますように断層が確認されれば原子炉など設置することを認められない「立地不適格」であり原発は廃炉とすべきです。大飯原発3号機、美浜原発、もんじゅ、浜岡原発、島根原発などが含まれる。 中部電力は地震対策として1000ガルとして補強したとしたというが、中越沖地震では柏崎刈羽原発の地震動は1699ガルの揺れ、浜岡原発の対策を大き<オーバ、予想される。3連動地震では［M ９. 0］も想定されており福島原発事故の再来「原発震災」を心配されます。	
56163	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロシナリオでお願いします。 できれば、今すぐにでも原発を止めてください。廃炉にしてください。	福一の事故の時に、福島の人たちは見えない、恐ろしい放射性物質から逃げて来ました。同じ日本の中でそんな恐ろしいめにあった人々が居たこと。想像すると、とてもせつなくなります。もう二度との日本の中でそういう人を作ってはいけません。住めなくなるような土地を作ることも許されません。 安心して暮らせる日本をつくりましょう。余分な電気を使うのをやめて、贅沢すぎる生活を少し改めましょう。 原発ゼロで。	
56164	個人	家事専業	20代	女性	選択肢として提示された3つのシナリオではなく、原発はゼロにしつつ、温暖化対策目標を強化した第4のシナリオを支持します。	原発の比率だけを見れば、支持できるのは「ゼロシナリオ」しかありません。しかし、3つの選択肢は、どれも温暖化対策の目標が不十分です。2020年の目標は7～11%削減でしかなく、現状の25%削減目標から格段に低くなってしまっています。 このため、温暖化対策の観点からは、どのシナリオも選ぶことができません。 選択肢がこうなってしまう原因としては、省エネが不十分であること、石炭火力発電への依存が続くとされていること、自然エネルギーの普及目標が不十分であることなどの理由があります。 原発ゼロを目指しつつ、温暖化対策も進めることができる選択肢を、私は支持します。	
56165	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までの一刻も早い時期に原発比率「ゼロ」を選択します	(1)未だに福島第1原発事故は手が付けられず、収束など全くできていない。 (2)大地震や津波が発生したら、再び放射能事故にさらされる。 (3)電力需要については原発が無くても十分間に合う。自然エネルギーに早くシフトせよ。 (4)今まで出した核のごみの処分方法さえ決められないのに、再稼動して更に増やしていくのなど言語道断。	
56166	個人	家事専業	60代	女性	原子力発電0%を要望します。	原子力発電の安全性以前に、使用済み核燃料を安全に処理できないということで子どもや孫たちに負の生活を押し付けることはできないと思います。原子力発電に関わってきた人たちの健康も心配です。安全神話（そんなものが存在しなかったのは明らかですが・・だからこそ神話だった？）も崩れました。原子力発電を進めようという人の考えがそもそも理解できないし、根拠も無い中、原子力発電は即刻中止すべきと考えます。	
56167	個人	会社員・公務員	40代	男性	政府の示す3つのシナリオから選択するのであれば、「ゼロシナリオ」を選択する。ただし、「ゼロシナリオ」に追加して意見を述べれば、全ての原子力発電所は直ちに停止し、順次廃炉とすべきであると考える。	原子力発電所をめぐっては、これまでも数十年間にわたって様々な議論がされてきたところである。 これまで、原子力発電所については、その安全性が完全であるとの前提の上に建設及び稼働がなされてきており、原子力発電の有する危険性や環境への影響（事故時の影響のみならず、核廃棄物の処分に係る環境負荷等を含む）は有意な議論としてみられてこなかったきらいがある。 しかしながら、現に福島第一原子力発電所において過酷な事故が実際に発生するに至り、原子力発電所の有する危険性等に関するこれまでの数十年間にわたる議論は決着したと考える。 つまり、原子力発電所は決して完全な安全性を有するものではなく、ひとたび事故が発生すれば、放出される放射能の影響により、原子力発電所周辺の多くの住民が避難を余儀なくされるなど決して広大ではない我が国の国土の一部が事実上失われることになり、放射能汚染等によって産業（特に第一次産業）にも大きな影響を与え、事故処理に際して現在及び証らの健康被害の発生を前提とした作業に多くの国民が従事せざるを得ないなど、通常の発電施設では考えられない多大な影響が生じることが、事実として証明されたのである。 福島第一原子力発電所の事故は、事故発生から1年半になろうとする現時点においてもその全容解明すらできておらず、最終的な事故処理への道筋を見極めることができない状況にあるが、そもそも、例えば原子炉格納容器、圧力容器等の中心的施設が大き<損傷することによってより多くの放射性物質が大気中に拡散したりする危険もあったし、例えば四号機の建屋がさらに大規模に破壊されていたとしたら、使用済み核燃料プールも破壊され、飛散した核燃料を冷却するすべもないままに、首都圏を含むさらに多くの国土が事実上失われるような事態すらあり得た。 そのような認識を前提とすれば、東日本大震災依頼、地震活動がこれまで以上に活発化しているといわれる中で、今後も原子力発電所を稼働し続けることは、経済的な観点からも、選択肢としてあり得ないと考える。 以上から、全国の全ての原子力発電所は直ちに停止し、原子炉からは核燃料を取り出して安全な状態に保った上で、順次廃炉の手続に入ることが適当であると考える。	
56168	個人	その他	50代	女性	原発ゼロを選びます。	私は原発ゼロシナリオを選びます。 政府のゼロシナリオでは期限が決まっていませんが、今すぐ原発は廃止するべきです。 福島第1原発は廃炉となりましたが、これから40年も50年もの月日を要します。しかも事故の収束の目処もたっていない現状、福島県民たちがおかれている状況を考えると、ひとたび事故が起きたら、自然、生物、人間への負担は計り知れないものとなることは明らかです。 「核と人類は共存できない」ことを多くの市民が自分のこととして実感しています。 福島第一原発もふくめると54基もこの狭い国土にあります。どこで事故がおきてもそれはすべての市民の命を脅かすことになります。ヒロシマ・ナガサキ・福竜丸の被爆者と原発事故による被爆することの差はありません。傷つけられた遺伝子は何世代にもわたって影響を及ぼすことは自明です。平和利用という甘い言葉にもはやも通用しません。 政府は原発稼働にあたって「徹底した安全対策の強化によってリスクを最小化」すると言っていますが、リスクがあることを自ら認めていますが、その代償はだれが受けることを考えているのでしょうか？ 放射性廃棄物の処分も決まっていないのに、稼働するべきではありません。 核燃料サイクルは破綻しているのですから、これ以上の廃棄物をだしたくありません。 命を倫理の観点で考えてください。 リスクがあることを承知の上で稼働することは倫理の面から到底理解できません。 もっと自然エネルギーの導入をはかり、安心できる社会で暮らしたいです。 便利より命を守る方を選びたいのです。 昨年3.11から稼働していた原発は数基でしたがそれでも電気が不足することはありませんでした。仮に足りなくなったとしても稼働することより不便な暮しを選びます。 命を大事にしたい、原発事故は天災でなく人災でした。人間が制御できないシステムの中で 暮らしたくありません。	
56169	個人	自営業	40代	女性	2030年原発稼働率0パーセントを選択します。	原発のある今の日本の国民の間では、原発稼働率について意見が分かれるのは理解できます。廃炉にするにはとても時間がかかることも知りました。 しかし福島第一原発の事故を きっかけとして、事故がなくても、原発を動かしただけで、核廃棄物が排出され、その処理方法は確立されておらず、放射能が安全な基準に達するまでには大変な時間がかかることを知りました。 今の日本ではなく、未来に日本という視点にたてば、原発稼働率0パーセントの方向性を明確にし、そのためにどうしたらよいかを検討し、行動することが今の日本に住んでいる大人の責任であると思います。	
56170	個人	その他	60代	男性	人間は核反応を制御出来ません。20年以内に原発比率 0%とすべきです。節電に加え、排熱回収・熱電併給・地中熱利用等の促進（政府エネルギー検討委員会の提案）や再生可能エネルギーの開発、導入をすべきです。	（1）基本 人間は原子核反応を制御出来ません。ブレーキの無い、放射性物質満載の自動車を燃料無限で走らせるのと同等です。 政府は、覚悟を決めて原発廃止に進むべきです。その上で現実対応をどうするかを専門家等から意見を集め対応策を立案すべきです。 経済界や産業界、政治家、一部の學者に阿（おもね）て、平成42年に0%とか15%とか意見を訊くと言うのは、腹が定まっていない事なのです。 （2）代替エネルギー 平成22年に原発発電比率は25%であったとの事ですから、この埋め合わせをどうするかと言う議論になります。この辺は専門家である飯田哲也さん達が提案されると思いますが、一市民として私なりの小論を書きます。 1）節電・・・5% まず節電です。昨平成23年の夏、関東地方は15%程節電したと記憶しています。産業界や家庭でかなり無理が有ったとも考えられますが、どう見ても5%程度の節電は可能と考えます。また関係方面が調整すれば、やれるでしょう。 (1)照明の削減：巷に言われています通り、地下街や百貨店、商店街等年間を通じても少し暗くする事は可能です。眼の具合の悪い方たちへの配慮はすべきで出来ると考えます。国電（JR）の駅の地上ホームは夏の間 概ね消灯していますが、夏以外は点灯です。消しても問題はないでしょう。 (2)照明のLED化：初期投資は掛りますが、推進すべきです。 (3) 自動販売機：極力廃止しましょう。全国に500万台位あって、1台600W程消費します。300万kWになり、原発5基分には当ります。全国必要電力の3%位にはなるでしょう。販売機が省エネ運転で半減したとしても原発2.5基分、1.5%位で、膨大な消費で、大幅に削減しても生産や日常生活に影響は余りないと考えます。欧州では、街中で殆ど見掛けません。欧州人は自動販売機無しで生活しています。真似出来る筈です。 (4)家庭の冷房、冷蔵庫等は巷間紹介されている通りです。事務所のサーバーは智恵が必要です。 2）排熱回収・熱電併給・地中熱利用等・・・15%（政府のエネルギー検討委員会の数字） 政府から出されており、現実性が有るであろうと、これは期待しています。ドイツではこの手法でこの10年間のエネルギー消費を抑制出来ています。工場の排熱回収は、既に各企業で実施されていますが、まだ可能性はあるようです。下水や地中熱の利用はこれからの開発になるでしょう。スカイツリーはその必要エネルギーの半分を地中から得ています。 3）再生可能エネルギー：10% 太陽光、地熱、風力、小水力、木片、波力、潮力等順次開発すれば、20%、30 %と拡大できるでしょう。 私の計算では、100万世帯（凡そ1.8兆円の投資）に定格4kWの太陽光発電装置を設置すると、58万kW（実効発電）となり、原発 100万kW 1 基分に相当します。500万世帯に拡大すると、約300万kWとなり、現実的なものとなると考えます。これから技術開発は今より進むと期待出来ます。 各種の再生可能エネルギーに就いて、専門家の方々が具体数値を提示していますし、最新版も提供されるであろうと考えます。 （3）安定な電源 原発はエネルギー密度が高く、安定電源であると、産業界や政治家、一部の學者は主張しています。 しかし現下 原発は2基しか動いていません。極めて不安定な電源です。天然ガスを高価で輸入しなければならなくなる危険性を孕んでいる、いや今高価で輸入しています。 もし再稼働が進み、再び過酷事故が起きたら、日本は壊滅です。野田さん（24年7月時点の総理大臣です）は、責任を取ると言われていますが、責任どころではない、壊滅なのです。 経済界、産業界の幹部諸兄は、電源に就いて目先の事しか考えていません。残念ながら素直な目がなく、長期、大局の見方を忘れています。産業人としての矜持を忘れないで欲しいものです。 （4）使用済み核燃料 再稼働は、活断層など地震、津波の影響が小さい原発で、新しいもの、中性子線脆性の恐れの小さい原発を対象とすべきでしょう。 再稼働反対は多くの国民の声ですが、一方使用済みの核燃料が 多分廣島原爆の数千発から1万発程 原発基地にあり危険です。これらは、圧力容器や格納容器の外に裸の状態で置かれています。保管の仕方を密閉式にするなど改善を急ぐべきと考えます。 この点は政府事故調査委員会の畑村さんが仰っていた通りです。 以上	
56171	個人	家事専業	30代	女性	(1)ゼロシナリオを採るべきと考えます。原発ありきで成り立ってきた政治、経済を考えれば即廃止は無理でも、伴うリスクが大きすぎるため将来的にはゼロにすべきです。未来に莫大な負の遺産を継承することも理由です。	3. 11から現在に至るまでの現状を考えれば、原発に依存することがどんなに危険なことかは明白です。そしてその危険は、今地球上に生きている我々だけでなく、今後長きにわたって、人類を含む生物全体、地球全体に及ぶことになります。この莫大な"デメリット"を考えれば、いかなることも原発を維持する理由にはならないと考えます。 もちろん現在に至るまで、私たちの生活、経済はその一部を原発に依存する形で成り立っていました。しかしこれまでの電力使用量は、稼働していない火力発電所、水力発電所を稼働すれば賄いきれた量とも聞きます。大口電気使用者にとっては、それだけでは不安な部分もあるのかもしれませんが、上記のデメリットを考えれば、各企業の努力等によってこの転換期を乗り切っていくより仕方ないのではないかと思います。また、原発によって経済が成り立っていた地域があることも事実です。しかしこれも、そこで新たな別の雇用を生み、再就職が促されるような政策をとりながら、少しずつ方向転換をしていくしかないと考えます。無責任な言い方かもしれませんが、今の目先の利益を守るためだけに、莫大なデメリットがあるとわかりながらも原発使用を続けることのほうが、ずっと無責任に違いありません。 心配なのは、原発がこんなに恐ろしい代物とわかった今、この分野を専攻したいという研究者がいなくなっていくのではないかということです。原発を新たに作ったり広めたりするための研究は要りませんが、より安全に廃炉にする技術、核廃棄物をより短期間に無毒化する技術などを研究する人間は必要です。こうした部分にこそ税金を投入して、研究者を育てていくべきだと考えます。 原発に依存する"影になっている"経済の状態、そうした地域のあること、核廃棄物の廃棄の方法や場所が未だに決まっていないこと等々、問題は山積みです。 こうした諸事情を考えれば急な転換は無理かもしれませんが、転換時の痛みを極力減らす方法と山積する問題の解決策を考えながら、少しずつゼロシナリオに向けて動き出すことが、今現在の大人の使命だと考えます。	

56172	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を支持。仮に福島原発事故と同等又はそれ以上の事故が起きた場合、社会、経済、生活に対する影響や、日本の威信低下による被害は天文学的数字に達する。原子力ゼロこそが最大の国益です。	世界に類を見ない規模の地震大国であり、わずかな平地に驚くほどの高密度の人口を抱える日本に原発を作うという発想が、今となっては信じられません。 地震の巣の上に原発を残しておいたら、近い将来、また必ず大事故が起きます。そして、2度目の事故で、日本はあらゆる面で「終わり」を迎えることでしょう。日本を愛する一人の日本人として、そんな事態は決して許容できるものではありません。一刻も早く、全ての原発を撤去すべきだと思います。 再生可能エネルギーは、まだまだコスト的に主力にはなりえないかもしれないが、火力発電ならばまだまだ主力でやっていけます。シェールガスなどの埋蔵量を考えれば、埋蔵量の少ないウランよりもずっと先まで発電できるし、放射能の危険もないので、都市部に建設して排熱利用すれば更に効率的で、安価な発電ができるでしょう。将来的には、潮力発電など、日本の風土に合った安価で効率の良い発電も普及させたいですね。
56173	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発の依存度を0%とすることを要望します。原発を必要とせず、放射能が拡散する危険の無い世界にして行くことを望みます。	原発依存度0%を要望する理由は、 1，原発で生まれる放射性廃棄物の処分方法が未だに確立されていない。 2，万が一、原発事故が起きた場合、大量の放射能が拡散する可能がある。 3，核燃料を作る過程や、原発を稼働させるだけでも、常に放射能を拡散させており、また、それらに関わる作業員の方々は、常に被曝を避けられない状態である。 4、放射線被曝は、人体に大きな影響があり、人類の存続にも関わる重大な危険とも考えられる。放射能の拡散は最小にすべき。 5、現時点で、節電の努力をすれば原発が無くても電力需要は満たされることは明らかであり、今後更なる、節電や安全な発電に関する技術開発や、国民の節約などの努力により、原発の必要性を無くすことは十分に可能であると考えられる。 以上です。
56174	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発依存0%、速やかに全面廃炉。直ちに全面稼働停止にすべきです。	未だに福島は収束していません。どれだけの人々が健康を害し、日常生活を壊され、見えぬ不安に脅かされているかを考えれば、それらと引き換えにして原発を必要とする理由は見つかりません。 経済の優先ばかりを考えることには反対です。 原発の依存度は0%。最速で全面廃炉。稼働中の原発は即刻停止するべきです。 原発反対！再稼動反対です！
56175	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。 全ての原子力発電所の再稼働に反対です。即刻廃炉すべきです。	東京電力福島第一原子力発電所の事故は人災です。 管理できないものを動かす理由は何一つありません。 いまだに福島県に住む人々は不安の中で生活しているという現実を見る限り、原子力発電所はもはや日本には必要のないエネルギーであることが明確です。 誰の国でもない、この日本という国のやり方で、新しいエネルギーを模索するチャンスが来たと思います。そして私たちにはその新しいエネルギーを作りだす能力があると信じます。 無理やり再稼働させてしまった大飯原発は結局ただ関電の利益のために動かしたことは誰もが知っています。稼働していた火力をとめてまで守るものは何なのでしょうか？ もう国民をだますのはやめて下さい。 私たちは見ています。あなたたちが何をして、何をしないのか。
56176	法人・団体等	法人等	40代	女性	2030年の原発比率は、ゼロパーセントを望みます。使用済み核燃料の安全な処理方法が定まらないなか、稼働を継続するのは反対です。災害や事故による被害は半永久的です。日本の自然や人々をこれ以上壊せません。	現在、原発がほとんど稼働していないなか、組織も個人も工夫をしながら夏をすごせています。 代替エネルギーの開発や、それに付随する様々な商品の開発・販売、そして廃炉にしても建物としてはおそらくほとんどが維持されざるをえない原発の維持・・・と、経済上も、原発への脱依存に向かうことは、雇用を生み出し、商品・サービスの需要もうながされます。 使用済み核燃料の最終処理方法もないまま、増やすのは誤りだと思います。 地震大国、被爆・被曝国日本として、世界に新たな価値・発電システム・ライフスタイルを提唱するために政府はご尽力いただきたいと思います。
56177	個人	自営業	30代	男性	原発問題に関して、「原発=サッカー理論から見えてくること」についての考察です。	もちろん「原発=サッカー理論」などというのは僕が勝手に考えついたことなのでして、一度考え始めると止まらなくなって(ということがよくあるのですが)、またダラダラと書いてしまう次第です。僕はいわゆる原発問題については原発存続に反対という立場です。絶対反対というわけでなく、条件付きで賛成なのですが、それはまた後で。僕の意見としては、原発という確率は少ないけど大きなリスクを負っているシステムは、あくまでそのリスクが「現実のものとならない限り」で有効だと思ってます。つまり、東海村での事故程度のリスクであればまだ許せるけど、福島の事故という現実化した巨大リスクを目にしてしまった後では、そのシステムをもはや維持すべきではない、という考えです。乱暴な言い方(この先も頻出しますが…汗)をすれば、僕たちは「原発維持システムゲーム」に、負けてしまったわけです。このゲームのルールはいたってシンプルで、ドッカーンと爆発して放射能を撒き散らしたら負け！というものです。我々はこのゲームに、しっかり、見事に、負けてしまったわけです。理由がなんであれ、それがルールだったのですから、完敗なのです。負けたのだから、グランドの土を靴袋に入れてその場を去るのみなのですが、どうやら、そうなっていない。負け試合の10回表に、マウンドに上がるピッチャー野田くんがいる。もう帰るよー、と毎週金曜日にみんなで言うのに、本人には音がしてるくらいにしか聞こえていない(らしい)。はて？はてはて？どうしてなんだろう、というのが「原発=サッカー理論」にいたる、長めの前置きです。すいません、ようやく本題です。 まあ野球でもバレーでも柔道でもいいのですが、ここはサッカーを使わせてもらいます。つまり、「日本から原発をなくす」ということを、「日本からサッカーをなくす」ということに、置き換えて考えてみたらどうだろう、というものです。 最近まで原発が止まっていたからといって、人がばたばたと死ぬわけでもなく、電気代が倍になるわけでもありませんでした。全く裏付けありませんが、エネルギーの足りる足りないの話は、結局のところなんとかなる、というのが結論だと思っています。だけど完全に負けた試合のはずなのに、さあこれから延長戦、かのようにFW野田くんがセンターサークルからボールをそそくさと蹴り始めているのには、「日本からサッカーをなくす！」なんていう決断を、とてもじゃないけど彼にはできない状況にあるからだと思うのです。しかも、FIFAランクに置き換えると1位2位を争うレベルにいる日本の原発なのでしょうから、脱原発というのはすなわち、トップランクの日本ですが一身上の都合でFIFAから脱退しちゃいます、というのと同じことになります。原発界FIFAランクトップクラスの日本から「サッカー」をなくす、なんて言い出したら、まず間違いなく旧浦和市民は全員暴徒化し官邸は真っ赤に塗り潰されるでしょう(やや偏見込みです)。もちろん旧浦和市民だけでなく、サッカーを愛する人々から総スカンをくらうことになるでしょう。だけどよりシリアスなのは、「サッカー」で生計を立てている人たちです。海外で活躍する人も含めた選手はもちろん、監督やコーチといったスタッフ、協会やクラブチームの職員、サッカー関連の雑誌やテレビといったメディア、スポーツメーカーやスタジアム関係者といった、サッカーに関わるありとあらゆる人が職を失うわけです。ちょっとこのあたりを原発に置き換えると、「選手」=技術者や研究者、「コーチ」=大学関係者、「スポーツメーカー」=原子力機器製造メーカー、「サッカー場」=原発、などといった感じでしょうか。しかもサッカー界における香川クラスの「選手」=研究者は、原発界においてはゴロゴロいて、巨額な移籍金を生む金の卵であり、海外のクラブチームにとっても必要な人材となっていて、今さら、日本人はもうサッカーしませんから帰国してくださーい、なんてとても言えない。何よりも、ゴロゴロいる原発界の香川選手たちには、その育成に手間も時間もお金もかかっているし、これからようやくその回収できるというときなのに、ちょっと東北の下の辺で事故ったからって、そんなのやめられませんよ、というのが実状でないかと思ったわけです。それは「選手」だけに限った話ではなく、コーチ、設備、メディア、あらゆる「サッカー」関連のものが長年の投資のうえで、今や世界トップクラスとなっているのに、そんな全てをドブに捨てるようなことはできません、ということなんじゃないでしょうか。そして、現実のマンU香川選手に、今からヤンキースの野球選手になって下さい、というのが無理な注文であるのと同様に、才能溢れる原発界の「選手」たちに、その能力を太陽光発電においても同じように発揮してもらうのは、とても難しい。 だけど、それでも、と僕は思うのですが、原発というサッカーをすっぱりと諦めなくてはいけない、と考えています。この「サッカー」は、それほどまでに魅惑的で、しかしそれ以上にリスキーでした。それがどんなに魅惑的であっても、生きている間に二度と故郷に戻れない人々をつくりだすような状況は、やはり間違っている。 冒頭で少し触れましたが、条件付きでこの「サッカー」を続けることも、十分可能だと思っています。ただし、福島での事故を経験したわけですから、しっかり掛け金はつりあがっているわけです。自動車事故後の保険料が高くなるのと同じ理屈です。それは、サッカー場である原発を、ちゃんと、東京につくるというものです。それはもしかしたら、あなたの家の横かもしれないし、ウチの前にできてしまうかもしれない。(あ、もちろん石原都知事閣下の邸宅前でも全然構いませんが…) 正直、この掛け金でもまだ釣り合わないかもしれません。だけど、今のところ、この条件下でしか僕は賛成できません。
56178	個人	自営業	60代	男性	福島の原子炉4機同時にメルトダウンし、放射能を今も放出し続けているのに原子力を使ったいかなるエネルギー調達も許されない。	原子力以外のエネルギーである、石油、天然ガス、シェールガスなど豊富なエネルギーを自由化し、電力会社の独占を即時撤廃すべき。他に燃料電池を使った送電利権を撤廃する方法も促進すべし。
56179	個人	会社員・公務員	40代	男性	ただちに原発をゼロにすることが望ましい(3シナリオの中ではゼロシナリオがベストだとは思うが、やはり選択すべきシナリオではない)。	1)原子力の安全確保と将来リスクの低減 今回の原発事故の被害の甚大さ、直下型大地震の発生予測を直視すれば、原発を存続させるという選択はあり得ない。ただちに原発をゼロにすべきである。また、使用済核燃料や放射性廃棄物の発生を抑制あるいは処理する技術の確立に見込みが立ってないことからも原発ゼロが望ましい。 2)エネルギー安全保障の強化 3)地球温暖化問題解決への貢献 再生エネルギーを増やすことでしか、2)、3)の実現はない。具体的には ・ビルや集合住宅などの屋上に太陽光発電パネルの設置を義務付ける ・規制緩和により、地熱エネルギー開発が可能な地域を増やす などを実施する。実現には一定の期間が必要だが、その間、国民の生活に支障は生じないと考えられる。現在、日本国内では原発エネルギーなしでも発電量は足りていることが判明しているからである。実現するまでは地球温暖化問題には貢献できないが、そのビハインドは実現後にキャッチアップする。 4)コストの抑制、空洞化防止 上記の再生エネルギー技術の実現までは電力のコストアップはやむなしと考える。しかし、たとえコストが上がっても、日本ではもう原発事故は起きない、というメリットが生まれることにより、産業や雇用の空洞化は起きないのではないか。
56180	個人	その他	20代	男性	原発をゼロにする、という方針を堅め、日本の科学の総力を結し、自然エネルギーへの移行を可能とさせる具体的な計画法案を国会で今年中にうちだすこと。	福島市の者です。祖父宅は浪江町でもう家も無い上に帰る事が出来ません。あなた方はたしかに我々国民が択んだ国民の代表です。国を動かすのはあなた方です。いますぐにでも自分の足で、福島の土地へ行き、そして自分の頭で考えてください。今回大勢のパブリックコメントが寄せられると思います。読んだところで国会は動かない、さらに強力な権威がおそらくあると思います。"気持ちはわかった、しかし私にはどうすることも出来ない、"と思うかもしれませんが、思っているあなたは確実にこの国の舵をとっています。進路を換える事ができるのはあなた方、ではなくあなたしかいないのだと考えてほしい。国民は何も出来ません。できれば、福島へきて、南相馬へきてそれから考えてみてください。なぜ、あなたは政治家になったのですか？はじめの頃の気持ちをきちんと思い出してください。 いうまでもないことですが、原発は必要ありません。なぜ、危険にさらされながら生きなければならないのですか？そして大半の被害は未来の子供たちを脅かしていくのです。どうか、国会であなたひとりであっても、本当の民意を伝えてください。政治家が、本当の政治家はどうあるべきなのか、いまこそ考えて、それを実行してください。
56181	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発反対です。	こわい。何が起こるかわからない。
56182	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ以外の選択肢は無い！	(1)エネルギーの地産地消 自然エネルギーによる地域内でのエネルギー自給率が100%を超えている市町村の数は57. 電力に限れば86にのぼる。 (2)原発は国策として始まり、今また国策の読みの甘さから福島の大事故を生んでしまった…人災だと私は考える。 (3)電力は足りている 原発を再稼働させなくても他の発電方法で十分に機能する。 例えば日本の水力発電は年間約4000億キロワットの能力があるのに稼働率は20%位。水量が足りない時もあるが、火力とバランスを取り、発電量をコントロールできる。 その上で未来に向けた太陽光、風力、バイオマス発電のレベルを上げ、そこで新しい雇用を生む。 (4) ●枯渇燃料のひとつ、ウランを使い電気を生めば生むほど核廃棄物は生まれ、再処理は到底無理な状態でゆくゆくはフィンランドの「オンカロ」のように地下に埋めるのがせいぜいだろう。 ●被曝を覚悟で命を削りながら原発で働いてくれている作業員…。こんなことを普通にしなくてはならない発電方法は必要なのか？ ●CO2をやり玉に挙げ原発はクリーンと謳うが、それは発電の時だけ…。核燃料を作る過程、また核燃料の処分をする時に大量にCO2を排出する。 また、54基の原発冷却に1年間約1000億トンの水を7℃も上げて海に戻している。これらも温暖化に影響しているのではないか。 ●低線量被曝のデータは無く臨床もままならない状態を「安全」と謳うのはいかがなものか…。 一時「ニコニコ笑っている人には放射能は来ません」などと赤子をあやす様な言葉を話していた人が、福島県民の被曝量を計るなと県内の病院に圧力をかけていた等、信じられない対応がまかり通る。 ●この他にもいろいろあるが、以上のような理由だけでも原発を止める理由としては十分ではないだろうか? 一般的に聞こえ来る推進の声の裏には巨大な原子力産業の欲がうごめき、人としてどうなのか?というところに戻ってきてしまう。 私個人が考える未来のエネルギーヴィジョン…それは私の様な電気をそれほど必要としない人間は太陽光などで自己発電し、冒頭に書いた様な地域に住み、どうしても電気が必要な都市に電気を集中させ配給のバランスを取る。そうすれば発電コストが高く、ゆくゆくは枯渇する危険を伴い、CO2を出し、海を温める原発は止められると私は考える。
56183	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオの選択を希望	ゼロシナリオの選択を希望します。期限を決めて全ての原発を廃炉にするべきだと考えます。
56184	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存率は0% 原発はできる限り早くゼロにする。 完全廃炉	国民の命、健康に被害を及ぼし、経済的にも破綻している原発は即時廃炉にしてください。
56185	個人	その他	40代	女性	全ての原発の即時停止と廃炉プロセスの開始、およびクリーンエネルギーへのすみやかな移行を求めます。とくに再生可能エネルギーの比率を高め、発電規模にみあったエネルギー自治を妨げない制度設計を望みます。	現行の電力コスト計算において、事故リスクや資源産出地域を含めた住民および労働者の安全や健康が十分に考慮されているとは思えず、コスト計算の方法を見直すべきであると考えます。原発の場合、一度の重大事故で取り返しのつかない損失が生じてしまうわけですから、立地の住民にとってこのようなコスト計算自体あまり意味をなさず、そもそも稼働すべきではありません。現在の経済システムは、グローバルな価値の不均衡にもとづく環境負荷の再配置によって成立しており、その持続性がおおいに問題視されています。新たなエネルギー構想は、新たな経済構想とともにすすめられるべきであり、その意味では再生可能エネルギーであっても広域システムからの離脱オプションつきで検討されるべきであるというのが意見の理由です。
56186	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。 自然エネルギーの割合はもう少し増やせないのでしょうか？	原子力エネルギーはゼロに！ 自然エネルギーの割合をもっと増やす努力を！ 日本人である前に、この地球に生きる人間として、環境／動植物に配慮して生きるのは当然のことだと思います。原始人の生活をしなくても自然や動植物と共存できます。
56187	個人	自営業	30代	男性	原発稼働に断固反対します。 0%を支持します。	そもそも事故云々以前に、原発は稼働することによって大量の海水を必要とし、また大量の温水を排出し続ける。これにより海水温は7度上昇し、様々な海の生態系に悪影響を及ぼしている。日本近海の多様な生態系を守る、生物学的見地から考察し、原発稼働に断固反対の意思を表します。
56188	個人	会社員・公務員	40代	男性	全原発の即時廃炉を強く求めます。	これだけの甚大な被害を出した事故が起き、国内のどの地域の原発においても同様の危険性があることがわかった以上、利用減少のプロセスなどふまず即時にすべての原発を停止し、廃炉するべきです。 唯一の被爆国として、あらゆる核エネルギーを放棄することこそが最も平和的な選択であるということを、今こそ世界に示すべきだと考えます。
56189	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。あらゆる原発の再稼働に反対し、稼働中の原発については即停止を求めます。	電力事情、および福島第一の事故などに関する情報の不透明さや遅さ。安全性を充分に検証しないまま、電力会社利益追求ありきの再稼働など。 日本における原子力発電のありかたは、信用できるところがない。
56190	個人	無職	70代	男性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56191	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。 その上で即時撤廃であるべきです。	エネルギー安全保障がうたわれているが、エネルギー以前の安全保障として原発の存在はアキレス腱となります。 国土保全、国民の安全の為、原発は即時停止を望みます。 エネルギー安全保障としては石炭の利用、日本近海の海底資源の探索強化が項目として必要でしょう。単純な石炭の排除では無く、クリーンな石炭利用の模索こそ戦略的です。

56192	個人	自営業	50代	男性	原発のない日本へ	現在も、日本の広範囲にわたり、食物、植物、国土から、福島第一原発由来の放射性物質が検出されています。 例えいかに微量であろうとも、福島第一原発の圧力容器内に有った物質が、 日本の多くの家庭の食卓の食材に付着している可能性もあるという、不自然かつあり得べからぬこの状況。 そして、その状況を引き起こす可能性のある原子力発電というものは、やはりすみやかに廃止するべき。 日本じゅうの国民が、一部企業の経営問題のためだけに、原発維持、 および原発再稼働につきあわされるというのは、このうえなく理不尽。 原発のない日本へ
56193	個人	会社員・公務員	40代	男性	0選択　ゼロシナリオ	安全性が確認できていないにもかかわらず、市民の命を犠牲にして原発を推進するのはあまりにもおかしい。政府は電力会社と経済界に踊らされているということも誰もが知っているのだから、早急に全廃を進めて欲しい。当然、再稼働もこれだけ反対されているのだからやめて欲しい。
56194	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ（原発即時停止）	若い世代として、将来に核の問題を先送りするだけの「ゼロシナリオ」以外の政策を指示する事は出来ません。 原発は全て停止し、具体的な廃炉の仕方などの検討、及び放射能汚染の調査と対策に集中するべき。
56195	個人	その他	30代	男性	「原発依存度0パーセント」を主張！	原発依存度0パーセントを主張します。 国内の原発がすべて停まってしまうと電力不足を初めとして、 現在の生活が維持できないとの意見もありますが、 福島の事故をうけて、この問題に関心をもち、 自分なりにいろいろと調べた結果、やはり脱原発が必要だと思います。 どんな燃料にもメリット・デメリットありますが、 原発はデメリットが大きすぎます。 発電後のゴミを処理する方法がないというのも、 未来の日本に責任を丸投げしているようで とてもやりきれない気持ちになります。 長期的に日本のことを考えるなら、 原発はこれ以上続けるべきものではないと思います。
56196	個人	会社員・公務員	40代	男性	再稼働絶対反対「「原発ゼロシナリオ」で即時0%を切望します	発電コストよりも人命、地球環境、子孫の為にクリーンエネルギーに転換させていく政策をお願いします。
56197	個人	その他	30代	女性	2030年までに、原発比率をゼロにすることを求めます。	地震の多発する日本、そして責任の所在が曖昧な国家が原発を扱うことは、極めて危険に思えるからです。国家戦略などの、恐れや対抗心では平和や安心な暮らしは望めません。日本の戦後復興も、皆の汗と努力の結晶です。脱原発は、この、日本人が得意とする、汗と努力で果たすことが出来ると思っています。そこに、明るい未来があるのではないかと思います。
56198	個人	その他	50代	男性	原発を魔女狩りの魔女にしてないか？ 冷静さを欠く現在の反原発，原発即時廃止論には反対する。 これら急進的な論を展開する人々は、廃止の影響について、具体的な提案や行動を伴わなければ無責任と考える。	（1）原発即時廃止に伴い予想される電力供給の不安定やそれに伴う産業の海外移転、稼働率の低下、賃金の低下、失業率の上昇などの経済的影響および社会的不安がどの程度であり、それにどのように対処するのか、あるいどの程度受け入れるのかについて、ワークシェアリングする、電力に依存しないライフスタイルを変えるなど具体的に提案や行動がなされなければならない。 （2）原発だけが危険な存在であるという思い込み、あるいはその方向への誘導を行っていないだろうか。例えば、過日の反原発のデモの際、「たかが電気のために、命を犠牲にしてはならない」という坂本龍一氏の発言が報道されていたが、火力発電は気候変動を促進し、いわば「緩慢な殺戮」の共犯者として「命を犠牲」にしていないだろうか？水力発電は、ダム建設に伴い、周辺環境を著しく破壊し「命を犠牲」にしていることは、明らかであろう。であるならば、命を犠牲にしないため、ほぼすべての発電を止めなければ理屈にあわないはずである。 　また、放射性物質による被爆のみを危険視している風潮も気になる。農産物や海産物は被爆量を計測し、僅かでも危険視している一方、マグロなどの大型回遊魚の水銀汚染については極めて無頓着あることは、非常に危険に関して以上にいびつな状態にありはしないだろうか？ 　これらは、極端な事かもしれないが、要するに、原発や放射性物質を絶対悪とみなさず、冷静に相対評価し、程度問題として捉えることが必要ではないだろうか？
56199	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを選択します。	福島の事故により日本はもう原発で電気を作る事に向いていないと思ったから。即時全原発廃炉、原発ゼロに向けて動いてほしいです。
56200	個人	会社員・公務員	30代	女性	「ゼロシナリオ」を更に検討し、省エネ対策などを充実させていただきたいと考えます。	原発の存在そのものが福島原発事故と同様の事故が起こるリスクをはらんでいると考えざるを得ず、その事故の甚大な被害状況を考えると原発への依存度はゼロを目指すべきである。 ゼロシナリオに関しては省エネに関する見込みが甘いように思う。震災以降の国民の省エネに対する意識や節電の実績を考えると更なる省エネの実現、ひいては温暖化防止が可能ではないかと考える。 原発比率をゼロにしつつ更に環境保護や省エネ対策を盛り込んだ斬たな政策を検討していただきたい。

整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
56201	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオの意見に賛成です。	今の現状が守れてこそ、経済活動もできている。この現状が原発の事故によって一気に崩れていく。崩れていくだけならまだしも、本当に大きな事故が原発のある県で何件か起きれば日本では住めなくなり、世界への環境汚染も起きる。 福島県の一部の地域で住めなくなったこと、子供が外で遊べなくなったことで本当にはっきりしたと思う。もう二度とこのようなことがあってはならない。 そして、原発の燃料の処分の仕方もないとなると、何世代先の人たちに押し付けるのか？これ以上無責任なものは残せない。この事故による、農水産物の被害や、今後の福島県民への健康管理、保障、東京電力も会社存続も国の助けが要る、決して安価な電力ではない。 原発の問題だけではなく、日本の経済のあり方を見直さなければならないと思う。輸入に頼っているものを減らしていかないといけないと思う。海外に仕事を持っていき、国内での雇用率が下がる。森林は上手く利用、手入れされておらず この先このままの維持ができるのか疑問だ。休耕田も増え、自給率も40％以下だ。近い将来までは成り立つが、次世代へ引き継いで続けていくことが難しい。 自然に恵まれたこの日本を上手く利用し、雇用を増やして、輸入に頼らない国づくりをしないといけないと思う。 間伐材を利用したバイオマスや、休耕田を利用した太陽光発電など増やして行くべきだと思う。 本来電気と言うものは、決して安いものではないと思う。節約して賢く上手く利用すべきだと思う。2030年より早く原発ゼロの国づくりをし、その技術を他国に輸出し、自然と共生している国として、世界のお手本になってほしい。そんな国であってほしい。
56202	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は直ちに再稼動をやめ、古い原発や地震・津波の危険性の高い場所にある原発から計画的に廃炉にすべきと考えます。想定内で原発のリスクを考えるのはもう止めにしませんか。	1．電力不足ではない 夏の電力不足を心配し、大飯原発が再稼動されましたが、現在暑さのピークを迎えても電力に余裕があります。原発を再稼動する一方で火力発電を止めたのを知り、電力不足をことさら煽ることが、原発を動かすための方便に思えます。 2．原発のコスト 原発を止めると電気料金が上がると言われていますが、原発が将来必要とするコストを先送りすることにより、目先の料金が安く見えているだけです。想定内のリスク計算で原発のコストと電気料金を語ることはもうやめましょう。 3．計画的な廃炉の必要性 今回の福島の事故をきっかけに、原発を運用する優秀なスタッフの確保が難しくなっていくことが考えられます。自動化に限界のある原発を、熟練したスタッフが現役のうちに、ただちに廃炉にすることこそ、将来の世代にリスクを残さない最善の道です。この作業を先送りすることは、自然災害によるリスクだけではなく、純粋な人災の可能性を大きくするだけです。 4．人がコントロールできない事故のリスク 原発のリスクは想定外の事故が発生したら人が止められないことにあります。その点においては、原発が何十年もの間、安全面での進化が無かったことも同時に物語っています。想定外の事故は起こってからでは遅いのです。将来の世代にそのリスクを残さないことは、今大人である我々の責務であると考えます。
56203	個人	会社員・公務員	50代	男性	即刻、原発ゼロにすべきです。すでに原発がなくても電気が足りていることが明らかになりました。人の命を最優先し、放射能を無害化できない原子力利用を止め、再生可能自然エネルギーに切り替えるべきです。	今年の夏も国民・企業全体の節電対策により、原子力に頼らなくとも電気供給が可能となっています。福島原発事故を見るに、一度事故を起こすと、その収拾がまならないのは明らかであり、廃炉するにも何十年とかかります。また、使用済み核燃料の処理方法が無く、ただただ地球の地下深くに格納するくらいの方法しかない現状、子々孫々まで脅威を与える何者でもありません。 また、全国に設置されている原子力発電所のほとんどに、活断層の存在があります。危険極まりない現状があります。どうしてそのような場所に設置されたのか、認可した国の責任は重いと考えます。福島原発事故調査の最終報告では、安全規制を強めていくはずの原子力安全・保安院（経産省）が原子力安全委員会に「寝た子（国民）を起こすな」とせ迫り、防災指針改定の検討を凍結させたとあります。原子力行政をめぐる行動には、多くの不備・安全無視があり、昨今、そのことが明らかになってきました。本当に国民の安全を考え、後世に危険な置物を残すことなく、人間に優しい、自然エネルギーへ転換するべきです。そのために、国費を費やすべきです。今、必要なのは新幹線ではありません、真に国民のための公共事業を行うべきです。
56204	個人	自営業	50代	男性	原発不要	これ以上、危機に陥る可能性のある原発は不要です。
56205	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年という時期設定にとらわれず、可能な限り早い段階での、脱原発（0%シナリオ実行）を支持します。	(1)電力は足りている 現状ピーク時電力でさえ、電力は足りているという数値の根拠があります。原子炉以外の発電所をフルに活用することで、ピーク時の電力需要を超える発電量が確保できる。 (2)原子力エネルギーは安くない 原子炉以外の発電所を稼働させる場合コストが高くなるというのが、再稼働の強い動機付けになっているが、原子炉のコストがやすいというのは、廃炉コストや廃棄物処理コストを不当に安く見積もっており、それらを含めた場合、原子力は安くない。 (3)電力コストを引き受ける準備 原子炉を停止することによって短期的に電力料金が高くなるとしても、引き受ける準備がある。ただし、その場合でも総括原価方式やLPG原油価格の連動の見直し、発送電分離などによるコスト下げ努力をすすめるべき。 (3)原子炉稼働に伴う困難（平時） 事故時にかぎらず、大量の被曝労働者を必要とする原子炉の稼働には反対である。過去の被曝労働者に対する調査や保障をすすめるべき。 (4)廃棄物処理に関する技術的困難（平時） 放射性廃棄物の処理には10万年かかる。自分たちの世代内で処理できないゴミを将来世代に残すべきではない。原子力はこの意味で持続可能なエネルギーとは言いがたく、現状の技術を前提にする限り支持できない。 (5)災害等にともなう事故発生のリスク 自然災害等による事故にともなうリスクが、他のエネルギー手段とは比較にならないほど甚大であり、回復不可能である。外部電力の確保や津波対策もなされないまま再起動された大飯原発のような選択はありべきでない。 (6)代替エネルギーへの積極的支持 太陽光・地熱・海上風力・シェールガス開発等、代替電力を開発することは他国の例をみてもわかるように、むしろ長期的にみて、経済合理性がある。 (7)補足：原発エネルギーの比率が0%になるまでの期間において、原子力エネルギーを拒否する国民的選択にこたえて電力の自由化をすすめるべきである。政府は現状の電力の地域独占を改め、個々の世帯が原子力に依存しない代替エネ期限の電力を選択する選択肢を用意するべき。
56206	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロを選択します。	原発を残す、又は増設するためには、解決できていない問題が山積みです。 生命に関わる問題を、明確にせず、不透明な部分を残したまま、原発を押し進めてきた日本政府のやり方をもう一度見直すべきではないでしょうか。 まずは、はっきりとした方向性を示して頂き、それに対してのリスクを負う覚悟を国民一人一人に持ってもらう。そのことが大切だと私は考えます。
56207	個人	会社員・公務員	20代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発は0にすべき」 《政府は再生可能エネルギー開発に尽力し具体的なヴィジョンを国民に示すべき》	募集の前提が「2030年までは原発が維持される」ともよみとれるので、納得できる提案ではない。次の事故はもしかしたら明日起こるかもしれない。そうすれば全てが終わる可能性があります。 政府はできるだけ短い時間で原発を0にし、自然エネルギー比率を増やすヴィジョンを明確にし、国民に説明すべきです。
56208	個人	その他	60代	男性	原子力の廃止。福島の徹底した事故究明。自然エネルギーの活用の根本的政策。	福島の汚染を考えた時、充分な事故の検証もされぬまま原子力の再稼働に走ったのは間違いである。根本的な事が解決されていない。企業との癒着ともとれるし、原爆投下の広島のことを考えてみても二度となってはいけない状況である。国民もバカではないし、節電の努力もする。根本を忘れずに原子力に頼らない政策をとるべきである。
56209	個人	家事専業	30代	女性	残念な故郷になってしまいました	いわきの両親も大熊町を追われた叔母も、いままで漠然と持っていた未来への希望が漠然とした不安と諦めになって元気がありません。事故のない原発は作れなそうなので、電気を諦めます。元気を選びます
56210	個人	無職	30代	女性	ひとつのエネルギーに依存すると、価格高騰などで何か問題があったときに心配なので、原発は25%程度持っているべきだ。	反原発の活動家は、彼らの掲げる旗から、革マル派などの過激派極左、中国、韓国など特定アジア（反日国家）とつながりがある。脱原発デモでは組織動員がかけられ、日当が支払われている。プラカードの裏にはハングル文字が書かれていた。彼らは日本の原発は徹底的に弾圧するが、中韓の原発には、そちらのほうがより一層不安定で危険であるにもかかわらず、抗議を行わない。現に韓国は地震も津波もない状態で大停電を起こし、今夏まトラブルを起こし緊急停止している。（日経新聞7/30）放射能はむしろ朝鮮半島や中国大陸から飛来する恐れがある。にもかかわらず脱原発活動家やデモ参加者は、「日本の原発」のみに攻撃対象を定めている。報道はヒステリックに被爆を煽るものが大半であり、関連してBPOに指摘された日本テレビの水報道における倫理違反などからみても、脱原発に利する勢力がメディアのスポンサーになっている事実がある。メディアと反原発活動家が東電と福島叩きに大活躍する裏で、東電の原発技術者の引き抜きに中韓が躍起になっている。脱原発にはエネルギー安全保障（エネルギー資源の外国依存度、輸入先分散化）と国防の側面がある。また、代替エネルギーと目される自然エネルギーは、安定した電圧を保てないがゆえに日本経済にとって使い物にならないことがわかっている。福島の例で明らかになったことは、原発の危険性よりも、安全管理の問題であり、大地震大津波であっても技術的には問題がなく、むしろ直後の対応の不備による人災だった。こうした利害を鑑みて、国益、国防の観点から原発の必要性を訴えたい。 というわけで、原子力発電の割合は15%でも25%でもいいが、エネルギー安全保障の観点から、発電方法を散らしておくことが肝心で、原発を即0にというアイデアには断固として反対します。 「驚くほど損傷少ない」 女川原発のIAEA調査 2012.8.10 18:48産経 　東日本大震災の揺れに襲われながら、被害が少なかった東北電力女川原発（宮城県）を訪れた 国際原子力機関（IAEA）の調査団が10日、都内で記者会見し「驚くほど損傷は少なかった」との 調査結果を公表した。 　団長のスジット・サマダー耐震安全センター長は 「地震より津波の影響が大きかったが、三つの原子炉建屋も安全システムもすべて健全に機能した」 と評価。「女川で得たデータは世界中の原発の安全性向上に役立てたい」と述べた。 http://sankei.jp.msn.com/science/news/120810/scn12081018500003-n1.htm
56211	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0%支持します。 即時廃炉、全部の原発停止	事故が起きたら大変なことになります。 どれくらいの放射性物質が海に流れたのでしょうか、更にきちんと事故の収束が出来てなく、今も放射能ダダ漏れです。 何かあっても対応出来ないものは、即刻停止すべきです。
56212	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発0シナリオ、いっときも早く、全ての原発を廃炉にすることを願います。	昨年の福島第一原発事故により、原発は多くの人々の生活を奪い、また多くの人々、産業を危険にさらすことが明確になりました。 何十年も、住み慣れた土地に戻れないような事態を生み出す可能性がある発電方式が、本当に合理的だとは思えません。 原発を必要としない社会を目指すことが、新たな産業を生み出すことになると信じています。 長い長い時間を要する廃炉までの道のりを考えれば、技術確立、最終処分問題含め、廃炉という明確な決定が必要だと思います。 原発はいりません。
56213	個人	自営業	30代	女性	原発に頼らないエネルギーの開発にどうか力を入れて頂きたいです。	日本が大好きです。 子供もそのまた子供も放射能汚染の心配のない安全な国に住みたい。
56214	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	福島原発事故が示した、1度でも管理に失敗すると甚大な悪影響を及ぼし得る原子力発電所は、今後ゼロにしたほうが良いと考えられるからです。
56215	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。エネルギー社会の変化による痛みを覚悟で 二度と原発事故の惨禍を繰り返さないよう、原発ゼロを希望します。	今なおチェルノブイリ事故の影響も明らかにならず、福島の事故も解明されず、核廃棄物の処理方法もない中で、私たちは事故の生き方を変えるべきです。戦後、平和国家を目指したように、事故後、原発ゼロ国家を目指すべきです。
56216	個人	その他	60代	女性	選択肢(1)ゼロシナリオを強く要望する。 原発が止まっても、危険はなくならない。 最終処理できない核のゴミをためこむ。 被曝労働者の犠牲の上でしか成り立たない。 このような原発はあってならない。	選択肢(1)ゼロシナリオでいくべきです。 原発が止まっても、そのあと何年もの間被曝の危険にさらされます。 一刻も早く原発を止め、廃炉にする作業に入るべきです。 事故が起こらなくても問題は山積みです。 最終処理の方法がわからず、核のゴミをため込み、これ以上増えていたらいったいどうするというのか。 正常に動いている時にも被曝労働者の犠牲の上でしか成り立たない。 差別と犠牲の上にある、このような原発はあってならないものだと思います。 代替エネルギーはどうするのか、という議論にすぐなるけれども、そもそもこんなに電気を使う必要はないと思います。 省エネで上手に電気を使いながら、自然エネルギーの研究を強化して自然エネルギーにシフトすることを急ぐべきだと思います。
56217	個人	パート・アルバイト	30代	女性	脱原発、原発ゼロにする。省エネ、火力、その他の自然エネルギーで電力をまかなう。	原子力は、地震が頻発する日本には危険すぎます。福島原発のような事故が起こったとき、想定外だった、という理由では許されない被害をうみます。日本国民の生活の根底が揺らぎます。そのような危険性をもった原発に頼るのは、即刻やめるべきです。また、地震がないとしても、何万年も管理しなければならない危険な原子力廃棄物を今後どの様に処理、管理してゆくかも全く不透明です。今こそその場限りのエネルギー政策をやめ、将来をも見据えた本当に安全なエネルギー政策に変換する時です。
56218	個人	その他	40代	女性	原子力発電への依存は「ゼロシナリオ」を選びます。 福島県の東京電力原子力発電所の事故は、地震と津波の結果は明らかです。そうしたなかで原子力発電のエネルギーを基盤に暮らしていくことは大きな不安です。	提示された3つの選択肢のなかでは、「ゼロシナリオ」ですが、内容には不満があります。CO2削減の温暖化対策、省エネ、自然エネルギーへの移行などに対して見通しが甘く、また原発についても依存度を「ゼロ」としているものの、計画を実行に移して行く経緯などが明らかではなく、満足できるプラン／計画書とは思えません。具体的なことが見えてきません。 また地震や津波、火山の噴火など、今後も起こりうる自然災害時への対応、対策も明らかではないところで、福島原発のニの舞となるような状況下で原子力発電を進めようとすること自体、現実的ではないと思います。
56219	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	陰謀論などは信じませんが どう考えても、事故コストを考えると 原子力発電は刻に合わないじゃないですか。 火力に頼りすぎると石油の消費がどうとか 環境がとうとか言いますが 原発事故のほうがどんだけ環境を破壊するか、 これだけ地震の多い国土で、原発を動かすほうが よっぽど危険だと思います。

56220	個人	法人等	50代	男性	(1)。すべての原発や高速増殖炉の廃炉時期については、即時停止を提案する。採掘・運転労働者の被曝、運転リスク、核のゴミの超長期的保管、のいずれも未解決であり、人類が採るべき技術ではない。	【意見】 重大な欠陥を不可避的に内包する核エネルギーの利用を廃絶すべきである。核エネルギーゼロに向けた筋書きの提案を求める。具体的には以下を要求する。 1)運転中の原発(もんじゅを含む)はこれをただちに停止し、停止中の原発はこれをただちに廃炉とする。 2)エネルギー節約型技術の導入を促進する。具体的に2例を挙げる。 2-1 熱エネルギーからの電力資本の撤退。エクセルギーの考え方を積極的に取り入れ、電気が必要なものにのみ電気を用いるようにすること。 2-2 自動車から、船舶・鉄道などへの輸送手段の転換。公共交通インフラの拡充。 3)補助金・課徴金等による技術開発の誘導などによって、分散型自然エネルギーの開発・導入を促進する。 【理由】 政府が、3つのシナリオのうち、核エネルギー廃絶を前提としたシナリオを1つしか示していないので、残り2つのシナリオが如何に非現実的な考え方であるかを示すため、核エネルギー廃絶が必要な理由に絞って述べる。技術的理由と政治経済的理由とがある。また両者には密接な関係がある。 まず技術的にみると、核エネルギー利用は、原料採掘(川上)～運転(川中)～廃棄物処理(川下)のいずれにおいても、重大な損失を人類にもたらす欠陥技術である。また、放射性物質の崩壊によるエネルギーの大きさは、自然界の物質代謝系でやりとりされるエネルギーの大きさに比べ、桁違いに大きく、したがって核エネルギーは「爆発させることが最も効率的な資源を、無理してゆっくり燃やす」非効率な性格の技術である。 次に政治経済的にみると、軍事利用との親和性、技術的秘密主義、強制的なリスク志向は、民主主義と相容れず、自由主義とも相容れない。近代国家の目指す方向とは異なるものである。 つまり、危険で効率の悪い技術である、という技術的理由と、核エネルギーの利用そのものが民主主義・自由主義と真っ向から相反するという社会的理由によって即時廃炉を要求する。 以下、核エネルギーの欠陥を詳論する。 （1）技術的理由 1)川上の問題。労働者をまともに処遇すれば、本当は原料費が高い。 ウラン鉱石は途上国を中心に存在し、採掘現場の被曝労働が存在する。採掘労働者の健康に配慮すればコストが高くなる。 2)川中の問題 a.被曝労働 運転現場においても、何段階もの下請け構造のもと被曝労働が明るみに出ているにもかかわらず、一向に改善がみられない。これら労働者をまともに処遇すれば、運転費用が嵩む。 b.大事故発生リスクの高さ 日本の保険会社が、原発事故保険の査定において、重大事故発生確率を「2010炉年に1回」と見積もっていることが報道された（2012年7月4日、東京新聞）。これは40炉を運転すれば50年に1度、福島クラスの大事故が発生することを意味する。50炉を運転すれば40年に1度ということである。日本の原発は敦賀湾など集中立地型であるから、どこか1箇所で重大事故が起きた場合、福島同様、制御のためのマンパワーが不足することになる。 もし、再稼働をやめ、すべての原発を停止させても、全国の原発内に仮保管されている燃料プールの冷却系がいつどのような原因で損傷し大事故が起きるかわからない。ましても再稼働させればそのリスクはさらに増える。 政府の公式文書である原子力白書（2002年）ですら、「計画や設計段階で事故の遠因が埋め込まれており、『緊張感をもって日常業務を行っても防ぎきれない』」と述べ、設計施工段階での構造的欠陥により、運転段階でどんなにくふうしても事故は防げないことを明言している。 3)川下の問題：核のゴミは永遠。 「トイレなきマンション」と言われるように、核のゴミの超長期的保管方法がいまだに確立されていない。何万年も先の子孫にリスクを押しつけることはこれ以上許されない。 （2）社会経済的理由 4)軍事利用から独裁国家へ 文科省の推進する核燃サイクル事業においては、反応性のきわめて高く制御の難しい1価化合物であるナトリウムを使用しているのみならず、原子爆弾の原料となりうる猛毒プルトニウムが、「非核三原則を堅持する」との首相声明（広島、2012年8月6日）にもかかわらず、蓄積されている。 また、2012年6月20日に成立した「原子力規制委設置法」の附則にて、委員会の設置目的に「安全保障」が追加されるなど、軍事目的のための「規制」へとレールが敷かれている。言語道断である。 5)エネルギー民主主義に反する 小学校の社会科の先生が原発の正門前で撮影しようとしたら止められたという。平和利用と言いつつ機密保持が必要な技術は、民主主義と相反する。 経済学の言葉で述べれば、国民には、リスク愛好者とリスク回避者の両方がおり、通常、お互いの選好の自由を認め合っている。ところが、原発は、国の意思決定により国民全体を強制的にリスク愛好型の選択へと追い込むのであって、これも民主主義・自由主義のルールに真っ向から反するものである。 6)1992年のリオ宣言に反する 技術的理由の「3)」は、世代間衡平の原則に反する。 以上の理由から、消去法で(2)(3)のシナリオは絶対にありえない。【意見】の「2)」「3)」で述べた方法に加えて、政府が核エネルギー廃絶を宣言すれば、市場の技術革新や、消費者のエネルギー節約を誘導する効果が期待できる。ちなみに、現在原子力産業で雇用されている技術者・労働者は、廃炉のために必要な人材として雇用が保障されている。
56221	個人	学生	20代	男性	原子力発電自体に反対します。 その観点から2030年ゼロシナリオを支持し、それよりも可能な限り早期に原発ゼロを実現すべきと考えます。	東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、原子力の安全神話が崩壊し原子力をコントロールすることがいかに困難であるかが明確になりました。政府は「より安全な電気が欲しい、使用済み核燃料の問題を子供たちの世代におしつけたくない」などの国民の声を聞き、しっかりとした政府方針を立てるべきと考えます。 特に、国民生活や産業に影響を与える電気料金の上昇に関して、原子力発電の有無による差異はほとんどありません。 （参考:http://jref.or.jp/images/pdf/20120810/20120810_scenario.pdf ） むしろ、電力小売の完全自由化・発送電の所有分離などの施策を早期に実施し、電力会社間の競争を促すことの方が今後の電力料金の上昇を抑えることに役立つのではないでしょうか。 また、競争環境整備と安定供給のために国内送電線の整備はもとより、海外との送電線の連系が必要と考えます。 原子力の代替としての自然エネルギーは、化石燃料やウランのような輸入に頼らない純国産エネルギーであり、導入コストの回収が終われば他の電源より発電コストが安いという特徴があるため早く導入すればするほど2030年以降の電力全体のコスト低減に役に立つと考えます。 原子力ゼロを現実のものとするために、今この時点から最大限導入する必要か?あります。自然エネルギーには頼れないという意見も有りますが、日本は自然エネルギーの宝庫であり、その発電量もコストも著しく改善するものと思われます。 さらには、スマートグリッド、スマートメーターの導入により需要家サイドでのイノベーションを促進し、省エネや ヒ?ークシフト等の施策を競争環境の中で創出していかなければなりません。 我が国は、戦後の石炭から石油への転換、オイルショック後の脱石油政策という大変困難なエネルギー革命を果たしてきました。 原子力ゼロ社会の構築は再度の大きなチャレンジです。しかしそれらの難題の度に我が国は国民が一丸となって産業構造の変革と技術革新によって新しい社会を構築し世界をリードしてきました。 いまこそ、国が大きなビジョンを示し一丸となって取り組むことで原子力のない社会を目指すべきで、またその実現は十分に可能であると考えます。
56222	個人	学生	40代	男性	原発問題は国民の命の問題です。	国家とは国民の生命及び財産を守る為に存在しているはずです。 福島原発事故で明らかになったのは、日本列島では原子力発電は危険であるという事です。地震の活動期とも言われる現在、原発を稼働させる事はリスキーな行為です。原発問題はエネルギー問題、経済問題で語られるべきではありません。日本国政府には我々、日本国民の生命及び財産を守る義務があるのです。 即刻、原子力発電を止めていただきたい。
56223	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年目標ではなく即刻の原発ゼロを目指すべき。原発の甚大なリスクを経験した今、一刻も早い原発ゼロに向け全力で取り組むべきであり、国民の真の豊かさ、幸福とは何かを今一度見つめ直すときである。	2030年目標ではなく即刻の原発ゼロを目指すべき。原発の甚大なリスクを経験した今、一刻も早い原発ゼロに向け全力で取り組むべきであり、国民の真の豊かさ、幸福とは何かを今一度見つめ直すときである。
56224	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。原発即時停止、全基廃炉を望みます。	電気供給は絶対に原発でなくてはならない訳ではありません。他にも方法があると思います。 大量の放射性廃棄物のような負の遺産をこれから生まれてくる子供たちにこれ以上押し付ける訳にはいきません。 外国で原発を使うことと、日本で使うことは同じではありません。 これだけ地震の多い土地では無理だと思います。 原発はいりません。
56225	個人	無職	60代	男性	2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロにすること、核燃料サイクル政策に関しては使用済み燃料を直接処分する政策を採用する。ゼロシナリオに賛成。	原発の安全神話は、福島第一原発事故により崩壊しました。放射性物質が拡散され立地自治体にとどまらず境界を越え被害がどこまで及んでいるのか、今なお解明できない状況にあります。 チュルノブイリで実証済みです。使用済み燃料さえ、放射能を出し続け、確実に収束する処分方法さえ見いだせない状況下にあります。核燃料の使用は、人類の滅亡につながる充分な恐れがあります。
56226	個人	自営業	50代	男性	原子力発電所が全発電量の25%以上を占めることを現状ではやむおえない事と認めます。そして核融合の電力実用化を国の指標にすべきです。	原子力発電所が全発電量の25%以上を占める事を支持します。 ただし福島の事故で判明した日本の原発の問題を徹底的に改善するの大前提です。 将来エネルギーとして核融合発電が理想的であり、これは日本のみならずこれから100億以上に増加する人類にとっても日本が貢献できる技術になると思います。 最終的に核融合発電を実用化するまでは核分裂エネルギーを使わざるおう得ない、核融合の実用化研究の推進を計るべきと存じます。
56227	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は直ちに廃止してください。	原発が無くても電力は足りていることがはっきりしました。 事故による環境破壊は、計り知れないものがあります。 今回の事故により放射能の安全基準をころころと変えような 政府のやり方は、信用できません。
56228	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電はやめていただきたい	原子力発電所を全て廃炉にしていただきたいと思います。 先の東日本大震災で、福島第一原発事故が起こり、近隣はもちろん汚染は他の地方や海にまで広がり、いまだに汚染され続けている状態です。 しかも、まだその事故原因の検証が終わっておらず、また東電や政府の対応の問題点も明らかにされていない状況で、原子力発電所を稼動するのは間違っていると思います。 危険にもかかわらず原発を強引に稼動させる(ように国民の目には映っています)のは、さまざまな利権がかかわっているためだということも分かってきています。 命と健康保険より大切なのです。それがなければ、元気な国も作れません。また一部の人間の利益のために他の人々が危険にさらされたり金銭的に負担をさせられるのは、納得がいきません。ただでさえ不景気でみんな生活が苦しいのです。こんなことで国が元気になるはずがありません。 もちろん電気が必要なことはわかっています。しかし、原子力に頼らず他の方法にシフトしていくべきです。今の国や電力会社は、建前上は、再生可能エネルギー等にシフトしていくが今は電力が足りないから原発を再稼動する、と言っていますが、実際は他の思惑が絡んでいるとしか思えません。 原発に限らずこれからの新しいエネルギーに関しても、独占的なものであってはならないと思います。公平に競争させて、企業も利用する人にも恩恵（お金や、安全性や、環境性など）があるように、国が仕切って欲しいと思います。 そして原子力は核です。日本は世界の先陣に立って核廃絶を訴えるべきです。 どうかよろしくお願いいたします。
56229	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はまず停止。停止してから考える。そうしないとなんだかんだ稼働する理由が ついてしまう。	原発はたとえ事故が起きなくても、100%安全でも、即刻停止するべきとかんがえます。原発の存在自体が地域や家族、友達を分断してしまうからです。いくら過疎地が潤ったとしても、ご近所が賛成と反対派に分かれてギスギスするのはなんと悲しいことか。上関で長年起きていること、いま福島で放射線被曝に対して起きていることを思えば、原子力エネルギーそのものが人間にとって手に余るものなのだろうと思います。経済に支障はむろん出るでしょうが、その痛みはみんなで受け止めて、みんなで我慢して、価値観の転換をはかるべきです。
56230	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを選びます。 使用済み核燃料を、増やさない。 処理の方法が分からない毒を、抱えない。	ゼロシナリオを選びます。 原子力発電により、発生する使用済み核燃料は、処理の出来ない物質であることを 本で知りました。 また使用済み核燃料の処理施設についても、世界中の誰もが、自分の暮らす国、土地の建設を反対しております。 どちらも増やさないことを願います。 私は難しいことは分かりませんが、原子力に頼らない時代があったのだから、様々な問題があると思いますが、暮らしていくことは可能だと思います。 そのために、私たちも日々の生活の中で、節電を行なうなど 原子力発電に頼らない生活を送る意識をしていく必要があります。
56231	個人	その他	50代	男性	2030年原発ゼロシナリオを支持します。	安全性と使用済核燃料処理に大きな問題のある原子力発電は撤廃すべきと考えます。
56232	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	もっと省エネや自然エネルギーの推進を、して下さい。原発事故で、空気も水も食物も汚染され、放射能汚染にビクビクしながら生きるのは、ストレスが大きいです。原発による発電なしでも、電気は足りています。どうして、たかが電気の為に、放射能まみれにならなきゃいけないんですか？これから私は子供を生みたいのですが、政府の愚策のせいで自分の子供が奇形児になったり、障害児になったら絶対に許せません！健康で文化的な最低限度の生活（＝生存権）位しっかり保障すべきです。全原発、即時排炉にすべきです！！
56233	個人	無職	70代	女性	2030にゼロに賛成。だが、それでは遅すぎる。	努力してもっと早い時期に原発をなくしてほしい。あんな危険なものは日本には不要。
56234	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオが良い	原子力発電は無理だと思います。 理由は (1)僕たちが大人になった時にも水素爆発した福島第一原発がきれいにすることを続けてしなければならないからです。 (2)トイレのないマンションのようなものだという原子力発電所はやめてほしい。トイレのないマンションにあとでトイレが作れるかもしれないと言っても住むことは無理だからです。 (3)学校で温暖化の勉強をしました。地球は守らなければならないと思います。ゼロシナリオでCO2が多くなるのはどうしてかよくわかりませんが、みんな力を合わせて原発も止めて温暖化も防ぐようにするように考えていってほしいです。

56235	法人・団体等	自営業	30代	男性	人口減少による需要減退、世界の人口増によるエネルギー資源の価格高騰、人間の寿命のスパンでのエネルギー循環、地球温暖化対策、を考えると、2030年までに順次0%にするべき。	2030年には0%を目指すべき。 ●需要の減退 国立社会保障・人口問題研究所の人口予測によると、2050年には1億人を割り込み、2060年には8700万人を割り込むと言われている。 http://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/newest04/gh2401.pdf このような状況で、将来的には電力需要が減退する可能性は非常に高いと思われる。 ●エネルギー源の価格高騰 また、2050年には世界の人口と一人あたりの電力需要が大きくなり、石油・石炭などの化石燃料だけでなく、原子力も含め、世界各国での資源・エネルギー獲得競争の激化と価格高騰が予想される。 それまでに、国内でのエネルギー源確保が安全保障上、必須と考える。 ●人間の寿命のスパンでのエネルギー循環 何千万年も前に降り注いだ太陽エネルギーを地中に蓄えた化石資源は、今後数百年で必ず枯渇する。 それよりも、人間が生きているスパンでのエネルギーである太陽光、風力、バイオマスなどのエネルギー源開発に取り組むべき。 将来的には全世界でそうなるので、先に押さえるべき。 ●地球温暖化対策 何千万年もかけて貯え、地中に封じ込まれたエネルギーを、地表で燃焼させてエネルギーを取り出せば、地表が加熱するのは自明の理である。 化石エネルギーがなくなるまでに、次のエネルギーにシフトするべきである。 ●原発からの脱却 上記のみを鑑みると、即刻の原発全廃となるが、産業界なども考えると、 ・新設／新規稼働の原発稼働を認めない ・法定寿命の延長を行わない ・寿命が来た原発の廃炉を確実に行う が妥協点と考えます。 2030年10%、2040年0%が適正と考えるが、2030年に0%か15%との選択しなので、0%を選択します。
56236	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。原発即時撤廃してください。廃棄物の処理もできず、ただ湯をわかすだけのために環境と命を壊す、40年前の遺物を世界から押しつけられて、新産業に遅れをとれば、日本は終わりです。	原発ゼロシナリオ（唯一の脱原発シナリオ）を支持します。 即時廃炉し、自然エネルギーを中心にしたエネルギー産業と持続可能な社会作りに方針を転換してください。 そうでなければ、世界に取り残され、経済的にも困窮していくことが目に見えています。 アメリカも脱原発に舵をきっています。このままでは日本だけが世界の核の負債を押しつけられます。 http://enenews.com/just-in-u-s-freezes-all-nuclear-reactor-construction-operating-licenses 2012年8月7日ENEニュースより 連邦政府の原子力規制当局は本日、危険な、長期的な健康と環境をもたらす、"原子力発電所の敷地内に格納されている使用済み核燃料のDC巡回控訴米国の裁判所が判決に応じて、少なくとも19最後の原子炉のライセンスの決定を凍結
56237	個人	会社員・公務員	30代	女性	0%シナリオでお願いします	原発はなるべく早すべてを廃炉にすべきだと思います。 原発は一度事故を起こすと多大な被害をもたらすのみならず、事故を起こさなくても、原発労働者の被曝や排水の問題、放射性廃棄物の問題など、いまの人類の手には負えない危険な発電方法です。 これは経済や効率性の問題ではなく、倫理的な問題です。人命が一番大事です。少しくらい電気料金が上がってもいい、低所得者への配慮を盛り込めば、電力不足が人を殺すこともないでしょう。 古い体質の企業（東電とか）や斜陽産業を守る必要がありますか？ 再生可能エネルギーの開発に本腰を入れ、経済を活性化させましょう。 いま歴史的判断を迫られています。 正しい決断をお願いします。
56238	個人	無職	30代	女性	2030年までに原発0	2030年までと言わず即時全原発廃炉でお願い致します。 もちろんもんじゅも廃炉、六ヶ所村再処理プラントも廃止でお願い致します。 原発に未来はありません。 本当の意味での核不所持を目指しましょう。
56239	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年の原発依存度をゼロとするシナリオを選択していただきたい。	このように直接意見をお伝えできる仕組みに、とても感謝いたします。 私は、福島で大きな事故が発生したことで、今までの自分の生活スタイルを変えてでも、その解決と予防に協力したいと考えるようになりました。 原発依存度をゼロとするエネルギー政策によって不便や制約を、それが今後の原子力事故の抜本的な予防に通じるのであれば、まず個人として引き受けたいと思います。 限りなく原子力を「安全」に近づける。それは安全な稼働というものでは十分ではなく、リスクを経た後の停止、撤去、貯蔵であって欲しいと考えています。
56240	個人	無職	40代	男性	選択肢としては0%。2030年といった悠長なプランによる限定的意思表明しか許さない国には不信感をぬぐえません。利権によらない市民の義務として国内原子炉の再稼働を即刻取りやめるよう訴えます。	選択肢としては0%です。2030年といった悠長なプランによる限定的意思表明しか許さない国には不信感をぬぐえません。利権によらない市民の義務として国内原子炉の再稼働を即刻取りやめるよう訴えます。再稼働には再事故の危険を強く感じます。またエネルギー安全保障から理由づけて原子力の一定量の維持を訴える論に対して、ウランも国内では安価な供給ができず、プルトニウム239の燃料化も海外に依存している現状は、やはり海外に依存した電力であることが明らかです。もちろん再稼働の取りやめによる早急の方法でも、2030年の達成でも、0%を目指す道のりには、再利用を目指した再処理・増殖炉の技術開発は全く無用であるほど以上に更なるコスト高を招きます。このことからすれば、使用済み燃料の国内処理により安定した安価な燃料を、という設定がすでに破綻化しています。将来的な多様な電力源を確保するという意味でも、対価となるリスクが高すぎることが福島第一原子力発電所事故でも明らかです。一刻も早い再稼働の取りやめ。全面的な原子力利用からの撤退を訴えます。電力の不足は電力会社による自作自演を経済産業省、資源エネルギー庁が裏打ちしている状況が今なお続いていると考えます。一方でトータルな電力需要を拡大してしまうオール電化住宅の普及促進が、今なお電力各社、家電メーカー等により進められている状況も、福島第一原子力発電所事故とその後の電力需給の問題をなおざりにした国家の態度の反映と感じています。
56241	個人	その他	30代	女性	2030年までに、原発比率をゼロにすることを求めます。	地震の多発する日本、そして責任の所在が曖昧な国家が原発を扱うことは、極めて危険に思えるからです。国家戦略などの、恐れや対抗心では平和や安心な暮らしは望めません。日本の戦後復興も、皆の汗と努力の結晶です。脱原発は、この、日本人が得意とする、汗と努力で果たすことが出来ると思っています。そこに、明るい未来があるのではないかと思います。
56242	個人	家事専業	60代	女性	原子力発電所ゼロシナリオを支持します。原発はいりません。	原発でひとたび事故が起これば人間がコントロールできないという事が福島の事故でハッキリしました。 明日起きるかもしれない巨大地震や津波に耐えられる原発があるとはとても思えない。100%の安全を保証出来る政治家や専門家、電力会社もいないはず。原発即時廃止を望みます。
56243	個人	家事専業	50代	女性	原発は即時0%にすべきである。 地震国に原発使用は、自殺行為。 もう一度暮らしのあり方を見直し、再生可能なエネルギーを育てていくべきだ。	・日本は、広島・長崎で原爆による放射能で甚大な被害を経験した国であり、昨年の福島での原発事故は、地域の暮らしを破壊し、未だにその解決の糸口が見えないままである。一旦原発で事故が起きると、元の状態に戻すことが出来ないことを我々は身に染みて感じたはずだ。日本は地震国である、そんな国にどうして原発を使用するのか、そんな選択は考えられない。 ・使用済み核燃料の処理能力を持たないのに、目先の利益だけで原発を使用するのは如何なものか。地中奥深く埋めて何万年も置いてという発想は、これからの地球や子孫に対し、無責任この上ないと思う。 ・上記のような、大変な経験した日本人だからこそ、放射能汚染の危険の無い再生可能なエネルギーを見直し、これからの日本の経済を救う産業に育てていくべきであると考える。
56244	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	原発廃炉後の種持管理にどれだけ膨大な費用が掛かるのか。何世代も先まで本当に安全に管理し続けることができるのか、まったく不明で安心できない。できるだけ早期に原発をゼロにして省エネと自然エネルギーをもっと推進することを望む。
56245	個人	無職	10代以下	男性	2030年という時期設定にとらわれず、可能な限り早い段階での、脱原発（0%シナリオ実行）を支持します。	(1)電力は足りている 現状ピーク時電力でさえ、電力は足りているという数値的根拠があります。原子炉以外の発電所をフルに活用することで、ピーク時の電力需要を超える発電量が確保できる。 (2)原子力エネルギーは安くない 原子炉以外の発電所を稼働させる場合コストが高くなるというのが、再稼働の強い動機付けになっているが、原子炉のコストがやすいというのは、廃炉コストや廃棄物処理コストを不当に安く見積もっており、それらを含めた場合、原子力は安くない。 (3)電力コストを引き受ける準備 原子炉を停止することによって短期的に電力料金が高くなるとしても、引き受ける準備がある。ただし、その場合でも総括原価方式やLPG原油価格の連動の見直し、発送電分離などによるコスト下げ努力をすすめるべき。 (3)原子炉稼働に伴う困難（平時） 事故時にかぎらず、大量の被爆労働者を必要とする原子炉の稼働には反対である。過去の被曝労働者に対する調査や保障をすすめるべき。 (4)廃棄物処理に関する技術的困難（平時） 放射性廃棄物の処理には10万年かかる。自分たちの世代内で処理できないゴミを将来世代に残すべきではない。原子力はこの意味で持続可能なエネルギーとは言いがたく、現状の技術を前提にする限り支持できない。 (5)災害等ともなう事故発生のリスク 自然災害等による事故にともなうリスクが、他のエネルギー手段とは比較にならないほど甚大であり、回復不可能である。外部電力の確保や津波対策もなされないまま再起動された大飯原発のような選択はありうべきでない。 (6)代替エネルギーへの積極的支持 太陽光・地熱・海上風力・シェールガス開発等、代替電力を開発することは他国の例をみてもわかるように、むしろ長期的にみて、経済合理性がある。 (7)補足：原発エネルギーの比率が0%になるまでの期間において、原子力エネルギーを拒否する国民的選択にこたえて電力の自由化をすすめるべきである。政府は現状の電力の地域独占を改め、個々の世帯が原子力に依存しない代替エネ期限の電力を選択する選択肢を用意するべき。
56246	個人	自営業	50代	女性	原発0シナリオを強く希望します。	脱原発とは？0にするという解釈だと私は思います。人生と生活を滅茶苦茶にされた人々、動物、自然、全てを振り返り、真摯に反省することが全国民に必要です。政府は、福島の事故は相変わらず、想定外なのでしょうか？ 原発を動かすなら、全員、原発のそばに住んでください。
56247	個人	学生	20代	男性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。 ・2030年までにこだわらず、なるべく早期に原発比率ゼロに。 ・核燃料サイクル政策としては、使用済核燃料を直接処分する政策を採用。	日本は技術的・文化的先進国として、世界に先がけて、新たな姿を率先して示すべきであると考えます。 まず、国を動かす根本のエネルギー政策という点で、原発ではない選択肢を作り、選んでゆく見本を見せることができるのではないか。技術を持ち、厳しい自然に囲まれた日本だからこそ出来ることがあるはずです。それはたとえば他の地震国にとっても大きな指針となるのではないでしょうか。 また、これは、自分たちよりも遠い世代に何を残し、何を残さないか、という倫理観として、良きものを残し、悪きものを残さない姿を国が示すチャンスでもあります。「持続可能で、発展的な技術・設備を残す」「住めない土地や触れてはいけない燃料を残さない」。私たち20代の人間は残念ながらそのような世代の後に生まれてこなかったと言えますが、だからこそ、原子力発電所爆発事故の後の日本は、その姿勢を改められるとも考えられるのです。 従って、私は「原発ゼロシナリオ」を支持します。2030年までにこだわらず、なるべく早期に原発比率ゼロにするべきです。核燃料サイクル政策としては、使用済核燃料を直接処分する政策を採用するべきです。 「次の世代に残さない」というスタンスから言えば、使用済み核燃料を再利用するというアイディアは良いのかもしれませんが、「もんじゅ」がそもそも技術的に実証されず、運用する機構に明らかな問題がある># 以上、見直されてしかるべきでありますし、そのようなものにこれ以上莫大な予算をつぎ込むよりは、「もんじゅ」は廃止し、新たなエネルギー技術にお金をかけるべきでしょう。 日本の中で、日本の人が、土地を追われることになった。これは2011年に起こった事実です。これを仕方ないことだったのだと言うことはできません。たとえ経済や歴史を理由にしたとして、日本に住む人間がそのようなことを言うとしたら、それはまさにその人もまた土地を追われるかもしれないということなのです。他人事ではない。 今回の事故が示したのは、「原子力発電所は現状のシステムのもと、爆発し得る」ということです。関わった個人それぞれの良し悪しは私の知るところではありませんが、組織化された人間たちが、事前に想定されるべき地震、津波を現実に迎えて、原子力発電所を爆発させてしまった。科学的・技術的に誠実な態度ではなくて、組織の中での運用が優先された結果ではないでしょうか。電力会社だけではなく、安全を確保し監督すべき役割にあるA.も、原子力発電所を設計するA.とも、建設するA.も、検査するA.も、その土地の利用を政治的に可能にする人もいたでしょう。その誰にも良心であるとか慎重さであるとかがなかったとは思いません。けれども、それは誰も悪くなかったということではないでしょう。更に「事故後の対応や検証は、現状のシステムのもとでは、不十分である」ということも言っておかねばなりません。事故が起きた後、その構造をむしろ保ようとしている人たちが何を考えているのかはよくわかりませんが、東京電力が税金によってまかなわれ、電気料金を値上げし、というようなことがまかり通るようでは、あるいは「ただちに健康に影響が無い」だけでは、事故の影響や経過を真摯に論じることができないのではないか。そのような人たちに運用をまかせることはできるのか。できないと私は思います。 私には子どもはいませんが、将来、「なぜ福島のある地域は立ち入り禁止なのか」と聞かれたら何と答えることができるでしょうか。地震や津波があったから、といって、そこが何十年も立ち入れない、あるいは立ち入るべきでない場所になることはありません。「原子力発電所は、経済発展のために仕方なかった」と言って、想像力豊かで他人の痛みに敏感な子どもを納得させることはできるでしょうか。同じことは起きません。新たな事故が起き得るのです。多くの危険の指摘を見過ごす土台に載せられた原子力発電所は夢見られるべきではありません。
56248	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオ	原発ゼロシナリオを希望。原爆を落とされた国が原子力に頼る恐ろしさ。安全安全と言いながら、廃炉にする方法すら分からない状態。これまで勉強不足だったが、制御できない恐ろしいエネルギー源を狭い島国に54基。正気とは思えない。早急に代替エネルギーを模索するべき。環境汚染、水質汚染、大気汚染で他国にかける迷惑も半端ではない。日本だけの問題ではない。即刻全原発廃炉は難しいのは分かるが、実際原発0稼働でも暮らせていたのだから、再生可能エネルギーの研究に力を入れてほしい。どこかの誰かの利権のためにこのままでは、これから日本で暮らしていく子供や若い方に申し訳ない。
56249	個人	自営業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。地球は人間だけのものではありません。美しい地球、美しい日本を後世に受け継いでいきたいです。
56250	個人	会社員・公務員	30代	女性	即刻全ての原発を停止しなさい	今のこの国の仕組みには心底納得いかないと震災以降心から思う。 心から原発を怖いと思っている国民がいる。 原発のせいで仕事も住居も無くして健康への不安に怯えている国民は100人200人じゃあないっ。 その声に真摯に耳をかさないであからさまな嘘ばかり並べ立てるなら、あなたがた一人としてこの国に必要ないわ。
56251	個人	無職	60代	男性	歴史的に大地震（および津波）が発生している我が国では、原発災害の危険度が高いことから、2030年の原発比率は0%とすべきである。	歴史的に大地震（および津波）が発生している我が国では、原発災害の危険度が高いことから、2030年の原発比率は0%とすべきである。 理由 国土の保全と住民の安全確保は、我が国における個別政策の土台ともいえる至上目的である。 原発災害は、関与する経済主体の経済的利害を比較して判断するような人為的制御可能な「リスク」対策とはまったく異なる次元の対象である。 地震、津波、テロ等の危険は人為的に制御できることは不可能であり、リスクなどではなく、危険事態そのものである。予測不可能な危険と人為的制御を想定できるリスクとは政策上でも峻別すべきである。 よって歴史的に大地震（および津波）が発生している我が国では、他国以上に原発災害の危険度が高いことから、2030年の原発比率は0%とすべきである。

56252	個人	自営業	40代	男性	原子力発電所ゼロシナリオで、原発即時廃止すべきであります。	東日本大震災による甚大な被害の中でも、原子力発電所の事故は福島のみならず日本、世界、ひいては人類に対する今後長年にわたる途方もない損害を与えました。それは、いかに甚大な自然災害であったかということ以上に、起こりうる、そして実際に起こってしまった甚大な自然災害にたいして原子力発電所を制御もできなければ守りもできなかったという、人類の技術の限界を明白に突きつけたものであり、かつまた、この被害を収束させる技術はいまだ確立されておらず、今後何十年にもわたって、また子々孫々の代に至るまで甚大な被害との闘いを強いることになります。かくのごとき未熟な技術を推進するのはもってのほか、この脅威以外のなにものでもない原子力発電所は即時廃止を決め、今後長年にわたる廃炉技術の開発およびその人材育成に注力しつつ、原発ゼロシナリオのため叡智を絞るのは当然の理であります。生命の安全なくして社会も経済も維持できるはずがなく、原発廃止以外のシナリオはすべて排除されるべきであります。かくも重大な原子力発電所の事故、人類に対する犯罪をおこない、かつまた事故の責任者を未だに誰も罰せられていない現況で、原子力発電所の維持を念頭におくこと自体が、無実であり恥辱であると考えます。
56253	個人	自営業	40代	男性	個人の感想です	国家予算の半分をエネルギー政策として海外にばらまいている現状を打破するべく新しい技術などに国家予算を割き研究者にたいする補助などしていただけたらとお思います。 とりあえずエネ省の数字は嘘ばかりという印象。 ほんとうのコト言うまともな人達で組織編成していただきたい。 嘘ばかり言う人達が集まって原発動かすのもはっきり言って恐いです。
56254	個人	その他	30代	女性	2030年を待たず、現在稼働中の原子力発電については直ちに稼働を停止し、現在稼働していない原子力発電については一切再稼働すべきでない。現状で、原発発電分と同等以上の節電はできている。	2030年を待たず、現在稼働中の原子力発電については直ちに稼働を停止し、現在稼働していない原子力発電については一切再稼働すべきでない。 原子力発電所の事故に伴うリスクを考えれば、我が国において原子力発電を行い続けることは不可能である。日本列島のどこを見ても地震は発生する可能性もあり、海に囲まれた国であるために津波災害も逃れることはできない。災害によって疫学的に死者はゼロだと言った豊かな電力会社社員がいたが、福島で農業を営んでいた仲間は長年かけて作った畑の土を汚染されたことで愕然とし、自殺した。きっとほかにも死亡している関係者は多数いるはずだ。放射能の汚染は人の命や健康にとどまらず、自然に囲まれた我が国の国土、そこに息づく文化にまでおよび、その被害は計り知れない。茨城に住む私自身も、幼い子供を抱えながら、不安のなか生活している。絶対に、これ以上の犠牲を出してはならない。さらに、使用済み核燃料の最終処分の方法はいまだに決まっていない。有史をはるかに超える長い時間管理しなければならないような廃棄物を生み出す発電方法は、あってはならない。本当に原子力が安全で、廃棄物の管理も適切であると考えるのならば、嘘が聞のどと真心中に作ればいい。今よりも安全な事故を起こさない原子力発電があるのならば、官僚の皆さんはその敷地内に家族と一緒にお住まいください。 原子力発電なしでは、我が国の国民生活は守れないというのは、真っ赤なウソである。我が家でも災害前よりも44%の使用電力削減に成功した。一過性のものではなく、2年続けてこの夏も節電しているが、問題ない。原子力に頼ったエネルギーを使うくらいならば、少々の生活の不便など問題ない。自宅だけでなく、商業施設も公共施設も、寒いくらいの冷房など必要ないし、明るすぎる照明も必要ない。経済効果云々言っている経済界の人に至っては、自然エネルギーに転換することで稼ぐという知恵がなさすぎる。新しい発想を出来ないような経済人は、原発事故がなくてもいずれダメになる。日本の経済を本気で立て直そうと思っているのならば、変化を恐れず新しい道にチャレンジすることだ。
56255	個人	会社員・公務員	30代	女性	脱原発(ゼロシナリオ) ただし、即時の全原発の停止と廃炉を。	3.11に福島県福島市に住んでいたものです。 原発事故により、多くの放射性物質がばらまかれ、 現在もまだ、3.11以前の基準では、その場に子供がいてはいけない、ひとが入ってはいけないような線量の中、 なぜか、普通にこどもは学校に通い、農家は農作物を育て、人々は、働いて、食べて、飲んで、産み、育てて、と、生活をいとなまければいけない状態です。 単純におかしくないですか？ まだお片づけも終わっていないのに、次の原発を動かすなんて、 考えられません。 こどもでも、次の事を始めるには、まずお片づけをしてからという事は知っています。 しかりしてください。
56256	個人	その他	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。原発が人類と共存できない技術であることが、昨年3月の福島原発震災で明らかになった。現存の原発は直ちに稼動を止め、全ての原発の速やかな廃炉作業に着手すべきである。	(1)福島の教訓 　私は福島第1原発から16キロ地点で農業を営んでいました。政府指示によって、転々と避難生活を送っています。「絶対安全」だったはずの原発が、どのような悲惨な実態を引き起こしたか。数十万の人々が、かけがえのない家族・親族の命を失い、先祖伝来の土地や山や川、海を失い、子供や孫が住めない故郷のことを想い、いま、どんな気持ちで「難民生活」を送っているか。それを直視すれば、「ゼロシナリオ」以外の選択肢がないことは明々白々だと思います。活動期に入ったといわれる地震列島で原発の稼動を続ければ、必ずや「第2の福島」を経験せざるを得ないと思います。このような悲惨な体験を繰り返してはなりません。政策決定に当たる政府、官僚の皆さん、自分の家族の顔を思い浮かべてください。 (2)守るべきは命 　国家は何のためにあるのでしょうか。国民を守れないものは国家でも、政治でもありません。経済的利益と国民の命を天秤にかけることは許されません。 竹島や尖閣列島の何万倍にものぼる国土を失う危険性に目をつぶって、「国益」を主張しても、何の説得力を持たないことを知るべきです。国政を委託されている政府、政治家、官僚は「普通の国民の目」を見れるべきです。 (3)未来に対する責任 　原発を続ける限り果てしなく生み出される「核のゴミ」を無害にする技術はありません。たかだか数十年の利益のために、数万年、数十万年先まで放射性廃棄物を申し送ることが許されるでしょうか。1万年前といえば、日本列島では縄文時代が始る前です。背筋が寒くなる、としか言いようがないではないでしょうか。未来に対する責任を忘れては罰が当たります。
56257	個人	会社員・公務員	30代	女性	今から供給可能な他電力をあと〇〇年までに確保し、省エネは〇%削減(にこをしっかり検討、生命維持に必要な電力は削らないなど最低限使うべき電力を検討、実際の数値をだす。))、	原発が担ってきたエネルギーをじゃあどうするか他の代案は必須であり、現在その代案を検討することを行われていると思います。国民も省エネを厳しく求められたら、其れなりに考えていくと思います。しかし、それで熱中症が相次いだりすることになるとまた振り出しに戻ると思います。細かいところまで決めて行くこと、それを実行できるよう国民に教育することが必須だと思います。
56258	個人	自営業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	多くの人が危険にさらされたり、取り返しのつかぬほど長い期間に渡る影響がある放射能汚染を、これ以上経験したくありません。原発をキープするための費用が誰を富ませているのかかわかりませんが、国民を富ませることにはなっていないのは今や明らかです。逃げ道のない状況へ、どんどん進んでいくのを止めることができるのが法律や政治だけなら、それを政治家や官僚の皆さんに期待します。当然、そうできる人に投票したいと思っています。 政治家、官僚、経済界要人など、立場上のいろいろな制約はあるのかもしれませんが、一人の人間として考えたらどう思うのかと聞いてみたい。選ばれた責任、国のお金を使う責任、国のエネルギー政策を、原発ありきで決めたとして、その結果に責任を取る覚悟があるのかと聞いてみたい。 今、原発が最善策だとおっしゃるなら、その結果起こった災害にもきちんと責任を取り、補償をするという約束が必要だと思います。もちろん、まずは現在のフクシマへの充分な補償、それからその他の地域への補償の（安全の、ではなく）確約が必要だと思います。 それができないなら、潔く原発ありきのエネルギー政策から撤退すべきと考えます。
56259	個人	家事専業	70代	女性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	放射能はこわい！早くやめて！ 子供たちを守りたい！ 電気は足りる。省エネに力を入れれば簡単。
56260	個人	自営業	30代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢、原子力発電については「ゼロ・シナリオ」を希望します。	安心して暮らせる、安全な日本を切に望みます。 理由があり、今も避難出来ずにいる人のことを思うと胸が痛みます。 これ以上、いかなる理由があろうと、 我々は新しいネルギーの発電システムを創りださなければならないと思う。 原発は、ゼロにしたい。
56261	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	即、原発ゼロ。	福島原発事故では、多くの人が大変な被害に遭いました。その被害は、もはや単純にお金に換算し得るものではありません。ある人が、何年何十年もかけて築き上げて来た生活の基盤が、一夜にして奪い去られました。 そのようなエネルギーにこれからもずっと頼ることはできません。原発はなくしていかなくていかなければなりません。 同時に、世界的に深刻化しつつある温暖化問題にも真剣に対処していくことが、日本が世界の中で果たしていくべき役割です。
56262	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発依存度0%を求めます。よって、3つのシナリオからはゼロシナリオを選択します。ただし、エネルギーのグリーンシフトに関する目標値は今後も検討と見直しを重ねたく思います。	原子力発電については、運用時の被ばく、核廃棄物の処理、事故の対策と対応という様々な問題を解決して運用することは不可能であり、最善の努力をするとしてもリスクとコストに大して得られるものが見合いませんので、原発依存度0%を目指したいと考えます。 また、3つのシナリオのうち、原発依存度0%であるのはゼロシナリオのみですので、3つから選ぶのであればゼロシナリオを選択します。 ただし、再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの推進、化石燃料のクリーン化の項目については、より高い目標設定と実行が可能ではないか、更なる検討と見直しを常に進めたく考えます。
56263	個人	自営業	40代	女性	原発0%にするべき。	福島の事故後、いまだ危険な状態な事は変わりなく、除染もまるですすんでおらず、時間経過で拡散して薄くなっているだけ。止めようと思って止めたり、きれいに洗い流して元通りにすることができない以上、核は人間に制御できない。 核廃棄物の処理法もないのに、ただ電気のために核が必要、というのは嘘だと思う。電気を起こす方法は、いくらでも開発できるはずでしょう？ 軍事目的に核が必要だというのであっても、それは世界の終りへ向う道具。 原子力発電はやめるべきだし、核兵器の材料を保持するべきではない。 2度も原子力爆弾を落とされた日本が原子力発電をしているなんて、世界中から馬鹿にされても仕方がない。
56264	個人	その他	40代	法人等	2030年までに核燃料廃棄物0ではなく、直ちに0とすべき。そのための社会構造の変化や技術開発のための政策を国に求める。また、核廃棄物の処理技術の開発を継続する、これまでとは一線を隔した研究体制を作る。	原子力発電は可及的速やかに停止することが望ましい。つまり、2030年に核燃料廃棄物0を目指すのではなく、直ちに停止すべきである。なぜなら、福島第一原発の事故により、原子力発電所が事故を起こし、放射性物質による環境汚染が発生した場合、その対応は現在の科学をもってしては不可能であるからである。 また、同時にこれまでの日本の電力の需要と供給に無駄がなかったか、社会構造や技術的な視点から早急に調査研究をすべきである。 あわせて、所有する核燃料廃棄物を安全に処理する方法や、処理だけではなく保管する方法に関する技術開発を行う体制を、これまでの“原子カムラ”とは離れて作るべきである。そのために必要とあれば、国外の技術者を招聘すべきである。
56265	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発全廃プランを求めます	放射能に怯えることなく日本国民が幸せにくらせるよう、原発ゼロの実現を望みます。
56266	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオを選びます。地震が起きて原発が壊れたら放射能が漏れてすぐに影響がなくても何世代にも渡って少しずつ影響が出ると思うからです。	原発は絶対に事故を起こさないというのは今回の事故で嘘になったし お金で原発を街に置かせるのは間違いだと思う。 原爆などの核兵器を廃絶したいのであれば、唯一の被爆国なのだから核そのものを廃絶させないといけないと思う。 原発を狙われたら一瞬で核兵器になるし、日本全国の物を狙われたら日本は壊滅してしまう。もしそれがなかったとしても地震や津波などの自然災害はいつ起きるかわからないし地震の断層が近くにあるところの原発を動かすのは危険すぎると思う。自分の命を賭けてまで手に入れる便利はいらないし、危険を冒すぐらいだったら自分は不便を選ぶ。ドイツを見習って今すぐにでも原発をゼロ、廃止にしたいです。
56267	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。核燃料サイクルの再処理は実現の見込みが不明確なので中止し、直接処理をすべきだと思います。	地震の多い日本にとって原発は、事故の起こる可能性が高い不適切なエネルギーなのではないかと思っています。今後また事故が起こり、人が住めなくなってしまう地域や農産物の生産ができなくなる地域が増えていく場合の対策ができているのか疑問です。また、何度も事故を起こすことにより放射能汚染の拡大等で近隣諸国から非難を受け、国際社会で日本が信頼を失うことにならないか心配です。 　経済活動や安全保障の面からも原発が必要という意見も聞き、納得できる点はあるものの、新しい資源・エネルギー源の開発や外交関係の進展を目指すことでより大きな経済発展と国力の増強が見込まれるのではないのでしょうか。
56268	個人	無職	60代	女性	「原発のない安全な日本の一日も早い実現を」―原発依存度0%を支持します― 　国民世論を分断させることなく、政権を中心に脱原発のエネルギー政策を国民あげて議論し実現してください。	野田政権は、6月29日のエネルギー・環境会議で原発によるエネルギーの依存度を「0%、15%、20～25%」とする三つの選択肢を示しました。 　私は、この判断基準そのものに反対します。福島原発の事故で明らかになったように原子力発電は、一旦ことが起これば制御不能に陥ります。福島原発3号機は事故後、今なお原因も内部の状況も不明のまま、冷却し続ける以外に収束のメドさえ立っていません。また、たとえ事故が起きなくても発電によって出続ける使用済み核燃料の行方についても何の見通しも立っていません。国民を騙し続けてきた安全神話は完全に崩れました。これらの事実を人類的な恐怖をもって謙虚に受け止めるべきです。このような危険極まりない原発は、たとえ1%といえども稼働させてはなりません。依存度0%は当然のことです。 　この度、野田政権が国民に選択を迫る3案は、国民世論を真ん中どころの15%に落ち着かせようとする目論見が透けて見えます。たとえ一機でも原発が稼働すれば、その周辺住民は憲法が国民に平等に保証する「健康で文化的な生活」を脅かされ続けることになります。政権の何人も、憲法に保証された国民の権利を蹂躙することはできません。つまり、3案選択を迫り国民世論を分断させるのではなく、憲法遵守を義務とする政権を中心に、「脱原発のエネルギー政策」を国民上げて議論し実現するべきと思います。 　この度の原発事故による福島県民の皆さん、原発労働者の皆さんの真実の訴えに、真剣に応えてください。 以上
56269	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原子力発電比率0%	もちろん、現在稼働中の原子力発電所を即時停止さ せ、現在停止中の原子力発電所(もんじゅ、六ヶ所村原子力再処理施設を含む)は二度と稼働させずに即時廃炉。 そして、首相官邸も日本政府も国会も議員会館も省庁も国家官僚の住宅も、日本の全ての首都機能を福島に移転させる。
56270	個人	自営業	20代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見	政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき、そして、現状原発関連の職についている人達を開発への仕事に携わってもらい、生活面での不安を払拭すべき。 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
56271	個人	会社員・公務員	40代	男性	国内の全ての原発の廃炉を希望しています	今回の原発事故の対応の無責任ぶりを見てると、国民の安全という視点は皆無であると思わざるを得ません。よってこれまで行われてきた原子力行政の全て及び今後の方針全てに反対し、即時全廃炉を希望します
56272	個人	その他	50代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	即時廃炉を求める。政府ヤラセのパブコメは2030年の18年後のゼロだよ。それまで必要もない原発動かすってどういうこと？　こんな馬鹿な3択をやっても意味がない。
56273	個人	会社員・公務員	30代	男性	15シナリオを支持します。 理想はゼロシナリオですが、2030年までに、原子力エネルギーをゼロとするには、大幅な社会構造の変更が必要だと思いますし、無理があると思っています。	15シナリオを支持します。 理想はゼロシナリオですが、2030年までに、原子力エネルギーをゼロとするには、大幅な社会構造の変更が必要だと思いますし、無理があると思っています。また、福島第一原発の事故を鑑みれば、原発を積極的に採用する案を是とすることもできません。 自然エネルギーの開発と平行して、原発の廃炉技術、放射性廃棄物の処理技術の開発にも予算を投入して、既存の産業構造と上手くバランスをとりつつ、脱原発の方向に大きく舵を切って欲しいと思います。
56274	個人	自営業	50代	男性	国の政策として速やかに原発依存度0%へ舵を切り、早期の脱原発を実現してください。	国の政策として速やかに原発依存度0%へ舵を切り、早期の脱原発を実現してください。また、40年超の原発については、速やかに停止、または再稼働をさせないよう法令を整備してください。 また、核廃棄物についても、その処理等ついて、予算と人を配し、より良い方策を鋭意研究、実現してください。 車や電車、飛行機などなど、人間の作ったその他の様々なもの同様、それらを人間が操作している限り、事故は避けられません。 原発の場合は、今回の事故が物語るように、故郷やら心や未来や生産可能な土地をうばってしまい、その事故の被害の大きさは、リスクなどとして経済的に換算できるものなどではない、積算不可能な非常に甚大なものだからです。 ※このコメントには、個人情報を書き込むのが必須となっていますが、それをどう扱うのか、ここには全く書かれていませんが、どうなっているのでしょう？ 他のページのどこかにあります、などというのは最低ですよ。 情報を書き込む、そのページの分かりやすい場所になければいけないと思います。

56275	個人	会社員・公務員	30代	男性	選択肢として提示された3つのシナリオではなく、原発はゼロにしつつ、温暖化対策目標を強化した第4のシナリオを支持します。	原発の比率だけを見れば、支持できるのは「ゼロシナリオ」しかありません。しかし、3つの選択肢は、どれも温暖化対策の目標が不十分です。2020年の目標は7～11%削減でしかなく、現状の25%削減目標から格段に低くなってしまっています。 このため、温暖化対策の観点からは、どのシナリオも選ぶことができません。 選択肢がこうなってしまう原因としては、省エネが不十分であること、石炭火力発電への依存が続くとされていること、自然エネルギーの普及目標が不十分であることなどの理由があります。 原発ゼロを目指しつつ、温暖化対策も進めることができる選択肢を、私は支持します。
56276	個人	学生	30代	女性	原発ゼロシナリオで即時0%を希望します。	子供たちのため、孫たちのため、ひ孫たちのため、そのまた子供たちのため、すべての生き物のため、きれいな空気と水と土と食べ物と心を残して下さい！
56277	個人	学生	10代以下	男性	シナリオ0% 原発0% 即停止でお願いいたします	原発事故の影響で家族がばらばらです。僕は放射能で死にたくあ りません。
56278	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを強く希望します。地震大国日本において、しかも、今後30年以内に大地震が起こることが言われている中で、原発を動かし続けるのはあまりにもリスクが高すぎます。	原発が安全安全といわれ続けて日本はたくさん原発を持ってしまった中で、今回の福島第一原発の事故は起こりました。もう一度同じことが起こってしまうことは絶対に許されません。電力よりも何よりも、人の命が最優先されるべきではないでしょうか。ドイツのように、国が強い決意をするべきと思います。かつて里山がたくさんあった時代の教訓を生かせば、日本は原発に代わるエネルギーを供給していくことができるはずです。過疎化された村こそ、今後エネルギーを供給していくことができる場所だと思います。今はそのチャンスの時ではないでしょうか。
56279	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年原発全廃	2030年では遅すぎます。
56280	個人	会社員・公務員	50代	男性	出来るだけ早く原子力発電所をゼロとして頂きたい。	1) 原子力発電所の安全対策は不十分で、管理体制も透明性が欠如しています。 2) 放射性廃棄物の処理方法も確立していません。 3) 10000年といった長期にわたって放射性廃棄物を管理する、というのも現実的ではありません。 4) 事故が起こると福島の例のように周囲に人が住めなくなります。 5) 原子力発電所関連の学科を専攻する学生も少なくなると予想されます。 6) そのため、技術開発や運転、管理といった仕事をしようという若い人の確保も困難になると考えます。 以上の理由で、出来るだけ早く原子力発電所をゼロとして頂きたい、と考えます。
56281	個人	会社員・公務員	40代	男性	前提となる条件が不確かすぎて議論できない	1.選択肢の中で「グリーンエネルギーへのシフト」がうたわれているが，このようなコントロールしにくい発電技術を大量に導入したときの影響については，現在電気学会などでその制御方法について検討がされている最中である。これによれば，このような制御しにくい発電方法に対するバックアップの方法については，膨大な設備投資が必要となり，またその投資主体が明確に制度設計できていない。 このような状況の中で本選択肢ではあまりに楽観的な見込み（またはそのようなバックアップの存在を無視）で構築されており，議論ができない。 2.確かに東京電力(株)福島第1原子力発電所の今回の事故は，その影響が甚大で，住民の避難が継続している状況は大変痛ましいことではあるが，そのことと，エネルギー政策を直ちに180度転換するようなことは，原子力発電での電力を輸入できるイタリアやドイツなどと同列に扱うべきではないと考える。むしろ，その事故原因を精査し，全電源喪失事故を考慮してこなかった国の安全指針の転換を行った上で技術的安全性について議論をすべき問題であると考える。 3.いずれにせよ，現時点ではエネルギー源のほとんどを輸入に頼る我が国において，拙速かつ情緒的な判断を行うことは断じて国益に反すると考える。資源エネルギー庁はこのような大問題を「国民の選択」というような甘い言葉を使って職務放棄するのではなく，技術的，経済的な側面からもきちんとしたデータを用いて政策担当者（＝政治家）へ説明し，併せて国民にも提示すべきである。
56282	個人	自営業	40代	男性	?代替エネルギーの開発・実用化を国家レベルの目標に ?現存の原発は全て停止・廃炉。新しい原発も作らない ?電力自由化 ?スマートグリッドのような効率の良い「地産地者」型の発電方法を	わたしは日本を愛しています。 日本の繁栄を望みます。 日本の繁栄のためには、何をさておいてもまず国土と国民を守らなければなりません。 このことに反対なさる政治家や官僚の方は、一人もいらっしゃらないでしょう。 いま、政治家の皆様、官僚の皆様が、賢く勇気ある決断をなさることが、日本が再び世界をリードする＜豊かで安全で尊敬される国＞に再生していく大きなきっかけになると思います。お金よりも、恐怖よりも、なによりも人を奮い立たし、勤かすのは、前向きで高い理念・気高い理想・崇高なビジョンだと思います。 さて、「日本の繁栄のために、国土と国民を守る」ことを考えた場合、原発に関してはおおまかに言って次の2点の大きな問題があります。 （1）3.11と同規模かそれ以上の大地震、あるいは大規模の台風など、放射性物質が長期間にわたって多量に放出されるほどの原発事故を引き起こすレベルの自然災害は、今後もほぼ100%確実に起こりうるでしょう。もう「想定外だった」は通用しません。その前提で対策を講じるべきです。 （2）世界情勢や近隣諸国の情勢を考えると、原発を標的としたテロや軍事攻撃に関しては、「高い確率で起こりうる」と想定しなければなりません。「想定外だった」は通用しません。その前提で対策を講じるべきです。 いま、この（1）あるいは（2）のどちらか一つでも起こってしまった場合、「国土を国民を守る」どころか、その逆のことが起きます。 なぜなら、現時点で日本にある原発は、3.11レベルの自然災害、およびテロや軍事攻撃などの有事に際して、建物の安全性も不十分であり、かつ発電施設そのものの安全性も不十分だからです。 このことは、3.11以降、現在まで放射性物質の漏洩を続けている福島第一原発の現状を見れば、火を見るより明らかです。 それにまた、これまでにマスコミや独立系ジャーナリストによって、各地の原発にまつわる不祥事や隠蔽問題などが報道されてきましたが、これらも「国土と国民を守る」観点から言って相当に深刻な問題だと思います。 以上を踏まえて、以下、私の意見を述べさせていただきます。 原発に替わる＜安全で効率の良い新しい発電方法＞を開発することを国家レベルの目標にして、人材・予算を使って、強力に推進していってほしいです。 日本の知恵・知識・人材を結集して、世界のどこよりも早く、実用レベルの代替エネルギー発電技術を作り出しましょう。絶対にできます。新しい産業を興せば、国内の雇用の機会も増えます。 その技術やノウハウを世界中に輸出して外貨を獲得すれば、経済的にも潤い、世界中からの尊敬をも勝ち取ることができるでしょう。 ? たとえ長く困難なプロセスとコストがかかろうとも、現存する原発はすべて停止し、廃炉にしましょう。 ?そして、これ以上新しい原発を作るのはやめましょう。 ↓ この2つの決断は、かならずや歴史上「あれは英断だった」と賞賛されるようになるはずです。 原発の推進は、日本経済にとってもマイナスです。使用済み核燃料の保管や処理にかかるコストと現場作業員の被曝リスク、発電施設の耐用年数が過ぎた後の廃炉にかかるコストと現場作業員の被曝リスク、夜間にも無駄に発電し続ける電気を使うために水力発電を稼働せねばならないコスト、などなど、長期的視野から見て、経済的になにもいいことがありません。 ?電力を自由化してください。どこから電気を買うか、選択の自由が欲しいです。現状は、独占禁止法違反なのではありませんか。資本主義の原理に反します。 ?現在のように、発電所からの伝送時に多量の電気をロスしているという無駄を減らし、効率的な電気伝送を実現するため、スマートグリッドのような発電と分配の方法を実現するべきです。電力も、地産地者の時代です。 以上です。 くり返しになりますが、いま、政治家の皆様、官僚の皆様が、賢く勇気ある決断をなさることが、日本が再び世界をリードする＜豊かで安全で尊敬される国＞に再生していく大きなきっかけになると思います。 お読みいただきありがとうございました。
56283	個人	その他	30代	女性	原発反対	原発反対です。 せめて、電力を市民が選べるようになってほしいです。 地球にとって有害なことは、もうやめる時代だと思います。 福島の方々への補償を、どうかお願いいたします。 一部の政治家さんたちの腹黒さ、権力やお金に翻弄される哀れな生き様、は、もう知れ渡っています。 どうか、いちばん大切なものに気づいていただきたいです。 愛をこめて。
56284	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発全廃炉。危険すぎる。地震列島日本に原発は適合せず。火力、水力、地熱力、バイオマス、天然ガスでエネルギーを作る。自然エネルギー政策振興で雇用を生み経済復興。	福島第一原発の事故が未だ終息されていない。4号機使用済み核燃料の安全な処理が未だ不可能な科学の現状。保存されている使用済み核燃料は事故に合うと世界が被害を受ける。日本はそんなことをしては行けない。人の心と科学と経済の発展でこそ世界のリーダーシップをとるべき。今日から原発全廃炉。
56285	個人	家事専業	40代	女性	原発廃止には賛成できません	原発を廃止して、電気代が高騰すると家計を逼迫するので大変困ります。 ただでさえ、消費税があがりそうで、どこで節約するか悩みどころなのに。 あと、原発があることで、安全保障上の抑止力にもなると聞きました。 韓国の竹島問題、中国の尖閣諸島問題が出ている今、原子力技術を維持していることは重要なのだそうです。 中国では2050年までに原発を500基作る計画があるそうですが、もし中国で原発事故が起きたら放射能が日本にも流れてくるはずです。 日本だけが原発を廃止しても、日本が経済的に大ダメージを受けるだけのように思います。 だから、原発廃止よりは、日本の技術力を駆使して、より安全な原発を作る努力をしてほしいと思います。 それが結局は、自分たちや世界の人たちを原発事故から守ることになるのではないかと思います。
56286	個人	自営業	40代	女性	即時原発ゼロを希望します。	正確な情報公開のうえで、経済のためよりも実際にこの日本で生活するために安全な選択ができることを希望します。
56287	個人	会社員・公務員	20代	男性	0%にする（ゼロシナリオ）	理想と現実は異なるとは思われますが、今回の震災のような危険性が回避し、安全・安心に暮らすことができるようにするには0%となると思います。 そのための代替エネルギーの開発や検討が必要と考えます。
56288	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発0シナリオを選びます、それしかありません!	原発0シナリオを選びます、それしかありません！ 原発事故が起こったら、人間の手で止められないのは今回のことで明らかです。 人類のためにも地球のためにもこんなものは使うべきではありません!!
56289	個人	会社員・公務員	30代	男性	これからの日本の取るべきかたちについて	この度は、耳を傾けて頂く機会をありがとうございます。 思ったことを端的に、簡単にですが意見させて頂きます。 何がどう安全か、コストがかからないか、 様々な側面から、その基準とリスク等を天秤にかけて これからのエネルギー開発をどうして行くのか議論していますが、 私自身は今回の原発事故以後、 どれだけ原子力発電が重い十字架を背負ったものであるのかを、 ようやく身にしみて理解でき、 とりわけ原子力発電に必ず伴う「核のゴミ」の処理等の、 棚上げにできない、言わば物事の前提条件とでもいうべき 基本的なところで、何一つ我々は無防備で無責任な事実を 重ねてきたのだと知ってしまった今は、 極めて感覚的ではありますが、原発の稼働には賛成致しかねます。 何も解決しまいままにここまで行ってきてしまったことを 一人の国民として自らの不勉強を反省しつつ、 原発を使わないで、もっとポジティブに物事は進められないでしょうか。 広島や長崎に投下された原爆で苦しんで来られた方々、 そして今原発で苦しむ福島や日本中の人々 日本はずっと放射能に苦しみ続けている。 そんな国民だからこそ、我々が指し示せないであろうか。 私はそう願って止みません。 我々は、そんな国に住んで行きたいと強く思います。 拙い駄文失礼致しました。 ありがとうございました。
56290	個人	会社員・公務員	30代	女性	国力の衰えを前提にしたエネルギーインフラメンテナンス前倒しを	国力の衰え、電力会社収入の減少により、遠隔地からの送電路のメンテナンスなどがこの先難しくなるのではないかと不安に感じています。新しいロボットなどによる既成の送電路のメンテナンス支援技術も大事ですが、送電ロスの少ない近距離送電網と小規模発電/電池技術の組み合わせの実現にも是非予算を割いていただきたいと思います。

56291	個人	会社員・公務員	40代	女性	3つの選択肢の中では「ゼロ」。ただし2030年までにゼロ、ではなく即時原発全停止。今の日本の政治、行政、電力会社は原発を運用する能力も倫理観もない。東日本大震災で大地震が起こる大変動期に入り大変危険。	3つの選択肢の中では「ゼロ」。ただし、2030年までにゼロ、ではなく即時原発全停止、そして廃炉へと確実に進めていただきたい。 昨年3月の福島第1原発事故以来の国、行政、電力会社の対応はおかしなことばかりです。通常年間1ミリシーベルト／年である一般人の被曝限度を汚染地では20倍の20ミリシーベルト／年に引き上げ、昨年末には野田首相による福島第1原発の冷温停止宣言、避難基準を20ミリシーベルト／年に固定、そして放射能を含むがれきの全国拡散、今年6月には大飯原発再稼働と、どれも犯罪行為です。福島第1原発は事故後ずっと放射能を放出し続けているし、4号機の使用済み核燃料プールは大きな地震で崩落の危険性があり世界中から警告されているのに十分な対策がなされていません。放射能高線量地域の多くの住民が20ミリシーベルト／年避難基準に阻まれ取り残され、今も被曝し続けています。 東日本大震災で、東日本の地盤は東へ5メートルも引っぱられ、日本列島全体が大きくひずみ、大地震が頻繁に起こる大変動期に入りました（6/9 NHKスペシャル「巨大地震・メガクエイクII」で放送）。首都直下型地震、東南海地震もいつ起きてもおかしくないと言われています。そんな状態で十分な調査もせず無理やりに大飯原発を再稼働して、その後指摘により活断層の再調査をしている始末、しかも調査は原子炉を作った三菱重工の子会社がやっているというふざけた実態！！　政府も電力会社もなりふりかまわず再稼働を進めていこうという姿勢がありありで、危険極まりありません。さらにこともあろうに、政府は9月発足予定の原子力規制委員会人事として、委員長に原子カムラの中心人物である田中俊一氏、そして委員に更田氏、中村氏という原子カムラ出身者を挙げてきました。とても正気の沙汰とは思えません！ でたらめ、無能・無責任の集積！！　この異常な現状こそが、今のこの日本という国の政治、行政、電力会社がもはや原発を運用する能力も倫理観もないことをはっきりと示しています。危険な原発を運用する資格がありません。即刻原発すべてを停止し、地震対策をし、確実な廃炉へ向けて踏み出してください。それだけでもどれだけの膨大な費用がかかる難事業であるか想像もできないくらいなのです。 今すでに各地で建設されているガスコンバインド・サイクル発電は効率がよく、安く電力供給できますし、太陽や風力などの自然エネルギー技術も向上し需要が増えています。菅直人元首相は「福島原発事故は民間企業が原発について全責任を負うのは不可能であることを証明した。原発を国が作る原発公社に移し、同時に発送電分離を実行し、従来の電力会社は原発以外の発電会社となればよい。そして再生可能エネルギーや地域への熱供給といった分野に進出すればよい」と提言されておられます。こうした組み換えをどんどん進めていけば、原発のない社会は速やかに実現できるはずです。こういう青写真をきっちり描いて示さないと、まともな日本人は日本を見捨てますよ。すでに日本を脱出している人が多くいて、昨年の日本の人口は大きく減少しています。 政治家、所轄官庁、電力会社は、これまでのでたらめな原子力行政について責任を追及される立場です。これまでの原子力行政は、非核三原則はじめ、いくつもの法律に違反しています。こんなことが長年行われてきたこと自体が異常であり、大きな過ちなのです。謙虚に反省し、国民のために速やかに原子力のない社会を実現してください。
56292	個人	会社員・公務員	40代	男性	現在の電力使用状況、日本産業の置かれている現状、これまでの原子力開発の経緯、クリーンエネルギーの開発レベルなどを考えると提示されている3つのシナリオは感情的すぎるものであり現実的ではないと思われる。	昨年の東電福島原発の事故により、原子力事故に対する恐ろしさが日本で初めて現実となった。だがしかし、現実の国民生活、産業を考えると提示されている3つのシナリオではかけ離れているように感じる。まるで飛行機が墜落したから飛行機をすべて飛ばさないという話のようではないか。あまりにも感情的な話の展開と思われる。いままで行ってきた原発に携わる人、物（設備、技術）、金（税金）への投資を考えることと、代替とされる自然エネルギーの完成度の低さは現実的な議論となり得るレベルではないと思われる。
56293	個人	無職	70代	男性	即時0%	放射性物質は全ての生物にとって有害 共存不能の物質
56294	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロの社会を望みます。	規模の大小を問わずに見ると、この数十年の間だけでも世界中で数多くの原子炉事故が起きています。そのうち2か所は人の住めない環境になりました。 ですから安全という言葉は信頼できませんし、この先10万年も核廃棄物を管理できるとも思いませんので、そのようなコントロールの難しいエネルギーには頼るべきではないと思っております。
56295	個人	会社員・公務員	30代	男性	完全「ゼロシナリオ」を支持します。	放射能の脅威は人間にコントロールできません。 どんなに技術が進歩しても完璧はないのです。 日本は高度な技術力をもって自然エネルギーへシフトすべきです。 誰かが放射能に恐れを感じ、体を犯されている社会は「平和」とは言えません。
56296	個人	その他	30代	男性	我が国にある原子力発電所（原子炉）は即時、全て停止すべきである。また、もんじゅ等の実験炉も即時停止すべきである。	1、原子炉を運転するための技術は未完成であり、危険である。一旦事故が起きた場合の被害があまりにも甚大であり、コスト・ベネフィットがそもそも成り立たない。事故が起きないことはあり得ない以上、かかる技術は、用いるべきではない。 2、使用済み核燃料の廃棄・貯蔵技術が未確立であり、その見通しすらない。それにも関わらず原子炉を運転し続けて使用済み核燃料を増やすことは、不合理である。そもそも、数万年も危険な放射性物質を貯蔵することは不可能であり、安全な管理などあり得ない。 3、福島第一原子力発電所の事故処理態様にも象徴されるように、事故に対応できる体制が確立されていない。未だに放射線量の高い地域に住民は住み続け、放射性物質による汚染で食料の安全が脅かされている。今後、この対応が改善するようには思えず、むしろ対策は後手後手に周り、汚染が拡大しているのが現状である。かかる体制で原発を運転できるとは到底考えられない。また大規模事故が起きれば、破滅である。 4、仮に大規模事故が起きなくても、原子炉は作業員を被曝させ、その健康や生命に脅威を与える危険な装置である。かかる犠牲は、基本的人権の侵害であり、社会倫理に反し、正当化できるとは思えない。 5、結局、放射性物質は極めて危険であって、人間がコントロールできる代物ではない。それを大量に取り扱う発電用や実験用原子炉は極めて危険であり、電力が不足したとしても、動かすべきではない。核兵器を使用すべきでないことと、同じである。
56297	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオ政策を希望します。	今まで原発利用により、便利に暮らせてきたことは確かです。でも使用済み核燃料の扱いや、活断層の上の原発などは漠然と不安に思ってはいました。そこへ昨年の福島の原発事故が起こり、現場はまだ収束しておらず、拡散した放射性物質の扱いに困って広範囲に渡る被災地復興の妨げになっている現実。関東圏に住み、子どもたちのことを考えると、日々口にする食材の産地や、ホットスポットの存在など気にしなければならない毎日は健全とは思えません。福島の影響でこの先ずっとそんな生活が続き、5年10年後には実際の体調不良も覚悟しなくてはいけないとは思っていますが、せめてそのような不安を新たに生み出さないためにも、今後の目標として原発に頼らないエネルギー政策を希望します。一刻も早い方がいいと思うので、パーセンテージを落とすのではなく、ゼロを希望します。
56298	個人	会社員・公務員	60代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	子供たち、孫たちが安心して生活できる未来に！
56299	個人	その他	70代	男性	地球上の生き物の存続が最優先！ 脱原発即時実施。再稼働絶対反対！ 増え続け、確実な廃棄処理方法さえ見つからぬ使用済み核燃料をこれ以上増やすことは何人にも許されない！ 原発0%以外の選択肢無し。	人類を含む地球上の生き物の命の存続を第一に優先させねばならない。 脱原発を即時実施をすること。再稼働も許してはならない。絶対反対！ 現在も増え続け、確実な廃棄処理方法さえ見つからぬ使用済み核燃料をこれ以上増やすことは如何なる理由があろうとも何人にも許されない筈だ！ 原発0%以外の選択肢無し。
56300	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを選択します。ただし、再稼働はせず現存の原子力発電所を徐々に廃炉にすることを希望します。	活断層の多い日本の地形的な条件、使用済み燃料の保管・処分地の選択の困難さ・危うさ、さらに利権にしばられた甘すぎる危機管理を考えた時、原子力発電の利用は、少なくとも日本では選択肢に入らないと思います。 福島の事故処理を見ても、非常に深刻な環境汚染を引き起こし、経済や人々の生活に多大な影響を与えているにもかかわらず、補償は全く足りていません。 当面は石油・LNGを中心にしのぎ、政策的に再生可能エネルギーの割合を高めてゆけばよいと考えます。
56301	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力発電は、いりません。新しい新幹線を開通させたり国土強化などに使う予算があるなら、いますぐ代替エネルギーを、いかに作り普及させるかに使って下さい。	福島の人々が、今どういう状況にあるのか、きちんと目をむければ、原発が安全なんて言葉を安易に言うことは、できないはずです。目先のことしか考えていない一部の金の亡者の為に、日本の、地球の、未来を奪わないで下さい。政治とは何ですか？まだ、自然ときちんと共存していた頃の私達の先祖は、7代先の子孫のことを常に考えて行動していました。今の日本はどうでしょう？もっともっと未来に目を向けてください。そして、都合の悪いことから目をそむけないでください。あなた方政治家は、少なからず、国民から期待されて選ばれたはずです。初心を忘れず国民の心の声に耳を傾ける勇気を思い出してください！もう、危険とわかっている原発に依存するのは、やめてください。本当の意味の国土強化とは、新幹線を通したり目先の威厳を保つための事業では、ないと思います。原発がなければ困るという人々の為に、莫大な開発新幹線や国土強化のためとされる予算を使って代替エネルギーが普及するまで、支援したって、原発依存しているより、ずっと少ない予算ですむはずです。今、原子力関係で働いている人達を代替エネルギーに携わっていけるような道筋を整備すれば、失業者数も、少しは、抑えられるのです。どんな手を使ってでも、まず、日本を、地球を、壊してしまう原発はゼロにするべきです。そういう考えかたができる国こそ、先進国と呼ばれ、他の国を導いていく資格があるのではないでしょうか？
56302	個人	その他	60代	男性	原発は即時停止、大地震が起きても安全が確保できるように対策をとること。	日本は地震が多発する地域です。 エネルギーはしっかりと確保できるよう対策を全力でたてる。 それは必ず可能です。それしか道はありません。 さもなくば、万一の時今以上の犠牲が出て、未来何百年と立ち直れません。 未来の子孫に豊かな自然と文化を伝えて行かなければなりません。 今こそ冷静な判断を。
56303	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は，直ちに廃止しなければならない。	理由はどうであれ，安全だと言い切っていた原発で爆発事故が起きた。大量の放射性物質が拡散し，事故の影響は，今後何十年にも及ぶもので，一企業が償えるものではない。 　また，使用済み燃料の安全な処理方法は無い。核燃料サイクルなどと言ってきたが，まったく機能しない。危険な物質が大量に蓄積されていくばかりだ。原子力発電は直ちに止めて，これ以上の危険の増大を止めるべきだ。
56304	個人	自営業	50代	女性	・高レベル核廃棄物の処理問題を考えれば、原発はなくすべき。 ・高度経済成長時代に有効だった電源法はもう今の時代には合わない。 ・人口も製造業も減っている日本の現実を見れば、電気は以前ほどいらない。	・高レベル核廃棄物の処理問題を考えれば、原発はなくすべき。それが分かっていながらここまできた。事故で国民の関心と理解が高まっている今こそ、一気に原発0にする機会。でなければ、またなし崩し的にずるずる続けてしまうだろう。原発に依存している地域の経済は、廃炉ビジネスで維持。 ・送電分離を絶対やってほしい。100%別会社で。この法案を通してくれる代議士、党派を支持する。市場の競争原理が電気業界を、時代にあった健全なものにしてくれる。 ・十分な安全対策、事故時の補償などを経費に計上すれば、原発は決して安価ではない。 ・今までエネルギー政策には無関心だったが、福島の人々のあまりに大きな負担を目の当たりにして、社会的な責任を感じ、個人でもかなり勉強した。少々電気料金が上がっても、それが再生エネルギーのためなら耐えられる。
56305	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電所の事故により、福島、東北の居住地の問題だけでなく、日本全体の安全が脅かされた事実を踏まえ、2030年といわず可能な限り早い時期での原子力依存ゼロを、国力をあげて成し遂げるべきだと思います。	日本始まって以来の過酷な災害がもたらされたという認識が必要です。 その原因となった原子力発電は、人々の犠牲の上にしか存在することができないことが明らかになりました。2030年という遠い将来の目標としてではなく、日本の持てるすべての叡智を結集し、可能な限り早い時期に原子力発電への依存をゼロにすることが、最重要課題です。 これ以上、原子力発電による被害者を増やしてはなりません。 のんびりしている場合ではありません。 国力をあげて、原子力発電からの脱却を今すぐ行うべきです。 福島のふるさとを奪われた人々の悲しみをこれ以上無駄にしてはいけません。 2030年という遠くに目標を設定するのではなく、今できるかぎりの努力を始めて下さい。よろしくお願いします。
56306	個人	その他	50代	男性	日本は脱原発を21世紀の国家目標とし、世界のエネルギーリーダーになるべき。	原子力発電は、確かに高いエネルギー発生が魅力だが、今後ますます高い安全性が求められ、コストの高いものになってくる。また、使用済み核燃料は、今後何万年も、保管が要求され、何百世代も注意と管理が要求される。 既存の、化石燃料、天然ガスのエネルギーシステムのエネルギー高効率化により、従来の30%効率で捨てていた排熱を利用し、60%にするだけで、原子力分はいらなくなる。 また、自然再生エネルギーの太陽・風力エネルギーの10%ぐらいを実現するだけで、エネルギーの不足分は補える。小水力発電を日本の山村に配置し、地元の電気は地元で、地産電気消費型に。 エネルギーシステムスマートグリット化を図る。 新規住宅・ビルの屋根には、太陽光発電を、義務化する。 超長距離電力送電システムの開発。2000～3000kmの低ロス送電システムの開発をすべき。将来的には、オーストラリアの砂漠地帯で作った太陽エネルギーを、日本アジア全体に送電できるように、地球レベルのスマートグリッド化を、日本が開発すべきです。 　　以上
56307	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年での原発の比率、ゼロを希望します。	安全性、交付金や廃炉、使用済み核燃料の処理まで考えた際、明らかにコストも高く、燃料であるウランの埋蔵量が限られている現在、一刻も早く再生エネルギーへの移行を進めるべきだと思います。また原子力関係の人材が不足してくることも懸念されます。可能な限り早い段階での原発の廃炉、もんじゅ廃止を求めます。 Shame on you
56308	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発比率ゼロを目指してほしいです。 震災前と後では企業や国民一人一人の意識が断然変わっているとおもう。 政府が原発依存度を低減していくという基本理念があるなら、 目指すところはゼロで！	資料を見る限りP15のゼロシナリオには、負担が重くなって禁止事項も増えるという言葉が使われており、ゼロにするにはかなりハードルが高いという印象を受けます。現実ムリだよと言っているみたい。 しかし、2012年8月現在、電力使用量が高い季節でも、どうにか大飯原発のみの稼働で成り立っているという現状（火力は以前より増えているかもしれませんが…）を過ごしていると、18年後の2030年までには、原発依存率ゼロにするのも難しくないかなと思います。 世界で活躍している日本の自然エネルギー技術を自国で認めもっと採用すれば、雇用の問題も改善できるとおもいますし、再生可能エネルギーがもっと普及できれば火力への負担も少しずつ軽減され、次世代のエネルギーシフトができるのではと考えています。 地震国の日本。安定していない地盤の上に危険なものを置いておくより、地熱・温泉の活発な地域での開発を進めていくことも地域活性になるのでは？ しかし再生可能エネルギーの普及にはコスト面では初期投資が問題に上がってくると思いますので、援助が必要です。 原子力発電はコストパフォーマンスがいいといいますが、維持費や管理料、使用済み核燃料の処理・管理などを含めると、発電にかかるコストより、その後のゴミ処理に関するコストが莫大にかかっていることは、あまり公になっていないですよね。たとえ原発依存ゼロになっても、核燃料の管理は次世代にも引き継いでもらわなければならない。それは100万年1000万年とも言われているわけです。 省エネ商品が普及している現在、初期の購入価格がある程度かかっても、その後の電気量が安くすむ。といって製品の買い替えをしているひとが増えているし、 18年後という時間があれば普及はあたりまえになると思うのです。 核の安全利用をうたって、日本の技術が向上したのは事実です。しかし、技術にともなう安全管理が最悪でした。都合の悪いことは隠そうとする気質・管理体制が未熟でした。 核燃料を使うようになって約50年。 今後は『核の安全利用』ではなく、『核を使わない』のが日本が誇るべき点になってほしいとおもいます。
56309	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを選びます！	今の技術で処理できない核廃棄物をどんどん生み出す原子力発電には反対です。政府・東電の「原発はクリーンエネルギー。コストも安い。」と言う言葉を今まで信じてきましたが、嘘であったことを知りました。環境を破壊するうえ、核廃棄物の処理費用を考慮すると一番コスト高であり、第一に人間の健康・命を奪うものである。そういうエネルギーは必要ない。ゼロシナリオになると、雇用が減る、経済が落ち込む、国際競争力が低下する、等のマイナスの印象を与える記事が新聞等のマスメディアには出ているが、マスメディアの発信するもの自体が原発から利益を得ている企業等であったりして、どこまで情報コントロールしたいのかと不信感を持ちます。 日本という国が、経済・産業・企業や個人の利益よりも、全てにおいて「国民の命・健康」を第一に考える国であって欲しい。そういう国で私は暮らしたい。未来を担う子ども達に負の遺産を押し付けるような無責任なことをしてはいけない。そのことを政府も東電も本当は分かっているのではないでしょうか？ 原発がなくなって電力が不足すると言うなら、それに合う生活に変えていけばよいと思う。

56310	個人	家事専業	50代	男性	ここまで日本を、そして世界を混乱させている原子力発電そのものを莫大な犠牲を払いながら続けて行く事はもう諦めて欲しいです。	この度のパブリックコメントの公募の機会を 与えて下さり誠にありがとうございます。 昨年、3.11以降多くの事が 明らかになって参りました。 私たちの群馬でも放射能汚染の状況は 決して低いとは言えない地域が 沢山あるのは今やよく知られた所です。 群馬の殆どの山々、森林、 そして農産物が被害を受けています。 そして外国の殆どが東日本の農産物の多くを 輸入禁止にしている現状であるのは ご承知の通りです。 例え、よく言われる"風評被害" つまり噂であったとしても、 一度そのように認識されてしまえば、 そのように捉えられてしまいます。 このことが原因で近隣関係に於いても いらぬ不調和が生まれたり、 何よりも日本の先行きが見られず、 多くの人が不安になっているのは 当然と言えるでしょう。 自分以外にも周りでは311以降不安を抱え、 なんだか分かりませんが、 体調不良を感じている人達はかなりいます。 また現在でも地震は常に続いていますように、 地球規模での大陸、地殻の活動期に入ったと言う事は多くの専門家の方達も指摘しており、 多くの書籍、メディアでも報じられています。 私たちはこの100年程、大地が割と大人しくしてくれていた沈静期だったからこそ、その上で好き勝手に自分達だけの都合でやってこれたのだと思います。 しかし、現在のように明らかな活動期に入ってしまい、 いつ地震や洪水、茨城のような竜巻などの 強力な天災が起こってくるか分からないような はっきりした時節に於いては、 原発のような危険なものは、経済生活は愚か、 種の絶滅迄も脅かす機構は不条理としか言えない、 と思います。 今後の日本のエネルギーについては、 これまでの火力、水力でも間に合う事は知られていますし、世界でも主流になって来ていると言う ガスコンバインが発電、自然エネルギーなど、 原発の壊滅的な危険性よりは遥かにマシな方法は 幾らでもあるはずです。 そして福島第一原発で作業されている方達の 現場からの声を しっかり聞いて頂きたいです。 国が国民を絶望させるとは どう言う事でしょうか？ 子供達の未来をどうするのでしょうか？ 2030年迄一度も東日本大震災のような 地震やその他の天災も絶対に起こらない、 と断言、予言出来るのでしょうか？ 最後に 原子力につきましては、ドイツのようにまず 「止める」 と国が決心し、認め、受け入れる所から、 それに伴って今後の処理方法など、 色々と出て来るものと期待しています。
56311	個人	家事専業	40代	女性	原発比率、2030年にには0がいいです。	人間が自分の力で制御出来ないもの、危険度の最も高いものは、どうか、 なくす方向でお願いします！
56312	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力発電は、いりません。新しい新幹線を開通させたり国土強化などに使う予算があるなら、いますぐ代替エネルギーを、いかに作り普及させるかに使って下さい。	福島の人々が、今どういう状況にあるのか、きちんと目をむければ、原発が安全なんて言葉を安易に言うことは、できないはずです。目先のことしか考えていない一部の金の亡者の為に、日本の、地球の、未来を奪わないで下さい。政治とは何ですか？まだ、自然ときちんと共存していた頃の私達の先祖は、7代先の子孫のことを常に考えて行動していました。今の日本はどうでしょう？もっともっと未来に目を向けてください。そして、都合の悪いことから目をそむけないでください。あなた方政治家は、少なからず、国民から期待されて選ばれたはずです。初心を忘れず国民の心の声に耳を傾ける勇気を思い出してください！もう、危険とわかっている原発に依存するのは、やめてください。本当の意味の国土強化とは、新幹線を通したり目先の威厳を保つための事業では、ないと思います。原発がなければ困るという人々の為に、莫大な開発新幹線や国土強化のためとされる予算を使って代替エネルギーが普及するまで、支援したって、原発依存しているより、ずっと少ない予算ですむはずです。今、原子力関係で働いている人達を代替エネルギーに携わっていけるような道筋を整備すれば、失業者数も、少しは、抑えられるのです。どんな手を使ってでも、まず、日本を、地球を、壊してしまう原発はゼロにするべきです。そういう考えかたができる国こそ、先進国と呼ばれ、他の国を導いていく資格があるのではないでしょうか？
56313	個人	自営業	40代	女性	将来的に原子力による発電を0%にすることを国として国内外に宣言し、それに向けた現実的な政策を協議し、実行して欲しい。 再生可能エネルギーや自然エネルギーの開発なくして、日本の未来はない。	地震大国日本において、原子力発電はリスクが高過ぎることは、明白である。 将来的に人間の命と健康を奪う原子力は、それをコントロールできると思うこと自体に人間のおごりと、誤りがある。 震災を経験し、それを身を持って経験した日本だからこそ、同じ間違いを繰り返さないよう、他国に対しても脱原発の見本となることが必要だ。 現在、日本の経済成長が頭打ちなのは、今までトップでリードしてきた技術開発部門が、日本独自のオリジナリティーを失い、他国の後追いになってしまっているからだ。 日本の強みは、技術アイディアの発想力とそれを実行できる技術力であり、それを生かして再生可能エネルギーや自然エネルギーの開発を行えば、必ずや景気も回復し、再び他国に胸を張れる国となれると思う。 今、日本に必要なのは、自国に対する誇りであり、原発推進を続けるなどのこれ以上の恥の上塗りは、将来的に心ある人々の海外流出を促し、優秀な日本国民を失うことになりかねない。。 これからの日本のエネルギー政策の未来は、既成の枠組みの中での『改善』ではなく、新しい枠組みを『新たに生み出す』ことにかかっていると思う。
56314	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロシナリオを支持します 再稼働した原子炉も直ちに運転を止め、原発比率を0%にすべきです	1）原子力のリスクに向き合う 東日本大震災の福島第一原発事故により原発事故が発生した際には 社会全体の存続を脅かすリスクをもたらすことが改めて明確となった。 この事実を重く受け止め早期にすべての原発の廃炉をめざすことが最も望ましい。 2）未来への責任を果たす 半減期が数万年、数十億年の高レベル放射性物質が含まれていることを考えると原発から排出される放射性廃棄物の処理については、現世代が責任を持って管理できるものではない。このような状況で原発 を維持・推進すべきではない。 3）働き方・暮らし方を変えて小さなエネルギーで成り立つ社会をつくる 人口減社会、生産年齢人口の減少など縮小社会におけるエネルギー 需要のシミュレーションがなされるべき。どのシナリオも省エネの 割合が低い。節電・省エネを優先して推進すべき。 4）新たな経済・雇用を創出する 地域の自然条件や暮らしに合ったエネルギーシステムに転換し、持 続可能な再生可能エネルギーの比率を高めていくべき。輸入に依存 しないエネルギーにより、地域に新たな経済・雇用を創出する方策 こそが求められる。
56315	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオの推進をお願いします。	まず原発の再稼働については反対です。 ここ数年増える地震を考えても、第2の福島と同じ惨事が絶対にないと言いきれないからです。 また、もんじゅについても廃止すべきと考えております。 世界にむけて新しいエネルギー政策を打ち出す事が 今の日本が真っ先に取り組むべきです。 日本人にはその能力もあります。再生エネルギーについては 以下にも在る通り現実的な調査結果も出ています。 http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/shinsai/pdf/110922h.pdf すぐにではなくていいので日本の未来のために どうぞ国民の意見も取り入れていただけますように。 よろしくおねがいします。
56316	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発の再稼働に反対です。	核燃料の処理方法が確定していないのは未来の子供達につけを回しているに過ぎません。地球上に存在しない危険なモノを自分たちの都合で作り続け、その後始末を未来に託すというのは絶対にやってはいけないことだと思います。地下に埋めるといっても安全とは言えないと思います。 まだ自分の意見が言えない子供達に我々は将来どう説明できるのでしょう？ 世代が変わって未来の子孫達にどう説明すればいいのでしょう？ 「経済が」という理由であればそうなってもいいと多くの人が思っています。 パグリックコメントもいいですがPC等活用できず意見を届けることができない人がたくさんいます。ぜひ国民投票をして下さい。
56317	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。	原発の問題は「いのちの問題」と思っています。子供や孫に原発のない平和な未来を託したので、原発依存度の早期低減を求めます
56318	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロ	原発ゼロを目標として、これからのエネルギーは、太陽光だと思う。
56319	個人	自営業	30代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」について 原発依存度を基準に、(1)ゼロシナリオを希望しますが、2030年までではなく、今すぐゼロにすることを主張します。	2011年3月の原発事故を受け、私は、原発のあり方ならびに政府に不信を抱いています。様々なメディア、資料、知り合いとの会話を通して、原発、原子力の問題や影響について学んできました。人がコントロールできないもの「原発」を扱うことは、現時点では危険だと実感しています。絶対安全神話に、私たちはもうだまされません。 生活にかかせない発電は、原子力でなくてよいです。 20年30年先まで私は待てません。いつか必ず同じ過ちを繰り返すことでしょう。どうか将来の子ども達のためにも、今すぐに全原発を停止して下さい。
56320	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	原子力は危険なエネルギーだと思います。それと国民をないがしろにした経済優先のシステムにも反対します。
56321	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原子力発電0%シナリオを選択。原子力発電は即時廃炉にすべき。	原子力発電0%シナリオを選択、原子力発電は即時廃炉にすべき。原子力発電のゼロリスクはありえず、むしろ地震大国日本においては再び事故が起きる可能性の方が高い。福島原発事故で明らかになったが、事故が起きた場合、次世代への影響に対しては不明な点が多く、現世代が責任を取れないため倫理的に許されないエネルギーである。
56322	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年時点で原発依存度を10から15にすべきと考えます。	再生可能エネルギーも発展させなくてはならないですが、日本海側のメタンハイドレートや日本近海の海底油田の発掘など、日本が自前でエネルギーを確保する方向に舵を切るチャンスだと考えます。

56323	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0	必ず想定外の事象は起こります。起こりうる最悪の事態を想定して原発0を提唱します。 農地法の改正で使用されてない農地を太陽光発電につかえるなどして、新エネルギーの開発をすすめるべきです。 海外から緊急時に売電できるように国際電力網の建設をすすめるべきです。いまも資源は輸入してるのでエネルギーの国外依存の問題は特に変わりません。
56324	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電は「0パーセント」のシナリオを選びます。 いつまた福島のようになるかわからない、原子力発電にこれ以上頼るのは嫌です。 本当は今すぐ、全基廃炉にしてほしいです。	原子力はゼロの未来を選びます。 原発の安全性、といいますが、まったく安全ではないと思います。 危険性を認めるべきです。 人間は身の丈にあった生活をすべきです。 福島では、きちんと廃炉になったとしても、 まだ飛び出した核種と何百年とお付き合いしなければならないのですよね。 しかもその廃炉にする方法は、まだ決まっていないのではないでしょうか。 そんなお金のかかる、面倒なものをまだ使い続けていくつもりなのでしょうか。 二度とフクシマを繰り返さないためには、つかうのをやめるしかないと思います。 「大丈夫」だとおもって、今まで使ってきました。 でも、もう、「大丈夫」だとは思えません。 子供を、自然を、未来を愛しているから。 げんぱつはいらない。 ゼロシナリオ以外考えられません。
56325	個人	会社員・公務員	20代	男性	0%にする（ゼロシナリオ）	理想と現実は異なるとは思われますが、今回の震災のような危険性が回避し、安全・安心に暮らすことができるようにするには0%となると思います。 そのための代替エネルギーの開発や検討が必要と考えます。
56326	個人	その他	70代	男性	『2030年までに原発ゼロ%』のシナリオを選択します。	子々孫々の代にまで悪影響を及ぼす原発政策を続けていいわけはありません。 電気は足りています。そして放射性廃棄物の処理も決まっていません。 もし即時原発廃炉の選択肢があれば、もちろんそれを選択したいところでした。 これ以上未来にツケを残す政策をとるのは即刻やめていただきたい。
56327	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発比率0%を選択希望です。しかも2030年までにではなく、即時です。理由はもう一度原発過酷事故が起こったら、この国自体の存続そのものが危うくなるからです。	原発事故を起こしてしまった世代として、被害県の福島県人として もう二度とこんな残酷な事故を被害を起こしたくない。 そのためには原発をなくすしかありません。 なぜならば「原発事故が起こらないようにします」は、もう通用しないからです。 皆が、事故は起こるものと考えるようになりました。 スリーマイル、チェルノブイリ、その他多数のトラブル。 仮に2030年に0%にするとしても、 2030年までに稼働している原発が事故を起こしたら 誰がどのように責任をとるのでしょうか。野田首相お1人の辞任で 被害者全員の補償が、事故収束がなされるのでしょうか。 霞が関官僚の誰かが辞任したところで、責任は果たされますか。 再稼働のリスク（事故が起こる）と、稼働しないことでエネルギーが足りなくなることは 天秤にかけられないほど、大きな損失です。 もう「事故は起こらない」と仮定することはやめにしてください。 福島の事故の補償は本当はいったいいくらかかるのか明らかでしょうか。 そのことと比較してみて下さい。 あなたが最愛の人に「あなたの体には放射能の影響があると思うから離縁する、別れる」 と言われ、出て行かれたら、その損失はいくらですか。 また、「あなたの子供はある程度の初期被ばくをしました。5－10年後 健康被害が出るかもしれないし、出ないかもしれない。でも因果関係は立証されていないので 国の補償を受けられる見込みはありません」 そうなったら、「息子よ、仕方ないが受け入れてくれ。」で、すむでしょうか。 この国は、見た目は戦後の荒地ではありません。 でも、福島の心は荒地同然のがさがさです。 原発由来のエネルギーがなくても、たとえ今の半分の電気量でも 原発がゼロであれば、その英断に勇気をもらい 福島の心は見違えるように復活を遂げるでしょう。 どうか、即時原発ゼロの英断をしてください。 私の心はあなた方官僚や政治家の英断にかかっているのです。 優秀な頭脳は30年先の世が見えるはずです。 明るい未来にするために、どうか英断をしてください。
56328	個人	会社員・公務員	30代	女性	選択するシナリオは(1)ゼロシナリオ。2030年までにではなく、即刻ゼロにするためのシナリオをつくってほしい。	原子力発電に費やしている国費を、太陽光・風力・バイオマスといった自然エネルギー発電へ切り替えることを考えてほしい。開発費用のバランスの悪さが「原子力に頼らなければ日本全体が欲しているエネルギーが足らない」という意見につながっているように考える。
56329	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発比率ゼロを目指してほしいです。 震災前と後では企業や国民一人一人の意識が断然変わっているとおもう。 政府が原発依存度を低減していくという基本理念があるなら、 目指すところはゼロで！	資料を見る限りP15のゼロシナリオには、負担が重くなって禁止事項も増えるという言葉が使われており、ゼロにするにはかなりハードルが高いという印象を受けます。現実ムリだよと言っているみたい。 しかし、2012年8月現在、電力使用量が高い季節でも、どうにか大飯原発のみの稼働で成り立っているという現状（火力は以前より増えているかもしれませんが…）を過ごしていると、18年後の2030年までには、原発依存率ゼロにするのも難しくないかなと思います。 世界で活躍している日本の自然エネルギー技術を自国で認めもっと採用すれば、雇用の問題も改善できるとおもいますし、再生可能エネルギーがもっと普及できれば火力への負担も少しずつ軽減され、次世代のエネルギーシフトができるのではと考えています。 地震国の日本。安定していない地盤の上に危険なものを置いておくより、地熱・温泉の活発な地域での開発を進めていくことも地域活性になるのでは？ しかし再生可能エネルギーの普及にはコスト面では初期投資が問題に上がってくると思いますので、援助が必要です。 原子力発電はコストパフォーマンスがいいといいますが、維持費や管理料、使用済み核燃料の処理・管理などを含めると、発電にかかるコストより、その後のゴミ処理に関するコストが莫大にかかっていることは、あまり公になっていないですよね。たとえ原発依存ゼロになっても、核燃料の管理は次世代にも引き継いでもらわなければならない。それは100万年1000万年とも言われているわけです。 省エネ商品が普及している現在、初期の購入価格がある程度かかっても、その後の電気量が安くすむ。といって製品の買い替えをしているひとが増えているし、 18年後という時間があれば普及はあたりまえになると思うのです。 核の安全利用をうたって、日本の技術が向上したのは事実です。しかし、技術にともなう安全管理が最悪でした。都合の悪いことは隠そうとする気質・管理体制が未熟でした。 核燃料を使うようになって約50年。 今後は『核の安全利用』ではなく、『核を使わない』のが日本が誇るべき点になってほしいとおもいます。
56330	個人	自営業	60代	男性	「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	高レベル放射性廃棄物の処分方法が全く無い 事故発生時の避難体制が絵に書いたモチ
56331	個人	その他	50代	男性	日本は脱原発を21世紀の国家目標とし、世界のエネルギーリーダーになるべき。	原子力発電は、確かに高いエネルギー発生が魅力だが、今後ますます高い安全性が求められ、コストの高いものになってくる。また、使用済み核燃料は、今後何万年も、保管が要求され、何百世代も注意と管理が要求される。 既存の、化石燃料、天然ガスのエネルギーシステムのエネルギー高効率化により、従来の30%効率で捨てていた排熱を利用し、60%にするだけで、原子力分はいらなくなる。 また、自然再生エネルギーの太陽・風力エネルギーの10%ぐらいを実現するだけで、エネルギーの不足分は補える。小水力発電を日本の山村に配置し、地元の電気は地元で、地産電気消費型に。 エネルギーシステムスマートグリット化を図る。 新規住宅・ビルの屋根には、太陽光発電を、義務化する。 超長距離電力送電システムの開発。2000～3000kmの低ロス送電システムの開発をすべき。将来的には、オーストラリアの砂漠地帯で作った太陽エネルギーを、日本アジア全体に送電できるように、地球レベルのスマートグリッド化を、日本が開発すべきです。 以上
56332	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオに賛成です。人間がコントロールしきれず安全な廃棄方法も確立されていない原発を、経済優先の論理で容認することは、未来の地球と生命に対しあまりにも無責任です。	国民の命や健康に照らして、一番安全性が高いのが【ゼロシナリオ】です。 一日も早い原発ゼロを望みます。自然への負荷が少ないエネルギー開発を望みます。15%も20～25%も、原発稼働（容認）には変わりなく、たとえ1基の稼働でも原発事故の危険と恐怖から逃れられません。 人間がコントロールしきれず安全な廃棄方法も確立されていない原発を、経済優先の論理で容認することは、未来の地球と生命に対しあまりにも無責任です。 国の促進と英知の結集によって、原発が無くても暮らしやすく心豊かな日本を目指すことを切に望みます。省エネと、原発に注ぎ込む諸々莫大な費用をクリーンエネルギー開発運営に転換することで、未来は開けるに違いありません。原発関連で働く方々や所在自治体のケアも国家的課題と言えますが、大きな転換には、それなりの副産性が見込めるはずです。仮に脱原発が景気経済の沈滞を招いたとしても、この国が思慮浅く原発推進をしてきたツケとしか言いようがありません。この大転換期を国がしっかりと舵を握り、国民の暮らしと未来を見据えながら、日本の経済を立て直していかねばなりません。エネルギーも食料も、工業製品も国内生産を推進し、国と国民が一体となって、自給力と輸出力を高めていくことが、国力向上に繋がると信じています。 チームワークにっぽん！ 以上の考えより心から原発ゼロを望み、【ゼロシナリオ】を選択します。
56333	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオ。原発は速やかに廃止すべき。今エネルギー政策を変えるべき。福島の処理に何百年かけるつもり？万一福島に何かあったら東京は？地震等災害を考えると急がなくては。	現実をみてください。福島がまだこれしかできていないのに、災害の可能性が高い日本で原発を持つことが、日本の破滅に繋がることがなぜわからないのだろうか。なぜ理解できないのでしょう。疑問。。。
56334	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」採用で0%を希望します	福島の例を見ても、事故があれば長期にわたり国民に悪影響を与える原発は即時停止、順次廃炉とすべきです。
56335	個人	家事専業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 私たちの子供や孫、その孫たちが安心して暮らせる環境を残す責任があります。人類の将来を考えて行動するべきだと思います。
56336	個人	会社員・公務員	30代	女性	「「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。 福島第一原子力発電所の収束のメドもたたないなか、再稼働は受け入れられません。 原発ゼロシナリオを希望します。

56337	個人	無職	60代	女性	2030年という時期設定にとらわれず、可能な限り早い段階での、脱原発(0%シナリオ実行)を支持します。	(1)電力は足りている 現状ピーク時電力でさえ、電力は足りているという数値的根拠があります。原子炉以外の発電所をフルに活用することで、ピーク時の電力需要を超える発電量が確保できる。 (2)原子力エネルギーは安くない 原子炉以外の発電所を稼働させる場合コストが高くなるというのが、再稼働の強い動機付けになっているが、原子炉のコストがやすいというのは、廃炉コストや廃棄物処理コストを不当に安く見積もっており、それらを含めた場合、原子力は安くない。 (3)電力コストを引き受ける準備 原子炉を停止することによって短期的に電力料金が高くなるとしても、引き受ける準備がある。ただし、その場合でも総括原価方式やLPG原油価格の連動の見直し、発送電分離などによるコスト下げ努力をすすめるべき。 (3)原子炉稼働に伴う困難(平時) 事故時にかぎらず、大量の被爆労働者を必要とする原子炉の稼働には反対である。過去の被曝労働者に対する調査や保障をすすめるべき。 (4)廃棄物処理に関する技術的困難(平時) 放射性廃棄物の処理には10万年かかる。自分たちの世代内で処理できないゴミを将来世代に残すべきではない。原子力はこの意味で持続可能なエネルギーとは言いがたく、現状の技術を前提にする限り支持できない。 (5)災害等にともなう事故発生のリスク 自然災害等による事故にともなうリスクが、他のエネルギー手段とは比較にならないほど甚大であり、回復不可能である。外部電力の確保や津波対策もなされないまま再起動された大飯原発のような選択はありうべきでない。 (6)代替エネルギーへの積極的支持 太陽光・地熱・海と風力・シェールガス開発等、代替電力を開発することは他国の例をみてもわかるように、むしろ長期的にみて、経済合理性がある。 (7)補足:原発エネルギーの比率が0%になるまでの期間において、原子力エネルギーを拒否する国民的選択にこたえて電力の自由化をすすめるべきである。政府は現状の電力の地域独占を改め、個々の世帯が原子力に依存しない代替エネ期限の電力を選択する選択肢を用意するべき。
56338	個人	自営業	40代	男性	原発による電力はゼロ%に。	未来の世代のために、今、私たちが脱原発を選択するべきと考えます。
56339	個人	無職	70代	男性	原発ゼロベース案を支持する。地球温暖化問題解決の有力策とされてきた原発は、未解決の危険事項が大きく、採るべき策ではない。「限りある地球環境の持続可能な維持」を求め、経済成長至上主義を改めるべきである。	1．原発廃棄物の処理に係る費用は、原発のもたらすCO2ゼロのメリットを　上回るデメリットをもたらすのではないか。 　原発を推進してきた大きな理由の一つが、地球温暖化をはじめとする環境　問題であった。排出するCO2ゼロのエネルギーとして、かつ再処理技術に　よりまるで無尽蔵のようなイメージを持つエネルギーとして、原子力は脚光　を浴び、安全対策を懸念されながらも強力に推進されてきた。しかし、原発　廃棄物は未処理のまま増加する一方であり、再処理技術についても六ヶ所村　の処理施設は全く機能しないままに放置されて久しい。化石燃料は確かにC　O2を排出するのを止められていないが、少なくとも、原発のような廃棄処　理は固まらない状況ではない。 2．我々は信ずべき情報が少なすぎる。 　原発の安全問題を含め、原子力に関する問題は専門家の間でも意見が分か　れ、素人の我々は戸惑うばかりである。「想定外の自然災害」という説明で　責任逃れだけに走る原子力の学識経験者、官僚の言を我々は信ずることがで 　きない。彼らの論に拠りかかり、見切り発車で、原発再稼働に踏み切る政府　の対応を我々は納得できない。 3．経済至上主義はもういらないのではないか。 　原発に関する3案のいずれにしてもが相変わらず経済至上主義から離れら　れないでいる。国内のみならず、世界中で格差拡大の問題はあるが、特に我　が国を含む先進諸国の人々は、豊かさをすでに満喫しており、「足るを知っ　て」、成長を追い求めることをやめなければ、本当の意味での地球環境の維　持はできないと思う。
56340	個人	家事専業	50代	女性	地震国日本に原発はいりません。脱原発でエネルギー政策希望します	現状で足りている電気を、なぜ偽ってまで原発を再開させたのか疑問です。沢山の日本人の命をこれからも、奪うかもしれない危険を抱えながらの繁栄など望みません。私はふつうの主婦で、これまで政治に意見を述べるなど考えたこともありませんでした。けれど、震災以降友人・近隣など周りの人と話をすると皆・民主党に騙された。二度と票は入れないと言います。私も期待した分、命まで軽視する民主党に怒りを覚えます。毎日の食事さえ、拡散された放射能の不安で、家族が汚染されたらと心配いたします。もう普通の安全な暮らしは戻らないのです。どうかお願いいたします。後世に恥じないとは、消費税を上げることではなく、即刻脱原発に舵をきる事だと思います。復興という名のもとに放射能を拡散しないでいただきたいです。国民の命を守る政治を希望いたします
56341	個人	自営業	40代	女性	原発依存度を下げるべきではないと考えるが、4つのシナリオから選ばなければならないのなら、もっともマイナスが少ないものにすべきである。	1　福島原発の影響 ・震災、大津波の規模に比べ、福島原発の事故は小規模である。 ・国民が最もおそれいることは、放射線の影響、とりわけ人体、生態系に及ぼす影響である。 ・しかし、福島原発の事故による放射線による影響は皆無である。 ・放射線についての専門家ではないが、一連の脱原発報道、反原発の主張は、主観が強く説得力に欠け、世間の不安をあおっているように感じる。 ・原発肯定の専門家による『脱原発のウソと犯罪』、『放射線と理性』、『「反原発」の不都合な真実』、『福島　嘘と真実―東日本放射線衛生調査からの報告』等の書籍のほうが説得力がある。 ・また、大学で放射線を研究したレベルの人に聞いたところ、「影響なし」と口をそろえて答えている。 ・小中高等学校において、広島、長崎の原爆の被害が過大に強調されているため、多くの日本人が原子力に対するアレルギーを持っていることや、人間固有の恐怖心から、放射線を「怖いもの」とする大衆心理が、脱原発の主張につながっている。 ・恐怖心を克服するものは理性である。 ・原発事故による放射線の影響は、飛行機に乗っているときのほうが被ばく量が多いことなど、論理的に検証すべきである。 2　脱原発による負担 ・現代では、産業や生活でますます多くのエネルギーが求められており、現在の技術では、原子力発電による発電がもっとも効率がよい。 ・新しいエネルギー、クリーンエネルギーにシフトするのは重要だが、コスト等効率が原子力にはとうてい及んでいない。 ・原子力発電は、火力発電に比べて、クリーンである。(地球温暖化にも反論があることを考慮すべきと考える。) ・省エネの技術も、原子力発電を補うほど進めるふか疑問である。 ・原子力発電を否定することは、電気料金をおしあげ、製造業、非製造業を問わず、産業に打撃を与え、雇用等にも影響を及ぼし、生活コストをおしあげ、特に電化製品を省エネ製品に買い替えることのできない低所得者層、電化製品を必要とする障害者への影響が懸念される。 ・節電のために電化製品の使用を控え、熱中症による死亡やその他の健康被害が発生が増える。 ・そもそも、戦後日本は、焼け野原から、より便利で快適な生活、豊かさを求めて発展してきた。 ・したがって、戦力消費量を減らすことは、先人の努力を否定し、貧しい生活に戻すことにつながる。 ・「豊かさや快適さが日本人をダメにしてきた」と考える年配者の考え、文化文明を否定する考えが、脱原発の考えの中に潜んでいる。 3　安全保障上の観点を検討すべき ・原発が稼働していることは、潜在的に核兵器開発能力があることを世界に示しており、原発が稼働しなくなると、原子力関連の技術者がいなくなり、核兵器開発が困難になることを世界に知らせることになる。 ・実際に核兵器の開発をしなくても、潜在的に核兵器開発能力があることを示すことが、我が国の安全保障につながる。 ・周辺諸国の軍事的示威行為や動向に脅威を感じている国民も多い。日本の大都市には核ミサイルが向けられている。 ・軍事力を持たない日本は、攻撃されても対抗手段がないが、核ミサイル開発能力があることを見せることが抑止力につながる。 ・国民を安心させるためにも、他国の軍事的脅威に対して、対抗手段を持つことが必要とされているが、憲法上の制約で、攻撃されたら攻撃できる能力があることをみせる必要がある。 ・安全保障上の観点からは、日本が脱原発に動いた場合、どの国に利益があるのかを考慮し、該当する国家があれば、その国家の報道、国民の意見に対しては慎重に対処すべきである。 4　世界は原発推進に動いている ・原子力発電がもっとも効率がよいため、インド、中国はじめアジア諸国では原発の増設が進められている。 ・大規模な地震による福島原発の施設への影響が小さかったために、日本の技術が、原発を推進する国々から注目を集めている。 ・近年、隣国である中国の影響と思われる光化学スモッグ注意報が発令されるなどしており、国民の健康を守るうえでも、今後も隣国の産業の動向には注目すべきである。その中国においては、相当数の原発の施設を導入する予定であるが、中国製の原発施設の安全性を考慮するならば、中国の原発設置を憂慮すべきである。 ・より安全な原発施設の開発をすすめ、輸出するほうが有意義である。 ・原発依存度を下げるべきではないと考えるが、4つのシナリオから選ばなければならないのなら、もっともマイナスが少ないものにすべきである。
56342	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電反対！！	何万年先まで残るゴミを私たちが勝手に生み出していいわけない！！ 電力が足りないとか、経済が衰退するとか言う人がいますが、そういう問題ではない。 原発がなくても電力は「足らず」、経済は「発展させる」、他の方法を探すべき。日本人なら必ずできる。政府のやる気がないだけではないですか？
56343	個人	会社員・公務員	50代	男性	25%。原発は人類がコントロールできないため反対。が全世界で原発ゼロを目標としない限り、経済競争力を奪うため原発継続が必要。休止中原発でも津波リスクはあるため稼働すべき。が2年以内に耐震化必須。	◆選択肢は24%. 1．原発はゼロとすべきであるが、それを掲げるならば世界全体目標とすべき。それまでの間は現実的に稼働することが必要。当面の目標は25%でよい。原発反対の方々は代替案を示すべき。理由は日本だけ原発を停止させても、 1)放射能リスクはなくならず、 2)経済競争力低下だけが顕在化するだけ。 2．休止中の原発については稼働させるべき. 理由は 1)現状休止でも津波リスク、地震リスクは在るため同じリスクなら、発電させるべき。 2)しかし条件として全原発は2年以内に地震津波リスクに耐えうる構造に改造すべき。 3)これができない原発は廃炉へ 3．早急にバックエンドの方法と費用を明確にすべき。 このコストを電気代に乗せる見せることをしないと、本当に原発が安いのかは国民には分からない。 4．最後に人類がコントロールできない原子力を停止させるのか、将来世代に解決策を託すのか、世界全体で議論すべき。バックエンドの標準方法、コスト負担、稼働リスクを明確にしたわかりやすい国民交えた議論が必要。
56344	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発を今すぐ「0%」にするよう求めます。	放射能によるさまざまな物質的・精神的な被害がでている今、これまでのように原発に頼って電力をつくるのはやめた方がよい。 人として冷静に考え、間違いを認めるべき。 未来のためにも原発を即時「0%」にするよう求めます。
56345	個人	無職	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します	あらゆる命の尊厳の為に。
56346	個人	家事専業	30代	女性	原発依存率は0% 原発はできる限り早くゼロにする。 完全廃炉	子ども達の世代まで負の遺産を残してはいけない。 原発は即時廃炉を希望しています。
56347	個人	パート・アルバイト	40代	女性	エネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。原子力エネルギーへの依存を即終了させる原子力エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。私たちは原子力エネルギーへの依存を直ちに終了させる、より踏み込んだ核エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。 具体的に私たちは以下を要求します: 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
56348	個人	その他	30代	女性	(1)の原発ゼロシナリオを選択。 それ以外はありえない。	高放射線量地域を放置し、放射性物質が混入した食品を全国・全世界に拡散するという犯罪的行為を許し、あげく福島第一の収束が見えないなか、1%の者が富むためだけの原発を再稼働。 狂気としか言いようがない。国民の総意は今すぐ原発1基残らず廃炉だ。 労働被曝をこれ以上増やすな。きちんと保障しろ。労働環境を改善しろ。 これ以上殺すな！
56349	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0　シナリオ選択でなければ日本は救えない	放射性廃棄物はどうしますか？ 自分の家の前に廃棄物があったらどうしますか？ 町のごみでも嫌がりますよね？ 同じです。 原子力発電所を稼働し続けると言うことはこれからの日本を破壊へと 向かわせます。経済を優先し、電力を原発に頼るのであるならば、世界から見放されます。もっと大きく考えませんか？簡単な話です。日本をよくしたい、人間が今までどれだけ先祖代々守られてきたか、今知っておくことが必要。 原発ゼロ。これ以外に選択はありません。
56350	個人	家事専業	40代	女性	原発反対	今を守るこより未来を守ることを考えてほしい。 これから生きて行く子どもたちと地球のために。
56351	個人	会社員・公務員	30代	男性	0%だが2030年の計画でなく、直ちに前面停止せねばならない。	今回の事故後の国や東電他電力会社の対応がふざけてる。 国より補助を受けてるのに、被災者への補助は一切なし。 電力は助けるが、国民は見捨てるのか。 もう原発は終わりだ。 今からでも遅くはないのでアメリカ、ヨーロッパのエネルギー政策を勉強しろ。
56352	個人	パート・アルバイト	30代	女性	即時0%、全原発廃炉に向かって行きたいです。	原発を使い続ける限り増え続ける、使用済み核燃料をどうするのか…ということがまず考えられます。 現在、世界を見ても自然エネルギーへとシフトしています。 福島が収束できていない、原発の安全性も確保できていない国が、どうして原発をこれからも維持していくシナリオに疑問を感じます。 これからの健康被害がわからない、食べ物の安全性も怪しく不安な中で暮らして行きたくありません。 原発のない、クリーンなエネルギーの世界で暮らしたいです。
56353	個人	会社員・公務員	30代	女性	日本の原子力発電所の所有率0%を希望します	福島県の原発事故を受け、日本における原子力発電所の所有を0%にすることを希望します。日本は製造業の技術等が世界一のはずです。その技術力で自然エネルギー界で世界を引っ張って行く国になるべきだと考えます。今の日本は中国、韓国、シンガポールを始め、他のアジア諸国より元気がなくなってしまいました。原発なくともエネルギーはまわるはずで、そんな明るい未来に向かってする仕事や頭を使う事は日本人を元気にしていくと思います。原爆を受けた国だからこそ、技術がある国だからこそ、日本人が、若い人々が誇れるような、脱原発国家にしていきましょう。

56354	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原子力発電自体に反対します。 その観点から2030年ゼロシナリオを支持し、それよりも可能な限り早期に原発ゼロを実現すべきと考えます。	東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、原子力の安全神話が崩壊し原子力をコントロールすることがいかに困難であるかが明確になりました。政府は「より安全な電気が欲しい、使用済み核燃料の問題を子供たちの世代におしつけたくない」などの国民の声を聞き、しっかりとした政府方針を立てるべきと考えます。 特に、国民生活や産業に影響を与える電気料金の上昇に関して、原子力発電の有無による差異はほとんどありません。 （参考:http://jref.or.jp/images/pdf/20120810/20120810_scenario.pdf ） むしろ、電力小売の完全自由化・発送電の所有分離などの施策を早期に実施し、電力会社間の競争を促すことの方が今後の電力料金の上昇を抑えることに役立つのではないでしょうか。 また、競争環境整備と安定供給のために国内送電線の整備はもとより、海外との送電線の連系が必要と考えます。 原子力の代替としての自然エネルギーは、化石燃料やウランのような輸入に頼らない純国産エネルギーであり、導入コストの回収が終われば他の電源より発電コストが安いという特徴があるため早く導入すればするほど2030年以降の電力全体のコスト低減に役に立つと考えます。 原子力ゼロを現実のものとするために、今この時点から最大限導入する必要か?あります。自然エネルギーには頼れないという意見も有りますが、日本は自然エネルギーの宝庫であり、その発電量もコストも著しく改善するものと思われます。 さらには、スマートグリッド、スマートメーターの導入により需要家サイドでのイノベーションを促進し、省エネや ヒ?ークシフト等の施策を競争環境の中で創出していかなければなりません。 　我が国は、戦後の石炭から石油への転換、オイルショック後の脱石油政策という大変困難なエネルギー革命を果たしてきました。 原子力ゼロ社会の構築は再度の大きなチャレンジです。しかしそれらの難題の度に我が国は国民が一丸となって産業構造の変革と技術革新によって新しい社会を構築し世界をリードしてきました。 いまこそ、国が大きなビジョンを示し一丸となって取り組むことで原子力のない社会を目指すべきで、またその実現は十分に可能であると考えます。
56355	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原子力発電は、日本にとって重要なエネルギー資源です。此れまでも日本の国を支え、今後も日本の未来を、国民を支えて早く非常に大切なエネルギー創設の手段です。又日本の重要な輸出産業です。	日本の国は全く資源がありません、殆どを石油の輸入による火力発電に頼っています。その石油の輸入には高価な支払いが発生します、かつ中東等は戦争発生が危惧されており、石油等化石燃料の輸入のリスクが非常に大きくなっています。 現在新聞紙上でも報道されている通り、原発停止による石油依存の為、企業の業績は非常悪化してきていると思われます。これが続けば日本は貿易立国として成り立たなくなります。産業の空洞化や失業の増加が非常に懸念されます。日本の将来を見据え、日本の科学技術を押し上げる為にも原子力発電は絶対に必要であると確信しています。確かに放射汚染は絶対に避けなければなりません、日本にはその技術は十分にあります。さらに言えば、隣国の原子力爆弾等による驚異の抑止力となるこの技術を放棄することは日本が衰退することです。原発は必須です。
56356	個人	パート・アルバイト	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	被爆国でもある日本が、福島であれだけの事故を起こしておきながらまだ原発に依存するのは世界中の国々に対して示しがつかない。少なくとも、現時点で原発の管理能力が無いことが証明された日本は、即時脱原発の意思を世界に示すべき。一朝一夕には難しいだろうが、今脱原発依存の意思を明らかにしておかないと、国民の不安と世界の不信は拭えない。即時0%を希望します。
56357	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。廃炉や省エネ技術、再生可能エネルギーの開発に予算を集中することで、脱原発を進めると共に、そうした技術を輸出産業へ育てることを望みます。	原発ゼロシナリオを支持します。 原発の安全性には不安があり、核燃料サイクル廃止が明示されているのは原発0シナリオのみであることが理由として挙げられます。 廃炉や省エネ技術などの開発に予算を集中することで、そうした技術を輸出産業へ育て、また再生可能エネルギーなど原発の代替エネルギーへの切り替えを進めていくことを望みます。 ■火力発電: 天然ガスを主燃料にしていくことで石炭や石油よりもCO2の排出を抑制しながら安定した電力源として活用していくことを期待します。 天然ガスの価格の高さが指摘されていますが、日本海などのメタンハイドレートの採掘に成功すれば資源大国になる可能性もあるという研究もあり、そうした調査・研究に力を入れていくべきだと思います。 ■再生可能エネルギー、蓄電: 太陽光発電や太陽熱発電、風力や水力など再生可能エネルギーの推進を望みます。 再生可能エネルギーと蓄電技術を組み合わせることで、再生可能エネルギーの発電の不安定さをカバーしながら、シナリオにあるような高水準の再生可能エネルギーへのシフトを実現してほしいと思います。 また、JAXAで行われている宇宙太陽光利用システム（SSPS）の研究に期待しています。 日本の宇宙太陽光利用システム（SSPS）の研究は世界リードしているとのことであり、政府は、こうした先進的な取り組みを支援すべきであると考えます。 ■スマートグリッド、省エネ技術: 省エネについては、「厳しい規制を広範な分野に課し」とありますが、スマートグリッドや省エネ技術など、電気の使用量を抑制する技術・仕組みの推進も期待します。 以上のとおり、原発ゼロシナリオをベースに今後のエネルギー施策の検討が進むことを望みます。
56358	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。	原発の問題は「いのちの問題」と思っています。子供や孫に原発のない平和な未来を託したので、原発依存度の早期低減を求めます
56359	個人	家事専業	70代	女性	日本のエネルギー政策について	原子力発電は、直ちに廃止するべきです。 再稼働している原発は直ちに止めなければいけません。 子供たちに未来を残しましょう。
56360	個人	無職	60代	男性	2030年における原発比率0%を支持します。	・今回の東京電力福島第1原発の事故に対する、原因究明調査と対応を見ていると、原発全体のシステムとしての不具合を見つけ出すことができていない。 ・さて、今までの日本の事故調査は、個人責任を追及することに主眼が置かれ、裁判所に責任者を引っ張り出して糾弾することを目的化している。本来複雑なシステムの事故調査では、個々人の責任追及ではなく、なぜ事故が起こったか、それを防ぐためには、何を改善すべきか、という事のみに目を向けて、（個人の責任追及はおこなわずに）原因究明をすべきであるが、それが行われていない現状である。 ・ところが、現状では、個人責任の追及がおこなわれる為、事故後の政府の対策会議の議事録が作られていない。また東電がTV会議のDATAを100%開示をしない事となった。 ・このような状況で、今後原子力発電の安全性が充分に高められていくとは考えられない。できるだけ早く原発依存度を下げる事を望みます。
56361	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所の稼働を0に向けエネルギー運営をしていただきたい。	現在、原子力発電はコスト面、安全性などすべてにおいて、保証されていない。たとえ安全性やコスト面などが保証されるとしても、そういった状況が国民に向けて理解されないこと、そして信用されていない状況で再稼働されるのは大反対です。そして、地震の脅威に常にさらされている日本国土での原子力発電はリスクが高く、将来的にすべて廃炉にし、太陽光、火力、風力などその他の発電方法で、国家の電力を運営していくことを望みます。
56362	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロシナリオ 《経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要だ》	政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。
56363	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年より前倒しで原子力発電による発電量を0とする。 それと並行して、自然エネルギーを利用した発電の仕組み、プラント開発を行う。 また、化石燃料、天然ガスによる発電システムの効率化を図る。	(1)原子力発電にはコントロールし難いリスクが伴い、制御は不可能である、今回の福島原発事故で明白である。 (2)原子力発電に伴う核のゴミは、地盤の不安定な日本では管理は不適である。 (3)放射能に汚染された国土の浄化は、現実には莫大な費用と時間がかかり、後世にツケを残す事は許されない。 (4)原子力発電を中止、施設の解体に公費を投じるのは止むを得ない。そして、あらな自然エネルギー発電システムの確立と開発に取り組む事で、新たな雇用の創出に繋げるべきである。
56364	個人	その他	30代	女性	反原発と言うのは簡単ですが、それを踏まえた日本経済について明確な提言をして頂きたい。反対するだけでは何も進みません。一つ一つ、多くの問題点・矛盾点をもっと丁寧に非感情論で議論すべきではないでしょうか。	初めに自分の立場を明らかにいたしますと、私は反原発ではありません。 というのも、反原発に値するほどの納得できる理由が見当たらないからです。 東北震災での福島原発が反原発の象徴のように言われておりますが、本当にそうでしょうか。日本という国で、地震と無関係な土地の方が少ないです。そんなことは昔からわかりきっていることです。原発施設がある土地で地震が来たらどうなるか、建設前の計画段階から想像がつくことです。反原発の方々の意見で、「国が安全って言うから信じてました。」騙された。」というものがあります。その方々は、人から言われたことを鵜呑みにするのですか？自分で大丈夫かどうか、予め調べなかったのですか？それを棚に上げて騙されたなんて言うのは筋違いかと感じてしまいます。 節電、節電とことあるごとに掲げておられますが、省エネ全般を考えて、節電は反対ではありません。しかし、節電グッズをスーパーやらデパートやらショッピングモールやら、至る所で見かけますが、その節電グッズを作っているのは電力のおかげじゃありませんか？ 「反原発デモに参加を！」「反原発を広めよう！」と、TwitterやFacebookやブログ、ネットのサイトなどで多々見られます。意見拡散方法として使用しているインターネットは電力が元になっていますが、電力を消費しながら電力を抑えようと言われるのですか？ 「放射能が怖い」とか言いながら、病院で放射線を使うレントゲン写真やCT写真を、医師が不要と説明しても「頭を打ったから心配。安心のために撮って。」と外来にズラリと並ばれています。不要と説明した医師をなじる方も珍しくありません。無駄に浴びる放射線は、自分の自己満足なら別に構わないのですか？ 電力供給が少ないままで、十分な経済活動ができず、ますます日本の国際競争力が減るのは構わないのですか？なにかいい経済打開策でもあるのですか？ 原発推進の頃は地球温暖化が心配と言い、今は放射線が怖いと言う。地球温暖化防止のために、とオール電化を好んで取り入れた各家庭の方々も、電力供給の意味を理解していたのでしょうか。電気で動く車を買った方々は、その電力はどこからくると思っているのでしょうか。 これらの疑問に、反原発の方々から満足がいく解答を得たことがありません。 だから、私は反原発には納得できないのです。 原発以外のエネルギーを、各関連会社や大学機関研究室などは、以前から研究を重ね、提案を繰り返しています。 それを踏まえた上で、将来的に原発の代替エネルギーができるのであれば、原発をなくしても構わないでしょう。 大事なことは、「原発が危ない」のではなく、「何があった時に対応が後手になること」ではないのですか？ 何かあることを前提に、対策を練り直し、広く意見を求める風潮にならないのは何故ですか？ 原発の周囲に住まわれていて、今回の福島原発事故で政府を手放さざるを得ないことは不幸だと思います。しかし、だからといって「まさかこんなことになるなんて」と言われる方々は、100%安全という言葉を信じていたのですか？なにを根拠に自分の生活の場を他人の判断に委ねていたのでしょうか。 どうも、反原発の方々の求める将来像が明確に見えて来ず、すんなり受け入れられません。原発に反対はするけど、経済・将来像は別の誰かが考えればいいと思っているのでは、と疑念を感じます。 そして、こうした意見を人前で述べると、非国民かのような目で見られるのに納得できません。 反原発の方々が悪いとは言いません。ただ主張するだけ、賛同するだけというのなら、「安全というのを信じていた。」という理論と同じじゃないですか。 政府にも、言葉騙しではなく、研究に携わる科学者の方々の意見をもっと公の場に出して頂きたいです。 子供たちに安全な未来を。それは私も賛同いたします。だからこそ、反原発という一括りにせず、いろんな角度からの検証が必要と思うのです。 安全な未来も必要ですが、経済が安定した未来も必要です。 なにが一番ベストな方法なのか、反原発に固執することなく、広く議論できたらいいなと思わざるを得ませせん。 今回、反原発の方にとっては過激と受け止められる意見も敢えて述べております。議論するからには、こういった意見に対する解答も必要なのだということをご理解ください。
56365	個人	その他	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時廃炉を希望します。	人類と原発は共存できないと、福島事故で思い知ったはずです。 しかも地震大国の日本での再稼働など論外です。 即時、全原発を廃炉にすることを強く望みます。
56366	個人	無職	40代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に関する意見。原発依存度15パーセントが適切と思います。但し、耐用年数を超えたり活断層上に建てられている原発は廃炉にすべきだと思います。	原発は無いに越したことは無いと思っていますが、化石燃料の枯渇に対する対策も必要だと考えています。原発だけではなく火力の依存度も減らす必要があると思っています。20年位かけて自然エネルギー、原発の技術進歩をそれぞれ見極めながら徐々に原発依存度を減らしていくのが良いと考えています。今回の福島の件は我々国民に不信感しか植え付けてない位対応が悪すぎです。今回の件を反省材料にしてメルトダウン時に放射能が漏れない対策等考慮すべき点は沢山あるはずです。将来的には脱原発は賛成ですが、代替自然エネルギーの安定供給可能になるまでは原発が必要と考えています。
56367	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択し強く希望します。	できるだけ早期から当目標を掲げ推進していくことが重要と考えます。原発ゼロシナリオを選択し強く希望します。
56368	個人	その他	50代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	東日本大震災が起こるまであまりにも無知であったことを痛感し、戦後の原子力政策のところから、つまり1955年の原子力基本法成立あたりからの政治の動きを本などで読み、平和利用というものの傾斜も理解し、1966年の東海発電所の営業開始から50を超える原発の先般までの進展を追ってみました。自分の国のエネルギー政策を見直す大変良い機会となりました。 　ゼロシナリオを支持します。一つは、自分の国に暮らす誰もが安心して住むことができることが最優先であることです。多くの方々の暮らしが傷ついた現状をマスメディア・パーソナルメディアから知り、自分自身も空気や水や食品への不安がどれほど安心を掴さぶるものか痛感し、当たり前の日常の大切さをしっかり守る必要があることを思い知りました。「絶対安全」はありません。 　もう一つは、世界の中の日本として示す姿勢は原発ゼロであるべきだと思うことです。被爆国であること、広島や長崎の式典に欧米からの関係者の出席が徐々に増えていること、今回自国の国土だけでなく海や大気をも汚染したこと、他国でも原発削減の動きがあること、そういったことを鑑みたとき、日本は原発ゼロを選択する姿勢を明示する必要があります。 　たった今も電力確保に尽くしている現場の方々に心から感謝を感じていることを申し添えさせていただきます。
56369	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ	次のような理由から、原子力発電事業は継続すべきではない、と考えます。 コスト・安定供給の面を考えると原子力発電は魅力的であることは理解します。特に原油価格が不安定であること、太陽光・風力エネルギーの供給が不安定であることを鑑みると原子力は必要です。 一方で、原子力発電は事故の際の影響が大きいので、事故が起こった時のことまで考えなければなりません。現在福島では、避難している人、屋外での遊びを控えている子供たち、風評被害で売り上げが減ったことなどで、100万人近い人たちが不自由な生活を余儀なくされています。たった一度の事故で全人口の1%が生活や経済に悪影響を被り続けています。今後原発を続ければ、いつかは同じように事故が起こります。事故が起こった際には無駄な何年かを過ごさねばならない人たちが出るのですから、被災した人たちが納得できるよう、事故対策を信頼できる透明な体制で行うことが必須です。 しかし、福島第一原発事故後の電力会社の対応は、詳細は省きますが、この人たちを信頼して任せたいと思わせるようなものではありませんでした。
56370	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択すべきです。	今すぐ、すべての原子力発電所を廃止し、自然エネルギーへのエネルギーシフトを行うべきです。 具体的な方法は、WWFが提示している方法を推奨します。 詳しくは、こちらをご覧ください。 http://www.wwf.or.jp/activities/2011/11/1028424.html
56371	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。エネルギー供給に原発は直ちになくすという意見です。	原発ゼロシナリオを選びます。 原料が安価だとか、CO2が出なくてクリーンだとか今まで宣伝してきましたが、実は使用済み燃料の保管費用、設備の維持費、CO2は出ないけれども放射能はもれる危険性大、というリスクを考えれば今すぐ止めるしかありません。今まで使ってきた原発への予算は太陽光発電などの補助金に廻してクリーンな産業の後押しをし、ろうどうりょくの拡充を図るべきだと思います。1石2鳥です。

56372	個人	その他	30代	男性	原発ゼロを選択します。 最悪でも2030年。 できれまいますぐ原発ゼロを。	一度送りましたがもう一度。 原発ゼロといっても2030年にではなく「今すぐゼロ」を望む。 理由は最初に送付して通り。 付け加えるとしたら、 嘘や隠蔽、バラマキなどによって造られた原発は 「そもそも存在し得ない」もの。 これ以上世界を汚染する原発を一日も早くやめる。 そして代替エネルギーの（原発がなくても電気は足りているが）開発。 普及、 新築に太陽光義務付けることなどで簡単に 導入価格を下げられるはず。 電力自由化して発送電分離。 新規参入により地域独占の既存電力会社のよう高コスト体質も変わる。 やるべきことが色々あるのに安易な原発維持推進など許されない。 未来を守る。 それがこの国のすべきこと。 絶対に原発ゼロを早急に。
56373	個人	その他	20代	女性	私は原発に100パーセント反対です。	今世界中で、原発から離れる傾向があるという話しを聞きました。 膨大な資金もかかるとも聞きました。核開発の燃料も、無珍蔵にあるわけではないことも知りました。どの道続けていけないものであれば、エネルギーシフトをするのは今だと思います。
56374	個人	家事専業	70代	女性	日本のエネルギー政策について	原子力発電は、直ちに廃止するべきです。 再稼働している原発は直ちに止めなければいけません。 子供たちに未来を残しましょう。
56375	個人	その他	60代	男性	2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする「ゼロシナリオ」を政府は選択すること。 また、使用済み核燃料を直接処分し、「もんじゅ」や六ヶ所再処理工場などの核燃サイクル計画を中止すること。	(1)福島原発事故による被害の実態は、原発による電力供給のメリットを大きく上回ることを明らかにしたため。原爆と原発事故による被害の凄まじさは、「核と人類が共存できない」ことを示している。 (2)原発をゼロにしても、これまでの原発稼働で作り出された使用済み核燃料を放置することはできない。後世に無責任に管理を委ねる「地層処分」方式を撤回し、これまで原発を稼働してきたつけを多くの国民が共有するため、電力大消費地で「直接処分」し、管理することも一つの方策である。 (3)原発ゼロによる電力供給の減少は、社会全体の省エネルギー推進と自然エネルギーによる電力供給の拡大で対応可である。なお、自然エネルギーが一定の電力供給量を確保するまでの間、CO2削減技術を装備した熱効率の高い化石燃料による火力発電の比率を増大させることもやむを得ない。 (4)原発ゼロによる地域分散型の自然エネルギー拡大施策を展開し、地域活性化につなげること。なお、「円高」を主要因とした企業の海外展開・国内雇用減が、原発ゼロで加速するような論調は許せない。日本と比較した、海外、とくにアジア諸国の電力事情（停電や電力の安定供給など）を政府は国民に明らかにするべきである。 (5)核燃料サイクルによるプルトニウム保有の狙いに日本の核武装があることが一部の政治家によって公言されているだけに、国是である「非核三原則」に反する核兵器保有につながる原発は廃棄されるべきである。
56376	個人	自営業	40代	男性	原発比率ゼロにすべき。	原発比率ゼロにすべき。 原発の事故リスクが、限りなく0%に近づいたとしても、決して0%には成り得ない。事故後の影響が長期に渡った場合、政府及び行政に責任が取れない。誰も責任が取れない物を選ぶ必要は無い。
56377	個人	自営業	30代	男性	原発はできる限り早くゼロに。原発依存は0%。完全廃炉を希望します。	原発事故以降の政府の対応への失望感。今後の放射能による健康被害拡大への懸念から。「いますぐ原発をゼロにしても充分電気は足りている」京都大学原子炉実験所助教、小出裕章氏の意見を支持します。
56378	個人	無職	30代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	もっと自然エネルギーを推進してください。
56379	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロのプランを支持します。日本は1日も早く原発を停止し、エネルギーの自給ができる国に方針転換すべきです。	原子力発電は、かつて、世界中の人間を魅了しました。しかし、現在は、使用後の核廃棄物の処理方法や、作業者の不足など、コストに見合わないものとして捉えられています。ウランは有限の資源です。石油燃料による発電の代替案としての原子力発電は、説得力が足りません。エネルギーは、水や空気と同じく、国民が生きていくために必要なものです。海外からの購入品に頼る制度は不安です。幸い、日本には豊富な自然エネルギー資源があります。自然エネルギーは供給力制御の問題があると言われていますが、これも全国的送電線ネットワークの確立と、すでに各地で多数稼動している揚水発電所の活用で、運用の目処が立っています。燃料調達のために、毎年10兆円以上のお金が海外に流れています。これを全て国内に回すことができます。エネルギー自給路線への転換は、原子力発電所の事故によるリスクを減らすだけでなく、雇用確保、景気対策、税収対策、地域格差、これら全ての問題への有効策となるものです。原発を続けるほどに将来の保証費用はかさみます。新エネルギー開発への投資が早いほど、回収も早くなります。段階的切り替えは必要ありません。日本の節電技術は世界一です。一日も早く原発政策が撤回されることを希望します。
56380	個人	学生	20代	女性	3択で言えばゼロシナリオだが、ゼロシナリオは不十分。 原発は即刻ゼロにするのが第一目標。 節電する工夫が重要。 原発を使うことは、人殺しを肯定するようなもの。絶対的によくない。	原発は健康リスクが高すぎる。 事故、核廃棄物、海水温上昇、被爆労働など。 原発を維持するということは、誰かに被爆を強要させること。 これは禁止されるべき。 次に地震が来た時に事故が起きても原発稼働させていたほうがいいですか？ リスクが大きすぎるので絶対的な安全が保証されなければならないが、安全を100%保証することはできない(ありえない)し、100%に近づけるにはコストが莫大。 再生可能エネルギーの開発もいいが、 今の電気使用量を再生可能エネルギーで賄おうとするのではなく、 極力電気を使わない暮らしをするための工夫が必要。 がんばりましょう～！
56381	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	原発は、安全に管理できればクリーンな発電の方法だと思います。 が、事故が起これば人間がコントロールできないという事が福島の事故でハッキリしました。 最悪の事態を想定せずに今までよくこんなたくさんの原子力発電所が日本に作られたことは、ゾッとします。恐ろしいです。 巨大地震や津波に耐えられる原発はありません。日本には、原子力発電は向いていないです。 あんなに恐ろしい事故があって、1年以上が経つのに議論すらままならず正しい情報がどこにあるのかもわからない状態は異常です。 100%の安全を保証出来る政治家や専門家、電力会社もいません。 原発即時廃止を望みます。
56382	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は即時廃止すべき。	保険会社が原発事故を保障していないことが何よりも、いかに原発がリスクが大きく、その事故はとても保険会社がカバーできないほど甚大であることを証明している。財界や経済界の人たちは一流大学を卒業し、優秀なはずでなのに福島であんなに大きな事故が起きて一年以上も経過した今でもまったく収束のめどもたたないというのに、なぜこんなに非効率的なエネルギー源に固執するのか理解に苦しむ。子供たちの未来のためになどというきれいごとではなく、国家の存亡にかかる問題。食物連鎖を考えると水や食料はもちろん土壌汚染や海洋汚染など放射能汚染は日本国内にとどまらずグローバルに広がっていき、将来的には外交問題にも発展しかねない。再生エネルギーの開発・利用に注力し、原発に依存しないビジネスモデルを構築するのと同時に私達日本人のライフスタイルも変える時期にきている。成長神話はとっくに崩壊してるのだから、大量生産・大量消費から抜け出し、身の丈にあった生活をしていきましょう。それでは経済が停滞するという声が聞こえそうだが、新しいビジネスモデルを構築してこそ「先進国」のあるべき姿では？戦後、武器を輸出することなく経済を発展させてきた日本、ここで原発に依存しない経済構造をつくり、それを海外に広めていけば日本は世界から尊敬される国になると思います。日本の優秀な技術者たちも本当はみなそのように思っているのではないでしょうか？
56383	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロエネルギーを支持致します。	原子力とは地球上に存在しない物質であり、最終的な処理は全くできておりません。これからの地球をどう考えていくのでしょうか？ 原発はco2削減によると言われてきましたが、これでは意味がありません。 温暖化対策はもっと自然によりそった方法でおこなうべきであり、そのようにみんなが意識を変えて行かなくてはなりません。 健康な暮らしがあってこそです。 今こそ日本は自然エネルギーに舵を切って頂きたいです。 そして世界へ発信してほしい。 エネルギーコントロールは一極集中ではなく地域ごとに行っていき、公共施設や住宅もソーラー発電のみではなく、自然と共存するための手法をどんどんとりいれて いってほしいです。 そしてこの美しい日本の景観を大事にしてもらいたい。原発で汚すのはもってのほかですが、安易に風車や発電パネルを設置するのではなく、もっと良い方法を生み出し発信していけるよう力を入れて頂きたいです。
56384	個人	会社員・公務員	40代	男性	速やかに全ての原発を廃炉し、 再生可能エネルギーへシフトすべき。	安全安心が第一！ 事故、核廃棄物の処理など問題が山積しているのに 再稼働させる必然性は無い。 現に原発が無くとも電力は足りている。 発電コストが少しぐらい掛かっても安心安全が一番。 事故処理などを考えるとコストも変わってくるのでは？ 将来の電力需要に備えるなら、 太陽光や風力発電を増やしていく施作を！ 次世代に対して 恥ずかしくない決断をすべきである。
56385	個人	その他	30代	女性	原発はゼロにする。早く政府がその意思決定・政策決定を行う。原発ゼロによるダメージをもちろんゼロではないので、それを緩和させる策をとるのが政府の役目。	事故が起きたときのダメージはいうまでもないが、使用後に残る廃棄物を、使用者が生きている間に責任を持って処理できないものを使うことは許されるべきではない。日本だけでなく、世界中の原発をやめるべき。そもそも原発は未熟な科学技術であることが分かっているのに、始めてしまったのが問題。まっとうで適正な科学技術の成長を阻んでいる。 また、原発の問題はエネルギーの問題とされてしまいがちだが、都市と地方の歪んだ関係がもたらしたことであることを考慮して今後の政策を考えるべき。地方での自立した暮らしの実現をうまくサポートできなかった政府の責任逃れのなれ果てが今の原発立地地域の現状であると思う。原発が必要な地域など本当はないのだが、国が未熟で無策だったからつくりだされてきたのである。 最後に、人口が減少しているなか「経済成長」を追い求めること自体を考え直して欲しい。原発がないと「経済成長ができない」という理由でもって、原発を維持しないで欲しい。経済成長のために原発を維持するのは、国のあり方として本末転倒だ。戦後ずーっと経済成長を掲げて国をつくってきたと思うが、それで人々の物理的・精神的充足が増える時代ではないのが、特に50代以上の方は分かっていないように感じる。もう効用がない考え方を私たちに押し付けないで欲しい。
56386	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする。	福島原発事故で、東日本は大変な放射能汚染された。放射能汚染地域からの避難者の保障や、いまだ、高線量地帯に留め置かれる大切な命の緊急避難無くして再稼動はありえなかった。 「国民の命を守る」ことが国家にとって最優先課題である。避難に関して「チェルノブイリ基準を遵守する」ことが急務である。次の原発事故が起きたら、日本は完全に終わりになる。放射性廃棄物処理の方法も確立してない現在、間違っても原発は動かしてはならない。全原発を今すぐ稼動ゼロ、廃炉に向けて取り組むべきである。
56387	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 福島原発事故処理はいまだ解決していません。現場で処理作業に携わっている方々の健康の保証もされていません。 将来事故が無くなるという確約もなく原発によるエネルギーに頼ることは危険であるだけでなく、さらに危険を伴う使用済み核燃料を増やし続けることは未来にツケをまわしているだけだと思いします。
56388	個人	自営業	30代	女性	福島原発事故を踏まえ、今後のエネルギー選択は、最終的に原発依存度をゼロとするゼロシナリオにのっとって進めていくべきである。	昨年の福島第一原発の事故により、原子力には制御不能となる可能性があり、一度過酷事故が起こればその被害が空間的にも時間的にも多大なものになることがはっきりした。他のエネルギー源などでも当然事故が起こる可能性はあるが、原子力は被害の規模がケタ違いであり、いかに対策をとっても「想定外」のことは起こりうる。また、核廃棄物も後世を脅かす可能性がある。 したがって、今後のエネルギー選択は、原発依存度を減らすのではなくゼロにする方向で進めていくべきである。 2030年までの達成にはさまざまな困難が伴うと思われるが、仮に2030年までに達成できなかったとしても、「原発依存度ゼロ」を最終目標にし、それに向けて技術開発や制度の整備等を進めていくべきである。 以上のような考えから、今回提示された3つのシナリオの中では「ゼロシナリオ」を支持する。
56389	個人	会社員・公務員	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を強く希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を強く希望します。 理由は、 (1)高レベル放射性廃棄物の処理ができない。 →発電により出る廃棄物が10万年といったレベルで隔離する意外に方法がない原発は人の生活を脅かす。 (2)政府試算の原子力発電コストは、事故リスク対策費が含まれていない。 →既に今起きた福島原発の事故だけでも膨大な事故対策費用が必要となっている。 (3)今年ですら、試算ミスで原発を再稼働させたが、実際には原発不要だった。 →政府や電力会社の試算は信用できない。 (4)事故が起きると経済が大きく衰退する。 →原発のメリット以上に経済が衰退し、人が疲弊してしまっているのが現状。 以上
56390	個人	会社員・公務員	30代	男性	私は2030年までのエネルギー政策で 原子力の割合を0%にしてほしいと思っています。	福島の事故以来、 いろいろなメディアや情報をチェックしてたどり着いたのですが、 政府や電力会社の原子力政策はまったく信用できない、そう感じざる得ないのです。 何より、処理できるか分からない原発のゴミを未来に残していくべきでないと思います。 経済の問題、電力の問題関係なしに原発を0%にしてほしいです。 同じような0%の意見が多いと思いますが、絶対にごまかすことなく取り入れてください。 お願いします！！

56391	個人	その他	60代	男性	2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする「ゼロシナリオ」を政府は選択すること。 また、使用済み核燃料を直接処分し、「もんじゅ」や六ヶ所再処理工場などの核燃サイクル計画を中止すること。	(1)福島原発事故による被害の実態は、原発による電力供給のメリットを大きく上回ることを明らかにしたため。原爆と原発事故による被害の凄まじさは、「核と人類が共存できない」ことを示している。 (2)原発をゼロにしても、これまでの原発稼働で作り出された使用済み核燃料を放置することはできない。後世に無責任に管理を委ねる「地層処分」方式を撤回し、これまで原発を稼働してきたつけを多くの国民が共有するため、電力大消費地で「直接処分」し、管理することも一つの方策である。 (3)原発ゼロによる電力供給の減少は、社会全体の省エネルギー推進と自然エネルギーによる電力供給の拡大で対応可である。なお、自然エネルギーが一定の電力供給量を確保するまでの間、CO2削減技術を装備した熱効率の高い化石燃料による火力発電の比率を増大させることもやむを得ない。 (4)原発ゼロによる地域分散型の自然エネルギー拡大施策を展開し、地域活性化につなげること。なお、「円高」を主要因とした企業の海外展開・国内雇用減が、原発ゼロで加速するような論調は許せない。日本と比較した、海外、とくにアジア諸国の電力事情（停電や電力の安定供給など）を政府は国民に明らかにするべきである。 (5)核燃料サイクルによるプルトニウム保有の狙いに日本の核武装があることが一部の政治家によって公言されているだけに、国是である「非核三原則」に反する核兵器保有につながる原発は廃棄されるべきである。
56392	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオを希望します。日本は地震大国であり、福島第一原発事故が収束していない中、ゼロシナリオ以外の選択肢はないと考えます。原発はできる限り早くゼロにし完全廃炉を求めます。	一度事故を起こすと取り返しのつかない原発はできる限り早くゼロにするべきと考えます。核廃棄物の処理方法も決定的なものがないため、完全廃炉を求めるます。現在も原発以外の発電で電気は足りており、原発を稼動する理由は国民にはありません。地震大国の日本は危険な原発から一刻も早く脱却すべきです。
56393	個人	会社員・公務員	60代	女性	ただちにゼロ	ひどい環境破壊です。 未来の世代を大切に考えましょう。
56394	個人	無職	60代	男性	原発ゼロしなりお。	コントロール出来ない技術を使うことはできない。 原発に頼らない生活スタイルを今こそ考えるべきである。 経済第一主義を捨てるべきである。
56395	個人	自営業	30代	女性	原発は即撤廃。原発即ゼロに。原発必要有りません。	原発、何か起きたら人の手で解決、処理できない、後始末が出来ない物なんて、必要ありません。 最終処分場も確保できてないではありませんか。この先不安しか見えません。 頭の良い日本人ならば必ず原発よりはるかに素晴らしい他のエネルギーを考えられるはずです。 子ども達に少しでも明るい未来を。
56396	個人	自営業	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	ウラン採掘で他国に負担を課し、自然を汚す方法で水を蒸発させタービンを回すだけの原発。挙げ句の果てに何万年もの間環境に影響を及ぼす廃棄物を処理する方法もないまま原発を動かすことがおかしいことは、誰にでも明らかです。自然の資源にあふれた日本です。原発に頼らず、自然エネルギーで世界をリードしていくことも可能なはずです。ここで進むべき道を誤ることは絶対に許されません。政府は国民の意見に、今度こそ耳を傾けなくては本当に名ばかりの民主主義になってしまいます。絶対に道を誤らないでください。
56397	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。 すぐに再稼働した大飯原発の停止、および全ての原発の廃炉を希望します。	福島第一原発の収束の目処もつかないまま、原発を動かすことに納得がいかない。 十分に原発が危険であり、人類の手に負えないものであることが誰の目にもあきらかになった今、なお稼働を続けることは、地球環境と人類存続の危機に直結する可能性を孕んでいるため、国際的にも非常識である。 日本が国際社会の一員であり、先進国を名乗るのであれば、新しいエネルギー政策を世界に向けて提示し、原発ゼロの未来を邁進するべきである。
56398	個人	会社員・公務員	50代	女性	即刻原発を廃止し、原発ゼロによる未来を	未来は、経済ではなく、一人一人の命や、恒久的な自然保護の観点で考えるべきです。原発は、即刻廃止し、原発のない未来を考えるチャンスだと思います。現在の、政治的（短期的）保身を優先したとしか思えない野田総理の判断には、嫌悪感を覚えます。強引で傲慢親に欠けた見苦しい政治家と、憤りさえ感じます。個人的な利得よりも、良心による決断を。いまだに、被爆から引き離されている人びとがいることを忘れないでください。また、その心情を利用し、原発事故収束を装うなど、危険を人びとに押し付けることもやめてください。命がけで、危険な事故現場で働いている人びとのことを考えれば、原発がいかに人の手に負えないものかと、知識がなくてもわかるはずです。止めても膨大な費用のかかる原発を即刻中止し、避難している人びとと、被爆による健康被害を最小限に抑えるために、また将来的な治療や補償のために、寄付金と税金が利用されますように。原発をゼロにした上で、日本は新しいエネルギーによる国をつくっていけるはずです。その技術を信じ、可能性に賭けることが、すでに過ちを犯してしまった私たちに、唯一残された選択だと思います。
56399	個人	無職	60代	男性	20～25シナリオ推奨。再生可能エネルギーは効率的ではなく、経済への影響が大きい。火力発電を増やした場合大気汚染、CO2排出の増加も問題。放射能の危険性は喫煙や肥満等に比べてもずっと小さい。	水力を除く再生可能エネルギーは20年後でも高々10%が良いところではないか。再生可能エネルギーは施設が出来てしまえば燃料費等はかからないが、発電量に対して設備費が高く効率的ではない。（投入エネルギーに対して得られるエネルギーの割合が少ない）これを無理に進めることは発電単価を上げることになり家計だけでなく経済への影響が大きすぎる。経済が疲弊すれば、それがまた家計に跳ね返ることになる。再生可能エネルギーの割合を高めることを多くの人は安易に実現できるように考えており、この点をはっきりさせないといけない。 火力発電を増やすことは燃料の輸入に国の貴重な資産を投入することになり、長期的には赤字国家に没落することになる。また発電時の排ガスによる大気汚染、CO2排出の増加も問題である。 原発に関して、放射能の危険性に関してはマスコミによって過大に喧伝されているが、実際には「低線量被ばくのリスク管理に関するWG」の報告書にあるように、喫煙や肥満等に比べてもずっと小さく、3分の一の人が癌で死亡する日本において、100ミリシーベルト被曝しても癌による死亡確率が0.5%上昇するだけであるということ、また学会の統一的な見解にはなっていないようだが、低線量の長期的な被曝に関しては、人間の体の自己修復機能により一度に大量の被曝をした場合とは異なるのではないか。これは、医療において致死量の放射線を分割して照射して治療している、あるいは世界のある地域では年間70ミリシーベルトもの放射線量になるが健康被害は出ていないこと等で証明されているのではないか。ということをもっとPRすべきである。少なくともそれらのことを原発周辺の人たちに良く説明して安心してもらうことが必要ではないかと思う。 火力発電に関しては、これから設置されるものは、天然ガスコンバインドサイクル発電等高効率で排ガスが綺麗なものになるとは思うが、大気汚染がひどくなることには違いがない。これまでの例で考えるとWHOの推計で日本での大気汚染による死者は年間33千人～52千人、そのうち15%が火力発電による大気汚染が原因だとされる。中間の数字を採ると毎年約6300人が火力発電による大気汚染で死んでいることになる。現在3割の原子力発電を0にし、6割の火力を9割に上げたら、大気汚染による死者は1．5倍、つまり年間約3000人増えることになる。こういったことも考慮されるべきである。 原発の安全性に関しては門外漢ではあるが、元技術者としては、日本の技術者は2度と同じような過ちを犯すほど馬鹿ではないと思っている。確かにこれまでは原子力の安全性に関しては捉えどころがなく、安全規制も実質的には事業者まかせのようなところがあり、経済性の観点が優先された部分があったのではないかと思うが、大規模な原発事故を起こせば、会社の存続が危うくなるということが分かったいま、原発を持つどの電力事業者も2度とこのようなことが起きないようにしようと考えるだろうし、そうする力があると信じるからである。活断層の上にのっているような原発は論外であるが、そうでないものは対策が済んだものから速やかに稼働させるべきである。また現在の原発を安全に管理し、稼働させ、廃炉まで持っていくためにも今後とも原子力技術者を養成していかなければならないが、今後原発を全廃・または急激な縮小を行おうとするならば、今後原子力の道に進もうと思うものは出てこないだろう。このためにも急激な原発廃止方針を採ってはならないと思う。
56400	個人	学生	20代	男性	原発依存度0%を希望します。	廃棄物の処理方法が決まっていない。 原発を使わなくても、最先端の技術を使った発電方法が他にあると思うから。 また、すべての電球をLED電球にするなど、節電を行うことによって、原発に頼ることなく、電気は回っていくと思うからです。

整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
56401	個人	自営業	30代	男性	原子力比率ゼロシナリオを求めます。今の日本における原子力発電の影響は沢山あると思います。しかし、福島原発事故を経験した日本はこれ以上原子力発電に依存するべきではありません。	原子力発電を無くすという選択肢にはリスクがあります。 日本の経済の問題、電力の問題など沢山あるでしょう。 でもまずは安全に何の保証もない原発を手放し、その上で経済問題や電力の問題を国民全体で検討していくべきだと思います。 今の日本の政治は政府に投げっぱなしの政治です。 私は今の政治は国民ではなくマスコミと政府が作っていると思っています。選挙の意味も感じられません。やはり国民が自分達の国の政治をちゃんと考え、1つ1つの問題の答えを出していくべきだと思います。 昨年の原発事故以後、海外の沢山の国が脱原発の方向へ進んでいます。 今選択しないと日本は国際社会の中で取り残されていきます。 日本は戦後、大きな発展を遂げた先進国ではありますが、世界の先進国でも特殊なくらい技術、経済とその先端に位置していたと思います。 そして隣国の中国や韓国、その他発展途上国の生活や経済発展は日本の70年～90年代にそっくりだと思います。 そう考えると時代の先端に位置し、飽和した日本はこれ以上の発展を求めるのではなく、世界的な視点を持ち、地球の未来を見る国であるべきだと考えます。 電力が足りなければ節電を。経済が不安であればその対策を国民全員が高い意識を持って取り組む、そんな日本の未来が脱原発の先にあると考えます。
56402	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオで心から0%を希望します。	今まで原発について深く考えたことがありませんでしたが、 福島の現状を見て目が覚めました。 原発が無ければ経済が衰退するという意見もありますが、 命より大事なものがあるでしょうか？ 安全に発電する方法が他にもある以上、 あえて危険な原発にこだわる必要など全くないと思います。 私は福井の原発銀座から近い所に住んでいるので、 関西の子ども達の未来のためにも心から原発ゼロを希望します。 また、原発は、 核のゴミも出ますよね？ その処理方法も確立されていないじゃないですか。 これ以上、危険で処理できない核のゴミを出す原発、 もう本当にやめてほしい。 どうか政府の皆さん、 電力会社や財界の言いなりで物事を考えるのは、 もうやめて下さい。 大切なのは国民の命と暮らしだと、私は思います。 以上。
56403	個人	無職	70代	男性	2030年を待たず、原発は直ちに廃止すべきです。	原発と人類は共存できないことがわかったからです。 (1)原発を100%安全に運転することは不可能なことであり、ひとたび事故が起こればその災厄は子孫まで及ぶことがわかりました。 (2)使用済み核燃料の再利用などは夢物語であり、原発ごみの処理の方法がないことがわかりました。ここまま原発の運転を続ければ遠い未来の人類にまで災厄が及びます。 節電に協力することで、今でも原発なしでやっていけることがわかりました。 自然エネルギーの開発、発送電の分離、地域独占の廃止などの施策を推進することで化石燃料に過度に頼る現状も克服できます。 日本人は古来自然とともに生きる知恵を身に付けてきた伝統があります。 原発事故を画期として過度の科学技術信仰と決別し、自然の恵みに感謝しながらつつましく生きる生活態度を確立して世界の見本になったらどうでしょう。 世界中に災厄をもたらした責任をしっかり自覚することが何よりも重要だと思います。
56404	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は必要なし	事故を起こしても、近づくこともできないような設備は必要ありませんな。 たとえ効率が悪くとも、人間の手で制御できるエネルギーにすべきです。 そういった観点から、原発はできるだけ早く排紙し、代替エネルギーに転換してください。 よろしくお願いします。
56405	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオ希望！	原発はいりません。電気は足りてます。安心して暮らせる未来を望みます。
56406	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発について	日本の電気は原子力にたよらなければならないのでしょうか。 私は子ども2人の母親です。今回の福島の事故により、生活が一変しました。 衣食住すべてにおいて放射能の心配をする生活は本当に大変です。 放射能はただちに影響がない、ということは何年後、何十年後に何かしら発病しても、誰も原発事故が原因だと特定できない。誰も補償してくれないわけです。 しかも放射能の影響は今だけでなく、何年も何十年も続いて行く。 私たちの子どもの世代が背負っていかなくてはならないわけです。 それのどこがクリーンで安全なエネルギーなのでしょうか。 今こそ日本のエネルギー政策の転換期なのではないのでしょうか。 世界に先駆けて、より安全で安定したクリーンなエネルギーへの転換を早期に図り、エネルギー政策の先進国になるべきです。 日本にはその技術も頭脳もあります。 そして新たなエネルギー政策は新たな雇用も生みます。経済格差も減っていく。 そのために国費を効率よく利用して欲しいです。 原発はすべて早期に停止、廃炉にし、本当の意味での国民の安全な生活を護ってください。
56407	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存0%、直ちに再稼働停止、全面廃炉を	原発依存0%を求めます。これほどの酷暑でありながら電気は余っており、大飯原発の再稼働も意味のないことがわかっております。すでに原発は不要です。速やかに全面廃炉をしていただくよう強く意見します。直ちに全面稼働停止をして下さるようお願いします。
56408	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	理由 ■原発稼働リスクに上限がありません。恐ろしい事です。 ■明日大災害が起こったら、と毎日考えて生活しています。 政府も東京電力もそう考えるべきです。 ■民意を政府が超えては行けません。民意の下に政府があるのです。
56409	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年の総発電量に占める原発比率、0%を希望します。	まず、福島第一原発の事故が収束していないにも関わらず大飯原発を再稼動した政府の対応に強い不信感を抱きました。 0%を希望する理由は三つあります。 一つ目は、事故が起きた時にとても人間の手に負えるものではないと思うからです。今回の事故でも広大な地域が放射能に汚染され大切な自然環境が破壊され大変な事になっていますが、最悪の事態に陥っていればこの程度では済まなかったでしょう。このように危険なものは地震大国の日本から無くすべきだと考えます。 二つ目は、核廃棄物の最終処理の仕方が確立されていないからです。 核のゴミを処理出来ないのに原発を稼動させゴミを増やし続けるのは馬鹿だと思います。 三つ目は、原子力村と呼ばれる一部の人たちが既得権益を守りたいが為に原発を存続させようとしているとしか思えない所です。 もちろん、経済発展は重要なことかもしれませんが、再生可能エネルギーの分野で日本が本気で取り組んでいけば世界をリードし経済発展につながるかもしれません。 人間の命より金目当てで動くような人たちには、とても原発を安全に制御させる事が出来ないと思います。 どのような産業でも、自分のエゴの為に動く人がいると思いますが、あまりにも原発は事故が起きた時の代償が大きすぎます。 未来の子供たちに原発を残さない事が出来るチャンスは今しかないでしょう。福島の事故をピンチはチャンスと捉え、原発を無くす事を切に願います。
56410	個人	自営業	50代	男性	原子力のコスト（発電コスト+建設コスト+再処理施設コスト+高レベル放射性廃棄物管理処理コストなど：電気料金+税金等）は他の電力より高く、経済合理性がないため0パーセントにするべき。	原子力のコスト（発電コスト+建設コスト+再処理施設コスト+高レベル放射性廃棄物管理処理コストなど）を明確にしておらず、都合の良い発電コストを提示して正しい判断をさせようとしていない。 東京電力はJAL方式を導入すべき。株主責任、貸し手責任、役員責任をいまだとっていない。そのような責任を明確にしないで国民に負担だけを強いている。東京電力がいまだに上場を維持していることは株式市場を冒とくしている。 原発に頼らない社会の構築を早急に行うことが、被爆国の責任である。 高レベルの放射性廃棄物を増やすことは、将来社会に付けを回すことである。 政府は消費税17%の時に現在の付けを将来に先送りしないためといったが、これと矛盾するのではないか。 人口が減っていくのだから、エネルギー消費量も減っていくはずだ。それに節電、省エネ、自然再生エネルギー利用、日本近海のシェールオイル、シェールガス、メタンハイドレートなどのエネルギー開発および東シナ海、日韓大陸棚、日露大陸棚の石油資源開発を行えば、エネルギー不安はなくなる。 オイルショックの時に日本は、省エネ技術を軸に経済国を維持した。今回も脱原発立国を行うべき。 政治家や経済団体が日本を世界に誇れる国にするにはという視点が欠けている。
56411	個人	自営業	40代	男性	提示されてはいませんが、原発ゼロシナリオと、15シナリオの中間のものを希望します。原発の40年廃止を徹底し、地震などの確率が高い危険地域の原発を即座に廃止し、ゆるやかに原発をゼロに導くシナリオです。	提示された3つのシナリオでは、一見真ん中にある15シナリオが現実的だと勘違いしそうですが、現状存在する原発を40年で廃炉にし、新設しなければ15シナリオの状態になる……つまり、15シナリオは、原発削減に向けて「何もしない」でも達成できるものと知り、大きく落胆しました。原発が、一旦危機的な状況に陥ったらコントロール不能であることが露呈されたと以上、エネルギー政策の根幹からはずす方向で考えるべきだと思います。新規建造を認めないのは当然として、運転中の原発は、40年を経過したものから順次廃止する一方、活断層や大規模地震が想定される地域にある原発は速やかに停止することが、最低限必要だと思います。自然エネルギーや火力発電に、それぞれ長所と短所があることは承知していますが、少なくとも国家全体を危機に陥れるほどの事故は起こしません。LNGコンバインドなどエネルギー効率の高い発電施設で原発の穴を埋めながら、辛抱強く原発ゼロのシナリオに近づけていくのが最も現実的な選択だと考えます。 また、原発ゼロを達成することは、未だに決まっていない放射性廃棄物の処理問題に結論を出すことでもあり、その難しい決断を後世に（それこそ子供たちの世代に）押し付けないことでもあります。作った世代でケリをつけるという意味でも、提示されていない「現実的な原発ゼロ」へのシナリオを支持します。
56412	個人	法人等	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。	「原発ゼロシナリオ」を選択します。原発は原料のウラン採掘、原発としての利用、廃棄物処理のすべての段階で環境破壊等の大きな問題を抱えており、これ以上、人類の将来に負の遺産を残すべきでないため。特に廃棄物処理については火山・地震国である日本には貯蔵等のできる場所が全くないと思われる。
56413	個人	自営業	40代	女性	ゼロシナリオが選択されることを求めます。日本国内の原発はすべて停止し、自然エネルギーの活用に重点を置くべきです。	原発再稼働を決定するときの根拠が現状ではいい加減すぎます。もっと正確な数値、情報の公開を求めます。正確な数値が公開されれば原発稼働の方向へは進まないはずです。事故が起きた場合の賠償などを含めれば、原発はけっして安価な発電手段ではありません。
56414	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します	原発は危険だからです。 もう一度、どこかで大地震がきて、大規模な事故が起こったらどの国も日本の生産品を買ってくれなくなってしまうと思います。 安全に運転しても核廃棄物の処理が出来ないし、冷却に海水を使うため海水温度の上昇にも繋がると知ったので原発ゼロを目指した方がいいと思います。
56415	個人	学生	30代	女性	早期の原発ゼロシナリオを強く望みます。	廃棄物処理の先送り、大規模事故が起こっても誰も責任を取れないこの状況、労働者の被曝問題。これらの問題は民主主義と相いれるものではありません。 過去の愚策のつけを今担わなければと考えます。 一刻も早く、日本の脱原発を望みます。
56416	個人	学生	20代	男性	原発依存度0%を希望します。	廃棄物の処理方法が決まっていない。 原発を使わなくても、最先端の技術を使った発電方法が他にあると思うから。 また、すべての電球をLED電球にするなど、節電を行うことによって、原発に頼ることなく、電気は回っていくと思うからです。
56417	個人	無職	60代	女性	福島原発事故の終息宣言は非なるもの 避難者の生活復元は出来るのか、 日本は広島、長崎と被爆国である。。50年も前にレイチェル・カーソンは地球破壊を警告している。信念を持って脱原発0を進めてゆこう。	放射能の除汚がどれほど困難なことであるか。今なお原爆の後遺症に苦しむ人入びと、故郷に住めず田も畑も牛も馬も犬も猫もすべてを置いて他郷に散った人びと。福島の破壊された原発で線量計を身につけ命をけかけて働く人々がいる。企業や政治家の利権問題が伝わってくると人としての矜持はないのかと思わざるを得ない。、インドのガンジイ氏や韓国のイサン王らのように無私に国民の為に働く姿を見習ってほしい。安心して国民が政治を任せられる人であるよう考えてほしい。 日本も国際社会も価値観を転換するときが来ている。 物質の豊かさだけが人間の幸せではない。お金も必要、年金で暮らせる制度つくりを要すると切に思うが、それはさておきあまりの贅沢は慎むようにしたいものだ。世界を旅すると日本の贅沢さが良くわかる。恵まれている。買い物の包装紙にしてもしかり、果物の形のきれいさもしかり。電気の消費量にしてもしかりではないのか。私の子供時代はよく停電があった。蝋燭を灯してしのいだがさほど不自由ではなかった。今でこそオール電化だが洗濯機もテレビもない時代を生きてきたのだ。ひとたび事故が起これば地球規模で汚染、破壊を招く原発。 たるを知る生活に戻り、地球と人類とあらゆる生物の命のために、原発0を目指し、心のゆとりある暮らしを作っていこうではないか。
56418	個人	会社員・公務員	30代	男性	20年後、30年後ではなく、今すぐに、順次原発は廃炉に。	このような利権ばかりの過去の産物は要りません。電力が足りない嘘もみんな知ってます。今自分達のお金儲けじゃなく、子供、孫、その後の代の事を少しは考えてください。当たり前のことです。
56419	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力比率は25%以上を目標にすべき。主な理由は(1)化石燃料の輸入急増はエネルギー安全保障上、具合悪い。(2)CO2削減対策上、原子力の廃棄は馬鹿げている。(3)日射次第の太陽光は費用・供給面から代替出来ない。	原子力比率は25%以上を目標にすべき。主な理由は(1)化石燃料の輸入急増はエネルギー安全保障上、具合悪い。(2)CO2削減対策上、原子力の廃棄は馬鹿げている。(3)日射次第の太陽光は費用・供給面から代替出来ない。
56420	個人	自営業	40代	女性	原子力発電に関して。私はゼロシナリオを選択します。	大地震の可能性が多いにある地域の住民として、小さな頃からずっと避難訓練をしてきました。地震とは近しい関係にある県民です。3・11以降、原子力発電について自分自身もまったく理解できないことばかりだったのですが、止めたいときに止められず、今回のような災害でどこまでの被害がおきるかまったくわからない状況になってしまうような発電は危険すぎると思います。 ノーリスクはたしかにないと思いますが、選択肢があるわけですから、その他のエネルギー供給に目をむけるべきだと思います！

56421	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ぜひ原発ゼロシナリオに！	日本国憲法の前文に、日本国憲法は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって･･･全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。と書いてあります。じっくり読んでみてください。原発を動かし続けることは、恐怖から免れることはないと思います。 もう原発に多額の税金を使わないでください。
56422	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオを選択支持します。	ヒロシマ・ナガサキを経験した国が、原発を推進・維持していくのは、原爆被害者の痛みを無視していることに他ならない。またフクシマの被害者、被災者の気持ちを少しでも思いやる気持ちがあれば、この3つの選択肢からはゼロ以外考えられないだろう。 処分できない核廃棄物、事故が起きた場合に地球規模で広がる被害、廃炉までの維持管理運営費用、どれをとっても、原発を継続していくのは、次世代以降にツケを残していく、後始末を丸投げしている。 このパブリックコメントが、単なるアリバイ作りではなく、ほんとうに国民の意見を聞く機会であることを、心から願っている。これを読んでいるあなたも、野田首相も、私も、同じひとりの国民なんですよ。
56423	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発0%シナリオを支持。原発の危険性はどんな対策を施しても ゼロになることはない。これからは、再生可能エネルギー利用の技術開発を急ぐべき。	原子力発電所、0%シナリオしかあり得ないでしょう。 日本は、ヒロシマ、ナガサキで核の怖さを思い知らされました。 そして、昨年の3．11に、今度は福島が、フクシマになってしまいました。 もう、二度とこんなことがあってはなりません。 核は、どんなに安全対策を施しても、その危険性がゼロになることは、決してないのです。 地震対策を「万全に」したとしても、「想定外」の事態が起こる可能性は、自然が相手である以上、0%にはならないでしょう。 また、もし原子力発電所が、他国からの軍事目標にされたら、テロ攻撃の目標にされたら、サイバー攻撃の目標にされたら、守り切れるのでしょうか。 そんな危険性を孕んでいる以上、原子力は、人類が使うべき技術ではないのです。 環境省の発表では、日本には、現在の需要を十分に上回る再生可能エネルギーが、日本には潜在しているそうですね。 これからは、そういった再生可能エネルギーを生かすための技術開発、洋上風力発電や、蓄電池の開発に予算をつぎ込み、当面はさけることのできない化石燃料への依存を、減らしていかなければなりません。 しかしながら、原子力発電所に頼らなくても、日本のエネルギー需要を賄えるだけの再生可能エネルギー利用は、決して夢物語ではないのです。 以上の理由により、私は原子力発電所0%シナリオを支持します。
56424	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年に原発0、ではなく即時原発0を主張します。	この募集の前提自体が「2030年までは原発が維持される」というもの。 前提自体が国民を騙すトリック。 次に事故が起これば日本は再起不能になる。 政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
56425	個人	パート・アルバイト	30代	女性	2030年に原発ゼロでは無く、即原発をゼロにする事を望みます。	使用済み核燃料の処分の仕方も解っていないのに、原発を保持するのは先進国にあるまじき野蛮な行為だと考えるからです。
56426	個人	家事専業	40代	女性	即時原発0を希望します。	作ってしまったからといって 安全が保障されないものを使い続けるのは あまりに浅はかな考え方だと思います。 福島から学んだ事をすぐに活かすべきです。 そもそもこのパブリックコメントの存在も 今日のこの時間まで知りませんでした。 こういう機会があることを周知徹底しないこと自体 どうなのでしょうか。 コメント欄にいきつくのも大変でした。
56427	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は不要	2030年と言わず、速やかな原発ゼロを求める。
56428	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。 ２０３０年に原発ゼロではなく「即刻原発ゼロ」を主張します。	原発事故の終息なしに福島の復興どころか日本の未来もないと思います。 核のゴミの行き場もないままに、原発を続けていけるはずもありません。 まして地震が多発している中、安全の保証はどこにもありません。 責任を取れる人もいないのです。 火力や他のエネルギーでも十分に原発にとって変わることができるはずです。 日本の未来をなくさないためにも危険な原発はゼロにしてほしいと思います。
56429	個人	家事専業	30代	女性	0%を支持します。	自然災害に対する想定をつくることがいかに難しいことが、今回の福島第一原子力発電所の事故でよく分かりました。自然は予想することができません。その点において、日本のように、常に巨大地震の脅威にさらされている国が、原子力発電所という、一度事故を起こすと取り返しがつかなくなる施設を持つことには無理があると思います。 さらに、使用済み核燃料の処理方法についても、方法が確立されないまま、先送りされています。この点からも、処理できないごみを出し続ける原子力発電所はやはり日本では、存続できないと考えます。
56430	個人	学生	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	経済よりも国民の健康を先ずは優先すべきだと考えるからです。
56431	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。エネルギー供給に原発は直ちになくすという意見です。	原発ゼロシナリオを選びます。 原料が安価だとか、CO2が出なくてクリーンだとか今まで宣伝してきましたが、実は使用済み燃料の保管費用、設備の維持費、CO2は出ないけれども放射能はもれる危険性大、というリスクを考えれば今すぐ止めるしかありません。今まで使ってきた原発への予算は太陽光発電などの補助金に廻してクリーンな産業の後押しをし、ろうどうりょくの拡充を図るべきだと思います。1石2鳥です。
56432	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	いったん事故が起きると、原発は他のどのような災害よりも比較にならないほど甚大な被害が出ます。 居住者が生活の基盤とするすべてを広範囲に渡って奪い、復興も長期間困難であるか不可能です。 明確な被害以外にも、健康や人生への不安を多くの人々が抱えることになります。 また、被ばく労働者の存在が不可欠であることや、 廃棄物の処理方法が未確立であることも非常に大きな問題です。 子孫に大きな負の遺産を押しつけることは許されません。 このような未熟な技術で発電し続けることは野蛮であり、文化的ではないと考えます。 地球上の一部の人々だけが大量のエネルギーを消費するようなこれまでのあり方を、考え直す時ではないでしょうか。 現実に、これほど地震の多い土地にたくさんの原発を作った国は他にありません。 いつ大地震が起こるかわからない以上、原発はできるだけ早くゼロにするべきです。 絶対に間違いのない技術などないことは今回の事故ではっきりしましたし、 そもそもものごとに絶対はありません。 のんびり先延ばしにしている余裕はないはずです。
56433	個人	自営業	40代	男性	2030年での原発依存度0%に賛成する。原発は安全ではなく他者に迷惑をかけるので倫理的によくない。原発は自由で公正な社会を維持する上で障害となり環境面や経済性でも優位ではない。選択肢提示の仕方も問題。	2030年での原発依存度0%に賛成です。 現時点において原発や原発関連設備の安全性は十分に担保されていません。事故が起こった際の対策も不十分です。そのため、原発の稼動は安全と健やかで豊かな生活を脅かす恐れがあり危険なものなので受け入れられません。 一度重大事故がおきれば、その被害は、原発の操業及び規制に責任のある者や原発による電気の受益者だけではなくその時点や未来の世界中の人々、生き物にも破壊的な影響をもたらします。仮に健康や環境、財産に莫大な被害をもたらす重大事故が生じえないとしても、普段の運転においても微量の放射性物質を環境に放出すること（とそれによる従事者の被爆）や、放射性廃棄物の管理や処理を後の世代に委ねることは、今日の（受益者の）利益のために将来に（また現在の一部の者に）つけをまわすことです。したがって私には倫理的に受け入れられません。 また本質的に危険なものを管理しようとする際に統制と秘密保持を要請するため社会から自由を失わせることにつながります。この度の東京電力福島原子力発電所での事故では被害者がいるにもかかわらず未だ責任を取っていないということで社会の公正さへの信頼が損なわれています。自由で公正な社会を維持する上でも原発は無くした方がよいと考えます。 エネルギー効率の面でも他の手段（たとえば火力発電所）と比べて原発が優位かは疑問があります。地球温暖化対策としてのCO2削減の面で原発に優位な点があるとしても、燃料の採掘や生産、廃棄後の管理のエネルギー使用量ならびに発電時の熱効率が低いことを考慮すると、放射性物質の外部への放出による環境汚染にとどまらず、それ以外の面でも環境に対してよいとは到底いえないと思います。 経済性の面では、電力供給体制が、国営でもなく、地域独占と公共性の名のものとに純粋な民間ともいえない、いびつな組織・規制形態によりなされているため、コストや収益の発生が歪んでおり、また、実態が十分に開示されていないため原発の他の手段に対しての有利不利が明らかではありません。適切な主体間の同意によってなりたつ市場経済により立地費用・保険費用・廃棄コスト等が内部化された場合においては原発が他の手段と比べて不利であると予想されます。 以上の理由により少なくとも現段階において原発の稼動はすべきではありません。将来においても上記の点が解決されない限り原発は稼動すべきではないし、原発を稼動するメリットも存在しないと思います。既存の原発の老朽化の進行、昨今の地震の頻発具合に加え、現時点での東京電力福島原子力発電所での事故後の事故原因究明の状況、安全対策の状況、あらたな規制のあり方、責任の取り方をみると、2030年の段階においても安全が担保されることは期待が薄いように思えます。よって現時点や数年後においても2030年においても原発の依存度は0%であることに賛成です。 なお、電力の需給や発電手段の構成は、（外部性が生じないように適切に同意を要する主体の範囲を定めた上で）市場に委ねるのが基本と考えます。また原発が安全かどうか、この度の事故の被害をどの程度であると考えるのか、この度の事故を最悪の事故とみるのかもっと酷い事故がありうるとみるのか、コストをどうみるのか、将来の技術革新をどうみるのか、安全を脅かすものは何か、将来の成長はどの程度を予想するのかといった基本的な事項での社会の合意が得られていない状況において、2030年での発電手段の構成を議論する（あるいは政策目標とする）ことは適切でないと思います。それらの与件と解決手段をどうみるかによって議論の結論が変わることが多いと思います。2030年という瞬間を切り取ることも恣意的であり問題があるし、発電手段の割合を「割り当てる」という発想は統制経済につながる危険な考え方だと考えます。
56434	個人	パート・アルバイト	40代	男性	ゼロシナリオ	茨城県にいて今でも放射能の被害でこちらも大変です。 子供の親はつねに放射能のことを気にしなくてはなりません。 このような事故がまた起きる可能性が0でないなら原発は廃炉の方向に進むべきだと思います。 放射能によって死んだ人は0だなんてとても思えない。
56435	個人	その他	60代	女性	ゼロシナリオを支持します。	核分裂によるエネルギーを利用して発電する「原子力発電」に対して、私たち国民は安全で最も効率のよい発電だと聞かされ続けてきました。 また、日本経済にとって、電力の安定的必要十分な供給には原子力発電は必要と聞かされ続けてきました。 3.11を境にして、次から次とこれまでの通説とは異なる事実に接し、国や電力会社に対する憤りがこみ上げてきます。日本は地球汚染の片棒を担いでしまったことを認識すべきだと思います。 私は夫の仕事で海外を転々としてきました（トルコ、アルジェリア、マレーシア、スイス、オランダ）。そしてそれらの地で人々の暮らしぶりに慣れ親しんで感じる日本の国のあり方は、表面的な経済的発展ばかりを追い求めた結果、国民は心の平安を失い、殺伐とした環境に追い込まれているのではないかと思います。 モノがとにかくあふれています。過剰な個包装のあれこれ、便利、簡便。夜中まで煌々と明るい町、必要以上に電気を使う暮らし方に対して誰も電力消費を減らそうとしません。それでも昨年の夏の実電の電力不足で減らそうと思えば減らせると実感した人は多かったはずです。これを機会に自然エネルギーに舵を切るべきだと思います。暮らし方そのものを見直して、その中で創意工夫を積み重ねることで、日本は世界への責任が果たせるのだと思います。
56436	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発、即時ゼロシナリオを希望します。	原子力発電のない日本を希望します。
56437	個人	自営業	30代	女性	全原子力発電所の廃炉をお願いします。未来の子供のために、地球のために、原発をやめてください。	原子力発電所という、処分の仕方が、まだ見えていないもの継続していくおそろしさについて、もう一度よく考えていただきたいです。 もうすでに取り返しのつかないところまで来ているはずです。 これ以上被害を増やさないためにも、全原発の廃炉への道を一日も早く進み始めましょう。 原発はいりません。 日本人は自然と共に生きる知恵をたくさん持っているはずです。 日本人の中には、もっと研究する力をもっている人がいるはずです。研究者にもっと予算をくんで上げてください。きっと日本人の中から、優れた策をこうじてくれる人がいるはずです。 地球を、子供を、日本を、守ってください。
56438	個人	会社員・公務員	50代	男性	すべての原発は即時停止すべきである。 理由は、使用済み核燃料を処理できないし福島の原発も未だ終息の見込みもなく放射能は出続けている。	日本は世界に先駆けて原発を即時停止し原発廃炉の技術を世界へ輸出する方向で舵をきるべきである。 なお、その際に現在の政府は信頼できないのですべて刷新しゼロからやり直すべきである。 野田を筆頭に現在の執行部・閣僚の面々は能力も低く信頼できない。 日本人でいることが恥ずかしい。 以上

56439	個人	自営業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	毎週金曜日の官邸前でのデモを評価してください。 あの場に行けない東北被災地の私たちは、福島から離れていても セシウム等の放射性物質に色々犯されているんです。 行儀よく、規律だったデモなんて世界中見渡したってそうそう無いです。 原発の安全神話は崩壊したいのです。 「安全に稼働する」ことなんて出来ないのです。 100年後の日本人に恥じないような日本の決定にしてください。
56440	個人	無職	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	東日本大震災の教訓を活かすためです。 福島の問題の解決は、世界中に希望を与えます。 その過程の中で、絶対に第一、第二の福島を出すことは 世界中の信頼を失うことになると思います。 もちろん、リスクを負ってでも 原子力が必要だというメッセージを送ることもです。 いま時代は、世界がどうやったら持続可能かを模索しています。 事故が起きた場合、 持続可能性を著しく損なう原子力は必要ではありません。 一時的に安全でも、人が扱う以上、 制御できない時期が来るのは目に見えています。 原爆を受け、はたまた原発の事故を出した国。 日本こそ、世界に脱原発・脱原子力をスローガンに 当事者としてメッセージを出せる唯一の国です。 この立場を活かして、 新エネルギーの開発にお金を使う道を模索することを望みます。
56441	個人	その他	30代	女性	エネルギー政策についてゼロシナリオを希望します	今年秋に出産を予定する妊婦です。 未来に産まれてくる子供たちが安心して暮らせる日本になるべくゼロシナリオを希望します。被曝国でもあり、福島第一原発事故を経験してもまだ原発に依存した生活はいりません。一刻も早く原発から解放された生活がしたいです！
56442	個人	家事専業	40代	女性	“(1)ゼロシナリオ”しかあり得ません。	ゼロシナリオでは「2030年までに」と書かれているが、2030年までではなく“即時廃止”にして下さい。 私たちは福島の事故で分かったはずです。原発はいりません。 今までは、原子力は安価・安全・環境に優しいと言われてきたが、絶対の安全は原発に関しては全くあり得ないことが分かりました。 福島の事故で、日本の環境・自然はめちゃくちゃになってしまいました。 家庭の電気代が上がっても構いません。安全・安心な暮らしがしたいのです。 そして、300km圏内までは地元に認定するべきです。 私は“即時ゼロ”を強く強く訴えます！！
56443	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）を希望します。	福島の原発事故で、いいかげん、「原子力は完全には制御できないものだ」ということがわかったと思います。 消費税も上げるつもりならなおさら。 もっと税金の有効な使い方を考えてください。 あなたたちの私欲を肥やすために税金を払っているのではありません。 原発ゼロになれば、当然電力は不足するでしょう。 でも、原発のリスクを考えたら私は原発ゼロを選択します。 もう、時代は変わってきていると思います。 はやく、国を挙げて、原子力にたよらない、 別のエネルギー供給体制にシフトすべきと思います。
56444	個人	自営業	40代	男性	原発比率は「ゼロ」へ。将来的な目標設定としてはこれ以外にかんがえられません。 まずはそれを明確にしたうえで、エネルギー政策その他の議論を展開していくべきです。	原子力は人間の手に負えない――昨年の3月11日以降これだけははっきりしたのです。 安全性を確保するための技術は未熟であり、そしてなによりもその技術を運用するうえでの姿勢が、実はまったくいい加減で杜撰きわまりないものだったということ。 脱原発に向かううえでこれ以上の理由や動機が存在するのでしょうか。 間違いは正せばよい、過ちは糧にして進歩すべきである―― そんな科学の努力は、どうぞ有効な除染技術の確立と代替エネルギーの開発に費やしてください。 「漸減」というのは目標ではなく、ゼロへと向かう過程の状態を意味するものであるはずです。 早急に脱原発ありきの政策設定を行い、すみやかに最良の善後策を講じてください。
56445	個人	自営業	30代	女性	2030年といわず可能な限り早く原発を0にして欲しい。	原発を0にするまでの時間を2030年と掲げているが、この年数をとっている理由がよくわからない。 すでに廃炉しなければならない原発や、活断層の真上に建てられているなど、危険な要素のある原発は即刻やめていただきたいし、新しい原発ならば安全という話も現状ではすでに信用できない話なので、原発をつかわない形でのエネルギー政策に出来るだけ早くシフトしていくべきだ。 日本に50基もある原発を廃炉していくだけでどれほどの年月が必要になるかを考えれば、できるだけすばやい対応が必要だ。
56446	個人	自営業	50代	男性	2030年の比率、0%にすべき。	原発を稼動することで増えて行く使用済み核燃料の廃棄処分をこれ以上先延ばしすることも許されない。核燃料サイクルは、破綻しているのだから、現在の原発立地から使用済み燃料を移動できないということも、おおやけにすべき。
56447	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。 2030年に原発ゼロではなく「即刻原発ゼロ」を主張します。	原発事故の終息なしに福島の復興どころか日本の未来もないと思います。 核のゴミの行き場もないままに、原発を続けていけるはずもありません。 まして地震が多発している中、安全の保証はどこにもありません。 責任を取れる人もいないのです。 火力や他のエネルギーでも十分に原発にとって変わることができるはずです。 日本の未来をなくさないためにも危険な原発はゼロにしてほしいと思います。
56448	個人	無職	60代	男性	原発は、即時全機廃炉とすべきである。2030年に0%とか悠長な事ではいけない。	自然の威力は人智を超える。現在の楽観的な地震や津波予測を超える大災害に、何時突然襲われるかは、誰も完全に予測する事は出来ない。…と言う事は、福島第一原発事故に続く第二の原発事故が起こる可能性は皆無とは言えない。再稼働した大飯原発がメルトダウンすれば、西日本が居住不能になる大災害にもなる可能性もある。兎に角、日本中の原発は直ちに全機廃炉にすべきである。電力不足は、必ず日本人の叡智で克服出来る。仮に地震津波等の大災害が無いとしても、今だに最終処分の見通しの付いていない放射性廃棄物を生み出し続けている原発を動かし続け、次の世代に核廃棄物を押し付けるのは許されない。
56449	個人	自営業	30代	男性	2030年原発0%	これ以上国民を核の恐怖で苦しめないで下さい。原発は要りません。
56450	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力比率は25%以上を目標にすべき。主な理由は(1)化石燃料の輸入急増はエネルギー安全保障上、具合悪い、(2)CO2削減対策上、原子力の廃棄は馬鹿げている。(3)目射次第の太陽光は費用・供給面から代替出来ない。	原子力比率は25%以上を目標にすべき。主な理由は(1)化石燃料の輸入急増はエネルギー安全保障上、具合悪い。(2)CO2削減対策上、原子力の廃棄は馬鹿げている。(3)目射次第の太陽光は費用・供給面から代替出来ない。
56451	個人	会社員・公務員	20代	女性	私は原発0%を支持します。 再稼働にも反対です。	今の国のエネルギー政策には福島原発の事故の教訓が反映されていないように感じます。原発に依存しなくても日本がやっていける方法(自然エネルギーなど)を探るべきだと思います。 原発は必要ありません。
56452	個人	自営業	30代	女性	即時廃炉。	福島であれだけの事故があって、今まで通りで良いはずがない。健康被害も不安。どうすれば良いかを考えた時、安全性に少しでも疑問や不安があるものを使うという選択はない。日本が世界に対してできる事は、原因究明と原発事故から学んだ教訓を生かし、方向転換しました、と表明するしかないはず。
56453	個人	その他	50代	女性	0選択	ヒトの手に負えない原発はすべて即刻なくすべきだと思います。 日本は原子爆弾で恐りているのではないですか？ いくら安くエネルギーが作れるから、雇用が生まれるからと言って、事故が起こってしまっては本末転倒です。余計に費用もかかり、しかも一度失った自然は簡単には復元しません。
56454	個人	その他	30代	女性	原発全面廃炉・依存0%希望	代替エネルギーは、他に拠らでもあります。現在すでに利用されているものをもっと安価に提供することも可能なはずです。一部の人間の見栄やしがらみ、利権に左右されることなく、安全で安価なエネルギーが提供されるようになることを願います。
56455	個人	自営業	40代	男性	これから(今すぐにでも)の発電について、原子力によるものは必要無し。	私の子供にもそうですが。日本の将来を担う人たちに核のゴミの管理はとてもたいへんなことだとおもいます。そのゴミを少なくする意味でもすぐに原子力による発電は止めるべきだと思います。
56456	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。（即時です。）	ゼロシナリオを選択します。 本当は即時廃止希望ですが選択肢になかったので、一番近いゼロシナリオを選択せざるを得ませんでした。 大飯原発は公約通り2012年夏季限定稼動でお願いしたい。 他原発の再稼動ももちろん希望致しません。 CO2排出量の減少を目指すなら原発以外にも有効な再生可能エネルギーは沢山ある筈です。 また、ゼロシナリオについて「他のシナリオよりも経済への影響は大きい傾向」とありましたが、逆に新規雇用創出、新産業による希望的経済効果があるのではないでしょうか？ よろしくご検討お願い致します。
56457	個人	法人等	60代	男性	原発即時全廃	福島の事故は科学的な無知故に起きたものではありません。全くの人災です。 真摯にその現実に向かわず、ごまかして乗り切ろうとする組織を温存させての再稼働は、再度の原発事故は必至で、許されるものではありません。 廃棄物の処理についての見通しもなく、ましてや、いったん事故が発生したときには人知の手に負えない代物だけに、原発の再稼働は許されるものではありません。
56458	個人	会社員・公務員	30代	女性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	事故発生時の避難体制が絵に書いたモチ 子供たちを守りたい！ 電気は足りる。省エネに力を入れれば簡単。
56459	個人	自営業	50代	男性	原発は失くすべきです。 自然エネルギー100%を目指すべきです。	この夏、原発が稼動していない九州電力管内に住んでいます。 計画停電も無く、何不自由ない生活ができています。 原発が稼動しないと生活できないなんて大嘘です。 日本人の知恵と技術力を信じています。 原発の稼動率を0にして、今から自然エネルギー100%を目指すことは絶対に可能です。 子ども、孫、人類の未来を考えるべきです。 今、原発で利益を得ている人の利益のために未来を台無しにしてはいけません。
56460	個人	無職	30代	男性	原子力発電が何%であろうと、信頼の回復無しには全く無意味である。	「100%の安全」が無いのと同じように、「100%の信頼」も無いだろう。 だが、まず第一は出来る限りの信頼性の向上を目指すことが必須である。そうでなければ原子力発電が何%であろうと、あるいはそれに代わるエネルギーをいくら取り入れようとも、新たな、だが同じ構造の問題に直面することを繰り返すだけである。 どうか現場で、あるいは末端で尽力（現実の作業、データ等の検討・研究、新技術の開発）をされている方々の努力が無駄とならぬよう、だが、「ヒトは必ずミスをする」「事故は必ず起きる」という前提のもとで誠実なる検討・検証を切に切に望む。 それさえあれば、その結果がゼロシナリオであろうと15シナリオであろうと受け入れられよう。 ただ、あえて「感情論」ではあるが、提示された3つのシナリオから選ぶのであれば「ゼロシナリオ」を望む。経済負担も承知であるが、その場合、弱者への負担軽減に十二分に尽くすことが大前提である。また前述と矛盾するが「弱者への負担軽減」のために必要ならば数%の原子力発電は許容するものとする。

56461	個人	会社員・公務員	30代	女性	0%シナリオでないと新設増設があるなら、0%を選ぶしかありません。一部の犠牲の上にしか経済発展が成り立たないと言うのは現実的ではない。国の強さは経済と軍事というのは過去の、または発展途上国の意見です。	現在ある原発の中で問題が全くなく、事故や故障を隠蔽したこともなく、健全に安全な立地で最新の事故防止策を講じた（少なくともスイスやフィンランドレベル以上で）ものは再稼働もやむなしかと考えています。そしてそれ以外のもの、そして再稼働したものでも、当初に定めた耐用年数の来たものは順次廃炉にして行くべきものです。様々な理由を付け、メンテナンスなどで使用を延ばして行くことは、本来の基準を壊すことですし、想定外のことが起きるでしょう。正しく運用していても人為的ミスに夜想定外の事故は防げぬままここまで過ちを起こし続けているのです。先日の年限延長は撤回するべきものです。そしてまた電源立地への交付金などで、見せかけの地域振興などはさせるものではありません。金があれば豊かになれるというものではありません。若者の志向が地方や地元にある固有の財産たる、自然であり文化であり、に向かいつつあるこの10年ほどの流れは本来政府として喜ぶべきものではないのでしょうか。人口の一極集中の弊害は限界に来て、そして都会に出て一旗揚げること以外は敗者というような価値観が古いものになろうとしています。若い世代が作る、各地域が振興し、彼らが豊かな人生を送り、子を生み育て、国外に誇れる新たな価値を発見して行く流れを支援するのであれば、過疎地域への若者の移住やインフラの整備、小さな暮らしに対応したエネルギー政策（市町村ごとでの小型水力発電や太陽光発電の整備）も含め、まずは「国民の幸福の姿」を見直し援助する方法もあるのではないですか。このままでは優秀な国民ほど日本を見限り流出して行きます。高い税金つまり家賃を払ってまで住むに値しない国（家）となっていくのを、国政に携わる皆様が自分や自分にとって有用なものたちのためだけに近視眼的に放置するのはいかがなものかと考えております。そして私もこの国の「家賃」が見合わぬようになれば、別の場へと移る覚悟を既に持ったものの一人です。
56462	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発「ゼロシナリオ」支持。	万が一という事態がすでに現実に起きている今、経済が立ち行かなくなる問題よりも、国土が人の手に負えないような汚染をされ、生存権を脅かされることのほうが問題である。30年以内に、というのもスパンが長すぎる。すみやかに撤退するべき。
56463	個人	無職	60代	女性	福島原発事故の終息宣言は非なるもの 避難者の生活復元は出来るのか、 日本は広島、長崎と被爆国である。。50年も前にレイチェル・カーソンは地球破壊を警告している。信念を持って脱原発0を進めてゆこう。	放射能の除汚がどれほど困難なことであるか。今なお原爆の後遺症に苦しむ人人びと、故郷に住めず田も畑も牛も馬も犬も猫もすべてを置いて他郷に散った人びと。福島の破壊された原発で線量計を身につけ命をけかけて働く人々がいる。企業や政治家の利権問題が伝わってくると人としての矜持はないのかと思わざるを得ない。、インドのガンジイ氏や韓国のイサン王らのように無私に国民の為に働く姿を見習ってほしい。安心して国民が政治を任せられる人であるよう考えてほしい。 日本も国際社会も価値観を転換するときが来ている。 物質の豊かさだけが人間の幸せではない。お金も必要、年金で暮らせる制度つくりを要すると切に思うが、それはさておきあまりの贅沢は慎むようにしたいものだ。世界を旅すると日本の贅沢さが良くわかる。恵まれている。買い物の包装紙にしてもしかり、果物の形のきれいさもしかり、電気の消費量にしてもしかりではないのか。私の子供時代はよく停電があった。蝋燭を灯してしのいだがさほど不自由ではなかった。今でこそオール電化だが洗濯機もテレビもない時代を生きてきたのだ。ひとたび事故が起これば地球規模で汚染、破壊を招く原発。 たるを知る生活に戻り、地球と人類とあらゆる生物の命のために、原発0を目指し、心のゆとりある暮らしを作っていこうではないか。
56464	個人	会社員・公務員	30代	男性	「「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	未来の人々に対して、一方的に核のゴミを押し付ける発電方法、しかも、利益を得ているのは、ごく一部の人々、国民は、むしろ高価な電気代を払うことになっているこのシステムは、間違えている。一刻も早く辞めるべき。 廃炉を完了した経験もない。地震も多発し、原発立地地域として、不適合なケースが実際は殆ど。また原発を運営する会社、あるいは、管理する政府も、原発を使っていく十分な知識、システム、倫理的な捕らえ方を持ち合わせていないことは明確。また、福島の事故は、幸い、海に90%が飛んだが、次回、もっと本州の方に飛んだら、日本は終わってしまいかねない。そこまでして、原発を続けるというメリットはない。 核抑止力という意味でも、すでにプルトニウムは、核爆弾5000発とかそういった量がすでに貯蓄されているので、これ以上増やす必要もない。 また、核燃料使用済みプールも、一箇所にまとめると事故がおきた時地球が終わってしまう量なので、拡散しているが、それももう飛んでもない量になっている。
56465	個人	自営業	40代	女性	原子力発電に関して。私はゼロシナリオを選択します。	大地震の可能性が多いにある地域の住民として、小さな頃からずっと避難訓練をしてきました。地震とは近しい関係にある県民です。3・11以降、原子力発電について自分自身もまったく理解できてないことばかりだったのですが、止めたいときに止められず、今回のような災害でどこまでの被害がおきるかまったくわからない状況になってしまうような発電は危険すぎると思います。 ノーリスクはたしかにないと思いますが、選択肢があるわけですから、その他のエネルギー供給に目をむけるべきだと思います！
56466	個人	その他	40代	男性	原発即時停止	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
56467	個人	会社員・公務員	20代	男性	エネルギーの必要量の評価の妥当性に疑問がある中で、将来のエネルギー政策を議論している。原発の廃炉・廃棄物処理に要する時間が長く、将来への負の遺産となると考えられる。	今夏の電気需要量の見込みの根拠が本当に正しかったのか、昨夏の電気需要量も政府／電力会社が言うほどには伸びなかった。将来的にどの程度エネルギーを必要になるのかしっかりと評価していくべき。それが、現在あまりにも見えない。 原発を動かし、廃棄物が出続ける、それを安全に保管できず、保管するのにもコストを使い続ける、それが本当に妥当な出費と言えるのか。未来を考えると、原発自体・廃棄物の危険性・金銭面いずれにおいても、原発を今後増やす、再稼働を容認していくというのは、未来に丸投げをしているだけで、あまりにも大きい負の遺産を残すことになると思う。
56468	個人	その他	60代	女性	脱原発を支持します。 子どもたちの未来のためにも、自然、再生可能エネルギー開発に尽力すべきです。	100%安全なのはないと今回の事故で思い知りました。原発を深く考えてこなかった私たち世代の責任です。 人が制御できない物を作り、維持することに絶対反対します。
56469	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。 広島・長崎・福竜丸等、何度も放射能被爆を させられて来ました。もう嫌です。	日本には、原子力ムラと呼ばれる、世間と乖離した世界が 存在しています。 残念ながら彼らは現在得ている既得権益を、手放さないで済むように あらゆる手立てを使って原発の再稼働などに必死なようです。 核は怖いもので、事故が発生すると、世界中に影響が出る、 大変危険なものです。いいかげんもう止めましょうよ。 被災地では仮設住宅に住み、見通しの立たない避難所生活に疲れ、 自ら命を絶ってしまう方がおられるようです。 そういった人たちのことも、考えていただきたいと思います。
56470	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。即時0%を 希望します。原発が生み出す放射性廃棄物を 、これ以上子ども達に残すことなく、再稼働 した大飯原発もすぐに止めて下さい。再処理 も廃止して下さい。	広島、長崎、第五福竜丸、東海村、そして 福島。日本人は五回も被曝しているのに、 まだ繰り返すのですか。54基もの原発の 建設を許してしまったのは、大人の責任 です。安全だという宣伝を信じてしまった ことを本当に後悔しています。 日本のような地震国に、原発を造った ことが間違いです。全てを廃炉にし、 自然エネルギーの研究、開発を進めて 下さい。それしか子ども達に美しい日本 を残してやれる方法をはありません。
56471	個人	学生	10代以下	男性	原発を即時0にせよという意見には賛同できない	確かに事故が起これば放射性物質がばらまかれ、危険な状態になるのかもしれない。 しかし、今現在の状況で即時0とした場合、電力不足により生活、工業に重大な影響を及ぼしかねない。 また、現在は原子力発電の分を火力発電でまかなっているが、火力発電所の老朽化が進んでいるうえ、化石燃料の高騰など、いつ破綻してもおかしくない。 少なくとも代替エネルギーの研究が進むまでは、安全管理を徹底的に行ったうえで原発を稼働させるべきだ。
56472	個人	会社員・公務員	40代	男性	今回と同じ経路を辿らなければ事故に到達できないわけではない。またそれをマネッジする人間の能力を含めて不完全なシステムが核発電です。	今回と同じ経路を辿らなければ事故に到達できないわけではない。またそれをマネッジする人間の能力を含めて不完全なシステムが核発電です。そもそも、人はおのれの愚かさに比例するサイズの事故を起こすわけではありません。ともかく大事なのは、事故に至る経路ではなくて結果の方です。にもかかわらず、いったいどういう自信に基づいて再稼働を決断できるのか、まったく理解できません。あらゆる事態に対して安全第一に徹したマニュアルを用意することは、原理的には可能ですが、現実問題として経済性によって阻まれます。核発電であろうとも。人が造って人が運営する施設では、経済性は無視できないのです。しかしことは経済性と天秤にかけて良いものではありません。それなのに、核発電の関係者の言葉や、政府の言葉は、あまりに軽過ぎる。ロジックとしての説得力が欠落している。
56473	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0パーセント希望します。	私には小さな子供が2人います。子供達の未来のためにも絶対に原発廃止を希望します。
56474	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発	原発反対です。 せめて、電力を市民が選べるようになってほしいです。 地球にとって有害なことは、もうやめる時代だと思います。 福島の方々への補償を、どうかお願いいたします。 一部の政治家さんたちの腹黒さ、権力やお金に翻弄される哀れな生き様、は、もう知れ渡っています。 どうか、いちばん大切なものに気づいていただきたいです。 愛をこめて。
56475	個人	家事専業	40代	女性	原発の再稼働および建設に反対です。	原発の再稼働および建設に反対です。 福島第一の事故が未だ収まっておらず、この時点での再稼働は地域住民に、そして日本全国にいくら大丈夫だと説明しても納得するのは無理です。たとえ想定外の事故があってもこんな風に対応するからという実績、事実を見せて目に見える形で証明してからなら再稼働についてもまだ考えられたかもしれませんが、大飯原発の再稼働はいくらなんでも早すぎ、横暴だと受け止められても仕方がありません。 今日本は過渡期だと思います。そして日本の技術、日本人の性質からすれば、脱原発をし新しいエネルギーを開発し、世界をリードして行くのも可能です。世界もそれを認めています。日本なら出来る、と。 原発にかかる費用を、新しいエネルギーを開発するために使えたらもっと有益なのではないでしょうか。世界もそれを望んでいると思います。日本人がしなくて他のどの国ができるというのですか? 福島の前までは日本製品は絶対の信用がありました。日本にいると気づきませんが、日本製品は日本人は本当にレベルが高く素晴らしいです。自分が日本人である事に海外で初めて誇りに思いました。今は肩身が狭く、「失望」しています。どうか世界に目を向け、自信をもって前へ進んでください。原発という過去のものを捨て、新しいエネルギーを開発してください。
56476	個人	会社員・公務員	50代	男性	チェルノブイリ・福島第1原発事故のように、広範囲に半永久的なダメージを受けることになり、100%安全である保証のない限り、利用は有り得ない。100%安全は不可能なので、0%シナリオを支持する。	どの程度起こるかという確率の問題ではない。事故があった場合、医学的にも、経済的にも広範囲に、相当長い間、場合によっては半永久的に影響を受ける。産業的立場、経済的立場と天秤にかけているが、1度起きた時点で、日本強いては人類への影響は計り知れない。従って、例え事故の確率が低くとも安全が100%保証されない限り、利用することは有り得ない。日本は地震国であり、地震発生地図を見ても100%の安全性（予測）は有り得ない。複雑な配管の欠損の発生、脆性破壊の発生、地震・津波、などへの100%対応の困難さがあり、核廃棄物の処理の確立も困難であり、人間が100%原子力を制御できるには至っていない。このような状況では、プルトニウムを使うプルサーマル、ナトリウムを使う高速増殖炉はさらに危険であり、事故は半永久的ダメージに直結する。今回の事故のように結果的に国民に復旧費用負担が回るのでは、エネルギー方式の比較は不公平と言わざるを得なく、比較に、莫大な原子力事故回避策費用を盛り込むべきである。自治体への支援費などを、再生エネルギー、小規模エネルギー生産とエネルギーネットワークの開発などに注ぎ、グリーンエネルギー利用を推進・確立すれば、隣国の原子力政策に恐るだけでなく、人類の安全面からも、苦しい時期を乗り越えて、日本が世界をリードできるはずである。取り返しのつかないダメージを被る事故の発生の割合があるにもかかわらず、事故の100%予測ができず、100%の制御ができない状況下では、原子力政策の0%シナリオを支持する。
56477	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー問題：（1）原発は10年程度凍結し次世代人材を育成、理論と技術の研究開発は継続する。（2）自然エネルギー発電とバッテリーの普及を！また研究・開発に国として投資する！	■1■原発事故については、天災に加えて人災もあったことは否めない。現状の技術は一定のレベルに達してはいるのだろうが、システムとして未成熟の部分もある。人が関わるシステムであるという原点に戻り、発想の転換も求めて、原発事業全体の再構築が必要。それには10年程度の充電期間が必要だろう。科学者や技術者以外の行政管理者等にも理系的リテラシーは不可欠だが、欠如している感がある（今回の事故で露呈した！）。目先の利益ばかりを考えず、長期的エネルギー政策のためには、次世代の人材を育成するところからやり直すべき。 ■2■現状の自然エネルギー発電の効率はまだまだ不十分である。しかし、研究投資はすべきで大学や企業等への研究補助を相当に増やすべき。次世代の（エネルギー問題を担う）若手の育成にもつながる。成果が出始めれば、国際競争的でも優位に立てる（原油に頼らない政策が可、エコ技術を輸出できる、など）。このような取り組みは、国民のエネルギー消費に関する意識の変革にも効果があると思う。 ■3■学校教育を通じて（子供の世代から）環境問題についての市民の意識変革を図る。理科教育を見直し、学校現場においては知識偏重ではなく、論理的に物事を考える下地を育成すべき。そのためには、小中学校教員に理科系出身者を増やすべき。教員のレベル低下を思えば、教員免許に修士レベルを求めるべき。
56478	個人	無職	60代	女性	「原発のない安全な日本の一日も早い実現を」―原発依存度0%を支持します― 　国民世論を分断させることなく、政権を中心に脱原発のエネルギー政策を国民あげて議論し実現してください。	野田政権は、6月29日のエネルギー・環境会議で原発によるエネルギーの依存度を「0%、15%、20～25%」とする三つの選択肢を示しました。 　私は、この判断基準そのものに反対します。福島原発の事故で明らかになったように原子力発電は、一旦ことが起これば制御不能に陥ります。福島原発3号機は事故後、今なお原因も内部の状況も不明のまま、冷却し続ける以外に収束のメドさえ立っていません。また、たとえ事故が起きなくても発電によって出続ける使用済み核燃料の行方についても何の見通しも立っていません。国民を騙し続けてきた安全神話は完全に崩れました。これらの事実を人類的な恐怖をもって謙虚に受け止めるべきです。このような危険極まりない原発は、たとえ1%といえども稼働させてはなりません。依存度0%は当然のことです。 　この度、野田政権が国民に選択を迫る3案は、国民世論を真ん中どころの15%に落ち着かせようとする目論見が透けて見えます。たとえ一機でも原発が稼働すれば、その周辺住民は憲法が国民に平等に保証する「健康で文化的な生活」を脅かされ続けることになります。政権の何人も、憲法に保証された国民の権利を蹂躙することはできません。つまり、3案選択を迫り国民世論を分断させるのではなく、憲法遵守を義務とする政権を中心に、「脱原発のエネルギー政策」を国民上げて議論し実現するべきと思います。 　この度の原発事故による福島県民の皆さん、原発労働者の皆さんの真実の訴えに、真剣に応えてください。 以上
56479	個人	自営業	40代	女性	原子力発電に関して。私はゼロシナリオを選択します。	大地震の可能性が多いにある地域の住民として、小さな頃からずっと避難訓練をしてきました。地震とは近しい関係にある県民です。3・11以降、原子力発電について自分自身もまったく理解できてないことばかりだったのですが、止めたいときに止められず、今回のような災害でどこまでの被害がおきるかまったくわからない状況になってしまうような発電は危険すぎると思います。 ノーリスクはたしかにないと思いますが、選択肢があるわけですから、その他のエネルギー供給に目をむけるべきだと思います！
56480	個人	その他	60代	女性	脱原発を支持します。 子どもたちの未来のためにも、自然、再生可能エネルギー開発に尽力すべきです。	100%安全なのはないと今回の事故で思い知りました。原発を深く考えてこなかった私たち世代の責任です。 人が制御できない物を作り、維持することに絶対反対します。
56481	個人	会社員・公務員	40代	女性	脱原発100% 火力発電を出来るだけ削減する、どれにもあてはまらない第4のシナリオを選択します。	国民は皆健康に生きる義務があり、健康が損なわれる危険性の高いものは、排除するに越したことはない。安全面が保証されない発電方法は極力避けるべきだと思います。事故が起きてから、後手後手に処理に追われているような現実を、国内や他国にまで見せても、なおそれでも安全に問題はないとされ、原子力発電を稼働しようとしていることに、国に不信感と恥ずかしさを覚えます。 また、使い捨て核燃料の行き先が決まらないまま、原発を稼働するのが先とされることがおかしく、いいかげんさを感じます。 原子力発電所は日本のように地震の多い国に置くようなものではないと思います。 石油火力発電に頼ることはCO_2排出量の削減を考えるにおいて、適当ではありません。国に合った電力を考えるのなら、地熱発電に力を入れるべきと私は考えます。 私は地熱発電を中心にした、自然エネルギーにシフトしていくべきだと考えます。 勿論、屋久島のような土地は水力発電で電力を賄っているように、その土地にあった自然エネルギーを利用することが良いと思います。
56482	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。	原発は0%にすることを強く求めます。 核燃料の再処理にも反対です。 もんじゅは廃炉にしてください。 核のゴミを孫の世代に残すわけにはいきません。

56483	個人	その他	30代	女性	原発依存0%を強く希望します。こんなにも大きなリスクを持ちながら原発と共存する必要はありません。	福島の事故が何も解決できていない。人間の手で解決しきれないものを使うなんて、理解できない。次のの世代に、住めない場所が増えるリスクや、障がいを持った子供たちが増えるリスクを押し付けることも止めてほしい。
56484	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を近い将来にやめる。すぐにできなくても、政府はそのことを決めて、あらかじめ発表すべきです。 これは戦後つづいてきた民主主義を維持するためでもあります。	危険のある選択肢を無理にとることに賛成できません。 私はその生活を我慢します。 これまでのような経済成長がこれからはありえないという現実を覚悟しています。
56485	個人	家事専業	40代	女性	原発からの即時撤退、廃炉すべきで、代替発電の開発に力を入れるべき。	使用済み燃料を100万年も安全に監視・管理などできないし、ひとたび事故が起これば未来永劫後処理に悩まされることになる為。 それよりは代替エネルギーの開発・使用をした方が後々良い。
56486	個人	家事専業	60代	女性	原子力エネルギー依存は0%にするべきです。	国民の生命財産を犯すエネルギーは廃止すべきだと思います。
56487	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、福島原発事故の被害の大きさ、福島被災者の気持ちを鑑みて、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	原発ゼロシナリオを選択する。理由は以下のとおりである。 (1) 放射能拡散という事態は、我々が抱えるにはリスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお多くの人が暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。 我々の国土は放射能で汚染され、我々市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また、生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開できない方も多い。 原発の事故は取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2) 福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行なわれていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 大飯原発周辺の自治体、隣県の自治体において、防災体制が築けていないにも関わらず、再稼働したことは理解に苦しむ。ハードをどう運用するかソフト面が問題視されていながら、ハードすら用意できていないのだから。 我々は福島の被災者の気持ちを汲んで、節電そして自然エネルギーの普及、使用に努めるべきである。 今回、事故を経験した東京電力はまだしも、他地域の発電事業を管轄している電力会社の社員の一部には認識が甘いとされる発言が続きました。 おそらく、この意識教育・企業DNAの改善を行っていくには、何十年という年月がかかるでしょう。要するに、今の体制には不足が多く存在しているため、不安を抱えながらの稼働には反対である。 放射能被害の知見を誤っている中部電力社員がいましたので、私が知っている事実をお伝えしたい。私の周りには、二人の被曝三世がいます。 お二人とも、本人もしくは親族が広島県出身です。一人は、30代前半で突然複数のガンを併発し、急死しました。本当に健康そのものなんだったのです。 もう一人は、被曝二世である父が20代で白血病で亡くし、本人は今、30代ですが、全身に原因不明の皮膚の病気を発症し、松本の医師に放射能汚染による症状そして余命少ない可能性を宣告されました。20代でなくなる可能性を指摘されていましたが、今もその命を必死に生きています。 こんなこと、偶然の一言で済ませられない。 国も誰も、今後何かしらの症状が発症した方に対し、原発事故が原因としては特定できないと判断するでしょう。原発事故は残酷で、事故直後から数十年後にわたって、悲しい被害者を生みだしてしまうのです。 今の放射能拡散の再発を防ぐことはできない状況下、そして事故後の対応、被害者への方針が決まらない中で、原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3) 核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続けることは、許されないことである。 想像してください。今回の事故を体験した我々大人が何も解決しないまま、子供、孫、さらにその先へと、今までのままツケを回すことは倫理的に許されることではない。それは今だけの経済的な事情よりも、もっと優先されることは明らかである。 我々は、胸を張って、次の世代に語っていく責任がある。
56488	個人	自営業	50代	男性	(1)の「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までではなく、即時の原発停止を求めます。	現在の本国の原子力発電の運用には大きな問題があります。 明日にでも起こるかもしれない津波や地震などの自然災害に対しての耐用設計に問題があるからです。先の福島原発事故でこれが証明されました。いつ次の災害が起こるかわからない状態で、抜本的な安全対策をしないで、これ以上原発を運用し続けるには、計り知れないリスクがあります。また、原発施設がどんどん老朽化し、製造元や海外でも運用期間の見直しがされている中、日本の原発施設は時代遅れになりつつあります。これも大きなリスクです。そしてリスクを制御するための国の認可、監視体制が正しく機能しておらず、運用側と監視側との明かな利益相関が認められるが、リスクマネジメントが有効に行われないだろうことは容易に推測できます。 現在の原発コストに関して、これらのリクス要因、実際に起きてしまった福島事故の事態収拾費用、安全対策の補強を正しくコストに参入すると、原発の優位性は薄れて来ると思います。 また、技術立国を目指す本国が、原発に固執し続けることで、自然エネルギー、小規模エネルギー、再生エネルギー、スマートグリッドを駆使することによるエネルギーの地産地消と企業内発電、家庭内発電など、未来の日本が持たなければならないエネルギー技術の開発が遅れ、国としてエネルギー先進国になるための100年の針を誤ってしまうことに対し危惧します。目先の権益に捕われた、現在の経済界の方針は、日本のエネルギー政策を誤った方向に導き、技術立国の将来を危ういものにします。 原発による雇用を危ぶむ声もありますが、廃炉や安全な燃料解体処理、除染などの技術用件は山積で、即時に原発を停止したからといって、雇用がなくなるとは考えられません。被爆国として世界に誇れる原子力設備の運用技術を開拓し、お手本になれるようにすべきです。また、新エネルギーに予算を集中させることによって新たな雇用も生まれます。 現在、原発に対して交付されている膨大な補助金の大部分を明日の新エネルギーの開発費、そして、電力小売の完全自由化、発送電の所有分離などの施策を早期に実施するために使い、新規参入企業に対する参入障壁を減らすことに使うべきだと思います。この分野で外国に遅れをとってはなりません。 それによって、通信分野と同じように良い意味での価格競争が促され、電力料金の上昇を抑えることにも繋がると考えます。 原発を15%でも残す選択をすると、エネルギー政策に関して予算や政策の集中がし難くなり、打つ手が後手後手に回ってしまうでしょう。国がなによりも、将来を見渡したエネルギーのビジョンを明快に示し、エネルギー先進国となるために、早めに手を打って行く必要があります。そのための「ゼロシナリオ」選択です。
56489	個人	その他	30代	男性	「原発ゼロ」シナリオを支持します。	「原発ゼロ」シナリオを支持します。 東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故は、原発はいちど事故を起こせば大きな被害をもたらすことを明らかにしました。すべての原発を停止し、「原発ゼロ」のために何が必要かを議論してください。
56490	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発0%案	2030年など甘い考えでは、日本だけでなく世界が滅びかねない。 即刻廃炉へ！
56491	個人	学生	20代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	この地震大国の日本で原発を動かすなんてことは認められません。 福島は未だに収束していない。 原発事故が起きても収束させることはできないことは福島でわかったことです。 そして事故に対する責任もうやむやにして誰もとろうとしない。 こんな無責任な人間達に原発を動かす資格はありません。 また、今の生活を楽にするために何万年も残る核のゴミを作り出すなんて賢い発電方法とは思えません。 どのうち処理方法が見つかるだろうなんて甘い考えは捨てて下さい。 日本の国は小さいのです。そして様々な災害が起こります。 福島の事故では偏西風で放射能の大部分が太平洋に散って行きました。 しかし次に原発事故が起こりそれが大飯や玄海だったら？ 九州、東海、関東に放射能が降り注ぎます。 そんなリスクを犯してまで原発を動かす必要はありません。 一刻も早く自然エネルギーにシフトチェンジしていきましょう。 石油、ウランなどの資源は有限です。 自然エネルギー切り替え社会になりそこで先進国になりましょう。 放射能をまき散らす国ではなく自然エネルギーの技術を他国に提供できる。 そういった国を目指して欲しいと思います。 原発ゼロシナリオで即時0%をお願いします。
56492	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。即時、原子力発電所を全廃すべきです。	もし事故が起きてしまったら、現在の技術では制御不可能な状態になることは福島第一原発の事故を見ても明らかです。 短期的にはコストが増え、CO2の排出が増え、生活が多少不便になろうとも、原子力発電所は即時全廃すべきです。中長期てきには、自然エネルギー技術の発展により、低コスト・低環境負荷な発電方式が可能になるはずです。 経済的にも、自然エネルギー開発に投資をする事により、産業界も発達していき、世界をリードしていけるのが日本だと考えます。
56493	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ	今回の事故を期に、日本はエネルギー・環境戦略を大きく転換し、 世界の範となる義務があると考えるから
56494	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を選びますが、現実的には「5（パーセント）シナリオ」。原発の新規建設は認めず、最低限の原発を期間限定で再稼働させ、寿命の40年を迎えた時点で、例外を認めずすべて廃炉。	原子力エネルギーは、制御が非常に難しく、ひとたび事故を起こすと多くの人の生活や財産を奪うことが、福島第一原発の事故でわかりました。これ以上の原子力事故は最早、許されません。 また核燃料サイクルも、長い時間と費用もかけても実用化のめどは立たず、使用済み核燃料が、原子力発電所内に、原子炉内と比べると危険な状態で置かれています。原発作業員の被爆を許すわけにはいきません。 早急に原発比率はゼロにするべき、と考えますが、現実的にはなかなか難しいと思います。原発の新設は不可とした上で、（1）過去に災害などで損傷した原発は、すぐに廃炉（2）40年以上稼働した原発は廃炉（3）比較的新しく、災害のリスクが低い原発を持ち、電力供給が覚束ない電力会社に限り、活断層、津波、避難手段の確保など万全の安全対策を施した上で、期間限定で再稼働を認め、40年廃炉までの間に再生可能エネルギーに移行してもらう、が現実的と思います。 「5（パーセント）シナリオ」が最適と思いますが、選択肢にはないので、次善の「ゼロシナリオ」を支持します。
56495	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロのシナリオを支持いたします。	事故を起こし、簡単に家に帰れない状況を生む原子力発電所はいりません。稼働も、増やすことも望みません。原子力に頼らない発電を望みます！
56496	個人	自営業	40代	女性	3つの選択肢の中では「ゼロシナリオ」を支持します。選択肢にはありませんが、「原発即時廃止」を強く望みます。	昨年の福島第一原発事故により、原発の安全神話は完全に崩壊しました。事故はいまだに終息せず、原因も究明されず、周辺地域に住む方たちは故郷を失い、健康への影響に怯えながら生活しています。そうした中で、原発を再稼働させるという選択肢はあり得ません。野田首相は大飯原発再稼働の際に「私の責任で」と言いましたが、無責任きわまりないと思います。絶対安全な原発などないこと、大事故が起きれば被害は甚大で、誰も責任など取れないことは、福島の経験からすでに火を見るよりも明らかです。 また、使用済み核燃料や放射性廃棄物の処理、被曝労働者の存在などを考えても、原子力発電というシステムは完全に破綻しています。 福島の事故を経験し、我々は「経済と命を天秤にかけることなどできない」と知ったはずです。「原発を稼働しなければ電力は不足し経済は大打撃を被る」という声は、原発を稼働させたいがためのミスリードだと受け止めていますが、仮にどれほど経済への影響が大きいとしても、「原発即時廃止」を前提とした政策へと大転換することが、政治の責任だと思います。 また、私たち国民も、エネルギー浪費型の生活様式を改め、持続可能な社会へ転換するための新たなイフスタイルを構築することが求められています。私はそれを甘受する覚悟です。 未曾有の危機に直面している日本の社会全体が、この取り返しのつかない事故から何も学ばず、再び原発を稼働させることは、破滅への道にほかなりません。「2030年までのなるべく早期に」などと言わず、今すぐ、「ゼロシナリオ」を選択し実行することを強く望みます。
56497	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電自体に反対します。 その観点から2030年ゼロシナリオを支持し、それよりも可能な限り早期に原発ゼロを実現すべきと考えます。	東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、原子力の安全神話が崩壊し原子力をコントロールすることがいかに困難であるかが明確になりました。政府は「より安全な電気が欲しい、使用済み核燃料の問題を子供たちの世代におしつけたくない」などの国民の声を聞き、しっかりとした政府方針を立てるべきと考えます。 特に、国民生活や産業に影響を与える電気料金の上昇に関して、原子力発電の有無による差異はほとんどありません。 （参考:http://jref.or.jp/images/pdf/20120810/20120810_scenario.pdf ） むしろ、電力小売の完全自由化・発送電の所有分離などの施策を早期に実施し、電力会社間の競争を促すことの方が今後の電力料金の上昇を抑えることに役立つのではないでしょうか。 また、競争環境整備と安定供給のために国内送電線の整備はもとより、海外との送電線の連系が必要と考えます。 原子力の代替としての自然エネルギーは、化石燃料やウランのような輸入に頼らない純国産エネルギーであり、導入コストの回収が終われば他の電源より発電コストが安いという特徴があるため早く導入すればするほど2030年以降の電力全体のコスト低減に役に立つと考えます。 原子力ゼロを現実のものとするために、今この時点から最大限導入する必要が?あります。自然エネルギーには頼れないという意見も有りますが、日本は自然エネルギーの宝庫であり、その発電量もコストも著しく改善するものと思われます。 さらには、スマートグリッド、スマートメーターの導入により需要家サイドでのイノベーションを促進し、省エネや ヒ?ークシフト等の施策を競争環境の中で創出していかなければなりません。 　我が国は、戦後の石炭から石油への転換、オイルショック後の脱石油政策という大変困難なエネルギー革命を果たしてきました。 原子力ゼロ社会の構築は再度の大きなチャレンジです。しかしそれらの難題の度に我が国は国民が一丸となって産業構造の変革と技術革新によって新しい社会を構築し世界をリードしてきました。 いまこそ、国が大きなビジョンを示し一丸となって取り組むことで原子力のない社会を目指すべきで、またその実現は十分に可能であると考えます。

56498	個人	自営業	40代	女性	できるだけ早く原発比率ゼロにすべき。そしてすべての原発を完全に廃炉とする。再稼動中の大飯原発も含めて直ちにすべての原発を稼動停止すべき。	完全に安全な原発はありえない。もし万が一他の原発でもフクシマのような事故が起これば、もう日本は終わりである。そして、絶対に事故が起こらないとは誰も確約できないはず。経済優先でなく、人々の生命を最優先すべき。一刻も早くすべての原発の廃炉に向けて、すべての原発の稼動を停止すべきと考えます。
56499	個人	会社員・公務員	20代	女性	再稼働反対です。色々しがらみもあるでしょうが、徐々に0%にしてほしい。	原子力に頼らず、今止めて、自然エネルギーに移行はできないのでしょうか？また未来の子供達にこの問題が受け継がれていくのかと思うと、どうにかして違う道を選んで欲しいと願うばかりです。
56500	個人	自営業	40代	男性	1.ゼロシナリオを選びます。原子力発電は有事の際に国家が滅びるリスクがあることが判明しました。よって、原発ゼロがこれから必要になると考えます。	今回の福島第一原発トラブルにより、有事の際には原発は日本国家を滅ぼすほどのリスクがあることが判明しました。今回はたまたま福島が太平洋沿岸、本州の東端にあったこと、中央免震棟があったことなどから、首都機能がある東京や日本広範への放射能汚染が幸運にも経減されました。 これが九州、関西、中部地方にある原発で事故が起こったら日本は壊滅することでしょう。そして韓国・中国の場合でもしかりです。 今回の放射能汚染で、人々は健康被害を受けながらその土地に一生住めなくなり、農水産物は出荷・流通が止まり、観光客はゼロとなるなど、生活・経済に大打撃となりました。美しい自然ももう二度と戻りません。 また、使用済み燃料の保管に多大な年数を有すること、廃炉の方法の未確立、被爆下請け作業員の存在や、現在の科学、電力会社や政府のマンパワーでは原子力発電を全くコントロール出来ないことも今回の原発事故でよく分かりました。 私にはこれからの日本を支えていく子どもがいます。彼らのためにも日本を滅ぼしかねないリスクから一刻も早く遠ざけることが重要と考えます。 よって、1.ゼロシナリオを選びます。
56501	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオ希望。	故郷に住めなくなった友人がたくさんいます。 ストレスを抱えながら暮らしている友人がたくさんいます。 二度とこのようなことが起きないようにお願いします。
56502	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナオリを選択します。いますぐ、全ての原発を止め、廃炉にすべきです。エネルギー不足で経済が落ち込んでも一時です、必ず日本は復活します。次の事故はあってはなりません。原発はいますぐ全廃に。	ゼロシナオリを選択します。 本気で自然エネルギーの開発に取り組めば、予想よりずっと早くに原子力の発電量を超えるでしょう。到底無理と言われていたアメリカの排ガス規制を、日本の自動車メーカーがクリアするのを私たちは見てきました。 日本なら必ずできます。エネルギー転換のために、一時的に経済が落ち込むかもしれません。でも、開発した自然エネルギーの技術で、経済を立て直して行けるはずです。 次の原発事故など、あってはなりません。一時的どころか、二度と立ち上がれなくなります。そのリスクを限りなくゼロにするために、いますぐ全ての原発を止め、廃炉にすべきです。 電力会社を維持するための負担はお断りですが、多少の不便を私たちは厭いません。なにより生命が大切です。
56503	個人	自営業	30代	男性	原子力発電はやめるべき	核燃料廃棄物の処理が出来ない状況でこれ以上使用済み核燃料を増やさないため。 クリーンで安い原子力発電と騙されてきたが、事故が起きれば周辺地域には住めなくなり、膨大なお金がかかるため。 事故リスクが高すぎる、もし民間企業が原発をやりたいと思った時に、銀行は融資するでしょうか? 国が補償しなければ成り立たない事業であり、事故の損害賠償金などは国民になすりつける原発は即やめるべき。 電力不足もウソでした、原発無くても十分足りる。 事故が起きた後に、周辺に住めなくなったり、世界中の国々に影響を与えるような発電方法が原発以外にあるでしょうか?原発以外の発電で電気は賄うべき。 原発を進めたい人の理由は既得権益しか見当たらない、違う理由があるなら、国民の半分以上が納得できる理由を示してほしい。
56504	個人	その他	60代	女性	脱原発を支持します。 子どもたちの未来のためにも、自然、再生可能エネルギー開発に尽力すべきです。	100%安全なのはないと今回の事故で思い知りました。原発を深く考えてこなかった私たち世代の責任です。 人が制御できない物を作り、維持することに絶対反対します。
56505	個人	無職	30代	女性	原発ゼロシナリオで即時0%を希望します。	原発ゼロシナリオで即時0%を希望します。地熱、風力、波力、太陽など、自然エネルギーを活用して電気を作る社会に変えてください。
56506	個人	会社員・公務員	30代	男性	0%。18年後は遅すぎます 再稼働なんて選理的にありえません。 次世代、そして世界に対し今の日本人は何をメッセージするのか。 福島のメッセージを心の奥底で受け止めること。 今しかないのです	19歳の時、アメリカでウラン採掘に関わる北米先住民・インディアンに会いました。ホピ族に伝わるロ伝による言い伝えの中に広島・長崎を意味していたものもありました。知らなかった事実を初めて知り、採掘に携わるところから、最終処分までの流れを知りました。 政府や官僚が経済ベースで物事を進め続ければつづけるほど、 この小さな日本列島でも、地球全体でも、 山も、川も、海も、生き物も、そして我々人間が荒んでいくことは、 すでに歴史が証明しています。 福島事故後の判断も、殆どの経済も、お金ベースで物事が進められています。 いちばん大切なものは、心です。 先ずは、心が根幹にあり、そして、健やかな地球があってこその、 我々人間です。その上での経済なのです。 心がないがしろにされた政策の上に、何が残りますか？ 心が根幹にあれば、 人間はどんなことでも力を合わせて乗り越えて行けるのです。 経済・資本ベースには、もうこりごりです。 もう、振り回されたくはありませんし、 その不必要な政府・官僚の螺旋に巻き込まれたくもないですし、 これからの時代は特に、 その螺旋から足を抜く人は増えていくでしょう。 だからこそ、僕ら国民も同じ人である政府・官僚の方々も見捨てたくないし、 だからこそ、国民の、お金ベースでない人の想いを大切にしてほしいのです。 大地が傷つき、水や草木が汚染され、何ができましょうか。 世界中にある仕事の中でも淘汰されるべき仕事は山ほどあります。 就職難だとか倒産だとか、他にやるべきことは山積みなのではないでしょうか 足るを知り、足元を見つめて政策を進めて下さい。 いま、この混乱した国や世界の本当の民が求めているものは、 答えのない原子力の世界ではない。 かといって、自然エネルギーがいいからこれを、とも違うのです。 いま、国民一人一人の生き方・暮らし方が問われているのです。 再生可能なエネルギー源だからといって、 同じエネルギー量をつかっていたらどうなりますか？ 違うのです。 私の家は何人家族で最低これだけのエネルギーがどうしても必要だから、 これだけの電気がいる。 アンペアダウンしましょう、とか、 本当に、これは必要なのか？とまさに暮らし方なのです。 それを政府が国民の心に訴えかけるのです。 原子力も、火力も、水力も太陽光もなにもかも、 その現地で起こっていることを伝えるのです。 資源の採掘から、家に届くまでのことを伝えて下さい。 そして、国民に選択できるようにしてください。 私たちの家との距離を縮めなくては、何も解決しないのです。 『再生可能』とは、そういうことなのです。 赤字国債を抱える日本経済の悩みも分からないのではないですが、 原点は、心を基本に考える人の言葉に耳を傾け、活かすことです。 それを飛ばしてきたからこそ、いまの時代が出来上がってしまったのです。 そして最後の、政府・官僚の悩みを教えて下さい。 わたしたちは、心をひらき、 相手の言葉に耳を傾けて話し合うことを求めています。 朝まで生テレビではなく、 人の意見を聞く者同士で語らい、模索し、糸口を見つけたいのです。 いままで私利私欲や利益の為に動いてきた人は抜きにして、 原子力の可能性に夢や希望を真剣に持って取り組んでこられた方々、 労働者の方々や、原発立地で人生を翻弄させられた方々 地域や人の絆を分断されてこられた方々、 そして、福島事故を受けた地元のかたや我々国民の為にも、 0%シナリオ、一刻も早い舵取りを切に願い、 意見とさせていただきます。 本当に、どうぞ、よろしくおねがいいたします。 働けば働くほど山や森は死んでいくのです。
56507	個人	家事専業	20代	女性	原発のない国に。	もうこれ以上放射能に怯えながら暮らすのは真っ平です。
56508	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。エネルギー供給に原発は直ちになくすという意見です。	原発ゼロシナリオを選びます。 原料が安価だとか、CO2が出なくてクリーンだとか今まで宣伝してきましたが、実は使用済み燃料の保管費用、設備の維持費、CO2は出ないけれども放射能はもれる危険性大、というリスクを考えれば今すぐ止めるしかありません。今まで使ってきた原発への予算は太陽光発電などの補助金に廻してクリーンな産業の後押しをし、ろうどうりょくの拡充を図るべきだと思います。1石2鳥です。
56509	個人	会社員・公務員	40代	女性	もちろんゼロシナリオです。 国民が感じたあの日の恐怖は、今も進行形であるからこそ、国民の原発反対の声が大きくなっているのです。子供たちの未来の為に、大人達ができることを今全力ですべきです。	この三つから選ぶのであればもちろんゼロシナリオです。 　事故から1年5ヶ月が経ち、未だに子供たちに与える食べ物、飲み物の産地を気にして生活していることが、神経質であるかのように思わされてしまう日本の現状を恐ろしく感じます。 　命を大切にする国家であってほしいと心から願います。何かの利害のため多くの生命が脅かされるような国でであってはならないと思います。 　国民が感じたあの日の恐怖は、今も進行形であるからこそ、国民の原発反対の声が大きくなっているのです。子供たちの未来の為に、大人達ができることを今全力ですべきです。待ったなしの状況です。
56510	個人	自営業	50代	女性	(1)ゼロシナリオを支持します。2030年より早い原発ゼロを！リスク対応費を考えると原発は経済的にも決して有利ではない。狭く密集した日本国土をロシアンルーレットにかけるような原発稼動は即やめるべき。	(1)ゼロシナリオを支持します。しかも2030年よりもっと早くゼロにしてほしい。リスク対応費を考えると原発は経済的にも決して有利なわけではない。日本の国土は狭く密集しています。その国土をロシアンルーレットにかけるようなこと（原発を稼動すること）は、理性を持つ文明国の選ぶ道には思えません。もう一度どこか（特に大飯など）で原発の過酷事故が起こったら日本は本当におしまいです。起こらないとしても、そんな事故を決して起こさないための真の意味での万全な対策は天文学的な費用になるでしょう（つまり、現状は不十分だと考えます）。 軍事的観点から、もしもどうしても原発を維持すべきだというのならば、必要最低限規模の実験的な炉として日本のどこか1箇所にのみ残すことは検討してもよいと考えます。ただし、その場合でも ももろん、フィルター付きベント、十分な高さ・強度の防潮堤、免震重要棟などすべてを完備した上ですで。万が一の事故の場合のマニュアルや訓練を万全にし、事後対策の費用なども事前に試算しておくべきだと思います。 原発にしがみつくよりも（福島の事故や使用済み核燃料についてなど今後も事後処理は必要ですが）、できるだけ早く自然エネルギー発電を発達させるように方向転換すべきだと私は考えます。
56511	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発を徐々に減らす。	原発は反対ですが 日本経済を考慮し、徐々に原発を減らすべきです。 皆のふるさと日本を守りたい。
56512	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発ゼロシナリオを支持	電気は当然大切だが、原発は人命や土地の存続を脅かすもので ある事は間違いないと思う。 原発ゼロ、新しいエネルギーへの転換を行っていくべき。

56513	個人	自営業	30代	男性	原発依存度は「0%」に、すべての原子力発電所は即時停止、廃炉手続きを求めます。	福島第一原子力発電所事故で、福島は一般の生活・経済活動を今後何十年も行えない広大な「焦土」と化しました。 通常の戦災地・被災地と違い、何十年にもわたって放射線の影響が継続してゆく点において、原子力災害で奪われた国土・領土の被害は、面積においても時間においても比較にならないほど甚大、かつ悲惨です。 このような国土・領土の喪失を引き起こす原子力災害が、自然その他の脅威によって再び引き起こされるうる事は、歴史を謙虚に振り返れば容易に想像できます。 原子力発電所を運転しない事・廃炉する事が、今後のあらたな国土・領土の喪失に対向しうる唯一の手段です。 福島以外の土地でふたたび、放射線災害での広大な国土・領土の喪失を許せば、文字通り日本は終わりです。 原子力発電所の即時停止、即時廃炉手続きを切実に求めます。
56514	個人	学生	20代	女性	「ゼロシナリオ」を支持します。	今回の選択肢の中では「ゼロシナリオ」を支持します。 福島原発事故から、制御に問題のある原発の運用に強い不安を感じています。 政府案、民間案で代替エネルギーの計画があるならば、ぜひそちらに転換してほしいと思います。 3月11日の福島原発事故の際、私はイギリスで生活していました。 イギリスでも、連日、事故が報道の一面で大きく取り上げられ、その後の一般の人々との会話でも原発事故への高い関心がうかがえました。 事故の当事者・被害者である日本の今後のエネルギー政策の転換は、世界に向けてのアピールともなるでしょう。 政府の賢明な判断に期待します。
56515	個人	自営業	30代	女性	原発依存から持続可能なエネルギーへ	原発依存から持続可能なエネルギーへシフトしていかないと 生と死といサイクルでいえばいづれ地球も滅びてしまうんだけど とりあえず　これから　何が起こるのかわからないって そんな危機感を持って生きる時代が来てしまった まだ間に合う部分もあるのなら、もっと、安心して納得して生きていきたい 次の世代に　表面だけじゃなくて　心の内から　よろこんだり たのしんだりできる世の中を残したい 大人＝クズ　というループから そろそろ、出ないとね。
56516	個人	会社員・公務員	30代	男性	【ゼロシナリオ】早期に原発比率をゼロとする。再生可能エネルギーを中心としたエネルギー構成。化石燃料の依存度を下げCO2の排出量を低減し、高水準の再生可能エネルギー、省エネルギー社会を実施する。	原発は、経済的にも、社会的にも、国際的にも甚大な損失をもたらす可能性を秘めているエネルギーである。早期に原発比率をゼロにし、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー構成にしていくことをもとめます。 原発によってだされる放射性廃棄物をどのように管理していくのか？どこに、だれが、どんな方法で保管・管理していくのでしょうか？私たちは、いまだに原子炉放射性物質による被ばく、汚染被害などコントロールする力を持っていません。「地中に埋めればよい」との議論は環境汚染を引き起こす危険がなくなったのではなく、対処療法的方法で根本解決ではありません。何十万年後の人類が、放射性廃棄物を掘り起こし、甚大な地球環境汚染を引き起こす危険性がある。さらに、事故その他で原子炉から放射性物質が漏れでたときのリスクは甚大すぎます。ひとたび原発事故が起これば、経済的にも、社会的にも、国際的にも、甚大な損失になる。 暑い夏を迎えているが、いま東京電力の原発稼働はゼロである。いまでも原発ゼロでも計画停電もなく安定して電力エネルギーが供給されている。このことがゼロシナリオが可能であることを証明している。 「しかし、このままでは電力エネルギーでは心配である」との声もある。いまある原発関連推進予算を、再生可能エネルギー推進予算に切り替えれば、再生可能エネルギーの比重を高くし、さらに上乗せすることが可能である。こうして安定供給を実現していく。 再生可能エネルギーの開発には、経済的にも、社会的にも、好循環をもたらす商機がうまれる。さらに日本が再生可能エネルギーの開発・技術を強固にもてば、国際的に優位に立ち、国際的信頼も勝ち取れる。
56517	個人	会社員・公務員	30代	女性	3択の中では(1)ゼロシナリオを支持します。	ただし、2030年時点での選択肢が今回の趣旨ということですので、以下意見を付け加えます。 福島第一原子力発電所の事故収束が実質目途がたたない現在、地震活動期に入った日本に於いて、即時原子力発電所の停止と廃炉を求めます。 また、もんじゅに費やされる予算、立地自治体への交付金は、国の財源を圧迫します。 燃料保管プールにある燃料は、即刻ドライキャスクへの収容を求めます。
56518	個人	自営業	40代	女性	原子力発電の　全機　即時停止、廃止について	?核廃棄物の安全な処理方法が確立されてない今 これ以上核廃棄物を増やし汚染をさせてはいけません。 完全無毒になるまで絶対的な問題と思われます。見切り発車したことに おとしまえを付けてください。 ?地震国である日本は　もう原発の安全性はまったくもって 破壊されました。国会も議員もすべての人もわかっているはずです。 そしてこの真夏に原発なくても2011年のあの　意味不明の 節電キャンペーンもなく過ごせる事が出来ています。 原発完全停止、廃止、新規エネルギーへの予算追加政府の全面強力を 要請します。 もう誰もが考えられないほどの　天災　東北関東大震災。 そしてそこから起きてしまった　福島原子力発電の事故。 そこからは　国民の多くが　今までの生き方を振り返り 幸せになるためにはどうする事がいいのかを模索始めました。 あまりに国民の知らない所での　利権争いやまたは国民を利用した 営利を目的とした　電力会社の独占経営など いままでわかり得なかった事実も露呈して来ていて 本気で国民はこの動きを止めて　正したいと思っています。 未来の自然、子供達のために　人間がコントロールできない または　廃棄方法がまったく見つからない　核について 絶対廃止を　進めてほしいと思います。
56519	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」の推進による急速な原発依存度低下の促進	2011年3月11日の事故による福島の原発での対応の不備、及びそれを踏まえて、1年以上が立つのにも関わらず大飯をはじめとする他原発で十分な安全対策がとられていない状態で、今後安全に原発を管理できるとは思えないので到底原発は許容できない。
56520	個人	自営業	20代	女性	原発0%でお願いします！	今回、パブコメを出させて頂きます、國立と申します。 わたしの住む、函館という街は、とても住み安やすい街ですが、 大間・泊・東通原発が近くにあり、安心して住むところか？と問われると、 とても難しいところでもあります。 私は結婚をし、旦那と二人で細々とお店を切り盛りしています。 ただ、3・11以降の、行政の原発に対する対応や、議論、 放射能に対する意識の無さ、がれき問題…を考えると、 このままこの街に、はたまた(この国に)、 このまま居ても大丈夫なんだろうか。という想いと、 こんな国に産まれる子供は可愛そうだとつくづく想ってしまうのです。 誰のせいでもなく、 これからの私たちが未来を作っていける日本国であるように、 日々、考えさせられます。 原発のことは考えても、勉強しても、誰にもわからないし、 今も垂れ流しのい放射能は誰にも止めることは出来ません。 なので、わたしは原発0を希望します。 原発は、人間の許容範囲を越えているとしか考えられないからです。 もう、神の域。人間が踏み込んではいけない域です。 誰も幸せになんかならない、未来の希望を汚してしまう原発なんかいらないです。 少しくらい街が暗くても、いい。 あの官邸前デモに参加している人々は少なからずそう想っているはず。 計画停電をするのに、27時間テレビは放映したり、 田舎街には、コンビニやパチンコがどんどん増えて… コンビニだって、24時間じゃなくていい。 自動販売機も、減らしたら結構な節約になるはず。 もっと皆で、日本国全体で考えていけばアイディアがどんどん出てくるのでは。 アイディアは、実際にこの国で生活している国民のほうが持っていると思います！ 協力して、この国を建て直したいと、みんな本気で思っています！ 誰が悪いとも思わないし、誰のせいでも無いと思います。 日本がまた立ち上がるために。 そのために、原発0を希望します！
56521	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロを実現してください。	原発は、一度事故を起こしてしまえば、私たちの力ではコントロールできないものであることが、3.11以降の原発事故で明らかになりました。 地震大国日本で、原発を維持し続けることは、今を生きる私たちにも、そして未来の世代にも、取り返しのつかない甚大な影響を与えるリスクを孕み続けることです。 そのような社会のあり方には耐えられません。 原発ゼロを実現してください。
56522	個人	パート・アルバイト	30代	女性	これからの日本の電気について、原発比率を0%にすることを望みます。	原子力発電は、一度事故が起きれば何世代も先まで影響を及ぼしてしまいます。 地震の多い日本の土地にはふさわしくなく、今回の東日本大震災での事故によって、それを管理運営する人々の真剣さと責任能力も信頼できなくなりました。 原子力発電は燃料採掘の段階、使用済み燃料の処理の段階でそれに関わる人や土地の健康にダメージを与えています。 今回の事故を受け、日本は原発利用に固執するのではなく、世界トップレベルになるような自然エネルギー推進国、そしてエネルギーの利用に対して意識の高い国となるよう、原発依存度0%という宣言がされることを強く望みます。

56523	個人	会社員・公務員	40代	男性	事故が起こると分かり、放射能を放出する危険な原発は全部止めるべきである。 そして全原発廃炉にすべきである。	昨年3月に原発事故が発生した。 津波ではなく地震発生時点で破損がされたとも言われている。 原発事故は発生しないと言われていたが発生してしまった。 おそかな御用学者はすべて首を切れといいたい。 原発事故後には放射能が東北及び関東に降り注いだ。 おそらく、数年後～10年程度で放射能汚染に起因する健康被害が顕著になるであろうと考える。（事象としてはチェルノブイリ事故後に発生した健康被害と同様のものがでるであろうと考える。） アメリカの属国的な政策は今後見直すべきである。 日本国は独立国としての政策を行うべきである。 官僚は国民をばかにしたような政策は行うべきではない。 政治家もおろかであるが官僚は悪魔に近い存在であると考えている。 学問的に有意であっても人間としては最低なものを有している人種ではないかとさえ思えている。
56524	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持。原発は中長期的に見て経済的でない。太陽光、シェールガスなど現在はコスト高でも技術の進展により今後数年でもかなり状況は変わる。出遅れることなく新たなエネルギー技術立国目指してほしい。	ゼロシナリオを支持します。 現在の原子力産業に変わる新しい産業を興すべく、国を挙げて努めてほしい。 日本は資源のない国。でも技術をつくりだす力は、もともとある国。このもともとの個性をくみあげ、もう一度世界で勝負できる国になってほしい。新たなエネルギー技術のトップランナーになるべく政策転換を。日本にならできる。 以上
56525	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0%今すぐ全部廃炉	危険だから。 人が安全に住める場所を奪うものだから。
56526	個人	自営業	60代	男性	「0」原発	地震が頻繁起きる日本では原発は無理。あぶなくてしょうがない。そのための安全の仕組みがごまかしで進められている。本当に惨りない人たちだ！ それを知りながら原発を推進してきた政府・企業・学者はまずは、国民にたいして責任をとらなければならない。そこが議論のスタート。私たち国民は、政府に任せるのではなく、自分の問題として今後はどんどん自分の意見と行動をとらなければならない。それが国民の責任である。 今後はこの日本で「どのようにしたら原発なしでエネルギーを確保していくのか」の議論が必要。まずは、政府・電力関連企業の都合が悪いデータも含めてデータの開示が必要。それをしないことには、議論のしようがない。 もう国民は黙って政府に従うことはしない！ （削除）
56527	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオの方針を採るべき。過酷事故の影響は、空間、時間、経済、心理の面で事故前予想を凌駕。保有する限り原発過酷事故リスクは残る。ゼロシナリオ以外では「先送りパイアス」に陥りゼロにできない。	平和利用といえども原子力利用にはリスクを伴います。国際標準の定義によれば、安全とは受け入れ不可能なリスクがないことであり、人・社会が決めるものです。311の地震・津波・原発崩壊で受容可能レベルが大きく厳しい方向に変わったため、安全基準も安全の形而上学的視点に立ち根底から議論する必要があります。しかし、原子力安全に関して行政府で専門的な議論はなされていません。あのような根底から見直さなければならない大災害が起きながら、短期間での技術的検討だけで元に戻すようなことでは、国民や世界の求める安全は担保できることは論理的帰結としてありえません。 リスクは、リスク源があるかぎりゼロにはなり得ません。リスクは、概念的にも定量的にも、確率と影響の積として表されます。これまでは、確率がゼロに近いので影響が大きくてもリスクは小さい、という論理で理解を求めて来ましたが、それが不適切な論理展開であることが立証されました。確率を小さくできたとしても、過酷事故の影響は、空間的にも時間的にも、経済的に社会的にも、そして何より心理的に、事故前の予想をはるかに凌駕するものでした。まだまだ、様々な面での影響は捉えきれないと考えられます。原発事故が報じられた数日は日本が滅びることを本気で心配した人は多かったのではないでしょうか。すなわち、日本や世界のレベルでの人類の危機としてのリスクであったと理解できます。この程度で終わったのも、制御した結果ではなく、偶然の結果であると言えます。したがって、リスク源を保有しながらリスクを小さくするという選択肢はありえない、すなわち、経済的負担も覚悟してリスク源を断つ、というのが市民の決意であると思われます。 世界の被害地震の大半が日本付近で起き、火山の多くがあり、毎年台風があり、百年、千年スケールでそれらの巨大化が危惧されるような自然災害ハザード環境にいるということは、それらの自然災害のリスクの低いところより何層倍もリスクが高い日本は、率先して原発ゼロを実現すべきでしょう。 このたび、議論のためにまとめて載きました「エネルギー・環境に関する選択肢」と題する文書は、多面的な検討のガイドラインとして有用でしたが、マスコミやコメンテーター諸氏の指摘する問題点も見えます。しかしながら、3つの選択肢はいずれも実行可能なものであり、まさに選択肢として成立することが明確に示されている点が評価できると思います。 15シナリオや20～25シナリオでは、心理学的に言えば、「先送り/パイアス」に陥り、結果的に本質的な対策である「いつかはゼロにする」という目標は、まちがいなく到達し得ないでしょう。本文書に書かれてあるように「依存度を下げていく」のが共通事項で、それが安全のためであるとすれば、このような先送りパイアスに陥らないようにすべきです。 原子力事業者に対して原子力損害賠償責任保険への加入等の損害賠償措置を講じることを義務付けていますが、通常の商業規模の原子炉の場合の賠償措置額は現在一基あたり1200億円でした。20兆円に行くとも推算される賠償責任に対して明らかに低いリスク見積もりであることを実証しており、これは心理学的に言う「楽観バイアス」の代表例と言えるでしょう。 事故前の「楽観バイアス」に対して事故直後には「悲観バイアス」も広く見られましたが、1年余りが経過して、国民一人一人が、今は冷静に考えることができていると思います。時間が経てば経つほどに楽観バイアスが回復してきます。3～5年も経つと実質的に楽観バイアスが経済界・政界を中心に広まることでしょう。大正関東震災の際でもそうでした。したがって、今回の国民的議論の結果は、相当重く受け止めるとともに、この議論の経緯と結果をこそ、後世に伝えることが重要となるでしょう。 なお、世界の一部では脱原発を目ざす国も少なくありませんが、それも容易ではなく、脱原発のための科学技術や社会技術の開発が必要になってくると思われます。そのような次世代の社会技術や科学技術の開発に先鞭をつけるのも、重要になってくると思います。
56528	個人	家事専業	30代	女性	『?選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択しますが、即刻廃炉すべきです。』	『?選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択 しますが、即刻廃炉すべきです。』 日本は地震が世界で最も多い地域です。当然津波も。「想定外」では ありません。近年では4000ガルというような常識を超えるレベルになって います。耐え得る構造物はありません。 地震の少ない欧州のような段階的廃炉の選択肢はあり得ません。 また原発のコストの高さはすでに「原子力のコスト(岩波新書)」などで 立証されています。 経済性や国際競争力からは原発を選択することはできません。 そもそもGDP成長率がエネルギー消費量を考える元になっていますが、 ドイツではGDP成長率とGHG(温室効果ガス)排出量は反比例しています。 GDP成長率はエネルギー消費量を減らせます。 省エネや自然エネルギーに対しても、「経済的負担が大きくなる」と していますが、わずか数年の電気料金で取り戻せるのに、なぜ「負担が 大きい」のでしょうか。イニシャルコストだけで、ランニングコストを 考えていないように見えます。 電源構成はピーク瞬時の電気需要に対して構成されます。したがって ピーク瞬時の需要を下げれば足りるのに、年間電力消費量で考えられて いるようです。 八幡東区で「新日鉄」などがやっているように、ピーク時の料金を 10倍まで高くする仕組みを入れれば、ピークの消費を下げられます。 電源構成は瞬時の対応ですからその点から考え直すべきです。 以上により、原発に依存する必然性はなく、逆に動かすことのリスクは 限りなく高いため、即時のゼロシナリオを求めます。
56529	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロ！	これは、経済のドーピングみたいなものだったんではないでしょうか？ トレーニングをするより早く筋肉が増強されるので、 一度使えば辞められなくなる麻薬のようなものかもしれません。 使用後の安全性が確保できないようなものに頼っては行けない。 手を出しては行けないもんだったんだと思う。
56530	個人	自営業	20代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」の中では、「原発ゼロシナリオ」を支持します。 可能な限り早急に、もんじゅを含む全ての原発を廃炉にするべきです。	原発のコストは本当に安いですか？ 使用済み燃料の処理方法も確立されておらず、原発事故の大きすぎる負債に目をつぶった上で 「コストが安い」と言われても全くそうは思えません。 複数の原子炉がメルトダウンするという未曾有の大事故を起こし、 その収束の目途すらたたない現在の状況では、 原発を動かし続けることはそのまま大きなリスクを背負い続けることになります。 日本は地震国です。 地震、テロ、事故、何かが起こってしまった時の被害範囲が大きすぎます。 安全だ、と言われていたものがただのキャンペーンでしかなかったと暴露され、 安全神話を作り上げた体制がそのまま生き永らえている現在の日本で、 様々なリスクを抱えてこれ以上原発を使い続けたいとは思いません。 安くもなく、安全でもない。 核のゴミの安全な処理方法もない。 事故が起こってしまったら止める手段がなく、広範囲、長期間に渡って汚染が進行する。 原発を動かすメリットを感じません。 2030年よりも早く、もんじゅを含む全原発の即時廃炉を希望します。 日本の持つ技術力を、どうか廃炉技術と汚染の除去、新しい自然エネルギーの開発のために活用してください。
56531 (56027と同一意見提出者)	個人	その他	30代	男性	原子力発電0%シナリオを選択。原子力発電は即時廃炉にすべき。	原子力発電のゼロリスクはありえず、むしろ地震大国日本においては再び事故が起きる可能性の方が高いと考える。福島原発事故で明らかになったが、事故が起きた場合、次世代への影響に対しては不明な点が多く、現世代が責任を取れないので倫理的に原子力発電は許されないエネルギーである。 ＊先ほど職業欄を間違えたので再送させていただきます。
56532	個人	無職	80代以上	男性	原発ゼロシナリオ（原発0%）を選びます。	フクシマの原発事故はあるはずの無い事故でした。 放射能をコントロールする事は人類最後の課題だと思います。 放射能を無害に出来ないうちに原子力発電を建設した事が間違いだったと思います。 元電力社員として慚愧に堪えません。 老人はともかく将来ある孫やひ孫のために、原発は早急に無くしてください。
56533	個人	会社員・公務員	20代	女性	私は「原発ゼロシナリオ」を支持します。2030年までの、本当にできるだけ早い時期に原発を動かすことをやめ、再生可能エネルギーを使用した発電の割合を増やすべきだと考えます。	まず、東日本大震災において、原発の危険さ・もろさを日本全国民が実感したはずなのに、何故また稼働させて使用しなくてはいけないのでしょうか。原発なしでも、国民みんなが協力して節電すれば、実際電力は足りていたはずです。本当になぜなのでしょうか。私たち国民は、その理由を、ある一部分の人の利益の為と推測せざるを得ません。 今現在、電力会社は独占企業体制となっています。それが「原発があることによるある一部の人たちの利益の創出」を生んでいるのではないでしょうか？ まずはじめに、国は電力会社の自由競争を認めるべきだと考えます。そうすれば国民は電気を自分の意志で選んで購入することができる。そうしないと様々な発電システムの開発も、切磋琢磨されず、発展していかないと考えます。 また原発を動かさないことによって、その地域の財政が破たんしてしまうとか、職をなくしてしまう方が出てくることも考えられますが、その地域に同じように原発ではない再生可能エネルギー施設を建設することで雇用は生まれると思います。 もんじゅのように、何年かけても成果が出ておらず、動かしてもいない施設に国の予算をかけるより、再生可能エネルギーをどう利用していくかという開発に予算をかける方が雇用の創出にもなりますし、またその方が全世界からのニーズもあるはずです。先進国で原発を使用している国はもうほとんどないのです。ここで日本が新しい発電システムを開発することができれば、日本の産業・経済の復興にも役立つはずです。 また原発を本当になくす為には、稼働を止めてからもまだまだ長い期間が必要ですし、その施設で働いていた人にはまだまだその場所で働いて頂かないといけないと思います。 私を含め、日本国民の多くが、もう二度と福島の原発事故のようなものは見たくないし、体験したくありません。原発をやめても電気を足らすことは出来ます。ならば原発を動かす理由はないはずです。 もし電気が足らなかったとしても、それは原発から生まれた電気で補うべきでなく、たとえば再生可能エネルギーで生まれた電気で補うべきと考えます。

56534	個人	家事専業	70代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。原発即時撤廃してください。廃棄物の処理もできず、ただ濡をわかすだけのために環境と命を壊す、世界が見捨てた前世紀の遺物を地震大国が継続しているのは自殺行為です。	原発ゼロシナリオ（唯一の脱原発シナリオ）を支持します。 即時廃炉し、自然エネルギーを中心にしたエネルギー産業と持続可能な社会作りに方針を転換してください。 そうでなければ、世界に取り残され、経済的にも困窮していくことが目に見えています。 アメリカも脱原発に舵をきっています。このままでは日本だけが世界の核の負債を押しつけられます。 http://enenews.com/just-in-u-s-freezes-all-nuclear-reactor-construction-operating-licenses 2012年8月7日ENEニュースより 連邦政府の原子力規制当局は本日、危険な、長期的な健康と環境をもたらす、“原子力発電所の敷地内に格納されている使用済み核燃料のDC巡回控訴米国の裁判所が判決に応じて、少なくとも19最後の原子炉のライセンスの決定を凍結
56535	個人	自営業	50代	男性	原発のゼロシナリオを希望する	福島第一原発の悲惨な事故は未だ収束していない。 日本は唯一の被爆国で有りながら再び過ちを犯してしまった。 もう原爆と同じ原発は要らないのだ。 原発は使用済み核燃料の処理方法も決まっていない。 10万年かかるゴミを未代まで残す権利はない。 今が変わるチャンス。 国は自らの過ちを認め国民が願う脱原発へと即刻進むべきだ。 それをせずに日本の再生復興は無い。 速やかに原発ゼロシナリオへ舵を取る事を強く強く希望する！ 日本が沈没する前に。
56536	個人	会社員・公務員	30代	男性	これからのエネルギー政策について。	昨年、3.11東日本大震災が発生し、その後、福島第一原発の事故が起こりました。 自分も含め、それまでほとんどの人が原発は安全で頭のいい人達が造った、高い安全基準の下に原子力発電があるんだ思っていました。 しかし福島第一原発の事故が起きて、人災とも云われてるや、今だに危険な状態が続き収束にもいたっておらず、放射能の除染作業も進んでいません。そしてふる里を追われ沢山の人たちが非難を余儀無くさせる中、再稼動や原発の推進はありえません。 これから原発もどんどん老朽化をして、そしてまたいつ大地震や事故が起きるかわからない中、原発を動かしていくという非常に危険なリスクを比べたら電気料金の値上げや経済界への影響や雇用問題など比になりません。 景気や雇用の問題は補助金や増税や政策などでまだまだ色々出来る事は沢山あります。 しかし、今尚続く福島の惨状やこれから起こりえる人体への影響など、もうすでにお金じゃ解決できない問題が起こっています。これからも増えてくると思います。 短い文ではありますが、他にも廃棄物の事や規制委員会の人事ニとや言いたいことは沢山ありますが、、どうか一日も早い原発からの脱却とこれからの再生可能エネルギーや省エネルギーへの政策転換を強く求めております。 国民が安心をして、そして希望や誇りを持てるようなエネルギー政策を展開し、唯一の被爆国として世界の先頭をきって進んでってほしいと心から望んでいます。
56537	個人	会社員・公務員	30代	男性	閣議決定「日本再生戦略」で掲げた経済成長率目標を達成できることを必須要件として、エネルギー政策を選択していただきたい。今回提示されたシナリオはすべてこれを満たしておらず、意味がないと考える。	原子力・再生可能エネルギーの構成比のみをターゲットにシナリオを想定するのは論の立て方として違和感を持っている。エネルギー政策は、経済・財政・社会保障・環境等の総合的な戦略に基づくものでなければならない。電源別の構成比はその結果にすぎないと考える。
56538	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	未だに、福島の原発問題が解決していない、解決どころか、今後の安全性(遺伝子含む)が保証されないにも関わらず、進めるのは納得がいかない。安全稼働中は問題なくても、今回のような事故が起こった場合、誰も止められない。止められていない(解決していない)現実がある以上、遺伝子や他の疾患を発症する可能性があるものを使っていくことは反対。
56539	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0%を指示します。 早急に稼働原発を0にしてください。全ての原発の廃炉を決定してください。 福島の事故原発の処理が進まない現状にあって、他の原発を稼働させることは許されません。	私が原発0%を支持する理由を下記に挙げます。 そもそもも地震国である我が国には適さない発電手法であること。 他国に比較して地震というリスクが高いにもかかわらず、重大な事故が起きた際の対処の技術がまったく備わっていないこと。 放射性物質そのものに対する現状認識も定まっていないため、事故後の除染も不可能な有様であること。 放射性廃棄物の最終処分処法が確立されていないこと。地層処分については為まりに長い時間を要するため、現実的な手段とは思えません。 原発0%にすることによって、代替エネルギーが必要かと思われます。 どうか早く原発を止めて自然エネルギーの研究に注力してください。 原発を半世紀続けていても上記の事故対処、除染、最終処分といった基本的で重要な技術は実現されませんでした。 もう原発は諦めてください。原発を止めることによって生活が不便になってもかまいません。 日本の技術力を可能性のある自然エネルギー開発に傾けるよう、政府が導いてください。 私は日本を動かす人々の良識と良心を信じています。
56540	個人	自営業	40代	男性	原発依存度は「ゼロシナリオ」を希望します	2030年といわず、可能な限りの早期ゼロを望んで止みません。 原発のある鹿児島県の人間ですが、原発からの電力供給を受けていない屋久島に住んでいます。 以前にもコメントしましたが、この島は水力発電で電力を100%賄っています。 田舎だから可能な電力量なのかもしれませんが、もし、薩摩川内市の原発に何かあった時には、被害だけを被ることになります。 また、国内の食料自給率が下がっている中で、徐々に食品への放射線の残留問題が広がっています。もし、西日本での有事があった際には、更なる自給率の低下を招くことは必至です。 原発の廃炉や放射性廃棄物の処理など、実現するには大きな課題が多いのも分かりますが、それでも「原発ゼロ」を目指していただきたいです。
56541	個人	自営業	50代	女性	原子力発電所を全て廃炉	福島原子力発電所事故の影響で今も苦しんでおられる方々が沢山おられます。何度も同じ過ちを繰り返さない為にも新しい再生エネルギーを考える必要があります。これから原子力発電所を頼りにするのは本当に危ないと昨年の東日本大震災で実証づす。これからは地球にもひとにも優しく安全なエネルギーを考える必要があります。ドイツなど海外でも昨年の東日本大震災で反省を活かしても国もありますよね。どうかよろしくお願いします。
56542	個人	その他	50代	女性	2030年の総発電量に占める原発比率に関する三つの選択肢については、0%シナリオを強く希望します。	福島第一原発の事故による被害は甚大なものであり、事故が収束したとは言いがたい状況です。 原子力エネルギーはいったんこのような事故が起これば、制御できなくなります。将来にわたって負の遺産を増やし続けるのは、もう止めていただきたい。 大飯原発が再稼動するまで原発はすべて止まっていましたが、計画停電することなく電力は足りました。 原発比率0%は実現可能です。原発はもう要りません。
56543	個人	自営業	30代	女性	原発をなくしてください	・経済や利権のために安全性を無視して原発を動かし続ける現状の政策に強く反対します。 ・大飯原発を即刻停止してください。 ・国内の全原発（もんじゅ含む）の廃炉を約束してください。
56544	個人	学生	20代	女性	原発をゼロに、温暖化も対策をお願いします	原発事故によって苦しめられているのは人間だけでなく、動物や自然も同じで私たちは人間が地球を作っているのではなく、地球が人間を作り出したのです。人間の勝手なエネルギー作成のために地球を汚すこと、原発をなくすからその分、何かでエネルギーを作るためにまた地球を痛めつけることはよくないと思います。原発をゼロにすることで多くの人間が困るといいますが、なぜ困ることの方に対策の網を張らないで原発を推進しようとするのでしょうか。なければならない、でなく、なくても大丈夫な国でありたいです。 日本らしくあるためには他の先進国のような在り方をまねするより、日本らしいよりよい暮らしを作る方法を検討すべきではないでしょうか。 もし、原発がまた事故に遭えば誰が責任をとるのですか？ この答えに“誰々です”といった答えは必要ありません。
56545	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存0%・即時全面稼働停止。極力速やかに全面廃炉。	地球上の全ての人の為に！
56546	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発0%目標を支持します。原爆を落とされ、地震が毎日のように起きる日本には原発は無理です。自然エネルギー革命を起こしましょう。	我が家の屋根ではソーラー発電を14年間しています。きっかけは、原発従事経験者の知人の子どもが白血病で亡くなったからです。そして、かつて日本はソーラー発電パネル技術も世界一でした。その国が何故技術力活かして自然エネルギーに重きを置かずに来たのか。それがこの震災後の原子力村等のカラクリで納得できました。石油資源の無い日本がウランも無いのに原発に依存するのも無理が有りますね。このままでは核廃棄物の山、そして低濃度放射能汚染地域での人体実験中のままです。はやく日本は核から離別して、自然エネルギー革命へと向かうべきです。ドイツもイタリアも決めました。日本にできないはずはありません。それが世界の海や空を汚した日本の反省の一歩です。
56547	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロにすることとする。既存の原子力発電所については、安全に除去されるよう原子力技術についての研究は継続することとする。	原子力発電については、今すぐ全廃するというは現実的な選択肢ではないと思われるが、再処理（直接処分も含む）の技術の未確立や、今般の原発事故における不十分な対応や能力不足（特に保安院や東京電力の経営層）を鑑みるに、現在のまま原発を推進し続けることは、日本の今後に禍根を残すことになりかねない。原発以外のエネルギーの安定的な確保がなされるように全力で対応しつつ、原子力発電については、一定程度の期間をかけて依存をゼロにできるように対応スべきである。なお、現状の原発立地地域の経済問題と、原発を除去するための技術開発については、原発をゼロにすることによって不利益などが生じないように国が責任をもって対応をしていくべきである。
56548	個人	会社員・公務員	30代	男性	決断とは将来の為にすることであり、目の前にある現実に左右されるものではない。	日本が取る選択は世界からも注目されている。今、日本が取った行動が、将来の日本を映し出す。ドイツが取った選択と日本が取った選択。。個人的には今回の決断は日本らしさを感じない。 脱原発は日本人が一体となって進めるべきであり、再稼働は不要。 原発がない中で次の挑戦が待っており、それに立ち向かうことができるのが、日本人である。少子高齢化社会が進む中、日本というアイデンティティーを作ることも今後の課題として出てくる。日本人であることの誇りを改めて認識するためにも今回はチャレンジすべきである。
56549	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発反対！！ 原発ゼロへ！！	震災後の放射能廃棄物でさえ、廃棄する場所でもめたりしているのに、 これからも、原子力にたよるだけの生活を続ければ、永遠に処理できない廃棄物がますます増えていくだけ。今、政府が安全な数値などと言っているが、「今」は そうかもしれないが、「これから」の未来は、どうなるであろうか？ 子供たちの「これから」の未来には、絶対に残したくない問題である。 「今」の事よりも「これから」の未来に目をむけて考えると、原発ゼロに向かって 「今」歩むべきときなのだと思う。 震災という大きな悲しみが、やっと気づかせてくれたのだから残された私達は行動に移していかなければならない「時」がきたのだと思う。 日本は「無駄」が多すぎる。 本当の「無駄」をなくしてください。 自然エネルギーで十分。不便になったとしても、それを受け入れます。
56550	個人	自営業	40代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢のうち、(1)ゼロシナリオを選択します。 ただ、個人的には「即刻、原発ゼロ」を主張します！	震災によって、これまでの原子力政策があまりにも杜撰で、安全性を軽視したものだったことが明るみになったと思います。世論も手伝って、この5月にようやく（ひとまず）国内の全原発が止まったというのに、何故この期に及んで再稼働を進めるのか意味が分かりません。 惰性でエネルギー政策の見直しを先延ばしにするのではなく、原発に依存しない社会を早急に実現するべきだと思います。
56551	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	理由は、他のシナリオで先送りされている廃炉費用と放射性廃棄物処理費用、それにいつまでも背負い続けることになる原発事故リスクまで考えれば、この案が最も経済的だと思われるからです。また、大飯原発再稼働の例などを見ても、政府が原発関連行政を結論ありきで無理に推し進め、かつそれに対する科学的根拠に基づいた釈明をせず「非合理を合理とうそぶいて」政治を行うことにより、広く世間、ついては世界に対しての日本の論理的な信用というものが失墜することを強く懸念しています。子供達は「大人たちがああして自分の都合のいいように真実を隠して話すのになぜ自分は嘘をついてはいけないのか」についての答えを出せなくなるでしょう。それを国のトップが率先して行っていることの致命的なリスクを、実際の育児、教育、その後に彼らが背負うことになる国の未来を考えて、実地の体験をベースに彼らは想像してみたことがあるのでしょうか？また、政治的ジャーゴンを駆使して内向きの仕事にのみ没頭し、様々な言い訳で子育てを家の女たちに押し付けて平然と「日本を背負う立派な俺」を演じて、毎朝鏡に向かってキメ顔して喜んでた偉い政治家の皆様に、それが想像できるのでしょうか？ただ地政学的リスク、物理的リスク、経済的リスクだけではなく、かような論理的思考態度の幼稚な国家に原発運営は不可能であるとする見解です。30年までの撤廃を希望します。
56552	個人	自営業	20代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。	原発は必要ないからです。
56553	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持する。 原発利用は、世代間公正を著しく欠いている。私たちのみが恩恵を受けた結果として、この先数千世代の人々に放射性廃棄物の管理を押し付けていることは、卑怯である。	原発ゼロシナリオを支持する。 原発で作った電気で恩恵を受けるのは私たちの世代だけであるのに対して、原発によって生み出されて処理しきれない放射性廃棄物は、この先10万年にもわたり管理し続けなければならない。今回、広く国民の意見を聞くのであれば、原発の影響を受け続けるであろう未来の人にも意見を求めるべきである。そしてそれが叶わないのであれば、そうした人々の意見を想像して判断するのが私たちの責任であると考える。 原発がなければ私たちの生活が不便になるとか、経済が悪影響を受けるという意見もあるが、何のメリットもなく、不安におびえながら放射性廃棄物を管理し続けなければならない私たちの何万倍もの数の未来の人々に、そのような独りよがりの主張が通るとは思えないし、そのような卑劣な決断をした祖先には成りたくない。
56554	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発エネルギー政策に対する意見　今稼働している大飯原発を早急に停止してください。そして停止している原発も廃炉に向けて動いてください。	今稼働している大飯原発を早急に停止してください。そして停止している原発も廃炉に向けて動いてください。 理由）日本は大陸プレートも狭間ある島で世界的にみても非常に地震の多い国です。今後福島のような地震による津波の被害は十分に起こりえます。 もし福島のような事故がもう一度この国で起きてしまえば、この国はどうなってしまうのでしょうか？　個人的には日本は立ち直れないほどのダメージを受けるのではと考えています。 ですので政府は日本のエネルギー政策を早急に見直して、原発廃炉に向けて早急に手を打つべきです。
56555	個人	家事専業	20代	女性	(1)ゼロシナリオを指示します。職場の問題、援助金の問題、簡単には解決できない問題を抱えることにはなると思うが、どの問題も人の命にはかえられません。	(1)ゼロシナリオを指示します。職場の問題、援助金の問題、簡単には解決できない問題を抱えることにはなると思うが、どの問題も人の命にはかえられません。健康あってこその仕事、便利な生活だと思います。誰かの命を犠牲にするかもしれない危険を孕んでいながら、それが知らないところで動いていくのは許せない問題です。子供たちやこれからの地球の為にも難しくとも、便利さを手放すことになっても代換えエネルギーを模索し使用するべきです。後先考えずにしていることではありません。自分の家族が、甲状腺がんに亡くなるかもしれないと、問題賛成している方はよく考えて欲しいと思います。自分の家族を犠牲にしてまで、得たい物などないはずです。
56556	個人	自営業	50代	男性	原発反対	原発反対　安全な世の中にするために再生可能エネルギーへの転換を実施してください。 宜しくお願いします。
56557	個人	会社員・公務員	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」での早い時期での0パーセントを希望します。	2030年までの出来るだけ早期に0%を望んでいます。 石炭火力ばかりに依存しないよう、再生可能エネルギーを多く導入してほしい。電力の自由化も実現してほしいです。
56558	個人	自営業	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を考えるべき	福島第1原発の事故は甚大な被害をもたらし、いまだ収束していない状況で、再び事故が起きるリスクはゼロにすべきである。

56559	個人	その他	50代	女性	3つのシナリオ中では原子力ゼロシナリオしかありえない。自然の豊かな日本は自然エネルギーの宝庫だと思う。温暖化対策を考えても、原子力依存度を早期に0にし、もんじゅは廃炉にすべきだと思う。	◎「レベル7」という過酷な原発事故をひきおこした我が国が、世界の次世代に対して責任ある選択をするのであるなら、3つのシナリオ中のゼロシナリオしかあり得ない。原発事故は"人災だった"と事故調査報告書にもあるように、アメリカNRCの再三の勧告にも関わらず万一を想定したバックアップ体制をとらなかった事は、事実をきちんと認識してこなかった我々国民も含めて猛省すべき事である。 それにも関わらず、政府はストレステストの二次評価もなく、住民の緊急避難対策も不十分、最速でも3年かかる安全対策も未整備な状態で、大飯原発を再起動させたが、その前提であったこの夏の電力供給は余裕があった事も知られている。 ◎ 今年の5月5日から大飯原発が再起動されるまでの間、国内の原子力依存度は0%だった。国内の再生エネルギーのポテンシャルを考えれば、原子力依存度を即刻0%に戻した状態で、温暖化問題にも取り組む事は十分可能だと思うし、やらなければならないと思う。 ◎「エネルギーの選択を行うにあたって重要となる4つの視点」について考えを述べたい。 〇原子力の安全確保と将来リスクの低減… 停止していた福島第一原発の4号機が現在危険な状況にある事を考えれば 地震国の日本で現在の原発を100%安全に運転する事は不可能である。 またゼロシナリオを除く15シナリオ、20～25シナリオでは、核燃料サイクル政策について「再処理・直接処分がありうる」と記されているが、核廃棄物の最終処分について目処もないまままずるずると毎年使用済み核燃料を増やす事があってはならない。発電もできずに毎年莫大な予算を消費しているもんじゅは即刻廃炉にし、国内の技術を廃棄物や福島第一原発の処理に注ぐべきである。 〇エネルギー安全保障の強化、地球温暖化問題解決への貢献… 日本は自然豊かな国であり、それが国民の誇りでもある。これらの課題を解決する方法も、地域の自然エネルギーの活用にあると思う。 国内の休耕田でバイオエタノール原料を生産したり、地熱（高温岩体発電）、メタンハイドレート、波力、小水力等々、環境にも配慮しながら、地域の活性化にもつながる可能性が十分あると考える。雇用を産みだし、人材を育てる事は、地球規模に貢献する事にもつながる。 〇コストの抑制、空洞化防止… 今回の原発事故がひきおこした損害のコストは未だに集計も不可能である。農業、畜産、漁業へ与えた長期にわたる悪影響、大規模な発電所の損傷が与えた第二次産業界への影響を考えれば、早期に発送電を分離し、分散型の電力供給システムを構築していく必要がある。 同時に、発電時のロスを減らしたり、コージェネレーション、省エネ技術、蓄電池などの技術開発を進めていく必要がある。 地震国である日本に原発はそぐわない。立地県の人達、現場で働く人達に心身共に大きな負担を負わせ、オープンに議論できない空気を作ってきた過去を改め、政府にはぜひ合理的で透明性のある施策をとって欲しいと切に願う。 自然豊かな日本で、地域に合ったエネルギー源を持ち、全国の人達が後ろめたい思いを抱く事なく、地域で誇りを持って生活できるような社会を目指したいものである。
56560	個人	自営業	30代	女性	原発は0、いますぐに停止、廃炉することが、日本国の環境問題の改善と経済的発展へとつながる唯一の道だと考えます。	まず第一に、日本は地震大国であり、ここ1．2年間で大規模な地震が起きることが学術的に明確に予想されています。その危険な状況で原発を維持し利用することは、無謀な行為だと言えます。もういちど大震災が起きて、福島規模の事故が発生したとき、為す術が現実的にあるのでしょうか？国民の命を見殺しにするおつもりなのでしょうか？そもそも原発の存在は、国土と経済と国民の命がかかった、環境問題以前の切羽詰まった緊急の課題であると考えます。 政府でもその危険性をより重視し、国防や目先の利益よりもまず日本の国土を守らなければ、この国の存続はあり得ません。ドイツやイタリアで原発撤退し自然エネルギーへの方向転換が進んでいる今、技術のある日本でできないはずがないと考えます。
56561	個人	無職	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します！	使用済み核燃料の処理方法が確立しておらず、次世代に負の遺産を残すだけのエネルギー政策から、方向転換をするべきです。
56562	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを希望します	原発が一度事故を起こすとどうなるか、今回のことでよくわかりました。 避難して苦しんでいる人がいる。 除染対策で大変なお金と時間がかかる。 風評被害で苦しんでいる人もいる。 放射能が人間の体に与える影響は、本当のところはまだよくわからないので、大変な不安を抱えながらの生活には疲れます。 もうこんなことは二度と起こしてはいけません。 二度と起こさないためにはどうするのか。 それは原発をなくすことが一番です。 原発が低コストといわれているのも、今回の事故でまったくの嘘だと分かった。 これだけ金のかかるものはない。 火力発電所、水力発電所で十分だと思う。 今年の夏は、原子力発電に頼らずに東電の管轄は乗り越えられたのだから、これからも危険な原発を動かす必要はない。 原発のための予算を自然エネルギーの研究に充ててほしい。 日本国内の原発を即刻廃炉にしてほしい。
56563	個人	法人等	60代	女性	原発、即時廃止。	原発と生物は共存出来ない。地球を何回も破壊しても余りある量の核、制御出来ない原発は絶対に不必要。推進している人も人間なんでしょう？親兄弟、配偶者、子供や孫がいるんでしょう？例えお金があって海外に逃げても放射能はどこ迄も追って来ます。即時原発廃止しても安全になるまで私たちは生きてはいません。それでも今停めなければならない。今が最後のチャンス、しかもすでに遅すぎる。それでも停めなければならない。世界中の核も無くさなければならない。責務だ。
56564	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオ　を推進します	ウラン採取時に始まり、発電まで、発電中、発電後（数万年。。。）まで、放射能を持ち続け、生物への影響を続ける原発はもう要りません。たとえ、原発なしでも、電力は足りています。しかし、このまま原発だけ止めても、私たち自身のこの拡張経済型の社会から、未来存続型の社会に転換しなければ、人類、生物、地球は破滅の方向に向かってます。ここで、日本は大きく舵を取り、世界の環境・未来・持続可能的社会のリーダーになりましょう。現在の消費拡大生活を見直し、といっても、江戸時代の生活に戻る、とか、暑い中体力消耗の生活に戻るという意味ではなく、21世紀の省エネ生活めざしたいです。最新テクノロジーで、自然エネルギーをフル活用、エネルギーの地産地消、日本のような自然豊かな風土にぴったりです。そのための、法整備の急務を要求します。法がととのえば、社会も変わります。（ドイツがよい例です）原発では未来はありません。どうぞ、未来型社会への取り組みをすすめてください。
56565	個人	パート・アルバイト	40代	女性	経済より子供の健康が大事。	原発はいりません。原子力発電は必要ありません。0%。子供たちを泥の船に乗せないでください。 日本が真の民主主義独立国家だというなら、震災からこんなに期間があって今ごろこんなことをやっている場合ではない。
56566	個人	自営業	30代	女性	当面は0%シナリオのペースで減らして、2020 年頃（多分10~15%になってる）に状況を見て再検討する。	老朽原発の利用延長はリスクを増やすことになるので反対する。「新設」ではあるが、リプレースによってリスクを減らしつつ、地熱、風力など再生可能エネルギーへの転換を図っていくべき。また政府は核燃料の処分も含めたエネルギー政策のシナリオを再度策定し、国民に示す必要がある。
56567	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は現在の人類にはコントロールできるものではない。従ってすべて廃止し0%とし別の方法でエネルギーは考えるべきである。	原子力発電の仕組み自体は単純なものであるが、高熱高圧の状況が常時長期間続き、その間の維持管理、配管等の疲弊等を考えるととてもコントロールできるものではない。定期的に点検するのもその点が不安だからである。そういうものを持つこと自体無理であり、何年に一度はどこかで事故がおこるのは当然である。確率論で大丈夫というのは欺瞞であり、原発は廃止し0%とすべきである。
56568	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロ」を選択します。 2030年までにではなくいますぐにゼロを希望します。	一度意見送信しましたが、「原発ゼロ選択」と書かなかったので 再度送信です。 原発はいりません。 反対の理由は変わりません。
56569	個人	家事専業	30代	女性	2030年に原発0ではなく、即刻原発0を求めます。	このパブコメ募集の前提が「2030年まで原発が維持される」というものであり、前提自体がおかしいと考えます。多くの地震学者の共通見解が、日本列島が巨大地震のサイクルに入ったというもので、再び原発事故が起これば日本は再起不能になるのは明らかです。
56570	個人	無職	70代	男性	シナリオ0%でお願いいたします 原発0% 即停止!!	原発事故で娘、孫達は辛い思いをしている。 昔の事を思えば電気なんてなくても平気だ!!! 危ないものを孫達に残してはならない。
56571	個人	自営業	50代	男性	原発のゼロシナリオを希望する	福島第一原発の悲惨な事故は未だ収束していない。 日本は唯一の被爆国で有りながら再び過ちを犯してしまった。 もう原爆と同じ原発は要らないのだ。 原発は使用済み核燃料の処理方法も決まっていない。 10万年かかるゴミを末代まで残す権利はない。 今が変わるチャンス。 国は自らの過ちを認め国民が願う脱原発へと即刻進むべきだ。 それをせずに日本の再生復興は無い。 速やかに原発ゼロシナリオへ舵を取る事を強く強く希望する！ 日本が沈没する前に。
56572	個人	自営業	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 なぜなら放射性廃棄物の処理のめどが立って無いのに、その問題をあとの世代に丸投げして 原発継続を決定した当事者は、美味しいとこ取りをして死んでゆく事は許されないと思うからです。 原発ゼロにしても問題が解決しないのに、更に放射性廃棄物を増やしていくなんてどうかしています。 原発継続は廃棄物処理の具体的な解決策無しにはありえません。
56573	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオ。今すぐ原発ゼロに向かい歩み始めてください。	電気は足りる。多くの国民がその事実を知り始めている。米国では30年原発は造られていない。世界では原発は衰退産業。電力自由化が進む国では自然エネルギーへ転換。目の前の利益に惑わされず日本の大きな遅れに気が付き危機を感じていただきたい。原発は温暖化防止にならない。電力料金制度[総括原価方式]を廃止。原発立地の町の暮らしを保障。原発は人権侵害で成り立っています。
56574	個人	会社員・公務員	50代	男性	最低の選択肢として、ゼロシナリオを支持します。	原発はあまりにも危険なので、すぐに廃止すべき。三つのシナリオでは、それに最も近いのがゼロシナリオだからです。
56575	個人	無職	60代	男性	1．エネルギー・環境に関する選択肢・・・原発ゼロ・シナリオを推します。 2．原発ゼロ・シナリオ実現のため、省エネ技術関連特許を国が買い上げ、希望企業に供与することを提案します。	1．エネルギー・環境に関する選択肢・・・原発ゼロ・シナリオ 理由 （ア）原発技術は、如何に危険を抑制・回避するかということに尽きるわけで、完全無欠なものを完成させるということは非常に困難。 （イ）そのように危険なものを、将来の世代に先送りすることは間違い。 （ウ）代替エネルギー技術や省エネ技術を利用・向上させるべき。それらの技術に関し数々の特許公開がされており、国がその技術を強力に後押しすることで、消費電力量を抑えることが出来る。 2．原発ゼロ・シナリオ実現のため、省エネ技術関連特許を国が買い上げ、希望企業に供与することを提案 理由 （ア）国民が各自の裁量で省エネルギー対策を実施しても、その効果を個々に計測することは困難。また国が国民に省エネルギー目標数値を示しても、個人がそれを効果的に実現出来る手法が少ない。 個人的に確実性のある省エネルギー手法は、省エネルギー商品を購入する事である。その場合、購入意欲を喚起するためには、商品価格を抑えることである。そのために国が、商品化する企業に有利となる特許技術を無償で供与すれば価格が抑えられ、且つ市場も活況を呈することとなる。 例えば、以下のような特許が公開されている。 （1）ヒートポンプで太陽熱温水器等からエネルギーを回収・蓄積する給湯システムの特許（特許例：特許公開2005－241148）。 （2）ヒートポンプで浴槽の湯から熱エネルギーを回収・蓄積する給湯システムの特許（特許例：特許公開2005－30758）。
56576	個人	会社員・公務員	30代	女性	私は、2030年に原発ゼロを希望します。今すぐ大飯を止めて下さい。安全だから大丈夫だと推進していた人たちが、福島の原発事故を防げなかった責任を真摯に受け止めて下さい。	天災は、人間の力でコントロールすることはできません。地震や津波を、止められたことがありますか？どんな高度な技術を駆使しても、核の暴走を止めることが出来ないことも福島で証明されてしまいました。あまりに大きすぎる犠牲を払って、原発の恐怖を思い知りました。 もう、たくさんです。 『社会が豊かになるために』ではなく、『もう二度と原発事故を起こさない』ための方法を選んでください。私は事故を防げる唯一の方法は、原発をやめることだと思います。もう、じゅうぶん恩恵を受けてきました。原発がなくなって、不便になるかもしれません。それでもいいから、原発のない世界を取り戻し、原発に依存することなく生きる手段を選びます。 私は地球に生きるひとりの人間として、大人として、何世代も先にまで核のゴミを残す原発を、黙って許すわけにはいきません。ひとりひとりの声を、良識のある心で受け止めてください。　※一部訂正箇所があり、再送します。
56577	個人	会社員・公務員	40代	男性	人が生きていける環境があって、その中で人々の生活を便利にする電力があるのに、電力を作るために環境や生活を決定的に損なうリスクを伴う原子力発電所を使うのは本末転倒だと思う。	人の生活と環境を脅かしてまで、電力を使って便利さを追求するのは、理論破綻しているので。少し不便でも(停電しても)、安全で持続可能な生活を国民は望んでいるのでは。

56578	法人・団体等	自営業	60代	女性	福島県などから人々が避難し、帰る目途さえたっていない現時点で、原子力を含むエネルギーの選択はあり得ない。即時全部の原子炉を廃炉にすべき。核燃サイクルは破綻し、不経済極まりない。地熱利用などの促進を。	昨年3月の福島の東京電力による第一原子力発電所の事故は、原子力をエネルギーとして取り出すことの困難さを実体として見せつけられました。1年以上を経た現在も、根本的な対策が見えてこない上に、地震による4号炉の倒壊の危険も指摘されています。また既に放出された放射性物質は、わかっているだけでも東北、関東に及び、水・土・空気と海や地上の生物の全ての環境を汚し、人々の生活を一変させました。汚染の酷かった福島県などから人々が避難し、帰る目途さえたっていない現時点で、原子力を含むエネルギーの選択はあり得ないと考えます。 　そもそも、プルトニュウムを高速で増殖させ、そこからエネルギーを取り出す、核燃サイクルが謳い出してこそ「経済性の高い」「夢のエネルギー」だったのではないですか。その様なうたい文句でこの原子力の政策は始まったはずです。しかなら、プルトニュウムからエネルギーを取りだす実験炉が事故で止まったままです。商業炉稼働などに至ってはほぼ不可能とされていますから、核燃サイクル構想は既に破綻しています。サイクルは閉じず、閉じる見込みも無いのですから「経済性の高い」「夢のエネルギー」どころではなく、現在道転中の原子炉は「不経済」な「悪夢のエネルギー」でしか無いことは誰の目にも明らかな事です。 　ウラン又は余り過ぎて処分に困ったプルトニュウムをMOX燃料にして燃やすだけならば、他の安全な燃料に切り替えた方が経済的に優れていることは計算するまでも無いことです。福島第一原発の事故で汚染された環境を元に戻すのにどれほどの費用がかかるか、まだ聞いたことがありません。事故が無かったとしても、原発52基の廃炉費用、放射能汚染物質の処分費用など、これほど不経済な燃料はありません。たかがお湯を沸かすだけに、 どれほど、税金や電気料を負担しなければならないのでしょうか。 「燃やす」燃料だけを比較すれば、ウランは石炭も石油も天然ガスよりも生産量は低く、かつ埋蔵量も多くはないと言われていますから、資源としての優位性も無いと思います。 「燃やす」だけでは無く、エネルギーを取り出す方法は他にもいろいろあります。火山活動が活発で、温泉の多い日本列島は、地熱からエネルギーを取り出すのに有利と言われています。恒常的かつ安定したエネルギーを得ることができ、国外では地熱を取りだす井戸も多数掘られていると聞きます。国内に事例もあり、十分に採算の取れる事業である事も実証済みですから、事業者が参入し易い様に規制緩和などの環境を整えるだけで、新規のエネルギー源の確保になります。輸入資源価格などの変動とも関わることなく、自前の資源が活用できるところも大きなメリットです。地熱利用で地域起こしも可能となり、地方の活性化、持続可能な社会の実現も夢ではありません。第3のエネルギーは他にも太陽光発電などの自然エネルギーや農業と連動したメタンガス発電など、すでに実施されているのも多く、一層拡大する路線をとれば、すべての原子炉を廃炉にしたとしても余りある、電力は確保できると考えます。 　大飯原発の再稼働までは一時的でも全ての原発が止まったことは、不足するとされる電力は本当にあったのかと疑わせるものです。大飯原発の再稼働に合わせ、火力発電の稼働率を下げたと聞きます。火力発電と水力発電の稼働率を上げながら、電力に余力を持たせつつ、即刻原発の再稼働を止め、全原子炉廃炉も可能ではないですか。 　私の故郷は、福島県と宮城県の県境付近にあります。常磐道でいわきのインターを降り、山沿いの道を通って帰省するのがいつもの習慣でした。高原で草を食む牛をみながら続く里山の風景は涙が出るほど美しいものです。農家の庭先は美しい花々で囲まれ、丁寧に暮らしている様子が良くわかりました。特に春の農家の庭先は競う様に見事な芝桜が敷き詰められ、今でも脳裏に浮かびます。まさにその地こそ、高濃度の放射性物質で水、土、大気が汚れてしまったのです。その風景を思い出すと、失ったものの大きさに胸がつかえます。 　父や母や祖父母が愛して止まなかった、私の故郷も汚染されました。 　原発を推進してきた全ての人々に対して、今は怒りしか湧き起こりません。
56579	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。 原子力発電は技術的に、また核燃料処理の点で安全が確保されていません。元々発電利用には無理があったのです。 今こそ、ためらわず、新たなエネルギー政策を探って行きましょう。	ゼロシナリオを支持します。 当面の現実的な対応として原子力発電所の再稼働がなされた事については、可及的速やかな停止を目指し、2030年には原子力発電比率をゼロとしていくことを願っています。 「火の始末」が出来てこそ、人はエネルギーを利用し発展を遂げてきました。電力も本来は人が「始末」できるものでなければなりません。原子力発電はその点が不確実なのです。それなのに問題を先送りしたまま使用済み核燃料を「どこか」に保管することで原子力発電を使い続ける事には無理があります。 昨年の震災、原発事故を機に、将来にわたって安心安全の道を歩んで行く事を選び直す事をためらってはいけないと思います。もちろん経済的な意味での構造の立て直しが必要となる大事業だと承知していますが、大きな問題解決のためには国民皆で負担することも納得、協力を得られるはずだと信じます。 グローバル経済の潮流に?み込まれ、乗り遅れぬようには知り続ける事で国民の幸せを約束できるとは思えません。一歩そこから距離をとったとしても、心穏やかに暮らせる国を作って行く夢こそが、これからの私たちを支えてくれると思うのです。 グリーンエネルギーを賢く利用する方法を、国をあげて探って行きましょう。
56580	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は不要。早急のゼロにするとともに既存の原子力発電所は完全廃炉にし依存度を0%にする。	原子力発電所を安全に運用できるという保証は無く、事故が起こった場合の被害は甚大また未来に負担を強いる可能性がある。バックエンド費用を含めるとコストが安価とは言えないと考える。特にプルサーマルは全く技術が確立していないばかりか、原発にはトライアンドエラーが許容されず、技術的な蓄積ができない。可発設置の地元市町村と周辺地域の経済的な差も、もっと水平的な配分での地域振興をはかるべき。原発依存からの脱却は、福島の被害を出した日本の国際的な使命とも考える
56581	個人	パート・アルバイト	50代	女性	「ゼロシナリオ」即時原発ゼロを求めます。 福島のような事故を二度と起こしてはならない。 人間が処理できない核のゴミをこれ以上増やしてはならない。	福島のような事態を二度と起こしてはならない。原発震災は、人が死んでいないどころか、町が死に、コミュニティーが破壊され、ふるさとが死んだ。 これ以上原発事故がおきても政府は責任の取りようがない。大飯原発を動かしても事故があれば、野田首相はどんな責任を取ることができるのか。核兵器の材料の保持を目的とした（石波茂氏が公言）原発の稼働は憲法にも非核3原則にも違反している。 地震に絶対安全な原発などこの日本ではありえない。津波対策だけでは到底地震のリスクは防げない。即時原発の稼働を止め、核燃料（使用済を含む）の安全な保管施設を作るべき。原子炉建屋内の燃料プールは危険すぎる。 直ちに原発村にかける税金を廃止し、エネルギーシフトに転換するべき。シュールガスや、コジェネなと、すでに開発済みの有用な技術に予算を投入して下さい。
56582	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオ支持、原発再稼動反対	政府や電力会社は核エネルギーの安全性を確保しておらず、その危険を地方や弱者、国民に押し付けていることに強い懸念を表明します。環境や人権への尊重という視点が全くありません。 経済面においても貧困や格差の拡大に加担しています。核燃料の処理についても同様のことが言えます。原発や処理施設の(再)稼動、増設、輸出に反対します。
56583	個人	自営業	40代	女性	原発の比率は、ゼロシナリオで。	使用済み核燃料の最終処分が決まっていないのに 原発を続けていくなんて、ありえません。 トイレのないマンション、そのものです。 福島の方の苦労には及びませんが 横浜の私でさえ、食べものや水、空気などの 放射能汚染が気になって仕方ないです。 もう便利なだけの生活は結構です。 多少の不便は受け入れる覚悟は出来てますので ゼロシナリオでお願いします。 野田さんのスピーチは本当に国民に理解して もらおうと思っているのですか？ いつも原稿棒読み…情けないなぁ。
56584	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオ	福島第一原発の事故原因がまだ究明されていないし、事故も収束されていない状況です。 被災者の皆様に、手厚い保証もあまりされていないし、事故を起こした人達は、何の責任もとっていません。 その中での再稼働は、本当にあり得ない話です。 さらに、使用済み核燃料の処理問題などまだまだ解決されていない問題があります。 原発を稼働すれば、使用済み核燃料が増えるだけです。 使用済み核燃料を冷やすにも電気が必要です。 1本の燃料の発電量と、冷やす為に使う電気量はどう考えても、冷やす為の電気量の方が多いのです。 未来の子供達に、負の遺産を残したくありません。 なので、即刻原発を廃止して、廃炉に向けての研究をして下さい。 電気が足りなくなると言われますが、国民はバカではありません。 もう、すでに省エネ家電に変えたり、節電に取り組んだりして、電気の使用量は、段々減っていってます。 さらに、自然エネルギーを使った発電も増えています。 今が、転換期だと思います。 世界一の省エネ大国になりましょう。
56585	個人	その他	60代	女性	自然が美しいと取われている日本に原発があること自体がおかしいです。危険がある以上、想定外などありえず、責任をもって原発を排除すべきです。	核や原発と聞いた時に反対！という事が何故問題なのですか？ 反対するのが当然人の道です。 理由は過去が証明してます。 原爆を作らないのなら、何故原発が必要なのですか？ 正力松太郎や政治家、官僚に騙され続けて来たけど、もう騙されない！ 核の平和利用なぞあり得ない！
56586	個人	会社員・公務員	50代	女性	いますぐ原発ゼロを支持します。	政府案の問題点と意見 省エネの見込みが甘い(省電力たった１割で固定）。もっとできます。 電源構成が化石燃料依存型でとりわけ石炭依存が大きい。自然エネルギーの導入見込みが甘い。自然エネルギー開発に力を注ぐべき。 核燃料サイクル・再処理の余地を残している。人類が未だ制御する技術を持たないものを動かし続けるのはやめるべき。 電力自由化や発送電分離などシステム改革に触れていない
56587	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする	経済の低迷の心配があるようだが それよりも食料自給力を上げるべき。エネルギーも同じ。原発の被害のせいで土や水が犯されるなんて一番馬鹿げている。被害が大きすぎる。それに学ばずにまた原発推進するのも学習していないと世界からも判断される。これをターニングポイントに自立すべき。 日本には休耕田も沢山のこっており、若い力で地方の第一次産業を支えるべき。そのためには都市集中形の経済の仕組み、あるいはエネルギーの仕組みを変えるべき。 ローカルに循環して生きていく方法 地産地消等 生き方そもそもを考え直す時がきたと思う。 電気の需要が多い、工業製品や無駄も多い。 直ちに原発ゼロ支持は そうしないといつまでも終わらないだろうから。地方では沢山の人達が立ち上がり、動いています。生き方に選択肢をくださいますよう、エネルギー事業は国民が選べる仕組みにしてください。 人間のみならず全ての生命を一番大切に守るべきだと思います。原発は人間のしていい事以上の事です。過去から未来へ責任を持って生きるべきです。
56588	個人	無職	50代	男性	原子力発電は、もうやめるべきだと思います。	福島をみて地震などの事故が発生した場合に全く対処できないということが判りました。原子力技術は人類が扱える技術ではないと思います。
56589	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0シナリオを希望します。	いつ、どこで起こるのか不明とはいえ、東日本大震災と同じかそれ以上の地震が必ず日本に再来すると言われている。 そこで再び原発事故が発生したとして、今度こそ「安全に事故を収束できる」という保障はあるのだろうか？ 世界中から非難を浴びるだけで済むならいい。でも本当に世界が終ってしまう。
56590	個人	会社員・公務員	60代	男性	今回の事故被害の膨大さは経済合理性からみても原発は超高コストすぎる。それよりも、ドイツが選択したと同じく「倫理」として原発廃棄を良しとします。	経済優先、利益優先の既得権益組織は大量の棄民を生みます。 他の発電方法を世界に先駆けて開発し、節電、省エネ暮らしと機器の開発などをすることで、日本が世界に評価されることができると考えています。みんなで頑張りましょう。
56591	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)2030年までにゼロシナリオを支持します。	原発との共存はできないと思うので、すみやかにゼロに向けて取組を希望する。
56592	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電所の稼働停止について早急にお願いしたい。	福島県郡山市に家があります。現在は東京都で生活をしていますが、いづれは故郷に戻るつもりでおります。 昨年の震災で福島第一原発が爆発し、多くの同級生やその家族が避難したり、後の子供への影響を考え色々なツライ選択をして来ました。原子力発電に頼ることが通常化している限り、親達は同じ不安を抱えたままこの国で暮らさなくてはなりません。どうか稼働停止をお願い致します。永田町に、この文書を読まれる全ての方の故郷に、今原子力発電所を作る計画があるとしたら賛成されますか？この地震大国で。 何卒、よろしくお願い致します。
56593	個人	家事専業	40代	女性	原発はなくすべきです	原発には必ず人間の力で処理することのできない核廃棄物ができます。 厳重に保管すればよいというものではないと思います。 地球を守るため、次の世代を守るためにも、これ以上増やさない。 すでに作ってしまったものは、順次閉鎖していくべきです。 自然エネルギーの開発を推進すべきだと思います。

56594	個人	自営業	40代	女性	選択肢として支持された3つのシナリオではなく、原発はゼロにしつつ温暖化対策目標を強化した第4のシナリオを支持します。	原発は温暖化に有効な発電手段であるという考えは間違っています。 原発から出る排水は、海を温めて温暖化を促進しており、また原発の廃棄物処理にかかるCO2の排出もきちんと計算することは出来ていません。 そのような中でCO2削減に有効な手段として取り上げられていること自体に異議を唱えたいです。 また安全面でも、今まであれだけ安全であると繰り返し言われ続けたものが、地震や津波によって破壊されたことを思えば、安全でないことは明らかであり、CO2の削減以前に、地震が頻発する日本には不適格な発電手段であると言わざるを得ません。 また、地震国である日本の国土のどこに、高レベル廃棄物を保管する施設をつくることができるのか、大変疑問に思っています。それ以前に高レベル放射性物質の長期保管方法すら確立していないにもかかわらず、放射性廃棄物が日々生み出されているのが現状です。この部分が解決しない限り、安全であるということは言えません。 再生可能エネルギーの弱点についてですが、不安定な発電量が挙げられますが、これについては大規模、もしくは中規模の蓄電設備の建設が最良と思います。 そのような蓄電設備を建設するのには試算3000億円ほどかかる（試算）、現実味がないと言われていますが、蓄電設備には原発周辺のような多額の自治体への献金も必要なく、地震が来ても原発に比べれば安全な設備であると言えます。 また蓄電設備は、今の技術では電池の消耗が著しいとは思われますが、それも原発の高レベル放射性廃棄物の交換やメンテナンスに比べれば、金額も安価であり、人件費も同様です。蓄電施設は、都市の近郊にも造ることが可能であるため、送電ロスを減らすという有効な手段にもなります。 切に検討を願います。
56595	個人	家事専業	30代	女性	「ゼロシナリオ」を選択する。原発は事故のリスク、関連企業、団体の利権の問題から早急に全廃すべきもので、豊富な天然ガス火力を主軸に再生可能エネルギーを充実させるべきである。	「ゼロシナリオ」を選択する。原発は事故のリスク、関連企業、団体の利権の問題から早急に全廃すべきもので、豊富な天然ガス火力を主軸に再生可能エネルギーを充実させるべきである。 原発事故は国民の安全や健康にみならず、経済にも破滅的な影響を及ぼすリスクがある。原子力産業関連の人間たちや政治家、官僚が何を言おうと、ストレステストなどの表面上の後付けの対策で安全を保証できるものではない。 原発を全て廃止しても最近のシェールガスの実用化などにより、中長期的に天然ガスを主体とする火力発電で十分に現実的に代替可能であるが、環境負荷等も考慮すると徐々に再生可能エネルギーを充実させることは必要である。
56596	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオに賛成です。	原発は即ゼロにすべき。 今回の事故を受け、廃炉にするにしても大きな犠牲を伴う事が判りました。 地震大国で、危険が増している状況下にも関わらず、危険が指摘されていた大飯原発の再稼働には大きく失望しました。 国民の命、国土の環境よりも利益優先としか考えられません。 直ちに停止して下さい。 使用済み核燃料の最終処分方法も決まっていません、 その危険性と処理を考えても、原発は一番コストの高い発電方法だと思いますし、子供や孫の代に、その負担を先送りはしたくありません。 地熱、太陽、風力等の自然エネルギーにシフトしていくべきです。
56597	個人	会社員・公務員	20代	女性	・今すぐ原発が無くなることを希望します。再稼動も反対です。 ・海や全食品の放射性物質の検査と表示をして欲しいです。基準値も下げてください。危険な物は広めないで下さい。	・安全管理能力が全くない事が今回よくわかりました。事故が起きても避難すら補償してくれない。 組織をどう変えようとも改善されないことは、震災後1年経った今が証明しています。管理できない事が確実なので、原発はあってはいけない物だと思います。 ・日本をガン大国にしたくない。健康に過ごしたい。 現実的なことを言えば、国民がいなければ税収が減り、政治家の給料も出なくなるのに、なぜ危険な食べ物や廃棄物を全国に広めて人を病気にさせたがるのか理解できません。
56598	個人	その他	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します
56599	個人	家事専業	30代	女性	出来るだけ早く原発依存0%にしてほしい	身の危険感じたり、ふるさとから追い出されるような思いまでして、原発という発電方法にこだわる理由はないと思う。 経済も生活も現状維持のままなんとかそようとするから足りないとかの話になるのであって、使い方や考え方を少し変えるだけでなんとでもなるとおもっている。 事故の収束も出来ない、廃棄物処理もできないなら、やめる以外に道はない。 もちろんもんじゅも廃炉希望
56600	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発はとにかくゼロに	原発は道義的な観点からしても、歴史的責任を考えても、我々の世代でなくさなくてはならないものだと思います。経済や、目先の電力問題などは、長い目で見ればささいなことだと思います。 原発を無くすことが非現実的と言う人がいますが、廃棄物の処理に数万年かかる、つまり廃棄物の処理方がまだわかっていない、しかも現実にこのような事故が起きている状況で、原発が稼働していること自体が非現実的といわざるをえません。もちろん、すべてを廃炉にすることがどれほど大変かと言うこともわかっているつもりです。そのための痛みであれば喜んで受け入れる覚悟です。

整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
56601	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0を希望	使用済み核燃料の処理。 このままでは子どもの将来が不安。 もっと、原発ではないエネルギーあると思うから。 福島で起きたことを、真摯に受け止めて欲しい。
56602	個人	会社員・公務員	60代	男性	ゼロシナリオ・即廃炉：地震国である我が国には原子力は不適。現状でも原子力がなくても電力は充足、むしろ代替エネの発達を阻害している。不正を常とする運営母体（原子カムラ）では安全確保不可。	福島第一原発事故を経験し、地震国我が国には原発が不適であり、それを管理できる体制が整っていないことも明らかになっている。しかも、これまでの原発立地その運営等においても、適正公正な審査を行わず多くの虚偽を重ねてきていることも明らかになっているにも拘わらず、今回の事故の責任を誰一人とっていないということは、社会倫理としてもこの国の正常な発展を阻害するものである。 この夏を経験するまでもなく、原発がなくても電力は充足していることは明らかとなっており、企業・家庭の自家発電等の進展、人口減少等もあって電力会社が供給すべき（つまり原発によって供給する必要がある）電力の需要減も明白である。 原発を推進するがために膨大な広告費・政治献金等を行い、その結果として電力価格も高額となることにより既存産業の適正な発展・国際競争力を阻害してきたことは厳然とした事実であり、原発推進を進めることによって将来的なエネルギー産業の発展をも阻害しているということは、我が国経済の適正な発展にとっても好ましくない。 原発はすでに過渡的なエネルギー・過去の技術でもあり、極めて限られた国の技術であると考えるべきである。開発途上国でも化石燃料は基本になるとしても、将来を考えれば原発より地域の特性に合わせた自然再生エネルギーが主要なエネルギー源になっていくものと考えるのが自然であろう。つまり将来性のない過去の技術にすがるのではなく、より大きな可能性のある自然再生エネルギー開発に早急に舵を切る方がより明るい未来に向かう道であると考える。 一方、原発の技術発展がどれほどあろうと、事故責任を問えず東電を解体させることもできない政府のもとで、今ですら情報公開も行っていない不公正な運営管理を行ってきた推進母体（電力会社、保安員、原子力委員会等いわゆる原子カムラと呼ばれる仕組み）が今後も安全な原発の運営管理を行える筈もない。また、安全な原発を維持しようとすればこれまで以上の高額の電力価格にならざるを得ない筈であるし、それでも万が一にでも再び事故が起これば、生物学的にも、社会的にも、国際的にも日本の存続は不可能になると考えざるを得ない。 こうした状況の中で、原発を存続させる必要性・意義がどこに見いだせるのだろうか？ 使用済み核燃料の保管場所も限界に近い。その再処理技術開発にも膨大な無駄を費やしているとしか考えられない。我が国の安全保障のために原発が必要だと言う者もいるが我が国では既に原爆に必要な量は十分確保されている。原発と安全保障の問題は分けて考えるべきである。 我が国の信じられる未来のためには、核燃サイクルも放棄し全ての原子炉の廃炉に向かうべきである。
56603	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は現在の人類にはコントロールできるものではない。従ってすべて廃止し0%とし別の方法でエネルギーは考えるべきである。	原子力発電の仕組み自体は単純なものであるが、高熱高圧の状況が常時長期間続き、その間の維持管理、配管等の疲弊等を考えるととてもコントロールできるものではない。定期的に点検するのもその点が不安だからである。そういうものを持つこと自体無理であり、何年に一度はどこかで事故がおこるのは当然である。確率論で大丈夫というのは欺瞞であり、原発は廃止し0%とすべきである。
56604	個人	学生	30代	女性	原発比率0%を支持します。原発は安全面・経済面で様々な問題があるからです。しかし、より省エネや再生可能エネルギーを拡大し、原発ゼロと、燃料費高騰および温暖化の抑制を両立させる第4の選択肢が必要です。	・脱原発・減原発による産業の競争力の低下を危惧する意見がありますが、省エネの効率化と再生可能エネルギーの拡大は、技術革新・新産業への投資を呼び、日本の産業・経済の新しいチャンスとなります。再生可能エネルギーに関する事業は世界的に拡大が見込め、日本がそれに技術と資本を投資すれば、世界をリードできます。 ・石油などの化石燃料は枯渇が予想されており、ウランなど原発の燃料も輸入に頼らざるをえません。核燃料の再利用は、もんじゅなどのトラブルを見て分かるように、技術的に大変困難です。また核廃棄物の最終処理場も決まっておらず、それを何万年も安全に保管できる保証はありません。それに対して、太陽光や風力、地熱、潮力などは持続可能かつ自給可能なエネルギーです。再生可能エネルギーの書及は、日本の経済上、また安全保障上、大変有利です。 ・原発には安全上の問題が多数あります。まず日本は地震国で、未発見の活断層の存在や、予想以上の規模の地震や津波の発生の可能性もあります。またテロなどに対する備えも十分ではありません。原発は平常時でもそこで働く作業員に被曝を強いており、健康に被害をもたらしています。 ・経済性から原発の維持・増設を支持する意見がありますが、事故に対する備え・事故を起こした場合の費用・再処理費用などを含めて計算すると、原発は他よりも経済的なエネルギーではありません。原発がひとたび事故を起こせば、その被害は広範囲に及び、人々の健康や生活、食料の安全、経済に大打撃を与え、つまり日本の国の存立そのものを危うくします。 ・原発の危険に脅かされず安心して暮らせる日本を作るために、私は、多くの国民がさらなる省エネなどの努力や、多少の電気代の高騰に耐える準備があると考えます。脱原発を求める署名やデモなどの運動の、全国各地での広がりがそれを証明しています。この夏、東京電力管内では一基の原発も稼働していませんが、私は不便を感じていません。もし必要があるなら、公共の場でも個人宅でも、まだ節電できる余裕があると感じます。
56605	個人	会社員・公務員	60代	女性	1原発ゼロ　シナリオを選択します。 日本は地震国であり、住民避難の計画すら持たない政府では原発利用は危険極まりない。いますぐ全原発の廃炉を表明し、実施に向け行動していただきたい。	2007年1月に出版された『原子力防災』（松野元著）には、原発事故、そのあとの住民の大量被曝など原発災害すべてについて、そうならないためにどうすべばよいのか、その方法が細部に至るまで具体的に記されている。 著者の松野元氏は全国の原発事故の対策システムを設計運用する責任者であった。ERSSの改良と実用化を担当し、「原子力防災研修」の講師もしていた。この研修には原子力防災専門官も参加する。つまり、この『原子力防災』は彼らの「教科書」であり、当然、経産省やその下にある原子力安全・保安院は松野氏の知見を共有していたはずであり、そうでなければならない。 ところが、３・11の事故においては、政府および当該関係者が取った対策は予測されていたことすら回避できず、大量の被爆者を生み出してしまった。松野氏の「教科書」はまったく活かされなかった。これまでの対応を見ると、政府、メディア、学者、技術者、総がかりの国民洗脳、情報隠蔽、責任逃れ、に終始し、幼稚極まりないものである。 原発周辺の避難訓練は飾りに過ぎなかったことが明らかになっている。また、国は原子炉設置許可の安全評価にあたって、格納容器が破損して放射性物質が漏れ出すような事故を想定していない。それを想定したら、日本では原発立地は不可能になってしまうから、という逆立ちした論理で原子力政策が推進されてきたことも明らかになっている。日本は国家として原発を持つ資格も皆無もない。 原発は一旦事故が起きればその被害は生命あるものすべて、経済、国土、さらに地球に至るまで及ぶ。使用済み燃料の処理技術がない。さらに、作業員の被曝という犠牲と差別で成り立つ仕事はこの世に存在してはいけない。 国会事故調の事故報告書において地震による原発施設の破壊の可能性が指摘されている。地質学上も、日本政府には原発ゼロと廃炉を表明し、それに向けた技術開発促進のイニシアティブを取ってもらいたい。生命と財産を守ることこそ、国の使命であるはず。
56606	個人	会社員・公務員	40代	男性	即時にすべての原発を撤廃。	理由:大飯原発が稼動しても電力不足は発生しなかったから。 電力会社間での融通をしっかりと行う仕組みを作ることで『当面の不安』は軽減すると考えている。 もちろん原発由来の電力が無くなることで、不必要な電力を使わない努力は甘受する。 長期的には原発および核燃料サイクルに湯水のごと注いでいるすべての資金を再生可能なエネルギー開発にシフトすること。 政府に申し上げたいのは、原発の利用をゼロベースで検討し、今後のエネルギー政策を組み立てること。利害関係者の意向を政策決定の過程に反映させないこと。国民の安全を守ることが全てに優先されること。決定の過程を全て公開すること。 原発ゼロのシナリオからは、更なる国民負担が発生するというマイナスイメージしか伝わってこない。意図的なイメージの誘導では？と勘ぐっています。
56607	個人	自営業	50代	男性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	放射能はこわい！早くやめて！ 原発利権は許せない 子供たちを守りたい！ 事故発生時の避難体制が絵に書いたモチ
56608	個人	無職	60代	女性	ゼロシナリオを選びます。	当然、ゼロシナリオを選びます。 昨年と今年で我が家の夏の電気は17%から20%の幅で節電出来ています。無理なく出来ます。巷では無駄な電気をいっぱい使っています。日ごろから無駄だと思っていましたが、福島の原発事故以来、余計に気になります。 電気を使うのが当然のように物が作られ、不必要に電化していくことは、物を考えない人間を作ります。ドアを開ければ電気がつき、トイレのふたが開く。後は勝手に流れる。そんなものが普通の家庭でどうして必要なのですか。便利さは時には思考を止めます。 原発が動いていない時も電気は足りていました。動かす必要はないと思います。生産部門で電気がどうしても必要なら、事務部門で出来るだけ節電すること。電気が足りる足りないではなく、足りるように生活を見直していく必要があると思います。 夏、ガンガンに冷やされた公共機関、上着が必要なほど低い温度になっている。夜遅くまで放映されるテレビ、これも不要です。10mごとに置かれている、自動販売機、赤々と輝く夜のネオン、こんなものはもっと減らせばよいと思います。 豊かさの取り違えではないでしょうか。 原発は危険です。何よりも危険です。子どもたちに安心できる地球を残したいものです。
56609	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオ	1年5カ月たった今も放射能は漏れ続け、避難民は15万人。 汚染された土地を元に戻すのは何万年？何十万年？将来の放射能による健康被害の予測も立てられぬ現在の科学と医学。これで原発をゼロにしない理由は他にあるのか？ 直ちに全国の原発を廃炉に向けて処理し、健康や土地を害さない クリーンなエネルギーへの道を歩むのが、原発を国策として進めてきた国の責任ではないのか。 いつ終わるかもわからない放射能被害に苦しむ福島の人々に、原発再稼働や推進など面と向かって言えるのか？私にはとても出来ない。 原発は絶対に反対です！
56610	個人	家事専業	30代	女性	原発比率0%を希望します。（本当は30年後といわず、すぐにやめてほしい）	放射能のせいで家族で安心して海で遊んだり、山で遊んだりということが心から楽しめなくなってしまったと思います。また危険情報がきちんと共有されていないともとても心配です。がれきを含め、早く福島の事故を収拾して（放射能漏れを完全に食い止めて、責任の所在をはっきりさせて、反省をして）こんなことはもうやめようと、国できちんと決めてほしいです。
56611	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発ゼロシナリオ 支持	稼働中の原発の即時停止、全ての原発の廃炉、核燃料サイクル事業からの撤退。 これらの、速やかな決断を要望します。
56612	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	原子力発電は、未来の世代に大きな負の遺産をもたらすもので、自分たちの世代の生活の快適さのために、未来の世代に負担を負わせるわけにはいかないからです。
56613	個人	会社員・公務員	20代	女性	依存度0%にしたいです。	依存度0%にしたいです。 東日本大震災以来、地震が増えています。これ以上、放射能や土壌汚染により、帰れない土地を増やさないでください。
56614	個人	家事専業	50代	女性	原発即時廃止　新エネルギー政策を国策とし　世界を牽引すること。瓦礫処理は　福島原発の周辺で。海外は　日本の汚染状況を冷静に監視。海外に輸出ができなくなる。国民の健康を守るのは国の責任。	原発即時廃止の理由 次に大きな地震が来たら　どうしますか？ 対策を取らず　稼働するのは　国民の為ではなく 電力会社　銀行の経営維持の為である事は　周知の事実に なっています。今国民のことを真剣に思うのであれば 一日も早く 原発に頼らない新しいエネルギー政策に着手してください。 使用済み核燃料はどうしますか？ どこに活断層があるか分からない我が国の　どこに安全に埋められる場所がありますか？ がれきは焼却するほど　セシウムは濃縮されます。なぜわざわざ汚染を 日本中に広げる政策をあえてとるのですか？ 被災地以外の農産物も海外では　買われなくなります。 それと風評被害という表現は　誤りです。実際に汚染されているわけですから 程度の差はあれ実害を国民は被っています。私の周りでは　政府もマスコミも 信じていません。海外からの正しい情報を得ています。
56615	個人	学生	20代	女性	経済のために一時的に原発を再稼働したとしても、可能な限り縮小していくことを追求してほしいです。	放射線量の増加が子どもに与える影響が心配なので。
56616	個人	その他	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します、 全て上記のとおりです。
56617	個人	自営業	40代	女性	原子力による発電の停止、廃炉	現在の人間の持つ技術では原子力を安全に活用する事は困難である事から 日本国内にある全ての原子炉の停止、廃炉を希望する。 放射能の自然や、生物に与える影響があまりにも大きすぎる。 またリスクの低減、回避するにも、地震などの災害が多発する日本では大変困難。 多大な予算を投じてリスクの高い原子力発電を運用し続けるより 地熱、太陽光などのローリスクで、 これまで十分活用できなかった部分に予算を投入して欲しいと希望する。 世界で唯一、原爆の被害を受けた国として 原子力に頼らないエネルギー政策を行う事が 世界へ平和を発信する行動につながると考えられる。
56618	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電のリスクの大きさから「原発ゼロシナリオ」を支持します。	3.11の事故から半減期30年の物質であっても、その処理に膨大な時間と労力・コストがかかることを学びました。また、この事故の関係から、原子力発電に用いる核燃料の生産工程で生ずる放射性廃棄物、発電後に生ずる放射性廃棄物などの安全かつ安定的な処分方法が未だ開発されていないことも知り、子孫や環境のために、これ以上、放射性廃棄物を増やしてはいけないと思った次第です。 このような理由で、2030年「原発ゼロシナリオ」を支持します。 なお、同時に自然エネルギーなどの代替エネルギーの開発に、国として注力していただきたいと希望します。その動きとスピードが重要ではないかと考えます。
56619	個人	会社員・公務員	30代	男性	なぜ必要なのか	実際に停電が起きるのか、 今年の夏、本当に大飯原発再起動必要だったのか？
56620	個人	自営業	40代	男性	日本での原子力発電はリスクが大きすぎるので2030年には確実に0にして頂きたいです。	2030年なら依存度0に確実にして頂きたいです。 とにかく日本での原子力発電はリスクが大きすぎます。 いままで国策でやってきたので有権者としての責任はあるので あまりえらそうなことは言えませんが東電の無策ぶりを 税金でしりぬぐいさせられるのは納得が行かない所です。

56621	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は全て廃炉しなければなりません。即時に！	福島の自己は収束していません。いまだに放射能を垂れ流しています。人類の叡智を結集してこの難事にあたらなければならないというのに、原発再稼働などは言語道断の暴挙です。 大げさではなくいま国家存亡の瀬戸際立たされているのですよ。 関係者全ての猛省を要求します。
56622	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持。	ドイツの脱原発の方針を審議した“将来の安全なエネルギー供給のための倫理委員会”がその最終報告書の冒頭で示した「原子力発電は過渡的な技術である」という見解を共有すべきだと思います。 放射性廃棄物の処理、予見し難い事故リスク、膨大なコストなどの点を考えると、原子力発電は中長期的には維持できない技術であると考えます。 また、東日本大震災と福島第一原発事故を経験した日本が、熟慮の上、原子力発電を使わないという「倫理的な」選択を、世界に、また日本の将来の世代に示すことは、日本の将来の国のありかたを決める上でも重要なことだと思います。 最後の原発を止める時期が2030年でよいのかどうかはまだ議論の余地があることだとは思いますが、枝野経産相が「2030年にこだわらない」と発言されたことを踏まえ、シナリオ1の原発ゼロシナリオを支持します。
56623	個人	その他	50代	女性	原発0%シナリオを希望します。	「エネルギー環境に関する選択肢」には、いつまでに原発をゼロにするかが書かれていないが、できる限り早期に原発ゼロを実現すべきと考えます。福島第一原発事故による放射能汚染はいまだ収束しておらず、最悪の環境汚染を引き起こした国として、世界に対する責任をとるべき。これまでの原発推進体制を見直し、非核三原則に背く核燃料サイクルを即刻やめるために、国のエネルギー政策を白紙に戻して検討し直してください。 省エネの見込み、自然エネルギー導入見込みの割合が甘いと思います。1割よりもっと省エネは可能です。日本では多様な自然エネルギー活用が可能であり、地域ごとにふさわしいエネルギー源があるはずです。電力自由化と発送電分離をすすめることで、自然エネルギーによる電力確保はもっと確実な形になっていくでしょう。「地球温暖化」防止のために原発？それも非常におかしな話です。地球温暖化神話を国民に押しつけていませんか？　世界の常識を国民は知っています。 国のエネルギー政策を決める前になぜ原発再稼働をするのですか？　国民の生活の安定、経済発展は「命」あってこそなのです。未来の子どもたちのため、世界の平和と健康で豊かな暮らしのために、命を危険にさらす大きなリスクを伴う原発による電気はいりません！　どうか多くの国民の声に耳を傾けてください。どうかどうかお願いします。
56624	個人	家事専業	30代	女性	【2030年に原発0】ではなく【即刻、原発0】を主張	ほぼすべての原発直下に活断層がある上、日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」とのこと。311のような地震が再び起きたら、日本は住むことのできない国になりかねない。また、これは日本だけの問題ではない。経済云々より、これからの子供たちのためにも、すぐに原発は廃炉にし、安全な再生可能エネルギーの開発を急ぐべきだ。
56625	個人	自営業	30代	男性	原発依存度0%の社会を構築するべきである。 脱原発は産業構造をかえるチャンスととらえ、今まで原発立地や維持のための資金を既存の産業構造を変化させるために使うべきである。	今後の日本におけるエネルギーとして原発は不要であると考えます。 現状において人類が核のエネルギーを制御しきれないことが東日本大震災により明らかとなり、今なお放射性物質の影響で故郷を離れて生活しなければならない人たちが大勢いる現状において、今後もこのような事故が起こりうる可能性のある技術をそのまま利用して行くべきではない。 また、使用済み燃料棒など高濃度放射性物質の最終処理も決まらないまま、その核のゴミを増やし続けることは将来世代へ無責任すぎると考える。 以上の点から原子力発電は廃止していき、2030年では原発依存度0の社会を構築するべきである。 そのためには、既存の産業だけでなく、省エネ社会へむけた産業の育成や、自然エネルギー、火力発電などの、エネルギー効率をより高めるための技術革新への投資がより必要であると考える。 一方、既存の原発に関しては廃炉にすることに数十年の歳月が必要であるようだから、廃炉を進めていくうちに原発立地地域の産業構造を変化させて原発に依存しない社会を作るように日本社会全体取り組むべきであると考える。
56626	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロ稼動を希望します。	少しずつ広まりをみせている太陽光発電を、企業や民家にも積極的に設置し 自分で使う電気は、自ら発電し管理ができるような 原発に一切頼ら無い日本にしていきたいと思います。
56627	個人	その他	40代	男性	選択肢はゼロシナリオです。 加えて2030年ではなく、直ちにゼロにすべきです。 理由は、あらゆる角度から検討をしても、原発の存在が憲法違反で、国民の幸せにはなり得ないものと考えるからです。	選択肢は云うまでもなくゼロシナリオです。 加えて2030年ではなく、直ちにゼロにすべきです。 国民に多少の不便を強いても節電をし、再生可能エネルギーに切り替えるべきです。 (1)どのような状況であっても、絶対に許されない原子力発電所事故を起こしました。原子力は人間には制御が出来ないことが明らかになりました。 その上、国も東電も原子力村と云われる関係者も、全く反省が無い有様で、、国民の信頼の上にしか成り立たない筈の原子力を運営する資格は、既に失効しています。だから原発をゼロにすべきです。 (2)原発事故は未だ収束をしておらず、更に被害を拡大させる危険性は継続し、放射能を垂れ流し、国民を被曝させ、不安にさせ、国土を毀損させ、地域社会を崩壊させ、避難をせざるを得ない状況を作りました。これは明らかに憲法違反に抵触します。かけがえの無い命と電気を比べること事態がナンセンスです。 しかも電気使用は減らす事も出来るし、原発でなくとも作る事が出来るのです。だから原発をゼロにすべきです。 (3)この間次々と活断層上に原発が建設されている問題が指摘されています。 これは新しい知見ではなく、隠蔽されていたものです。欺瞞に満ちた国民を欺いたプロセスで進められてきたこと、神戸や新潟、東日本大震災で、その恐ろしさをまざまざと見せつけられた地震。地震国に原発を建設するのは狂気の沙汰です。だから原発をゼロにすべきです。 (4)核抑止力の為、核技術が必要との暴論もありますが、そもそも原発を通常のミサイルで攻撃されるだけで甚大な被害を被ります。安全保障上も原発はゼロにすべきです。 (5)原発は事故が起こらなくても、動かすだけで、放射線廃棄物を大量に出します。今使っている電気のツケを将来に残す事はすべきではありません。 核燃料サイクルも原発も、海外への原発輸出もゼロにすべきです。
56628	個人	会社員・公務員	60代	女性	1原発ゼロ　シナリオを選択します。 日本は地震国であり、住民避難の計画すら持たない政府では原発利用は危険極まりない。いますぐ全原発の廃炉を表明し、実施に向け行動していただきたい。	2007年1月に出版された『原子力防災』(松野元著)には、原発事故、そのあとの住民の大量被曝など原発災害すべてについて、そうならないためにどうすべばよいのか、その方法が細部に至るまで具体的に記されている。 著者の松野元氏は全国の原発事故の対策システムを設計運用する責任者であった。ERSSの改良と実用化を担当し、「原子力防災研修」の講師もしていた。この研修には原子力防災専門官も参加する。つまり、この『原子力防災』は彼らの「教科書」であり、当然、経産省やその下にある原子力安全・保安院は松野氏の知見を共有していたはずであり、そうでなければならない。 ところが、3・11の事故においては、政府および当該関係者が取った対策は予測されていたことすら回避できず、大量の被爆者を生み出してしまった。松野氏の「教科書」はまったく活かされなかった。これまでの対応を見ると、政府、メディア、学者、技術者、総がかりの国民洗脳、情報隠蔽、責任逃れ、に終始し、幼稚極まりないものである。 原発周辺の避難訓練は飾りに過ぎなかったことが明らかになっている。また、国は原子炉設置許可の安全評価にあたって、格納容器が破損して放射性物質が漏れ出すような事故を想定していない。それを想定したら、日本では原発立地は不可能になってしまうから、という逆立ちした論理で原子力政策が推進されてきたことも明らかになっている。日本は国家として原発を持つ資格も哲学もない。 原発は一旦事故が起きればその被害は生命あるものすべて、経済、国土、さらに地球に至るまで及ぶ。使用済み燃料の処理技術がない。さらに、作業員の被曝という犠牲と差別で成り立つ仕事はこの世に存在してはいけない。 国会事故調の事故報告書において地震による原発施設の破壊の可能性が指摘されている。地質学上も、日本政府には原発ゼロと廃炉を表明し、それに向けた技術開発促進のイニシアティブを取ってもらいたい。生命と財産を守ることこそ、国の使命であるはず。
56629	個人	その他	30代	女性	原発0シナリオを選択します。	原発の即時停止・全廃炉を指示します。今後30年の間に大地震が起きないとは言い切れません。再び福島第一原発と同様の事故が起きたら日本のみならずアジアの国が死の国になってしまいます。将来の為に「トイレのないマンション」はもう辞めて下さい。
56630	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はゼロにするしか無い。	日本に原発は制御出来ない。福島の事故で世界に恥をさらし、世界中に大迷惑をかけた。核廃棄物も処理出来ない。責任を取れない事はしてはいけない。
56631	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー環境に関する選択肢に対する意見です。 「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください」 原発即刻0にしてください。 できるはずです 一部の人が得をするより大勢の人が安心出来る世の中にしてくだい。 放射能に怯えるのはもううんざりです。 自分の生活水準は豊かなままで原発やめろとは言いません。 衛生面と医療さえきちんと維持されれば豊かな生活はいりません。 こんな意見を送っても何の意味もないかもしれません。 でも原発はいやです。 現状をみてやる方があほです。 こどもでもわかることを大人がやらないなんであり得ないです。 宜しくお願い致します。
56632	個人	自営業	40代	男性	放射性廃棄物	未来の日本人に残してはならない物は、借金ではなく放射性廃棄物だと思います。 処分方法、処分場所も決定していないのは、とても残念なことです。
56633	個人	その他	30代	男性	日本にある原子力発電所を無くして頂きたいです。	放射能を浴びたくないです。 今後、被爆する確率をゼロにしてほしいです。 普通に暮らしたいです。
56634	個人	家事専業	40代	女性	原発は必要ありません。できる限り早く原発ゼロにするべきです。すべての原発を廃炉するべきです。	福島第一原発からは今もなお放射性物質が出続けてています。放射性物質が完全に放出されなくなるまでこれから何年かかるのかも分かりません。日本中の原発が止まっても電気は十分なことは明らかです。原発依存はゼロにシフトしていくべきです。 福島の事故を見れば、今後、老朽化した日本中の原発が安全であるとは決して言えません。コストもかかるし、自然エネルギーの開発に注力すべきです。ドイツを見習いましょう。 今ある原発はすべて廃炉にするべきです。地震大国日本で、いつ次の事故が起こるか、責任、保障も何も明確になっていません。
56635	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発15パーセントシナリオを支持。同時に再生可能エネルギーの普及に向けた規制緩和と、原発40年廃炉も決めること。	15パーセントシナリオを支持します。理由は、以下のとおりです。 ・再生可能エネルギーの普及は進んだとしても、安定供給や価格の面で不安があります。したがって、再生可能エネルギーの爆発的普及が前提となっている原発0はとるべきではない。 ・特に価格が上昇しても再生可能エネルギーが必要という意見は、本当に電力価格が高騰してもその意見を主張し続けるのかは、疑問。 ・また、20～25パーセントにも反対。この場合、既存原発を40年廃炉ではなく運転期間を延長するか新規建設することが必要となりますが、これも現実的ではない。 以上の理由から15パーセントを支持しますが、同時に再生可能エネルギー普及に向けた規制緩和、技術支援などの取組と原発は40年で廃炉することを求めるものです。
56636	個人	その他	40代	女性	原発比率ゼロ(即刻)シナリオを支持します。 2030年までに原発比率0%ではなく、即時原発ゼロシナリオを支持します。	原子力発電は、持続可能なエネルギーではありません。 限りある地下資源に頼るエネルギー政策は賢明ではありません。 福島第一原発1～4号機が廃炉されたことで、日本の原発は50基、その原発を予定通り40年で廃止していくと、2030年に柏崎の2基の原発が廃止され、2030年以降に残るのは18基だけになります。それは発電施設全体に対してわずか8%、発電量にして11.75%を占めるにすぎません。これは原発比率「15%」にも、「20～25%」にも達しません。政府は、原発を増設も新設もしないと公言していています。これらのシナリオは、現状維持ですらない原発推進プランです。核廃棄物の最終処分方法も場所も決まっていません。(再処理リサイクルはできていません。税金の無駄使いです)最新の科学技術を持っても、原子力をコントロールすることは、今の人類にはできません。福島第一の事故はまだ収束していません。世界中の有識者が廃棄物のつまった4号機を心配しています。福島第一原発事故は、日本だけの問題ではなく地球規模の問題です。戦争や権力争いをしているような人類には、到底原子力エネルギーを扱うことはできません。このまま続ければ、人類は地球上で存続することができなくなってしまいます。人類が地球上に存続し続けることができるとしても核廃棄物は、今後何万年も監視管理し続けなければなりません。環境負荷の少ない世界で最も尊敬されるエネルギー政策を打ち出して下さい。早く送電線分離政策を進め、電気事業を自由化して下さい。今回のゼロシナリオでは、地下資源への依存も高く、省エネ率も低く再生可能エネルギーの見込みも低すぎます。省エネルギーと再生可能エネルギーを最大限に導入する原発ゼロシナリオが必要です。
56637	個人	無職	30代	男性	直ちに、原発依存ゼロ。つまり大井原発を今すぐに止めてほしい。	なぜ上記が理由かはいくつかの理由があるので、下記に箇条書きで記します。 1、経済優先ではなく、私たちの命、健康を優先して頂きたいからである。 2、地震がこれだけ多い国で原子炉を動かすのは妥当ではない。 3、IAEAのストレステストすら、すべてクリアしていないのに、再稼動したのは妥当ではない。つまり経済優先は妥当ではない。 4、内閣府の放射線の安全基準があまりにも理不尽だからだ。つまり、ICRPが言っているような100ミリシーベルト以下の被曝では、発ガンや健康被害が認められていないという事に賛同していること。更には、内部被曝と外部被曝の健康影響が同等と考えていること。つまり、あなた方はウランでもプルトニウムでも、セシウムでも99ミリシーベルトの内部被曝は健康影響は出ていないということを言っているわけであり、この様な状態では到底原発を動かすことは容認できない。もし、原発をこれから日本で動かしたいなら、野田総理、経産省(安全委員会と保安院)、プラントメーカー、東京電力役員や他の電力会社役員の全員が99ミリシーベルト内部被曝して大丈夫だと立証しない限り、倫理的に再稼動は許せるものではない。 5、10万年も管理をしなければならない核のゴミをこれ以上増やすのは妥当ではない。第一日本の様な火山地帯に保管できる場所など確保も出来ていないのに原発事業をやることは妥当ではない。フィンランドのアンカロの処分場の様なものが確保できない、日本では絶対にやるべきではない事業である。 6、原発の事故が起きたときに、国民に嘘をつくような政府に原発を動かす資格は一切無し。原発事故時にレベル7の最悪の規模の事故だということを保安院が隠した事。さらにもっと酷いことには、文科省がスピーディのデータをあろうことか米軍に渡し、公表しなかったせいで約10万人の福島県民が高濃度汚染地区に誤って非難してしまったことを考えると、また仮に今回の様な原発事故が起きたときに同じような嘘を政府に流される可能性が否定はできないので、原発依存は絶対的にゼロにしなくてはならない。 7、野田首相の原発事故収束宣言について。ああいった嘘を公然といわれてしまいますと原発事故の過小評価の印象を少なからず受ける人がいます。被災地の福島の立場を考えるとあの発言が適切でないことが分かります。様は、被災地は見捨てられたと感じる人はいるのではないでしょうか。 未だに毎時1000万ベクレルの放射線を福島第一からでているのに、なぜ事故収束宣言といえるのでしょうか。しかも、首相は冷温停止宣言までしています。冷温停止の定義が間違っているのにも関わらずこの様な発言をしたのは許されるわけがない。国民の立場を理解していない政府に原発を使う資格なし。 8、年間の放射線被曝量を20ミリシーベルトにあげてしまったこと。これは年間この値以下なら国民が死んでも、健康被害がおきても国は補償をしないといっているようにしか思えません。この様な状況下でまた原発事故が起きたときに政府は年間被曝線量を40ミリシーベルトにあげるのでしょうか。こういった危惧がまとわりついた中では原発をいますぐにでも容認できない。 9、高速増殖炉もんじゅについて、プルトニウムの燃料棒を生成している工場で福島第一規模の原発事故になったときに、人が本当に暮らせなくなります。あなた方の見解ですと、プルトニウムで、99ミリシーベルト内部被曝しても平気なようですが、その様な見解では原発容認は到底無理です。 恐らく、これを読んで、そんなことはいっていないと思うでしょうが、内閣府のホームページに福島原発の事故に対する見解として、100ミリ以下なら内部被曝も外部被曝も同等と考えると書いてありますのし、どの放射物質かは特に言及されていなかったように見えます。これをあなた方が撤回しない限り、私の考えは絶対に変わりません。ですから原発依存いまからゼロです。 10、福島市をはじめに、高線量のところに住んでいる人達に疎開の選択すらさせない様な政府では、原発容認は到底無理です。 11、原発事故前は原発から出たゴミはセシウム137では100BQ/KG以上は放射性廃棄物だったのに対し(今でもそうであるが)、今は8，000BQ/KG以上が特措法上普通のゴミ扱い。これは環境省が健康被害を考慮したうえで、作った法律のようだが、作った当本人達の家の庭にこれだけの線量の土をもってこれない。こういった無責任な状況下では原発事業は今後一切容認できない。 12、火力発電に今は頼って発電し、今後自然エネルギーに転換すればいいと思います。これの方が、国民の同意が多く得られるはずです。今後自然エネルギーを急ピッチで進められるように企業と協力して自然エネルギーを作っていくのが妥当である。期限は2030年までに20%増やし、40年までに、あと10%増やすべきである。

56638	個人	その他	50代	男性	ゼロシナリオを支持 原子力は地震国日本に向かない 政府の省エネ試算は少なすぎる 産業構造の変化でエネルギー消費は政府試算より減る 再生可能エネルギーを推進しエネルギー安全保障に備えるべき	ゼロシナリオを支持します。 理由は 原子力発電について 1. 原子力発電は地震の多発地帯である日本には不適切な発電方式であること。 2. まだ津波だけでシステムが暴走したか明らかになっていない。 3. 我が国の環境アセスメントは、開発ありきで情報の非対称性の中で行われてい 　ており審査の内容は信頼できるものではない。 4. 全電源喪失だけに力点を置いた対策だけで原子力発電所の安全性を担保出来な 　い。 5. 使用済み核燃料をこれ以上増やすことには反対である。 省エネについて 家庭の省エネは30%くらいはすぐにできた。 少しばかりの我慢で50%は出来る。 機器の省エネ化と、ダウンサイジングで70%減らすことは出来る。 経済成長とエネルギー消費について 2030年に就労人口が1000万人減るので経済成長は政府のシナリオ通りに増えるとは思えない。(現状よりマイナスかゼロ) また産業構造も変わるので、産業で必要なエネルギーも政府試算よりも減少する。 再生可能エネルギーについて 太陽光、風力、地熱、水力波力などほとんどのものは燃料費が掛からないので、ピークオイルに備えて原子力の始末以外の財源は全てこちらにそそぎ込み、安全保障に備えて欲しい。
56639	個人	自営業	40代	女性	日本国内のすべての原発は出来るだけ早く廃止していかなければならない。という意味でゼロシナリオ。しかし、これから18年間もかけて、国全体での省エネ比率22%は低すぎる。	福祉までの原発事故原因は人災と矮小化されているが、完全にシステムの欠陥。同様の破綻は他の原発でいつ起きてもおかしくない。日本のような地震の巣で、人間の科学と技術力で原子力を制御する事はできないと思う。 特に現政権が、何の根拠もなく大飯原発を再稼働させたことを見ても、今後の安全対策には何の期待も持てない。 今回の事故の被害も全容は全く見えていないというのに、それと経済効率を天秤にかける事は不可能だ。今度同じことが起きたら、日本は終わるでしょう。それは絶対に避けたい。今から国として廃炉の方針を立て、技術開発をしなければ、いつまでたっても国民はその脅威に晒されたままだ。 省エネについては、地域によって意識の差がまだ大きい。ムラがある。それだけ、まだエネルギーを節約できる余地が残っている。まずは政府がはっきりした数字を示し、国民全体のコンセンサスを取る事が必要だと思う。
56640	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力による電力発電は、大きなリスクを伴うという事が昨年3月11日の震災により改めて明確になった以上、原子力発電を日本で行う事は無理です。ゼロシナリオを即進めて頂くよう希望します。	福島での原子力発電施設での人災は大きな犠牲を伴いました。 私が幼少期にお世話になった福島相馬の牧場も廃墟を余儀なくされました。 原子力発電所にて、今回のような大きな事故が発生すればそこで活動していく 事はとても難しいのです。その事が、改めて明確になった今回の震災および人災。 一刻も早く、原子力発電に依存したエネルギー政策を再生可能エネルギーへ転換する必要があるものと私は考えます。 子供たちの未来のためにも、今すぐに着手して明確なエネルギー政策を打ち出す必要があります。15シナリオ、20-25シナリオは考える事ができません。0シナリオを前提とした迅速な対応が今日本の政府には求められていると私は考えます。 0シナリオに記載の「2030 年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする」も私個人の考えとしては遅すぎるのではないかとも考えます。迅速な対応を日本政府には求めます。
56641	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオ、2030年廃炉を支持 3つの選択肢しかないため消極的支持。30年廃炉では遅い。2012年8月現在関電管内では原発ゼロで計画停電しなくても電力供給されている。原発稼働の説得力はない。	原発稼働に関して、その燃料源であるウラン採掘が始まる時点からすでに人権無視、人命軽視が行われている。確信犯的に経済的弱者、学力弱者(文盲など)を利用し、安全、保障無視で採掘、加工、発電、定期点検、廃棄処理までが行われている。 現時点では核物質、放射性物質を無害に処理できる完全な技術方法は存在しない。また、一度大規模な事故が起これば、人間の能力では制御できず拡散された放射性物質を除染することは不可能で、あくまで移染させることしかできず排出された総量は減る事はないという事は福島第一原発であきらかになった。 しかも、その責任をいまだ誰も取らず、適時正確な情報提供もなく政府、東電、マスコミは信頼するに値しない。国民を疑心暗鬼に陥らせ、不安をあおり、十分な情報提供や的確な非難指示も出せないことも原発事故によりはっきりとした。 事故が起きればコントロールが難しく、また誰も責任を取らないような原発稼働は即刻辞めるべきだ。 雇用に関しては、即時廃炉にしても数十年間、廃炉作業にかかわる人間は必要なのだから雇用問題は仕事内容の置き換えが起きるだけで、大規模な人員整理にはならないと考える。また、雇用に関しては二次受け孫請けなど何次にも連なる外注雇用形態を即刻改め、東電社員と下請けとの雇用格差を無くし、給与、福利厚生、安全保障を確実に行うべきである。 経済的には、東電独占をやめ電力発電、送電の自由化を進め、競争原理を適用することにより、技術開発、電力の増産、安価な電気料金が可能になると考える。 ウランの埋蔵量は、石油、石炭ほかの資源エネルギーより少ない。原発を稼働させられる期間は限られているのに、危険なごみしか出さない原発は一部の人間を利するのみで、ほとんどの人間、動物、地球環境には益がない。 他に代替案としては基本的に、東工大牧野教授の案に賛成である。 以下、牧野教授のブログから引用する。 引用開始 1. 原子力発電所自体は即時全廃する 2. 発電能力の不足は、当面天然ガス発電所の新設や増強で補う 3. この新設・増強は、電力会社以外の会社も参入できる形で進める 4. 超長期的には再生可能エネルギーに移行する 天然ガス発電所のメリットは色々あります。まず、建設費が安いことです。川崎天然ガス発電所の建設費は 84万キロワットに対して 500億円といわれて おり、原発の 1/10 以下です。仮に原発全廃で不足する電力を補うため、1000万キロワット程度新設したとしても1兆円以下ですみ、この費用は原発を止めたことによる燃料費の増加といわれてい る年間2兆円より小さいものです。 次は、燃料費も安いことです。現在は特に夏に原発停止による不足分を旧式の 重油火力で補っています。重油が高く、また旧式の火力は熱効率も40%程度と低 いために、これはかなりの高コストになります。新しい天然ガス火力は60%近い 熟効率を持ち、また天然ガスの熱量当りの価格は重油の 1/2 程度であるため、 発電コストは 1/3 程度です。国家戦略室の見積もりでは天然ガスと原子力発電 はほぼ同じコストとなっていますが、今のところどういうわけか国内の電力会 社は国際水準よりかなり高い値段で天然ガスを買っていて、その値段での見積 もりになっているのであまり適切な比較ではありません。値段については、建設費もどうも電力会社の持つ天然ガス発電所は妙に高い、という問題もあります。計算上は発電所の建設や運用を別の会社がするだけで 安くなるわけです。 熱効率が良いことはCO2 発生も少ないことを意味します。もともと天然ガスは 石炭や石油に比べて発熱量当りのCO2 発生量が少ないことと合わせて、温暖化 防止にもそれなりの効果があることになります。 長期的には資源量に限界がある天然ガスを使い続けることはできないの ではないかという問題はありますが、少なくとも軽水炉のような形態で(高速増 殖炉によるプルトニウムへの変換なしで)ウランを利用するなら、その資源量は 天然ガスや石炭より何桁も少ないわけで、ウランに対しては天然ガスは長期的にも有効な代替になっています。 引用終わり
56642	個人	会社員・公務員	40代	男性	『?選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択しますが、即刻廃炉すべきです。』	『?選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択 しますが、即刻廃炉すべきです。』 日本は地震が世界で最も多い地域です。当然津波も。「想定外」では ありません。近年では4000ガルというような常識を超えるレベルになって います。耐え得る構造物はありません。 地震の少ない欧州のような段階的廃炉の選択肢はあり得ません。 また原発のコストの高さはすでに「原子力のコスト(岩波新書)」などで 立証されています。 経済性や国際競争力からは原発を選択することはできません。 そもそもGDP成長率がエネルギー消費量を考える元になっていますが、 ドイツではGDP成長率とGHG(温室効果ガス)排出量は反比例しています。 GDP成長率はエネルギー消費量を減らせます。 省エネや自然エネルギーに対しても、「経済的負担が大きくなる」と していますが、わずか数年の電気料金で取り戻せるのに、なぜ「負担が 大きい」のでしょうか。イニシャルコストだけで、ランニングコストを 考えていないように見えます。 電源構成はピーク瞬時の電気需要に対して構成されます。したがって ピーク瞬時の需要を下げれば足りるのに、年間電力消費量で考えられて いるようです。 八幡東区で「新日鉄」などがやっているように、ピーク時の料金を 10倍まで高くする仕組みを入れれば、ピークの消費を下げられます。 電源構成は瞬時の対応ですからその点から考え直すべきです。 以上により、原発に依存する必然性はなく、逆に動かすことのリスクは 限りなく高いため、即時のゼロシナリオを求めます。??
56643	個人	家事専業	40代	女性	できるだけ早い時期に原発はゼロにするべきだとおもいます。	広島・長崎に2度原爆が投下されて、やっと終戦を決断したように、また日本のどこかで福島のような事故がおこらなければ日本人は気が付かないのでしょうか？同じ過ちを繰り返さないためにも、また将来に負の遺産を残さないためにも、できるだけ早く原発はゼロにするべきだと思います。 原子力発電をしないとコストがかかって電気代があがるとか、電気が足りないとか経済が成り立たなくなる…とかおどしのような情報も流れますが、目先のことだけ考えてはいけないと思います。また事故がおきれば経済の問題でなく、国自体が立ち行かなくなるのではないでしょうか？ 電力供給の方法（発送電分離）を早急にかえ、再生可能エネルギーがもっと普及する土台をつくったり、太陽光発電や蓄電池の技術の向上・普及にお金をかけてほしいです。国のスピードは遅いです。 大飯原発を再稼働したとき、総理は「私が責任をとる」といわれました。 事故がおきたら、いったいどんな責任をとってくれるのでしょうか？ 福島の事故についても、まだだれも責任をとっていません。 福島の事故が起きてからの政府の対応には不信感をいだきます。 もっと国民に目を向けて、子供たちに明るい希望と未来を与えてほしいと思います。
56644	個人	パート・アルバイト	20代	男性	15シナリオを推します	原発依存度を下げて行くの自体には賛成なのですが、そんな急に下げていけるものでもないと考えています。 自然エネルギー、再利用可能なエネルギーというのは安定したエネルギーの供給にはなり辛いと思いますので、若干火力に頼る方向へ傾くのかなと考えます。 二酸化炭素排出に関してはメタンハイドレートや天然ガスなど比較的二酸化炭素が出にくい燃料を多用し、自然エネルギーで補えない範囲(不安定な供給なので供給量の触れ幅が大きいはずなので)をカバーすることを中心にして、化石燃料を用いるべきと考えます。 火力のエネルギー効率はかなり発展しているはずですので、あとは燃料の開発くらいしかないと思いますが、それでも火力のエネルギー効率は上がると思います。その火力の上がった効率分と、自然エネルギーの発展を踏まえて考えても、原子力への依存度は15%程度はやはり頼らざるを得ないのではないかと思います。 経済成長する事によって自然増するエネルギー需要を、再利用可能なエネルギーでどれだけ賄えるか。ここが課題と考えます。 個人的には、ダムを作って水力による発電が、比較的安定した供給の出来る発電と考えていますのでここを伸ばして行くのも良いかと思います。
56645	個人	その他	50代	男性	原発の即時停止	地震と活断層の数からすれば、日本で原発を稼働させておくのは危険きわまりない。また、チェルノブイリという名前がいかに悪いイメージを持ったかを考えれば、日本の生産物が今後どれだけ悪評を得るか。経済的マイナス効果は大きい。
56646	個人	会社員・公務員	40代	男性	核廃棄物の処理方法が長期保管以外に開発されない限り、核エネルギーを使うべきではない。未来への負債を減らすにはー刻も早く原子炉を廃止するしかない。	核廃棄物の処理方法が長期保管以外に開発されない限り、核エネルギーを使うべきではない。未来への負債を減らすにはー刻も早く原子炉を廃止するしかない。 経済効果などから必要だと言う意見もあるが、廃棄物処理のコストを考えればとてつもないコストがかかるのが原子力エネルギーであると考えている。
56647	法人・団体等	会社員・公務員	50代	男性	原発は即時停止そて廃炉にすべき。	核武装が目的なのか？電力会社の経営のためなのか？経済の及ぼす影響が大きいからなのか？ まあどれにしても本当の理由が一切国民に説明しないにが問題である。もうばれているのだから 今更隠す必要は無いのに隠そうとしているのが滑稽である。電力が足りているのは既に判っている。 理由を明確にしても原発が安全などとは言えるはずもなく危険極まりない物である事には変わりは無く再稼動はすべきではない。こんな事はわかりきっている。 全部ばれてるのに何故隠すのか？誠に滑稽である。
56648	個人	その他	30代	男性	将来的な原発比率の0%を目標とした長期的エネルギー政策を今こそ	事故を起こした場合、その土地を半永久的に人間の住める場所でなくしてしまう原子力発電所。事故が起きなかった場合も放射性廃棄物の処理は人間の科学技術では処理しきれない原子力発電。「今」だけを見据えるのではなく、日本という国の「今後」を考えたとき、原発設置自治体の財政を原発依存にしてしまうことも含め、場当たり的解決といってもいい原発頼みの考え方からの脱却を図らなければならないと考えるから。

56649	個人	会社員・公務員	30代	女性		原発ゼロには反対です。もちろん新エネルギー開発は必要ですが、資源の少ない日本が原発ゼロにしたら、電気代が上がり、工場は海外に逃げ、雇用が減り不況になります。経済も落ち込み日本の技術レベルも下がってしまうと思います。国際社会で日本は戦えなくなってしまいます。今は、原発ゼロにするのではなく、原発の安全性を高めるのが重要だと思います。それは日本の技術力では可能なことだと思います。 政治家の方々はよく「国民の信を問う」といいますが、それは政治家として間違っていると思います。国民はどうしても、目先の事、楽な事を選択してしまいます。しかしそれを正しい方向に持っていくのが政治家の役目ではないでしょうか。ただ単に国民の意見を聞いて国民の言うとおりに政治をするのは政治家とは言えないと思います。人気取りではなく、明るい日本の未来の為に政治家の方には頑張って頂きたいです。
56650	個人	無職	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。	いったん事故が起こると、国も電力会社も被害者を見殺しにすることが分かりました。責任のとれない政策はやめてください。「原発の即時廃止」をお願いします。 日本の技術力なら、もっと効率の良い安全な発電設備を開発できるはずです。すでに行き詰まった古い技術に、いつまでもしがみついていては、なにも発展しません。核燃料サイクルも実現不可能なのに、そんな夢物語に膨大な予算を割けるほど、今の日本は余裕があるのでしょうか。 福島原発の後始末で、なんとしてでも原発を止めようと頑張った作業員の方々は、とっくに年間被曝量を使い切ってしまいました。次に事故があったとき、誰が止めに行くのでしょうか。福島原発でさえ、作業員不足で困っていると聞きます。これ以上再稼働を行っては、事故を起こしたとき後始末もできません。やった者勝ちで、あとのことは知ったことでは無いといった、恥知らずで無責任な行為を、国を挙げて行わないでください。
56651	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します！	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します！ 原子力発電は、 (1)ウランを掘る時に地元に被害が出る。 (2)原子力発電所を正常に動かしている時でさえ、立地周辺に少しずつ放射能が出て健康被害が出る。 (3)発電所の作業員が被ばくして健康被害が出る。 (4)燃えカスの管理に10万年も掛かり、事実上安全に出来るか未知数。 と、思惑よりマイナス面が多すぎます。 今は、自然エネルギーの技術も大変進んでいるので、代替えになるはずです。 R水素エネルギー技術についても進めて下さい。 このような状況で原子力発電を動かたいと思うがいれば、その人に何か利権があることは見え見えです。 原子力は利権などない人間にとっては100%害しかないのですから。 ・再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。 ・もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 ・もっと自然エネルギーを推進してください。 ・既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。再処理の廃止を決めてください。 ・発送電分離によって、電力自由化し買う電気を選べるようにして下さい。
56652	個人	無職	60代	男性	現在稼働中の大飯原発を即刻停止する。現在稼働停止中の原子炉は再稼働を行わず廃炉にする。高速増殖炉「もんじゅ」は「ふげんゞ」同様廃炉にする。福島原発の収束処理および使用済み核燃料の処理に全力で取り組む。	今夏、原発がなくても、困らないことが証明された。福島で、原子炉が暴走すれば制御不能に陥ることが示された。何十万人の人々が放浪の民や、放射能障害に怯えることになった。福島原発はかろうじて、大爆発に至らず、今小康状態を保っているようであるが、いつ暴れだすかも分からず、4号器の冷却池が更なる地震で破壊されれば、首都圏まで壊滅状態になる。このように、原子力発電はどうしようもない技術であることが、明々白々になったというのに、原子力になぜすがるかといえば、原子力の関係者が政界に、財界に、官僚界に、報道界に、学会にいて、編みの目のように、人脈をつくり、利権構造を築いているためである。原子力発電の研究や技術で輝かしい成果を上げた研究者技術者が、実は無駄どころか悪魔の所業であったと認めることは大変苦しいことである。住民をあらゆる手段で説得して、一生を原発建設にかけてしまった電力会社の社員、国策のもと、原発安全神話の普及に努めてしまった官僚達、自分のしたことを、反省しないどころか、仲間を守るために、きゃうきゃうとしているどころか、毒を喰らえば皿までもと国民を地獄まで連れて行きそうな状態が、政界、経済界、学会、報道界にみられる。これを阻止するには、全原子炉の廃炉シナリオを確立して、すべて廃炉にするんだをモチベーションにして、安全な国にしていく必要がある。
56653	個人	家事専業	40代	女性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要。 政府は経済再生と経済復興というけれど、 毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。 放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。 求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。
56654	個人	パート・アルバイト	30代	女性	脱原発の道をすすんでほしい	原子力の平和利用のために、どれほどの知力と労力が使われ、途方もない額のお金が使われ、巨大な施設が作られてきた歴史からすると、「脱原発」の道へ方向転換するのは、かなりの覚悟と勇気を必要とすることでしょう。それでも今、勇気ある撤退をするべきだと思います。「今後は安全な原発を」というのは所詮「平和利用を」というのと同じ、確実なことは誰もわからない夢の展望です。一旦事故が起これば、直接被害にあうだけではおさまらない、日本中・世界中に有形無形の影響をもたらすことが避けられない原発を、この国で維持していくのは非常にリスクが高いと思います。経済の停滞が…電力不足が…という問題とは、そもそも次元が違うのです。日本の技術力を脱原発の方向へ100%そそげば、原発の悪恵以上のものは必ずつくれるはずです。
56655	個人	その他	40代	男性	原発即時廃炉	原子力発電所の即時全廃を望みます。 福島第一はまだ終息していません。 核廃棄物の処理方法も確立していませんし。 原子力に未来はありません。
56656	個人	その他	40代	男性	原発の国家政策的優遇を止めるべき。その結果原発がコスト的に優位でないのが明らかになり、2030年を待たずに経済的に淘汰され依存度は0になるだろう。	2011年3月の福島第一原発の事故で我々が学んだのは、事故の発生確率のそれまでの見積もりが低過ぎたこと、またいざ事故が起こったときの事前対策が不十分であったこと、だと思います。 我々が今後の原発との付き合う際に、「事故は絶対に起こさない」ではなく、「事故は起きることは前提で、事故をなるべく起こさない工夫・努力は勿論のこと、事故が起こった場合の対策を何重にもしておく」という意識改革が必要だと思います。 その意識改革は原発のコストの認識についても変更を余儀なくさせるでしょう。これまで想定外としてきた事態への対策をすることで原発のコストはかなり上がると思います。また、今回の福島第一原発事故で事故が起こった場合の補償等の諸費用のオーダーは掴めた訳で、仮に2030年まで原発を動かすとしたら、それまでにもう一度は福島第一原発規模の事故が起こると想定してその補償金を原発の費用に繰込んでおく必要があるでしょう。そして、原発停止後の廃炉と数千年または数万年単位で続く放射性廃棄物の管理事業について、その基礎基金も費用に繰込んで積み立てておく必要もあるでしょう。そうするとこれまで言われてきた原発のコスト的メリットは殆ど減じられてしまうのではないかと思います。 更に、これまで使用済み燃料の再処理技術・高速増殖炉の開発に莫大な予算を投じてきました。しかも、未だにそれらの技術は確立の見通しがたっていないようです。この開発費用も原発の長期維持に必要な訳で、国家政策的なバックアップがなければこれも本来原発のコストに組み込まれるべきものでしょう。 今後原発の国家政策的優遇を止めるべきと考えます。その結果原発のコスト的優位性はなくなり、2030年を待たず経済的に淘汰されてしまうと思います。原発推進のために使ってきた予算の大部分を、太陽光発電等の再生可能エネルギー開発にまわすべきと考えます。
56657	個人	会社員・公務員	50代	男性	太陽光、風力、地熱、バイオマスなど、様々な自然エネルギーを拡大し、原発への依存を0%にすべきと考えます。	安全対策を最大・最善に行なっても、原発事故を100%と防ぐことができないことが、この福島の事故で明らかになりました。いくら原子力に関する知識や技術が優れていても、事故を未然に防ぎ、最小化する力が日本にはありません。近視眼的な統治能力や失敗に学ぶことをしない姿勢が物語っています。豊かさや便利さが人間の尊厳を保証しないことは、バブル崩壊後の経済成長への犠牲や3万人もの自殺者が10年も続くなど、自壊社会ともいえるこの20年間をきちんと分析する必要はあります。エネルギーの安定供給と経済成長、豊かな生活はこれから目指す社会ではないと考えます。大きな転換をいまこそ決断すべきです。広島・長崎・福島という被爆国としての日本が世界から尊敬をもって迎えうえる原発ゼロへの決断を今すべきと考えます。
56658	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。	脱原発に向けて、原子力発電所の再稼動を止めて、自然エネルギーの増長をはかるよう、国民の知恵と力を集めることが必須と考えます。
56659	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はなくすべき	原発のコスト計算はおかしい、交付金や廃棄物処理費が入ってない 原発はリスクでしかない 日本の未来を考えてほしい
56660	個人	その他	50代	男性	2030年時点のエネルギー選択肢で言えば原子力0%を指示します。 しかし、2030年まで脱原発を待つ必要もありません。 発電用エネルギー源の手当が付けば、もっと可能な限り速く脱原発すべきです。	原子力発電は事故時の危険性もさる事ながら、長期的にはまったく不経済な発電方法です。使用済み核燃料の処理、処分方法はまったく目処が立っていません。 さらに高速増殖炉と再処理工場を中心とした核燃料サイクルは実用化の見通しがまったく立たず、目標期限はズルズル先延ばしされています。 さらに、たとえ実用化できたとしても、発電方法としては高コスト過ぎて成り立ちません。 なのに、なぜ核燃料サイクルに固執するのか？ それは使用済み核燃料、高レベル放射性廃棄物の最終処分を先送りできるからに過ぎません。 さらに本来は高レベルの放射性ゴミである、使用済み燃料棒を資産計上できるからでしょう。 このように原子力発電の経済性(安さ)は短期的かつ見かけだけのものに過ぎません。 サンクコストの問題は確かにありますが、いい加減損切りすべき時です。 さもなければ、日本経済は原子力発電と心中するでしょう。
56661	個人	自営業	30代	男性	原発依存度0%の社会を構築するべきである。 脱原発は産業構造をかえるチャンスととらえ、今まで原発立地や維持のための資金を既存の産業構造を変化させるために使うべきである。	今後の日本におけるエネルギーとして原発は不要であると考えます。 現状において人類が核のエネルギーを制御しきれないことが東日本大震災により明らかとなり、今なお放射性物質の影響で故郷を離れて生活しなければならない人たちが大勢いる現状において、今後もこのような事故が起こりうる可能性のある技術をそのまま利用して行くべきではない。 また、使用済み燃料棒など高濃度放射性物質の最終処理も決まらないまま、その核のゴミを増やし続けることは将来世代へ無責任すぎると考える。 以上の点から原子力発電は廃止していき、2030年では原発依存度0の社会を構築するべきである。 そのためには、既存の産業だけでなく、省エネ社会へむけた産業の育成や、自然エネルギー、火力発電などの、エネルギー効率をより高めるための技術革新への投資がより必要であると考える。 一方、既存の原発に関しては廃炉にすることに数十年の歳月が必要であるようだから、廃炉を進めていくうちに原発立地地域の産業構造を変化させて原発に依存しない社会を作るように日本社会全体取り組むべきであると考える。
56662	個人	自営業	40代	男性	放射性廃棄物	未来の日本人に残してはならない物は、借金ではなく放射性廃棄物だと思います。 処分方法、処分場所も決定していないのは、とても残念なことです。
56663	個人	会社員・公務員	30代	男性	即時撤廃。今回のように一度事故を起こしたら何年も家に帰れないような施設は必要ないと考えます。	事故の及ぼす影響は、被災地のみに止まらず、世界規模の汚染です。最終処理方法も確立されていないのに、発電コストが安いという理論も理解できません。今回の事故で人が亡くなっていないといった話も、今まで避難を強いられている方々に向かって言えるものではないでしょう。代替エネルギーや技術に原発開発分のコストを回して行くべきだと考えます。原発は即時撤廃すべきです。
56664	個人	家事専業	30代	女性	事故原因も利然とせず、収束の見通しも立たず、原発の安全性も何ら担保されていない現状を鑑み、私は(1)ゼロシナリオ、(2)15シナリオ、(3)20～25シナリオではなく「全ての原発の即時停止、廃炉」を求めます。	広島・長崎に原爆投下された被爆国日本に、いつの間にか、安全神話と共になし崩し的に原発が建設され、この狭い日本列島に、50基以上の原発があります。 3.11の人災と言える福島原発の大事故が収束していなくて、まだ先行き不透明の中、強行的に大飯原発が再稼動されてしまいました。 事故原因も判然とせず、大飯では活断層の存在も疑われているのに、野田首相が「事故を防止できる体制は整っている」と力んでも、真に受け取る人がどれほどいるのでしょうか。 再稼働にいたるプロセスをみれば、「原発を稼動しなくては、電力が足りない」という電力会社と政府の半ば脅しともとれるスローガンで、最初から答えありきの大飯原発の再稼働といえます。 「電気が足りなくなる」という説明にも疑問の目を向けざるを得ません。足りない、足りないといいながら、昨冬も二の夏も余裕があるのではないでしょうか。 しかも、再稼働の直後には経費のかかる火力発電をストップさせ、関西で猛暑が続き電力の需要が増えても関西電力から電力が安定供給されている現実をみると、国民には真実は知らされていないと感じてしまいます。再稼働の本当の理由は電力会社の経営を守るためではないのかと、多くの国民は疑惑の目を向けています。 このまま、事故原因もハッキリせず、安全性も何ら担保されずに、次々に原発を再稼働して、また事故が起きて、再度多数の被害者が出て、人が住めなくなる土地が増えるリスクと、電力が足りなくて経済や生活の多少の問題が起こるリスクとどちらが重要なのでしょうか！？ 3.11以降、世界の潮流は脱原発に向かっています。毎週金曜日に官邸周辺で繰り返される「脱原発」を求める市民グループの声は届かないのでしょうか？！ 政府は、これ以上国民と日本の国土を危険にさらす選択をして、未来に損視を残さないと誰が確約してくれるのでしょうか！？ 健康な国民あっての、安全に暮らす国土があっての国家であるのに、日本政府の対応は本末転倒していると言わざるを得ません！ 3.11による福島原発の事故、これは天災ではなく、電力会社や政府による人災であると断じることができます。しかも、メルトダウンの事実も、放射性物質の飛散情報もすぐに公表しなかった政府と、そんな政府の情報をもとに報道するメディアともはや信用できないと多くの国民が感じています。 以上の理由から私は「(1)ゼロシナリオ」、「(2)15シナリオ」、「(3)20～25シナリオ」ではなく、第四のシナリオ、「全ての原発の即時停止、廃炉」を求めます。
56665	個人	自営業	40代	男性	確実な安全性の確保、将来への負の遺産の継承を考えた場合、原発依存ゼロシナリオを支持致します。	短期間での確実な放射能除去が出来ない以上、地震国日本に於いて危険きわまりない原子力発電所は閉鎖し、多くの可能性を持つ、自然エネルギーまたはバイオマスエネルギーに移行すべきと考えております。 他国に於いても自然エネルギーに移行又は移行しつつある国がある中で、原発被災国である日本は、世界にむけたグリーンエネルギー先進国になるべきです。 産業活動の為のエネルギーは、積極的な新たな技術を投入し、省エネルギーを促進させるとともに、生活の為のエネルギーは、ライフサイクルエネルギーに考慮し、生産から破棄や再利用に至るまでの範囲も含め、住まいの在り方や生活の在り方を森とのかかわり合いを持ちながら循環する生活を実践していた、先人の知恵に学ぶ事も大切であると考えております。 居住環境に於いては、都市全体を快適を得る為の緑化を促進させ、都市全体の気温を下げ、冷房の為の電気エネルギーを極力使用しない環境整備を行います。冬場の日射は取り込み易い様に、敷地環境に余裕を持たせた政策が土地政策として有効になると考えられます。空き家率の増加している市街地に関しては、防災とも有効であると考えられます。 各住戸には、環境負荷や人体負荷の少ない素材を使用する事により、機会換気等の無駄なエネルギーも押え、又は長期間使用出来ることによる破棄エネルギーの減少、或は保守する為の技術の継承など計り知れない恩恵を得られる筈です。 また、街で見かける無駄なエネルギーを削減する手身近な方法としては、大量の自動販売機の撤去や深夜まで営業するコンビニエンスストアをはじめとする店舗類の営業時間を短縮するなど営業当初の営業スタイルに戻す事なども考えられます。身近にある様々な事象を捉え、低エネルギーでの生活や産業活動を考え、実践する事がまずは必要ではないでしょうか。 短期的にはco2を発生させず、コストもかからない原発ではありますが、危険と隣り合わせ、そして、事故が起これば復旧までの途方も無い歳月と途方も無い費用がかかってしまうことや、放射性廃棄物の問題を先送りした中での現代の生活など今回の福島第一原発事故によって多くの事を考えさせられました。 取り返しのつかない事になる前に、全ての原発を廃炉にむけた政策にシフトして頂く事を望んでおります。負の遺産を子孫達に先送りにせず、我々現代人が舵取りをする時が今であると考えております。新たなる経済活動や日常生活の方針が決まれば、それに向かって確実に成長していく筈です。

56666	個人	会社員・公務員	20代	女性	現在に生きる人たちの安全と、将来の子どもたちの安全のため、直ちに全ての原子力発電所を停止し、再稼働・新設をしないシナリオを支持します。倫理的な観点から、原子力発電所の稼働を支持することはできません。	現在に生きる人たちの安全と、将来の子どもたちの安全のため、 直ちに全ての原子力発電所を停止し、再稼働・新設をしないシナリオを支持します。 1. エネルギー構造の改革に関する視点について (1)クリーンエネルギーへの重点シフトと成長の確保 ・エネルギー使用量が少なくても、幸せな生活は送れます。どうすればエネルギー使用量が少ないにも関わらず豊かに暮らせるかという議論が必要です。 ・省エネ性能の向上や暮らし方の変更により、0シナリオより省エネルギーを実現することができると思います。ただし、例えば、外部からのエネルギー使用量が少なければ、現在の評価基準で省エネ性能が劣る建物を規制する必要はありません。伝統的な暮らし方を含め、多様なエネルギー使用量が少ない暮らし方を可能にすることが大切だと思います。 ・熱が必要な場合は直接熱エネルギーを生産するというように、必要なエネルギーに応じて適切なエネルギーを供給する仕組みをつくる必要があります。その上で、再生可能エネルギーの普及を促進する必要があります。 (2)需要家主体のエネルギーシステム改革 ・国民の一人一人が、エネルギーを選択することができる仕組みが求められます。 (3)多面的なエネルギー・環境の国際貢献 ・人間活動の環境負荷低減のため、エネルギー構造の変革が重要です。 ・世界の国々の安全と、核軍縮・不拡散のため、原子力発電所の新設技術を海外に輸出するべきではありません。除染や廃炉に関しては、技術提供の支援を積極的に行ない、他の国々と協同して脱原発を実現していくべきです。 2. エネルギーの選択を行うに当たって重要となる視点について (1)原子力の安全確保と将来リスクの低減 ・原子力発電は、事故が起こらなくても、ウラン採掘の時点で被爆があります。また、通常の運転時でも作業員が被爆します。JCOの事故も忘れてはなりません。倫理的な観点から、原子力発電所の稼働を支持することはできません。倫理的な観点からのしっかりとした議論が必要です。 ・原子力発電所を稼働して放射性廃棄物を生み続け、将来の人々へ負担をかけることは避ける必要があります。 (2)エネルギー安全保障の強化 ・エネルギー安全保障の点から、燃料輸入の中東依存度を下げる必要がありますが、原子力発電の事故による混乱を考慮すると、大きな原発のメリットとはなりません。また、再生可能エネルギーの導入やエネルギー使用量の削減を進めれば、燃料の輸入量は少なくなり、不安定性はなくなります。 (3)地球温暖化問題解決への貢献 ・原子力発電のCO2排出量が少ないかどうかというのは不確実であり、また、放射能拡散の危険性や放射性廃棄物の方が問題です。 (4)コストの抑制、空洞化防止 ・原発事故の補償を考えると、原発の方が他の発電よりコストが抑制されるということはあり得ないと思います。
56667	個人	パート・アルバイト	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	原子力＝核ですから、原発＝安全ではないと思っています。 省エネの推進、太陽・風・水・火等、他エネルギーによる電力の生産を国がバックアップして欲しい。 パチンコは、娯楽だと思いますが、パチンコはギャンブルなのにカジノではなく分類されている。 パチンコを、なくせば、どれだけの電力が減らせるか？ 原発を推進した人間は、何の責任もとらず、私利私欲を肥やした事を許せない。 責任なんてとれないと思います。 健康を害しても、健康な体を返すことなど出来ないのですから。 日本は島国で、国土が広いわけではないのに、汚染された地域を見捨てたまま、再稼動するなんて、あまりにひどすぎる。 地震列島であることから、原発は向かない。 電力会社を根本的に改革しなければ、中の人間を入れ替えなければいけないと思う。 今の電力会社は、都合の悪いことは隠す体質で、独占状態の故、無茶苦茶がまかり通っていると思うのです。 電力は必要不可欠な暮らしです。 しかし、原発は、代償が大きすぎます。 福島を教訓に、ゼロにすべきだと思います。
56668	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロに向けて今すぐ行動すべきと考えます。	核廃棄物を最終的に地層処分するとしてもガラス固化体の放射能が使用前の燃料棒と同程度になるには、少なくとも100万年はかかると考えられている。そのような負の遺産を延々と生み続ける原子力に頼ることは反対です。原発ゼロに向けて今すぐ行動すべきと考えます。原子力発電と生命の共存は不可能と考えています。 福島原発の事故を未だ収束させることができていない、老朽化した原子力発電所を解体しても核のゴミとなり次世代に負の財産を延々と残していく原子力発電に反対します。 沖縄の沖縄やんばる海水揚水発電所や波力発電など自然エネルギー発電の開発～実用化を推進することが結果コストを抑えることができ、また海外に輸出できる日本の技術となり得、将来的には国家規模でプラスになると思います。 どうしても日本が原子力に拘るのなら潔く「核兵器開発能力保持」のためと言えばまだ納得できますが。 以上の理由で原子力発電は期限を決めて全て廃炉にしていくべきと考えています。
56669	個人	無職	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	昨年3月の東北大地震に伴い、前代未聞の大事故を起こした福島原発はいまだに危険な状況を脱していない上、廃炉にする目途さえ立っていないようです。家族を分断され、生活を破壊され、避難を余儀なくされた人々は、未だに、憲法で保障された安全で文化的な生活が送れずにいます。 日本列島は、いつどこで巨大地震が起きてもおかしくない状況にあります。多くの既存原発も、危険な活断層の上に建てられています。もし東北大地震のような巨大地震が起きた場合、福島の原発事故の二の舞、三の舞の事故が起きることは明らかです。 福島の事故で、原発の危険性、事故対策もなかったお粗末なマニュアルで原発を動かしている電力会社の実態が露呈しました。安全神話で住民をごまかして、危険に無防備にさらした愚かさは許されない。これ以上、我々の命と生活を脅かさないで欲しい。 また、原発の副産物、プルトニウムなどは数十万年という気の遠くなるような半減期、未来にこのような危険物質を残すことも大きな問題です。 このような危険な装置、原発は即刻停止して、代替エネルギーの開発、生活の見直しに力を注ぐべきだと思います。
56670	個人	自営業	30代	男性	大飯原発再稼働を撤回して下さい。現在再稼働していない原発についても再稼働しないで下さい。当面、火力や天然ガスによる発電をしながら再生可能エネルギーを政治的決定として本格導入をめざすべきです。	原発は、ひと度過酷事故を引き起こすと時間的空間的に限定できない被害を生み出します。このことについては、チェルノブイリ原発事故、福島第1原発事故が事実を以って物語っています。 また、原子力発電によって生まれる核廃棄物を無害化する技術が現在の人類にはありません。 風力、地熱、太陽光、潮力、など活用可能な自然エネルギーはいくつもあります。タービンを回すために処理不可能な核廃棄物を大量に生み出しながら発電するのは、破滅的でお愚かです。 以上の理由で、私は、原発からすぐにでも撤退して再生可能な自然エネルギーを活用する方向へ政府が決断することを強く要求します。
56671	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発はいりません。即時廃炉を求めます。	福島の原発事故も解決出来ていないのに、なぜ老朽化した大飯原発を再稼働させるのですか。福井県に隣接する県の住民として、断固反対です。 原発再稼働反対。もんじゅの廃炉も求めます。
56672	個人	自営業	40代	女性	1.ゼロシナリオを支持。福島の事故によりいかに原子力をコントロールする事が難しいか明らかだ。日本の技術力を駆使し再生可能エネルギー分野に注力し、その技術を輸出し経済再生をも促す方法をとるべきと思う。	世界で起きる地震の0．7%が日本で起こるという高いリスクの中で原子力を使用することは自体そもそも間違っていると思う。フクイチの事故により多く問題が露呈している事実を内閣もしっかり理解してほしい。稼働してもしなくても危険度が同じという意見もあるが、処理方法も未だ決まっていない使用済み核燃料を増やすことは問題であるから、ただちに原発はやめるべきである。電力の不足も昨年から声高にアピールするものの、ほぼ本題ないし、大飯が動くまでは原発ゼロでもなにも問題はなかった。実際今年の夏の関電の電力量も、大飯を稼働して火力を停止しており、事実原発を利用しなくてはならない理由はまったくない。 原発の停止と経済問題をからめて議論があるか、今後の日本の未来を考えても世界に誇れる技術力を伸ばし、世界のエネルギー問題のリーダーとなる道を選ぶべきであり、日本人にはそれが可能である。国をあげて再生エネルギーの技術革新を行い、世界に輸出して、日本経済強くするべきである。安全を高め、経済を活性させるべくゼロシナリオを希望します。
56673	個人	自営業	40代	女性	限りなく直ちに原発廃止・核燃料再処理中止を求める。地球温暖化防止に配慮した持続可能なメカニズムによる自然エネルギーへの転換によって東京一極集中でない生き方の選択ができる仕組構築へ国の予算を。	今、日本に暮らす私たちは、未来が見えず閉塞感に押しつぶされそうになっています。ものを持つことで心満たされてきた高度成長期とは違い、我々は今、どう生きるかをそれぞれ問われながら、日々の生活や仕事に追われています。震災による福島原発からの放射能汚染被害に対する対応、遅々として進まない震災復興、お題目だけの地方分権…政治も行政も資本主義社会も絶望的に思えます。 「2012年度版自殺対策白書」によれば、「経済状況の相対的な改善とともに、中年男性の自殺死亡率が低下しつつある一方で、近年、20代以下の若年層の自殺死亡率の上昇が見られる点が注目される。若年層においては中年層に比較して、『勤務問題』の占める割合が高いことが特徴であり、若年層の自殺死亡率が上昇していることと関係している可能性が考えられるだろう。若年失業率と20～29歳の自殺死亡率の推移を比較すると、両者は近い動きを示すことがわかる。こうしたことから、若年層における自殺死亡率の上昇は、経済状況の相対的な改善にもかかわらず、派遣社員、契約社員、パート、アルバイト等の非正規雇用の割合の増加など、若年層の雇用情勢が悪化していることも影響している可能性があるものと思われる。なお、特に20歳代以下の若者の『就職失敗』による自殺者数が平成21年を境に急増していることにも注意が必要である。」とのことです。若年層は高い失業率や非正規雇用により低い収入を余儀なくされ、それにもかかわらず若年層に対する住まいや仕事の支援は極めて薄く、未来を繋ぐ子どもや若者を大切にできない社会になってしまっています。 私たちが見いだせる未来への希望とは何か？ それは、市民一人一人が自分の住む社会に参加し、お互いの対話を通して社会を変えていく影響力を持てるという実感と経験ではないかと思います。その一つが我々が選ぶエネルギー転換のありだと思います。 我々のエネルギー利用のあり方は、暮らしのあり方そのものを映し出しています。お金のやりとりで利便性を享受するだけの都市の暮らしは、エネルギー消費を拡大させています。原発はひとたび事故が起これば、誰も責任を持てない状況で時間と空間を越え被害をもたらします。また、人類が手に負えない核廃棄物の処理を後世に渡すことは、人としての倫理に反します。地球温暖化防止に配慮した持続可能なメカニズムによる自然エネルギーへの転換によって新たな雇用を生みだし、東京一極集中でない生き方の選択ができる社会へのパラダイム転換にこそ、国の予算をつぎ込むべきと思います。
56674	個人	無職	40代	女性	原発の廃止と、自然エネルギーの促進を求めます。	福島での原発事故で多くの人が苦しんでいる現状を見ていますと、 今後は原発を廃止する方向にしていただきたいと思います。 原発に代わるエネルギー資源の供給として、 自然エネルギーへの取り組みを促進していただきたいと思います。
56675	個人	会社員・公務員	30代	男性	即刻原子力発電廃止すべき。	天災が原因とはいえあれだけの恐怖、不安を与えたのだから理由などいらない。
56676	個人	自営業	60代	女性	原子力発電によるエネルギー生産をいますぐ0%にしてほしい。	放射能の影響は数世代にわたって人体に悪影響を与え、多くの命が失われ、またさまざまな病気を発症する恐怖に怯える可能性が大であることは、1945年8月6日と9日の原爆投下、また1986年のチェルノブイリ原発事故で証明されている。また、人体のみならず、環境も汚染し、地球上のすべての命に深刻な影響を与えることも皆知ってことである。そして、これは今いきている我々だけでなく、子々孫々まで関わる問題である。 日本は地震大国であり、そこに54基もの原発があり、今後は大地震が起こる可能性が大きいことは報告されていて、地震による事故がないという確証はまったくないことは国民、周知の事実である。福島原発事故がそれを証明している。 そして、もし原発事故が起こった場合、その影響は日本国内にとどまらず、世界中に及ぶと言われている。地球は我々日本人だけのものではない。 原発に代わるエネルギーの確保は、再生可能エネルギー（風力、太陽光、地熱などによる発電）をすぐ進めて行くべきであり、それに付随して発生する金銭的負担は快く受け入れる。
56677	個人	その他	30代	女性	原子力発電0%のシナリオが良いと考えます。原子力や廃棄物を安全に扱える技術が無いためです。目先の損得ではなく長期的な視野を持ち、皆で知恵を出し合えば安全なエネルギー環境を創りだすことができると思います	原子力廃棄物を安全に処理できる技術が無く、また原子力発電所が自然災害にあったときに対応できる技術が無いのであるから、原子力発電を0%にする必要があると考えます。 短期間の視点で損得を考えていると、大きな被害を招いてしまいます。 長期的に考え、安全なエネルギー環境をつくりだすために、今から始めなくてはならないことを、先延ばしにせずにはじめていく必要があると考えます。 将来の大惨事を防ぎ、安全なエネルギー環境、安心に暮らせることを、真剣に考えていかなくてはなりません。 その時に、広い視点を持ち、みんなで意見を交換し、新しい知識を取り入れて、話し合いを続けていけば、良い方向をみんなで創っていくことができると思います。 エネルギー問題を、人まかせにせず、自分ごととして考え、行動していく必要があると思います。 エネルギー問題は大きな難しい問題ですが、どのように生きるか、幸せとは何かを、真剣に考えるきっかけとなり、また、広く人とつながり、協力していくこと、知恵を出し合う必要にせまられることは、マイナス面ばかりではなく、変化するチャンスとして、力にしていくことができると考えます。
56678	個人	自営業	30代	女性	できるだけ早く、原子力以外の発電方法で電力を賄えるように国の方向を変えてほしい。	この度の福島の大事故により、多くの地元住民が故郷を追われる悲劇を目の当たりにし、原発はもしもの場合のリスクが高すぎると思ったため。地熱や太陽光、場所を選んだ風力発電など、できるだけ危険の少ない発電方法をお願いしたい。
56679	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。原発新規建設はゼロ、建設後40年の原発は例外なく廃炉を法制化。そこに経済的な合理性の有無の議論の余地を残してはならない。政府が決断できないなら国民投票を行う法整備を。	今後10から15年をめどに原発の稼働を完全にゼロにする。 理由は原発は経済的メリットに比べて国民の生命財産を危険にさらすリスクが余りにも大きいこと。完全フェイルセイフは技術的に無理があり、一旦事故が起きた場合の被害が甚大すぎる。どんな政治家でもその責任を負うなどと言う出来もしない無意味で空疎なウソを語ってはならない。そして最大の理由は使用済み核燃料の完全管理が不可能であること。永久に高レベル放射性廃棄物をバイルアップして行くことなど正気の沙汰ではない。 100歩譲ってチェルノブイリや福島第一規模の事故は起こらないと仮定しても、運転により不可避的に発生する使用済み核燃料という高レベル放射性廃棄物は膨大な量になり、現行法で定める「地層処分」も実現の見通しすら立っていない。その最終処理が不可能なことは、この6月にアメリカでコロンビア特別区巡回控訴裁判所が米原子力規制委員会の使用済み核燃料に対する対応が連邦環境基準に違反しているとの判断を下し、それを受けて規制委員会が先日この問題が解決できるまでは原発の新規建設の認可手続きを停止すると決定した事実をみても一目了然である。因みにアメリカの使用済み核燃料は昨年時点で六万二千トンを超えている。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年何十万年もの間、管理しなければならない。その意味するところは、「原発自体が物理的にも経済的にも合理性を欠いたものである。」というのが現実であり、議論の余地がないのは明白である。

56680	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0シナリオを強く求めます。福島第一原発の事故により、有事の際の規定不可能なリスクがあることが証明されているし、使用済み核燃料の再燃料化も技術的に確立されていない現在、即刻脱原発を図るのは当然。	昨年の3.11震災に伴う福島第一原発の事故により、福島県を中心とした甚大な数の人の生活を一瞬にして奪い、未だに福島原発の事故が収束していない状況、また国や事業者からまともな賠償もされずに避難を余儀なくされている多くの方々、そういった状況がまず第一点。 また、有事がなかったとしても、使用済み核燃料（核のゴミ）の再燃料化も国内のみならず、世界的にも技術が確立されておらず、これまで創出されたこれらの核のゴミを管理するだけでも未来永劫に渡って10万年の歳月が必要だと言われている。つまり、原発を動かすことは、将来半永久的に自分たちの子孫に対して、そのような核のゴミの処理、あるいは管理を押し付ける力タチになる。 さらに、福島原発の事故により、国内の広範囲に渡り放射線の空間線量の上昇、またセシウムを含んだ土壌など通して育てられた作物、あるいは海に流れた放射能により汚染が進んだ海産物等を食べることによる内部被ばくの脅威に今の日本人は常にさらされている。また、そういった日本で作られた作物、海産物のみならず、衣服や車なども海外の方では日本からの輸入を禁止している国が数多くあるという現状。これから、日本の経済、産業はますます窮地に立たされることは間違いない。 これらの理由から、原発を動かすことは、倫理的、経済的、道徳的などの面から考えてあり得ない話であり、日本の将来のことを本当に思うのであれば、即刻脱原発に向かって舵を切るのは当然であると考える。 よって、原発0シナリオを強く求めます。
56681	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)ゼロシナリオ	人類社会として管理可能なリスクを大幅に超えるリスクを含むものが原発であり、即時にすべて廃止すべきです。 電力はすでに、原発を稼動させなくても不足していません。また、お金を出せば電気は使い放題という社会は改めなければなりません。 東海道新幹線のすべての電車が16両である必要があるのでしょうか。普通電車のほかに、急行、準急、快速…本当にそんなに電車が必要でしょうか。 電気の使い道は、企業が勝手に決めるのではなくて、社会として必要なものにだけ供給するようにするべきです。 シナリオを読むと、ゼロシナリオの場合の経済の停滞を恐れているようですが、私たちはエコノミックアニマルであることを望んでいるわけではありません。むしろ、吾唯足るを知る、ではないでしょうか。
56682	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はなくすべき	原発のコスト計算はおかしい、交付金や廃棄物処理費が入ってない 原発はリスクでしかない 日本の未来を考えてほしい
56683	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年までに原発0%に。	一度事故が起こった際に取り返しの付かない環境汚染を数十年以上にわたり引き起こすような設備は必要ない。原発の地元自治体と言うが福島の事故では東日本全般が広く汚染され、そこで暮らす人々の生活や生業に多大な害悪を及ぼしている。 これは金や保障等で補えるものではない。 また、言うまでもなく、日本に暮らしているのは人間だけではない。生態系に悪影響を及ぼして将来の世代に負の遺産を残すべきではない。 核廃棄物の安全な処理方法が確立されていないにも拘らず、既に抱えきれないほどの廃棄物が存在しているのにこれ以上運用を続けて更に核廃棄物を増やすべきではない。 "原子力の平和的利用"というお題目を掲げ、世界にこの危険な設備を輸出するのではなく、日本の優れた科学技術を再生可能エネルギーに特化して、世界に貢献する道を取るべきです。
56684	個人	会社員・公務員	50代	男性	太陽光、風力だけでなく、潮流・潮汐等海洋から得られるエネルギーにも注目し研究すべき。	太陽光、風力だけでなく、潮流・潮汐等海洋から得られるエネルギーにも注目し研究すべき。 原子力は安全度を公正に判断し安全性の高いものから必要最小限を稼働し、国民生活と経済に悪影響な無いよう計画的に順次廃止するべき。 たとえば10年後の期限を設け、それ以降は原発事故の補償は、電力会社の100%自己責任とする。それでも経済合理性が有ると判断する電力会社には、国の審査を経て原発運転を認めてもよい。万一の場合の保険（受ける保険会社が有ればだが）、廃炉、使用済み核燃料の将来にわたる管理費全て込みで企業の自己負担とすべきである。それでも他の方式よりも安い費用で発電できるのであれば、原発もエネルギー供給源の一つの選択肢とすることは可能であろう。 （しかし、すべて電力会社の自己責任、自己負担とすれば、営利事業としておそらく成り立たないと考える） 電力会社の地域独占体制は改革する必要がある。東西で50Hz、60Hzに分かれたインフラを含め、現在の硬直的なシステムを、柔軟で自律的なネットワーク的なシステムにして行く必要がある。
56685	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発の比率は、ゼロとするシナリオで行くべきである。	福島原発事故が明確にした事故のリスク、事故が起きた時の対策の不充分さ、未だに解決できない核廃棄物の処理問題など、様々な問題を抱えており、日本の国際的な信用に関わるため。 また、多くの動員数を数えたデモなどをみてもわかるように、原子力に頼ることを危惧する国民感情を無視することはもはやできないと思う。
56686	個人	法人等	40代	男性	ゼロシナリオに賛成。「アポロ計画」のように「脱原発計画」を国民が総力を挙げて取り組むプロジェクトと位置づけるべき。困難な課題を達成した時、再び国民としての一体感と国としての活力を取り戻すことができる。	私は、3つの選択肢の中で、(1)ゼロシナリオに賛成です。その理由を以下に述べます。 第一に、時期を問わず最終的には原発ゼロを目指すという点では、国民の大方の合意が得られているという現状を考えると、目標は高い方が良い、すなわち、少しでも早い脱原発を目指すのが良いと考えます。私は、1960年代のアメリカにおける「アポロ計画」のように、「脱原発計画」を、国が総力を挙げて取り組むべきプロジェクトとして位置づけるべきではないかと考えています。 確かに脱原発には困難が多いでしょう。しかし、「アポロ計画」も困難が多かったのです。ちょうど1960年代のアメリカ国民が「アポロ計画」に取り組むことによって国民としての一体感を持ち得たように、わが国も、脱原発という困難な課題に国民が総力を挙げて取り組むことによって、再び国民としての一体感を取り戻し、国としての活力を取り戻すことができると考えています。脱原発は、国、電力会社、そして国民が協力しあわなければ、実現できません。互いに協力しあいながらこの困難な課題を達成したときに、国としての一体感を取り戻すことができるにちがいありません。そしてそれは、東京オリンピックの成功や大阪万博の成功によって得られた高揚感とは比較にならないものとなるでしょう。私は、このような高い目標に向かって国民一体となって取り組む方向で、政治家はリーダーシップを発揮すべきであると思います。 第二に、わが国のような地球物理学的に変動の激しい国土では、原発を安全に運用することは、そもそも不可能であるということが挙げられます。いま、大飯原発をはじめいくつかの原発の敷地における活断層の有無が問題になっています。多少とも活断層の可能性のある敷地からは原発は撤去すべきであるのは当然のことですが、問題はそれに止まりません。2000年鳥取県西部地震や2005年福岡県西方沖の地震、2008年岩手・宮城内陸地震など、事前には活断層と認識できていなかった場所で、マグニチュード7クラスの大地震が発生しています。このことは、仮に活断層の調査が十分であったとしても、わが国においては、原発を安心して立地させることのできる地点は存在しないことを意味しています。 第三に、津波の対策も十分とは言えません。現在、多くの原発で、津波対策としての防波堤の建設が進められていますが、これらの防波堤が、津波に先行して到来する地震動に対して十分な耐震性を有するという保証はありません。これらの防波堤の多くは地盤材料を主要な構成材料としますが、地盤材料の地震時の挙動には、現在の最新の知識をもってしても、不明確な点が多いのが現状です。東北地方太平洋沖地震でも、土を主体とする構造物には、例えば福島県の藤沼ダム（土が構成材料）の例に見られるように、地震の揺れによりたいへん深刻な被害が発生しています。藤沼ダムでは、ダムの提体が完全に消失し、下流の村落に大きな被害を与えました。同様のことが、原発を取り囲む防波堤に発生する可能性はおおいに考えられます。そうしたことが実際に起きれば、地震動の作用により、原発を取り囲む防波堤が、完全に消失はしないまでも、高さが大きく減少し、それに続く津波により、福島第一原子力発電所に起こったのと同様の事象が生じる恐れは十分にあります。 第四に、原発周辺の斜面の安定性の確認が十分ではありません。自然斜面の安定の問題は、斜面内部における軟岩等の物性の三次元的な分布を把握することの困難さに加え、亀裂や間隙水圧の状態を把握することが困難であり、原発の安全性を脅かす大きな不安材料であると言えます。実際、福島第一原子力発電所では、外部電源の喪失に対して、斜面の崩壊が大きな要因であったことが指摘されています。同様のことが、大飯原発をはじめとして他の原発に起こらないとは言い切れません。さらにこの問題を複雑にしているのは、福島第一原子力発電所の事故を受けて設置されるようになった非常用電源が、斜面の上に設置されることが多く、そのため、万が一斜面の崩壊に至れば、同時に非常用電源が喪失する恐れがあるという点です。 第五に、人間の知識には自ずと限界があることを忘れてはならないと思います。東日本大震災が発生したとき、まさかこのような巨大な地震が日本海溝で発生するとは、と、多くの地震学者が驚いたのですが、このことから我々が学ぶべき点は、最新の科学的知識を用いたとしても、なお、想定しきれないシナリオは残るという点です。重要なのは、次になんらかの想定外のシナリオが発生した場合、最悪の場合には日本の国土全体が汚染されて住めなくなる恐れがあるという点です。今回の福島第一原子力発電所の事故も、場合によっては、関東一円に人が住めなくなるような自体に成り得る可能性があったのです。そのような、国あるいは民族をダメにしてしまうような大きなリスクを、たかが電気のために負うことはできません。原発のリスクを、自動車事故のリスクと比較して、便益が大きければリスクをとるべきであるかのような議論がありますが、自動車事故は民族全体に影響するものではありません。一方で原発事故は最悪の場合には日本人を流浪の民にしてしまう恐れがあるものであり、同じ土俵での比較はできません。 最後に、ゼロシナリオに反対される方がよく挙げる理由として、停電により医療用設備に対する電源供給が停止することにより命が失われるリスクがあります。確かに、脱原発シナリオを選択した場合には、これらは対応策をとるべき重要な課題です。しかしながら、仮に原発に依存するという選択をした場合であっても、原発は地震等の様々な原因で今後も緊急停止することはありえますから、（仮に事故が生じなかったとしても）医療用設備に対する電源供給の問題は発生するわけであり、これに対する対策が必要なことは、原発の有無を問いません。従ってこの件は、今回のシナリを選択の議論には関連しないと考えます。
56687	個人	自営業	30代	女性	1.原発0% チェルノブイリ、福島の事故に巻き込まれるのは結局世界中に及ぶから	見直すのではなく、少ない電気でも、快適に暮らす方法を見つけられるだけの力がちゃんと私たちにはあると思う。 国民をみくびってもらいたくない。
56688	個人	自営業	60代	男性	原子力発電はできるだけ早く廃止すべきだと思います。現在、停止している原子力発電所は再可動すべきではない。また、再可動を始めた大飯発電所も即刻、停止すべきです。	原子力発電は今回の福島の事故に見られるように、取り返しのつかない被害をもたらします。その修復のめどもたっていません。さらに事故が起こらなくても核の灰という人類が処理のできない廃棄物を私たちの国土に残すことになります。さらに原子力の原料になるウランを掘るために、国外にある鉱山の近くにすむ人びとを苦しめていることも知っています。いまこそ原子力発電を日本はやめるべきです。原子力発電をしなくなると、電気が足りなくなるという話がこれまで流布されてきています。でも本当でしょうか、この異変に、原発のほとんどが停止していても、停電もおこりませんん。まず原発をやめること、そこから新たな知恵や技術、新しい価値が産まれてくると信じます。それが私が求める日本の未来です。
56689	個人	会社員・公務員	30代	男性	期限を2030年より早め、できる限り早く原発をゼロにすべきと考えます。 コスト(電気代)や経済的成長は地震国で原発を保有するリスクや廃棄物を万単位の年数保管し続けるリスクとは比較することも出来ません	期限を2030年より早め、できる限り早く原発をゼロにすべきと考えます。 コスト(電気代)や経済的成長は地震国で原発を保有するリスクや廃棄物を万単位の年数保管し続けるリスクとは比較することも出来ません
56690	個人	自営業	30代	男性	原発即時0%に	東電、日本政府に原発事故収集能力が無い為。
56691	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオしか選択枠はないと考えます。	福島の惨事、人災だと思います。 離ればなれになってしまった家族。 生きる糧をなくし自殺された方。 帰るに帰れない人たち。 それなのに、大飯原発再開。 野田首相は、責任は自分がとると言いましたが、どう責任をとるおつもりなのか。 また、安全神話が崩れた今も原発を海外に売ろうとしている点も、放ってはおけない点です。 経済の衰退より命です。 原発が稼働していなくても、今夏は、乗り切っているではありませんか? 福島の二の舞こそ日本が立ち直ることができなくなると思います。
56692	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を熱望します	たとえ不安定な電気事情になっても原発は要りません ゼロシナリオでは、いつ 0%を実現するのかを明確にし計画的に速やかに着手していただきたい 原発ゼロと温暖化対策の両立をはかり、省エネをもっとすすめ、再生可能エネルギー を最大限導入することも組み込んでいただきたい
56693	個人	自営業	40代	男性	原子力発電は，直ちにすべてなくすべきです。	昨年3月の福島原発の事故は，原子力発電の「安全神話」を崩壊させただけでなく，福島の避難地域の方々の生活を，根本的に崩壊させました。 私は，社会福祉士として原発避難者の方々の相談に対応し，「見えないもの」によって故郷を失うという，震災でいろいろなものを失った方々とは全然違う，大きな精神的喪失もお持ちであると感じました。 これ以上，こういう苦しみを味わう人々を，日本という国で出してはいけないと痛感しています。 ゆえに，原子力発電は直ちにやめ，30年という時間をかけて速やかに廃炉とすべきです。そして，太陽光や地熱，波浪等自然エネルギーにシフトしていくべきであると考えます。
56694	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発事故により多数の国民が故郷を去ることを余儀なくされたことを何よりも重く受け止め，速やかに原子力発電からの脱却を図る必要があります．国民の協力により省エネルギを図ることで，実現は可能と考えます．	2011年3月の東北地方太平洋沖地震を端緒とする福島第一原子力発電所の事故では，周辺の広い範囲に避難の指示が出され，10万人を超える多数の住民が長期にわたって住み慣れた町を離れることを余儀なくされることとなりました． 行方がわからない家族，世代を超えて受け継がれた家や田畑，生活をともにした家畜，その何もかもを残して町を去ることとなった人々のおかれている状況を，私たち国民は何よりも忘れてはなりません． 震災・原発事故を経て，原子力発電の縮小ないし撤退を求める世論が高まっている背景には，原発事故を自らのこととしてとらえ，国民の安全・安心という価値をより一層重要なものとしてとらえる変化があると考えます． 原子力発電を縮小するために代替となるエネルギは現実的には火力であり，脱原発とCO2削減を両立させるためには，省エネルギこそが必要な手段となります． 多くの国民が脱原発を理想として考え，そのためには生活のあり方を変えていくことができるという覚悟を示している現在，その実現のために，国民や産業界のどのような協力が求められるのか，具体的には，何を何時間，何パーセント節約することで可能なのか，費用負担は具体的にどの程度なのか，それを国民や中小企業にとってもわかりやすく説明する必要があります． 少なくとも，現存する原子力発電所を最後に，最終的に原子力発電がその役割を終えていくこと，必要性が失われるならばより早期に原子力発電から撤退していくことについては，大方の世論の一致があることと考えます． 2030年の「0%」は当然の目標としたうえ，あとは，いかにそれを早期に実現することができるか，そのために国民や事業者ができることは何かを考えていくべきであり，今後の人口の減少や産業構造の変化，国民の価値観（利便性と省エネルギの比較較量における斟酌度合い）の変化，省エネ技術の拡大とあわせていくことで，2030年，さらにはそれ以前の「0%」は現実的にも実現できると考えます． 私たちは生活者である国民の皆様とともに，事業活動を通じた省エネルギの実践をお客さまの理解を得ながら徹底的に推進し，省エネルギ・環境に配慮した経営を一層進めていくことで，社会の安全・安心をより確かなものとするよう努めていく所存です．
56695	個人	自営業	30代	男性	原発をすべて無くす方向に動くべきだと思います。	地震をきっかけに、あれだけの事故が起きて未だ収集がつかない原発をこれからも使い続けるのは反対です。多少時間がかかったとしても原発なしのエネルギー政策を考え、実行していくべきだと思います。
56696	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電は段階的廃止が好ましい。一番大きな問題は、使用済み核燃料の最終的処理がコンクリート詰めにして埋めるしかないということ。	原子力発電は段階的廃止が好ましい。一番大きな問題は、使用済み核燃料の最終的処理がコンクリート詰めにして埋めるしかないということ。また今回の事故でもわかるように災害は人智を超えた起り方をするのでどのような対策を講じたところで絶対に安全ということは言えないと思う。 即時停止は難しくとも、核以外のエネルギー資源開発を模索していてほしい。 また、政府にはきちんとした指針を打ち出し混乱する民意の沈静化を図っていただきたい。
56697	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 これ以上まだ、原発とそれに伴う悪循環を続けるなんて本当に馬鹿げていると思います。国民が自分で自然エネルギーを選べるように電力システムを改革して下さい。

56698	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発をすぐに0%に！	福島の事故で放射能は人間の手に負えないことがわかった。被曝国でもあり世界最悪の原発事故を起こした国として原発から自然エネルギーへのシフトを世界のリーダーとしてらすすめて行くべきだと思う。もんじゅなどの事故が起きた時に重大な事故が起きることがわかっているものは中止して欲しい。
56699	個人	会社員・公務員	30代	男性	『?選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択しますが、即刻廃炉にすべきです。』	理由は以下のとおりです。 1.福島原発事故で、現時点の科学技術では、原発を制御できないことが判明 2.使用済核燃料の廃棄場所が無く、廃棄方法も確立していないこと(核燃料サイクルの実現性なく、血税をこれ以上投入するのは無駄) 3.玄海原発以外の原発が、活断層の真上や近くに立地しており、地震大国日本では東日本大震災クラスやそれ以上の地震が想定されること(想定外とは言わせない) 4.ウランの埋蔵量は、石油よりも少なく、持続可能なエネルギーになり得ないこと 5.原発の発電コストは、これまで言われていたほど安くないこと 6.一度事故が起これば、放射能汚染は甚大、補償・賠償額は青天井となること 7.日本の科学技術を結集すれば、原発の代替となる自然エネルギーの利用やLNG、メタンハイドレートなどを使用する高効率な火力発電は可能だと考えます 8.原発の廃炉を決めても20年くらいは廃炉作業は必要なので、立地自治体の雇用を緩やかに別の産業にシフトしていくことは可能ではないでしょうか。 福島の方が意見聴取会で言ってましたが、『人の命を削って作り出すエネルギーなんてありえない』との意見が印象的でした。ウラン鉱山の採掘現場で働く労働者、発電所で働く労働者、原発事故現場で働く労働者、核のゴミの始末は、過疎地や先住民の居住区に押しつける現実、危険なものを弱者に押しつける原発に私は反対です。 福島原発事故の対応を国民はしっかり見ています。これまで推進してきた原子力ムラの電力会社、政治家、御用学者、マスコミなどの事故対応を見ていると、これ以上任せられないと考える国民は大多数となることは明らかです。毎週金曜日夜の首相官邸前の脱原発デモが物語っています。まだ原発事故に対して誰も責任を取っていません。国民を騙してきた原発推進活動とは、キッパリ決別して、グリーンエネルギーにシフトしようではありませんか。日本の脱原発の選択を、国民は、世界は注目しています。
56700	個人	その他	60代	男性	原子力比率20～25%に賛成。他のエネルギー源に比べ、原子力の安全性は高いことは事実です。原子力の依存度を下げれば、それだけ人命を多く失い、産業は空洞化し、日本経済を疲弊させることは明らかです。	エネルギー関係の研究者にとっては常識ですが、1×10I2Wh当たりの死亡者は、化石燃料が約20人、水力発電が約1.5人、ソーラーが約0.5人、風力が約0.15人、原子力が約0.04人のオーダーと言われています1)。原子力以外のエネルギー源は膨大なデータが過去に存在しており、原子力ではチェルノブイリでは一般人はこれまで15名が死亡していますが、IAEAの最大予測4,000人のガン死亡が使われています。福島事故ではこれまで1名の死亡もなく、今後もチェルノブイリと比べれば被ばくの影響は微々たるものなので、多分1名もないでしょうが、最大多く見積もって100名としています。意外に思う人が多いのですが、人命尊重の観点からはエネルギー源としては、原子力が最も安全なのです。 シナリオでは、再生エネルギーを30～35%としていますが、再生エネルギーは不安定なので予備代替電源か蓄電池が必要となります。そのため、コストが大幅に上昇するだけでなく、代替電源として信頼性のおける化石燃料を用いれば、上述の死亡者の増大（主として大気汚染による喘息やガンなの疾病）が国民的な大問題となります。 IAEAの最新の調査によれば、2030年までに、少なくとも90基、最大で350基の原発が増加する見通しとなっています。これは、地球規模で増加しているエネルギー需要、気候変動への懸念、流動的な化石燃料価格、エネルギー安全保障という原子力発電への高い関心の背景となる要素が、福島事故後も基本的に変化していないからです。世界30ヶ国の原子力発電実施国の中では、ドイツ、スイス、イタリア、ベルギーのように、原子力からの撤退を決めた国はありますが、それ以外の国では継続、拡大したり、ベトナム、マレーシア、タイ、インドネシア、トルコ、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、シリア、エジプト、リトアニアなどのように新たに原子力を導入する国が増えています。世界は原子力の堅実な利用が今後の大勢となっています。 福島原発事故の原因は事故調査委員会などから明らかになりつつあり、事故の教訓を生かした誰対策により、より安全性の高い原子力発電は十分実現可能です。この教訓を我が国ばかりでなく、世界の原子力国で共有することにより世界の原子力安全に貢献するとともに、我が国がこれまで長年に亘って培ってきた原子力に関する知識、技術及び人材が今後も維持されることが、我が国の経済発展にとっても重要であり、さらには原子力を必要とする世界各国にとっても重要であり、それが福島事故を起こした我が国に課せられた重大な使命と考えます。 文献1) 藤沢数希、「反原発」の不都合な真実、新潮社、平成24年2月　など
56701	個人	パート・アルバイト	30代	女性	脱原発の道をすすんでほしい	原子力の平和利用のために、どれほどの知力と労力が使われ、途方もない額のお金が使われ、巨大な施設が作られてきた歴史からすると、「脱原発」の道へ方向転換するのは、かなりの覚悟と勇気を必要とすることでしょう。それでも今、勇気ある撤退をするべきだと思います。「今後は安全な原発を」というのは所詮「平和利用を」というのと同じ、確実なことは誰もわからない夢の展望です。一旦事故が起これば、直接被害にあうだけではおさまらない、日本中・世界中に有形無形の影響をもたらすことが避けられない原発を、この国で維持していくのは非常にリスクが高いと思います。経済の停滞が‥電力不足が‥という問題とは、そもそも次元が違うのです。日本の技術力を脱原発の方向へ100%そそげば、原発の悪恵以上のものは必ずつくれるはずです。
56702	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオの即時0%を希望します！	原子力発電は電力の安定供給という名目で建設、稼動が容認されてきたと思いますが、実際は一部の受益者（官僚、電力会社、下請け企業、マスコミ、政治家など）が利益を得る為だけに利用してきたというのが昨今は周知の事実になっています。 今回の福島の事故で多大なる被害が出ているのに、安全性が100%確認できない原子力発電所を稼動させるのはリスクが大きすぎます。 金か命かと言ったら、命の方が大事なので原子力発電には反対します。断固反対。 頑張って、もっと安全なエネルギーを探しましょう。金が欲しいならそっちで儲ければいいと思います。
56703	個人	会社員・公務員	30代	女性	1、2030年までにゼロシナリオを支持します	原発との共存はできないと思う。すみやかにゼロに向けて取り組むべき。
56704	個人	家事専業	40代	女性	今すぐに、原子力発電を0%にすることを望みます。	誰かの犠牲の上に成り立つ技術はいずれ破綻します。 核廃棄物の問題も未だ、一歩たりとも進んでいない状況です。 日本のみならず、世界の叡智と技術を集結すれば、原子力に頼らない生活は実現可能だと思います。 宇宙に行けるほどの文明を持つ地球人類が、実現できないことがあるでしょうか。 政府が原子力0%の目標を掲げれば、すべての叡智が、そこに向けて結集するでしょう。経済大国でなくとも、子供たちの目が輝き生き生きしている国はたくさんあります。未来を担う子供たちが、放射能や、何らかの発病の不安、死の不安を感じながら生きる状況を三たび繰り返さないために、直ちに原子力の使用を止めて欲しいです。幸せとは、経済的豊かさと一致するものではないことを様々に表現することで、世界を牽引する国に、日本がなりますように。
56705	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。原発新規建設はゼロ、建設後40年の原発は例外なく廃炉を法制化。そこに経済的な合理性の有無の議論の余地を残してはならない。政府が決断できないなら国民投票を行う法整備を。	今後10から15年をめどに原発の稼働を完全にゼロにする。 理由は原発は経済的メリットに比べて国民の生命財産を危険にさらすリスクが余りにも大きいこと。完全フェイルセイフは技術的に無理があり、一旦事故が起きた場合の被害が甚大すぎる。どんな政治家でもその責任を負うなどと言う出来もしない無意味で空疎なウソを語ってはならない。そして最大の理由は使用済み核燃料の完全管理が不可能であること。永久に高レベル放射性廃棄物をパイルアップして行くことなど正気の沙汰ではない。 100歩譲ってチェルノブイリや福島第一規模の事故は起こらないと仮定しても、運転により不可避的に発生する使用済み核燃料という高レベル放射性廃棄物は膨大な量になり、現行法で定める「地層処分」も実現の見通しすら立っていない。その最終処理が不可能なことは、この6月にアメリカでコロンビア特別区巡回控訴裁判所が米原子力規制委員会の使用済み核燃料に対する対応が連邦環境基準に違反しているとの判断を下し、それを受けて規制委員会が先日この問題が解決できるまでは原発の新規建設の認可手続きを停止すると決定した事実をみても一目了然である。因みにアメリカの使用済み核燃料は昨年時点で六万二千トンを超えている。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年何十万年もの間、管理しなければならない。その意味するところは、「原発自体が物理的にも経済的にも合理性を欠いたものである。」というのが現実であり、議論の余地がないのは明白である。
56706	個人	無職	40代	女性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、2030年までと悠長なことではなく、 即時に原発をゼロにすることを強く希望します。	放射能はこわい！早くやめて！ 原発利権は許せない 子供たちを守りたい！ 電気は足りる。省エネに力を入れれば簡単。
56707	個人	その他	40代	女性	原発依存度は10%程度が望ましいと思います。現在は発電技術も進歩し、再生可能エネルギーや蓄電池も実用可能な段階です。日本の技術力を結集し、世界をリードするエネルギー技術を確立すべきです。	原子力発電への依存度を10%程度にする理由は、原発依存度を0%にするのは影響が大きすぎるため、経済的な事情を考慮すると、今の段階ではそれを持続していくには無理があると思うからです。ですが、福島の事故後も「免震重要棟」の重要性を軽視し、非常時の電源さえ確保すれば良しとしている電力会社の姿勢を見ると、リスク対応への真剣さがあるとは到底感じられません。福島の事故は、津波だけでなく、地震の影響もあったはずです。仕事の関係で、製造後の原子炉本体の点検作業を見たことがあります。ですから、原子炉そのものがいかに頑丈に作られ、設置前に十分に点検されていることは承知しています。ですが、万が一、原子炉が災害により制御不可能になった場合に作動するはずの冷却装置や圧力を逃す装置がうまく作動しなければどうなるのでしょう？NHKでは原発事故の検証が度々なされていますが、冷却装置など周辺装置に対する耐震性などが脆弱であることは明らかだと思います。原子炉そのものは非常に厚い鋼鉄で作られていますが、冷却装置などの配管類は、どう見ても上からの落下物あるいは地震の揺れによる衝撃などで接続箇所でのずれや配管自体へのひびなどの損傷が起きてもおかしくないと思います。現在の政府や原子力関係機関の様子では、福島での事故の原因を一から検証するという姿勢は全く感じられません。今の電力会社の姿勢は、いまだに「安全神話」から抜け切れていないようですので、事故前と同じような比率に戻すのは危険すぎます。事故の原因を真正面から検証し、それを現在ある比較的新しい原発に反映させた上で、稼働させる原発の数を極力絞り、政府や国民の目がより届きやすい形でしか運用すべきではないと思います。自動車にハイブリッド車が生まれたように、発電施設にもさらに素晴らしいより優れた技術が生まれないはずはないと思います。日本の技術力にはまだ力があると信じています。その力を生かすのが、政府や行政の責任ではないでしょうか？再稼働前に野田首相が使った「責任」という言葉は、そのようにこそ使うべきだと思います。日本が地震活動期に入っていると考えられている今の時期に、大規模で危険な電源に大きく依存するのは非常に危険だと思います。災害でその施設がダメになれば、どうなるのでしょう？日本に福島と同じような地域がいくつ発生すれば、政府は見方を変えるのでしょう？また、大規模な電源が災害で停止すれば、どれだけの地域がどれだけ長期に電力のない影響を受けるのでしょう？大規模電源を遠隔地に一つ持つよりも、より分散型の電源に蓄電池を併せ、災害に強い体制を構築すべきだと思います。
56708	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオ」を選択する。	事故原因が何であれ、また額度がどうであれ、事故は起きる。事実、起きてしまった。 取り扱い切れないこれほど有害な物質の利用を考えるべきではない事は今回の事故でよく分った筈なのに、何の意見が必要なのだろうか。 国民の安全を第一に考えれば、即刻、全廃に向けて動き出せるはずである。
56709	個人	会社員・公務員	30代	女性	0%廃炉に賛成です。	二度と福島のような事故があってはならない。安全と言われて居た原発で事故が起きたのですから、原発ではなく、自然エネルギーへのシフトを短期間で実現すべきです。 他国でも取組んで実現できているなら、日本の技術力であればかなり短期的に構築可能かと思います。安全で環境に優しい発電を実施いただきたいです。
56710	個人	その他	50代	女性	0にするしかないでしょう	再稼働を考慮および実施する余地なし
56711	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発を無くす事は当然。 政府の0%シナリオを無条件に支持しているわけではないが。 その選択肢しかないなら0%シナリオ。	原発を無くす事は当然。
56712	個人	家事専業	30代	女性	(1)ゼロシナリオ 原発即廃炉	原発反対です。
56713	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	福島原発事故は未だに終息のめどすら立っておらず、一度事故が起これば人間の力では、コントロールできず、原子力に未来はありません。 日本の優秀な技術力を結集させて、新エネルギー開発に取り組むべきです。
56714	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロベース指示	福島原発のような事故になる可能性が完全ゼロと言えない現状、廃棄物処理に関して不透明なままでの原発再稼働には反対です。 責任をとる、と言っても事故が起きたら被害を受けるのは今回と同様一般国民。 すみませんでした。ではすまないです。 まずゼロありきと、そこから化石エネルギー依存を減らす方法、自然エネルギーを増やす方法など検討すべきです。 もんじゅも稼働反対です。
56715	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	日本に現存する原発は事故の可能性に関しての 検証が充分でなく、また、事故を起こさず通常の稼動中に、従事する人々の健康を保証できないような施設を持つもので発電した電力を使って生活したくはない。
56716	個人	その他	50代	女性	2030年原発ゼロシナリオを選択 起動している原発をとめ、廃炉作業に入るべきだと思います	2030年原発ゼロシナリオを選択 起動している原発をとめ、廃炉作業に入るべきだと思います 理由　地震の多い日本では原発は特に危険であるため。 地震の予知はほぼ不可能ですし、原発は地震があった時にはすぐには止められないこと、止まっていても危険であることが福島第一原発の事故で、残念ながら実証されてしまいました。その経験がありながら、原発を動かし続けることは国民の生命を軽んじていることになると思います。
56717	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオで！	こんだけの考えがあるなら大丈夫じゃないですか！ 早急に実行して下さい！
56718	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力発電0パーセントでお願いします。	安全性に問題があり、実質的には核兵器所有と変わりないからです。
56719	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。原子力エネルギーへの依存を即終了させる、より踏み込んだ原子力エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。私たちは原子力エネルギーへの依存を直ちに終了させる、より踏み込んだ核エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。 具体的に私たちは以下を要求します： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
56720	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	段階的な減原発といってもそれは問題の先送りでしかなく、原発を残すシナリオにいたっては、ここまで大きな被害が出ている状況で、なおかつ現存している原発がいつどうなるかわからない状況では、ふつうの神経を持っていたら出てこない意見だと思います。福島第一原発は、今度3.11クラスの地震・津波がきたら地球が終わるくらいの被害をもたらすと言われています。その他日本の多くの原発は活断層のそばに作られています。そんな危機的状況を、政府の方々は本当に認識していらっしゃるのでしょうか。私たちが生まれた国土で安心して暮らせるために、長い目で見た日本の将来、地球の将来のためにも脱原発を強く望みます。

56721	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までにゼロとし、そして代替となるエネルギーに関しても単純に自然エネルギーといわれる技術に加担するのではなく、環境負荷および効率性を考慮したエネルギーを考え実現していくことを求めます。	原発は、あの事故を通して地震の多いこの日本に適したエネルギーではないことが一ついえると考えます。また、もし継続していくにしても、震災前よりどれだけ管理(リスク回避と現行の問題解決)をしたかを示す必要があります。それが、様々な報道(報道のみを信じるわけではありませんが。)を通して、あまり改善が見えていない状況であります。この状況で、原発をOKとすれば、また、同じ状況が継続する恐れがあると考えます。また、国民に与えた衝撃が大きい、そして起こったことへの十分な説明がされていない状況であり、原発を継続する状況ではないです。 上記に加えて、もう一つ考えていく必要があると考えています。単純に現在の自然エネルギーに加担して、単純にエネルギーを生み出すことをベースにかんがえていってよいのでしょうか。そこに、一つ疑問があります。自然エネルギーが自然界においても、日本において&安全且つすばらしいものなのでしょうか。これについては、いまだ疑問があり、いまだすべてが解明されるわけではない状況です。その状況で、慎重にならずに単純な選択をしていくことにも大きなリスクがあると考えています。この単純な3択ではなく、それ以降の継続的な新しいエネルギーバランスの議論を行っていく必要があると強く感じています。 また、今回のような意見募集の方法にもまだ疑問が残っています。単純なパフォーマンスになっていないか、この短時間で十分な議論を行えているか、多くの人を巻き込んで偏りのない議論ができているかは疑問です。短時間だし、こういったことは無理と決める前に、正々堂々と、そして皆が腹をわってコミュニケーションできる場を求めています。そしてそれを実現できるようにしていくことを望んでいます。
56722	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します！	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します！ 原子力発電は、 (1)ウランを掘る時に地元に被害が出る。 (2)原子力発電所を正常に動かしている時でさえ、立地周辺に少しずつ放射能が出て健康被害が出る。 (3)発電所の作業員が被ばくして健康被害が出る。 (4)燃えカスの管理に10万年も掛かり、事実上安全に出来るか未知数。 と、恩恵よりマイナス面が多すぎます。 今は、自然エネルギーの技術も大変進んでいるので、代替えになるはずです。 R水素エネルギー技術についても進めて下さい。 このような状況で原子力発電を勧めたいと思う人がいれば、その人に何か利権があることは見え見えです。 原子力は利権などない人間にとっては100%害しかないのですから。 ・再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。 ・もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 ・もっと自然エネルギーを推進してください。 ・既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。再処理の廃止を決めてください。 ・発送電分離によって、電力自由化し買う電気を選べるようにして下さい。
56723	個人	その他	40代	男性	政府の「エネルギー・環境に関する選択肢」のうち第一案である「0シナリオ」を支持します。	政府の「エネルギー・環境に関する選択肢」のうち第一案である「0シナリオ」を支持します。 日本の原発政策は出発点から多くの問題を抱えていましたが、なにより大きいのが、国内の経済格差を利用した、原発の主たる受益者である電力大量消費地とリスクを負担する施設誘致自治体の乖離です。 この不自然な乖離が、危機管理よりも経済性を優先するという、施設運用企業の利己的な体質を許し、「人災」と位置づけられた原発災害を引き起こしたことは明白です。福島第一原発の供給管内である首都圏に施設が存在したならば、今回のような惨事を防ぐための手段は可能な限り講じられたはずです。 この仕組まれた不均等は、原子炉立地審査指針や電源三法と呼ばれる法律により意図的に準備されたもので、過酷事故は決して起こらないという仮定の上で、なんとか隠蔽されてきました。しかし過酷事故は起こり、地方の経済支援との抱き合わせでリスクを押し付けるという理不尽な政策が明らかになった以上、原子力発電は今後決して続けることはできません。
56724	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢について、「ゼロシナリオ」を希望致します。	3.11以降様々な情報が溢れ出ました。それまで知らなかった、知る必要な無かったことまでたくさんインターネットを中心に広がりを見せました。そして私達日本人はいまだ発展途上国なんだと実感しました。過去、何十年も続いてきたエネルギー政策が今現在の時代と掛け離れた、時代遅れなものだったのだと知りました。 これから、新しい時代を作る、ないし修正をして正しい社会を作り直す必要に迫られたこの3.11の事件、事故、出来事により、日本は新しい価値観を作り上げ正しい社会構造へ成長を遂げなければなりません。正しい税金の使い方、正しいエネルギー政策、正しい倫理ある政治家、正しい国政のあり方。矛盾をすべて無くし、ずるさを全て捨てて、まず最初に自然エネルギーの創造へ舵を切るべきです。 原子力発電での社会的構造をゼロにする為に、日本の最大の努力が必要な時です。 ずるさを全て捨てる時です。 「ゼロシナリオ」を希望致します。
56725	個人	無職	60代	男性	福島原発事故発生以降の政府・東京電力の対応、情報公開の実態を見るにつけ、この国は原子力発電を行う資格がない。	原子力発電の資格がないうえに、使用済み燃料の最終処理体制のないまま、これを推進した原子力保安院・原子力安全委員会の無能ぶりには開いた口がふさがらない。 当然、選択肢は原発再開はあってはならない。　　原発による発電は「ゼロ」
56726	個人	家事専業	30代	女性	3つのシナリオのうち、賛成できるのはゼロシナリオだけだが、本当なら即刻原発をゼロにしたい。	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 政府が提示するシナリオのうち、賛成できるのは「2030年に原発0」だが、今すぐにも日本のすべての原発を廃炉して、ゼロにしたい。 日本人が皆脱原発に足並を揃えられれば、今は困難な完全廃炉の技術も発見できると信じている。 自然エネルギーやフリーエネルギーに力を入れられれば、生きていけるだけの電力は賄える。 過剰な産業はもういらない。原発に頼らなければ立ち行かない産業は諦めて、日本人が安心して暮らせる循環社会を作り出していきたい。 東電は電力のプロとして新しいエネルギーを生み出し、普及させることに尽力してもらいたい。
56727	個人	自営業	40代	女性	「原発依存率0%」を希望します。「2030年の0%」はもとより、「即時0%」を可能にするための努力を全力で行なうことが、今政府がとるべき行動だと信じます。	＜原発ゼロ＞ ・「原発依存率0%」を希望します。政府は、「2030年の0%」はもとより、「即時0%」を可能にするための努力を全力で行なってください。 ＜化石燃料でなく、再生可能エネルギーを＞ ・原発の代替エネルギーは化石燃料ではなく、地熱、小水力、バイオマス、太陽熱・光、風力、波力などの再生可能エネルギーを希望します。日本は技術的にも資源面でも再生可能エネルギーで十分賄える国です。例えば豊富な地熱。地熱資源のある場所の多くが国有公園であるための開発が困難であると聞きましたが、それこそ政府の関与で大きく変えられる部分です。再生可能エネルギーの多くは、規制や税制、社会の仕組みを変えることで一気に実用化や低価格化が進みます。私が政府に求めるのはこうした努力です。 ・再生可能エネルギーの研究開発、導入、普及のための予算を割いてください。この分野こそが、先細りする日本経済を再生し、大量の雇用を生み、世界に誇れる新たな日本ブランドを作れる最重要分野であると信じます。 ・発送電の分離、スマートグリッドを導入してください。 ・原発0%を温暖化容認の隠れ蓑にすることは許されません。おそらく今後数年間はある程度化石燃料に依存せざるを得ず、短期的にはCO2排出量が増えるでしょうが、今すぐ再生可能エネルギーの普及に向けてあらゆる努力をすれば、中・長期的なCO2排出量は原発維持シナリオより低くなるはずです。 ＜倫理的視点＞ ・今後の議論には必ず「将来世代への責任」という倫理的視点を加えてください。教育者や心理学者、宗教指導者などを議論に招くのも良いと思います。もちろん若者や母親たちも議論に招かれるべきです。 ・議論はすべてネット中継などで公開し、後日再生して誰でも視聴できるようアーカイブ化してください。公開性、透明性を高めることにより参加者は自己の発言に責任を持つようになり、結果的に上質で実り多い議論につながると信じます。 ・使用済み核燃料をはじめ放射能汚染物質を無害化する方法を持たない者が、原発を所持してきたこと自体が誤りであったと考えます。このことをすべての大人が反省し、原発と決別すべきです。放射能は、現在および将来の原発周辺住民はもとより、植物、動物、土壌、河川、海洋などの生態系をも汚染します。ひとたび大きな事故が起きれば、その被害は気流や海流にのって遥か遠方の町をも巻き込みます。その範囲は国内に留まりません。我が国に他国の生態系を脅かす権利はありません。 ・活断層だらけの地震大国日本にとって、原発は最も危険で最も不適切なエネルギー選択肢と考えます。 ・原発は主に都市部に電力を供給するため地方に造られるため、同じ日本国民の間に差別を生じます。自然エネルギーの多くは地産地消が可能であり、外国に資源を頼る必要もないため安全保障面でも優れています。 ・国内の原発だけでなく、原発器材や技術の輸出も止めてください。福島の問題を解決できない我が国に、他国へ原発を売る資格はないと考えます。 ＜最後に＞ ・まずは「原発0%というビジョンを国民に示してください」。明るいビジョンが明確に見えていれば、国民は多少の犠牲を厭いません。しかしビジョンが見えない、あるいは将来世代に負担を課すビジョンしか見えない場合、いかに小さな犠牲でも不満の対象となります。意思決定者の皆様のご英断を期待します。
56728	個人	自営業	30代	女性	0パーセントシナリオでお願いします	原発はゼロにしていく方向で、もんじゅも廃炉を希望します。
56729	個人	会社員・公務員	50代	男性	この国で…原爆と原発の災禍に見舞われた…世界で一番原子力と相容れない国で…なお原発が無くならないことを恥じる。	原発を即廃止し、「“人”の制御可能な」エネルギー開発に邁進しなければならない。ゼロシナリオ以外ありえない。 廃棄までのスパンで考えると、原発というものは、そもそもが人間に制御できるシロモノではない。ましてや、経済界が…地元が…などと言いつつ、誰も責任を取らない体制の下で、隠蔽体質の官と電力会社に危険な玩具を扱わせるなど狂気の沙汰である。大声で目先の現実を口にする輩に迎合するのは勇気無き者である。真の為政者は辛抱強く理想を語り続け、既得権益にすがる者を払い退け続けなければならない。その内なる闘いに勝ってこそ、初めて、民に強いる犠牲を民に納得させることができるのだ。15シナリオだの20～25シナリオだのが選択肢として存在すること自体、この国の病巣の深刻さを物語っている。
56730	個人	家事専業	40代	女性	原子力発電には反対です。即時に稼動を止めるのは無理でしょうが、10～20年のスパンをかけて。脱原子力発電に向かうべきです。	福島第一原発の事故は、たとえ天災と人災が重なったものとはいえ、原子力で作るエネルギーが、一旦制御不可能になった場合、周辺自治体の方々への保障や除染。廃炉費用や、使用ずみ核燃料の処理コストを計算にいれると、決してクリーンでエコノミーなエネルギー資源でないことが、明白になりました。しかし、既存の原発に対する投下資本や原価償却の問題からすぐには、原子力発電を廃止することはできないにせよ、10～20年のスパンで脱原子力をすすめるべきだと考えるからです。
56731	個人	会社員・公務員	40代	女性	【原発ゼロシナリオを支持します】 「原発に依存しないと決断すること」そこから、新しいエネルギーの模索に本気をだすことになると思うので。	スマートグリッド、スマートシティ等で、世界をリードできると思います。原発には執着しないことで生まれるイノベーションに、期待します。
56732	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力比率を維持し、安全運転維持策の確立を当面の目標とし、代替策を確立した後、原子力削減可能なら削減していく。原子力削減による影響は甚大で、産業空洞化による国内雇用の大幅悪化は必至であるからである。	原子力を削減した場合の影響を国民が理解していない。政府も大々的に説明していないしマスコミも積極的に触れようとしない。 政府のホームページで説明しているシナリオの経済的影響は前提がよくわからないが極めて怪しいと言わざるを得ない。例えば「原子力0シナリオ」では化石燃料の割合が変わらず費用が若干上昇しているのは世界全体のエネルギー需要増加（特に中国・インドをはじめとする新興国）を踏まえた単価上昇を反映していると思われるが、世界平均単価の上昇はその程度でも原子力をすべて放棄した日本への販売価格上昇はその程度では済まされない。再生可能エネルギーのような不安定な電源は必ずバックアップとして火力電源が必要である。つまり結局は化石燃料頼りなのである。一次エネルギーのほとんどを輸入に頼らざるを得ない我が国としては、購入価格交渉の際に代替エネルギー（例えば原子力）の有無で交渉力は大きく左右される（沢山買えば値引きするというのは買い手市場原理で為り、この場合、どんなに高くても買わざるを得ないという売り手市場）。実際に中東の天然ガス輸入価格も、ロシアからパイプラインで輸入可能な欧州と、他国と繋がっていない日本とでは3～4倍違う。また、今年5月以降の国内原発「0」期間はLNGスポット市場は価格上昇したが、大飯原発がフル出力運転した翌日下落している。このように原子力を放棄することで我が国の化石燃料輸入単価は大幅に増加する。問題なのは、原子力代替分の3割程度ではなく全体に影響するということである。 こうなると、値段の高い再生可能エネルギーへの転換による影響だけでは済まされず、エネルギー価格全体が大幅に上昇し、国内製造業は国際競争力を失うため、産業空洞化が一気に加速され、雇用は大幅に低下し、また、外貨を稼ぐ手段を失いエネルギーを輸入することも不可能になり、国内のみでの自給自足レベルまで生活レベルを低下させる必要が生じ、数千万人オーダーの国民が国内で生活を維持することができなくなる。多くの国民は、ちょっと節電すれば済む程度の認識と思われるが、上記は大裂裟ではない。 次に、原子力排斥論者は代替エネルギーとして再生可能エネルギーの増加を前提にしているが、「イノベーション」や「日本人の技術力」等、確たる見込みもなく「誰かががんばってくれる」だろうという他人任せで無責任かつ根性論的な発想である。何の根拠もない「再生可能エネルギーへの変換による原子力削減可能説」は一市民が提唱するのは勝手だが、国民一人一人の生活が懸かっている以上、政府として取るべき選択ではない。もし、原子力削減を模索するのであれば、代替エネルギーをしっかり確立したうえでその次に行動すべきであり、それが責任ある政府としても取るべき判断である。原子力に拘るつもりは毛頭ないが、現実的な代替策がしっかり確立するまでは、原子力を安全に稼働する手段の確立が現実的である。 なお、発送分離による電力自由化進展で電力価格は上昇を吸収するという発想は、これもまた、何の根拠もない妄想である。経産大臣は電気料金が下がるといっているが、「電力システム改革委員会」の結果を見ても、発送分離を進めることによる増加費用や自由化進展による価格低下などの具体的な検証が一切なされていない。従来、発送一体運用により電源・流通設備の効率開発・運用がされていたものが、分離により非効率になることは間違いない。また、自由化進展により、設備投資は回収期間がかかりリスクを伴うことから電源開発は進まず、逼迫時には電気料金は急騰する。中立機関ならば公募制で電源建設の入札する制度を考えているようだが、高止まりするにきまっている。電力事業者にとってはそんな電源できなくても困らないわけだから(むしろ、逼迫状況が継続したほうが、売電価格は高止まりし都合がよい、それが自由化というもの)。
56733	個人	無職	60代	男性	原発ゼロを早急に決定し、国家目標として発表して下さい。	危険性の高い原発は不要であり、廃止することが妥当である。原発の安全化といった幻想は抱くべきではない。電力不足や電気料金アップ、延いて景気停滞などは原発を廃止できない理由とはならない。原発ゼロを決定して公表すれば、代替エネルギー（特に再生可能エネルギー）への転換は促進し、省エネにも拍車がかかる。また、そうなれば電気料金アップにも耐えれる。日本が原発を廃止しても諸外国は廃止しないという意見があり、その可能性は高いが、日本が原発ゼロを実現すれば世界の原発廃止を牽引できる。そして、日本の発電技術・原発廃止ノーハウ・省エネ技術は新たな産業創出につながる。曖昧な決定は結果的に何も変えることにならないし、現状維持政策に他ならない。原発ゼロを国家目標として決定すれば、遅くとも10年、早ければ5年で原発ゼロは実現すると考える。この種の決定には既存の知識技術の裏付けは不要である。戦後の復旧や非常時の対策と同様に危機管理の意思決定が肝要であり、日本はそれを可能とする底力を保有している。果断に原発ゼロを国家目標として決定することを切望する。
56734	個人	会社員・公務員	40代	女性	提示されたシナリオではなく、原発はゼロ、火力発電は削減し、自然エネルギーをエネルギー源の核にすべきであると思います。	日本の原発政策への決定は全世界が注目しており、国際的な信用を取り戻すためにも、ドイツに続き反原発への動きをリードして行って欲しい。日本の技術力の高さならできると思います。また省エネ対策もまだまだ十分ではなく、国全体で省エネに取り組めば原発ゼロは実現可能と思います。
56735	個人	自営業	40代	男性	全くもって反対です	コトがおきて 全く対処できてないのに 稼働させる理由は どこにもありませんよ

56736	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は即時停止すべき。自然エネルギーの活用を国策として国民に提示すべき。	原子力発電の是非を考えるためには、前提条件として、原子力の活用を提案する人々・組織が信頼に値することが必要。 残念ながら、現在の原発を推進しようとしている人々は、(その主張が自信の考えと異なると否とには関係無く)、嘘と保身と自身の類する利益のみで動いているのが露見してしまっている。 これらの人々を除いた、真に信頼出来る新たなメンバーによる提案なら未だしも、根底から信頼を失った人々の提案を真に受けての議論参加などできはしない。 電気の調達が原発無しでも従来通り豊富にまかなえる、とは思っていない。 最悪、電気の使用制限がされるような事になったとしても(例えば一般家庭の契約電流のカットや、一定以上の電力消費に対する割り増し金、等々)いいと私は思っている。 個人的には20%のカットぐらいが現実的で、問題無く実施できる思っている。 各家庭が制限された電力の範囲でやりくり、これは十分可能だ。 スリーマイル・チェルノ・福島と原発事故があったけれど、三つの事故が「あの程度・この程度」の規模で終わったのは、個人的には「奇跡」だと思っている。 次に起きる事故が今までの事故の百倍千倍の規模になっても何の不思議も無い。 会議の士台が真に国民が信頼できるものが出来れば、その時にまた考えれば良い。
56737	個人	家事専業	30代	女性	日本にある全ての原発を無くして下さい。	日本の原発に頼らないで電気を確保する技術は、世界的に有名です。その技術が一番必要な日本に生かせていないのは本当に勿体無い話です。是非、全ての原発から撤退し、今まで原発に投資していた人材や投資を再生可能エネルルギ?の方に回して下さい。お願いします。
56738	個人	パート・アルバイト	30代	女性	0%でお願いします。	子どもたちが希望が持てる未来のため。 根本から持続可能な社会づくりを切望します。
56739	個人	法人等	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	日本国内に原発の新増設が今後も可能とは到底思えない。古くなる一方の原発の安全性を確保するためには、点検等の停止時間ももっと増えるのではないか。また、何かあったときの被害が大きすぎて容認できない。再エネ、省エネといった代替案の推進にこそ力を入れてほしい。また脱原発が決まったからといって政府や電力会社は無責任に原発から手を引くのではなく、廃炉技術の研究を進めてほしい。世界はしばらく原発の新増設が続くからといって、日本がそれに追従する必要はない。ただ、3.11福島原発事故を経験した国として、事故対応や廃炉技術を世界に発信してほしい。
56740	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオ(即時)	昔から原発は「プロメテウスの火」と言われてきました。 それは、人間が扱うにはあまりにリスクが高いということを意味する言葉だと思います。 私達が住み続けることができるのは、この地球しかないのに、その場所を容易に汚染し破壊することの可能性をいつも抱えながら、原子力発電に依存し続ける今の電力供給システム。 しかも原発が生み出すのは、全電力のたかだか10%前後というではありませんか。 そのために背負う危険はあまりに大きすぎるのではありませんか？ 原発を動かさなくてもなんとかなるのでは…ないですか？ 150年前、敷の油が明かりを灯すための主要燃料だったころ、誰が石油の存在を知りえたでしょうか。 それでも石油はすぐさま鯨油に取って代わりました。 エネルギー政策の転換は、需要と人々意識、そして政府の方針が重なれば、容易に進んでいくはず。 太陽光、風力といった自然エネルギーにシフトするのは、勇気ある決断をもってすれば、世の中はその方向へ進んでいきます。 既得権益にしがみつく企業や団体の圧力に屈することなく、私達の子ども、そして人間だけでなく、この地球に住むすべての生き物の未来のために決断を下してください。 人々の意識が変わってきた今、必ず成し遂げられるはずです。
56741	個人	その他	50代	男性	東電福島第一原発の重大事故が起きた以上、0%のゼロシナリオしかありません。直ちに、全国すべての原発を廃炉とすべきです。再稼働なんてとんでもありません。	過酷事故が起き、事故原因の究明がなされていません。自然災害は避けられないものであり、その災害に耐えることのできない、また、人間の手に負えない原発は直ちに廃炉とし、節電などこれまでの生活を見直しつつ、再生可能なエネルギーへの転換を早急にすすめるべきと考えます。
56742	個人	会社員・公務員	20代	女性	これからの日本のエネルギーの選択肢として、原発ゼロシナリオを推進することが日本や世界にとって有意義な選択になると考える。	・3.11原発事故により、原発のリスクが改めて明らかになった。事故後の処理がいまだに収束しない中で、原発再稼働や原発の電力を使用することを推進する政策には理解を示し難い。 ・5月に原子力発電所がすべて停止したが、電力供給に大きな問題は起こらず、原子力発電以外の電源による供給でまかなえる可能性が示唆された。電力確保と国民の安全を確保することを両立させると考えた場合、原発以外の電源での対応でも十分可能性があるのではないか。 ・再生可能エネルギーによる供給割合の向上は野心的な目標になるが、他国では高い目標を掲げて技術力の向上や政策による誘導など具体的に実施している事例もあるため、不可能な目標ではないと考える。また、世界的に再生可能エネルギーへの転換を図る動きのある中で、日本にもその期待が寄せられている。逆に、事故が起こったにもかかわらず原発への依存を続けるということは、世界の中で日本への不信感が高まると考える。 ・国がゼロシナリオを掲げることで、私たちは政府への信頼を回復し、その目標に向かってともに努力できると考える。
56743	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	政府のエネルギー・環境会議が本年6月29日に公表した「エネルギー・環境に関する選択肢」において示されたシナリオは不適切であり撤回し、新たなエネルギー政策を構築すべきである。	1意見 (1)(i)現在日本国内にある原子力発電所のうち、(i)福島第一及び第二原発、(ii)敷地付近で大地震が発生することが予見されるもの、(iii)運転開始後30年を経過したものは直ちに廃止し、全ての原発を遅くとも2021年までに廃止する 。それまでの間の原発は、安全基準について国民的議論を尽くし、その基準に適合しない限り運転を認めない 。 (2)再処理工場、高速増殖炉などの核燃料サイクル施設は、直ちに廃止する。 (2)大量生産大量消費社会を前提とするエネルギー需要見通しを改め、省エネルギー、省電力の割合をさらに高め、石炭火力から天然ガスへのシフトをより進め、地域の再生可能エネルギーを最大限拡大することによって、CO2排出量を削減し、地球温暖化リスクを最小化する。 (3)これらを可能にするために不可欠の電力事業の自由化と発送電分離、再生可能エネルギーの最大限の活用を可能にするエネルギーネットワークの整備などを含む需要側・供給側全体のエネルギーシステム改革を前倒しで実現する。 2理由 1本シナリオは脱原発という基本理念を十分に反映していない 　2011年3月の福島第一原発事故を機に、日本はエネルギー政策を見直し、同年7月、エネルギー・環境会議は原発依存度を低減するという基本理念を決定した。 　以上の経緯を踏まえて政府がエネルギー・環境政策に関するシナリオを作成するのであれば、原子力の安全確保と将来リスクの低減を最優先に考慮し、原子力発電所は出来る限り早期に全て廃止にするようにしなければならない。 　しかし、本シナリオは、いずれも今後20年近くにわたって原子力発電所を稼働させるというものであり、原子力の安全確保と将来リスクの低減という視点を十分考慮したとは言えない。 23つのシナリオという調査手法の是非 　本来、エネルギー・環境政策は多様であるはずなのにあえて3つのシナリオのみに絞り、国民にいずれかを選択させるという調査の方法は、国民の意見をいずれかの選択肢に当てはまるように限定してしまう。 　また、人間は3つの選択肢を提示された場合、中間的な案を選択する傾向がある(「極端性回避」の法則)。よってあえて3つの選択肢のみを提示するという意見聴取の方法自体が、国民を中間的な15%シナリオに誘導する危険がある。 3それぞれのシナリオの不合理性 (1)ゼロシナリオ以外では、核燃料サイクルを維持すること 　原子力発電と使用済み核燃料を核燃料サイクルで処理することは必然の関係にない。それにもかかわらずゼロシナリオ以外の案を支持すると、自動的に核燃料サイクルを継続する政策を容認することになる。 　本来エネルギー・環境政策において核燃料サイクルの是非は重要な問題であるから、独立させて国民の意見を聴取すべきである。 (2)本シナリオは原子力発電を地球温暖化という面から過大評価している。 　原子力発電においてもウラン燃料の精製や大規模プラントの建造のためにCO2を排出しているし、CO2の削減は、自然エネルギーの利用の拡大や化石燃料を利用した発電の効率化、省エネや温室効果ガス排出抑制政策など他に有効な方法で総合的に取り組むことによって実現できる。よって本シナリオが原発のCO2削減効果を過大視する点が不当である。 (3)ゼロシナリオについて、コストやGDPへのマイナスの影響を過大に見積もっている 　再生可能エネルギーによる発電は新たな地域産業を生み出し、他方系統対策コストや省エネ投資は新たな設備投資を生じさせるので、GDPにプラス効果を及ぼす。 　本件シナリオではゼロシナリオによる再生可能エネルギーの導入や省エネについて経済へのプラス効果を付記せず、マイナス面のみ強調しているため、国民を誤導する可能性がある。 4原発の運転開始について((1)(1)について) 　日本の周囲にはプレートの境界が多数存在するため、日本は全土が常に巨大地震の危険にさらされていると言っても過言ではない。また、原発の安全性は通常30年とされるから、運転開始後30年を経過したものは直ちに廃止すべきである。よって、頭書意見の通りとする。 5核燃料サイクル施設について((1)(2)について) 　核燃料サイクルについてはその安全性に問題があること、高速増殖炉計画が頓挫していること、余剰プルトニウムを保有することに国際的な批判が強いこと、再処理後の高レベル放射性廃棄物の最終処分方策が確立していないことなど様々な問題がある。よって核燃料サイクル施設も直ちに廃止すべきである。 6結語 　以上のとおり本件のシナリオはいずれも、原子力発電の割合をゼロにすることが困難であるかのように国民に誤信させ、世論を誤導する危険性があるから、撤回すべきである。 第3今後のエネルギー・環境政策について((2)) 1次期エネルギー・環境基本政策は原発の比率をゼロとすることを基本とすべきである 　日本国内で地震から安全な地域はない。よって10年という一定の期間を定め、その間、再生可能エネルギーの導入を進め、省エネ・省電力化など代替手段を講じ、できるだけ早期に全ての原子力発電所を廃止する。 2大量生産・大量消費社会から脱却し、地球温暖化対策をすすめるべき 　日本が過去に原子力発電を推進してきた原因は、大量生産・大量消費社会である。 　よって、大量生産・大量消費社会を脱却し、省エネ、省電力化、ガスシフトをより進め、地球温暖化と環境破壊を防止するようなエネルギー政策とすべきである。 3エネルギーシステム改革をすすめる 　再生可能エネルギーを積極的に導入し、温暖化のリスクを減らすためには、送電分離をして電力事業を自由化し、消費者が電気事業者を自由に選択することが必要である。また、エネルギー利用を効率的にし、都市自体をエネルギー消費の少ない構造にすることもできる。 　新たなエネルギー・環境政策は、上記の例を統合した政策となるべきである
56744	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	原発がなくても十分に電力は足りている。 予測不能かつ事故の場合に収束不能な原子力に頼らなければいけない理由はひとつもないはず。
56745	個人	学生	30代	女性	エネルギー、環境に関する選択肢についてゼロシナリオを指示します。	東電福島の原発で大きい被害が出た今、安全な原発は無いということが証明されたと思います。私たちにはコントロールできない地震が多発する日本です。 　世界に誇る日本の科学技術を更に研究し、発展させて自然エネルギー分野(安全で持続可能なエネルギー)をリードしていく存在になれるのではと思います。
56746	個人	会社員・公務員	70代	男性	ゼロシナリオ支持。全原発即刻廃止して下さい。	多くの人命が脅かされる可能性のある原発は、もういりません。そのために経済問題が発生しても電気製品が使えなくなっても仕方ない。 日本は経済大国競争から脱却して、イタリアのようなそれぞれの地方の文化や伝統を大切にする国になることを望みます。 日本の最近の若者が飲酒やブランド製品に興味がないことからも、今後の日本の飲食業界や服飾業界の衰退は否めないものと思います。 ここで本来の日本の良さである、手先の器用さ、伝統的な職人技術、農業に予算を投入して欲しい。 また、簡単にできる電機対策として、むやみに料金をあげるのではなく、夜間料金を値下げすることにより、企業や工場のピークを夜間に誘導することはできるはず。
56747	個人	家事専業	50代	女性	(1)　0%を選びます。それ以外の選択肢はありません。	今回の原発事故を見て、はっきり、制御できない核は持つべきではないと確信しました。0%を選択します。
56748	個人	学生	10代以下	女性	第四のシナリオ	ゼロシナリオ以上の目標を求めます。 その理由は言うまでもありませんね。 もはやテレビでもその指摘はあります。 国民をなめないで。
56749	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ	廃炉2030年では遅すぎる。
56750	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。 原発の再稼動に反対します。	大飯原発の再稼動前に、関西電力のエネルギー供給が500万kW足りないという新聞報道と政府見解を見ていました。ところが調べると大飯原発の3，4号機は単機容量が118万kWで，両方足しても500万kWにはならず，また，予備率を考えても電力不足にはならない計算でした。 火力発電所やその他の発電所のメンテナンスのため止めなければならないからという理由もありましたが，その想定は電力会社の義務で，その想定の上で電力施設の計画を立てるのですから最初から考えているはずです。 つまり，新聞報道，政府発表，電力会社幹部の言い分は嘘であることが分かりました。 そして最後は，関西電力みずからが，再稼動は経営存続のためであった旨を公表しています。実際の関電の需給を見ても，8月のお盆になるというのに全然足りているし，福島原発・柏崎原発の両方とも動いていない東電についても，需給については全く問題はおきていませんし。 石油や天然ガスの輸入費用の問題がありますが，これは日本だけが不当に高い価格で購入を余儀なくされているから問題になっていると聞いています。外務省が適切な外交をしていないのではないのでしょうか？ また，火力以外の地熱などを有効に活用すれば，国定公園に踏み入らずとも，現在1000万kW越えはできると聞いています。機器についても三菱重工が大量に海外に販売しています。シェールガスが必要ならば，日本海領海にあるメタンハイドレードを採掘すればよいではないですか。人件費と輸送費の比較的安いロシア極東の天然ガス開発に投資すればいいではないですか。 なぜ経済産業省と外務省はそうした有効な部分を使わないのでしょうか？元々の仕事なのに，面倒だからしないのでしょうか？ 原発については，「核」として利用し日本の外交安全保障に貢献する話もありますが，そうした効果を得る前に，自国民に大きな被害を与えました。放射能の人体への影響うんぬんの前に，県，国，政府，電力会社，その他が，自国民を適切に誘導できず，説明できず，避難体制を整えられませんでした。 国内だけの話ではありません。海外から放射能被害の賠償訴訟が起きているそうです。国民に放射能の被害が全くないことを説明できないのに，訴訟で海外に勝てるのでしょうか？ 福島第一原発では，何人も死んでいるのに，まるで約束事だったかのように，警察は1年以上全く捜査をしませんでした。また東京電力に入り，証拠保全もしていません。警察や検察は一体何をもって，事件性のあるなしを判断しているのでしょうか？ 現在，運営でききちんとできない3流以下の国家体制の下で，下手をすると世界中に被害を撒き散らすことになるかもしれない原発など，危険で運転させられません。そういった体制作りには独裁者が居ない限り百年はかかります。 以上より，運転が危険な原発は一旦ゼロにして，別の比較的安全なエネルギーを開発する方が望ましいと考えます。
56751	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	なるべく速やかな原発の廃止を希望します。
56752	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを求めます。	原発はいりません、原発があること自体がすでに恐怖でしかない。何かがあってからでは遅いのです、もうそれは起きてしまっています、取り返しはつかないのです。世界に対して日本国ができることは早急に原発ゼロを目指すことです。地球上の生命の繋がりにこれ以上の影響を与えて許されるとは思いません。原発をゼロに、ゼロを目指す事によってこそ素晴らしいアイデアが生まれてくると信じます。

56753	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は早い時期に0%にしてください。 そして、田中俊一さん他、原子力村の住人を原子力規制委員にしないでください。	今回の原発事故で、いざというとき政府や電力事業者は、今までの仕事の怠慢を指摘され、 責任を追及されるのを恐れるためにさまざまな隠ぺいを行いました。 議員や官僚、そしてマスコミも東電から常日頃から多額の金銭を受け取っていて、今でも 東電を守っていると聞きます。 そして責任や常識のないこの者たちの情報の遅れから、福島を中心とした関東、東北の国民無用な被ばくをしました。土地を汚されました。放射線による内部被ばくや外部被ばくで、これから子供たちをはじめとする多くの人々が、癌など病気を患い、何代も遺伝子異常で苦しむ人が後をたたないといわれています。チェルノブイリの件を見れば分かります。 そんな取り返しのつかない大事故を起こしておいて、また原発を続けようなどとどうして言えるのでしょうか？今すぐにでもストップすることが、最低の懺悔ではないでしょうか？ 規制委員には田中俊一さんを始めとする推進の方々を入れるのはやめてください。 国民を助けようといち早く情報を発信してくださった、中部大の武田邦彦教授をぜひ委員にしてください。 国民はすべてお見通しです。間違った選択を政府や官僚がした場合、利権にまみれて人間を捨てたその人たちの名を皆一生忘れないでしょう。末代までの恥だということを肝に銘じるとよいでしょう。
56754	個人	自営業	40代	男性	2030 年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢について、 当然ゼロシナリオでなければならいと考えますが、 2030年時点を目指すのではなく、今すぐにでも可能な限りゼロに近づけるべきと考えます。	日本が現実的かつ理不尽に経験した原爆や原発事故を顧みない政策は愚かです。 全世界に迷惑をかけている事を自覚すべきです。
56755	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオで、原発比率はいくべきである。	福島原発の事故で明らかになった原発のリスクは、人類の存在そのものを脅かすものであり、 全く持続的ではないから。 ゼロにすべきである。
56756	個人	その他	50代	女性	2030年の期限が伸びたとしてもゼロシナリオを採択し、原発に依存しないエネルギー循環を作る事が必須です。	原発については、プルトニウムを10万年保存とか、廃炉にするのに40年とか、「今現在」の政府や電力会社の方たちには責任を負いきれないスパンで進行することが判っています。そのためか、今の政策は、次の選挙や次の国会などの卑近なスパンでしかものごとを考えていないように思えてなりません。 問われているのは日本の（あるいは世界の）未来であり、今ここで決断しなければ、この次の「想定以上の事故」が起きるのを手をこまねいて待つばかりです。当初は10万年に一度の確率というふれ込みだった原発が、チェルノブイリ、スリーマイルと25年に一度は事故が起きている現実。原発の方式が違っていればこんな事故にはならなかったという理屈も、一度事故が起きてしまえば周囲に及ぼす影響に違いがあるわけではありません。 関東以北では、昨年来の節電モードに対応して、それなりの対策が進んでいます。関西電力以西に於いて、大飯原発を稼働させることで今まで通りの生活ができますよ、と節電意識を分断させることで、なしくずしに原発を認めさせる懐柔策をとっているようにも見えてしまいます。ある意味、節電対策をさせない地方の人々を侮ったやり方です。 日本国政府として、日本国全体に正しい危機意識を持たせ、国の方向転換を図って未来に繋げる政策を打ち出すのは今です。どうか目先の選挙、目先の政権、目先の利益ではなく、国としての舵取りを、方向をしっかり示して下さい。 東北の被害者が気の毒という情緒に流れたものではなく、狭い国土で万が一の事故が起きたらフォローしきれない原発を持ってしまっている事実と、原発をなくすにはどういう方向に向かえば可能なのか、国民の意思統一ができる指針を毅然として示して頂きたい。
56757	個人	自営業	30代	男性	「ゼロシナリオ」の選択、出来る限り早く脱原発を実現させるを求めます。	三つのシナリオのうち、1）原発ゼロシナリオにすべきです。 福島第1原発事故の原因や根本的な防止対策などーつも解明されていない中で、原発再稼働などとんでもない話です。ましてや活断層が縦横に走る地震大国日本での原発は、世界の笑いものになるだけでしょう。 一部の先生方が言っている、原発を止めれば技術大国日本が後れをとる、というなら事故防止対策で世界のトップに立てばいいのです。 原発に代わるべき電力は太陽光発電、風力は無論のこと、地熱、波力、潮力など目下開発が進んでいる先進技術に、国がそのための法律を決め、もっと潤沢な資金を早急に投入すれば良いのです。周囲を海に囲まれている日本ならでは、の波力、潮力を活用すべきです。
56758	個人	その他	40代	男性	すべての原発の即時「廃炉」を希望します。	福島原発事故で、日本の国土の半分が壊滅する直前だったことがわかっています。次に地震がきて、原発事故がおきたら、日本と言う国がなくなってしまうかもしれません。 このような、危険なものは即時おやめください。 即時、全原発の廃炉、、を希望します。
56759	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発0%を望みます。	原発の再稼働に反対です。 将来は原発の稼働は0%を望みます。 地域循環人型社会への移行を望みます。
56760	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢について「ゼロシナリオ」を支持します！	すべての原発について再稼働することに反対です。 現存する原発は速やかに、なるべく早く廃炉にしてゆくべきです。 「人が作ったもの」は、いつか壊れます。 100%完璧な安全などあり得ません。 いざ壊れた時に起こりうるリスクを考えれば、 私達は原発に頼るべきではない。 自分たちが生きている間に廃炉作業は完了しないかもしれない。 それでも、未来に安心を受け継いでゆくためには『脱原発』すべきです。 経済よりも安全の方が大事です。
56761	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオを支持し、選びます！	原発なんて、来世に負の遺産を残すばかりでなく、人体に多大な悪影響があり、自然の生命体にも影響がある。そんな危険なモノなんて地球上に必要ない。 原発でなくとも電力を作る技術がある日本。地熱発電とか大地の恵みで発電可能。それなのに、原発原発と、進める政府もどうかしてます。 命はひとつしかありません。大切に思うのであれば、原発に頼ることもありませんし、反対するのは当然な事です。過疎地に再生可能エネルギー発電所を作れば、そこで雇用が生まれ、活性化も期待出来ます。 日本…いや、地球の生命体全てにおいて有害な原発は即刻廃止すべきです。再稼働や新設しないことです。 原発をやめる事です。 核廃棄物を作ってはならない。 ゼロシナリオ を選択します。 あなた方も、人間でしょう？大切な人も居るでしょう？ 守らなければならないのは何か、良く考えるべきです。 原発いりません！
56762	個人	無職	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	昨年3月の東北大地震に伴い、前代未聞の大事故を起こした福島原発はいまだに危険な状況を脱していない上、廃炉にする目途さえ立っていないようです。家族を分断され、生活を破壊され、避難を余儀なくされた人々は、未だに、憲法で保障された安全で文化的な生活が送れずにいます。 日本列島は、いつどこで巨大地震が起きてもおかしくない状況にあります。多くの既存原発も、危険な活断層の上に建てられています。もし東北大地震のような巨大地震が起きた場合、福島の原発事故の二の舞、三の舞の事故が起きることは明らかです。 福島の事故で、原発の危険性、事故対策もなかったお粗末なマニュアルで原発を動かしている電力会社の実態が露呈しました。安全神話で住民をごまかして、危険に無防備にさらした愚かさは許されない。これ以上、我々の命と生活を脅かさないで欲しい。 また、原発の副産物、プルトニウムなどは数十万年という気の遠くなるような半減期、未来にこのような危険物質を残すことも大きな問題です。 このような危険な装置、原発は即刻停止して、代替エネルギーの開発、生活の見直しに力を注ぐべきだと思います。
56763	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。たとえ事故が起こらなくても安全な状態になるまでに10万年もかかる原子力発電はすぐにでも中止すべき。すぐにゼロにできないとしても5-10年でゼロにし、その間に自然エネルギーを推進し、安全なエネルギー政策を進めるべきです。
56764	個人	その他	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。 原発54基の発電を停止し廃炉に向かうべきです。	地震大国日本には福島第一原発事故で原子力発電は国民の生命を危険に晒す市民の生活を破壊する日本には適さないリスクが大きすぎる物だとハッキリ証明されました。 一旦事故が起これば放射性物質が飛び散り人々が被曝の危険に晒され住民は故郷から離れ生活の基盤まで失われる事は今回の福島第一原発事故により明らかになっている今でも多くの住民が苦しんでる。 原発を稼働すれば必ず出る使用済み核燃料の最終処分場も処分方法も無いのにこれ以上核のゴミを増やすべきではない、ゴミをこれからの子供たち子孫に預けては残していくのは罪です。 発送電の分離をするべきです、自由競争が無くて経済の発展も新しい安全な技術の開発も無いからです。
56765	個人	自営業	30代	女性	原子力発電は 2030 年といった遠い将来ではなく、今年、来年程度の短期間で 0 にすることが必須であると考えます。	福島原発で多大な事故が起こり、原子力発電所の事故の確率がこれまでの公式の主張に比べて桁も高いものであること、技術の不確かさ、原子力をとりまく構造の腐敗が明白になりました。 今回の事故を教訓として既存の全ての原発に対策がとられたとしても、原子力発電所ではこれまで予想もされてなかった、あるいは今回の福島の事故のように可能性は指摘されていたものの想定する必要がないとされていた事故が起こる可能性は否定できず、また事故が起った時に取り返しのつかない悲劇を生む性質を持つものであり、他の技術と比することができない危険性を無視することは出来ません。 また万が一現在の原子力発電所でこれ以上事故が起きなかったとしても、使用済燃料の再処理技術が確立しておらず、日本の不安定な地殻を考えるとその将来の可能性にも疑問を抱かざるを得ません。その処理のコスト、その間の被曝労働、環境負荷は私たちの利益の為に子孫に残すには大きすぎる数万年スパンでの負の遺産です。 原子力は 2010 年で電力の 26 パーセント、一次エネルギー全体から見ると 10 パー セント以下にすぎないものです。まず原子力の利用を完全に停止し、省エネルギーをあらゆる分野で推進し、天然ガスの利用、太陽エネルギー等の再生可能エネルギー の利用の推進、送電網の自由化、地域資源エネルギーの創出により CO2 排出の削減、コスト削減をはかっていくべきと考えます。また、このような政策により日本の省エネ技術を飛躍させることは、新しい産業／地域社会の発展につながり、そうして日本が世界を先導する力を育成する事こそが私たちが考えうる最も合理的でポジティブなエネルギー・環境の未来であると考えます。
56766	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオを支持します	日本は電気を使いすぎているのだろうと考えていまして オフィスや家庭でも部屋が明るすぎますし その明るさが普通と思ってしまっているように思います 東京で計画停電が実施されたとき 街は少し暗くなりましたが 常時あれくらいで十分だろうと感じる人は沢山いたのではないかと思いました ひとりひとりの意識（これが普通だと思っていること）を 少しずつ変えていけるように誘導できれば もっともっとエネルギーの使用量を減らせると思うのです いま計上されている必要なエネルギー量も見直されるべきではないかと考えていて そのうえで原発を稼働せずともやっていける仕組みを構築できるのではないかと思いました
56767	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。	すでに電気は足りていることが明白。 破綻するのは原子力産業。 新たなエネルギー開発により雇用創出が可能。 ガス・火力でキ分に賄えるし、原発よりはるかに 地球環境に優しい。
56768	個人	無職	60代	男性	原発を期限を決めてゼロにする。	現実の問題として、これだけ多くの時間と人々が苦労しているわけですから、エネルギー問題から原発は除外して考えるしかすべはありません。
56769	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発再稼働反対。原発0の国になってほしい。 人の手に負えない原子力から電気を作るのではなく、他の方法でまかなえる工夫をしていくべき。	原発再稼働反対。原発0の国になってほしい。 人の手に負えない原子力から電気を作るのではなく、他の方法でまかなえる工夫をしていくべき。こんなにも地震の多い国が原発を活用するのは、恐ろしい。漏れ出た放射能により、健康を失うのは酷過ぎる。
56770	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）!!!!!	子供達やこれから生まれてくる子供達のことを考えたら過去に原水爆を投下され、歴史上最悪の原発事故を起こしたこの地震大国日本で万一また事故が起きたら誰も責任を取ることのできないことが明白な原発を稼働し続けるなんて考えられない！原発稼働し続けようとする輩は地球外に住む土地でも確保されるのですか？！今すぐに全ての原発を止めて下さい。
56771	個人	自営業	50代	女性	原発0シナリオを絶対支持します。日本だけでなく全世界でここに向かわなければ人類は滅びます。かけがえのない地球が滅亡します。	福島でおきた原発事故は、人類に大きな課題と示唆を与えています。しっかり受け止め、生命輝くゆたかな地球を守る英知・技術を総結集するときです。核による被害を三度受けた国として、その実態を明らかにし原発0の施策の行動を推し進めなければ大きな禍根を残すことになります。どうぞ、一国の、一部の利益という狭い見方にとらわれず、大きな立場に立って勇気ある決断をしてください。
56772	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存0パーセント	即時全面稼働停止。極力速やかに全面廃炉
56773	個人	自営業	40代	男性	3つのシナリオのなかでは「ゼロシナリオ」を選択しますが、再び福島のような事故が起これば日本の壊滅を逃れることは出来ないので、速やかに国内の原発を最大限に安全な状態にするべきだと考えます。	3つのシナリオのなかでは「ゼロシナリオ」を選択しますが、いま動いている大飯原発も停止して、速やかに国内の原発に最大限に安全な状態にするべきだと考えます。 チェルノブイリ事故、スリーマイル島原発事故、そして福島第一原発での事故をみれば、原発による事故は広大な土地をほぼ永久に放棄せざるおえません。そしてそれ以上の地域で放射性物質におる汚染の被害の心配を抱えながら生活しなければいけません。国土の狭い日本では福島の損失は計り知れないものとなりました。 このように原発の事故のリスクは社会を壊滅させるほど膨大であり、すでにひとつの甚大な原発事故を起こして多大な損失を負い、これからも負担して行かなければならない日本で、再びこのような事故を起こすことは絶対に避けなければなりません。 原発の持つリスクを考えれば、万が一のミスによる事故、予期しなかった技術的欠陥による事故、想定外の自然災害による事故もあってはならないことであり、それを防ぐには安全技術、運用、規制が完全無欠でなければならないと考えます。しかしそれは不可能です。 したがって、福島のような、あるいはそれ以上の手に負えない事故は再び起こりうると考えて検討する必要があり、その結果、原発の使用をやめるというのが私の結論です。
56774	個人	自営業	60代	男性	2030年と言わず一刻も早く原子力発電は、止めるべきだ。 そのためにも官民一体となって代替えエネルギーの効率を高めていくこと、消費電力の少ない製品開発に専念すべきだ。	そもそも人という生き物は核物質と手を組んではならないと私は思います。 なぜならば人は必ずミスや過ちを犯すからです。3.11福島原発の事故はまさしく人の愚かさ炙り出す結果となりました。事故が起きたら人の能力ではコントロール出来ないことがまたしても証明されたわけです。 さて、この事故によって被災者の生活及び将来はどうなっていくのか、そのことが心配されている中で経済の発展のためには国の責任で原子力発電を進めるべきだとの意見があるが、国の責任とはどういうものなのか、それこそ責任を持って考えていただきたい。 それから、不思議でならないのが使用済み核燃料処理の問題を何故語らないのか、不都合な真実かもしれないが深刻な問題である。隠さないでいただきたい！ 原子力に頼らないエネルギー政策こそ日本の経済発展につながると私は考えます。

56775	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。 また再稼働も支持しません。	そもそも事故が起きた時に放射性物質を抑え込むことができないことがはっきりしました。 事故調においても結局原因については地震と津波だが事故がどのように進展したか不明とあるように、はっきりと追及できていない。 もしかしたらできないのかもしれないが、それならなおー層そんな不可解なものを動かすことができないと考えます。 もっとも大きいのは、核のゴミ。再利用は技術的にも無理。 コージェネや自然エネルギーへのシフトによるエネルギーへの転換と廃炉技術で日本はリードしていくべきと考えます。
56776	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電のリスクの大きさから「原発ゼロシナリオ」を支持します。	3.11の事故から半減期30年の物質であっても、その処理に膨大な時間と労力・コストがかかることを学びました。また、この事故の関係から、原子力発電に用いる核燃料の生産工程で生ずる放射性廃棄物、発電後に生ずる放射性廃棄物などの安全かつ安定的な処分方法が未だ開発されていないことも知り、子孫や環境のために、これ以上、放射性廃棄物を増やしてはいけないと思った次第です。 このような理由で、2030年「原発ゼロシナリオ」を支持します。 なお、同時に自然エネルギーなどの代替エネルギーの開発に、国として注力していただきたいと希望します。その動きとスピードが重要ではないかと考えます。
56777	個人	パート・アルバイト	40代	女性	2030年には原発0を目指すべき。	○事故のさいの危険性が高すぎる。 ○廃棄物の処理の問題は永遠に解決しないと思います。 ○原発でなければ電気が得られないことはないはず。
56778	個人	会社員・公務員	30代	男性	「20～25シナリオ」 国民も議員も地に足をつけた議論をすべき。 ポピュリズムのために国家100年の計を誤るな。	エネルギー政策とは、言い換えればその国の産業・経済・国民生活の行方を左右するグランドデザインにほかならない。国家100年の計をたった3シナリオに限定したパブリックコメントに集約させるというのは愚の骨頂である。 しかし、政府方針として原発依存度を出来る限り減らすことは決まっている。それならば私が考える最大限の妥協案は「20～25シナリオ」にほかならない。 日本は少子高齢化の只中にあり、革新的な対策がなされない限りGDPの縮小は避けることができない。これより分母の大きい高齢者世代は、貯蓄を切り崩しての生活になることが目に見えている。国民貯蓄が切り崩される中で、ゼロシナリオ・15シナリオを行った場合、その財源はどこにあるのだろうか？電気代の上昇だけですべてを賄うのか、そんなことは半官半民の電力事業者でも不可能であろう。それらがGDP縮小にさらなる追い打ちを掛けることになるのは必然で、「失われた20年」どころではなく、次に待つ最悪の事態は容易に想像できる。 反原発派や一部マスコミによる感情的な議論に終始しがちだが、机上の空論での「たられば」を言い出したらキリがない。必要なのは現実的に地に足をつけた議論と、マスコミによる論証だ。 確かに福島第一原発の事故は、日本が未だ経験したことのない未曾有の事故であった。原子力ムラの在り方、国家としてのリスクマネジメントの在り方、原発事故調査委員会の在り方等々、本格的な原発再稼働に向けて、やらなければならないことは山積みのはずだ。事故調が人災と断定したこの事故は、然るべき人間に然るべき責任を取らせることをせねば、有耶無耶のまま同じことが起こるだろう。本格的再稼働にはまだまだ拙速であると最後に断わっておく。
56779	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持。 原因解明がまったくなされていない段階で、国民的議論は不可能。 すぐに原発を停止し、廃炉に向けて進めるべきである。自然エネルギーなどへの転換に早急に取り組むべきである。	20～25シナリオにある「原子力及び原子力行政に対する国民の強固な信認が前提となる。」ということは将来的にもあり得ないと思う。福島の事故後国や電力会社は国民に対して事実を伝えるということをしてこなかった。 そういう中で原発を稼働することは許されるべきではないと考える。 原子力発電はもう日本には必要ないし、早急に自然エネルギーに移行すべきである。
56780	個人	会社員・公務員	40代	男性	0%シナリオを選択します。	原子力発電は、きわめて低コストとは言えないこと、廃棄物の最終処分が明確でないことなどから長期的な視点で持続可能なエネルギー供給手段とは言えないと考えます。さらに、自然系の持続可能エネルギーの需要が世界的に見えていると考えますので、我が国の国際競争力の回復には同エネルギーの技術を確立するべきと考えます。
56781	個人	学生	20代	女性	1.原発ゼロシナリオを支持します。	現在進行形で福島の事故が収束していない以上、原発には手を出すべきでないと思います。未来の世代に大きな脅威をもたらすことになりかねません。それだけでも十分な理由になるはずです。 また、省エネの徹底や自然エネルギーの普及目標が不十分であることも気がかりです。まずは原発ゼロをめざし、安全で自然環境にも配慮された自然エネルギーの普及を模索すべきではないでしょうか。 したがって、私はゼロシナリオを支持します。
56782	個人	その他	40代	女性	全国すべての原発を廃炉にし、再稼働は一切新せず、自然エネルギーを開発していただきたい。	1．原発廃炉：日本は地震国でありの大震災で大変な被害を被った。福島第一原発が事故を起こし、食糧や水、土地、そして海が大変な汚染にまみれてしまった。これは人災です。こんな地震国に原発が54機もあるとは尋常じゃありません。必ずすべて廃炉にしてください。電気より人の命が大事です。 2．再稼働は一切しないでください：昨年の原発事故で食糧、水がだめになりました。地震も続き、首都圏直下型も考えられます。再稼働は一切やめていただきたい。 3．自然エネルギーの開発：日本のような地震国に原発は無理です。核燃料廃棄物処理も不可能です。最終処理ができない原発は使用してはならないと思います。今後、自然エネルギーの開発へ方向転換し、助成を多くし、かつ商売につながるように進むべきだと考えます。 日本人の特性として経済性が出てくると、発展します。 そこにうまく乗せ、将来の日本、子供達に安心して使用できるエネルギーを残していきたいと思います。 よろしくお願いいたします。
56783	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオ、即時！	2011年の震災、原発事故を受け、多大なる未来を亡くしたと感じています。 政府の出したシナリオ、2030年までにゼロというのは、余りに時間を取り過ぎです。 こうしている間にも、事故現場で働いている作業員や、原発から近い地域に住む人々、とくにこどもや若いひと達は、日々、被曝を強いられている。 現に症状が出ているというのに、まだ原子爆弾を抱えていこうと言うのか。 チェルノブイリからすら、何も学べなかったのか。 この小さな島国に、核を利用したものなどいりません。 若い芽を摘むようなテクノロジーは、滅びます。 何万年も先に、生き残れますか、維持できますか、誰がやるのですか。 あなた達ではないのです。 こどもたちの、そのまたこどもの、その先の、、、 そのような他人任せなエネルギーは、地球さえも壊してしまうことでしょう。 自然への畏敬の念を、忘れないでください。 戦争で疎開をさせてまで守られたこどもを忘れないでください。 その中に、あなた達や私達、その子供達がいるのです。 毒を作るのなら解毒剤を。 その為、 私は　原発ゼロシナリオ、即時！
56784	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロにしてください。	放射能は恐ろしいです。福島の事故を受けた現在、向かうべき道は原発のない自然エネルギーへの転換以外考えられません。
56785	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発のない社会をつくりたい	今すぐ0%というわけにはいかないとは思っています。 でも、原発はなくなるべきです。 わたしは科学者でもないし代替エネルギー案なんて提案できませんが、それでも、このまま不安ののこる国で子供を産んだり育てたりしたくありません。
56786	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発比率0%を支持します	すべての原子力発電所を廃炉とし、再生可能なエネルギーをより推進すべき、と考えます。 廃炉には長い時間がかかります。一気に雇用がなくなることは無いと考えます。 風力、地熱、そして太陽熱エネルギーを推進することで火力発電への依存度を減らしてください。 一時期に電気料金が上がったり、供給不足が生じるなどの問題もあるでしょうが、そうならないように最善を尽くしてください。それが政治であり、選ばれた者の務めであると考えます。 以上です。 ありがとうございました。
56787	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオがいいです。	いろんな食べ物が食べられなくなるし、将来が危険だからです。
56788	個人	自営業	40代	女性	原発は全て廃止し自然エネルギーを確保する方針にシフトするべき	現在の段階で、私達人間が完全にコントロールできるものではない原子力発電、しかも命のリスクの上に成り立ち、負の遺産を残し続けるようなシステムによりエネルギーの供給をし続けるという考え方を改めるべきです。既に日本の国だけの問題ではなく世界中の問題ともなっている福島原発の事故処理の問題にしろ、収束すらままならないうちに、そして国民の声すら聞かずに大飯原発の再稼働がされたことに関しても遺憾でなりません。 たとえコストがかかっても今後は自然エネルギーにシフトする努力が必要ですし、原発の廃止、再稼働など重要な案件を国民投票で決めるということも必要になってくるのではないでしょうか。 国民の、政治家に、政府に対する不信感を増やさないよう、情報も正確に公開するべきです。
56789	個人	会社員・公務員	30代	男性	電力が十分に足りている状況で原発を動かす意味がわからない。即時廃止希望。	電力が十分に足りている状況で原発を動かす意味がわからない。即時廃止希望。
56790	個人	自営業	40代	女性	原発はゼロにしてほしいと思います。	最終処分処理が出来ない、方法が決まっていないのに稼働は反対です。 福島第一原発事故の処理も進んでいないのが現実です。
56791	個人	自営業	30代	女性	原発をゼロにしつつ、温暖化対策も目標にいれた第四のシナリオを進めるのが良いと思います。	原発は、廃棄物の処理問題が全く解決されていないので、ゼロシナリオを選ぶしかないと思います。 ・自然エネルギーは、本当の意味で国産エネルギーなので、それ中心の社会を目指すべきだと思います。 ・今回の「国民的議論」のやり方では、本当に「国民的」議論になるか心配です。 ・温暖化対策で日本が世界に貢献していくことは、日本経済にとっても重要です。
56792	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は即時廃止にして下さい。	福島の事故では、廃炉にする技術さえ確立されていません。 同じような事故が起こる可能性が0で無い以上危険すぎる。
56793	個人	自営業	40代	女性	ゼロシナリオを支持いたします	日本のエネルギーについて国民全体で議論を深めたい、というこの時に、意思決定を先送りしているだけのような15シナリオは支持する事が出来ません。 まずはゼロを目指したいのか、現状維持またはそれ以上にしたいのか、その意思をはっきりとすることが大事だと思いました。 廃棄物の処理の問題が未解決なことと、現在のエネルギーの供給と消費の歪みに対する経問がゼロシナリオ支持の理由です。 また、ゼオロシナリオは国民の負担が大きいような印象を受けますが、原子力には多額の国家予算がつぎ込まれているという話も聞きますし、本当に国民負担は増えるのだろうか？とも思います。 原発ゼロによる不便・負担増は納得のいくものならば受け入れるつもりですが、より良いゼロシナリオを考えることもできると思います。
56794	個人	自営業	50代	男性	いのちが第一　0パーセント	多数の命にかかわる問題なので、命を優先するためには0パーセントにするのが望ましい。
56795	個人	学生	20代	女性	私は原発ゼロシナリオを支持します。	もし原発に頼らないでも国民が生活できるのであれば、できるだけはやく原発をやめるべきです。実際今回の東日本大震災による福島の事故によって国民の健康が脅かされ、さらに原発の影響による国民の精神的不安は大きくなっています。国民の生活を支えるべきエネルギーシステムが、国民の生活に不安を与えている現状はおかしいと思います。 確かに温暖化防止対策には不十分かもしれません。しかし、未来の温暖化による影響も大きな問題ですが、今現在の我々国民の生活はおろそかになってもいいのでしょうか。
56796	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。2030年までは遅すぎるのでできるだけ早く希望します。そして節電の割合が低いので、もっと増やすようにして欲しいです。	使用済み核燃料の処理問題もあるのに、これ以上原発に頼る必要はないと思います。一部の欲深い人たちの思惑に全国民が騙されてきて、ここまできてしまったと思います。負のループからどこかで抜け出さなければなりません。わたしたちはもっと節電できます。企業ももっと節電するべきです。今まで贅沢に電気を使っていた日常が狂っていたのだと思います。一刻も早い原発ゼロを求めます。
56797	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを支持 2030 年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする	意見は、2030年までに、と記述があるが2030年まで原発を使ってよいという意見ではない。例えば2012年8月13日に原発0も意味する。 大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。 日本が巨大地震のサイクルに入ったにもかかわらず原発を推進していくのはリスクを伴い、原発を推進するほうがコストがかかる。 自然エネルギーはコストがかかるというが多くの人が使うと技術革新が起こりコストは必ず安くなる。 政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。 今後は、自然エネルギーを推進してほしい。再処理の廃止をしてほしい。
56798	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。原発をできるだけ早く完全廃炉にし、原発依存度を0にすることを希望します。	ゼロシナリオを支持します。地震国である日本に原発はふさわしくないと思います。再び原発事故が起きた場合、「想定外」という言い訳はもう許されません。よって、原発をできるだけ早期に完全廃炉にし、原発依存度を0にすることを切望します。放射性廃棄物の安全な処分方法と代替エネルギーの更なる開発に尽力し、日本が福島の原発事故から学ぶ能力をもった、知性ある科学技術大国であることを世界に示してほしいと思います。
56799	個人	自営業	30代	男性	エネルギー選択肢として、20～25%シナリオを推す	・0%を支持しない理由 特定の発電方法を全く採用しないというのは、エネルギーの安定供給という面から見て好ましいと思えない。 ・15%を支持しない理由 大規模な太陽光・風力エネルギーを導入する事が環境に及ぼす影響が精査できているとは思えない中で、現在の20倍以上の発電を担わせるのには不安がある。 ・20%～25%を支持する理由 2030年には現在の水準を維持しつつ、それまでに他の発電方法の研究や既存の発電方法の大規模化を図る研究を続ける。 その上で2020年や2025年等のタイミングで、次の2040年や2050年の発電計画について考えていくことが望ましい。
56800	個人	自営業	50代	男性	原子力0%を望みます。 何十年も先の話ではなく、即刻（早急に）全原子力発電の廃止・廃炉を望み願います。	今現在の人間の享楽的なエネルギー消費のために、大量の放射性廃物（核分裂生成物・死の灰）を生み出しています。その負の遺産を何十、何百世代も先の子供たちに残してしまおうとしている。 そのような罪深い事に、もうこれ以上加担したくありません。 何万年も残るようなゴミをこれ以上作るのは止めて、地球にやさしいエネルギーを望みます。 核の恐怖のない、原子力に頼らない社会に一刻も早く移して行くべきだと考えます。

整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
56801	個人	その他	60代	女性	原発ゼロにすべきです。	(1)安全な原発はありえません。放射能は無毒化できません。2度とフクシマを繰り返さないよう、被曝者を出さないようにすべきです。 (2)今夏も、原発なしで、エネルギーは足りました。停止中の原発も動かさなくても、十分やっていけます。 (3)大飯原発も活断層が心配です。2度と子や孫に大きな負担を強いないように、すぐに停止すべきです。
56802	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	原発ゼロシナリオを支持し、2030年を待たずに可能な限り速やかに現行の原発を廃炉することを求めます。原発の運転を続けることは、解決策の見つかっていない放射性廃棄物再処理の問題、最終処分の問題を放置し続け、新たな放射性廃棄物を生産し続けることになります。 地域分散型のエネルギー供給を進め、電力システムを改革してください。
56803	個人	その他	30代	女性	エネルギー比率で原子力は0に、原発は廃炉に向け即刻停止して欲しいです。	自然災害に絶対耐えられる構造物などあり得ない。 原発が壊れて放射能が漏れれば 取り返しがつかない。 環境は半永久的に汚染される。 一方、原子力エネルギーには火力という代替がある。 だから原子力エネルギー利用はやめて欲しい。
56804	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロを強く望みます。 廃棄物処理を含めて、福島復元を最優先すべきだから。	(1) もっと省エネを進めることが可能（特に電力）。また、石油ショックの時の ようにあらゆる無駄を総点検すべきである。 (2) 原発事故の原因を究明し、福島を元通りにすることこそ最優先すべきであ る。それまで原発をすべて止め、解体、廃棄物処理のためのプロセスを作成す るプロジェクトチームを作るべきである。それが国策として進めてきた政府・ 企業・学者の責任の取り方である。 (3) 高速増殖炉や核融合炉などの無駄な研究はやめ、国費を別に回すこと。 (4) G電力独占ではなく、分散型エネルギーシステムを作ること。大都市集中型 ではなく、地方への分散を基本にした省エネ街づくりを進めること。地方の過 疎化を防ぎ、第一次産業を重視した省エネ街づくりが可能であるはず。
56805	個人	自営業	60代	男性	原発0%を選択。 国家・国民の未来のために、即原発0%。 現原子力ムラ住民たちのには、エネルギー政策の中で働く場を確保すればよい。 政策転換は素早くやれば、少ないコストで大きな効果を生む。	明日からでも原発0%は可能。 大飯原発再稼働するまでは、原発0%であった。この夏（2012年）どこの電力会社も、大規模停電を起していない。電力会社は、節電も呼び掛けていない。供給電力は、需要を十分越えているのが現状であり事実である。電力会社は、需給の問題でなく、経営の問題であると言っている。つまり、原発0%で困るのは、電力会社の負債が一挙に増えるからである。原発事故による国家の危機は無視して、事故後の賠償費用を政府に肩代わりしてもらって、電力会社自身が儲けることだけが、経産省から課せられた間の使命となっている。こんなことは、多くの国民が、認識し始めていることである。 だから、市民によるデモがだんだん激しくなっている。 日本国土に超危険物を放置し、（安全・経済・環境）問題を先送りしてはいけない。 CO2が温暖化の原因だという科学的事実はない。原子力政策推進のため、常に科学者の意見は排除され、御用学者の意見が法律作成に利用されてきた。 周知のことは、福島原発事故が地震で引き起こされたということであり、このことは複数の科学者が科学的に証明している。原子力規制委員会の正常な規制機能が働けば、耐震性に問題のある日本の全原発は再稼働できないはずである。だが、原子力規制委員会は、経産省のゴリ押しにより原子力村の村民で構成されているそうである。 原子力で発電することには、経済合理性がない。これは、昔から知られていたことであるが、最近では、この7月31日のフィナンシャルタイムズで、原子炉メーカーGE（ジェネラルエレクトリック）のイメルトCEO（最高責任者）がインタビューに答えて、原子力発電について「天然ガスや風力による発電に比べて非常に割高」と述べ、（発電は）「天然ガスと風力、或いは太陽光の組み合わせに多くの国が向うだろう」と述べたと伝えられている。昔から、原子力が水力、火力に比べて発電コストがかかることは、知られていたが、福島事故後、福島県の除染だけでも10O兆円近いお金がかかると言われている。さらに、原子力発電費用の中に廃炉のコストや使用済み燃料棒の最終処分の費用は、国民をだますためと思われても仕方ないが、計上されていないのが現状である。でも将来、電力会社はこの高額な費用の全屑代わりを、国に頼ざるを得ないであろう。火力発電の石炭・石油コストが毎年数十兆円かかるという話とは、次元が違う。一旦事故が起きれば、国家経済は破綻に直結する。原子力発電は、国家経済的に不合理であったし、将来的にも不合理である。国民の健康、命が損なわれるし、国土が損なわれる。 地球温暖化の話は、原発がそれを解決するわけでない。 現在あえて、政府が原発を再稼働する理由があるとすれば、電力会社の今の原子力発電システムを守るだけのためである。広範囲の国土に放射性物質をまき散らす危険性に目を瞑って、経済的に、電力会社を儲けさせようということとそれだけである。そこに、白蟻（原子力ムラ所属の、官僚、政治家、企業、御用学者、銀行、メディア・・・）が群がっている。 原発政策を維持することは、国民・国土・国家の将来に大きな禍根を残すだけであり、GEのCEOの話が示す（原発産業が衰退する）世界経済界の行く末（未来）を想像すれば、このままのエネルギー政策では日本国は近い将来国際競争力を失い、経済的に破綻することは目に見えている。経産省原子力局の責任は重く、万死に値する。 時がたてば、今まで隠蔽されてきた経産省原子力局の犯罪性が、国民にさらされてくる。経産省原子力局の暴走が、何かオウム真理教の終末の暴走（サリンをまき散らした狂気＝暴走）に似ているように思える。 全原発を廃止することにより、日本の社会はより安全で便利で豊かで戦争の無い未来社会の扉を自分で開くことができる。明るく豊かで戦争の無い未来社会のためには、国民は苦労をいとわない。
56806	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原子力発電所は今のところ必要だと思います。 ただ、絶対に必要なのは国が管理し、放射能漏れが99.999%起きないような設備とシステム、管理だと思います。	今回起きた福島の放射能漏れは「人災」です。確かに、原子力は人間が扱うことのできないものかもしれませんが、現存するエネルギーの中でしっかりとしたシステム化で扱えば最もクリーンで大きな電力を生み出す方法です。 東電などの民間企業ではなく国の管理下のもとで日本中の発電所が統一的システムをとれないのなら原子力は扱うべきではないです。
56807	個人	家事専業	60代	女性	直ちにゼロです。	未開発の分野のエネルギーを使用する事に不安を感じます。 お金の癒着にとても疑問をかんじます。 単にエネルギーの問題のみならず、人のこころまでい蝕みます。 本来、経済は地産地消であるべき、自立したかたちであるべきです。
56808	個人	家事専業	40代	女性	将来原発0を目標とし、早急にそれを目指した政策を。	福島の事故は未だ収束していません。 現在、人間の手で最終処理の出来ない原発を「将来の科学力の進歩が解決してくれる」と信じて続けていくには、日本は打撃を受け過ぎました。 いつ次のフクシマが起こるか、誰にもわかりません。 起これば誰にも責任はとれません。 今すぐ原発を止めても、安全ではありませんが、「どこを目指していくか」は決めるべきです。 原発以外の選択肢を用意し、そちらに舵をきっていくべきと考えます。
56809	個人	会社員・公務員	60代	男性	脱原発か原発推進かの二項対立でなく、冷静に、現実的な検討をすべき。現在0.4パーセント程度の再生エネを に100倍程度にすることは現実的でない。最低でも、国の発展を考えるなら25～30パーセントが現実的で支持する。	第3世代の原子力にわが国の技術力を傾注し、発展進化させることが、福島事故を乗り越えるものとなる。技術の進化を放棄するOシナリオはありえない。福島の除染、復興は全力で進めることは当然である。このままでは、貿易収支の赤字が増大し、資産の海外流出が止まらず、国家沈没となる懸念がある。資源小国わが国を科学立国とうたったことを忘れてはいけない。また、施設を誘致してきた地方の声を聞こうともしないことは批難されるものである。（原発の）安全性、（再生エネルギーの）安定性をもっと高めて、エネルギーを3つのシナリオに固定させず、その将来時々の電力需要にベストミックスを委ねることが大事である。
56810	個人	会社員・公務員	30代	男性	国内の原発は、速やかに全機停止して、自然エネルギーを中心とした電力需給体制を整えるべき。	原子力発電は、リスクが高いことが明るみになりました。一度爆発したら処理はおろか状況さえ把握することが困難なため、広大な土地が汚染されてしまいます。私は、目先の経済より安全な国土を望みます。そのためには、（電力のみならず）原子力産業からの撤退は必然であると考えます。よろしくお願いいたします。
56811	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオ	同じ悪夢を繰り返さないように
56812	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオ（即時）を取るべきです。	地震国の日本では日本の多くの原発は活断層の上に立っている。日本が原発事故を防ぎ得ないのは福島の例で明らか。 福島第一原発の事故の被害総額は一説によると100兆円規模であると言われており、今後、日本のどこの原発が事故をおこしても日本経済が破綻する。 原発がなくても電力は足りている。大飯原発を再稼働が関西電力は火力発電所の運転を4箇所止めた。オール電化などの不要な電力消費を制限すれば節電できる。 経済成長率とエネルギー消費量は比例しない。日本のGDP成長率とGHGとは一致せず、特にドイツを見ると一致しないどころか、逆に反比例 している。 国は、風力、太陽光、バイオマス、地熱の推進を行い原発の補助金年間5000億円をそちらに振り向けるべき。また熱源として太陽熱温水器の普及に務めるべき。 原発は持続可能ではない。ウランの採掘寿命は85年と言われている。 使用済燃料の処理方策はいまだ立っていない。時間をかければだちうという問題ではない。日本学術かいぎですら、さじを投げている。再処理も無意味。地層が安定しないにほんで地層処分は不適。フィンランドのオンカロのように10億年以上安定したところに保存すべき。海外委託が現実的で安全。 原発は人口過疎地域のひとびとの犠牲の上に成り立っている。原発はまた被曝労働者の犠牲の上に成り立っている。人権侵害をしている。 政府はすでに、「原発の寿命を40年まで」と言っている。一方で「原発の新設はしない」とも述べている。今、福島第一原発1～4号機が廃炉されたことで、日本の原発は50基になった。 その原発を予定通り40年で廃止していくと、2030年中途に柏崎の二基の原発が廃止され、 2030年以降に残るのは18基だけになる。それは発電施設全体に対してわずか8%、発電量にして11.75%を占めるにすぎない。これは原発比率「15%」にも、「20～25%」にも達しない。 つまり原発比率「15%」、「20～25%」にするにも、どうしても 原発増設か稼動延長かを前提にしなければならない。3つのシナリオといっていることが整合していない。 政府が出した「ゼロシナリオ」に対して、さらに踏み込んだシナリオが必要です。エネルギーシナリオ市民評価パネル（エネパネ）では、そのためのエネルギーシナリオの論点を提示し、そのような論点を踏まえたNGOのシナリオを紹介しています。それらのシナリオでは、脱原発と気候変動対策を両立させ、持続可能な社会を目指して行くことは可能であることが示されています ＊。電気のロスをなくし、無駄に捨てている熱を有効に利用していくことで、家庭や業務の分野だけではなく産業分野も含めて省エネを大幅に進めること、産業構造転換も視野にいれグリーン産業や雇用を生み出すような産業を大きく育てること、石炭利用を減らすこと、電力システムの構造を分散型地域エネルギーへとシフトさせていくこと、電力自由化や発送電分離を進めること、それらによって大幅に再生可能エネルギーを増やすことが可能なのです。こうした選択肢が示されてこそ、私たちはその選択肢を未来の姿として選び、希望を見いだすことができます。
56813	個人	家事専業	30代	女性	原発反対。	原発いりません。現在稼働中の原発も即効稼働停止してください。そして即廃炉に向けて動いてください。 生活が不便になろうが、日本が経済大国でなくなろうが、1番大事なのは未来ある子供達です！
56814	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを選ぶべき	ゼロシナリオを選ぶべき。 原発自体を否定するかどうかは別問題として、管理する側が誰も責任を持たず、その対策を怠るほど事業者は儲かり、政府、行政は楽ができる仕組みの中では十分な安全対策は担保されない。 結果的に政府、行政、発電事業者の3者が互いに防災の責任を押し付けあい、最終的な負担は国民が全てを負うことになる。
56815	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発依存0%、速やかに全面廃炉。直ちに全面稼働停止	原発依存0%、速やかに全面廃炉。直ちに全面稼働停止を要求します。 原発は安全性が確保されない状態で使用するには危険すぎるエネルギーだと思います。
56816	個人	自営業	40代	女性	日本国は原発を即時全面停止し、新しいエネルギー改革に即時着手を！	福島第一原発の爆発事故は凶悪な人災です。広範囲の生活地域が奪われ土地と海と空気が汚染され、子どもたちは健康に育つ国を奪われました。国と原子力産業界は大事故は起こりえない、安全と繰り返し、この事故を招きました。このことを猛省し、完全に原発と決別し、新しいエネルギー改革に即時着手してこそ、国民への謝罪が成り立ち、国際社会からの信頼が得られます。 原発からの脱却、新しいエネルギーへの転換の姿勢を国が全力をあげて示してほしいです。そうしてはじめて、放射能の被ばくと戦い続ける国民に希望は見いだせると思います。 日本の大人たちはこれ以上子どもにつけを回してはいけない。
56817	個人	自営業	50代	男性	原子力発電はできる限り早くやめるべきと考えます。	核廃棄物の処理もままならず、一度暴走したら手に負えない原子力エネルギーは 人間が使いこなせるものではないと、知るべきでした。経済的にも採算が合わないであろうことは、今必要になっている賠償などを見ればあきらかです。
56818	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存は0%にすべき。極力速やかに全面廃炉に向かっていただきたい。	日本のような地震国に原子力発電所はリスクが高すぎる。津波だけに矮小化してはいけない。地震に対するリスクだ。 また、廃棄物処理の観点からも、運転を続けるべきではない。

56819	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「原発ゼロシナリオ」で、即時0%を希望します。	三つのシナリオの中から選ぶのなら絶対、「原発ゼロシナリオ」を選びます。 大飯原発3号機と4号機は即時停止して、全ての日本の原発を運転再開せず、即時廃炉決定を直ちに行ってください。原発をゼロにするのは2030年まで待たないで下さい。即時実行することが大切です。日本は地震国です。原発の真下または近くに破砕帯・活断層があります。その為原発の即時廃炉が必要であり、使用済み燃料の貯蔵を即時、出来るだけ安全にする必要があります。 「もんじゅ」と六カ所再処理工場を含む核燃サイクル計画は直ちに廃止するべきです。「もんじゅ」は危険で将来のエネルギーにはなりません（高コストで技術的に無理）。六カ所再処理工場は危険で環境に悪く、高コストです。 今の「原発ゼロシナリオ」は不十分です。以下の修正が必要です： 温暖化対策を後回しにしない対策を取って下さい。 省エネの導入をもっと速く、もっと幅広く行って下さい。 電力のロスを無くし、無駄に捨てていた熱を有効利用する政策にしてください。電力の30削減、一次エネルギーの40%削減を素早く実現するよう目指して下さい。 再生可能エネルギーの導入ももっと速く行い、もっと多く導入してください。自然エネルギー発電で2020年には43%の発電電力をまかなってください。これは、既存の技術で行えます。 化石燃料の依存度を即時減らしてください。2020年までに、温室効ガスの25%を削減してください。（1990年比）。これは、既存の技術で行えます。 電力システムの改革や産業構造を転換するなど、具体的な道筋を示してください。 パブリックコメントのあり方： パブリックコメントは全て個人情報を外した上で公開するべきです。 パブリックコメント、意見聴取会、討論型世論調査は本来行う前にどのように採用するか述べるべきです。今後はそのようにして下さい。今回はこれから行うプロセスをガラス張りにし、校正な審議を行ってください。
56820	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所再稼働について	私は愛媛県松山市の三津浜という所で子ども達の通う造形教室をしています。 四国は海に囲まれた島です。日本だって、世界中がそうでしょう。 小さな頃から海を見て育った私は、そんな海の事が気になって、山口県上関に建設予定だった原発の建設には反対していました。 ただ自分の好きな海が大きな力で人工的に汚れていくのがいやだったのです。 そして、東北の大震災がおき、福島原発の事故がおきてしまいました。 海しか見えていなかった、小さな視点の私の考えていた原子力発電所の事故の被害の何倍もの状況に至ってしまった今、求めるものは原子力発電の即時撤廃です。 本当に長期的なスパンで考えたときにのこさなければいけないものはなになのか。 もっと国民が考えるべきです。 このパブリックコメントも素晴らしいシステムですが、もっと多くの意見をあつめられる方法があるんじゃないかと思います。 いいアイデアをおもいついて、それを発信しますから、どうかこれをきっかけに一人でもおおくの人達がいろいろな出来事について考えますように。
56821	個人	会社員・公務員	30代	男性	日本の未来と子供たちの未来のため、また同じような災害があったら、日本に住めなくなるおそれがあるのでゼロとすべきである。また、日本のような地震大国では100%の安全は無理であるため、ゼロとすべきである。	原子力発電はゼロとすべきと考える。日本の未来と子供たちの未来のため、また同じような災害があったら、日本に住めなくなるおそれがあるのでゼロとすべきである。原子力発電は、100%の安全があれば、許容できるが、今回の災害で100%の安全は現実的に難しく、かつ、日本のような地震大国では無理である。このため、ゼロの方向で議論をすすめるべきである。 今回の事故は、福島県であったからこそ、風の影響で被害が大きくなる東側に国土がなく、国土に対する影響はまだ少なかったが、国土の中心地で同様の災害があった場合には、日本に住めなくなる可能性もあったと思う。政府として、最も大事にすべきは、日本国が存続することであると思う。このため、各種利害関係者がいるとは思われるが、最も重視することに対しては、ぶれずにすすめてほしいと思う。 現実的には、節電はまだ実施余力はあると思われるし、シェールガスのように最近では、石油の代替エネルギーも見つかってきている。太陽光発電、地熱発電、風力発電（洋上）などもあり、日本の技術力をあつめれば、代替エネルギーの対応は可能ではないだろうか。また、このような新たな技術力に投資することで、企業側にもメリットがあり、経済面での貢献もできると思う。さらに、国際社会の中での、日本の立場が明確になり、再生可能エネルギー分野で一目おかれる存在になるのではないだろうか。 なお、私は5歳と2歳の子供がいるが、子供に与える食べ物は気をつける生活を強いられている。影響が将来どのようになるかわからないが、日本人の健康面での対応も積極的に対応していってもらいたい。市場に、放射能に汚染された食物がでているという疑念があるので、十分に規制していただきたい。
56822	個人	学生	20代	女性	日本の原子力発電は活断層付近は即刻停止し、徐々に原発依存を減らしていってほしいです。また、今まで原子力の存続に費やしてきたお金を再生可能エネルギーなどの新しいエネルギー開発に使ってほしいです。	私は、原子力発電自体はとても評価できる高効率なエネルギー生成法であると思っています。しかし、日本でこれを推進してきた、あるいはしていくことにはとても疑問を感じています。 　そもそも、人が自分の力で止められないものは動かすべきではないと思います。 　昨年、福島で発生した原発事故を考えなかったとしても、核燃料サイクルがほとんど機能していないのになぜ使い続けていたのでしょうか。核燃料サイクルがきちんと回るという前提で始まるのではないですか？ 　確かに対策さえしていれば、起こらなかった事故だとは思います。しかし原発を維持していくことに国としてメリットがあるのでしょうか。被ばくされ、人生が狂った方もいらっしゃるので国民の感情的にも徐々にでも減らしていくべきだと思います。 　これだけの事故が発生し、もうすぐ奇形や身体的な欠陥も出てきてしまうと考えられます。 事故の当事国としてなぜ、ドイツや諸国に比べて決定が遅いのでしょうか。被ばくがとても危険なことは昔から世界の共通認識だと思うのですが、政府の皆さんは楽観的すぎると感じます。 　すぐに原子力発電をなくすことは困難だということは分かっています。徐々に廃炉にしていってほしいです。 今、原発問題やエネルギー政策を決めることにもっと責任を持ってほしいです。みなさんがおいて行った問題は結局わたしたち若い世代が解決しなければなりません。後ろ後ろに決定をおかず、責任を持って決めてください。 　よろしくお願いします。
56823	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発依存度ゼロシナリオを支持　但し、2030年という設定ではなく今すぐに寿命がきていたり、今後稼働する予定の原発ともに廃炉にすべきで延命措置を取ったりするようなことがあってはならないと思います。	再生可能エネルギーへのシフトを推進するためにも、原発依存度ゼロとし 保守点検、延命措置に予算を割く分を再生可能エネルギー関連にまわすべき と考えます。多少の不便やこれまでの生活レベルが落ちることを覚悟してでも 将来につけを まわさないようにしたいと考えているからです。
56824	個人	自営業	50代	女性	すべての原発をすぐに止め二度と再稼働させない。即刻、脱原発を実行するべき。廃炉にしても大きな地震が起きたら危険な原発には対策を行う。またクリーンエネルギー政策を進め消費者がエネルギーを選べる様にする。	フクシマの事故で原発はどんなに安全策をとっても事故は起こりうるということを学ばなくていけない。一度事故が起きると人間には手の着けようも無い恐ろしいものだ。その上、核廃棄物の処分も決まっていない状態で未来の世代に核のゴミを押しつけてはいけない。経済優先を言う人もいるが命あっての、健康な体あっての経済だ。いろいろな知恵を出し合って省エネをし、クリーンエネルギーの研究開発をすすめるべきだ。
56825	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発利用0%。日本は脱原発に一番先に取り組むべき	福島の事故で原発は危険だということが露呈した。 現在東京電力では猛暑にも関わらず余剰電力がある。 企業が今後自家発電等に積極的に取り組めば 脱原発でも十分まかなえるはず。 政府だけが取り組むのではなく国が一丸となって取り組む仕組みを政府が作れば脱原発は可能。 日本という小さい国だが知恵があり、団結できる国だからこそ できる試みだと思う。 東電と政府の欺瞞にはうんざり。 ここでリーダーシップを発揮し国を救うリーダーを求める。
56826	個人	家事専業	40代	女性	原発を0にし、その費用を再生可能エネルギーの開発に回すべきである。	世界の他の先進国でも原発0でやっている国は多数ある。 子供たちの未来を考えるべきである。
56827	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢…2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロに	・原子力発電において発生する使用済み核燃料の処理が、現時点では技術的に不十分なものであると私は思います。放射性物質を無害化する技術がない以上、事故や天災が起これば放射性物質の拡散は避けられず、その被害の規模や影響の大きさを考えれば、原子力発電そのものを止めるべきだと考えます。 ・火山国という利点を生かし、地熱発電にもっと力をいれるべきではないでしょうか？ ・地熱以外にも風力、バイオマス、太陽光など自然エネルギーへの取り組み、また送電システムそのものの見直しなどを希望します。
56828	個人	学生	20代	女性	原発に依存しない社会を望みます。	原発に依存しない社会を望みます。311の福島第一原発の事故は、原発が明らかに危険であり、有害であることを証明しました。それ以前には、チェルノブイリやスリーマイルでも原発事故が起きています。今後、こうした自体がないと断言することは不可能です。命が危険にさらされるというとは、基本的人権が認められ、奴隷制が廃止されている現代で、あってはならないことです。それと生活圏を結びつけることはあってはなりません。つまり、原発に依存するのは、電力面だけではなく、原発に依存せざるを得ない状況にさらされている人たちの存在です。人は工作員として、道具として生まれてきたのではないのです。それを軽視するのは侵害です。 どうして原発を動かさなければならないのですか。野田さんは、国民の豊かな生活のためだと言っていましたが、原発によって豊かな生活が創出されるのでしょうか。電力がないと生活を送るのは困難ですが、大部分は家庭ではなく企業です。どうして原発を動かさなければならないほど、働かせるのですか。働いても働いても報われないのは自明です。自殺者年間3万人が物語っています。 持続可能な開発が叫ばれ、エコを全面に押し出すならば、原発を動かさずに生活を送るようにし、いまある電力の範囲内で済ませればいいと思います。エコと原発再稼働は矛盾しています。エコを押すのに、どうしてさらに電力を増やす必要よがあるのですか。 日本政府の方々、もっと命の大切さを考えるべきです。これを読んでくれるのかも定かではないですが、、
56829	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	福島第一原発の事故で、今もたくさんの人が故郷を奪われています。 壊れて再生できないものはいらないです。そして、これからずっとこの事故の後始末をしていかないといけないなんて、なんてバカバカしいんだとも思います。 これ以上、無駄な政策はやめてほしいです。再稼動反対です。
56830	個人	自営業	30代	女性	原発は即時停止、撤廃を求めます。	生命の安全あってこその経済発展です。
56831	個人	無職	30代	男性	原発・もんじゅ等は即時全廃し、核廃棄物の処理方法の開発に全面的に注力するとともに、当面は天然ガス等を利用した火力発電によってエネルギーを賄うべきである。	原発は安価だと言われているが、今回の福島事故によってその損害は結局税金で補填しているものであり、国を傾けるほどの惨事をもたらしている。このようなものを発電に使用すべきではない。 二言目には燃料費を云々する電力会社であるが、安価に燃料を調達する努力をしているか疑問であり、社会のあちこちに現ナマ（現金）を投入して問題があっても黙らせるやり方は、福島原発事故の遠因にもなっている。 このようなやり方はすぐにやめるべきだ。その金の出どころは結局、利用者の電気料金であり、巨大な詐欺機構以外の何物でもない。発送電分離、自由化は必須である。
56832	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを望みます。 東電福島原発事故において「安全」と言われてきた原子力発電所は、今や最も危険なものである事がはっきりした。	2011年3月の東電福島原発事故の原因がなんであれ放射能被害により、故郷を追われ家族離散が起きている。未だに放射能の飛散を止める事も出来ず、福島第一原発に使用済み核燃料や、未使用の核燃料放置されたままのなっているにも拘らず、「安全宣言」を出した政府の「国策原子力政策」は到底支持出来ない。
56833	個人	会社員・公務員	50代	女性	エネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。原子力発電の即時廃止をお願いします。	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。私たちは原子力エネルギーへの依存を直ちに終了させる、より踏み込んだ核エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。 具体的には以下を要求します： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
56834	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオ以外の選択肢はありません。 2030年までではなく、1日でも早く全原発の廃炉を実現するべき。 今しか原発をゼロにするときはない。	ゼロシナリオを進めるべきです。 日本だけでなく、地球規模で巨大地震の起こる時期に入ってしまった今、 原発を維持、稼働して行けると思う方がどうかしています。 本当はエネルギー政策として必要としているのでもないことも、 もう国民は知っています。 「核」を持つ為だということを。 明日にでも起こるかもしれない巨大地震…せめて原発をすべて止め、廃炉にする 方途を考えなければ、この国、いや北半球に未来はありません。
56835	個人	会社員・公務員	50代	男性	太陽光、風力、地熱、バイオマスなど、様々な自然エネルギーを拡大し、原発への依存を0%にすべきと考えます。	安全対策を最大・最善に行なっても、原発事故を100%と防ぐことができないことが、この福島の事故で明らかになりました。いくら原子力に関する知識や技術が優れていても、事故を未然に防ぎ、最小化する力が日本にはありません。近視眼的な統治能力や失敗に学ぶことをしないこれまでの日本の政治姿勢が物語っています。豊かさや便利さが人間の尊厳を保証しないことは、バブル崩壊後の経済成長への懐疑や3万人もの自殺者が10年も続くなど、自殺社会ともいるこの20年間が明らかにしています。エネルギーの安定供給と経済成長、豊かな生活はこれから目指す社会ではないと考えます。広島・長崎・福島という被爆国としての日本が世界から尊敬をもって迎えらえる原発ゼロへの決断を今すべきと考えます。

56836	個人	自営業	30代	女性	2030年といわず、今すぐに原発ゼロにすることを支持します	日本に原発は要りません。 電気も十分足りています。昨年の東電然り、今夏の関電然り、です。 産業や経済の発展のために必要な電力は、当面は火力発電所の増設で賄うべきです。化石燃料はまだまだ大量にありますし、メタンハイドレートもあります。また、「二酸化炭素増加による地球温暖化」の嘘も指摘される昨今、「温暖化防止のために火力発電所を縮小する」などということも必要ないことだと言えます。 放射性物質をまき散らす原発は要りません。子孫のためにも、土地や空気や水をこれ以上放射能汚染させてはなりません。 大飯原発も今すぐ停止させるべきです。ベントすらなく、そのうえ、いくつもの断層の真上に建っている、危険極まりない原発です。 次の原発事故が起こってからでは遅いのです。 日本は今すぐに、原発ゼロにすべきです。
56837	個人	自営業	40代	女性	2030年までに、原発から完全撤廃を望みます。	原子力は、人間が完璧に制御することはできないと、今回の事故で知りました。一旦、事故が起きてしまったら、代償が大きすぎることおもいます。あまりにも大きな代償をはらう可能性があることを選ぶより、電気代が高くなってもいいから、自分たちが電気を使いすぎることなく暮らす方法を選びたいです。
56838	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。	ゼロシナリオを選択します。 原子力発電所は要りません。 事故が起こった時のリスクが高すぎます。 危険だから廃炉にしようとしても何十年もかかるなんて、 一般市民の感覚からしたらとても人類が扱うシロモノだとは思えません。 そんなに安全だと言うなら、国会議事堂の隣にでも建設されてはいかがでしょう。 それと、日本国民は真摯で勤勉ですから原発がなくなることによる不便さ、負担には耐えていけると思います。 原発を残して不安を抱かえ続けるより、今決断し、負担を受け入れて未来に希望を送りたい。 お願いですから原発ゼロを目指してください。
56839	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	福島第1原発の事故が依然として収束していないのに、停止中の原発を再稼動するのはやはりおかしい。 安心で健康的な未来を繋いでゆくために、なるべく早い時期にゼロにしていただきたい。 そのためにも原発に変わる、出来るだけ自然のエネルギーを使用する政策を推進してください。
56840	個人	自営業	50代	男性	＜ゼロシナリオ＞を選択します。 「倫理」は原発依存を容認しない。 今後はドイツ型＜脱原発倫理委員会＞のような諮問委員会が設置され、より深い論議がなされることもを切望します。	「エネルギー・環境に関する選択肢」を読みました。 ＜シナリオを検証するに当たり踏まえるべき視点（P.5～7）＞に掲げられた各々の「視点」は、 (1)経済　(2)科学技術　(3)政治 以上、三つのカテゴリーの課題が複合的に捉えられ、内包されたものになっているかと思われます。 各地での＜意見聴取会＞では、ゼロシナリオが70%以上支持されていると報道されました。7月16日、東京代々木公園で行われた＜さようなら原発集会＞には、主催者発表で17万人が参加したと伝えられています。 これら一般市民の多くは、そもそも提示された「視点」のようなパラダイムではないところで、原発を拒否しているのではないでしょうか？　それはひと言でいえば「倫理」です。 私個人としては、原発に依存することで、 (1)原発の現場労働者を被曝させるリスクがつきまとうこと (2)地震列島で再び大事故が起これば、日本国内にとどまらない甚大な悪影響を世界に及ぼしかねないこと (3)「視点」には示されていないが、軍事転用のためのテクノロジー確保という安全保障上の目的に加担すること 等々のような事態につながることの倫理的拒否感は、ゼロシナリオ選択の主たる理由となっております。 今後、ドイツにおいて設置された脱原発の倫理委員会のような諮問委員会が日本にも設置され、(1)経済　(2)科学技術　(3)政治　の専門家以外の有識者を交えた、より深い論議がなされることを切望します。
56841	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオ	原発廃止を！ 省エネ、自然エネルギー政策をもっと進めてください
56842	個人	自営業	30代	男性	この夏も、結局大飯を再稼働しなくても電力は足りそうです。 福島が以前の環境に戻れない現状もあるなか、直ちに0%という選択肢を追加する事を要望します。	福島の事故を巡る後手後手の対応は、当時の東電や政権のスタッフの資質が問題ではなく、長年に渡る原子力行政と電力会社の怠慢が表面化したに過ぎません。 その総括もできていない中、実際には大飯を動かさなくてもこの夏を乗り越えられそうな事も見えてきた中で、なぜ原子力という選択肢があるのか？ コストの事をいうのであれば、国は原発に関する一切から手を引き、民間のみで運営させれば良い。 リスクと、事故後の補償まで含めても安いといって、原発を続ける電力会社はないでしょう。 直ちに国内すべての原発を廃炉とし、自然エネルギーと火力で、全電源を賄う事を要望します。 また、発電事業に参入しやすいよう、規制緩和と発送電の分離の環境づくりをこそ、行政は進めるべきです。
56843	個人	会社員・公務員	20代	女性	人間の手にはおえない原子力発電からは早く卒業して、自然エネルギーや他の新しい発電技術（振動や波動などがあると聞いています）によって、本当に持続可能な社会を目指してほしいです。	原子力発電は、ウランの採掘から使用済み核燃料にいたるまで、最初から最後まで人や自然にかける負担が甚大過ぎるから。
56844	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本国が現在の経済規模及び生活水準を維持しようとするのであれば原子力発電は現状(3)あるいは現状以上（供給電力の40%程度）の規模は必要です。	日本は戦後67年を経て、敗戦のどん底から高度経済成長期を経て世界トップクラスの工業国へと成長すると同時に、日本国民は世界トップクラスの生活水準を手に入れました。日本の工業を支えてきたものは世界最高水準の高品質な電力（安定した電圧と周波数、及び停電がないこと）によるものであり、この高品質な電力は原子力発電なしには実現しえなかったものです。どんな技術にも100%の安全はあり得ず、その技術から受ける恩恵とリスクを秤にかけて冷静に評価する必要があり、1F事故を経験した現時点でもその原子力の重要性にはゆるぎないものがあります。日本は世界有数の自動車生産を誇る国に成長しましたが、奥浜1号機が運転を始めた昭和45年には約16,000人の交通事故の死者を出し、昨年度は5000人を下回る水準にまで減少しましたが、それでも毎年これだけ尊い命が失われております。人の命をお金に換算することはできませんが、仮に少なく見積もって5000万円としても、この40年間で交通事故で亡くなった方による損失は計り知れないものとなり、今回の1F事故の損害額を上回ります。すなわち、日本が原子力発電所を運転してきて40年目にして起こった大規模な損害賠償を要する事故とて毎年国民一人当たりの損害額に換算すれば交通事故の損害額の方が上回ります。交通遺児の中には自動車さえなければ、と考える人はいるでしょうが、日本から自動車産業をなくすという議論にはなりません。それは、国民がそのリスクを承知で、自動車の利便性という恩恵にあずかっているからです。発電所から遠い大都市に住む多くの国民は、スイッチを入れれば明かりがつくのは当たり前と思い、福島・新潟・福井などでどのようにして原子力発電所が運転されているか、十分な知識がないため、そのありがたみとリスクを正しく評価できていません。当初、米国からの輸入技術で出発した原子力発電は日本の工業の発展とともに運転の経験（トラブルの経験も）を蓄積し、原子力安全の研究も世界トップクラスの水準にまで進んでいます。これまで東京のために原子力発電を受け入れた福島のためにも、そして経済発展著しく、電力危機に直面している国々のためにも、1F事故を経験した日本が果たすべき責任は大きく、世界からもそれを期待されています。国内では、これまで新設プラントは計画から運開まで10年程度の時間が必要でしたが、今後はもっと多くの時間が必要になるでしょう。旧型の原子炉は廃炉にし、最新の安全システムを備えた原子炉に置き換えていく仕組みを今作らなければ、取り返しのつかないことになります。天然資源が少なく、エネルギー自給率の極めて低い日本が生き残るには世界最高水準の安全性を備えた原子力発電所を運転していくしか残された道はありません。二酸化炭素排出量、エネルギーセキュリティの観点からも当面他に代替案はみあたりませんし、このまま放置すれば日本企業の海外流出に歯止めをかけることはできません。 最近の反原発を唱えている方は自動車や携帯電話を手放すことはできますか、できないのであれば原子力に対する選択肢は自ずと明らかなものとなるでしょう。
56845	個人	会社員・公務員	50代	男性	勝手に都合の良いシナリオを与えないで下さい。 なにが2030年時点なのでしょうか？ 「即時停止」 これが私のコメントです。	クリーンエネルギー.エネルギーシステム改革.CO2を出さない自給電源.等等々.... そのいずれも今の自分には興味はありません。 ただ、 ・今年の5月の全原発停止でも、我々国民は何ら影響を受けなかった事実。 ・未だに放射能ダダ漏れで地球にダメージを与え続けている福島原発の惨状。 ・使用済み核燃料の処理.処置に関する杜撰さと未来の国民への冒涜。 たったこれだけ見ても原発が今現時点で稼働ゼロではないことの狂気に寒気がします。
56846	個人	自営業	40代	女性	直ちに全ての原発を停止し、順次廃炉にすべき。	(1)使用済み核燃料を1万年も安全に保管出来る目処が立っていない。 (2)一たび事故が起きれば周囲300キロの大地が汚染され、生命は3世代以上にわたって悪影響を受ける。 (3)石油やガスなど代替燃料が有る。
56847	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0%のシナリオを希望します！	原発をこれ以上増やすことのないように、自然エネルギーへの移行を真剣に実行してもらいたいです。いくつものNGOが自然エネルギーへ移行するシナリオを出しています。不可能ではないはずです。
56848	個人	会社員・公務員	20代	女性	脱原発、原発ゼロシナリオを熱望します。	あれだけの大きな災害を受けて、脱原発の選択こそが日本という国が世界に発信するメッセージなのではないでしょうか。 日本のためにも、世界のためにも、地球のためにも原発ゼロシナリオを目指すべきです。 自然があるからこそ私たちは生きられるのだから、環境に優しい方向に向かうべきです。
56849	個人	家事専業	60代	女性	1番のゼロシナリオを希望します。2030年を待たずに原発をゼロにしていくことを望みます。	一番のゼロシナリオを希望します。 原発はウラン採掘の時点でそこで作業する人をはじめ生き物をを被曝させ危険に晒します。ウラン採掘のために土地を奪われる他国の人々の存在もきちんと知らされてきていません。 原発建設をされてきた土地でも建設賛成反対で地元の方々同士の関係と自然を壊し、その苦しみをその地域の方々だけに押し付けてきてしまいました。 本当に安全なエネルギーだったのなら東京湾に作るべきでした。 危険を知っていたからこそ過疎化で誘致されやすい場所、反対をしてもその声を揉み消せる場所に作ってきたのは明確です。 この一点をとってもフェアでない原発エネルギーからは直ちに脱却するべきです。 また原発はどのエネルギーよりも安いとされてきましたが、実際はそうではなかったこと、そしてひとたび事故が起これば取り返しようのない悲惨な被害をもたらすことは福島第一原発のことで十分にわかりました。福島第一原発の収束もいまだされておらず、放射能に対する健康への影響とも向き合われていないままです。それでもまだ原発を続けるというのならまずはあの美しい福島の自然と事故前までの安心で安全な日常生活を還してください。 そもそも廃炉にする技術を持たない日本で54基も原発が存在することが大きな過ちでした。福島第一原発の事故で多大な犠牲を払ってやっと気づかされたことは深く反省すべきことです。ですから今こそ、利権に左右されない、真のクリーンなエネルギーにシフトしていくときだと思います。
56850	個人	自営業	40代	男性	原発全廃！！	答えは簡単です。 安全性云々よりも"トイレの無いマンション"と揶揄されるように廃棄物処分の安全性も確率されておらず処分先も無いのに、その廃棄物を出すこと自体が納得できない。 10万年先まで誰が管理するのか。野田総理？国？東電？存在するんですかね10万年先？まで。 10万年前といえば、ネアンデルタール人ですよ！10万年先は…！？ ドイツに出来て何故日本に出来ない、脱原発が！ 原発にかける予算で新エネルギーの開発をしようと、なぜ考えないのか。 電力会社、議員の権益確保ですかね。 ゴミも処分できないものは造らない！！ 簡単でしょ♪！！
56851	個人	家事専業	30代	女性	断固、原発依存0%希望。	速やかに原発の廃炉と原発の稼動停止並びに核燃料再処理の廃止を希望します。 2030年を待つことなく、すみやかに原発ゼロに。 もっと自然エネルギーを推進してください。
56852	個人	会社員・公務員	50代	男性	0%にすべきです。	(1)先の福島原発事故に見るように、一旦事故が起こっても制御できないものは廃止すべきです。 (2)また、高レベル放射性廃棄物の最終処分地についても何ら国民的合意がありません。 (3)核燃料リサイクルにはもんじゅの稼働が必要ですが、現在のところ安定稼働できる目処がなく、安全性にも過去何度か事故を起こしており、非常に疑義があります。 (4)経済性についても10万年間もの高レベル放射性廃棄物の管理体制及び廃炉にかかる経費を考慮すると、疑義があります。
56853	個人	パート・アルバイト	20代	女性	ゼロシナリオを支持します。なぜなら原発は人間の手に余るからです。原発事故があった時、政府特に首相や東電がとった行動は信頼に足らぬものでした。	いくら人間が高い技術を持ったとしても、それを扱うだけの人間性がなければそれはただの兵器です。日本は自主性や革命を嫌います。そして皆同じであること、や長いものに巻かれる精神が尊ばれます。しかし、そのおかげでリーダーシップを取らねばならない時に取れなかったのが今回の事故だと思います。日本が変わっていくには時間がかかります。けれどその間も原発を動かすのは高リスクだと思うのです。 　そして日本が地震の多い国であること。他国で原発を作るのは大丈夫かもしれませんが日本は原発を立てるのにはあまりにも危険だと思います。 　最後に核燃料廃棄物の処理の問題。核の廃棄物は1億年ほど地中に埋めておく必要があるといいました。しかし1億年後の未来に誰が責任を取れるでしょうか。そんな果てしない時間がかかる危険な物資をこれからも出し続けるのは納得できません。 以上の人間性、地震、処理の問題からゼロシナリオを支持します。
56854	個人	自営業	60代	女性	原発ゼロを実現してください。	原発は、一度事故を起こしてしまえば、私たちの方ではコントロールできないものであることが、3.11以降の原発事故で明らかになりました。 地震大国日本で、原発を維持し続けることは、今を生きる私たちにも、そして未来の世代にも、取り返しのつかない甚大な影響を与えるリスクを孕み続けることです。 そのような社会のあり方には耐えられません。 原発ゼロを実現してください。

56855	個人	その他	50代	女性	2030年に向けたエネルギーは、「ゼロシナリオ」を推し進めることを希望します。	以前から、原子力発電の安全性については、本当に大丈夫だろうか・・・と疑問をもちながらも、世界中でも使われているし、政府が推し進めていることでもあるし、多くの人が心配していないようなので、大丈夫なのだろう・・・と、しっかり考えずにいたように思います。それでも、使用済の核廃棄物処理については、このまま原子力発電がすすめば、地球は処理できない廃棄物だらけになってしまうのではないか・・・との思いは強くもっていましたが、それでも何のアクションも起こさずきてしまいました。 3．11の大震災時の、そして震災から現在までの福島の原子力発電の状況をみて、なぜもっと関心をもっていなかったのか・・・どこかで不安を感じていた部分が現実となってしまった・・・との思いが強く湧いてきました。 地震国日本においての安全性からみても、また使用済核燃料の処理から考えても、将来的には原子力発電に頼らないエネルギー政策を希望します。将来を担う子供たちに重たい課題を残さず、安心して暮らせる社会の実現に向けて、世界的にも今後原子力発電に頼らないエネルギー政策を考えなくてはいけないのだと思います。 伸び続けてきた経済を今後同じように成長させるのか・・・日本では高齢化も進み、人口も減少してくる中で、今までとは違う部分での成長が必要ではないか？と考えた時、電力量を相対的に減らせるのではないか、と思います。また、今まで原子量発電に お金や人材を投資してきた分を再生可能なエネルギーに回せば、そして国が本気になって取り組めば、その分野が急激に進展するのではないか？という期待もあります。 また、今の社会の在り方を見直す必要もあるでしょう。昨年の計画停電のような状態でも、何かと乗り越えられました。国が主体となって社会全体の在り方を見直すことは必要になってくるでしょう。でも、多くの人の知恵を寄せ合えば、きっと実現できることと思います。電車の本数を減らしても大丈夫な社会に、電飾を控えた社会に、それが当たり前になればよいのです。もちろん、国民である私たちも、自分たちの生活を見直すことも大切なってくると思います。国が国民が力をあわせて、原子力に頼らない、そして安心して暮らせる社会の実現に向けて、そして地球規模で原子力発電ゼロへの展開の推進役となることを望みます。
56856	個人	会社員・公務員	60代	男性	今すぐ原発を無くしてほしい。	放射能が管理できないから。
56857	個人	学生	10代以下	男性	(1)ゼロシナリオ 原発即廃炉	即廃炉 デモにもいってます 原発要りません
56858	個人	学生	10代以下	男性	原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	・事故になった時のリスクが大きすぎます。 　ぼくたちが、遊べる環境を残してください。 ・どうして福島の事故が起きたのか、原因がはっきりしない。 　地震で原発は壊れたはずなのに、津波で壊れただとか、はっきりしません。たとえ地震が来なくても原発は壊れる可能性があり、壊れた場合には大変なことになります。 ・原発を動かすと、核のゴミが出る。 　核のゴミは、次世代に持ち越されます。僕たちが考えなければならない問題になります。
56859	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオで！	これ以上は危険です。
56860	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原子力発電ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	日々様々な決定権を持って生きている我々日本の成人には、自分たちの生物的、文化的な遺伝子を次に繋げて行く責任があります。 原子力発電所の再稼働はしないでください。日本の、そして太平洋を共有する全ての国の子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。 宜しくお願いします。
56861	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)原発ゼロシナリオ選択	大飯やそのほかの原発の断層が発見されている。 地震の活動期に入った今、大地震が起きあとひとつでも原発が爆発すれば、国土はどうなってしまうのか。 汚れた土地に人は住めない。経済活動以前の話。 使用済み核燃料の問題、原発労働の問題、山積みです。 今すぐにすべての原発廃炉を希望します。 2030年、稼働している原発はゼロになっているでしょう。
56862	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	だれも責任を取れない原発事故を引き起こしたから。東電社員と経産省、保安院と原子力安全委員会の連中が責任を取れないから、ゼロシナリオ以外に選択肢は存在しない。
56863	個人	その他	50代	男性	原発0を希望します	廃棄物の処理を後世に託して利益だけを今むさぼろうと言う姿勢は感心できません。 また事故が起こった場合の被害があまりにも大きすぎる。 他のエネルギー開発に注力すべきです。
56864	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発即時ゼロにする検討が必要。	100%の安心がもてず 僅かな失敗が甚大な被害をもたらす原発は即時廃止が必要と思う。 雇用や経済状況について心配を唱える人もいるが 代替エネルギーはもちろん 新分野で技術を積み上げていくことが 弱体化している日本経済に活力を与え 雇用や経済の活性化に必ず繋がります。 目先のことをみて原発再稼働を唱えるより 未来の環境面はもちろん 日本の新分野での発展を見越し原発ゼロを検討するべきだと思います。
56865	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロ」に照準を合わせ、すべての政策、経済構造、ライフスタイルをそのために変えていくことを求めます。	「原発ゼロ」に照準を合わせ、日本の諸政策、経済構造、ライフスタイルを、「原発ゼロ」に向かって変えていかなければならないと考えます。 　大地震や津波、その他の災害が起こった際の原子力発電所の安全性が取りざたされていますが、それは問題の本質ではないと考えます。なぜなら、原子力発電はまったく「クリーンなエネルギー」でも「エコなエネルギー」でも「経済的なエネルギー」でもないからです。原子力発電は膨大なエネルギーを生む反面、何万年、何十万年も未来にまで危険きわまりない核廃棄物を残します。原子力発電所は、膨大なエネルギーを生み出すために膨大な温水を海に垂れ流し、海の生態系を変えてしまいます。そして原子力発電所は、膨大なエネルギーを生むために膨大なコストがかかります。さらに、原子力発電さえあれば未来永劫、エネルギー枯渇の心配がないようかのように言われていますが、一説によれば一つの原子力発電所で燃やされるウランは1年あたり1トン、そのウランは当然のことながら有限資源であり、原子力発電があればエネルギー問題はなくなるという話は幻想に過ぎないことは明らかです。 　これらのリスクや誤解をすべて補ってあまりあるメリットが原子力発電にあるとは、とうてい考えられません。仮に原子力発電所の安全性が20パーセント担保されたとしても、原子力発電所は、その存在自体が有害であり、したがって安全性云々は表面的な議論に過ぎないと言えます。 　原子力発電所は、存在そのものが有害である―?そのようなところで作られたエネルギーを、私はもう使いたくありません。また東京在住の身としては、原子力発電所という巨大なリスクを地方自治体に押しつけて自分たちだけはリスクの外でエネルギーを享受しつづけるということも、もうしたくありません。 　また原子力発電は日本の大切な輸出産業であり、したがってそれを捨てることは日本経済に大きなマイナス影響を及ぼすという意見もあるようですが、日本が世界に誇る技術力を原子力発電に使うのではなく、太陽光発電、地熱発電などなどの自然エネルギーに使い、それを重要な輸出産業としていくほうが、よほど世界に対する貢献度も上がると考えます。ちょっと調べればわかりますが、効率性の高い自然エネルギーの開発に心血を注ぎ、実績をあげつつある中小企業が、すでに多く存在しています。納税者として、原子力発電の再稼働、維持ではなく、そうした優良中小企業の努力に対し税金を使うことを求めます。 　以上の理由から、まずは「原発ゼロにしていく」と決めること、そしてすべての政策、経済構造、ライフスタイルをそのために変化させていくことが、私たち現代に生きる日本人の「責任」であると考えます。
56866	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発0%希望	核は要らないから。
56867	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。 これからの日本を担う子供たちのために、即時原発0%希望！	広島・長崎・福島で命を落とされた方の命の重さ、 『普通の生活』が送れなくなった方の想いをほんの少しでも考えたら、 原発はこの世に存在させてはならないものであるという揺るぎない判断に辿り着きます。 もはや戦後67年です。 アメリカから卒業・独立しましょう。 そしてこれからは、核廃棄物処理政策を、 自然利用の再生可能エネルギー政策を、 どの国よりもいち早く打ち立てて、 新しい産業モデルを世界に発信する方向へ向かう事が、 何よりも健全な発想であり、建設的であり、日本の発展に繋がります。 原爆・原発で犠牲となった方々の貴重な命を、 これからの日本を担う子供たちのパワーに変えてゆきましょう。 がんばろう日本！！
56868	個人	会社員・公務員	20代	男性	3つの選択肢の中では、ゼロシナリオを選択してほしいと思っています。ただ、まずは原発を「継続するか、廃止するか」の選択をするべきでないかと思います。	将来的に商用の原発からは撤退してほしいと考えています。原発について、まず最初に「継続するのか、廃止しるのか」を決めるべきで、今回の原発の割合に関する議論はその後で話す内容なのではないかと思います。原発に対してどのようなスタンスを持つのか、それをはっきりさせてほしいです。原発をやめるのか続けるのか、それが曖昧なままこのような議論をしてしまっていいのか、少し疑問に感じています。
56869	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は不要。即時廃炉に踏み出すべき。	原子力発電不要の理由。 安全ではない。 放射性廃棄物の処理が決まらない。 原子力発電がなくても、電力は足りる。
56870	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢のうち、「ゼロシナリオ」を支持する。	東京電力福島第一原子力発電所の事故に関する一連の報告書、調査等を見た結果、以下の理由により、我が国は国策として「ゼロシナリオ」を選ばざるを得ないものと思料する。 ・原子力発電所に深刻なダメージを与える天変地異を予測することは、現在の科学技術では不可能であること。 ・人類による原子力エネルギーの運用は困難であるだけでなく、莫大なエネルギーを消費し経済的にも非効率的と言わざるを得ないこと。 ・原子力発電所を保持することは、核兵器を保持する意思を対外的に示すことであり、今後我が国が基軸とするであろう、東アジアの国際関係に潜在的な悪影響をもたらすこと。
56871	個人	パート・アルバイト	30代	女性	科学技術振興機構（JST）の提案する、「ゼロシナリオ」＋家庭部門の省エネ対策を実行し、「年間約13万円の得」を発生させる対策を指示します。	科学技術振興機構報　第898号　に記載されている、「ゼロシナリオ」＋家庭部門の省エネ対策を実行し、「年間約13万円の得」を発生させる対策を指示します。 特に、この対策案が下記ポイントを重要視していることを評価します。 〇低炭素社会と生活の豊かさを両立させるためには、家庭での省エネ対策の推進が最も効果が高い。 〇省エネ対策にあたっては、併せて所得階層間の格差を是正する仕組みの検討も重要。 エネルギーも経済と同じく、消費し対価を支払う者がいて価値を持ちます。そのエネルギーが消費に値しない価値を持った場合、消費者が離れていくことは経済の当然の流れです。 「ブラックブラネット賞」を受賞した東京電力の生産するエネルギーに、消費者はすでに魅力を感じておらず、市場価値は底辺にあり、また逆を述べると新たな魅力あるエネルギー事業に価値が発生している時期でもあります。この一年でのエコエネルギー、省エネ関連グッズの市場効果や、国民・企業の関心を見れば、その動向が伺えます。 第898号記載の本文「次世代省エネ住宅や次世代自動車の普及強化、家電製品や自動車のトップランナー制度の持続的推進などの家庭における省エネ対策も併せて行うことで、どの所得階層でも生活の余裕が向上します。」という試算結果をガイドラインに、国・経済界・消費者が共に理想の未来へ歩みを進めていくことにより、日本のエネルギー・環境分野は、高い技術力や、環境と共に歩むという古くからの国民性により、世界の中でトップの地位を築く事が必ず出来るはずです。 以上の理由により、私は、科学技術振興機構報　第898号　に記載されている、 「ゼロシナリオ」＋家庭部門の省エネ対策を実行し、「年間約13万円の得」を発生させる対策を指示します。 ご検討の程、宜しくお願い致します。 http://www.jst.go.jp/pr/info/info898/index.html
56872	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロを推進します。今後の建設はストップし、今ある施設は廃炉にすべきです。	日本の技術力があれば安全に電気を作り、供給する事ができることを多くの者が知っています。正しい情報を国民が得ることが難しくなくなった今、もう誤魔化すことはできません。 安全な方法で雇用をうみ、地域を活性化すればいいと思います。 経済的にも産業的にも世界を牽引する日本にまた戻しましょう！ 日本をシンプルに正しい道へ。
56873	個人	無職	60代	男性	原発は不要、即時廃止。	あれほどの甚大な被害を出しておきながら誰一人として責任を取らない現在の状況を放置して、原発の存立などありえない。 政府は事の進め方を間違えている。 まず、迅速な事故の賠償、除染、事故責任者の裁判と処罰、そして徹底的な真相解明ありきである。それなくして原発の再稼動を行ってはならない。 今後、放射性廃棄物の処理はどうするのか？国民的合意の取れないまま安易な埋設手段を選んではならない。埋設はどんな方法であれ、放射性廃棄物を国民の目からそらすことになる。廃棄物の保管は地上で行うべきである。 今後、原発を維持すればますます廃棄物処理が困難になるだけである。それを考えても原発は即時廃止するのが現時点でもっとも賢明な選択であろう。
56874	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオに期待します	経済へのマイナス影響を考慮すると、即時廃止というような現実味のない意見には与し得ない。しかしながら、地震が頻発する我が国においては、できるだけ早期に原発を廃絶すべきだと考える。

56875	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電によるエネルギー0%を強く希望する。	この度の大震災を受けて、日本列島が地震大国であることを改めて痛感させられるとともに、子供をもつ母親として恐怖を覚えた。その恐怖は一時的なものではなく、今現在も、余震、放射能の不安として続いている。 その恐怖を抱え、これからの未来生きる子供のことを考えると、大きすぎる代償を備え持つ原子力の使用は、親として決して認めるわけにはいかない。 67年前、原子力で大きな傷と悲しみを負った日本だからこそ、原子力で再び子供たちの未来を汚してはいけない。 今こそ、原発ゼロという大きな決断をするべきである。
56876	個人	会社員・公務員	40代	男性	1　ゼロシナリオを選択します。	経済的問題はあり、かつ原発事故の確率は低いにせよ、一度事故が起こった場合の被害の大きさを考えると可及的速やかに原発はなくすべきだと考えます。
56877	個人	無職	60代	男性	ｾﾞﾛｼﾅﾘｵを支持し、2030年までの出来るだけ早期にｾﾞﾛにする。	ｾﾞﾛｼﾅﾘｵを支持しますが、現実には今すぐは無理だと思う。少し時間をかけてもｾﾞﾛへの方向性を示すことが、日本の将来や子孫のためになる。15や20～25は国民の多くが望まないと思う。軍事的な核の保有については、原発と切り離すことが必要である。 また、これらの意見を政府による反対意見のガス抜きに利用してはならない。
56878	個人	自営業	30代	男性	「ゼロシナリオ」しかない。速やかに順次廃炉することを象徴とし、すばやく再生可能エネルギーに移行することこそが日本の活力となる。一時的な目の前の問題にとらわれずに大きなビジョンを持つべき。	そもそも新規立地は現実的に不可能なのに15%、それ以上などという選択肢がある時点でおかしい。
56879	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢で、原発依存度を基準に(1)のゼロシナリオを支持する。	2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢で、原発依存度を基準に、(1)のゼロシナリオを支持する。 2012年8月12日付けの「読売新聞」朝刊には、経団連が主要業界団体に緊急調査した結果「ゼロシナリオ」になった場合に雇用が減ると答えた団体が96%を占めた」とあるが、これは当然だろう。調査対象は鋼鉄、自動車、化学業界など、東日本大震災以前と同様の価格で、電力の安定供給を望む団体ばかりである。また、そもそも経団連は、これまでずっと原発推進を支持してきた。原発依存度ゼロになることを避けたいという心理があるのだろう。 同記事には、「政府内では水面下で『ゼロは絶対に回避しなければならない』(経済官庁幹部)と民主党幹部らへの説得を続けていた」、「民主党幹部は『こんなに(ゼロシナリオが)多いのか』と動揺を隠せなかった」とある。つまり、政府関係者の多くも原発依存度ゼロという想定をしてこなかった、ということである。ここが、日本の原子力政策の問題点だろう。 大きな発想の転換が必要である。国民の意見を聞き、政府が「原発に依存しないエネルギー政策は可能である」という姿勢を示し、経済団体を説得せねばならない。そうでなければ、いつまでも「原子力ムラ」という批判がついて回る。先に挙げた新聞記事には、「ゼロシナリオを経済成長につなげる道筋は危うい」とも書かれている。太陽光などの再生エネルギーは他国との価格競争にさらされること、家庭用燃料電池の大量導入が必要なこと、市街地へのガソリン車乗り入れ規制が必要となることなどが、経済への打撃材料として述べられていた。しかし、ここにも発想の転換があればよい。個々の具体例は挙げないが、競争によって磨かれた技術力こそ日本の誇るべき力である。都市部に路面電車などの新型交通網を整備することも考えられる。電気料金が値上がりすれば、省エネ努力に拍車が掛かる。 東日本大震災や福島第一原発の事故は、我々日本人だけでなく、世界にも大きな衝撃を与えた。これを単に「想定外の」不幸な出来事とせず、我々が変わるための大きな教訓にしたい。だからこそ、原発依存度ゼロシナリオを支持する。
56880	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオ	自然エネルギーを使うことは今からでも遅くありません。 今これだけの人が動こうとしているのだから。 実行力あるのみです。 国が示してください。
56881	個人	無職	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。原子力発電が今の日本にとってどれだけ危なっかしいものかを震災で痛感しました。
56882	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロにしてほしい。完全廃炉を目指して欲しい。	福島原発事故以来　妻子を避難させています。一年半、家族はバラバラです。避難決断した人も避難決断できない人もたくさんの家族が苦しんでいます。原発はリスクが大きすぎる。
56883	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発即時停止、できるだけ早く撤廃する。	エネルギーは自然エネルギーを志向する開発を国策として推進すべき。地震大国の日本に原発はコストがかかりすぎる。
56884	個人	自営業	40代	女性	出来る限り早いうちに原発をゼロにするべきだと思います。	核廃棄物の処理や保管場所の問題、 頻繁に地震や津波が起こる国であること等からです。 2011年の大地震の後の電力会社の対応も酷いと思いました。 そして、事故が起これば日本のみならず世界中に影響があります。
56885	個人	その他	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	「即時脱原発」を支持します。 先日、大飯原発再稼働の件でも関西電力の電力需要見通しが水増しされていたと新聞報道にも掲載されました。 国民に充分なアナウンスが行なわれていないだけで「LNGなどの火力発電」を稼働させれば、原発停止による電力不足は起こらないはずです。 「全原発停止・休止火力発電再稼働」の後、技術発展などで採算性が良くなった「自然エネルギー」を推進すれば、経済性や電力の安定供給の面でも問題はないと思います。
56886	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》	大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。
56887	個人	その他	50代	男性	原子力発電はただちに止めるべき。また福島第一原発の事故が収束していない以上、原発再稼働もするべきではない。	何の罪もない福島第一原発施設の付近住民及び農業漁業従事者の生活を奪っておきながら、経済が衰退するとか人命に関わるとかいう意見がまかり通るのはおかしい。そこが解決しない限り本来は話題にすらしてはいけないはず。 また、今後予想される海洋汚染の問題に国はどう対処できるのかはなはだ疑問。それでいて食べて応援とか絆を合言葉に世論誘導を行なうマスメディアもおかしい。5年10年後に大きな問題になるであろう放射能問題についても政府、東京電力の対応が不十分な気がする。もしかしたら海産物は食べられないかもしれない、そんな危機感が拭えない。それは飲食店、スーパーなどにも影響してくると思う。 ともかく一刻も早く今も漏れ続けてる福一の建屋をなんとかする事。再稼働賛成派の意見はそこからでないと聞けないと思う。
56888	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力ゼロシナリオを支持します。そして、即時に現在稼働中の原発を停止すること、もんじゅの廃炉を希望します。原子力はいりません。	福島では大きな事故が起き、現在もなお避難されている方々に十分な措置が施されてはいません。また、いつ家に帰れるのかもわかりません。今回これだけの状況に陥り、事故が終息もしないままにそれでも原子力に頼ろうとする政府の姿勢には理解ができません。個人的な利益が絡んでいるのではないか、政治家の損得で話し合いがされているのではとも思ってしまいます。 私は稼働中の原発を即時に停止し、原子力ゼロシナリオを支持します。
56889	個人	パート・アルバイト	40代	女性	あなたに原発を運営する資格はありません。	福島原発の事故の責任を誰もとっていません。
56890	個人	自営業	40代	男性	現実性のある15シナリオを基調としつつ、期限に必ずしも囚われずに出来る限り速やかに原発への依存度を減らすべき。二酸化炭素排出量の削減も非常に大事な課題です。	安定供給の責任や国民経済に与える影響を考えると、直ちに原発ゼロは難しいと思います。しかし、技術開発に応じて段階的に減らすことは当然のことです。
56891	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本国が現在の経済規模及び生活水準を維持しようとするのであれば原子力発電は現状(3)あるいは現状以上（供給電力の40%程度）の規模は必要です。	日本は戦後67年を経て、敗戦のどん底から高度経済成長期を経て世界トップクラスの工業国へと成長すると同時に、日本国民は世界トップクラスの生活水準を手に入れました。日本の工業を支えてきたものは世界最高水準の高品質な電力（安定した電圧と周波数、及び停電がないこと）によるものであり、この高品質な電力は原子力発電なしには実現しえなかったものです。どんな技術にも100%の安全はあり得ず、その技術から受ける恩恵とリスクを秤にかけて冷静に評価する必要があり、1F事故を経験した現時点でもその原子力の重要性にはゆるぎないものがあります。日本は世界有数の自動車生産を誇る国に成長しましたが、奥浜1号機が運転を始めた昭和45年には約16,000人の交通事故の死者を出し、昨年度は5000人を下回る水準にまで減少しましたが、それでも毎年これだけ尊い命が失われております。人の命をお金に換算することはできませんが、仮に少なく見積もって5000万円としても、この40年間で交通事故で亡くなった方による損失は計り知れないものとなり、今回の1F事故の損害額を上回ります。すなわち、日本が原子力発電所を運転して幸で40年目にして起こった大規模な損害賠償を要する事故として毎年国民一人当たりの損害額に換算すれば交通事故の損害額の方が上回ります。交通遺児の中には自動車さえなければ、と考える人はいるでしょうが、日本から自動車産業をなくすという議論にはなりません。それは、国民がそのリスクを承知で、自動車の利便性という恩恵にあずかっているからです。発電所から遠い大都市に住む多くの国民は、スイッチを入れれば明かりがつくのは当たり前と思い、福島・新潟・福井などでどのようにして原子力発電所が運転されているか、十分な知識がないため、そのありがたみとリスクを正しく評価できていません。当初、米国からの輸入技術で出発した原子力発電は日本の工業の発展とともに運転の経験（トラブルの経験も）を蓄積し、原子力安全の研究も世界トップクラスの水準にまで進んでいます。これまで東京のために原子力発電を受け入れた福島のために、そして経済発展を通じ、電力危機に直面している国々のために、1F事故を経験した日本が果たすべき責任は大きく、世界からもそれを期待されています。国内では、これまで新設プラントは計画から運開まで10年程度の時間が必要でしたが、今後はもっと多くの時間が必要になるでしょう。旧型の原子炉は廃炉にし、最新の安全システムを備えた原子炉に置き換えていく仕組みを今作らなければ、取り返しのつかないことになります。天然資源が少なく、エネルギー自給率の極めて低い日本が生き残るには世界最高水準の安全性を備えた原子力発電所を運転していくしか残された道はありません。二酸化炭素排出量、エネルギーセキュリティの観点からも当面他に代替案はみあたりませんし、このまま放置すれば日本企業の海外流出に歯止めをかけることはできません。 最近の反原発を唱えている方は自動車や携帯電話を手放すことはできますか、できないのであれば原子力に対する選択肢は自ずと明らかなものとなるでしょう。
56892	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発0%を希望します	今まで電気を使い過ぎていた生活を改め 早急にクリーンエネルギーの普及を進めてください。 地震大国日本に原発はいりません。
56893	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。	「原発ゼロシナリオ」、再稼働も停止し、即時0%を希望致します。 人間は、原発をコントロールできません。コントロールできるという考えは人間の驕りだと思います。コントロールできるのであれば、福島の現状は無い筈です。もんじゅに何かがあれば、日本だけの問題では済まされません。 東日本大震災で福島原発の事故があって、恥ずかしながら、日本にこんなにも沢山の原発があったこと、そして、もんじゅの現状を初めて知り、国民の一人として無知を恥じ反省致しました。二度と同じことを起こしてはならないと心から思いました。 今こそ、地球と宇宙と共存できる未来へ責任を持てるエネルギー政策へ転換するチャンスだと思います。新たなエネルギー発明、日本人なら必ずできます。それを国を挙げて支援していきたいと思います。 私も、3.11以降、微力ながら可能な限りの節電を継続しておりますし、多くの国民がそれを実行しております。もう危険を伴う便利さよりも、多少不便でも安全で安心できる生活を多くの国民が望んでいることをご理解頂きたいです。 今ならまだ間に合います。我々は、決して未来を潰してはなりません。
56894	個人	その他	10代以下	男性	原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	・事故になった時のリスクが大きすぎます。 ・どうして福島の事故が起きたのか、原因がはっきりしない。 ・原発を動かすと、核のゴミが出る。
56895	個人	家事専業	30代	女性	私は、今後の日本のエネルギー政策の方針として、原発の「ゼロシナリオ」を強く希望します。	私は、今後の日本のエネルギー政策の方針として、原発の「ゼロシナリオ」を強く希望します。 なぜなら、原発は、私たちの住む地球環境と自然を破壊し、人類にとっても実害があるものだからです。 福島第一原発事故という、信じられないくらいの大事故を経験し、いまだに実際に苦しんでいる人びとが多く住んでいる国の責任としても、これ以上、同じような被害者をだすようなことは（可能性だけでも）絶対に避けなければいけないと思います。 原発を廃止する上で、経済の問題や生活の不便など、それに伴い私たちが苦労したり痛みを感じたりしなければいけないことが多数出てくると思いますが、政府には、そういった問題や国民の苦労を最小限におさえる努力（国民の立場で）をしていただきたいです。 いまだに苦しんでいる方達の立場に立って考えられるような、そんな倫理観をしっかりと持って政治に取り組んでいただきたいと願っています。
56896	個人	パート・アルバイト	20代	女性	0シナリオでお願いします！	自然エネルギーにシフトしていって欲しいです。 本当の自給自足ができるエネルギーで電気を使いたいです。 原発がなくても電気は足りると思います。
56897	個人	法人等	60代	男性	うそや言い逃れではない最大限の安全確保を条件にした原発継続はやむを得ない選択と考えています。	福島原発災害は究極の人災であり、且つ、あまりにも馬鹿馬鹿しい事故のように考えています。1千年に一度だから当分は大丈夫だろうと、本当は九百何十年かは過ぎてしまっていて残された時間はわずかになっていたのに東電もマスコミも問題を喫緊の物として捉えず、報道もせず、対策を先延ばしにして事故に至らせてしまったことは余りにも大きな無責任さであり、実に腹立たしい事です。 潜水艦や潜水艇が数百、数千m潜水できる時代にいくら津波の力が強いといっても、防水扉など建物の対策が不可能だったとは考えられません。 地震発生時、トップ2は不在だったというのも経営者失格と考えます。その連中が事故発生時、国家国民よりも利益を優先した事も腹立たしい限りです。 今にして思えば原発維持推進側と反原発の対立も実に不毛の事だったのではないのでしょうか。 絶対安全だと言ってしまえば、何らかの改善を必要と考えたとしても、手を加えれば、反原発側からそれ見ろ、安全ではないから対策をしたのだろう、と攻撃されるため、結局何もしないのが良い、というような事は無かったのでしょうか。 ところで私は近くに住む子や、孫たちと共に日本海にそった山陰に住んでいるものであります。 日本の原発も怖いとは思っていますが、同じようにかそれ以上に怖いと思っているのは韓国東海岸に連なっている原発です。 だいぶん昔の写真の様ですがグーグルマップで朝鮮半島東海岸を見て行くと、一か所に十基ほどもある原発が何か所もあり、何か起これば我々は逃げるところも無く、一挙に襲ってくる放射線にさらされてしまう事となります。日本の電力事情がおかしくなって、企業の逃避、産業の衰退が起これば韓国の電力需要はますます大きくなって、さらに原発が増設されることは必至ではないのでしょうか。 韓国の原発技術や安全性は如何様なものか知れませんが西日本が住めなくなるような事が起こったような時、初めて誤りに気付く事に為るのかも知れません。 結論として、活断層上の原発は直ちに廃棄など原発の最大限の安全性確保を条件に、原発維持がつらい事ではあるが止むを得ざる選択ではないかと考えます。

56898	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します	地震大国日本に原発は危険です。 地震活動が活発になっている今、また再び福島第一のような、或いはそれ以上の大事故が起こる可能性は十分に考えられます。 そうなったとき、日本のダメージは計り知れません。 また、原発は未だに使用済み核燃料の処理方法が確立していません。 よく後世につケを残すなと言いますが、これこそ後世の日本人のみならず、地球環境全てにツケを残すことになるのではないでしょうか。 これ以上使用済み核燃料を増やし続けていいのか…、私はできるだけ早く原発をやめるべきだと思います。 核燃料のリサイクルも、危険な上、リサイクル率がとても小さいと聞いています。長年研究した結果、大きな成果も上がらないものは断念すべきです。 原発推進の理由にあげられるCO2削減の効果に関しては、再生可能エネルギーなど、他の発電方法で代替できるのではないでしょうか。地球温暖化は二酸化炭素だけが原因ではなく、さまざまな要因が積み重なった結果だともいわれるので、原発で一足飛びに減らすという発想ではなく、さまざまなアプローチで対処していくべきだと思います。 最後に電力料金について、現在一般家庭では電力会社の選択ができません。 本当に電力が自由化され競争原理が働くようになれば、料金も当然下がってきます。原発ゼロ＝電力料金アップ、という論じ方は不誠実です。発電方法ではなく、別の方法で電力料金を安くできることも、国はちゃんと国民に伝えてください。 原発ゼロは可能だと思います。この夏も原発ゼロで乗り越えようとしています。再稼働した関西でも電力は余っているという現実が何よりの証拠です。
56899	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は絶対に反対	「0%」。「即刻0%」を希望します。原発はトイレなきマンション。ゴミの処分法もないものを造るべきではない。ウラン採掘から廃棄に至るまで、誰かを犠牲にし人を分断させる原子力など要らない。
56900	個人	学生	10代以下	女性	私は「ゼロシナリオ」を選択します。 2030年までではなく　即時に原発をゼロにすることを希望します。	放射能はこわい！早くやめて！ 原爆や原発で死にたくない。
56901	個人	無職	20代	男性	3つの選択肢にはこだわらないが、原子力は段階的に引き下げ、将来的にはゼロとする。再生可能エネルギーを中心としたクリーン電源の拡大や技術向上を推進し、その出力増分に応じて原子力を減らす。	◆基本姿勢 先の東京電力福島第一原子力発電所の事故により、発生確率はごく低いとは言え、原子力発電所が事故を起こせば現状のように、人命や健康、日常生活、経済その他、あらゆる方面に重大な影響を与える可能性があることが明らかとなった。特に地震大国である日本において、このリスクをゼロに近づけ、誰もが安全と思える状態を実現するのは不可能に近く、中長期的には原子力への依存度を可能な限り低減させる必要があると考える。しかしながら、現在の原子力は基幹電源の一翼を担っており、直ちにゼロとするのもまた日常生活や経済等への影響が大きく、非現実的と考える。 3つの選択肢にはこだわらないが、原子力依存度は段階的に引き下げて将来的にはゼロとする。火力の依存度はニ酸化炭素排出量ベースで現状を上回らない程度を目安にし、クリーン電源の拡大と技術向上を推進、火力以外の供給電力を水力や再生可能エネルギーを中心としたクリーン電源で賄うことができるようになったときを原子力ゼロのタイミングとする。原子力は火力やクリーン電源の技術向上による出力増加具合に応じて段階的に減らす。原子力以外の電源の技術向上は、各原子炉を40年で廃炉にできるペースをひとつの目安とする。 ◆原子力依存度引き下げにあたって 原子力への依存度引き下げには賛成であるが、ここで絶対に生じてはならない事態が二つあると考える。一つは大量の放射性物質の漏出や周辺住民の避難を伴う原子力発電所の事故、二つ目は電力不足状態である。 ◎重大な原子力発電所の事故の回避 国民生活への影響を慮みればただちに原子力ゼロ状態にはできないため、そこへ至るまでの間、原子力は依然として重要な電源であり、これへの依存はやむを得ない。しかし再び事故を起こせば既に厳しい国民世論はもはや顧みることができず、原子力発電所の稼働は不可能となるであろう。そうなれば電力不足の懸念だけでなく、電力会社の経営存続にも重大な影響を与え、日本の国自体が立ち行かなくなるといっても過言ではない。 そのような問題を回避するための原子力依存度の「段階的な」引き下げであるのだから、現在進行中の津波対策等の着実な実行と、活断層の調査や老朽炉の耐性評価等、あらゆるリスクに十二分に備える必要がある。 ◎電力不足状態の回避 ライフラインの一つである電力の不足は、国民の生活に直結する。電力不足による大規模停電はもちろん、計画停電や電力使用制限令発令も国民生活への影響が大きく、原子力発電所を稼働しても回避を優先すべきと考える。人工呼吸器を常時使用する等特殊な事情のない多くの家庭では計画停電もやむなしとの声もあるようであるが、一部の電力依存度がきわめて高い人々にとっては生命に直結する問題であり、いくら少数意見でも無視できないのは明らかである。また主に中小企業で節電の余裕がない、常時一定の電力が必要な企業があり、その関係者にとっても死活問題と聞く。これらの人々にとっては、計画停電や電力使用制限令の発令ですら一大事であり、可能性が生じること自体強いストレスとなることであろう。（私自身はいずれにもいたらないためここは推測であるが。） したがって、電力の安定供給は重要な課題であり、原子力に代わる電源が確立するまでの間、必要に応じて安全性の十分に高い原子力発電所については一定程度稼動し、電力の安定供給に努めるべきと考える。 ◆原子力削減とその後 原子力への依存度を下げるためには、代替電源の確保と消費電力量の削減を並行し行なう必要がある。 ◎代替電源 火力は発電時に二酸化炭素を排出するうえ、燃料となる資源は輸入に頼っており、発電コストやエネルギー自給率、エネルギー安全保障の観点からも火力一辺倒では様々なリスクを伴う。水力は建設時に自然破壊により環境に負担をかける。各種再生可能エネルギーはまだ普及率が低い、発電コストが高い、安定的な出力を得られない等、まだ様々な課題を抱えている。今後この分野の研究・技術開発が急務となる。 ◎消費電力量の削減 昨年の震災以降、節電の必要性が全国民的に認知され、家庭・企業・公共施設等において節電への取り組みが浸透しており節電意識はかなり向上してきたと思われる。しかし企業の中には事業内容の関係上、削れない電力需要を抱える企業があり、これらの利用者に対しても一律に電力使用量の削減を求めることは企業の業績にもかかわるため難しい。「ネガワット取引」を拡大する等、電力の上手な利用を促す仕組みづくりを行なう必要があると考える。 また、スマートグリッド等の技術の普及や他の省エネ技術の研究開発等を積極的に政府が主導してはいかがであろうか？ ◆政策との関連 老朽炉の廃炉や使用済み核燃料の最終処分はいずれ行なうこととなる。原子力発電所の存廃は電力会社の経営上も大きな影響があるようである。国策により普及した原子力発電であるから、廃炉の決まった原子炉は国が買い取って国の責任で廃炉作業を行なう等、電力会社への一定程度の配慮も必要であろう。 原子力依存度を下げるにはあまりにも多方面に亘る課題が発生するが、これらはもはや避けられない状況である。何をするにも当面は莫大な費用がかかることが予想されるが、民間の知恵や技術もうまく引き出し、エネルギー問題以外の課題とも絡めた政策で、多面的に解決を図ることはできないものか？ 原子炉の廃炉や使用済み核燃料の最終処分、送電時の電力ロスの低減や火力の発電効率の向上や二酸化炭素排出量の低減、各種再生可能エネルギーの出力安定化や発電効率向上等のための研究開発や人材育成等の政策に予算を重点配分し、またこれらの拠点を現在の原子力発電所立地自治体を中心に展開することで、現在原子力に依って生活する人々や、他の失業者に対する雇用創出につなげることはできないだろうか。 今後の政府関係各者様の取り組みにご期待申し上げます。長文最後までお読みいただきありがとうございました。
56902	個人	自営業	40代	男性	原発比率は2030年はもちろん、今すぐに0にすべきです。	そもそも原発は最終処分のメドすら立っていません。これはあからさまに問題です。これから何万年も後世に渡りツケを回すなんて、人としてとんでもありません。 現在すでに使ってしまった分の廃棄処理すらままならないです。もし少しでも動かすおつもりならば、最終処分する場所とその方法を明示しなければ、それは後世の人々に対する犯罪そのものです（米国NRCはこの理由で新たな原発の開発を停止しました）。 ですから、現状のまま原発を再稼働すること自体、ありえません。 そして、福島の原発事故は今現在も続いています。まったく安定した状態とはとうてい言えません。現在起こっているこの問題に対応するのはもちろんですが、今のプラントでは何かちょっとした問題があるだけ（天変地異を含む）で、これからさらに放射能被害が出る可能性があります。 事故が起こってから現在に至るもまったく問題を解決できていない国が、原発を再稼働すること自体まったく考えられません。 その他にも様々な問題がありますが、以上の2点だけ考えるだけでも原発は2030年にはもちろん0にすべきですし、さらに言えば今すぐに0にすべきです。 その上で、エネルギー比率を原発以外でベストミックスを探るのがよいです。 その時にはもちろん、日本海側に眠るメタンハイドレートも日本のすばらしいエネルギー源になる可能性を考慮すべきでしょう。 原発についての掛かる費用はすべて廃炉と安全保障（敵国の核開発を防ぐ）のために使われるべきでしょう。
56903	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本国が現在の経済規模及び生活水準を維持しようとするのであれば原子力発電は現状(3)あるいは現状以上（供給電力の40%程度）の規模は必要です。	日本は戦後67年を経て、敗戦のどん底から高度経済成長期を経て世界トップクラスの工業国へと成長すると同時に、日本国民は世界トップクラスの生活水準を手に入れました。日本の工業を支えてきたものは世界最高水準の高品質な電力（安定した電圧と周波数、及び停電がないこと）によるものであり、この高品質な電力は原子力発電なしには実現しえなかったものです。どんな技術にも100%の安全はあり得ず、その技術から受ける恩恵とリスクを秤にかけて冷静に評価する必要があり、1F事故を経験した現時点でもその原子力の重要性にはゆるぎないものがあります。日本は世界有数の自動車生産を誇る国に成長しましたが、奥浜1号機が運転を始めた昭和45年には約16,000人の交通事故の死者を出し、昨年度は5000人を下回る水準にまで減少しましたが、それでも毎年これだけ尊い命が失われております。人の命をお金に換算することはできませんが、仮に少なく見積もって5000万円としても、この40年間で交通事故で亡くなった方による損失は計り知れないものとなり、今回の1F事故の損害額を上回ります。すなわち、日本が原子力発電所を運転して来て40年目にして起こった大規模な損害賠償を要する事故として毎年国民一人当たりの損害額に換算すれば交通事故の損害額の方が上回ります。交通遺児の中には自動車さえなければ、と考える人はいるでしょうが、日本から自動車産業をなくすという議論にはなりません。それは、国民がそのリスクを承知で、自動車の利便性という恩恵にあずかっているからです。発電所から遠い大都市に住む多くの国民は、スイッチを入れれば明かりがつくのは当たり前と思い、福島・新潟・福井などでどのようにして原子力発電所が運転されているか、十分な知識がないため、そのありがたみとリスクを正しく評価できていません。当初、米国からの輸入技術で出発した原子力発電は日本の工業の発展とともに運転の経験（トラブルの経験も）を蓄積し、原子力安全の研究も世界トップクラスの水準にまで進んでいます。これまで東京のために原子力発電を受け入れた福島のためにも、そして経済発展著しく、電力危機に直面している国々のためにも、1F事故を経験した日本が果たすべき責任は大きく、世界からもそれを期待されています。国内では、これまで新設プラントは計画から運開まで10年程度の時間が必要でしたが、今後はもっと多くの時間が必要になるでしょう。旧型の原子炉は廃炉にし、最新の安全システムを備えた原子炉に置き換えていく仕組みを今作らなければ、取り返しのつかないことになります。天然資源が少なく、エネルギー自給率の極めて低い日本が生き残るには世界最高水準の安全性を備えた原子力発電所を運転していくしか残された道はありません。二酸化炭素排出量、エネルギーセキュリティの観点からも当面他に代替案はみあたりませんし、このまま放置すれば日本企業の海外流出に歯止めをかけることはできません。 最近の反原発を唱えている方は自動車や携帯電話を手放すことはできますか、できないのであれば原子力に対する選択肢は自ずと明らかなものとなるでしょう。
56904	個人	自営業	40代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張。 即原発ゼロは日本国としての品格であり、日本国民の少子高齢化社会における共通ビジョンである	仕事柄世界中の経営者と接しますが、震災直後の日本人の態度に高貴さ感じ、尊敬の念を抱いてくれた彼らも、政府の三流以下の対応に「国としての品格を疑う」と発展途上国の経営者からも言われ、日本国民としての誇りを失います。 原爆を投下された経験を持つ日本が、凛として原発0に向けての国家ビジョンを持つことこそが、世界中に対する日本国の存在意義を示し、少子高齢化社会に気持が衰えがちな日本国民に新たな生き方の希望を与えてくれるものと信じます。
56905	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発はゼロにすべき	福島で原発事故が起こり、今もなおたくさんの人々が傷ついている。放射能汚染を恐れ、大好物だったものもどんどん食べられなくなっていく。子供達は外で遊べなくなっている。ふるさとに帰ることができない人々がたくさんいる。それなのに、いまだに金儲けのために、より多くの原発を動かそうとしている政府も電力会社も下請けもあさましい。国民の命を守ってください。子供たちの未来を守ってください。そのために不可欠な、全原子炉即時停止を求めます。
56906	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオで即時0%を希望します。	僕は今まで一度も原発が必要なのか不必要なのかを選んだことがありません。一度原発をゼロにして、やっぱり原発がないと困るなと思うのか、それともなくても大丈夫だと思うのか、体験して、その結果で原発の有無を選ばせてください。そのためには今稼働している原発を止めて、一度ゼロの状態に戻してください。
56907	個人	自営業	30代	女性	1の「原発ゼロシナリオ」を選びます 他の選択肢は考えられません	これまでも原発のトラブルはいくつもありました。 “フクシマ”は想定外とのことですが、 たった一度の想定外も許されないと思います。 今後も想定外の事件が起こりえます。 もしも稼働するのなら、 １００％安全となってからお願いします。 また、核廃棄物の処理を完全にできるようになってから 稼働できるようお願いします。 また、いつ原発事故が起きるかわからない状況では 安心して日本に住むことができません。 また、政権交代となる選挙で民主党に投票した身ですが、 原発を推進するようでは、民主党にはもう投票できません。 国の利益よりも人間の命を大切に思ってください。 高い技術力を誇る日本人の英知を結集すれば、 自然エネルギーへのシフトも可能だと思います。 そのように舵を切り、新しい価値観の中で生きていく様を 世界に示し、皆で変っていきましょう。 不便なことがあっても、覚悟はできています。 この国のリーダーとして本当に必要な方向へ 牽引していってください。 どうぞよろしくお願いします。
56908	個人	無職	40代	男性	原発は、2030年にゼロでは不十分。可及的速やかに、全て廃炉にすべきである。	原発事故から1年半が過ぎたが、未だに炉内の状況すら把握できないではないか。（線量がばか高くて）しかも、全てが事業者（東電）まかせ。 国民の生命安全を守ることが国の責務ではないのですか？ 私の地元関電では需要の過大見積もりを理由に原発の再稼動が強行されました。原発の電力は本当に必要なんでしょうか？ 東電管内で昨年行われた計画停電、管内の原発が全て止まっているにも関わらず、今年は停電さえ起こっていません。五輪を深夜まで見ている国民がたくさん居て、電力使用量は多いはずですが。 なんにせよ、事故が起こったらなんの対策さえできないような原発を稼動することはありえないと思います。
56909	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを実現すべく、全国民一致団結すべき。 京都議定書で定めたCO2排出量削減の時は、課題解決が全国民の問題という風潮にならず、結局約束を守れていない。	ゼロシナリオを内閣官房国家戦略室が望んでいないと思われる選択肢の資料に愕然。（表3：経済的負担が重くなってても、厳しい規制で。などの表現。） 再生可能エネルギーの推進をグリーン成長戦略として掲げる。ということならば、2030年に再生可能エネルギー35%を目標とし、どうすればそれが経済的負担が極力なく実現できるか産学官民あげて取り組むべき。 原発について、東電福島発電所の事故を受け、直接的な被曝問題に悩まされる近隣市町村の住民だけでなく、微量被曝や新たな原発事故を不安に思う人（特に小さな子を持つ親）が相当数おりストレスを感じている。この現状で代替手段が全くない訳ではないのに、原発を今後も維持することは正当化される理由はないと考える。（『経済』のために、安全・安心・健康すなわち『命』を脅かす事があってはならない）

56910	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	原子力発電のメリット、デメリットを福島第一原発の事故以来、再稼動反対の抗議行動を通じて考えてきました。結論として、原子力発電は不要です。
56911	個人	自営業	40代	女性	将来のエネルギー政策は原発は0%とする	福島の事故の状況から　事故が一度おこると今の技術では　終息させることができないことがわかったため。小さな国土しかない日本でこれ以上　住めない地域、野菜、漁業、おこなえない地域を増やしてはいけないため。原発のゴミの処理方法もわからないまま　危険な状態でふやさないため。今原発に関係した仕事をしている人は、他の仕事があれば生活ができるはず。原発だけが仕事ではない。
56912	個人	パート・アルバイト	20代	男性	日本国内の原発を全て止めてほしいです。	事故はもう起こったからです。
56913	個人	会社員・公務員	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	再稼働はしないでください。核燃料サイクルは既に破綻しています。再処理の廃止を希望します。そして、子ども達に健康な未来を残すためには原発をゼロにしてください。そしてもっと自然エネルギーを促進してください。
56914	個人	学生	10代以下	女性	原発のない未来へ 原発があっても苦しんでいる人がいるなら原発のエネルギーはあっても意味がありません。まず、1日でも早く原発をゼロにしたいです。	原発のない未来へ 私は、多くの方が苦しんでいるのを見て、「なんで原発と言う物があるんだろう？」と、思いました。それは、原発をすいしんする人がいたからです。私は、なぜ原発すいしんする人がいるのかわかりません。 　原発があっても苦しんでいる人がいるなら原発のエネルギーはあっても意味がありません。まず、1日でも早く原発をゼロにしたいです。 　自然エネルギーは、命も助けるし、地球もよごさないから、私は原発ゼロにして自然エネルギーに切りかえたいです。私の好きなおさしみも食べれなくしてしまったし、原発は本当に意味がありません。 NO　NUKES！！
56915	個人	その他	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	・事故になった時のリスクが大きすぎます。 ・どうして福島の事故が起きたのか、原因がはっきりしない。 ・原発を動かすと、核のゴミが出る。
56916	個人	自営業	40代	男性	日本国土の原子力発電所の即時廃炉	原発依存を可及的速やかに0にするべきです。縮小や段階的廃炉では近未来必ずや起こる震災被害を防ぐ事は出来ません。
56917	個人	自営業	70代	男性	2030年までに自然エネルギーによる発電を30%に増やすことは、技術的経済的立地的すべての面で現実的でなく、好むと好まざるとにかかわらず、20－25シナリオにならざるを得ない。	原子力発電なしで、国民生活が世界経済の中でかつ日本の地勢学的社会的経済的に成り立つものならよいでしょう。 しかし、2030年までに (1)　太陽光発電が競争可能な原価になり、風力発電の立地箇所が十分に増え、地熱発電の環境への影響が激減でき、これら合計の発電量が　世界との競争を考慮して産業界を含めた国民の需要を満たすことができるか (2)　ベースロードになりにくい不安定なこれらの電源が、安定的な電圧や周波数を必要とする産業の需要を満たすことができるか (3)　火力発電を増やさざるを得ない時、原油価格の高騰、最悪には中東戦争などによる入手困難などの問題に対応できるか を考えた時、これは　とても無理であると言わざるを得ません。 現実的に検討すれば、貴HPの「エネルギーと環境のみらい」で示された「シナリオを検証するにあたり踏まえるべき視点、「大胆なエネルギー構造の改革」の3視点は相当困難な課題であり、ことに「エネルギーの選択に当たって重要な4つの視点」の中でも「世界のエネルギー情勢や代替エネルギー確保の見通しは不確実であり、エネルギー安全保障を確保するという要請は変わらない。エネルギーミックスを転換した結果、産業や雇用が空洞化する事態は回避する。」を考慮すれば、自然エネルギーを30%に増やすことは30年までには到底不可能であり、ゼロシナリオや15シナリオが成立しないのは明らかです。 よって、好むと好まざるとにかかわらず、20－25シナリオにならざるを得ない　のが、私の意見です。 もちろん　徹底した原子力発電の安全確保に当面注力すべきことは言うまでもなく、「社会の安心・安全を持続可能な形で確保することが今は何よりも求められている。」という視点には、最大の努力を傾けるべきと思います。
56918	個人	会社員・公務員	20代	男性	「ゼロシナリオ」を支持する。福島原発事故と同等の事故が再度起きた場合、社会、生活、経済に与える被害は甚大となる。早期の原発ゼロ達成こそ国益にかなう政策である。	3つのシナリオのうち、ゼロシナリオを支持する。 以下に理由と意見を述べる。 地震が頻発する日本の国土はそもそも原発には不向きである。これ以上の原発新設はリスクが高く、また既存の原発についても老朽化により天災に伴う事故発生のリスクは漸増していくことが予想され、順次廃炉とするのが妥当である。従って、2030年、またはそれ以前には稼働原発をゼロとすることが望ましい。 もちろん、核燃料サイクルや使用済み核燃料再処理についても、同様のリスクが懸念されるため即座に廃止すべきである。 提示された3つのシナリオの前提のうち、原発依存度の減少が最優先されるべきである。これは、原発をCO2排出量の削減、化石燃料使用量の削減の手段としないことを意味する。 原発依存度の減少のためには、廃炉の手続、基準を定めた基本法を制定し、該当する原発から廃炉としていく。この際、立地自治体の雇用不安を解消するために交付金や減税措置などにより、自治体の協力を得ることが必須となる。 また、一時的に再稼働が必要となる場合も想定されるため、既存の原発に関する必要な事故対策はすべて実施されるべきである。これを怠ったために事故を起こした電力事業者の経営者や規制官庁の責任者に刑事責任を問えるよう法律を改正する。原発に関する情報、並びに電力需給に関する情報は再稼働の適否を考慮するために広く国民に共有されるべきであり、これらの情報開示を可能とし、虚偽・隠ぺいがあった場合には刑事責任を問うことが可能となる法律の制定、あるいは改正が必要と考える。 原子力規制委員の人事については、多様性、独立性が必要ではあるが、国会の判断で解任できるようにすべきである。 CO2の削減、化石燃料の削減は火力発電所の効率化や国土の緑化により達成し、これらを中核とした産業政策を立案すべきである。また、廃炉技術を習熟によって、今後老朽化する世界の原発の廃炉への国際貢献を目的とし、関連技術や地域の雇用政策に予算を配分し、国家戦略の中核とする。
56919	個人	会社員・公務員	20代	男性	脱原発(ゼロシナリオ)を支持します。 一度事故が発生すれば甚大な被害が発生し人間が住めなくなるからです。一刻も早く原子力発電所の即時停止と全廃をすること。	福島第一原子力発電所に於いては1号機から4号機まで全て大爆発しました。もう福島には人間が住める環境ではありません。チェルノブイリの資料によると0.12 μsv/h を超えた場所ではその後廃村になったそうです。日本も確実にチェルノブイリと同じ道かそれ以上の被害になることは容易に想像がつきます。それなのに原子力発電所を再稼働するという暴挙に出るとは何事か。大変憤りを感じております。第二の事故が起こる前に一刻も早く全部の原子力発電所の即時停止を求めます。
56920	個人	その他	40代	女性	新たなエネルギー開発で雇用の場を増やして欲しい。原発反対です。	私は原発から海を隔てて10キロ圏内で生まれ育ちました。原発マネーに育てられたといっても過言ではないと思います。 福島の事故以来、原子力発電への信頼が、というより日本政府へよ信頼が急下降し、今や日本の未来を案じるようになりました。 原発から受ける地元の恩恵はもちろん多々ありましたが、事故がないとはいえなくなった今、やはり次世代のエネルギー開発を急ピッチですすめてもらいたいです。
56921	個人	自営業	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	今回のパブリックコメントの政府のアピール方法がごくわずかな範囲でしか、公開されていない事に疑問を感じます。もっとテレビのCMなどでアピールするべきと考えます。 今後原発を再稼働しつづける際には、使用済み核燃料の処理方法なども、 具体的に検討、決定していない中で、再稼働は許される事ではありません。 今回の福島の事故は政府が招いた事故であり、その事故の責任、賠償なども全く解決していない中で、原発を再稼働する事に多くの国民は反対しています。 その声を全く無視し、政治家の利益の為に原発を稼働する事は、許されません。 世界各国からも、日本は地震大国でありながら、原発を誘致、原発を推進する事に、無責任さを感じています。 日本は世界と比較しても、自然エネルギー資源が豊富にある事を知りました。 日本の技術は世界でも認められており、早急に自然エネルギーを促進する必要があります。子供達にもエネルギーを自給する教育も必要です。 原発を推進してきた日本はCO2排出量が増え、自然エネルギーを推進しているヨーロッパはCO2が削減に成功しています。原発ではCO2削減にはなりません。 私はこれから、子供を産みたいですが、福島の事故以来、とても不安で子供を産む気持ちを失いました。多くの女性がそう感じています。 このまま原発を稼働し続ければ、確実に少子化が進むと思います。 原発再稼働のメリットは国民にとってデメリットしかありません。 直接民主主義で、国民の声をどうか実行してください。
56922	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」	即事廃止を希望。 先ず福島第一原発事故を完全に収束せよ。 東電に厳しい処罰を。
56923	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は即時すべて廃止すべき。	実際に日本で原子力発電所の爆発と放射性物質の広範囲な拡散が起きた以上、日本は原子力発電を即時にすべて廃止すべきです。これまで政府、電気事業者は、チェルノブイリの事故以後も、日本では原発の重大事故はあり得ないとの立場で原発を推進してきましたが、過去に起こった津波と同程度の規模の津波によって重大事故が実際に起きました。地震多発地域である我が国では、これ以上原発を続けると国が滅んでしまいます。国防の上でも、原子力発電所に通常兵器のミサイルや爆弾により攻撃を受けるおそれがあるため、非常に危険です。
56924	個人	会社員・公務員	50代	女性	電力は原子力発電に頼らず、原子炉の再稼働をせず、脱原発体制に転換してください。	原子力発電は、仮に事故が起こらないとしても、核廃棄物が発生します。 廃棄物が、半永久的に放射能を出し続けていきます。 原子力発電所や、核廃棄物処理場が100%安全とは言い切れないのではないでしょうか。 日本だけでなく、世界の核汚染から命を守るために、原子力発電所を廃炉に向けて、政策を転換して欲しい。
56925	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	福島の事故で故郷をおわれた方々、今なお何ひとつ救済されておらず、沢山の国民が被曝され、このような犠牲の上でのエネルギーは無くしてほしい。また使用済み核燃料の処理も未解決のまま次の世代に問題を残すのは無責任。
56926	個人	家事専業	40代	女性	原発依存0%。即時全面稼働停止。極力速やかに全面廃炉	原発事故はまだ収束していません！ 国と東京電力には失望させられ続けています。 二度とこんなことが起きないように、今後は誠意を示してください。 放射能に怯えながら生活するのはもう嫌です。
56927	個人	会社員・公務員	30代	男性	既存原発の再稼動は規制庁発足後の安全性基準による厳密な審査を経る。 新規原発は作らない。 その上でのエネルギー構成を考えて、シミュレーションする。	福島第一原発事故は、安全性を疎かにした保安院と東電の明らかな怠慢とミスで、 政府の責任と電力会社、また電力会社の株主責任は刑事、民事ともに問われるべき。 まだ、誰も責任が公的に問われていない。 その上で、新たな安全基準による原発の見直し行って欲しい。 安全性が確保されたものは稼動してもかまなわいが、 事故が起きた時の、政府や電力会社、株主の責任の問われ方が明示されない限り、 再稼動には反対である。 通常の企業においても、行政においても、人為的ミスによる事故の責任が問わないということはない。 また、企業だけではなく、家庭における電力自由化を促進し、少しでも参入障壁が低くし、競争が活発になるようにして欲しい。 現在の電力会社が原発に頼らないと赤字経営になるという理由による再稼動、安全性より経営問題が先行されるのは止めて欲しい。 代替エネルギーの開発や電力自由化を阻むあらゆる規制の徹底を政策としてして欲しい。 何年後かに何%という議論は、本末転倒だと考えている。
56928	個人	自営業	20代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。	社会全体でもっと省エネルギーを進めることが可能です。 不必要に電力を使わず、ありがたいものとして、大事に使いましょう。 今は明らかに使い過ぎです。麻痺している、に近いです。 そして原子力ではない、エネルギーの開発に力を与えてください。 原子力発電によって排出されるゴミ、今のわたしたちには処理できない ものを、これ以上増やすべきではない。 労働者の問題ですが、廃炉にすればそのための労働力が必要になります。 原発ありき、の考えをまずやめてほしい。 原子力発電は必要ないです。
56929	個人	学生	30代	男性	3つのシナリオの中でではゼロシナリオですが、2030年にゼロではなく、今すぐにゼロにすべきだと思います。	とにかく何にがなんでも『健康第一』です。 経済より健康な体が何よりも優先です。 健康な体があってこそ仕事もできるのですから。 自然エネルギーの方がコスト的にも良いのは明確です。 原発には廃棄物処理のコストが入っていないですし。 放射線廃棄物の処理の問題がある中で、これ以上の廃棄物を増やしてはいけないのです。すでにたくさんの量があるのですから。 地中に安全に埋めると言ってますが、本当に安全とは思えません。 臭いものに蓋をしているだけなのでは？と思ってしまいます。 放射能は人間が100%安全に使えるものではないのです。 生まれ来る子供たちのために、核のない世界を被爆国の日本から目指そうではないですか。

56930	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電の運用に反対し、代替発電システムの推進に賛成します。	2011年3月11日の大震災による福島第一原発の事故により、原子力発電所が地球規模で災害をもたらすとても危険な存在であること、地震国の日本での運用リスクがとても高いことが明るみになりました。また、老朽化も進み、原子力の処理できないゴミも増え続ける一方です。将来の日本の生活に、安心できる材料は何もありません、明確な説明も、科学的根拠も見られず納得できないのが現状です。 一方、エネルギー政策は国力でもあるとも思います。国力であり、技術開発も国内外へのビジネス展開を期待するのであれば、その制御できない原子力より、制御可能な代替発電システム（自然エネルギー等々）の推進を支持します。 エゴがエコを破壊しています。日本が、日本人が、本当に和という精神を重んじるのであれば、今一度今の政策を見直して下さい。今のエネルギー政策は、本当に日本人としての精神に正しいものなのでしょうか？
56931	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持。理由として大きくまとめると三点。1）原子力発電を扱う電力会社の問題。2）費用対効果。3）今回の再稼働にいたるやり方 です。	原発ゼロシナリオを選びます。 1）今回の震災の事故対応、過去の事故対応から、現在の電力会社および原子力に関する様々な国の機関すべてが、信頼信用からは程遠い対応であったし、それは現在進行形であるため。 2）また、原子力をつかった発電の費用対効果が、電力会社の都合の良いよう作られたまぼろしであり、二酸化炭素などの環境問題にからませてクリーンなエネルギーと宣伝していたことも一部の事象を拡大解釈したものであった。（立命館大学・大島堅一氏の調査資料参照） 日本の経済成長、発展を考えるならば、原子力という古い技術から脱却して、新しいエネルギー体系を作ることが必要ではないか。原発を使うことで安定したエネルギー供給ができること、そういったことが経済成長の鍵となったのは旧世代の経済システムであり、今の状況では鼻先に人参にすらなりやしない。 3）今回の再稼働にいたるやり方を見ると「未曾有の天災」がおきたときに、また想定外であったと言うだけの後手後手の対応しかできないと、考えざるを得ないお粗末さでした。そんな綻びだらけで、少しずつ依存度を減らすなどとんでもない。今すぐゼロシナリオで進むしかないと考えます。
56932	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発は無くなって欲しい	環境的にも子供達が心配。自分達だけの事を考えたら、何でも構わないけれど、これからを担う世代を考えた時、原発は安全では無いし、やめて欲しい。また大きな地震があった時同じ事を繰り返してはいけない。日本は地震の国 なので、エネルギー源を変える事が生活の安全の一歩だと思う。
56933	個人	その他	50代	男性	可及的すみやかに、全原子力発電所を廃止すべきです。	原子力を利用してそれをエネルギーとして用いる十全な技術をまだ人間は持っていません。その膨大な危険性を制御するすべも持ち合わせていません。 しかも発電源としての原子力の必要性は、例えば、関西電力が電力不足と喧伝していながら、大飯原発の稼働後に火力発電所を停止しているようにまやかしでしかありません。 供給率の危機は国民への演出に過ぎません。の危機とは経済界の危機に他ならず、国民生活の危機ではありません。 よって、原子力発電の全廃を強く求めます。
56934	個人	会社員・公務員	20代	男性	★15%支持 (1)0%シナリオ選択では、トップレベルの日本原子力技術が喪失 (2)代替エネルギーの開発スピードが欠如 【要望】新エネルギー開発への国家レベルの投資⇒特に「人工光合成」が多くの問題を解決	【結論】15%シナリオ支持 【理由(1)】0%シナリオ⇒原子力の技術が日本から無くなる（少なくとも大きく衰退する） もともとエネルギー資源を持たない日本。 化石燃料が枯渇　もしくは　エネルギーの供給が途絶え、 かつ有力な代替エネルギーの開発が間に合わなかった場合、 原子力のノウハウを持つ技術者が日本からいなくなっていれば、 原子力すら海外に依存しなくては日本は生きて行けなくなるのではないか？ 現状では日本の原子力技術はトップレベルにあり、 その技術力で外貨を獲得できている面もあるのではないか？ 本当に0%にしてしまっても良いのか？ 【理由(2)】再生可能エネルギーはどれもまだ発展途上であり、2030年までに 原発を代替できるほどの規模になるとは思えない。 それぞれの代替エネルギーは太陽光を中心に発展しつつあるが、 現在の開発スピードでは技術基盤の構築・インフラの整備までにあと15年では間に合わないと考えられる。（企業開発者としての私見） ただし、現在の原子力を一部補う程度までは発展可能であると考える。 現状約30%から15%程度まで補えるだけのエネルギー技術開発が必要。 （仮に15%分を火力で原子力を補う場合、原料費が高くなり、日本企業の競争力低下、内需低下が低下し、経済性⇒ ×） このシナリオの達成には以下の要望の実現が必要と考える。 【政府への要望】新エネルギー技術開発への重点投資（優先課題の選定） 先日、文部科学省の特定領域研究の集会に参加したが、 欧米の新エネルギー開発への投資は国家プロジェクトレベルで 莫大な投資を行っているのに対し、日本ではこのような最重要課題に 対しても1テーマあたりにすれば500~1000万程度の研究費しか付いていないのが現状。 これでは到底、欧米や中国に開発スピードで勝てない。 東アジアの安価な製品で日本の名だたるメーカーが苦境に立たされている今、 技術面で日本が生き残るには、新エネルギー関連のコア技術を次々に開発し、 その技術を海外諸国にライセンスすることによって外貨を獲得する、 知的財産戦略しかないのではないか？ 以下はどれも推進しなければならないエネルギー開発課題ではあるが、 中でも現在日本が優位を保っている分野に集中して大きな投資を しなければ、日本はどれも中途半端な技術力で終わり、 世界における存在感をどんどん失うと考える。 1.太陽光発電、太陽熱発電 2.燃料電池 3.バイオマス 4.人工光合成 5.GTL（合成ガス製造プロセス） 6.IGCC（石炭ガス化発電） 7.地熱発電（含温泉発電） 8.風力、水力発電 9.メタンハイドレード （個人的な意見） 太陽光+水+CO2のみからエネルギー源だけでなく多くの基礎原料を 合成可能である"人工光合成"の技術開発への投資を期待したい。 ⇒日本国内だけでエネルギー問題、温室効果ガス問題、石油資源問題 すべてを同時に解決できる可能性が高い 以上
56935	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	まだ死にたくないです。
56936	個人	自営業	30代	女性	原発は0にしてください。	2011年3月11日起きた原発事故の処理もできておらず4号機燃料プール崩壊で滅亡の危機にある日本で、これ以上原発事業を進めるのは狂気の沙汰です。 被曝による健康被害の完全な治療法は見つかっていません。 放射能汚染された自然を元に戻す方法もありません。 そもそも原発は利権ありきで始まった事業。 「発電」の為などではないことは、既に多くの人に知られています。 それ自体も許しがたいことですが、「代わりにほかの利権事業あげるから原発だけは諦めてくれ」といいたいくらい、原子力は人間の手に余る破壊力を持っています。 原発の不可解なところは利権を貪っている側の命をも脅かされているにも関わらず、推進にブレーキがかからないことです。 もう世界中の誰もが安全ではないのです。 もし4号機が崩壊すれば、もんじゅやふげんに事故があれば、浜岡が爆発すれば、世界中どこに逃げても命が脅かされます。苦痛とともに死ぬしかありません。 金や権力では解決できない事態がやってきます。 利権を得ている側も安心して暮らすには、原発を無くすしかありません。 2030年までなどとのんびりしている暇はありません。 いますぐ、原発をすべて止めて廃炉に向けて動き出すべきです。
56937	個人	その他	30代	男性	今すぐ原発ゼロを。使用済み核燃料をはじめとする放射性廃棄物の処理、原発の運転に必要なウラン採掘、燃料加工、輸送、廃炉などすべての工程が化石燃料に大きく依存し、関わる人間を被曝の危険性を孕んでいる。	今すぐ原発ゼロをせんたくすべきだ。使用済み核燃料をはじめとする放射性廃棄物の処理、原発の運転に必要なウラン採掘、燃料加工、輸送、廃炉などすべての工程が化石燃料に大きく依存し、関わる人間を被曝の危険性を孕んでいる。この工程において、被曝による死や病気のリスクを負わされるのは、常に底辺にいる人たちだ。彼らを犠牲にしなければならない危険な原子力発電はもういらない。彼ら働かせるにしても、これからの原発村の新しい開発にしても、新しいオルタナティブな自然エネルギーでの発電や開発を、そのうような村で、彼らを雇い、始めるべきだ。必要な我慢はその他の人間が負う。電気はもっと我慢できるし、今年も去年もしてきた。もう政府や東電や関電の一方的な偏った情報提供はこりごりだ。自分たちの思惑通りの情報のみを出して、国民をコントロールするのはやめてください。これからの若者たちに、自分のためなら嘘をついてもいいというアナウンスを、毎日し続けているのが今のあなたたちです。今回のことも国民の意見を聞いたというだけで、本当に考慮するんですか？あなたたちの信用は落ちようのないところまで落ちています。 ふくしまを経験した日本が世界に向かって放つこれからの政策としてのメッセージが、「私たちはこれからも原発大好きです。原発依存を続けます」でいいのですか？新しい日本は、少々の我慢は伴いますが、自然エネルギーに投資します。これからの子どもたち、孫たち、7世代先の子孫たちのことを考えれば、まず大事なのは、健全な人間の存続でしょう。このままままた原発事故が起こり、多くの人が死に至っても、原発は関係ない。たまたまその地域のがんが増えただけだと、ごまかして生きて行くのですか。 もうこりごりです。私たちは地球に住まわされていて、地球をコントロールすることはできません。是非世界に、これからの日本は、変わるんだ。世界とともに、地球のために必要な我慢はする、持続可能な、自然エネルギーで生きて行くことを宣言してください。まずすべきことは原発をなくすことです。
56938	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢で、原発依存度を基準に(1)のゼロシナリオを支持する。	2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢で、原発依存度を基準に、(1)のゼロシナリオを支持する。 2012年8月12日付けの「読売新聞」朝刊には、経団連が主要業界団体に緊急調査した結果「ゼロシナリオになった場合に雇用が減ると答えた団体が96%を占めた」とあるが、これは当然だろう。調査対象は鋼鉄、自動車、化学業界など、東日本大震災以前と同様の価格で、電力の安定供給を望む団体ばかりである。また、そもそも経団連は、これまでずっと原発推進を支持してきた。原発依存度ゼロになることを避けたいという心理があるのだろう。 同記事には、「政府内では水面下で『ゼロは絶対に回避しなければならない』（経済官庁幹部）と民主党幹部らへの説得を続けていた」、「民主党幹部は『こんなに（ゼロシナリオが）多いのか』と動揺を隠せなかった」とある。つまり、政府関係者の多くも原発依存度ゼロという想定をしてこなかった、ということである。ここが、日本の原子力政策の問題点だろう。 大きな発想の転換が必要である。国民の意見を聞き、政府が「原発に依存しないエネルギー政策は可能である」という姿勢を示し、経済団体を説得せねばならない。そうでなければ、いつまでも「原子力ムラ」という批判がついて回る。先に挙げた新聞記事には、「ゼロシナリオを経済成長につなげる道筋は危ういとも書かれている。太陽光などの再生エネルギーは他国との価格競争にさらされること、家庭用燃料電池の大量導入が必要なこと、市街地へのガソリン車乗り入れ規制が必要となることなどが、経済への打撃材料として述べられていた。しかし、ここにも発想の転換があればよい。個々の具体例は挙げないが、競争によって磨かれた技術力こそ日本の誇るべき力である。都市部に路面電車などの新型交通網を整備することも考えられる。電気料金が値上がりすれば、省エネ努力に拍車が掛かる。 東日本大震災や福島第一原発の事故は、我々日本人だけでなく、世界にも大きな衝撃を与えた。これを単に「想定外の」不幸な出来事とせず、我々が変わるための大きな教訓にしたい。だからこそ、原発依存度ゼロシナリオを支持する。

56939	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。	原発での事故があるまでわたしはあまりにも原発や原子力にに対して無関心でした。 この度の事故で明るみになった国の原発に対する取り組み方が、思っていたよりも真摯ではないなぁと感じています。 もしものこと　に対する危機意識が薄すぎる。 今回の事故が起こったのにまだ危機意識が無さ過ぎる。 今度もしものことが起こった場合、本当に心から大丈夫と思って再稼働を行ったのですか？ 今回の事故から学べることはただ一つ。 原発をゼロにして、同じ過ちを繰り返さないこと。 原発がある以上、 福島の方々が負っておられる苦労は、明日の我が身です。
56940	個人	自営業	30代	男性	まず、今回の福島事故の責任者の責任を追及して欲しい。その上で。ゼロシナリオに賛同しますが、2030年という期限については余裕が必要と思います。	まず今回の事故の責任者の責任を追求してください。 現状の原子力は実用化するまでに達していないのではと思います。 コンピューターの2000年問題はなにもおきませんでしたが、何万年も先の世代に処理方法はまかせる、というのは納得できません。
56941	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発に反対です。	原発には反対です。ドイツを見習って、原発が無くても生きていける環境をみんなで考えて実行したいです。倫理的に原発は許されるものではありません。自分たちで制御できないものを人間は使ってはいけないと思います。広島県民なので、平和学習でさんざん耳にした「放射能」という言葉が、今この時代のニュースから聞こえてくるのが悔しくて悲しくてたまりません。原発には反対です。お金儲けのために、命や世界の未来をゆるがすことは許されません。
56942	個人	自営業	30代	女性	2030年までに原発依存度ゼロ	眠ったままになっている原発に変わる代替エネルギーへのサポート体制づくりをしていきつつやっていけば可能だと思うし、そうすることで日本が世界の先端をいくモデル国家になれると思う。
56943	個人	会社員・公務員	30代	男性	15シナリオを支持する。但し、資源購入時の価格交渉力を上げ、またリスクを避けるため、比率の合計が100%を超えるようにすべきである。火力の効率を向上し、エネルギーに関わる事業者を増やすべきである。	目的は、国民・事業者が安いエネルギーを制約なく安定的に手に入れられる状態の実現である。電力は、利便が高いエネルギーの形態の一つである。 ・提示されているシナリオからは、15シナリオ(原子力比率 15%)を支持する。 原子力発電所の新設に関し、住民の賛成を得、それを公式な形式に構築するコストが増大したため、原子力発電所の新設を凍結すべ きである。また耐用年数に達した炉は廃炉すべきである。原発新設に関し支払われることになっていた政治的・行政的なコストは、他の課題の解決に充てるべきである。 ・ただし、電力源の比率の合計が100%超えになるようにすべきである。 これには、以下の2つの目的がある: (1) 海外からのエネルギー資源購入に際する価格交渉力を向上させるため。 エネルギー資源購入による総額 17兆円(2010年、化石燃料輸入額)にのぼる富の海外流出を減らさねばならない。 (2) 再生可能エネルギーの普及速度に関する不確かさを補うため。 例えば15シナリオは、再生可能エネルギーが総電力の30%を担うとされている。しかし、水力を除いた比率を2010年に比べて約10倍 にしなければならず、これには大きな困難が伴う。また、再生可能エネルギーは分散電源であり、計画を管理しにくい。したがって 、計画実現には大きな不確かさが伴う。 電力は、一日も欠かさず、その供給量が需要量と合致していなければならない。電力に窮し、あるいは質が悪い電力しか手にするこ とができず、それが国民の生活や事業者の事業を制限する事態になってはならない。そのような事態は、経済的に計られる国際競争 力を奪うのみならず、国民・政府の、エネルギー戦略に関する発想力や新しい施策の実行力、さらには内政・外交における判断力を 奪うような事態を招き得る。 再生可能エネルギーの普及が計画どおりにいかない場合に備え、電力源の比率の合計が100%を超えるようにすべきである。 ・火力発電においては、再生可能エネルギーの普及が計画どおりにいかない場合においても、不足分を補うことができ、かつ炭酸ガ ス排出量を削減するため、効率向上を早急に進ませるべきである。 確実な電力源である火力発電所の効率向上を振興すべきである。化石燃料はシェールガス革命によって可採年数が大幅に増えた。ま た日本近海には多くのメタンハイドレートがある。化石燃料の大量使用にあたっては炭酸ガス排出量の削減が求められる。在来火力 を効率が高い天然ガスコンバインド発電や石炭IGCC発電に置き換えることで排出量の抑制が可能である。 原子力発電所が徐々に耐用年数を達し廃炉されていく中、再生可能エネルギーの普及が計画どおりにいかない場合に備え、この置き 換えを早急に進める必要がある。そのために置き換えにかかる手続きを簡素化するなど行政が配慮すべきである。 また、火力発電所をフル稼働させている状態では置き換え工事の進捗速度が上がらないだろう。火力発電所を長期停止し置き換え工 事ができるように、原子力発電所の再稼働を早期に認めるべきである。 ・時間変動が大きい再生可能エネルギーを活かすため、電力系統、蓄電設備の強化を実施すべきである。 時間変動が大きい再生可能エネルギーを大幅に採用する上で課題になるのは、電力の安定供給である。2010年12月に三重県四日市で 起こった瞬間停電による損害は記憶に新しい。 電力の安定供給のために、送電系統と蓄電設備の強化が必要である。蓄電設備としては、従来の揚水発電所に加え、水素を媒介にしたエネルギー貯蔵も考えうる。これならば、貯蔵してさらに余剰になった水素を、都市ガスに混ぜたり、燃料電池車の燃料として使用できる。 ・エネルギーに関わる事業者を増やすべきである。 再生可能エネルギー発電や家庭用燃料電池など、エネルギーに関わる事業者を増やす政策を実施すべきである。 斬しいことを迅速に実行するには人手がかかるため、事業者の数を増やす必要がある。また、前述したように、電力は、一日も欠か さず、その供給量が需要量と合致していなければならない。我が国が解決しなければならないエネルギーに関する課題に手本がない 以上、ある策が失敗しても、すぐに代替策を採れる状態にしておく必要がある。そのためにも、事業者の数が多い方がよい。
56944	個人	パート・アルバイト	30代	男性	今日の今すぐ「原発ゼロシナリオ」の展開を要望します。	2012年8月12日現在、未だに誰も責任をとらない福島の原発事故。その実に幼稚な現状に対して、私は憤りを感じています。総理大臣や各大臣の指くらい、つめて見せたらどうでしょうか。テレビで彼等を見かける度、その面下げてよく画面に映ることができるなと思います。1件1件民家をまわって説明し続けていく方が、まだ現状を前進させることができると思います。 原発事故に対して何も解決できていない現状を抱えて、何が再稼働でしょうか。事故に対する解決方法をもっていないのに、多くの人の苦しみを癒せずにいるのに、京都という福島から離れた地に住む私にさえ怒りを思わせているのに、どうして再稼働なのでしょうか。政府はどういう意志をもって再稼働をすすめるのでしょうか。国民による再稼働反対の声を無視する人間の束が、どうして政府と呼ばれるのでしょうか。 子どもが生レバーを食べて亡くなってしまった事故がありましたよね。これは、危険に値し得る物への規制だと思います。生レバーでは規制をかけるのに、一体どうして明確にまだわかっていない放射性物質を扱う原発の稼働を許すのでしょうか。 そして、その矛盾としてしか理解されないことを言う政府は最早信用できないのです。原子力村という一部の人にしかお金がまわらないように目論む政府の一体どこに存在価値があるのでしょうか。最早、政府というシステムに悪い意味での「古さ」さえ私は感じています。なぜなら、この現状において政府は形だけの存在であり、詰まるところの“役立たず”でしかないからです。 どうしても原発を稼働させたいのであれば、日本を朝鮮半島のように分断して、進原発派と脱原発派で分けてしまえとさえ私は思います。アメリカとの関係を守るために、日本を植民地化するのなら、公式にそう述べたらいいと思います。もう嘘を吐かれるのは悪り悪りです。 そう思う程、私は今すぐ「原発ゼロシナリオ」の展開を要望します。
56945	個人	無職	60代	女性	(1)ゼロシナリオ 原発即廃炉	原子炉即廃炉 子供たちのためにも今すぐ放射能のない世界を
56946	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までの間で、可能な限り早く、原子力発電所ゼロを求めます。	原子力への依存がほぼ無い状況で前冬を乗り切れた状況を見ると、また、今夏の電力の需給状況を見ても(例えば関西電力は原子力発電で余裕が出た分、火力発電を止めたわけですから)、今後原子力発電所に電力を依存しなければならない状況は少ないです。 大前提として、福島の事故の復旧の目処も、補償も、何処に責任があるのかも、全く先行きが見えない状況で、原子力発電所の再稼働を行うのは反対ですが、 当面は冬、夏の電力消費量の多い時期「のみ」、利害関係の無い第三者機関により安全の確認された原子力発電所について稼働を行う事なら、一定の理解を示す事ができます。 今後については、そのサポート的な原子力発電の役割を、自然エネルギーと代替を進め、代替出来ればその時点で原子力発電所をゼロ(廃炉手続きを進め)、今後は自然エネルギーがメインとなるよう、技術開発を進めて行く、という流れを希望いたします。 子供が安心して暮らせる未来を。
56947	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は即時廃炉を要望します。	電気会社存続優先の政策には反対です。 国民目線の政策を！
56948	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	原発ゼロシナリオを望みます。 311以降、これまで言われてきた原発の安全性・経済性が信じられなくなってしまいました。 心身ともに健康な日々を送るためには、原発は必要ないと思います。 原発に変わる、新たなエネルギーを使用する未来を希望します。
56949	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電の反対し、依存ゼロを強く希望します。 今後も必要最低限の再稼働が必要だと言うならば、１００％の安全を確保してから、すべての国民に納得いく説明をしていただきたいです。	原子力発電の反対し、依存ゼロを強く希望します。 今後も必要最低限の再稼働が必要だと言うならば、１００％の安全を確保してから、すべての国民に納得いく説明をしていただきたいです。 福島の事故がきっかけで原発の恐ろしさを知るというのは大変悲しい事ではありますが、恐ろしさを知っても、そこから抜け出せないのなら、日本に未来は１００％ありません。そもそも、命の安全と経済の安定は比較できるものではありません。 形あるものはすべて無限ではありません。今までは、その事に気付きながらも、目先の経済発展のために生産と消費を繰り返してきたのだと思います。それは私も含めみんなの責任です。 原発はそんな利己主義が生んだ大きな負の遺産だと思います。 また、原発関連事業にいつまでも依存するよりも、クリーンエネルギー事業に力を入れていく方が、日本の経済政策としても進歩的です。 世界で一番安全だと言われていた日本が、今では放射能の危険と隣り合わせで生活していかなければならなくなりましたが、私たち大人はそこから多くのことを学び、子供たちに少しでもきれいな日本を残せるよう、初心に返り考えるべきです。
56950	個人	無職	50代	男性	日本に原発はいらない。	現に、原発0でも電力は足りていたし、相応の火力発電のバックアップがあるのだから、問題はないはず。 原価の面でもトータルで考えれば火力の方が安くなる。 原発は発電時CO2を排出しないが、建設から廃炉までのトータルではどうなのか疑問。 使用済み核燃料の処理すらできないのに、後世にそのつけを負わせるべきではない。そもそも安全になるまでに人類が存在するのかすらあやしい。
56951	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1) 原発はゼロを支持。 (2) 代替発電手段の主力は「宇宙太陽光発電」と「地熱発電」。 (3) 原子力利用の研究は続ける。	■３つの選択肢について 私はゼロシナリオを支持します。 理由は、他の発電手段に比べて、トラブルが起きた時の被害が大きすぎるからです。 六ヶ所村に保管されている核廃棄物が万が一拡散すれば、北半球に人が住めなくなるほどだと聞きました。 それが本当だとすると、このまま原子力発電を続けるとそれが原因で人類は破滅するんじゃないかとさえ思えます。 311をはるかにしのぐ規模の天変地異がいつ起きて核物質が拡散するかわからないからです。 ■新しい発電方法について ・宇宙太陽光発電 ・地熱発電 の2つを推進するというのが私の提案です。 理由は、この先何億年も絶えることがなさそうで莫大なエネルギー源としては、 ・太陽 ・地熱 くらいかと思うからです。 ■原子力について ・発電への原子力利用は、技術革命が起こるまではゼロとする ・原子力利用の研究は続ける というのが私の提案です。 理由は、原子力は「今の技術では」トラブルが起きたときの被害が大きすぎるというだけで、原子力の「1円玉ひとつでプール何１０杯分もの水を瞬時に沸騰させられる」というエネルギー変換効率の良さは魅力的だからです。 原発のトラブルが起きたときの被害を火力発電程度に抑える方法が確立できさえすれば、発電に限らず、今後の宇宙開発などにも役立つかもしれません。 以上です。

56952	個人	自営業	30代	男性	原発のゼロシナリオ支持	10万年先の未来に丸投げする様な危険な物質を取り扱うべきではないと思います。 今回の震災で本当に危険と隣り合わせである事を認識しました。 何事にもリスクはつきものではあると思いますが、経済と人名を天秤にかける事自体問題だと思います。 あくまでも原発は段階的にでもゼロを目指すべきだと思います。
56953	個人	無職	70代	男性	国民的議論を行うのは大変良いことです. しかし、議論の期間が短すぎます. 判断するためには資料が不足しています. 特に、原子力関係の根拠資料が不足しています. 根拠資料を公開して下さい.	I. エネルギー・環境について国民的議論を行うのは大変良いことだと思います. 日本国の他の重要な問題についても、同様に国民的議論を行うのが良いと思います. 今後、国の重要課題に、このような国民的議論を大いに企画して欲しいです. II. 7月に国民的議論を開始して、8月に政府が戦略決定を行うのは余りにも時間が短いと思います. 当面、エネルギーの確保は必要なのですから、仮の方針を取り敢えず政府として採用し、具体的なエネルギー確保の手を打ちつつ、戦略については議論を続けるのが正しいと考えます. III. 国民的議論に際して国民が自分の意見・判断を表明できるようになるためには資料が必要です. 判断のための資料に国民が容易にアクセスできるように、資料が公開される必要があります. 資料はWWW上にあげるので結構です. 今回のエネルギー・環境問題について言えば、今一番私(国民)が一番関心がある原子力についての資料が不足しています. 原子力委員会、原子力安全・保安院、原子力安全委員会が担当する部分です. 具体的には、 III.1. 放射性物質の最終処分は、何処に？、どのようなものを作り行うのか？、費用は何に掛けるか？ その形と社会的影響(それによりコストが変わってくるはず)が見えない形の試算になっていると思います. III.2. 核燃料サイクルは「実用化に至るには20～30年以上かかる。」とされていますが、30年掛けても実用化しない恐れも十分にあります. 実用化の可能性がはっきりしないものを社会で実用として使う計画に組み入れるのは間違いであると考えます. 研究段階と明示して、研究課題として追求すべきです. もちろん国民の安全に十二分に配慮しつつ. III.3. 安全対策にはコストが掛かります. チェルノブイリ、スリーマイル島、福島と過酷事故は起きました. 過酷事故が起きたときに、住民被害を最小にするために、どのような対策を取るのか？　そのために事前に備えていなければ事故時に混乱が起き、犠牲が増えることになります. どのように過酷事故に備えて、それにはどの位にコストが掛かるのか？　不明です. III.4. 風評被害も被害です. 福島原発事故での風評被害は金額として幾ら位になるのか？　福島原発事故により日本国民は大きな被害を受けたと思われますが、それは金額にしてどの位についたのでしょうか？　公平な社会である筈の日本社会ではそれを賠償することになるはずですが、賠償する用意があるのかどうか分かりません. 賠償の値切りはいけません. もし、福島原発事故より大きな事故が起きたら、その損害は風評被害まで含めて総額幾らになるのか、試算が欲しいです. III.5. いわゆるテロに対して原発が備えるには、どの位のお金が掛かるのか、対策がきちんと立てられたか不明です. 私(国民)からは見えません. III.6. 地震・津波に対しても現在の原発に対して原子力安全・保安院が想定している規模より大きい地震・津波が襲ってくる可能性が指摘されています. どの程度の大きさの、つまり何年に1度程度起きる可能性がある、地震・津波に対して備えるには、どの位のお金が掛かるのでしょうか？　政府のWWWでそのような試算を見付けることはできませんでした. IV. 当面の課題、原発の再稼働についても、検討の資料が不足しています. 地震対策は現在の想定で足りるのか、過酷事故が起きた際に住民をどのように被害から守るのか、など検討と備えが不十分であると思います. このような状況では、私は再稼働についてYesとの結論は出せません. 野田総理の6月8日の発言「実質的に安全は確保されている」との認識を、この間の原子力安全・保安院の活動からは、私はとても持つことができません. V. 総じて、戦略を判断するには、根拠が不足しています. 根拠資料を国民に提示して下さい. そして、それぞれの分野の根拠について、資料を公開し、何が正しいか、じっくり考える必要があると思います.
56954	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢　15シナリオを支持します。	原発への不安はありますが、現在の技術を維持発展させることも必要だと考えます。素人考えではどの選択肢が適切か分かりませんが、将来的にゼロが決まっているものでは技術的な問題は先細りしてしまいそうな気がします。しかし、新設を認めるには、関係機関に対する不振がまだぬぐい去れません。難しいことではありますが、安全で信頼のおける制度を作り上げたください。
56955	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。 最大の理由は、原発はそこにあるだけで、日本のような地震国ではリスクが大きすぎるからです。	いつも日本のために働いてくださり、ありがとうございます。 ゼロシナリオを支持します。 大きな理由は上記の通りですが、あとは、原発は事故がなく通常運転しているだけでも、そこに従事している人に健康被害が出る可能性があるからです。 あとの理由は、もっと詳しいかたが既にいろいろと書かれていると思います。 私が合えてお願いしたいことは、どうぞご自身の良心にしたがった決定をしていただきたいということです。 自分はキリスト者ですので(仏教・諸宗教でもそうだと思いますが) この世の生活は仮のもので、いつか過ぎ去っていくものという前提でいます。 この世に生きているかぎり、災厄がおきて命を落とすこともありましょう。 人はどういう形であれ、必ず100%死にいたります。 だからこの世で原発事故が起ころうと、他国に侵略されようとどうでもよい、というわけではありません。 死んでしまえばすべて終わり、だから生きている間は何をやっても自分の勝手、と思っていると、いざ、死んだあとの世界があったときに後悔することでしょう。 いろいろな宗教で、死後に生涯のふりかえりということが行なわれます。 生涯のあの瞬間、良心に従って行動したか？ということが問われると思います。 さまざまな勢力からいろいろな干渉もあろうかと思いますが、どうぞ良心に従った決定をなさっていただきたいと思います。
56956	個人	自営業	50代	女性	0%を支持し、原発の新設、増設、もんじゅ、六ヶ所村の核燃料サイクル中止を求め、本気で新しいエネルギー開発への資金を投資してほしい	いつの間にか54基の原発が稼動していたことに、福島の事故が起こるまで気付いていませんでした。 原発は (1)事故が起きたときのリスクがあまりにも大きい (2)使用済み核燃料の最終処分が難しい (3)稼動するためのメンテナンスをする現場の作業員に放射線のリスクを負わせる (4)あまりにも難しい技術ゆえに「安全神話」が起き、それに逃げていた (5)安全性を確保するにはコストがかかりすぎる (6)原発稼動により周囲の海の水温が大幅に上がり、生態系が壊され、漁業に影響が起きる (7)地震国日本での稼動はあまりにもリスクが高すぎる (8)放射能の長期にわたる低線量被ばくの影響が出ている (9)原発を推進する人たちが、今回のことを真摯に受け止めて本気で改善しようとしているように思えない (10)人選からして、新しくできた原子力規制庁がきちんと機能するとは思えない (11)電力会社の社会的使命感が欠如している。利用する側を見下している (12)決してクリーンなエネルギーではなく、採掘現場でも大きなリスクを背負わされている といった問題点が山積しています。 電気を湯水のように使う生活では人類は立ち行かなくなります。今回の事故は日本人、ひいては人類への警告です。人間はおごることなく、地球環境に負担をかけすぎないエネルギーを進めていく必要があります。まずは「省エネ」「節電」の技術開発を「もったいない」精神の得意な日本人が進めていくことが大切です。 そして、「0%」として全ての原発を順次廃炉にし、新設、増設、もんじゅ、六ヶ所村の核燃料サイクルの中止を行い、新しいエネルギー開発への資金を投資していくことを望みます。廃炉ビジネス、新エネルギーの開発こそ、今、日本人が行うべき選択です。 推進する側の意見として、経済的なこと、世界への立場（世界は今後も原発を推進していく）、自前のエネルギーがないことへの恐怖感、警戒感などが聞かれます。そうした問題をどう克服していくかも含めて、日本はまず「0%」を歩み出してほしい。政府も「脱原発依存」を基本方針にしているにもかかわらず、15%、25%を維持するために新設や増設が必要となるのでは問題です。 また、この短い時期に決めるのではなく、時間をかけて決めてほしいとも思います。脱原発依存という基本に立って、もっともっと議論してほしい。 最後に、チェルノブイリ事故のときに、こんな危険なものを使い始めた人類の未来にものすごい危機感を感じたにもかかわらず、たいした行動ができなかったので、今回は大人の責任として、子供達の未来を守っていかなければという強い思いでいます。母親たちの思いはみんなそれが大きいことでしょう。「現在」の損得ではなく、「将来」の大きなダメージを避けなければなりません。危険を冒して最終処分場を引き受けるところはありません。未来にそのツケを押付けて、今をしのぐのはいけません。そのためには、できるだけ使用済み核燃料を増やさないようにしなければなりません。
56957	個人	無職	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	有事の際は自分の住んでいる土地が強制的に奪われることがわかっていることにどうして賛成できるでしょうか。
56958	個人	家事専業	60代	女性	提示されている3案ではゼロシナリオを求めます。	但し、それは2030年まで猶予があると考えているわけではありません。 即時廃炉の選択肢があればそれを選びたいと考えています。 目先の経済ばかり追いかけて命を粗末にする政策は、これ以上とらないで頂きたいと考えます。 官僚、政治家はみなこのことを肝に銘じて仕事をしてください。
56959	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ支持します。	ゼロシナリオ支持します。
56960	個人	家事専業	40代	女性	15シナリオを基本に	緩やかに減らしていくのではなく、 古い原子力発電所、断層上など場所が危険な原子力発電所は速やかに停止を。 また実現が見えない再処理研究も見直しを。 「絶対安全」ではないので、 いざというときの対処をよく考えてください。
56961	個人	無職	30代	男性	放射線への恐怖の煽動、経済打撃の矮小化、反原発運動に反対します。	昨年、不況による業績悪化・事業縮小を理由に勤めていた会社を解雇され、妻子を抱えて職業訓練を受けている状況です。 『原発ゼロなら…業界団体の９６%「雇用減る」(読売新聞)』 本日、このような記事も出ました。数百年に一度の大災害とヒューマンエラーが重なった原発事故ですら、低量の放射線による健康被害の危険性は極めて軽微なものです。 対して、雇用や若年層の収入の減少は、婚姻・出産の妨げとなり、本来なら産まれるはずであった子供の数を大きく減らします。これは、結果的には子供を殺したのと同じことです。 目の前の放射線の危険性だけでなく、「これから生まれるはずの命を経済的に守る」ことにも目を向けるべきであると考えます。
56962	個人	自営業	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	今回のパブリックコメントの政府のアピール方法がごくわずかな範囲でしか、公開されていない事に疑問を感じます。もっとテレビのCMなどでアピールするべきと考えます。 今後原発を再稼働しつづける際には、使用済み核燃料の処理方法なども、 具体的に検討、決定していない中で、再稼働は許される事ではありません。 今回の福島の事故は政府が招いた事故であり、その事故の責任、賠償なども全く解決していない中で、原発を再稼働する事に多くの国民は反対しています。 その声を全く無視し、政治家の利益の為に原発を稼働する事は、許されません。 世界各国からも、日本は地震大国でありながら、原発を誘致、原発を推進する事に、無責任さを感じています。 日本は世界と比較しても、自然エネルギー資源が豊富にある事を知りました。 日本の技術は世界でも認められており、早急に自然エネルギーを促進する必要があります。子供達にもエネルギーを自給する教育も必要です。 原発を推進してきた日本はCO2排出量が増え、自然エネルギーを推進している3ヨーロッパはCO2が削減に成功しています。原発ではCO2削減にはなりません。 私はこれから、子供を産みたいですが、福島の事故以来、とても不安で子供を産む気持ちを失いました。多くの女性がそう感じています。 このまま原発を稼働し続ければ、確実に少子化が進むと思います。 原発再稼働のメリットは国民にとってデメリットしかありません。 直接民主主義で、国民の声をどうか実行してください。
56963	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発比率は20%以上でもよいと思います。代替エネルギー はあてにならず、化石燃料はコストとCO2問題があります。十分なエネルギーを確保するためには、原発比率をある程度維持するべきです。	原発比率は20%以上でもよいと思います。代替エネルギー はあてにならず、化石燃料はコストとCO2問題があります。十分なエネルギーを確保するためには感情的な意見に引きずられず、原発比率をある程度維持するべきです。

56964	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオ希望。	原発ゼロシナリオ希望です。 今すぐに全原発を廃炉に向けて能を取るべきだと考えます。 以下、理由。 不明瞭な安全性。一度事故が起きれば元に戻るまで時間がかかり過ぎる。 健康への害。しかもそれが広範囲に及ぶこと。 原発を安全に動かせるために必要な、納得できる理由が一つもないこと。
56965	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は即刻0パーセント稼働にするべきです。	原発事故の後処理が人間に不可能だし、永世の後まで 悪影響が残る放射能汚染を考えたら、原子力発電は、 やってはなりません。
56966	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年に原発ゼロを支持	福島を見ると、暴走した原子力をコントロールすることは難しいと思われる。 使用済み核燃料をこれ以上増やすことは避けなければならない。
56967	個人	会社員・公務員	40代	男性	すべての原子力発電所および関連施設の即時停止と安全確保ならびに廃棄処理の開始を求める	事故があれば人が住めなくなるようなテクノロジーは未熟であり欠陥品である。尊い国土に回復不能な傷を負わせること、国民を騙してそのようなリスクを負わせることは、祖国に対する極めて重大な犯罪である。 福島の事故によって、原発を運営する組織の弱さが露呈した。また、高い地位や権限を持つ人々の資質に重大な疑いが生じた。人としての基本は学識ではなくしつけである。間違いは正す、人やものを傷つけてしまったら償うのが道である。人としての道がなっていないのでは、技術的、経済的な議論はすべて本末転倒、空虚で的外れである。高度なテクノロジーには、それを御するためのより高度な人間性が要求されるのではないだろうか。
56968	個人	会社員・公務員	50代	男性	すべての原発を今すぐ停止し、廃炉にむけた作業に着手すべき。原発がなくても、原発以外の発電方法で、電力は十分に供給することができる。「原発は安全だ」というまったく根拠のない宣伝を、今すぐにやめるべき。	人類は、核を制御できない。 もし地震で原発が損傷したら、そこから放射能が漏れたら、それを完全に押しとどめることはできない。スリーマイル、チェルノブイリ、東海村JCOの事故の例を見るまでもなく、程度・規模の差はあれ、原発ではこれまで何度も故障や事故が起きている。 それが問題にならなかったのは、電力会社が都合の悪い事実をひた隠し、膨大な資金を使ってメデイアを取り込み、国民に安全神話を振りまいてきたからである。 百歩譲って、各種の事故が仮に軽微なものだったとしても、原発の保守点検作業は、それにたずさわる労働者の被ばくなしには実施できない。このままでいけば、日本は被ばく列島と化すだろう。 「原発が二酸化炭素を出さない」のは、発電時だけであり、燃料から廃棄物の管理に至る工程では、大量の二酸化炭素が放出される。 原発は、生み出す熱エネルギーの3分の1しか電気にならず、残りは海に捨てられている。海水温が上がって魚が死に、地球の温暖化が進む。原発は環境破壊の元凶である。 さらに問題なのは、増え続ける核廃棄物の処理だ。 夢のような「核燃料サイクル」計画はとっくに破たんし、膨大な量の核のゴミが地球上をさまよっている。原発を動かし続ける限り、増え続ける廃棄物で処理計画は袋小路に陥る。大都市のために、地方の過疎地が犠牲になって電気を作り続け、そこは、行き場のない廃棄物の犠牲にもなっている。 危険な核分裂で非効率的に作られた電気で儲けるだけ儲け、あとのことはまったく考えていない政府と電力会社。無責任極まりない。 日本は広島と、長崎と、ビキニと、東海村の惨劇から教訓を学び、これからは核による一人の犠牲者も出してはならない。 地震列島のこの国に、原発をつくることじたいが間違っている。火力や水力発電など、原発以外の発電方式で電気は十分まかなえるし、地震が起きてもその被害は、原発災害の比ではない。 だからすべての原発を今すぐに止め、古い原子炉から順次、廃炉の作業に着手すべきである。それが、原発で儲けようとする一握りの人々以外の、圧倒的多数の人々の意志であり、これからの日本が、世界が、終末的破局を回避するために進む、ただ一つの道である。
56969	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は即時全部を廃止するべきと考えます。	福島の原発事故が収束しないで、多数の人が帰れないでいます。 原子炉圧力容器内の水位さえ分からないのに、原発を再稼動するのには、強く反対します。 人の命の尊さを、経済優先のために犠牲にするべきではありません。 昨年3月の事故の時には、原発の暴走の前に人智がいかに弱いものかを実感したはずです。 子供たち、子孫にこんな危険なものを残さないのが、今のわたし達の義務であると考えます。
56970	個人	家事専業	50代	女性	(1)の原発ゼロシナリオを支持。しかも直ちに行うべき。理由は(1)原発技術は不完全(2)日本は地震の多発地域(3)非常事態の犠牲が甚大(4)原子力の専門家が無責任(4)原発での被曝労働。日本は新エネルギー開発に専念すべき。	(1)の原発ゼロシナリオを支持します。しかも、2030年ではなく、ただちに行うべきです。 原発が非常事態になれば制御不能に陥る不完全な技術であることは、今回の事故で証明されました。また、日本は世界で最も地震が起こりやすい地域にあり、世界で最も原発を作ってはいけないところです。そんな日本で非常事態が起これば どんなことになるかは、福島県民の犠牲によって示されました。家を追われ、職を奪われ、いつまで続くかもわからない不自由な仮住まいを強いられるのです。健康と生計維持の不安におびえながら、多くの人が家族バラバラで。福島県民だけでなく、海や土壌の汚染によって、東北方面の農・漁業にも、主に東日本の人々の食糧購入や生活にも大きな影響がでています。 また、電力会社の幹部、原子力の専門家、安全保安院の人々は事故直後「大丈夫。五重のの安全設計がある。」を繰り返すばかりで、今何が起こっているか、これからどうなるかを全く伝えることができなかったし、その後も責任を明確にしていません。そんな人々に原発を管理する資格はありません。 さらに、原発は作業員に被曝労働を強いること無しには運転できない、非人道的なシステムです。それは最近よく報道される、線量計なしの作業によって象徴されています。 日本はこれから高度経済成長を追い続けるべきではありません。今まで原発に湯水のごとく注ぎ込んできた費用を再生可能エネルギーの開発に振り向け、環境産業で世界リードすることに活路を見出すべきだと思います。また、たとえ現在より生活を縮小することになっても、安全に健康に暮らしていきたいと思います。
56971	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年までに原発は全廃＝0%を求めます。	意見は様々あっても、次世代にこれ以上負の債務を残す危険性を 排除するのは今の人間の義務と思うからです。 原発稼働後の処理にしても、未だに何も解決されているとは思え ません。 原発抜きで発電して本当に電力が不足するのか？これも、シミュレーションばかりで本当のことがわかりません。 即時全廃が一番ですが、それでは意見が反映されないとも聞きましたので、上記の形で出しました。
56972	個人	パート・アルバイト	30代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 再稼働はせず、即刻原発の廃止を強く求めます。	これまで、原子力発電によるエネルギーを頼りに、日本は発展を遂げてきました。 ですが、福島第一原子力発電所の事故をきっかけに、 日本で原発を続けていくことへのむずかしさを実感しました。 今、地震の活動期に入っていることも勿論ですが、 原発から生み出される核のゴミ処理の問題も、まったくめどがたっていません。 私たち大人の世代で処理できるならまだしも、 何百年何十年にも渡り、子孫の代までそれらを託し、押し付けるわけにはいきません。 沢山の人々が福島の事故で住まいを追われ、いまだに不自由な生活を強いられています。 経済の発展よりも、人間としての倫理観を優先し、人間の手には負えない原発は即刻廃止するよう求めます。
56973	個人	会社員・公務員	40代	男性	大飯原発の稼働を即刻停止し全ての原発を廃炉にすべき。廃棄物を無毒に出来ないものは技術とは呼べない。電力が足りないのではなくお金の問題。必要なのは食糧とエネルギー自給率を上げる産業構造改革。	放射性廃棄物を無毒化する術を未だ持たない人類が、原発を使用すること 自体が間違い。トイレのないマンションは存在しません。 温暖化の問題同様に、これ以上後世に負の遺産を残すべきではない。 原発の存在は省エネ啓発や再生可能エネルギーの普及をむしろ妨げており、 冷却水による海水温上昇の影響を考慮すれば、温暖化対策かどうか甚だ疑問。 原発の研究費や開発費、自治体への交付金など不必要な資金を再生可能エネルギーの開発、実施に充てることで地方での雇用創造にも繋がる。 電力が足らないのではなく、燃料費の問題であることは橋本大阪市長のコメント通り明らか。 今回の事態は電力に限らず、エネルギー資源全体の問題として捉えるべき。 エネルギーを大量に消費し、CO2の大量排出に繋がる公共事業や工業中心の産業構造から、人間が生きていくために不可欠な食糧、エネルギー自給率の上昇を導く産業改革が必要。それにより、燃料や食糧の輸入費も低減が見込める。 人口減少時代を迎えた日本において、そもそもGDPの上昇や経済発展を前提 とした議論がおかしい。エコロジカル・フットプリントの観点からすれば、 日本人がすでに地球2．4個分の贅沢な生活を続けていることを自覚する必要がある。ブータンとまではいかなくとも時計を少し戻し、身の丈に合った暮らしを国民に促していくのが、国の選ぶべき道だと思います。
56974	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電ゼロシナリオを主張します。しかしながら火力発電に65%依存するのではなく、自然エネルギーを開発、推進する政策を進め、自然エネルギーへの依存度を50%にする目標を掲げ、実行してください。	原子力発電をゼロにする理由: 3.11による福島原発事故で、改めて原子力が人間にもたらす脅威を痛感した。これまで政府や電力会社は、原子力がもたらす恩恵に大きく重点を置いた説明とプロパガンダを行ってきたのではないか。しかし、原子力は両刃の剣であり、放射能や健康被害、環境汚染という大きな負の面をもつ。国民や国と我々を大きく括る前に、自分自身、一人一人によって何が一番大切なのか考えてみなければならない。健康であり命ではないか。放射能による被害は、個人では防げない。体も自然も一度破壊されたものは直せないのだ。責任などとれない。健康な体や自然はお金では買えないのですから。自分の未来、子どもの将来に自分も責任を持ちたい。 原子力発電の現場で働いている人の健康被害は深刻であり、絶対に無視されて良いものではない。原発での作業業務を選択したのはその人自身だと無視されて良いものでは絶対にない。 地震や津波にかかわらず、事故が起きる可能性は絶対に否定できない。 使用済みの核燃料の処理に対する道筋がついていない。海外への処理依頼は非常に長い年月とその間の膨大な管理コストがかかる。放射能に汚染されたごみをただ輩出し続けているのは許されない。 自然エネルギー利用をより拡大し、推進する政策を推し進めれば、原子力における発電量を必ずカバーできる。現に日本よりも圧倒的に日照時間の少ないドイツで、太陽光発電で原発20基分のエネルギーを供給している。日本で導入できないはずはない。政府の後押しがあればもっと需要は伸びる。 政策を転換する勇気をもち、本当の意味で、未来に生きる子孫への責任をとれる国民に私もなりたいのです。
56975	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発はゼロシナリオを目指すべきである。核廃棄物の処理も万が一の原発事故も現在の人類には扱えない。原発に依存しないエネルギー開発、温暖化対策、食料・水問題など地球規模の緊急課題に力を注ぐべき。	いつ何時大きな災害が起こり福島の事故が再現されるかも知れない。原発に関しては何年先などと精気なことを言っていられない。直ちに脱原発に向かう方法を探るべきである。今回の選択肢には温暖化問題が含まれないがエネルギー問題と同時に検討されるべき課題である。脱原発だから温暖化問題は無視や後回しでも良いというわけではない。温暖化に関連して農水産物・水資源など命の根源に関わる資源も問題化している。一国の問題を越え地球的な見地からエネルギーと他の資源とのバランスのとれた総合的プランを論じなければ意味がない。
56976	個人	無職	70代	女性	原発ゼロを求めるがそのシナリオを支持するわけではない。30年ゼロでは遅すぎる。とりあえず原発はすべて停止し、モラトリアムを3年程度設ける。その間に停止・継続に伴う問題解決策を検討し続けて政策決定する。	・不十分な形とはいえ、国民に選択を問うことは評価する。このようなことを実現するだけでも、従来の自民党政権では容易ではなかったことを考えれば、あえて評価したい。 ・とりあえず国民意志として最終判断を決定することはよい。現時点では30年に原発ゼロという国民意志は、この間の情報によればほぼ間違いない。その点は、意見聴取会等を含む今回の意識調査結果に従い、ごまかすことなく決定を下すべきである。 ・しかし示されたゼロシナリオは不充分である。それを望まない委員や事務局の意向が反映されている。これまでの政府は原発推進、増設の政策を執ってきたため、ゼロシナリオはそもそもも存在していなかった。よってゼロを前提とする検討の仕方が偏っており、また検討期間も短すぎる。結論を急いではならない。 ・そもそも3つのシナリオを、同じテーブルで公平に準備することに無理がある。それぞれのシナリオ案は、まずそれぞれを主張する専門的なメンバーによって、自由にまとめられるべきである。次の段階では、それに対する質疑や反論を、他のシナリオを主張するメンバーを含めて相互に意見交換し、それを案に加える。それらを広く国民に示したうえで、意見と選択を求めてもらいたかった。 ・今回、意見集約の方法としていくつかの新しい試みがとられた点についても評価したい。しかし、意見聴取会を大消費地東京で開催しなかったのはなぜか。また、原発立地地域でも多数開催されるべきであった。我が静岡県は、地震と原発に関して長らく議論されてきた地であり、福島に準じて参考になる意見が多数拾えたことと思われるのに、残念である。 ・そもそも3か月でまとめようとしていることに無理がある。最低3年くらいかけてもいいのではないか。 よく公開討論会が行われるフランスにおいては、たとえば使用済み核燃料の処理の件（MOXの使用済みが再処理されないため、違法な存在と指摘されていたことへの対策）だけでも、少なくとも3年にわたって議論している。その種類も百花繚乱。主催者も様々。今回の福島原発事故調査のように、政府以外に国会や自治体、民間など、さらには賢人会と称する特定の数人の賢人を選定し検討を依頼している。定めたのは一定の着地点の時期目標だけであった。 ・とすると今回の選択肢は、原発をやめるか継続するかの2者択一でもよかったのではないか。まずはやめると決めること。そこから出発するのである。退路を断って。 ・そうすれば、原子力関係の大企業にしても、新たな展開を求めることになる。既得権益、しかも巨大な危険の同居する原子力に安穏とすることなく、真に人間的な技術へと挑戦せざるを得なくなる。これは大きな事業チャンスである。もはや20世紀型大量生産は古い。東電も巨大化しすぎた。 「グリーン成長戦略を日本再生の基礎とする」とは、オバマ大統領のグリーンニューディール政策ではなかったか。あの時日本も政策転換していれば、今日の惨禍は避けられていたかもしれない。 ・エネルギーと言えば、資源小国と刷り込まれてきた。だが日本は人材という資源、自然エネルギーという資源に恵まれている。戦前・戦後世代になぞらえるならば、事故後世代は、将来及び後発の他国のため、その特技を生かして挑戦していくことだ。 まさに「震災と東電福島原発事故を経験した今の世代こそが、危機を変革の契機とする重要な責任を負っている。」
56977	個人	会社員・公務員	40代	男性	再生エネルギーの研究・開発と、CO2固定化技術を含めた地球温暖化対策技術への一定規模かつ継続的な助成を前提として、15シナリオを支持します。	以下理由を箇条書きします（順不同） ・原子力発電のリスクを痛切に感じるし、できることなら原子力無しで生活したい。だが、ゼロシナリオが実現した際の困難さを想像するに、それに国民が、社会が、そして自分自身が耐えることが出来る確信を抱くことがどうしてもできない。ゼロシナリオはそれほどのハードランディングではなかろうか？ ・原子力発電に変わる安定的な電源供給技術への見通しがないまま化石燃料に頼ったゼロシナリオを選択することは一時的な逃避としか考えられない。そのうち安定的な再生可能エネルギー技術が確立されると楽観している部分が全く無いのか？そうとは思えない。いずれも現実的な対応策とは考えにくい。新たな技術の確立には時間もコストもかかる。2030年時点では15シナリオの実現を図るのが最も現実的な選択肢ではなかろうか。 ・化石燃料への過度な依存は、売り手側の論理に従わざるを得ない状況になることはジャパンプレミアムで化石燃料が取り引きされている現状からも明らか。お金を払えば問題が解決できると考えることは、安全保障上あまりに楽観的過ぎる。 ・いずれのシナリオにおいても、新たな安定的電源の開発や更なる省エネルギー技術の開発が必要で、それらは技術革新なしには成立しない。そのために必要な資金的・制度的援助を継続的に行うことを共通の必須事項として強く求めます。 ・その上で2030年に15シナリオが実現できたのなら、そこから次のシナリオを議論して選択することができるのではないだろうか。
56978	個人	会社員・公務員	30代	男性	選択肢としての3つのシナリオではなく、すべての原発の稼働を即時にとめ、全原発を廃炉と自然エネルギーへの一日も早いシフトへのシナリオにするべきと考えます	福島原発の事故も収束のめどが立たず、関係者が誰も責任を取らず、他の原発に関しても活断層の上に建設されていたり、海水での腐食、国際基準に満たないままの再稼働など、問題が山積みである原発を稼働させるのはナンセンスであり。そもそも使用済み燃料の処理方法がきまっていない状態での稼働はありません。関西電力地域での電力も原発稼働させずとも足りている事はあきらかであり。原発稼働をゼロにした状態での自然エネルギーへのシフトを早急に行うしか、日本に残された道はないと思っています。日本の技術力があれば必ずできると信じています。

56979	個人	法人等	40代	男性	原子力発電所が2030年に占める発電量の割合を議論する前に、全ての原子力発電所の運転を停止・凍結するべきである。	福島第一原子力発電所の事故により広大な地域が放射能に汚染され、それまでに流布された「日本の原発は安全である」という説は完全に崩壊した。どのような事業にもリスクやデメリットはあるが、事業者には損害を補償する責任がある。原子力発電は、民間企業の営利事業として行われていながら、いったん事故が起きると事業者にはその補償がカバーできず国家が介在する必要があることが明るみにでた。さらに、今回の事故では、国家の「支援」があっても十分な補償には程遠い現状である。少なくとも、一般公衆の被曝限度年間1mSvを超えた地域に関しては、除染あるいは避難・移住に関するコストは完全に補償される必要がある。また、原子力発電所の運転にあたっては、そのような補償を担保する保険等が必要である。それがない状態では、原子力発電所の運転は経済的な合理性を欠く。 電力需給に関しては、少なくとも短期的には原子力発電なしでもほぼ問題ないことが今夏の状況より明らかである。なお不足の懸念があれば、火力発電所を緊急に増設すればよい。化石燃料の枯渇あるいは価格高騰、また地球温暖化問題は中長期的課題であるが、これを理由に安全性や補償体制に不備のある発電方式を正当化することはできない。
56980	個人	会社員・公務員	20代	男性	★15%支持 (1)0%シナリオ選択では、トップレベルの日本原子力技術が喪失 (2)代替エネルギーの開発スピードが欠如 【要望】新エネルギー開発への国家レベルの投資⇒特に「人工光合成」が多くの問題を解決	【結論】15%シナリオ支持 【理由(1)】0%シナリオ⇒原子力の技術が日本から無くなる（少なくとも大きく衰退する） もともとエネルギー資源を持たない日本。 化石燃料が枯渇　もしくは　エネルギー的供給が途絶え、 かつ有力な代替エネルギーの開発が間に合わなかった場合、 原子力のノウハウを持つ技術者が日本からいなくなっていれば、 原子力すら海外に依存しなくては日本は生きて行けなくなるのではないか？ 現状では日本の原子力技術はトップレベルにあり、 その技術力で外貨を獲得できている面もあるのではないか？ 本当に0%にしてしまっても良いのか？ 【理由(2)】再生可能エネルギーはどれもまだ発展途上であり、2030年までに 　原発を代替できるほどの規模になるとは思えない。 それぞれの代替エネルギーは太陽光を中心に発展しつつあるが、 現在の開発スピードでは技術基盤の構築・インフラの整備までにあと15年では間に合わないと考えられる。（企業開発者としての私見） ただし、現在の原子力を一部補う程度までは発展可能であると考える。 現状約30%から15%程度まで補えるだけのエネルギー技術開発が必要。 （仮に15%分を火力で原子力を補う場合、原料費が高くなり、日本企業の競争力低下、内需低下が低下し、経済性⇒ ×） このシナリオの達成には以下の要望の実現が必要と考える。 【政府への要望】新エネルギー技術開発への重点投資（優先課題の選定） 先日、文部科学省の特定領域研究の集会に参加したが、 欧米の新エネルギー開発への投資は国家プロジェクトレベルで 莫大な投資を行っているのに対し、日本ではこのような最重要課題に 対してもテーマあたりにすれば500-1000万程度の研究費しか付いていないのが現状。 これでは到底、欧米や中国に開発スピードで勝てない。 東アジアの安価な製品で日本の名だたるメーカーが苦境に立たされている今、 技術面で日本が生き残るには、新エネルギー関連のコア技術を次々に開発し、 その技術を海外諸国にライセンスすることによって外貨を獲得する、 知的財産戦略しかないのではないか？ 以下はどれも推進しなければならないエネルギー開発課題ではあるが、 中でも現在日本が優位を保っている分野に集中して大きな投資を しなければ、日本はどれも中途半端な技術力で終わり、 世界における存在感をどんどん失うと考える。 1.太陽光発電、太陽熱発電 2.燃料電池 3.バイオマス 4.人工光合成 5.GTL（合成ガス製造プロセス） 6.IGCC（石炭ガス化発電） 7.地熱発電（含温泉発電） 8.風力、水力発電 9.メタンハイドレード （個人的な意見） 太陽光+水+CO2のみからエネルギー源だけでなく多くの基礎原料を 合成可能である"人工光合成"の技術開発への投資を期待したい。 ⇒日本国内だけでエネルギー問題、温室効果ガス問題、石油資源問題 すべてを同時に解決できる可能性が高い 以上
56981	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電の反対し、依存ゼロを強く希望します。 今後も必要最低限の再稼働が必要だと言うならば、１００%の安全を確保してから、すべての国民に納得いく説明をしていただきたいです。	原子力発電の反対し、依存ゼロを強く希望します。 今後も必要最低限の再稼働が必要だと言うならば、１００%の安全を確保してから、すべての国民に納得いく説明をしていただきたいです。 福島の事故がきっかけで原発の恐ろしさを知るというのは大変悲しい事ではありますが、恐ろしさを知っても、そこから抜け出せないのなら、日本に未来は１００%ありません。そもそも、命の安全と経済の安定は比較できるものではありません。 形あるものはすべて無限ではありません。今までは、その事に気付きながらも、目先の経済発展のために生産と消費を繰り返してきたのだと思います。それは私も含めみんなの責任です。 原発はそんな利己主義が生んだ大きな負の遺産だと思います。 また、原発関連事業にいつまでも依存するよりも、クリーンエネルギー事業に力を入れていく方が、日本の経済政策としても進歩的です。 世界で一番安全だと言われていた日本が、今では放射能の危険と隣り合わせで生活していかなければならなくなりましたが、私たち大人はそこから多くのことを学び、子供たちに少しでもきれいな日本を残せるよう、初心に返り考えるべきです。
56982	個人	無職	20代	男性	ゼロシナリオを選択します。継続的な電力の供給による生活水準の維持が原子力発電の主な目的であるなら、それ以前に我々の、延いては将来の世代の命や健康を守ることが優先されるべきだと考えます。	東日本大震災によって安全だと信じさせられてきた原子力発電が孕む危険性について私たちは知らされることとなりました。現在から近未来の短期的な視点と、それ以降の長期的な視点の2点から、ゼロシナリオを選択した理由について述べたいと思います。 短期的な視点としては、先ず原子力発電を抱える電力会社の組織の問題が挙げられます。震災から1年半程経ちましたが、未だに事故発生時の正確な情報や状況全てが公開されてすらおりません。これは原子力発電の運営を担った組織のすることではありません。情報公開および再発防止策の速やかな提示が社会から求められてることと同時に、電力会社が信頼を再度得るための唯一の方法だと私は思います。しかしそれが実現していない以上、東京電力は組織の保全を第一の目的としているように思えてなりません。目的が組織の保全であるならば、原子力発電の事故防止策など当の組織にとってはこの次でしょう。 原子力発電に関して、事故が起きてから組織の健全性が証明できたのでは遅いのだということを言いたいです。 また、電力会社を中心とした利権の問題もあるのではないかと思います。原子力発電の維持を前提とした以上、健全な組織の体制を再構築するのは難しいと思いますし、何より信用できません。 長期的な視点としては、エネルギー政策として再生可能エネルギーの開発に力を入れるべきではないかと思います。短期的には技術的に難しい事があるのかも知れませんが、国を挙げて開発を後押しすることで2030年以降の電力供給に於いてより多くの割合を占める事が出来るのではないかと思います。 以上の事から、私はゼロシナリオを選択します。
56983	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます。今すぐ原発をゼロにするべきです。	原発ゼロシナリオを選びます。 原発によって放出される放射線は何百年もしないとなくなりません。もし人が被爆したらそのひとは一生被爆のよって、悩ませられます。その人だけでなく、家族の不安も消えません。だから、原発はとても恐ろしいものです。
56984	個人	会社員・公務員	40代	男性	選択肢3（20～25%）を支持します。	代替エネルギーの問題が根本的に解決するまでは、原子力発電を全廃するべきではない。
56985	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます!!	原発ゼロシナリオ!! 原発反対!! 自然エネルギーにシフトを！
56986	個人	自営業	60代	男性	1、2030年までにゼロシナリオを支持する。	できるだけ早期の実現を希望する。
56987	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを目指してください。お願いします	一企業の利益維持の為に国民の命を脅かすことがあってはなりません。 これからの世代が安全に暮らせる国を我々今の世代が作っていく事が我々国民の義務ではないでしょうか。 原発に依存しない日本を目指していくべきです。 私達はもう騙されたくないし、騙されません絶対に。
56988	個人	自営業	60代	女性	ゼロシナリオを選択します。 即時0%、原発ゼロを希望します。	ゼロシナリオを選択します。再稼働に反対です。原発ゼロにしてください。 後になって健康被害を認めてもその時には遅いです。即時0%を希望します。
56989	個人	学生	20代	女性	私は原発は今すぐ廃炉にするべきだと考えています。去年の原発事故の被害はあまりにひどく、まだ事故は終息したように思えません。また、日本は地震大国で、次に、いつ地震によって原発事故が起きるかわかりません。	原子力発電所の事故によって起きる被害は計り知れません。去年の福島の原発事故以来、今も多くの人が自分の生まれた町、住んでいた町に帰る事が出来ずに、故郷への思いを抱えて苦しんでいます。また、それでも原発の近くに住み続けている人には大きな不安を感じている人が少なからずいます。 　福島原発の近くだけでなく、地球全体が汚染されてしまったと言っても間違いではないはずです。土や水、さらに空気がどこまで汚染されてしまったのかを考えると本当にひどい事故だということがさらにわかります。 　これ以上、原発を増やすべきではありませんし、今すぐすべての原発を廃炉にしてもいいくらいです。2030年の原発への依存度は勿論0%を支持します。日本は地震大国です。次にいつ地震などの災害が起きて、"想定外"の事故が起きるかわかりません。原発を人間の手によって完全に操るということは不可能だと思います。たとえ将来できるようになるとしてもそれはいつのことでしょうか？それまでに事故が起きないという保証はありません。 　事故による影響が計り知れず、対処の仕方もわからないものを作り出して動かすこと自体が恐ろしいことです。電気を生み出すには原子力発電以外にもさまざまな方法があります。私は火力発電や、また、太陽光発電などの自然エネルギーによって発電する方法を使えばいいと思います。

56990	個人	会社員・公務員	30代	男性	「即時」は求めないが、具体的な年月日に向けて原発ゼロを目指すべき	テレビの討論番組を見ても、 原発を推進したい人は 経営者たちであって、 国民全体からすれば一部の人たちです。 経営者は、 「原発がないと、工場を海外に移転せざるをえない」と脅しを口にしますが、そもそも原発があろうと、不況や円高で空洞化は進んできたわけで、 当たり前ですけれど 彼らは売上と利益を追求するのが仕事です。 さまざまな立場の人たちすべてが納得できる回答はないなか、 国は 普通の生活者という 力なき大多数の人たちの声を いちばんに聞くべきだと思います。 震災や不況、所得も上がらず雇用もなく、子育てしにくく、老人も将来が不安で、政治は常に権力争いばかりしている。 そういう状況のなかで、 中長期的な、 国民が未来に対して安心と誇りを持てる道筋を 政府に描いてほしい。 多くの人々は原発ゼロにその願いを重ねているんだと思います。 国民も そのためには日ごろから 節電をこころがけテレビやネットを見る時間を減らすし、 省エネのためにモノを買い換えて経済に貢献します。
56991	個人	学生	40代	女性	原発は今から全廃炉を決め、天然ガスを利用した火力発電を利用。将来的には自然を壊さない形での地熱発電等の自然エネルギーを利用した発電体制を整えていく。	原発利用は、福島第一原発の事故から、人間へのリスクが高すぎるということが証明されました。次に福島第一原発級の事故がおこれば、日本は人が住めない土地となります。人間は、放射能の中では、正常な生活はつづけられません。 火力発電はコストうんぬんという話を聞きますが、天然ガスを利用すれば、コストを安くおさえることができます。（天然ガスを安く取引する能力を日本人が身につけていけばよい。）
56992	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオ以外に選択できません。即刻、大飯も停止する、即ゼロの選択肢も用意してください。 フクシマの、事故の処理が終わっていない、今、原発を使い続ける事に、理解が出来ない。	原発ゼロシナリオ以外に選択できません。即刻、大飯も停止する、即ゼロの選択肢も用意してください。 フクシマの、事故の処理が終わっていない、今、原発を使い続ける事に、理解が出来ない。チェルノブイリ事故の経験を無視して、独自の安全基準を国民に押し付ける国や、政府に今のままでは、任せられない。 関西電力の大飯原発再稼働後の、火力発電の停止には唖然としました。国や企業のトップには、もうけのためには恥も外聞も無いのかと。逆に関西電力の社長さんの記者会見の感じでは、逆に原発が必要ない事をアピールしてくれたかのようでした。 細野環境相のモーニングバード発言の後も、瓦礫の広域処理を押し進める暴挙は許されないと思っている。全国に放射能のみならず、アスベストやヒ素までも拡散する気か？それは犯罪ですよね 犯罪と言えば、政府や東電の罪もハッキリせねばいけません。 歴代の政府高官や、官僚、電力会社のトップ等にも罰を与えるべきでしょう。 東電もやはり破産処理にしなければ、国民はなっとく出来ない。もしくは社員や役員の報酬を公開して、意見を募集すると良いと思う。 犯罪者に渡す税金は無いです！
56993	個人	自営業	40代	男性	原発依存0%。即時全面稼働停止。極力速やかに全面廃炉。	一部の利権より、命が大事。あたりまえのこと！
56994	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発0%シナリオで、即時0%を希望します。	３１１の震災で明らかになったように、想定外の事故が起きた場合の放射能拡散のリスクや、制御不能になるリスクは、いかなる技術的な対応を行おうとも決してゼロにはできないと思います。 仮に無尽蔵に予算をかけて事故防止対策を行うとするならば、原発の経済的優位性は崩れてしまうことでしょう。そして、万一の事故発生時に、保障や除染に当たる費用を見積もれば、原発はとうてい経済的に見合わないものと考えます。 事故は起こりうるという前提にたてば、事故が発生した場合の影響の大きさは、その範囲の広さや影響の及ぶ期間の長さ、被害の甚大さなど、すべての面を「事故以前の状況に完全に戻す」ことはとてつもなく困難な作業です。おそらくは不可能といってよいでしょう。 使用済み燃料の処理などの問題も無視はできません。地震大国の日本において、地中に埋めて、遠い未来まで安全を保証できるとは思えません。 このようなリスクを抱えたプラントが日本全国に存在していて良いとは考えられません。 他国からのミサイルの攻撃ターゲットになってしまえば、それ自体が核爆弾と同じものになりうるというリスクも、国家安全上の無視はできないと思います。 私は再生可能エネルギーの推進を希望します。現在まで、原子力政策に注ぎ込んできた人材と英知とマネーを、再生可能エネルギーに向けることで、現在これらについてかかわる諸問題、諸課題の解決も見えてくると思います。 政府に於かれましては、脱原発の強力な推進をぜひ政治主導で行なっていただきたいと、強く強く希望いたします。 現在の我々の生活を守るだけではなく、未来の、私達の子や孫、その先の世代に禍根を残さないためにも、よろしくおねがいいたします。
56995	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。	ゼロシナリオを支持します。 (1)放射性物質の安全性と管理 原子力発電に使用される、ウランや副産物であるプルトニウムは毒性が強く、そもそもエネルギー源として大規模な利用に適しません。また放射性廃棄物を安全な状態で数万年という単位で維持監視することは、現実的にはあり得ません。 (2)エネルギー使用削減の余地 技術的な省エネルギーは進んでいるものの、少ないエネルギーで生活するためのインフラはほとんど整備されていません。欧州のように歩行者や自転車を優先する道路構造や無料駐輪場を整備するだけで、根本的な生活スタイルが変化します。 (3)再生可能エネルギー賦存料の余地 再生可能エネルギーは、政府試算のとおり少なくとも35%の設定が可能です。 以前、建設業の環境担当者の集まりで研究した論文「持続可能な社会のプログラム試案（土木学会2004）」では、少エネルギー生活のインフラ構築、再生可能エネルギーの活用で、1次エネルギー使用量を75%削減する試算を行いました。 温暖化防止シナリオとの両立は可能ですし、制約条件への早めの対応は、国際戦略上、有利に働きます。むしろ対応の先伸ばしは、解決すべき問題が大きくなるだけで、次の世代にハードランディングをもたらすものです。 経済とも両立するゼロシナリオを、ぜひ構築しましょう。
56996	個人	会社員・公務員	40代	女性	シナリオ20～25を支持します。	特定のエネルギーに偏らず、原子力、化石燃料、再生可能エネルギーなどによるエネルギーのベストミックスを目指した方がよいと思う。
56997	個人	自営業	50代	男性	【2030年ゼロシナリオを実現するために】 1. 使用済み核燃料処理の研究開発支援 2. 新しいエネルギー開発への研究開発支援 3.「省エネ」への研究開発支援	||||【1.使用済み核燃料処理の研究開発支援】|||||||||||||||||||||||||||||||| ●14,225本あるとされている核燃料棒を処理する技術開発の支援促進。 ●処理技術を改良開発していくために、世界中の知識と知恵を集結する。 そしてそれを率先して取りまとめ、全世界に公開（オープン）、実施実行する責務が日本にはあるだろう。 ||||【2.新しいエネルギー開発への研究開発支援】|||||||||||||||||||||||||||||||| ●再生エネルギー開発への研究開発支援。 ●それ以外の「新」エネルギー開発への研究開発支援。 ||||【3.「省エネ」への研究開発支援】|||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||| ●蓄電技術の研究開発支援。 ●大中規模（生産者側）、小規模（利用者側）の排熱/廃熱削減と排熱/廃熱利用の研究開発支援。
56998	個人	学生	20代	女性	原発の即刻停止・廃止をお願いいたします。	・福島原発の事故後、政府の対応は全く信用できません。 ・もし再び原発事故が起きたら、東日本のみならず、日本全国が終わってしまうと思います。そう考えると、とても怖いです。
56999	個人	自営業	40代	男性	3つの選択肢の中で、私の意見に一番近いのはゼロシナリオです。 しかし、原子力発電の依存を直ちにゼロにするべきです。	直ちに原子力発電の依存をゼロにするべきと考える理由は、原子力発電所の危険性は、福島第一原発の状況を見れば明らかであるばかりでなく、その危険が数十年にも渡ります。また核廃棄物の処理にはもっと長い時間がかかり、それを将来の科学技術で解決するという見通しのない方法は無責任すぎます。未来の世界にそれを背負わせるわけにはいかないと思います。
57000	個人	その他	30代	女性	原発は撤廃を！不安をなくすため、良いことも悪いことも全て情報公開を！	もういちど国を信頼させてください。国民を信頼してください。我々も馬鹿ではありません。隠蔵してもいずれわかりますし、デマが増す一方です。

整理番号	個人/法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
57001	個人	学生	20代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発はいかなる理由からも正当化できません。長期的に国益を考えたとしても、間違いなく国益を損ないます。ドイツのように環境先進国を目指すべきでしょう。
57002	個人	パート・アルバイト	40代	女性	現実問題、原発ゼロでは、物価上昇、貿易赤字等、経済が停滞する。立地や設備の古いものは廃止を検討し、今後は常に安全性を確認しながら原発を稼動させて頂きたい。	現実問題、原発ゼロでは、物価上昇、貿易赤字等、経済が停滞する。立地や設備の古いものは廃止を検討し、今後は常に安全性を確認しながら原発を稼動させて頂きたい。
57003	個人	会社員・公務員	40代	女性	出来るだけ早期に原発0にすること。 電気に頼った24時間社会を改め、省電力を実現すること。 再生可能エネルギー比率を早急に引き上げていく政策をとること。	福島原発の事故による影響はこの先何十年以上にわたって地域の人たちを苦しめ、また日本全体にとっても大きな経済損失また国土の損失です。 原爆被爆者が60年以上にも渡って健康不安、差別に悩まされている現状を見ても、今後福島の住民が負わされることになる負債は想像を出来ないほど大きなものです。 この悲惨な事故は、これまでの原子力推進政策によってもたらされたものであり、安全性より利益を優先する電力会社、破たんが明らかな核廃棄物の処理に関する無責任な政策、原子力労働者への安全無視の下請け労働容認など、今回国民の目に明らかになるまで矛盾点を隠し原子力発電推進による利益にしがみついてきた国・企業の責任は明らかです。 今後このような悲惨な事故を起こさないために、活断層や津波の危険のある原発、30年を超える原発は再稼働しないこと、2030年までの出来るだけ早い時期に原発を0にすることが必要と思います。 地球環境にとっても、人間にとっても負担になる24時間社会を改め、省電力社会を実現し、再生可能エネルギー比率を引き上げる政策を推進することで、CO2排出量を減らすことが出来ます。 今回国が出したゼロシナリオは、省電力目標も、再生可能エネルギー比率も低すぎると思います。 また、再生可能エネルギー普及に当っては、大企業中心の大型開発型発電ではなく、住民参加型の発電、また電気に限らず、ゴミ処理場の排熱利用など多面的に進めていってほしいと思います。
57004	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は、たとえそれが必要なエネルギー源であっても、事故が起きた場合のリスクの大きさから、自然災害の頻度の高い我が国で取るべき手段ではない。	福島第一原発事故では、多くの人が大変な被害に遭いました。その被害は、もはや単純にお金に換算し得るものではありません。ある人が、何年何十年もかけて築き上げて来た生活の基盤が、一夜にして奪い去られました。確かに原発は、排出ガスを出さないエネルギー源ではありますが、一度事故を起こすと回復不可能な破滅的被害をもたらします。そのようなエネルギーにこれからもずっと頼ることはできません。同時に、世界的に深刻化しつつある温暖化問題にも真剣に対処していくことが、日本が世界の中で果たしていくべき役割です。
57005	個人	自営業	20代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	自然エネルギーの推進を希望します。
57006	個人	会社員・公務員	30代	男性	脱原発シナリオ	脱原発シナリオを支持する理由は下記の通りです。 1: 他の発電方法と比べ、事故時の被害(健康のみならず、経済的被害の大きさ)が大きすぎる。そして、その被害の程度自体が、正確に想定されていない。 2: 核廃棄物処理について何も考えられていない。 3: 原子力を運用・検査する機関が事実上破たんしている。言い換えれば原子力という技術を「政治」そのものが潰したと言える。今回の福島の事故に関しても、東京電力、政府が全く責任を取っていない。(一粒のこらず、放射性物質をかき集めなくてはならない) 4: 私は2001年に国立大学機械系に入学したが、その時点から原子力に対して魅力を感じている学生は周りには皆無であった。(恐らくチェルノブイリ以降、若者は魅力を感じなくなった。)そのような若い研究者が魅力を感じない分野が、今後発展するはずがない。 5:核武装に関して議論する場合は、原発とは分けて議論すべき。
57007	個人	パート・アルバイト	30代	女性	出来るだけ早く原発ゼロを目指す。	原子力発電所の事故の経験から日本は原子力をエネルギーにしていくのはやめた方が良いと考えるようになった。出来るだけ早くすべての原発を廃炉にしていく道筋を立てて欲しい。そして実行しよう。
57008	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを採用し、なるべく早期に原発比率をゼロにすべきだと考えます。	原子力発電には、核廃棄物の安全な処理方法が確立していないという致命的な欠陥があります。また、放射性物質による人体を含む生態系への影響についても、十分な調査研究が行われておらず、何世代にも渡る長期的な影響について人類は十分な知識を有していません。こうした状況下で、各国が競って原子力エネルギーにカを入れてきたのは、核兵器を保持して来るべき核戦争に備えようとしたからだと思います。しかしながら、核兵器を保有することは核戦争に巻き込まれるリスクを高めこそすれ、核戦争の中で生き残れる保証にはなりえません。したがって、原子力発電に関してはゼロシナリオを採用し、可及的速やかに稼働停止を行うべきだと考えます。稼働停止しても、その後の廃炉と核廃棄物の処分には気の遠くなるような長い年月を要し、その間リスクは残存しますが、稼働を継続するよりは安全を確保することが容易になります。 今後は、再生可能エネルギーの活用に力を入れ、その技術で世界をリードする国を目指すべきです。そのための技術的な基盤を既に日本は保有しており、政策的な後押しがあれば、早期に再生可能エネルギー比率を押し上げることが可能であると考えます。
57009	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオ 選択肢の中ではゼロシナリオを選択しますが、 原発即時撤廃を希望します。	日本は地震大国であり、国内の至る所に活断層があります。原発施設に安全と思われる場所はないと思います。地震や津波の悲劇を上書きするような惨事を招く原発を即時撤廃していただきたいのです。 原発は屈強な産業であると聞きます。 民主党の皆様は何かの板挟みになっているのでは？と推測します。 政治家は、日本をより素晴らしい国にするためにその職業を選択されたのだと思います。民主党の初心に期待しています。
57010	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオでなければ意味がありません。	15%とか中途半端なことでは、問題がです。 ゼロが前提で進めないと、15%を逃げ道として使っているだけです、 毅然たる判断をお願いしたい。
57011	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は即刻0パーセント稼働にするべきです。	原発事故の後処理が人間に不可能だし、永世の後まで 悪影響が残る放射能汚染を考えたら、原子力発電は、 やってはなりません。
57012	個人	その他	70代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。原発即時撤廃してください。廃棄物の処理もできず、湯をわかすだけのために環境と命を壊す。40年前の遺物を世界から押しつけられ、新産業に遅れをとれば、日本は終わりです。	原発ゼロシナリオ（唯一の脱原発シナリオ）を支持します。 即時廃炉し、自然エネルギーを中心にしたエネルギー産業と持続可能な社会作りに方針を転換してください。 そうでなければ、世界に取り残され、経済的にも困窮していくことが目に見えています。 アメリカも脱原発に舵をきっています。このままでは日本だけが世界の核の負債を押しつけられます。 http://enenews.com/just-in-u-s-freezes-all-nuclear-reactor-construction-operating-licenses 2012年8月7日ENEニュースより 連邦政府の原子力規制当局は本日、危険な、長期的な健康と環境をもたらす、“原子力発電所の敷地内に格納されている使用済み核燃料のDC巡回控訴米国の裁判所が判決に応じて、少なくとも19最後の原子炉のライセンスの決定を凍結
57013	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	一刻も早くすべての原発を停止すべきだと考えます。根拠は今を生きている人間だけではなく、これから先を生きる人間にとっても安全保障が成されていないと考えるからです。昨年の福島第一原発事故を目の当たりにし、核というものが人智の及ばない、人間には支配できないということを誰もが目の当たりにしたはずです。存在自体もやっかいなのに、出すゴミ（放射性廃棄物）も相当やっかいです。人間の寿命を仮に100年とすると、やっかいものの出すゴミは何万年かかって処理できるのか。我々の子孫、そのまた子孫そしてその先延々と負のゴミ処理を受け継がせなければならないなんて無責任ではないでしょうか。誰にも安全に生きる権利があり、原発依存はその根底を揺ながすことになるのではないでしょうか。温暖化や経済の問題も挙げられますがほかにも道はあるはずです。第一に優先すべきものは、未来の子供たちが安全に暮らせる社会を作っていくことだと考えます。誰しも自分の子供が生きる世は幸せに満ちていてほしいと願うはずです。よって原発はいらないと考えます。日本のやり直す力を信じ、自らも学んでいきたいと考えています。
57014	個人	家事専業	40代	女性	原発はいらない 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 自然エネルギーや液化天然ガスなどの開発 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離など電気も地産地消ができる仕組み作り	未来の子供達のため
57015	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	次世代の安全なエネルギー環境のために。
57016	個人	自営業	50代	男性	原発依存度は2030年を待たずに今すぐ0%にするべきだ。	昨年あれだけ大きな原発事故を起こし、1年半近くたっていまだ収束できていない現実を見るべきだ。原発を作る時には絶対に安全で決して事故は起らないと言って地元を説得したのではなかったか？その絶対に起らないと言い張ってきた大事故が起きたのだ。その事実を真摯に受け止め、現在ある国内の全原発を即座に廃炉にするべきである。エネルギーはガスコンバインで十分賄えるはずである。
57017	個人	無職	40代	女性	原発はできる限り早くゼロにする 完全廃炉	現在も、福島第一原発事故の影響で自宅に戻れなく避難所生活の人たちや、 仕事を失った人たちが大勢います。 世の中に壊れない物など、無いと思います。 例え、電気がなく不便な生活でも、心の豊かな生活の方が幸せです。 現在は、いじめ自殺や、親の子殺しなど、残虐な事件が多すぎます。 大金を持ち、着飾る事が幸せなのでしょうか。
57018	個人	自営業	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	今回のパブリックコメントの政府のアピール方法がごくわずかな範囲でしか、公開されていない事に疑問を感じます。もっとテレビのCMなどでアピールするべきと考えます。 今後原発を再稼働しつづける際には、使用済み核燃料の処理方法なども、 具体的に検討、決定していない中で、再稼働は許される事ではありません。 今回の福島の事故は政府が招いた事故であり、その事故の責任、賠償なども全く解決していない中で、原発を再稼働する事に多くの国民は反対しています。 その声を全く無視し、政治家の利益の為に原発を稼働する事は、許されません。 世界各国からも、日本は地震大国でありながら、原発を誘致、原発を推進する事に、無責任さを感じています。 日本は世界と比較しても、自然エネルギー資源が豊富にある事を知りました。 日本の技術は世界でも認められており、早急に自然エネルギーを促進する必要があります。子供達にもエネルギーを自給する教育も必要です。 原発を推進してきた日本はCO2排出量が増え、自然エネルギーを推進しているヨーロッパはCO2が削減に成功しています。原発ではCO2削減にはなりません。 私はこれから、子供を産みたいですが、福島の事故以来、とても不安で子供を産む気持ちを失いました。多くの女性がそう感じています。 このまま原発を稼働し続ければ、確実に少子化が進むと思います。 原発再稼働のメリットは国民にとって矛メリットしかありません。 直接民主主義で、国民の声をどうか実行してください。
57019	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロシナリオ（直ちに）を主張します。	子供たちに確かな未来を残していきましょう。 とりわけ子供は低線量でも、大きな被害を受ける可能性があります。 確かな未来を残すためにも、原発に依存しないエネルギー政策に方向を変えていきましょう。
57020	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロでよいと思います。	日本国民が一緒になって不具合は我慢するとなっている時代です。 国が進んで形を変えて行ってください。 国民はついていくと思います。 それができたら自国のエネルギー開発が活発化します。 それは今後の国交・貿易、国益に大きく変化をもたらし、 先々の『日本は先進国ではなくなる』を回避できると思います。 目先や利権を超えて、 しっかりとした国民のリーダーでお願いいたします。 ある意味こんなチャンスはありません。
57021	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発以外のエネルギーシステム構築は、日本の高度な技術を世界中に売り込む千載一遇のチャンス	過去から連綿と続く日本の産業を支えてきた電力ですが、既存のシステムに頼る産業を守るための原発稼働ではなく、一時的に落ち込んでも日本の高い技術力ならすぐに新しい電力供給システムを生みだすことができるでしょう。世界経済の中で力を落としつつある日本の産業界。特に新興国では中国、韓国製品に日本は完全に後れを取っています。しかし、電力供給システムにおいては まだまだインフラ整備が遅い付いていない新興国です。日本の新技術を世界に売り出し、新興国だけではなく先進国にもシステムを売り出しましょう。 原爆、原発破壊と被爆経験のある国として新システム構築は「日本らしい」変革です。また日本にしかできない変革です。 今こそ電力供給システムから社会構造を変革し、世界に貢献する時です。 未来から見た今　という視点でぜひ、最善の選択をしましょう。
57022	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所の再稼働を中止し、順次廃炉とし、自然エネルギーへのシフトを早急に行うべきです。	日本は残念が3回の被爆をしてしまいました。広島、長崎、そして福島を中心とした南東北～関東にかけてです。全世界に3回も国民が被曝をした国はありません。それゆえ、全世界に先立って原子力発電の廃止、自然エネルギーや環境エネルギーを主体とした経済活動に全力を揃けて邁進すべきです。 今年も消費電力量の見積り間違いで、計画停電という脅しに似た情報を元に、物事が推し進められました。この間違いは、国民からすると脅迫と詐欺に値します。今後原子炉を再稼働しなくても、来年に向けて1年以内に各家庭やビルの屋上などに太陽光発電システムを国をあげて導入することで、夏の消費電力量のピーク時は、まさしく炎天下の状況であるため、発電効率も高くクリアできることでしょう。冬に関しても東北、北海道や新潟以外は雪がふらないため昼間の発電も一定の効率を望めますので、消費電力量のピークにも対応可能です。 何より、低レベル～高レベル廃棄物の処理方法が見つかっていず、全国の原子力発電所に使用済み核燃料が大量に貯蔵されているという事実の上、これ以上使用済み核燃料を増やすという選択は冷静な判断をするとあり又ないはずです。 フィンランドのように1万年以上地震や地殻変動がない地層をもっているわけではなく、むしろ地震国である日本に原子力発電所が存在している事自体が前提として国民を危険に晒している琴似なります。 自然エネルギー、環境エネルギーへのシフトを行うことで、産業構造の変革が期待でき、雇用の創出も容易となり結果として、世界をリードしていく国家へと変貌が期待できます。現在の産業構造を守り続けるのみでは、人口減少が今後顕著となる日本を支えることはできません。 まずは原発を即廃止することから一歩を踏み出すべきです。
57023	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択します。	東京電力福島第一原子力発電所の事故以降の東電をはじめとする電力会社各社の幹部連中や経産省の担当当事者、そして政府やそのほか原子力発電と強い結びつきを持つあらゆる関係者たちは、原発事故の被害者たちへの誠意を欠いているし、私たち電力消費者の命や生活を馬鹿にしている、誰もなんの責任もとらない構造は歪んでいるし機能していない。 未来のエネルギーについて考えた時、このような無反省な人たちに、とてつもなく大きなリスクを伴う原子力発電を任せられるわけがない。 絶対に嫌だ。勘弁して下さい。 本当に本当にやめて欲しい。 だから私はゼロシナリオを選択します。 ゼロシナリオを選択することにより生じる責任やリスクがあるならそれらを私は引き受けます。 強い気持ちを持ってゼロシナリオを選択します。

57024	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発0%を選択します。	原発の安全性は未だ確立されておらず、性急ににエネルギーを原発に頼ることは、国民の安全性を確保する上で、避けるべきと考えます。 エネルギー源がなければ、日本の産業構造をエネルギー多消費型の産業からエネルギー節約型の産業に転換を図るべきで、現状の産業構造を維持したままエネルギー源の選択を迫るのは、既存産業の過剰な保護以外にありません。社会構造をエネルギー節約型の構造に転換すべきです。
57025	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を強く望んでいます。	どうかこれ以上原発の再稼働を進めないでください。 今動いているものもすぐ止めて下さい。 福島の事故後、まだ何も処理できていない状態で再稼働が許される理由が全く理解できません。 子供たちが希望を持ち、健康に暮らせる未来を残す為に、原発はゼロにしてください。 日本の技術を持ってすれば、自然エネルギーもうまく取り入れて原発は必要のない状態にすぐ持っていけると思います。 どうかよろしくお願いいたします。
57026	個人	自営業	30代	女性	原発廃炉以外の選択肢はない。原発は再稼動せず、直ちに廃炉できる技術を研究開発するべき。電力事業を地方自治体レベルで運用できるレベルまで分散させるべき	質問 パブリックコメントの存在を知ってる人はどのくらいいるのか？ 全く的外れで、無責任な「福島食べて応援」CMを垂れ流すなど犯罪に近い。パブリックコメント募集のCMをTVに流さない理由はなんですか？この国はPCもろくに触れない年寄り（代表は政治家ですね）の方が多いのに何でネットで意見募集する？是非答えていただきたい。 本題 原発事故が収束していない、事故が起こることを想定せず、事故を起こした東電、事故の被害を拡大させた経済産業省等の本来原発の規制をすべき輩、情報を操作して国民をだましし続けている菅直人、枝野幸男、細野豪志、その他原発を推進してきた全ての人間が一切の責任も取らないうちに、大飯原発を再稼動させ、のん気に「エネルギーの選択肢」のパブリックコメントを募集するこの国の中枢は思考停止してる？ 原発は廃炉一択。これ以外に選択肢がありますか？至急廃炉にするための技術開発を進めるべき。 これまで原発に関わってきた人間がやればいい。まずはこの国のすべての原発を廃炉に向けて国がに具体的に動き出すこと。そうすればエネルギーの選択肢について自然に議論がされるはず。 事故から一年以上経って、まだ何にもしていないのに、のん気に的外れな意見募集する意図はなんですか？
57027	個人	家事専業	20代	女性	原発ゼロにするべき	原発はゼロにしてほしいです。 私が心配なのは、使用済み核燃料の行き場がないことです。 経団連や電力会社などの財界や政府の皆さんは、使用済み核燃料からさらにプルトニウムを摘出すればいいから、そのシステムを早く確立させたいと思っておられるのかもしれませんが、もんじゅや六ヶ所村のシステムは、すでに破綻しており、 アメリカにおいても使用済み核燃料の再利用は断念していると新聞で読みました。 あるテレビ番組で、廃棄物の処理は埋めるしかないが、地殻変動などでいつ危険な状態になるかわからない、と電力会社の敷地内で使用済み核燃料を埋める研究を地中で取り組んでいる人たちが言っていました。 放射性物質がかなり永い期間放出することを、人類は止めることができません。 伊方原発の使用済み核燃料プールは、あと2.3年でいっぱいになると、案内人の方に教えていただきました。 原料となるウランだって、もう数十年でなくなるくらいの埋蔵量しかないです。 核のゴミを捨てる場、処理の仕方がわからない。核燃料も有限である。これらの観点から、わたしは、原発はゼロにして、再生可能エネルギーによる持続可能なエネルギー政策に転換することを望みます。
57028	個人	会社員・公務員	30代	法人等	原発0	原発ゼロ 即時0%希望です
57029	個人	自営業	30代	女性	原発は即座に停止し、依存度はすぐにも0%に。	今回の原発事故で、原子力エネルギーはまだまだ人間の手に負えるものではないことが誰の目にも明らかになったはずです。 経済性を優先させるのか、国民の健康と安全を優先させるのか。答えは言わずもがなです。 効果的なピークカットを行なえば、原発なしでも電力は賄えるという検証結果も出ているはずです。必要あらば計画停電も受け入れます。 今、大きな負担を強いてしまっている福島の人たちの苦難が無にならないよう、二度と同じ悲劇を繰り返さないよう、今この時点から大きく舵をきっていくことを望みます。
57030	個人	その他	40代	男性	可及的速やかにゼロパーセントを目指し、最大限の努力をすべき。	原子力発電に将来はない。日本は国を挙げて速やかに再生可能エネルギーに移行すべきであり、そのためのあらゆる努力をすべきである。少しでも危険性が考えられる原発は稼働すべきではない。地震大国の日本で原発を持つことのリスクは福島で証明されたことであり、第二、第三の福島が生じる可能性は、大地震の活動期に入った現在の日本では、十分に想定されることである。原発には万が一はあってはならないのであるが、その万が一を排除できない技術である原発に頼ることは許されない。
57031	個人	その他	30代	男性	原発ゼロを支持します。原発は危険です。反対理由はそれだけで良い。	このピンチは自然エネルギー大国になるチャンスです。 財政も企業投資も自然エネルギーに集中すれば経済成長の不安も和らぎます。 復興庁のように、なにものにも制限されないエネルギー庁なるものを設置するべきです。自然エネルギーの普及を妨げているものが多すぎます。 これまで国家の目指す方向性が何もなかったところから、今後は自然エネルギーの開発と普及を国家プロジェクトとして強力に推進していってほしいです。 自然エネルギー開発は、民間企業が厳しいなら国有企業でもかまわない。 国家の威信をかけて原発依存から方向転換し、世界のお手本になることが最善の選択であると考えます。
57032	個人	家事専業	30代	女性	原発0にしてください、私達大人がおかした罪は深い、原発0、そして自然エネルギーの利用方法をもっと検討してください、	国民が飼れる日本に、今のエネルギーや政治の現状、政治家や官僚の質 すべて恥ずかしい
57033	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は即刻廃炉へ	原発はなくても発電できます。安全な発電で本当の先進国に！
57034	個人	法人等	40代	男性	2030年までに原発比率をゼロとする。核燃料サイクルは撤回。直接処分に方向転換する。新たなエネルギー源の開発に総力を上げる。この転換の端緒として原発の新規設置を禁止する法を2012年以内に制定する。	2011年3月11日の東日本大震災に伴った福島第一原発の事故は1945年の日本の敗戦以来最大規模の被害をもたらした人災である[1]。2012年8月の現在、事故からすでに1年5ヶ月が経過したが、福島県における避難者の数はいまだに16万人にのぼる。健康被害を憂慮し自主的に避難、あるいは転居した他の県や都の人数を含めれば、この事故によって生活の思わぬ激変を経験している人の数はさらに多くなるだろう。また、広大な面積が生活のできない帰宅困難区域となった。これは国の領土を失ったことに等しい。原発の事故がもたらす被害は難民の発生、国土の喪失という少なくとも二点において武力による戦争が人々にもたらす被害に酷似している。 また、核廃棄物は以後10万年にわたる厳重な管理が必要になる。しかしその技術は未だ確立していない。たとえ核燃料サイクルの夢がかなったとしても廃棄物は生じる。後続の世代がその廃棄物管理の技術開発に成功することを祈り、託すことになる。そして何百世代もの子孫がその廃棄物の毒人となることを強要することとなる。「立つ鳥後を汚さず」という慣用句があるが、これに全く反する行いだ。私の感覚では死して後に膨大かつ危険なゴミの山の処理を後続の世代に押し付けることはモラルに反する。すべての原発をすみやかに停止した後、すでに存在する核廃棄物は直接処分とし、それを安全に10万年管理する技術を責任ある我々の世代が全力を上げて考案すべきだろう。そしてなによりもこれ以上、核廃棄物を増やしてはいけない。 さらに、事故による汚染が比較的軽微であることは全くの偶然の結果に過ぎないことは、強調すべき点である。事故後拡散した放射線物質の沈着量は詳しい測定がなされている。チェルノブイリに比較すると汚染は少ないことがわかっているが、天候の状況上ではより深刻な汚染になる可能性が大いにあった。事故後、福島原発周辺においてたまたま西風が吹く時間が長かった。このため、放出された放射線物質の多くは海側へと吹き飛ばされ陸に沈着したものは総放出量の一部であるに過ぎない。もし継続的に内陸に向かって風が吹き、さらに雨の多い季節であったならば、事故はより広大かつ高濃度の汚染を結果したであろう。目下の汚染分布はまったくのお天気まかせの結果にすぎない。人知によって防御したのではない。次回もし事故が起きたときに、福島と同じように海にむけて風が吹いてくれるとは限らない。 また、陸に沈着しなかったからといって放射性物質は消えるわけではない。海や大気中に拡散した放射線物質は、地球上に生きる全ての人々に一定の確率をもってその健康に害を与えている。この点において世界から日本に向けられる視線は厳しい。ただでさえ大地震が頻発し、津波に襲われる土地にありながら、そして事故そのものが収束しておらず未だに放射性物質を無分別に環境中に排出し続けているにもかかわらず原子力を推進維持しようとする日本という国は国家レベルでの加害者、地球環境の破壊者との批判を受けても否定することは難しいだろう。これは外交上においても得策であるはずがない。ましてやこの地球において日本は二度と事故を起こすことはできない。世界は許さない。そのためには日本は原発を止めるしかないのである。 原子力に依存する未来は、これまでの日本の延長線上にありもっとも安易で想像しやすい未来だ。経済戦略も今のままである。一方、原子力を中心としたエネルギー政策を放棄すれば、これまでとは全くことなる未来を描くことが必要になる。これまでの経済成長戦略も一度捨て去り根本的に考えなおすことが必要になるだろう。これは安易ではない。困難な道だ。しかしこの困難な道に踏み出し、あらたなエネルギー源の開発に向けて大きく舵をとれば、そこには未知の社会が待っている。若い科学者や技術者はそうした開かれた未来、白紙の世界にあってこそ本物の希望と情熱を抱くことができる。技術的、科学的な真のチャレンジと豊かな創発性の発露の場がそこにあるからだ。福島の事故とその後の対応の失敗によって、科学者や技術者は人々を失望させた。なによりも失望したのは若い世代の科学者や技術者自身ではなかったか。必要は発明の母である。すべての原子力発電所を廃炉にするという方針を確固たるものとすることとすれば、新たなエネルギー源の必要に駆られる我々や若い世代にとってその新しい理論・技術・産業を必死の情熱で産み出してゆく強烈なインセンティブとなる。日本政府は原子力との訣別を熟然と宣言し即実行にうつすべきだと私は考える。 2012年の今、原子力発電は、その存在そのものが日本の安全保障上の危機と外交上の損害、地球の環境の危機を継続的にもたらしている存在であると私は結論する。なおかつ日本の科学と技術を賦活し、若い科学者や技術者が希望を持てる未来を描くには原発依存度をすみやかに0%にすべきだと私は考える。なによりも今多くの日本の人々が望んでいるのは、再び生じるかも知れぬ放射能汚染という不安のない生活ではないか。このためには原子力という巨大産業の構造を廃炉に向けて大きく転換し、新たなエネルギーの開発を国策の中心とすることが必要になる。この大改革の端緒としてまずは、新規の原子力発電所の設置を禁止する法律の2012年以内の制定を私は強く希望する。 [1] 国会事故調査委員会報告書、2012年
57035	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。経済より、安全を優先するということです。当面の火力発電によるコスト増、CO2量出ははしょうがないと思います。 今のことだけじゃなく、子供たちが次のステップに進みやすい環境を整えるために、問題を先送りにするようなモノを残してはいけないと考えます。 今の問題は今整備して、次の世代に渡していくべきと思います。
57036	個人	その他	30代	女性	「2030年に原発ゼロ」であることを望みます。	私は幼い子を持つ母として、福島原発の事故のようなことが2度と起きないことを望んでいます。現在の福島原発を見てとうてい事故が収束したとは思えません。ときどき報道される、福島原発の状態にいつも不安を感じます。また、除染活動なども行われていますが、自然界の中に残った放射性物質を完全に取り除くのは不可能だと思います。雨が降ったり、風が吹いたりすればどこまで拡散するのかを予測することは到底できないと思います。自然はいつも想定外のことが起こります。現に、ホットスポットも想定していないところにあったりしています。 今回の福島原発の事故で原発の安全神話は無くなりました。原発は事故ありきで考えるべきです。そして事故が起きたときに、放射性物質、放射能に対して絶対の安全な対処法ができない限り原発は存在してはいけないものだと思います。
57037	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電の即時廃止	福島第一原子力発電所の事故処理が全く進んでいないなか、地震が多い日本においていつまた大地震が起こるかわからない！こんな状況で人間の手に負えない放射能を使って発電なんて考えられません。これから未来の子供達ことを考えて新エネルギーに変えていってください。
57038	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ 2030年などではなく、即時の全原発の停止・廃炉化を主張します。	私の家内の実家は福島県郡山市です。 今でも目に見えない放射能の恐怖にさらされています。 福島原発の事故は現在も進行中であり、多くの住民が未だに不自由な避難生活を 余儀なくされているのに、全くでたらめな政府の「終息宣言」には 深い憤りを禁じえません。 誰も責任を取らないのに、「私の責任において再稼動」とは笑止千万です。 「原子カムラ」による汚い原発マネーのためだけの嘘で固めた再稼動の強行！ そして、行き先の無い大量の「核のゴミ」の処理問題など、あまりにも不透明な 政府の対応を考えると原発の即時全面停止・廃炉以外に選択肢は考えられません。
57039	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発即時廃止。	燃料の処分方法もわからず運転すべきでない。 税金での負担を考えるとコストは高い。 福島事故を繰り返すと日本全体住めない。
57040	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電からの脱却に向けて国としてのアクションを望みます。	私の実家は宮城県塩釜市です。山の幸、海の幸が美味しい宮城を誇りに思っていたしたが、福島原発事故を機にロにするのが恐ろしくなりました。二歳になる娘を実家に連れて行き私が青った環境をそのまま彼女に伝えられないのがとても悲しく感じています。原発が稼働している以上は、どこかの土地でこの様なことになる可能性はゼロではなく、これからの世代に対してリスクを背負った世界を残すことは避けなければならないと思っています。関西大飯の再稼働は関電の経営的理由からの稼働と聞きました。経済的な理由ではなく、倫理的な判断で原発の撤廃を進めてください。
57041	個人	自営業	40代	女性	原発は今すぐ止めてほしい。なくても十分やっていけると思います。	コンビニは24時間やるの地域で一つでいい。たくさん電気を使っている企業は屋根にパネルつけたらいいし、それこそ24時間も稼働しんでいいモノ作りしたらいい。貰って数年で壊れてアフターケアもまともにしんで新しいの売るようなモノがりはゴミを増やして、エネルギー消費ばかり。 トイレは勝手に流れなくていいし、フタは使ったら閉める、水の蛇口も自分で閉める。ハンカチで手ふく。 便利が行きすぎて人間がアホになる。 少し前まで当たり前だったことなのに便利と怠惰は違う。 政治家の人は自分の子供や孫に残せる日本をかんがえてほしい。他人事ではないのですよ。
57042	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発は0にするべきです	今回の地震はもちろん日本のせいではありませんが、日本が起こした原発の事故は日本だけでなく世界中の人を不安に陥れました。 電力不足も心配でしょうが、ここで日本が変われば、世界も変わるきっかけになると思います。 海や、土地が汚染されれば、細々と生き延びることすら出来なくなってしまいます。 細かい数字も知らないのに大きなことは言えませんが、 家庭のエアコン等による節電を不要というわけではありませんが、一般家庭ばかり締め付ける前に、 繁華街の過剰な照明、広告塔、巨大モニター、スピーカーからの騒音など、考え直すべきところはたくさんあります。 物を売ること、金を使わせること、そんなののために大量の電気を消費するのは残念です。 商品価値を下げるために、24時間大量に物を生産する工場もです。 本気で、私たちは一歩シフトダウンする必要があると思います。
57043	個人	自営業	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を支持。 2030年を待たずに現在ある原発も再稼働せずに廃炉に。	重大な原発事故を起こした当事者である日本がこのまま何の反省もなく老朽化した原発を稼働することは言語道断であり、国際的にも恥ずかしいことだ。 日本は省エネ、再生可能エネルギーを進めていくべき。 もし電力会社がどうしても原発を稼働したいのであれば、原賠法を廃案にして、すべての賠償などを電力会社が保険をかけるなどして対応すればいい（その場合、どこの保険会社も受けないだろうし、金融機関も融資はできないだろう）。 処理の方法も定まっていない使用済み核燃料をこれ以上生み出してはいけない。 原子力規制委員会の人事案は明らかに大臣の国会答弁と矛盾するし、法令を違反した人事案なので撤回し、規制に値する人事案を再提出すること。 経産省、電力会社など原発事故を起こした人災には責任を取り、刑事罰を。
57044	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発比率は20～25%を支持する。	日本経済の持続的発展と地球環境保全の両立には原子力エネルギーが欠かせない。再生可能エネルギーの高コスト性、石油エネルギーの輸入依存性を考えれば尚更のことである。日本は原子力発電において世界でも先駆的立場にあり、ここで原発から逃げることなく、むしろ今回の事故を契機に原子力エネルギーの安全性向上技術の開発に注力し、国際社会をリードすべきである。そのためにも原発比率は20～25%が妥当。

57045	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発廃止してください。電気代が上がろうが構いません。	子どもたちにこういうリスクを残すメリットが思い浮かびません。
57046	個人	会社員・公務員	50代	女性	2030年までに原発を0%に減らすことを選択します	福島第一原子力発電所の事故も完全には収束出来ておらず、また、関東や東海、東南海沖など、各地で大地震が発生する危険性が指摘されている今日、この地震が多発する日本で原子力発電所を現状のまま稼働させていくことは、極めて重大なリスクを伴うと考えております。また、放射性廃棄物の処理や廃炉費用、事故収束のための費用を考えると、原子力発電は効率が悪く、コストのかかる発電方法だと考えています。将来の世代にツケを残さないためにも、早急にエネルギー政策を見直し、原子力発電以外の方法でエネルギーをまかなっていく方向にシフトしていくべきと考えています。
57047	個人	法人等	30代	女性	人がコントロールできない原発は絶対反対。	原発が安全だという政府のコメントは全く信じられない。一部の人の利益のためだけに原発を使い続けることは許せません。次世代のために私たちが正しい選択をすべき。自然エネルギーでまかなえる範囲内の暮らしを考えたいです。
57048	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオ（即時）	怖いです。いらないです。
57049	個人	その他	30代	女性	原発の比率ゼロシナリオを希望する。	未だ放射性廃棄物の処理方法が確立していないこと、また原発作業員の労働の構造の問題が主な理由である。 私は医師なので、原発作業の下請け、孫請けにより作業員の正確な健康管理が困難となっていることを問題視する。孫請け作業員の多くが、貧困地域から高い日当で集められており、正確な身元が不明なまま作業させられているという話もあり、労働衛生上の問題が大きい。そのような労働構造の上に成り立っている原子力発電所は持続可能であるとはいえず、即時全機停止は困難であったとしても、5年以内のスパンで停止させ、代替エネルギーの開発と利用に転換するべきと考える。
57050	個人	自営業	30代	女性	原発は稼働ゼロ、存在自体も最終的にゼロにすべきです。理由は、福島の原発の被害で多額のお金がかかること、多くの人が故郷を追われたこと、多くの人が放射線の不安を抱えながら生きなければならないからです。	原発事故が起きたために、多くの人が故郷を追われました。私は祖父母の故郷であり、よくキャンプや釣りに出かけていた身近な土地だった福島県があのような事態に見舞われ、もう遊びに行けない場所になり個人的にショックを受けていると同時に、故郷を追われた人々の気持ちを考えると、原発事故のもたらした影響の重さを改めて感します。 また、この原発事故の被害に関係してかかるお金は膨大です。いったい誰が負担して払うのでしょうか？もしまた原発事故が起きたらこの国の財政は本当に破綻してしまうと思います。 そして、3歳の娘の母親（第二子妊娠中）として、放射線の不安を抱えながら、日々を過ごすのはやはりつらいものです。水や野菜の産地を気にしながら、砂場の放射線量を気にしながら、日々を過ごすのは、やはり事故の前とは全く違います。放射線を気にする必要のない日に戻りたい。でももう戻れません。 それなら、今後は事故が起こらないように原発の稼働を一切休止し、この国の原発ゼロを目指していくべきです。
57051	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。現在、必要だからという議論ではなく、地球規模での理想を考えた場合に原発はやはりない方が望ましいと考える。方針の転換は遅すぎてはいけない。	核兵器とエネルギー問題は同一のテーブルで語り合うべきではないかもしれないが、これまで原子力が人類のみならず地球環境に与えた影響を考えると廃止が望ましい、リサイクル可能なエネルギーは効率と安定性に課題があり、即代替エネルギー源としては難しいかもしれないが、これまで原発に費やしてきた費用や人的資源の全てをこちらにつぎ込んでいれば現在はどうなっていたんだろう？今こそ方向の転換時期である。
57052	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発ゼロシナリオを選択します。 使用済み核燃料の処理方法が確立していない状態で、原子力発電を続けることは、将来の世代に対する犯罪であるために。 また、経済的な視点でも、今回の原発事故による被災者その他に対する補償は、必要最低限のレベルすら行われておらず、事故の際の補償や、寿命後の廃炉費用などを含めると、リスク／コストのバランスとしても全く見合っていないため。
57053	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	核廃棄物の処理方法も明確でない中、子供たちに負の遺産として核のゴミを残す事になる。
57054	個人	自営業	40代	男性	世界の核に関するあらゆる利用・開発・施設等の現状から見て、原子力の平和利用が絶対にあり得ないことは明白である。よって全ての原発は即刻廃炉にすべきである。	世界の核に関するあらゆる利用・開発・施設等の現状から見て、原子力の平和利用が絶対にあり得ないことは明白である。よって全ての原発は即刻廃炉にすべきである。原発の燃料であるウランは地中から採掘した時点で放射能汚染が始まる。一例として1962年から採掘を続けているインドのウラン鉱山ジャドゴダでは周辺7万人の住民がひどい放射能汚染で苦しんでいる。健康体で生まれてくる子は皆無に等しく、死産、無脳症、多指症、癌、白血病等で苦しみながら死んでいく。一方、100%のウラン鉱石であっても燃料にできるのは0.5%に過ぎない。残り99.5%は劣化ウランと呼ばれ、航空機や列車等のウエイト、弾丸等に使用される。イラクの大地はアメリカ軍が撃ち込んだ劣化ウラン弾により放射能汚染が進み、そこに生えたマッシュルームを食べたイラク人は子どもたちを中心に癌や白血病で苦しんでいる。私たちが生活で恩恵を受けている原発の電気は、このように多くの人たちの生活を奪い、多大な犠牲の上につくりだされていることを知らなければならない。
57055	個人	家事専業	30代	女性	原発を完全になくしてほしい	福島第一原発の事故後、陸も海も空気も、広範囲で放射能汚染されてしまいました。事故の影響は始まったばかりです。これから生物や環境にどんな変化が起こるかわかりません。なのに、まだ事故の収束もついていない、賠償問題もまだまだあいまいなまま満足に実行もされないのに、なぜここで大飯原発を再稼動できるのか、政府の人間性を疑います。 自分の子供達や周りの人たちを見ていると事故後体調不良に悩む人が、横浜でも多くいます。もっとまじめに人が住む国がどうあるべきか、しっかり考えて実行して欲しいです。 毎週金曜日のデモを知っていてどうしてその民意を受け止めないのか、少数ではないですよ。たとえデモにいけなくともむから反対している人はもっとずっと多いのです。 使用済み核燃料もどこに保管していくのですか？保管期間10万年のうちのたった50年という、浅い浅い原発の歴史。たった50年なのに莫大な量の使用済み核燃料…いったいどうするつもりなのですか？こんな負の遺産を子孫に残していいはずがないでしょう？ 必ず、原発をなくしてください！！！ エネルギーは足りています！もうこれ以上の不幸を招く原発を絶対に許さないで！ 子供に明るい将来を残してください。 今の日本にはまったく希望がもてません。
57056	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。 2030年ではなく、即時停止、廃炉を強く希望します。	・福島第一原子力発電所の事故で解るように、今の技術では人間が原子力を制御する事はできない。 ・地震国、日本で原子力発電所の安全対策がなされていない。 ・使用済み核燃料の処理方法が確立していない。 ・何万年も毒性を持つ放射性廃棄物を次の世代に残す事になる。 これらの理由から原子力発電から再生可能エネルギー発電への速やかな移行を希望します。
57057	個人	無職	60代	男性	3つの案の中では0%に賛成です。	原発のほとんどが止まっている今がチャンスなので、できれば今の時点で全ての原発を廃止して自然エネルギー等による電力に切り替える。 現在において電力の不足は起こっておらず、原発を全て廃止した上で、火力発電を減らして自然エネルギー等による電力で置き換えることは可能。 発電会社と送電会社の分離も必要。 原発による電気は、発電所の廃止費用や使用済み燃料の処理費用を考えると安くはない。原発事故による被害や使用済み燃料の処理には、金額に換算できない部分が多い。
57058	個人	会社員・公務員	40代	男性	我が国での今後の原子力発電について	東日本震災で原子力発電の安全神話が崩れたいま、地震国日本での原子力発電は稼働年数の古いものや、今後大地震が発生確率の高い地域から段階的に停止・廃炉すべきである。
57059	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオとすべし。 2030年までの経過期間中は、先ずは化石燃料9割、水力等の自然エネルギー1割とし、可能な範囲で自然エネルギーの割合を高めていくべし。なお、原発の再稼動は原則禁止。	（1）原発稼働の個人的な前提は、事故時に当局が適切な対応をすることであったが、現状、放射線管理区域相当の汚染地帯に人々が放置されており、全く酷い状況にある。 （2）我が国は、貞観地震の例をみても3．11を契機に地震・火山の活動期に入ったとみられ、原発を運転・維持していくことは、かなり危険な事態に陥っている。無防備な使用済み燃料プールについても、同様である。 （3）他方、地球温暖化問題についてみれば、そもそも温暖化するのかの点について科学的に疑義があるし、この点は、仮に温暖化が正しければ影響が大きい米国、中国などの大陸国家が温暖化対策を殆どしていないことからもみてとれる。我が国は、温帯の海洋国家であり、仮に温暖化するとしても影響は小さく、大陸国家より熱心な温暖化対策はそもそも不要である。 （4）従って、今後のエネルギー選択肢は、ゼロシナリオとすべきである。 （5）原発ゼロに移行する2030年までの経過期間中は、先ずは化石燃料9割、水力等の自然エネルギー1割から始め、可能な範囲で自然エネルギーの割合を高めていくべきであろう。 （6）なお、2030年までの経過期間中であっても原発の再稼動は原則禁止されるが、2030年以前において次の3つの条件が満たされる場合には、再稼働について再度検討することができる： （ア）放射線管理区域相当の汚染地帯の住民に移住の権利を付与すること、 （イ）福島の原発事故の検証に基づき安全基準を見直し、その安全基準を満たした原子炉で、設置後40年以内のものが再稼働の対象であること、 （ウ）化石燃料に頼れない相当の理由（電力会社の経営問題は除外）があること。
57060	個人	無職	70代	男性	原子力発電に反対する感情論が世を席巻している今、その採否と比率を世論に求めること自体大変誤った政策である。国家百年の大計を危うくする方針を改め、我国の置かれている状況を冷静に考え行動すべき。	理由： ＊一国のエネルギー政策、特に電力供給源の選択とその比率は、その時の、そしてその後の国力の維持を前提に決定されるべきことであり、その時々の世論などによって決められるべきことではない。 ＊福島第一原子力発電所の事故の反省により得られた教訓を基に、関係者一同渾身の力を注ぐ決意でいることを政府はまず国民に知らせるべきである。安全対策の強化によりリスクを大幅に低減することは可能なのである。この辺の関係者の努力を言わずして、この時期、電源構成比率を国民に問うなどという行動は見当違いも甚だしい。 ＊我が国が原子力発電を採用したのは、国の置かれた状況を知り、国の将来を考えた結果である。 これは資源小国の我が国としては不可避の選択であり、それは福島第一原子力発電所の事故を経験してもなおかつ変えることの出来ない国家的選択なのである。 ＊新エネルギーであれ何であれ、如何なる電気エネルギー源であっても、エネルギーの生産と消費により環境が破壊されるのは、程度の差こそあれ不可避のことである。そして、その環境の修復と保全はその国の経済力に全面的に依存する。この面から考えても、原子力発電による安価な電力供給の基での国の経済力の維持・向上は、環境保全のためにも不可避なことなのである。
57061	個人	その他	60代	男性	原発ゼロ支持ですが、30年ではなく、即時全原発廃炉を主張します。	ひとつだけ、政府首脳に、真摯に答えてほしい。 「使用済み核燃料の処理をどうするのか」 これ以降も原発を稼働させるのであれば、使用済み核廃棄物はどんどん蓄積されていき、それらの危険極まりない毒物を、私たちの子孫に押し付けることになる。 これを解決せずに原発稼働を続けることは、人類の（というよりすべての生物）生存にかかわる問題であり、とても容認できることではない。 いままで、この問題に関し、きちんと真摯に答えてくれた政治家も学者もいない。それを、またも現政府は繰り返すのか。 原発をめぐる問題は数多いが、せめて、この問いについてぐらいは、きちんとした回答を示してほしい。
57062	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオを切望します。	日本は唯一の戦争被曝国であり、去年、世界最大の原発事故を起こしました。 今こそ原発を0%にしよう、と国民全員が決めることが大切なのではないでしょうか。 コストはかかっても、原発はできる限り早くゼロにし、再生可能な自然エネルギーの割合を増やしていくことが、大人たちの責務だと感じています。また、安全性に疑問が残る核燃料の再利用もありえないです。完全廃炉を希望します。こどもや孫たちが安心して暮らせる世界を創り出すために。
57063	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発反対。原子力のない日本を望み、そうなって欲しいと願わずにはいられない。兵器でなくても、原発は充分に兵器になり得る。	経済を優先するばかりで、安全を蔑にしているのではないか。 福島の原発事故は、人災以外の何物でもない。放射能を科学的に100%除去できる術が確立されてない以上、地球上に存在させることは許されるはずがない。 唯一の被爆国である日本において、放射能に対する安全の確立と原発に頼らない日本型のエネルギー政策あるいは経済活動の在り方を模索すべき。従来型では、世界中の貧富を増強させるだけで、抜本的な解決にはならない。 きれいごとと言われても、「原子力NO」が世の流れを変える唯一の転機だと考えます。
57064	個人	その他	30代	男性	0%以外あり得ない	原発を今後も推進するというなら、まず放射性物質廃棄物の最終処分をどうするのかはっきり決めるべき。また日本の原子力政策は核燃料サイクルが前提となっているが、これは完全に絵に書いた餅。実現の見込みはない。 活断層の問題もある。 日本の技術力を生かすなら原子力より再生可能性エネルギーにこそ力を注ぐべきだ。
57065	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存0%明記。即時全面稼働停止。極力速やかに全面廃炉をお願いします。	原発は0%希望だから。
57066	個人	無職	30代	女性	提示されている3つの選択肢の中では、(1)ゼロシナリオしなかいと思います。	・3．11の教訓から学び、人間の能力では制御できない、未然防止も限界のある原子力に依存する社会から即時脱却する必要があると思います。 ・国内でも即時の脱原発は必須ですが、同時に海外（とりわけ途上国と言われる国々）に原子力発電所を輸出することは即刻停止すべきです。放射能の恐怖に何世代にもわたってさらされる人々、社会をこれ以上増やす必要はありません。原子力発電所を運営する技術者も足りず、地震や自然災害のみならず、万が一発電所がテロの標的になった場合のリスク等も考慮し、日本は原子力発電輸出に一切加担してはならないと思います。広島、長崎、福島の経験をした国として、核廃絶・脱原発に向けて世界をリードすべきと考えます。 ・地熱や太陽光等自然再生エネルギーをベースとする社会、システムを構築する技術開発に国・企業・地域が一斉に力を入れれば、2030年までではなく、もっと早い段階で脱原発社会の実現は可能であると思います。
57067	個人	家事専業	30代	女性	選択肢の中では「2030年に原発0」を選択しますが、「即刻、原発0」にすべきと考える。	再生可能エネルギー開発に尽力すべき。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。
57068	個人	その他	40代	女性	原発は現在存在するものは即時廃炉し、他の安全でクリーンなエネルギーの使用を促進するべきです。エネルギー選択のシナリオについては、ゼロシナリオを選ぶのが唯一の道です。	日本は地震大国ですので、原発がある限りまた福島と同様かそれ以上の事故は今後も起こりえます。したがって原発は現在存在するものは即時廃炉するべきです。もちろん新しく原発を建設するなどもってのほかです。原発などなくても、現在の火力、水力に加え、太陽エネルギー、風力、地熱などのもっと安全なエネルギーを使用すれば電気は十分足ります。将来的には再生可能エネルギーの使用を促進するべきです。エネルギー選択のシナリオに対しては、脱原発へつながる道はゼロシナリオしかありません。他のシナリオでは結局原発の存在を容認することになり、私はそれには反対です。
57069	個人	無職	20代	女性	原発0 直ちに停止	原発事故のリスクが高すぎます。 第二の福島をわざわざつくる必要がないので、 原発以外のエネルギーで足りない電力は補うべきです。
57070	個人	会社員・公務員	30代	男性	将来的にどうあるべきか、という一点から現在を再検証するべきである。まずは原子力発電から「可能な限り早く」脱却する、ということについての一致を見いだすこと。中途半端な中期目標には何の意味もない。	「エネルギー・環境に関する選択肢」の議論は、将来的にどうあるべきか、という一点に絞って進められ、そこから現在を再検証するべきものであると思う。故に、数年後の原子力発電の割合を選ぶ以前に、まずは原子力発電から「可能な限り早く」脱却する、ということについての一致を見いだすべきである。 大多数の国民が根拠無く願っているのは、危険と隣り合わせであることへの不安の払拭であり、その危険を管理することが出来ないという恐怖である。現在の化学レベルにおいては、原子力発電を継続しつつ、その不安を払拭することは不可能であることを、国としてはまず認めるべきである。 その上で国民生活と経済を破綻させない具体的なラインを探して行くべきだ。官邸前で原発廃止を叫んでいる多くの国民も、今すぐに全ての原発を本当に停められると心から思っている訳ではないと思う。結局のところ、再稼働させてしまったら、再び停めることが困難であることを、国民は知ってしまっているから、今、こうして再稼働反対を叫ばざるを得ないのである。 なし崩しの再稼働、そして運転の継続は決して許さない、という国民の意思表示が、今回のデモ活動の本質である。故に、中期での達成目標を現状で設定すれば、その目標値は目標値でなく、そこまでは許容される許容量として捉えられることも自明であるが故、中期目標は0%でなければならないのだ。それを達成できないのであれば、なぜ達成できないのか、その都度身を切る思いをしてもらわなければならない。達成できないことで産まれる利益など、決してあってはならない。 為政者として今為すべきことは、中長期に渡る具体的なロードマップの作成であり、そのマップの最終地点が示すのが、原子力発電からの完全脱却、という結論であることを、国民に宣言することだ。それによって、耐えねばならない危険にも、耐える意味があることを、我々は理解することができる。我々が耐えることが、この国の明るい未来につながると信じられれば我々国民は自分の恐怖と戦い、納得することもできる。当たり前のことです。 国会議員のみなさま、あげあしとりのどうでもいい話はもうやめませんか？ニュースも新聞も、くだらないことしか書いてません。それはメディアの罪でもありましょうが、本質的には政治が正しく施行されていないからでありましょう。正直、政治主導だろうが、官僚主導だろうが、どちらでもいいのです。知識の豊富なことは重要です。そのとて、国の未来を、日本民族の未来を思い描けるひとが主導してくれればいいんです。言葉遊びには飽きました。そろそろ頭を絞って、日本国中枢としての能力の高さと、日本民族の人を寡するこころ、を発揮していただければと願います。

57071	個人	無職	60代	女性	ゼロシナリオを支持します	危険極まりない原発はゼロにするしかない。 未来にツケを回すな！
57072	個人	自営業	30代	男性	原発事故の問題がまるで解決しないうちに、大飯原発の再稼働、そしてなし崩し的に全国の原子力発電所を稼働させようとしている政府や電気会社の考え方は国民の意思を完全に無視しているのではないでしょうか？	日本の国土面積や、地質的にみて原発がなぜこれだけあるのは疑問です。まずは徹底して止められる原発は止めたままにし、廃炉へ。エネルギー問題についてもっと時間をかけて論議しなくてはならないと思う。 今回の事故がなければ色々な事実は明るみにされなかったかもしれないと思うと、この国は一体どこに向かうのか不安になります。こういった漠然とした不安感はとても怖いと思います。 原発が多くある県に生まれ育っているのにもかかわらず、原発について学校で学んだ記憶も無いというのは問題。自分自身に知ろうと言う気持ちがなかったのは反省すべきだと強く感じています。これからでも正確な知識を学びたい。国や自治体はそういった部分にも責任を持って欲しい。 原発を一部の人間の持ち物にするのではなく、国民全体のものとして共有する意識が重要ではないでしょうか？すればおのずと日本の原発の行く末が見えてくると思います。 全ては未来の日本国民のためです。
57073	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	国内の全原発の稼働を止め、全原発のを廃炉手続きを進め、原発の新設を認めません。つまり、2030年を待たず、一刻も早い「原発のない日本」「原発ゼロの日本」「もんじゅや六ヶ所再処理工場の廃止」への舵取りを日本国政府に求めます。
57074	個人	無職	50代	男性	2030年ではなく、今すぐに原発をゼロにすべき。したがって、原発の再稼働は辞めるべき。	今すぐ辮髪を停止し、廃炉に向けた政策、研究を進めるべき。原発は一旦事故が起きた時の被害の甚大さを考えると、この地震国の日本においては選択すべきエネルギーではない。 事故対策等に費用をかけると、無限のコストがかかる。事故が発生した後の費用も計り知れない。人間が住む場所を一生奪われるような。そして放射能によって健康に莫大な影響を及ぼすようなエネルギーを選択すべきではない。 中期的には、再生可能エネルギー、省エネ、高効率ガス火力を中心に据え、長期的には火力を徐々に減らし、再エネをより普及させるべき。 日本のエネルギー安全保障の観点からも再エネ大国として日本を文字通り再生させるべき。技術力は十分にあり、後は政策の強力な後押しが必要だと考える。
57075	個人	学生	20代	女性	原子力発電は果たして「持続可能な開発」なのだろうか。 私たちは何世代もの人類、生物に対しての暴挙を行なっているのではないか。 地球に生きるすべての生物に対して、責任ある行動を行うべきである。	私は原子力発電を持続可能な開発だとは思いません。放射性廃棄物という負の遺産は貯まっていくばかりで、私たちのだれもがそれを廃棄する方法を分かっていません。そのような危険なものをどんどん蓄積していくことに対して、とてつもない恐怖を感じます。日本は地震大国で、東日本大震災のようなことも、これからも何年かに1回は起こるでしょう。そのときにまた、原発を止めなかったことに対して、後悔するような結果が訪れるのでしょう。それは、私たちの子孫に対して、責任ある行動だとは思えません。また、人類だけでなく、生物に対しても同じことが言えるのではないでしょうか。人間であっても、生態系に関与しなければ生きていけません。それなのに、生態系を撹乱する大きな要因になりそうなことを、これからも続けてゆくのでしょうか。東日本大震災の影響ではないかと懸念されてる奇形の植物や動物がいくつも発見されています。人間の奇形が出てきてからでは遅いと思います。 このような大きなリスクを背負ってまでなお、原発に依存する必要はあるのでしょうか。これからの私たちは、すべての生物に対して責任ある行動をし、そして地球に対して誠意ある態度をとるべきだと思います。
57076	個人	その他	40代	女性	原発ゼロへ！	自然エネルギーへの変換にシフトすべき。 「安全だ」と言ってるヤツ等は、原発の側で暮らせば良い。 福島の野菜や魚を食えば良い。 遠く離れた東京で 安全な食物を食べ、万が一放射線物質を体内に取り込んでしまっても 影響が出にくい(出る前に寿命が尽きる)金の亡者の年寄り連中は 老い先短いのに、この先の未来を担って行く子供達の事を踏みつけて 使えきれないほどの金を手に入れて、嬉しいのだろうか？　それで満足なのか？？？ こんなに長文で書いても、たぶん目を通される事も無いんだろう。 私の意見など、私の怒りなど、全く影響ないんだろう。 でも言わずにはいられない。 原発は全て廃止にすべき。 東京電力・原発を続けるのを支持してる政府や御用学者の連中で、ワリカンにして 今回の賠償金をを払ってよ。 支持するなら、それなりのリスクも背負うべきだ。話はそれからだ。
57077	個人	その他	60代	女性	すぐ、すべての原発を廃炉にし廃棄の雇用を起こすこと。日本は原発を設置は、火山列島の国であり、常識から、科学的にも、原発を設置してはいけない、設置の法律違反している。ただちに廃炉すべき！	すぐ、すべての原発を廃炉にし、廃棄に向けて、雇用を起こしてください。日本は、原発を設置しても、火山列島の国であり、常識としても、科学的にも、原発を設置してはいけない、設置の法律にも違反しているのが、日本国です。ただちに廃炉すべき！
57078	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選択します！	原発ゼロシナリオを選択します！ 未来の地球を守るための自然エネルギーにシフトを?
57079	個人	その他	50代	男性	原発は廃止せよ。代替エネルギーへの道筋をはっきりと示すべき。	放射性廃棄物の処理ができない以上、原発は廃止すべき。再稼働も問題が多い。仮に行うにしても、はっきりと期間を限定し、代替エネルギーへの道筋を明確に示すべきである。また原発技術の輸出など、問題外である。日本でさえも、原発の立地地域、再処理地域は、順に日本経済・政治の地理的周辺で、補助金を出すことで、その矛盾を糊塗している。第三世界にがんぱつを輸出すれば、そこでの弱者にしわ寄せがいくのは明らか。
57080	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までに原発比率0%を支持致します。	事故の原因が未解明で使用済み核燃料の処分のメドがたたず、テロや災害への対策が計画のみというあらゆる点において無策な状況であること。また事故時のコストおよび国民国土への取り返しのつかない甚大な被害を鑑みて、「可能な限り早く」2030年までに原発比率0%を支持致します。
57081	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本における全ての原子力発電所の停止及び廃炉を希望します。	3.11の未曾有の大惨事を目の当たりにし核に対する現在の技術力の無力さを思い知らされました。
57082	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選びます	ゼロシナリオを選びます。討論型調査というような政策決定方法の改善は大変評価できる点と思います。コストの問題、不安定供給のリスク、実現に当たっての障壁などはあるにせよ、安全性の信頼や超長期的な廃棄物処理問題などを考慮した場合、当然この選択肢を政策の基本方針とするべきと思います。
57083	個人	無職	30代	男性	原発ゼロシナリオ支持 自然エネルギーでの国産電力を重視します 原子力労働不正一掃と費用再計算を求めます 科学技術界には放射能無害化研究を求めます 重要電力の優先送電機能整備を求めます	原発ゼロシナリオを支持します。 エネルギー安全保障の観点で考えたとき、「準国産電源としての原子力」が成立するのは高速増殖炉技術の信頼性・安定性が実用レベルに達した後の話です。 現実には原型炉の安定稼動すらままならない未成熟な高速増殖炉技術をあてにしてエネルギー政策を立案するのは、リスクが高すぎると考えます。 使用済核燃料再処理施設もトラブルを頻発しており、万一国内再処理が難しくなるようなことがあればますます原子力は「外国に依存するエネルギー」になってしまいます。 事故復旧・廃炉処理・廃棄物処理を含む原発関連労働に関して、労働災害や労働者保護など労働法務の専門家を含んだ外部監査機関を整備し、不正の一掃に必要な監督費用も含め「原発労働者の労働環境を適正に保つために必要なコスト」を算出すべきと考えます。 原発労働には多重派遣・偽装請負・被曝線量偽装・反社会勢力からの労働力調達など重大な労働問題・社会問題が含まれているとの指摘があり、原発の「低コスト」はこれらの不正なコスト削減によって得られた不正な値なのではないかとも言われています。 （思い返せば、死者2名を出した東海村JCO臨界事故も無理な効率化を図ったことによる作業手順の不正が原因でした） 原発の正しいコストを算出するためには、これらの不正を一掃し、作業者の被曝線量上限とその被曝線量で稼がねばならない生活費に見合った正当な人件費を算出する必要があると考えます。 原子力工学・核物理学界には、原発全廃が実現するか否かを問わず必要な技術である放射性廃棄物無害化（放射性同位元素の崩壊促進）の研究を優先課題とすることで社会的意義を再確立し研究の推進につなげることを望みます。 今回事故を起こして廃炉を余儀なくされた福島第一原発の各原子炉に限らず、個々の原発は（原発依存度シナリオの選択肢に関わりなく）いずれ老朽化し廃炉となる（さもなくば、老朽化したまま運用を続けることで新たな重大事故を起こし廃炉とせざるを得なくなる）という前提に基づき、原発跡地の除染・再利用計画を（地域が跡地に新たな原発を誘致しないという可能性も踏まえ、原発交付金や原発労働者の需要に依存する地域経済を立て直すためのプランも含めて）立案すべきと考えます。 （原発ゼロシナリオが実現するか否かを問わず跡地利用に向けた明確なプランは必要です。特に今後も原発の新規建造を行う可能性を考慮するなら、廃炉後の土地回復スケジュールも策定しておかないと原発立地を次々と食い潰すだけの「原発焼畑農業」になってしまいます） 電力不安を緩和するための措置として、人命に直接関わる電源（常時通電の必要な医療機器など）・それに準ずる電源（停電が食中毒の原因となりうる家庭用冷蔵庫など衛生的・安全な生活の維持に安定送電が必要な機器、愛護動物用の保温機器など飼養動物の生命維持に不可欠な機器）向けの優先供給ライン設定、及び電力需給のきめ細かな調整を可能にするスマートグリッド整備の促進を望みます。 エネルギー安全保障の観点から見た国産電源としては、むしろ風力・波力・潮汐・地熱・小水力などの自然エネルギー有効活用に重きを置いた方が確実と思われます。 特に地熱は火山国日本において重要なエネルギー資源ですが、原発のような大災害に発展する可能性は低いとはいえ地震などの地殻変動によって熱源がずれエネルギー供給能力を失う可能性があり、そうした事態に対応できるバックアップ体制が必要です。また、日本ではなまじ温泉などの形で豊富な地熱資源が活用されているため発電用としての新たな利用に権利関係などの制約がかかるという問題も指摘されており、温泉権利者の同意が得られるような技術的・法的・社会的体制作り（温泉への影響が少ない発電技術、温泉業界が自ら主導して温泉利用とバランスの取れた発電事業を運営できるような制度整備など）も重要であると考えます。 新しいエネルギー技術としては日本古来の発酵技術を応用したバイオマスエネルギーも候補に上がっていますが、これについては食糧安全保障の観点からも人間の食料と競合しない素材選択が重要であると考えます。
57084	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉にしてください。 原発ゼロの理由ですが、原発がなくても電力はまかなえるはずなのに、なぜ必要なのか、逆に明確な理由が知りたいです。
57085	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー政策に関しては、様々な人の意見を見た上で、基本的に大前研一氏が各種媒体で表明している意見に同意、推奨。	日経に記載の大前氏の記事 見当違いな原発依存度シナリオは政府の政策能力がない表れだ（2012年08月06日） http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20120806/318886/?rt=nocnt 国会事故調の報告書は「原発の安全」に何の役にも立たない（2012年7月23日） http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20120723/316908/?ST=business あるいは氏の最新の著書 原発再稼働「最後の条件」: 「福島第一」事故検証プロジェクト 最終報告書 ー大前 研一 (2012/7/25) これらは非常に論理的・現実的な提言であると思います。 ただ単に声が大きいだけで、具体的な代替案など何も示さない反原発ヒステリーや、はたまた飯田哲也氏のような再生エネ策士のような人々に振り回されることなく、是非とも、原発行政は早急に徹底的に改革した上で、長期的・全体的な視野でエネルギー政策を進めていってほしいと思います。
57086	個人	自営業	40代	男性	2030年を待つ事無く原発依存度をゼロにすることを望みます。	福島の現状を見る通り、原発は災害に遭遇するのが一カ所であっても全国的に甚大な被害をもたらします。また原発事業の歴史や所謂原発ムラと呼ばれるものの意思決定の不透明性、加えて経済的な観点からみても維持費等に莫大な費用がかかること。それらを考慮したうえで合理的に考えれば依存度をゼロにする選択肢しかありえません。 またそれが2030年という時限について、それが本当に必要な時限であるのか。なんらかの理由によって原発を維持したい経済界の意向がそれまでに一旦決定された方針を転換させたりしないのかとの疑念を持ちます。現状でも依存ゼロでも可能であるとの指摘もあるなかで、2030年にこだわらず、すみやかに原発依存度ゼロの社会へ移行することを望みます。
57087	個人	その他	40代	女性	「原発はゼロに！」	日本国民として、原発はゼロを選びます。自然にも人にも優しくない、全然大丈夫じゃない、核発電は、さようならです。 今後のエネルギーとして、核放射性廃棄物を出さず、事故がおきても、ふるさとを奪われず、被曝労働者を生みださない、自然と人と調和したエネルギーを選びます。 まずは、ビジョンをもち、世界にむけて、脱原発宣言をしましょう。 原子力爆弾を二度も経験し、原発事故をも経験した日本が、宣言をするときです。 私は「原発はゼロ！」を選び、「脱原発宣言」をいたします。
57088	個人	その他	40代	男性	電気は必要だが、原子力発電はいらない。	3.11の震災により打撃を受けた福島原発は、制御不能となり、現在も多くの危険を抱えています。 政府および東京電力は原子力発電の必要性を説きますが、様々な情報から、その説に説得力が無いということが露呈しています。 これからの日本の将来を真剣に考えるのであれば、いままでの柵を捨て、本当に安全なエネルギー政策をとっていかなければいけないと考えます。 我々国民は、正しい行いのためには我慢できます。このまま旧態依然とした思考で物事を進めていくようであれば、国民の不満は爆発することでしょう。 そうなる前に、優れた日本の頭脳と技術を集約し、皆が納得する方法を示していただき、そして日本という船を皆で正しい方向へ進めて行くべきと思います。 今がその千載一遇の機会です。
57089	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はいりません。将来の原発依存度は0%。再稼働反対。現在稼働している原子炉は即時停止。全廃炉。	地震大国日本に原発は向きません。耐震等、危機管理もいかに杜撰なものか、3.11で分かってしまいました。放射性廃棄物、通称核のごみもこれ以上増やしてはなりません。電力も原発なしで充分に足りていることも電力会社自ら認めています。
57090	個人	パート・アルバイト	40代	女性	日本の原発は廃炉にするという明確な目標を世界に示すべき。核に関する被害を3度もこうむっているのに、原発にしがみつく理由は何か？経済界の論理が政界に入り込みすぎている。長期展望で日本の将来を考えるべき。	私自身、実際、泊原発による電力の恩恵を受けていることは事実だ。現在、太陽光発電等、泊原発になるべく依存しない生活を模索している。電気の売買が自由になれば、多少割高でも、私は原発の電気は買わない。子供たちのために今、自分が出来ることをやる覚悟はある。ただ単に楽な生活をしたいとは思わない。これまでの生活があまりにも便利すぎたと思うし、数十年前までは電力をほとんど使わない生活があったのだから、電力不足で人間が生きていけないことは基本的にないと思う。経済が滞ることを理由に原発存続という意見もあるだろうが、今までのやり方を根本的に見直し、エネルギーや経済成長（人口が減っていく日本で自分たちがどのように暮らしたいのかを皆がよく考え、成長が必要なのかどうかもパブリックコメントで求めてはどうか？）の方法を考えることは出来ないのだろうか？やろうと思うか思わないかだけの問題のように思う。国民の7割の人間が0%を選択している現状に、国旗議員はどのような方向性を示すのか、これ以上、政治のやり取りにがっかりしたくないものです。自分が死んだ先のことまで考えられるような国会議員さんはいないのでしょうか？目先の自分の地位や財産が大事な人ばかりのような気がしてならない。
57091	個人	学生	10代以下	男性	(1)ゼロシナリオ 原発即廃炉	外で遊びたい 海で泳ぎたい 放射能いらない

57092	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は即時止めること。福島の事故を目の当たりにし、現状をみれば自明のことです。『命あってのモノダネ』なのですから。	原発を止めて、廃炉の方向にすすむ。そんな未来が欲しい。 これほど危険なものとわかったいま、原発を再稼動させるのはなぜ？ 電力不足？原発廃炉のためなら、どんなに生活が不便であっても耐えます。何でもありません。夜ロウソクの暮らしになってもぜんぜん問題ありません。冷蔵庫だって氷にする。 代替エネルギー？まず廃炉、そして今後の方針について十分な議論を重ね方向を決めていく。次のエネルギーのめぼしがついてからなんて悠長なことを云ってるヒマはないんです。 これからの国政選挙では、脱原発の候補者にしか投票しません。 原発擁護の候補者イコール人々の命を軽んじている人間です。 この意見徴収の結果は、隠さず公表してくださいね。 こんなことを念押ししなければならないなんて、なんともカナシイけど。
57093	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発は今すぐに廃止すると決断し、英知を集めて脱原発に向かって進めていくことが道理だと思います。	核のごみ処理の問題、被爆労働の問題、絶対に安全はありえないこと、事故が起これば取り返しがつかない状態になってしまうことなど。 福島原発事故の後、色々なことを知りました。未来のことを考えて決断すべきです。
57094	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は、即時、停止。廃炉にむけて作業を進めること。	電気は利用する必要があるが、原子力で発電する必要はない。あと数十年くらいでしかない原発で、子孫に何百年にもわたる負担をしいることは出来ない。現在の時点で、将来の負担をいくらかでも軽減する事が必要。福島原発がいまだに終息していないのに、あまりにも傲慢である。 福島、宮城など、被爆しつづけている現状をごまかさないでほしい。
57095	個人	会社員・公務員	50代	男性	小学2年生の「おとなへのメッセージ」 このメッセージは、会員のお母さんが、小学2年生の男の子に「なにか言いたいことはある？伝えたいことは？」と訊ねたら、「えらい人に言いたい」と書いてくれたものです。	われわれ大人全体が受け止めなければならない真摯なメッセージです。 この子の想いを噛み締めて、行動していかねばと思います。 2012.7.29 【野田首相とおとなたちへの日本の子供たちからの質問状です。】 何かの形で、明確に回答と情報発信していかないと、将来　日本は彼ら若者から見捨てられますよ。 子供たちの疑問に、真剣に耳を傾けて、ぜひ、将来進むべき道を再度熟考をお願いします。 放射線被曝から子どもを守る会 MiraieforChild ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 「えらい人へ」 子どもは、大人のみがわりなんですか！ 子どもがいなくなったらどうするんですか！ 今のじょうきょうを、しっかりおしえてください。 うそは、つかないでください！ なぜ、たべものはあんぜんだと言いきれるんですか。 500ベクレルは、子どもにたいしてどのくらいの、ひばくりょうなんですか。 ほうしゃのうのことをこわがってる人も、きゅうしょくをたべなきゃいけないんですか。 べんりのために、どれだけきけんなものをつかってるんですか。 子どもが、ひばくして、くるしんでるすがたを見て、どう思うんですか！ べんりは、くるしむためにあるんですか。 電気が、たりないなら、ディズニーランドをとめればいいじゃないですか。 大人は、色々なものを、かってに作っていいんですか。 子どもにも、ちゃんといけんを聞いたんですか？ なんで、げんぱつを作るんですか。 テレビは、ホントのことを言ってるんですか。 今やってることは正しいんですか。 このままでうまくいくと思うんですか。 そんなに、お金はひつようなんですか。 どうして、大人は、言ってることがバラバラなんですか。 家にも、小さい弟がいるんですよ。 その子がさきにしんじゃったら、どうするんですか。
57096	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発の稼働を推進すべきであり、原発廃止を訴える人達に、原発の安全性に関する正確なデータを提示して原発再稼働すべきと説得をするべきである	原発による電気の人命への恩恵は多大である。人工透析患者の生命維持装置の動力源であり、また熱中症による死者を激減させるエアコンの動力源でもある。 経済活動と家計消費にも、電気料金は非常に影響がある。電気料金を安くするためには原発を稼働すべきである。でなければ製造業の工場海外移転により、雇用環境の悪化は避けられず法人税・所得税の減少にもつながり、政府の借金増加にもなる。 原発廃止を訴える人の根拠は、放射能への恐怖心と爆発事故の被害であるだらう。しかし放射能による死者は福島原発事故後、一人もいないし、原発事故による死者も一人もいない事実をみつめるべきである。 アメリカ・中国・インドなどは原発推進をすすめており、新興国では事故後、日本の原発の安全性への信頼が高まり需要の増加さえある事実も考慮すべてきである。 原発推進の言論が封殺されることは民主主義に反することであり、しっかりと原発推進のコメントを公開すべきである。

57097	個人	会社員・公務員	40代	男性	政府から提示された3つのシナリオの中では、「原発ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、詳細については「ご意見およびその理由」にて述べておりますので、よろしくお願いします。	政府から提示された3つのシナリオの中では、「原発ゼロシナリオ」を選択します。 ただし、この案だけでは全く不十分であり、温暖化防止対策をさらに強化した「第4のシナリオ」を希望します。 【第4のシナリオ】 1.原発については「2020年」など具体的年限を設定し、全て廃炉にする。 2.2020年の省エネ目標は、COP3の京都議定書通り、少なくとも1990年比-25%を厳守する。 3.電源構成が化石燃料依存に偏っているので、再生可能エネルギー導入目標を「2030年に50%」まで引き上げる。 4.電力自由化や、発・送電の分離、東西電源周波数の統一などのシステム改革を徹底する。 5.核燃料サイクル・再処理については、全ての事業を停止し、放射性廃棄物については永久地下処分に限定する。 以下、詳細です。 ≪1.原発については「2020年」など具体的年限を設定し、全て廃炉にする≫ これまで「原発」への依存が暗黙裏に容認されてきましたが、東日本大震災の福島第一原発の事故を体験した日本には、これ以上原発を促進することに合理的理由はないと考えます。「2020年」など具体的年限を設定して全て廃炉にすべきです。 なお、原発の再稼働については、「建設後30年以内、津波15m・震度7・最大加速度1500ガルなど、大規模災害を受けても重要設備に破損がなく、緊急停止後3時間以内に冷却電源が確保される」などの「絶対基準」を設け、その基準をクリアした原発のみに限定すべきです。 また、これまでの原発での地域雇用を守るため、原発立地地区では再生可能エネルギーの開発を促進し、優先的に雇用維持を行うことを提案します。 ≪2.2020年の省エネ目標は、COP3の京都議定書通り、少なくとも1990年比-25%を厳守する≫ 目標通り進んでいない日本の省エネですが、CO2を大量に排出する産業部門に対して、排出権取引と助成金などの組み合わで大規模な設備更新を図り、省エネを劇的に加速させる必要があります。 家庭部門でも、新規物件については外断熱とスマートメーター、太陽エネルギー利用設備の設置を義務づけるなど、政策誘導によって「そもそもエネルギーを消費しない」構造への転換を図ります。 また、一次エネルギーの消費を抑えながらの経済成長が可能であることはドイツが既に証明しており、むしろこの「流れ」に乗れなければ、日本社会の退潮はますます著しくなるでしょう。 ≪3.電源構成が化石燃料依存に偏っているので、再生可能エネルギー導入目標を「2030年に50%」まで引き上げる≫ ドイツでは、2001年には6.6%にすぎなかった再生可能エネルギーの発電量を、2011年に20%まで引き上げることに成功しており、2030年には50%の達成を目標に掲げています。日本もこれと同等以上のレベルを目標とすべきです。 化石燃料への依存を減らし、原発からの脱却を図るためには、太陽光発電はもちろん、洋上風力発電、バイオマス発電、そして地熱発電を促進するなど、再生可能エネルギー導入のための大胆な施策執行が必要です。そしてこうした取り組みは、電源の地域分散の促進（＝地域雇用の確保）、エネルギー安全保障の面からも不可欠と考えられます。 ≪4.電力自由化や、発・送電の分離、東西電源周波数の統一などのシステム改革を徹底する≫ これまで安定供給の側面から、電力供給は地域独占体でしたが、これではコスト削減や効率的な事業運営は期待できません。特に、電源の地域分散を図った場合、コストやボリシーによって消費者が電源を自由に選べるようにするためにも、電力の自由化や送・発電網の整備が不可欠です。 また、そのための大前提となるのが、東西の電源周波数の統一です。一時的な混乱は避けられないとは思いますが、電源周波数を統一しておかなければ、電力の自由化の妨げになるだけでなく、大規模な地震や津波などの地域災害が発生した際、さらなる大混乱に陥ることは必至です。周波数統一のためのコストは全国で折半し、地域による不公平が生じないような施策を講じた上で、早急に実施しなければなりません。 ≪5.核燃料サイクル・再処理については、全ての事業を停止し、放射性廃棄物については永久地下処分に限定する≫ 日本は「独自技術」による「核燃料サイクル・再稼働」に異常に固執しているようですが、6900億円の予算に対して、既に2兆2000億円もの国費を投入してまだ完成しないなど、その実現は「非現実的」と言わざるを得ません。 また、使用済み核燃料の貯蔵用プールは、遅くともあと8年で満杯となり、使用年限前に原発の稼働を停止せざえるを得ない状況です。さらに、六ヶ所村の再処理工場で処理したプルトニウムは、いま現在稼働の目処がまだ立っていない「もんじゅ」でしか使い途がなく、海外の核燃料処理工場で処理されたMOX燃料も、搬入・使用できる原発が極めて限定されており、こちらも非現実的です。 世界中の国で放棄された「核燃料サイクル」はもはや「過去の技術」であり、放射性廃棄物については永久地下処分に限定すべきです。 以上、首都のエゴのために美しい故郷を追われた福島の人たちの想いに応え、我々の未来の世代が安心して生活できるようするためにも、日本は既存のエネルギー基盤の刷新を図り、それに向けた投資を着実に実施していくべきと考えます。
57098	個人	会社員・公務員	30代	男性	大飯原発の再稼働撤回を要望します。	大飯原発を再稼働した過程が曖昧です。そして再稼働ありきで進められた感があります。今回の事故を契機に一度リセットされたのであればまずは再稼働しない＝脱原発の観点から議論を進めるのが筋じゃないでしょうか。個人の情報取得能力はあがっているのでもっと慎重に中身のある進め方でないと国民は納得しないと思います。
57099	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力の利用はやめるという選択が肝要です。今の利益しか見ないやり方で、何億年というリスクがあるものを扱うのは無謀です。	子どもに響けば、日本はなくなるのです。理念の問題ではありません。すでに、代わりのエネルギーの選択肢はあり、こちらを使うことで現実的な技術の向上を目指すのがいいと思います。今現在コストが低いとされているのは、本来かけなくてはいけないコストに十分お金をかけていないからです。作業員の方々への補償、廃棄物の管理等々。 夏のエアコンの利用が問題になることありますけど、きれいな空気なら、きれいな大地なら、網戸で過ごせますが、汚染されているなら窓を開けられないです。みんながタダで使えるものにもっと気を払うべきです。それがたとえ外国に持っていったものであっても、同じ地球の上では影響があります。 はっきり、もう一度福島で何があれば東京はアブナイことが分かりました。 ほかの地域でも同じです。住むところがなくなります。食べ物がなくなります。 原子力から離れるからこそ技術力がある強い国をイメージして、ほかのエネルギーをいかに使うかということに予算も使っていってほしいです。 原子力は止めるにも費用がかかるという向きには、今止めないと将来的にもっと費用がかかり、地球にも負担がかかる、つまり、人が住むためにタダで使えたものが費用がかかるようになっていくということです。 未来の主権を持つ子供たちにチェルノブイリの周りのようなことが起こったら、果たして将来の日本の未来はあるんでしょうか。
57100	個人	パート・アルバイト	50代	女性	1の原発ゼロシナリオを選びます。	福島第1原発がこれからどうなるのかわからないのに原発を再稼働するのはおかしいと思います。 福島や千葉をふくむ関東のホットスポットにもなんの保障もない。これ以上家をなくす人が出るなんて、反対です。 原発以外の発電方法はあります。みんな知っています。 2030年までに原発をゼロにしたいと思います。
57101	個人	その他	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	あのような事故を起こし、いまだに収束していないにもかかわらず収束宣言を行い、電力が足りないと言い再稼働をする。嘘ばかり。消費税を上げないと選挙で言った公約を反故にする。嘘ばかり。 これほどひどい政治をするとは思ってもいませんでした。しかし、冷静に考えても、原発に関して言えば、絶対に事故を起こしてはいけないものだと今回の事でよくわかりました。事故を起こさないためには原発をなくすしかありません。だから即刻原発を止めて廃炉処理に持っていかなくてはならないと思います。将来、いつ事故の要因が起きるかわからないのですから。そうすることによって、「日本」というブランドを少しでも立て直してほしいと思います。
57102	個人	その他	40代	女性	原発は出来るだけ早く全廃してほしいと思っています。高速増殖炉も六ヶ所も希望や期待よりも、いつか必ず子孫が恐ろしい酷いめにあう不安のイメージしかありません。	核兵器をもつこと、若しくはもう技術があることの象徴というなら、いつか世界中に核兵器が行き渡り、いつ地球の終わりがくるかわからない。それが核兵器のある世界のビジョンです。震災前、世の中はすでに底だったのに、原発が日本を救うとは、到底思えません。広島、長崎に核爆弾を落とされ、また福島の原発事故によって生きながらの地獄を現実にみた日本。核兵器と戦争を放棄せず、もし、軍事力をもったとしても、不幸でしかないと思います。
57103	個人	パート・アルバイト	40代	女性	1. 国は早急に脱原発を選択して明示するべき 2. 原子力に関する研究は、特定の部分に関して続けるべき	1.国は早急に脱原発を選択して明示するべき 原子力によって多くの国民をアメリカに殺された歴史を持ち、今度は自らが国民を原子力によって苦しめる事態を招いておきながら、未だに原子力に依存しようとする考え方や体質がまったく理解できない。 「原子力発電をやめると電力が足りなくなり、産業が空洞化し、日本の経済が危うくなる」というもっともらしい脅し文句を目や耳にするが、国が脱原発を明言し、再生可能エネルギー ,クリーンエネルギー等への転換を方針とすれば、産業界も経済界は必ずそれに即した対策を取る。 日本でも、再生可能エネルギー, クリーンエネルギー等の地熱, 風力, 潮力, 太陽光などのクリーンエネルギーの研究・開発はおこなわれているが、それらが表舞台に立てないのは、「原発ありき」の国としての方針が頭を押さえつけているからだろう。 日本の技術力を以ってすれば脱原発は可能であり、そこに新たな産業や雇用が必ず生まれる。 何年間かは我慢を強いられることになるかもしれないが、そこを通らなければ、日本に持続可能な未来はないと思う。 『エネルギー・環境に関する選択肢』の中に「原子力の安全確保」とあるが、何事にも絶対の安全はなく、原子力については大きな事故が起きれば国が滅びる危機に直面する。そのようなリスクを背負ってまで維持する豊かな生活など、砂上の楼閣にしか過ぎない。 原子力発電をやめても原子炉解体までの道のりは長く、使用済核燃料や放射性廃棄物という、人間が素手で何ともできないようなゴミを子孫に残すことにもなる。 原子力に依存し続ける愚かさを、特に国を動かす立場にいる人間はよく考えるべきである。 2. 原子力に関する研究は、特定の部分に関して続けるべき 脱原発を選択しても、これまでに出た使用済核燃料や放射性廃棄物を管理する方法や廃炉の技術を考えなければならない。 この部分については今後も研究は必要となる。国が予算を付けて、然るべき研究者が育つ環境を用意すべき。 最後に。 『エネルギー・環境に関する選択肢』の中に「原子力発電の事故リスクをいかに管理していくかという安全確保の手法については、原発を利用しないというアプローチと安全技術と安全規制で事故リスクを制御するというアプローチの二つがあり」という記述があるが、「安全技術と安全規制で事故リスクを制御する」という考え方自体が傲慢で、福島の原発事故から何も学んでいない証拠だろう。 ネイティブアメリカンは大事なことを決めるとき、7世代先の子孫のことを考えて決断するという。 7世代先の子孫のことを考えたときに、簡単には手に負えないような使用済み核燃料や放射性廃棄物を生み、廃炉に何十年もの時間を要し、ひとたび事故が起きれば取り返しのつかない事態となる原子力発電が本当に必要なものなのかどうかを、日本の政治家も官僚も、自分や自分の家族のこととしてよく考えてください。
57104	個人	会社員・公務員	20代	男性	全原発の今すぐの廃炉を要求します。	事故を起こしたら、広大な地域に何十年、何百年も被害を与える原発を地震多発地帯の日本にこれ以上、起き続けることには強く反対します。また、原発を稼働させ続けることは、管理に何万年もの時を費やす放射性廃棄物を増やし続けることにもなります。このことも真剣に議論し解決しなければならない問題です。その前に、事故原因の追及がされないまま、大飯原発を再稼働させたことも問題です。このことには強い怒りを覚えます。即刻、全原発を廃炉してください。
57105	個人	自営業	40代	女性	直ちに全ての原発を停止し順次廃炉にすべき。	(1)使用済み核燃料は最低1万年管理が必要だが、管理方法が確立していない。 (2)地震大国日本で原発を運転するのは危険すぎる。 (3)一たび事故が起きれば周囲300キロの大地が汚染され、生命は3世代以上にわたり悪影響が集積することはチェルノブイリ事故から明らか。 (4)たかがお湯を沸かしタービンを回すぐらいのことに対しリスクが大きすぎる。 (5)石油、ガスと代替燃料が豊富にある。
57106	個人	その他	70代	男性	原発ゼロか好ましい。 制御技術が未完成 事故が起きた場合地震列島には無理 原発は、結果的に高くつく。	チェルノブイリ、スリーマイル、福島と完全なはずの原発で、事故は数十年単位に起きている。 チェルノブイリでは、今後数世紀に及び人は住めないとのこと。 狭い日本では、もう一度起きると住む部場所がなくなる。 日本は新鮮で安全な農産物、海産物の輸出国で有ったが、今では輸出が出来ない、信用と経済的に大きな損出。 世界中に、核制御の専門家が見当たらない事を露呈した感じ。 東電は、事故を起こしても、損害を顧客に転嫁する、この様な企業体の存続を許す、政治家は非国民的？。 政治家は、責任を持って、再稼働を認めたが、責任の取りようもないのに、何を根拠に責任を取れるのか。 原発を促進した、政治家の弁明も、責任も取ったという報道は聞かない。 新生児に多発するであろう事態にどう対処するのかも議題無い？
57107	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロにしてほしい。完全廃炉を目指して欲しい。	乳幼児三人連れ　首都圏から母子移住しました。家族はバラバラです。こども達の未来のため　福島原発事故の教訓を生かして欲しい。
57108	個人	学生	20代	男性	2030年の原発依存度0%を希望します	廃棄物の処理方法が決まっていない。 原発を使わなくても、最先端の技術を使った発電方法が他にあると思うから。 また、すべての電球をLED電球にするなど、節電を行うことによって、原発に頼ることなく、電気は回っていくと思うからです。 また、今回の事故を経験して絶対安全という概念は崩れたと思うので、それならより安全な発電方法に切り替えるべきだと思うからです。すぐにすべてなくせとは言いませんが、段階的に依存度を減らす、そして自然エネルギーなどを増やすことによって、経済への影響は少くなると思うから私は2030年の原発依存度は0%にを希望します。
57109	個人	家事専業	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。	「原発ゼロシナリオ」を希望致します。 2030年までに原子力発電の電力供給の割合が0%になることを希望致します。 しかし、2030年では遅すぎると考えます。 理由は、高レベル放射性廃棄物や使用済み核燃料の保管場所が、日本にはすでになく、この世界有数の地震頻発地域に地中保管という方法は、リスクが高すぎると考えるからです。

57110	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所はいりません。完全廃炉して日本を再生すべきです。 新しいエネルギーの実現のために力(税金、政治など)を使い現行のエネルギー(原発以外)をフルに活用していくべきです。	これからの日本および世界の未来の為に今やらなければいけない最重要事項だからです。
57111	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオについて	私は、原発ゼロシナリオをお願いしたいと思います。 地球温暖化の問題や、化石燃料の問題もあるとはおもいますが 原発で出てくる廃棄物の処理が出来ない方が問題だと思います。 これが解決していないのに、原子力を使っての発電はありえないと思います。 なので、ゼロシナリオで推進して、出来るだけ早く原発をなくすように していきたいと思います。 また、私達の生活も変えなければいけないと思います。 その辺を国民に投げかけて、電気の使い方を変える、生活を変えるように していかなければいけないと思います。 簡単ですが、以上です。
57112	個人	学生	20代	男性	原発0%, 自然エネルギー50%, 火力発電50%	日本は自然エネルギーが豊富だから, もっと積極的に自然エネルギーの研究に力を注いだり, 支援したりするべき.
57113	個人	学生	20代	男性	原子力ゼロシナリオを支持しますが早急に全ての原子力発電所を停止する事は反対します。	原子力は最終的には頼らないエネルギー供給を目指すべきですが、早急に全ての原子力発電所を停止はせずに、メタンハイドレートや海底資源などの国内で産出さてるエネルギー源の実用化生産に乗るまでは、原子力発電所を稼働させ実用化出来れば徐々に原子力発電所を停止すべきだと考えます。 その為にも、新エネルギー源開発に対する投資と他国の干渉に対する毅然とした態度を政府に求めます。
57114	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選びます	ゼロシナリオを選びます。討論型調査というような政策決定方法の改善は大変評価できる点と思います。コストの問題、不安定供給のリスク、実現に当たっての障壁などはあるにせよ、安全性の信頼や超長期的な廃棄物処理問題などを考慮した場合、当然この選択肢を政策の基本方針とするべきと思います。
57115	個人	パート・アルバイト	20代	女性	いくら原発のつくる電気で便利に暮らせても、子供に影響が大きいという放射能を垂れ流す危険のあるものはいらない。便利さを求める大人の欲求で、子どもを殺すことと同じではないでしょうか。	原発、いらないです。 確かに原発のつくりだす電気のおかげで、便利で楽な生活ができています。 けれど、そのかわり原発はとても危険なもの。 事故が起こると放射能が漏れ出して、日本中に飛んでいってしまう。 放射能は大人には影響が少なくても、子どもへの影響は大きいんですよね。 そんな、子どもを殺してしまいかねないデメリットのあるものなんて、 いくら素敵で魅力的なメリットがあったとしても、必要ないです。 大人たちの便利さ快適さを求める私欲のために、 国の未来をジワジワと殺していくことと、かわりないと思うのです。 「原発がなければ電気が足りない暮らし」ではなく、 「原発に頼らなくてもいい程度の電気で暮らす」ようにしたほうがいいと思います。 震災以降、あちこちで節電のために明かりが減りました。 それでも街は充分明るいように感じます。 いかに電気を無駄に使っていたのかと驚きました。 電気を無駄遣いするために原発が必要だというなら、無駄遣いをやめればいい。 それだけのことで子どもたちを守れるなら、迷うことなんてないと思います。 太陽光発電や風力発電にシフトしていくようにするべきではないでしょうか。 勿論すぐには無理でも、少しずつ、少しずつ、原発ゼロに向かって変わっていく努力をするべきです。 電気がないと生活できない現状を見るのではなく、 遠い10年後、50年後、100年後の日本に目を向けて、今を考えていくべきだと思います。
57116	個人	パート・アルバイト	20代	女性	私は原発依存度ゼロシナリオを支持します。	その成り立つ過程においても目先の利益が優先されてきたのが原発で、その結果の原発事故だったのだと思います。原発依存を続けていくことは、目先の利益優先の継続に他なりません。その付けはより大きくなっていくと思います。今すでに膨大に溜まっている付けを処理する方策も立っていないのに付けだけを大きくしていくなんてどう考えても愚かです。 原発をなくしていくには私たち国民も大きな犠牲を払うことになるのでしょうが、国が本気で取り組むのであれば共に進んでいく覚悟です。
57117	個人	その他	40代	男性	原子力にさよならを。	毎日暑いですね。この連日の猛暑でも停電が起りません。なぜですか？電気が足りなかったのではないのですか？そりゃそうですよね。電力不足はウソだったんですものね。もう国民はとっくに気づいています。マスコミを使って国民を騙せた時代はもう終わったのです。 原子力発電は、燃料のウランを採掘するところから始まって、使用後のゴミに到るまで、ずーっと猛烈な汚染物質をまき散らし続ける最悪な発電方法です。他にたくさん電気を起こす方法があるのに、なぜ一番ひどいものを選び、それに固執し続けるのか。 70年代、日本は工場排水や煙、自動車の排気ガスなどの公害がひどかった。経済界・製造業にとって大ピンチだったはず。だけど持ち前の技術力で乗り越え見事に復活した。やれば出来るのが日本人なのではないですか？原子力がなくてもやっていける！そう思えば出来るのが日本人だと信じています。ま、実際やっていけてるんですけどね(笑)。 とにかく、必要ないものを、既得権益を死守したい経済界・政界・官僚どものためにズルズル使い続けるのは大反対。即刻すべての原発を廃炉に！
57118	個人	無職	30代	女性	脱原発(ゼロシナリオ)支持します。 再稼働についても反対です。	これからはもっと自然エネルギーを増やし、人にも環境にも優しいエネルギーの在り方を検討していくべきだと私は思います。 なぜなら、あの福島第一原発の事故以来、苦しんでいる人がたくさんいることがわかったからです。 人だけではありません。動物や植物、どれだけのものが犠牲になったでしょうか？ これだけの災害が起きて、原発に対してもう知らないふりはできません。 私は原発はもうやめて、自然エネルギーへと移行していく日本を望みます。
57119	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを選択を支持しますが2030年とはあと18年後、その理由も合理的根拠もないのは国民の安全と国家の安定からは到底納得などできない。即時ゼロが国民の審判。	ゼロシナリオで即時ゼロ原発が合理的で国家国民の安全と新たな国作りに必須。 1、天然ガスやシェールガスなどの利用促進が進み、中東への依存は減っている。また、価格も下落している。2、原発既存立地の地元経済への経済的波及を理由にするならば、電源三法を廃止し、原発稼働時と同じ金額の地域振興交付金として交付する立法をし、向こう20年間交付することで、地元民と関係者の生活を補償すべし。3、環境への影響CO2問題を言うならば、放射能の環境への悪影響とCo2を同列にすることはナンセンスであるが、原発はプルトニュウム採掘精錬に多くのCo2を排出する事実も公表せよ。4、福一事故の原因も事故対策、避難対策もなき原発の再稼働促進につながる2030年でもシナリオなど欺瞞であり、政府が提示すべき案とは到底思えない偏った誘導政策である。即時ゼロシナリオを選択しに入れ再びパブコメを募集、テレビ新聞などに大々的に宣伝すべし。
57120	個人	無職	60代	男性	原発依存度は可及的速やかに0パーセントを目指すべきだ。福島原発の惨状を見れば、原発事故を繰り返してはならないことは、誰にとっても疑問の余地が無いはずだ。	人間にとって間違いのない(エラーを起こさない)技術はない。どのように完璧さを追求しても技術上の破綻は100パーセント防ぐことは出来ない。 人間によって生み出された技術は様々である。この様々な技術に対して、考えなければならないことは、ある技術の利用において事故が仮に発生した場合に、その事故による損害が人間社会にとって甘受しうるか否か、ということであろう。 例えば航空機事故は絶対に防ぐことは出来ず、ある確率で発生することは絶対的真理である。が、この絶対的真理を前提に多くの人は航空機の利用を止むを得ないものとしている。 それでは、原発事故(原因が地震など自然的なものか、人為的なものかを問わず)についても、航空機事故と同じように、止むを得ないものとして、原発を将来も利用することが許されるだろうか。正答はNoでしかない。理由は、事故からもたらされる損害が甘受しうる程度を超えているからである。これを否定する人があるならば、福島原発の被害により、家にも帰れず、職業も失われ、あちこちの町に家族ばらばらで生活している被害者と同様の生活をこれから実践したうえで、(もちろん、今の恵まれた職から離れ、家族ばらばらの生活を1年から2年ぐらいは実行してから)、原発が不可欠か否か考えてもらいたい。 次に、問題は原発の使用済み燃料の管理である。管理場所も完璧な管理技術もないまま、原発を運転し続けるのは、気違いに刃物としかいえない。 さらに狭い国土に多くの原発を立地させているが、必然的に原発の所在地と人口稠密の都市が至近距離にあり、一旦事故発生があれば、惨状は予測し得ない。例えば、敦賀湾沿岸に立地する原発が冬の季節風の季節に事故を起こせば、琵琶湖の汚染は必然であり、飲料水の供給停止により、関西の諸都市は放棄せざるを得ないであろう。 原発に否定的にならざるを得ない理由は他にもあるが、最後に今回の福島原発の事故により、大気汚染、海水の汚濁・汚染、住民の健康被害、財産の毀損(家に住めない、田畑を耕作できない)など、一般公害であれば公害関連法により、民事罰だけでなく、刑事罰(両罰規定も含む)により、責任を問われるべきものであるが、こと原発に関しては刑事罰がまったくない。これは意識的に作られた法律上の欠陥なのだが、それ以上に国会と議員の怠慢である。当面は原発の再開が次々となされるであろうが、原発事故には、過失、無過失を問わず、刑事上の責任を問う立法を急ぐべきである。東京電力の幹部に見られたような無責任な経営者の量産を防止する上で、消費税増税以上に喫緊の政府と国会の責務である。
57121	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。
57122	個人	会社員・公務員	40代	男性	・20～25シナリオを選定。今後も安全技術向上が期待できることから、更に高い原発依存度も指向すべき。 ・エネルギー戦略は国家の将来を左右。冷静な目で社会・経済全体に及ぼす影響を評価することが必要。	1. 結論 選択肢のなかでは、20～25シナリオを選定する。 但し、この3つのシナリオによらず、今後の安全技術の更なる向上なども考慮すると、更に高い原発依存度を選択することも考えられる。 2. 結論に至った根拠 エネルギー戦略は、国家の将来を左右する問題と認識しているが、この議論が原発依存度を減らす前提のもと行われているのには疑問を感じる。 一部の一時的な感情の盛り上がりに流されず、社会・経済全体を多面的な視点で俯瞰し、評価したうえで結論を導き出すなど、地に足の着いた議論が必要と考える。この意味では、今回の選択肢の絞り込みにも拙速感が否めない。 再生可能エネルギーの導入を否定するつもりはないが、再生可能エネルギーの導入加速・拡大によって生じる国民の経済的な負担の大幅な増加や安定供給上の課題などのデメリットは、公平・中立な判断を行うなかではしっかりと説明する必要があると考える。 更に、ゼロシナリオにおける再生可能エネルギーの大量導入は飛躍的な技術開発なくして達成できない目標であり、これを選択肢とするならば、原発の安全技術の技術開発も大いに期待できるものと考えられるため、これらも考慮すべきである。 国際社会に目を転じても脱原発を指向する国はごく一部に止まっており、我が国が原発をゼロにして、その技術開発を放棄し、環境問題の取り組みを緩めることは許されないものであり、国際社会の中で存在価値を示していくためにも、絶えず原発の技術開発を進め、国会貢献の一翼を担っていく必要がある。 従って、国家のエネルギー戦略は、原発あり・なしの1か0で評価するものでなく、安全の確保を前提に、国民の負担や経済・社会への影響、環境負荷の低減などを勘案のうえ、ベストミックスを考えていくべきであり、今後、更なる安全技術の向上は大いに見込めることから、20～25シナリオ、更には、それ以上の原発依存度を指向すべきと考える。 3. 足元の原子力の再稼働 現在、殆どの原発が停止状態にあるが、この状況があるべき姿なのか。 安全については今後も不断の努力を続けることを前提に、安全性が確認できたものは、早期に稼働すべきであり、徒に判断を先延ばしすることによって、社会や環境に及ぼす影響は甚大である。 従って、稼働か停止かの二律背反の議論ではなく、個々に判断し、安全が確認できたものは、順次稼働するよう手続きを進めていくべきである。 判断を先送りすればするほど、国民経済的な負担は増え、産業は活力を失い、環境影響も増大するなど、損失は拡大していく一方である。 これらの課題についても、しっかり認識して検討を進めて欲しい。
57123	個人	無職	50代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。原発再稼動は、使用済核燃料の恒久的処分地ができるまで、極めて抑制的におこなわれるべきです。我々の子孫に負の遺産を残し、我々世代のつけを支払わせるべきではありません。	技術先進国日本で、国策として政府が先頭に立って進めてきた原発が、レベル7という世界的な苛酷事故をおこしました。東京電力は想定外の津波が原因と説明し、国会事故調は電気事業者と規制機関による人災で、その安全対策は世界標準に追いついていないと指摘しています。 住民避難対策の不備も露呈しました。いったん苛酷事故がおこれば大量の放射性物質が環境に放出され、狭い島国で人々の逃げ場はなく、国民の健康と生活が脅かされます。国は国民を放射線被爆から守れないという、きびしい現実を国民に突きつけました。さらに、原発事故に起因する除洗・廃炉・賠償費用は、電気代・税金として国民が負担し続けることになります。 原発事故後、国は安全神話にかわる厳格な安全対策を国民に提示できていません。このような状態で原発を維持・推進することは、国民に高いリスクを負わせることになります。国は原発ゼロへ向けて、最大限の努力をもってその可能性を追求し、エネルギー政策の転換をはかるべきです。
57124	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロの社会、及び太陽、地熱など代替エネルギーの早急な開発、それが日本独自の、また最強の輸出産業となることを望みます。	現在欧州に住んでいますが、ここ10年あまり、欧州の日本文化に対する憧憬が日に日に増すのを感じます。会う人々(若い人々だけでなく)みな、源氏物語から、五輪の書、武士道、ミシマ、さらにクールジャパンといわれる若者おたく文化までを深い興味を持って追求しているのを目の当たりにする日々です。そしてそれは、むしろ日本の若者のほうが、自分の国の文化を知らないのではないか、と思うほどの強烈な理解と称賛でもあります。そんな欧州の人々が一様に口を揃えるのは「日本の文化根底にある自然との繊細な一体感、見えないものへの尊敬と畏れ、一神教にはない、自然発生的なモラルのありかたへの関心」で、他国の人々から、時間とともに営々と培われて来た日本独自の文化、思想をわれわれ海外在住の日本人は再発見することになります。そこに地震、津波というたましい天災とともに起こった福島原発事故。地震国である日本に54基の原発があることを知った欧州の人々は愕然としました。生き変わり死に変わり日本の歴史をつづれ織った人々が守り続けてきた自然感は？・・勿論、文学的な感性のみで国を運営することは不可能だと思いますし、経済の循環がなければわれわれ庶民も生きていけず、文化さえも生まれない。しかし日本という国が自然と共に生きる知恵を忘れていないなら、それをハイテクエネルギー問題に生かして行く技術力、コストの問題も解決すると考えます。今こそ日本は勇気をもって原発を全廃し、世界にその類い稀な経済システムの構築、そしてエネルギーリーダーとして世界に発信、輸出産業として確率すべき時期だと思います。世界に愛される文化を誇る日本に、その文化に裏打ちされた政策として、原発ゼロを決定する政府の勇気を心から願ってやみません。
57125	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを強く支持します。	原発0%を希望します。 理由は以下の通りです。 ●地震国とその他の原因による過酷事故の可能性。 ●事故が起こった際の情報の隠ぺいによる混乱や不必要な差別の助長。 ●困難な核燃料廃棄物処理。 ●原発は地方と都市部の格差を利用し助長する。 ●被曝労働が必要な発電方法は間違っている。 ●日本は自然エネルギーの開発を推進すべき。

57126	個人	法人等	30代	男性	2030年原発0シナリオを支持します。今後18年間で、国民一人ひとりのエネルギー選択が可能な状況を作り、エネルギー構成比率が最適化されることを望む。経済も含めた社会全体のリスクが最小化されるように。	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年「原発0シナリオ」に沿った政策を支持します。ただし規制庁の下、地震リスクが小さく安全対策が準備できたものを限定的に再稼働させながら、再生可能エネルギーの大胆な導入を進めた上で、需要家によるエネルギー選択が可能な仕組みを整えること。国民一人ひとりのエネルギー選択によって構成比率が最適化されることを望みます。脱原発により生じる原発以外のリスクも含めて、社会全体のリスクが最小化されることを望みます。 一方で、原発が立地する過疎の地域に、原発に依存しない産業を国策で作る必要があると思います。自助努力せよ、というのは当然だが、突き放すにはあまりにも冷酷な気がします。分散型のエネルギー源として、震山漁村のもつ地域資源（水力、バイオマス、風力等）を活用して雇用を創出することを検討してください。 電力に依存した生活・社会を転換させるには大きな努力が必要だということを、脱原発派の人たちもそうでない人たちも共有しながら、前向きにチャレンジできる制度作りを、国を背負う政治家・官僚の皆さんに期待しています。 安心して暮らせる日本に！一緒にがんばりましょう！
57127	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロに向けたタイムテーブルを作成し、なるべく早くゼロにしてほしい。	先日Twitter上で東京オリンピック招致委員会の国民へのメッセージが話題になりました。メッセージは、オリンピック招致熱が高まらない国民に対し、東京オリンピックで日本の経済を再生しようではないかという呼びかけでした。 このメッセージにネット上では多くの人々が不快感を露にしました。 「経済さえ豊かであれば日本人は幸せである」という考えを持つ招致委員会の人には、この不快感の表明は理解できないかもしれません。 同じように、原発を今まで通り推進していきたい人にも、反対する人の気持ちは分からないのかもしれません。 しかし、政治家や官僚は、経団連の会長のように、「反対するものは馬鹿者だ」と言っていれば事足りる立場ではありません。未来を見据えて国としての政策を転換できるのは、政治家と官僚の皆さんだけです。 10年、20年のスパンで考えれば、原発を廃止するのは大きなリスクに思えるかもしれませんが、もっと長い未来を考えれば、今すぐ廃炉に向けて舵を切る事こそがこの国の未来のために必要な判断では無いでしょうか。 「日本経済のためにオリンピックを！」という呼びかけを不快に思う人々は（その多くはたぶんこの国の未来を担う若者です）、脱原発への確固たる決意を示す政策に、大きな希望を見出すはずです。 脱原発に向けた具体的なタイムテーブルと、新しいエネルギー技術開発への官民をあげた取り組み、（そして廃炉に向けた現原子力技術者へのエール）、それを高らかにうたう事こそが、今の日本の閉塞感を打ち破り、日本再生に向けて人々に明るい希望を抱かせる政策だと思うのです。
57128	個人	その他	30代	女性	2030年までに原発依存度0%にすべき	多くの犠牲の上に成り立ち、一部の利権者のための原発。発電のため、国民生活のためでなかったことは明らかになった。事故が起き、放射能ダダ漏れが続く以上、震災前の生活が一変して当然。変えられない、変える勇気がない、などと言い訳をしている段階ではない。雇用や地方財政等の改善にあらゆる手を尽くし、議論し、一刻も早く全原発を廃炉にすべき。
57129	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	311以降の様々な報道で、日本における原発がいかに危険なシステムの上で稼働しているかを知ることとなりました。また、事故が起こってしまったら、実際的には誰も責任を取れないということも目の当たりにしたのです。現実的な困難さも知りつつ、原発の即時停止を強く望みます。
57130	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発依存度をただちにゼロにすることを望みます。	その主な理由は、 （1）地震多発国であり、多くの施設が活断層の上に立地している （2）使用済み燃料、放射性廃棄物の処理の問題 （3）事故時の人体、精神的、経済的被害は甚大であり、日本にとどまらず地球規模の災害を引き起こす （4）福島原発事故の現状から企業、国にも責任ある対応能力がない （5）自然エネルギー等の新エネルギーを技術開拓する機運、技術力がある 福島の事故を経験した現在、事故前のように原発の危険性を矮小化し、安全性を強調してはならないと思います。 いまは温暖化防止を考慮しつつ化石燃料等を大切に使用し、効率的な節電をはかる余裕もまだあります。 自然エネルギー等の開発に取り組む機運、余力が国にも産業界にも国民にもあるいまの時間を有効に活用すべきと思います。 一方、警戒される巨大地震が近い将来起き、大都市を巻き込む惨事が繰り返された後にその力があるとは、福島の事故後、残存する放射能、膨大な事故処理、補償等さまざまな問題が山積されたままの現況から想像することはできません。 安全な新しいエネルギーを開発する技術力が日本にあることを評価し、安心なエネルギー技術を広げることで経済の安定化につなげていくことができると考えます。
57131	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年に原発比率を15%程度としつつ、安全性を向上させる仕組・技術の開発を推進する。	電力を大量に必要とする現代社会を維持し、かつエネルギー安定供給を実現するためには、今後20年かけて地熱や太陽光発電等の自然エネルギーの比率を向上し、原子力発電によるエネルギー比率を15%程度に縮小することが、各種選択肢の中で現実的に対応可能なシナリオと思われます。 また、今回の震災によってただちに原発をゼロにするというよりはむしろ、自然災害が多い日本において安定的にエネルギー管理・運用するノウハウや、リスク低減に向けた技術力を継続的に開発・向上することで、今後膨大なエネルギーを必要とする新興国でのインフラ開発に日本の技術やノウハウ・人材が活かせるのではないかと考えます。
57132	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	0%	母親が福島県ということもあり、自分ならに、福島県に足を運び、実際に色々な人と話たり、子供たちの現状などもろもろ含め、原発がなくとも電気が足りるとわかった今、必要ないとの結論に達しました
57133	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。現在保管されている放射性廃棄物だけでも大量なのに、それ以上次の世代に増やして残すわけにはいきません。	原発の安全性をどれだけ向上させたとしても、核廃棄物を無くすことはできません。そして、どんなに安全に稼働させたとしても、運転に携わる作業員の方々の被曝はゼロというわけにはいきません。 今ある核廃棄物の保管・処理だけでも気が遠くなるような時間と費用・手間がかかるのに、これ以上我が子や孫の世代に負担を増やして残すわけにはいきません。 まして、今も事故を起こした原因も明らかになっておらず、復旧作業もいつまでかかるか不明です。 ですから、今ある原発の再稼働も絶対に反対です。 原発に頼って、便利な生活を送らせてもらっていたことは確かですから、今後の不便は覚悟しなければならないとわかっていますが、これまで、不安を感じつつも、ちゃんと反対の声をあげてこなかったことを悔いていますし、恥ずかしく感じています。 不便や停電は我慢し、工夫して、弱者へ融通しながら生活するしかありません。 今も、千葉で暮らしていても、我が家では今回の原発事故によって降った放射性物質におびえながら、常に食品の安全性を心配しながら子どもの未来を案じて暮らしています。 福島で避難を余儀なくされた方々や、今なお不安の中で暮らす人達のことを思えば、日本人としてこのゼロシナリオの選択以外ありえないと私は思います。
57134	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオで、即時原発停止と廃炉を希望します。	原子力発電は、発電後の核廃棄物の処理も完ぺきに安全なものはなく、発電する過程で放射性物質を出さないことも不可能で、人間にも地球にも安全な発電方法とは言えません。 そして、ひとたび事故を起こせば、何十年、何百年も取り返しのつかない事態を引き起こします。天災を完全に想定することが不可能なことは、今回の東日本大震災で経験したはずです。それ以上の規模の災害が起こった時、絶対に安全だなどと断言できるはずがありません。 このようなリスクの大きい発電方法を、事故の収束もできていない状態でまた再開し、今後も続けていくことは、愚行以外のなにものでもありません。 ただちに原発を停止し、すべての原子炉を廃炉にしていくことを望みます。 また、今回提示された選択肢のゼロシナリオでは、石炭での発電への依存率が上がってしまい、温暖化対策が不十分だと思います。 原発ゼロと、温暖化対策は両立できることだと思います。 省エネ＋再生エネ＋燃料転換を強化する代替案を示し、政策を舵切りしていただきたいと思っています。 これ以上、地球を汚さないように、という視点で世界を引っ張っていく日本を目指してほしいと心から願っています。
57135	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。	またいつ地震が来て福島と同じ様な事故が起こるのではと不安。
57136	個人	会社員・公務員	30代	女性	私が選ぶなら0%しか考えられない。福島の原発事故から自身が考えさせられた事、私たちには「原発」は扱いきれないという想いを書きました。	0%以外の選択肢は考えられません。 2030年までに・・・なんて悠長な事を言っていないで、私は即時0%を望みます。 福島の原発事故が起こるまで、いまのいままで、「原発」というモノについて私たちは何も知らなかった。そんな自分たちが怖ろしいし、誰からも知らせられてこなかった事、扱い方を教わる事さえなかった事が疑問でならない。 「原発」ってどんなものですか？ 福島の原発事故後の今に至ってさえ、そう訊かれて答えられる人が果たしてどのくらいいるのだろう。「原発」はただ単に莫大な量の電気を簡単に生み出してくれる魔法ではなかった。ましてや「休ませている原発」も「原発から出たゴミ」も。変事が起これば一瞬にして「毒」となる・・・この毒はかなり優秀で厄介。まずは溢れ出た辺りの土地一帯を侵す。そして空気中に拡散し雨・風に混じって日本全土の土地を侵す。拡散して薄まりはするものの、消滅する事はなく、さらに風に運ばれ海に流れていっては世界の土地を侵す、私たちの身体を壊す「猛毒」になる。 ドラマなんかで「寂しいときは空を見上げるんだ！空はつながっている。キミが見上げた空と、僕が見上げた空は同じなんだ。」なんて、言っていたりする。 その通り。空はつながっていて、福島の原発事故からは確実に拡散してしまった「猛毒」があった、この事実を忘れてはいけないと思う。 毒物を取り扱うには資格がある「危険物取扱者」という。危険物の性質を知り、対処法を心得た人に与えられる資格。身近なところで言えば、ガソリンスタンドでこの資格が掲げられていたりするのを みる事がよく見るかもしれない。 私は一般的な暮らしをしている人間で、仲間内を探せば危険物取扱者の資格をもった人が見つかるけれど。仲間たちのどこをどう探しても「原発」についてレクチャー出来るほどの知識をもった人は見つからなかった。調べるにしたって、あまりの知らなさにどこから手をつけていいのやら？？？という状態だった。当然、知っていて然るべき重要な事なのに、何も知らなかった事に愕然としてしまうほど。 なぜ？ なぜ誰もちんと答えられない・・・「原発」は国内にまだまだたくさん存在しているというのに。再稼働を果たしたモノまであるというのに。そんなモノがたくさん在るのに、誰もその「原発」について答えられない、教えられない。こんなに怖い事って他にはないように思う。 日本は地震大国で、地震が起きても当たり前の国で。 そんな事は誰でも知っているし、ちょっとやそっとの揺れではそんなに怖ろしい気持ちになる人は少ないかもしれない。でも気が付いてしまった、福島の原発事故で。地震自体は怖ろしくなくても、他に怖ろしいモノがあるじゃないかという事に。 発句の晩にテレビは言うのだ「（原発の）管理が甘かった、反省している。」。 なにを くだらない事を言っているんだろう、いったいどれだけの土地に毒を撒き散らしてどれだけの身体を壊していると思っているんだ・・・ これがいまの私の心中です。 突然の自然災害だけなら頑張れば復興出来る。そこに住む人たちがあきらめずに踏ん張りさえすれば、どうにかなる。でも「原発」はそうはいかないモノだった。 汚れた土地は元には戻らない、壊れた身体は元に戻らない。 だから「原発」は0を目指すべき、そう考えました。
57137	個人	自営業	40代	男性	国として原発ゼロへのロードマップを作ってください。	国として原発ゼロへのロードマップを作ってください。自然エネルギーの研究分野の予算を増やしてください。電力会社は解体して、もっと開かれた競争原理を持ち込んでください。せめて、発送電分離を行い、競争による電気代の低下望みます。スマートグリッドも是非実現してください。
57138	個人	会社員・公務員	50代	男性	発電に限らず、核兵器など、全ての核利用に反対します。 原発の比率については0%とすべきであり、今すぐにでも廃止とすべきと考えます。	核エネルギーの利用は、本来自然界に存在しない毒性物質を生み出すが、どんな理由であれ、一旦基走し始めるとそれが制御不能であり、収拾がつかないものである事が明白になりました。そのリスクはどんな経済メリットを提示されても、受け合えるものではありません。また、どんな対策を施そうとも、それを超える事象、他の要因により危機は発生します。それが制御不能であるかぎりは、安全と言うべきではありません。逆にそう言ってしまうなら、それは管理者として、責任者として失格です。その意味でも原発の継続利用は不可能と考えます。 むしろ、これを機会に発電側では再生エネルギーや高効率ジェネレーター、また、送配電分離による小地域分散発電、利用側でも電気でなくてもいいものをやめる事を含む省電力化や、管理技術、もちろん自家発電。それを促すための政策、例えは、CO2排出量でやられてますが、受電権の流通などや自然エネルギー特区、、などなど、新しい産業やシステムに向かう方向に転換すべきと考えます。 また、核技術については、今後の収拾と廃炉技術に向かう事が必要ですが、これとセットに海外への展開も可能でしょう。 こうした大きな転換は、コンセンサスの形成に時間や負荷がかかるのが通例でしょうが、今はそれも出来ており、しかもモチベーションも高く取り組める大きなチャンスなのではないでしょうか。 本来は、事故を起こしてしまい、その収束も目処すらついていないのが現実なのですから、エネルギー問題と絡めての論議自体がおかしい話なのですが、これを転換のチャンスとしてこそ、核利用との断絶をしてこそ日本の存在意義と未来があるのだと思います。
57139	個人	学生	30代	男性	2030年までに原子力発電所依存率「0%」を支持します。	私は一児の父です。我が子とその子とさらにのちの世代に高いリスクを残し、現在の電力のために原子力発電に頼ることはしたくありません。一部に、「原発をなくすと経済的打撃がある」との意見がありますが、(1)事故時の処理・賠償・風評被害等の経済的打撃、(2)一方、再生可能エネルギー分野等の成長による雇用の創出・世界への貢献を考えるべきだと思います。いろいろと書きたいことはありましたが、時間の関係上これだけにさせていただきます。たくさんのパブリックコメントを処理・検討なさる係りの人のご苦労に敬意を表します。頑張ってください。何よりも「あの事故を経験して、私たちの世代は君たちの世代に宿題を残したくないと決意したんだよ」と、子と孫とその子たちに言ってやりたいのです。以上
57140	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発 2030年までに、全廃。	他の国からともかく、地震国日本に、原発の存在はあまりにも危険。1度目はともかく、再度このような事態は絶対起こせない。世界の国々に対しても、言い訳ができない。次世代の子供たちのためにも、日本は原発に頼るべきではない。商業主義、効率主義の観点から、論じるのではなく、倫理的観点からも論じてほしい。原子力は、人類が扱える範囲を超えていると考える。本来ならすぐにでも、原発ゼロにしたいところだが、現実的でないので、段階的に減らし、将来的にゼロとするよう求める。
57141	個人	その他	50代	女性	1.00%	原子力はいらない。
57142	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオで即時0%を希望する。天然ガスの国家単位での一括購入、新型コンバインド火力発電所の増設とエネルギーマネジメントの推進により当面の電力需要を賄うことが可能である。	原発ゼロシナリオで即時0%を希望する。 当面の電力需要においては、天然ガスの国家単位での一括購入と新型コンバインドサイクル火力発電所の増設により賄うことが可能である。現在問題になっている燃料費負担は、天然ガスのアジアプレミアム価格及び事業者の個別購入による燃料価格の高騰が原因であり、一括購入と国家的交渉を通じた価格交渉によって燃料費を下げることが可能であるため、コスト的要因は解決可能である。 新型コンバインドサイクル火力発電所は発電効率も良く、出力調整も可能であることからデマンドコントロールにも対応可能であり、また、原発よりも建設が容易な上、原発のような立地対策問題もない。 原子力発電所は様々な要因から熟効率が低く、排熱が多く発生することから環境負荷も高い。また、未だに放射性廃棄物の最終処分地が確立しておらず、実用から数十年が経過した今も一連のサイクルが現実的な形で完成されていない。理論的なサイクルだけでなく、現実的に適用可能な一連の核燃料利用サイクルが実現できていない以上、欠陥のあるものと言わざるを得ない。 核分裂による原子炉は本質的に暴走事故が発生しうる原理である。これを防止することが原子炉安全対策の最も重要なポイントであるが、人間は必ずミスを犯すものであり、原発は万が一の際に長期にわたり回復できない影響を及ぼすことを考慮すると、過酷事故の影響は極めて甚大であり、許容し得るものではないことが、東日本大震災とその後の福島第一原子力発電事故の教訓である。 今後、再生可能エネルギーとデマンドコントロールの活用が重要になることを考えれば、レガシーなエネルギー戦略を保ち続けることには何のメリットもなく、むしろ世界のエネルギー戦略に立ち遅れてしまうこととなる。シェールガス革命や太陽光利用、水素エネルギーなど、世界のエネルギー戦略が新時代に入りつつある現在、資源小国として新エネルギー開発で先端を走っていた日本が旧来からの古臭いエネルギー戦略に固執することは、滑稽でさえある。 日本は過酷原発事故を経験した国として、世界をリードする新しいエネルギー戦略を打ちたて、世界の規範となるべきである。

57143	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発はすべて廃止しなさい。	私は、即時廃止は求めません。 活断層の上にあったり、今の基準に合わない古いタイプや、立地に問題があるなど既に問題があるとわかっているものは再稼働させない、廃炉にするというのは大前提です。 その上で20年の耐用年数を過ぎたものから運転停止にして廃炉にしなさい。 なぜなら、処分できないゴミをこれ以上後世に残したくないからです。 今は火力発電や水力発電に逃げるしかないと思います。今優先すべきは原発の再稼働ではなく、置き換える為の天然ガスの確保やメタンハイドレートの資源開発、風力、地熱など再生可能エネルギーの開発です。 もういい加減目を覚ましなさい、国民は原発をもう求めてはいないのです。
57144	個人	会社員・公務員	40代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 ≪「命」を脅かすリスクは排除すべき！原発という巨大な地雷を未来に残すわけにはいかない！≫	東日本大震災で、多くの人が元の生活を失い放射能汚染に怯えている。人間は完全ではない。人間が作った原発は必ず事故を起こす。早急に原発を廃止し、原発の安全運転に注ぐカを安全なエネルギーの導入に注ぐべきだ。
57145	個人	自営業	20代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」へ 《即原発ゼロへ。弱者の保護と自然エネルギー開発を優先》	次の大事故はいつ起こるか分かりません。2年程度の計画停電も必要であれば受け入れます。ただし、病人、被介護者、子供、老人を守る制度は確立すべきです。 同時に、自然エネルギー開発を進めることで、新たな雇用も生み、原発を0にすることで発生するとされている経済損失を補えると思います。ゆえに、開発のヴィジョンを明確にし、国民に説明するべきだと思います。
57146	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発依存度0% もんじゅ廃炉	なるべく早く原発はゼロに。 もんじゅも廃炉に。 地震も多く狭い日本で原発は無理。 廃棄物処分場も無いまま原発を始めたこと自体があり得ないと思う。 子供の未来を守るのが大人の役目。
57147	個人	会社員・公務員	50代	男性	すぐに原発をゼロにするべき	福島の事故も未だに収束しておらず、事故による放射性物質による健康への影が安全見極められていない状況で、原発を動かす事は危険過ぎると考えます。原発の付近で、地震が起きた場合、福島原発とのような大惨事にならない見極めが全くされていないと思えます。政府と経団連などが急いで、原発を再稼働させるのは、電力会社の原発施設の資産価値を維持し従来からの既得権を維持するためだと考えています。国民の健康、生命を脅かす再稼働には、反対です。
57148	個人	会社員・公務員	40代	男性	即時の「原発ゼロ」シナリオを支持します。	福島で、原発震災に被災し、一家は離散、不動産は税金とローンだけが残った不良債権になりました。この賠償もせずに、原発問題を「エネルギー問題」にすりかえるとは卑怯千万です。人殺しの政府、人殺しの官僚どもを絶対に許さない。
57149	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までに順次原子力は0%に！	原子力を信用してません。機械で制御しても、その機械を製作、整備するのは人間です。間違いが無いとは言い切れない。震災の時の過ちを繰り返してはいけません。原子力は断固反対です。今回の震災のようなことで、日本のみならず、世界中に迷惑がかかるんです！！
57150	個人	自営業	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を支持します	2011年3月11日の福島の原発事故を受け、被災された方達をはじめ、多くの日本国民が将来の暮らしへの不安を抱えています。そしてこれから生まれてくる何の罪もない子供達へ真の安全な暮らしを約束するために「原発ゼロシナリオ」を支持します。 また、同時に日本全国各地にある原発の再稼働にも反対します。 私達の世代で、このタイミングで即刻「原発ゼロシナリオ」という方向性を示し、直ちに取り組んで頂く事を切に願います。 宜しくお願い致します。
57151	個人	その他	50代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発ゼロシナリオにおいて、自然エネルギーの割合が35%とは、いささか少なすぎます。再生可能エネルギー導入の前に、大量消費しているライフスタイルを見直し、少ないエネルギーで暮らせる社会像を目指すべきです。今回のシナリオには、省エネは含まれていません。これでは、エネルギーは使い放題であり、資源の無駄遣いです。さらに日本は、少子化に伴う人口減少を辿っており、今の現状と将来のエネルギー需要は、確実に減る予定です。これらを含めた、原発を廃炉し、新たな日本のエネルギー政策が喫緊の課題と思われます。 国民的議論をすると言っても、こういったパブコメの意見が反映されるのか、これまでの政府のやり取りを見れば疑わしいものです。正確にパブコメの詳細を掲載することを強く要望します。 また、意見聴取会を東京都と神奈川県を外した責任は大きいです。国民的議論と言いながら、人口比率が多い都市を外した理由が分かりません。今後、このような事が無いように強く求めます。
57152	個人	家事専業	30代	女性	(1)原発0%	いますぐ全原発廃炉にするべき。福島の事故は現在進行中。これ以上自然を汚さないで。
57153	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択します	原子力発電は問題が発生したときの被害を想定した場合に、リスクをとる、とらないの議論の土俵にそもそものせるべきものではない。 このことは、今回の福島の事故がまだ収束をみないこと、また、食の不安が今後永久に払拭されないことを考えれば明らかである。 原子力の利用をゼロにすることを前提として、その他のエネルギーの開発、省エネを目指していくべきである。 ゼロシナリオを選択することによる国民への負担は、正しく説明すれば受け入れられるはずであり、また、ゼロシナリオを明言すればその他のエネルギーの開発速度も上がるはずである。
57154	個人	家事専業	80代以上	女性	ゼロシナリオを選択します	ゼロシナリオを選択します 地震が来るたびに心配しています。戦争経験者で、友達を広島でなくしました。同じように放射能の被害にあう人のないように願います。
57155	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発をなくし、自然エネルギーの促進を求めます。	福島での原発事故からの危険性を見ると、今後は原発を廃止する方向にしていただきたいと思います。 そして、より安全である自然エネルギーの促進に取り組んでいただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。
57156	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。その上で、原発の再稼働に反対します。	原発は、事故を起こさなくても、起こしても、将来にわたり負担を強いるものであり、これ以上自分の子供たちに負担を増やさないためにも、ゼロシナリオを強く支持します。 事故を起こした場合の負担は、福島の現状をみれば言うまでもありません。その地域に当たり前のように暮らしてきた人々の生活を、根こそぎ奪うようなリスクは、他の化学物質等による汚染の比ではありません。 事故を起こさない場合でも、すでに大量に出ている放射性廃棄物の管理・保管を永続的に行わなければなりません。適切な管理を永続的に行うには当然費用も必要であり、将来にわたって大きな負担を強います。安全な管理と費用の面で、すでに将来への負担は避けられませんが、これ以上自分の子供たちの世代に負担を増やす選択はできません。 私たちの世代の明確な意思表示として、ゼロシナリオを選択することが必要であると考えます。 その上で、電気をめぐる社会構造を大きく変革する必要があると考えます。発送デンも分離はもとより、新技術の開発による発電と消費の効率向上などに力を注ぐべきであると考えます。特に、作ったときに消費されるという現在の電気の供給における縛りを開放するためにも、蓄電分野での技術開発に国を挙げて注力するべきだと考えます。
57157	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選びます	ゼロシナリオを選びます。討論型調査というような政策決定方法の改善は大変評価できる点と思います。コストの問題、不安定供給のリスク、実現に当たっての障壁などはあるにせよ、安全性の信頼や超長期的な廃棄物処理問題などを考慮した場合、当然この選択肢を政策の基本方針とするべきと思います。
57158	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年に原発0ではなく即刻、原発0に	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 2030年までの間に再び原発事故が起こったら再び農作物が汚染され、食べる物がなくなってしまいます。放射能に汚染されていない安全な食のためにも即刻原発0にすべき。
57159	個人	パート・アルバイト	20代	男性	私は「原発ゼロシナリオ」を支持します。	私は「原発ゼロシナリオ」を支持します。 http://hihumiyo.net/usagi24free.html こちらの資料を参考に。 ・原発を安全にコントロールできる技術はまだ存在しない→危険 ・経済的に利益があるどころか、損害ばかり ・日本は地震大国→もっと危険 など、どこをとっても、原発があると害ばかりがあるように感じます。 多くの国民は、積極的に原子力エネルギーを選んだことなんてありません。僕の世代で言えば生まれた時には原発はたくさんあったし、そうでない上の世代の人にとっても、大した情報も与えられず、クリーンで安全で経済的にも良いと喧伝されることでなんとなく受け入れたにすぎません。テレビでは何も言いません。(このコメントを募集していることについても、多くの人が目にすることができる新聞やテレビで知らせていないのもおかしいと思います。) そしてその原子力発電所は事故を起こし、 福島の一部を人の住めない場所に変え、日本の美しい国土を汚し、 人の安全で健康的な暮らしを奪い去りました。 下の世代に負の遺産をなすりつけるようなことはもうやめにしましょう。 再稼働はしない。原発はゼロにすべきです。 2030年と言わず、早急に。同様に、再処理の廃止。 核エネルギーの使用はやめにしましょう。
57160	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	日本の将来のため。原発を取引の道具に使って欲しくないため。
57161	個人	その他	50代	女性	原発0%を選択します	コントロール出来ないリスクを持つ原発は容認出来ません。必ず廃炉にすべきです。核燃料の採掘に携わる他国の人々が酷い目にあっている事も容認出来ません。原発に代わるエネルギーの確立にお金を使うべきです。使用済み核燃料も片付けられない現状をこれ以上増やす事は容認出来ません。原発からの脱却を決断して下さい
57162	個人	無職	30代	男性	ゼロシナリオ（追加対策後）を支持します。国民の不安の種である原発を無くしながらも、温室効果ガス排出量においても他のシナリオに見劣りしないという、意欲的で優れたシナリオだからです。	ゼロシナリオ（追加対策後）を支持します。 原子力発電は使用済核燃料の処理方法に解決の目処が立っておらず、このまま原子炉を稼働させ続けるという選択は、（現状でも大量に保管されている）行き場の定まらない核のゴミをさらに増やしていくということになります。 破綻が明らかと言われている核燃料サイクル政策については潔く転換し、現状ある核のゴミについても、また現在稼働中の大飯発電所等やむを得ず稼働している原子炉から排出されるものについても、直接処分の道を探るべきだと思います。 ゼロシナリオ以外の2つのシナリオについては「再処理があり得る」となっており、この観点から私はゼロシナリオ以外は支持できません。 ゼロシナリオ（追加対策後）は、国民の不安の種である原発を無くしながらも、温室効果ガス排出量のおいて他のシナリオに見劣りしないという、意欲的で優れたシナリオだと考えます。「非化石電源比率」は見劣りしますが、原子力発電は温室効果ガスは出さないものの使用済核燃料や温排水を排出するので地球環境的には温室効果ガス以上の悪影響を与えることが懸念されます。よって原子力発電を含めた「非化石電源比率」を比べること自体にあまり意味が無いと思います。 ゼロシナリオでは電気代等のコストが上がり、これは経済に対して負の効果をもたらすと見られがちですが、同時に電気コストの上昇は節電意識を一層高め、より効率的なエネルギー使用を促すという正の効果があることを見逃すべきではありません。エネルギー需要は今よりかなり緩和されて化石燃料代の国外流出も懸定しているほどではなくなる可能性が高いと思います。 エネルギー需要は、いずれのシナリオも2010年比1割減、としていますが、ゼロシナリオでは上記の観点と、人口減、産業構造の変化という要素も加えると2割減も十分目指せると思います。エネルギー需要の減少は経済活動の停滞、というステレオタイプな見方も多いと思いますが、エネルギーに（過度に）依存しない新しい産業形態を作っていけばいいのです。そうすればエネルギー需要減でも人口減でもGDPを拡大させることは十分可能ではないでしょうか？ コスト上昇も人口減も経済に対して悪影響を与える可能性ももちろんあるわけですが、国民が一体となって再生可能エネルギーを推進し、産業構造を環境に負荷をかけない社会に転換していく過程こそが、痛みは伴うものの国際競争力を生み、富と成長の源であると考えることもできると思います。
57163	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロのシナリオを選びます	原発ゼロのシナリオを選択する。福島原発の事故でも判る通り電力会社も日本政府も全く事故の責任を取ろうとしない姿勢はあまりにも無責任すぎる。今回の様な事故が起きた時に自分達で責任を取れない原発をこのまま稼働させ、国民にその責任を押し付けて蓋くだけのこの現状をこのまま放置しておくわけにはいかない。ましてや今や原発はただの金食い虫でしかない。その金も今や我々国民の血税から支払わせるというこの無様な有様！発電量は現存する原発以外の発電所の発電量で十分足りるのだ！その事実を隠蔽し原発を稼働させている日本政府も電力会社も許し難い事である。これから日本政府がしなければならない事は原発の存続を考えるのではなく自然再生エネルギーへの移行を出来るだけ早くする事である。未だに原発が稼働していることは信じられない事であり、馬鹿げている。未だに原発推進派の方々にはもう一度よく考えて頂きたい。今ではなく、これからの日本の未来とこれからの日本を担う子供たちの事を・・・。それでもまだ原発を推進するのであれば福島原発のある場所で何日も滞在し、そこで原発推進を唱えてみてはどうか？もう一度言う！もう一度よく考えて頂きたい。今ではなく、これからの日本の未来とこれからの日本を担う子供たちの事を・・・。

57164	個人	無職	20代	男性	・放射性廃棄物処理について早く決めて欲しい。（方法や場所や安全策について） ・原子力発電所自体はプラントと変わらない。 ・システム論は自分で考えて欲しい。 ・被災者支援を急いで欲しい。	私が最も重要だと認識していることは、早急に放射性廃棄物の処分方法を確立することです。 これが進展しないことには、原発の様々な問題について、目処の立てようもないのではないでしょうか。 たとえ機械設備・作業・管理の上で安全であったとしても、捨て方が決まってもいないような安全とはいえません。 ただでさえ、もう30年近くも使用してきて設備的に劣化しているのではないかという状況にあって、一刻を急ぐ状況ではないかと推察します。 今までつくるだけつくって持っていく所がありませんでは埒もないことです。 私は原発から離れていない場所に建てて欲しいと思います。距離の問題です。 原発の事故が起こって問題になるのは、原発からの距離だからです。福島でもそうでした。 勿論、六ケ所村の再処理工場も参考にしたいと思いますが、再処理にこだわる必要はないと思います。 社会的にとりわけ大きな問題となっていますが、隠蔽体質・見えないことが最も混乱を呼んでいるのであって、いざ災害が起きた時に事故化するかしないかであって、原子力発電所そのものは普通の重化学等の工場プラントと大差はないと考えています。 体質改善のことは、あくまでも自分たちで考えて、何が足りないか、どうすればよいのか、考えて欲しいものです。 風評被害のこともあり、農林水産等水利に関わる産業の方々には手厚い支援をと願います。 そして、今回の被災者で避難を余儀なくされている方にも、早く経済的にも立ち直って欲しいと思います。 国が基準を決めていないからという話をよく聞きます。 国が遅いだけでなく、責任逃れな部分もあるでしょうから、尚の事、広報を含めてルール作りを急いで欲しいです。 発言の機会をいただき、ありがとうございます。 以上で、私の発言を終わらせていただきます。
57165	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを目指すべき。基本は新原発は作らない。新電源、省電力技術の開発を促進させ、残る原発も順次廃炉にする。メーカーは廃炉ビジネスの先端技術と市場を開発、世界に売込む。また、「原子力税」の導入。	●核エンジニアリングのシフト 世界では21世紀の初頭、この瞬間のみ原発の需要が高まっているが、世紀半ばには世界規模での廃棄物の問題が深刻な社会問題となり、原発からの脱却が世界規模で必要となってくる。その方法を日本は世界に先駆けて構築しておくべき。 これまで原子力発電所の開発を行ってきた大手メーカーは、この大きな市場の見込みの原発廃炉技術、安全な核廃棄物処理方法の研究開発に、人材と研究費をシフトしていくべき。メーカーは変化を嫌い、これまでの投資を回収しようとするはずだが、国の政策と支援により実現させる。 これまでの日本の原子力技術の頭脳をシフトすれば、如何に安全に廃炉を実現するか、廃棄物を貯蔵するか、さらに、効率的な新電源の開発も、必ず実現できるはずだ。 世界各国は、原発も維持しつつ、新エネルギー技術の開発と実現に多額な予算をかけていると聞く。日本も、新エネルギー開発の大学やメーカーに日本国の将来を預けるくらいの研究費を投入すべき。そこから新しい産業も育っていくはずだ。 ●「原子力税」の導入、 以上、核技術のシフトを実現するため、「原子力税」を導入し、投資の財源とすることを提言する。 これまでは原子力にかかわれば、開発費、補助金などの国の補助を受け、さまざまな利権を得られた。利権に群がる大きな集団を生み出し、低コストによる運用と利潤の追求の結果、今回の事故を生み出したといえる。この現状を打開するために、これまでとは逆の発想で、原子力発電にかかわると税金をとられるという社会的構造を創ることはできないか？これからも起こるかもしれない核の事故（いくら安全技術が高まっても使う人の問題で確実に起こる。）に対するリスクに備える。電力事業者だけでなく、原発メーカー、関連メーカー、研究機関、各団体など、利権をもつ団体に重い税率で課す。 我々消費者も同様、原発の電力を使っているとみなされれば、電力会社（または直接国）に支払わなければならない仕組みにする。（個人向けグリーン電力の制度を拡張して、原子力を使いたくない人は自由の選択できるようにもして欲しい。） 核廃棄物の処理と保管を、今後10万年行っていかなければならない代償は我々が払うべきである。 「オンカロ」という映画を見た。核のゴミが処理方法、保管場所も見つからないままどんど増加していくという現状はしっかり認識すべきである。国もはっきりと国民に明示するべき。 世界に先駆け新しい概念の制度を開発し、日本のとるべき役割をはっきりと世界に向け発信していく。脱原子力と、グリーンエネルギー技術の世界リーダーを実現し、経済的にも持続可能な成長を目指す。
57166	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロを支持します。	原発に頼らない生活をしていきたい。 出来る国になって行きたい。
57167	個人	自営業	40代	男性	再生可能エネルギーの導入に全力を注入し、ゼロシナリオを実現してください。	2030年までの原子力発電の全廃を希望します。どんなに安全対策をしても、想定を上回る地震が起きればすべて水の泡です。東日本大震災だって「想定外」だったそうですし、いつまたさらなる「想定外」が起こるかもわかれません。特設ページの比較表を見ると、いちいち「経済的負担が重くなってでも」と大きな文字で書かれてますが、ひとたびまた原発事故が起きれば、国民の負担はそれ以上のものとなるのです。そこにまったく触れずに、15シナリオに誘導するかのような書きかたをするのは、国としてアンフェアだと思います。
57168	個人	学生	10代以下	女性	ゼロシナリオ	電気は余っています。またもっと電力が必要なら、原発より安全な 風力、太陽光、地熱、ガス等無数にあるエネルギーにシフトして下さい。 30年では遅い、今すぐ廃炉を実行してください。
57169	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロ、脱原発を希望します！	こどもたちへ、生き物すべてへ、地球をまるごと任された大人は、何ができるでしょうか。 自然エネルギーを使って、豊かに穏やかに暮らしたいです。 原発ゼロ、脱原発を望みます。
57170	個人	家事専業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	今、政府は大規模な地震が起こる可能性を指摘していますが、そのような状態の日本で原子力発電所が存在していることは大変危険だと思います。原発は停止させても、使用済核燃料の保存に長時間を費やさなければなりません。ですから、できるだけ早く停止させることが大切です。 福島第一原発事故が起きてから、私たちの暮らしは変わりました。食品にも水にも気を使う日々です。このような思いを次世代にさせたくはありません。二度と事故は起こしてはいけないのです。少しでもその危険性があるものは使用してはならないと思います。 安全なエネルギーの開発に全力を注いでほしいと思います。
57171	個人	その他	30代	女性	2030年ではなく、即刻原発0%	原発事故後の政府の対応は後手に回っていて情報隠しにとられてもおかしくない状況でした。信用できない政府、電力会社に原発を任せておくのはとても危険な事です。
57172	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択します。	原子力発電所において事故が発生した場合の対応がまだ未熟だと思います。少なくとも放射性物質のハンドリングの技術が確立し、放射性物質の人体や食品への影響がある程度はっきりするまでは、安易に原発の運用は進めない方が安全です。絶対に廃止すべき、とまでは思ってないのですが、現在のテクノロジー及びデータのレベルは研究の段階であって、実際に運用するのはもうちょっと先な気がします。従って、運用の観点から原発を進めるのはちょっと待って欲しい、という思いから「ゼロシナリオ」を選択しました。
57173	個人	無職	60代	女性	1番の「ゼロシナリオ」が希望です。どのような対策を取ったところで原発のリスクは許容できません。原発に依存しなくても火力と再生可能エネルギーで持続的な経済成長は可能です。	原発はどのような対策を取ったところで、地震国日本では破滅的な事故の危険性があります。一方で天然ガスは可採年数の拡大が続いており、原発の代替は十分に可能です。また現在原発関連に浪費されているお金を有効活用すれば、環境負荷の少ない再生可能エネルギの開発も進むと考えます。
57174	個人	無職	50代	男性	原発ゼロのシナリオを支持します。 原発問題は、経済合理性に基づき判断すべきでテーマでは無く、人としての倫理観に基づき判断すべきテーマであると考えます。	原発問題は、経済合理性に基づき判断すべきでテーマではなく、人としての倫理観に基づき判断すべきテーマであると考えます。 放射能廃棄物の最終処理方法が確立していない段階で、経済的理由からこれ以上、原発に依存すべきではありません。 また、福島原発事故についても、未だ客観的な事実に元ずく技術的な検証がなされていません。 時代遅れにも拘らず不沈空母といわれ戦略の誤りを修正出来なかった戦前の軍部と政治家。原発の安全神話。足尾銅山の鉱毒事件。水俣のイタイイタイ病問題。すべて共通している問題は、いずれも政治が当事者の経済的合理性にとらわれた価値観に流され、人としての倫理観に基づいた政策決定をしてこなかったことの結果であると思います。
57175	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「原発ゼロシナリオ」で、即時0%を希望します。	三つのシナリオの中から選ぶのなら絶対、「原発ゼロシナリオ」を選びます。 大飯原発3号機と4号機は即時停止して、全ての日本の原発を運転再開せず、即時廃炉決定を直ちに行ってください。原発をゼロにするのは2030年まで待たないで下さい。即時実行することが大切です。日本は地震国です。原発の真下または近くに破砕帯・活断層があります。その為原発の即時廃炉が必要であり、使用済み燃料の貯蔵を即時、出来るだけ安全にする必要があります。 「もんじゅ」と六カ所再処理工場を含む核燃サイクル計画は直ちに廃止するべきです。「もんじゅ」は危険で将来のエネルギーにはなりません（高コストで技術的に無理）。六カ所再処理工場は危険で環境に悪く、高コストです。 今の「原発ゼロシナリオ」は不十分です。以下の修正が必要です: 温暖化対策を後回しにしない対策を取って下さい。 省エネの導入をもっと速く、もっと幅広く行って下さい。 電力のロスを無くし、無駄に捨てていた熱を有効利用する政策にしてください。電力の30削減、一次エネルギーの40%削減を素早く実現するよう目指して下さい。 再生可能エネルギーの導入ももっと速く行い、もっと多く導入してください。自然エネルギー発電で2020年には43%の発電電力をまかなってください。これは、既存の技術で行えます。 化石燃料の依存度を即時減らしてください。2020年までに、温室効ガスの25%を削減してください。（1990年比）。これは、既存の技術で行えます。 電力システムの改革や産業構造を転換するなど、具体的な道筋を示してください。 パブリックコメントのあり方: パブリックコメントは全て個人情報を外した上で公開するべきです。 パブリックコメント、意見聴取会、討論型世論調査は本来行う前にどのように採用するか述べるべきです。今後はそのようにして下さい。今回はこれから行うプロセスをガラス張りにし、校正な審議を行ってください。
57176	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持いたします。	原発は想定外でも事故がおきてはいけないもの。福島第一原発を収束できていない状況（人が入れない）で原発を再稼動をすれば、再度事故が起こったとき、封じ込める事が出来ない。安全担保が何も補償できていない。人間が住めなくなっている状態が原発の限界だ。代替エネルギーの水力、火力、地熱、波力、ガスコンバインに人、資金を帝京すべき。再生可能エネルギーにシフトするべきである。
57177	個人	学生	20代	女性	ゼロシナリオ、即時0%を希望します。	ゼロシナリオを選択します。原発に依存したくありません。ドイツにできたのなら日本でもできると思います。無理だとしてもゼロにするべきです。
57178	個人	無職	60代	女性	原発をできるだけ早くゼロにすることを希望します。 選択肢のゼロシナリオに近いですが、シナリオは温室効果ガス排出量規制を ゆるくみていることに異論があります。	原発は、その事故や使用済み核燃料棒の安全性に大きな問題点があり、命にかかわるリスクがあります。地震・津波を避けられない日本では、事故のリスクは多大です。したがって原発はゼロにすべきと考えます。 再生可能エネルギーと省エネの今以上の研究に舵をきりかえ、税金もその方向に使うべきです。そうした方法で地球温暖化を抑えることに全力を向けるべきと考えます。 以上
57179	個人	無職	50代	男性	原発ゼロシナリオを選択します	原発ゼロシナリオを選択します。 ・地震の多い日本では、配管だらけの現在の原発は危険過ぎる。 ・安全だと言って、まともな事故対策を怠ってきた電力業者に原発の安全な運用が出来るとは思えない。 ・事故が起きると多数の作業員が被曝してしまう。 大飯原発以外稼働していない、この夏でも停電は起きていないので、原発ゼロは可能だと思います。 電力の自由化を早く実現してください。原子力以外の電力業者を選びたいです。
57180	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望。今すぐ原発をゼロにして欲しい。もんじゅも廃炉にして欲しい。	私の作る手料理が、愛する人を内部被爆させているのかも知れないという不安、罪悪感を感じながらの日々。雨が降るたびに背筋が寒くなるような恐怖を感じます。安全確認すら不十分、電力は足りているのに大飯原発再稼動を断行。明日が見えない国。とてもじゃないが、子供を作る気にはなれません。しかし、未だ収束せず放射能の流出が続く福島第一原発の事故の影響下で、それでも生きていかなければならない、子供達、若者達のために、少しでも希望が持てる未来にしていただきたく、今すぐ原発をゼロにしていただきたいと切に切に願います。お願いします。
57181	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発0%シナリオを選択します。 未来世代として、可能な限り速やかに原発ゼロ社会を目指します。	放射能の汚染からの最大の避難と、 汚染された大地の最大の再生に全力を尽くすべきです。 原発輸出、原発再稼働にも反対します。 徹底した情報の公開・報道と、市民参加の促進を求めます。

57182	個人	パート・アルバイト	60代	女性	ゼロシナリオを支持します。 但し、2030年より限りなく早い時期に、全原発の廃炉を 希求します。	● ?国土が狭い。 ● ?地震国である。 ● ?活断層があちこちに無数にある。しかも未確定のものが ? ? 次つぎ発見されて、今ある原発の下にもいつ発見されるか ? ? 分からない。? ● ?火山国である。 ● ?テロに対して何も対処されていない。 ? ? 日本がミサイル射程距離内にある外交関係の無い国が近くにある。 ● ?使用済み核燃料の処理方法が確立されていない。 ● ?その処理方法がどうにも解決つかないまま、 ? ? 各原発の使用済み核燃料のプールが近々満杯となって行き場がない。 ?? ● ?もんじゅも、六ヶ所村も、まったく先の見通しが立っていない。 ? ? ?核燃料サイクルが破綻している。 ● ?技術をより良いものにするには、数多くの失敗が必要であるが、 ? ? ?原発は失敗そのものが許されないので、そもそも技術として ? ? ?成り立たない。 ? ? また、失敗したら、近づけず、失敗の理由さえ明らかに出来ず、 ? ? 次につなげることも出来ない。 ● ?事故の影響が空中、水中を通じて地球規模でどこまで広がるか ? ?? ? ? 分からず、又、今後何十年にわたるかも不明である。 ● ?この後地震が発生しないという最高の希望的観測の下で、 ? ? 福島原発事故を考えてさえ、今後日本国内の補償だけでなく、 ? ? 海外からの補償要求も考えられ、その負担は子々孫々にまで ? ? 及ぶと暗澹とせざるをえない。 ● ?ましてや、地球が地震活動期に入っているのではないかという ? ? 指摘さえある(nhk放送があった)のに、 ? ? ?又 原発以外の発電方法があるにもかかわらず、原発発電に拘って、 ? ?もう一回日本の何処かで福島原発事故と同じような事故が起きると、 ? ? 日本の威信は地に落ち、人、物の移動が制限され、それこそ ? ?日本人の生存さえ危ぶまれると、危機感を抱く。 ? ?? ? ??
57183	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発0%	これからの人達の為。 10万年という年数は安全が保証出来ない。
57184	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオがいいです。	外で遊べなくなるから。
57185	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。 2030年ではなく、できるだけ早期に全ての原発を停止・廃炉にするべきです。また、試算について疑問を感じます。	1.安全性の問題 地震国である日本で原発を稼働させるのは危険すぎるため。福島第一原発事故の原因が充分に検証されておらず、有効な対策も講じられていない中、大飯原発を再稼働させた判断が適切であったとは思えない。 また、仮に原発の耐震設計を見直して対策を講じたとしても、事故のリスクはゼロにはならない。ひとたび事故が起きた場合の多大な影響を考えれば、原発は順次廃炉にしていくべきである。 2. 原発のコストについて 試算には事故が起きた場合の賠償、補償、除染費用などは一切含まれていない。これらの費用は現段階では確定していないが、天文学的な数字になることは明らかである。つまり、原発のコストは、他発電方式に比して著しく「高い」ものである。 3. 省エネ・再生可能エネルギーについて 試算では省電力1割となっているが、比率が低すぎる。基本問題委員会の議論では2030年30%程度の削減も可能という試算も意見として出ていたそうです。現在の個人・法人による節電の努力を続ければ、3割程度の省エネは可能なのではないか。 また、再生可能エネルギーの導入率も低い。現在、太陽光発電および風力発電の新規参入はかなり進んでいると聞く。また、地熱発電所建設にかかる規制が緩和されるなど、再生可能エネルギーへの市場の投資が増える材料は多く、割合を高く見積もる事ができるのではないか。 4. 核廃棄物の処理について 核廃棄物の再処理には反対します。また、原発から生まれる放射性廃棄物の放射能レベルが生物に無害になるまでに、最低10万年を要すると言われています。福島第一原発事故で子どもたちの育っていく環境を汚染してしまったうえ、次の世代に「核廃棄物の管理」という負の遺産を背負わせてしまっているのが現状です。今できることはなるべく早期に全ての原発を廃炉にし、「負の遺産」を可能な限り増やさないことだと思います。 以上の理由により、「原発ゼロシナリオ」を支持します。
57186	個人	家事専業	50代	女性	私は、ゼロシナリオを強く、強く望みます。福島原発の事故は起こるべくして起きたと確信しています。	私はゼロシナリオを強く望みます。福島原発の事故は起こるべくしておきました。人間に核を安全に扱えると思うのは奢りでしかない。安全確保のためにどれだけ努力しても100%安全は不可能なのです。たとえ、1%のリスクであったとしても私は原発以外の未知を模索すべきだと思います。これからはそれを目標に技術を発展させ、政府も国民も一丸となって知恵を出し合い、原発のない社会を目指すべきです。1%のリスクだけでも、ひとたび事故が起きるととんでもないことになるのは今の福島を見れば明白です。どれだけ私達福島県民が苦しんでいるか、政府はそのことを他人事のように思わずに真剣に考え、共感すべきです。国民をこんな目に合わせておいて、国の経済発展なんてありえません。 今までのように、エネルギーを大量に使ってものを作り出し、ゴミを増やし、資源を使い果たし、そんな経済発展はいりません。そうではなくて、もっとこの先何千年も何万年も、私達の子孫が長い間この美しい地球で自然に囲まれながら暮らせるような未知を探らないと行けません。昔から日本人は、自然と共存し無駄を出さない生活の知恵と精神がありました。その精神でこれから再生可能エネルギーの技術開発に力を入れ、海外には原発を売りつけるのではなく再生可能エネルギー等の分野で協力するべきです。私達国民一人一人も、これまでの電力使いたい放題の生活を見直す必要があります。そのためには「我慢」を求めるのではなく、少ないエネルギーで生活することがどれだけ人間を豊かにしてくれるかという点を強調して、消費エネルギーを減らしていってはどうでしょうか。 例えば、ヒートアイランド現象を作り出す一極集中型の都市環境から、もっと地方に人が分散して、広い土地でゆったりくらせるような環境をつくる。その上で、全国的に労働時間を短縮すれば、夕方6時には家に家族が揃い、夕食を家族みんなでゆっくとったり、近くのコンサートホールや映画館に行ったりもできる。週末は庭野畑で野菜をつくったりしてなるべく自給自足の生活ができるようにする。かなり、理想で暮らしですが海外では、人々は現金がなくても人間的に豊かな生活を送っている人はたくさんいます。 日本も、エネルギーとものを大量消費し、毎日あくせくして働くことをしなくて住むような暮らしにすれば、エネルギー消費も全体的に減らせるはず。 昨年の震災を原発事故で、私達は暮らしを変えなければなりません。価値観を変えなければいけません。パラダイムシフトをしないと、今私や家族を含めて多くの人が大変な思いをして暮らしている、その苦労が無駄になってしまいます。 どうか、ゼロシナリオで日本を素晴らしい国にしてください。
57187	個人	自営業	30代	男性	国のエネルギー政策の原子力発電の割りあいを0%にしてください。	私は原子力発電を使わずに、日本の電力をまかなうべきだと考えます。 環境に影響の無い、再生可能発電を充実させ、危険がともない、自然界や人間に放射能や放射線で悪影響を与える原子力発電は0%にしたいと思います。 コストの面でも、廃棄物の処理やプラントの維持に莫大な費用がかかるというデータもあり、原発に全く依存しないエネルギー政策が一番良いと思います。 日本のエネルギー政策の原子力依存は0%でお願いいたします。
57188	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発シナリオ0を希望	廃炉の技術が確立されていない原発を動かすことに疑問。すぐには無理かもしれないが、将来的に原発0にすべき。小型天然ガス発電や、自然エネルギーへの転換を。小さな風車や水車を利用した小型発電などで、エネルギーの地産地消を。大がかりな送電せんは必要ない。
57189	個人	パート・アルバイト	30代	男性	(1) ゼロシナリオ　のみを要望します	制限された情報だけを見ていても、そんな悠長なことをいっている時間も余裕もないように思います。 豊かな生活はそれはいいですし手放したくはありませんが、その分、未来の犠牲が大きいということはこの一年半でよくよく感じさせられましたし考えさせられました。 今起きている福島の問題だけでもとてつもなく大きな問題に見えます。 私はその前から反原発派の人達の存在は見聞きしていましたが、深く考えることはありませんでした。 私のような人間が多くいた結果として、それが福島の今の問題として反映されたのだと思っています。 もうそれだけで十分すぎるぐらいの理由です。 取り返しのつかない問題をまったく別次元のものと天秤にかけること自体がおかしいと考えるようになりました。 取り返しのつかない問題とは原発の危険性です。 そしてそれと比べるものではないという別次元のものとは、経済を主とした豊かな生活とか、それによる満足というものです。 満足は心と体が健全でさえあれば後でどうでもなるものだと思っています。 今はそれすらも危ぶまれている状態に思えます。 そうした可能性が常に存在しうる原子力は、とにかくすぐに止めるべきだと思います。 人が健全でさえあれば、その代替え的なものはどれだけでも可能性はあるだろうし、そちらを見るべき、信じるべきだと思います。
57190	個人	会社員・公務員	30代	女性	全原発即廃炉希望。	福島原発事故が何の収束も迎えてないどころか、環境に甚大な影響を及ぼしたのにも関わらず、政府も東電も何の責任もとってないのはおかしい。あれだけ危険だと言われた大飯原発も再稼働とか、正気の沙汰ではない。原発みたいな負の遺産に執着せず、即廃炉。他の発電方法を選択すべきです
57191	個人	その他	60代	女性	原発0%、即時廃止	どうしようもできない核廃棄物が貯まっていく。未来の子どもたちのためにも、これ以上増やしてはならない。
57192	個人	パート・アルバイト	40代	男性	0パーセント	福島原発事故の原因解明も対策も出来てい無い。 2030年では無く、全て即時廃炉。 他のエネルギー政策を早く立てるべき。
57193	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発0%　使用済み核燃料の再処理止める	原発は、まったくいりません 原発はゼロ%で、いいと思います。 省エネして、自然エネルギーを利用すれば 原発は必要ないはずです。
57194	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発ゼロシナリオ 即時0パーセント	人体に一生の悪影響があるため 即時撤廃そして、エネルギー転換へ
57195	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ。ただし、エネルギー選択上重要な「4つの視点」および持続可能性の原則に基づくと、電源構成は最終的に再生可能エネルギー100%以外にありえず、それに向けて全速力で取り組みを進めるべきである。	3つの選択肢から選ぶとすると、ゼロシナリオしかありえない。 ただし、「エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点」ならびに持続可能性の原則に基づくと、電源構成は最終的には再生可能エネルギー100%を目指す以外にありえず、それに向けて全速力で取り組みを進めるべきである。 再生可能エネルギーは ・省CO2 ・純国産エネルギーとしてエネルギー安全保障に資する ・化石燃料価格が上昇トレンドを描いていく中、今後もスケールメリットによる発電コスト低減が見込める ・社会的費用が比較的小さく、地域分散型でニアイズベターなエネルギー構造と社会づくりが可能である といった点で他の電源に比べて優れるため、全力でこの分野に対して投資することによってその供給力を確かなものとし、日本の新たな成長分野、経済成長の活力源としていくことが必要である。 電源構成は再生可能エネルギー100%を基本として、その中でのベストミックスと様々な発電（蓄電・配電）方法により、安定的な電力供給を図ることとする。 なお、それに向けた取組を進める中でも、特に原子力発電は速やかに停止し廃炉を進めるべき。 これは、 ・現時点の原子力発電は、最終処分の方法が確立されておらず、運転するごとに新たに対応不能な廃棄物が生じる（発電コストの算定も不可能） ・したがって、未だに他の発電方法と同じ土俵で比較できるオプションとなってはいない ・後世に放射性廃棄物を押し付けること、事故のリスクを立地周辺住民に押し付けることなど、発電を通じた便益とリスクの（世代間および地域間）配分に著しい不公平があり、非倫理的な発電である ためである。 また、将来のエネルギー構造に関する国民的選択であるならば、電力だけでなく熱等も含めた供給・消費のビジョンを描く作業とするべきであり、現在の議論・選択の内容は不十分である。

57196	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電には反対です。	事故が起こる起こらないに関わらず、放射能汚染の被害を今後もずっと抱えて行くことになることに反対だからです。
57197	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します！！！	私たちは、便利すぎる世の中で大切な事を見失いそうになっています。 私の世代でも、下の世代でも、考える力がなくなっています。 原発の事も然り、どちらでもいい、電気代が高くなるなら動かしちゃっていいという人が大多数ではないかと思うくらいです。 しかし私は、自分の子どもには、ちゃんと自分が生かされている事に感謝する心を感じる事、何を大切にしなければいけないのか考える力を失って欲しくありません。 大切にしなければいけないのは、今自分たちが生かしてもらっている土台、地球、そして自分です。 ないがしろにしてはいけないと思います。 原発に関わるお仕事の方がたくさんいらっしゃいますが、皆で知恵を出し合い、助け合い、他のお仕事を作り、またその間まではその方々が生活を維持していけるだけの補償もお願いします。 きれいごと、簡単に言うけどと思われるかもしれませんが、皆でやればできるのではないかと思います。 話はそれましたが、原発に頼る生活はしたくありません。 今までに感謝し、これからは原発とはさようならをしたいです。 どうか、宜しくお願いします。
57198	個人	無職	70代	男性	国内の原発は即時停止し、廃業。新増設は論外。福島の事故の原因も明らかにしないまま原発は安全だとかいうでたらめはやめてほしい。新エネルギー開発に日本の技術力を生かし、世界に売り込むチャンスにしてほしい。	原発が安全だというのなら、事故が起きても補償全額が支払われる額の保険に入れてもらえるはず。保険屋さんだって、ペイする顧客がいれば放っておかないはず。過去にたくさんの不正、手抜きをし続けてきた東電の原発の扱いその他を見たら、危なくてとても「保険に入ってください」なんて、どこの保険屋だって言えなかったのではないか。 柏崎刈羽原発で、中越地震で変圧器の火災が起きた時、何時間も放置されるのを見て、「日本の原発の安全って、この程度のものなんだなぁ」と。福島では神風が吹かなかったら、新潟も多分住めなくなっていたかもしれないと思っている。私個人は、もういつしんでもいい年だから、どうでもいいやという気分にもなるが、幼い子供を持つ親の不安や、子供の未来を考えてくれる政治家や、官僚、企業、学者、裁判官などが増えてほしい。 脱原発を即開始して、新しいエネルギー産業に日本の技術力を発揮するチャンスにしてほしい。もたもた・後手は日本の未来を一層暗くすると思います。
57199	個人	自営業	30代	男性	(1) ゼロシナリオを選択します。	現在、電気は足りている。むしろ、余っている。大飯原発を稼動し、それ以上の発電量があった火力発電を止めたことで明らかである。 関西電力管内以外で稼動している原発はないが、どこも停電しておらず、日本全国で電気は足りている。 今なお福島から放射能が放出され、核廃棄物の保管場所すらなく、処理方法も未だに確立されていない以上、今後は事故の収束、54基の原発の廃炉作業、処分場の確保、再生エネルギーの開発に力を注ぐべきである。 放射能を拡散することなく、2030年には、福島であれだけの事故があったけれど、そこから学び、原子力に依存せずとも豊かな社会を再構築した日本になっていることを望みます。 それが世界に胸を張って先進国と言える姿であり、事故で被害に遭った方々の気持ちを報いる唯一の方法であり、そこではじめて事故を克服したと言えると信じています。
57200	個人	自営業	30代	男性	即時原発ゼロを求めます！！	ゼロシナリオを！即時原発ゼロを求めます！！ 自然エネルギーだけで生きていけます！

整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
57201	個人	会社員・公務員	30代	女性	今後のエネルギー政策は速やかに原子力からの完全撤廃を目指すべき。	東日本大震災後起こった、福島第一原発のメルトダウン事故は未だ収束しておらず 家に帰れない人達がいるだけではなく 子どもや女性、すべての生命の健康に被害を与える可能性をはらんでいる。 大地震がいつ起こってもおかしくない日本で原子力発電を続けようとするのは狂気さえ感じる。原発はいらない。即刻廃止を求めます。
57202	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	科学の力では制御できないものであることを、人間にはどうすることもできないものであることを、福島第一原発の事故でまざまざと見せつけられました。 いつまた大きな地震が起こるかわからない状況で、このまま原発を動かし続けることは、日本だけでなく世界にとって非常に危険なことだと思います。 原子力が複雑に社会システムに組み込まれ、それに依存する産業、企業、労働者が多数存在する現状では、それが難しいことは理解できます。 原発推進派の方たちが、資源の乏しい小さな島国である日本の将来を憂い、国際競争力をどう維持していくのかを真剣に考えていることも理解できます。 私には計り知れない様々な困難が、原子力発電の停止と原子力産業からの撤退によって、日本を襲うのでしょう。 きれいごとだけでは、国を維持できない、守っていけないということもわかります。 それでもやはり、政府には、原発ゼロシナリオを選択する英断を見せてほしい。 このまま原発を持ち続けることは、地球を危機に晒し続けることです。 唯一の被爆国であり、世界有数の地震国である日本が、まず脱原発を成功させ、世界の模範となるべきなのではないでしょうか。
57203	個人	家事専業	30代	女性	原発依存0%、即時原発の稼動の停止、 速やかに全面廃炉にすることを強く希望します。	安全とはいえないエネルギーを日本からなくしてほしい。 子供たちの未来のために。
57204	個人	会社員・公務員	30代	男性	未来にとって負の遺産となる原発を「残さない・増やさないもの」であると定義付けるべき。	フクシマでも「想定外」という言葉が多々使われたように、今後も不慮の事態が起こる可能性、またその際に原発が我々にとってコントロールし切れないものであることは否定できない。以上の観点から、原発は未来にとっての負の遺産である。 一方で、これまで依存してきた全ての原発を止めることが、新たな不慮の事態を招く可能性もあり、こちらも更なる検討が必要。 重要なのはフクシマを経験した我々が、現時点で原発を「未来に対して残すべきではないもの・増やすべきではないもの」を定義付け、最終的には原発依存度ゼロの未来に向かって、国民一人ひとりに考察と行動を課すことである。
57205	個人	家事専業	50代	女性	希望は「0%」。地球規模の気候・地殻変動が頻発の昨今を鑑みれば、複数のプレート上に位置する日本は、長いスパンで考えれば危険度のより低いエネルギー供給システムに変換すべきと考えます	2030年の原発依存率について 結論から申し上げれば、希望は「0%」。今から18年間で原子力に変る代替エネルギーの問題がクリアにならないのであれば、「限りなく0%に近く」あってほしいです。 数日前に日本と同様に火山国であるニュージーランドで115年ぶりに火山の噴火がありました。 数年前にはスペインやアイスランドなどでの火山噴火もあり、気候変動・地殻変動といった地球規模の異変が頻発しています。昨年3.11の大震災しかり、それは人智をつくしても予測、予防ができませんでした。 原発敷地内に活断層があるとかないとかではなく、日本列島が複数のプレートの上に位置するのですから、長いスパンで考えれば安全性の高い…というより危険度のより低いエネルギー供給システムに変換すべきと考えます。現在の人類の利害だけでなく、将来未来の人類に不の遺産は残してはいけない。 また、稼働をやめたとしても廃炉や最終処分場の管理に安全性や資金を投入し続けなければならない原子力は金喰い虫以外の何ものでもない。 電力会社としては大量の資金投入した施設を運用しつづけたいのでしょうが、その事故で経営難になったと料金の引き上げをされるのは腑に落ちない。事故の度に都合の悪い情報を隠し続ける体質も改善されない。新たな危険度の低いエネルギーへの変換のための料金値上げなら喜んで受入れられます。 東電が公費投入により事実上、国の管理下に入った今こそスイッチする好機。国のエネルギー方針として新たなエネルギーシステムへ舵をきる時だと思います。疲弊しているといわれる産業界ですが、日本の技術力と英知をもってすれば何とかなるのではないでしょうか。ただただ産業界や政財界が構築されたシステムの「変化・変革」ということを避けているように思えます。 別の側面として、国として原子力の最先端技術の保持をしたいのであれば、民間でなく公的研究機関などで研究を続ければいい。 昨年大震災における福島原発事故を通じて、原子力は、営利目的の民間企業が保有・運営・管理するには危険すぎるものと認識させられました。 そももそも「トイレのない住宅」と形容されるように、最終処分場の決定がなされないままに稼働をつづける事業というのは大いに疑問です。
57206	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発割合2030年までに0%。	原発割合2030年までに0%。原発の100%の安全が確保できない以上、やむを得ない。事故が起これば結局高くつく。
57207	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロです。	理由 ・原発は危険 ・原発は非経済的 ・原発は独占と隠蔽を生む
57208	個人	無職	70代	男性	原発開発費を自然エネルギーに転換すべきである。	発開発費を自然エネルギーに転換すべきである。 原発は安いは本当でしょうか、国などの補助金など勘案すると安価とは言えないのではないか。即刻自然エネルギーに転換が必要。
57209	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを要望します。	ゼロシナリオを要望します。 ・再稼働はしないでください。 ・子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください ・もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 ・もっと自然エネルギーを推進してください。 ・既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。 再処理の廃止を決めてください。 以上
57210	個人	その他	40代	女性	10年以内のできるだけ早期に原発ゼロシナリオの実現を願う。現シナリオでの温暖化対策は不十分、使用済み核燃料の再処理についての記載もなく、全国各地で丁寧な学習とコミュニケーションと論議が必要だ。	福島第1原発事故含め過去の原発事故発生とその後の経過を考えるに、人類や地球に及ぼす被害は、無限大無期限に大きく、日本国内に留まらない。このようなエネルギー源にこれまで投じてきた膨大な経費や、これからの設備の通常メンテナンス以外にしっかりとした事故や震災対応設備が必要なことを考えれば、自然エネルギー主体で暮らせるまちづくり設備投資をすべきである。一国民の立場でいえる事はただただ一人一人のいのちと自然を守るエネルギー政策を願うばかりである。
57211	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力を用いた施設、特に発電所はその稼働もしくは再稼働を断念し、代替機能の模索を今以上に国力を傾けて取組むべきである。	原子力は人間の手に余る技術だと判明した。言い換えれば、人類にはまだ、原子力を最後まで制御できる知識も技術力も備わっていない。有事の際の事故収集、現状復帰、その能力が備わっていない。使用済み核燃料の処理も然り。 自然の火と違い、核の炎は人類の手に負えない代物である。 核技術の発展は断念し既存の原子力発電所は稼働を停止し、また再稼働を断念すべきである。 異存があるならば、政府、及び電力業界は福島第一原発の10km圏内を現状復帰させて、原子力は制御下にあることを証明してみせるべきである。
57212	個人	学生	20代	男性	2030年までに原発「ゼロシナリオ」を支持します。 一旦事故が起こった時の危険性と10万年残るされる放射性廃棄物の影響を鑑み、原発を遅くとも2030年までに、一刻早くゼロにするべきだと考えます。	原発は 1. まず、原料となるウラン鉱山で、採掘する労働者を被ばくさせ、周囲の環境を放射能で汚染する。 2. 日本でも、都心で使う電気を作るため、地方の貧しい地域に危険な原発を押しつけている。 3. 原発内の作業には被ばくをせざるを得ないものも多く、補償も受けられない末端の立場の弱い労働者が、経済的理由によりやむを得ず、または知識がないため、自分の身を危険にさらして作業にあたっている。原発の稼働はこのような作業を前提にしている。 4. 原発は、一旦事故が起これば、国民の健康と生活を破壊し、国土を居住不可能なものにする。福島の事故でも、首都圏が居住不可能になるほどの大量の放射性物質が飛んでくる可能性も十分あった。 5. 日本は地震大国で、現在地震活動期に入ったとされている。国内の原発で、大飯をはじめ複数の原発は活断層の上に建てられているとの指摘がある。 6. 原発から出る照射性廃棄物の影響は10万年残るとされる。 以上の理由から、一刻も早く原発ゼロを実現すべきである。 政府は、ドイツや北欧の先例からも学び、また日本独自でも、研究開発を促し、省エネルギーと自然エネルギーを推進するべきだ。また同時に、自然エネルギー普及の前提となる発送電分離を行うべきである。
57213	個人	会社員・公務員	30代	女性	3つの選択肢「原発ゼロ」を選択。 ただ、本当に選びたい選択肢は18年後でなく、すぐにでもゼロの選択肢を選びたいです。	まだまだ省エネルギーの対策としてやれることはたくさんあると思います。 建物の省エネルギー化などもしかり。 東電も原発ONLYに走り出す前は、エネルギー未来という部署があったと聞きます。原発に依存しない建物や仕組みを考えていたそうです。 東電に限らず日本には省エネルギーに対する技術をたくさんもっています。 だから可能だと思います。 もんじゅは、なにかあったときに対応できないのだから、できるだけ早く廃炉にするべきだと思います。廃炉技術も日本の新しい技術になると思います。 学生の時、放射線学科にいました。だから、放射線の怖さ、危うさは、一般の方よりも分かっているつもりです。 講義でならった放射線障害は東海村の例でも正しかったです。 DNAの損傷は医療技術がどんなに進んでも対応できるものではありません。 フクイチの怖さはこれから。 人間がコントロールできないものに手を出すべきではないと思います。 対応できることから、対応できるもので取り組みたいです。
57214	個人	自営業	30代	女性	核被害を唯一知っている日本から原発全てを無くして下さい。政府が国民に安全を保証して作ったもの。止めるのは国民の意見も反映されるはずであり、原発がなくなったあとの失職者サポートは政府が行うべき義務です。	上記に書いたとおり、私たちは核兵器の被害を被った世界唯一の国であり、民族です。 あのとき、「アメリカに実験された」とうたった人たちは何万人もいたはずだ。 そして今は、「日本人は日本政府に実験されている・」 そういっても仕方ないでしょう。 危ない・危険・怖い。 世界発の長期内部被爆の実験台にされているといっても過言でない今を生きる私たちは 何に望みをもって、何を楽しみに子供たちを育てればいいんでしょうか？ オリンピックの開幕式で、ガレキにのブローチを付けた日本選手団は世界中から 「非常識」と言われました。それは個々人の判断ではなく、日本政府の判断・正式な情報通知が行き届いていないからではないでしょうか？ どうか「誰も笑顔にならない殺人器」を、これ以上稼働・推進しないでください。 いまや小学生でも「原子力発電はわるいもの」とわかっていますよ。
57215	個人	自営業	50代	女性	現状では原発に対する不安が増大するだけなので、原発の稼働は止めてほしい。	想定外の事故、攻撃に対する危機管理態勢、核廃棄物処理の安全性に対する信頼、それを大半の国民が納得できなければ原発を稼働するのはやめてほしい。不安が増えるだけです。
57216	個人	法人等	40代	男性	原発を安全に管理していくには、科学的見地に基づいた正しい運用が必要。日本の社会システムでは、法律は骨抜きになり、御用学者が登用されて、原発は危険にさらされてしまう。よって原発ゼロシナリオを支持する。	原発を安全に管理していくには、科学的見地に基づいた正しい運用が必要。日本の社会システムでは、法律は骨抜きになり、御用学者が登用されて、原発は危険にさらされてしまう。社会システムは国民性もありそうは変わらないので、日本人には原発を安全に管理することはできないと割り切って、今すぐにすべての原発を稼働停止し、速やかに廃炉にすべき。このように考え、原発ゼロシナリオを支持する。
57217	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電所は2030年までに全廃すべきと考えます。	理由は以下の通りです。 (1)日本は地震大国です。世界の中で、原子力発電所を運営していくには、特に不利な場所です。(2)想定していない危険を見つけたら、原子力発電所を廃止するような政治力が、日本にない。 (3)原子力発電所を廃止するときめれば、代替技術への投資や、技術革新が進み、無しでやってゆけるようになる。
57218	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ただちに全面稼働停止	すべての地震を止めてくれれば、稼働を許可することを考えても構いません。
57219	個人	家事専業	30代	女性	原発稼動ゼロにしてください。もんじゅは廃炉して下さい。	地震が来ると事故が起きるリスクが高いこと。老朽化していること。技術が古く、人海戦術的な部分が多いこと。技術者が減ってきていること。電気は足りていること。事故がおきると払う代償が高いこと。国際的に核保有国とみなされること。
57220	個人	学生	40代	女性	原発依存率、ゼロパーセントを選択します。	1.核と人類は共存できません。広島・長崎の被爆者がいまだに苦しみ続けています。 2.日本列島はどこも地震の影響を受けやすく、安全な原発はありません。 3.使用済み核燃料の処分方法がありません。 4.自然エネルギーに転換するために、まずは原発依存度をゼロにすることを決断し、技術開発に資金を投入すべきです。ドイツではそれができているのですから、日本でもできるはずです。
57221	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	他のシナリオで先送りされている廃炉費用と放射性廃棄物処理費用、それにいつまでも背負い続けることになる原発事故リスクまで考えれば、この案が最も経済的だと思われるからです
57222	個人	家事専業	30代	女性	エネルギー政策について、原子力発電を停止し、自然エネルギーを推進してください。	現在も原子力発電による電気の供給が行われていますが、福島第一原子力の事故を踏まえても、安全と言い切れません。 人間の作り上げたものは、自然の前には無力です。 事故があって、どれだけの国民が放射能汚染の脅威を感じて生活を余儀なくしているか考えて欲しいのです。今後第二の福島を生む前に、エネルギー政策の見直しをお願いします。 日本には原子力の代わるエネルギーを開発研究し、発信していただけの知識・能力そして責任があります。どうか自分達を信じて、より安全なエネルギーを生み出していきましょう！
57223	個人	無職	80代以上	男性	2030年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢は三番目のゼロリスクのみ有効なものと主張します。	政令で定める要件の (1)「実用発電用原子炉（※1）を設置する原子力事業所から 30km の区域の全部又 は一部をその区域に含むこと」(2)「原子力災害に関する地域防災計画を定めている こと（※2）」は 2 つとも適切ではなく、「実用発電用原子炉（※1）を設置する原子力事業所から 200km の区域の全部又 は一部をその区域に含むこと」だけであるべきと考えます。 実際に福島原発の事故において原発から 200km 程度離れた千葉県、東京都において、健康被害が懸念され、除染が行われる必要があるほどの高濃度汚染地帯が発生したので、この程度の距離の自治体が防災業務計画の作成・修正に無関係ということはありえないと考えるからです。

57224	個人	会社員・公務員	30代	男性	0%シナリオで	放射性廃棄物等　次世代に負担を残すべきではないとかんがえます
57225	個人	自営業	40代	男性	原発は再稼働をしないで、将来の原発比率はゼロシナリオで行くべきです。	原発事故は天災だけでなく人災、テロ等を考慮した場合、100%防ぐ方法は無く、事故が起きた場合の対策（住民避難、情報うの周知、水や食料の汚染、および法律など）は不十分です。現在は単に津波だけの対策で原発を再稼働することしか考えていません。 また、未だに解決できない核廃棄物の処理問題もあり、原発は国民の健康・財産を脅かすものであり、原発に依存した社会は考えられません。 代替エネルギーはガス、石炭等の火力発電、自然エネルギーとなりますが、コストや地球温暖化の問題点があると思いますが、限られたた条件の中で工夫しながら技術の進化が進むことで、 ば問題は解決すると思います。
57226	個人	会社員・公務員	60代	女性	3案の中では原発ゼロシナリオを支持するが、なるべく早くゼロとすることを求める。ゼロ以外のシナリオで安全なものはない。再稼働を見合わせ、既に稼働したものは再停止し、最終的にすべて廃炉とすること。	意見 ・この3案の中では2030年までに原発ゼロシナリオを支持します。 ・しかし、2030年といわずできるだけ早い時期に原発ゼロとすることを求めます。3案以外で、できるだけ早く廃止する案を提案します。 ・安全が確保できない原発は存在するべきではないので、再稼働はせず、大飯原発は再停止し、すべての原発は廃炉作業に取りかかってください。 理由 ・古川大臣はNHKの討論で、この3パターンは単に議論のきっかけとして提示しただけで、今後専門家会議などで他の案が出てきて議論の末他の結論になるかもしれない、というようなことを発言していました。ではなぜ3択で選ばせてこんな議論をさせて視聴者アンケートまでとるのかというと、国民みんなに考えてもらうためだそうです。それなら今まで隠してきた情報を全部開示し、国民的議論を起こし、国民投票をするべきです。ただし、国民的議論の果てに国民の声を押し切って政府が原発をどんどん稼働させ推進してしまうことだけはやめてください。国民投票をしてその結果を尊重するべきです。 ・原発ゼロ以外のシナリオでは日本の安全は確保できません。地震国日本ではいつまた福島第1原発と同じ事故が起きるかわかりません。再度起きれば、特に西日本で事故が起きれば、日本国内に安全に暮らせる場所はなくなります。 ・原発を廃止すると産業が衰退するという脱は根拠が曖昧です。ゼロ以外のシナリオの支持者はこぞって電力不足、値上げ、産業衰退を言いますが、この暑さの中、我慢しながらでも何とか持ちこたえていることを考えると、不足はカバーできそうです。また今回の電力値上げは原発事故によるものという認識を持っています。代替エネルギーにすることで原発事故ほどのコスト高騰があるとは考えられません。また、原発関連産業をそのまま代替エネルギー関連産業に振り替えれば、新たな産業振興になります。 ・原発のない社会は非現実的という脱があります が、代替エネルギーの確保、原発関連産業の従事者の転職の手配、廃炉技術の確立、核廃棄物処理方法の確立を粛々と進め、再稼働見合わせ、再稼働したものは再停止、建設中のものは計画中止とすることは極めて現実的です。 以上
57227	個人	その他	40代	男性	原発は0%でいいです。原発即時停止、廃炉すべきである。今原発につぎ込んでいるお金があれば、再生可能エネルギーは、急速に展開できると思います。	3．11から1年5か月が過ぎ、福島をはじめ日本中に放射性物質がまき散らされました。2030年原発0%という呑気なことを言っている間に、地震で原発事故が再び起これば、日本いや地球では人が住めなくなるかもしれません。そんな危険なエネルギーに、頼らなくても手立てはいくらでもあると思います。本当は、どうなんでしょうか？政府・電力会社・原発村の人々・経団連の人たち、組織を離れ、一人の人間（個人）とすれば誰一人原発を動かしていいとは思っていないと思います。金のため？メンツ？組織のため？どんな理由があろうと、3．11を経験した者は、未来の子供たち、未来の子孫のために今真剣に考え、決断しなければならないと思います。祖先が、残してくれたこの自然を、子孫に引き継ぐ義務が私たちにはあるのです。 原発がなくても人類は生きていけますが、自然がなくなれば誰一人生きて行くことはできません。人が一人もいなくなれば、経済もくそもないのです。 今を生きるものとして、未来の子供たちにこれ以上核廃棄物（核のごみ）を押し付けてはいけないと思います。
57228	個人	その他	30代	女性	0%支持。福島原発事故から、原発が人間に制御不能な破綻したシステムであることは明白。放射性物質拡散と汚染を引き起した罪は重い。原子力発電は即刻全廃すべき。その上でエネルギー政策を議論していくべきだ。	私は、ゼロシナリオを支持します。 福島第一原子力発電所における事故は、1年半以上が経過した今もなお、収束からはほど遠い。先月提出された事故調査報告書からは、いまだ事故原因と経過について、なお不明な点が数多く残されていることが判明した。 とりわけ、放射性物質による国土の汚染、土壌、海、河川、水、食物、人体の汚染の問題は最も深刻である。日本という国家の国土、そこに住む人間の社会生活の危機、という問題としても深刻な問題だが、それだけではない。福島第一原発の事故は、人間が、産業・経済発展という私利私欲のために創り出したこの原子力発電のシステムを制御しきれないことを露呈し、さらに、それによって自然に対して取り返しのつかない、責任を取り切ることのできない暴力を働いたことを意味する。そして、今も拡散し続けている放射性物質は、制御するすべもなく、世界中に拡散している。その意味で、原子力発電という爆弾をいかに安全に処理するか、という問題は、国際社会に対して日本人が果たさなければならない責任である。 このような問題を抱えた原子力発電は、すでに破綻したシステムと技術であり、そこに未来はない。したがって、原子力発電は即刻廃止すべきであり、今議論すべきは、どのようにして廃炉、核廃棄物の処理を進めていくか、その方法であると考える。この点については、エネルギー・環境会議の問題の設定の仕方にも多いに疑問がある。福島原子力発電所を受けて今後日本の原子力発電所をどうするか、という問題は、単に産業や生活に必要なエネルギーをどこから調達するか、という選択の問題ではない。前述のように原子力発電は破綻したシステムであり、その廃止・処理を前提に、では、今後どのようにしてエネルギーを確保していくか、を議論・考察していくべきである。 また、本題とは離れるが、このパブリックコメント募集の基礎資料として提出された「エネルギー・環境に関する選択肢」と題された提言書だが、これに著者名が明確に示されていないことは、批判されてしかるべき問題であることを指摘したい。著者名が示されるべきところには「エネルギー・環境会議」とのみあり、当会議の設置にかんする別の文書でも、議長・副議長・構成員がいずれも役職名のみ示されており、実名が記されていない。これは、文章の責任を回避する卑劣な行為である。
57229	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	未来の予測がどこまで可能なのか分りませんが、将来の世代にはできるだけ不安は残したくない。そのためならば負担が重くても仕方ないです。事故を体験した人々の思いが風化しないうちに、早急に取り組んで行くべきだとおもいます。
57230	個人	学生	30代	女性	提示された3つの選択肢のどれにも反対し、全原発の即時廃止が必要だと考えます。	理由は、3つあり、1．日本の地理的要因、2．事故対応の不徹底、3．倫理的また歴史的理由です。 1．日本は地震大国であり、現在の原発も活断層の上にあることが多数指摘されています。福島第一の事故でも明らかになったように、地震や津波に100%安全な原発は不可能です。次の地震はいつあるか分かりません。即時廃止が必要です。 2．福島第一の事故で明らかになったように、仮に事故が起こった場合、その被害は広範囲に甚大で、かつ長期に取り返しのつかない影響があります。そして、それをもたらしたのは、東電、政府、自治体行政の対応の不備によるところが大きく、またそれへの反省、改善もないまま大飯原発の再稼働が行われており、今後も事故が起これば同じことが起こると考えられ、人々の安全がまったくないがしろにされています。 3．原子力、また核は、小さな事故でも人間のコントロールを離れれば、取り返しのつかない人的被害、また地球環境被害を産み、一国だけではコントロールできない、倫理的問題を大きく抱えています。また、日本は最初にそのコントロールできない力が人に対して原爆という形でもたらされた歴史的背景を負っています。そういった背景も考えて、いち早く核から脱することが日本には必要です。
57231	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロです。	理由 ・原発は危険 ・原発は非経済的 ・原発は独占と隠蔽を生む
57232	個人	その他	40代	男性	2030年の電源構成に占める原発の比率は(1)0%にすべき。	(1)災害や事故があったとき被害の規模を予測できない。例えば、旅客機が海に墜落したら、それは大変な悲劇である。悲劇ではあるが、最悪被害は乗客全員死亡で留まる。原発は被害の規模が何千年、国土の何割といった予見不可能なスケール。よって対策のたてようがない。事故が起こらなくても放射性廃棄物についても同様。人間の守備範囲を超えている。 (2)再生可能エネルギーは未知数であり、それに託す未来は楽観できないが、原発は、閉塞状況にある日本の経済社会、既得権益の象徴である。再生可能エネルギー、スマートグリッド、省エネ推進などを日本の産業発展の新機軸にすべきである。少なくとも、このまま原子力依存を続けるよりチャレンジする価値はあると思うし、日本人のメンタリティ、世界観にも合うと思う。 (3)折角ここまで築き上げてきた原子力発電の技術、ノウハウを捨てるのは惜しいとは思う。脱原発をするにしても、世界の原子力発電の状況にキャッチアップするために、国内に1,2箇所、原発を残すのが理想だと思う（放射性廃棄物の最終処分場の確保およびテロも含めシビアアクシデント対策を真剣にやることが条件だが）。しかし、今回原子力ムラの結息な隠蔽体質には愛想が尽きた。日本の運命を託せる人間たち、組織ではない。もし原発に賭けるなら、原発ムラが滅んだ後に出て来た人たちに託したい。
57233	個人	その他	60代	男性	1 原発ゼロシナリオを選びました	ヒロシマ・ナガサキを経験した日本、もう核は止めましょう。2030年に原発ゼロに賛成です。
57234	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを前提にして、再度選択候補の見直しをすべきと思います。	2011年3月11日以降「安全な原発などない」という事は分かってしまった以上、 そこを無視してエネルギー政策を進める事は無意味と思います。 原発を残すという選択肢は、 「危ないけど天災や事故が起こらなければ楽だから」という日和見案でしかなく、 原発ゼロは今後のエネルギー政策の大前提にしなければならないと思います。 地球温暖化への施策ももちろん早急な対処が必要ですが、 まずは原発の廃止。2030年までに0%との事ですが、 今年全ての原発が停止していた事を考えれば、そんなに長い猶予期間は必要ないと思います。 少なくとも現在休眠中の原発は一切再稼動しない、とすれば、 原発温暖化対策への着手も早まると思います。
57235	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオ	2030年には原発をゼロにする。 絶対的な到達点として、上記のことを「今」決定する。 現在のような確かな安全の元の稼働や、決定自体の先延ばしは、数年先に原発に従事する高度技術者の育成などの支障にもなり、実質的に問題の解決を放棄することに等しい。 直ちに目標を定め、エネルギー問題、経済問題、人材育成、国際的協力要請、原発事故被害者の救済問題、原発事故収束作業従事者への保証、などさまざまな問題を複合的に解決するシステムを早急に構築してほしい。 一部の人間が負を背負うような未来をこれ以上残してはならない。
57236	個人	無職	60代	男性	20～25シナリオ選択。日本で原発を止めても特に安全性が高まる訳ではない。福島事故の教訓を得て以前より安全な原発の運用が期待できる。バイオマス粉炭の利用、風力暖房を提案。	20～25 シナリオを選択する。 　専ら安全性の観点から原子力利用を縮小しようとして拡大の選択肢は論外としているのは残念である。 少なくとも拡大も選択肢に含めて議論すべきであった。 このような設問の仕方は議論にバイアスをかけることになる。 100　シナリオは論外であるが30～40 シナリオが私の本音である。 　原子力事故は極めて稀な事象であり　15 シナリオや 20～25 シナリオと30～40 シナリオでは危険性に有意差があるとは考えられない。 もちろん　0　であれば明らかな差がある訳であるが廃炉にしたからといって他国の原発は稼動しているし、残存する廃棄物はすぐに処理できるわけでもないから危険性は五十歩、百歩である。 　福島の事故は悲惨ではあるが大変貴重な経験でもある。 我々はこの貴重な経験を生かし、極限まで安全性を高めた原子発電システムの開発を行い日本のみならず全世界に提供し人類の福祉に貢献する責務がある。 福島事故の教訓を得た現在は少なくともそれ以前より格段に安全な原子力発電所の運用が期待できると私は考えている。 　同時に原子力代替エネルギー、の開発にもほぼ同等の努力を払い、最適のエネルギーミックス(立地に依存)について研究する必要がある。 　再生可能エネルギーの中では素人考えではあるがバイオマスに注目したい。 庭の草取り、植木の枝払いなどしていて感じることであるが膨大な量のバイオマスが無駄に可燃ごみ回収あるいは焚き火で処理されている。 多量の水分を含み、粗大で処理しにくく、エネルギー源としての利用価値が低いが、太陽熱を利用した小型の乾燥、炭化装置が開発できれば粉炭化して流通、貯蔵、燃焼に便利になる。 石炭からの石油合成は確立された技術であり現在でもコスト的に原油に対抗できるレベルにあるから木炭粉からの石油合成も実用レベルあると考える。 　最後に風力発電についての私見を蛇足ながらのべる。 日本では安定した風が発生する場所が少なく風で発電してエネルギー源とするのは困難である。 しかしながら太陽光の少ない冬場や夜間にも比較的豊富なエネルギーであるという特長がある。 私自身は太陽熱温水器を利用しており夏はほとんどガスボイラーの使用の必要性がないほどであるが冬場はかなりのガス代となってしまう。 他に提案している人も多いが是非、分散型の小型風力暖房システム(攪拌あるいはジュール熱利用)の開発と普及を国として支援、推進してほしい。
57237	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電の撤廃、再生可能エネルギーの検討	今夏、猛暑にもかかわらず電力が足りている状況下で原子力発電の必要性を全く感じません。再生可能エネルギー等の代替エネルギーを活用を前提とした試算、議論をお願いします。後世の為にも脱原発の英断をお願いします。
57238	個人	学生	10代以下	男性	原発ゼロシナリオを選択	原発ゼロシナリオを選びます。 国内の全原発の稼働を止め、全原発のを廃炉手続きを進め、原発の新設を認めません。 つまり、2030年を待たず、一刻も早い「原発のない日本」「原発ゼロの日本」「もんじゅやスウ所再処理工場の廃止」への舵取りを日本国政府に求めます。
57239	個人	自営業	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	この国は有史以来多くの災難に遭い、その都度人とひととが力を合わせて復興を培ってきました。そのような情報は歴史書や言い伝えから多くの史跡にも刻まれています。いつの時代もその時々に頑張って生きてきた、「多くの一般庶民」の力でこの国を再生させ、今へと繋いできました。 ただ昨年の福島第1原発の事故だけは違います。地上に存在しない「核種」が拡散した地域は再生が難しく、居住も不可能です。多くのリスクを抱えた原発であるが故に、非常時に最終のジャッジメントと全責任を負う者が不明確であったことは昨年の悲しい事故が証明しています。 日本という国を未来へ存続させ発展させるために今一番必要なことは、原発エネルギーからの卒業です。 そして既存の9電力会社だけではなく、日本列島全体で、地域分散型のエネルギー供給システムを10年、20年とステップ毎に実現していく計画が今求められています。中長期の計画とシナリオの策定が急務です。 電力会社には、電力供給量などをはじめとした多くの数値で、真実の各種数値を開示していただきたい。「経済力云々」での財界との癒着、地方自治体への脅しはもういけません。 政府も、官僚も、電力会社さらには原発から恩恵を受けているメーカー各社など、そして大手メディアも目を覚ます時です。 原発に対する国民の意見を求める政府のやり方並びにまとめ方は非常に乱暴ですが、その問い掛けに対する答えは、「原発ゼロシナリオ」を選びます。 以上
57240	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0%依存、ただし2030年までにではなく、今すぐ。大飯原発3・4号機を停止し、すべての原発を即時廃炉。建設中・計画中のものも中止。	原発の必然性の有無を、経済の理由から語ることは間違っている。 核のゴミを生成し、またその処分方法も確立せず、孫子の代だけではとうてい解決できない負の遺産を残す事は避けなければいけない。 何よりも、早急というより即時に脱核発電を進めるべき。 原発を電力会社の資産扱いにしてはいけない。

57241	個人	パート・アルバイト	30代	男性	(1) ゼロシナリオ　のみを要望します	制限された情報だけを見ていても、そんな悠長なことをいっている時間も余裕もないように思います。 豊かな生活はそれはいいですし手放したくはありませんが、その分、未来の犠牲が大きいということはこの一年半でよくよく感じさせられましたし考えさせられました。 今起きている福島の問題だけでもとてつもなく大きな問題に見えます。 私はその前から反原発派の人達の存在は見聞きしていましたが、深く考えることはありませんでした。 私のような人間が多くいた結果として、それが福島の今の問題として反映されたのだと思っています。 もうそれだけで十分すぎるぐらいの理由です。 取り返しのつかない問題をまったく別次元のものと天秤にかけること自体がおかしいと考えるようになりました。 取り返しのつかない問題とは原発の危険性です。 そしてそれと比べるものではないという別次元のものとは、経済を主とした豊かな生活とか、それによる満足というものです。 満足は心と体が健全でさえあれば後でどうでもなるものだと思っています。 今はそれすらも危ぶまれている状態に思えます。 そうした可能性が常に存在しうる原子力は、とにかくすぐに止めるべきだと思います。 人が健全でさえあれば、その代替え的なものはどれだけでも可能性はあるだろうし、そちらを見るべき、信じるべきだと思います。
57242	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ	原発反対。
57243	個人	パート・アルバイト	50代	女性	2030年に原発ゼロを支持します そのためには1日でも早く脱原発の決断をしてください。	・核廃棄物の処理も確立されていない原発は非常に危険です。 ・活断層の上にある原発は直ぐに停止してください。 ・プルサーマル計画、もんじゅを廃止し、自然エネルギー開発に力を入れてください。 ・発送電を分離し、現存の電力会社独占環境をを改善してください。 ・2030年には廃炉技術や自然エネルギー開発の技術で世界をリードできる日本であるよう願います。
57244	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発反対	原発ゼロに反対します。 太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーは、原発の代替エネルギーにはなり得ません。 まだまだ原発は必要です。 安全性を高めたうえで原発は続けるべきです。
57245	個人	会社員・公務員	40代	男性	歴史的な災害・事故を受けて行う選択・判断は歴史の審判に耐えられるものでなかなければならない。100年後に生まれる子供たちのことを考えて、原発は即時停止、廃炉とすべき。そのうえで自然エネルギーへの転換を。	東日本大震災は歴史的な大きな災害であり、引き続き起こった原発事故は歴史上最悪の事故であります。歴史に残る災害・事故の後に、その時の世代の者たち（私たち）がどういった判断を下し、選択を行ったかは「歴史」の審判を受けるものだと考えます。 これだけ多くの被害を出し、今後もその被害を収束することに対して具体的な方策が確立はおろか見出されもしていない状況の中で「原発再稼働」や「原発へのエネルギー依存」を選択することはあり得ないことです。数十年、数百年、数千年先の子孫に悪影響を及ぼすものを、原発事故の原因究明もまったくされていない状況で「継続」するなどということは歴史上最低の判断だといわれてもおかしくない愚かな判断だと思います。 日本がネルギー源のほとんどを海外に頼っている原因は原発偏重のエネルギー政策を進めてきた政府、財界にあるのではないでしょうか。 エネルギー不足は以前より指摘されてきた問題であり、あらたな資源開発、エネルギーの掘り起こしをないがしろにしてきたことのツケを2030年まで期間、地震、津波、老朽設備、人為的ミス、テロなど様々な要因により引き起こされかねない「原発事故」の危険性と隣り合わせで享受することなどできるわけはありません。 国民の命と健康、暮らしを守ることが国の役割だとするならば、数千年の単位で健康被害をもたらす原子力を継続使用していくことはあり得ません。使用済み核燃料の処理方法も確立しておらず、停止後の原発の管理方法も確立されていない時点で、現在の「便利さ」を維持するために原発に依存し続けることもあり得ません。 小水力や地熱といった現行の法律を改正するだけで多くの利用が可能な自然エネルギーが日本にはあります。本気にさえなれば2030年まで待たなくともそうした自然エネルギーへの転換は可能であり、海洋資源の開発なども本格的に行えばかなりのポテンシャルを持っているものです。発送電の分離を行い、小規模発電の電力を流通させることができればより多くの国民の意識が自然エネルギーの利用に向かうと思います。 原発0というのは危機的な一面があるのかもしれませんが、そのピンチをチャンスに変え、世界のエネルギー政策を石油中心のエネルギーから自然エネルギー中心のエネルギーへと切り替える機会とするべきです。 今の日本ならば、そうした転換をリードするだけの技術力も持っていますし、震災・事故の教訓を生かしてエネルギー政策の転換を行うことは、世界の人々に理解してもらうことができることであり、歴史の審判にも耐える、評価されるべき選択、判断となると思います。 100年後に生まれてくる子供たちのことを考え、今できる最良の判断をすることが、今の世代の大人たちには求められています。 原発は即時廃止すべきです。
57246	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択します。	ゼロシナリオを選択します。 いままでどのように原発を推進してきたかを見ると、政府、行政、電力会社が原発の安全の確保に真摯に向き合ってきた結果として国民に信頼を得て推進されてきたとは言えない。もし本当に安全だと言えるのであれば、もっと自然に原発が増えていったのではないか。このことは、原子力推進側が、原子力が安全でないことを自ら認めているようなものである。 また、福島第一原発事故後に政府、行政、電力会社がどのような対応をしてきたかを見ると、今後安全に原子力発電を管理していくように改善されていくことを期待することは出来ない。 ゼロシナリオ以外を選択するためには、解決されていなければならない課題は多いが、結局現時点では、課題解決に向けた具体的な方策が論理的に示されてはおらず「これからやります、これから検討します」などといったものしか示されてはいない。 原発の課題は原発の専門家に解決を期待するしかないが、ゼロシナリオを選択した場合の課題は、様々な分野からの解決策が期待できる。また、暮らし方をかえる、価値観を変えていくなど、国民が参加して課題を解決していける、ということを期待できるのもよい。
57247	個人	自営業	50代	男性	今すぐすべての原発を即時廃炉にして下さい。	日本では福島の事故があった後の今でも一部の原発を動かしています。でも今だにできた廃棄物の処理方法は決まっていません。再処理の道は破綻していますし、最終的には地下に処分すると言っていますが、毒物を目に見えないところに追いやってしまうのは最悪の処分方法です。無毒化する方法が見つからない限りは、ちゃんと管理できるところにおいてしっかり見張らなければなりません。 また福島の事故でもわかったように、安全性の確保は計算道理にはいきません。2重3重にあるいは5重に安全を確保しようと、普段使われない安全手段は腐って行きます。いざ必要になった時には、その能力が充分に確保されないのが普通です。 形あるものは必ず壊れます。それこそが人類が今までに確認できた真実なのです。自分たちの手に負えない毒物を作りだして、それを永久に閉じ込めることなどできません。 私たちが自然から力を借りて何かしようとするなら、自分で責任をとれる範囲でするべきです。それのみが人類の驕みを少しでも長く続かせる唯一の方法でしょう。 今すぐすべての原発を即時廃止して下さい。人間にふさわしい経済をそこから一緒に始めましょう。
57248	個人	自営業	30代	女性	選択肢として提示された3つのシナリオではなく、原発はゼロにしつつ、人間と自然が共存可能な方法を指示します。原発は即時停止廃炉としたい。	常に恐怖や不安を基盤にした生活は幸福の追求にはなりません。 原発をゼロにしつつ、論争となっている温暖化、雇用・経済問題を解消できる、持続可能なエネルギー政策を国民、行政共同で思案し実行していきたいです。 そのためには客観的な数字、双方の意見を平等に開示し、全員で考える必要があります。 現在および未来の生きるすべての生物に対し、健康に平和に生きる環境を持つことは現代を生きる者の義務だと思います。
57249	個人	その他	40代	女性	3つの選択肢の中のゼロシナリオを支持します。	原子力発電の取り戻しようのない危険性はフクシマにより日日の下にさらされました。日本のエネルギー源を原発に依存せず、かつ温暖化対策も同時に進めてゆく、グリーンテクノロジーの発展にこそ国の資源を充てるべきです。このことは日本一国の課題ではありません。すぐに原発輸出もやめ、世界のグリーンエネルギー開発のイニシアティブを日本が果たしてゆきましょう。目先の経済成長にこだわらず、エネルギー政策、日本の経済成長をはじめ、どのような暮らしぶりを日本は目指そうとするのかを、政府は市民と一緒に描く努力をしましょう。
57250	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0%へ。 原発いらない。他のエネルギーでまかなえるコトは明確。	その他のコトも踏まえるが、まず、政府及び内閣府に対して信用できない。 それなら目に見える対応＝原子力発電0へ。 また、上記したが、他エネルギーでまかなえる。 色々な専門家が色々な数字をたたき出してるコト自体おかしい。 さらに、内閣発表の説明が著しく乏しく感じる。 …やはり、利権のみで原子力発電を営んでいるのではないのか？と。 逆に考えると、その他のエネルギーでまかなえる。
57251	個人	会社員・公務員	50代	男性	再生可能なエネルギーの伸長により制御が難しく、危険な原子力発電を0にするのが未来を生きる者達への責務であると考えます。	処理に10万年単位で時間がかかる。たとえ1万年であっても、この危険な原子力のことを正確に伝え、処理を継続して行くことができるとは到底思えない。今のために未来に生きる人々を危険に晒すべきではないだろう。
57252	個人	その他	30代	男性	「原発ゼロ」シナリオを支持します。	政府は「国策で原子力発電を推進してきた」責任を果たすべきです。 日本にある原子炉を全て廃炉にしていく過程で安全に廃炉作業を進めるノウハウを身につけ、世界での安全安心な"脱核エネルギー"に向けた取り組み"に先鞭をつけるべきです。 一方で原子力以外の自然エネルギー活用やガスコンバインドサイクルを含む発電方式を積極的に推進するとともに、エネルギーの地産地消を進めるべく家庭や企業に発電技術が導入される政策を合わせて実施することで、政府のとるべき責任だと思います。
57253	個人	家事専業	60代	女性	原発を止めて、早く廃炉に取りかかって	知らない間に日本全国に50基をこえる原発ができていました。昨年の震災以前も各地の原発でさまざまなトラブルがあったようです。地震の頻発するこの国では怖くてなりませんが、地震があってもなくても原発と人間は共存できません。現在稼働中の大飯原発もすぐに止めてください。そして廃炉の作業に取りかかってください。
57254	個人	その他	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持。即刻ゼロにすべき。当然、核燃料サイクルも中止。 国や電力会社は今まで国民の健康と安全を蔑ろにしてきたし、その姿勢は事故後も変わっていない以上、他の選択肢はあり得ない。	政府や規制当局、電力会社は、日本の原発における地震や津波のリスクを知りながら、現在まで必要な安全対策も講じずに原発を建設し運転してきました。 そして、最悪の事故を起こした後には、正しい情報公開をせず国民に被曝を強いて、家畜やペットは汚染地域に置き去りにし見殺しにしているのです。 また、原発は運転する限り、有害で管理が極めて困難な核廃棄物を生み出しますが、処分方法も確立しておらず溜まり続けています。 そして、現在も福島では、多くの方々が被曝しながらも作業にあたっていますが、原発は事故が起きなくても常に被曝しながら作業する労働者の犠牲のもとに成り立っています。 安全のために必要な設備費用や、立地自治体への交付金、事故による賠償や補償、廃炉費用、使用済み核燃料などの核廃棄物の処理や最終処分にかかる費用をなどを全く含めずに、原発が他の発電方式と比べてコストが安いなどと主張してきました。 このように様々な問題があるのに、国や電力会社は原発は「安全」「エコ」「クリーン」と言い続けてきました。 国や電力会社が莫大な費用をかけて宣伝してきたことが全て嘘でした。 福島第一原子力発電所の事故は未だ収束していませんし、事故の原因や責任の所在も明確になっていません。 全国の原発の安全性や管理体制は不十分なのは明らかであり、重大な事故が再び起こる可能性がある限り原発は稼働させるべきではありません。 それなのに、政府は危険な原発を再稼働させました。規制委員会人事案をみても、今までの規制当局を代々り映えのしない人選です。 国や電力会社は、このような過酷事故を起こしたのに、全く反省していないとしか思えません。そのような日本の国や電力会社には原子力を扱う能力や資格はありません。 このパブリックコメントがどのような扱いをさせるのか分かりませんが、しっかり政策に反映していただくようお願いします。
57255	法人・団体等	会社員・公務員	20代	男性	原発はゼロに！	原子力の危険性は少なくともあり、環境の他に地球上の生物すべてに対して害があるので、廃止すべき。 原発以外にもエネルギーとなるモノはあると思う。
57256	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー源として、原子力は使用すべきでない。子孫にツケを残すエネルギー政策は政策とは呼ばない。	地球温暖化という環境問題と原子力利用は切り離して考えるべき。原子力災害は人間の尊厳を奪い、国を滅ぼすほどの影響がある。 原子力の利用は発電の瞬間はCo2を排出しないが、それまでのプロセスでは排出するので地球温暖化防止には貢献しない。 逆に原子力災害によって国力が失われるため、環境問題の手当が不可能になってしまう。 よって、原子力エネルギーはゼロにし、大規模発電は石炭、天然ガスに切り替える。そして各家庭では蓄電技術を高め、太陽光によってピーク時の電力をまかなえるようにする。 原子力の利用は、決して環境に良くない。人類さえ滅ぼしかねない。断固反対する。
57257	個人	無職	70代	男性	選択肢3(20～25%)を支持します。地球温暖化防止のCO2対'90年比6%削減の政府国際公約は、原子力を基幹電源とし続け果たせない。この間原子炉過酷事故対策と環境負荷低減技術の継承を徹底すべき。	1．日本政府は地球温暖化防止対策として京都議定書では、対'90年比CO2排出6%を2012年迄削減すると約束した。現時点ではこの約束は到底不可能でむしろ約20%増の状況に立ち至っている。アジア・太平洋地域のエネルギー状況の逼迫で今後も化石燃料の使用が増大し益々地球温暖化が危惧されている状況にある。少なくとも日本政府が先進国として、この国際公約を遵守するためには当面、基幹電源を原子力をベースロードと据え、最低でも2030年代には世界をリードする責務があると考え20-25%を維持すべきと考える。 2．今回の福島原発事故で最大の争点は、全電源喪失による炉心溶融等による圧力容器からの水素爆発によるI^{-}131やCs134/139等の環境への大量放出である。このため、多くの周辺住民の方が未だに避難を余儀なくされている状況にある。そこで、先ずは東京電力福島第1原発事故の教訓を忘れずに、世界一規制の厳しい原子炉等規制法など関連法の整備の元、しっかりした規制対応でこのような事故を2度と起こさない措置が肝要である。 また、最大の反省点は過酷事故防止に対する予防的初期対応に十分な配慮を払うことが肝要である。無論、指針の見直しや、格納容器ベントや代替注水設備の実施、冷却設備系の水密化、高所配置化等の再確認は当然図られるべきであるが、要はマイプラント意識の下での過酷事故対策は通常時からの徹底した教育・訓練で培われるものと考える。 3．現在水力を除く再生化エネルギーのよめる比率は2%という。これを、もし、2030年代に現在の原子力エネルギーのよめる割合に伸ばすには、数字上の裏付やコスト試算のみではなく、安全性への対応策の具体化、発生電力の安定供給系統の確保策、設備構成に基づく機器の保守・保全体制の確立、環境影響評価等多くの課題の具体像の緊急な検討・対策が示されない限り間に合わない。現在25%迄のエネルギー比率となった原子力発電を中軸としたエネルギー構成の確立にはその安全性も含めて過去約半世紀を掛け構築してきたことを良く踏まえ今後の立案を元に原子力との併存を考えるべきと思量する。 4．現在全世界に稼働している原子炉は440基近くあり、今後も中国を含む途上国のエネルギー需要に応じて、増大することは必定である。此処で課題になるのは燃料供給保証と、保障措置と使用済燃料の処理・処分体系の確立である。福島原発事故を招来したわが国でも共通だが使用済燃料の安全な保管、内在するFP放射能とPu等長寿命のアクチニド元素の管理、保障措置技術に基づく、計量管理や透明性の高い核物質管理の適用ならびにグローバルな環境負荷低減技術の確立は一刻も余裕がない。此処でわが国が原子力平和利用に徹してこれまで積み上げ、IAEA等国際原子力機関から認知されてきた技術立証国としての責務の元に次世代に継承する先導的役割を果たすべきと考える。
57258	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	今止まっている原発の再稼働はしないでください。 再稼働してしまった原発もとめてください。 これからの子供たちのため、これ以上大切な大地や海を汚染しないためにも、 安全で持続可能なエネルギーに取り組んでください。 自然エネルギーをもっと普及させてください。 一般消費者には節電の意識は高まってきていると思いますが、社会全体の取り組みがもっと必要だと思います。

57259	個人	その他	30代	男性	原発ゼロに。2030年と言わずすぐに実行。	・福島第一原子力発電所の事故により、過酷事故発生でのリスクが極めて高く、たとえ技術を改良しても活断層の多い日本で原発を推進し続けることは、第二、第三の福島を生まれることになる。 ・処分の目処がたたず、処分場の予算だけ垂れ流している高レベル放射性廃棄物の発生をこれ以上出さない。 ・昨夏、大飯再稼働前でもわかるように、企業、市民の節電努力。節電技術の進歩で原発ゼロでも問題ないことは明確。 ・LNG?MACC（天然ガスコンバインドサイクル）をベース電源に。新設整備、旧式火力を改良を行えば、エネルギーの高コスト、CO2の発生を抑えて脱電発は可能。つまり原子力発電は不要。
57260	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発0%にしましょう！	人間の力では放射能は制御できません。 今すぐ原発0%に向け、最大限の努力をしましょう！
57261	個人	その他	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻原発ゼロ%」を支持します。	「2030年に原発0」ではなく、即刻原発ゼロ%を支持します。電力供給の不安定化による経済リスクはまだ規定可能なものですが、原発事故のリスクは全く規定不可能で、その費用も青天井です。再び事故が起これば、日本は再起不能になります。国民を原発の不安や危険から解放し、そのうえで政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールをしっかり示すべきです。再生可能エネルギー比率が増えていくことは新しい産業や雇用を生み出すことにつながるとおもいます。いまこそ新しい価値観にシフトすべきときです。
57262	個人	自営業	40代	男性	原発は、ゼロにしてください。現在すでに購入スミの燃料があるのであれば、もっとも安全度が高い 原発で使用するか、他国へ売却してください。	地震が多発する日本国において、地震を正確に予測すること、確実に耐震することは実質不可能であると考えます。原発を運用するということは、事故発生時すみやかに、最悪を想定した広範囲において確実に非難させること。悲劇的な状況を避けるために、ベントや爆破等を躊躇なく実施し、一定の範囲において長期的に使用不能にさせる覚悟が必要です。今回の福島のメルトダウンについては、まさにこの対応についてのまずさに起因すると思います。すばやく塩水注入、バルブ爆破できなかったことは、今後も同様の事故が起きたとしてもまた、繰り返す可能性があります
57263	個人	会社員・公務員	60代	女性	3案の中では原発ゼロシナリオを支持するが、なるべく早くゼロとすることを求める。ゼロ以外のシナリオで安全なものはない。再稼働を見合わせ、既に稼働したものは再停止し、最終的にすべて廃炉とすること。	意見 ・この3案の中では2030年までに原発ゼロシナリオを支持します。 ・しかし、2030年といわずできるだけ早い時期に原発ゼロとすることを求めます。3案以外で、できるだけ早く廃止する案を提案します。 ・安全が確保できない原発は存在するべきではないので、再稼働はせず、大飯原発は再停止し、すべての原発は廃炉作業に取りかかってください。 理由 ・古川大臣はNHKの討論で、この3パターンは単に議論のきっかけとして提示しただけで、今後専門家会議などで他の案が出てきて議論の末他の結論になるかもしれない、というようなことを発言していました。ではなぜ3択で選ばせてこんな議論をさせて視聴者アンケートまでとるのかというと、国民みんなに考えてもらうためだそうです。それなら今まで隠してきた情報を全部開示し、国民的議論を起こし、国民投票をするべきです。ただし、国民的議論の果てに国民の声を押し切って政府が原発をどんどん稼働させ推進してしまうことだけはやめてください。国民投票をしてその結果を尊重するべきです。 ・原発ゼロ以外のシナリオでは日本の安全は確保できません。地震国日本ではいつまた福島第1原発と同じ事故が起きるかわかりません。再度起きれば、特に西日本で事故が起きれば、日本国内に安全に暮らせる場所はなくなります。 ・原発を廃止すると産業が衰退するという説は根拠が曖昧です。ゼロ以外のシナリオの支持者はこぞって電力不足、値上げ、産業衰退を言いますが、この暑さの中、我慢しながらでも何とか持ちこたえていることを考えると、不足はカバーできそうです。また今回の電力値上げは原発事故によるものという認識を持っています。代替エネルギーにすることで原発事故ほどのコスト高騰があるとは考えられません。また、原発関連産業をそのまま代替エネルギー関連産業に振り替えれば、新たな産業振興になります。 ・原発のない社会は非現実的という説があります、代替エネルギーの確保、原発関連産業の従事者の転職の手配、廃炉技術の確立、核廃棄物処理方法の確立を粛々と進め、再稼働見合わせ、再稼働したものは再停止、建設中のものは計画中止とすることは極めて現実的です。 以上
57264	個人	その他	40代	男性	どうしてもこの3つから選ばなければならないならゼロシナリオ。それ以前に、この決め方に反対	自分はこの決め方を全く支持していません。それを第一に申し上げたい。意見聴取会における原発関係者が選ばれる確率を見れば、この決め方の告知が一般国民に向けて少な過ぎる事は明らかです（そういう根本的な問題を他所に「抽選ですから」とニコニコ笑っている細野大臣の姿勢も酷いです）。この様な状況で、例えば経団連が現に行っている様な「勤員」としてのパブリックコメントの意見提出があれば（原発関連者が抽選で選ばれるのと同じ原理で）彼らが望む意見の割合が増え、一般国民の視点では不公平な結果になりかねない事くらい、今からわかりきっています。だから茶番劇に見えるのです。 また、提示された選択肢がこれで充分なのか、充分ならどれが良いか、を考える時間が短か過ぎます。古川大臣の、去年の大震災の時から国民はこの問題を考えてきたはずだから時間は短くない、との言い訳は、今年7月に提示された選択肢から考えて下さいと言った時点で通用しません。この程度の認識の人物がこの問題の決定に関わっている事自体も大きな問題です。 また、多くの国民が支持していない政府が密室で決めてしまうというプロセス（しかもその中には枝野氏の様な、国民を危険に曝した張本人なのにその事について全く責任をとっていない人物が含まれている）も自分は全く支持していません。 原発を動かしたい政府による国民が知らないうちに短期間で決めてしまおうという卑怯なやり方は、自分は受け入れません。自分の主張は、こんな一部の国民しか知らない決め方で決めないで下さい、という事です。せせこましい事はやめて、堂々と国民投票で決めたらいかがですか。どんな結果も受け入れる心づもりがあるなら、できる筈です。 嫌々ながらでも、どうしても3つの選択肢の中から選ばなければならないなら、という前提で、自分の選択は2030年までに原発依存ゼロパーセントです。しかしここ数ヶ月の電力状況を見ると、2030年までというのは目標が先過ぎる、遠過ぎる。もっともっと短期間で実現可能に見えます。ですから正確に言えば、自分はこの「ゼロシナリオ」も支持していません。2030年までではなく、もっと近い将来に目標設定できると考えているからです。 この自分の主張を別の言葉で言い換えますと、「他人の命を大事にしない社会、自分や自分の家族が困らなければ他人はどうなっても良いという考えの社会は、終わりにしよう」となります。 震災／原発事故以来の政府による他人の命を軽視した行動の数々（助かった後に亡くなった方の数に表れています）は「こうやって生きるんですよ」と次の世代には絶対に受け継ぎたくありません。自分の利益のためには、危険性や不十分な安全確保が指摘されている物事も行っても良い、という考え方を受け継ぎたくありません。原発を動かさないと電力不足だと、政府を含めた原発推進派の方々から脅しに近い言葉が聞かれましたが、自分が知る限り、日本で停電が要る様な事態だとの話は何処からも聞こえますまい。関西に関しても、大飯原発再稼働しなくても電気は足りたという各方面から指摘される様な電力状況にある中の関西電力の「次は高浜」の言葉を聞けば、彼らの目的は、停電回避でもなく、首相が言った「国民の豊かな生活」でもなく、原発を動かす事である事は見え透いています。彼らを含む一部の人間のために自分や自分の家族／友人が危険に曝されるのは御免です。 被災された方々から次々聞こえてきた「普通の生活がしたい」との思い。自分もこの思いです。「豊かな生活」は要りません。普通に暮らせれば充分です。原発を使わなくなる事で、病気や死に直面する方々や、仕事が無くなる方等、真剣に困る方には国として支援しましょう。ただし、震災／原発事故で生活を完全に奪われた方々が大勢いらっしゃる中で、震災／原発事故の前と同じ生活を続ける事にしがみついているだけの、自分さえ良ければ他人はどうなっても良いという考えの方には支援は必要無いでしょう。国難と言える状況の今、自分だけは楽させてもらおう、という考え方が通用する社会を自分は拒否します。 最後に余計な事かもしれませんが、政府の方々は、ご自分の信頼を回復することに心血を注がれるべきではありませんか。震災／原発事故以来の貴方方の言動を見て、自分はあなた方を信用しなくなりました。その後の貴方方の行動は、信頼を取り戻そうとしてるというよりは逆に、信用しなくなった人々に背を向けている。自分にはとても正気の沙汰とは思えません。政治家のあるべき姿には見えません。
57265	個人	自営業	40代	男性	将来は、原発依存0%に！　現在の技術では制御しきれない、また制御するだけの体制を国や企業が作り得ない原子力発電からは、可及的速やかに手を引くべし。	原子力発電をめぐるシステム全般に、強い疑念を抱いています。 発電所の設置から運営、事故対応の全てにおいて、利権が絡み、弱者の命を犠牲にし、近隣の住人の生活権をないがしろにしているのが、原子力発電だと考えています。 なにより原子力発電は、事故が起これば国土の多くを失います。国土がなくて国が成り立つのでしょうか？ 多くの国民を不幸にするシステムを手放し、代替エネルギーの開発、活用に人材と資金を有効に活用するよう望みます。
57266	個人	その他	40代	男性	原発ゼロシナリオ今すぐ望んでいます。	事故が起こると住めなくなる。 放射能汚染で安全な食べものがなくなる。
57267	個人	無職	60代	男性	1年間原発は止まりました。多少の不便も聞こえますが、節約の定着やエネルギーの有効活用で大過なく経済活動も生活もできている。一層の知恵と工夫で省エネの推進を！	一度暴走すると制御できないことが証明された原子力の利用は中止するべきだ。また、長期に及ぶ放射性物質が生物に与える環境への影響を考えると、これ以上核のゴミを増やさないことが将来に生きる地上生物への贈り物です。 「安ければ良し」。「消費は美徳」。「自分さえ、自社さえ良ければ良し」を宣伝し、麻薬のように与えてきた経済界と支えてきた政治、報道機関に反省の念を持ってほしいものだ。
57268	個人	会社員・公務員	40代	男性	15%シナリオ。	地震活動の活性化している昨今、できるだけ早く核分裂を利用した原発の廃止を目指すべきだが、産業の空洞化や高齢化・雇用問題、エネルギーの調達など海外との競争力において日本は多くの問題を抱えている。それら問題は喫緊の課題だが短期解決は困難。また福島第一原発の処理や、核廃棄物の処理方法などで原子力技術と技術者は今後も必要であり、絶やすべきではない。
57269	個人	会社員・公務員	40代	男性	廃棄物処理の方法が確立するまで、原子力発電を停止すべきである。	発電方式にはそれぞれ一長一短があるが、廃棄物の処理方法が確立されておらず、甚大な被害をもたらすリスクが増大し続けるという点で、原子力発電は支持できない。
57270	個人	その他	40代	女性	原発依存ゼロ　以外の選択肢を考えるべきではないと思います。	日本国が身をもって知っている放射能の恐ろしさ。 破壊されたひと、もの、こと を、永遠に忘れてはいけないと思っています。 便利さ快適さ、国際競争力、経済発展……さまざまなことに必要なテカラというのはあるでしょうが、国民の心身が健康であることこそが国益でしょう。 難しいこと言々ではなく、まずは国民の気持ちを最優先に将来の選択をしてください。強く強く望みます。
57271	個人	自営業	60代	女性	1.2030年までにゼロシナリオを支持します。	人間は、原発とは共存できないから、できるだけ早く脱原発に向けて努力してください。
57272	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロのシナリオを選択して下さい。 原子力発電所は要りません。再稼働にも絶対反対です。 福島の事故は未だに解決していません。 放射能の危険性を未来に残す様な事は絶対にしてはならないのです。	我々は確かに安定した電力に頼った生活、経済活動をしてきました。 それもこれも原子力発電所が安全だという間違った認識を植え付けられ、 よほどの事が無い限り事故が起きる事は無い。起きたとしても安全対策は取られていて、被害が及ぶ事は無い。と信じてきました。 しかし、実際には事故は起きて、対策も全く講じられないまま、 危機的な状況が続いています。 まるで対応出来ていると言いがたい状況であるにも関わらず、問題を先送りにし、 目先の利権を維持するためだけにまたも再稼働や原発推進に進もうとする力学があるとするならば、それこそが再び事故が起きたときに事実の隠蔽や、 対策の遅れにつながる恐れのあるものです。 それらの事がすべてつまびらかにされて、今回の福島の事故の原因追及、 情報公開、対策対応、周辺住人に対する保証・・・などなどがなされた上でなら、 まだしも、すべてが遅々として進まない。明らかにされない・・・。 その事自体ですでに原子力発電を司ろうとする資格の無さを物語っていると言えます。世界に向けても何の責任も果たせないと考えた方がいいと思います。 ドイツがいち早く、原発からの撤退を選んだ事もすばらしく、素早い、賢明な決断だったと思います。他国の事故を見て、その決断を選んだ優れた国民性、政治力、 よほどの事だと思いますが、真に本質的な事に目を向けられる人間の集まりだったのでしょう。 何なのでしょうか？日本人とは・・・？恥ずかしいです。 やはり金の為？利権の為？何のために原発を守ろうとするのか？真剣に考えてほしいものです。放射能の被害は自分たちの一生をかけても背負いきれない、重い負担を将来に残すというのに なぜそのような決断を、いま目の前に積まれる金のためごときにゆだねるのか？ 身勝手も甚だしいと思います。 絶対に原発ゼロを目指すべきです。 この意見がごく普通の日本人の感性から発せられる言葉だと理解して賢明な判断がなされる事を祈ります。
57273	個人	会社員・公務員	60代	男性	「ゼロシナリオ」を選びます。危険な原発を安全対策不備のまま長期間使っていた事はとても残念です。地震国日本に原発は不適切です。経済界の言いなりの政府、その政府と経済界べったりの日本のマスコミは大変革を。	・エネルギー政策を決める前に安全性の確認も不十分なまま原発の再稼働に踏み切ったのは間違いです。 ・2030年省エネ割合がたった0１割とは少な過ぎます。もっと減らせる努力も知恵も技術も、日本にはあります。 ・化石燃料割合の見積もりで石炭への依存度が大き過ぎます。世界の潮流は非在来型天然ガス（シェールガス、タイトガス、コールベッドメタン）へと大きくシフトし始めており、日本もその思惑にあずかれるのは必至です。いつまでも世界一高い値段の天然ガスを買い続ける必要はありません。必然的に燃料費が下がり、CO2排出量が減り、電気代の値上がりもあれほど酷くはなります。現にアメリカではシェールガスシフトによりCO2排出量が大幅に減少しております。 ・再生可能エネルギーの導入見込みが少な過ぎます。もっと大幅に増やせます。そのための様々な振興策を積極的にとってください。 ・いくらお金をつぎ込んでも完成しない、危険すぎる核燃料サイクルに見切りをつけ、核廃棄物の直接処分に転換を図るべきです。最終処分場が決まり、そこに行くまでの間は、長期間冷却と安全に管理する重要な作業は廃炉の作業と同様に途切れることは許されません。しかも地震等で危険な状態にならないことを常時担保しながらです。 ・電力のシステム改革に触れられていません。再生可能エネルギー電力の普及ためには送電網を社会的共通インフラとして中立性独立性が求められ、実現には発送電分離、所有権分離が必要です。同時に地域間連系線の整備が必用です。早急に法整備等も含めて推し進めてください。
57274	個人	自営業	50代	男性	原発依存の目標は0に置く。再生可能エネルギーやガス発電の効率かなどにエネルギー研究の総力をかけることで、20年ほどは原発を動かす必要があるかもしれないが、0を目標とすることで国民は努力する。	三重県で2001年に原発誘致の住民投票が行われ、そのときの反対派の中心にいた。そのときの経験で推進のやり方は、結局地域振興など礼束で頬を叩くようなやり方であった。 科学技術を信ずるものとしても下記の理由で、将来の原発依存を0にしたい。 (1)最終処理の技術が確立していない。 (2)事故の確率の問題ではなく、放射能が見えない、長期の影響が出る、等政府や電力会社の対応ができない被害が出る。 (3)原子力研究は危機対応の研究がされてこなかった。 (4)コストも福島の被害を見ると、その対応のコストを考えると途方もないものとなり、コストが安いとは、電力会社の単純な自分対の関連するコストしか考えていないので、コストが安いとは行かない。 これらのことを考えると、原発依存は0を目標とすることで、産業界もその目標に向かって総力をかけるだろう。明日から0は無理としても、0を目標とすることで国民も納得して努力するだろう。 家電の省力化も、低利のローンを設定して、電気使用量が下がることでのメリットでローンが返せて、その後は有利になるという仕組みをしっかりと作り、説明し家庭での省力化を図るなど、様々な工夫が狩野だ。 政府も決心すべき時であると思われる。
57275	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	原子力発電という技術自体の抱える様々な問題があります。 1）日本は地震国であるにも関わらず、54基もの原発を建設してきました。原子炉は十分な耐震性をもつ、とされてきましたが、福島の事故の真の原因は未詳であり、国会の事故調査委員会最終報告も、地震による破損の可能性を否定していません。原発の運用を続けることはあまりにも危険です。 2)原子力発電によって出る放射性廃棄物の処理の問題は深刻です。再処理技術は完成のめどさえ立っていません。これ以上放射性廃棄物を増やさないことは喫緊の課題です。 3)原子力発電は定期検査時の作業員の被ばくが前提となっています。生命を文字通り削りながらの労働が不可避の技術は、完成した技術とは到底言えず、人権侵害を引き起こします。原発の運転は即刻停止すべきです。 4)これまで原子力ムラといわれる政治･官僚･行政･御用学者･報道機関の癒着構造から、原子力政策を推し進め、指摘された問題をはねのけ、更に事故後も情報隠蔽、情報操作がおこなわれてきました。そうした利権構造に我々の税金をこれ以上注がれるのはこりごりです。原子力発電に注がれてきた技術開発費用などを全て再生可能エネルギーに注ぐ等、根本的な政策転換を求めます。 5）持続可能な社会、持続可能な発展の選択に、生命を脅かす、原子力発電はありえません。即時中止すべきです。
57276	個人	会社員・公務員	30代	女性	0%	原発反対

57277	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	福島原発の収束も、原因究明もまだ終わってない。 国民は先の見えない恐怖の中にいます。 次世代に負の遺産を押し付けたくありません。 安心して住み続けられる日本にしたい。 そのためには、原発に依存しない社会の選択が必須です。
57278	個人	自営業	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	原発の怖さは東日本大震災ではっきりしました。日本国内に放射能汚染で人が住めない場所が出来てしまいました。人への放射能の影響はまだ何十年後かに出てくる恐れもあります。 こんなに危険な原発の災害はまた何で起こるかわかりません。一刻も早く「原発ゼロシナリオ」に向かうべきです。 自然エネルギー利用を推進しそれで環境も景気も良くして行くべきです。
57279	個人	学生	20代	男性	ゼロシナリオへの賛同 ・賛同理由 ・国民の経済負担の軽減への提案 ・クリーンエネルギー技術先進国と今後の日本の発展	昨年の大震災を経た今、日本における原子力発電は、廃止していく手順を探っていくべきだと思います。地震国である限り、事故の再発の可能性は決してゼロになることは無く、そのリスクは計り知れません。土壌や大気の汚染、作業員や周辺住民への健康被害、復旧作業や賠償にかかる費用等を考えた場合、やはり原子力発電をゼロにしていくことが懸命なのではないでしょうか。 国民への経済負担が大きくなることが懸念事項ではありますが、節電の更なる促進、例えば、テレビ局の深夜放送の自粛などによる使用電力の制限や、電力市場の自由化を一般家庭にも拡大させることによる電力会社間の競争原理の導入によって負担を軽減することも可能なのではないでしょうか。 また、国際的に見た場合、依然として原子力発電の割合が高い国が多く、新興国の原発導入も散見されます。ですが、今日本がクリーンエネルギーに更なる重点を置き、技術革新に予算を充てていくことによって、将来的にもエネルギー技術先進国として日本は尊敬と経済発展を得ることができるようになると思います。 原子力発電をゼロにするとしても、核廃棄物の最終処分の方法など、国民が知識を得て、議論しなくいかなくてはならない問題は他にもまだまだありますが、私は国家戦略室発表のゼロシナリオのプランに一票を投じます。
57280	個人	法人等	60代	男性	ゼロシナリオを選択します。	その理由は、我が国の原子力発電システムが、一部の関係者の利益にのみ貢献するものになっているからです。 こうしたこともあって、原子力発電システムの運用、安全評価、安全対策のあり方は、はなはだ不透明であり、そのために多くの問題があることは福島原発事故をめぐる経緯で明らかです。 福島原発事故の後に、我が国の原子力発電システムの運用、安全評価、安全対策が根本的に見なおされたとは言えず、この状態で原子力発電を継続すれば、再び福島と同じような事故が起こるリスクは極めて高いのではないでしょうか。 こうしたリスクを抱えて原子力発電を継続するより、エネルギーの節約をはかり、遅くとも2030年までには、ゼロにすることが望ましいと考えます。
57281	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロを求めますが、できるだけ早くゼロになるよう希望します。2030年では遅すぎます。次の大地震が起きる前にゼロにすべきです。経済優先ではなく、命を優先にしてください。再処理も反対です。	福島の事故を経験した日本としては、原発ゼロ以外の選択はあり得ないと思います。 どんなに経済が豊かで安定した社会となってもひとたび事故が起きれば多くの人たちの命をおびやかし、その始末のために莫大な費用がかかることがわかりました。 現に、福島ではいつなんどき次の爆発が起きるか、人々の不安な状態は続いています。 避難している人も、福島に留まっている人も、それぞれに不安を抱えたままです。いつそれが解決するのか、先が見えない状態です。 その上、ほかの原発で事故が起きたら、日本は終わりです。 子どもたちに安心して暮らせる未来を贈りたいと思います。 すでに、一定の放射能汚染のある社会になってしまいました。 その中で、どうやって安心した生活を送っていくことができるか、大人の叡智が問われています。 国として子どもたちの将来を考えたなら、放射能の低汚染地に今も住まざるを得ない子どもたちのために疎開や移住を検討すべきです。 原発の再稼働などに話やお金を使う余裕はありません。 また、原発サイト内や青森の核廃棄物処理施設にとめ置かれている使用済み燃料をどうするのか？　これもまったなしに考えなければなりません。 今すべきことは山積みです。 何の将来も描けなくなる原発稼働や再処理からできるだけ早く撤退すべきです。 日本や世界では原発に代わるエネルギーもすでにいろいろ稼働しています。 今まで原子力に使ってきた膨大な予算を原子力でないエネルギーの研究にあててください。 子どもたちの未来をみんなで考えましょう。
57282	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。時期は即時ゼロに。	原発ゼロシナリオを選びます。時期は即時ゼロに。 原発が危険な技術で事故を防げないことが福島事故で明らかになった。 子ども達への放射能の被害が大変心配される。汚染された地域は再び住むこともできない。 地震国日本で、あと1回事故が起きれば国が存続できなくなってしまう。 放射性廃棄物処理のツケを未来の世代に押し付けてはならない。 福島事故を経験してしまった日本こそ、ドイツ等を見習って倫理的観点からも 原発をすぐに廃止し、自然エネルギーの開発に力を入れるべき。 自然エネルギーは産業としてポテンシャルも高く発展可能な産業である。 政府あげて推進すべき。
57283	個人	学生	10代以下	女性	原発依存ゼロシナリオが良いと考えています。	私達の時代に原発が林立していて便利な社会よりも、少々不便はあっても安心して生活が出来る社会を希望しています。
57284	個人	自営業	50代	女性	原発はゼロにしてください。	地震多発国である日本では、再度、深刻な事故が起こる可能性があるので、原発はできるだけ早くゼロにして欲しいです。また、原発で使った放射性廃棄物もたまり続けており、処理方法も決まらないことも、ゼロにして欲しい理由のひとつです。原発をなくす代わりに、地熱発電、風力、太陽光発電など、再生可能エネルギーの増加を急いで欲しいです。
57285	個人	自営業	30代	女性	原発のない未来を考えたほうがいい	今回の原発事故の処理が収束していない（終わりが見えていない）うちから「原発を稼働しよう」というのはありえない。原発でもどんな施設でも「もし事故が起きたら」どうするかをきちんと考えておくべきなのに、「次は大丈夫、絶対安全」とだけ言って再稼働しようというのは信頼に欠ける。「想定外」はまた起こりうる。そのときのリスクを考えずに原発を推進するのは反対。
57286	個人	自営業	50代	男性	原発はゼロにすべきだし、できる。火力発電で十分である。 電力会社の地域独占を辞めさせるべきである。	CO2地球温暖化説はウソだと明らかになってきた。天然ガス、シェールオイル、石炭など1,000年以上の埋蔵量がある。 総括原価方式と云った おかしな方式を辞めれば電気代は大幅に下がり、原発依存も無くせる。
57287	個人	その他	60代	女性	即時全廃	再稼働は許されない犯罪行為である
57288	個人	家事専業	40代	女性	原発依存度を即時0%にすることを求めます。 福島第一原発事故収束の目処が全く立たず、事故原因が特定できない中で、 地震大国日本で原発を稼動させることは理解できません。	・福島第一原発で重大な事故を起こし、未だに事故の収束目処も立っていないことから、原子力は日本及び世界の技術を持ってしても制御できない証しであり、このままの状態で原発を再稼動させることは日本及び世界の多くの人々から非難されるものである。 ・原発は他の発電方法と比較してコストが安価だと宣伝されているが、多額の廃炉費用並びに廃棄物処理費用が掛かるため、決して安価ではない。さらに福島第一原発のように一旦事故が発生した場合、その収束費用は膨大に上り今回のように電力料金に上乗せされ我々利用者に転嫁される事態に至っては全く問題外である。 ・原発を再稼動させる目的の一つに核燃料再処理が上げられているが、再処理によって発生するプルトニウムは原爆材料であり、アジアを始め世界各国から危険視されており、近隣諸国との紛争の基となる恐れがあるため、再処理の即時停止も必要である。また、六ヶ所の処理施設も未だ稼動していない状況では、本政策自体の破棄が求められる。 ・日本は世界でも有数の地震国であり、かつ未熟な技術しか持ち合わせていない状況ではなおの事、原発の即時停止が必要である。また、活断層の調査も不十分な状況が見受けられており（設置許可時点では意図的に隠蔽された恐れもある）、再稼動させた大飯原発を再度停止し、問題が指摘されている原発の再調査を実施すべきである。 ・福島第一原発の事故では多くの人々が暮らしていた土地を離れ、放射能の影響による将来への健康不安を抱えてこれから生活していくことになる。このことは、広島・長崎の被爆者並びにチェルノブイリの事故被害者から教えられたことであり、早急な補償措置が求められる。 ・以上の観点から一旦事故が発生した場合の収束費用及び被害者の生活補償は莫大な金額となる。 ・日本は人口が減少し始めており、今までの人口増加を想定したエネルギー政策は見直す必要があり、その中で再生可能エネルギーを十分に活用した政策の立案を希望する。 ・自らも東京に暮らし、日々放射能被爆の恐怖から2人の娘の食物に気遣う生活をこれから続けることは耐え難いものがある。 ・政府の拙速な大飯原発再稼動指示に対しては、大きく失望している。 以上
57289	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望	安全基準に疑問があり、現状ではさらなる原発事故が危惧されるから。

57290	個人	無職	30代	女性	専門家でもない立場から、失礼します。原子力発電を0%と六ヶ所村再処理工場の廃止を望みます。 個人資産法人資産の固定資産税見直しと、宗教法人税有料化により、エネルギーの仕組みが確実に変わると思います。	宗教法人税の無税にしている事により、企業が、宗教に対価を支払い、 自分達の利権に繋がる活動や嫌がらせやイジメの要因や盗聴にも利用されています。宗教法人税を無税にする事が犯罪も産み出す事に繋がっています。 宗教法人税の有料化を望みます。 パチンコ業界やアミューズメント業界の自然エネルギーの環境教育と電気使用調査と自然エネルギーを使用する事を補助金を出してください。 電気使用量をオーバーした場合、非電化製品のパチンコに切り替わる様に、規制する仕組みを作ってください。 雷発電や蓄電池や集光技術と太陽熱や太陽光発電の研究や環境教育に費用が付く様に望みます。 既に研究が終わっていても、投資するのに費用対効果が無いと断られる研究の中に、地球や人が長生きする為に必要な研究も沢山あります。 生物利用の有機化学に投資をもっとしてください。 (遺伝子組み換えは、廃止してください。) EM菌の利用で、放射能値が変わったと聴きました。EM菌に研究費が付く事を望みます。福島の方が、EMXを毎日飲める様に望みます。 再生可能エネルギー使用に切り替える間のコークス利用は、可能ではないかと思います。コークス利用率のうち、輸入よりも、日々焼却している生ごみや一般廃棄物をそのまま燃やして熱利用のみではなく、焼却処分場が発電所に変わる可能性と、愛知県にある炭生館の様に、一般廃棄物等をコークスに変えて、火力発電の燃料に使用したり唱和電気工業さんの医療廃棄物を炭化させて、コークス利用の研究にもっと研究費用を回してください。 生ごみと紙からエタノールを造る研究は、成功したそうですが、コストがかかるといってまだ、進んでない様ですが、廃材の糖蜜利用で、エタノール化は可能になるのではないでしょうか？どうか、投資をお願いします。 新しく海外にガスのパイプラインを建設する所に投資するよりも、その資源とお金をパイプラインではなく、太陽熱利用や温水器のパイプラインをビルの中や家の中に引くためのコストに使用する事により、カス利用よりも、安く太陽熱で賄えます。 ガラスは、再処理工場の核燃料保管に使用するのではなく、太陽熱集光や真空管に使用できる様になります。 珪藻土は、ミニモ計画による核施設の埋葬に使用するのに使わずに、各世帯の土壁に使用する事により、断熱材として呼吸もして、夏は涼しく、冬は温かい空間になります。 大家さんが、固定資産税を支払う変わりに、自然エネルギーに費用として、 使う事ができたら、光熱費を支払う程度の費用で、太陽光発電や太陽熱温水器に切り替える事が可能になります。 波の波力は、堤防のコンクリートに衝突して消える様にされていますが、 強い波には、柔らかい素材や真っ直ぐではない柔らな形の堤防の方が、波は吸収されるそうです。堤防に細竹工務店さんの波力発電を取り入れて、宮脇明教授の生命の堤防を植林する事で、海岸線の景観も変わると思いました。 アスファルトの駐車場を土壌浸透型駐車場にする事により、河川の流量を保ち川の水質の保全にも繋がります。 河川で小水力発電を自然工法を元に行われる事を望みます。 自然生態系の復元に補助金が付く事と駐車場の法律が変わる事を望みます。 固定資産税を支払えなくて、手放す人が多いと不動産屋さんで聴きました。 森を維持する事環境税の免除やバイオペレット等手入れに補助金がもっと出て欲しいです。 固定資産税の仕組みを変え、森の生態系保全や水源の保全的機能に価値を置き、水源を外資系企業に売り渡さないでください。生命の森を守る事で、海産物が豊かになり恵みがまた国に戻ります。ナショナルトラストが国の資産になるように、 原子力は、地震や自然災害等に弱く、健康被害も放射性廃棄物も生み出しますが、再生可能エネルギーは、地球が元気であれば、何度でも使えます。地球が循環して、他の国に迷惑かけない、地球の青く海も青く緑が豊かで生きられます。どうか、原子力発電は廃止してください。 全て受け売りでしたり、インターネットで検索した事を元に書かせていただきました。宗教法人税有料化の事を希望する為に書かせていただいたのですが、他に生意気に書いて失礼しました。 最後まで、読んでくださりありがとうございました。 どうか宜しくお願いします。
57291	個人	その他	30代	女性	「原発比率ゼロ」この選択肢をとるべきです。	真ん中の15%は一見減原発・脱原発依存かに見えますが、新規の原発建設を視野に入れた案であり、福島第一原発事故がいまだ多くの避難民を抱えた状態で終息とは言い難い中、これ以上の原発新設はあり得ないと考えます。おそらく受け入れる自治体も現実的にはないのではないでしょうか。また、使用済み核燃料の処遇も決まらないまま、既存原発を舎め稼働していくことについては大いに慎重でなければならないと思います。 大量エネルギー消費に依存した従来型経済ももはや復調の兆しは見えません。いち早く次の国家経済のあり方を考え実行していくのが日本の役目であり、またそうすることで世界をリードしていくべきだと考えます。 温暖化対策については、そもそも「二酸化炭素排出による地球温暖化」論そのものが疑わしい側面もあります。来る寒冷期・食糧危機についてもまた深く国民の議論を深め対策を考える必要があるのではないでしょうか。
57292	個人	その他	30代	男性	今後のエネルギー政策は、ゼロシナリオで進めるべきである。	ひとたび事故が起きれば、取り返しのつかない甚大な被害を生じさせてしまうばかりでなく、事故の処理には途方もなく長い年月と莫大な費用を必要とする原子力発電は、不要と考えます。したがって、わたしは、3つのシナリオのうち「ゼロシナリオ」を支持します。
57293	個人	会社員・公務員	30代	女性	再生可能エネルギーの導入を最大限加速し、原子力発電稼働ゼロを再び実現してほしい。市場メカニズムとネットワークの力を活用して、発送電分離など新たな電力システムを構築する政策を進めてほしい。	2030年における3つのシナリオがあるが、いま原発ゼロという選択肢を選ばなければ、省エネの抜本的強化や再生可能エネルギーの最大導入は十分に進まず、核燃料サイクルが継続されることになる。これでは、原発以外の新技術開発は依然遅れる一方であり、諸外国が撤退した高速増殖炉計画を継続することになる。危険性が高い技術からはすみやかに撤収をはかるべきである。 人間が行動を変えるには、鞭迫的手法以上に、(1)代替できる選択肢があること、(2)経済的なメリットがあること、の2つが重要だというアメリカの研究がある。現在の日本ではまず、電力を「選択」することができないが、電力の小売を全面自由化したドイツのような転換を日本も現実的に考える時に来ていると思う。 「事故がなければ安全」というかもしれないが、日常的に労働者に被曝を強いながら運転し続ける発電方法を選択したくない人間も多数いるのではないだろうか。
57294	個人	自営業	60代	女性	1.2030年までにゼロシナリオを支持します。	人間は、原発とは共存できないから、できるだけ早く脱原発に向けて努力してください。
57295	個人	その他	30代	男性	原発は国家を滅ぼす威力を秘めており、その危険性は許容できません。よって2030年までに全電源における原発の比率をゼロにする選択肢を支持致します。	原発といっても人間のやることですから失敗や過失は起こります。テロ攻撃や戦争によって積極的に破壊される可能性すらあります。また地震・津波・竜巻・火砕流・溶岩流・隕石等の自然の脅威に対して人間は無力です。 地震大国・火山列島である日本において原発を稼動し続ける場合、政府や国民は、数十年に一回位の確率で、少なくとも今回の東電原発事故と同程度の核物質大量拡散が起こると覚悟を決めるべきで、しかしそれは無理な話です。 今回の福島原発事故がもたらした国家的損失は甚大です。大勢の国民の人生が狂いました。避難時の混乱のせいで亡くなった人々、仕事を失い自殺に追い込まれた人々がいます。事故の推移によっては自分がそういう状況に立たされたかと思うと、原発に対する恐怖心が消えません。 火力発電や水力発電も最悪の事故が起これば数万人規模の死者が出ると思います。しかし原子力発電の場合、最悪の事態は広大な国土の放棄、国家経済の破滅を意味します。万が一の事を考えると原発の危険性はあまりに巨大すぎて、仮に二酸化炭素削減や電源多様化という利点があったとしても割に合いません。 直ちに原発を廃炉にすれば、電力不足による経済への悪影響は必至です。国策で原発を推進していたのだから、急に止められないのは当然です。しかし、自然エネルギー利用や省エネ技術は確実に発展するでしょう。一方で原発の廃棄物も確実に増加して更なる費用がかかります。エネルギー源を切り替えるのなら早い方が良いと思います。
57296	個人	会社員・公務員	30代	女性	0%	原発反対
57297	個人	自営業	30代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 ●原発は将来的にゼロにするべきである。 ●今まで原発に投入していた(している)莫大な費用を、自然エネルギー技術の発展に注ぐべきだ。	◆ 原発事故以前から、周辺地域に対する放射能による差別が存在している。 更に福島のような事故が起こり汚染が拡大した場合、その差別の対象は広範に及び 日本の食物や生産物の不信が広がり、日本人そのものに対しても向けられるだろう。 「低線量被爆は害が無い」と主張したところで、国際世論は到底納得してくれない。 例えば、致命的な不備が複数指摘される大飯原発で事故が起きた場合、琵琶湖の汚染、 世界遺産である京都の建築物が福島のように汚染されたら、と考えると、 その損失ははかり知れない。 ◆ そして何より、大量の被曝を受ける作業員の負担だ。使用済み核燃料の問題もあり、 人間の手に負えるエネルギーにシフトするべきだ。 福島の事故を踏まえていないかのような手続きで、大飯原発を再稼働も踏み切った当時の会見、 去年の暮れに「冷温停止状態」「収束宣言」をした野田総理の一連の言動は、 国際的な信用を著しく低下させた。 海外からの目が抑止力になって、こういった矛盾を孕んだ判断は下さないだろう、と 個人的に思っていたので非常に驚いた。 海外の友人も「中国や北朝鮮なら解るが、日本のトップがあのような詭弁を 公式の場で述べたことは、とてもショックだったし、日本の見方が変わった」と言った。 ◆ 個人的に急な脱原発は無理があると思っていて、中期的なシフトが望ましいと思っているが、 再稼働に向けては、多くの国民が納得できるプロセスを踏むべきだ。 大飯の再稼働では、原発推進の知人までもが「このプロセスでは私も反対だ」と語っていたくらいだ。 原発を推し進めるあまりに強硬な方法を通してしまうと、 日本の国際的なイメージの低下に直結するので、慎重に願いたい。
57298	個人	自営業	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	原発の怖さは東日本大震災ではっきりしました。日本国内に放射能汚染で人が住めない場所が出来てしまいました。人への放射能の影響はまだ何十年後かに出てくる恐れもあります。 こんなに危険な原発の災害はまた何で起こるかわかりません。一刻も早く「原発ゼロシナリオ」に向かうべきです。 自然エネルギー利用を推進しそれで環境も景気も良くして行くべきです。
57299	個人	自営業	30代	男性	基本的に原発には反対です。	基本的に原発には反対です。 人の手で制御できていない物を利用できると思っているのは思い上がりでしかありません。 確かに今は原発を用いたエネルギーは必要かも知れませんが、震災の事故以降は全国的に別のエネルギーを得る方法を真剣に考えるようになってきたと思います。 日本はエネルギー先進国としてエネルギー革新の姿勢を見せ、原発事故の反省も含めて世界にアピールする必要があるのでは無いでしょうか。
57300	個人	無職	70代	女性	0%	0%原発はいりません。子供達の安心して住める地球を残したい。地震大国日本に原発は危険。お金より命が大事です。
57301	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	放射能問題で子供の将来が心配。 それについてネットからしか知りたい情報が入ってこないのはおかしい。 大飯原発を動かさなくても電力は足りたのだから、何かあったら取り返しのつかないことになる原子力発電はいりません。
57302	個人	会社員・公務員	50代	男性	少しでも早く原子力発電を0%すべく制作を転換し行動すべきだ。 経済的な問題は、既存権益を守るのではなく新たな産業の創出を 誘導するのが政治、行政の役割である。	後世に対して2012年の今、発言することができる人間として発言することは、将来に禍根を残さぬよう原発を可能な限り早くやめること。制御できない技術は、使うべきではない。
57303	個人	その他	50代	男性	日本のエネルギー政策について	福島県での原発事故によって、安全神話が失われ、 既得権益等々が露わになった今、 原発は不要と考えます。 また、核のゴミ問題を棚上げし、 10万年という途方もつかない期間の放射性廃棄物の管理など、 何も決まってない状態での原発再起動など、 既得権益にしがみついた人間の醜さの表れでしかありません。 よって、発送電の分離を課題とし、 一刻も早い原発の廃止を求めます。 子供たちや子孫に自慢のできる国を残したい。
57304	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ(即時)	原発のエネルギーの後処理の不十分さ。 原発の管理体勢の不十分さなど、どれだけ人が進化してもこのエネルギーを使って安全という保証がどこにもないのであれば、原発は必要ないです。
57305	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発再稼働停止、全面廃炉、原発依存0パーセント。天然ガスの活用。	放射能による被曝が人間、環境、生物に及ぼす影響を考えれば、即時原発の廃炉、新エネルギーへのシフトを要望します。原発が再度爆発すれば、日本はどうなるのでしょうか?地震が今だ頻発しているのに、考えられません。原発を続ければ、爆発はまた起こるでしょう。機械は老朽化するし、故障もするのですから。日本の50年後を考えてください。
57306	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島第一原発の事故は、人間にも地球環境にも制御不能な原発の本当のリスクを日々私たちに突き付けた。ドイツは倫理によって、米国は経済効率によってこのリスクから離れようとしている。日本も今決断すべき時だ。	福島第一の事故とその影響の広がりによって、原発をエネルギーの中心に置くべきか、存続させるとしてもどの程度を、他の何と併存するのがよいか、と行った議論は、すでに何の意味も持たなくなった。その理由は第一に、事故対応と汚染や被曝に対する対応が、適切かつ迅速に出来なかったという結果が明らかになったからだ。電力会社と政府の混乱、隠蔽、マスコミの世論操作の実態は、すでにこの日本には原発を製造・運転する能力も資格もないと断じざるを得ない。第二に、この原発をエネルギー政策の中心に無理に置き続けてきた結果、日本は自然エネルギーを利用した発電技術において、世界のトップ技術から回復可能とも思える遅れを所持てしまっている。海に囲まれ地熱も豊富なこの列島の特質も生かさずにおいて、エネルギー安保論議など笑止である。第三に、米国はいつから原発の製造をやめたのか、日本はもう一度考えるべきである. 製造者のリスクがどれほど高くつくか考えたからだ。ゼネラルエレクトリック社の重鎮が語ったのは、原発は経済的な正当性(投資を呼びこみ、利益を生み出す という説得力)がないということだ。再生可能エネルギー、自然エネルギーのコントロール技術の発達が、そのような経済効果を生み出してきたことは言うまでもない。経団連会長は脱原発を批判するが、自先の資金回収より未来への投資を促すのが、政府の舵取りというものではないか。

57307	個人	その他	40代	男性	一刻も早く原発比率ゼロに。そして、完全廃炉。原発依存は0%を一日も早く実現。	フクシマの事故が収束しないうちに再稼働するなんて、この国は、どうかしてる。 再稼働する前にやることは沢山あると思う。 フクシマの人々のことを考えたら、全ての原発は、一日も早く止めるべきで、 他の方法で電力を獲得すべき。
57308	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 国内の全原発の稼働を止め、全原発のを廃炉手続きを進め、原発の新設を認めません。 つまり、2030年を待たず、一刻も早い「原発のない日本」「原発ゼロの日本」「もんじゅや六ヶ所再処理工場の廃止」への舵取りを日本国政府に求めます。
57309	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオを支持します	311の事故に学んで　ここで原発という危険なエネルギーから手を引かないなら人間の知恵は何のためにあるのでしょう。人間の手で制御できないエネルギーが必要でしょうか。代替のエネルギーの研究のためにお金と力を使ってください。
57310	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオ以外に道無し。	地震大国の日本において、原発を設置し続けることは自殺行為に他なりません。 実際、福島第1原発付近は国土から失われたも同然です。 また、使用済み核燃料などの高レベル廃棄物の処理もままなりません。 今後10万年もどうやって安全に保管し続けるのでしょうか。 果たして10万年後に人類は生存しているのでしょうか。 そんな危険な代物を今後も作り続けるのは危険です。 核燃料も海外頼みです。 高速増殖炉にはナトリウムが使われ既存の原発以上に危険な施設となっています。 故に今後は海外からの核燃料に頼らず、自給できる、地熱、太陽光、太陽熱、バイオマス、洋上を含む風力、波力、潮力等の再生可能エネルギーの開発に力を注ぐべきです。 もちろんそれらがすぐに原子力に代わることは難しいでしょう。 しかしながらその間はシェールガスを含む天然ガスを使えば問題ありません。 秋田にはシェールオイルの油田も見つかりましたし、新潟沖の大規模油田も有力視されています。 長期的には、メタンハイドレードや人工光合成も使えるようになるでしょう。 原子力の雇用が減っても、それら新エネルギー関連の雇用は増やせるはずです。 日本国政府は、現状維持でデフレスパイラルを促進させるのではなく、来来志向で国民を奮起させるべきです。 今この時だからこそ、エネルギー革命が必要なのです。 そして今この時しかエネルギー革命は出来ないのです。
57311	個人	会社員・公務員	50代	男性	シナリオ3に賛成（20%－30%）	資源のない日本が現在の医療や福祉の水準を維持するためには必要。 より安全とされているトリウム型原子炉を開発して、軽水炉の比率は下げてほしい。
57312	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ	原発反対。
57313	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)の0を選択します。	原子力発電の最終的な処理方法も確立されておらず、核廃棄物を処理できるかどうかもわからず、最終的なコストもわかっていない現状で他の発電方法とコスト比較することは全く意味がないと考えます。また、放射線漏洩が発生した場合の対処方法が退避しかなく、遺伝的に子孫までの真の意味での影響も判明していない現状では原子力発電は選択すべきではないと考えます。あらゆる角度から検討して、現時点では原子力発電が必要だとしても、将来的には原子力発電をなくして行くのが理性的で本当に日本の将来を考えた選択だと考えます。
57314	個人	自営業	20代	男性	原発依存から脱却すると判断するタイミングは「今」しかありません。	原子力発電を推進したい人からのプレッシャーなど受けられて、本当にご苦労様です。さぞ胃の痛い日々をお過ごしでしょう。 ただ、原発依存から脱却すると判断するタイミングは「今」しかありません。 その判断によって「混乱」を恐れることはありません。一度でいいので国民を信じてください。 少子化が進む中、子供は本当に貴重な財産です。 このコメントが総理はじめ環境大臣に届くかは分かりません。 私はこのコメントを手にとって見ている内閣府のスタッフあなたに問いかけます。 有識者の意見が既に何万件も届いているはずです。 それらの意見を、必ずしっかりと伝えてください。 「必ず」です。お願いします。
57315	個人	法人等	60代	男性	3つのシナリオのうち20～25シナリオに賛成します。たとえ省エネに努力しても、エネルギー需要増加を伴わない経済成長は考えられないため、原発0のシナリオでは我が国の存立を危うくすると考えます。	我が国のエネルギー・環境問題を取り巻く環境は、東電福島原発事故の発生によって大きく変化したと言われています。しかしながら変化したのは、原発の安全性に対する我が国の課題です。それ以外の環境（財政問題、エネルギー資源を持たない国、温暖化問題の深刻化など）は変化していません。さらに今回の大震災は、我が国にさらなる財政的な負担を生み出すと考えられます。今回のシナリオでは、2030年までに約20%の経済発展を見ているようですが、それに対する電力需要は省エネによって、逆に減少するようなシナリオです。これは素人である私が見ても奇異に映る部分であり、経済成長を望むならば、豊富で安いエネルギー確保が必須と思われます。これが大震災以前の基本的な環境であり、地球温暖化問題との関連として、現行エネルギー基本計画が作成されたと思います。 私の立場は、原子力の平和利用は是とする立場であり、原子力発電所の安全性が抱える問題は、別の対応策を考えるべきと思います。今回の事故原因の解明も一向に進みませんが、おそらくこのような民度レベルでは、原発に関わる安全性の議論などを深化させることなく、いっそのこと原発をゼロにせよという意見はわからんでもありません。この方がリスク回避という点では、容易でしょう。しかしながら、現在の我が国が抱える諸々の課題を考えると、経済成長をあきらめ、産業空洞化し、格差が広がっていく社会が持つリスクの方が、原発ゼロよりも深刻と考えます。ベストミックの選択は困難ですが、原発ゼロを政策として決定することは、我が国の将来に大きなつけを生みそうです。 最後に今回のシナリオにおいて、温暖化対策に関する具体的な記載がありませんでしたが、世界の流れとして二酸化炭素の地中貯留（CCS技術）は不可避の技術であり、どのシナリオを選択するにしろ、我が国として今まで以上に真剣に向かい合うべき技術といえることを申し添えます。
57316	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電を全てやめることに賛成です。	原子力発電を全てやめることに賛成です。 原子力発電は常に近隣住民のみならず、広範囲の住民に対して長期間にわたって被害を及ぼす危険性を内包している。これについては詳しく述べるまでもなく、スリーマイル島、チェルノブイル、フクシマなどの事故を見ればあきらかである。もし政府がそんなことは無いと考えているのであれば、詳しく説明するので、電話番号欄またはメールアドレス欄に記入した連絡先に連絡ください。 最も大きな問題は、大きな危険性を内包しているにもかかわらず、原子力発電の安全システムが、積極的に関わらないと安全が保てない危険性の高いシステムになってるところにある。 危険性が高い理由のひとつは いざとなれば発電を止めれば安全が保てるシステムではないところにある。 原子力以外の発電システムが地上の乗り物と同様何かトラブルが発生した場合、停車すれば、基本的な安全は保てるが、原子力発電は空中を飛ぶ飛行機と同じで、停止することでは安全を保つことができない。飛行機の場合燃料の供給をストップした後も姿勢の制御をし続けないと不時着はできない。その例が御巣鷹山の事故である。フクシマの事故も原子炉内の制御ができなくなって事故になった。自己の制御に積極的な動作を必要とするところに安全性の低さがある。 いざとなったら、コンセントを抜けば良い、いざとなったらブレーキ踏めば良いシステムは比較的安全性が高い。 次に事故が起きた場合に、原子力以外の発電システムでは、最悪でも、周辺住民が避難して、システムを止めて、燃料を遮断して、時間の経過を待つことで、事故は収束するが、原子力発電の場合、積極的に関わらない限り、人類の時間レベルで考えれば、永久に収束しない。これも、危険性のレバルが違うことを意味する。影っておいた場合時間の経過ともに収束ぬ向かうのか、悪化していくのかは安全性にとって重大な問題 次に今われ我々が検討すべき課題は何か。 危険性が高く事故が起きた場合の被害の甚大な発電システムで発電するのか 安全性が高く、事故が起きたときの被害が小さい発電システムで発電するのか という点で言えば、原子力以外の発電システムで発電するほうが良いことは明白である。 電力は足るのか？という問題でいえば、 今夏でも鉄道でもビルでも冷たいほど冷やしているし、未だ節電は可能なので、大飯3号4号を動かさなくても、最低限の電力は足りている。従って、今後、代替エネルギーを順次増設していくことで、電力不足は問題にならなくなっていく。原子力関連予算の全てを代替エネルギー開発予算に回して欲しい。 原発立地地域で原子力発電は必要との意見が根強いが、これは原子力発電の電気は必要なのではなくて、原発立地交付金が必要なのであって、必要な電力を確保するために原子力発電をつくか使わないかの議論とは別の問題である。別途に検討すべき課題だと思う。 時間がなくなってきたので、これまで
57317	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。 即廃炉です。 期限について記載忘れましたので追加意見です。	即廃炉です。 2030年なんて悠長なこと言ってる場合ではありません。 その頃、この方針に賛成された方はどれだけ政界にいらっしゃいますか？ むしろ存命中かどうかすらわからない未来です。 そうなると誰も責任を取りません。 今のうちです。 あなた方の責任において廃炉です。 稼働中も停止中も即廃炉です。
57318	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。出来る限り速やかにすすめるべきです。	事故の被害が計り知れないほど大き過ぎるだけでなく、常に被曝労働という犠牲を要求し、使用済み燃料の半永久的管理が必要なのに確立されていない、燃料採掘現場の環境破壊、など原発はエネルギーとしては断念するしかないと考えます。一刻もはやく完全脱原発を決定しましょう。
57319	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発即時停止	原発即時停止すべき。事故後の影響大き過ぎる。 太陽光発電を推進。電気の使用制限、定期計画停電の実施。 ディーゼル車とガソリン車の使用制限、または使用禁止。
57320	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを前提に進める。約10年後に進捗を見て、ゼロにする時期を見直す。	まずは高い目標を掲げて、それに沿った政策をとった方が、技術開発が進み、効果が出る確率が上がる。原発は事故がなくても放射性廃棄物処理の問題があり、なるべく早く脱原発すべき。
57321	個人	自営業	30代	男性	原発はもう入らない！	行政機関は、日本国民を騙すことなく、子どもが安全に暮らせる国にして欲しい。
57322	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを希望します。	来た道、進もうと思っていた道を、大きく変えるのは、困難が伴うけれど、 この度、起こってしまったことから学ばないと、それは進化とは言えない。 自分や自分の子孫への、影響の測りし得ない物事を、このまま進めることは出来ない。
57323	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロ	現在の福島の状況、その他の関東及び周辺地域の汚染、食の安全、核廃棄物の問題、世界的動向、どれを取っても、また再び原発に依存する社会を維持することは選択肢としてないように思えます。 原発の存続するか否かで現在の日本の経済活動が大きく左右されるという認識はありますが、消費税、TPP等、今大きな課題となっている政策も含め、一部の既得権の維持・拡大が優先されていると感じる人は、私を含め決して少なくないはずです。 誰のための経済なのかを今一度お考えいただき、諮弁のない真っ当な説明・意見を持って政策を行っていただきたいと思います。
57324	個人	会社員・公務員	50代	男性	とりあえず20～25シナリオで走り出し、できる限り早く見直しをかけるべき。資源のない日本では、全英知を結集しあらゆるエネルギーをバランス良く使うべき。偏ったエネルギー利用は不可。S＋3Eの考慮は必須。	とりあえず20～25シナリオで走り出し、国際情勢や国内意見の動向を見つつ、できる限り早く時間をかけた再検討を行い、見直しをかけるべき。資源のない日本では、存在するエネルギーすべてを上手に使うことが必要。全英知を結集しあらゆるエネルギーをバランス良く使う方策を考えるべき。自然エネルギーもできる限り使うべきだが、コストや安定性に課題がある。化石燃料に頼ることも、エネルギーセキュリティー、コスト、環境のすべてでリスクがある。偏ったエネルギー利用は不可。S＋3Eをしっかりと考慮してエネルギーミックスを考えることが必須と考える。
57325	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオ。	自宅に住めない人がでる原発はいりません。 原発依存を0%にし、速やかに全面廃炉を求めます。 また、現在動いている原発も直ちに全面稼働停止を求めます。
57326	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はゼロシナリオで。	福島の事故がもたらした影響は、いまだ解決の糸口さえ見つからない。 自然界にない物質に翻弄されている。 co2削減を理由にするならば、他の再生可能エネルギーで代替できるはず。 諸外国なみの開発を期待する

57327	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	・福島第一原発事故の終息もままならず、正常稼働中も放射性物質を撒き散らし、排出される温水によって海の生態系を狂わすものであること 世界最悪の原発事故によって、日本は世界一汚染された国となってしまいました。 その事故も終息などしていません。 正常運転中の原発からも放射性物質が放出され、原発の敷地内には、事故前から奇形の植物がみられ、周辺地域の癌の罹患率も高いという報告があります。 「温暖化対策」と謳われていた原発が止まった途端、世界的な寒冷化。 南方の生物が住み着いていた海は、以前の生態系に戻りました。 原発は決して「安全でクリーンなエネルギー」などではありません。 ・廃棄物の処理方法も、処理の場所もないこと。 使用済みの核燃料を、どこにどう処理するおつもりでしょうか。 放射性物質が安定する100万年もの間、大災害は必ず起き、その素材も劣化していきます。 原人が現代人になるような長い間、現在の事故を確実に伝える術などなく、絶対に安全に保管できるとは到底思えません。 ・原発を稼働せずとも、電力供給に大きな問題はないこと。 原発以外の発電で、電気はほぼ賄えます。 真夏の平日昼間に数時間あるかないかのピークのために、原発を稼働させるのは馬鹿げています。 少しの節電、他の電力会社から補い合うなど、他の方法を考えてもいいと思います。 ・日本には、既に最先端の自然エネルギーの技術があること。 日本の自然エネルギーは、世界で既に活躍しています。 これからの開発では ありません。それらを日本にも導入してください。 日本で普及しない多くの原因は、資金の問題です。 原発に充てられている莫大な補助金を、一部でも自然エネルギーの導入に回してください。 太陽光、風力、地熱、波力、バイオマス…。 それらは、自然の豊かな東北の、これからの復興にも大きな力となると考えます。
57328	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	他の自然エネルギーに移行する考えが必要。自然エネルギーに移行してもメンテナンスは必要、大変だと思いますが、福島原発事故のような悲惨な事故をこれからの未来も無いようにしなければ私たちは子孫に未来を繋げない。今現在ではなく、未来を見据えていただきたい。
57329	法人・団体等	自営業	40代	女性	原発ゼロにしてほしい。	現在まで、3・11の被害者への賠償、生活の補償もできていない、事故の原因究明、事故後の対応の検証もできないことがよくわかっている。原発を稼働して同じことが起こって犠牲者がでるのは愚かすぎる。命を犠牲にしてまですることでない。広島、長崎、福島で学習しないのは日本の恥。
57330	個人	自営業	40代	男性	広範囲に犠牲を強要する大規模エネルギー技術から小範囲に被害を押さえられ、犠牲を回避可能な小規模エネルギー技術へのシフトを求める意見書。	今回の原発事故による放射能汚染で私たち家族は 自宅周辺の放射能汚染を確認した後、関東から四国へ 移住しました。 私たちは移住できましたが仕事上、収入の都合上、 健康に不安を感じながら移住を出来ない友人家族もいます。 原発は健康な生活を不安無く送る自由さえ奪います。 １００％安全な技術が無いことは子供でも知っています。 その中でも事故が起こった時に取り返しの付かない技術が 原発です。 明確な説明も出来ないまま一部の権力を握っている者の利権のため 国策と称して進めることを国民は許しません。 例え事故が起こったとしても半永久的な悪影響などを 起こすことのない、太陽光、風力、水力などの規模電力を地方が 進め、事故時、弱者に犠牲を強要することのない平等な世の中に してください。 以上。
57331	個人	その他	40代	女性	国内の原子力発電所を全面廃炉とし、電力の原子力依存をゼロとしてください	GEのCEOも原発による発電コストは他のエネルギーと比較して想定的にコスト高になっていると指摘しています。 ※日経新聞7/31付　米GEのCEO、原発「正当化難しい」　英紙に語る 米電機・金融大手ゼネラル・エレクトリック（GE）のジェフ・イメルト最高経営責任者（CEO）は、30日付の英紙フィナンシャル・タイムズのインタビューで、原子力発電が他のエネルギーと比較して相対的にコスト高になっていると指摘し「（経済的に）正当化するのが非常に難しい」と語った。http://goo.gl/NrY8p 福島事故を受けてドイツなど一部の国では原発の廃止を決めています。 国土、海洋を広く汚染し、未曾有の原発事故を起こした日本が原子力発電を維持することには無理があります。
57332	個人	会社員・公務員	20代	男性	私は、現在発表されております3つの選択肢において、現状では原発の安全評価が非常に難しい背景があるところではありますが、「20～25シナリオ」現実的に妥当と考えます。	私が上記のシナリオが妥当と考えた理由として、下記の2点が挙げられます。 (1)再生エネルギー依存性の高さ 確かに、再生可能エネルギー導入の必要性はこれまでも謳われてきていますが、風力や太陽光等のクリーンエネルギーを含めて、どこまで具体的な技術確立がなされているのかという事や、その各世帯への普及を見ても、どこまで実現可能かは明確にされていない感じます。努力目標として取り組みを継続することはもちろん必要ではありますが、国民、企業への大きな負担を考えると、もっと具体的の施策、方針があって然りなのではないでしょうか。 (2)判断材料としての情報が不十分 世論として、原発安全性の不透明さから様々な意見が出ておりますが、その根拠は、私個人としては明確になっていないのではないかと感じています。マスコミを含めて、一部の方々でなくもっと国民全体が、真剣に議論に参加できるよう、積極的な情報発信をしていただきたいと、具体的な意見抽出へはつながらないと感じます。また、本当に原発をゼロにしても現在の生活水準を維持できるのか、明確にすべきだと考えます。 今回の議論については、産業界への影響や、将来の雇用問題、エネルギー転換によるCO2削減への取り組み等を考慮した上で、やはり現状では、原発エネルギーを否定するだけでは、抜本的な解決にはならないと思います。東北大震災を契機に問題とされております、各電力会社の設備管理面の強化、原発エネルギーの安全性向上については、今後も徹底的な議論と共に対策を明確にする必要がありますが、まずは現状として、技術的に可能な方向性を精査し、われわれ国民が安定した生活が送れるよう、検討をお願いします。
57333	個人	会社員・公務員	30代	男性	実現可能性のある選択しとして15%シナリオを目指し原発の諸問題を解決していくのが日本の責務。	原発の恩恵を受け、開発をリードしてきた日本がたった一回の失敗で安易に撤退するのは無責任で、今回の反省と原発の諸問題を解決してから撤退するのが本筋である。しかし、廃棄物問題は避けることができないため現在ある。若しくは今処分場が無いものについては現在計画してる処分場が満杯になるタイミングで完全脱原発しなければならない。したがって、原発依存率を速やかに減らして処分場を延命し、その間に効率的なエネルギー発電技術を開発して再生可能エネルギー依存率を上げていくべきである。2030年までという時間の中では、現在技術的に確立されてる地熱発電技に頼らざるを得ず、2400万kwという最大資源量を考えると15%程度は十分可能性があるため、15シナリオが妥当と考える。もちろん、原発依存率は15%は最低目標値で可能な限り低い方が良い。
57334	個人	パート・アルバイト	30代	女性	今すぐ原発ゼロ。 もんじゅは廃炉でお願いします。	福島の事故を見れば、原発が必要などと考えられません。 未来のためにも、今すぐ原発をやめてほしい。
57335	個人	自営業	30代	女性	政府には、3つのシナリオの中ではゼロシナリオをとって欲しいです。 原発に頼らないエネルギーシステムに向けて、必要な施策をとるべく最大の努力をして欲しいです。	原発事故があった場合の人体、自然環境に与える影響を考えると、到底原発を続けようという選択はできません。 どんなに事故防止策をとったとしても、原発があるかぎり、事故の確率をゼロにすることはできません。 また、放射性廃棄物を処理していくか、安全に管理していくかに関しても、まだ十分な施設や技術が整っているとは言えません。 もちろん、今後技術を発展させ、安全に処理する方法を見つけていかなければいけないのは言うまでもありませんが、これ以上有害物質を使い続ければ、それだけリスクを犯して保管、処理する地域が増えていきます。放射能がどれだけ私たちの生命をおびやかすのか、身をもって知った私たちが選択するべき道は、もうこれ以上放射性廃棄物を増やし続けないことではないでしょうか。 今、原発をゼロにするという決断をすべきです。 2030年までに可能かどうか、どの決断がより賢明か、現実的か比較・検証することは大切ですが、それ自体にはなんの意味もありません。どの選択にも実現の可能性はあるのですから。 私たちが家族や友人、自分を育んでくれた国土、未来を生きる子供達のために、国民の一人一人が今、未来に向けてどんな選択をするか。その選択に向かって、皆で考え、試行錯誤をしながら動いていこうとスタートすることが最も大事だと思います。 私は一国民として、「原発という1%でも大切な人たちを脅かすものは残しておかない。あなたたちの命が何よりも大切だ。命を守るためにこれから私たちはどんな努力だってするよ」という意志を表明します。 新しいエネルギーシステムの構築、温暖化や安全保障といった諸問題への対処にはかなりの努力が必要でしょう。普段の生活の中でもたくさんの我慢をすることになるかもしれませんし、思いもよらない複雑な問題が次々と出てくるかもしれません。 しかし、私は乗り越えていきたいと思います。私がすべてを解決できるわけではありませんが、私が責任をもてる範囲で努めを果たしていきます。 私たち国民一人一人が自分のできることをやれば、きっといい方法が見つかる。その可能性を強く信じています。
57336	個人	その他	40代	男性	原発0シナリオを選択します。	ゼロシナリオ　すぐに実行して下さい。20年後ではありません。 福島の事故は未だに収束していません。また、地震が日本では活動期に入ったとされています。 こうした、中で大飯原発が再稼働されたのですが、安全性が確認されたという文言には、福島第一で、重要な役割を果たしている、免震重要棟は未設置で、ベントフィルターもつけていない、原発直下にある破砕帯の検討は再稼働されてからでした、これは、安全性が二の次にされてしまっています。 また、安定電源の確保という事ですが、原発自体が不慮の事故があるために、バクアップアップ用に火力発電があり、原発がなくても電源が足りないという事ではありません。それを証拠に火力発電所を大飯再稼働と共に関西電力は止めました。 原発の下請け雇用の作業者の被ばく、原発周辺地域での健康被害調査、ウラン鉱山の健康被害、そうした調査、を徹底的にしてください。 新しく創設された、原子力規制庁の役員は　定期点検に同行して、不正な労働環境でないか監視するべきです。そして　被害があったなら　数値を下げて補償をしてください。 放射性物質の無毒化ができまで、発電しないでください。
57337	個人	会社員・公務員	30代	男性	以下の点で「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張する。 (1)即原発ゼロによる様々なリスク回避を行うべき。 (2)再生可能エネルギー産業への転換による日本復興を目指すべき。	(1)即原発ゼロによる様々なリスク回避を行うべき。 巨大地震発生のリスクがゼロでない以上、国は最悪の事態を想定し、リスク回避を行わなければならない。つまり即原発の稼働を停止することが国民の命を守るということになるだろう。野田首相が大飯の再稼働を行ったが、福島県民をはじめ、原発事故による被害者を冒涜した意思決定であり、本国の未来を脅威している。実際に、原発被災者からは大飯原発の再稼働に対して「国に見捨てられたような気持ちになった」と言及している。単純に言えば、日本のリーダーは「困っている人の気持ちがわからない、困っている人の気持ちになれない」ことを全世界に発信してしまったのではないだろうか。リーダー（首相）はより良い国家を創るため、特に社会的弱者の境遇に共感し、施策断行できる人物であるべきであると考える。先般の意見聴取会の結果を重く受け止め、原発により被災者となった人たちの立場を十分に理解するよう努め、政策に反映する事を切に願う。数や経済の論理ではない判断をするべき事態であり、即原発ゼロによる国民の安全確保を第一にお願いしたい。 なお、即原発ゼロと併行して、災害時に病人、被介護者、子供、老人等の安全が守られるよう、ハードおよびソフト面での事前の対策をしっかりと行うべきである。 (2)再生可能エネルギー産業への転換による日本復興を目指すべき。 再生可能エネルギーは世界的に最も成長の見込まれる分野の一つである。まだまだ技術開発の余地はあり、国としても重点施策の一つとして位置づけている。ただし、原発の稼働期間を延長することは、再生可能エネルギー分野への投資を少なくし、研究開発力を低下させることになる。また、以下の原発リスクを勘案すれば安全面において必然的に可能性のあるエネルギーであることは一目瞭然である。 1.原発の稼働により生み出される核廃棄物の危険性と莫大な処理コスト 　原子力発電所は、どこでどのようにどれくらいのコストをかけて処理するか、そもそも処理できるかもわからない大量の核廃棄物を生み出す。また、燃料であるウランを産出する過程でも放射性物質およびと素等の環境毒性物質が生み出され、地域住民と地球環境を汚染する。他国および自国に迷惑をかけてまで原子力発電所を維持しなければならないのだろうか。また、ウランは輸入に頼っていることから、原発は資源小国である自国におけるエネルギーの安全保障には貢献しない。さらに戦争という観点で言えば、ウラン濃縮の過程で生じる放射性廃棄物は劣化ウラン弾になり、使用されれば深刻な健康障害を引き起こす。また、アフリカ諸国におけるウランの分布は数十年にわたって続く紛争と深い関係がある。ウランを使えば使うほど「ウランを巡る戦争」を煽り立てることにもなる。 2.故郷の喪失 　福島第1原子力発電所の事故により、国土は放射性物質により汚染され、周辺住民は避難を余儀なくされた。避難者は心安らかに生活し、働き、眠る事ができるのだろうか。そうではないだろう。誰が原子力発電を推進したのか歴史を検証し、誰に責任をとらせるのかを明確にする必要がある。現地では、補償の問題で地域住民間の分断が生じており、心身ともに大きなダメージを被っている。この状況を打開するためには、福島県のみならず全国で相互愛ゼロ、再生可能エネルギー産業の競争力向上を目指し、施策決定を行って頂きたい。
57338	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所の即時廃止	福島での原発事故は、科学的、技術的なものではなく、人的なミスが主な原因であったと考える。その被害の大きさと、維持コスト（いつの日か廃炉が必要になる）を考えると経済的合理性からもこの発電方法を放棄すべきだ。
57339	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発不要。独占的インフラ業はメディアへの広告出稿を大幅に制限すべき。	補助金をばらまかないと維持できないシステムは不要。 今回の事故が起きるまで不都合なことが表に出てこなかった組織の問題。 関係者に失敗についての反省が見られない。 広告出稿でメディア買収の疑いが濃厚で、世論が正しく機能しない。
57340	個人	自営業	40代	女性	原発はできる限り早くゼロに	2030年まで待てません。すぐにでも全ての原発を停止してください。

57341	個人	会社員・公務員	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」ないしは原発をなくし、火力発電を減らし、自然エネルギー、再生可能エネルギーを強化した「第四のシナリオ」を希望します。	「東日本大震災」での、福島第一原発の事故を受け、 原子力発電所の危険性、放射能の恐怖を身を持って感じています。 私たちは2011年3月11日より前と違う生活になってしまいました。 「原発はいらない」そう強く思います。 未来の事を考え、安全でクリーンなエネルギー政策を支持します。 太陽、風力、水力など、自然の力を使ったクリーンなエネルギー政策を支持します。 アイスランドが行っている地熱発電にも目を向けるべきです。 電気が足りないのであれば、原発を推進するのではなく、 省エネに目を向けるのも一つの手段だと思います。 「その電気は必要なのか？」国民一人ひとりが意識するべきです。 また、今回のパブリックコメントですが、 国民からの意見を聞くと言っていながら、広報力が弱すぎます。 テレビや新聞、インターネットをより使い、全面的な告知が必要だと思います。 以上になります。 少しでも国民の意見が届く国であるよう祈ります。
57342	個人	法人等	50代	男性	（1）のゼロシナリオで行くべきだ。原発安全神話の夢から覚めた今、国は将来世代のための生命の安全と、美しい国土の環境保全をまず望んでいる。経済問題等のピンチは政策転換によりチャンスに変えられる。	この委員会をある程度ウォッチしてきた国民の一人として、はじめに言っておきたいが、最初の委員会の人選、次に委員長の決定の手順などあらゆる段階で、国民目線からは議論の公平性が疑われるような様々な疑義があったことを指摘しておく。エネルギー政策が自分と次世代の、正に命の問題であることを、原発事故以来多くの国民が熟知している。小手先のマヤカシは通用しないものと関係者すべてが認識すべきだ。 さて、3つの選択肢の中では当然、（1）ゼロシナリオで行くべきである。本来ならば、「エネルギー・環境会議」では、福島原発事故を受けて未来のエネルギー・環境政策をどのような方向で位置づけるか、その理念こそを論ずべきであった。仮にそうであれば、今回の3つの選択肢よりも、もっと早く原発を減らす（マイナス１）や（マイナス２）の選択肢も設定されたはずだ。しかしこのパブコメではそれらが無い。従って（1）しかない。 そもそも「エネルギーミックス」という論点設定自体が、そもそも国民に対するマヤカシである。本来あるべきエネルギー政策の理念が、倫理的・科学的にいったん検討されるべきであったのに、まるで「原発をどの程度残していくか」という議論に矮小化されてしまった。価値として何を大切にするのかを話し合わないで、巨大な原発事故から国を復旧することなどできるはずもない。 原発の安全性の論議も正直に言って滑稽である。技術的にはより安全な原発がありうることを否定しないが、次から次に明かされる、東電の事故前からの準備不足、行政のチェック体制の甘さと癒着、またいわゆる“原子力ムラ”の学者達の無責任ぶり。これらの報道を見るにつけ、仮に技術的な安全が今後形式上計られたとしても、日本でそれを実際に遂行できる体制が構築でき、透明性を担保した運営が確保されるとは、一国民として到底信じられない。原子力産業全体が疑惑視されているのに、その自覚がないことがこのパブコメ募集の形にも表れている。結論として「安全技術と安全規制で事故リスクを制御するというアプローチ」に関しては、問題外といわざるを得ない。 次にCO2削減の問題だが、まず用語を改めてほしい。原発はならず「クリーンエネルギー」ではない。おそらく人体にとっては最もダーティなエネルギーである。現在、低線量被曝について様々な議論があるが、ICRPですら人体への悪影響について「しきい値なし」モデルを提唱しており、CO2を発電時に出さないから「クリーン」とはとても言えない。CO2排出量についても、ウラン採掘から運搬、加工処理、原発建設・廃炉まで含めれば、他の発電と大差ないかそれ以上という議論もある。 たとえ一時的に化石燃料への依存度が上がったとしても、再エネの普及で将来的に依存度を減らせるならば、国際社会の理解も得られ、CO2削減も長期的には解決するはずだ。むしろ大切なのは、世界唯一の原爆を投下された国として、放射能の健康への危険を重視し、世界に向けて新しい価値を示していくことではないか。その新しい価値とは、制度を整備した上で国民が一丸となって取り組めば、再生可能エネルギー（以下、再エネ）へのシフトは、予想より短期間で達成できること、また、廃炉技術と放射性物質貯蔵管理の先進技術を開発することで、世界の最先端に立つことである。ガス・コンバインドサイクル発電など、よりCO2削減に寄与する形態も、途中の段階で模索できるはずだ。 経済面からはいろいろ声があるのも事実だが、「経済的負担が重く」なるとは限らない。発送電分離をしたとて再エネを地方で展開し、その利益を地元の利益として回すようにすればむしろ地方経済は潤い税収にもプラスになる。また省エネ技術の開発を国家レベルで奨励することで、こちらにおいても雇用や生産が生まれ、むしろ国内の産業成長・世界経済に適応した産業構造シフトに寄与し、GDP面にもプラスになる。廃炉技術も世界をリードできれば、人と技術を輸出することは夢ではないし、日本にはその可能性が十分ある。 そのためには現在の電力十社体制を解体し、スマートグリッドなどの技術を用いて、地方からの多くの小型発電をまとめた分散型の送電システムを早期に確立する政策が求められる。現在の電力会社の雇用は、これらの新しい技術の開発運営会社に移せばなんら問題ない。巨大な発電システムはすでに時代遅れなのだ。 同時に、いわゆる原発立地町村こそ、再エネに適した自然条件を持っていることが多いのだから、優先的にこれらの町村にエネルギー・シフトを政策として適用し、再エネ産業を新設し、彼らの経済・雇用への不安を払拭していくことが必要だ。再エネは、農漁業などの第一次産業と相性が良く（原発と最も異なる点である）、これまで危険と背中合わせで原発交付金で財政を回さざるを得なかった立場から脱却し、自立した経済圏を持てるようになるだろう。 コスト面ではむしろ、原発依存は最悪ということは、すでに国民のほとんどが理解している。事故の修復が何百兆円あっても足りないほどに危険が巨大であること、廃炉と使用済み燃料の保存コストなどが将来に渡って必要なことは、国民はすでに知っている。 以上、経済面においては視野を広げればピンチをチャンスに変えられ、むしろ経済成長に寄与するものと考えられることを述べた。エネルギー安全保障についても、日本にはウラン資源は無く化石燃料と同様に輸入にたよっていることは周知の事実なのだから、中長期的にはむしろ再エネこそが望ましい。 最後に、今回のパブコメの結果をきちんと国民に開示してほしい。そして、現在の電力会社十社体制に基づく経済的収奪の構造を早く転換し、健康と国土を守れるエネルギー政策の議論へと積極的に進めていくべきである。
57343	個人	会社員・公務員	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 人類にとって、危険な放射能を生み出す核融合や核分裂を元とする原子力入らない。さらに原発が生み出す危険な放射能性廃棄物の処理方法を人類は持っていない。福島で起こった事故は単なる一つの例でしかない。今後想定外の事故は必ず起きる。その時、「想定外」では済まされない。人類が未来永劫安全に安心して生き抜いていくには原発はいらない。国はもっと真剣に自然エネルギーや原発に頼らず発電をする方法を考えるべき。目の前の大企業の営利優先ではなく、30年、50年、100年先の日本の姿を考えて欲しい。
57344	個人	その他	60代	男性	原子力発電は即時停止して、即刻廃止すべき。	原子力の危険性はつとに指摘されてきましたが、その指摘が現実のものとして今回の東京電力福島第一原子力発電所の事故となって現われてきました。いわゆる安全神話に見られる原発推進者たちのおごりが原発事故を引き起こしたことは間違いありません。マスコミでのあの洪水のような安全キャンペーンは何だったのでしょうか。マスコミからあふれ出る「嘘も百遍言ったら本当になる」とばかりのウソのオンパレードで、多くの国民の信頼はすっかり崩壊しています。今、原発を全機停止せよという国民の声は聞かなければならないものです。難渋する福島原発事故の後始末を見るにつけ、ひとたび事故が起これば、だれも責任が取れない状況が出現することもしっかりと目にしています。人が操しきれる技術ではないということもわかりました。火力発電所は原発事故と同時に発生した津波被害からすでに立ち直り、電力供給を果たしています。たかだか お湯を沸かすために、原子の火など必要ありません。総合的に見て、原子力推進には理がありません。原発は即刻停止して廃炉にするしかありません。主に天然ガスを燃料とする火力発電をつなぎの技術として、10年後の自然エネルギーへのシフトを図るべきです。原子力はそのつなぎの発電方式でさえありません。直ちに停止、廃炉日向けて舵を切らなければなりません。
57345	個人	会社員・公務員	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。地震国日本に原発はふさわしくありません。
57346	個人	会社員・公務員	30代	男性	1の原発ゼロシナリオ選択	原発を動かしていていいことってありますか。わたしはないと思います。問題が多すぎます。発電は核をつかなわなくても出来る。2030年までにゼロシナリオを選択します。
57347	個人	家事専業	20代	女性	日本国内の全ての原子力発電所を1日でも早く廃炉にしてください	酷暑が続き、暑さで亡くなる方が多くいらっしゃる中 電力の大切さを日々実感いたしております。 いかなる方法を持ってしても必要な電力が補えないのならば 代行方法が見つかるまで、一時的に原発を稼動させることも仕方が無いのではとも思います。 しかし、今後も有効なエネルギーとして原子力発電所を使い続けることには反対いたします。 どんなに安全性を高めても、一度事故が起こってしまえば 福島のように何十年、もしくはそれ以上その場所で生活することが出来なくなってしまいます。 浄水場でも、福島の原発事故で発生した放射性物質を含んだ汚泥の問題を聞き、飲み水は問題なくともその処理はどうなってゆくのかと気がかりでいます。 これ以上そのような場所が日本にも世界にも増えて欲しくないと思います。 生物に取り込まれたものも含め飛散した放射性物質の安全な除去方法、原発事故そのものに対応し放射性物質を飛散させない方法、放射性物質の最終処分方法が現実に出来て 有事には即座にそれを実行することが出来るようになった時、原発も動かし得るかもしれないと思います。
57348	個人	家事専業	40代	女性	原発は、すべて即時停止、廃止するべき。いますぐ0%に。	すべての原発は、すぐに停止し、エネルギー産業から原発をなくすべきです。 理由は大きく3つです。 1.稼働させる限り、安全な処理が不可能な核廃棄物が出続けるから。 2.震災以降、どこでも巨大地震や津波が起こる可能性があり、人的ミスや偶然の重なりによる事故、予想外の活断層の影響を、100%防ぐのは不可能だから。 3.原発停止による経済的影響よりも、原発事故が起こった場合の経済的ダメージの方が大きいから。恐ろしさの度合いが違います。 今は、日本のどこにでも巨大地震が起こってもおかしくないのに、なぜ福島の事故から1年ちょっとで再稼働したのでしょう。 電気不足は言い訳になりません。もともと原発は2割弱しか担っておらず、大企業は、続々と自家発電を進めています。電気が足りることは明白です。 何より、噴の多い東電の電気不足のデータは信用出来ません。 大飯原発の敷地内にも活断層が走っている可能性があるにもかかわらず、詳しい調査をしないのはなぜでしょう。 今の内閣は、想像力が欠けているのでは？ 原発事故のせいで故郷を失ったり、自ら命を絶った人の気持ちを想像することが出来るなら、「国民のために再稼働」などとは言えないはず。 エネルギー政策は、政府が最終決定するのではなく、国民投票により決めるべきです。
57349	個人	自営業	30代	女性	政府には、3つのシナリオの中ではゼロシナリオをとって欲しいです。 原発に頼らないエネルギーシステムに向けて、必要な施策をとるべく最大の努力をして欲しいです。	原発事故があった場合の人体、自然環境に与える影響を考えると、到底原発を続けようという選択はできません。 どんなに事故防止策をとったとしても、原発があるかぎり、事故の確率をゼロにすることはできません。 また、放射性廃棄物を処理していくか、安全に管理していくかに関しても、まだ十分な施設や技術が整っているとは言えません。 もちろん、今後技術を発展させ、安全に処理する方法を見つけていかなければいけないのは言うまでもありませんが、これ以上有害物質を使い続ければ、それだけリスクを犯して保管、処理する地域が増えていきます。放射能がどれだけ私たちの生命をおびやかすのか、身をもって知った私たちが選択するべき道は、もうこれ以上放射性廃棄物を増やし続けないことではないでしょうか。 今、原発をゼロにするという決断をすべきです。 2030年までに可能かどうか、どの決断がより賢明か、現実的か比較・検証することは大切ですが、それ自体にはなんの意味もありません。どの選択にも実現の可能性はあるのですから。 私たちが家族や友人、自分を育んでくれた国土、未来を生きる子供達のために、国民の一人一人が今、未来に向けてどんな選択をするか。その選択に向かって、皆で考え、試行錯誤をしながら動いていこうとスタートすることが最も大事だと思います。 私は一国民として、「原発という1%でも大切な人たちを脅かすものは残しておかない。あなたたちの命が何よりも大切だ。命を守るためにこれから私たちはどんな努力だってするよ」という意志を表明します。 新しいエネルギーシステムの構築、温暖化や安全保障といった諸問題への対処にはかなりの努力が必要でしょう。普段の生活の中でもたくさんの我慢をすることになるかもしれませんし、思いもよらない複雑な問題が次々と出てくるかもしれません。 しかし、私は乗り越えていきたいと思います。私がすべてを解決できるわけではありませんが、私が責任をもてる範囲で努めを果たしていきます。 私たち国民一人一人が自分のできることをやれば、きっといい方法が見つかる。その可能性を強く信じています。
57350	個人	会社員・公務員	40代	男性	「1．ゼロシナリオ」を選択します。 理由は3点です。 (1)原発事故は今後も起こる。 (2)核廃棄物の適切な処理方法がない。 (3)電力会社は国民を向いていない。	「1．ゼロシナリオ」を選択します。 理由は大きく3点です。 (1)原発事故は今後も起こる。 スリーマイルで事故が起きたときのソ連 「わが国ではアメリカのような事故は起こらない」 チェルノブイリで事故が起きたときの日本の対応 「日本ではチェルノブイリのような事故は起こらない」 福島の事故を受けて 「大飯では福島のような事故は起こらない」 そう、過去と同じ事故は起きませんが、 似たような事故は何度も起こっています。 歴史が語っています。 「歴史上、同じことは起こらない。 しかし、似たようなことは何度も起こる。」 あらゆることを想定したとしても、想定外のことは何度も起こると考えます。 そして、今度起こる事故が、日本の存在を傾けさせるものではないと、誰が言い切れるのでしょうか。 ２０１１年３月、あの時に感じた「国土の限られている日本が、終わるかもしれない」という恐怖を、もう2度と味わいたくありません。 (2)核廃棄物の適切な処理方法がない。

						世界ではフィンランドが核廃棄物の地層処分を選択、最終処分方法を決定していますが、日本では最終処分方法が決定していません。首相は「財政問題のツケを後世に残さない」として消費税増税を掲げましたが、核廃棄物こそ後世に残してはいけないものではないでしょうか。 仮に、豊臣秀吉の時代にも核廃棄物が生み出されていたとしましょう。それら核汚染物が現代に手付かずで残っていて、もし現代社会を苦しめていたとしたら、人々は豊臣秀吉やその時代の人をどう見たでしょうか。 聖徳太子の時代だったらどうでしょうか。 縄文・弥生以前の、名もなき人々の時代のものだったらどうでしょう。 核廃棄物を処理する方法が未来に見つかるかもしれない。 それは否定しませんが、未来人は処理する方法を苦心して見出したとしても、それはマイナスがゼロになるだけで、なにか生産性のある話ではありません。 それを後世の人に押し付けるのでしょうか？ そもそも、今回の福島の事故の放射性廃棄物の最終処分場は決まったのでしょうか。 地震大国日本では、何万年と安全に保管できる場所が見出せません。 (3)電力会社は国民を向いていない 現実には、核なき世界（核兵器と原発と）が簡単に実現出来るとは思っていませんし、自然エネルギーの目標もかなり高いものではあると思います。 しかし、ゼロシナリオを選択するもっともの理由はこれかもしれません。 1つ1つあげていたらキリがないのですが、先日公表された、事故当時の東京電力のテレビ会議も会社側が編集したものしか公表していません。 都合の悪いものは公にせず、それでどうして会社を信頼できるのでしょう。 また、さきのエネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会では、電力会社の社員の方が、福島の事故では一人も死んでいない、と語っています。 死者が出なければよいのでしょうか。 何万人という人が故郷を追われてもよいのでしょうか。 広大な大地が汚染されたとしても、電力確保のためにはやむを得ないのでしょうか。 同じようなことが繰り返されないとは限りません。 電力会社には原発をまかせられないと考えます。 以上大きく3つの理由で「1．ゼロシナリオ」を選択します。 もちろん諸問題あると思います。経済界の語ることももっともです。 しかし、もう3月11日より前の日本はもうありません。 戻りたいかもしれませんが、もう戻れないのです。 国として「1．ゼロシナリオ」を定め、その問題解決の道筋を国民総出で考えるべきと考えます。核汚染のない世界を強く希望します。
57351	個人	その他	50代	男性	原発ゼロにするのは当然だが、2030年までなどという悠長なシナリオではなく、即座に稼働原発を必要最小限かつ比較的安全なものだけに絞り、それらについても順次別のエネルギー源に置き換えていくべきである。	理由は以下の状況から自明である。 1．残念ながら2011年3月11日のM9.0地震で南北500km、東西200kmという巨大な震源断層面が破壊し、東日本の応力場は激変した。2004年スマトラ沖地震後のインドネシアなど世界の類似事例をもとに判断すれば、今後東日本を中心に日本列島のあちこちでM7～M8規模 の大規模余震が数年から数十年かけて次々と起きていく可能性が高い。また、3.11地震の隣接地域（三陸北部～千島海溝、房総沖～伊豆諸島沖）ではM8～M9地震の連動発生も否定できない。さらに、今世紀中には南海トラフでもM9クラスの地震発生が予測されている。これまで地震や津波のリスクに対して過小評価やごまかしを重ねて立地されてきた日本の原発群はこうした状況に物理的に耐えられないだろう。 2．日本の原子力防災と危機管理体制（政治・行政だけでなくマスメディアも含めて）が、現実には小規模事故しか想定できておらず、福島原発事故級の大事故に到底対処できないものであることが、今や誰の目にも明らかになってしまった。この体制上の不備は、根深く社会に浸透した既得権者の権力と影響力、経済優先・人命軽視の風潮や、日本人特有とも言える自責体質とあいまって、そうやすやすと改善できるものではない。いずれまた過酷事故が起きれば、同様の無為無策による被曝・被害の拡大は繰り返されるだろう。やがてこの国は繰り返す汚染によって、暮らす場所がなくなるに違いない。 3．高レベル放射性廃棄物の処分に全く目処がたっていない。日本列島に高レベル放射性廃棄物の処分適地があるとした「2000年レポート」は、結果論から見たまやかしに過ぎず、実際には向こう10万年安定した地質環境を事前に見出すことは困難であり、しかも失敗した時に子孫に対して責任がとれないという重大な倫理的問題を内包している。さらには人類文明自体が今後も発展あるいは現状を維持できるは限らない。地層処分が失敗した時に文明自体が衰退していた場合には、手の施しようがなくなる。現存する高レベル廃棄物については厳重な管理の下に地表保管し、大気圏外に物質を安全に輸送できる軌道エレベーターの開発を待った上で太陽に投棄する方法をとるのが最も良いだろう。
57352	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年を待たずできるだけ早く原発の稼働をゼロに、核燃料サイクルの中断を。	一旦原発事故が起きれば誰も補償などできず、結局国民全体につけが回ってくるもの。核燃料サイクルも非現実的技術で、ふた昔前の叶わぬ夢みたいなものでは…。 目先の経済性を理由とした原発維持の意見が目立ちますが、別に原発で電気作ってたって景気悪かったじゃないですか…。 福島の事故で目の当たりにしたように、事故はもちろんのこと、原発を維持した場合に増え続ける廃炉費用や核のゴミなど、将来世代への負担、農業や自然環境への負担は金銭などでははかれないものではないでしょうか。 http://hihumiyo.net/usagi24free.html
57353	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存0%。即時全面稼働停止。速やかに全面廃炉。	極論ですが、僕はさらにどこかの原発で放射能漏れなどの問題が起これば良いと思っています。そうでもしないと国は真剣に原発問題を考えないでしょうから。 原発依存0%。即時全面稼働停止。速やかに全面廃炉を希望します！
57354	個人	会社員・公務員	50代	男性	最終的に「ゼロシナリオ」。断層に覆われた地震国日本に原発なんぞ作っていること自体間抜けな話で自殺行為。すぐには無理でも、依存度26%なら1年で1%ずつ減らし、26年後には脱原発完了を目標にすべき。	推進派の理屈に対して 推進派の本音としては福島原発の事故はアクシンデント程度にしか思ってないだろうが、そもそも起こるはずがないと考えていた処に起きたうえに対策も不十分だった。まして情報隠蔽を是とする電力会社の体質が明らかになったことで、次に事故が起こったとしてもその体質は絶対に変わらないであろうことを確信した。 今後どれだけ安全策を考えた処で事故の可能性が0%になることなどありえないし、一度事故が起こったら何十年もそこに人が住めなくなり、放射能障害の危険が付きまとうことになる。放射能障害の危険は高くないという意見を持つ者がいるのならそこに住めばいい。推進・存続派は「もし今後同じような事故が起こったらどうなるか？」というごく簡単な問いも、目先の利権や ボロい儲けの前では答えられないのだろう。 起こる可能性が低いからではなくて、起こった時にどうなるかということにもっと想像力を働かせるべき。 事故後の賠償と責任の所在 今後事故が起きた時に、事故を起こした電力会社は莫大な賠償額に対応できる根拠でもあるのか？推進を声高に唱える企業、利害関係者、個人はどう責任を取るつもりなのか？ また、現状は責任の所在については会社単位で問われているが、今後原発事故に限っては、請負や運転継続に関成する行政機関はもとより、推進する組織等の長や役員に個人的責任を追求するべきである。会社を隠れ蓑にするのではなく、事故ある時には責任をもって個人財産を含めて賠償にあてること等を確約させることが、国民を危険にさらす代償としてのあるべき姿勢ではいか。個人に責任を取らせることは、突拍子もないことだと思われるかもしれないが、原発の起こす事故というものは、それほどまでに危険なものであると理解してもらうためには必要であると考える。 存在する事自体の危険性 原発に飛行機が墜落したり、小型の隕石が落ちた時の対策はあるのか？戦争が起きて標的になった際の対応は十分できているのか？これらは笑い話ではなく、可能性が低いとしてもありえないことではない。故意に事故を起こすことも可能なのだ。 そうでなくても人間の作ったものだから何が起こるか分からない。実際に起きるはずがない事故は起きており未だ収束どころか、炉心の冷却にどれだけの時間がかかるのかもわからない。被害の甚大さを考えれば火力発電所が爆発事故を起こす事とは、まるで次元が違うことを理解すべきだ。 事故後の日本 福島原発の「避難地域」は東京23区の2倍の面積とのこと。さらに周辺の汚染地域ははどれだけの面積になるか。元々国土面積が小さい日本でこれ以上人が住めない地域を増やすことがあってはならない。薄氷の上に立つ原発は、安全に動いている間はボロい儲けだろうが事故が起きればどうなるか、放射能を浴び、住み慣れた土地を追われる住民の身になって考えては如何か。そもそも原発を作るなら自然災害の可能性が極端に少ない場所であるべきだが、残念ながら日本にはそのようなところは存在しない。 自然災害 前世紀末の阪神淡路大震災を始め、各地での地震の発生、火山の噴火、集中豪雨、いままでにあまり経験したことがない災害が増えている。地球的規模で見た時、現代は自然災害が起きやすい期間に入ったとも考えた方が自然に対して謙虚で素直な姿勢であると思う。さらに今回の地震で東北沖のプレートが地震によって列島各地の地層に影響を与え、富士山の噴火の可能性も囁かれている。まだ発見されていない断層が原発の地下に見つかるかもしれない。原発を肯定することは、いつ爆発するかわからない時限爆弾を身近に置いているのと同じである。 国民の我慢、されど明るい展望 我々は原発をなくすことで起こる電力の値上げや使用量の制限は甘んじて受入れるべき。しかしその不自由さは、毎年一定程度のゆるやかな漸減目標であれば、その影響は最小限で済むと思われる。電力をふんだんに使った贅沢な今の生活から多少窮屈な生活になるかもしれないが、電気が不足することで、同時に省エネ意識の高まりと、関連する新しい技術革新を生んで先進的技術で世界をリードできる可能性もある。智く我慢すれば、少ない電力でも今と同じような生活に戻れる可能性は高い。これまで日本は、規制をかけられたらそれをクリアすることであらゆる分野で技術レベルを磨いてきた。電力が少なければ、より省エネの技術を開発する。それだけのことではないか。 原発の代替燃料として、メタンハイドレートの実用化にも時間がかかるとばかり言っていないで探りやすい処から試掘すればいい。自然エネルギーは完全でないと言われるが、必要に応じてベストミックスさせるための補助的役割は十分果たせると思う。また今後どれだけ省エネしても石油や天然ガスの輸入がなくなることはありえないだろうし、輸入燃料の価格の高騰による国民生活の影響を最小限にするためにも、原発以外で日本が自前のエネルギー比率を上げることは重要である。 緩やかな脱原発依存 原発を一気に停める事は、国民の生活や生産・経済活動への影響が大きいことは想像に難くない。また存続派にとっても乱暴な議論だと脱原発に対する反論の拠り所になっていると思う。現在の依存度は26%とのことであるが、例えばこれを毎年1%ずつ削減する目標を掲げ、ゆるやかに原発依存度を下げ、最終的には廃止とする事が現実的ではないかと考える。 単純に約30年のスパンがあれば、自然エネルギーやメタンハイドレードその他の代替エネルギーの実用化にも目標を持って取り組むことができるため、新しい産業の発展や日本の将来にも希望が持てるものになる。そして何よりコントロールが難しい放射能という見えない脅威から脱出できる。日本の将来のために以上のように私は考える。
57355	個人	パート・アルバイト	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	とにかく、「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します！ よろしくお願いします！
57356	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発比率0%	2030年では遅すぎます。即時停止、速やかな廃炉を要求します。原発は差別の上に成り立っています。更に処分方法も確立しておらずかつ何万年もにわたって管理が必要な使用済み核燃料をこれ以上少しでも増やすことは未来に対する犯罪以外の何物でもありません。経済に対する影響を懸念する人もいますが、電力が足りていることはこの夏で証明されましたし、新たな発電方法（特に再生可能エネルギー）の開発、普及を進める事のほうが産業への寄与が大きいと考えます。
57357	個人	学生	10代以下	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 以下は6年前に書いた日本原子力文化振興財団の「原子力の日」の作文です。 その時の危惧が現実のものになっています。原子力は人類を不幸にする悪魔のエネルギーです。未来のために即時原発ゼロを求めます。 まきのお風呂 　僕の家のそばに、まきでお風呂をたくおじさんが住んでいます。午後三時を過ぎると、煙突から白い煙がもくもくと出てきます。僕も今度そのお風呂に入れてもらうことになっています。僕の祖母は、子どもの頃、まきでお風呂を沸かすのが子どもの仕事だったのでとても大変だったと言っていました。僕もお手伝いでお風呂を入れますが、居間でリモコンの「ふろ自動」のボタンを押すだけで、ボイラーで灯油を燃やしてお湯が入る仕組みです。ところがこの灯油や火力発電に使用される石油資源には限りがあり、今のペースで使い続ければ四十年で使い尽くすと言われています。この便利で快適な生活がいつ終わってしまうのかと不安になることがあります。 　そこで今回エネルギーについて調べてみました。日本の発電の割合は、火力が六十パーセント、原子力が三十パーセント、水力が十パーセント位です。火力発電では石油を燃やすため、二酸化炭素が多量に発生し、地球温暖化に悪影響をもたらします。石油の埋蔵量が限られていること、原油が高騰し費用がかかることも問題になります。また、水力発電はダムを建設することで自然破壊をもたらすこと、ダムを造る適当な場所が限られていることが問題になります。一方、原子力発電の最大の特徴は一力所で多量の電気が造られることです。火力、水力のように発電所をたくさん造らなくても電力が間に合います。原子核の反応を利用するのでニ酸化炭素を出さず理想的なエネルギーだと思いました。日本のように資源の限られた国では、原子力発電が救世主のように思えました。しかし、原子力発電にも大変な問題があることがわかりました。ウランを燃やした後に出る放射性廃棄物は、数百年から数万年以上にわたって強い放射能を持ち続けるものも多く、ガラスで固めて深い地層に埋めて処理しなくてはいけません。また、ウラン燃料の燃焼により、一パーセントのプルトニウムが出来ます。ウランの埋蔵量は六十年分ですが、プルトニウムを燃料として再利用すればウラン燃料の六十倍使え、千年以上の間エネルギーを得ることが出来ると言われています。しかし、プルトニウムは猛毒で、体内に入ると骨や肝臓に沈着して放射線を出し続け周囲の組織を破壊します。プルトニウムの微粒子を吸入した場合には肺癌を誘発し、わずか百万分の一グラムでも死に至るそうです。豊かで快適な生活の裏に多量の放射性廃棄物が生じ、未来に対して環境汚染と言う負の遺産を遺すことになります。また、日本中の原発が一年間に生み出すプルトニウムは約九トンでこれは千発以上の原爆を作れる量です。さらに一番怖いことは原発事故です。もしもチェルノブイリ事故のようなことが起こると、放射能汚染のために狭い日本では安心して住める場所が無くなってしまいます。たくさんのエネルギーが作れると言うことは、一度事故が起これば広い範囲が放射能で汚染され大きな被害になるということです。 　一方、水力、風力、地熱、太陽光などの自然のエネルギーを使った発電は、費用がかかるものの二酸化炭素は発生しません。これらはいくら使っても無くならないクリーンなエネルギーだと思います。日本は火山がたくさんあるのでそれを利用して、地熱発電を増やした方がいいのではないかと思います。また、各家庭で太陽光発電を利用したり、省エネ家電を購入したり、エコカーに乗るなど使用するエネルギーの節約方法が考えられます。そして、電気のスイッチをこまめに切り、冷房は二十八度、暖房は十八度に設定するなど一人一人の努力が大切なことは言うまでもありません。今の豊かで便利過ぎる生活を見直し、出来るだけ機械を使わないまきのお風呂に入るような、多少不便でも精神的に豊かに暮らしていくことが大事だと思いました。

57358	個人	学生	20代	男性	私は原発比率をゼロパーセントにする案に賛成です。ただ、脱原発し、新しい再生可能なエネルギーを生み出す発電所を作りだすためには増税が必要だと考えます。	第一に脱原発し、再生エネルギーへの転換へと政府が進めていくには相当な財源が必要だと思うからです。もちろん歳出削減も重要ですが、それだけでは早期に脱原発を実現することはできないと考えます。政府が池田内閣の所得倍増計画のように、例えば脱原発・再生可能エネルギー50パーセント計画といった何らかの計画を作成し、実行することです。国民の大半は脱原発を本当に望んでいるならば、その覚悟はあるはずです。多くの国民は国内の企業に原子力発電所が失われることで電力だけでなく雇用が失われるということ、大量の失業者が生じることを軽視、あるいは無視をしています。ただ脱原発をするのではなく、日本の雇用をさらに増やし、経済を活性化させ、国民全体を元気づけるエネルギー政策を政府は国民に示さなくてはならないと考えます。また、再生可能エネルギーへ莫大な公共投資を行うことを約束することで、原子力発電所を支持する産業界を脱原発へと説得することもできると考えます。第二の理由として公共投資によって日本の再生可能エネルギーの技術が向上すれば、海外へその技術を輸出することができる可能性が高まると考えられます。そうなれば、化石燃料が不足したときに起こりうるエネルギーをめぐる戦争を防ぐことに貢献できるという意味で、日本だけでなく世界にも貢献する日本のイニシアティブとなると考えます。そして最も大きな理由は原子力発電所が、かけがえのない自然や人間に多大な影響を及ぼしうるからであり、一刻も早く後世と地球環境のために脱原発をすべきだと考えるからです。
57359	個人	その他	30代	女性	ゼロシナリオを採択して下さい。原発の再稼働をせず、ゼロにし、完全廃炉を求めます。	福島原発事故は、今も収束していません。避難しなくてはならない状況が続き、特に福島に住む人々そして、原発作業員は放射能による健康被害、いのちの危険にさらされています。自然環境にも影響が残ります。農作物、畜産、海産物、食べられるものもどんどん減っていきます。 今、生きている私たちだけではなく、次世代、そのまた次の世代へと、負の遺産を残していくだけです。もう、このような被害を二度と起こさないよう、原発をゼロにすべきです。
57360	個人	法人等	60代	男性	再生可能エネルギーへの依存を高め、原発に依存しないゼロシナリオで進むべき	地上の生態系の循環系と離れた原子力に依存するのは危険が大きすぎる。 廃棄物処理のシナリオさえ描けていない方策を現在の利便性のためだけに採用するのは、あまりにも無責任である。 バイオマスエネルギー利用、森林の再生可能性など徹底的な投資を行い、また、生活スタイルの変革を促し、世界のトップを切った循環社会への転換を進めるべき
57361	個人	自営業	40代	男性	「0%」シナリオを支持します。	短期的には旧式の火力発電所をガスタービンコンバインドサイクルによるLNG火力発電所に建て替えることを前倒しで行い、長期的には省エネ技術と再生可能エネルギーによる発電を開発することで、2030年には原発を0%にすることが十分可能だと思うからです。
57362	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発に頼らないエネルギー政策を。	原発はなくても生活をしていくことは可能です。
57363	個人	学生	20代	女性	原子力発電装置の即時停止を求めます。	日本は、経済的に豊かになりました。現在の経済水準を維持するためには、膨大な電力が必要かもしれません。 しかし、リスクがあると知りながらも、経済発展のために原発をとめることができないというのであれば、高度経済成長の裏で水銀を流しつづけたチッソ、それを止めなかった政府となんら変わりありません。 私たちは過去から学ぶ必要があります。東北大震災で私たちが目の当たりにしたものは、なんだったのでしょうか。放射能によって全ての営みを絶たれた人たちが数多くいます。福島での被害は、彼らが生きている間に再生、回復されるものではありません。 それを知っておきながら、尚、原発稼働を推進する理由があるのでしょうか。 また、一体何人集まれば政府は市民に耳を傾けるのでしょうか。反原発集会では16万人が動いたと聞きます。どのように統計をとったかは分かりませんが、大切なことは数の詳細ではなく、多くの人が意思表示をしたという事実であり、誠実のある対応が求められています。 私たちは、政府レベルではなく市民も含めた日本全体で、エネルギーのあり方を考えなければなりません。どうか、市民を無視した頭でっかちな議論にならないよう、民主的な選択をしてください。
57364	個人	会社員・公務員	50代	女性	1)のゼロシナリオを選択します。	今の科学では放射性物質を無害・無毒・完全除去にすることが出来ないからです。放射性物質による被曝で損傷した遺伝子を回復・治療することは今の科学では出来ないからです。生命に対して危険きわまりないエネルギーは必要としません。
57365	個人	無職	60代	男性	原子力発電所廃止を。代替えエネルギー地熱発電所、小規模発電所の設置促進を。	＜原子力発電所の廃止を＞ ・国内のいくつかの原子力発電所（以後原発と表記）では、断層上に設置されている疑いのあるものや、津波による破壊漂流物が一点に集中する場所に設定されているものなど、立地上の問題が次々と指摘されている。原発建設前の立地調査では原発を建設することが前提で、しかも甘い基準に基づき、不具合などには目をそらしてご合格基準を作り上げたのではないかと疑わざるを得ない。――（その他政府の行う環境アセスメントなども、はじめから政府に都合の良い結論を導き出す調査と疑われてもおかしくないことが、沖縄基地移転問題などで証明されている。ますますすべて信頼できなくなっている）――このようにして設置された原発自体信頼できない。 ・大飯原発の安全性再評価内容は信頼できない。あらゆる危険要素をすべて検討したのか疑問だ。緊急電源車を崖の下に設置、大飯原発への道路は1本だけ。地震で緊急電源車の上の崖が崩落する危険性や、道路が寸断された時のことを考えているのか――（ニュースの画像からしか判断できないが、真の第三者が現地でチェックしたのか。チェック項目以外で不都合が指摘されるのを避けたいから、させないであろう）――そのほかの原発再稼働のための安全性再評価自体も――（再稼働が目的だろうから）――信頼性が疑われる。 ・原発で生産された放射能廃棄物が最終処分で処理するにしてもその処理方法は100%安全といえるものはない。アメリカでさえも放射性廃棄物処理問題を抱えている。これ以上この厄介な廃棄物発生を無さなければ日本は将来に大きな禍根を残す。 ・現在と将来のことを考え、直ちに原発を廃止すべきである。 （政府（役人を含め）の信頼性が大きく低下した。政府は原発を廃止することによってのみ信用されるようになるであろう） ＜代替えエネルギー＞ ・再生可能エネルギーの利用促進をすべきである。 ・日本は火山国なので、そのエネルギーを利用した地熱発電を推進すべきである。コスト、技術、温泉との関係、国立公園の問題など問題点は数多くあるが、解決発展のための研究を政府は強力に推進すべきである。 ・小規模発電所の推進をすべきである。中小河川、大河川の堰など水の流れがあるところでは小型発電施設を設置し、電気の地産地消を推進すべきである。
57366	個人	無職	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します	ゼロへ向かっての政策へ今すぐとりかかるべきだと思います。 2011年3．11の福島原発の事故は想定し得るものでした。世界で唯一の被爆国である我が国で《最悪》を想定できない原子力政策は今すぐ止めるべきです。大飯原発は安全と言えますか？ 安全神話を振りかざし、国民をだまし、 事故後なお、その危険性を振り返ることなく再稼働ありきで進んでいく政策に強い不安、不信感を覚えます。 原発から脱却することをまず掲げてほしいと思います。 日本人の英知、高い技術力を持ってすれば自然エネルギーへの転換は困難なことではないはずです。 これからの日本を作っていく子どもたちに、真摯に、未来を託す大人の姿勢を示すべきです。
57367	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します	全ての廃炉を希望します。 国内外に与えている被害、放射性廃棄物の隔離・保管期間などを考えると、負の遺産の影響をできる限り早く低減させたい。
57368	個人	自営業	60代	女性	原発反対と原発廃炉	原発反対・原発建設反対 国内に置いて、原発無しでも電力は賄える。又、賄える努力は、国民が一番している。その覚悟を持っている。原発を稼働する限り、最終核燃料をどうするのか、もっとも大きな問題を解決していない。 六ヶ所には、人類すら滅ぼす最終核燃料が有ると言う事を議論していない。各断層が有るかもしれない場所に立っている可能性が有るとも言われている。政治家は、人類を滅ぼすかもしれないのだと言う覚悟が無い。原発は必要ない。
57369	個人	家事専業	60代	女性	命はかけがえのないもの。即廃炉を求めます。 政府は「出来ない」と理屈を捏ねるでしょうが、「やろうとしない」だけ。 原発開発に懸けた情しまぬ努力とお金を投入し、本気になれば必ず道は開けます。	唯一の被爆国でありながら、あの地獄の経験をいともたやすく風化させ、原子力の平和利用と云う甘い幻想に翻弄された。 利権にズブズブに嵌っている人々によって、将来の見通しも目の前の安全も蔑ろにされたまま、原発は際稼働された。収拾のついていない福島の事故の後で！恐らくは決して収拾はつかないでしょう。政府にその気が無いのですから。 水俣病然り。チッソをすぐに取り締まれば、新潟水俣病は防げたはず。政府は事が起こると、必ず企業側につきます。「国民の見方です」といえますか？ 国が正しい判断を下せば国民はついて行きます。隠さずに真実を曝け出して下さい。その上でしか国民的議論はできません。国民は小出しにされる真偽の定かで無い情報に疲弊して居ます。意見聴取会、パブコメも形だけでしょう。 人間の心を失い、誇りを失い、なりふり構わない、そんな政治家には私達の命は委ねられません。 人の一生は短い。なるべく他人に害を与えず、地球にも害を与えずひっそりと生きて死ねたらと願っています。生きていく事それ自体が地球にも他者にも負荷をかけて居るのですから。人間は地球の間借り人です。
57370	個人	学生	10代以下	女性	せんたく＝0%が良いです。	おかあさんにお話しはよくききました。なにかやめられない理由があるんですね。わかりました。わたしには、もんくもなにもありません。ただ原発を18年かけても良いから、やめさせてあげて下さい。そうすれば実は自分のためにもなるものですよ。みんながデモをはじめたのは、原発で苦しんでかなしんで、ほかにもいろいろなくしみをかかえていたからなんです。あなたも、いままでデモではんたいを言われてきたのに原発を続けるのはやめて、おわりたければおわり。と言って下さい。わたしもこう見えて、くるしんでいるんです。弟が小さいですから。
57371	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します	冗談じゃない。原発ゼロシナリオ以外あり得ません。 国民の命をオモチャにしないで。
57372	個人	会社員・公務員	20代	男性	原子力発電所をゼロにすべき。	あらゆる理由からリスクの高すぎる発電方法は、 福島第一原発での災害を教訓に、 これ以上、これ以降、継続すべきではない。 また、持続可能なグリーンエネルギーへのシフトに注力すべきである。
57373	個人	会社員・公務員	40代	男性	将来の原子力発電については廃止が必要である。廃炉はすぐ実施すべきであると考える。代替エネルギーは天然ガス、購買価格は供給国としっかり交渉して欲しい。税制面の優遇も加速さ、日本企業の再生を促したい。	将来の原子力発電については廃止が必要である。理由は事故によるリスクがあまりにも高すぎるためである。損害額が膨大となるが、その賠償を我々納税者のお財布からどれだけ出るのか想像がつかない。今回の関電の電力不足予測がかなりのお手盛りだったことも加えると、国を挙げて実施して頂かないとできないのではないかと考える。 　また2030年と言わず廃炉ができるところから実施すべきであると考える。そのリスクとして代替エネルギーの技術が確立されていないことがあるが、代替エネルギーとしては当面の天然ガスがある。購買価格についてもっと努力すべきであり、これも国を挙げて供給国としっかり交渉して欲しい。この円高を利用しないでどうするのか。また再生可能エネルギーはまだ技術が当てにならないと思われるので（これも原子力ムラが技術の進歩を補助金などを交付しないことで抑えていると推量できるが）、これは民間のイノベーションを誘発するために開発の補助金をもっと交付すべきである。<br　資金面として現在は法人税で太陽光や風力発電の装置を一括償却できるようになり課税の繰り延べを行っているが、税額控除くらいやっても良いのではないかと思う。<br　このエネルギー問題、実は最大のチャンスであると思う。原子力という麻薬のようなエネルギーから解放することによって日本企業の発想力、技術力を今一度呼び起こすことができると考える。
57374	個人	無職	80代以上	女性	原発ゼロシナリオ	福島の原発事故では、たくさんの人が犠牲になりました。不幸を繰り返してはなりません。
57375	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロを選びます。	危険な原発で発電せず、ほかの発電設備の電気を希望します。 新たな発電設備をつかえば、雇用も生まれ産業も生まれます。 事故があっても、家も仕事もうしない、沢山の動物や家畜を殺すことには絶対にならない。 安全な発電を望みます。
57376	個人	その他	50代	男性	3つの選択肢の中では、「原発ゼロシナリオ」を選択します。15%シナリオ、20～25%シナリオには断固反対します。ただし、ゼロシナリオにも多くの不満がありますす。	日本の将来を考えるなら、現実的な選択肢は"原発ゼロ"しかないと考えます。<br　ただし、選択肢にあるゼロシナリオでは、いつまでにゼロにするかという期限が具体的に示されていないのが不満です。2030年までにゼロではあまりにも長すぎます。日本列島が地震の活動期に入ったとも言われる中、再び大地震に伴う原発事故が起きてしまえば取り返しがつきません。可能な限り早く、出来るなら年内か来年中にでも、全ての原発を廃炉にするべきだと考えます。<br　代替の発電ですが、自然エネルギーの比率が、提示されているゼロシナリオではまだまだ低く見積もられていると感じます。太陽光にしろ、風力にしろ、官民一体の開発努力でまだまだ効率的な発電方法の開発が可能ではないかと思いますし、各町村での地域分散型の体制構築、発送電分離等を推進すればもっともっと自然エネルギーの比率を上げられるのではないでしょうか。<br　省エネ比率に関しても、ゼロシナリオの1割というのは悲観的過ぎます。火力発電でも多くのエネルギーが無駄に捨てられていると聞きますし、こうしたロスをなくす技術開発や、企業の省エネ取り組み、また家庭での電力に過度に依存しないライフスタイル普及などで1割をはるかに超える省エネ比率は可能だと思います。<br　現状のゼロシナリオをベースに、よりブラッシュアップしたゼロシナリオの実現に期待します。
57377	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発は全廃していただきたい。 ・多くの企業、経営者は電力についての不安を抱えつつ、福島の大惨事を再発させてはならないと覚悟を固めている。 ・この覚悟に国は真っ正面から応えていただきたい	日刊工業新聞社の調査によれば、50%を超える企業経営者が原発ゼロに賛成している。20%を超えるような原発割合維持に賛成する方はほんの少数であった。 原発ゼロは少なくとも現段階では電力供給力の不安と、電気料金の値上げに直結する選択である。企業経営者は自身の企業についての最終的な経営責任を負っており、本来ならばわずかでも経営への阻害要因は排除したいとするのが当然である。しかし、そのような立場の方々の多くが、経営のリスクを背負ってまで原発廃止に賛成していると言うことはまことに重大な事態である。 当社は技術士の育成と機械安全を推進することを事業としており、技術者の倫理という側面からも、また機械安全を広めるという側面からも、危険で、廃棄物の処理方法のない原発をこれ以上存続させることはできないと強い覚悟を固めた。 原発はプラントの一つであり、機械類は事故なく運転することは絶対に不可能である。さらに現在の原発の技術はお粗末きわまるものであり、たとえば、制御安全一つとっても多重安全系の相互独立性の担保は全く不十分である。 また廃棄物の処分については、さらにひどい状態であり、原発の商業運転がはじまってから半世紀以上も経つのにいまもって確証された廃棄方法は確立されていない。 このような状態で原発の運転を継続することは人類に対する罪である。 全原発は即事停止すること。当面は火力主体とせざるを得ないが、早急に再生可能エネルギーの大規模な導入を進めること。これが和学のエネルギー政策として成立する唯一の方法である。 （以上）
57378	個人	家事専業	50代	女性	全ての日本の原発は即時停止、できるだけ早く廃炉にする。	経済より命のほうが優先順位が高いから。
57379	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロを求めます。日本に住めなくなってしまうようなエネルギーは不要。ないならないでエ夫します。	普通に暮らすことを脅かしてまで、原発はいりません。
57380	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。 すべての原発を廃炉するべきです。
57381	個人	学生	10代以下	男性	すべての原発を今すぐ止め、廃炉にする。 それに代わる再生可能エネルギーの割合を増やし、充実させる。	福島第一原発の事故で、原発は非常に危険で、安全を保証することができないことが明らかになった。 二酸化炭素の排出量が少ない、クリーンなエネルギーと唱われていたが、放射能の影響は二酸化炭素よりももっと深刻で、危険なものだ。それが分かっていて、なぜ大飯などの原発を再稼働しようとするのか。野田総理は　事故の際の責任は取る　と言ったが、事故が起こってから何が出来る？放射能が漏れ出してからでは何もかもが遅いのだ。 放射能のリスクをカバーするより、再生可能エネルギーを進めるほうがよっぽど将来を見据えた選択だ。子孫に放射性廃棄物を押し付ける気か？廃棄物では原爆を作る事だって可能なのに。 とにかく、すべての原発を直ちに停止、廃炉。日本の、いや地球の明るい未来のためにはこの選択しかない。
57382	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 税金が高くなっても構いません。自然エネルギーの推進のため公費投入してほしい。こどもたちに誇れる未来を。

57383	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを切望します。 不安の残るままの原発稼働は即時停止を。	20110311以来、政府の発表があとからあとから覆される事実が明るみになり、支持も信頼もなくなっています。 安心安全な原発などないと、そう思わざるをえません。 言葉遊びによる一時のがれな対応は終わりにし、真剣にこれからの日本のことを考えてください。 多くの日本国民の心からの声をしっかりと聞き、その声を反映した判断・決断を。 不安の残るままの原発稼働は即時停止。原発のない日本を。 そして、電力業界のみならず日本の全ての企業や個人の協力と工夫、技術力により原発がなくても活力のある日本を子供達の手に残していかなければならないと思います。 そのために一時的に経済が停滞しても構わない。未来のために。 原発即時停止、ゼロシナリオを強く希望します！！！
57384	個人	その他	30代	男性	原発ゼロ希望。	日本は地震が多いので、3.11で起きた事故がまた起きる可能性がある。放射能によって汚染された植物や生物、動物、食物、それを食べる人間。それだけの理由でも原発はいらないと思います。自然エネルギーへのシフト、日本の技術では可能と聞きます。よろしくお願いします
57385	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は再稼働しない。新しく作らない。	地震が頻発しているので、また福島と同様な事故が起きるかもしれない。 事故が起きてそれに対応できるような体制が現在とられているとは 思えない。 大きな地震が起きればまたどこの原発が壊れる。 廃炉するのも時間もコストもかかる。今から廃炉に向けて動かないと、 財力知力人力がこれから減じていくので、間に合わない。 廃炉の方法や核燃料棒等の最終処分があやふやなままで、 目先の利害やコストの安さにつられるべきでない。 最終処分まで考えれば高い電力なので原発再稼働・新設には反対します。
57386	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する3つの選択肢以外で、第4の選択として、今すぐ原発ゼロ、全原発廃炉を支持、要求します。	2011年発生した福島の原発で明らかになったように、人間は、なにもできないということがはっきりと判りました。そして、この事件は、今の政治家のみなさんが生きている間に、収束できないメルトダウンのゴミを残しています。そして、このような核のゴミを更に増やそうとしている今の選択肢は到底受け入れられません。 今後、これ以上、核のゴミを増やさず、原発廃炉を推し進めて、その廃炉の技術を確立すべきです。その為には、3つの選択肢以外で、第4の選択として、今すぐ原発ゼロ、全原発廃炉を支持、要求します。
57387	個人	家事専業	50代	女性	「ゼロシナリオ」を選択 本当は、大飯原発は即停止、全原発を計画的に廃炉、原発に依存しないエネルギー政策のシナリオを選びたい。が、2030年時点での3シナリオの中からは「ゼロ」シナリオを選択します	「原発ゼロシナリオ」を選択する 本当は、今稼働している大飯原発をすぐに停止して、全ての原発を計画的に廃炉にし、原発に依存しないエネルギー政策のシナリオを選びたい。だが、3つのシナリオが2030年までの原発割合となっているので、その中からは「ゼロ」シナリオを選択した。 2006年3月の核燃再処理工場アクティブ試験開始をきっかけに、核燃サイクルについて考えるようになった。それ以前は「原発はいやだが、安全に稼働するなら仕方ない」と漠然と思っていたが、以後はやるべきではないと強く考えるようになった。 その理由は、事故がなくても問題が多いことが分かったからである。特に大きな理由を具体的にあげると、 1、ウランの採掘から始まり、運営時、廃炉処理に至る、最初から最後まで、関わる作業員に被ばくが避けられないこと（他者を被曝させて得るエネルギーなど、倫理にもとると思う） 2、放射性廃棄物の安全な処理方法がないこと 3、海への温排水は海水温を上昇させ直接的な温暖化といえるなど、環境への悪影響なしに運営できないこと 4、何事にも絶対はないこと。どんなに安全を謳ったとしても、それ以上の問題が生じることがあり、事故が起きればより返しがつかなくなる（すでにとり返しがつかない事態が生じている） 今は原発を安全に稼働するための議論が多いが、それは経済的にも効率が悪いのではないか。なにより安全性を高めればコストが上がるのは明らかだである。また、いずれは廃炉にしなければならず、早い方が経費がより少なく済む。 「安全性」としてはむしろ、核燃料棒は稼働停止後も長期間の冷温管理が必要なので、全ての原発を早期に廃炉にして「安全に管理」することを求める。 政策としては、火石燃料をはじめとした「限りある資源」から「再生可能エネルギー」へシフトしていく政策を希望している。 だが、すぐに再生可能エネルギーだけにするのは難しいと想像できるので、その間は、環境への負荷がより少ない燃料（石炭より石油、それよりガスなど）を環境負荷の少な技術で使えるように技術開発を進め乗り切るようにしてほしい。 同時に、電気を使う側も、省エネ（エネルギー効率のいい電気製品等を使う）、節エネ（電力使用を少なくする）、適エネ（無駄な電気を使わないようにする）を進めればいいと思うし、政策としてもそれを推進してほしい。 大切なことは、日本が、再生可能エネルギーで暮らせる社会を目指すという「夢」を国民がもてるように、国がその「意志」を示すことだと思う。 またそれは、東京電力の原発事故により世界中に放射性物質を拡散してしまった日本が、世界に向ける「安全、安心」のメッセージにもなると思う。
57388	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発は絶対反対です。原発ゼロを目指します。	どうして、安全だと立証できない原発を今後の日本に残すのでしょうか？未来の子どもたちに、安心して生きて・・・とこのままでは言えません。死んでも死にきれません。 原発はいりません。ゼロにしましょう。原発は必要ではありません。
57389	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロ支持	今回の原発事故を教訓にした原発に頼らない社会を希望します。 事故が起った場合の影響を考えると、このまま原発を残すのは支持出来ません。
57390	個人	自営業	50代	男性	原子力発電をゼロにする。	処理しきれないエネルギーの使用は止める。
57391	個人	会社員・公務員	50代	男性	まずは現状維持。将来は15%を支持。ゼロにすべきではない。安全保障、原発技術の維持、エネルギー事業などの観点から。	安全保障、原発技術の維持と世界貢献、将来エネルギー事情が不確定な中、 ゼロにするにはリスクが高すぎる。原油にしてもガスにしても今後安定的に 供給されるとは限らない。また、貿易赤字は日本の将来にとって大きな問題となる。 これ以上、日本を衰退させるようなことがあってはならない。 再生可能エネルギーなど自前でエネルギーが賄えることは明確になった時点で また検討すればいい。 また、まだ感情的な議論が多いなか、現段階での将来を語ることは疑問がある。 もう2、3年時間を置いてから検討すべきではないか。 今は感情にとらわれず、冷静な議論が大事。
57392	個人	学生	30代	女性	原発依存度について、(1)ゼロシナリオ を支持します。原発ゼロを前提に、省エネとグリーンエネルギーの開発を推進してほしい。	他のシナリオにおいては、短期的な経済的影響は小さいのかもしれませんが、大災害とそれによる被害の甚大さを国民全員が痛感した今、そのような短期的な考慮で進むことの無意味さを感じずにはいられません。
57393	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は0にする。	既存の電力会社も競争させ、能力の無い会社は破産させる仕組みにすべき。そうすれば合理化が図られ、料金は値上がりしない。民間会社とはそういうもの。電力会社社員も競争にさらすべき。
57394	個人	家事専業	40代	女性	原発は、すべて即時停止、廃止するべき。いますぐ0%に。	すべての原発は、すぐに停止し、エネルギー産業から原発をなくすべきです。 理由は大き く3つです。 1.稼働させる限り、安全な処理が不可能な核廃棄物が出続けるから。 2.震災以降、どこでも巨大地震や津波が起こる可能性があり、人的ミスや偶然の重なりによる事故、予想外の活断層の影響を、100%防ぐのは不可能だから。 3.原発停止による経済的影響よりも、原発事故が起こった場合の経済的ダメージの方が大きいから。恐ろしさの度合いが違います。 今は、日本のどこにでも巨大地震が起こってもおかしくないのに、なぜ福島の事故から1年ちょっとで再稼働したのでしょう。 電気不足は言い訳になりません。もともと原発は2割弱しか担っておらず、大企業は、続々と自家発電を進めています。電気が足りることは明白です。 何より、嘘の多い東電の電気不足のデータは信用出来ません。 大飯原発の敷地内にも活断層が走っている可能性があるにもかかわらず、詳しい調査をしないのはなぜでしょう。 今の内閣は、想像力が欠けているのでは？ 原発事故のせいで故郷を失ったり、自ら命を絶った人の気持ちを想像することが出来るなら、「国民のために再稼働」などとは言えないはず。 エネルギー政策は、政府が最終決定するのではなく、国民投票により決めるべきです。
57395	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存率、ゼロパーセントを選択します。	1.核と人類は共存できません。広島・長崎の被爆者がいまだに苦しみ続けています。 2.日本列島はどこも地震の影響を受けやすく、安全な原発はありません。 3.使用済み核燃料の処分方法がありません。 4.自然エネルギーに転換するために、まずは原発依存度をゼロにすることを決断し、技術開発に資金を投入すべきです。
57396	個人	自営業	30代	男性	原子力発電については、新たな代替エネルギーやライフスタイルの変革等とのバランスを考慮しつつ、漸進的廃止へ。	先の東京電力福島第一原子力発電所の事故とそのリスクを受けて、原発を廃止していく、いわゆる脱原発依存については、その段階の差こそあれ、世論として形成されているものと言ってよいと思います。 しかし、早急な全廃は、社会的弱者を含む全ての国民が命をはぐくみ、次の世代へと継いでいくための経済活動を支えるのに必要な分の電力さえも失わせてしまうおそれがあると思います。 既存電力の再利用は、それが主に火力依存となっている現状では、当面の電力を確保することは出来ても、石油資源の相場に左右されることによる経済の悪化や、かつてのように煙害による環境破壊が懸念され、それらもまた看過することは出来ないものと考えます。 従って、政府には、老朽化している原発から暫時廃止していくことを念頭に、電力の過度の不足を招くことのないよう、新たな代替エネルギーの開発・実用化を促し、都市型のライフスタイルや、そもそも都市一極集中の現状に対する変革を政策として並行して実施し、長期的視点での脱原発依存の実現に力を注いで頂きたいと思う所存です。 さりとて、現在停止している原発の再稼働については、当然、事故前以上のチェック体制を整えたうえで、我々国民への説明をきっちりと行って頂くこともまた強く望むものです。 「廃止」も「再稼働」もどうか「なし崩し」で行うことのなきよう、政府には強くお願い申し上げる次第です。
57397	個人	パート・アルバイト	20代	男性	選択肢にある3つのシナリオではなく、原発はゼロにしたうえで、 温暖化対策を目標にした他のエネルギーによって原発のぶんの代替となる、第4のシナリオを支持します。	福島原発事故によって、原発の抱えているリスクが、はっきり明るみになったと思います。 また、事故によって、多量の放射性物質が放出されましたが、その見えない恐怖とリスクに 多くの人が苦しんでるというのが現状だと思います。私の住む千葉県松戸市も放射線量の地域となっておりまして、日々心配と不安を拭い切ることができません。放射能による健康被害の有無等は明らかになっていませんが、その不透明さが、かえって国民の不安を増幅させているように思うのです。 日本においては大きな地震が起きる可能性は低くないでしょうし、福島の事故の悲劇が再び繰り返されないためにも、原発はなくしていかなくてならないと思います。同時に、世界的に深刻化しつつある温暖化問題にも真剣に対処していくために、新たな発電方法を考えるという方向に国をあげて行動すべきだと私は思います。
57398	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロが良い海や山が汚され食物が汚染された。成長途上の子供には大きな影響がある。東日本大震災の原発事故で生活を狂わされ苦しんでいる人がいる。自然エネルギーにして出来るだけ早く原発ゼロにしてほしい。	私は原発ゼロが良いと思います。なぜなら昨年の東日本大震災の原発事故で多くの人がまだ自分の「ふるさと」に帰れず、苦しんでいる事を知ったからです。 普通の生活をしていた人が事故によって全てが狂ってしまったのだなという事を考えると原発に対する怒りの気持ちがこみ上げてきます。 また、私の中で1番原発をゼロにして欲しい理由は、沢山の美しい山や海などが、 一瞬の水素爆発によって汚染させれ、そこで作られた農作物や魚介類が自由に食べられなくなってしまったからです。過剰すぎるのではないかという意見もあると思いますが、私達のような子供はまだ成長途中です。そこに放射能が入ってきたら良い訳無いに決まっています。 このような生活に害のあるような原子力発電を止める為にも、もっと本気になって自然エネルギーで電気を作ることに力を入れ、2030年よりも出来るだけ早く原発をゼロにしてほしいです。
57399	個人	自営業	60代	男性	選択肢の3つのうちではなく、原発を即時廃炉にすべきだと思います。	後処理ができない原発は絶対使用するべきではないと思います。
57400	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオ 即時0%を希望します	険しい道でも、努力してゼロにして下さい。子供達の明るい未来のためにお願いします。

整理番号	個人/法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
57401	個人	会社員・公務員	法人等	男性	原発の即時停止、全基廃炉、将来の原発依存0パーセント	広島、長崎の原爆被害を知っているにも関わらず、原子力の平和利用という名目で進められた原発。 そして地震、津波などの自然災害時の危険性や、事故発生時に使う設備の不備が指摘されてもなお停止や改善もしなかった結果に起きた福島第一原発事故。 日本だけでなく、世界の誰にも扱えない危険物です。 原発はいりません。電力は足りています。 原発と原爆は同じです。 これ以上の放射能汚染はいりません。 福島第一の事故が問題ない汚染なら、国会議事堂を福島に移転してください。
57402	個人	その他	30代	女性	原発ゼロを求めます。	そもそも発電の終わった放射性廃棄物を何万年と人や国が 存続しているかどうかも分からないほど長い間、 厳重に補完しなければいけない原子力発電は反対です。 それ以上に、福島原発事故で世界的な汚染や不幸を引き起こしている国が このまま原発を推し進める事には、これ以上ない大きな怒りを感じます。 日本は世界でも有数の地震大国であり、 福島原発の事故を見るに、どれだけ安全を確保したと言っても、 人が管理する以上100%はありえません。 危険な原子力は即刻やめてその他の発電に切り替えていくことを求めます。
57403	個人	その他	40代	女性	エネルギー環境に対する選択肢に関して、ゼロシナリオを選択します。	福島原発事故が起こるまではエネルギーに関して無関心でした。しかし福島原発事故を期にひとたび事故が起こったら人間は原発を制御できない事、政府はまったく人の命を考えていない事、放射能の健康被害に関する恐ろしさを充分知りました。 文科省が管理しているスピーデイも活かされず、放射能に関する本当の情報を国が流していれば被爆を免れていていた方もかなりいたんではないでしょうか。何十年何百年と放射能汚染を処理してゆかなくてはならない状況で、再び原発を稼働しエネルギーを生み出してゆく事はこんな事故があったからこそもう考えられません。 また現在ある原発の中には活断層の上にあるものもあるそうですが、また再び悲惨な事故に遭う事はもう許されません。 もう原発は止めてください。全て廃炉にし、政府は事故前のきれいな日本に戻す努力をして次世代の子供達に引き継いでいってもらいたいです。その為にも今からエネルギー消費量を大幅に減らす暮らしを推進していくことを希望します。 例えば、世界中みてもこんな自販機がある国はない、24時間必要ない。24時間コンビニは必要ない。電力を必要としあったら便利なものを止める（なくても生活できる）、家庭、会社、公共物の節電の徹底を教育。 経済優先のエネルギー政策、今まで通り経済保護を考えてのエネルギー政策では何も変わらないか、今まで以上にエネルギーを必要とするでしょう。 まずはエネルギー消費量を減らしクリーンな再生可能エネルギーを柱に先進国として環境共生の国をめざしたらいいのではないでしょうか？江戸時代とまでは行きませんが江戸時代の生活を回帰すれば日本は変われるでしょう。
57404	個人	その他	40代	男性	「(1)ゼロシナリオ」に賛成します。昨年3月の福島原発事故により、地震と津波の生じる確率の低くない日本で、原子力発電は、放射性物質漏洩の危険が高く、そもそも無理であることが明らかになったものと思われます。	「(1)ゼロシナリオ」に賛成します。 理由の第一は、日本の立地です。周辺に地震が多く海に囲まれた島国である日本では、地震と津波がこれまで頻繁に起こってきましたし、今後も起こる可能性が高いことは明らかです。2011年3月の福島原発事故により、その地震と津波で、原発施設が損傷し、放射性物質が漏れることが実証されました。いくら原発施設に地震、津波対策を施しても、現在の科学技術では、複雑な配管を要する原発施設で、事故は防ぐことは困難です。そもそも地震と津波の脅威のありうる日本で原子力発電を導入したことが間違いで、そのことは諸外国からも指摘されています。発電後に生じた放射性廃棄物も、地下に埋設する場合、数百、数億年単位の安定を要するものの、その間に大地震に見舞われる可能性は低くなく、放射性物質の漏洩が容易に想像できます。以上から、原発は日本で無理と思われます。 理由の第二は、原発事故の適切な事前予防および事後対応を日本政府に期待できないことです。福島原発事故では、地震と津波と地震への備えがそもそも十分ではなく、事故後も事故原因と被害の詳細がいまだ明らかにされているとは言えません。放射性物質はほとんどセシウムしか測定されておらず、その他の様々な放射性物質がどの程度土壌、農作物、海産物に含まれているのか分かりません。その結果、将来、国民にどの程度の健康被害が生じるか分かりませんし、そのことに国は関心を持っていないように見受けられます。福島原発事故により、電力会社も国も、国民の健康に配慮しておらず、原発事故後の放射性物質漏洩に対する適切な対応を期待することは困難なことが分かりました。以上から、日本は、国民の安全と健康の見地に立って原子力災害に適切に対処する資格を備えておらず、そのような国はそもそも原子力発電を行うべきではないものと思われます。
57405	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存度0%、即時前面稼働停止、速やかな全機廃炉へ移行すべし。	核廃棄物の処分も出来ない以上、原子力は利用すべきでない。帳簿上の問題で廃炉と言えないのは分かるが、先延ばしにすぎず、この機会にエネルギー政策を転換し他国に先んずべし。
57406	個人	学生	10代以下	女性	私は15%に賛同します。	実際のところ0%に賛同したいのですが、現実問題急激に0%にするのはさまざまな問題が起こると予想されるので、その次に少ない15%に賛同します。NO NUKES
57407	個人	会社員・公務員	60代	女性	僭越ながら、個人の意見を述べさせていただきます。 私は、ゼロシナリオを希望しますが、現実的には最終ゴールは原発ゼロを目指した15シナリオが経済的、国内外との調整のため妥当かと考えます。	今から5年ほど前から末端業務となりますが、METIの受託業務である石油・再生エネルギー事業に関する業務に数年携わっておりました。 石油や天然ガス資源がない日本にとって、権益を取得できるよう調査事業を繰り返し、日本の技術を各国に認可していただくよう進めていくことは、年単位で期限を約束出来ることではなく難儀なことであるとあらためて学びました。また国家としてのインフラ事業は、川が上流から下流へ流れやがては海へ無事辿りつけるような川の流れのように、滞りなく巡ることが大切ということも知りました。 安全神話があったからの判断か、当事業費が削減され仕分けの対象となった私は、退職となりましたが、その退職と決まって、3.11が起き、安全神話が崩れ、自然エネルギー、再生エネルギーに目を向けられるようになったということはなんとも因果なものです。 安全神話も経済界が作り上げたものであり、どれだけハイリスクなものかは、痛い目にあわないを気付けない人間とは哀しいものです。 ただここで気付かなければ日本人と考えます。 ハイリスクな問題はこれからも地震国である日本は、減らす、無くす以外に選択肢は無いのではないでしょうか？明らかに生きている間に全ての核燃料問題を解決が出来ない訳で、ただ道筋は示さないといけない。それが今、日本に住む大人に課せられた義務です。 具体的になりますが、2012/7/14に行われた「激論ニッポンのエネルギー」橋川武郎氏のリアルな原発のたたみ方に大変共感を持ちました。 ぜひ単年度事業としてではない、事業として原発をたたんでいく決断をくだしてください。 日本の知恵も知識も技術も全て世界は見ています。 ぜひ英断をいただき、振り返っても後戻りできない判断は、避けてください。 切に願います。よろしくお願いします。
57408	個人	家事専業	30代	男性	単刀直入に、原発はもういりません。 ありがとうございました。	私達が経済中心、効率中心、営利中心の競争社会に熱狂し、人の命や自然、自然の営みの大切さを忘れてしまった結果が、3.11であり、原発の事故だったのだと思います。 もう、私たちは思い知りました。 人間にとって、本当に大切なものは、無為自然、命や自然、自然の営みです。 たくさんの命が重なりあい、助け合い、生きていく愛に溢れる世界を私は望みます。 そして、それは、必ず実現できると信じています。
57409	個人	自営業	30代	女性	エネルギー・環境の政策決定は、一部の人の犠牲の上にその他多くの人たちの豊かな生活が成り立つことのないようにしてほしい。原発によって福島を追われ、生活を失った人たちを忘れるな。全原発停止を希望する。	昨年の大震災についての政府の対応には、心から失望しました。 電力会社が自社の利益を守るために動くことは予想していましたが、まさか、政府が、自治体が、電力会社を守るために、民の命や暮らしを全くかえりみないとは…このような政府を成立させている選挙への見直しを考える必要さえあると、強く感じています。 エネルギーや環境は、言うまでもなく、多くの人々の共有財産であり、同時に暮らしの中で欠かせないインフラです。 経済活動においても必要不可欠なものです。 しかし、だからこそ、多くの人が豊かな生活を送るために、一部の人が犠牲になるような政策はあってはならないと思います。 原発は、非情に苛酷で危険な現場で働く人の犠牲の下に操業され、周辺環境を悪化させることで、周辺に住む人々の命と生活をわからないように劣化させてきました。そして、昨年の事故のような場合には、周辺の人々から何もかもを奪いました。残念なことに、これからも奪い続けることでしょう。 そして何よりも、原発は解決の目処の立たない核廃棄物などの問題を、未来を担う子供たちとこれから生まれてくる子ども達に押し付けています。これは本当に我慢ならない問題です。 私には子はありませんが、子ども達は私たち全員の未来です。 子ども達の未来を犠牲にするようなエネルギー政策である、原発推進は即刻やめてください。 また、民が死んでも「関係ない」と嘘をつくのでしょうか。 これでは、高度成長時代の公害と同じではないですか。
57410	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロを支持します。	原発ゼロの日本に住みたいです。

57411	個人	会社員・公務員	40代	男性	資源の殆どを海外に頼りかつ島国の我が国にとってエネルギーの安定供給のために原子力は必要。選択肢は実現可能性等の検証が不十分であり原子力ゼロに流されることは無責任。少なくとも「20～25%」が必要。	■選択肢の内容について ＜前提＞ ・福島第一原子力事故のような大事故を二度と起こしてはならないことは絶対条件。 ・ただ、現在ややもすると「福島第一事故が起こった以上、原子力は（どんな対策を打とうが）全て危ない。だからゼロを目指すべき」という極端な論調が多いと見受けられるが、日本は各社が徹底的な安全性向上対策を着実に進めているほか、世 界では福島事故後も原子力の新設が進んでいる。 ・したがって、まずは福島第一原子力発電所の事故原因等を徹底的に検証したうえで、日本の福島以外の原子力の安全性について、（感情論ではなく）事実とデータに基づいた冷静な議論が必要。 ・また、日本において原子力が果たしてきた役割もしっかり振り返るべきである。過度に一つの電源に依存しない電源のベストミックスは、経済の安定および発展、エネルギー安全保障上等から非常に重要であり、日本が過去二度のオイルショックや最近の化石燃料の高騰に国として耐えてこられたのも、原子力が安定的かつ低廉な供給に貢献し電気料金が安定してきたことが一因と言える。 ・更には、エネルギー産業は長期的な巨大な設備投資を伴うため、一旦進めば後戻りが非常に困難。現在のエネルギー基本計画を2010年6月に閣議決定したのは、まさに菅政権であり、そこでは一層の原子力推進に極端にドライブがかかっていた（2030年に原子力比率45%）。その後、福島事故を受け、原子力依存度を減らす、との方向性（への転換）には理解はするものの、では政策が（逆方向に）極端に変わる中で、原子力に代わって低廉かつ安定的に供給でき代替電源が現実的にあるのかというのが最大の課題であるし、原子力の技術をどうやって維持するかという問題も大きい。 ・言いたいことは、国のマネージメント上極端に偏った政策は道を誤るのではないかということが心配だということである。 ＜国から示された3つの選択肢の内容について＞ ・感情論や数字の一人歩きではなく、各シナリオの内容についてはそこの数字に至るプロセスが徹底的に検証したうえで判断されるべきと思うが、残念ながら算定根拠やバックデータが十分に示されていない（ため検証不能である）。 ・万一ただの「絵に描いた餅」であれば、それは国民に対しての欺きになるおそれがあるため、検証のためにも算定根拠、バックデータの徹底を徹底的に開示し次に述べるような疑問点に回答していただくこと、および中身の検証が不十分なままでの拙速な結論付けは絶対回避していただくことをお願いしたい。 ・大きな疑問点は、例えば次の4点。 (1)再生可能エネルギー大量拡大が本当に実現可能なのか？ ・再生可能エネルギーを現状10%から25～35%に拡大（特に、水力除きは現状2%から13～24%に。太陽光・風力は最大で現状の20倍程度）となっているが、物理的に不可能な絵となっている可能性が高い。 (2)省エネルギーの推進が本当に実現可能なのか？ ・日本は世界最先端の省エネ推進国。にもかかわらず、現状から約2割の省エネ（示された絵には厳しい規制的措置が並んでいること）はあまりに非現実的でないか。前提となる経済成長との関係も不可解。 (3)経済への影響の数字が不可解 ・例えば、発電コストに関して、ゼロシナリオ15．1円/kWh、15シナリオ14．1円/kWh、20～25シナリオ14．1円/kWhとなっているが、各シナリオで原子力、火力、再生可能エネルギーの構成がかなり違うにもかかわらず、ゼロと15あるいは20～25で何故1円しか変わらないのか、15と20～25シナリオで何故同コストなのか理解できない。例えば、再生可能エネルギーのコストを（固定価格買取価格等の実態に反して）極端に低く抑えているということはないのか？ (4)温暖化対策（温室効果ガス排出量）の数字が不可解 ・例えばゼロシナリオは▲23%で15シナリオの▲23%と同水準の数字である。火力電源比率はゼロシナリオが65%、15シナリオが55%と、ゼロの方が10%も高いのに、どうしてこのようなトリッキーな数字（他のシナリオとそん色ない水準）が可能なのか理解できない。これは本当なのか？ ■国民的議論の進め方について ・国の将来のエネルギー選択をどうするかは、例えば消費税増税をどうするかと同様に、国民各層に極めて重要な事項にもかかわらず、政府（およびマスコミの）国民への周知があまりにも不十分な状況であることが今一度認識されるべき。現状では全く「国民的議論」になっていないと憂慮している。特に、高齢者（インターネットを使えない層）や主婦層では、こういった議論が行われていることすら知らない方々が大多数ではないか。 ・一例として、意見聴取会について申し上げると、進め方に大きな問題がある。 ・まず、対象人数（参加する人数）がごく僅かに限られていること。即ち、全国11箇所合計でも参加者は1300名のみにとどまっているし、また、インターネットTV放送（ユーストリーム）の視聴者数表示も各回数百名程度にしかならず、とても国民的議論になっているとは到底言えない。 ・更には、一部の方々だけには組織的な動員や野次等が許され状態は、民主主義の中でのバランスを欠いていないか。 ・また、話を傍聴していて、意見論点に対して国からの専門的な説明（例：事実はこうだ、国はこのように認識している、等）が全くないため、傍聴する側も、各陳述者の主張の何が事実で何が誤解なのかが分からず、冷静な判断が出来ない。 ・事実に基づき、偏りの無いバランスのとれた議論および判断にしていただきたい。
57412	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年に原発ゼロを希望します。	このからくりでは既に現実と虚構の仕組みを知っている若い世代は騙せませんよ。発電目的ならば他に効率のよい選択肢があるのに、選択させないような手法には納得いきません。本当にエネルギー政策の事を考えていくならば、原子力ビジネスの目的を全部公開したらいいのでは？その上で国民の意見を問うのがフェアでないですか？国民は政府の奴隷ではありません、生きる条件を選択を権利があります。その事を忘れないでください。福一の処理をままならない状態での原発依存は絶対反対です。
57413	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は0にする。	既存の電力会社も競争させ、能力の無い会社は破産させる仕組みにすべき。そうすれば合理化が図られ、料金は値上がりしない。民間会社とはそういうもの。電力会社社員も競争にさらすべき。
57414	個人	自営業	30代	女性	原子力エネルギーの使用に反対します。	これから子供を産み、育てていく私たちの未来に、地球上に何十万年も残る危険なゴミを これ以上出したくありません。 太陽や地熱、もっと新しい自然エネルギーの開発を進める為に、大事な税金を使って欲しい。 日本の産業の在り方を見直し、もっと資源を大事に、丁寧に暮らしてゆきたいと思います。 どうか意識改革をお願いします。
57415	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択します ただし、今すぐ全ての原発を停止して下さい	電力不足が喧伝されていた関西電力でさえ電力需給には問題ない事が明らかになりました。原発を今、全ての止めても電気は不足しません。電力会社の経営問題や原発立地の経済振興の問題は原発稼働以外の方法で解決して下さい。福島第一原発事故を経てもなお、危険な発電方法を選択する合理性は全くありません。
57416	個人	自営業	20代	男性	長期的な脱原発とその後の産業構造の確立	3.11の震災に伴う原発事故により、電力会社と原子力発電所関係の組織の癒着が明らかになったように思う。 産業を発達させるに辺り、税金に根ざした会社運営が行われることは仕方のない部分であるが、今の電力会社と周辺組織ではその国民の血税にたかるという構造が形骸化していることが問題である。 今後、脱原発へのシナリオを描き、それに伴い今とは異なった構造を導入することにより、新しい利権システムを構築するべきであるし、その新しいシステムも30年周期で定期的に変化させられるとよいと思う。 余談であるが、システムの弊害といえば、国会議員は議場で寝過ぎであるし、現在の情報社会の情報の取捨選択がとてもできない老人ばかりなので、国会そのものも、システムを一度変えられないかと考える。
57417	個人	自営業	40代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。 2030年を待つ事無く原発依存度をゼロにすることを望みます。	福島の現状を見る通り、原発は災害に遭遇するのが一カ所であっても全国的に甚大な被害をもたらします。また原発事業の歴史や所謂原発ムラと呼ばれるものの意思決定の不透明性、加えて経済的な観点からみても維持費等に莫大な費用がかかること。それらを考慮したうえで合理的に考えれば依存度をゼロにする選択肢しかありえません。 またそれが2030年という時限について、それが本当に必要な時限であるのか。なんらかの理由によって原発を維持したい経済界の意向がそれまでに一旦決定された方針を転換させたりしないのかとの疑念を持ちます。現状でも依存ゼロでも可能であるとの指摘もあるなかで、2030年にこだわらず、すみやかに原発依存度ゼロの社会へ移行することを望みます。
57418	個人	パート・アルバイト	40代	女性	即時の原発ゼロを支持し、すべての原発の完全廃炉を求めます。	福島第一原子力発電所の事故により、本当に本当に多くの被害が出ました。福島県はもちろん、私の実家のある岩手県南部でも高い放射線量が計測され、ここ山形内陸部でも決して無視できるような量ではない放射性物質が降り注ぎました。毎日、多くの母親たちが子どもたちへの放射能による影響を心配しており、食材の調達に苦労しています。また、原発は事故が起きなくても放射性物質を排出しており、動植物、人間に悪影響を及ぼします。核のゴミは増え続け、その処理方法も確立していません。原発は、決して稼働してはいけないのだとはっきり分かりました。今年の夏、原発を稼働しなくても電力は足りました。即時の原発ゼロを支持し、すべての原発の完全廃炉を求めます。
57419	個人	その他	40代	男性	原発はできる限り速やかに廃止すべきだが、それだけで問題が済むわけではないこともはっきりとさせるべき	原発そのものは、自己や核廃棄物処理の問題も考えれば、速やかに廃止の方向で行うべきである。しかし、そのために代替エネルギーをどのように求めていくのか？ また、国民自身が生活スタイルを変えていく必要があることを、もっと積極的に考える必要があり、何を変えるべきかについてを国民一人一人が考えるべきであることを積極的に意見を求めるべきであり、議論を進めるべきである。 化石エネルギーによる代替による他国への影響もきちんと説明するべき。 経済のために原発存続という人もいるが、事故が起これば、経済どころか国土の存続、そして、地球全体の問題になるのだから、経済のためというのは非常に近視眼的である。 稼働による責任を取るという人は、具体的にどのように責任を取るというのかを公に明らかにするべきである。口で曖昧に「責任を取る」というごまかしは許されないと思う。少なくとも、公職に就くものは、具体的な責任の取り方を大ｙけの場で明言するべきである。
57420	個人	無職	40代	男性	原発は今すぐ全廃すべし。欧米と異なり日本は地震大国であり、配管が壊れて冷却できなくなれば爆発する原発は極めて危険。太陽光太陽熱地熱小規模水力バイオマス風力を少しづつ用いて、電力を地産地消すれば良い	原発は今すぐ全廃すべし。欧米と異なり日本は地震大国であり、活断層が多数存在し、原発直下の地震の可能性が大きい。54基中4基爆発は7%爆発で確立が極めて大きい。全電源喪失以外でも、配管が壊れて冷却できなくなればメルトダウン、爆発する原発は極めて危険。太陽光・太陽熱・地熱・小規模水力・バイオマス・風力を少しづつ用いて、電力を地産地消すれば、地域振興・雇用増加につながり、かつ再生可能エネルギーによる発電で新興国に手本となることができる。
57421	個人	家事専業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。 原発即時撤廃希望、現在停止中の原発の再稼働に反対します。	・地震多発地帯に位置するこの国で、既に地震の活動期に入っているにも関わらず、ほぼすべての原発が活断層近くに設置されているのは大問題であるし、更にこれらを稼働させ続けるのは危険すぎ、狂気の沙汰である。 更に、膨大な量の核廃棄物の処理方法もないままに、原発を再稼働させるのは非現実的であると言わざるを得ないし、新設などはもってのほかである。 ・コスト面から言っても、今回の福島第一原発事故の事故処理費用・廃炉費用および国内外における賠償費用がトータルでどれ位になるのかもまだ分からないというのに、仮にもう一度事故が起こるようなことになれば経済的破綻は免れないだろう。 ・代替エネルギーには、価格の下がってきている天然ガスコンバインドサイクルをメインにし、同時に省エネの取り組みを進め、太陽光・風力・地熱などの再生可能エネルギーの開発・普及を加速させる必要がある。 ・これから多発するであろう地震発生時のリスク分散や送電時のロスを少なくし、又持続可能な社会を構築するためにもエネルギーの地産地消を進めるべきである。よって電力自由化・発送電分離などの電力システム改革を早急に進める必要がある。 ・核燃料サイクルは既に破綻している。実現不可能な幻想に固執することなく、再処理事業の中止を求める。 ・東京電力は破綻処理すべきである。 ・「変化すべき時に変化を受け入れない事は将来的に大きな損失若しくは破滅をもたらす」というのは歴史的に視て世の習わしである。近視眼的な利害に振り回されず、冷静に長期的な視野を持って政策を決定していただきたい。 以上
57422	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年には日本中の原発が廃炉処理されていることを希望します。もちろんゼロシナリオ(1)です！	福島の事故が示すように人間が原発を利用することは不可能です。 それに廃棄物の処理や放射能の垂れ流しが一番の問題で何年かけても解決できません。それは明らかです。未来の子供たちのためにも今すぐ脱原発に向かうように強く希望します。
57423	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	原発はゼロにしてください。 大きな利権が絡むものには必ず過ちが起きます。欲望の前に屈してしまいます。絶えず発生する汚職、脱税、保身のための嘘。それらが物語っています。人間はまだまだそんなレベルなんです。 自然エネルギーの利用は、たとえ過ちが起きても住む土地まではなくなりません。原発事故を起こした日本はここで世界に示すべきです。原発は危険なんです。
57424	個人	会社員・公務員	20代	男性	日本国内の原子力発電所は即刻全て廃止すべきである。	原子力発電所に事故が発生した時の経済的リスク、健康的リスクを鑑みると、日本国内の原子力発電所は即刻全て廃止すべきである。
57425	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力シナリオ「ゼロシナリオ」を選びます。	去年の原発事故より日本は原子力発電に頼らず、生活してきました。原子力発電の安全性はまだ確立されていません。 よって日本には原子力発電は必要ないと思います。
57426	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発はすべていらない。 即刻停止!!	国民の命、安心を本 気で、考えて ！
57427	個人	無職	60代	男性	2030年に原発依存度を0%にすることを選択します。	2030年に原発依存度0%の選択は、昨年の原発事故時の東電及び政府の対応を見ていて、我国には原発を推進していく能力が無いと確認した事と、原発は一旦事故が起きた場合に、被害範囲のあまりの大きさと収束までの年月のかかり方及び放射線のために現場に赴いて事故処理が出来ない又簡単には無毒化出来ないという、人間には今のところ対応できない技術だと確信したためです。
57428	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発は即時廃炉へ 選択肢：原発依存度0%	日本の原発は耐震性を偽装して造られている。浜岡原発周辺土壌と浜岡原発耐震強度がたびたび変わっていることからそれは明らかである。 廃炉作業に入っても危険な期間が半世紀続くのだから、せめて即時廃炉するのが世界の環境のためである。

57429	個人	自営業	60代	男性	現時点では、2030年までに原発依存20～25%を目指し将来的概ね40年を目処に0%とする。これに伴い電気エネルギーだけでなく他の自然換気、太陽熱を考える。	題は、「エネルギー環境に関する選択肢」ついてと意見を述べることになりますが、個人的には、一定期間(40年間程度)原発を稼働し、原子力発電所は将来的には依存度0%を目指すのが必要と考えます。 過去40年も原子力発電によって電力の安定供給を受け、生活してきた環境で、直ちに原子力発電所を「廃炉にすべきだ」との主張には同調できません。現実に電力不足によって命を奪われる人もいます。 このことから、選択肢にあるように2030年では「原発依存度20～25%」が現実的な対応だと考えます。 直ちに原子力発電所を「廃炉にすべきだ」との主張する人は、どう考えても本質を語らないで、単に再稼働反対の意見が前面に出ているような気がします。福島第4発電所は冷温停止状態ではなかったでしょうか。つまり、原子力発電所は「停止」しても、「運転」していても核燃料がそこにある限り安全性は確保できません。 「稼働反対」と言っていれば、あたかも安全が確保されているような報道がなされています。 「原子力発電所の廃止」を主張するなら、冷温停止状態であった福島第4発電所の事故の事実から、核燃料の廃棄処理施設建設、それが実現できないのであれば、核燃料の移転・隔離を早期に実現することを訴え、それによって、自分自身が「何ができ何をするか」を具体的に提案すべきです。今までのようにただ「反対」を訴えるだけでは何も良くならないと思います。 今日、明日の原子力発電所の稼働を議論するなら、危機管理踏まえ、災害で石油基地や石油供給施設がその供給力を失い、火力発電所が停止し電力供給ができなくなるような事態も想定するべきです。 現段階で原子力発電を再稼働することは、当たり前のことでしょう。電力会社を悪人に仕立て上げる行為が、今後のエネルギー対策の議論に取っていいことでしょうか。 通常の生活で、ヘルメットを被り、安全靴を履いて、サングラスを掛けて、防弾チョキを着て街中を歩くことなどできません。このため、「安全第一」と言っても「許容範囲」があります。安全基準はこの「許容範囲」で決められるものと考えます。そして、この基準は、時代と伴に見直しが行われるものです(いわば暫定基準です)。 原子力発電を稼働することが危険であるなら、それはそれなりに危険性を指摘する必要がありますが、私たちは、40年間、原子力発電所が稼働し、安定的な電力供給を受けてきたことも事実であり、この稼働実績を評価すべきです。 その上で長期的な視野から、原子力規制庁の設置、原子力発電所の耐震補強、ベント施設、防波堤のかさ上げ、および免震棟の建設などを議論すべきだと思います。 原子力発電所を「廃炉」にすれば、原子力発電に関する送電線の撤去費用や維持管理費、核燃料の廃棄処理施設の建設費などの費用がかかります。核燃料の廃棄処理施設建設ができなければ、核燃料の安全性を確保するため、半永久的に維持管理費が必要となります。この費用はすべて電力料金または税金で負担することになります。結局は消費者が負担することになります。 電力料金買い取り制度も同じです。20円のものを、無理矢理、電力会社に42円で買い取らせる制度です。差額の22円は誰が負担するのでしょう。 太陽光発電の設置できない消費者や、マンション生活者に「あなたたちは、太陽光発電を設置していないのだから、この費用の負担をお願いします」と言うのでしょうか。電力料金が安くなる要因は今のところ見あたりません。 太陽光発電や風力発電を「再生可能発電」と称しても、自然エネルギーに変わりありません。自然エネルギーは、その地域によって大きく異なるものです。それを、太陽光発電や風力発電を代替エネルギーと称し、北海道でも沖縄でも同じ条件で発電が可能であるかのように、「原子力発電と同規模の発電が可能だ」と言っても意味がありません。「自然に優しい」と言っておきながら、耕作地である田畑(休耕田の利用は他に考えるべき問題)を利用する、風力発電を建設するために、山林を切り開き、山道を作り自然の生態系まで破壊すことが、今後のエネルギー政策として正しい選択とは思えません。 今後のエネルギーのあり方を考えれば、メタンハイドレート、地熱発電、光ダクト、太陽熱の利用、煙突を利用した自然換気などを有効に組み合わせることが正しい選択と思います。 例えば、核燃料を廃棄物処理または隔離した後に、メタンハイドレートを燃料として利用して、現存する原子力発電を火力発電に変える(実現化のかどうかは判りません)などの新しい発想も生まれてくるのではないかと思います。 太陽光発電は、大電力に使用するのではなく、例えば、住宅地の充電式電池を備えた街路灯に利用するとか、ノート式パソコンの充電器に利用するなど、特性を生かした利用方法があるはずです。DCで発電した電力をわざわざAC100Vに変換して、住宅の照明(太陽光を光に再変換)に利用するなどの利用方法は、無駄が多すぎるような気がします。 電気エネルギーは、50Vで人の命を奪うエネルギーでもあります。漏電火災もあります。つまり、場合によっては、他人に危害を与える可能性もあります。 太陽光の利用には光ダクト(天窓)などの利用もあります。 他の自然エネルギーは、太陽熱の利用、煙突を利用した自然換気なども考えられます。 将来的には電気エネルギーだけでなく、省エネルギーを踏まえ、トラックを直接鉄道で運ぶなどの方法も考えられます。
57430	個人	学生	20代	男性	0シナリオを支持します。	まず原子力発電という発電形式自体が四つのプレートがぶつかり合い、地殻変動が著しい日本では自然科学的に不可能である。今回の「意見書」自体も経済性ばかり焦点が当てられ、そもそもとしての日本での原子力発電はどういうことを意味しているかと言うことをほとんど書かれていないことには不十分さを感じた。 また、地震などのリスクを除外しても、核廃棄物の処理の問題は世界中どこの国も、ほとんど解決に至ってない。地層に埋めるとしても、10万年も地層が安定な北欧と違い、日本は地殻の変動が非常に活発であり、日本で蓄えることは不可能であることは自明である。そのようなことを経済性ではなく、自然科学的に不可能である。 また、原子力自体がCO2排出が火力より下回るのかも、LCAの観点から、そのウラン濃縮、廃棄物処理の点を含めると懐疑的である。
57431	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	今すぐに、直ちに、原発を廃止してほしいと心から思います。するべきです。 どうしてこのような事件が起こってしまったのに、再稼 働などという決断ができるのでしょうか。どう頭をひねっても理解できません。 理由はシンプルです。安全に生活したいからです。もう同じことが2度と起こらないようにしたいからです。 ドイツやイタリア、スイスでは福島の原発事故が決定的な理由となり脱原発への道を進んでいます。どうして、日本が脱原発社会にならないんですか？どうして、再生エネルギーの開発に目を向けないのですか？ 少しの犠牲は仕方ない、そのように考えているように見えて怒りを感じ、絶望的な気持ちになります。 なぜ原発からはなれられないのですか？お金でしょう！人の命を第一に考えてほしいです。何の犠牲もない人たちが放射能という目に見えない恐ろしいものと戦っているというのに。 今、自分たちの手で社会を変えることのできるチャンスだと思っています。どうか国民の声を聞いてください。リーダーとは自らが先頭を切って決断して行く者ではないと思います。小さな声にも耳を傾け、より良い社会に変えていってほしいです。もう無視しないでください。 原発をめぐる討論インターネット上などいたるところでやっています。知っていますか？たくさんの本もでています。読みましたか？ 原発がとまるまでみんな諦めません。当たり前です。みなさんもきちんと向かい合ってほしいです。民主主義国であることを証明してほしいです。 今の子どもを守りたいです。自分の子どもができる頃には原発がない日本にしたいです。どうか国民の切なる、そして燃え上がる怒りの声と向き合ってください。原発が恐ろしいものであるって少し考えれば、誰でもわかるでしょう。そして多くの希望を奪わないでください。お願いします。
57432	個人	会社員・公務員	30代	男性	日本国内における原子力発電は行わないべきです。 原子力発電所はゼロにすべきです。	既に事故が多数おこり、収束も困難な状況です。 対処不可能なリスクが原子力発電です。 原発ゼロを実行した時の停電は対処可能なリスクです。 どちらを選ぶべきかは、対処可能なリスクを選ぶのは当然です。 原子力以外の自然エネルギーにシフトし、世界におけるパイロット的事例を作るべきです。そうすれば日本以外での国での悲惨な事故は減らせるでしょう。
57433	個人	自営業	50代	女性	原子力によるエネルギーの調達に固く反対します。	エネルギー調達の選択は多種ある。いかなる手段であっても、人智を尽くしても事故を防ぎきれない(すべてにおいて100%事故を回避する事は不可能)のであるが、原子力の場合の環境に対する影響を考えれば、原子力利用は平和利用であっても利用する事に反対である。
57434	個人	会社員・公務員	40代	男性	3つのシナリオではなく、原子力発電以外のエネルギーで地球温暖化に配慮できる再生可能エネルギーなどの代替エネルギーの確保が出来ない限り原子力発電は必要。	枝野大臣は馬鹿か！エネルギー政策は国防・外交など国家戦略であり、国民の意見に左右されて決定するような内容ではない。国会議員・政府が国益と国民の生活を真剣に考え、対応すべきである。また、再生可能エネルギーにおいても国民に正しい知識と情報を与えず、原子力発電をなくしても大丈夫で、さもバラ色の生活が待っているかのような認識をしている国民が多くいる。再生可能エネルギーで商売だけを考えてやっている奴らだけが喜ぶ全量買取制度による国民負担や最終の供給責任の在り方、経済活動への影響など影の部分が全然議論に出されていない。政府・国会議員は真剣に国民を幸せにできるのか？いろいろな会議に第三者委員会を作って議論を進めているが、責任のない奴らがいくら話しても理想論でしかなく、当事者意識はない。そのあたりをよく考えろ！今回の意見聴取会も電気事業に従事する者を排除して会議をするなど、彼らは正々堂々と素性を明かして、国民として参加しているが、反対派の連中は文句を言うだけで素性も明かしていない卑怯者である。そうした彼らを排除し議論を進めていることを恥じるべきである。彼らは電気事業に携わる者の前に国民である。最後にこのエネルギー・環境会議において、枝野が大臣である限り結論を出すべきではない！！！！！！！
57435	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 国内の全原発の稼働を止め、全原発のを廃炉手続きを進め、原発の新設を認めません。 つまり、2030年を待たず、一刻も早い「原発のない日本」「原発ゼロの日本」「もんじゅや六ヶ所再処理工場の廃止」への舵取りを日本国政府に求めます。
57436	個人	その他	30代	男性	エネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。原子力エネルギーへの依存を即終了させる、より踏み込んだ原子力エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。	新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。私たちは原子力エネルギーへの依存を直ちに終了させる、より踏み込んだ核エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。 具体的に私たちは以下を要求します: 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
57437	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年の時点で原発比率ゼロパーセントにすることを最低限の目標として、早急にすべての原子力発電所を閉鎖することを決定し、クリーンエネルギーを全面的に採用することを求めます。	私は、原子力は人類が扱ってよいエネルギー源ではないと考えています。抽象的な評価ではありますが、原子力は天体レベルで行われるエネルギー活動であり、一惑星上の生物種である人類が扱うことが可能なレベルのものではないと考えているからです。 我々人類は、自分たちのことだけを考え、地球の汚染をもいとわない原子力を無理矢理にでも使おうという意志の元に、原子力政策を推進してしまっていると思います。現段階で、使用済み核燃料の処理方法などの原子力関連技術は将来に禍根を残してしまうものです。そのような将来に禍根を残す原子力技術を、私は今後も推進すべきではないと考えています。 我が国は原子力に依存しなくとも、クリーンエネルギーを推進し新技術を開発するだけの「技術力」と、クリーンエネルギーへの完全移行をするまでを節電などの工夫で乗り切るだけの「知恵」の両方を持っていると確信しています。特に節電などでは、政府が国民にクリーンエネルギーへの強い意志を表明しさえすれば、国民はそれに納得し、強い意志をもって自らの努力でクリーンエネルギーへの普及に邁進することと確信しています。日本国民はそれだけの努力ができる賢い国民です。それらをもって、世界に誇れるクリーンエネルギー大国へ成長することこそ、世界における今後の日本の役目ではないでしょうか。 2030年時点の原発比率ゼロパーセントは最低限の目標であり、もっと早い段階でゼロにすべきと考えています。将来の日本国民や、将来の世界における日本の役目・リーダーシップもふまえ、原子力政策を見直し、原子力発電を全廃すべきと考えます。
57438	個人	会社員・公務員	30代	男性	安定した経済・産業の発展のため緩やかにエネルギーシフトしていくべき。そのためにも2030年の原発比率は20～25%程度として経済の発展・新エネルギー開発を推し進めるべきである。	現行のエネルギー比率は国土の立地条件・経済規模を勘案して妥当なものである。早急な原子力エネルギーからの脱却はエネルギー供給の不安定化を招き、経済活動への影響が大きい。現在の不安定な世界経済情勢や速やかな国土復興のためにも、また、新エネルギー開発に必要なエネルギー供給のためにも、安定したエネルギー供給源として原子力エネルギーは非常に有効かつ重要であると考える。先の震災においても比較的新しい女川原発では重大な事態は発生しておらず、日本企業も技術を有している最新型の原子炉ではより安全性も高められている。先ず行うべきは現在ある設備・施設において老朽化しているものや安全性に劣るものは早急に更新を行い、ベースとなる安定したエネルギー供給源を整備することに注力することである。そして新エネルギー開発・経済発展を行い、より安全な、より経済的なエネルギー源へシフトしていくべきであると考える。従って2030年の原発比率は20～25%程度とするべきである。
57439	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	原発はリスクが多すぎます。 もんじゅは廃炉すべき。
57440	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までに原発依存度0シナリオ、代替発電システムの推進に賛成します。	2030年までの原発依存度0シナリオを支持します。 2011年3月11日の大震災による福島第一原発の事故により、原子力発電所が地球規模で災害をもたらすとても危険な存在であること、地震国の日本での運用リスクがとても高いことが明るみになりました。また、老朽化も進み、原子力の処理できないゴミも増え続ける一方です。将来の日本の生活に、安心できる材料は何もありません、明確な説明も、科学的根拠も見られず納得できないのが現状です。 一方、エネルギー政策は国力でもあるとも思います。国力であり、技術開発も国内外へのビジネス展開を期待するのであれば、その制御できない原子力より、制御可能な代替発電システム（自然エネルギー等々）の推進を支持します。 エゴがエコを破壊しています。日本が、日本人が、本当に和という精神を重んじるのであれば、今一度今の政策を見直して下さい。今のエネルギー政策は、本当に日本人としての精神に正しいものなのでしょうか？
57441	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロへ	未来の子どもたちのため、地球のためにここで真剣に自然エネルギーへシフトしていくべきだと思う。私たちは便利な生活の代償にたくさんの命を失い、地球を汚してしまった。 ここで思いきって真剣に考えてみてはいかがだろう。 その時がきていると思う。 もう咲き伸ばしにはできないと思う。
57442	個人	会社員・公務員	30代	女性	希望はゼロシナリオです。3.11以降オブラートに包んでた原子力発電とゆうとてつもない黒い物が浮彫りに。あれは人間に扱える代物じゃない。この地球上から全ての原子力発電所や核が無くなる事を切に願います。	あんまり伝えるのが下手くそで、幼稚かもしれないけど思っている事を真剣に書きます。 私はゼロシナリオを進めて欲しいです。 まず、シナリオを読んで思ったのは 化石燃料を減らして、もう少し自然エネルギーを増やせないかとゆう事。 この狭い日本で賢く色々な知恵を絞って他に目をむけられないか？ 戸建ての太陽光のパネルの設置義務、瓦が太陽光発電の基盤となる装置の開発、歩くと発電する床の具体化（以前TVで見ました）電車屋根やビルの屋上は勿論太陽光パネル、バイオ発電所、ちょっとづつや、皆の意識を完全にすり替えて下さい。私達個々はとても小さなものだけれど、それが集まればパワーになる。 電力も自分達で賄うくらいは、小さな発電でもいけませんか？日本の技実なら出来るはずです。 原子力発電所を全て棄てて、それを世界に見せる時。 使用済み核燃料の現実を見せる時。 核や原子力発電所なんて元々人間の扱える物じゃない。 日本は唯一原爆を体験しているのに、平和宣言しているのに。 今だって原発のせいで故郷を失って、悲しい思いをしてる人が沢山、沢山いる。 それらをちゃんと見て欲しい。本当の真実を話して、次に進むべき。今ならまだ遅くないし、日本なら出来るはず。 原発が資金源で無くなると困る地域には農業をやってもらう。 農家をちゃんと国が守ってあげて日本の自給率を上げる。 もうそんな化学に頼る時代じゃない。いかに自然と共存し感謝して、一方では人間の技術を見せて進む時代。技術と自然の共存です。 原爆も原発も経験し平和宣言した日本の変わる姿を未来を繋ぐ子供達の為に、未来の地球の為に、世界に魅せて下さい。 日本が変わりますように。 どうかお願いします。
57443	個人	無職	60代	女性	原子力発電は反対です	人間がコントロール出来ないからです 他の自然エネルギーの方向に即刻舵をきって下さい 廃炉以外の選択肢はありません　心からの願いです
57444	個人	無職	60代	女性	原発ゼロシナリオを支持	地震国日本では原子力発電は無理。 未来のためにクリーンエネルギーへ切り替えるべき。

57445	個人	自営業	30代	女性	原発0%を選択します。 再生可能エネルギーの早期増加。 発送電分離の実現、スマートグリットを活用した電力需要の引き下げ、高性能蓄電池の普及が急務と考えます。	電気事業法で定められた総括原価方式を撤廃し、電力会社の健全な運営を図るとともに、利用者への過度な費用負担を避ける必要がある。 また、発送電分離を実現することによって、エネルギー市場の自由化開放により消費者の選べる自由と、新産業の発展、成長が大きく見込まれる。 現実問題として、原発が無くとも電力が足りている状態、原子力発電は一刻も早く取りやめることが急務であり、稼働しないことによる電力会社の負債計上については、原発を推進した過去の歴史と照らし合わせ、責任の所在を明確にした上で、対処されたい。 既に発生してしまった、何世代先へもつけを回す核のゴミの問題、廃炉、その後の管理に伴う長期のモニタリング監視システムの確立、技術の確立に今後は注力すべきであり、原発を稼働して新たに対処すべき事象を増やすべきではない。 日本の原子力技術は、今後、上記の問題に真摯に取り組めるよう、世界の先駆けとなれるように、発展し、技術の確立と技術者の養成に全力を尽くしていただきたい。
57446	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。	日本は唯一の戦争被曝国であり、去年、世界最大の原発事故を起こしました。 今こそ原発を0%にしよう、と国民全員が決めることが大切なのではないでしょうか。 コストはかかっても、原発はできる限り早くゼロにし、再生可能な自然エネルギーの割合を増やしていくことが、大人たちの責務だと感じています。また、安全性に疑問が残る核燃料の再利用もありえないです。完全廃炉を希望します。こどもや孫たちが安心して暮らせる世界を創り出すために。
57447	個人	自営業	40代	女性	1番 0シナリオを支持 原発を不安に思う社会から脱却。 新たな自然エネルギーの開発を望む。	福島出身です。 福島原発のような事故を二度と起こしてはいけない。 日本中が不安を抱いています。 原発を一秒でも早く廃炉へ。 核のない安全な未来を子ども達へ。 人間のエゴがこれ以上加速すると 地球を破滅してしまう。 自然ともっと同調した世界へ。
57448	個人	自営業	30代	女性	原発 0パーセントを望みます。 私たちのためにも。私たちの子どもや孫や地球や日本のためにも。	できないというのは、やらない言い訳にしか すぎません。 やってないから、0パーセントに向かわないだけ。 もうこれ以上 世論を無視するのはやめてください。 目の前のお金だけを大切にするのですか？ 未来は どうでもいいのですか？ ほんとうに悲しく思います。　政治家のみなさん 東京電力をはじめとする 既存電力会社のみなさん いい加減にして！！　 みんな怒っています。
57449	個人	自営業	50代	女性	原発はゼロへ。	生命にかかわることなので慎重でありたいが、核廃棄物が出る原発はゼロにする。 広島、長崎、福島と被爆したにもかかわらず、原子力を持ち、廃棄できない廃棄物を作り続けることはありえない。 石油製品の使い捨て、食品廃棄も減らしたい。 余らすより、足りないくらいで幸せな社会へ。 消費し続けることに疲れました。
57450	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電に頼らないで、水力発電、地熱発電等の力を利用したエネルギーへシフトをお願いします。まだ太陽光発電は効率が悪いので、太陽光に力をいれるのであれば、フリーエネルギー実用化にお金を使って下さい。	(1)事故が起きたときの対策初動の悪さ＆国土汚染の広さがあまりにも酷か　った為。 (2)立場や肩書きを顧みず、自らの命の尊厳を大切に考えて行動できる方が　国を治めていない為。（原子力事故発生の際はAraraの定義に則って行動できる方を切に望みます。）
57451	個人	その他	20代	男性	原発ゼロシナリオ（即時）	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢として、原発ゼロシナリオを選択します。 原発のコストの高さはすでに「原子力のコスト」(岩波新書)などで立証されています。 GDP成長率がエネルギー消費量を考える元になっているようですが、ドイツではGDP成長率とGHG(温室効果ガス)排出量は反比例しています。 GDP成長率はエネルギー消費量を減らせます。 また、原発が稼働することにより、気持ちよく生活できない人たちがいる。 これだけでも十分な理由となると思います。 なので、即時、原発ゼロシナリオを求めます。
57452	個人	その他	20代	女性	「原発ゼロ」を選びます 原発50基中2基しか動いてなくても毎日乗り切れています。まず2基分の電力を代替エネルギーで作ってから、いま老朽化の火力で補っている分も徐々に代替エネルギーに変えていけば良い。	原発比率0%のシナリオを希望します。 日本の取るべき進路は、「原発ゼロ」以外にありません。再び福島のような事故が起こったら日本はもう立ち直れません。2030年までにはあと18年もあります。いまは火力で代替し、2030年までに、一部を徐々に自然エネルギーに変えていけばいい。太陽光が注目されていますが、むしろ小水力・風力・地熱などが天候に左右されず日本では有利です。 現在48基の原発が停止していても大規模停電などは起こっていません。 そもそも大飯原発を動かす前、関西電力は記者会見で「再稼働と夏の電力不足は関係ない」と堂々と発表していました。また、日本エネルギー経済研究所（旧経産省資源エネルギー庁所管）の『エネルギー・経済統計要覧』のデータを見れば、原発分の電力がまったく無くても火力などの発電力の合計で日本の最大電力需要をすべてまかなえていたことは一目瞭然です。 しかし、当の関西電力が電気が足りないから再稼働するのではないと明言していた矢先、いざ再稼働が出来そうになってきた途端に政府は急に「電力不足」と騒ぎだし、何の根拠データも示さずに節電のパーセンテージを発表しました。その後節電のパーセンテージは二転三転し、いずれもその根拠は示されないままです。いちばん酷かったのは、大飯原発3号機118万KWが再稼働した際に、火力300万KW分を停止させて供給量合計を大きく落とし、さらに供給量が減ったのに同時に節電目標の緩和を行って、結果7月上旬時点で電力逼迫90%超過という発表がなされたことです。腹立たしいのは点検ではなく「調整」と称して火力を一度に8基も止めたことです。点検のためならいざ知らず、調整とは。だいたい点検なら一基ずつすれば良いではありませんか。それに、需給ぴったりになるようにわざと止めたのなら、逼迫などと発表するのがそもそもおかしな話です。 大飯を動かしても足りない数値だと言っていたのが、動いた途端足りていることになったり、足りたと思ったら今度は、電力会社がこぞって他の原発も動かさないと債務超過で値上げだと言い始めました。もう電力不足とかなんにも関係なく、これでは電力会社のやり放題ではありませんか。会社の資金繰りのためだけに再稼働したいのが見え見えです。安全性などは全く無視しており、大飯原発は防潮堤も爆発防止装置も免震棟もないのに「数年後に作ればよい」といって今動かしました。政府事故調が、福島第一原発は放射線が強すぎて、どこが壊れたのかもわからないと言っているのに、「福島の知見を生かして」と言って再稼働報告がなされたときには寒気を覚えました。こんないい加減な危機管理では、いつ第二第三の事故があってもおかしくありません。 日本は地震大国であり、原発基数に対する1973年以降のM5以上地震の回数も、イギリス1基あたり0.4回（19基/8回）アメリカ1基あたり4回（104基/385回）に対し、日本は1基あたり70回（54基/3542回）と、ケタ違いの多さです。そして一度でも事故があれば取り返しがつきません。日本の原発は賭け状態です。そんな賭けを、これ以上存続させてほしくはありません。 どうせ止めてたって危ないから再稼働しようという向きもありますが、それは間違いです。冷温停止状態とフル稼働の高温状態とでは熱量に数百倍の開きがあり、臨界までの時間に大きな差があります。止めておけば、電源を手配する時間や最悪の場合でも住民が避難する時間を稼げます。2030年までと言わず、できるかぎり早く全ての原発を停止・廃止にするべきです。 被曝なんて、遠い世界の話だと思っていました。しかし、福島の事故で福島県民はもちろん北は岩手、新潟から、南は東京、自分の住む神奈川までセシウムが降って、たくさんの人が被曝しました。下水は放射線が出て置き場に困っているし、食べ物は出荷停止になるし、先日は琉球大調査チームが福島原発周辺のチョウの奇形率が12%もあると発表しました。原発事故は一度でもほんとうに取り返しのつかない事故です。虫は世代交代が早いからすぐわかりますが、人間も数十年たって子ども孫世代になったとき病気が出てくる可能性があります。実際に、チェルノブイリではガンになった子どもがいっぱいいます。 経済経済と言いますが、人間がいてこその経済ではありませんか。原発KWhあたり5円で安いと言いますが、処理費用や交付金など全て含めれば30円/KWhを超えて火力と逆転します。CO2を出さなくて温暖化抑制と言いますが、原発は熱効率30%前後なので、換算すると300万KW の熱量のうち100万KW発電して200万KW分もの熱を大気中や熱水で排出しています。排水で周辺の海水温が高くなるのは火力と同じで、むしろ温暖化を促進しています。 首相は「私の責任で」と仰有っていましたが、首相の全財産を投げ打っても、賠償金は払えません。現代の技術ではすべての放射性物質が除染できるわけではありません。汚染された土地を元通りにすることは出来ません。放射性物質を無害にしたり被曝を治したりもできません。いったん事故れば責任の取りようがありません。片付けも操縦も出来ないものを、絶対に使ってはいけない。 また、核のゴミ問題があります。事故が無くても、片付けられない猛毒のゴミがどんどんたまり続けて行き場がありません。狭い日本に、十何万年もそんな危険物を埋めておく場所はありません。核燃サイクルも再処理も失敗ばかりで、放射性の危険物を量産しただけです。行き場がないので青森県の燃料プールや各地の原発はゴミ置き場状態です。ただでさえ溢れ返っているのに、これ以上危険なゴミを増やしている場合ではありません。核燃サイクルと原発はもう辞めてください。
57453	個人	会社員・公務員	50代	男性	まずは現状維持。将来は15%を支持。ゼロにすべきではない。安全保障、原発技術の維持、エネルギー事業などの観点から。	安全保障、原発技術の維持と世界貢献、将来エネルギー事情が不確定な中、 ゼロにするにはリスクが高すぎる。原油にしてもガスにしても今後安定的に 供給されるとは限らない。また、貿易赤字は日本の将来にとって大きな問題となる。 これ以上、日本を衰退させるようなことがあってはならない。 再生可能エネルギーなど自前でエネルギーが賄えることは明確になった時点で また検討すればいい。 また、まだ感情的な議論が多いなか、現段階での将来を語ることは疑問がある。 もう2、3年時間を置いてから検討すべきではないか。 今は感情にとらわれず、冷静な議論が大事。
57454	個人	自営業	60代	女性	ゲンパツ0パーセントシジシマス。	キョネンノシンサイデ、ゲンパツハ、ニンゲンニセイギョデキナイコトガ、ワカッタ。 シヨウズミノモノデサエ、ショブンニコマル。ワタシタチガツカッタ、ナンマンネンモカカルヤッカイモノヲ、コレイジョウコウセイノヒトタチニノコシテハナラナイ。 スグニ、ゲンパツハ、ヤメルベキ。 シゼンエネルギーニチカラヲ、イレルコトヲノゾム 。
57455	個人	その他	50代	男性	原発ゼロシナリオがいいです。	食品を通じた内部被ばくを避けるために、ただちに止めてほしい。
57456	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロにする。そのため段階的に運転停止・廃炉とする。代替的エネルギーの活用とともに、経済や電力消費を見直し省エネ型の持続可能な社会にする。	原発はゼロにするべきである。安全性およびコストの両面からいって、デメリットが大きい。 そのために段階的に運転停止や廃炉を行なう。 代替的エネルギーを活用する。また電力の自由化を行ない、価格やサービスの競争性や選択の自由があるようにする。 また、経済構造および電力消費を根本的に見直し、省エネルギー型の持続可能な社会に変えるようにしたほうがよい。 例えば、いまは夏の節電対策がとられているが、いっそのこと、欧米のように社会一般で大型夏季休暇をとるようにしたほうが電力消費も抑えられ、能率の低い状態で仕事するよりもかえって効率的といえる。熱中症なども防止できて健康によいし、リフレッシュもできて、生活の充実度や幸福度はむしろ上がる。また、その時期に都会を離れ、地方へ旅行するなど別の方面での経済効果もある。 根本的に、「経済のために電力を確保しないといけない、そのために原発はあるべき」という考え方自体が、戦後に日本の再建のために右肩上がりの経済成長をめざした時期のもので、その経済成長期はすでに終わっており、これ以上、その発想を続けること自体に無理がある。現在の日本社会には適していない。より成熟した社会に適した持続可能型の発想をすることが重要だ。
57457	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発0シナリオ 0%を希望します	原発0シナリオ 0%を希望します。 原発はあまりにリスクが高く、またそのリスクに見合うものはあまりに微々たるもの であり、対策もとても練られたものではない。 なにをもっても現在において反対せざるえない。
57458	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は必要だと思います。資源のない日本で原発は唯一自給自足できるエネルギー源だからです。	原発をなくしてしまうというのは、安易な考え方だと思います。
57459	個人	会社員・公務員	30代	男性	未来にとって負の遺産となり得る原発を「残さない・増やさない」ものと定義付け、最終的には原発依存ゼロの未来に向かって行動していくべき。	フクシマでも「想定外」という言葉が多々使われたように、今後も不慮の事態が起こる可能性、またその際に原発が我々にとってコントロールし切れないものであることは否定できない。以上の観点から、原発は未来にとっての負の遺産である。 　一方で、これまで依存してきた全ての原発を止めることが、新たな不慮の事態を招く可能性もあり、こちらも更なる検討が必要。 　重要なのはフクシマを経験した我々が、現時点で原発を「未来に対して残すべきではないもの・増やすべきではないもの」を定義付け、最終的には原発依存度ゼロの未来に向かって、国民一人ひとりに考察と行動を課すことである。
57460	個人	自営業	50代	女性	2030年の発電に占める原発の割合は0%をめざしたいと考えています。 処分方法が未だ確定していない廃棄物を出し続ける原発を使い続けるのはやはり、間違いだと思います。	地震国日本の上に、瞬時に安全停止できない原発をおくことは合理的ではないし、このまま続けていくことで、いずれ福島以上の破綻が待ち構えていると思います。 事業者のモラルが激変したとも思えません。 1つの方法に頼らず、火力、水力、自然エネルギーの組み合せを工夫することで、より柔軟で安定した電力を得ることもできるのではないかと思います。 その為には、発送電を分離しコストをガラス張りにし、競争を促す必要が有ります。今のシステムでは電力事業者のいいなりの状況ですから。 経営の世界では、120%成果を目指すと目標達成は難しいが、200%、400%の成果を目指すと、イノベーションが起き、予想もしなかった方法で成功することができるといわれています。 弱者にしわ寄せしない、安全で低コストなエネルギーを私たち日本人ならつくりだせるのでないでしょうか？
57461	個人	自営業	60代	男性	原子力発電は廃止。都市部にはガスコンバイン発電所を建設。電力の地産地消。再生可能エネルギーを推進。 発送電分離で、意欲的な起業家が電力市場に参入できるように。	原子力発電は、決してCO2を出さないわけでもクリーンなわけでも低コストなわけでもない。それらはすべて核燃料製造過程や、使用後の処理貯蔵などに要するコストやエネルギー消費を度外視し、単に発電時のことだけをクローズアップしてこれまで宣伝してきた虚構にすぎない。 まず、使用済み核燃料や、放射性廃棄物の処理方法も技術も確立されておらず、使用済み核燃料を原子炉建屋内に貯蔵しなければならないような現状では、原子力を基幹エネルギーとして位置付けること自体成り立たない。 さらに、今回のように事故が起きた場合、その国家的損失ははかり知れない。 原発からも核兵器からも早く卒業しないと、人類に次の発展進化は望めない。 日本は、被爆国であり、福島原発事故の当事国であるのだから、まっさきにこの原発からも核兵器による抑止力という「虚構としての平和」から、真の相互信頼に基づく真の平和への道を歩み始めるべきである。
57462	個人	家事専業	60代	女性	即刻廃止を強く望みますが、選択肢にないため2030年までに0%を選択	経済の停滞か、福島のような命・郷土・生活に甚大な被害を与える原発か、どちらを選ぶかと問われれば、原発即刻廃止しかない。 首相官邸前の金曜集会に集まる民意をしっかり受け止めてもらいたい。 総力を結集すれば、次世代エネルギー開発や政策で世界をリードできる力が、この国には必ずあると信じる。
57463	個人	学生	20代	女性	ゼロシナリオであるべきと考える。	原子力発電所から発生する廃棄物の処理が埋め立てしかなく、埋め立て地も限られており、継続すると処理未決定の廃棄物が大量に発生すると考えるから。処理できないゴミを出す仕組みは不用だし、危険だと考えるのでゼロシナリオであるべきと考える。

57464	個人	会社員・公務員	30代	男性	新しい物を作り出す	鳩山元首相がCO2削減目標を打ち出した時、肝になる政策は原子力発電を活用することだった。しかし、3.11以降ことを考えた時、これを推進してはいけないと誰しも考え思っている。(そもそも、核のゴミの処理も確立出来ていないのに ‘環境’ にいいといえない。) 原子力に依存しないエネルギーを、作り出すことは容易ではないが新しい ‘モノ’ を作り出したときには、新しい体制・新しい産業構造・新しい人材が造られる。 これは、今の日本にとって最高のチャンスである。 既存システムを再構築する為にも、原子力への依存はなくすべきである。
57465	個人	その他	60代	男性	「ゼロシナリオ」を選択	エネルギー・環境会議から「原発依存度を減らす」「化石燃料依存度を減らす」等を大前提に、2030年時点の3つの選択肢として提示されているシナリオのうち、原発依存度の比率をゼロとする「ゼロシナリオ」の選択を支持します。 同じく「依存度を減らす」とされていても、原発と化石燃料とではその意味が全く異なります。 東電福島原発事故を経験した現在、もう一度（たった1回だけでも）同じ事故をおこすわけにはいかない、というのがそもそもの出発点です。単に数値上の可能性を下げるだけでは危機回避としては不十分です。できるだけすみやかにゼロとすることがあるべき危機管理です。 一方、化石燃料については、地球温暖化の原因となるCO2を削減し、かつ、人類にとって有用な化石燃料をできるだけもったいない使い方をせずに枯渇を先延ばして代替エネルギーを整備する時間を確保するのが「依存度を減らす」趣旨です。 化石燃料は電気のためのみではなく、輸送用燃料等にも使われているものであり、CO2対策としてはさらに広義のエネルギー政策として検討されるべきものです。 また、火力発電は、一度稼働すると長期間止められない原子力発電とは異なり、細かな調節が可能です。燃料使用量＝CO2排出量も今日の選択が将来をすべて決めてしまうものではなく、情勢の変化に応じて一定の柔軟な対応ができます。 以上を勘案すれば、まず原発ゼロを達成することを優先課題とする「ゼロシナリオ」を選択すべきです。
57466	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の再稼働に反対します。今後は原発に依存しない、100%自然エネルギーによる電力の供給を目指してほしいです。	野田総理大臣は、原発の再稼働に際して「国民の生活を守るのが第一」だとおっしゃってましたが、3.11の原発事故により、住んでいた場所を追われた福島の人たちも「国民」です。その人たちの生活を奪ってしまったことを考慮しないのであれば、そもそも「国民の生活を守る」ということの意味が成り立ちません。ナンセンスだと思います。それに総理大臣の「全責任」なんて、辞職すればそれまでですから、何も期待できないし、期待している国民は殆どいないと思います。 稼働すれば処理できない有害なゴミを出し続け、それは何千年、何万年も先まで残ります。そんな前時代的な有害な電力は要りません。 時間がかかっても、多少の不便をこうむっても、100%再生エネルギーによる電力の供給を希望します。
57467	個人	学生	20代	女性	数値で選ぶとすればゼロシナリオだが、問題がある。国民の経済負担を単に強調するのでなく、再生可能エネルギー市場の創造を積極的に目指すべき。	第二(15%)、第三(20～25%)のシナリオは原発からの脱却を実際的に目指すものとは思えず、福島事故を受けた日本社会の選択肢としてあるべきでないものと考えます。 数値で選ぶとすれば第一(ゼロ)のシナリオですが、これにも問題があります。最たる問題は、再生可能エネルギーの導入推進が、国民に重い経済的負担を強いるという側面が強調されていることです。再生可能エネルギーの競争的市場を創造する可能性、そのための適切な法制度および社会システム整備の方向性について議論をすべきです。また、ゼロシナリオで国民負担が発生するとすれば、それが、他のシナリオを採用した場合と比較してどの程度のものなのかを明示すべきです。その比較の際には、他のシナリオで原発依存体制を基本的に続行して事故が再発した場合のコストも含めるべきです。
57468	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力は人間には扱い切れません	蓄電池の開発の方が余程現実的です。原発の存続の理由は、過疎地の事情につけ込む施策と一部の利権だけです。技術力がないのではなく、やる気がないだけです。
57469	個人	家事専業	30代	女性	日本は電力軍事力においての原子力使用0%にシフトするべき。	安全安心の嘘、利権のための嘘が露呈しているなか、これ以上国民にとって無意味な政策を取り続けている哀れな日本を憂いています。 これからの未来にむけて、日本が再生エネルギー及び自然エネルギーの確立の先頭に立ち、子供や孫やその先の人類に対して本当の意味で光を与える立場に立つことが福島第一原子力発電所の事故を体験した私たちの存在意義と考えます。 どうか、この小さな声を聞き届けて下さい。 どうか、子供を守り、希望のある社会にして頂きたく意見を述べさせて頂きました。 ありがとうございました。
57470	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力エネルギーはもちろんゼロにしなければならない。しかし、それ以前に、福島県中通りの子どもを避難させなければならない。確率的実験に参加させることは、親として認められない。	原子力エネルギーはもちろんゼロにしなければならない。これは、原子力災害の被災地に済む人間として、議論の余地があることすら侮辱に感じられる。 しかし、それ以前に、福島県中通りの子どもを避難させなければならない。確率的実験に参加させることは、親として認められない。福島県中通りの子どもたちは、他都道府県の子どもたちと同じ条件で教育を受けなければならない。
57471	個人	自営業	40代	女性	原子力発電は 2030 年といった遠い将来ではなく、今年、来年程度の短期間で０にすることが必須である。	実際に起こった事実として、福島第2原発で4基が同時に機能を失い前代未聞の危険にさらされている事を考えれば、これまで主張されて来た安全対策を根底から見直さなければいけないのは当然の事でしょう。 そして、現時点でこれを制御出来るという主張の根拠は無いと思われます。 原子力は現時点でも電力の多くを賄っている訳ではなく、計画的に次世代エネルギーへの転換、開発を進めて行けば、原子力0は実現可能と考えます。
57472	個人	学生	20代	男性	福島原発事故の現実とその後の事故対応を踏まえれば、選択肢1（原発ゼロ）以外選択肢はない。原子力とこれまでの政策決定には多くの人が疑念を持っている。その前提に立ってどのような政策を講じるかを議論すべき。	（1）はじめに 福島第一原発事故は大変甚大な生態系を脅かす環境汚染であり、未だなお、多くの人が避難を強いられている現実がある。この帰れる見込みがない（あるいは可能性の低い）被災者の現実や国会事故調・政府事故調等の内容を踏まえずして、エネルギー政策を決定すると言うことはあり得ないし、まして原子力を維持・推進、あるいは新規の原子炉の設置を言うことは論外である。この前提に立った上でこの3つの選択肢の中で、選択肢になり得るのは選択肢1（原発ゼロ）のみである。以下これらについて問題提起をする。 （2）選択肢の策定過程と選択肢そのものに大きな問題がある ■フクシマの教訓から何も学んでいない 前の基本計画（2010年策定）の失敗の理由（そもそも失敗だったのかどうかも）が全く検証されていない。また福島第一原発事故に事の発端があるはずなのに、選択肢の議論が行われた基本問題委員会は、福島で一度も開催されないどころか、福島の人からのヒアリングすら行われなかった。反省のない政策決定は非常に大きな問題である。 ■数字やパーセンテージの議論に意味があるのか？ 数字だけで決めていいのかという問題がある。倫理や民主主義、市場の活用・・・などを考えると導入量はそもそも結果なのではないか。またその割合がコミットメントなのか、目標なのか、単なる推測なのかも考えるべきだ。もう一つパーセントの話をすると、どの程度の需要量や発電量なのかが全くわからない。この点はしっかりと考える必要がある。 ■二項対立的な議論を超えることはできなかった 原発に賛成・反対の二項対立を超えて、議論することが望まれたが、経済産業省総合資源エネルギー調査会基本問題委員会ではその溝を埋めることができなかった。また意見の相違を明確にすることすらあまり行われなかったことは残念であり、委員の問題よりは会議の議事運営の手法に問題があったのではないかと考える。 ■委員の利益相反の問題 3・11以降は「委員の利益相反」ということが非常に問題にされている。例えば、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の買取価格を決めた調達価格等算定委員会では、経団連でかつ鉄鋼業界を代表する人物が人事案に盛り込まれた。鉄鋼業界は電力を大量に消費する産業として賦課金の減免を受けることができる。これに多くの国会議員や市民団体が批判し、この人事は差し替えになった。 このようなことが実際におこると特定の企業や産業の意見が強調されすぎ、政策決定そのものをゆがめてしまう。代表的な例が「原子カムラ」と原子力委員会である。 基本問題委員会では鉄鋼業界の代表が委員長に座り、産業界からは他に、化学、商社など旧来型の産業を中心とする人々が委員を務めた。一方で今後成長が期待されるITや環境関連分野を代表する産業界の代表は含まれていない。 ■意見聴取会の運営方法の問題 電力会社出身者が意見聴取会で、東北では“企業”として、名古屋では“個人”として発言した。まず、企業として発言するのは国民的議論と言う場では論外で、国民を愚弄しているとしか思えない。個人として発言するのは構わないと個人的には考えるが、発言内容が「放射能で死んだ人はいない」などという発言は人間性を疑います。 そもそも、この意見聴取会は博報堂が入れし、各会場9～15人程度が意見を述べると言った形式で行われているが、これが国民的議論と呼べるかどうか政府には再考を促したい。少なくとも一部の人しか現在こうした政策の決定が行われていることを把握していないし、存在すら知らない。時間不足ではないか。個人的には国民的議論の期間の延長を希求し、熟議を尽くすべきだと思う。 （2）15%シナリオの問題点 ■15%シナリオが出てきた経緯 ことの経緯を説明すると、最初に基本問題委員会の委員に対して、2030年の電源構成についての意見をまとめるようにと委員長から指示があった。これをもとに経産省のもとで集約した結果、（1）市場に任せる、（2）原発ゼロ、（3）原発20～25%、（4）原発35%というシナリオが提示された。 一方で、15%シナリオは基本問題委員会委員有志による自主的分科会で、なぜゼロと20%の間に自然に廃炉していくシナリオがないのかという指摘がなされた。これをもとに飯田哲也委員が15%という参照ケースを追加するように言及したが、このとき委員長は採用しなかった。しかし、後に橋川武部委員が15%の参照ケースを提示し、委員長が採用した。 ■15%シナリオの前提条件とその問題 15%シナリオの前提条件は、（1）原発の新増設なし、（2）既存原発の40年廃炉である。加えてこの15%の試算の前提には、原発の稼働率が80%で想定されている。実際には15%ではなく、12%程度である。70%で試算すれば、5～6%まで減少する。この点を考えると稼働率が80%行かなかった場合、あるいは危険原発の廃炉を行った場合、15%シナリオは存在し得ないシナリオである。 また政府は2030年で大幅な再検討を行うとしているが、原発依存度低減と言うコンセンサスを反古にするということと何ら変わらない。 （3）考えなければならない3つの出口調査 まず、脱原発（原発ゼロ）を大前提として、（1）再生可能エネルギーと省エネ、天然ガス火力でエネルギー政策の面から考えていく必要がある。次に（2）今回問題となった非効率な電力産業の再編に向け「電力環境改革の推進を行う必要がある。一方で（3）原発関連産業・電源立地自治体の脱原発シフトを加速させ、（4）使用済み核燃料の中間貯蔵と最終処分場の策定を行うべきである。これ以外に日本が生き残る道はない。（もしそうでないなら、日本は後世の人々や他国から反省のない国だと思われるだろう。）
57473	個人	会社員・公務員	30代	男性	未来にとって負の遺産となり得る原発を「残さない・増やさない」ものと定義付け、最終的には原発依存ゼロの未来に向かって行動していくべき。	フクシマでも「想定外」という言葉が多々使われたように、今後も不慮の事態が起こる可能性、またその際に原発が我々にとってコントロールし切れないものであることは否定できない。以上の観点から、原発は未来にとっての負の遺産である。 一方で、これまで依存してきた全ての原発を止めることが、新たな不慮の事態を招く可能性もあり、こちらも更なる検討が必要。 重要なのはフクシマを経験した我々が、現時点で原発を「未来に対して残すべきではないもの・増やすべきではないもの」と定義付け、最終的には原発依存度ゼロの未来に向かって、国民一人ひとりに考察と行動を課すことである。
57474	個人	その他	30代	男性	即時の原発0%を求めます。	今回の福島原発の事故であまりにも危険と思った為、巨大地震の多い日本に原発は向きません。 直ちに原発ゼロの安心して暮らせる社会を望みます。
57475	個人	家事専業	40代	女性	全原発停止・廃止！原発0%を望みます	福島に見る東電、政府の対応を見る限り今のままで原発を動かす、推進することは考えられません。使用済み核燃料の対策もできていないのに核のゴミを出し続けるなんて信じられない。柏崎刈羽原発から約40キロに住んでいますが、第二の飯舘村になりたくありません。
57476	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島第一原発の事故は、人間にも地球環境にも制御不能な原発の本当のリスクを日々私たちに突き付けた。ドイツは倫理によって、米国は経済効率によってこのリスクから離れようとしている。日本も今決断すべき時だ。	福島第一の事故とその影響の広がりによって、原発をエネルギーの中心に置くべきか、存続させるとしてもどの程度を、他の何と併存するのがよいか、と行った議論は、すでに何の意味も持たなくなった。その理由は第一に、事故対応と汚染や被曝に対する対応が、適切かつ迅速に出来なかったという結果が明らかになったからだ。電力会社と政府の混乱、隠蔽、マスコミの世論操作の実態は、すでにこの日本には原発を製造・運転する能力も資格もないと断じざるを得ない。第二に、この原発をエネルギー政策の中心に無理に置き続けてきた結果、日本は自然エネルギーを利用した発電技術において、世界のトップ技術から回復可能とも思える遅れを所持てしまっている。海に囲まれ地熱も豊富なこの列島の特質も生かさずにおいて、エネルギー安保論議など笑止である。第三に、米国はいつから原発の製造をやめたのか、日本はもう一度考えるべきである. 製造者のリスクがどれほど高くつくか考えたからだ。ゼネラルエレクトリック社の重鎮が語ったのは、原発は経済的な正当性（投資を呼びこみ、利益を生み出す）という説得力）がないということだ。再生可能エネルギー、自然エネルギーのコントロール技術の発達が、そのような経済効果を生み出してきたことは言うまでもない。経団連会長は脱原発を批判するが、目先の資金回収より未来への投資を促すのが、政府の舵取りというものではないか。
57477	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを強く望みます	原発ゼロシナリオを強く望みます。 昨日、関西電力の電力不足予測が過大だったとの報道がありました。 福島の原発の廃炉も長い期間がかかることがわかっており、 未だに危険な状況だと思います。 また、東北の震災以降、地震が増えています。 ただでさえ地震国と言われる日本で、原子力発電所を運転し続けることは 大変に危険なことだと思います。 一日も早く原発を止め、廃炉にして欲しいと思います。
57478	個人	その他	40代	男性	国政レベルで既存の発電、火力、水力をベースにしつつ、風力、メガソーラー、等の再生可能エネルギーを推進する。エネルギーの地産地消を推進する。地域に則した方法を模索する。発送電分離し、参入障壁を下げる。	二十数以上前から原子力発電所はコストがかかるものと認識していたので、廃止するにはとてもいい機会だと思います。 食べ物も地産地消が謳われて久しいですが、エネルギーも可能な限り地産地消を目指すべきだと思います。 再生可能エネルギーというと、風力、太陽光発電しか、主に、取りざたされませんし、水力というとダムによるものしか認識されていないと思いますが、一部の地域では今でも小水力発電というものが運用されていることを震災直後に知りました。私の住んでいる川越市はたくさんの川があり、水に恵まれているので、それを積極的に利用できないものか考えた訳です。 選択肢はたくさん あった方がいいというか、その地域によってふさわしい、発電方法考慮すべきでしょう。 そして、発送分離により、発電に参入しやすい環境を作るべきだと思います。 原子力発電は今までご苦労様でしたということで、今後、何年かかるか分からない、廃炉と使用済み核燃料の安全性の確保に研究に原子力に携わる人たちには取り組んでいただければと思います。
57479	個人	会社員・公務員	50代	男性	3シナリオともに、省エネ、再生エネの想定が過大で、経済、雇用、国民生活への影響は計り知れない。しいて、どれかを選ぶならば、原発を長期的に一定程度維持する点で、20～25シナリオ。	3シナリオともに、省エネ、再生エネの想定が過大で、経済、雇用、国民生活への影響は計り知れない。しいて、どれかを選ぶならば、原発を長期的に一定程度維持する点で、20～25シナリオ。原発依存度とはかんけいなく、過大なCO2抑制をどのシナリオにも課しているのは、全く理解にくるしむ。震災後の状況を踏まえれば、過大な温暖化対策などできるはずがない。
57480	個人	自営業	60代	男性	脱原発、ゼロシナリオ 地球温暖化防止は両立できる 電気の使い方 新技術の取り入れ	電気の使い方：100vを200v使用にする。 荒田先生の常温固体核融合で放射能が出ない、爆発しない、、原料は海に無尽蔵にある、この技術の取り入れ。 オオマサガスカ：「この車の燃料、半分はもともとただの水です。信じられますか」 待ち工場が点在し、下町の風情が漂う東京都大田区の住宅街。総合プラントメーカー「日本テクノ」（社員約20人）の大政龍雷（73歳）は、同社前の路上に止めた車を差し、目を細めた。 車はタクシーとして使われたLPガス車で、トランクにはガスボンベを積んでいる。中身は50%がLPガス。残る50%は水だけを原料に同社が生成したガス、その名も「オオマサガス」を混合させている。 実際にハンドルを握り運転したみた。通常の車と変わりないが、何よりの売りは排ガスの少なさだ。オオマサガスは燃やしても排出されるのは水蒸気だけ。一方、LPガスの単体で運転した場合に比べ約200分の1、炭化水素は5分の1にまで減らせる」このような新技術を国はどんどん取り入れる。 新技術を使用できるように法律の整備をすること。

57481	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロの推進	福島原発事故が起きてから、未だ先の見えないのが実情である。 政府の対応も遅れ進んでない状態である。 福島が、以前のように暮らせるようになるのは何時か。 安全神話が崩れた以上、代替えエネルギーにシフトするのは当然である。 後世のためにもそうすべきである。 政府は、官僚前や国会前での国民の行動にもっと耳を傾けるべきである。 又、活断層がある原発は、今後再稼働せずに廃炉にすべき。 チェルノブイリの現状も福島原発と同様重く見るべし。 以上の事からも、原発ゼロを政府は、推進すべきである。
57482	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 脱原発という考え方のもと、原子力に依存しない社会、再生可能エネルギーへの転換を支持します。また地域でエネルギー自立を図る施策を支持します。	原発が日本に導入されたとき、"核の平和利用"や、それによってもたらされる"便利で明るい未来"といったことが国民の心にあったのだと思います。しかし50年経った今、その結果は、"核"を制御することはできないということ、それは福島の原発事故や未だ最終処理のめどが立たないなどということはもちろん、核を管理する人の心も制御できない、いわゆる原子力ムラのようなものができてしまうということです。 これまで原子力によってもたらされた経済的な恩恵がどれくらいあったかはわかりませんが、今後原子力とともに生きる道を選んでも、発展はないように思えます。よって、原発ゼロシナリオを支持します。
57483	個人	その他	60代	男性	1番のゼロシナリオを希望します。ただちに廃炉にし、すべての技術者は使用済み核燃料の最終処理方法をできないだろうけれど全力で確立してもらいたい。	1番のゼロシナリオを希望します。 地球上の生物は自然界の中で一定の放射線を浴びています。ですが放射線は強いエネルギーを発しているのですべての生物の細胞を損傷させてしまいます。 放射線を浴びないのに越したことはありません。 原発はウラン採掘の時点から放射線を地上に放出し、人間だけでなくすべての生き物に影響を与えてしまいます。 そして残された放射線のごみは日本の、いえ世界のどこに処理できるのでしょう。 そっとGEの敷地内にでも捨ててくるのでしょうか？
57484	個人	自営業	30代	女性	選択肢の中では、ゼロシナリオを支持します。	原発は、核分裂の爆発をコンクリートの分厚い壁で囲っておけば、外に影響はないという考え方で作られていますが、実際はそうではないような気がします。 八百万の神というように、日本人は古来から、万物に魂を感じる感性を持った人びとです。動物や昆虫はもちろん、植物や石ころの一つにもが宿っているように感じる民族です。 ならば、大地から掘りだされた核物質にも魂や意思があるのではないか、と思いいたるのは、それほどの飛躍でもないはずです。 人間の利益のために、核物質を爆発させ、爆発させ、爆発させつづける。核物質はどう感じているだろう。一方的に働かせられ続け、人間に牙をむいてきてもおかしくないのではないでしょうか。 そしてそういう核物質の「意思」は、どんなに分厚く強固な壁で覆っても、それらを突き抜けて外の世界に影響するはずなのです。 このように何かを働かせ続けたり、爆発させつづけなければ賄えないほどの電気を必要としている、私たちの生活は正常ではありません。選択肢の中では、ゼロシナリオが妥当だと考えます。
57485	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力ではなく自然エネルギーにシフトするべき	同様の原発事故は繰り返したくない。 原発は動かす(再稼働)の必要なし。 より安全な自然エネルギーにすぐに移行するべき。
57486	個人	家事専業	40代	女性	電子力に頼らない環境エネルギーの推進を強く要望します。原子力発電所は即時停止、0へかじを取り、子供たちにリスクが今よりも減る未来のある社会を作ってほしい。	【1】原発は一度爆発するとその代償が計り知れない（将来日本を担う子供の健康被害、食べ物、経済的活動などなど） ※チェルノブイリの事故を政府発表以外でも現実を見たときにあまりにも悲惨な状況にある（ゴメリ地区は健康児が20%）。福島原発の事故があまりにも大きく、取り返しのつかないことだということを気づいていただきたい。 【2】将来を担う子供が、原発を稼働し続けても、最終処分できる技術を確立できるか現段階ではきわめてあやしい 原発0への移行期間の多少の電力不足や、経済的な危機よりも今そこにある危機をしっかりと取り除いてほしい。
57487	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオ支持　＆　政府を全く信用しておりません	自分はこの決め方を全く支持していません。それを第一に申し上げたい。意見聴取会における原発関係者が選ばれる確率を見れば、この決め方の告知が一般国民に向けて少な過ぎる事は明らかです（そういう根本的な問題を他所に「抽選ですから」とニコニコ笑っている細野大臣の姿勢も酷いです）。この様な状況で、例えば経団連が現に行っている様な「動員」としてのパブリックコメントでの意見提出があれば（原発関連者が抽選で選ばれるのと同じ原理で）彼らが望む意見の割合が増え、一般国民の視点では不公平な結果になりかねない事くらい、今からわかりきっています。だから茶番劇に見えるのです。 また、提示された選択肢がこれで充分なのか、充分ならどれが良いか、を考える時間が短か過ぎます。古川大臣の、去年の大震災の時から国民はこの問題を考えてきたはずだから時間は短くない、との言い訳は、今年7月に提示された選択肢から考えて下さいと言った時点で通用しません。この程度の認識の人物がこの問題の決定に関わっている事自体も大きな問題です。 また、多くの国民が支持していない政府が密室で決めてしまうというプロセス（しかもその中には枝野氏の様な、国民を危険に曝した張本人なのにその事について全く責任をとっていない人物が含まれている）も自分は全く支持していません。 原発を動かしたい政府による国民が知らないうちに短期間で決めてしまおうという卑怯なやり方は、自分は受け入れません。自分の主張は、こんな一部の国民しか知らない決め方で決めないで下さい、という事です。せせこましい事はやめて、堂々と国民投票で決めたらいかがですか。どんな結果も受け入れる心づもりがあるなら、できる筈です。 嫌々ながらでも、どうしても3つの選択肢の中から選ばなければならないなら、という前提で、自分の選択は2030年までに原発依存ゼロパーセントです。しかしここ数ヶ月の電力状況を見ると、2030年までというのは目標が先過ぎる、遠過ぎる、もっともっと短期間で実現可能に見えます。ですから正確に言えば、自分はこの「ゼロシナリオ」も支持していません。2030年までではなく、もっと近い将来に目標設定できると考えているからです。 この自分の主張を別の言葉で言い換えますと、「他人の命を大事にしない社会、自分や自分の家族が困らなければ他人はどうなっても良いという考えの社会は、終わりにしよう」となります。 震災／原発事故以来の政府による他人の命を軽視した行動の数々（助かった後に亡くなった方の数に表れています）は「こうやって生きるんですよ」と次の世代には絶対に受け継ぎたくありません。自分の利益のためには、危険性や不十分な安全確保が指摘されている物事も行っても良い、という考え方を受け継ぎたくありません。原発を動かさないと電力不足だと、政府を含めた原発推進派の方々から脅しにも似た言葉が聞かれましたが、自分が知る限り、日本で停電が要る様な事態だとの話は何処からも聞こえません。関西に関しても、大飯原発再稼働しなくても電気は足りたという各方面から指摘される様な電力状況にある中の関西電力の「次は高浜」の言葉を聞けば、彼らの目的は、停電回避でもなく、首相が言った「国民の豊かな生活」でもなく、原発を動かす事である事は見え透いています。彼らを含む一部の人間のために自分や自分の家族／友人が危険に曝されるのは御免です。 被災された方々から次々聞こえてきた「普通の生活がしたい」との思い。自分もこの思いです。「豊かな生活」は要りません。普通に暮らせれば充分です。原発を使わなくなる事で、病気や死に直面する方々や、仕事が無くなる方等、真剣に困る方には国として支援しましょう。ただし、震災／原発事故で生活を完全に奪われた方々が大勢いらっしゃる中で、震災／原発事故の前と同じ生活を続ける事にしがみついてるだけの、自分さえ良ければ他人はどうなっても良いという考えの方には支援は必要無いでしょう。国難と言える状況の今、自分だけは楽をさせてもらおう、という考え方が通用する社会を自分は拒否します。 最後に余計な事かもしれませんが、政府の方々は、ご自分の信頼を回復することに心血を注がれるべきではありませんか。震災／原発事故以来の貴方方の言動を見て、自分はあなた方を信用しなくなりました。その後の貴方方の行動は、信頼を取り戻そうとしてるというよりは逆に、信用しなくなった人々に背を向けている。自分にはとても正気の沙汰とは思えません。政治家のあるべき姿には見えません。
57488	個人	自営業	40代	男性	一時的に原子力発電所を再稼動させた上での2030年ゼロシナリオが理想ではあるが、現状では再稼動すら容認しがたい。	まずはじめに原子力発電について今回の事故後、地震、津波対策等が強化される方向のようですが、事故が起こる要因はそれ以外にも無数にあり、すべてを想定するということは不可能であるということ。もし、すべて想定できるというのであればそれは「科学の傲慢」でしかないといわざるを得ないと思います。その上で事故が発生した時、その被害が「想定できなった」といって許容できるかどうが、原子力発電を継続するかどうかの分岐点であると思います。 そう考えれば、今回の事故を経験して私は「許容できない」という結論しかないと思っています。 とはいえ、震災前には発電量の約4分の1を原子力発電が担っており、そのシステムに立脚して経済が回っている以上、今回の事故を教訓に規制を強化し、事故のリスクを最小限に抑え、再生可能エネルギーの開発、普及状況を見ながら2030年までかけて原発をゼロもしくはそれができなくもゼロに近づけるべきというのが理想ではあると思います。 ただ、現状を考えた場合、新たな原子力規制組織の人事や、大飯原発再稼動の際の不十分に思える検討、各電力会社の今回の事故をまったく省みないような再稼動への積極的姿勢、等々、再稼動を容認するにはあまりにも不安の大きいことばかりです。 特に電力政策はこれ以上再稼動の動きが進めば、震災前以上に原子力発電を推進すべく働きかけを強めるのではないかとさえ疑わせるようなものです。 このような状況では私の意見としては「一時的に原子力発電所を再稼動させた上での2030年ゼロシナリオが理想ではあるが、現状では再稼動すら容認しがたい。」とさせていただきたいと思います。
57489	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所の全基停止、ならびに速やかな廃炉作業への移行	原子力発電は、技術としての体を成していません。 この発電方法は、ニュートン力学の枠外で起きている核分裂という事象をニュートン力学の枠内で管理しようとする時点で、すでに破綻していると言えます。火は燃え広がれば水をかけるというレベルのニュートン力学的対応で即座に解決することができますが、核分裂が暴走し核物質が拡散すれば、ニュートン的対応では対応できません(その極めつけは、ヘリコプターからの散水です)。そこに、気象条件や地形という人間にはどうすることも出来ない条件が加わり、半永久的に事故そのものを管理することを余儀なされます。 しばしば推進派の方々は原子力エネルギーの可能性を、火を手にした古代人のそれになぞらえますが、決定的に異なっているわけです。 原発が大量に新設された1960年代から1980年代は高度経済成長期と重なっています。これは、日本列島に甚大な被害をもたらすような巨大地震が起きなかった特殊な一時代と重なっています。それは本当に奇跡と呼べるくらいの確率です。 国家のエネルギー政策は、こうした確率論に委ねられたバクチ的手法で行われるべきではないと考えます。ゆえに、原子力発電所の全廃を要求します。
57490	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロのシナリオを選ぶしかないです。 ただし、2030年の時期設定では遅過ぎます。早急に原発ゼロとすべきです。	1.　原発ゼロのシナリオを選ぶしかないです。理由は、地震国日本において、原発事故を防ぐことは不可能であり、事故が起きたときの、放射能被ばく・汚染などの被害は途方もなく甚大であり、それも何世代にも被害が継承されるものであり、次世代も含めた人の命を第一とするという倫理に反するからです。 2.　ただし、2030年の時期設定では遅過ぎます。早急に原発ゼロとすべきです。理由は1.で述べたとおりです。
57491	個人	家事専業	50代	女性	原発はコントロールできない。多くの原発が止まっている今、政・官の出す数字はごまかし臭いだとわかった。大きな過ちを犯した日本人の切り開くエネルギー科学に希望を持っている。 原発0パーセントは可能。	現在は残念ながら一部の原発が稼動している。しかし、それが無くても電力は賄えるのではないかとの情報がある。省エネルギーの進歩、蓄電池の開発、再生可能エネルギーの進歩、普及で原発0パーセントは可能だと確信している。 問題は原発の廃炉と放射性廃棄物処理。その莫大なコストと、電力会社、原発マネーを死守する人たちをどうするかだ。 電力・原子力政策は農業政策と同じような失敗を犯しているように思える。法律や金で電力会社を保護し、その金に群がる政・官・財・学が、電力科学の自由な発展を妨げてきた。 事故がおきて初めて、原発約40年の歴史が無駄に過ぎてきたように感じ、唖然とした。 電力の独占状態も、余計な金がばら撒かれる仕組みも解消しないと同じ過ちを繰り返す事にると思う。 原発はコントロールできないことがわかった。将来に恐怖の負の遺産を残すことも事実だ。 発電コストがどのくらいになるかもわからない。 数字のごまかしや臭い、情報隠しはもうやめてほしい。 電力の独占状態を解消し、送電部門を完全分離、危険な原発を所有する電力会社から破産処理し、資金が少しでも再生可能エネルギーに、また、廃炉費用にも廻るようにして、国民負担を少しでも軽くし、安心して住める国土にして欲しい。
57492	個人	会社員・公務員	20代	男性	1ゼロシナリオを選びます	育った町が放射能で汚されました こんな気持ちになる人がまた出るのは嫌だ 原発はいらない 2030年には全部廃炉に
57493	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ を前提として電力自由化や発送電分離を進める。	提案されているシナリオは十分なものではないが、選ぶのであれば「ゼロシナリオ」を実現するための検討や政策をとるべきである。 まず、原発は、最終的にゼロにしてゆくことを前提とするべき。 現在の福島第一レベルの被害と産業界の要請の両方のリスク評価に対する考えが国民の考えと乖離している。十分なリスク評価と安全確認がなされないままに産業界の要請で休止した原発の再稼動が行われているように感じている。まずはこの乖離を無くすために、それぞれのリスクをどのように評価したのか、また再稼動するための安全性の基準を明らかにして、国民に問うべきである。 温暖化対策（温室効果ガスの排出量規制）に関しては、日本は他国に対して不利な状況になっているのが現状であり、京都議定書の継続は見直すべき。少なくとも排出枠等で不利な状況に追い込まれる状況は回避する戦略をとる必要がある。 ゼロシナリオ実現には電力自由化、発送電分離の推進は必須であり電力の独占体制を維持することは見直すべき。同時に再生エネルギー関連技術の開発支援や同関連産業の育成を国策として実施するべき。また電徴消費の少ない産業に国全体をシフトしてゆく戦略をとるべき。 部分的な戦略ではなく広域なグランドプランを示して国民を納得させて下さい。
57494	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	原子力発電という方法をコントロールできておらず。 動かしたいが為の虚偽の報告をしたりと疑問点も多い。 これまで隠せていたことが表に出てきたり、 このやり方で押し通す方が無理なのではないかと思う。 新しい方向へ進んでほしいし、思い切ってゼロを目指す社会であってほしい。
57495	個人	その他	40代	女性	原発依存ゼロの新しいエネルギー政策と一刻も早い日本国内の全原発の廃炉を希望します。	今回の福島第一原発の事故によって、自宅の庭の土壌は1キログラム あたり500ベクレル以上のセシウムに汚染されました。日々、外部被曝と内部被曝を考える毎日です。私事ですが、我が家は昨年の35%減の電力使用量で現在生活しています。危険な原発に依存するくらいなら、エネルギーの節減に心がけて暮らしたいと思っています。 原発に依存しない新しいエネルギー政策と国内の全原発の廃炉を希望します。
57496	個人	その他	40代	女性	原発依存即時0%にするべき。	人類と核は共存できない。
57497	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の再稼動に反対します。今後は原発に依存しない、100%自然エネルギーによる電力の供給を目指してほしいです。	野田総理大臣は、原発の再稼働に際して「国民の生活を守るのが第一」だとおっしゃってましたが、3.11の原発事故により、住んでいた場所を追われた福島の人たちも「国民」です。その人たちの生活を奪ってしまったことを考慮しないのであれば、そもそも「国民の生活を守る」ということの意味が成り立ちません。ナンセンスだと思います。それに総理大臣の「全責任」なんて、辞職すればそれまでですから、何も期待できないし、期待している国民は殆どいないと思います。 稼働すれば処理できない有害なゴミを出し続け、それは何千年、何万年も先まで残ります。そんな前時代的な有害な電力は要りません。 時間がかかっても、多少の不便をこうむっても、100%再生エネルギーによる電力の供給を希望します。
57498	個人	会社員・公務員	40代	男性	廃棄物管理にコストがかかりすぎるため、これ以上の原子炉運転は電気料金の上乗せにつながる。安全低コストな処理技術、代替エネルギー技術の開発に注力し、原子力発電は中止すべき	現行の原子力発電は概ね1970年代までの技術を基本としており、廃棄物の処理コストを先送りしている。しかし、いまだ安全で低コストな放射性廃棄物処理法は開発されておらず、現行のコストでは将来の電気料金は膨大なものになってしまう。この問題が解決を見るまで、廃棄物を増大させるこれ以上の原子炉新設、運転継続は無謀としか言えない。現行で廃炉にせざるを得ない事故炉、老朽化した炉の廃棄を通して安全で低コストな放射性廃棄物処理法の開発に努め、その解決策が得られない限りは原子力発電を中止し、代替エネルギー及び省エネルギーの開発に注力すべきである。 原子力発電への依存は速やかに0%とし、そのもとでの産業開発に務めることが国際競争力を高めると考えることにつながると考える。

57499	個人	自営業	50代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢は、原発ゼロを選択すべきです。何故なら、原発発電は30円／kwhと高価であり、原発事故の被害・経済的損失は甚大で、メリットが全く無いからです。	1. 筆者の資格 ・第2種放射線取扱主任者免許 ・第1種放射線取扱主任者試験合格 2. 結論 エネルギー・環境に関する選択肢は、原発ゼロを選択すべきです。 3. 根拠 (1)コスト 原発の発電コストは、火力(9円／kwh)よりも安いと言われていますが、それは核燃料の費用だけを計算したものに過ぎません。原発に於いて、最もコストがかかるのは、核廃棄物処分費用であり、これを計算に入れると、東京電力の場合は、約30円／kwhとなります。この水準は、世界一高価な電力料金と言えます。(この計算は、東京電力が発行している発電実績とコスト明細から計算可能です。東京電力が支払っている核廃棄物処分費用は、年間2兆円に及びます。) 一方、アメリカでは、風力発電に於いて、3円／kwhが実現しています。 更に、日本における太陽光発電のコストは、家庭用の実売価格で、10年間(保証期間)の発電コストが25円／kwhを下回っています。30年間使用できた場合は、9円／kwhとなり、火力に匹敵します。 電力会社の最大発電能力は、夏場のエアコン使用による瞬間電力を想定したものであり、過剰投資と言えます。太陽光発電パネルは、電力が最も使用される夏場に最も発電し、エアコンへの電力供給源となるものであり、ピークカットを実現します。 (2)電気のエネルギー比率 電気は、果たして"最も重要なエネルギー源"でしょうか？ 日本で消費される全エネルギーのほとんどは、鉄鋼生産及び運輸に使用されるものが大部分で、電気エネルギーが占める割合は、たったの12%に過ぎません。更に、電気の中で原発が占める割合は35%(福島事故前)ですので、原発が占めるエネルギーは、全エネルギーの僅か、4%に過ぎないのです。 この僅か、4%の為に国家経済を破綻させる危険性を持つ原発を稼働させる事は、愚行と言う他ないでしょう。ちなみに、まともな日本の大企業の工場では、電気は自家発電によってまかなわれています。 (3)核廃棄物 1970年代頃までは、核物理学が未成熟で、核廃棄物の無害化ができるかも知れない、という幻想がありました。しかし、1980年代以降の加速器実験によって、核物理学のほとんど全てが解明された結果、核廃棄物は原理的に無害化できない、という結論に達しました。核廃棄物の処理ができない事は、物理学的に証明されているのです。現在、核廃棄物の処理費用として電力会社から年間数兆円もの費用が徴収されていますが、何兆円かけても核廃棄物の無害化処理は不可能です。この物理学的不可能に挑戦する限り、電気料金は限りなく高くなって行きます。 (4)原発が及ぼす被害・経済的損失 原発事故が産業(農業・工業)に対して深刻なダメージを与えた事は、福島原発事故で証明されました。 元の状態への現状回復(年間被曝線量1ミリシーベルト以下)を行うには、土地の新規造成費用と同額が必要です。福島県全ての宅地・山林の除染コストは、数十兆円に上るでしょう。 日本の国家予算は、年間約80兆円です。たった1基の原発事故で、国家が傾きます。たかが電気を作るのに、国家を破綻させる危険を冒す必要はありません。 (5)技術的な価値 原発の技術は必要だ、という方が居ますが、それは、原子力を知らない方の妄想です。原子力発電の技術力向上は、試験用原子炉で全てが開発されたもので、実用炉は必要ありません。 原発の熱交換部分は、単なる蒸気機関に過ぎません。はっきり申し上げて、原発に技術的な価値はありません。 (6)管理能力 原発は事故を絶対に起こさない、政府及び電力会社は、原発推進を進めて来ました。原発推進派の科学者は、彗星が地球に衝突するよりも確率は低い、と主張していました。しかし、原発事故は起きました。 この事は、政府及び東京電力に原発を管理する能力が無い事を示しています。 (7)事故対応 政府及び東京電力の原発事故対応は、幼稚園児以下と言っても過言ではないものでした。これを見ても、政府及び東京電力に管理能力が無い事を示しています。 (8)死者 放射能による死者は確認できていませんが、特養老人介護施設からの強制避難によって、患者さん数十名が亡くなっています。 更に、地震と津波で被災された重軽症者が原発事故による避難によって、現地に取り残され、3000名以上の遺体が確認されています。この中の何割かが、原発事故が無ければ救命されていた人達です。原発事故は、多くの人命を奪ったのです。 以上、8項目の根拠(コスト・管理能力)を総合すれば、原発には何のメリットもありません。従って、エナルギー・環境に対する選択肢は、原発ゼロを選択します。
57500	個人	会社員・公務員	20代	女性	原子力発電方式による発電は技術的に可能な限りの早い速度で、ゼロを目指してください。	東日本大震災を受けて明確になったのは、衣食住や生命を脅かされる危険性のあるものを地方に押し付けて、大都市圏が成長してきたという歪な構造です。 放射線による健康被害は、いま、方向性を議論する世代には影響なくても、これから子供を産んで育てる私たちの世代にはとても深刻な問題です。 自然エネルギーや電力会社を選べる社会にするにはまだコストがかかりますが、放射線による被害と比較してはいけないと思います。 放射線の被害を受けないために、原発を減らすのであれば国民も協力します。
57501	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	原発0でも電気は足りる。 原発はコストが高い この時代、原子力はナンセンス。意味が無い。 もっと高効率の発電がある。 家庭内発電を推進すべき。 自立型蓄電池併用停電時稼働エコファーム等
57502	個人	学生	10代以下	男性	「原発ゼロシナリオ」で、即時、少なくとも数年以内に原発依存度を0%にすることを希望します。	地震大国と呼ばれる日本では原子力発電所を稼働させることは危険すぎます。福島第一原発のような事故が二度と起きないという事が言い切れない限り原子力発電所は稼働させるべきではありません。電力不足が懸念されますが、多少負担があっても原子力発電所は無くなるべきだと考えます。そのため、再生可能エネルギーへのエネルギーシフトの推進も同時に希望します。また、核燃料再処理に関しても廃止を希望します。
57503	個人	その他	30代	女性	既に手遅れなのかも知れないがこれ以上核のゴミを狭い地震国の中で安全に保管できるのか。私達の子孫の為に原発ゼロ以外あり得ない。	温暖化のことを考えると原発ゼロにした時に人類の余命はどの位なのかはわかりません。もしかしたら原発温存の方が余命は長いかもしれないと思ったりもします。でも核を持ってしまったのだからどちらを選択しても核の不安は続くわけです。初めて日本の原発が作られることが決定した時、一体国民全体でどのくらい議論されたのだろうか。今のように情報が容易に得られなかっただろうし安全神話を鵜呑みしたとしても世界で唯一二度も原爆を落とされ被爆して当時苦しんでいる人々が今より多かったはずなのによく受け入れることができたと思う。54基も。その信じられない決断のお陰で私達はとても便利な生活ができていたのだということを悲しく重く受け止めています。核実験、核戦争は反対で原発はOKなんておかしい、核の制御は人間の思い上がりエゴでしかないことを3.11の出来事ははっきりと知らしめてくれました。ここでまた原発依存の方向に進むことは考えられないことです。日本の電力に関わる組織の問題も大きくて根本からの大改造がない限り同じ過ちは起こると思っています。日本は自然エネルギーに関してももっと力を注ぐべきだと思うし原発で得たものより失ったものの方がいかに大きかったかを再認識すべきだと思います。失った尊い人命、豊かな海、故郷、自然の恵み、これから20年もっとかも知れないずっと続く健康への不安、さらに海の汚染はこれからの状況によってはもっと危険にさらされるのではと案じています。 地震国ならではの地熱等、温泉協会等の反対のためかほとんど目が向けられていないし水力や風力の再生エネルギーの試みも不十分だと思う。原発がなくなることで安定した電力の供給はほど遠いと思うが私達は不便を受け止めなくてはと思います。ニュージーランドに一年滞在して地熱発電所も観光地の中に見かけました。地盤沈下もあったそうですが国民は受け入れています。国の指導者がエネルギーのあり方をしっかり示しているからではないでしょうか。人口も少ないし環境も異なりますが曖昧な国の日本人として思ったことは、環境を守りながらもいつまでも同じ状況に甘んじない決意が今必要なのだということです。
57504	個人	家事専業	60代	女性	三つのシナリオからの選択ではゼロシナリオを選択します。福島原発事故は収束していません。事故原因がはっきりと究明されていないのに津波を防げれば大丈夫とばかりに原発を再稼働させ失望しています。	原子力発電は安価でエネルギー安全保証もすぐれるという前提自体が間違いだったということをより明確に踏まえるべきです。未だ人類は核のゴミを安全に処理、保管できずにいる現状を真摯に受け止めて下さい。チェルノブイリやスリーマイルの事故を教訓としない政府、原子力関係者、電力会社が長年君臨していたことは国民にとって不幸なことでした。長崎、広島そして昨年、福島の惨状を身を持って経験してもなお新しい原発を進めようとする動きがあります。狂気の沙汰としか言いようがありません。それは大間原発です。世界で初めてプルトニウム(ウランの20万倍の毒性がありしかも半減期が2万4000年)とウランの混合酸化物(MOX)を実験炉の検証もなく全炉で使う、つまり巨大で危険な実験を商業炉でやるも同然と言うことを知りました。大間原発は30%程しか出来ていません。まだ間に合います。止めて下さい. 今原発を減らしていこうとしているのです。ましてや新たな原発を作るという愚の骨頂は絶対してはいけないことです。国民の命を守るのが最大の政府の役割ではありませんか。首相も政治生命をかけて国民の命、人類の命を守って下さい。
57505	個人	その他	40代	男性	原発0%シナリオを希望します。廃棄物を一万年以上管理することなど、これまでの人類の歴史から考えて不可能であり、これ以上核廃棄物を出さないことが必須だからです。	原発の0%シナリオを指示します。理由は以下の4つです。 (1) 地震の多い日本において、原発を安全に運用していくのは不可能であり、一度事故を起こすと回復不能な経済的損失だけではなく、国民の中に様々なストレスや対立を生み出します。このようなものは短期的な利益のために使うべきではありません。 (2) 事故後明らかになったように、日本の原発運用体制には大きな問題がありました。最も大きなものは情報が国民に即時に提示されない、隠蔽されるということです。これは、原理的に安全運用が不可能な日本において、運用のために安全であることを強弁するために必然的に生じた体質であり、3.11後も全く改善されていません。 (3) 核廃棄物の問題が全く解決されていません。安定地盤のない日本では地層処理は不可能であり、現在の運用は、将来への借金を積上げながら、現在の利益を得ているという状態です。ウランの資源寿命は70年と言われており、原発によって利益を全く得ることがない子孫、管理コストだけがかかり続けるという大きな負債を残すことです。 (4) 原発はウランの採掘から運用までに大くの被曝労働を必要とするシステムであり、他に行き場のない貧困層が、仕方なく原発で働かざるを得ないという差別的構造を前提としたシステムです。今回のような事故があった場合、さらに多くの人々が健康被害ギリギリのところまでの被曝労働を強いられることになります。このような状態は看過できません。
57506	個人	無職	40代	女性	無知ですが、原発がなくても電気が足りてる状況じゃないかと思っています。	東電の原発は止まっている状態だと思いますが、電気は足りているように思います。 また、新しいエネルギーとして、太陽光、風力が、いいかと思います。 循環型エネルギー。 循環型社会の時代なのではと。 これから未来の大人になる子供たちのためにも、安全、安心な社会を望みます。
57507	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はすみやかにゼロに。原発依存0%。完全廃炉。	福島のように、原発は万が一の時に人間が制御できないから。もし、原発が危険でないなら、何故都市部に作らなかった？ このことが、やはり原発が危険であると言っていること。危険なものはすみやかにゼロするべき。
57508	個人	会社員・公務員	60代	女性	3案の中では原発ゼロシナリオを支持するが、なるべく早くゼロとすることを求める。ゼロ以外のシナリオで安全なものはない。再稼働を見合わせ、既に稼働したものは再停止し、最終的にすべて廃炉とすること。	意見 ・この3案の中では2030年までに原発ゼロシナリオを支持します。 ・しかし、2030年といわずできるだけ早い時期に原発ゼロとすることを求めます。3案以外で、できるだけ早く廃止する案を提案します。 ・安全が確保できない原発は存在するべきではないので、再稼働はせず、大飯原発は再停止し、すべての原発は廃炉作業に取りかかってください。 理由 ・古川大臣はNHKの討論で、この3パターンは単に議論のきっかけとして提示しただけで、今後専門家会議などで他の案が出てきて議論の末他の結論になるかもしれない、というようなことを発言していました。ではなぜ3択で選ばせてこんな議論をさせて視聴者アンケートまでとるのかというと、国民みんなに考えてもらうためだそうです。それなら今まで隠してきた情報を全部開示し、国民的議論を起こし、国民投票をするべきです。ただし、国民的議論の果てに国民の声を押し切って政府が原発をどんどん稼働させ推進してしまうことだけはやめてください。国民投票をしてその結果を尊重するべきです。 ・原発ゼロ以外のシナリオでは日本の安全は確保できません。地震国日本ではいつまた福島第1原発と同じ事故が起きるかわかりません。再度起きれば、特に西日本で事故が起きれば、日本国内に安全に暮らせる場所はなくなります。 ・原発を廃止すると産業が衰退するという説は根拠が曖昧です。ゼロ以外のシナリオの支持者はこぞって電力不足、値上げ、産業衰退を言いますが、この暑さの中、我慢しながらでも何とか持ちこたえていることを考えると、不足はカバーできそうです。また今回の電力値上げは原発事故によるものという認識を持っています。代替エネルギーにすることで原発事故ほどのコスト高騰があるとは考えられません。また、原発関連産業をそのまま代替エネルギー関連産業に振り替えれば、新たな産業振興になります。 ・原発のない社会は非現実的という説がありますが、代替エネルギーの確保、原発関連産業の従事者の転職の手配、廃炉技術の確立、核廃棄物処理方法の確立を粛々と進め、再稼働見合わせ、再稼働したものは再停止、建設中のものは計画中止とすることは極めて現実的です。 以上
57509	個人	無職	20代	女性	原発依存0%社会に向けてなるべく早くの代替エネルギー開発を促進すること。	将来の日本国を担う若い世代の方々のために、故郷を放射能だらけにされた福島のために、もう二度と同じ過ちを繰り返さないこと。
57510	個人	自営業	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。	2030年までに原発ゼロではなく、即時原発ゼロを希望します。 ただ今回のシナリオには、再生可能エネルギーの導入が低く疑問も感じます。 経済発展の為に原発が必要という考え方は間違っていたと思います。 そして今、国民はそこまで経済発展に希望を見出していません。 経済優先で過剰に働かされてきた今、国民の心は病み、自殺者は増え、 逆効果になっているのではないのでしょうか？ 健康でなければ働くこともできません。 福島で原発事故から何も学ばず、また同じ事を繰り返しているのでは、 経済の発展も何もないのではないのでしょうか？ 世界からみてもはずかしい日本だと思います。 原発を稼働しているかぎり生み出される核のゴミ、この問題も解決していないまま、 原発を稼働し続ける事にも大きな問題があります。 「原発ゼロシナリオ」ただし即時ゼロという、政府の英断を心から期待しています。
57511	個人	学生	20代	女性	原発ゼロシナリオに賛成。電力の自由化、その為に従来の東電等の電力会社が独占していた送電網を各電力界者に解放することを政治、法的実行力で一刻も早く牽引するべきです。	福島第一原発事故によるあらゆる領域、産業、国民の生活が受けた取り返しがつかない甚大な被害に対して、原発ゼロシナリオは日本が今後原発ゼロを目指すために国が示すべき唯一のエネルギー政策であると思います。 唯一の被爆国として日本は非核三原則を示してはいるものの、原発利用を続け、米国の核兵器の傘下に留まり続けるのではその原則が意味をなすことはないと感じている。
57512	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	千葉県に住んでいるが、三月十五日から数日後めまいがひどくて会社を休むハメになった。鼻血も出た。被爆の影響とは言い切れないかもしれないが、福島の原発事故は他人事ではない。 代替エネルギーへの転換、研究を促進し、脱原発を目指すべきである。
57513	個人	会社員・公務員	30代	男性	数十年単位で保管が必要な廃棄施設や、周知すべき危険性のある内容を伝えず原子力施設を運営するのは今後なくして頂きたい。完全な第三者期間による監視を行っていただきたい。	数十年単位で保管が必要な廃棄施設や、周知すべき危険性のある内容を伝えず原子力施設を運営するのは今後なくして頂きたい。 完全な第三者期間による監視を行っていただき、設置拠点で安全性に疑問の残る施設は全て即刻廃止頂きたい。

57514	個人	会社員・公務員	30代	男性	私は、0%を強く支持します。	私には、幼い二人の子供と妻がいます。 処分不可能な危険なものを、彼らにも彼らの子供達にも決して残せません。その為なら、どんな省エネに耐えます。 美しい地球を子孫に繋ぎたく、0%を強く支持します。
57515	個人	自営業	30代	男性	原発は0%の比率でお願いします。	あとの世代にできるだけ負担をかけさせないということで核廃棄物を増やさない。そのためには原発は必要ないということです。日本には原発以外の電力エネルギーを生み出す世界トップレベルの技術力があります。それに日本の将来の可能性をかけたいです。
57516	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	私の住む那須塩原市は福島第一原発事故により、ホットスポットとなりました。 農畜産物は出荷制限をうけ、山菜に川魚など自然の恵みを楽しむこともできなくなりました。自分の親が「放射能で出荷できないタケノコをもらったの、子供達には食べさせられないけど、私たちはもう齢だから」と確実に放射性物質が含まれている山菜を口にしている、それが現実です。ただちに原発を停止していただきたい。
57517	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年に原発ゼロでは無く、即刻ゼロでお願いします。 もんじゅも即刻廃炉でお願いします。	ディーゼル車規制の様に国が導けば日本の技術力で代替エネルギーの確立が早まります。
57518	個人	会社員・公務員	30代	女性	徐々に原発廃止を希望します	山口県は上関の問題を抱えています。 産業、雇用から山口県全体は過疎高齢化が進んでいますし、上関の原発は雇用を生み出すかもしれない。 けれども、とてもきれいな島で、それを埋め立ててまで危険な物を作り上げるのはイヤです。 ただ、実際は島根県から電力を供給していることを知り、おかげで生活ができていることに感謝しています。 原発は反対で、徐々にクリーンエネルギーに変換して、ゼロの日本になればいいなと思います。 各建物にソーラーパネル取付義務だとか、水力発電だとか、自然を活用する方法は、日本の技術や知識で成し遂げれるのでは…と思います。 隣の広島には、学生時代に平和学習で何度も足を運びました。 非核三原則を習い、その後原発を知って、アメリカ軍の原子力潜水艦を知って、「なんなん、持ち込んでるんじゃん」って不快に思ったことを覚えてます。 平和利用とはいえ、中学高校生にはそれが、理解できませんでした。 方向性に一貫性があると、いいと思ってます。
57519	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の再稼働に反対します。今後は原発に依存しない、100%自然エネルギーによる電力の供給を目指してほしいです。	野田総理大臣は、原発の再稼働に際して「国民の生活を守るのが第一」だとおっしゃってましたが、3.11の原発事故により、住んでいた場所を追われた福島の人たちも「国民」です。その人たちの生活を奪ってしまったことを考慮しないのであれば、そもそも「国民の生活を守る」ということの意味が成り立ちません。ナンセンスだと思います。それに総理大臣の「全責任」なんて、辞職すればそれまでですから、何も期待できないし、期待している国民は殆どいないと思います。 稼働すれば処理できない有害なゴミを出し続け、それは何千年、何万年も先まで残ります。そんな前時代的な有害な電力は要りません。 時間がかかっても、多少の不便をこうむっても、100%再生エネルギーによる電力の供給を希望します。
57520	個人	会社員・公務員	30代	女性	私は提示された3つのシナリオのうち、 ゼロシナリオを支持します。	私の実家近くには、浜岡原発があります。 東海地震が近いうちに高い確率で起こると 言われている地域にある浜岡原発について、 以前から危険性を感じていました。 よって、昨年の福島での原発事故は、 他人事ではありませんでした。 もし東海地方で地震が起こっていたのなら、 私や私の家族が、同じ状況になっていたはずです。 福島では、今も多くの人が家に帰れずにいます。 代替エネルギーの主軸を担う火力発電で使用する 化石燃料は地球資源であり限りがあること、 またCO2排出により温暖化との関連があることなど 原子力の代わりにはなり得ないものだと思います。 自然エネルギーを使用した発電も研究は進んでいますが、 これといった決め手となる代替エネルギー案はなく、 難しい問題は山積しています。 また、私たちの生活は、今や電気なくしては 成立しないことも事実です。 節電、省エネといっても限度があります。 しかし原発は、事故による危険性だけではなく、 使用済み核燃料の問題もあります。 利便性と引き換えに、生活そのものが奪われる危険性があり、 核廃棄物という今後もずっと残るようなゴミを排出し 後世に迷惑をかけるようなエネルギーに、 この先もずっと頼っていくのはおかしいと思います。 私は福島の原発事故をきっかけに、 今後のエネルギーについて考えるようになりました。 専門的なことはわからないなりに、 調べたり新聞や雑誌の記事を読んだり、 とても意識が高まりました。 それまで疑問に思わなかったことでも、 命に関わることを無視することはできません。 まず大切なのは人の命、生活であるという 根本に立ち返って、困難であっても国民が意識を変えて みんなの問題として挑戦していくべきです。 以上の理由から、私はゼロシナリオを支持します。
57521	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年にには0%を望みます。	遅くとも2030年にには0%であってほしい。 そのためには、これから廃止も再稼働させてはならないと考えます。 先日大飯原発の2機が再稼働されましたが、関電がこの夏の電力需要を多く見積もりすぎていたという報道もありました。 電気が足りている現状で、必要以上に計画停電を煽るのは、テレビ報道や、電力会社の宣伝しか情報を得る手段がない人にとっては、脅迫に等しいと感じます。 もっと、適切に冷房を使うことを伝えなければ、人命にかかわります。 先日、福島在住の主婦の方からお話を聴く機会がありました。 その方の、「原発は健全なエネルギーといえるのだろうか？」という言葉が耳に残っています。 今までの日本の成長の仕方が、果たして正しかったのか？ 今こそ、立ち止まって考えるときだと思います。 そのこと抜きで、現状を維持するためのエネルギー政策はおかしい。 拙速な意見集約では、結局不信感を生むだけです。 また、原発は廃棄物の処理の仕方が、解決されていないのも大問題です。 単純に考えて、捨て方のわからないものを、どんどん生産するのは愚かなことです。 作業員の方の被曝なくしてはつくることのできないエネルギーなど、人間の尊厳をも無視したものです。 国民の望む日本の未来像を聴き、それを現実的なものにするのは専門家の仕事です。そこにこそ、日本の技術力を結集していただきたいです。
57522	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は即時廃止、あらゆる面でリスクが大きすぎる	今後のエネルギー政策は、事故発生時のリスクが大きい原子力発電は即時廃止し、その他多様な発電方法でエネルギー供給を進める。エネルギーの自由な市場ができるように行政府は不満の少ない土俵作りと行司役に徹する。
57523	個人	自営業	40代	女性	原発はできる限り早くゼロに	2030年まで待てません。すぐにでも全ての原発を停止してください。
57524	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発の再稼働に反対します。	東京電力福島第1原発事故による放射性物質の影響で、チョウの一種「ヤマトシジミ」に遺伝的な異常が出たとする調査結果を琉球大の大瀬丈二准教授（分子生理学）らの研究チームがまとめ、10日までに英科学誌電子版に発表されました。 http://www.47news.jp/47topics/e/233375.php 国内企業が原価アップで何千億と赤字を出している所が何社も出ていることもよくわかっています。 でもこのニュースを見て、こんな影響を及ぼすものと、このまま共存は出来ません。 原発が停止し様々な産業に影響を与えた果てにどんな自殺者の数や失業者数が出るのか予想もしていません。 それでもあれだけの住めない土地、起こりうる存在の事故、確認されない安全を以って事故後もなお勤き続ける原発は、この地震大国で信用できない。 そして運営している方々が、尽く信用出来ない。 安全でない、任せられる人もいない。それならば、稼働を止めて、乗り越えなければならない未来を選びます。私は再稼働に反対します。国内原発の廃炉を、全廃炉を、政策決定してください。
57525	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	今の時点で、原発事故が起こってしまった現実、それを現時点で捌き切れない現実があるのだから、まず、止めるのが常識。その上で、これからどうするか、論じるのが常識。 勿論、悪意があって事故を起こしたのではないのはわかってる。でも、きっと原爆を落とした時、落とした側は「今後の未来の為にはこれが最適」なんて思って落としたはず。これじゃ、原爆と原発、全く同じ方向を向いてる。
57526	個人	自営業	60代	女性	原発ゼロシナリオに賛成します。	地震の多い日本ではいつでも東日本大震災のような原発事故につながる地震が起こる可能性があります。国は原発事故は起こらない、安全だと言っていましたが先の東日本大震災での福島の原発事故によって国が言っていたことが嘘だとわかりました。これ以上日本を汚すことのないよう原発はゼロにすべきだと思います。未来の子供達にきれいな危険のない日本を残すべきだと思います。
57527	個人	その他	50代	女性	原発ゼロのシナリオへのシフトを要請いたします。 これから生まれてくる子供たちの為に、 既にこの世に生を受け、これから大きく育たねばならぬ子供たちのために。	私は、CO2の削減こそが、社会全体が自然エネルギーにshift出来るかどうかの、キーワードだと思う。この削減＝地球温暖化阻止、を語らずしては何も語れないのです。なぜなら、原発ゼロにシフトするということは、温暖化を増長させるというように考えている方々が非常に多いのが現状だからです。 もし、自然エネルギー使用が増しても、100%になったとしても、CO2の削減及び阻止が可能であると分れば人々のそして、企業の自然エネルギーに対する見方ももっとやさしく、受け入れやすいものと変化することが大いに期待できるのです。そしてそれは、必ずや、太陽光発電や地熱発電、風力発電等の企業参加型、資本主義経済に恩恵を与えるものだからです。 停滞した日本経済に最も有効かつ安心なエネルギーへの移行は、日本がアジアの先進国および、ドイツなどのヨーロッパの環境先進国と肩を並べて未来をけん引してゆける最も有力な、経済の柱となるでしょう。WWF Japanがまとめられた、経済と自然エネルギーのシナリオを私は実践するべきだと思います。
57528	個人	学生	20代	男性	原発再稼働に反対します	原子力発電所の再稼働に反対致します。そしてできるだけ早く原子力発電所への依存をゼロにすることを希望します。 なぜ原発に依存しなければいけないのか、なぜ他の発電方法で賄うことができないのか、国民誰しもがわかる方法で説明していただきたいです。情報が不透明なうちに政策を進めるような形が政府のあるべき姿とは思えません。
57529	個人	会社員・公務員	40代	男性	十分な検証のないままの再稼働に反対します。	基盤技術であるからこそ、失敗に対するきちんとした検証が、必要ではないでしょうか。不慮の事態も含め、安全判断の根拠を明らかにしましょう。
57530	法人・団体等	法人等	40代	法人等	原発ゼロ！ です 即刻廃炉！	危険で時代遅れの原発、危険でコスト高の原発は不要。 こんなバカな発電を国策ですすめるとは、日本政府も堕ちたものだ。
57531	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は廃止して欲しい。	一度事故が起こると、取り返しがつかなくなることがはっきりしたのに、なぜ原発を前向きに稼動し続けているのかが理解できません。まずは原発を止めてください。自然科学エネルギーを活用することを真剣に考えてください。
57532	個人	無職	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	原子力や危険な放射能を制御できるとは到底考えられません。エネルギー政策を根本的に転換すべきと考えます。
57533	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオで 原発0%即停止を求めます。	娘夫婦が原発事故で辛い思いをしています。原発事故で原発がいかに危険かしりました。 青森にはそれ以上に危険な六ヶ所もあります。 国民全部に分かるように知らせて 国民投票にしてはいかがでしょうか？
57534	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオがいいと思う	地震列島の日本において，原発に依存する生活がいかに危険かということを、東日本大震災で痛感したから 福島県民の心の叫びをきいてほしい
57535	個人	会社員・公務員	30代	男性	「「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	・原発を扱うのは危険だからです。 たとえ原発が優れた技術だとしても、現在の電力会社、政府、行政に扱う資　格はないと思います。 日本国だけでなく、近隣、海で繋がる他国をも危険に晒す責任をとれるとはとても思えません。 ・地熱、火力、風力、太陽光、または他の発電方法を考えるべきです。

57536	個人	会社員・公務員	30代	女性	私はゼロシナリオ支持します。 福島の事故であれほど大きなリスクがあると分かって尚続けることは望みません。未来の子どもの為にも、止める決断をするのは今しかないと思います。核燃料サイクルにも反対します。	原爆投下から67年、世界で唯一の被爆国である日本が原発事故で核の被害に遭っているのに原発を稼働し続けると決定したら、100年後の世界はそれをどう評価するか。今以外に、原発に依存しない方向へシフトするタイミングはありえません。この好機を逃してほしくありません。 今回の件で初めてパブリックコメントの存在を知りました。 これだけ大切な議論が一部の人にしか知られずに進められていた事が残念です。 もっとTVや新聞など、広く知らせて意見を募る努力をして、じっくり討論すべき問題だと思います。
57537	個人	自営業	50代	女性	原発は出来るだけ早く0に	どうして原発は0が良いのか。 1. ウランの採掘から始まって、原発作業に携わる人の被曝はつき物である。 そのような不道徳なことを許してはいけない。 2. 環境に悪い影響を与える。（温排水、放射性物質） （環境は人間や他の生き物が生きて行く基本です。） 3. 廃棄物の処理の問題がクリアできていない。 （残念ながら、出来るようになるとは考えられない！） 4. 普段から廃棄物が沢山出る。使い捨てで物を消耗している。 それは環境に対しても、経済的にも良いことではない。 5. 経済的に、効率が悪すぎる。 今だけを見れば原発を止めるのはお金が無駄になるということだろうが もしまた事故があれば、そのときは国の終わりになる。 6. 人間の制御できないものを持つべきではない。 福島の事故も収束できないうちに、 安全をしっかり確かめないで大飯原発の再稼動をするような政府では、 よけいに、そういう物を持つべきではない。危なすぎる。 どうしたら0に出来るか 1. 省エネの徹底。新しいエネルギーの開発。 2. 新しいエネルギーや、原発廃炉のための産業を興す。 もちろん、安全に充分気をつけて。 先日、金曜日に一度提出したのですが、慌ててしまい不備だったと思います。 どうしても再稼動が必要なら、そのための手続きというものがあるでしょう。 原発は必ず0にするが今はどうしてもというときは、安全を、これまでのようなごまかし無く、きっちり審査した上で行ってもらいたいです。 しかし、これまでの様子をみていると、原発の再稼動は不必要、かつ、危険で、許されることではないでしょう。
57538	個人	会社員・公務員	40代	女性	1.原発0%	地震大国の我国が、原発を稼働し続ける事は自殺行為です。自然災害は人間の人知を超える場合も多く、 原発事故は『想定外』の言い訳を許さない非常に深刻な 被害をもたらし、人々の生活のみならず、全ての地球環境に甚大な被害をもたらします。また、人間は使用後の核廃棄物を処理する方法を知りません。 我国は即座に全原発の廃炉作業に入らねばなりません。 日本に『次』はないのです。次の事故がもし起きたら、日本は破滅です。
57539	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発は、存在する限り未来永劫生物の命を侵しつづける。 遅過ぎるとはいえ、全部廃炉にしなければならない。存続を肯定する訳にはいかない。
57540	個人	自営業	50代	男性	代替エネルギー(メタンハイドレート、オーランチオキトリウム、燃料芋、ミドリムシオイル)の開発促進。開発法人への減免税と開発費補助を大胆に行うこと。	進めるにしても廃炉するにしても膨大なコストがかかる原発は超大重厚に過ぎて止めたくても止められない泥沼に陥っている。同じリスクとコストをかけるなら早めに手を引いて将来性のある資源にシフトするべき。 使用済み燃料の貯蔵はあと6年で満杯になるそうだが、満杯になった後をどうするのか？その辺のコスト計算、しているのか否か。先送りしておいて安い安いはもう通用しない。
57541	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電エネルギー.環境に関する意見	放射能を未だに垂れ流してる現状を無視し 原子力発電を再稼働しなければ電気が足りないとウソを未だに刷り込もうとしてる方々に呆れ果てます。 原子力発電所を今すぐ停止し、廃炉作業を始めなさい。 自然エネルギーにシフトチェンジする時です。 原子力は人間の扱えるものじゃありません。もはや安全神話は崩壊しました、危険なものにいつまでも頼る気はありません。 お金より命です。余命短い政治家のじじいの為に未来ある子供たちに汚い未来しか残せないのですか 考えてください
57542	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原子力発電という破綻したシステムを停止し、発電方法や選択の多様化により国力を高める事を希望します。	2030年までの原発依存度を、出来るだけ早くゼロ%にする事を望みます。 原子力発電による放射性廃棄物の処分について、現在も方法が確立されていないという事は、この発電方法はシステムとして破綻しているということです。 また、311のような巨大地震が発生した場合、老朽化した発電所だけでなく、廃棄物の中間貯蔵施設が破損し、再び放射能汚染が広がる恐れが無いとはいえません。 今後国には、より安全な原子炉の解体と、廃棄物処分方法の開発を進めて頂き、様々な発電方法や選択の多様化を認めて欲しいと思います。 一方的に与えられたエネルギーを受け取るのではなく、たくさんの発電・送電会社があり、企業や個人が毎年のように電力会社を取捨選択するような状況になれば、健全な競争が生まれ、高度成長期とは違うかたちのエネルギー経済が発展するのではないかと思います。 また、このような自然災害の多い時代には、リスク分散の意味でも、エネルギーの多様化を進めていくことが、国力を高めることに繋がると思います。 そして、これらのスキルを商品として諸外国に販売していくことも出来るのではないかと思います。
57543	個人	その他	50代	男性	原子力発電による電力エネルギー供給政策からいち早く脱却し、代替エネルギーの開発に民間がより参入しやすい環境、制度の整備を進めるべきです。	これまでのような原発に一部を依存するエネルギー政策は、転換することを望みます。転換の方康は脱原発です。てだきるだけ速やかに、原子力発電所の閉鎖と廃炉へ向けた指針を示すべきです。大飯原発3、4号機が再稼働しましたが、そのほかの電力会社は原発が稼働しなくても十分対応しています。原発に代わる新しい代替エネルギーを少しでも早く開発する方向性を内田氏、民間企業の英知と技術を投入できるような制度改革、環境整備を国は進めるべきです。原発事故による損失が、いかに大きいかは、国民は福島の事故によって、いやというほど思い知りましたし、事故のあと、相当に勉強をしているのです。
57544	個人	その他	30代	女性	既に手遅れなのかも知れないがこれ以上核のゴミを狭い地震国の中で安全に保管できるのか。私達の子孫の為に原発ゼロ以外あり得ない。	温暖化のことを考えると原発ゼロにした時に人類の余命はどの位なのかはわかりません。もしかしたら原発温存の方が余命は長いかもしれないと思ったりもします。でも核を持ってしまったのだからどちらを選択しても核の不安は続くわけです。初めて日本の原発が作られることが決定した時、一体国民全体でどのくらい議論されたのだろうか。今のように情報が容易に得られなかっただろうし安全神話を鵜呑みしたとしても世界で唯一二度も原爆を落とされ被爆して当時苦しんでいる人々が今より多かったはずなのによく受け入れることができたと思う。54基も。その信じられない決断のお陰で私達はとても便利な生活ができていたのだということを悲しく重く受け止めています。核実験、核戦争は反対で原発はOKなんておかしい、核の制御は人間の思い上がりエゴでしかないことを3.11の出来事ははっきりと知らしめてくれました。ここでまた原発依存の方向に進むことは考えられないことです。日本の電力に関わる組織の問題も大きくて根本からの大改造がない限り同じ過ちは起こると思っています。日本は自然エネルギーに関してももっと力を注ぐべきだと思うし原発で得たものより失ったものの方がいかに大きかったかを再認識すべきだと思います。失った尊い人命、豊かな海、故郷、自然の恵み、これから20年もっとかも知れないずっと続く健康への不安、さらに海の汚染はこれからの状況によってはもっと危険にさらされるのではと案じています。 地震国ならではの地熱等、温泉協会等の反対のためかほとんど目が向けられていないし水力や風力の再生エネルギーの試みも不十分だと思う。原発がなくなることで安定した電力の供給はほど遠いと思うが私達は不便を受け止めなくてはと思います。ニュージーランドに一年滞在して地熱発電所も観光地の中に見かけました。地盤沈下もあったそうですが国民は受け入れています。国の指導者がエネルギーのあり方をしっかり示しているからではないでしょうか。人口も少ないし環境も異なりますが曖昧な国の日本人として思ったことは、環境を守りながらもいつまでも同じ状況に甘んじない決意が今必要なのだということです。
57545	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発、即刻ゼロ	核廃棄物の処理方法も決まっていないのに、これ以上、核のゴミを増やすべきではない。 これからは地熱やバイオマスなどのエネルギーの拡大に努めるべきと思う。
57546	個人	無職	70代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	・原発をコントロール出来ていない現状でゼロシナリオ以外に考えられない ・2030年といわず直ぐにでも原発をゼロにすること ・節電、自然エネルギーへのパーセンテージをもっと高くしてもよいのではないか？
57547	個人	自営業	30代	女性	原子力発電、絶対反対。	ヒロシマ、ナガサキで私たちは学んだはずです。 あれは人間に扱えるものではありません。 現に取り返せない世界史上最悪の事故が起きた。 エネルギーが足りないのなら、足りるようにそういう暮らしをすればいい。お金より命。小学生でも知っていること。政府は日本を壊したいのですか？国民を殺したいのですか？そうとしか思えません。この国をあいしています。殺さないでください。
57548	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の再稼働に反対します。今後は原発に依存しない、100%自然エネルギーによる電力の供給を目指してほしいです。	野田総理大臣は、原発の再稼働に際して「国民の生活を守るのが第一」だとおっしゃってましたが、3.11の原発事故により、住んでいた場所を追われた福島の人たちも「国民」です。その人たちの生活を奪ってしまったことを考慮しないのであれば、そもそも「国民の生活を守る」ということの意味が成り立ちません。ナンセンスだと思います。それに総理大臣の「全責任」なんて、辞職すればそれまでですから、何も期待できないし、期待している国民は殆どいないと思います。 稼働すれば処理できない有害なゴミを出し続け、それは何千年、何万年も先まで残ります。そんな前時代的な有害な電力は要りません。 時間がかかっても、多少の不便をこうむっても、100%再生エネルギーによる電力の供給を希望します。
57549	法人・団体等	その他	法人等	法人等	0%シナリオで。	0%シナリオで。 子どもたちを放射能汚染からまもり、原発から自然エネルギーへの転換を求める。
57550	個人	法人等	40代	女性	全原発即時廃炉希望します。 原発による発電は希望しません。	昨年3.11時中学生を持つ母です。情報がないなか2日後に山口に子どもだけ避難させました。春休み明け戻りましたが、その後も放射能の恐怖におびえた日々を東京にいながら過ごしました。 子どもを持つ母として、このようなことは二度と起こってほしくありません。よって即時原発による発電はやめてほしいです。
57551	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 国内の全原発の稼働を止め、全原発のを廃炉手続きを進め、原発の新設を認めません。 つまり、2030年を待たず、一刻も早い「原発のない日本」「原発ゼロの日本」「もんじゅや六ヶ所再処理工場の廃止」への舵取りを日本国政府に求めます。
57552	個人	無職	60代	男性	全原子力発電所は2030年を待たずに即時運転を停止し、廃炉計画を立て可及的速やかに実行するべきである。また、核燃料サイクル計画は白紙撤回し、六ケ所村再処理施設や高速増殖炉もんじゅも廃止・解体を進める。	地震・津波の多発国である我が国での核利用は、リスクとコストが掛かり過ぎ、経済的にも安全保障上も大変不経済である。 また、福島第一原発事故の調査報告でも指摘されたように、我が国の原子力政策および規制は、正常に機能しておらず、十分な安全指針も存在していないため、全ての核利用施設を即時に廃止するべきと考える。
57553	個人	学生	20代	男性	原発0シナリオを支持します。	3.11は人災です。 その主たる原因は原発です。 同じ事故を繰り返さないために、脱原発を目指すべきです。 直接に人命が関わる以上、それはあらゆる経済的要因に優ります。 代替エネルギーという選択肢があるのなら尚の事、です。
57554	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択します！	原発ゼロシナリオを選択します！ 未来の地球、子どもを守る自然エネルギーにシフトを?
57555	個人	家事専業	60代	女性	一時も早く、自然エネルギー変換政策を開始してください。	この狭い日本の中でどこで原発事故が起きても生きることは不安で困難です。 未来の人類、地球の為に、ゼロシナリオが欠かせません。
57556	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを指示しますが、原発即時廃止が希望です。いまや原発は非効率、不経済なシステムとなっています。このまま続けていくのはむしろ経済を圧迫することとなります。	ゼロシナリオを指示します。ですが、2030年まで待つことなく、即時廃止が希望です。 原発の廃止を求める第一の理由は、原発が生命を蝕むためです。原発は運用するだけで、作業員や近隣住民を被曝させます。大気中に、また除染に使用した水は海に排出されて海水中に、微量とはいえ放射性物質を放出します。 毎日毎日放出される放射性物質が、微量だからといって無視していいとは思えません。原発の立地エリアは発がん率が高いことや、原発で働いていた作業員のなかには、後年がんで苦しむ方が多いというレポートもあります。 タービンをまわすだけのためにわざわざ毒を製造する必要があるとは、とても思えません。 また、原発では核分裂によるエネルギーの30%しか使われず、残りの70%は捨てられます。捨てられたエネルギーは付近の海水を暖めます。 そして、もんじゅに代表されるように、原子力関連の研究には、国から膨大な予算が割かれ、原発の立地エリアには大金がばらまかれます。そうまでしないと維持できないような原発というシステムは、とても効率的・経済的なとは思えません。 さらに、私たちにはまだ廃炉の技術もありません。 使用済み燃料はすでに1万4千トンを超えていますが、これをどう処理するかも決まっていません。 少し未来を考えれば、原発は八方ふさがりであることがわかります。 今こそ直ちに原発というシステムを諦めるべきときと思います。 代替エネルギーとして再生可能エネルギーは十分でないと主張する方々がいますが、それは工夫次第と思います。現行の発電・送電の仕組みから脱却できなければ難しい話ですが、地域によるエネルギーの生産、すなわちエネルギーの地産地消費と省エネを第一義とした生活スタイルへの変更によって、無理なく移行できるというレポートはいくつも見ました。 それでも足りない部分は火力に頼ることになるかもしれませんが、今は技術も進んでおり、CO2の排出量も抑えられ、効率も向上しています。燃料費の増加については、買い取り価格の見直しが必要となるでしょう。 原発から再生可能エネルギーへのシフトする過渡期においては、どれだけ努力をしても値上げせざるを得なくなるかもしれません。その場合は値上げに応じることもやむを得ないことと考えます。ただし、それはあらゆる努力を必死で尽くした後での話ですが。 私は原発におびえるよりも、安心して暮らせる毎日を望みます。 原発を輸出するより、廃炉技術を輸出できるようにしてください。 ゼロシナリオを指示し、原発の即時廃止を心から望みます。

57557	個人	無職	30代	女性	3つの選択肢なら、原発ゼロシナリオを選択します。 原発ゼロは、そのシナリオしか提示されていないからです。	福島原発事故で、原発のインチキさが露骨になりました。 政府も東電も情報を隠蔽し、住民を守るという意識が薄く、今でもそれは変わっていないと思います。 大飯原発は「暫定的な安全基準」というインチキで再稼動してしまいました。 使用済み核燃料の処理の仕方も決まっておりません。 核燃料サイクル、再処理、高速増殖炉も稼動の目途が全くありません。 原発を続けると、膨大な放射性廃棄物が出続けます。これ以上増やすことに反対です。 放射能を消す技術も確保されていません。 問題は先送り、というインチキです。 これ以上、将来に付けを増やさないようにしていただきたいです。 原子力規制庁が発足しても、法律に「安全保障に資する」という文言が入れられてしまったため、このままですと情報隠しが今以上に進むでしょう。自主・民主・公開の原則は今でも守られていないからです。 原子力規制委員会の人事案もインチキです。いわゆる原子力村にとって、都合のいい人々を選ぼうとしています。 原発はインチキを伴って進められてきました。 もうインチキはやめていただきたいです。 原発をやめた方が経済的負担が重くなるとは思いません。 これまでの経済構造、エネルギーの発想を変えなければ、負担ばかり増えるかもしれませんが、変えればいいのです。 原発を続けた方が、コストは増え続けていくと思います。 3つのシナリオの前提が偏っておかしいのですが、15・20～25パーセントシナリオは論外なので、ゼロシナリオを選択します。 しかし、2030年という遠い将来ではなく、即刻廃止にするよう希望します。
57558	個人	会社員・公務員	20代	男性	「ゼロシナリオ」を指示します。	3つのシナリオを比較すると、経済への影響、電気料金価格への影響を検討しても大きな差異はないと考えられます。ここに原発事故のリスクや先の見通しにくい健康への影響などを加味すると、ゼロシナリオを進めるべきだと考えます。
57559	個人	無職	40代	男性	原発については、今後　0%　にすべきと考えます。 福島の事故により、安全神話が嘘だったことが露呈したためです。 また、運転・廃炉にともなう放射線廃棄物の処理方法が 確立されていないためです。	原発については、今後 0%　にすべきと考えます。 福島の事故により、原発は絶対安全という神話が嘘だったことです。 一部の人の利益を守るため（原発ムラの人々）に今後も今のままで よいわけがありません。 福島の電気が、東京で消費される。安全であれば東京に原発を作れば 送電コストも減り、地産地消になるはずです。 そうしなかったのは、原発が安全ではないと分かっているからだと思います また、原発事故が起きた場合、責任は電力会社・国（原子力を進めた）が とると、今回の事故が起きた際言っていましたが、責任を取れると言っても 結局は、国民の税金から除染費用・廃炉費用・被災者救済費用etcを 出すことになります。 事故を起こした当事者　電力会社・国　は責任を取りません。 当事者が、責任をとらずして原発は成り立つのでしょうか。 他の原発も同じように言えると思います。 運転・廃炉に伴う放射線廃棄物の処理方法が確立されていないことです。 建設当時は、廃炉までに科学の進歩で除染技術が確立されることを前提と して、見切り発車的に原発を進めてきましたが、廃炉（40年）になる原発 が出てきている現在においても、放射線廃棄物の処理方法は確立されて いません。半減期が何万年という放射線廃棄物を、人間の短いスパンの なかで、管理を続けることができるのでしょうか。
57560	個人	家事専業	30代	女性	2030年原発依存0パーセント希望。	再稼動なしでお願いします。誰も責任を取れない。放射能に勝てる人間はいない。医療も追いついていない。地震国に原発は不向き。
57561	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオ希望	核のゴミ問題、安全性、その他全てにおいて破綻しているシステムと考えます。 原子力発電は必要ありません。
57562	個人	無職	30代	男性	まともに処理出来ない放射性廃棄物を産み出す原発を動かすのはやめてください。消費増税しなければならない程国家財政がひっ迫しているなら実用化など不可能な高速増殖炉に無駄な血税を投入するのはやめて下さい。	現在、各地の原発内に貯蔵されている使用済核燃料の総量と再処理にかかる時間及び費用を、国民にわかりやすく説明できるのでしょうか？六ヶ所村の再処理工場が稼働出来ない今の状態で？そして、万一、六ヶ所再処理工場が過酷事故を起こしてしまった場合、どなたが責任を取るのですか？責任を取れる個人、法人が有るなら誰が、どんな責任を取るのか、明確に示して頂きたい。高速増殖炉もんじゅ計画が、いつ立案され、どのような変遷を経て、今後どのような計画でいつ実用化されるのかついまこの時点で国民にわかりやすく説明をする責任が政府にはあると思いますがどうでしょう。HPを観れたか、過去に説明しているとか、そんな言葉に逃げずに、子供から年配の方まで、全国民に向けて説明する義務はないのですか？原発で作られる電気が、他の発電方法より安いという事に反論している方は嘘をついているのかの？公開の場で、討論して下さい。現在まで行われた討論会や意見聴取会などは原発推進のためのアリバイ作りとしか考えられません。原子力規制庁？推進派と反対派がいて始めて冷静に判断できるんじゃないですか？
57563	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 国内の全原発の稼働を止め、全原発のを廃炉手続きを進め、原発の新設を認めません。 つまり、2030年を待たず、一刻も早い「原発のない日本」「原発ゼロの日本」「もんじゅや六ヶ所再処理工場の廃止」への舵取りを日本国政府に求めます。
57564	個人	無職	20代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
57565	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電即時停止。	日本の未来のため。
57566	個人	家事専業	40代	女性	将来的に、原発を100%廃炉にして欲しい。 天然ガスと、自然エネルギーに替えていってほしい。	CO2の削減。環境への配慮。 我が国は地震大国であり、原発を保有するには 危険すぎると思います。核廃棄物の問題も含めて、核分裂ではなく、核融合を実用化できるまでは、核を燃料とすべきではないのではないでしょうか。
57567	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択です。	そもそも選択の余地があるとは思えません。 日本は地震多発地帯にあり、一度事故が起こると被害は甚大でありそのリスクを負ってまで原発を動かす意味も無ければ利益もありません。また原発に関わる電力会社、政府、規制機関すべてが事故に対応する能力も意志もない。出続ける核廃棄物の処分方法も無ければ場所もない。原発を動かす前に福島完全な再生を果たしてください。 それが出来ないのであれば私は原発は諦めるべきと思います。 人が、生き物が住めなくなる様な政策はもう止めにしましょう。
57568	個人	法人等	40代	女性	即刻原発0にすべき	日本は再生可能エネルギーの技術が十分あり、可能と思われるため。
57569	個人	その他	40代	女性	「原発0%シナリオ」を選択します。一刻も早く全ての原発を止め廃炉にしたい。	日本は世界に誇る美しい自然と高度な文化を有する国です。日本に合ったエネルギー、日本の良さを活かせるやり方があるはず。福島第一原発事故が悲しくて仕方ありません。日本国内だけでなく海外にもとても迷惑をかけています。自然災害の大変多い国である日本での原発による発電方法では、生活を充実させるよりも何よりも毎日生きた心地がしません。こんな狭い島国に54基なんて旅行に行くことすら怖くなりました。安心して子どもを生み育てることもできません。廃炉までかかる年数を考えたら、技術者の人数や費用のことを考えたら、自然災害によるリスクを考えたら、猶予はないはずです。ぜひ！原発0で美しい日本を。
57570	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロの日本を希望し、そのために市民として出来る努力をするつもりです。一切の電力を原子力エネルギー以外のものにすぐ変換して欲しいです。	家族を、子どもを、子供の未来を護りたいからです。
57571	個人	無職	70代	女性	世界の核に関するあらゆる利用・開発・施設等の現状から見て、原子力の平和利用が絶対にあり得ないことは明白である。よって全ての原発は即刻廃炉にすべきである。	世界の核に関するあらゆる利用・開発・施設等の現状から見て、原子力の平和利用が絶対にあり得ないことは明白である。よって全ての原発は即刻廃炉にすべきである。原発の燃料であるウランは地中から採掘した時点で放射能汚染が始まる。一例として1962年から採掘を続けているインドのウラン鉱山ジャドゴダでは周辺7万人の住民がひどい放射能汚染で苦しんでいる。健康体で生まれてくる子は皆無に等しく、死産、無脳症、多指症、癌、白血病等で苦しみながら死んでいく。一方、100%のウラン鉱石であっても燃料にできるのは0.5%に過ぎない。残り99.5%は劣化ウランと呼ばれ、航空機や列車等のウエイト、弾丸等に使用される。イラクの大地はアメリカ軍が撒き込んだ劣化ウラン弾により放射能汚染が進み、そこに生えたマッシュルームを食べたイラク人は子どもたちを中心に癌や白血病で苦しんでいる。私たちが生活で恩恵を受けている原発の電気は、このように多くの人たちの生活を奪い、多大な犠牲の上につくりだされていることを知らなければならない。
57572	個人	自営業	60代	男性	世界有数の地震国である日本では原発はリスクが大き過ぎるので、既設の原発は徹底的な安全対策を取って合格した物に限り、代替エネルギーが確保できるまで使う。安全対策や廃炉技術は日本の世界に対する責務である。	リスクの大きさは、発生頻度に発生した時の被害の大きさを掛けたもので表され、原発の場合は後者が桁違いに大きいことは実証されてしまったので、前者の大きさで国・地域で対応が異なるべき。日本は世界有数の地震国であり発生頻度は他と比較して高いと言わざるを得ない。でも地震が無く子ども無い国・地域であれば原発は温暖化対策の切り札として選択肢に有っても良く安全な原発を開発する努力は続けるべきと思う。 しかしわが国でも代替エネルギーが微弱な状態では温暖化対策の点から直ちに原発を廃止する選択肢は取れないと思う。代替エネルギーの拡大と省エネ・節電のなお一層の国民の努力を行いながら、一方既設原発に対する徹底的な安全対策で第三者も含めた公開された検証で安全が確保されたと判断されたサイトに限り耐用期間まで運転を続けることはやむ得えない選択であろう。 代替エネルギー確保の点から、周辺の国々と電力系統を繋いで電力を融通し合ってそれこそアジア全体で系統を安定化させ、最適運用をする所まで来は有っても良いと思う。通信海底ケーブルは世界中に張り巡らされているので電力の海底ケーブルも直流送電も含めれば実現可能と思う。こうしたことで代替エネルギーが育つまで、原発を安全を確保しながら使い続ける。 原発を安全化する技術や廃炉に必要なロボット等の技術開発は、事故を起こしてしまった日本の世界に対する責務であり、また日本が得意とする分野でもあり、世界一の技術を開発すれば世界に輸出もできる。絶対安全の原発も日本だからできるはずとも言えよう。廃炉にするのも参加する企業も優秀な技術者・作業者は必要であり、こうした将来の夢のある施策を取らない限り、誰もやらなくなってしまうことも考える必要が有ろう。 従って、条件付きながら一番近いのは15シナリオになる。
57573	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存0%の達成と新しいエネルギー生産への計画的な移行	原子炉の寿命は30～40年であり、新たな原発の建設を想定しない限り原子力発電の将来にも依存し続けていくことは不可能であるが、福島の事故以後、新設の原子炉を立地計画することは現実的にも極めて困難。 原理的に考えて、原発稼動に必要な資源と機会は一方的に減少し、いずれ失われていきその流れは不可逆である。 日本の限られた国土と条件下で、加えて3.11以後日本各地で大地震のリスクも高まっていると言われる現状において、原発依存を許容する条件は諸外国と比べても早い段階で失われる。 原発によるエネルギー生産の停止とそこからの移行、新たなエネルギー生産方法の選択肢の獲得を早い段階で計画推進していくのが合理的な選択だと考える。 新しいエネルギー生産方法への移行には課題も多いが、それは技術研究開発や社会的インフラ整備、経済的機会を開拓していく可能性も含んでいる。 原発依存か否かということだけに限られた議論ではなく、エネルギー生産方法の選択肢を多様に考え準備していくこと。将来に渡る長期のエネルギー安全保障と新しい形の社会のあり方を探っていくことが必要。
57574	個人	その他	40代	女性	原発依存即時0%にするべき。	人類と核は共存できない。
57575	個人	会社員・公務員	40代	女性	「ゼロシナリオ」を希望します。 更に現時点での即時全停止を求めます。	本来ならば、 まずは即時全停止をし、 1.原因の究明 2.安全基準の見直し 3.各施設の改善 4.管理運営上の改善 そして国民への説明を充分にされた上で、ではどうするかの審議が為されるのが当然の事でしたが。 何故それが行われなかったのか非常に残念です。 時間はたっぷりあった筈です。 経済状態を鑑みて、2030年時点では「15%」がせいぜいかと考えています。 しかし、今の状態ではとても政府を信用する事は困難です。 私たちは「ゼロ」しか選べない。 原発廃止を即時求めると共に、廃炉及び廃棄物の管理を免許事業として電力会社から切り離し、国の管理の元、人材育成と運営を行っていくことも求めます。
57576	個人	その他	30代	女性	ゼロシナリオ、原発0%を希望します。	福島の原発事故を通して今まで知らなかった沢山のことを知りましたし、考えるようになりました。 わたしたちは原子力に頼らない世の中を目指して前進すべきです。 子どもたちに夢のある未来を残したいと強く思います。 原発0%に向かって努力したいです。

57577	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを支持します。 核エネルギーと人類は共存できません。 まして、地震国である日本での利用はありえません。 直ちに全原発廃炉の廃炉と他のエネルギーへの転換に着手すべきです。	私はゼロシナリオを支持します。理由は次のとおりです。 1. 核エネルギーの利用は、遺伝子レベルまで深刻な影響を及ぼすリスクがあるので、その選択にあたっては、経済や技術的な側面からの検討だけでなく、未来世代に対する責任を踏まえた、広く深い視野での検討が不可欠です。本来、ドイツにおける倫理委員会のような組織での集中的な論議と、それを受けての国民的な議論、さらには国民投票における選択が望ましいと考えます。 2. 残念ながら日本においては1に記したような検討プロセスになっていないが、それでも、未来世代への責任という点から、ゼロシナリオ以外の選択はありえないと多くの国民が認識しつつあると思います。すでに国内の原発には、使用済み核燃料と放射能に汚染された廃棄物が限界量に近く蓄積されています。しかし、それらを安全確実に処理する技術も施設も存在せず、今後の見通しもきわめて不透明です。そのような中で、原発を稼働させることは、未来世代に対する犯罪行為に等しいと考えるからです。 3. 経済的な側面から考えても、事故発生時の損害と安全確保のための十全な投資、数万年に及ぶと言われる使用済み燃料・廃棄物の管理費用を参入すれば、核エネルギーのコストは他のエネルギーに比べて決して安くないことが明らかになっています。それに対して、再生可能エネルギーは経済性を高める余地がまだ多く残されており、そこへの投資とマンパワーの集中によって、大きな経済効果と雇用を生み出すことができるでしょう。 なお、原発立地地域において、廃炉作業とその土地に適合した再生可能エネルギーへの転換を併行して進めるなら、その経済効果は決して小さくないでしょう。原発廃炉が地域経済に大きな打撃を与えるかのように言うのは、デマゴギーまたは政府の無策を糊塗するものです。 4. 福島第1原発事故の実際の姿が少しずつ明らかになり、今回の事故でさえ、いくつかの僥倖に恵まれて、より破滅的な事態が避けられたことが分かってきました。いったん事故が起きれば、その収束のプロセスをコントロールすることは、きわめて困難であることが今回の事故から得られた重大な教訓のひとつです。とりわけ、日本においては巨大な地震・津波という自然災害を避けがたいことが、事故のコントロールをほぼ不可能にしていると考えるべきです。 誰もコントロールできず、誰も責任をとることなどできない。これが原発の事故です。
57578	個人	家事専業	40代	女性	原発再稼働に反対します。原発ゼロシナリオで、即時すべての原発の稼働を停止させてください。	こどもたちに健康な未来を残してあげたいからです。風力、水力、ガスなどの自然エネルギーからの電力供給が可能になるよう日本政府として取り組んでいただきたいです。
57579	法人・団体等	自営業	40代	男性	3つの選択肢の中では、条件付きで「原発ゼロ」シナリオを支持する。原発ゼロ・シナリオにおける「火力65%」を修正し「火力35%、水力30%」に代えるべき。	意見 3つの選択肢の中では、条件付きで「原発ゼロ」シナリオを支持する。 ただし条件：「原発ゼロ」シナリオの内容に関して、以下のとおりの加筆修正を前提とする。 1．現時点（2012年）において原発の再稼働放棄と「国内原発の全廃炉」を国策として決定するべきである。 2．2012年から2030年においては、原子力発電ゼロを前提に、他のエネルギー源によるベストミックス・シナリオを策定するべきである。 3．原発ゼロ・シナリオにおける「火力65%」を修正し、「火力35%、水力30%」に代えるべきである。 「2030年原発ゼロ・シナリオ」支持の理由 ●チェルノブイリ原発事故、福島第一原発事故以降、とりわけ活性化する地震や津波その他の自然災害およびヒューマンエラーによる人災にもとづく最大想定事故による被害リスク、放射能拡散による汚染リスク、修復やメンテナンスおよび膨大な放射性廃棄物の処理や維持管理に費やす莫大なコストと労力、計り知れない工事期間を考慮に入れても、原発をあえて存続するだけのキャパシティ、必然性、メリットが存在しないこと。 ●日本の既存の原発敷地内には多くの活断層が発見されており、津波の被害が想定される原発も少なくないため、想定リスクが測り知れないこと。 ●逆に原発存続ならびに新設にかかるデメリットは無数に存在する。放射性廃棄物の処理ひとつをとっても、膨大な維持費用負担がかかると同時に、それらが実体経済に与える負の影響は甚大であること。 ●原発に8割近い電源を依存しているフランスのケースとはまったく異なり、日本では原発に代わる代替エネルギー源で十二分に需給対応が可能なこと。 ●原発はピーク電力ではないため、夏場や冬場の電力不足に臨機応変に対応できないこと。 「2030年原発シナリオ」の修正要望点とその理由 ●地球規模での温暖化対策が迫られている現在の状況を重視する以上、火力が65%（現状程度）としているのには容認できない。少なくとも資源枯渇の途上にあり、燃料輸入コストの変動や高騰の影響を受けやすく、しかも地球温暖化の原因となるCO2排出量を大幅に増大させる化石燃料資源の使用は、「2100年ゼロ・シナリオ」をめざし、極力早い時点から可能な限り段階的に抑制する方向でシナリオを策定すべき。とりわけアメリカの9倍もの燃料コストがかかると指摘されている、日本のLNG原料輸入については、コストの抜本的低減化を図るべく、電力事業法を改正し、総括原価方式を廃止し、競争価格方式、プライスキャップ制、収入キャップ制、デマンド料金制度等の適当な制度に振り替えるとともに、現行の各電力会社の燃料費調整制度を廃止させる。発電部門への「炭素税」導入施策も一定の効果があるので、検討すべき。 ●原発ゼロによる2030年のエネルギーシナリオの比率（シェア）は、火力35%（石油5%、石炭10%、LNG20%）、水力30%、水力以外の再生可能エネルギー35%（太陽光・太陽熱15%、風力5%、地熱5%、バイオマスその他10%など）とし、極力「脱火力」依存をめざすべきである。 ●資源エネルギー庁「平成19年度水力開発の促進対策」によれば、我が国の包蔵水力は、1,521億kWh（既開発952億kWh、工事中94億kWh、未開発475億kWh）である。河川法の改正（規制緩和）とともに、現在休眠中の水力発電所を整備復旧し、揚水発電の活用を取り入れれば、全電力消費量の3割以上の電力需要は十分に賄える。 ●再生可能エネルギーの促進をさらに加速化させるため、7月に導入された「再生可能エネルギー」の固定価格買取制度の促進策を国をあげて強化するとともに、「電気事業法」を改正し、完全競争入札制度、発電・送電・配電事業の経営・会計分離原則を法に盛り込み、それらの厳格な実施を急ぐべきである。また弱点といわれる再生可能電力供給の安定化については、スマートグリッドの導入や実施テストを急ぐとともに、小口から大口消費者に至る蓄電・蓄熱施設の普及として、水素タンクの活用を図る。 ●省エネに関しては、省エネ機器の改善のみならず、コジェネレーション、ヒートポンプなどによる温熱併給ないし熱源再利用による効率化設備の抜本的導入・推進を中心に進めるべきである。大規模商業施設や事業所に設置を義務づけるなど、わが国で遅れているこの分野の改善を進める。 以上
57580	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存を0%に?	これからの日本を守るためにも現在稼働中の原発を停止し、全ての原発を廃炉にしてください。 次にもしものことがあればもう日本には住めなくなります。 インディアンは重要な決断をするときには7世代先の人たちにとってそれが幸せかどうかを基準にしてきたそうです。 今の私たちは未来の日本人にとって負の遺産ばかり遺しています。 今を生きる私たちで未来の日本を素晴らしい国にしていくために変わりましょう? その責任が今の日本人にはあります。
57581	個人	無職	50代	男性	人は常に物事を客観的に処理していなく、感情で判断している。 原始力発電の安全性は、向上しており今後も有効である。	序論 一歩さがってみる検討してみると、東京電力福島第一原子力発電所の事故原因の一端ともなるキーワードがあります。 それは、「ノーベル賞」です。そんなノーベル賞があるのと思われますが、その疑問そのものが、本意見書の1つです。唯一日本人が受賞していない部門のために話題になっていません。 それは経済学賞であり、判断や意思決定に関する部分を抜き出すと、 2001年　判断に必要な情報は、一部しか得られていない。 2002年　意思決定は、感情で行われている。 2005年　個々の最適な選択であっても、全体として最適な選択とはならないことがある。 2009年　権力者が、わがままを通すことがある。 そしてもう一つは、正常性バイアスです。起こりえないことにたいするリスクに対し過小評価してしまう。 ・阪神淡路大震災時にもあった。前年にあったノースリッジ地震 にて高速道路が破壊されても日本では起こらないと報道されましたが、阪神高速道路が破壊されてしまった。 そして、建築物の耐震改修の促進に関する法律が制定された。 また、カタストロフィー・バイアスでは、きわめて稀にしか起こらなくても大きな被害をもたらす災害を過大視してしまう。 ・事故後の放射能に関する報道も、具体性に欠けていた為に不安を煽った。 ・世田谷区での放射性物質。がれき処理の受け入れ。 以上のことを、ひとは無意識で処理している。 日本の現状 日本再生に向けた検討課題について 経済産業大臣 枝野 幸男 平成23年11月21日より ・老後に不安を感じる人の増加に伴い、勤労者世帯（サラリーマン世帯）の家計貯蓄率が上昇。 ・労働所得の低下し労働分配率は高止まり、雇用者報酬も民間投資も抑制されて内需による牽引効果が小さい。 ・原発が当面再稼働できない場合、火力発電用の燃料輸入の増加で、貿易赤字になる。 ・貯蓄投資バランスが早ければ2010年代後半以降にも赤字化のおそれ。 昨年度、パナソニック・ソニー・シャープの業績が赤字であった。シリコンアイランドやパネルベイは過去のものとなり、携帯電話に変わるスマートフォンは日本の手から離れてしまった。 グローバル社会において日本国内におけるものづくりは製造コストの増加でより空洞化し、リストラ等による労働条件が悪化させてしまう。 意見 今回の事故は、冷却機能の喪失とその電源が確保できていれば、起こらなかった。 ・最新の原始力発電所では、安全対策は強化されており、日本より安価であるシェールオイルがある米国でも原始力発電所の新規設置計画された。 原始力発電所の未稼働による燃料費は年間3兆円であり、現在は電力会社の資金を補われているいるが経営状態も悪化して、電気料金に反映されてしまう。余裕のある内に燃料リサイクル開発や最新原始力発電所更新の費用とする。 ・福島の制限区域には、地権者の了解を得て太陽光発電所を設置する。
57582	個人	家事専業	30代	女性	20～25シナリオを支持します。私には生後8か月の娘がいます。将来の日本が科学的な技術力や国際的競争力を失いかねないシナリオを選択するような無責任な決断は控えるべきです。真に「責任ある決断」を望みます	私は20～25シナリオを支持します。理由は以下の3点です。 　1．まずそもそもの問題ですが、先般示された3つのシナリオすべてが重大な欠陥を内在しており、それさえも見抜けず、理解しようとも説明しようともしない現在の政権には、「責任ある決断」を下す力量も資格もない、というのが私の見方です。6月以降の議論の進め方、シナリオの示し方とその内容の解かりにくさ等々、不審な点を挙げれば切りがありません。拙速に「無責任な決断」をすることは絶対にやめてください。 　2．各シナリオの再生可能エネルギーに対する"期待値"が過大評価されている点は、皆さんお気づきの通りかと思います。その導入量は、今後当面"全量買取制度バブル"で拡大するものと推測されますが、ヨーロッパのような電力系統を持たない日本の国内で30%もの割合に達するとは到底思えません。そのような状況で、原発の技術を手放すかのようなゼロシナリオや15シナリオは安易に支持できません。 　3．福島の方々のご苦労をお見受けすれば、気の毒で仕方ありませんし、20～25シナリオも安易に支持するわけにはいきませんが、事故を起こしたからと言って「原発不要」を断言するのは安直に過ぎます。今原発を手放せば、現実的には化石燃料に頼らざるを得ません。そのような選択によって地球温暖化対策を疎かにすることになれば、国際社会に対して説明責任を果たせなくなるのは自明の理です。 政府には、以上の事実を踏まえた現実的な選択、また、無責任で不見識な大衆に迎合しない「責任ある決断」を、切に要望したいと思います。
57583	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオ支持	・廃炉研究用に2～3基維持するのはよいが、原発がないと経済や生活が成り立たないのでは困る。残念ながら原発は安全ではないしクリーンでもない。と事故でわかった。
57584	個人	会社員・公務員	30代	女性	唯一の核被爆国として、また地震多発国として、原発の悲惨さ、安全性を考えた上で、原発ゼロシナリオを推進します。	日本には世界に誇る技術と開発力もあり、知られざる所で様々な資源の利用のために、技術援助がなされている。それを今、我が国日本のために総力を挙げて利用すれば、原発に変わる資源をより有効活用できると考えられる。また我が国日本には多くの自然があり、風力・水力（新エネルギーとして海水の力も）・太陽エネルギーなどまだまだ利用できる資源があることも原発ゼロシナリオを勧める理由です。また、節電を掲げながらも、過剰な冷暖房の利用や都心部の夜間のライトアップも減っているようには見えない。国民全体、個人だけでなく企業や政府の考え方をもっと市民に近づけていけば、電力の有効活用ができると考えられる。唯一の核被爆国であるのに、なぜ同様の資源である原子力発電の危険性をもっと真剣に考えることができないのか、政府に対し疑問に思う。目先の問題よりも、後世のことを真剣に考えた政策をしてほしいと願います。
57585	個人	その他	40代	男性	自分の意見に合致する適切なシナリオがないのですが、もっとも近似するシナリオとして(1)ゼロシナリオを支持します。	可能な限り依存度をゼロに近づけていくべきと考えてはいますが、2030年までにゼロ、というのは非現実的かと考えます。理由は様々ありますが、たとえば現在存在する原発だけでも、再稼働を最低限にかぎったとしても法的に定められた廃炉期限は2030年を越えてあります。廃炉するにも技術は必要で、その技術は今後数十年にわたって保持しなければなりません。あまりに近い時期に稼働炉を完全にゼロにして、現実的な原発依存脱却が果たして可能か？ 現時点でこのような大雑把な区分けでイメージを論じるのは現状に相応しくなく、適切ではないのではないでしょうか。どのシナリオにしても、国民の意思を離れたなんらかの利己的な意図がすべりこみやすい設問の仕方だと感じます。 原発依存度をかぎりなく減らしていく意志を前提として2030年までという区切りで考えられる現実的な線は、5～10%以下なのではないでしょうか。実際的には、そこからさらに時間をかけ、ゼロにしていくというプロセスを構想しなければならないと思います。また、エネルギーシフトにおける経済的再構築構想をセットにしない条件での「経済的負担増加」を骨迫的に考慮させる、ここでのゼロシナリオの内容も容易には支持しかねるものがあります。エネルギーシフトを推進していくのであれば、そこにおける経済的再構築構想、しっかりと経済成長にむすびつける形で練られたそれをセットにしなければどのようなシナリオも支持することはできません。 ですが、現在の15%シナリオは依存度維持の要件を考慮しすぎているため論外ですので、そういった留保条件のうえでゼロシナリオを選択させていただきたいと考えています。
57586	個人	会社員・公務員	60代	女性	原発は今すぐに0%に	原子力発電は人間がコントロールできないものと思います。地震や津波以外でも事故は何が原因で起こるか分からないから、今すぐ原発はやめるべきです。ほとんどの国民が自らの意志で皆がんばって節電しています。日本人はどう生きていくのが未来のために大切かを考え、真の意味の心豊かな生活を目指し脱原発を選択する今が大きなチャンスと考えます。
57587	個人	自営業	40代	男性	原発は即時ゼロにしてくれ。電気足りないなんて嘘やんか。都会じゃクーラーガンガン効かせてるし。国民をバカするなよ。	事故処理できてないし、安全確認できてないし、将来核のゴミの行き先も決まっとらんし。無理やろ。
57588	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)ゼロシナリオを支持します。 実現時期は即時とするのが望ましいと考えます。	福島第一原子力発電所のメルトダウンおよび爆発事故は絶対に起こしてはならない事故でした。 同様の事故のリスクは他の原子力発電所に於いても排除できません。 この現実を踏まえて、まず原子力発電をやめることを第一の前提として、エネルギー政策を見直すことが必要と考えます。 現在の原子力発電や核燃料サイクルに関わるリソースは、他のエネルギー源の開発・普及に充てるべきと考えます。
57589	個人	学生	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	福島の事故でこれだけの被害が出て、人間らしい生活もままならない被災者を排出しながら、それでもまだ原発の恩恵にあずかるほど無神経で、過ちを繰り返す国民にはなりたくないです。

57590	個人	無職	40代	男性	15シナリオに賛成。再生可能エネルギー導入へ向け、周波数変換所や高圧送電線を増設し、スマートメータを普及させるべき。気象情報提供ビジネスを活発化すべきである。送配電事業は所有分離すべき。	1. 結論　15シナリオに賛成である。既に廃止された7基を除き、日本には50基の原子力発電所が存在する。2030年には、50基中30基の稼働年数が40年を超える。稼働年数40年超の発電所30基は廃止されるべきである。残り20基の合計出力は約2100万kWとなり、現存50基の合計出力約4600万kWから、約54%減少することになる。一方、15シナリオにおける原子力の発電電力量は、2010年の2860億kWhから、2030年の1500億kWhへ、約48%減少することになっている。原子力発電所における合計出力の減少割合は、原子力による発電電力量の減少割合と比べ、大きく見積もられていることになる。原子力発電所の稼働率を向上させて、このギャップを埋める対策が必要である。老朽化原子炉の廃棄を前提としており、メンテナンスや部品・システム交換は容易となっているはずである。稼働率向上は可能と考える。加えて、再生可能エネルギー比率を30%ではなく35%に増加させ、化石燃料依存度を55%から50%へ減少させるべきである。総発電電力量を等しく1.0兆kWhとして、0シナリオにおいて、再生可能エネルギー比率35%が既に提案されているのだから、これを見到すべきである。　2. 理由　2-1. ゼロシナリオに反対　近年、北極圏における永河の融解、穀倉地帯における干ばつ等、温室効果ガス起因と考えられる異常気象が、世界中で発生している。ところが、ゼロシナリオ（ 2030年 ）における化石燃料依存度65%は、2010年における化石燃料依存度63%を上回る数字となっている。たとえ、2010年から2030年にかけて、総発電電力量が1.1兆kWhから1.0kWhへ減ったとしても、化石燃料（ 火力 ）による発電電力量は、6930億kWhから6500億kWhへ、わずか約6.6%減少するのみである。20年間を費やすのであれば、化石燃料依存度も、化石燃料（ 火力 ）による発電電力量も、より積極的に低下・減少させたい。また、原子力発電技術を完全放棄すべきではない。枯渇、価格高騰、排出ガス起因の異常気象等により、化石燃料を消費できない時代がやがて訪れる。現世代の国民には、次世代の国民に選択肢を残す義務もあり、発電方式種数を絞ってでも、原子力発電技術を温存すべきである。従って、ゼロシナリオに反対する。 2-2. 20～25シナリオに反対　稼働年数40年超の原子力発電所30基を廃止すると、残り20基の合計出力は約2100万kWとなり、現存50基の合計出力約4600万kWから、約54%減少することになる。一方、20-25シナリオにおける原子力の発電電力量は、2010年の2860億kWhから、2030年の2000億～2500億kWhへ、約12.5～30.0%減少することになる。原子力発電所における合計出力の減少割合は、原子力による発電電力量の減少割合と比べ、15シナリオよりもさらに一層大きく見積もられていることになる。明らかに、原子力発電所を新設しなければ達成できないストーリーである。あるいは、稼働年数40年超の原子力発電所を一切廃棄しないストーリーである。しかし、原子力発電所の新設場所は既に枯渇していると考えるべきである。柏崎刈羽発電所にしても、高浜発電所にしても、大飯発電所にしても、原子炉数が既に過剰である。また、老朽化原子炉廃棄・使用済み燃料廃棄の技術・コストや、核燃料リサイクルの技術・コストが確立されていない現時点において、一方的に原子力発電所の新設を決め込んでしまうことは、再生可能エネルギーを積極導入することよりも、むしろリスクが高いと考える。従って、20～25シナリオに反対する。　3. 再生可能エネルギーの積極導入　再生可能エネルギーを積極的に導入するために、設備と制度において改善すべき課題を述べる。　3-1. 周波数変換所の増設　東日本～西日本間で融通できる電力の容量を増やすために、周波数変換所を増設すべきである。新規事業者が、周波数50Hz、60Hzの境界地域に発電所を設置して、電力を売買しようとする時に、周波数の違いが原因となり、買電可能エリアに制約が発生する可能性がある。機会損失を未然に防ぐべきである。　3-2. 高圧送電線の増設　特に、北海道と東日本に、高圧送電線を増設すべきである。北海道や東北地方北部には、風力発電を有利に行える地域が複数存在するが、高圧送電線が整備不足であるため、風力発電所の増設までもが進まならない。高圧送電線を設置・維持することは高コストであるが、使用済み核燃料を廃棄することに比べれば、技術的に確立されたことであり、コストの見積もりも確実である。　3-3. スマートメータの普及　一般消費者の目から、電力の消費状況を“ 見える化 ”する必要があり、スマートメータの普及が急がれる。ただし、このスマートメータに関する技術規格は、汎用的なオープン規格とすべきであり、既存電力会社による独自規格とすべきではない。　3-4. 気象情報提供ビジネスのさらなる活発化　特に、太陽光発電では、突如として降雨し始めるゲリラ豪雨への対策が必要である。ゲリラ豪雨が発生すると、気象庁雨量計の配置が追いつかないほど狭いエリアで雨が降り、観測記録上はそれほどの降雨量にならないが、実際は、明らかに豪雨となる。太陽光発電の発電量も、突知としてほぼゼロとなってしまう。通信事業者等が気象情報提供ビジネスへ参入することを、歓迎すべきである。　3-5. 所有分離してこその送配電分離　既存電力会社の送配電事業は、所有分離されるべきである。法的分離を推す声が多いが、既存電力会社の送配電事業を、持ち株会社傘下へグループ化することに反対である。持ち株会社の傘下に配置してしまうと、送配電事業会社は、持ち株会社の子会社となり、非公開化されてしまう。消費者が、送配電事業会社の株主となることは不可能となり、定時株主総会にも出席できない。
57591	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年段階ではなく、今まさに起こっていること。即時に近い期限を決めた、原発ゼロの選択肢を新たに設定することを求めます。	3つのシナリオとも、見通しの至っていない、福島原子力発電所の事故ならびに、その事故のために影響を受けている方への影響・生活・命を軽んじています。算定は果たしてできるものなのか。反省も含めて、いまだ含んでいない点が非常に残念です。 期限を決めた、即時原発ゼロを設定したうえでの、自然エネルギーへの転換を基点とした、政策の立て直しを求めます。 この日本で、もし、二つ目の事故が起これば、国自体の存続が危ういです。それは経済面においても同様です。 原発ゼロの期限をきちっときめ、今日本にあるすべての原発の燃料をすみやかに、比較的にでも安全に管理できるように方策をとることが必須であり 逆に、この技術立国の力を生かした地震や火山によるエネルギーを含めた、この日本ならではのエネルギーの道が必ずあるはずです。 核燃料サイクルによる政策をきっぱりとあきらめ、事故の収束ならびに今後の在り方をしっかりとみつめ、4つめの道にすすみたい。 世界に対する責任と、未来に対する責任を果たすために、 いまできることは、なになのか。 とりかえしがつきません。 官僚や政府だけできめず、しっかりと国民の意見を聞き、 未来へ歩むべきだと思います。
57592	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオで行くべきです。	福島原発の事故処理が収束する迄、軽く100年はかかろうかというのに、これ以上の事故のリスクをあげるべきではないと思う。子供たちに安心して暮らせる、未来を残すのが我々の義務。
57593	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。	日本は唯一の戦争被曝国であり、去年、世界最大の原発事故を起こしました。 今こそ原発を0%にしよう、と国民全員が決めることが大切なのではないでしょうか。 コストはかかっても、原発はできる限り早くゼロにし、再生可能な自然エネルギーの割合を増やしていくことが、大人たちの責務だと感じています。また、安全性に疑問が残る核燃料の再利用もありえないです。完全廃炉を希望します。こどもや孫たちが安心して暮らせる世界を創り出すために。
57594	個人	会社員・公務員	40代	男性	0シナリオを支持。ただし、グリーンシフトではなく技術が確立し、コストが安いているガスあるいは石炭火力に早急にシフトすべき。	原子力発電は可能な限り早く停止、廃炉とすべき。 1．過酷事故時の賠償を民間の保険で賄うにはコストが見合わないため、民間の保険で全てを賄わず、国家が最終的に保障するものと理解していたが、福島原発事故にて、国家においても損害賠償を支払うことができないことが明らかになった。 2．日本の地学的な位置から地震の被災が避けられないこと、311の地震により、地盤が大きく動いていることから地震の発生が活性化しているともいわれている。原発の耐震規制も岩盤設備に関しては緩い規制となっており、福島2号機において補器が壊れていたためベントができず、高濃度の放射性物質の放出につながっている。地震の被災を避けられない国土において原発の安全性を保証してきたとされていたが、それが恣意的な基準に基づいた思い込みに過ぎなかったことが明らかになった。 3．放射性廃棄物の最終処分方法が未定である。使用済み核燃料は原発のサイトのプールに入れてあるだけで、最終的な処分方法が未定である。これ以上の廃棄物を作りだすべきではない。また、再処理施設について6大量の放射性物質の放出を前提としており、稼働すべきではない。世界的な貢献との話もあるが、国土を汚染してまでもそのような貢献はすべきではない。 4．国家を成立させる基本は国土であるが、過酷事故が起きれば、広大な面積の使用不可能な土地が発生し、国土が失われるのと同じである。 5．過酷事故による健康被害の発生。確立的に国民の健康が損なわれることは否定できない。広大な面積の水と食料が汚染されている。 6．原子力発電所を廃炉とすべく、電力会社に廃炉とした場合の特別な会計処理を検討が必要。廃炉とするインセンティブを与えて廃炉を促すべきと考える。 グリーンシフトシナリオに関する疑問 太陽光、風力へのシフトはドイツ、スペインの事例を十分に踏まえているとは思えない。また、小規模水力、バイオマス等への電力買い取り価格は低く、どのような意図があるのかが不透明である。原子力推進の手法を見ても何か隠された意図をもってシナリオが描かれていると勘繰られるような手法によって推進されている。シナリオ策定の経緯をオープンにすべき。 また、太陽光、風力についてはエネルギーの主軸になるとは思えないので、技術も確立し、低コストであるガス火力、石炭火力にただちにシフトすべき。
57595	個人	家事専業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。	ゼロシナリオでは2030年までにとありますが、原子力発電所の安全は絶対でないことが昨年の福島第一原子力発電所の事故で証明されました。 今でも多くの国民が多かれ少なかれ被曝をしながら生活し、海への放射性物質の降下などは世界各国にも不安を抱かせています。福島での原発事故は今でも収束したものとはとても感じられませんし、事故の原因究明もまだまだ不十分と考えます。加えて原子力発電所は地震国である日本には不適当なものと考えますので「2030年まで」ではなく、速やかに稼働している原発の稼働を止めることを希望します。 また核のゴミを次世代、また次の世代と何万年も引き継いで管理しなければならないことにも断固反対です。
57596	個人	会社員・公務員	30代	男性	安全確認不徹底の中での再稼働即時中止。その上で安全要項が満たされた原発のみ20年以内の再稼働を許可。但し20年後までには代替エネルギーへの完全切替を要求する。	何よりも福島第一原発事故収束宣言の撤回を求む。他の原発を再評価するのもその後と考える。 つまり現状の再稼働などもってのほかである。 ただ、今まで40年もの間、産業として経済を担っていたことは事実であり、 雇用などの代替産業が無い現状は限定的に稼働させるのはやむなしとも考える。 現行の安全要綱に関してはあまりにも推進派に有利な解釈がなされ納得できかねる。 本当の意味での第3者機関を早期に創設し安全管理を徹底すべきである。 たとえその場合、動かせる原発が0だったとしても。 それは今までのあなた方の政策が間違っていたのであり、国民に責を負わせるべきではない。 政治家、官僚は今回の事故はあなた方に責任がある事を痛感すべきである。
57597	個人	自営業	50代	男性	放射能廃棄物の最終処理をどうするのかがはっきり示されるまで、原発の再稼働は、認められない。	放射性廃棄物が溜まる一方のままですめるべきではないことは、明白である。
57598	個人	無職	60代	男性	全ての原発を廃炉にしてください。	福島原発の原因解明ができない今、人間が対応できない魔物の原子力からは、撤退してください。
57599	個人	自営業	40代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 もちろん「2030年に原発0」だが「即刻、原発0」の第4の案を主張する。 【政府はもっと本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき】	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能にならないか？もう事故は起きないとは誰にもいえないはず！もう想定外は聞きたくない。
57600	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロを実現してください。	原発は、一度事故を起こしてしまえば、私たちの力ではコントロールできないものであることが、3.11以降の原発事故で明らかになりました。 地震大国日本で、原発を維持し続けることは、今を生きる私たちにも、そして未来の世代にも、取り返しのつかない甚大な影響を与えるリスクを孕み続けることです。 そのような社会のあり方には耐えられません。 原発ゼロを実現してください。

整理番号	個人／法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
57601	個人	学生	40代	女性	「ゼロシナリオ」を支持します。原発の維持と後始末のために、人間を犠牲にすることはできません。	原発が便利で必要なものという神話は崩れました。 何万倍ものツメをいま、払っていると思います。 しかも特定の人にそのツケを負わせている。 身を犠牲にして、線量計の値をごまかさなければいけないほど、 住み慣れた福島を離れなければいけないほど、 安心して福島産の野菜・牛乳を食べることを躊躇するほど、 原発の影響が私たちをむしばんでいます。 ましてや、事故以前から、そうしたごまかしがされてきているので、 安全神話を信じることはもはやできません。 そもそも、エネルギーを潤沢に使いすぎていたのだと思います。 節電は、熱中症の危険があるとはいえ、冷房で冷えすぎた身体を、無節操な使い捨ての生活を改める機会となっています。 もっと金銭的な負担が必要なら、仕方ないので払う覚悟はあります。
57602	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)のゼロシナリオを選択します（2030年までにゼロは少し難しいと考えていますが、選択したい5%~10%がないので。中間の15%を選ぶひとが多そうな気がしますが、なぜ5%や10%がないのか疑問です）	すぐに自然エネルギーですべての電力は賄えると思わないし、化石燃料の限界も遠くないと感じているが、事故が起こった際の危険度、作業現場の危険度、使用済み燃料の問題等、すべての問題を先送りにして動かしてきたのが原発と感じているので、国はすみやかに原発ゼロに向けてスタートを切ってほしいです。 また安全対策や十分な調査、その結果をオープンにすることのない再稼動には反対です。使用年数の長い原発についても非常に不安があります。先日の美浜の運転延長決定は強いショックを受けました。まず法律によって原発の使用年数を厳格に決め（抜け穴がないように！）、古い原発（運転開始30年から40年）や地質的に不安のある原発は廃炉にしてほしいです。その他の原発についても安全性について多様な意見を取り入れオープンに議論してほしいです。 河野太郎さんらがやっている「原発ゼロの会」のように、様々な角度から原発の危険度を具体的に検討するのもひとつの方策だと思います。
57603	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択いたします。選択するとしたら、ゼロシナリオしか考えられません。	2030年までにとありますが、即刻出来るだけ早くにゼロにするべきだと、かんがえます。 まず、一番大きなリゆうですが、日本が地震大国だという事です。原子力発電は地震にも耐えられる絶対に安全な発電では無い。という事は、3.11の福島原発事故で証明をされたわけですから、即刻止める、廃炉を行うべきです。 経済よりももっとも大事な事は、生物、動物、自然のいのちであり、健全です。
57604	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	私たちが福島の経験から学んだことを生かすべきです。 政府は原発に頼らず自然エネルギーの普及と技術力強化に努めてほしい。 さらにはエネルギーの消費そのものを減らす方向にシフトする必要があります。 このまま人類が今と同じ生活を続けていたら、地球が何個必要ですか？ 日本の誇れる技術力を生かして、他国と協力しあって 7世代先の子供たちが笑って過ごせるよう、 地球の未来を考えるべきではないでしょうか？ 私は心から「原発ゼロシナリオ」を支持します。
57605	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発依存度は0% 0%の時期は直ちに即止める。 再生可能エネルギーにシフトする方向へ国の力を結集して向かう。	1、原発依存度は0% 2、0%の時期は直ちに即止める。 理由ー・福島第一原発事故と同じ事故が起こる可能性はこれからもあり得る ・原発を動かすことによって生み出される廃棄物の処理方法がいまだ確立されていない ・何よりも人の命を守ることが優先されるべき 3、再生可能エネルギーにシフトする方向へ力を結集して向かう。 今まではソーラー発電を家庭の屋根に設置するのはたくさん電気を使うため、と思っていたが、実際昨年我が家でも設置し感じたことはなるべく電気消費量を少なくして売電することで小さな発電所になった、ということ。 電力会社は火力発電が増えて困るというが、本当に困れば高く買っている原油を安く買うなどの企業努力が足りない。 経済界も原発がないと経済が衰退するというが、再生可能エネルギーを増やすことで地域が活性化するのは明白である
57606	個人	家事専業	40代	女性	JR東海が2027年開業を目指すリニア中央新幹線は、少なくとも現行の新幹線の3倍の電力消費、3倍のCO2排出と言う。これをリニアではない省エネの新幹線等で既存の中央線利用の計画に見直すことも含めること。	JR東海が2027年開業を目指すリニア中央新幹線は、少なくとも現在の新幹線の3倍の電力消費、3倍のCO2排出と言われているが、この計画はエネルギー選択の想定に入っているのか？ JR東海の中央線計画は、そのエネルギー消費、CO2排出も問題であるが、糸魚川-静岡構造線、中央構造線といった巨大活断層を横切る危険や、電磁波の人体や生態系への影響、大量の残土を発生させるなど問題は大きい。地震学者の石橋克彦さんは、地震学会において、東海地震など南海トラフ沿いの巨大地震の際に糸魚川-静岡構造線も連動する可能性があると発表した。安全性に大きな疑問があり、自然環境への負荷も大きく、そして莫大なエネルギーを消費し大量のCO2を排出するリニア中央新幹線計画をとりやめ、リニアではない省エネの新幹線等で既存の中央線を利用する計画に見直すことも含めることを強く求める。
57607	個人	自営業	60代	女性	原子力発電所、即時廃炉を願います。 原発・地震で避難している人たちの救済を願います。 全ての人たちが安心して暮らせる世の中にしてください	福島第1原発で起こしたような事故が2度と起きないように即時廃炉を願っています。 また、原発の影響で避難している人たちが、他の土地で安全に暮らせるような方法を考えてください。 地震の被害に遭った方、また大雨で洪水の被害にあった方たちも、速やかに前と同じ生活ができるようにしてください。 こんご、原発の被害が二度とないように、津波・洪水の被害が最小限に食い止められるように、対策を願います。
57608	個人	パート・アルバイト	30代	女性	2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロにする、ゼロシナリオを支持します。	電力の原発比率をゼロにすることは早期に可能でしょうが、原子力発電の設備の解体、原子炉の廃炉にはこれからも長い時間がかかることと思います。おそらく私が生きているうちには解決しないのではないでしょうか。原子力発電をやめるにせよ、続けるにせよ、次世代、次次世代へと引き継がれてゆくものです。原子力発電に関わる技術、知識、そして今回の事故の経験や記録も受け継いでゆかねばなりません。その意味でも、原子力発電は間違いで思い方法だったから廃絶するのだ、という姿勢ではなく、原子力発電以外の安全な優れた発電方法を選択し、それへシフトしてゆくという姿勢でこれからのエネルギーを作っていきたいと思っています。
57609	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを選びます。	福島の事故は、地元の方に多くの犠牲を強いています。しかも、その補償や解決の展望を国と電力会社は、示せていません。 原子力発電は、この事故の賠償を考えれば、けっして、安いものではありませんでした。 人間がコントロールできないものを作ってはいけないことを学びました。 福島の事故のあとの、ドイツの決定に見習うべきだと思います。 再生可能エネルギーへの投資で、経済活性化をはかっていくべきだと思います。 再生可能エネルギーの技術は、十分に整っています。
57610	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発はゼロに	原発0
57611	個人	自営業	40代	男性	原発稼動0に移行するための新技術創生で未来の日本に夢をつなげましょう。	今回の事故を新しい社会を作り出す契機に！ 世界的にもこれからどうしてよいか困惑されている原子力発電からの脱却を、日本の知恵・技術力で先鞭を付けましょう。 2030年原発0パーセントシナリオを選択します。
57612	個人	会社員・公務員	40代	女性	0シナリオを選択します。	0シナリオを選択します。福島原発の後処理が出来ていないのを観ても、現在の技術力では原発をコントロールできないのは明白です。また、政府の、原発被害者への対応の手ぬるさをみれば、政府の言葉を信用できないと思われても仕方ありません。安全宣言の責任は、実際、誰にもとれないのです。原発がゼロで済むようなライフスタイルを選択するべきです。原発にかけていた多額の予算、人をつぎ込めば可能であると信じます。
57613	個人	自営業	40代	女性	ゼロシナリオを指示します。	健やかに、安心して暮らせる日本を次世代に残すことが我々の責任です。 今後は老朽化による寿命を迎える原子炉も増えてきますので、場当たり的な対処ではなく、廃炉に向けての動作を開始することが当然の選択かと。国民がその費用の一部を負担することも義務だと思っています。 経済システムの上に成立つ電力産業なのであれば、いつまでも原発事業の上にあぐらをかいているのではなく、社会全体のシフトを急がなければ日本経済の崩壊につながります。怖いです。 全建築物に太陽光発電パネルを設置を義務づけ、風力、水力などの再生可能エネルギーで補う、電力会社を選択できるようにする、などの対策もすぐに実施していただきたいと思っています。
57614	個人	自営業	50代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を希望します。 《経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要だ》	政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。
57615	個人	その他	40代	女性	原発の再稼働はもうやめて、原発ゼロの日本にしてください。	夏場、公共施設や交通機関、企業やお店などの冷房が控えめになったのはありがたかった。過度に目立たせるためだけのネオンや電飾が消え、夜が夜らしくなりました。 「節電」がうたわれる以前から、テレビや電子レンジ、炊飯器もない生活です。まちなかに住んでいても、十分暮らしていけます。これからも省エネを実践し続け、自然エネルギーの推進施策を支持し、原発ゼロの日本に生まれ変わるための痛みのシェアにも協力します。 ですから、すみやかに「日本を原発ゼロ」に。 日本はもちろん、地球を守る、勇気ある英雄になってください。
57616	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発依存度「ゼロシナリオ」を支持します。	原発依存度「ゼロシナリオ」を支持します。 生活や仕事への影響は、経済的にも作業的にもかなり大きいですが、これまでの原子力発電の在り方について、3.11を契機にわかったこと（そしていまだにわからないことの多さ）の責任を考えると（いろいろな立場もあるでしょうが）、上の世代は「ゼロシナリオ」に取り組む努力をせざるをえないと感じます。
57617	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオ	安心して暮らせ子供たちの未来を大切にして行く国作りをしてほしい。
57618	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発再稼働反対です。原発をゼロにして下さい。	実家が福島で被災しています。 放射能が人々を苦しめています。 こころもからだも苦しめています。 原発をゼロにして下さい、お願いします。
57619	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年までに日本にある原発は廃炉にすることを希望します。	去年の福島の事故があったことで、一度事故が起こってしまえば原発をコントロールすることは不可能であることを実感しました。放射能は平和利用でも軍事利用でも、多くの人に大変な被害を与えます。また、たとえ事故が起きなくても発電所で働く人にも健康被害の恐れがあり、核廃棄物の処理方法も決まっていませんし。 すぐに全ての原発を廃炉にすることは難しいと思いますが、できるだけ早く 稼働を止め、脱原発に向かう日本になってほしいと思います。
57620	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。 しかし、原発は2030年ではなく即時廃炉にすべきだと考えています。	現在原発に頼らなくても電力は足りているし、人間が動かす限り100%安全な原発はないと思います。 現に、おきるはずのない事故はおきています。 それにより、自然・故郷・安心・信頼さまざまなものが失われました。 これ以上の事故がおこれば日本はおしまいです。 新しいエネルギーの開発に力を注いで欲しいです。 日本にはその技術があります。 「原発事故をおこした国」から「新しいエネルギー転換に成功した国」へと変化していかないと、日本は世界からとりのこされてしまいます。
57621	個人	その他	50代	男性	ゼロシナリオ。原発は全廃すべき。	1；地震の多いわが国には原発はなじまない。 2；経済成長と国土を汚染されるリスクとは全然つりあわない。 3；諸外国に対して、わが国は、放射能による海洋汚染の責任が取れない。 4；電力コストは、その方式の設備の事故のコストを含めて考えるべき。 5；海外に出た企業が成長すれば国内の成長は相対的に重要でない。 6；経済成長以外の豊かさを、今から考え、追求していく時。 7；狭い国土で原発がテロに遭えば、日本の国土は壊滅する。技術や運用にいくらコストをかけてもこの問題は解決できない。 8；エネルギーの安全保障よりも、国土の安全保障のほうが比較にならないほど重要。 9；原子炉は、被爆作業員の犠牲のうえに成り立っていることを忘れてはならない、現在この問題を解決する手段がない。 10；原発は、もう十分に役割を果たした。（原発事業に従事されたすべての方々に感謝申し上げたい。）
57622	個人	無職	20代	男性	原子力発電の依存度を30年ほどで徐々に減らしていき廃炉すべき。また、多の発電方式への研究投資を大きく進めるべき。	原子力発電は事故時の影響が多大で、尚且つ核廃棄物の処理方法も未定のため、今後20～30年の期間で段階を経て依存度を減らし廃炉を進めるべき。そして、廃炉に関する技術の向上を目指し、他国での廃炉事業を請け負うことが出来る体制を進めるべき。また、自然エネルギーを利用した発電方法の効率向上などへの研究開発を加速させ、また天然ガスの幅広い輸入先の確保と、天然ガスを利用した火力発電の環境負荷低減を目指す技術開発も進めるべき。
57623	個人	自営業	50代	男性	原発0%	機械やプラントはいつかは壊れるし事故は起こる。何か起きた時でもなるべく簡単に後片付けが出来る方法で発電すべき。残念ながら原発は確実にそうではない。 また、通常に運転されている時にでも被曝者を出しながらでないと得られないエネルギーに疑問を感じる。

57624	個人	その他	20代	男性	エネルギー政策は、原発依存度ゼロシナリオを選択すべきだと思います。	福島第一原子力発電所の事故により、原子力発電所の安全性に対する信用は無くなりました。原子力発電所が"絶対"安全だと断定することは不可能です。昨年の東日本大震災のような大地震や津波の事故の発生時に限らずどんな時でも、想定外のアクシデントが発生する可能性が全く無いと保証することは出来ません。このような危険と隣り合わせの発電所に1%でも電力を依存することは、危険極まりありません。絶対に安全と言えない限り、原子力発電所に依存してはいけないと思います。そして、原子力発電所は絶対に安全と保証出来ないので、これに少しでも依存するという選択は考えられません。 福島第一原子力発電所の事故は、もう私達は原子力発電所を使うべきではないことを教えてくれました。原発依存度ゼロシナリオを選択し、必ずこれを達成することで、これからのエネルギー政策について、日本は世界のお手本となるべきだと思います。
57625	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢に対してですが、現在の原発は廃止、新しいエネルギー政策を考えるべきだと思います。	現在の原発は製作からかなりの年数が経ってしまい、担当者などもも居なくなってしまっている状況で老朽化も進んでいます。 それを現状で維持し、この複雑な社会状況で運営していくのは少し無理が有ると思います。 しかも比較優位的な観点からもすでに時代遅れとなりつつ或ると思います。 また先進国の中で理性的な判断を採れない遅れた国という印象を他諸国に思わせてしまう原因となるとも考えます。 これから新しいエネルギーを創世するというのは日本国の技術を持ってすれば不可能でないと私は思っています。 具体的な事は素人ですから提案は出来ませんが、これが原発廃止を支持する理由です。 以上です。
57626	個人	学生	20代	男性	原発ゼロシナリオを選択します	脱原発！
57627	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は最終的に0基。そのためにしっかりと廃炉と処分、他のエネルギーの促進と発達を。	原発はいきなりなくす事は不可能なのは承知しています。 けれどまだまだ確実とは言えない原発を無理に使い続けるのではなく 稼働数を徐々に減らして行って、最終的に稼働率0にしていってほしいです。 そのためには廃炉・処分の強化、太陽光・太陽熱や地熱、 バイオマスなどの他のエネルギー研究への 助成・補助の促進を進めていただきたいです。 月並みな意見ですが、よろしくお願いします。
57628	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 さらに即時0%を希望します。	福島での事故でもわかったように、一度事故などトラブルの起こったときのリスクが高すぎます。 原発を開発するためにかけている労力や資金技術を、廃炉や自然エネルギーの開発へとむけていただきたいです。
57629	個人	その他	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	原発は危険すぎてとても割りに合いません。無責任な電力会社・規制機関の下ではさらに危険が増大します。
57630	個人	自営業	50代	男性	原発の即時、廃炉希望。2030年の依存率はもちろん0%です。	原発が、万一の場合に人間が制御できず、甚大な損害と犠牲を国家・国民に与えることが明確になった以上、即時廃炉が当然でしょう。電力が足りないが嘘で電力会社の存続のために原発を稼働させようとしていることは、既に国民には悟られています。 精神文化を凌駕する文明は必要ない。これを契機に人間らしい生き方を選択すべきです。 日本人のその姿を世界に向けアピールして核のない未来を目指そう。
57631	個人	学生	20代	男性	できるだけ早い時期における全原発の停止・廃炉、ゼロシナリオに賛成します。	現在、大飯原発2基のみが稼働しているが、電力会社の他社からの買い取りなどに代表される供給電力の確保の努力不足や、省エネの見積もりの甘さから2010年なみの猛暑といえるにもかかわらず、電力は余っている。このことからも、原発依存の軽減における供給電力不足の懸念はないといえる。 原発を動かし続けることは、電気と同時に核廃棄物を生み出し続けることを意味する。まだ最終処理場も決定しておらず、この先10万年以上管理しなければならない核廃棄物をこれ以上生み出すべきではなく、これは将来の世代にむけた我々の責任だと言える。 また、将来的なエネルギー政策として、自然エネルギーへのシフトは不可欠である。 地熱発電等の日本の技術はすでに他国で取り入れられているものであり、現状でも十分発展のポテンシャルを持つものと考えられるが、さらなる技術開発、また普及への支援が必要と考えられる。 それだけでなく、建築分野や家電における省エネ技術のさらに奨励されるべきと考える。 国民の負担増についても、省エネによる必要電力自体の減少や、自然エネルギーの普及における価格の低下や関心の高まりからの自家発電の増加から一方的に増え続けるものとは考えにくい。また、原発を動かし続けた場合に考えられる原料の輸入コストや核廃棄物の処理コストを考慮に入れれば、それはさらなるものである。 以上の理由により、私はゼロシナリオに賛成する。
57632	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！ 今回のフクシマの事故で私達はあまりにも多くのモノを失い、また多くの事を気付かされました。 小さい子供を抱える母として、またこれからの日本を支える一国民として、 これからのエネルギーの問題は真剣に考え、取り組まなければなりません。 まず、原発のような、取り返しのつかないエネルギーにこれからも頼って生きるなんてまっぴらだ！ と声を大きくして訴えたいと思います。核は人間の手に負えるものではありません。 今までの大人がしてきてしまった事を悔やんだらキリがありませんが、 少なくとも今をまたこれからを生きる大人として、当たり前の行動をしたいと思います。 １年間使う電気を作るために、何万年もしくは何億年無くならない放射性物質を作るのですか？ 地震大国の日本がこんなに原発を抱えて生きていたなんて信じられません。 もんじゅに費やす税金があったら福祉に使って欲しいし、原発を動かすお金があったら 太陽光・風力・地熱・・地球と人間になるべく負荷の掛らないエネルギーに使って欲しい。 そもそも、枯渇するエネルギーに執着する意味も解りません。 人間は生かされているだけ。地球に住まわせてもらっているだけ。 地球に取り返しの付かない汚染を残すなんて大人のすることではありません。 大人は大人の行動を．．！ 世界に迷惑を掛けた日本が、原発なんて動かすべきではありません。
57633	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。また2030年で設定している根拠が不明です。そして本来であれば全原発の即時廃炉を求めます。	原発ゼロシナリオを選択します。また2030年で設定している根拠が不明です。そして本来であれば全原発の即時廃炉を求めます。
57634	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオで、即時原発停止と廃炉を望みます。	危険がゼロでない原発は、即時停止すべきである。 福島で起こった事故のせいで、多くの人が避難しており、まだ家に帰れない状況がある。 そんな中での再稼働には、憤りを感じています。 地球を汚してしか発電できない方法はやめるべきです。 地球をこれ以上汚さない、クリーンなエネルギーを選択する道に進むべきです。
57635	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。なるべく早く原発から撤退してほしい。	単純に危険なものを今の政府、官僚、電力会社に扱ってほしくないからです。エネルギー需給の選択肢は多いほうがいいに越したことはないが当座は火力でまかない、自然エネルギーの割合を増やす方向が一番安全だと思います。
57636	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発は、即廃止してください。	原発と人間の幸福は共存できないからです。
57637	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年　原発ゼロ	即、廃炉を希望します。 核のゴミの問題も解決していないのに、原発を動かすことはおかしい。 日本人を内部被ばくさせないでください。
57638	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロと温暖化対策の両立を目指してほしい	国産の自然エネルギーを利用して、原子力発電所をなくしてもらいたい。 火力だけでなく、風力、地熱など、国内にも利用できる自然エネルギーは たくさんあるはず。 今回の大震災でいかに原発が事故を起こしたときに危険なものか それがよく分かったはず。 原発ゼロを目指すのが政府として当然だと思う。 使っていないとき電力を使う原発、 解決できない核廃棄物の問題、 地震と津波の危険がいつも隣り合わせの日本で この先も原発に依存しようとするのは あまりにも無謀だと思う。 自然エネルギーを利用していけば 世界の日本の地位もあがっていくと思う。
57639	個人	学生	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	『2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべきです》 経済原理で人間性を無視する原発は不要です。 尽きることのない自然エネルギーを平和に利用することを望みます。
57640	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー・環境会議の決定した3つのシナリオの中で、ゼロシナリオを支持する。	「エネルギー・環境に関する選択肢」の「はじめに」の中にもあるように、『何より安全・安心なエネルギー』>『環境にやさしいエネルギー』>『安くて、特定の国・地域からの輸入に依存しないエネルギー」の順で重要だと思う。エネルギーの地産地消の観点からも再生可能エネルギー発電への重点投資が必要である。それは、かつて中曽根科技庁長官の音頭取りの下、原発開発政策へ邁進した時と同じことを次世代の分野で行うだけのことである。電源三法などの形で、資本をばら撒かなければ維持できない原発は、今後の低成長時代において、生産的な電源とはいえない。 「はじめに」の中でも、「原子力発電には相当の社会的費用があり・・・・価格差は中長期的には近接する」とあり、原発の優位性はここでも否定されている。 １－（１）－１）について、2030年までにGDPが2割以上増えるという「意欲的な目標」にどのような現実味があるか不明である。 １－（１）－２）分散型エネルギーは、私も重要だと思うが、3つのシナリオそれぞれにどう個別に対応しているか、分かり易い説明は無かった。 １－（１）－３）地球温暖化は、排出物の問題であるが、放射性廃棄物の問題と並べて考えるべきだ。どちらも地球を汚す物質である。放射性物質の無害化が技術的に不可能なままの、原子炉輸出には反対である。 １－（２）－１）現在は安全対策について、保留されたままといってよい。福島原発事故の原因究明は、二次災害防止の対応のため後回しになっている。莫大な放射性廃棄物の処理については、原発開発当時から、科学者の課題であった。原子力船「むつ」撤退を契機として、原子力はエネルギーとして限界を露呈していた。原発事故までに期待される原子力の技術開発できなかった時点で、原子力の科学技術開発は敗北であったと認めるべきだ。 １－（２）－２）エネルギーの安全保障については地産地消で、前述。安全保障はエネルギーだけの問題ではない。「食料の安全保障」などと合わせて考えるべきだ。 １－（２）－３）事故の対応で開発した廃炉や原発事故後の処理技術しか輸出すべきでない。この項が、原発輸出を意図しているのではないかとの懸念が拭い去れない。我が国の優れた技術が、現時点で自然の猛威に対応できなかった事を、謙虚に受け止めるべきである。原子力技術は、未完成の技術であり、その課題は、開発初期段階からクリアできていないことが問題だと考える。今後の原子力関連予算は、廃炉技術開発予算として、今までのクリーンエネルギー開発予算程度に留めて、関連分も含めて今まで原子力開発に注いだ相当分の比率で、クリーンエネルギー開発に注ぐべきである。 １－（２）－４）産業や雇用の空洞化を避けるためにも、クリーンエネルギーを初めとする新産業に転換させる積極的な施策が必要である。明治維新や、太平洋戦争後の変革を意識して、その不十分だった部分も合わせて、大胆に取り組むべきである。 以上の観点から、私はエネルギー・環境会議の決定した3つのシナリオの中で、ゼロシナリオを支持するものである。
57641	個人	学生	20代	男性	ゼロシナリオを希望します	昨年の震災により、原発事故が起こり、多大な被害が出ていると思います。このような事故が2度と起こり得ないように、今後は原発に頼らない「ゼロシナリオ」でいくべきだと思います。
57642	個人	会社員・公務員	30代	女性	即時0%を希望します。	日本の将来のために、これからの子供たちのためにも！　　原発のない社会を望みます。
57643	個人	パート・アルバイト	40代	女性	1ゼロシナリオ	大飯原発も即刻停止して、まず活断層の検査をしてください。たった一日でわかる検査をしていなかったのは関電です。再停止して損を被っても自業自得です。 耐震バックチェックを五年も放っておいた電力会社を信じる事は出来ません。 放っておいた電力会社に口を出せなかった規制機関を信じられません。 規制機関を指導しなかった政治家を信じられません。 糾弾出来る立場にいながら発表を垂れ流していた大手報道機関を信じられません。
57644	個人	家事専業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。	原発の使用済み燃料の処分方法が決まっていないままの再稼働はありえません。今までだまっている使用済み核燃料の処分をどうするのか、まずそれをはっきりさせてください。福島原発の事故処理も終わっていません。自然エネルギー発電にシフトすべきです。電力会社を選択できるようにしてください。東京電力の電気は買いたくありません。
57645	個人	その他	40代	女性	できるだけ早期に原発ゼロを実現すべきです。原発は事故リスクもコストも巨大すぎます。また通常の運転から出る核のゴミは持って行き場がなく、常に海へ温排水が出し続けられることは温暖化を進めると思います。	1、原発は事故リスクもコストも高い 各地で地震が活発化する中でこれ以上原発を動かす危険を冒すべきではありません。とりわけ活断層の真上にある原発は、今すぐ廃炉にすべきです。 発電コストの試算表も見ましたが、原発の事故リスクコストが0．6円／kWhとされていますが、東京電力の今回の値上げでは旧単価と新単価の差額は1．97円/Kwhです。この値上げ額とさえ整合性のない試算には大きな疑問を感じます。 2、原発運転から出る核のごみは持って行き場がない 事故の可能性が大きいことに加えて、事故が起きなくとも原発を動かす限りは持って行き場のない核のごみがつくられ続けます。どうするつもりなのでしょうか。 3、原発は地球温暖化防止に良いのか、疑問 また地球温暖化に原発が良いという意見もありますが、原発運転のためには常に温排水を海へ出し続けることを考えると、原発は温暖化をむしろ進めるのではないでしょうか。 ＜付記＞情報の公開について 有識者のコメント等は、公の立場で出しているのですから、すべて名前を明記すべきだと思いました。

57646	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の即刻廃止を希望します。	2030年まで、稼動なんて悠長過ぎる。唯一の被爆国の我々が、止めなくてどうする。目先、利益しか考えない政府は、貧の遺産でしかない核燃料に頼っている現状を恥じとすべきでしょう。
57647	個人	会社員・公務員	30代	女性	3つの選択肢のうち、原発ゼロを支持します。	電力会社のしくみの改善や、再生可能エネルギーの利用をふやすことで、原発ゼロでもエネルギーが充足し、環境への配慮もできる方法を模索する余地があると思います。 また、事故後の農業や経済活動や健康への影響を考えると、原発はもっともコストの高いエネルギーではないでしょうか。
57648	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。省エネ技術向上と再生可能エネルギー活用の促進を望む。	人知を凌駕する原子力事故の危険性。 原子力利権の解体を希望。
57649	個人	無職	30代	男性	(2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロに)というゼロシナリオを願います。	私がゼロシナリオを強く願う理由は、原発では、エビデンスに基づいた対策ができないと思うからです。 原発推進派だけによるいわゆる『秘密会議』や、いくつかの原発での事故隠し（電力会社や、原発を動かす会社によるものでしょうか）がおこなわれてきたことから、客観的な証拠・データ（どの分野でも、もともとそんなものは存在しませんが、極力排すするよう努力するのが真摯な態度だと思っています）が出てくる可能性の薄い原発は、これ以上の運用は難しいだろうと感じています。 廃炉にして新たな発電方式を探す費用や、原発で働いてらっしゃった方々の雇用など、経済的な問題が重くのしかかるとは思います。 それを見込んでも、使われている放射性物質が外部に漏れだしたら大きな問題となる原発に関して、客観的なデータや証拠が出されない可能性があることを考えると、エビデンスに基づいた対策は困難であると考えます。 今までの経緯からエビデンスに基づいた対策が困難で、それは経済的な損失を上回るリスクだと考え、私は、ゼロシナリオを願います。
57650	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを選びます。今すぐ大飯原発を止めて再稼動を一切認めず全ての原発を廃炉にする。	ゼロシナリオを選びます。 今すぐ大飯原発を止めて再稼動を一切認めず全ての原発を廃炉にする。2030年まで原発を動かしていい訳では決してない。 今回の原子力規制委員会の人事案には、絶対反対。 田中俊一氏は始めとする原子力村からの人選などありえない。 福島第一原発自体決して収束などしていない。政府が言う「冷温停止状態」「収束宣言」など聞いてあきれる。今後もどんな危機的状況に陥るか気が気ではない。 電気は足りている。危険な原発をやめる決断の時です。
57651	個人	会社員・公務員	30代	男性	脱原発	タバコと一緒。 今やめるべき。 ズルズルはだめです。 思い切った英断を
57652	個人	無職	60代	男性	原子力発電が今後の日本や世界のエネルギー政策の基本委なることに大きな憂慮を感じる。早期に原発依存の政策を改めることを求めます。	その最大の理由は、福島の現実が教えているように、事故が起こったとき現時宇津にその地域に住めなくなる。国の最大の責務はすべての国民の安全と安心をもたらすことであろう。 また、使用済み核燃料をはじめ、放射性廃棄物を後世に残すことは、無責任を子孫の付けとして残すことになる。
57653	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択します。	理由は、今回の原発事故による甚大な被害や、処分できない放射性廃棄物の問題はもちろんのことですが、働くひとをめぐる問題に限っても、原発というのものは、多くの犠牲――例えば、原料であるウラン採取時の被ばくにはじまり、原発を維持する上で必ず発生する（しかしながらあまりクローズアップされていない）下請け会社を中心とする原発労働者の被ばくなど――のもとに成立するエネルギーシステムであることを学びました。ゼロシナリオを選択することで電気料金が高騰しても、それは引き受けるべき負担であると考えます。以上です。
57654	個人	自営業	40代	女性	「ゼロシナリオを支持します」	・核廃棄物問題、四季もあり食べ物もおいしく水資源の豊富な日本をこれ以上汚してほしくない。 水、農産物、海産物などは今後輸出に力を入れてはどうか ・すぐに原発以外のエネルギーや蓄電技術に日本として力を入れ、世界に向けて技術を自慢できるような日本になって欲しい。 ・廃炉ビジネスも技術輸出産業へ ・また原発作業員の方などが、炎天下でもマスクや防護服が不要で被曝の心配をしなくて良い笑って過ごせる仕事が必要。
57655	個人	会社員・公務員	50代	男性	このような選択肢提示自体稚拙だと思います。でも原発はすぐゼロとしなくてはいけないと思い、意見を申し上げます。	原発をコントロールできる技術ができていないのは明白。これは廃棄物の処理も含みます。今自然エネルギーに日本は必至になってむかい、世界をリードする契機とすべきである。
57656	個人	その他	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	電気エネルギーは、私たちの生活を支える必要不可欠な基盤のひとつです。必要だから、ないと困るからとひたすら電気をはじめとするエネルギーを消費し、その便利さを享受することのみに捕われていました。昨年起きた3.11の大震災は、皮肉なことに、私たちが自分たちの生活を根本から考え直し、物やエネルギーの大量消費から抜け出すきっかけにもなったように思います。 昨年3月、関東地方の一部地域では計画停電が実施されました。半ば強制的な措置であったにもかかわらず、誰一人文句も言わずに協力し、さらに大きな電力需要が見込まれる夏は計画停電なしで乗り切ることができました。確かに夜は町中や駅のホーム、商店街がいつもより暗く、最初は違和感を感じました。でも、すぐにそれに慣れ、今までが明るぎたとさえ思うようになりました。 そして、多くの家庭が節電対策に協力しました。でも、苦痛を感じるほどではありませんでした。企業のなかには業績の悪化を招いたところもあるかもしれませんが、多くの企業が協力し、節電の努力をしました。 今回、エネルギー・環境会議から提示された3つの選択肢に、昨年の電力危機を乗り切った国民や企業の「覚悟」を反映したものが見られなかったのは、残念としか言えません。最初に書いたように、私たち国民の多くは今、大量消費を反省しています。便利さが全てではない、今までは不便だと思っていたことが実は不便ではなかった、それよりも安全と安心が大事だと気づきました。 しかし、それだけでは決して十分な節電はできません。地域ごとに存在する巨大な電力会社が、全く競争のない状態で巨大な発電所で大量に発電し、送電まで独占する状態が続いていてはこれまでの原発第一主義の電力供給体制から抜け出すことはできないでしょう。再生可能エネルギーが重要といいながら、かたくなにそれを拒否する企業が電力供給を牛耳っていては新しい技術が生まれても育つはずがありません。 福島第二原発の事故により原発の安全神話は崩れ去りました。安全対策が万全とはいえず、事故の原因究明ができていないにもかかわらず、2030年まで原発を残す選択肢を考えることはできません。 私は、「原発ゼロシナリオ」を求めます。
57657	個人	会社員・公務員	40代	男性	選択肢(1)のゼロシナリオを希望します。即時廃止。	原発がなくても電力が足りることがわかりましたし、天然ガスを安く買えばコストはそんなにかからないと思います。 今生きている人間だけでなく、これから生まれてくる子供達や、生きとし生きる全ての者のために、安全な未来を築きましょう！
57658	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 すでに原子力は時代遅れの技術です。 こんな未来の見えない技術にいつまでもしがみついていては 今以上に世界に遅れをとる時代が必ず来ます。 15%シナリオでは原子力の予算配分が変わらないため 他の技術に対しての研究開発の進行を妨げることになり 日本経済が活性化しないという結果に直結する。 世界に遅れをとるのが眼に見えている現状を無視することはできません。 1日1時間1分1秒でも早い原発依存0%を実行するため 直ちに稼働停止を希望します。 徐々に原発依存率を減らすなんて戯言では すでに知識を持ってしまった市民を騙すことはできない。 抗議デモからも見えるように市民のリアルな声に気付いて下さい。 速やかな廃炉を。
57659	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発廃止希望	日本に原発はいらない。 東北大震災以降、放射能をばらまいている日本、世界の中でも厄介者となっていると海外報道のサイトやニュース等で見るに感じております。 先日、8月6日と9日の長崎広島の平和への想いは、それに通じると思っています。 日本は、生活に密接な部分での核と同じ脅威を持っているに等しいのではとも。 代替案はもちろん必要です。ただそれが出てから動くのでは無く、廃止を決めて新しい日本を世界に見せて欲しいです。 新しい日本は、新しいエネルギー政策の世界の先駆けになって欲しいです。 現時点で、2030年に全原発廃止ということであれば、最悪でもこれが最短では無く最長の展望として行って頂きたいです。 そして、のちの政治家の皆様や国政として、これを変更することも不可として進んでいってください。 再稼働せず、可能な限りこのまま凍結して行ってください。
57660	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを支持します。	日本国内の全ての原発を廃炉にするシナリオを支持します。 安全が確約されておらず、人間がコントロール出来ないエネルギーではなく、自然エネルギー政策への完全なる方向転換を支持します。
57661	個人	その他	30代	男性	0しかありえません	福島のみならず日本全体に被害を及ぼした以上、原発は0にすべきです
57662	個人	自営業	40代	男性	原子力発電の即時撤廃	核廃棄物の処理は解決できない。 一度事故がおこればこの狭い国土からは逃れようが無い。 新しい価値観を構築し、低エネルギー社会に向けての道筋を付けるべき。 速やかに天然ガスと石炭を利用した火力発電を主力に、再生可能エネルギーの可能性をさぐるとき。
57663	個人	その他	40代	男性	提示されたシナリオのうち、20～25シナリオを支持する。但し、再生可能エネルギーには過度の期待をおかない。	東日本大震災における福島第一及び第二発電所の事故を以って、反原発・脱原発を声高に主張する人達が増えている様ですが、これは「T型フォード」に問題があるからプリウスも走らせるのを止める」と言うのと等しく感じます。何れの発電手段に於いても相応のリスクは存在しており、これを可能な限り低減しつつ運用する他はないと考えます。そもそも昨年2月頃までは原発の発電比率を50%程度に高めるとの指針が出されていた様に記憶しております。 再生可能エネルギーについては、現状、何れの発電手段に於いても大容量を安定して供給する事も出来ていない様に感じます。既存の発電形態に代わる手段として提示するには、この点は最低限達成されないと不適格です。コストについては、5～10%程度の上昇は容認出来ますが、これを超えるとなると従来手段で良いと判断せざるを得ません。 企業活動も含め、現状私達の生活は、大量の電気に支えられています。2010年12月の東芝四日市工場のように、発電の瞬断が莫大な損害を発生させる事もあります。安易な選択によって生活を壊すような事はあってはならないのです。
57664	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロ 再生可能エネルギー70%	発電中の事故リスク、使用済燃料の危険性、管理体制、後世への負担を考慮すれば、原発ゼロ以外にありません。 今さえ良ければ、バレないだろう、国民を騙せるだろう…と、考えておられるのでしょうが、もうバレています、現実を観て、私利私欲を捨て、国家の将来、国民の将来、世界、地球の未来を考えれば自ずと答えはみえてくるはず。 責任の取り様が無い事（原発、放射能）を、責任を取れない者が、責任を持って稼働するなどと言う事自体おかしな話です。
57665	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年ではなく、日本国内にある原子力発電所の全て、高速増殖炉・もんじゅの即時停止から廃炉を求めます	2011年3月に起きた福島第一原子力発電所の内の4つが爆発し、その後の発電所内の処置も完了せず、その周辺への汚染が明らかにされておらず、未だに収束しません。 過酷事故が一旦起きた場合、今回より迅速に正確かつ、国民を安心させるような法律も状況もありません。 未だに農作物や家畜、野生動物などから高い汚染が確認されており、その範囲は200kmを超えています。 まずは、今起きている事への全力で、全速力での対処と、被害者への対応を。 そして、今回起きたことから学ぶという姿勢を見せて下さい。そのためには、即時全原子力発電所を停止し、廃炉へ向かう為の、そして起きた事故を収束させる為の研究を。 原子力発電所が止まってもその地域がやっていける経済対処をお願いします。 安心して暮らせれば、日本人はちゃんと働いて経済を回していける民族だとおもいます。 全原発、高速増殖炉・もんじゅの廃炉を！
57666	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力エネルギーの活用をすべての産業からなくすことを望みます	・廃棄物の問題は自分たちの世代で解決できる問題ではありません。しかし、次の世代に引き継ぎたくはありません。 ・経済性よりも人間性の方を大切にしたいです。 ・地球を傷つけることは、人を傷つけることよりも悪いことです。
57667	個人	学生	20代	女性	原発ゼロシナリオ	原子力発電はハイリスクハイリターンです。 地震が多く国土の狭い日本では、その環境に合った発電方法を模索するべきです。 日本の環境の特性を生かした地熱発電などの研究・普及に力とお金を使い、少しずつ原子力発電から自然エネルギーにシフトしていって欲しい。
57668	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発、なくしてください。危険な放射能を制御できない原発はいりません。	事故が起こった時、人の手で制御できないからです。
57669	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオ	安心して暮らせ子供たちの未来を大切にして行く国作りをしてほしい。
57670	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発即刻ゼロを希望します。	命を危険に晒してまで、電力に依存したくありません。
57671	個人	自営業	40代	女性	原発なしでも、十分に我々の必要な電力は供給されていると信じている。政府は誰に騙されているのか？世界中のイルミナティ信奉の一国に日本が成り下がっているのを世界中に示しているのが分かっていること。	原発、それこそが、世界をゆがめ、そして、一般と言われる国民に被害を及ぼしているのに、日本もその一因になって、世界に恥をもたらし、その上に、子供の将来もぐくそうとしているのは、なぜなのだ？そうだ、イルミナティ率いる、悪魔の軍団が世界の人々を殺し、人口減少運動を図っているのだ。マイクロソフトのビルゲイツにしろ、お金を使っていいように見せて、実際にやっているのは゛ゆっくりとした人殺して、表向きいい顔をしている奴らがこの原発を建てて、嘘を思いっきり上手についているのだ、だから、絶対に許してはならない。神様がご存知である。
57672	個人	会社員・公務員	50代	男性	直ちに原発依存をやめる	とりあえず大飯原発の運転を止めて原発が動かない場合の影響を見てみたらいかがでしょうか。今まで原発村の人たちや政府にだまされていた事に多くの人がきずく事になり、政府の人には都合が悪いかも知れませんが多くの国民にとってはとてもよい状況になると思います。推論が入ってしまうのは情報開示が適正に行われずに原発村に都合の悪いことを隠蔽する体質が染み付いている事が問題と思われますので直ちに改善して下さい。

57673	個人	その他	40代	男性	原発0%をめざしエネルギー割合を調整して行き、5~10年後の状況を見て再検討する。	現実的に今すぐ原発は困難であるが、新たな持続可能エネルギーの開発をすすめていくためにも、研究、予算の再分配が必要であると考える。
57674	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロを選択すべきであると考えます。	日本の国土だけでなく、世界中の空気や海を汚染し、完全な除染ができない現実において、原子力による発電を続けることは絶対に許せません。 今すぐに、全ての原発を廃炉にし、もんじゅに関する全ての活動も中止すべきである考えます。 原子力以外による発電方法を模索・確立することで、新たな産業を生み出すことが期待できます。 原発がなければ電力が不足するというネガティブキャンペーンや、安定的な経済活動に支障がでるというのは、大いなる欺瞞です。 電力事業者とそれに融資している金融機関を守るために、なぜ、国民はすでに放出され、そしていまだに放出され続けている放射性物質におびえながら生活しなければならないのでしょうか。 福島の事故により、被爆国の国民として放射能の恐ろしさを訴えてきたにもかかわらず、日本国民は、世界中に汚染をもたらしたという負い目を未来永劫背負ってしまったのです。 東京電力はもちろん、原発を保有する全ての電力事業者と、それらに融資している金融機関は、最大級の事故を起こした責任を明確に認めるべきです。 一刻も早く、核廃棄物の処分方法こそを確立し、原子力によらない発電方法による経済活性化をめざすべきです。
57675	個人	自営業	60代	女性	直ちに原子炉再稼働をやめさせる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける	ご意見の概要 エネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。原子力エネルギーへの依存を即終了させる、より踏み込んだ原子力エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。 御意見及びその理由 新しく提案された3つのエネルギー計画の筋書きはどれも、将来の世代に対して安全できれいな日本を約束するものではありません。私たちは原子力エネルギーへの依存を直ちに終了させる、より踏み込んだ核エネルギーゼロの筋書きの提案を求めます。 具体的に私たちは以下を要求します： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがただが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
57676	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発利用は反対、0%利用を選択 元々化石燃料利用発電の代替案でしかなかった。それを、原子村官僚、保安院、電力会社が、その利権を貪り、制御・リスク管理もしない・できないのであれば、0%の利用にすべき。	元々化石燃料利用発電の代替案でしかなかった。 世界で唯一の被爆国日本がすべきことは何かを真剣に考えましょう。 広島＆長崎の原爆の件ですが、私の小学校の図書館には、広島＆長崎の原爆の構造・作成方法から起爆・投下爆発・被爆報告（日本＆US）までの詳細な文書・書籍がなぜかありまして、私はこれを小５－６年で熟読しました。その内容のあまりの悲惨さに子供心に、原爆＆水爆＆黒い雨への強烈な否定的イメージを焼き付けられました。米国の原爆・水爆の実践効果報告書や関係TV放送がたまにしかないので、もっと実際の悪影響や遺伝や差別などの問題を、唯一?の被爆国の日本人として、皆が現実と詳細を知り、語り継ぐべきと考えます。小学校図書館の本は探しに行くつもりですが、あるかは?不明です。 話が変わりますが、その後私のお客様の一つに、核融合?炉国際プロジェクトの方々が有りましたが、その方々と話す時でも?現実の技術や材料で何１０００℃以上の高温プラズマを人間がコントロールできるのかっとどうしても疑問視してしまいましたね。決して人間の技術や科学の可能性を否定するものではありませんが・・ 人間はもっと、自分たちの能力に謙虚でなければいけないと思います。ましてや、官僚や電力会社の自分たちの利権の為に、国民を欺き、危険な状況にさせることは、許せない。
57677	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオを支持	災害時に対応できない原発はこれからは必要とされない。 太陽光、風力等のエネルギーに転換しなければいけない。 それらが未来の産業となる。
57678	個人	法人等	30代	女性	「原発ゼロ」シナリオを選択します。	二度と、私たちと未来の子どもたちが、放射能の被害に怯える国にしないでください。 そのために、安全で安心なエネルギーの開発にもっと取り組んでください。 再生可能エネルギーの開発にもっと取り組んでください。 これまでの原発開発にかけてきた力をもってもっともっと取り組みを強化してください。 そして、後エネルギーへの取り組みをもっと強化してください。 ピーク時の電力使用を抑えるなどの取り組みで、もっともっと努力は可能なはずです。 原発の再稼働を中止し、できるだけ早い段階での原発ゼロをめざす取り組みをしてください。
57679	個人	家事専業	70代	女性	ゼロシナリオを選びます	生命が大切だから。放射能物質が人体に大きな影響を及ぼす限り使用すべきでない
57680	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを選択すべきと思います。 今が大きな転換期ととらえ、思い切って原発をなくす決断をし 、クリーンエネルギーの開発に日本の技術力を 注ぎ込むべきと考えます。	ゼロシナリオでは、大幅なCO2削減が難しいことや、 再生可能エネルギーや省エネルギーを進めていく面で 、厳しい現実もあるのかもしれません。 それでも原発はできるだけ早期になくしてほしいと考えます。 原発は一度事故が怒れば、その被害は長い間継続して、 子どもや孫の代まで影響を及ぼすものだと思います。 汚染された土地や海を次世代に残さないためにも、 他のエネルギー源の導入に力を入れるべきです。 また、日本は世界で唯一、核兵器の被害を受けた国でもあります。 そして今回の原発事故でも甚大な被害が出ています。 このような歴史の上で、それでも原子力に頼っていくのは 外国からはどう見えるのでしょうか。 こんな事故を起こし、その対応も適切とは 言い難いことばかりなのに、原発の輸出をするという発想は どうかられるのでしょうか。 とても疑問です。 諸刃の剣ともいえる原子力をやめ、 命を脅かさないエネルギーの開発に取り組んでこそ、 海外からの信用も得られるのではないでしょうか。 現状ではコストの高い太陽光などの再生可能エネルギーを どうやってうまく増やしていくか、現在原発によって 生活が成り立っている人たちが、暮らしていくために 他のどんな道を示せるか。 それにこそ知恵を絞らなければなりません。 原発を使い続ける道を選んでしまうと、 それが逃げ道になって、再生可能エネルギー導入の 苦労から逃げたり、原発で設ける人を守る方に思考が傾いてしまいます。 原発をやめることを決め、そこから発生する様々な問題に 日本の技術と知恵を使っていかなければならないと考えるので、 原発を残す選択には賛成しかねます。
57681	個人	学生	10代以下	男性	いずれのシナリオも反対、原子力は減らさない	「エネルギー・環境に関する選択肢」を読んだが、いずれのシナリオを実行しても電気料金は上がる。そうするとどうなるのか？　国民の生活は？　産業は？　国内産業の空洞化が起きたら、国民生活は悪くなる一方だ。だたの一人も死なない放射能汚染よりも、よほどこちらのほうが問題ではないのか。 電気はライフラインであっても、節電にも限度がある。現に、この夏の猛暑ではすでに何人もの人が熱中症でたくなっているが、これを防ぐためには電気が必要だ。しかも、その電気はお天気任せではなく、必要な時に必要な量がきちんと得られなかったらだめなのだ。 産業だって同じことだ。昨年の節電では、産業界として相当のダメージがあったとの報告もある。これが続けば、日本経済はどうなるのか。 太陽光がもてはやされているが、国民の税金を大量に投入して まで導入する意味が分からない。金の無駄づかいだ。 よって、原子力を減らし、再生可能エネルギーを大量に導入するような今のシナリオには、まったく賛成できない。原子力は減らすべきではない。
57682	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年には原発0%となることを強く願います。	私は広島市で生まれ育ちました。原爆に含まれる放射性物質の恐ろしさは幼い頃から耳にタコができるほどに聞かされて育ちました。 共に育った従兄弟は、数年前に福島県の伊達市に引っ越し、子どもを2人授かりましたが、今、伊達市で本当に苦しんで生活しています。 一番大切なものは、経済ではなく命だと考えます。命を守れない経済に価値はありません。 原発依存から抜け出し、よりよいエネルギー生産方法の可能性を探っていただきたいです。広島の人間として教わったことを、原発を許してきた私たちはいかせなかった。だけど、この福島の事故を契機にいかさなければならないし、それこそが日本の役目だと思います。 国政を支える皆様のご英断を強く望みます。よろしくお願いします。
57683	個人	無職	50代	男性	多くの困難を乗り越えてでも美しい日本の環境に戻すため、原発依存比率は、0%を目指すべきと考えます。2つの原爆と今回の原発事故を教訓に技術立国日本は、再生可能エネルギー主体の環境先進国に変わる時です。	原子力の平和、安全・安心利用は、困難な課題が多く、これらを払拭できる技術力、コンセンサスが得られていない。 〇平和利用 世界の情勢を判断すれば、原子力の平和的利用の枠組みを常に超える危険がある。開発当初から、非平和的利用を視野に入れて構築された技術分野である。（なお、我が国が原発利用を断念しても、この懸念は払拭できませんが、日本の核廃棄物が利用されることは防ぎたい。） 〇安全性 原子力の安全神話は、事業推進を図る行政、業者、メディアの共同作業により時間を掛けて構築されたものである。事故を経験しても、本質的な変化が見られないようです。私は約30年前に、原発に使用される重要部品の動作不良の原因究明プロジェクトに参画しました。原発関連事業では、支障の可能性がある程度では電力会社への報告はしないことが通例となっているようなことで、電力会社への報告はしないと聞いていました。その程度で報告されても、電力会社は対応できないためと説明を受けましたが、このような進め方では、重大な故障を招く懸念していました。その経験があったため、今回の事故も各種の支障の可能性の一つが表面化したものと思いました。電力会社や監督官庁だけを責められず、原子力神話を構築した社会の変革が求められますが、現在のところ、その社会が急変したとは思えません。日本の優れた技術力も正しく使われなければ、その成果が発揮できず、多くの人がこれに気づいていません。 〇安心できる生活 放射性物質による生体への影響について不安感があり、安心して生活できる環境にない状況である。食品選択、子育てへの不安感のない環境作りには、原発は不適当である。
57684	個人	その他	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持。即刻ゼロにすべき。当然、核燃料サイクルも中止。 国や電力会社は今まで国民の健康と安全を蔑ろにしてきたし、その姿勢が事故後も変わっていない以上、他の選択肢はあり得ない。	政府や規制当局、電力会社は、日本の原発における地震や津波のリスクを知りながら、現在まで必要な安全対策も講じずに原発を建設し運転してきました。 そして、最悪の事故を起こした後には、正しい情報公開をせず国民に被曝を強いて、家畜やペットは汚染地域に置き去りにし見殺しにしているのです。 また、原発は運転する限り、有害で管理が極めて困難な核廃棄物を生み出しますが、処分方法も確立しておらず溜まり続けています。 そして、現在も福島でたくさんの方々が被曝しながらも作業にあたっていますが、原発は事故が起きなくても常に被曝しながら作業する労働者の犠牲のもとに成り立っています。 安全のために必要な設備費用や、立地自治体への交付金、事故による賠償や補償、廃炉費用、使用済み核燃料などの核廃棄物の処理や最終処分にかかる費用をなどを全く含めずに、原発が他の発電方式と比べてコストが安いとなどと主張してきました。 このように様々な問題があるのに、国や電力会社は原発は「安全」「エコ」「クリーン」と言い続けてきました。 国や電力会社が莫大な費用をかけて宣伝してきたことが全て嘘でした。 福島第一原子力発電所の事故は未だ収束していませんし、事故の原因や責任の所在も明確になっていません。 全国の原発の安全性や管理体制は不十分なのは明らかであり、重大な事故が再び起こる可能性がある限り原発は稼働させるべきではありません。 それなのに、政府は危険な大飯原発を再稼働させました。規制委員会人事案をみても、今までの規制当局を代わり映えのしない人選です。 国や電力会社は、このような過酷事故を起こしたのに、全く反省していないとしか思えません。そのような日本の国や電力会社には原子力を扱う能力や資格はありません。 このパブリックコメントがどのような扱いをさせるのか分かりませんが、しっかり政策に反映していただくようお願いします。
57685	個人	学生	30代	女性	火力、地熱、水力、太陽光、などを最大限活用し、かつ開発を進めていくこと。 多額の公的資金を使うのなら原子力やめる方へ使うこと、再生エネルギーの開発に使うこと。 電気は必要、だけど原子力は不必要。	老朽化した原発を動かすことのリスクの高さ、福島の反省を。 東京電力に対する疑念、運営能力に不安と疑問が有り過ぎるため。 再生エネルギーの促進こそ、世界における日本の経済的な価値が見出せるため。
57686	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ絶対支持。	311を経験し、原子力に失敗は許されないことがようやくわかりました。利用してはいけない力だと思います。未来のために原子力絶対反対です。
57687	個人	法人等	50代	男性	国と電力会社は、原子力発電所、核分裂を伴う施設を、可及的速やかに停止、廃炉とすべきです。国民から負託された信頼を裏切る情報の隠匿、偽装が行われており、核施設建設・運転の前提条件が破綻しているからです。	2030年ではなく、即刻0%を支持します。国と電力会社は、それぞれの原子力発電所、および核分裂を伴う施設を、可及的速やかに停止、廃炉とすべきです。 理由は、設置段階において、国民から負託された信頼を裏切る行為、すなわち原子炉の安全性、設置場所の適合性、将来起き得るリスク等に関する情報を隠蔽し、所謂「安全神話」といわれる間違った常識を偽装、流布したことです。これらは、当時の政策立案者(政府)、その実施者(電力会社)が共に、核技術という人類の滅亡にも至りかねない、極めて危険な技術の取り扱い資格を根本から欠いていたことを意味し、その後も引き続き政策と核施設維持を行った当事者も、同様に国民の信頼に応える意思も資格もない者たちであったことを表しており、わが国の核施設存在の前提条件が満たされていなかったといわざるを得ません。 更に、原子炉から出される高レベル廃棄物の処理方法すら確立されないまま、また、処理のための基本方針も打ち出せないまま、危険な廃棄物は年々蓄積されているのが現状です。 このような優柔不断、正義感無き政策立案者、実施者の管理する核という極めて危険な技術と、この国で暮らすことに重大な危惧を日々感じると共に、将来の世代に負の遺産を残すことに一顧の反省すらない上記当事者に対して、満身の怒りを感じます。福島第一原発が今も放射性物質を垂れ流し、全世界の人類に迷惑をかけ続けている日本人の一人として唯一出来ることは、日本から核技術に「拒否」の意思表示を突きつける、その第一歩を記すことだけだと確信しています。

57688	個人	法人等	50代	女性	提示された3案の中では、原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とし、その実現のために電力会社と国に最大限の努力を求める。	意見 提示された3案の中では、原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とし、その実現のために電力会社と国に最大限の努力を求める。 理由 (1)原発をコントロールする能力を人類は有していない。自然災害、人為災害、いずれの可能性も日々排除できず、事故が発生した場合は極めて悲惨な結果をまねく。 (2)放射性廃棄物を処理する技術もなく原発を稼働させることは、日々危険な物質を生産することである。子どもたちの未来に負荷をかけるようなことをしてはならない。 (3)たとえ事故に至らなくても、原発はこれに身近にかかわる労働に携わる人々の健康を日々脅かしている。被曝による健康被害は何によっても保障できるものではない。 (4)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。
57689	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原子力発電の安全性を確保した後に、老朽化した原発から廃止し、10年とか20年とかではなく もっとじっくり数十年から100年ほど時間をかけながら 徐々に原発の比率を下げていくのが現実的だと思います。	原子力発電の安全性を確保した後に、老朽化した原発から廃止し、10年とか20年とかではなく もっとじっくり時間をかけながら徐々に原発の比率を下げていくのが現実的だと思います。 日本は、資源のない国ですから、原料を輸入してより価値の高い製品を生産し それを売っていくのが、これまでも、またこれからもしばらくも、 国民がある程度の生活レベルを保ちながら生きていける道ではないかと思います。 そのためには、安定的な電力の供給は必須です。 確かに、多くの被災者が苦しむ原発事故が起こってしまったのは事実ですし、 これから将来原発を推進していくのは国民全体の感情としては難しいものがあると思います。 しかし事実に基づかない、不安や恐怖をあおられた方々の大きな声によって 短絡的、かつ原子力発電の比率低下を行うことは、 国力の低下を招き、結局は国民の不幸を招きます。 人気取りにあまわることなく、しっかりと上手に情報提示をしながら 長期的な視点に立って、リーダーシップを持って政策を決定し 推進して欲しいと思います。
57690	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力は人間の力ではコントロールできません。核廃棄物の処理方法の研究のみすすめ、エネルギーとしての利用は速やかに止めるべきです。	今のままでは、現世代は10万年先の人類にまで借金を残した愚かな世代といわれるでしょう。 目先の欲望の追求の結果が今の結果です。
57691	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオに賛成します。	地震の多い日本ではいつでも東日本大震災のような原発事故につながる地震が起こる可能性があります。国は原発事故は起こらない、安全だと言っていましたが先の東日本大震災での福島の原発事故によって国が言っていたことが嘘だとわかりました。これ以上日本を汚すことのないよう原発はゼロにすべきだと思います。未来の子供達にきれいな危険のない日本を残すべきだと思います。
57692	個人	パート・アルバイト	40代	女性	即時廃炉、原子力発電所ならびに、関連施設の廃止（医療、放射線物の、廃棄に関する研究をのぞき）を希望します。	放射性物質の廃棄方法ならびに、福島県での事故収束が済まない状況において、エネルギーは、別の方法を選択すべきです。
57693	個人	学生	30代	男性	ゼロシナリオを支持する。しかし、3つの選択肢は温暖化対策の観点からは全く不十分である。脱原発を実現しつつ、2010年までに1990年比で温室効果ガス排出量を25%削減する選択肢を要求する。	福島原発事故によって、原子力発電技術の安全神話は完全に崩れ去った。「想定外」の事故は起こりうるし、それによる被害は甚大である。現世代、そして将来世代へのリスクを低減させるためにも、原子力からの完全脱却を実現させなければならない。提案された3つの選択肢からは、脱原発という観点からゼロシナリオを支持する。しかし、温暖化対策の観点からは、ゼロシナリオを含めた全ての選択肢が抜本的な再考を要する。脱原発を実現しつつ、2010年までに1990年比で温室効果ガス排出量を25%削減する選択肢を作成していただきたい。 経済規模と産業構造が日本と類似するドイツでは、福島原発事故によって原発廃止時期が2036年から2022年に前倒しとなるという変更があったものの、野心的な温暖化対策、再生可能エネルギーと省エネルギーの大幅促進というエネルギー政策の中核部分は堅持されている。つまり、日本のように脱原発と温暖化対策がトレードオフの関係で議論されることはなく、これらはむしろ共存する目標として打ち出されている。また、温暖化対策、再生可能エネルギー、省エネルギーに関する中・長期の数値目標を定め（前者2つに関しては10年毎の目標）、具体的な施策を打ち立て、独立専門委員会と市民の意見を反映した目標達成度の監視を行っている。ドイツのエネルギー政策の主な政策目標は以下のとおりである。 － 温暖化対策：温室効果ガス排出を1990年比で、2020年までに40%、2030年までに55%、2040年までに70%、2050年までに80～95%削減。 － 再生可能エネルギーの普及：最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合を、2020年までに18%、2030年までに30%、2040年までに45%、2050年までに60%に向上。また、電力消費量に占める割合を、2020年までに35%、2030年までに50%、2040年までに65%、2050年までに80%に向上。 － 省エネルギーの促進：一次エネルギー消費量を2008年比で、2020年までに20%、2050年までに50%削減。 日本はドイツを含めた海外諸国の脱原発政策から学べることがまだあるのではないだろうか。脱原発と温暖化対策を両立させる新たな選択肢の作成をお願いしたい。
57694	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します	福島原発事故では多くの人が大変な被害に遭いました。 その後の政府の対応なども含め 国民として失望することが多々ありました。 地震大国の日本では 原子力発電は向かないと考えております。 次世代に核廃棄物の処理を おしつけるようなやり方は 倫理的にも、ゆるされることでは ないと思っております。 自然エネルギーを中心とした 脱原発の選択肢を支持します。
57695	個人	学生	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。 原発は危険なので即刻停止そして廃炉に向かって戴きたい。 活断層、集中豪雨による洪水、隕石の落下に要注意。 経済よりも安全を優先。	原発ゼロシナリオを選びます。
57696	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを希望する。また、再稼働自体をするべきではないとも考える。	日本は狭い国土に多くの活断層があり、事故の可能性は残り続ける。 原発の発電コストは決して安くはない。 原発推進のそもそもの前提である核燃料サイクルが現時点で実現不可能である。 以上三点と、それらを巧みに隠し、国民を騙しながら原発を推進してきた体制に、大いなる不満と不信がある為、原発ゼロを希望する。
57697	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオ	真に日本という国家の未来と存続を考える上で、土地、そして其処に住む日本国民の血統に多大な悪影響を及ぼし得る放射線被害を及ぼし得る原発は段階的に減らし、最終的には全て廃炉にすべきだ。
57698	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発はいらない。	今変わらないと日本はずっとこのまま変わらない。意見を持たない、流される、利用される国のまま。こんな大きな問題を解決できたら日本という国にもっと誇りを持てるようになる。脱原発。その後のことはまた皆で考えればいい。もっといろんなことをクリーンにしていこう。
57699	個人	家事専業	60代	女性	即刻廃止を強く望みますが、選択肢にないため2030年までに0%を選択	経済の停滞か、福島のような命・郷土・生活に甚大な被害を与える原発か、どちらを選ぶかと問われれば、原発即刻廃止しかない。 首相官邸前の金曜集会に集まる民意をしっかり受け止めてもらいたい。 総力を結集すれば、次世代エネルギー開発や政策で世界をリードできる力が、この国には必ずあると信じる。
57700	個人	その他	30代	男性	(1)ゼロシナリオに賛成	福島原発事故による被害は人的経済的にはかりしれず、とてつもないリスクがあることが明らかになりました。現在の科学の水準では原発は発電技術としては使用すべきでないと思います。 原発ゼロの政治決断をし、エネルギー政策の中心に自然エネルギーの普及促進をすえるべきです。法制面の整備や地域の産業振興、エネルギー安全保障など一体的にとりくみ、自然エネルギー先進国として国際社会の中でイニシアティヴを発揮すべきだと思います。
57701	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロ。即時廃炉。	地震の多い日本に原発は危険すぎる。先見の明をもって未来の人たち地球全体の事を考えてエネルギー政策もすすめていくべき。高速増殖炉もいい加減諦めましょう。税金の無駄遣いです。
57702	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！ 今回のフクシマの事故で私達はあまりにも多くのモノを失い、また多くの事を気付かされました。 小さい子供を抱える母として、またこれからの日本を支える一国民として、 これからのエネルギーの問題は真剣に考え、取り組まなければなりません。 まず、原発のような、取り返しのつかないエネルギーにこれからも頼って生きるなんてまっぴらだ！ と声を大きくして訴えたいと思います。核は人間の手に負えるものではありません。 今までの大人がしてきてしまった事を他やんだらキリがありませんが、 少なくとも今をまたこれからを生きる大人として、当たり前の行動をしたいと思います。 １年間使う電気を作るために、何万年もしくは何億年無くならない放射性物質を作るのですか？ 地震大国の日本がこんなに原発を抱えて生きていたなんて信じられません。 もんじゅに費やす税金があったら福祉に使って欲しいし、原発を動かすお金があったら 太陽光・風力・地熱・・地球と人間になるべく負荷の掛らないエネルギーに使って欲しい。 そもそも、枯渇するエネルギーに執着する意味も解りません。 人間は生かされているだけ。地球に住まわせてもらっているだけ。 地球に取り返しの付かない汚染を残すなんて大人のすることではありません。 大人は大人の行動を．．！ 世界に迷惑を掛けた日本が、原発なんて動かすべきではありません。
57703	個人	会社員・公務員	40代	男性	人類が放射能を制御することができず、事故の可能性をゼロにできない以上、できるだけ早く「原発ゼロ」を打ち出し、すべてのリソースを代替エネルギーに振り向けるべき。	2030年には原子力発電所をゼロにすることを要望します。 現時点において人類は放射能を制御できているとは言えず、将来においてもその目処は全く立っていません。人間の行為に「絶対」はあり得ず、原子力発電所においても100%の無事故は保証できないはずです。一度原子力発電所の事故が起きた際、毀損するのは「モノ」ではなく、住民の健康や生活、ひいては国土そのものです。これらは保険によって代償されうるものではありません。これらのことから、原子力発電所をこのまま維持し続けるべきではなく、早急に将来的な方向性として「原子力発電所ゼロ」を打ち出すべきです。 原子力の代替エネルギーは、安定的な供給が確立されていませんが、だからこそ「原子力発電所ゼロ」に向けて、原子力に関するあらゆるリソースを代替エネルギーの整備に振り向けるべきだと考えます。
57704	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は不要です。	もし何か不測の事態が起きた時、なんの対処も出来ないような危険なものはいりません。 関東在住ですが、今も東北・関東産の食物は避けています。 政府いうこともまったく信用出来なくなりました。 たった1基の原発の事故だけで、多くの人が不幸になっています。 不幸の元は一刻も早く無くすべきです。
57705	個人	自営業	50代	男性	原発削合ゼロ、それも可能な限り早く。未完成な核技術は人間社会と相容れない。再稼働も再処理も反対。原発をたたんでいくことで、産業構造も、政治も、価値観も、より持続可能な社会に向かうことを示すべき。	さまざまな考えが寄せられたと思うが、倫理的、合理的に考えるほど、原子力発電には将来性はない。 常に被曝労働と汚染の危険を抱え、そのための目ぐらましに交付金、宣伝費、寄付等多大なカネで自治体の自発性を奪い、政治や行政と企業と専門家の癒着を生み、市民を洗脳して健全な思考とコミュニティを麻痺させる。 そして何より、膨大で何万年も管理できない核廃棄物で環境を汚染し、ひとたび過酷事故が起きれば社会は崩壊する。その危険性を知りながらも存在し続ける正当な理由はない。経済発展という麻薬の奴隷になるなら別だが。 脱原発の対案を示せ、温暖化対策、再生可能エネルギーに過度な期待とも言われるが、肝要なのは、この問題を電力需給だけに矮小化してはならない。事故以前にも顕在化していた、破綻寸前の財政、過剰な消費、少子高齢化などにまつわる日本社会の生きにくさや閉塞感を考えるとき、それは国と地域の関係や政策、産業とエネルギー構造の問題と密接に関わっている。 その歪さの根が明らかになってきた今、政治が大きく決断し、いわゆる原子力村から決別して市民が求める健全なエネルギー政策と持続可能な将来ビジョンをはっきり示すことだ。 具体的には、電力制度の自由化、発送電分離、立地自治体には廃炉による雇用と研究および一定年数の補助金交付、再生可能エネルギーや地域分散型のエネルギー供給に法整備と予算拡充、市民が自治体政策や企業に直接関与できる安全規制や防災計画。 そのような政策や政治主導にこそ、若者や地域に希望が生まれこそすれ、いつまでも廃棄物問題から目をそむけ、つかの間の恩恵にしがみつくような、目先利益の政治は全く時代遅れである。 7割が求めていることは実質国民投票に近い。この結果を計画策定に反映させる手順が、どのように透明に進められるのか、全国民が注視していることを、政府には肝に銘じていただきたい。
57706	個人	家事専業	30代	女性	2030年ではなく即時原発ゼロを強く望みます。	地震・津波、原発事故は今日発生するかもしれず、原発の安全対策や住民の避難対策は後回しという現状に怒りを覚えます。原発の再稼働ではなく、代替エネルギー政策について、本腰で取り組むべきだと考えます。
57707	法人・団体等	法人等	40代	男性	ゼロシナリオを主張	福島第一原発の事故を誰も責任をとれていない。国として国民として避難している人たちにどう責任をとっていくのか？こんな無責任な事が起こるエネルギーを平気な顔して使っていくわけにはいかない。ゼロシナリオをを主張します。 また2030年目処でなく、即時の原発ゼロを主張します。

57708	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 我が国は地震国であり、大きな自然災害に対して、完璧に被害を防ぐことは今までできたためしがありません。 その上に建っている原発もまた、それに伴ったリスク、いや、健康被害の可能性を持つ、それ以上のリスクを背負っています。 そのような発電施設を、私達の次世代まで存在させるのは、私達が子孫を残していくという生物的本能から反していると思います。 まして、発電は原子力だけではなく、他のエネルギーでも可能な訳ですから、私達の知恵、努力によって原発を無くしていくことが、今を生きている私達の義務ではないかと考えます。
57709	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発の全廃止を強く希望します。	絶対の安全が確立されない、廃棄物の何万年の管理に現実的に可能と思えません。原発の近くに住むことを許容できません。近くに住みたくないと思うものを維持することには反対です。一刻でも早く廃止してほしいです。
57710	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオに賛成します。 「被災」はまだ続いています。 原発は、ぼくらから何かを失わせ続けています。 変えられるものを変える勇気。それが今の日本に求められています。 原発は、不必要です。	ゼロシナリオに賛成します。 ぼくは6月の中盤に福島県ヘスタディーツアーに出かけて、福島に住み、福島で学ぶ、福島大の学生と様々な話をした。そこで「被災者」とは何か、知った。 入学が決まって4日後に震災が起こり、原発事故が起こった女の子がいた。彼女は「今こんな時期に福島にいたら、就職も、結婚も、やっぱり、あ福島の人わ、ってなっちゃうのかなあ」と言っていた。「わたし、普段はこんなスタディツアーの企画側にまわるほど問題意識も無いし、普通の女の子だし、でも、1年間福島から目を背けて大学生やって来て、でももうこれ以上無理って分かって、今回参加したの」とも言っていた。「3日に一べんは、福島ってほんとに復興するのかなって考えちゃう」という学生もいた。 これが、被災するということなのだ。被災はまだ続いている。 今回の原発事故で最も何かを失ったのは、次の世代を担うぼくらだ。しかし、それを失わせたのは、もっと上の世代の大人だ。そして、日本の未来の決定に関わる直接の立ち位置にいる大人たちは、未だに原発を動かし続けている。ぼくたちから何かを失わせ続けている。 ある大人が次のような趣旨の言葉を発していた。「世界の中の一部としての日本でしかない現実を直視せよ。競争を避けるのは敗者への道」――つまり、原発をなくすというのは日本が核技術を手放すということであり、エネルギー自給率の低い日本は他国の奴隷となることであり、経済は大悪化するし、地球温暖化も進むし、しっちゃかめっちゃかで、今「原発ゼロ！」という人たちは冷静な状態とは思えない、ということだろう。 まず、地球温暖化についてはぼくは「人類がいようがいまいが関係なく地球で起こる自然現象」という話も聞いたことがあるし、根拠もなくそれをいちいち持ち出すのはどうかと思う。むしろ原発を推進し火力発電を悪とするために考えられたものである気さえする。現に、放射能は日本を、地球を、既に「確に」汚した。 さらに、確かに日本はエネルギー自給率が低いものの、これは憲法九条と全く同じ構造の話であって、簡単に「だから原発を維持しろ！」ですむ話ではない訳ない思う。短絡的な話としか思えない。そもそも経済の悪化が不幸を招くとは限らない。これは後述する。 「福島の教訓を生かし日本の原発の安全性を高めて行こう」という話も聞いたことがあるが、これにはもう笑うほかない。今までもそうやって自己過信と無反省、あるいは間違った信念によってどれだけ人類は自らを傷つけて来たことか。「福島の教訓を生かし原発は全て廃炉にする」のなら、その過程で大いに日本の「安全性」を高める技術を利用しようではないか。 ぼくの通う大学の教授の言葉を二つ紹介したい。 その1。「原発の安全性問題と電力不足問題は根本的に別もの：おなかすいたら危険なものでも食べますか？我慢しようよ！」という主張。賛成だ。「安全」と「電力不足」、そもそもこの二つの問題が同じ土俵で語られていることがおかしい。次元が一つ違うのだと思う。それなのに、なぜずっと、いわは身長と体重を比べようと躍起になっている人がいるのだろうか。いい加減そのことに気づいてほしい。 その2。「今まで稼ぎまくっていた人が年金になって収入が減っても絶望しない。ジョギングだけの趣味に没頭するだの、楽しく生きる目標は見つけられる。社会も同じ。経済と幸福が比例すると考えるな」。これを受けて「老人的社会段階へ移行しろということか！日本は現役を退けということか！」と叱咤する人もいるかもしれない。しかしそれは捉え方の問題だ。この言葉は「熟成した」社会を目指そうと訴えかけているのだと思った。大賛成。ぼくは将来そのような日本に生きたい。 「経済成長」をとめることはできないし、とめるべきでもない。少なくとも、今の段階では人間社会はそうなっている。これは認めざるを得ない。しかし、だからこそ今一度「成長」とはなにか、考えたい。少なくとも「経済成長」が以下のコンテクストで使われるのには疑問を覚える。「リスクを考えて原発廃止、ってのは理想だけどさあ、現実的にやっぱ経済成長も考えなくっちゃあ」――リスク回避が「理想」で、経済成長が「現実」なのか。ほんとに？逆じゃあなくって？ 「普通の人」が生きていけるのがよい社会だと思う。福島に住んでいた「普通の人」は、あの日以来自分の意思とは関係なく、非「普通の人」にならないと生きていけなくなった。そのような社会は欠陥があると考えるべきだろう。 変えられるものを変える勇気。それが今の日本に求められている。 反省だけならサルにもできる。と言うだけならサルにもできる。しかし、実際に反省を行動へつなげることは、サルはおろかヒトにだってできるか怪しいものだ。 かつて歴史家ジョンダワーはこう言った。「歴史的節目に現れる＜スペース＞が閉じてしまう前に行動せよ」――＜スペース＞は、意識しなくなると、存在しなくなる。意識し続けようとしても、そのことに意識が行ってしまいそもそもの目的を見失う。 今回の大地震は様々な形で記録が残された。今でも、記録は取り続けられていることだろう。それなのに＜スペース＞は急速に閉じていっているという印象がある。 今、スペースを開いて、ぼくはこう叫ぶ。 ぼくは、ゼロシナリオに賛成します。
57711	個人	自営業	40代	女性	全原発の即廃炉を求めます。	子どもたちに負の遺産を残すことは許されません。全原発の即時廃炉を求めます。
57712	個人	会社員・公務員	40代	女性	日本は、原発に頼ることを辞め、再生可能エネルギーにシフトすべきと思います。再生可能エネルギー開発で、世界をリードすべきと思います。	長崎・広島、そして今回の福島と、これほどまでに放射能に国土と国民を犯された国は世界に例を見ないと思います。そんな日本だからこそ、そして世界に誇れる技術力を持つ日本だからこそ、原発から脱却できることを世界に示すことができるし、そうすべきだと思います。 今の日本は、古いしがらみや既得権益を振り切ることをせず、惰性で原発に頼っているとしか思えません。これでは、これまで放射能の犠牲になった人々・国土は報われないし、これからも自らが自らの国民と国土を犯し続ける、救低の国になってしまいます。
57713	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島第一事故は奇跡的小規模被害であったが、日本の拠点はすべて危険な立地状況にある。自然エネルギー開発は、戦略物資からの解放を意味する。よって脱原発と自然エネルギー開発は日本に重要な施策と考える。	「我が身を守るために」 1)「2度目」は許されない 【地勢的分布】Wikipedia「チェルノブイリ原子力発電所事故」にある汚染分布図「Chernobyl radiation map」を原発が通る緯線を引いて東西の分布を見てほしい。偏西風の影響で圧倒的に東側に汚染が多い。同じことが福島第一でも起こったが、東側が海であるため陸上汚染は大幅に少なかった。事故の規模の割に奇跡的に人的被害が少なかったと言える。しかし、地勢的に危険な原発がすべての日本の拠点を背かしている。北海道電力泊発電所の70km東方に札幌市がある。九州電力玄海発電所のわずか50km東方に福岡市がある。関西電力福井原発群（9基）の南東100kmに名古屋市がある。中部電力浜岡原発の東北200kmに東京首都圏がある。【地震列島】日本は歴史的に地震列島であることは議論の余地はない。日本が地震活動期に入っていることの議論があるが、その議論を除いても世界の中での集中度は群を抜いている。2011年の世界地震分布の動画（Youtube参照）を見れば、そのリスクは一目瞭然と言える。 これらの危険な状況から日本が「我が身を守るため」に脱原発は必要である。 2)脱戦略物資 風力や太陽電池による自然エネルギーは、直ちに原発の置き換えにはならない状態であるが、太陽電池が製品化され始めた40年前とは異なり大幅に技術革新が進んでおり今後の技術革新が十分期待できる。トヨタのハイブリッド車に対抗して、マツダがハイブリッド車並みの低燃費ガソリンエンジンを開発したことは、技術は「やればできる」という可能性を十分表現している。 そして自然エネルギーや常温核融合の開発は、エネルギーの工業製品化と言える。核燃料や石油資源といった戦略物資からの解放である。技術立国や経済のチャンスのみならず、日本の安全保障として「我が身を守るため」に有効な施策と考えられる。 ■チェルノブイリ原子力発電所事故汚染図 http://ja。wikipedia。org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB:CherChern_radiation_map_1996。svg ■2011年の世界の地震 分布図 World earthquakes 2011 Visualization map http://www。youtube。com/watch?v=cwWn_W6ZbT4&feature=relmfu
57714	個人	会社員・公務員	50代	男性	20～25%案を支持します。ネルギー費高騰から経済が更に悪化します。放射能基準も自然放射線や医療放射線に比べ解離がありすぎて不合理です。	ご呈示の3つのシナリオの中では20～25%の案を支持します。原子力エネルギー撤退により生じるエネルギー費の高騰は、日本の産業に大打撃となり、国際競争力も更なる窮地に至らせ、国内企業の倒産・失業者数の増大を招くこととなります。また自殺者数も景気に密接な相関が認められますが、既に14年連続で年3万人を越える自殺者数は、この14年間の計上だけでも145万人に達します。福島原発事故の放射能の直接的な影響でなくなられた方は0人と認識されます。また放射能レベルの避難基準の根拠も科学的に著だ疑問があります（後述）。そうした中で放射能への対応は、影響の軽重の比較論上も適切性を欠くと思います。話を戻しますが、現発件下では景気浮上策を最も優先すべきであり、好景気への誘導策の優先なくば、社会保障費の確保も不可能なことを認識すべきです。過日は民意を問うことなく消費税等増税法案が可決されましたが、各党マニフェストにない事項は、新たに民意を問うのが民主主義のはずですので誠に残念でした。昨年5月にある大学経済学教授の講演会で示されていましたが、東日本大震災の当初被害総額は約20年前の阪神淡路大震災の約2倍でした。一方、当時の兵庫県1県の県内GDPは昨年の東北3県のGDPより若干多い額でした。阪神淡路大震災の後、国内景気はV字回復しましたが、その約2年半後、好景気はバタッと止まり逆V字で転落しました。これは消費税の3%から5%へ引き上げと期を一にしています。今や国の税収はバブル期の約3分の2で、一度もバブル当時の税収を超えたことがありません。被災後に増税したのは日本の歴史上も初めてだそろですが、増税しても税収が上がらない公算が明白なのに（こうしたことをマスコミがほとんど論じないのも不可解ですが）、今被災地も含めムチ打つように増税をかけられ、大小企業者にとっては特に重大なエネルギー費まで追い打ちをかけられたのでは、国民は没落する一方です。今後は国全体として国際競争力を高めなければならないはずです。そうした見地からは、安全性を高めた上で原子力依存度を更に増やす方がよいと思います。また科学的専門的に放射能に関わる諸々の基準自体の妥当性の検証が不十分なままで、国民に十分な科学的知見も示さないまま国の原子力エネルギー策をバブコメで取り扱うことも、極めて不適切です。近年、ICRPの勧告基準自体の信憑性が世界の専門家間でも問われていることを公正に受け止め、その基準の妥当性を科学的に検証すべきです。ICRP等の様々な勧告値は、世界の自然放射線や医療放射線とあまりに解離しており、合理性を欠きます。ICRPは、100mSv以下での明らかな影響は不明？としつつも（本来は不明なのではなく、100mSv以下では健康影響が小さすぎて検出できない）、様々な基準を勧告していますが、これら基準はDNA修復やここ20年程の間に解明された数々の事実を反映していないとして世界で専門家が異を唱え論議の的になっているはずです。昨年7月1日の日本学術会議緊急講演会から引用させて頂けば、100mSv以上から検出されだすリスクも、一度に100～200mSvで野菜不足や受動喫煙と同程度の発癌リスクで、200～500mSvでは肥満ややせ、運動不足や塩分取り過ぎとほぼ同じリスク、～1000mSvでは大量飲酒のリスクとあまり変わらず、1000～2000mSvで喫煙かつ大量飲酒のリスクと同程度だそうです。それらよりも低い100mSv以下の低量放射線の健康影響の信憑性が問われる中で、当初年間20mSvを基準としたらしい計画避難等の区域は、割に合わないのではないかという率直な感覚を覚えるのは私だけではないでしょう。避難指示がなされ、家に戻れず、家畜も避難させられず、仕事も生活もできなくなっていることに対し、最も重要ならずの基準の妥当性を専門家間でオープンに論議する体制の希薄なままだったことについても疑問を覚えました。リスク評価は他と比較した判断も必要です。自然放射線は世界平均で年間2.4mSv、ブラジルのガラパリで5.5（最高35）mSv、インドのケララは4（最高70）mSv、イランのラムサールは10.2（最高240）mSv、またハンガリーの家屋内ラドンは73mSvですが、こうした地域も癌発生率は低いものです。国際宇宙ステーションに半年滞在した古川宇宙飛行士さんは1日約1mSv被曝し累積約170mSvと当時報道されていましたが、NASA宇宙飛行士は皆とても健康なことは有名です。宇宙線はエネルギーの高い粒子線ですが、女性の宇宙飛行士も元気な赤ちゃんを産んでいます。昨年東京都の水道水でセルウ基準値を超えたとペットボトル配付された時が210Bq/L、飯舘村で当時965Bq/Lでしたが、原発事故前の新潟県村杉温泉のラドン濃度は2766Bq/Lです。3000Bq/L程度の温泉は全国的にも珍しくはなく、16万Bq/Lという鉱泉もあります。因みに医療のPET診断では半減期は短いものの数億Bqの放射性核種を静脈内注射します。また通常60kgの男性なら体内のK40やC14等によりγ線を放出し毎秒約7千Bq内部被曝しています。東京ニューヨーク間往復の宇宙線被曝量は0.2mSv（胸部X線4枚分）、通常の胸部CT検査は約7mSvで3回で避難基準に達します。最近では瞬時に3D解析できるCTも多くの病院に普及しており、部位により様々ですが1回の診断で20mGy～80mGyです。癌治療では4万～7万mSvを連日分割照射します。一方、米ミズリー大学ラッキー名誉教授等は、低量放射線は健康に良いという放射線ホルミシス効果を提唱し実に様々なデータを示しています。これら諸々とも比較し避難区域のリスク分析を専門家間で公に論議した上での対策決定が必要だったはずです。私事ながら私も田舎は福島ですので、被災地を最も生かす中道の判断を願わずにはいられません。結論として原発の安全性と高めつつ20～25%を指示します。
57715	個人	会社員・公務員	30代	女性	3つの選択肢ではなく、原発はゼロにしつつ、温暖化対策目標を強化したシナリオを支持します。	原発の比率だけを考えるとゼロにすべきと考えている。今回の福島原発事故は全く終息していないし、今現在起こっているさまざまな問題（放射能汚染問題、そこから発生する差別問題、自然環境破壊問題などなど）を考えると原発が抱えるリスクの大きさと私たちが受ける恩恵は比較できないものだと痛感した。この問題は日本という国がこれから永遠に抱え続ける問題になると考えている。そのような時に、原発を選択して人間活動を継続していくのは困難であると考える。 加えて、世界的に深刻なレベルで進行している温暖化問題にも真剣に向き合い、対処して行動する必要があると考えている。
57716	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオ	今すぐ原発を無くし、福島原発から漏れた放射能を全部元に戻してください。
57717	個人	自営業	30代	女性	早急な「原発ゼロ」への道をまっすぐに歩く方法を探してほしいです。	「ただちに影響はない」といわれた放射能が、その通りゆっくりと症状を表し始めた今、原発の危険性を身をもって体験した国である日本が、それでもまだ原発を維持しようとしているのはおかしいと思います。 原発をやめたところで、日本ほどの技術力、知恵、知識、忍耐力を持っている国なら、それに替わる技術や雇用、その他問題を解決する手段を生み出せないはずはないと思います。 原発維持ベースで考えるのはやめ、原発ゼロでも人が生きていける環境を作るために、国民の安心・安全のために、政治を行ってほしいと思います。 （もちろん国民も、一緒になってがんばるべきだと思います）
57718	個人	その他	30代	男性	0しかありえません	福島のみならず日本全体に被害を及ぼした以上、原発は0にすべきです
57719	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発0シナリオ	放射能と人間は共存できません。原発以外の発電方法を推進すべきです。原発依存0%、即時排炉希望します
57720	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロをできる限り速く	原発は問題と腐敗の宝庫です。東電国有化は国民負担増加、被爆作業、地方差別をはじめ沢山の問題があるからです。だから原発から日本政府は撤退すべきなのです。
57721	個人	学生	20代	男性	ゼロシナリオを支持します。「もんじゅ」については、研究炉としての正当性が示されるなら、規模の縮小等含め、別途検討すべきと考えます。	まず、太陽光等クリーンエネルギー導入を妨げる最大の要因は「コスト」であるというように理解していますが、すでに多く指摘されているように（資料にも記載がありましたが）、原子力発電を継続する場合にも使用済み核燃料の処理にかかる費用を含めたコスト（例えばkwh当たりの経費）の算出では（その数値は諸説ありますが）クリーンエネルギーと太陽光発電のコストにおける差は少なくとも縮まるこが期待出来ると思います。また、どこまでをコストと見るかについて、インフラ整備が必要なクリーンエネルギーの導入は確かに相当額の初期投資を必要とします が、これはかつて原子力発電を導入する際にもそうであったことですし、ここで言うコストの中には勘定すべきでないと思います。そうして語られるコストを、潜在的な健康被害・経済（風評）被害等のリスクと並べた時に、やはりコストのほうをとるのが容易ではないかと思います。 また、現在の地方に大きな発電施設を設置し、都市部に配電するというシステムから、各自治体レベルでそれぞれに適した形での発電形態に転換していくことは、エネルギーシステムの効率化を進めるという点で有効ではないかと考えます。（課題は、発送電網の整備、発電体系の整備等、エネルギーを各共同体で自給自足するために必要な全国的なインフラの整備です が、これは国家主導で成すべきスケールの事業だと考えます。） 以上の主な理由に拠り、原発ゼロシナリオを支持します。廃炉時期については、現時点での算出する数値がどれだけの意味を持つとも思えませんので、特に具体的な目標を提示するものではありません。
57722	個人	パート・アルバイト	40代	女性	日本のエネルギーとして、原子力発電は0を希望します。今あるの原子力発電所は、古い物から廃炉にして下さい。	3.11の震災で、福島原子力発電所は大事故を起こし、多くの方が被災し、住む家を奪われ、今までの生活は無くし、大地も水も海も空気も放射性物質で汚染されました。安全な食べ物は無くなり、子どもたちが安心して生きることができなくなりました。電気は必要ですが、安心して暮らせる大地や水、 空気がなければ生きていけません。事故がなくても、使用後の廃棄物の管理を考えると、このまま原子力発電を継続することは不可能です。誰が責任持って管理し続けるのでしょうか。同じ税金を使うなら、原子力発電所の廃炉と、できるだけ安全な廃棄物管理にお金をまわし、子どもたちが少しでも安心して生きていける国にしていきたいです。
57723	個人	学生	20代	男性	原発即時廃炉	今回の福島第一原発で原発の地震津波に対する脆弱性は明らかになりました。 原発の周囲に住む人々がそこに住むことは出来ないという事態は非常に深刻です。 地震・津波大国の日本でいつまた地震や津波が起こるかはわかりません。 福島の悲劇を二度と繰り返さないためにも、原発の即時廃炉をすべきだと思います。 また、原発が補助金を盾に地方に押し付けているという日本の行政の在り方も転換を迎える時期にきているとおもいます。

57724	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発即時0%を希望する。なぜなら、福島事故を受けてなお改善策を取らぬまま、再稼動を進める姿勢に疑問と憤りを感じるからである。さらに日本は全世界に先駆けてエネルギー転換を進めるべきだと考えるからである。	原発即時0%を希望する。 その理由は、福島の事故を受けてなお何も改善策を取らぬまま、再稼動に踏み切ったことに強い疑問と憤りを感じるからである。 福島の事故はいまだ収拾がつかず、放射能による県民の健康被害への補償は明文化されず、他の原発への改善はなされず、そんな中で『再稼動』とは、一体どういうことなのか。 原発に対する意見聴取会の意義とは何だったのか? 福島県の方々の悲痛な思いがTVを通じて私達にも伝わってきた。 『ふるさとを追われて二度と帰ることができないそんな人をもう作らないでほしい』『家族もバラバラあつれきも生じて、原発事故に再生はない』『福島県民を馬鹿にしておとしめて…何が再稼働ですか…!』 皆、声が震えていた。あれだけの福島県民の生の声を聞いて、細野氏は何を思っただろうか。政府は何を考えただろうか。 政府は、国民の意見に耳を貸さず、ムキになってヤケになってただひたすらに再稼動を押し通そうとしているとしか思えない。 日本国民は今、どれだけの恐怖と向き合って生きているのか、政府は知るべきである。 原爆投下に遭い核の恐ろしさを知り、さらに福島の事故で学んだ我々だからこそ、全世界に先だってエネルギー転換を示していくべきではないのか。 これを踏まえた上で再稼動に踏み切るなど世界の恥になるような行いは、即刻中止すべきである。 よって、なんの安全も補償もないままの再稼動には絶対反対であるし、エネルギー転換促進の為にも原発即時0%を希望する。
57725	個人	自営業	50代	女性	できるだけ早く原発を止めましょう。	人間は地球の環境を守る責任があります。 使用後燃料の後始末のシステムがきちんとできていない原発はそれだけでも良くないと思いますが、地震国・日本においては、とりわけ向いていないと言えるでしょう。 第一原発の事故によって、国土は大きく穢されました。この罪の重さを政府や電力事業にかかわる方たちにはよく考えていただきたいと思います。
57726	個人	その他	60代	男性	電源を原発に如何なる状態であっても依存すべきでない。	原潜など一部では原子の力に、現状では残念ながら依存せざるを得ないと思うが 原発は一度事故を起こすと、取り返しがつかない。 それ以上に、廃棄処理が確定しない状態での運営は、物事全てにおいて、考えられないこと。
57727	個人	無職	50代	女性	即時の原発廃止を求めます。	使用済み核燃料の最終処分がいまだに確立されていないためです。問題を先送りしたまま、これ以上使用済み核燃料を増やし未来の世代に負担を強いることは、不道徳だと強く思います。
57728	法人・団体等	法人等	40代	男性	ゼロシナリオで即時脱原発が国民の審判である。	ゼロシナリオで即時ゼロ原発。1、天然ガスやシェールガスなどの利用促進が進み、中東への依存は減っている。また、価格も下落している。この事実を国民に知らせずに、御用学者やマスコミに石油問題として刷り込むのは政府の不当な欺瞞である。2、原発既存立地の地元経済への経済的波及を理由にするならば、電源三法を廃止し、原発稼働時と同じ金額の地域振興交付金として交付する立法をし、向こう20年間交付することで、地元民と関係者の生活を補償すべし。3、環境への影響CO2問題を言うならば、放射能の環境への悪影響とCo2を同列にすることはナンセンスであるが、原発はプルトニウム採掘精錬に多くのCo2を排出する事実も公表せよ。4、福一事故の原因も事故対策、避難対策もなき原発の再稼働促進につながる2030年でもシナリオなど欺瞞であり、政府が提示すべき案とは到底思えない偏った誘導政策である。以上から即時ゼロシナリオを選択しに入れ再びパブコメを募集、テレビ新聞などに大々的に宣伝すべし。
57729	個人	その他	50代	女性	原発比率20～25%を支持します	再生可能エネルギーと言っても原発に比べればコストが高くなるのは避けられず国民の負担はいっそう大きくなります。化石燃料も国際情勢を考えれば安心できません。その点原発は今後長期間日本のエネルギーを支えてくれます。よって上記のシナリオを支持します。
57730	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオしかない	2011年、東日本大震災から発生した福島第一原発事故は日本国、いや世界にとって非常に重大な被害をもたらし、発生した放射能は、今後長年にわたってもも収束する見込みのない恐怖をもたらしている。 そんな中、原子力発電の是非については、もう検討する余地はないと考える。 現在続く被害の大きささえはっきりしない中、これ以上原発を稼動させることは、次に何かあった時に損害を最小限におさえることさえまったく不透明である。 また、原発を稼動させる際に必ず発生する使用済み核燃料のゴミは、たまる一方で、無毒化の目途は一向に見えないし、地層処分などの処置は言い換えれば究極の先送りといえる。 そんな今現時点において、この時代に生きる私たちが次の世代に対し責任ある行動ができてあろうことは、「原発ゼロの選択をする」以外にないであろう。 経済優先の先にただり着いたのが現状であるのだから、未来については経済優先で考えるべきではない。人命、環境が第一で考えるべき。 現代に生きる私たちが、将来子孫に恥じない行動を取ることを、切に願うばかりだ。
57731	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオ	原発はいりません。 福島第一原発の事故で分かりました。 原発施設の安全性は疑わしく、同じような事故が起こる可能性がある以上、安心して暮らすことは出来ません。 核の保有のために多くの日本人を犠牲にしないでください。 自然エネルギーによる値上げや不便は喜んで受けます。 さらに省エネも進めます。 宜しくお願いいたします。
57732	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。	日本は唯一の戦争被曝国であり、去年、世界最大の原発事故を起こしました。 今こそ原発を0%にしよう、と国民全員が決めることが大切なのではないでしょうか。 コストはかかっても、原発はできる限り早くゼロにし、再生可能な自然エネルギーの割合を増やしていくことが、大人たちの責務だと感じています。また、安全性に疑問が残る核燃料の再利用もありえないです。完全廃炉を希望します。こどもや孫たちが安心して暮らせる世界を創り出すために。
57733	個人	会社員・公務員	50代	男性	提示されているシナリオに適切なものは無い。	前提として議論すべきは、原子力発電の比率ではなく、2030年の日本の姿をどのようなものとしようとするのか、そしてその時の日本を取巻く環境がどうなっているのかの目標ないし想定が先にあるべきで、それに必要なエネルギーの確保をどうすべきかを議論すべきである。しかも2013年で終りではなく、その後のこと(例えば二酸化炭素排出量のさらなる低減)も考えなくてはいけない。 経済成長率2%、化石燃料からのエネルギー源転換、生活の質の向上などを考えれば電力需要の増大は必須である。 再考の結果原子力発電の割合が30%を越えることも可とすべきである。
57734	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます！	原発ゼロシナリオを選びます！ 子供たちの健康と将来を考えた時に、今のままでは失うものが大き過ぎると思います。 ぜひ　原発以外の方法を捜す事と、電力に頼る事を私達国民もより減らす事で原発ゼロにしたいと思います。 人の命の大切さを　再度考えてください。
57735	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオ。それも2030年までといわず即時原発ゼロに。	2030年までといわず即時原発ゼロに。 理由 1）地震の活動期で原発の破損が懸念される。 2）現在、放射能汚染に対する危険性の認識がない。 危険な食料が流通している懸念が大。
57736	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力は人間の力ではコントロールできません。核廃棄物の処理方法の研究のみすすめ、エネルギーとしての利用は速やかに止めるべきです。	今のままでは、現世代は10万年先の人類にまで借金を残した愚かな世代といわれるでしょう。 目先の欲望の追求の結果が今の結果です。
57737	個人	パート・アルバイト	40代	女性	『選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択します.ですが、即時停止、廃炉を望みます。	日本の地形、地震多発国ということなどを考えても、 尋常ではない数の原発を、きちんとした地質的な調査も行わずに再稼働し続ける という事には反対です。今の日本のこの状態を目にして、大丈夫だ安全だという政府の発言やマスコミの報道なども含め、もはやすべてが嘘に聞こえ、全く信用する気にはなれません。そして震災での福島の原発事故を見て、自分なりにシンポジウムや映像情報、書物などから原子力、エネルギー問題を学んでみて、新しい持続可能なエネルギー政策に本格的にシフトする時代が来たんだという事、そして多くの人が気づいているという事を肌で感じるようになりました。原子力発電はたとえどんなに安全面に配慮しようとも利用はするには(私は人類が安全に利用するのはおそらく不可能だとおもいますが)あまりにもリスクが高すぎると思います。人の命やさまざまな犠牲を払ってまで利用する価値などないと思います。 すでに取り返しの出来ない事態にすでになってしまっているのに、まだ使い続け、さらに輸出をしようとしたりとか、正気の沙汰とは思えません。世界中でいい笑い者ですよね？同じ日本人として本当に恥ずかしい。そしてそんな国なってしまっている事にやっと気づいた自分にも腹立たしいし、とてもみじめな気持ちになります。私たちは事故後の何十万年も続く汚染を残したまま死んで行くのです。後の民扶いや、汚れてしまったさまざまな自然をそのまま、これから生まれてくる子供達やその子孫達に置き去りにしたまま逃げてしまうようなものです。 重大な罪を犯した私たちは後に残る人達に少しでもより良い場所にして日本を（はいては地球を）残さなければならない義務があると思います。 それには、あらゆる知識、技術、総力を結集して、もっと持続可能な、自然を活用した代替エネルギーの開発など、これまでの原子力に頼ったエネルギー政策の考えを根底から考え直すことこそ、懸命な判断ではないかと思います。 地球に生きる生き物の一員としてどうすべきか？本当に大切な物は何かをちゃん ふまえた結論を政府には出して欲しいです。そして納得のいく説明もちゃんと聞きたいです。
57738	個人	学生	10代以下	女性	2030年までに原発ゼロを目指し、それまでに再生可能エネルギーへのシフトを推進していくべき	3.11以降国民の原子力発電に対する不信感は非常に高まっている。その中で原発を増設、再稼働させることは国民の信頼を裏切る行為なのではないか。
57739	個人	学生	10代以下	女性	（再送信）ゼロシナリオについてと廃炉のための鼓舞	先ほど送信したのですがどうやらタイムアウトによって送信されなかったためもう一度送らせていただきます。 私はゼロシナリオに賛成です。 ですが、ゼロシナリオを無理に目指した結果計画停電が発生することは望ましくありません。 理由は計画停電によって経済的に損害を受ける企業が数多く存在することです。 氷卸商や鉄道会社など、計画停電によって被害を被る企業は数多く存在しております。 そのようなことになった場合、何の所為で被害を被ったかと考えれば、それは政府の所為だと私は考えます。 とはいえ、無理をしないようにと言った結果、廃炉を開始することが遅れることは避けたいと思います。 福島で冷却作業をしている、もしくはしていた方々の努力をふいにしないでください、 首相官邸前で毎週デモンストレーションをしている方々の努力をふいにしないでください。 私は貴方方を信じています。その信用に応えることこそが、あなた方の今すべきことだと私は考えます。 私ではない誰かは貴方方のことを信じていないかもしれません。その信用を勝ち取ることに繋がるであろうと、私は思います。 遺される私たちのことを考えてください。 遺して勝手に逝かないでください。 責任をとって、やり遂げてください、 それが私の願いです。きっと、同じことを考えている人は沢山いるであろうと思っています。
57740	個人	学生	20代	男性	私は、20～25%シナリオを支持します。 そして、電力供給を国家独占によって行う事を支持します。	火力発電のコスト・再生可能エネルギーの合理化を行う過程を考えると、極力使用せざるを得ないと思います。 また、原子力発電は事故に際して多くの賠償費用を必要とすることから、民間企業に任せる、また、電力を市場競争によって供給することは安全性といざという時のリスクを考慮すると好ましくないと思うからです。 電力供給は国が担うべき重要な役割ではないでしょうか。
57741	個人	家事専業	50代	女性	莫大な被害をもたらした原発がなぜ今後必要なのか疑問に思う	原発に関しては確かに多くの利益をもたらしたことは衰々の年代はよく熟知しているが、果たして今後の日本にあのような大災害をもたらした原発が必要なのか疑問に思う。政府、東電のとった事故後の対策も我々国民を救おうという気持ちよりも、自分たちの立場ばかりを重視した対応であったように思う。今後もあのような事故が起きればまたまた同じ行動をとるのが必須と強くかんじる。京都も福井の原発で事故が起きれば同じ不安を感じて暮らさなければならない。原発の範囲に住まいいたす人は常に不安である。 なぜ世界各国で原発をなくする努力をしているのに日本はできないのか？ 企業の利益ばかり考える日本の政治家にはほとほと信頼をおけないというのが真実です。努力をしろ！できないのでない！やるきがないのだ！ 国民にもっと開示しなくては政治家を選出いみがない！
57742	個人	無職	20代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」で「ゼロシナリオ」を採用すべき。 特に「なるべく早期に原発比率をゼロとする」点、「核燃料サイクル政策に関して、使用済核燃料を直接処分する政策を採用する」点が重要	福島の原発事故の教訓として、核事故リスクは以前に宣伝されていたほどには小さくなく、許容不能のものと考えます。 また脱原発政策は近隣国におけるエネルギー政策にも影響を与え、外国における核事故の可能性も減らすものと思います。 特に危険性の大きな国内核関連施設は今すぐにでも廃炉・廃止を始めるべきと思います。
57743	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを選択します。0	福島事故を起こし、世界中に放射性物質をばら撒いてしまった日本が、もしゼロシナリオ以外を選択する場合、世界にどう説明するのでしょうか？ この事故で日本が失った「信頼」を取り戻すためにも私はゼロシナリオ以外有り得ないと思います。 原発の非経済性は今や明らかであり、一旦過酷事故を起こしてしまえば原状復帰不可能な事態を引き起こすことも証明されました。同時に過酷事故は起こり得るのだということも。 原発に未来はありません。 日本は廃炉技術の確立と再生可能エネルギーの分野に力を注ぐべきです。 その方が長い目で見て国際競争力も維持できると思います。 実際に2030年に日本の原発をゼロにするためには今すぐ始めても間に合わないのかも知れません。 が、その実現のために 少なくとも稼働中の原発はすぐに止め、 全原発廃炉の決断をし、原発ゼロへの未来に向けた決断が必要です。 決断は今すぐにできます。 限りなく速やかに実現するよう要望します。

57744	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0、高速増殖炉は廃炉を希望します。節電と再生可能エネルギーで、多少不便でも安心して暮らせるようなエネルギー政策をお願いします。	自動車や飛行機、システム…どんなものでも、人が作ったものは壊れたり、事故が起きたりする可能性を持ちます。それを前提にしながら、そういったものを作っている会社は、事故が起きないようにと安全策を何重にも考えて実施し、さらに事故が起きたときの対応の仕方も訓練を何度も重ね、賠償にも備えています。それは、事故によって大変な損害と信頼の損失をすることを企業は知っているからです。 しかし、原発は、東電はそうではなかったということが、わかりました。でも、私たちは今は東電からしか電気を買えません。信頼できなくても、使わないという生活はできません。それは安心して暮らせないということです。車や飛行機につい て「絶対に事故は起きない」なんて言えないように、原発もそうです。原発を動かすならば、安全性の確認だけでなく、万が一のときにどうするか、事故の範囲によって避難経路や食料や保証まで、どうするのかということを考えた上でのことだと思っています。 今回のエネルギー政策のことだけでなく、全てのことは、子どもや孫の世代のことを考えて決めることが大切なのではないかと考えます。税のことは「子どもの世代に責任を押し付けない」といいながら、原発のことは子どもの世代に押し付けるのでしょうか。子どもたちが安心して大きくなれるように、多少不便でも、本当に幸せな国ってどんな国なんだろうということを含めての、エネルギー政策をお願いいたします。
57745	個人	家事専業	30代	女性	福島原発が収束していないのに、原発を推進するのはあまりに馬鹿げています。ゴミ箱がないのに掃除をせっせとしているようなものです。原発は廃炉の方向で、他の火力や風力、水力に力を注いでいただきたい。	原発以外の発電をどうか推進してください。子供の未来を第一に考えてください。福島原発が収束してから、ものを言ってください。現状の原発推進は、それ自体が悪い夢のようです。どうか、子供達の未来に照準を合わせてください。お願いします。自分と身内さえ良ければ良いという東電と政府のやり方には、もううんざりです。業民政策もいい加減にしてください。
57746	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ以外は考えられない。電力は足りている。	ゼロシナリオ以外は考えられない。 原発は一度事故を起すと大変なことになり危険な存在である。稼動せずに廃炉に向けて進めるべきである。 現時点で関西電力の大飯原発以外、発電している原発は存在しない。電力は足りている。関西電力も、大飯原発再稼動に停止した火力発電を使えば大飯原発の発電量を超えて電力供給が可能である。 節電の促進、発送電分離、電力自由化、再生エネルギーへの投資促進政策などを実施すれば、原子力発電がなくても、エネルギー供給に不安のない社会を実現できる。
57747	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ(即時)」エネルギー計画はどれも、将来に対して安全な社会を約束するものではありません。原子力エネルギー依存を終了させ、より踏み込んだ原子力ゼロの筋書きの提案を求めます。	具体的に私たちは以下を要求します: 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
57748	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存ゼロパーセントを支持します。福島の事故で、電力会社に原子力発電所を安全に管理する能力がないことが分かった今、危険と隣り合わせで生活するリスクを負わずに済ませられる未来を望みます。	脱原発が経済力の後退をもたらすという意見には疑問を感じます。未来永劫放射性廃棄物に囲まれて生きていかなくてはならない日本人の将来のほうが、絶望的なのではないでしょうか。日本の技術力、革新力は、再生可能エネルギーの開発・実用化にこそ発揮していきたいです。
57749	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発を0%にして欲しい。	私は原発を出来るだけ早く0%にするべきだと思います。 すでに証明済みの事故や使用済み核燃料の保管など恐ろしいエネルギーは 推進するべきではない。トイレのないマンションに日本をするべきではない。 野田総理がよく言う「将来へのツケ」とは、この原発が一番大きなツケとなるだろう。ピクピク生きるのは真っ平だ。 絶対反対原発。
57750	個人	パート・アルバイト	60代	女性	脱原発(ゼロシナリオ)を支持します。原発即時廃止を主張します。	原子力発電による電力発電を即時に廃止する事を主張します。直ちに、すべての原発の廃炉を決定して、原子力に頼らない電力発電システムを作ってください。再稼働した大飯原発の即時停止、その他の原発においても再稼働を反対します。
57751	個人	会社員・公務員	60代	男性	54基の原発すべての再稼働をせず、したがって将来的にも原発は0%に、電力の供給は地熱発電、太陽光、風力、火力、水力発電で賄えばよいと考えます。	54基もある原発施設、安全性の点からも廃棄物の処理の点からももう使わないほうがよい。生命への安全性を第一に考えれば、経済、産業面への打撃はやむを得ない、国際競争力の低下もやむを得ない、と考えます。
57752	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電所は必要かを考えました 結果、誰かが苦しんだり悲しんだりする原子力発電所は危険過ぎるため廃炉へ向けた作業をお願いします	地球上の全ての生命を脅かす『核』 今こそ、福島の甚大な被害から気づき学び 私たち日本が選ばなければいけない時ではないでしょうか。 避難せざる負えない被曝地の人々。 国民の1人1人に寄り添って答えを出して下さい。 私たちを誤魔化すのはやめて まっすぐ向き合って下さい。 私は今30歳。 好きな人と結婚して子供を産み、 日本で育てて生きたいです。 たったそれだけの事も放射能によって 不可能にしたくありません。
57753	個人	会社員・公務員	20代	男性	できる限り早急に「0%」を達成すべきと考えます。	0%を目指さなければ15%も30%も達成できないのではないでしょうか。 仮に30%、15%の目処が立った場合、その時点で取組みを終えてしまっては後退です。 0%を目指したからこそ、15%等の目標は達成されるのだと思います。
57754	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発はいらない。	今変わらないと日本はずっとこのまま変わらない。意見を持たない、流される、利用される国のまま。こんな大きな問題を解決できたら日本という国にもっと誇りを持てるようになる。脱原発。その後のことはまた皆で考えればいい。もっといろんなことをクリーンにしていこう。
57755	個人	法人等	40代	男性	原子力ゼロシナリオ　を選択します。 原子力エネルギーから可能な限り早く脱却し、他のエネルギーに依存すべきだと考えます。	1　原子力発電の最大のリスクは過酷事故発生時の被害の大きさだと考えます。福島第一原子力発電所の事故は未だに大きな影響を国民生活に及ぼしていますが、東京都消防局の放水冷却により一定のラインで収束できたことは運が良かったとしか思えません。状況によっては日本全土に収束のできない事態が広がっていたことも考えられたはずです。また、日本は地震発生率が高く、過酷事故は発生する確率も他国に比べて高いことを認識すべきだと考えます。 大体の事は、間違っていてもやりなおしができます。再起できます。しかし原子力発電で間違いを起こすと二度と再起できぬ状況が起きることは容易に想像できます。このような、国民の生活が継続できなくなる可能性をわずかでも持っているエネルギー源を国策は選択すべきでないと考えます。 2　放射性廃棄物の処分の方法が定まっていない現状では原子力エネルギーは使用すべきでないと考えます。 3　代替エネルギーには自然・再生エネルギーが望ましいですが、実用にはまだ色々な点で不足しているのが現状です。当面は原子力エネルギーの前に依存していた火力エネルギーに依存すべきだと考えます。CO2の排出、燃料費の高騰などのリスクがありますが、原子力エネルギーのリスクに比べれば許容できる問題だと考えます。 リスクについて冷静に判断し、理性的に国民の将来を見据えて今後の選択をしてくれることを望みます。
57756	個人	無職	70代	男性	原発は短期的にも長期的にも用いるべきでない。 原子力の開発、実施、廃炉処理には膨大な土地を必要とし、その土地は長期に渡り人間の社会生活のできない危険なものとなるからである。	日本に投下された原爆の研究実験をしたアメリカの土地は現代も危険で立ち入り禁止区域となっている。原子力の平和的利用とは一面よい響き持てるが、それの研究開発に関係したものはすべて(水、紙、計測器、など)大なりかなり放射能に汚染されていて、安全のためには人間社会から隔離した施設で保管しなければならない。保管の期間は数年で済むものもあるが、数百年あるいわそれ以上隔離保管せざるを得ないものもある。研究開発ではあまり大量の汚染物質は出てこないが、実施・実際の利用となると事故がない場合でも通常的に汚染物質を出しているが、事故となると福島の例が示すように汚染物質は大量・広範囲ばらまかれることになり、汚染の度合いが弱いものは無視せざるを得なくなる。 現在日本にある原発は最終的に廃炉になるが、発生する汚染物質は大量である。日本にはこれから発生する汚染物質を安全に保管・管理する土地を用意するのは困難である。これ以上に原発を作れば汚染物質の保管・管理は不可能となる。 人間社会を今までのように維持するためには、子、孫などに影響を与える汚染物質を出す原発に頼るべきでない。 エネルギーは短期的にも長期的にも汚染物質の出さないシステムに頼るべきである
57757	個人	その他	40代	女性	原発ゼロ、支持。核燃料再処理計画を中止すべき。 現在稼働している原発を動かさずとも電力不足は生じていない為、また福島原発事故の原因および責任が明確になっておらず安全性・管理体制が不十分な為。	■ご意見およびその理由 1. 提示された2030年のシナリオについて 1-1. 省エネ達成の見込みが低い ・今日のLED照明の一般化傾向、他の電化製品における省エネ性能の向上を踏まえれば、2030年に1割削減という見込みはあまりにも低すぎる。我が家では照明器具、PC、テレビ等の入れ替えにより昨年比で5割以上の省電力化を達成している。 1-2. 再生可能エネルギーの導入見込みが低く疑問 ・再生可能エネルギー買取制度が決まってから非常に日が浅いのにも関わらず、本年度末には太陽光発電および風力発電の新規参入は原発2.5基分(250万KW)に達するという。また、地熱発電所建設にかかる規制が緩和される事等も含め、再生可能エネルギーへの市場の投資意欲を増進する材料は多く、割合を高く見積もる事ができるのではないか。 ・ゼロシナリオでは、すべての一戸建て家屋に太陽光パネルを設置する事を前提としているが、非現実的な見積もりである。 1-3. 2030年における発電電力量が過多 ・省エネ1割を根拠に発電電力量も1割減と見込んでいるが、「発電所」が分散する再生可能エネルギーの割合が増加すれば、送電ロス等の損失が低減されるため発電電力量は少なく見積もる事ができるはずである。また、人口の減少を発電電力量算定に加味しないのは現実的ではない。 1-4. 発送電分離・電力完全自由化に触れていない ・経産省の「電力システム改革専門委員会」にて発送電分離の議論が進んでいるのにも関わらず、本シナリオで一切前提としない事は、再生可能エネルギーの導入見込み算定が過小となり問題である。 ・電力会社は「機能分離」方式により発送電会社を分離・分割し、先進国並みに市場経済の競争にさらす必要がある。電力の安定供給のために分離は困難といった主張もあるが、発電会社の新規参入により、発電方法の多様化と発電所の分散が実現すれば、むしろ「より安定供給」が期待できると考えるのが自然である。これに加えて、スマートメータの導入や、発電品質の公表を行えば需要家は自分の求める品質・内容を提供する発電会社から電力を購う事が可能になるはずである。
57758	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを望みます	再生可能エネルギーの導入が難しく、時間もかかるのであれば、 省エネルギーをすすめ、火力を最大限に導入しながら、早急に着手するべきです。 そして、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入量は、もっと増やすべきです。 コストに関して、国民はある程度の負担を受け入れないといけませんが、 国民にできるだけ負担をかけないようにするのが政府の役目です。 国民に負担を強いる前にできることが、まだあるはずです。 大地震で原子力発電の事故を防ぐことができないのは、明らかとなりました。 事故リスクを制御することはできません。 専門家によると、大地震は以前より起こる可能性が高くなっているということですので、早急に原発ゼロにするべきです。 建設中の原発の稼働や新しい原発の建設など、絶対にあり得ません。 また、核燃料サイクルからは、早急に撤退するべきです。
57759	個人	自営業	50代	女性	原発0%:原発は直ちに停止、廃炉に向けた作業に入るべき	処理方法の明確な技術もない原発を使い続けることは、未来に計り知れない負担を残します。今の経済だけを重視しての再稼働は許されないことであると考えます。
57760	個人	会社員・公務員	30代	男性	私にはまだ一歳にも満たない息子がいますが、子どもの将来のため2030年までに原発0%でお願いいたします。	日本はこれから人口も減少していくでしょう。70年、80年代のような大きな経済成長もできる可能性は低い。ならばこれからの日本国民は生活の中身を変化させながら、日常を充実させていくべきです。というか震災以後これから必ずそうなっていきます。なので自然エネルギーだけで生活するという選択を政府が選択すると、国民も納得してそのような生活にシフトチェンジしていきます。必ず！
57761	個人	会社員・公務員	30代	男性	第2案の15シナリオを支持。	ゼロシナリオは聞こえは良いが、再生可能エネルギーの現状を見るとたった20年弱で現状の10%から35%まで引き上げるのは難しいと考える。 化石燃料の輸入額も考えると、これ以上富が海外へ流出するのは日本経済にとって大問題。 よって、15シナリオを支持。 ただし、ストレステストや、第三者管理機関(民間)にて厳しく手順を管理し、「人災」と判断された福島第一原子力発電所の二の舞にならないようにチェックを強化する事が大前提。 また、耐用年数の過ぎた原子力発電所は速やかに解体→同施設内に新規建設を。 当初想定の耐用年数を越えたものがグラグラと使われないようにするようにしてもらいたい。
57762	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	原発は、 ○被曝労働が前提であること ○放射性廃棄物問題が未解決であること といったアンモラルな問題を抱えており、これらは不可避であり解決策がありません。 持続可能なエネルギー政策とはいえません。新規建設はもってのほかです。 よって3つの選択肢のなかでは原発を増やさない「ゼロシナリオ」を支持します。 原発は地震国日本にマッチしません。国土にあった地熱や小水力発電をメインとすべきです。 ○太陽光、水力、地熱、バイオマスといった再生可能エネルギーを技術推進し、補助を行う ○エネルギーは地方や家庭で地産地消できるようにし、エネルギー消失のリスクを減らす ○新規建築物には太陽光発電の設置を義務付ける ○国民が電気の種類を選べるようにする。原発由来の電気料金は税金をかけて高くする(タバコより迷惑ではないですか？) ○原発再稼働を選択した電力会社には、1基につき再生可能エネルギー発電所10件の建設義務 など、再生可能エネルギーにシフトする国策を望みます。

57763	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発を0にすべきだと思います。	福島の事故を受けて、原発で事故が起きた時の恐さや、廃棄物の処理方法の難しさなどを知り、この方法での発電はリスクが大きすぎると感じました。私も電気を使用している立場なので、なるべく将来への負担や環境への負担の少ない風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーにシフトしていき、そういった方法で発電された電気を使って行った方がいいんじゃないかと思っています。
57764	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は不要です。	もし何か不測の事態が起きた時、なんの対処も出来ないような危険なものはいりません。 関東在住ですが、今も東北・関東産の食物は避けています。 政府いうこともまったく信用出来なくなりました。 たった1基の原発の事故だけで、多くの人が不幸になっています。 不幸の元は一刻も早く無くすべきです。
57765	個人	無職	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 この3つの選択肢の中からどうしても1つを選ぶとしたら、(1)になります。それ以外は考えられません。	原発はいりません。即刻、廃炉にして下さい。 日本は、地震大国です。 子供たちの未来を守って下さい。
57766	個人	その他	30代	女性	即廃炉	原発は無くても電気は足りるから。
57767	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年には、原発がゼロとなるシナリオを望みます。 さらに2030年では遅く、再生可能エネルギーが普及するまでの間は、野心的に節電に取り組むことでもっと早い段階で原発をゼロにできると考えます。	2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により事故を起こした福島第一原子力発電所は、地球上の生命に悪影響をもたらしているだけなく、福島を中心とした日本の第一次産業など様々な経済活動に大きな打撃を与え、さらに多くの人々の暮らしを崩壊させました。その経済損失は計り知れず、今後同じような事故を起こせば日本だけでなく世界を巻き込んだ環境破壊、経済損失となることは間違いありません。現在においても原発事故は終わりが見えていません。 原発に頼らない場合、再生可能エネルギーの普及のための系統対策コストや火力発電のための燃料コストは上がり、一時的に電気料金は上がることが予測されます。しかし、地震国である日本では大地震、津波の発生が他国よりも高い確率で発生します。実際に私たちは東日本大震災という大災害を経験しました。いまだに高い確率で大地震が起こるとされる地域に原発が建っています。一度事故を起こせば収拾のつかないものを利用すべきではないと考えます。 また、高レベル放射性廃棄物の処理方法も開発されておらず、さらに日本では最終処分地も決定していません。数万年にわたる管理が必要であり、未来世代に負の遺産を残すことになります。 これは世代間の不平等につながります。自分たちの代で責任が取れないものを自分たちの子孫に残すことは、倫理的な観点からしても問題があると考えます。 原発を廃止することで、それまで原発によって利益を生み出していた地域の雇用については、廃炉に従事する事や再生可能エネルギーの開発により新たな経済を生み出せると考えます。また、放射能の健康被害を研究する施設をつくることも1つかもしれません。日本が原子力に関するすべての分野において世界のリーダーとなれる可能性があります。 日本はこれまで敗戦やオイルショックなど、苦しい現状を打破する中で新たな技術を生み出し、経済的にも発展してきました。原発は古いものから順次廃炉として、新増設をせず、日本の技術の総力を挙げて低炭素型社会の実現に向けて取り組めば、低炭素型社会づくりに関する世界のリーダー的存在になれると確信しています。まだまだ節電の余地は多く、実際に計画停電という危機が迫った中においては、30%近くの節電が可能だということが昨年、今年と立証されています。 以上のことから、2030年時点において原発をゼロにすることは可能であり、何よりも原発事故のリスクのない安心・安全な社会を実現してほしいと思います。そのための建設コストや研究費用であれば負担する覚悟でいます。
57768	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択する。2030年ではなく即刻ゼロとし、経済性より生命・財産を最優先とすべきだ。福島同様、大飯原発の過酷事故は想定外でなく、数十年住めなくなる近畿を誰も責任取れない。	即効性としては省エネ、中長期的には太陽光、風力、地熱、小水力などの再生可能エネルギーにより原発ゼロの可能性は十分ある。現に2012年夏は大飯原発がなくとも停電は現状避けられる状況だ。更に送電網をPPS事業者に入れて開放し、コストを下げれば、9電力会社の独占による国際価格の数倍もする電気料金は低減でき、一時のGDP低下は回復できる。命あっての経済性だという事を忘れてはならない。更に更に行きどころのない使用済み燃料は、もうこれ以上増やしてはならない。
57769	個人	自営業	50代	男性	エネルギー環境に関する選択肢　原発0%を支持（なるべく早く）	福島の事故がまだ終息もしていない現在、放射能が将来どのように影響するか解らない状態で、再可動する事は、技術的な問題より、それを取り巻くシステムや誠意や真摯とはかけ離れた人間たちが決めている事が危険で信用が出来ない。 　1970年代に排ガス規定が世界で一番厳しかった事で、それをクリアーしたTOYOTAやHONDAが世界で躍進したように、今原子力をすて、新しい技術を開発して、例えば、風力や水力で大きな発電所を作るのではなく、1～10所帯向けの小型で安価なもの（TV一台分ぐらいの値段）を作れば先進国だけでなく世界中どんな国にでもうることが出来るんではないでしょうか。 　原子力世界に売るべき技術はなくなるでしょうか、日本でもこんな事故を起こしてしまうのに、原子力を売った相手が事故を起こしてしまったら、責任を取らずにすむのでしょうか？　経済的な責任は取らずにすむかもしれませんが、 　人類に地球に対する　責任はどうとるのでしょうか、何処かの総理大臣が事故が起きたら、自分が責任を取ると言っていましたが、自分で原子炉の中に入っていつて直してくれるのでしょうか？汚染した土地を洗浄してくるのでしょうか？ 総理大臣やめるだけで済むと思っていたらとんでもない事です。 　誰も責任取れないことはしてはいけない。
57770	個人	自営業	30代	男性	基本15%以下とするが、長期的には全て全廃	現状、原子力発電所が抱えているリスクと電力供給を考えた場合 すぐに、再生可能エネルギーで賄えきれないのは、明らかである。 2030年までの目標は、15%を基準とするが 全ての原子炉は、例外なく営業開始から40年に到達した時点で、 営業を終了し、順次廃炉し、2050年頃には、全てを廃炉するのが 妥当と考える。 政治家や省庁のメンツなどを考えている余裕はないので 早期に、新エネルギー開発に着手することで 雇用創出を期待も出来る。 廃炉技術を開発することで、雇用の創出が期待できる
57771	個人	自営業	50代	女性	■原子力発電は、今すぐ全てを停止。 ■選択肢として3つのシナリオが出されているが、過程で火力発電を利用したとしても、将来は全エネルギーを自然エネルギーとすべきである。どの選択肢も選べない。	＜国民の安全を守るなら原発停止＞ 　野田総理は、国民の安全・生活を守るために大飯原発を再稼動すると述べていたが、何よりの危険は地震国である日本にある原発を稼動しつづけることである。今すぐ大飯原発を停止するべきである。関西電力は現実に電力があまり、火力発電を次々に停止している。電力も不足していない今、原発は全くの不要物である。稼動している限り、東北の悲劇が繰り返される可能性が毎日24時間続いている。我々は野田総理の判断によって、爆弾の上に毎日生活させられているようなものである。 　原発事故を避けるための手立てを如何に手厚く施そうとも、リスクを完全にゼロにすることは「不可能」である。取り返しのつかない甚大な被害が予想される場合、そのリスクが如何に小さなものと計算されようとも、ゼロで無い限りは、実行してはいけない。数字で判断されるものではなく、原発の問題は、計り知れない命の問題。それは何かと天秤にかけるものではない。 ＜原発を廃止しないことによる経済的打撃は大きい＞ 既に日本の半分以上が放射能に汚染されてしまった以上、今後数十年に渡って計り知れない健康への影響が出るだろう。それにかかる国家予算はどれほどだろうか。 ＜自然エネルギーによって日本を世界のトップに＞ 　いまこそ、世界の尊敬を得るために、原子力への執着を捨て、被爆国である認識を新たにし、自然エネルギー大国として、再出発する好機である。日本の道はこれしかない。予算はすべてここに使うべきである。
57772	個人	自営業	50代	女性	日本の平和と繁栄、国家の存続を守り抜くためにも、原子力発電を削減してはなりません。	脱原発依存を目指す　(1)原発0　(2)原発15%　(3)原発20-25%　という3つのシナリオは、どれも10年対比で最終エネルギー消費を約2割も減らしつつGDPを10-20%増大させることを予定するという内容で、全く現実的ではありません。 意見聴取会でも国家戦略を決めるのに必要な冷静な議論が欠けています。 脱原発論者の主張の根拠は、福島第1原発のような事故は二度と繰り返してはならない、とするものです。3.11の巨大地震と大津波の中で、同じ地域に立地する双川や福島第2原発は事故を起こしませんでした。備えがしっかりしていれば、問題ありません。 原発事故では放射線による死者はゼロで、福島県民の被曝量も健康被害が出ないレベルです。危険なのは「1mSvでも放射線を浴びればがんになる」といった誤解による風評被害の方です。一度事故があったからといって、原発を捨てる選択肢はありえません。 太陽光や風力発電の割高なコストを劇的に低下させるメドは立っておらず、無理に導入すれば電気代が跳ね上がって産業空洞化が進み、失業者が大量発生しかねません。 それに太陽光や風力は お天気まかせの不安定電源なので、これを補完して安定供給するために火力発電の能力増が必要となります。結果的に化石燃料＝石油への依存が高まります。化石燃料には輸入途絶リスクがあるため、これへの依存度を高めれば万一の時に国の存立を危うくします。ありていに言えば、日本の石油輸入依存度が増大するにしたがって、これを途絶させられることの危険負担が増大し、さらに日本は石油利権を有する組織・国の意思に逆らえず意のままに動かされるハメにもなる懸念があります。 再生エネルギーを巡る議論の中で、よくドイツの例がひかれます。しかし、ドイツは国内に電源の40%以上を賄える石炭資源を持ち、ロシアとは天然ガスのパイプラインがつながっています。また太陽光や風力の不安定電源を大量に抱えていても、電力の過不足は欧州大陸に張り巡らされた送電網を通じて調整できます。島国で無資源国の日本とは条件が全く違うのです。 使用済み燃料の取り扱い方針について、原子力委員会は3つの選択肢を示しています。(1)全量直接処分(2)再処理と直接処分の併存(3)全量再処理です。それぞれ原発比率がゼロ、15%、20～25%の各シナリオに対応しています。このうち、全量直接処分はコストがやや安いとされていますが、使用済み燃料は高圧で発熱しているので、間隔を広く離して埋める必要があります。このため、再処理した場合の2倍の最終処分地が必要になります。 また、私達がエネルギー政策について考える際、国内のみに目が向きがちになりますが、国外、特に、日本に覇権主義の矛先を向けている中国の原発政策にも注目する必要があります。 発電量は、中国の総発電量の2%程度、現状では、中国は「原子力大国」とは言えません。 しかし、実際、中国政府は今年初め、原子力発電所の設備容量は2020年までに8600万キロワットに達すると発表し、さらに、構想中の原子力発電所は1億5400万kW以上、約150基とされています。これは概ね2030年までに達成される計画と考えられます。 建設中・計画中・構想中のものを合計すると、約2億4000万kW、震災前の日本の設備容量の約4倍が建設されることになります。これは中国の原子力が米国、フランスをも上回る世界一の規模になるということです。 さらに、2050年までに4億kW(原発約400～500基)が建設されるとされています。この急激なペースでの原子力開発は、中国の核兵器の増産とも無関係ではありません。 中国が「原発50基」を目指しているのとは対照的に、日本は原発廃止・削減に向かっています。これでは、経済的にも、安全保障的にも、日本は自ら窮地に向かっているようなものです。 資源小国日本としては、あくまで全量再処理政策を維持し、再処理で得たプルトニウムを高速増殖炉で燃やす核燃料サイクルの確立を目指すべきです。35年までに原発を230基に増設する計画を持つ中国(現在15基が稼働中)など、新興国で原発推進が加速される中、ウラン価格の将来の見通しを楽観できないからです。 今、エネルギー政策を通じて、日本が問われているのは「国家の戦略意思」です。 地球環境産業技術研究機構(RITE)が推計した2020年に原発をゼロにした場合の2030年時点における実質GDPへの影響は、自然体ケースに比べて46兆円(7.6%)減少するという結果が出ています。 「脱原発」は電力供給の制約、電気料金の高騰等により、日本経済に致命的なダメージを与え、消費税増税とのダブルパンチにより、日本経済は奈落の底に沈みます。 また、原発を保有しているということは、日本が核兵器を開発できる潜在的能力を保有していることを意味し、安全保障上、大きな「抑止力」効果を持ちます。 「脱原発」は、安全保障上、日本が「丸裸」になることを意味しているのです。 エネルギー政策を通じて、日本は「経済成長していく意思はあるのか」「国を守る意思はあるのか」が本質的に問われています。 この選択が、2030年までの日本のエネルギー政策を決定します。日本を守り、繁栄の未来を築くためにも、原子力発電を削減してはなりません。
57773	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。ただし、現状の原発を再稼動させることなく即時停止を求めます。	日本のように地震災害の多い地域での原発稼動は支持できません。 万が一事故が起こった場合の放射能災害へのリスクが大きすぎ、とても容認できません。 自然エネルギーについては海外でも日本の技術が利用されており、国としても自然エネルギーの開発の支援等を国内企業にすすめていけば、将来的に国内経済にとって多くのメリットがあると思います。
57774	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！ 今回のフクシマの事故で私達はあまりにも多くのモノを失い、また多くの事を気付かされました。 小さい子供を抱える母として、またこれからの日本を支える一国民として、 これからのエネルギーの問題は真剣に考え、取り組まなければなりません。 まず、原発のような、取り返しのつかないエネルギーにこれからも頼って生きるなんてまっぴらだ！ と声を大きくして訴えたいと思います。核は人間の手に負えるものではありません。 今までの大人がしてきてしまった事を偉やんだらキリがありませんが、 少なくとも今をまたこれからを生きる大人として、当たり前の行動をしたいと思います。 １年間使う電気を作るために、何万年もしくは何億年無くならない放射性物質を作るのですか？ 地震大国の日本がこんなに原発を抱えて生きていたなんて信じられません。 もんじゅに費やす税金があったら福祉に使って欲しいし、原発を動かすお金があったら 太陽光・風力・地熱・・地球と人間になるべく負荷の掛らないエネルギーに使って欲しい。 そもそも、枯渇するエネルギーに執着する意味も解りません。 人間は生かされているだけ。地球に住まわせてもらっているだけ。 地球に取り返しの付かない汚染を残すなんて大人のすることではありません。 大人は大人の行動を．．！ 世界に迷惑を掛けた日本が、原発なんて動かすべきではありません。
57775	個人	家事専業	30代	女性	原発はいりません	原発が安全でないことが明らかになった今、事故のリスクを負ってまで原子力でエネルギーを作る必要はないと思います。 また、使用済み核燃料の処理方法もきちんとされていないのにも関わらず、原子力発電所が運転していることも問題だと思います。 何より安全、命が大切です。 子ども達が安心して暮らせる日本であって欲しいです。 どうか核のない日本になりますように、お願いいたします。
57776	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	福島原発事故の被害状況の深刻さと、地震国日本でのこれ以上の原発推進はあまりにも危険すぎ、事実上無理だと考えるため。
57777	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを希望します	エネルギー政策にはいろいろと問題が絡みあうと思いますが、やはりゼロシナリオを目指すべきだと思います。想定外の地震、そして、それによる事故になり、移住を余儀なくされる人がいるのが現実です。 様々な技術がある中で、原子力ばかりにこだわる理由も見つかりません。 ゆっくりでも構わないので、しっかりとゼロを目指して、エネルギー政策を立てていただきたいと思います。

57778	個人	学生	20代	男性	私は、20～25%シナリオを支持します。 そして、電力供給を国家独占によって行う事を支持します。	火力発電のコスト・再生可能エネルギーの合理化を行う過程を考えると、極力使用せざるを得ないと思います。 また、原子力発電は事故に際して多くの賠償費用を必要とすることから、民間企業に任せる、また、電力を市場競争によって供給することは安全性といざという時のリスクを考慮すると好ましくないと思うからです。 電力供給は国が担うべき重要な役割ではないでしょうか。
57779	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発の全ては即時廃炉にすべきです。多少生活が不便になっても構いません。便利さよりも健康と命の方が大事です。	原発の全ては即時廃炉にすべきです。多少生活が不便になっても構いません。便利さよりも健康と命の方が大事です。原発＝原爆です。人類は核と共存できません。
57780	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオに賛成します。	地震の多い日本ではいつでも東日本大震災のような原発事故につながる地震が起こる可能性があります。国は原発事故は起こらない、安全だと言っていましたが先の東日本大震災での福島の原発事故によって国が言っていたことが嘘だとわかりました。これ以上日本を汚すことのないよう原発はゼロにすべきだと思います。未来の子供達にきれいな危険のない日本を残すべきだと思います。
57781	個人	自営業	40代	女性	原発事故が起きれば、一電力企業はもちろん、国家・政府でも責任は取れないことが明らかになりました。 「2030年原発ゼロシナリオ」を選択しますが、再稼働をしている原発も含めて、即刻廃炉にするべきです。	原発稼動にいかなる理由があるにせよ　原発事故による被害が国民と国土に取り返しのつかないダメージを与え、ひいては自国だけではなく地球全体に迷惑をかけることが今回の東日本大震災の原発事故で判明したことです。地球のどの国家より地震や自然災害の多い我が国が原発を稼動するべきではありません。そのことを今回の事故が教えてくれたのではないでしょうか。そのことを深く反省しない限りこの国にどんな未来があるでしょうか。 日本は今　大きな転換点を迎えているだと思います。 この国の知性の総力を結集して、次世代に安心して遺せるエネルギー政策を真剣に考え出すべきだと思います。そのために現代を生きる我々は艱難辛苦を乗り越えていかなければならない歴史的使命を負わされていると考えます。
57782	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー・環境会議自体を官僚主導ではなく、独立した第三者主催で改めて招集開催するべきと考えます。	議事進行を見ていますと、事務局（主幹行政）の強引さ、手の込んだヤラせらしさが目にあまります。 主権者である我々国民を巻き込んだと見せかけ演出した、官僚の意を汲んだ共演者のお手盛り進行との疑念が排除できていません。主権者である国民への儀式を装った責任転嫁に過ぎないと疑われても反論のしようがない運営と考えます。 一生懸命取り組んでいる一部の官僚の方が哀れでなりません。 せっかく主権者である我々を巻き込む（意見を募集する）のであれば、もっと透明性を確保した主催、取りまとめ、好評手段を採用すべきであり、政府・行政から独立した第三者主催で改めて仕切り直すべきと考えます。
57783	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 既得権者のための原発を押し付けるのはもうやめて。さっさと環境エネルギーで経済効果を生み出す手だてを考えるのが、3.11を経験した日本国政府の役目です。
57784	個人	その他	30代	男性	選択肢の中では「2030年に原発0」を選択しますが、そもそも「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。	別に税金を使って一部の人に利権が得られる仕組みでも良いから、安全なエネルギーでそれをやって欲しいです。 人工光合成や量子ドット太陽電池などの開発が進んで、実用化できるようになって、原発が不要になっても、国政の政治家、電力会社、原発の置かれる地域の政治家などにとって不利益が生じて反対しないようなうまいやり方をしてほしいです。 もしくは、本当に残念なことに日本では難しいでしょうが、フィンランドのように正々堂々と原発を使い、本当に国民のことを考えて安全対策をしてください。 http://matome.naver.jp/odai/2134094909236897801 （出所が怪しい事項もありますが、政府および電力会社のあるべき姿について記されていると思います） 将来自身や自分の子どもに降り掛かるかもしれない災難よりも目先の利益のみを追求する愚かな判断に国民を道連れにしないでください。 利他の先にある利己を求め、政治家および電力会社として誇りを持って使命を全うしていただきたいと思います。
57785	個人	無職	60代	男性	原発はゼロシナリオを支持します。	以下の理由で原発のゼロシナリオを支持します。 ●2011年3月11日発生の東北大地震により、日本各地において更なる大地震と火山爆発が誘発されることが確実視されており、全国に54基（「もんじゅ」を加えると55基）もある原発の一基でも福島第一原発と同様の事故が起これば、日本は存亡の危機となる。特に未だに全く収束していない福島第一原発で爆発した1～4号機のいずれかが、人が近寄れない致命的な事故が次に起これば、全ての原子炉の暴走を止められないことが明白であり、日本が壊滅するばかりではなく世界中に甚大な放射能汚染を与えてしまう。 ●使用済み核燃料の要保管期間は、数万年単位の気が遠くなる長期間が必要とのことであるにも関わらず、現在実施されている保管方法は燃料プール等の水による冷却が唯一の方法であり、しかも使用済み核燃料は原発を起動すれば増え続けてしまう。既に日本国内での保存場所は、非情にも国外委託も検討されるほど少なくなってきており、大変深刻な問題となっている。また、使用済み核燃料プールは地震等によりプールが破損し、ダダ漏れ状態となれば、冷却水の補充は全く不可能となり、使用済み核燃料の暴走を絶対に止めることが出来なくなる。しかもこの燃料プール破壊の危険は、既に福島第一原発4号機の燃料プールで現実問題として発生している。 ●使用済み燃料の95～97%が再利用可能とされる、再処理（リサイクル）システムに不可欠である高速増殖炉の原型炉である「もんじゅ」は、相次ぐ事故で未だに本格運転に至っていない。しかも冷却材に水と科学反応して爆発する金属ナトリウムを使用している大変危険な炉である。 技術とは事故を幾度となく繰り返すことで、漸く実用化が達成されるものであり、原子力発電システムは一度でも深刻な事故を起こせば致命的になるので、絶対に完成できないものである。よって「もんじゅ」も絶対に完成できない炉であることは明白であり、従って使用済み燃料再処理システムは破綻しており、再処理システムを金科玉条とする我が国の原子力発電システムも破綻してしまったと断言できる。
57786	個人	会社員・公務員	60代	男性	54基の原発すべての再稼働をせず、したがって将来的にも原発は0%に、電力の供給は地熱発電、太陽光、風力、火力、水力発電で賄えばよいと考えます。	54基もある原発施設、安全性の点からも廃棄物の処理の点からももう使わないほうがよい。生命への安全性を第一に考えれば、経済、産業面への打撃はやむを得ない、国際競争力の低下もやむを得ない、と考えます。
57787	個人	家事専業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	子供たちの未来のために安全に暮らせる日本という土地を守るべきです。
57788	個人	学生	10代以下	男性	原発比率は0パーセントがいい。	僕は、今中学生だけれど10年後には僕たちが大人になっていて原発の後始末を、しなくてはならない。今もう60代とか70代の人は次に原発の事故が起きた時に死んでしまっているから原発のことなんてどうでもいいのかもしれない。でもこれから生まれる子ども達や今年産まれた子どもたちなんて何の責任もないのにとてもかわいそうだ。だから原発比率は0パーセントがいい。
57789	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。 それは、日本国、日本国民のためを考えたら、当然の選択ではないでしょうか。	原発ゼロシナリオを選びます。 それは、日本国、日本国民のためを考えたら、当然の選択ではないでしょうか。 3・11の震災・原発事故によって、原発がずっと抱えてきた問題が、白日の下に晒されることとなりました。 原発事故が起きてしまい、取り返しのつかない膨大な被害がもたらされてしまったことは、本当に無念であり、悲しみの極みです。 その中で唯一、救いを求めることができるとすれば、それは、【日本国民が、そして世界の人々が、この事故から原発の真実に気づき、多くのことを学び、教訓を得て、二度とこのような事故を起こすことのない社会を創っていくこと＝原発ゼロの社会を創っていくこと】なのではないでしょうか。 このことは、事故を起こしてしまった現在の社会に生きている、私たちの使命であり、責任であり、義務であると考えます。 白日の下に晒されることとなった、原発が抱える問題――― 事故が起きてしまったら、国民に塗炭の苦しみを強いることになる。その時代を生きている国民にだけでなく、未来の世代の国民にまでも。 一度汚されてしまった国土は、二度と元には戻らない。 事故の影響は、国内のみにとどまらず、全世界・地球規模のものとなってしまう。 そもそも、幸いにして事故が起きなかったとしても、原発を運転すること自体に、大きな問題を抱えている。 使用済み核燃料の処理技術が確立していない。再処理は言うに及ばず、10万年後まで放射線を出し続ける使用済み核燃料を、安全に保管する術はない。 原発を運転し続ければ、処理できない使用済み核燃料がどんどんたまっていく。それこそ、将来の世代に大きな大きなツケを残すことではないのか。 原発を運転するためには、その労働に従事する人たちが必要であり、被曝を強いられている人たちがいる。それを社会的弱者に押し付けている現状。 通常の原発の運転によっても、量は多くないとはいえ、環境に放射性物質を放出している。 使用済み核燃料の処理のコストや、事故が起こってしまった場合の費用等を考えると、原発は、どう考えても高いコストを要する発電方法である。 そもそも、ウランは有限な資源である。 ――― いくつか問題点を挙げてみましたが、このことを鑑みるに、原発ゼロシナリオを選ぶというのは、日本国、日本国民のために当然の選択であると同時に、実に合理的な選択でもあります。 幸いにして、そしてとても誇りに思いますが、日本は太陽光・地熱・水力・風力・波力など、再生可能エネルギーの分野において、世界に冠たる技術を持っています。 この技術の研究・開発に費用を投じ、発展させていくことが、これからの日本において、そして世界において、必要とされていることだと考えます。 これは経済戦略でもあると同時に、世界の人々から日本が尊敬を集めることにもなると考えます。 このことによって、電力需給に占める再生可能エネルギーの比率をどんどん高めていってください。 3・11の震災・原発事故からの教訓を無駄にすることなく、よりよい社会、日本を創っていきたい――それは日本国民全員の想いです。 よろしくお願いいたします。
57790	個人	パート・アルバイト	30代	女性	【2030年に原発ゼロ】というより【今すぐ原発ゼロ】にしてください。大飯原発、止めてください。	ウランを掘り出すことで、現地の人が被ばくする。原発動かせば、周辺住民や作業員が被ばくする。事故があれば、世界中が放射能汚染される。核は増える一方。原発にメリットなんて1つもありませんん。
57791	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	昨年の恐怖の毎日を二度と起こさないために、たとえ電気代が高くなったとしても、経済が一旦悪くなったとしても、原発ゼロにすべきです。 さらに、使用電気を選べる社会を作っていきましょう。
57792	個人	会社員・公務員	20代	男性	(1)ゼロシナリオを選択	家も職場も放射能汚染された地域にある。健康被害が出ても誰も助けてくれないんだろう。こんな状況にした原発、いるかいらないか考えるともちろんいらない。 日本は廃炉の技術を磨いていこう。2030年にはもちろん稼動している原発がゼロになっていると思う。 ゼロシナリオを希望する。
57793	個人	無職	30代	男性	原発即時廃炉。依存度即時0%にするべき。自然エネルギー、天然ガスに移行すべし	世界の潮流はすでに、脱原発⇒天然ガス＋自然エネルギーに移っています。日本もいつまで脱原発か否かで立ち止まっているのでしょう。原発はすでにコスト的にも見合わないというのが世界の認識です。放射性廃棄物、つまり原発のゴミ処理も決まっていないのにやるべきではない。すぐに原発を止めるべき
57794	個人	自営業	30代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 ゼロシナリオを希望します。	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 ゼロシナリオを希望しますが、 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。
57795	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオ	原発ゼロシナリオ 原発はいらない。 電気料金が少々高くなろうとも　安全に住めるのが一番でしょ。

57796	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度ゼロシナリオとすべき。福島の事例より原発事故による経済損失は、増税が必要なほど大規模なものと判明した。経済効果を考え、原発はやめ再生可能エネルギーや火力へ代替する。新たな雇用も期待できる。	原発依存度ゼロシナリオとすべき。 福島原発事故で絶対に安全であると言われていた原子炉がメルトダウンし、深刻な被害をもたらした。福島ではいまも避難生活を余儀なくされる方々がおり、その賠償金額は総額数十兆円ともいわれている。もし2回目の原発事故が発生すれば、日本は確実に破綻する。 現状は原発再稼働問題で、安全問題を政治決着で先送りし強引に2基の原発を再稼働してしまった。需給逼迫問題がその理由だが、再稼働すべきは休止火力や水力である。また仮設電源や自家発電の利用促進もすべきである。それらを否定し、原発再稼働が需給逼迫を解決する唯一の手段とした議論を進めた。その結果、原子力産業への信頼は地に落ちた。 いま求められることは原発依存度ゼロシナリオを基本とし、原発の劣化度や寿命を個別に精査し、危険性の高い原発から順次廃炉とすることである。少なくとも法定耐用年数（概ね16年）の経過した原発は即時廃炉し、その他の原発も順次廃炉にする廃炉行程表を明確に決めることである。 原発の代替えエネルギーは、当面はLNG火力発電とべき。技術的にも確立し、高効率・安価なエネルギーとなる。そのうえで、老朽石炭火力発電・石油火力発電を順次廃止していく。同時並行的に風力発電・太陽光発電・地熱発電・バイオマス発電を順次増やしていく。不安定な方式もあるが、LNG火力発電の制御により補償していく。この事で、発電全体でのの低CO2化を図れば、地球温暖化対策にもなる。 高レベル放射性廃棄物最終処分問題も現状では全く目処が立っていない。最終処分場はどこに設置するのか。このままだと約10年で原子力発電は破綻する。したがって、放射性廃棄物を最初から減量する（ガラス固化で無理やり減らすのではなく）必要がある。それを実現するのが原発依存度ゼロシナリオである。使用済み核燃料は全量直接処分を適切とし、六ヶ所村再処理工場等は廃止、高速増殖炉もんじゅの研究開発を中止としている。この事で、高レベル放射性廃棄物を減量できる。 最近の報道：米NRC、原発認可手続きを停止 - WSJ日本版 - jp.WSJ.com　2012年 8月 8日　11:10 JST http://jp.wsj.com/US/node.491135　のように「米原子力規制委員会（NRC）は7日、最近の連邦控訴裁判所の判決で提起された使用済み核燃料政策の問題への対応ができるまで、原子力発電所建設の認可手続きを停止すると発表した。」とあり、日本でも最終処分問題を解決しない限り、原発の新設・リプレイスは不可能と考える。
57797	個人	会社員・公務員	40代	女性	セロバーセントシナリオ＝原発の即時廃止	福島第一原発事故の詳細さえ分かっていない段階で、「責任をとる」とおっしゃる首相の発言の真意を疑う。 政府が、福島ならびに周辺都県の汚染地住民を「棄民」するのでなければ、原発の即時廃止しかないと思う。 議員も官僚も、福島ならびに周辺都県の汚染地で、自分自身が子どもや孫と共に住んでから、それでも原発を維持するというなら意見してもらいたい。
57798	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発「ゼロシナリオ」を支持します。理由は(1)地震列島である日本に原発を置くのはリスクが高い、(2)使用済み核燃料の最終処分の問題が解決不能、(3)中長期的には原発は経済合理的でない、ということによります。	原発「ゼロシナリオ」を支持します。理由は以下の通り。 第一に，地震列島である日本に原子力発電所を置くのはリスクが高いためです。東日本大震災がもたらしたように、ひとたび原発事故が起こるとその被害は甚大であり、日本全体に回復困難な影響を及ぼします。仮に原発事故の確率が低いと考えても、与える影響の大きさゆえ、設置すべきではありません。これ以上のリスクを回避するために、できる限り早く廃炉を進めていくべきです。 第二に，使用済み核燃料の最終処分の問題が解決不能なためです。仮に核燃料サイクルが実現できたとしても、使用済み核燃料の最終処分の問題は残ります。しかし日本列島では，数万年先まで地質学的に安定した場所はどこにもありません。外国や将来世代にツケを回す使用済み核燃料をこれ以上増やさないために、できる限り早く廃炉を進めていくべきです。現実に、今どこにも核廃棄物の最終処分場は全く決まっていないではありませんか。 第三に，中長期的には原子力発電所は経済合理的でなく、将来世代に巨大な夫妻を残すためです。中長期的には、(1)いまだに使用済み核燃料の処理・最終処分の技術・方針が確立されていないことから、コストは見積もりよりもかなり大きくなりそうである上，(2)福島の事故や将来起こるかもしれない事故の補償費用が見積もりよりもはるかに大きくなり、(3)ウランの価格の高騰（資源価格だけでなくリスク管理の費用も含む）、(4)多額の費用をつぎ込んでも未だに確立の見通しが立たない核燃料サイクルのコストの更なる膨張，(5)いまだに技術的な見通しの立たない福島第一原子力発電所の廃炉費用、等々を勘案すると原発のコストは，これまでの見積もりよりはるかに高くなることはあっても安くなることは想定しがたいです。私たちはこうしたコストを将来世代に払わせるわけにはいきません。 加えて原子力発電は，ウラン鉱山での劣悪な労働環境や、原子力発電所・関連施設の末端労働者の劣悪な労働環境に支えられており、正当な労働安全衛生を保障し、正当な報酬を支払う必要があります。しかし、そうなるとさらにコストは増大することになります。中長期的にみて経済合理的でない原子力発電所は、できる限り早く廃炉を進めていくべきです。 なお廃炉により、従来の電源三法交付金などを受けていた自治体の財政が大きな影響をこうむることになるため、それに対しては国から代替となる補助金を一定期間与え、自立への道を歩めるよう最大限の補償をすべきです。
57799	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発稼働はすぐにやめるべき	小さな国土にもかかわらず、高い技術力で革新的なテクノロジーを生み出し、世界から賞賛されてきた日本が、原発事故によって失ったものははるかに大きい。普通の人々の暮らしを奪い、世界から『それでも原子力発電を使うのか』と失望されている。 これまでの技術力で、原発に代わる代替エネルギーを考え出すことが、この後、日本が生き残る唯一の道だと思う。そして、それが普通の暮らしを失った人々への、唯一の償いだと思う。
57800	個人	その他	40代	女性	国の方針として「原発ゼロ」を目指すことを希望します。	子孫の命を守りたい。地球を守りたい。

整理番号	個人/法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
57801	個人	会社員・公務員	20代	男性	(1)ゼロシナリオ	なるべく速やかに、20年以内には原発ゼロ。国民の利便性より安全性を選ぶ為。
57802	個人	自営業	30代	女性	国が決めた選択肢ではなく、直ちに全原発の廃炉と、自然エネルギー＋火力発電でのエネルギー需給を国として進める事を希望します.	原発は安全ではない。 福島の反省，総括もできない中で，実際には不足なく供給できた電力を，さも足りないように宣伝して大飯を再稼働した政府、官僚、電力会社には猛省して頂きたい. 日本で起きうる最大限の地震、津波が福島の状況であったと断言できないのであるから、旧来の基準で設置されている原発は、いずれも安全とは言えない. 付け焼き刃の対策をいくら弄したところで、誰も安全を保証できない原発など，直ちに廃炉すべきです。 確かにCO2削減も大事でしょうが，中国，アメリカが、節操もなくCO2を排出し，安価なエネルギーを得て経済活動を拡大する中で，日本だけ汲々としている状況こそ、低迷する経済の元凶です. 将来的な自然エネルギーの利用に、補助を手厚くして普及しやすくする環境を整え、その間は火力発電で主だった電力をまかなうべき. 2030年ではなく，今すぐの全原発廃炉をこそ、国は主導すべきです.
57803	個人	パート・アルバイト	60代	女性	脱原発（ゼロシナリオ）を支持します。原発即時廃止を主張します。	原子力発電による電力発電を即時に廃止する事を主張します。直ちに、すべての原発の廃炉を決定して、原子力に頼らない電力発電システムを作ってください。再稼働した大飯原発の即時停止、その他の原発においても再稼働を反対します。
57804	個人	無職	60代	女性	(1)ゼロシナリオ 原発即廃炉	原発断固反対！！！ エネルギーは足りています。 企業の利益だけを考えないで！！ 勝手に上の人間だけで決めないで。
57805	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は再開したものも含め全て廃炉にすると共に、一電力事業者による地域独占を許してきた電気事業法の早急な改正を行い、電力自由化、発送電分離を通じて自然エネルギー活用の普及を強力に推し進めるべきである。	福島第一原発での事故の原因が、東京電力福島原子力発電所事故調査委員会（以下、国会調査委と記載）にて明確に「人災」と指弾されたにもかかわらず、いまだ誰も責任を明確にされないままで、今後の収束状況についても見えていない。さらに大飯においても免震棟建設の先送りなど安全面からみてとても再開できるものとは思えない。また使用済み核燃料の処分技術も確立していないのにこれ以上使用済み核燃料を増やしてどうするのか。10万年以上先までと言われる子々孫々の代まで及ぶ影響を考えれば、直ちに全廃が当然の結論と思われる。
57806	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。かつ早急なる原発の停止と廃炉路要望します。	ゼロシナリオを支持します。かつ早急なる原発の停止と廃炉路要望します。
57807	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！	原発は即時　０　を支持します。 大飯原発も即時停止！地震大国に有り得ない選択です！ 今回のフクシマの事故で私達はあまりにも多くのモノを失い、また多くの事を気付かされました。 小さい子供を抱える母として、またこれからの日本を支える一国民として、 これからのエネルギーの問題は真剣に考え、取り組まなければなりません。 まず、原発のような、取り返しのつかないエネルギーにこれからも頼って生きるなんてまっぴらだ！ と声を大きくして訴えたいと思います。核は人間の手に負えるものではありません。 今までの大人がしてきてしまった事を悔やんだらキリがありませんが、 少なくとも今をまたこれからを生きる大人として、当たり前の行動をしたいと思います。 １年間使う電気を作るために、何万年もしくは何億年無くならない放射性物質を作るのですか？ 地震大国の日本がこんなに原発を抱えて生きていたなんて信じられません。 もんじゅに費やす税金があったら福祉に使って欲しいし、原発を動かすお金があったら 太陽光・風力・地熱・・地球と人間になるべく負荷の掛らないエネルギーに使って欲しい。 そもそも、枯渇するエネルギーに執着する意味も解りません。 人間は生かされているだけ。地球に住まわせてもらっているだけ。 地球に取り返しの付かない汚染を残すなんて大人のすることではありません。 大人は大人の行動を．．！ 世界に迷惑を掛けた日本が、原発なんて動かすべきではありません。
57808	個人	その他	30代	男性	全原発の即時停止と廃炉を提言する。「概要」にも挙げられた中最も重要な要素は「国民の信認」と考える。原発の存在自体が「日本国憲法違反」が疑われるものであり、国際的な信認も裏切る深刻な存在である。	（1）とくに事故以降における東電をはじめとした電力各社の対応も、政府・官僚による規制も、全く信頼ができない。これは日本国民全体にも、各世論調査から広く読みとれる。再稼働などに賛成する世論はあるが、諦め感や「自分ごと」と考えない無関心から容認しているに過ぎないというのが、学生を指導していての実感でもある。（電力が足りないからという世論は、大飯原発稼働後に火力発電所8基を停止したことだけをみても、残念ながら騙された結果と受け取らざるを得ない。） 原発即刻ゼロを、日本国の現国民と未来世代への責任として、勇気をもって選択してほしい。同時に、全炉について廃炉作業を即刻開始し、できる限り早くに完了すべきであり、そうしないかぎり、次の事故がありありと懸念される。 それはひとえに、原発関係者が、ことごとく信頼を失っているし、事実を知ればじきに信頼を失うからである。 具体的に理由をあげると、枚挙に暇がない。 ・事故は、たとえ地震が起こらなくとも、通常運転でも十分懸念される。しかも事故はすでに全国の原発で数十件起こってきたのであり、それらがたびたび隠蔽されてきた。 ・大飯原発が再稼働への準備過程ですら事故スレスレのトラブル続きで、しかもその公表が遅れ（遅らされ）、福島事故の反省も無く、隠蔽体質が変わっていない。 ・被曝労働者たちの苦悩がある。彼らは労災認定と補償さえまともに受けられておらず、福島でもすでに線量偽装が横行している。 ・福島第一原発の4号機使用済み核燃料プールの崩壊と放射性物質の放出が専門家の間で、国際的にも懸念され、市民にも広く知られてきていることの自覚も無く、その全電源喪失に際して、東電の対応は、明日調べますという悠長なものであった。 （2）以上のような状況は、結果的に、日本経済の維持、成長、発展をも阻害する。日本の関連会社の株価にも影響するだろうし、すでに進行しているように、農業、漁業、観光業などに甚大な損害を及ぼす。比較的軽微な事故が起こった場合もその懸念がある。 むしろ自然エネルギー発電に大きく舵を切って、その方面でのビジネスチャンスを狙うべきだ。すでに他国の企業に先を越されてしまっているが、その点に関わってこそ研究補助金、法的整備をすれば、必ずや日本の学界、経済界などが活気づくはずである。 その方が、地方の雇用や地方自治体の財源増が期待できる点は決定的である。原発ではけっきょく、ごく一部の市町村のみが交付金等で一時的に潤うに過ぎないが、自然エネルギー発電では、広く全国各地の自治体に雇用機会を生み出す。この点にこそ、推進の交付金や法的保障を振り向けるべきである。 立地自治体で雇用を求める切実な声に応えるならば、むしろ廃炉作業に関わる雇用を創出すべきであろう。そもそも定期点検中心では数カ月間の断続的な雇用にとどまるが、廃炉作業は、数十年間も継続的に、大量の雇用を提供し続けられる。この点での試算を信頼おける機関が行い、立地自治体では、そのデータをもとにして、首長・議会の選挙を行うべきではないか。 （3）事故が起こっても起こらなくても、立地自治体に住む人々の心の荒廃はとてつもなく大きい。金が全て、土地や人間関係は二の次、という価値観を植えつけておいて、果たして国民統合ができるのか。 官僚、政治家、電力会社などの関係者は、政策選択に際して必ず、福島に住む、または避難をした保護者や子どもたちの苦しい声、諦めの声を、具体的に数万件聴き、集めるべきである。その上でのみ、再稼働、原発継続の判断が下せるのではないか。おおい町の関係者と話をしたことがあるが、福島の人々の生活、とくに心の実態を具体的にご存知ないことがわかり、本当に私は心配している。これで何らかの事故が起これば、彼らが騙されたと抗議し、自ら騙されにいったものと後悔するだろう。 このように、原発が立地していることですでに巻き起こってきた対立、反発、抵抗、そして立地自治体以外にも広がる反対運動と無関心、そして立地自治体の住民に対する差別・・・、日本人の将来にわたる心の惨状が懸念される。一々挙げるのがつらいので私が知り得た声を引用することは省略する。もう嫌だ。 （4）私は日本国民として、深刻に生存権を要求する。 原発の存在は、以上を理由として、日本国憲法第25条第１項「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」の侵害・違反である。電力会社、政府、官僚などが国民にとっての問題点を深刻に考えていない点で、国民のまともな生活をしたいという声を裏切る「信頼失墜の装置」とさえ言える。しかも、世界各国の人々に対しても、健康と生活、生命をすでに脅かしているという点で、国際的信頼をも裏切っている。「国際貢献」どころではなく、日本は再び第二次大戦時に続けて、世界のやっかい者になってしまう。 この点は、「安全保障の観点」にしても懸念がある。日本人は日本国内で、また世界に対して、いつ核武装の可能性について提案したり論議したりしたのだろうか。なし崩し的に核武装の原料を確保しておくような真似は、アジアのある国と同じく、国際的な信頼を失い、疑いの目を向けられることを自らする「信頼失墜」の行為ではないか。 　以上より、全ての原発の即停止と廃炉作業の即開始、同時に自然エネルギー発電のさらなる推進を提案・要求する。
57809	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 　福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って、世界を汚染している。食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また、生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開できない方も多い。原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 　国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行なわれていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐことはできない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 　使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続けることは、許されないことである。
57810	個人	会社員・公務員	20代	男性	2番の15 シナリオを指示します。原子力に変わる代替エネルギーがきちんと見つかってから、ゼロシナリオを目指すべきだと思います。	2番の15 シナリオを指示します。原子力に変わる代替エネルギーがきちんと見つかってから、ゼロシナリオを目指すべきだと思います。
57811	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギーは安定的かつ安価に供給されるべきとの原則を守ること。 そのための手段は、実現にあたっての最初から最後までの期間において トータルで環境負荷のもっとも低いものであることが必要。	最近、原子力発電への逆風が吹いて久しいが、現在の我々の生活には電気は欠かすべからざるものであり、したがって、必要な電気の需要を賄うだけの発電能力をどの発電方法で得ることを考えるのが、この問題の基本姿勢であると考える。 これにはさらに、電力供給に伴う環境への影響、とりわけ地球温暖化ガスとされている二酸化炭素の排出が少ないことから原子力発電が過去の政策で未来の基幹エネルギーとされてきていたところである。 　それが翻って、３．１１以来原子力は悪者、廃炉がすべてとの論調が巷間に喧しいが、はたしてそれが最善の選択であろうか。少なくとも電力の代替供給のめどが立たない段階での軽はずみな断定は現に慎むべきである。 　代替エネルギーとして、自然再生エネルギー（太陽光、風力など）が競って取り上げられているが、これらの発電出力はすべて気象任せであり、需要がいくらに直ちに堪えられない存在であることを肝に銘じてほしい。基幹エネルギーとするにはその部分を補うだけの手段、たとえば蓄電池の具備が必須であろう。発電所として考えるのであれば、そのような付帯設備を加え、原発と同じ品質の電気を供給できるシステムとして考慮しなければならない。それができて初めて原発と同じスタートライン上に上れるものと考えなければならない。 　そうした時の基本的な発電所の寿命から割り出した単位出力時（WH）ごとの必要な投資額ははたして自然再生エネルギーに軍配が上がるかははなはだ疑問である。加えて、発電所の単位面積当たりの出力量も検討すべし。広い場所にパネルを張り巡らせる太陽光は、果たして必要な電力量を稼ぐために、どれだけの面積が必要なのか。この件も務めて具体的に検討せねばならない。 　トータルの寿命における単位出力（WH）当たりの必要コストはここにデータを持たないが、短期間で寿命を迎えるパネルを保守または点検、修理交換することになれば、をの費用も含まねばならない。製造原価から解体修理または廃棄までにどれだけ・・・って費用も含めねばならない。当然そのような間接的なコストは電気料金に含めるべきである。そうなったときに初めてすべての発電に関する能力の違いを公平公正に比較できるはずである。 　将来的には、化石由来の燃料に頼るのは得策でない、。であれば、再生可能エネルギーへのシフトの可能性は残しつつ、それら大体エネルギー手段の高効率化、代替発電手段を検討すべきであると思い、それには上記の判断をすべからく含める必要がある。 　原発をこわいこわいと単に反対して遠ざけるのではなく、その怖さといかに向き合うべきかを考える必要がある。比較対象は従来の発電設備および新規の発電システムで行われるべきであり、ほかにも経費や人身に過去数十年に発電にするといい。その上での単位時間当たりの効率が見えてくるでしょう。 　最後に、安全性安定性であるが、発送電分離にを無条件に賛意は唱えられない。これも付帯設備を混むべき装置として考慮さるべきである。 すべてをひっくるめて同じ条件で、比較し、必要な方法を選択してほしい。
57812	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力発電所の起動はゼロ起動でお願いします。	福島の原子力発電所の件がまだ収束していないうちに他を起動させるなんて理解できません。 福島が堂々と住める場所になってから考えてください。 原子力はゼロでも生活できていたはず。 再稼動なんて早すぎるし、必要ないと思います。
57813	個人	家事専業	60代	女性	原発は、(1)　0%　に賛成です。 今ある原発を順次、安全に廃炉にしていくことが、日本国民のみならず、世界中の人、動植物にも環境を大事にしていくために必要なことと思います。	地震に耐えられない原発は、要りません。 現在も、放射能は、拡散し続けています。誰も本気にしませんし、数値も一部のみの報道で、それも、支障ないというものばかりです。 でも、チェルノブイリの原発事故から、25年たっても、まだ、被爆者は、出ています。フクシマも同じだと思います。 電力不足というけれど、オール電化住宅の勧めは、矛盾しています。徹底的に電力利用を調べるべきです。
57814	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	福島第一原発の事故を踏まえて、使用済み核燃料の在庫量、列島である国土と地震・津波・噴火の発生する可能性の高さ、最近では大雨災害の頻発発生…と、原子力発電所を運営する上のリスクが非常に高いと考えられます。故に姿勢として原発依存度をゼロパーセントと設定をし、まず、代替エネルギーの開発、一般化（もちろん一本だけではなく複合的に利用する事で電力の安定化を目指す）、現在稼動している原発を含む発電所の安全確認を徹底することが大切かと思っています。 その中で、取捨選択をして、稼動をしても差し支えない発電所を、周辺住民・自治体に納得してもらった上で当座運営することは可能であろうと考えます。 そして次の段階として、使用済み核燃料の処理。廃炉への段取り。代替エネルギーへの移行が必要になっていくと思います。 その際、今以上に放射性物質、核反応などなど、原発を作る時に要した専門知識の数々が重要になっていくと考えます。 もう、これ以上、「使用済み核燃料の処理？それはとりあえず繰り延べ」という次世代へ残すような無責任な対応は選んでほしくないです。 大枠として、2030年時点のゼロシナリオを選び、そのスキームの中でどこまで実行化出来るか5年おきに進捗を確認、国民に提示してほしいです。 その中で、例えば2030年時点でゼロにならなかったとすれば、目標年数をいくらか先延ばしする方法もあるのではと考えます。勿論その際も、延ばしてよいかどうか、国民に問う形を選択してほしいです。
57815	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオを選択します。	人間として真っ当に考えて、ゼロシナリオを選択します。 原発をゼロにするんだと強い覚悟を持って皆で力を合わせれば、代替エネルギーのアイデアはいくらでも出てくるだろうし、環境や経済にも負荷のかからない技術革新はいくらでも生まれるはず。 世界的に見てももはや時代遅れでマイナーなうえにとてつもなく大きな危険性を伴い経済的にも決して優れていない原子力発電と「未来のエネルギー」という概念は決して結びつきません。 ゼロシナリオを選択します。

57816	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発を今すぐ全機稼動を止め廃炉するロードマップを作成すべき。原発依存を止める社会へ。	地震大国日本に原発依存社会はふさわしくない。 コストパフォーマンスが悪すぎる。使用済核燃料や廃炉コスト。 東電の対応を見てリスク管理が全くなされていない。 責任の所在もあきらかでなければ捜査もされないのは論外。 テクノロジー飛躍的進歩している。新しいエネルギーに予算投じるべき。 首相官邸前に毎週待巻き起こってるデモはどんどん規模を拡大している。これはもう無視出来ないレベル。 観光、農業、輸出産業へ今回の事故が与えた影響は計り知れない。
57817	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを求めます。	現時点で使用済み核燃料の処理方法が決まっておらず、その処理について次世代に回すというのはどう考えてもおかしい。 日本列島は地震多発地域であり、地震発生時の原発の安全性は全く担保されていない。 電気が足りないというが身の丈に合った使い方をすれば、火力でも絶対に足りるはず。 原発を使わずに、電気を効率よく消費する方法をみんなで考えたい。
57818	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロですすんで対応してほしいのです。 早く次世代のエネルギーに転換するのにまずゼロからしましょう 核の被災国として、まず！ゼロからはじめましょう。	国や企業の回答に不信があります。 国民の意見を聞き入れ回答がほしいからです。
57819	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	そもそも原発は倫理に反します。福島原発事故で明らかなように原発は差別と犠牲の構造を持ち、原発事故が起こらなくても被曝労働の強制・放射能汚染・放射性廃棄物の次世代への押しつけがあり、原発は存在そのものが倫理に反します。エネルギー面では以下の点から原発ゼロが必要です。(1)真夏にすべての原発を停止しても電力はまかなえる――そもそも真夏のピーク時の30時間分だけ工場とオフィスの大口需要で集中対策すればOK。(2)労働環境や生活環境に負担をかけない節電方法で省エネ対策を進めれば、2020年には2010年比で20%以上のエネルギー消費量削減ができる――そもそも今の日本は有効に使っているエネルギーは3分の1しかなく、残りの3分の2は熱として捨てるというムダを行っている。排熱を有効利用するコジェネレーション導入で発電用燃料消費を減らし、かつCO2の少ない天然ガスへの転換促進をすることで、節電や自然エネルギー拡大がなくても火力発電のCO2を半減できる。(3)洋上風力を除いても日本の電力消費の約3倍ものポテンシャルが再生可能エネルギーにはある。(4)脱原発で再生可能な自然エネルギーにシフトし「環境を考えないと経済発展しない」――温室効果ガス排出量を減らす対策を行い、技術普及させ、対策産業を発展させた国が経済成長をしている。GDP成長が日本以上で温室効果ガスを減らしている国はヨーロッパに14カ国あり、1990年以降のGDP成長率が日本より低い国は西欧にはない。「環境か経済発展か」ではなく、「環境を考えないと経済発展しない」。(5)脱原発と省エネ・再生可能エネルギーの発展による雇用拡大効果はとても大きい――省エネ・再生可能エネルギー発展による雇用拡大効果は、日本の基幹産業の一つである自動車製造業の雇用者数の2倍、原子力産業の雇用者数の数倍にのぼる。
57820	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	福島第一原発事故では、首都圏を含めその他の地域も人が住めなくなり、死んだ土地になるところでした。原発はいったん事故を起こすと収束が困難で、福島第一も果たして安全な状態に持っていけるのか、疑問です。 地殻活動期に入った地震国日本で、原発を稼働させるのは危険ではないでしょうか。
57821	個人	自営業	80代以上	男性	夏でも家に羽毛服を着せる省エネ法改正は費用対効果で疑問あり。逆に地域の住文化を破壊しかねず強制不要。ZEH戦略で推奨される物は消費拡大に貢献しても、生産～廃棄処理迄の環境負荷は過大で抜本的な見直し必要	省エネ建築研究者、木造建築の専門家としてご意見申し上げます。 　現在省エネ法改正により、北緯45度の北海道から同20度の南端まで南北3000kmを、法的に断熱強制しようとする動きがありますが、これは環境や地域経済にとって両刃の剣です。 選択肢の用意なくして、一律断熱を強制することは、脈々と受け継がれてきた地域の建築の作法、伝統の職人技や地域の生業、そして何より地域に根ざした建築文化を殺すものになりかねません。 　住宅高断熱による省エネ期待は全体の1％程度とされ、このままでは低炭素社会実現、CO2削減を大義にした、モノ売りになりかねません。 失礼ながらCASBEEのモノ売り的発想にも、はなはだ疑問があり、抜本的な見直しを求めます。 ここはモノ工業生産物に頼らない知恵と、地域に根ざした力を動員する多様な選択肢を示すべきで、例えば衰退する一方の林業、造園、農業、地域工務店の力をプラスに変えるような、省エネ推進手法はできないものでしょうか。 また民生レベルの努力での低炭素社会実現のためには、むしろコンビニの出店規制や自販機の自粛。住宅関連の省エネ推進では家電、給湯、暖冷房の順に強く対策を講じるべきです。
57822	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロのシナリオを支持します	3.11東京電力福島原発の事故を機に、それ以外のシナリオの選択はありえないと思います。 なによりも自分の子供を、世界中の子供を、安心して泥んこで遊ばせてあげたい。 原子力は、地球で生きていく私たちには、とても不自然なエネルギーだと思います。 日本人の知恵と技術力なら、いくらでも他のエネルギーを有効に使うことが出来るはず。 原発はいりません。
57823	個人	家事専業	30代	女性	日本の原子力発電所の全てを即廃止すべきです。	経済大国などにならなくても、人は毎日を大切にして生きてゆけます。おいしい水と空気と、おいしい食事があれば、人間生きてゆけます。日本は今回の放射能汚染をひたすら隠し通そうとしていますが、海外に住んでいる人たちにそれが通じるとは思いません。このまま行けば日本は信用を失います。日本の製品が海外で売れなくなれば、これだって大問題なはずです。もしも、原子力がいままで日本の雇用と経済を助けてきた面があるとすれば、今はそれを見直して、原発を配慮して、新たな経済のしくみを模索してゆくべきです。
57824	個人	その他	20代	男性	原発は即時撤廃、東京電力の解体、電力自由化と、原発以外での発電方法の研究を望みます。	核ゴミの処理方法の未確立と、現在のような情報操作の中で、実際のことも わからず、不信感が拭えないからです。
57825	個人	会社員・公務員	30代	女性	エネルギー環境に関する選択肢について　ゼロ原発を求めます	未曾有の危機を日本に招いた原発をこれ以上増やす事は得策ではありません。 経済効果のプラスマイナスを考えてもマイナスの要因が大きいです。 100%の安全をうたえないものをこの狭い国土にこれ以上増やさないでください。 地球温暖化に配慮しつつ、終息を望みます。
57826	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を支持します.	原発の安全神話は, リスクの予知とそれへの対応が万全である事が前提でしたが, 今回の震災でそれが崩れてしまいました. 今後は, 最悪の事故は必ず発生する事を前提とした対応が必須となります. 　現在稼働している発電手段で, 最悪の事故が発生した場合に想定される被害の度合いは, 原子力＞＞火力＞水力＞地熱＞太陽光であると考えます. 今後, 大地震が日本を襲う事が確実視されている中, 原子力発電は大きな爆薬庫と化しています. 　原子力を止めるだけではリスクを解除できず, 廃炉に長い時間がかかるのは承知していますが, 低リスクの発電手段開発を急ぐべきであると考えます.
57827	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原子力発電の停止の要望	原子力発電の停止を求めます。 原子力の扱いの難しさは明らかで、世界的にみても数々の事故が発生しています。 さらにどんな小さな事故であっても、引き起こされた被害はどれも大変な結果をもたらしています。 日本において過去何度も危険な事故を経験し、昨年の福島原発の事故は、原子力をオペレーションする事は不可能である事を決定づけたと思います。 事故の隠蔽にも辟易しています。 数々の失態をさらし、危険を招いておいて、原子力に依存しようとする姿勢を保ち続ける理由は、真に我々国民の事を思えば無いはずです。 日本の電力をまかなうのに他の発電では無理な訳は無いと思います。 乱暴な言い方ですが、半永久的に面倒を見なければいけない原子力に手を出したのですから、その分を他にまわせば何だって出来るのではないでしょうか。 日本の為の誠意ある対応をお願いします。
57828	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。 なるべく即時原発比率をゼロにすべきです。 核のごみ（使用済み燃料）は直接処分すべきです。 温暖化防止に関しても配慮したゼロシナリオを策定すべきです。	地震の多発する日本に原発を作って稼働させていることは無謀です。 即時稼働ゼロ、撤廃に向けて動きだすべきだと考えます。 原発の近隣に住んでいる方の不安を考えるとき、都会で電気を使い放題に暮らしてきたことが悔やまれてなりません。首都圏に作ることができないものを地方に押し付けるなど、すべきではありません。 福島の事故を契機として、原発ゼロに舵をきるときだと考えます。 それこそが、未来世代への私たちのいまできることだと思います。 温暖化防止に関しても配慮したゼロシナリオを策定すべきで、そのために、より自然エネルギーにシフトできるよう、政策を作るべきです。 もう、二度と国土を世界を放射能で汚してはならないと思っています。
57829	個人	会社員・公務員	30代	男性	no nukes	原発に関しては三つのシナリオもへったくれも無く、安全神話をまことしやかに信じ込ませ原発事故を起こし、人々のふるさとやコミュニティを崩壊させた原発を動かしつずけて良い訳がなく、即刻大飯を止めるべきである。 また、今後についても原発をどうするかの前に、事故を起こしてしまったシステムの欠陥は人間にあり人間が動かそうとした場合必ず利権構造が生まれ、同じような過ちを起こすことは明白である。 そして、電力に関わる利権構造を国が積極的に解体し可視化された体制を築く事を期待する。 また、電力会社が可視化されていない状態で、すぐにコス問題を取り上げ国民に脅しをかける報道や誘導は許し難い。 原発の縮小規模の議論よりも電力会社の解体議論が優先されるべきである。
57830	個人	自営業	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。また、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	即時に原発にすべきである。原発ゼロでも電力が足りることは自明であり、発電コストのアップについても、それを契機に各発電方式の発電効率向上や再生可能エネルギー普及をより推進させるべきである。 ゼロとすべき理由としては、昨年以降思い知っている通り、地震・津波や有事の際に極めて甚大な、許容を遥かに超えた損失をもたらすこと、使用済み燃料を無害になるまでの数十万年以上に渡り安全に管理する術がないことが挙げられます。これ以上、子孫から安全を奪ってよいのでしょうか？ 再処理についても即時中止するべきです。理由は上記の物の他に、定常的に環境に放出する放射性物質量が原発と比べても圧倒的に多いことも挙げられます。 また、提示されたシナリオには記載がありませんが、発送電分離と電力の小売の完全自由化も一刻も早く実現し、再生可能エネルギー電力普及のための障壁を取り払う必要があります。 そして、そもそも、この名前だけの「国民的議論」には問題点だらけです。パブリックコメントの周知にはNHKなども使うべきで、ウェブを有効に使えない層には知らない人がほとんどです。意見聴取会と討論型世論調査についても発言者選出の公平性が担保されていません。 「国民的議論」からエネルギー政策の実行まで、ドイツなどの見本を参考に、国民に真実を明らかにした上で広く意見を聞き、本気で行うべきです。
57831	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までに原発ゼロを実行して欲しいと思います。	人間が予期せぬ災害、事故等に原子力施設が襲われた場合、人間の力では制御できないものを人間が管理する事が危険だと思います。 また持続させる事で危険な廃棄物の処理(処理したとはいえない)、管理にも莫大な経費がかかり、いたちごっこを続けるだけだと思います。 新たな原子力に変わる技術の開発、人材の育成を進めつつ、新たなエネルギーを探してほしいと思います。
57832	個人	自営業	30代	男性	原発0を希望します	原発0を希望します。
57833	個人	パート・アルバイト	30代	女性	15シナリオを軸	原発依存度を段階的に縮小し、揚水発電や火力発電で当面の電力需要を賄い、自然エネルギーについてはより安定した発電供給を行うために必要なシステム作りや設備の維持費と収入のバランス等、まだ数年は検証が必要だと考えます。 あとはどれだけ国民の節電に対する意識を高めていかれるだと思います。 家庭用自家発電機購入に対する補助金や、省エネ製品購入に対する補助金など。
57834	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロを選択します	後世にツケを残す原発は許容できません。
57835	個人	その他	20代	男性	現状では「15シナリオ」求めます。 変更の可能性アリ。	まず、原発を増やし続けることに賛同はできません。 ただ、生活と生命は表裏一体のものなのでどちらかを一つを 選ぶことは難しいと考えます。 日本だけ脱原発もしくは即原発したところで他の国が原発を推進する以上は無意味かもしれない。 個人的には 福島第一原子力発電所の事故原因は、原発の設計上にミスがあったと聞いています。 一番の原因は科学的見地ではなく経済的要因を優先させたことに問題があると考えます。 専門家が科学的見地を言えることが重要だと思います。 原発ムラの存在、バイオパワーがかなり気になります。 現状、政府及びマスコミが流す情報に信頼度がかなり低下しています。 市民もしくは国民が情報公開を求めている場合は積極的に応じる必要があります。 また、出されている情報が多面的に事実かどうかの証明に政府は協力していくことが重要です。
57836	個人	無職	80代以上	女性	ゼロシナリオ	孫がいるので将来が不安。 子供達が安心してくらせるような本当にクリーンなエネルギーを考えて欲しい。 何か起これば広範囲に人間が暮らせなくなるようなエネルギーはいらないと思う。
57837	個人	会社員・公務員	50代	男性	提示されているシナリオに適切なものは無い。	前提として議論すべきは、原子力発電の比率ではなく、2030年の日本の姿をどのようなものとしようとするのか、そしてその時の日本を取巻く環境がどうなっているのかの目標ないし想定が先にあるべきで、それに必要なエネルギーの確保をどうすべきかを議論すべきである。しかも20130年で終りではなく、その後のこと(例えば二酸化炭素排出量のさらなる低減)も考えなくてはいけない。 　経済成長率2%、化石燃料からのエネルギー源転換、生活の質の向上などを考えれば電力需要の増大は必須である。 　再考の結果原子力発電の割合が30%を越えることも可とすべきである。
57838	個人	家事専業	70代	女性	孫達に安全で平和は未来を過ごさせたいと願っています。	福島第一原発の事故を体験し、少なくとも日本においてはこのような事故を二度と起こしてはいけないから。原発を残せば、事故を起こす可能性が残るから。
57839	個人	会社員・公務員	30代	男性	0シナリオを指示します。	原発は危険を伴いすぎると思います。 地震の国である我々の国土には向いていないのは明白です。 まずは私たち国民の安全のために原発の稼働をゼロにしていただきたいです。 理由はそれ以外に必要でしょうか。よろしくお願いします。

57840	個人	その他	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」で世界有数の自然エネルギー開発の先頭へ。	今こそが 信頼に値しない電力会社と利権のからんでいるとしか思えない政策を見直すチャンスであると思います。
57841	個人	学生	10代以下	男性	全原発即時停止。速やかに全原発廃炉をして下さい。集計の際必ず、全原発即時停止という集計項目を作って集計して下さい。三つのシナリオ以外をその他など賛成か反対か解らないような集計は絶対にしないで下さい	電気は十分足りているのに危険な原発を動かすのは止めて下さい。 ゼロシナリオは原発の再稼働前提のシナリオの為賛成しかねます。 ただし、ゼロシナリオの集計に全原発即時停止などの選択肢が有ればそれを選んだと思います。 原発の安全確保など出来ない事がはっきりと示されたのですから再稼働は絶対にしないでください。 原発作業員の環境を改善するべきです。 下請けや孫請けなど契約がひどすぎます。 電力会社社員と同等の環境、食事、給与にして下さい。 発送電分離をしてください。全原発の活断層について第三者に調査させて下さい。
57842	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。原子力発電は、エネルギー源として100年程度のタイムスケールしか持続可能性がないこと、1～100万年程度のタイムスケールで管理が必要となる廃棄物を生み出すことが主な理由です。	ゼロシナリオを支持する。 以下に主な理由を挙げる。 (1)エネルギー源としての持続可能性 原子力発電の燃料であるウランは、その確認可採埋蔵年数が100年弱と、必ずしも持続可能性が高い資源ではない。この確認可採埋蔵年数は現時点での世界の年あたりの使用量をもとに算出されており、 中国やインドなどの途上国が今後原発の建築を進めることを加味すると、さらに短い持続可能性しかない可能性もある。100年程度の持続可能性と予測される原子力発電から20年程度の期限での撤退を決断することは、合理的な意志決定といえる。 ※高速増殖炉を用いれば原子力発電のエネルギー源としての持続可能性が大きくのびるという考えに基づき、核燃料サイクル政策が進められている。しかし、高速増殖炉は商業化にはまだまだ不十分な開発レベルにあり、現時点ではその見通しも立っていない。そもそも、現在開発されている高速増殖炉は、冷却剤として液体ナトリウムを使用しており、事故時に水による冷却が行えないため、非常に問題の大きな技術である。地震大国である日本において、事故時の対応が著しく困難な原子炉を定常的に運転することは合理性が非常に低い。よって、核燃料サイクル政策は、採用されるシナリオのいかんに関わらず棄却されるべきといえる。 (2)核燃料廃棄物の管理 現在の科学的知見では、核燃料廃棄物の放射能を大きく減少させる方法論が開発される見込みは非常に小さい。核燃料廃棄物は、その放射能の人体への有害性が十分小さくなるまでには、1～100万年程度の期間が必要とされている。この期間は、何らかの継続的管理が必要となる。このように非常に長期間にわたり管理が必要な核燃料廃棄物は、将来世代への負の遺産であり、その負担のタイムスケールは、温暖化の原因であるニ酸化炭素に比べてもはるかに長い。このような核燃料廃棄物を生み出す原子力発電から撤退することは、将来世代と現役世代の公平性の観点からも支持される決断といえる。
57843	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します	2030年までに原発をゼロにするなど悠長なことを言っていてはいけない。全原発の即時廃炉を求めます。世界中どこでも地震は起こりえますが、特に日本は地震大国です。毎年のように「未曾有の～」「何十年に一度の～」などという災害が報じられていますが、このような災害はもはや想定外などという言葉では済まされません。原子力は私たちの手に負えるものではありません。完全になる過ちです。そのことに今気付かなければ、取り返しのつかない出来事が待ち受けているでしょう。日本政府は人類の将来に対する全責任を負えるのですか？
57844	個人	自営業	40代	男性	平穏に暮らせる社会を望む	旅した国は30カ国以上。 諸外国を訪れてつくづく思うのは、 「こんな世界の端っこの小さな国が、 　よくぞここまで発展したな」 ということです。 オリンピックでの活躍ぶりを見ても、 「なぜこんなアジアの小国が 　世界を相手に伍する選手を輩出できるのか」 と感じています。 経済発展を目指し、成し遂げた、 その恩恵なのだと思います。 ただ、もう経済発展を目指すだけでは、 未来の日本のカタチが見えません。 そのような状況に、 今の日本はあるのではないでしょうか。 成熟。 この言葉を念頭に、 私の住む日本の未来を考えた時、 「経済的な恩恵を最優先に 　欲しがり続けるのは 　もういいのではないか」 と感じています。 もはや幸せの定義は 個人によって異なる時代です。 僕にとっての幸せとは、 第一に平穏に暮らすこと。 原子力は平穏に暮らすには リスクが高過ぎると、 昨年の震災時に痛感しました。 １００%の自然エネルギー化と、 国力の繁栄は両立できないのでしょうか。 その際の“繁栄”とは何を差すのでしょう。 諸費を礼賛することが繁栄と捉える考えは、 もう受け入れらません。 震災を新しい時代の幕開けの機会とするなら （そしてしなければならないとも感じています）、 そのような感覚をお持ちの方に、 私の生まれ育った、そして今後も住み続ける日本を リードしていって頂きたいとさえ感じます。
57845	個人	法人等	40代	男性	原発ゼロシナリオ（2030年までに原発をゼロにするシナリオ）を選択します。	原発ゼロシナリオ（2030年までに原発をゼロにするシナリオ）を選択します。 原発は無毒化することが不可能な放射性物質からなる使用済み核燃料を排出しつづけることや，一度，過酷事故が起きると人類の存亡にかかわるほどの深刻な災害をもたらすことなど，極めて危険なものであるため全廃しなければならないと考えます。
57846	個人	無職	50代	女性	日本にある原子力発電所はすべて廃炉にし、ゼロにする。かわりに自然エネルギーの研究開発を進める事を希望。	地震の多い狭い国土に、50以上も原子力発電所があることは狂気の沙汰。使用済み核燃料の行き場もない。原子力発電所は核施設、核施設は放射性物質を扱うところ。生き物のいのちをこわし狂わせる放射能と切っても切れない原子力発電所は要らない。汚染地域に住むこどもたちを助けるのは国の義務、救済を。原子力発電所をなくすための法律をつくり、規制委員には推進派でない原子力に詳しい人になってほしい。
57847	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本の未来のためには原発依存度ゼロにするべきです。	プラス成長と科学の急速な発展を前提に、未来から国債という形で未来から借金をし続けた結果が今の日本経済の姿です。年金や健康保険の問題も同じ前提のもと、未来にツケを回しています。エネルギー政策も同じで、原発のゴミをいつ誰が処理するのでしょうか？世界中が原発由来の放射性廃棄物の処分に困っています。今すでに抱えているゴミすらどうすることも出来ないのに、これ以上増やしてどうするのでしょうか？実際に原発由来の放射性廃棄物の処分にかかる費用と、管理・保管にかかる費用をして、万が一のときの保障費用をすべて原発の発電費と考えればこんなコストの高いエネルギーはないでしょう。日本の経済のためにも未来の人々が安心して暮らしていける国にするためにももう原発は不要です。
57848	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を望みます。	原発の再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。これ以上原発事故による犠牲者は見たくありません。 原子力発電以外の電力政策、とりわけ自然エネルギーを推進してください。
57849	個人	その他	30代	女性	全ての原発は即刻廃炉にすべきです。	処理できない核のゴミをこれ以上、増やしてはいけない。 国防のために必要だというなら、そんな国防はいらない。 核のゴミで自滅するのは愚かだ。
57850	個人	会社員・公務員	40代	女性	クリーンエネルギー移行を望む。原発事故後汚染区域に住むことは苦痛。事故が起きれば補償や収束対応に膨大なお金がいる。原発コストは高い。事故後の今切り替える決断の時。国の経済も大切だが国民の幸せが大切。	○　福島市に住んでいますが、事故後から恐怖・絶望感など、悲惨な苦しい経験体験　ばかりです。 　放射性物質の拡散により、環境が全て汚染され、被曝し、そしてそこに住み続け　なければいけないことは、苦痛であります。今までの美しい福島を失ったこと、今　までの生活や思い出が奪われたのは本当に苦痛で哀しいです。 　健被害についても、日々不安を抱えながら暮らしています。 ○　原発は大きなエネルギーを生むでしょう。しかし、国民の幸せを考えた時には、　事故がなければよかったのでしょうが、現に事故は起きているし、これからも起　きないという保障もありません。 　この先の原発事故収束処理も、福島県民の補償もこの先ずっと続いていくことを　考えれば、国の経済的にも、国民の幸せのためにも、リーンエネルギーにするこ　とは必須だと思います。 ○　今がその決断の時です。 　この事故の教訓を生かし、この事故で過酷な生活をしている人々、犠牲になって　いる　人々、将来短命になるかもしれないけれど、精一杯生きている人々のこと　を考えたて、こころある、決断をお願いしたいです。 ○　なんの為に生きているのでしょう。幸せってどこにあるのでしょう。 　「全体の幸せなくして、個人の幸せはない」
57851	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロを希望します。	安全対策もおろそかにしたままの再稼動、原発継続はありえません。原発の維持費、開発費を低リスク、人間と環境にやさしい電力開発費用にまわしてください。
57852	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロを選択します	後世にツケを残す原発は許容できません。
57853	個人	会社員・公務員	50代	男性	以下についてコメント・提言する I. 福島第1原発事故の処理に関して II. 今後のエネルギー政策における原子力発電所の位置づけ III. 核化学・原子力工学・放射線防御学・放射線障害治療学教育に関して	I. 福島第1原発事故の処理に関して (1)除染作業：除染作業は本質的に危険性を孕んでいる。完全な除染はおそらく不可能である。各事業が計画どおり行なわれたとして、それぞれ何%の除去率が達成できるのか？その見積もりと、それを達成したときの付帯リスクを計算すべきである。各事業の除去率が95%以下ならやるべきではない。私は、現状では、除染より封印の方が現実的な対応であると考える。 (2)許容被曝量の設定に関して：事故後行われた年間許容線量の20mSvへの設定引き上げが，科学的（特に生物学的）には何らの根拠をもたないものであることを認め、公表すること。それまでの年間許容線量である「自然放射線被曝＋1mSv」でさえ、科学的な裏付けがないものであることを公表すること。 (3)汚染地域避難住民の帰宅について：除染作業が不可能として，避難住民の帰宅には以下の考慮がなされるべきである。(1) 1Gy以上の被曝が予想されるエリア内への帰宅禁止の継続、(2) 0.1Gy以上の被爆が予想されるエリア内への妊婦および未成年者の入域禁止、(3) 今後子供を持つ意思のない住民、あるいは、非住民の(1)のエリア以外への帰宅を許可すること、ならびに、活動を保証すること。ただし、放射線障害リスク（晩発性放射線障害の確定的影響ならびに確率的影響）に関する説明・許諾の上での許可とすること。 (4)長期的な被爆医療支援体制の確立：急性被爆ならびに晩発性放射線障害に対応する国家医療支援体制をすみやかに現地に確立すること。また、被爆者が全国に拡散していることから、このような体制を各都道府県で確立すること。 II. 今後のエネルギー政策における原子力発電所の位置づけ (1)将来的な原子力発電の必要性に関して：将来的なエネルギーの需給を考慮した場合に、原子力発電によって得られるエネルギーが本当に必要であるのかを詳細に評価しなければならない。単にこれまで行われてきたコストパーフォーマンス計算の結果だけで、原発の効率性を論じてはならない。原発の建設・運転・廃炉と事故リスクとその対応にかかるコストすべてを勘案してコストパーフォーマンス計算を行うべきである。新しい再生可能エネルギーの雇用によって、経済を安定化させることができるかどうかの検討を十分にすべきである。 (2)将来的な原子力発電の安全性に関して：原子力発電所の安全性に関しては、購入者である電力会社ではなく、制作した技術者による品質保障と電力消費者である市民によるリスク認識とリスク許容が必要である。技術者は購入者（電力会社）に示した品質保障（特にその限度に関して）の詳細を広くメディアに公開すべきである。電力利用者である市民は技術者によって示されるリスクが許容できるなら、自分の居住する地域に原発を受け入れるべきである。品質保証による安全がある程度確保できるならば、小型原発を各県に設置するという選択も可能であろう。 III. 核化学・原子力工学・放射線防御学・放射線障害治療学教育に関して 　コメンテーターは理科系の大学教員である。今回の事故に遭遇して、国民の間に核や放射線に関して科学的根拠のない反発やアレルギー意識が拡がっていることを懸念する。核エネルギーや放射線の利用は、遺伝子工学同様、人類が科学の歴史の中で発見・発明した輝かしい成果である。今回の事故の収束できず、核化学・原子力工学を理解した科学者や技術者、ならびに、放射線防御学・放射線障害治療の専門家の参画は必須である。 　今後、何十年、ことによると何千年の処理作業と経過観察が必要とされる今回の事故に遭遇して、我々はこの事故の教訓を継承し、次世代にその処理を預けなければならない。そのために、核化学・原子力工学・放射線防御学・放射線障害治療学の専門家を育成することは喫緊の課題である。 　核エネルギーは「プロメテウスの火」なのかもしれない。しかし、人類は、まず炭化水素からエネルギーをとり出すことに成功し、それは本来危険なものであったが、現在ではリスクは残るものの、そのエネルギーの制御にほぼ成功している。遺伝子工学も1970年代に研究者による自主規制があったものの、現在では（議論はまだ残るものの）一応この技術は人類にとって益を与える方が不利益を与える方より多いと判断されている思う。核エネルギーの制御が、現時点で人智を尽やしても難しいのならば、我々はその応用を少なくとも一時的には控えるべきであろう。しかし、我々はこの技術を知ってしまった。その悪用（原子爆弾など）に対抗するためにも、上にあげた分野の教育をさらにすすめ、これらを担う若い人材を育てるために全力を尽くさねばならない。
57854	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	原発というものが一つの大きな市場になっているという今の日本の現状を考えると、今すぐにそれをなくしてしまうと生活に困ってしまう人がたくさん出てしまうので、代替エネルギーを開発することによって新しい市場を開拓し、そこに今原発に頼って暮らしている人たちに参入してもらうことによって、スムーズに原発ゼロを実現していくのがよいと思う。

57855	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 既得権者のための原発を押し付けるのはもうやめて。さっさと環境エネルギーで経済効果を生み出す手だてを考えるのが、3.11を経験した日本国政府の役目です。
57856	個人	その他	50代	女性	大前提として、原発ゼロシナリオを日本は進めていってほしいと思います。	2030年までのタイムテーブルだけでは、絵に書いた餅です。 再稼働にしても、きちんとデータを出し尽くして稼働し、国民みんなで共有できる廃炉までのスケジュールをぜひつくっていただきたい。 大飯の再稼働はまったく安全性が確認されておらず、不信が募りました。 責任の追及以上に、再発防止を考えたいのに、ビデオの開示を一部しかしない東京電力にも大きな不信感を抱きました。未来を預けたくない・・・です。 また、節電によるライフスタイルのあり方についても、もっと議論を進めて、1人ひとりの覚悟も必要と思います。
57857	個人	学生	20代	男性	原発なし（選択肢の中では1に最も近い）	現在も放射能が出続けていて、これが増えると困るから。
57858	個人	学生	10代以下	男性	原子力発電のゼロシナリオにしてください。	僕は小学生ですが、福島原発の事故はとてもショックでした。 原子力発電なんてなぜ作ったのですか？ また地震が起こって壊れたら、と思うのは嫌です。 原子力発電をやめたいです。 僕と同じくらいの子が、放射能から逃げるために家族もバラバラになってしまいました。 発電所の周りにあった村や町にはもう誰もすんでいません。 そこにはもう住めないのでしょうか。なんで？自分の住んでいた場所なのに、なんで？いくら考えてもわかりません。くやしいです。 体はどうでしょう。もし放射能で病気になったり、しんでしまったら、なんで？っていくら考えてもわかりません。いっぱい考えたら、だれも責任がとれないからだとわかりました。 誰も助けてくれないからだって思いました。 それなら、自分で守るしかないですよね。 僕は自分が大人になった時、健康でいたいし、きれいな日本であってほしいのです。 原子力で命や健康が奪われることのない未来にしたいのです。 それが一番大切だと思うのです。 だから、原発をなくしてください。
57859	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする	経済の低迷の心配があるようだが それよりも食料自給力を上げるべき。エネルギーも同じ。原発の被害のせいで土や水が犯されるなんて一番馬鹿げている。被害が大きすぎる。それに学ばずにまた原発推進するのも学習していないと世界からも判断される。これをターニングポイントに自立すべき。 日本には休耕田も沢山のこっており、若い力で地方の第一次産業を支えるべき。そのためには都市集中形の経済の仕組み、あるいはエネルギーの仕組みを変えるべき。 ローカルに循環して生きていく方法 地産地消等 生き方そもそもを考え直す時がきたと思う。 電気の需要が多い、工業製品や無駄も多い。 直ちに原発ゼロ支持は そうしないといつまでも終わらないだろうから。 地方では沢山の人達が立ち上がり、動いています。生き方に選択肢をくださいますよう、エネルギー事業は国民が選べる仕組みにしてください。 人間のみならず全ての生命を一番大切に守るべきだと思います。原発は人間のしていい事以上の事です。過去から未来へ責任を持って生きるべきです。
57860	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年までに原発ゼロ、を支持します。 原発をゼロにし、自然エネルギーや省エネルギーの開発、促進を進めるべきだ。	福島第一原発の事故は、原発は国民の生命や生活そのものを破壊し、国土を人の住めない状態にしてしまうものだということを明らかした。 この事故を機会に、政府は、勇気をもって原子力ムラと指摘される産業構造を解体し、国際社会でも主流となりつつある再生エネルギーへシフト新しい産業を構築することに全力を注いでほしい。
57861	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ。 2020年と言わず、即座に。	まず福島の事例や、大飯でも未だに活断層の状態が不明なことなど、この国で稼働しつづけるのは危険だと感じます。 技術/経済面においても、廃炉や代替エネルギー開発において、新たな活路を見いだせるのではないかと思われます。
57862	個人	その他	30代	女性	原発は少なくとも3年以内に全て廃炉にすべきです。	福島の原発事故後の対応は、最悪そのものでした。あれほどの事故を起こしたにも関わらず、事故原因の究明すら徹底して行っていない。誰も責任を取っていない。誰がそのような企業に、原発を扱わせたいと思うでしょうか。
57863	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。 経済よりも生命重視でお願いします。 福島県の方たちのためにも。日本の将来のためにも。
57864	個人	自営業	20代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。未来のために、危険が伴う発電はここで潔く止めていただきたいです。
57865	個人	家事専業	60代	女性	原発は、(1) 0%　に賛成です。 今ある原発を順次、安全に廃炉にしていくことが、日本国民のみならず、世界中の人、動植物にも環境を大事にしていくために必要なことと思います。	地震に耐えられない原発は、要りません。 現在も、放射能は、拡散し続けています。誰も本気にしませんし、数値も一部のみの報道で、それも、支障ないというものばかりです。 でも、チェルノブイリの原発事故から、25年たっても、まだ、被爆者は、出ています。フクシマも同じだと思います。 電力不足というけれど、オール電化住宅の勧めは、矛盾しています。徹底的に電力利用を調べるべきです。
57866	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオしかない。	原発依存を2030年までにゼロ%ではなく、今すぐにでも自然エネルギーへの移行を求む。電気余ってますよね！ 世界の先進国の一部は、もう脱原発の判断をとっくにしています。 現在の日本は、途上国同然です！
57867	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電比率ゼロパーセントを求めます。つまり、全国全ての原子力発電所の即時廃炉ということを強く求めます	原子力は人類に使いこなせる代物ではありません。 ビキニ広島長崎スリーマイルチェルノブイリもんじゅ福島 と続く歴史が、そして何よりキュリー氏以来の累々たる被曝者の 無念がそれを証明しています。 未来に禍根を残さないためにも、今こそ、原子力と訣別する時だと強く思います。
57868	個人	会社員・公務員	30代	女性	条件付で、ゼロシナリオを支持します。	原発をゼロにすることは、多くの命や環境を守るために、 倫理的に考えても、最優先すべきです。 その為に、シナリオ以上に、自然エネルギーや省エネの比率を上げるべきです。
57869	個人	家事専業	30代	女性	「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発0」を主張。原発の安全対策も貧弱、事故時の対応も不備だらけ、住民の被曝対策も不十分、被害の補償もままならず、環境汚染の影響は計り知れない。原発は不要。	多くの地震学者が、日本が巨大地震周期に入ったことを警告しているなか、大飯・志賀・敦賀原発などは原発直下に活断層が指摘されており、また「もんじゅ」美浜原発もわずか数百メートル横に活断層が走っているなど、地震などの自然災害をきっかけに原子力事故がおきる可能性は否定できないと思います。 たとえ、それらに対策を講じたとしても、国会事故調報告では、福島の事故は「あきらかに人災」であったと報告がなされています。「原発」に絶対の安全はないのだということは明らかです。 福島の事故では、ベント作業に手間取り、オフサイトセンターは機能せず、次々と爆発が起き放射性物質がまき散らされました。 住民の初期被曝を押さえるためのヨウ素剤の配布もなされず、SPEEDIのデータや米国から提供された放射能汚染の詳細地図を公開せず、多くの国民を無用に被曝させています。 放射能汚染により、居住地を奪われた人、生業を奪われた人、その補償が十分にできているのでしょうか。 未だに福島第一原発では放射性物質を放出し続けている中、海産物農産物の放射能汚染対策に苦しむ生産者、そして、安全な食材はと日々の食べ物に注意を払わなくてはならない消費者と、事故の影響はまだこれからも続きます。 それらに対し、事故が起きないような対策、事故が起きた際の対策、40年廃炉の費用、放射性廃棄物の安全な保管などの費用を全て合わせたら、「原発」が低コストの発電方法であるわけもない事は明白です。 政府は、水力、風力、地熱、地下熱、波力などの自然エネルギー、再生可能エネルギーを、この国のエネルギー政策の主軸になるよう体制を整えてほしいと思います。
57870	個人	自営業	40代	女性	できるだけ速やかに原発をゼロにしてください。地球の未来のためです。	人は「経済」や「雇用」のために生きているのではありません。人間も含め、命の未来を考えれば原発なんて不要だということは明らかです。必要なのは「電力」であり「原発」ではありません。子どもたちに少しでも汚染の少ない未来を手渡す責任があります。
57871	個人	家事専業	30代	女性	【ゼロシナリオ】 全原発即時廃炉、「もんじゅ」等核燃料サイクル施設計画廃止	・安全と言われていた福島第一で事故が起きた ・避難民が発生している ・東電の対応の不誠実さ ・「除染して帰郷」の難しさ ・世界に対しての日本の信頼が失墜 ・「もんじゅ」などにおける圧倒的技術不足 ・核廃棄物のリサイクルや処理の目処のたたなさ 以上のような現実から、即時の「ゼロシナリオ」を求めます
57872	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を支持する。2012年現在でも国内の原子力発電をゼロにしても総需要をまかなうことが可能である。稼働中の2基の即刻停止とともに、再生可能エネルギーの拡充、転換を進めることを求める。	東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、原発からの撤退以外にとるべき道はないことが明らかになった。「エネルギー・環境に関する選択肢」では「ゼロ」、「15」、「20～25」の3つのシナリオを提示しているが、現在稼働中の2基以外にも新たな稼働を必要とする「15」、「20～25」のシナリオには、もはや国民の安全といった視点が全く感じられない。「ゼロシナリオ」を支持する。2012年現在でも国内の原子力発電をゼロにしても総需要をまかなうことが可能である。稼働中の2基の即刻停止とともに、再生可能エネルギーの拡充、転換を進めることを求める。
57873	個人	学生	20代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。	あれだけの事故を起こしておいて、原発を存続させるのはどう考えてもおかしいと思います。
57874	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。 なるべく即時原発比率をゼロにすべきです。 核のごみ（使用済み燃料）は直接処分すべきです。 温暖化防止に関しても配慮したゼロシナリオを策定すべきです。	地震の多発する日本に原発を作って稼働させていることは無謀です。 即時稼働ゼロ、廃炉に向けて動きだすべきだと考えます。 原発の近隣に住んでいる方の不安を考えると、都会で電気を使い放題に暮らしてきたことが悔やまれてなりません。首都圏に作ることができないものを地方に押し付けるなど、すべきではありません。 福島の事故を契機として、原発ゼロに舵をきるときだと考えます。 それこそが、未来世代への私たちのいまできることだと思います。 温暖化防止に関しても配慮したゼロシナリオを策定すべきで、そのために、より自然エネルギーにシフトできるよう、政策を作るべきです。 もう、二度と国土を世界を放射能で汚してはならないと思っています。
57875	個人	その他	40代	男性	このたびのエネルギー源の原子力発電への依存度の3シナリオについて、あらかじめ3シナリオ以外の選択肢を排除していることに疑問がありますが、強いて言えばゼロシナリオを支持します。	今後2030年までの年月の間にエネルギー源の原子力発電への依存度を下げると言う基本方針を歓迎します。その上で取るべき現実的なシナリオですが、現在あるの原子力関連施設を安全に管理しつつ廃止する技術を維持しつつ、最終的にはゼロを目指すシナリオとしては、2030年の到達目標としては5パーセントが最も現実的かつ実現可能な妥当なレベルと考えます。しかし、あらかじめ提示されているシナリオにはこの選択肢はありませんので、次善の策としてゼロシナリオを支持します。最終的に原子力発電への依存度ゼロを希望する理由は、安全度およびトータルのシステムとしての二酸化炭素排出を含めての地球環境への負荷が相対的に原子力発電は大きく、経済的、社会的な一時的な負担増を負ってもなお、原子力発電ゼロシナリオの方が現役の世代はもちろん将来の世代に対してもメリットが大きいと考えるからです。
57876	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選択します。 自然エネルギーのみで成り立つ社会を希望します。
57877	個人	無職	40代	男性	再生可能エネルギーは相当期待できる。だが開発速度が分らない！鉱山を掘り当てることを前提に長期の経営計画は無理。だが原発は、無駄に金はかかるが、発電せず維持だけして、再生エネ開発に全力上げよう。	まず、自分はく日本における原発の安全性＞など、まったく信じてはいない。武田邦彦氏の警告を聞くべき。 特に、日本が地震活動期に入ったことは、重大視しよう。関東大震災からこちら、実は日本は地震が少ない期間だったと言う。 ◆短期には、省エネと天然ガス――――エネルギー税と同時に法人税下げなど エネルギー需給問題を、短期と長期とに分けると、短期（もしくは中期）では、この夏を見る限り、なんとか間に合いそうである。政府は天然ガス確保と、省エネルギーとに力をいれるべきだ。 省エネは、例えばエネルギーに税をかける。もちろん経済には負担になるから、企業向けには同時に法人税を下げる。個人や世帯には、給付つき税額控除を充実させ、高額所得者からとったエネルギー税を低所得者に給付して、生活負担を軽くする。こうして、企業も個人も、負担感なく省エネのインセンティブができる。 さて短期と中期はそれでいいとして、問題は、それがいつまでも続けられるか。つまり中長期だ。天然ガスはCO2を出すし、もちろん国際環境の変化などもあり得る。 すると、いよいよ自然再生エネルギーがどこまで期待できるかの話になる。 ◆技術開発により、使える再生エネルギーの潜在力が増える これを考えるとき、実は専門家でも先が分らない、重大なことがあるのではないか。 2030年での原発割合について、提示された3つの案では、自然再生可能エネルギーの率だけはどれも似たような30%前後だった。しかし本当は、もっともっと進められるかも知れない！人類の技術進歩は、最初の予想より早まることがあるから。 だから本当は、専門家も正確な予測などできないはずだ。 それでも、反論があるかも知れない。「開発速度が早まろうが、そもそも潜在量の上限が低ければ、最初から意味がない」と。だが、自然エネルギーの潜在的な上限自体が、技術開発の度合いで変わってくる。 以下に例を。 1．作物の上でも太陽光発電可能 ソーラーシェアリングというアイデアがあり、実験もされている。休耕地ではなく、作物が植わった田畑でも、その上に格子状の太陽光パネルを4分の1まで並べることができる！植物の光合成は、太陽光の全てを必要としないから。 ちなみに日本の国土における農用地の割合は12%強、単純にその3分の1なら国土の4%。宅地は5%。森林は66%だが、ちょっとした雑木林などの上にも使えるかも知れない。 2．洋上風力発電

						2. 洋上風力発電 着床式では、遠浅でない日本の海では面積が限られるが、浮体式なら使える海域が増える。 3. 陸上の風力発電 大型の風車では、例の低周波騒音の問題があるが、スパイラルマグナスというmecaro社の製品では、その問題をクリアしているので、市街地に近くても使える。価格が課題だが。 4. 高高度風力発電 ヨーロッパで研究しているカイトジェンのような、高高度の高速気流を捕まえて発電する計画がある。直径100メートルで、0. 5ギガワットの発電ができる計算だとか。 5. 弱い流れを使った発電 アメリカでは軍部までが金を出して、これまで発電の対象と見られなかったごくゆるい3ノット未満の流れで発電する技術まで開発している。実験では1ノットでも成功。普通は6ノット以上が必要だ。 6. 宇宙空間で太陽光発電 究極技！地球を素通りする太陽光を、地上に影を落とさない高度で捕まえるなら、面積無制限のパネルを並べられる。これも進行中。 以上は、使用できる空間と面積が増えることで潜在量が増える技術だが、他にも、 7. 太陽光パネルの効率アップ 太陽光発電は、現在は15%前後の変換効率しかない。それが量子ドット発電が実用化すれば、60%と4倍にもなる。熱をエネルギー変換する技術も開発中だそうだから、もっと行くかも知れぬ。 8. 藻類で人口の石油をつくる オーランチオキトリウムのような、藻を使った驚嘆すべき炭化水素の生成の話もある。筑波大学の渡邉信教授によると、「日本の耕作放棄地と休耕田は62万ヘクタールある。そこで、その54%にあたる33万5000ヘクタールを使ってオーランチオキトリウムを培養すれば、（石油の）年間輸入量をすべてまかなうことができる」 これらの技術が、本当にすべて実現可能かは、また別ではあるが、例えば量子ドット太陽光発電は、2030年ごろには可能と見られ、またソーラーシェアリングも実際に有効性が確かめられている。 ◆長く使うことでコスト減 自然再生エネルギーはコストが問題になるが、一つの解決法として、長く使うことが上げられる。次世代カーボンファイバーをつかった洋上風力発電を100年使うというアイディアがあるが、長く使えるほど投下資金の回収が長くても済む。 ◆開発の速度が分らない――――保険としての原発を、自衛隊の正面装備みたいに さてここからが問題。 確かに、技術的なブレイクスルーが一つあっただけでも、その後の世界は変わってしまうかも知れない。だがいくら莫大な可能性があっても、例えてみれば鉱山掘りみたいなものだ。長期の経営計画を、必ず鉱山を掘り当てることを前提に建てることはできない。無論、世界中の山師が掘り始めてはいるけれども。 そこで、妥協案。保険としての原発は、設備としては一部残す。古いのはすぐ止めるが。言わば、自衛隊の正面装備みたいにする。無駄に維持費はかかるが。 技術の維持は、フランスみたいな、地震がなくて、どうせ大きく脱原発してもまだすぐには無くならない国に、こちらからお金払ってでも人員を使ってもらう。
57878	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロの推進	福島原発事故が起きてから、未だ先の見えないのが実情である。 政府の対応も遅れ進んでない状態である。 福島が、以前のように暮らせるようになるのは何時か。 安全神話が崩れた以上、代替えエネルギーにシフトするのは当然である。 後世のためにもそうすべきである。 政府は、官邸前や国会前での国民の行動にもっと耳を傾けるべきである。 又、活断層がある原発は、今後再稼働せずに廃炉にすべき。 チェルノブイリの現状も福島原発と同様重く見るべし。 以上の事からも、原発ゼロを政府は、推進すべきである。
57879	個人	自営業	30代	男性	2030年へ向け、今後の原発のあり方についての意見	原発ゼロのシナリオが望ましいかと思われます。 化石燃料によるCO2の環境問題も見過ごせない問題ではありますが、原発の場合は使用済の燃料を最終的にどう処理するのかが決まっていません。再処理にも技術的な危険や不安を強く感じます。 なるべく早い段階で原発に依存しない社会を実現できるようにお願いいたします。

57880	個人	無職	40代	男性	3つのシナリオの中では「ゼロシナリオ」を支持します。 しかしながら、2030年までに大きな地震が起こる可能性と、大地震に耐えられる原発は準備できないことを考えると、「即ゼロ」とすべきと考えます。	1．地震に耐えられる原発は作れない ・原子炉や建物等の主要部分の耐震性を上げることは可能でも、そこにくっつ　ける形で施工する、配管やバルブ、電源・通信ケーブル、各種センサー、什器　等に対する耐震施工方法は、確立されていません。これらの損傷が事故を深刻　化させることは福島原発事故で明らかです。また損傷した場合の即時復旧に備　えるためには、各原発で建設機械・機材・工具・人員養成と配置　を準備しな　ければなりませんが、すぐにはできないだろうしそのコストも電気料金UPにつ　ながるでしょう。 ・そのほか、福島の救助として強く反省しなければならないのは、倫理の欠如　です。現場社員の「技術者倫理」、電力会社の「企業倫理」、が欠如していた　ことは明らかですが、これを直ぐに回復させることが可能なようには見えます　ん。人類の歴史に絶対に残さなければならない この大事故について いまだに　多くを公開しない東京電力の姿勢には、今後の大事故を予感せずにはいられま　せん。住民の健康よりも住民の流出を恐れる「自治体の倫理」や、パニックを　回避することを言い訳にして事実の報道を避ける「メディアの倫理」も見直さ　なければならないはずです。 ・原発の物理的な安全性と関係する機関および個人の倫理がそろって初めて　『地震に耐えられる（耐えられはしないけど地震が起きてもなんとか事故を　防げる）原発』と言えるのだと思います。しかしこれに到達する前に2030　年になってしまうか、再び大きな地震を経験することになるでしょう。 2．どうせウランも有限だ ・核燃料のリサイクル確立に何年かかるか、何百兆円かかるかもわからないし　確立する前にウランが高騰して破綻するかもしれません。100年で無くなる　ウランよりも自然エネルギーの方を重視すべきなのは自明です。 3．放射線被曝の無い原発は作れない ・ウランの採取から始って廃炉・核燃料の処分に至るまで、すべての工程で健　康に問題ない程度の被曝量に抑制するためには、防護技術の向上、無人作業技　術の確立、充分な保障制度と賃金、など、さらにコストのかかることばかりで　す。結局はウラン調達費用～電気料金UPでしか実現できません。電力会社がこ　れに真摯に取り組むとは思えません。 4．原発も環境破壊を促進している ・二酸化炭素は出さなくても、発電および発電のあとにも多量の熱を排出し、　周辺の海水温度を1～2℃上昇させていることを忘れてはならないと思いま　す。 5．最悪を想像してみる ・2030年までに再度大地震が起こり、想定以上の揺れの大きさ、想定以上　の揺れの時間、想定以上の余震の回数、地盤の変動、想定以上の津波の大き　さ、津波回数の多さ、台風や火災地滑り等との複合、事故対応訓練の不足、　復旧作業に必要な物資の不足、などが重なればやっぱり放射性物質をまき散ら　ず大事故になると考えられます。例え津波以外の原因でも、結果として福島と　同様の事故になってしまった場合、事故の直接の被害だけでなく、いろいろな　事態が想像できます。自業自得だとの見方が大きければ、原発立地県以外から　の支援がス ムーズにいかないかもしれないし、海外からの支援も無いうえに、　海外からの損害賠償請求も避けられないでしょう。日本人だというだけで迫害　を受けるようになってもおかしくないと思います。それを思えば、電気料金が　多少上がる程度は何の不都合もありません。 ・ミサイルに耐えられる原発も無いでしょう。戦争回避、戦争につながるあら　ゆる行為を許さないことも大切でしょう。尖閣購入はやがて紛争につながる非　常に愚かな行為だと思います。 6．雇用の損失は無視すべき脅し文句 　世の中の変化に対応して生き残っていくのが民間企業の当たり前の姿です。今　までの、お金さえ払えばじゃぶじゃぶとエネルギーを浪費してよいという時代　は終わったのだと思います。この変化に対応できない企業が潰れたとしても、　新しい時代に対応する企業が生まれてくるだけのことでしょう。企業が死んで　も人は死なない。人が死んだら企業は生まれない。それだけのことです。 　現状維持にこだわり、閉塞感いっぱいの日本を続けるより、原発即ゼロを決定　し、生まれ変わる日本を高らかに全世界に宣言することの方が、新しい産業・　企業・雇用を生み出す「心のエネルギー」にあふれていくと思います。 7．廃炉は別会社で 　動かない原発は、電力会社にとっては何も利益を生み出さない負の財産としか　見れないでしょう。これでは廃炉作業を事故無くそして作業員の健康に配慮し　て進めることは難しいでしょう。国が主導して廃炉企業を作り、原発はすべて　廃炉企業が引き取り、各原発ごとに支所を置き、廃炉を進めるとともに、廃炉　技術や除染技術の開発・集約、海外の廃炉請負、原発跡地の再開発、等をさせ　ます。少なくとも廃炉が終わるまでの30～50年は潰れることが無いので、　現在原発で作業する人も、立地自治体も安心できるのではないでしょうか。 　必要な費用は国に請求し、国は電力会社からその金額をとる。必要な分だけ電　気料金値上げを認める。電力会社が潰れないでなお且つ廃炉会社に利益が出る　仕組みを加えていけば、原発ゼロに対する抵抗が減っていくのではないかと思　います。 　ああ締め切り時間だ
57881	個人	学生	20代	男性	(1)一次エネルギー全体での議論を進めるべき。 (2)原発依存から早く脱却し、再エネ・省エネへの転換を進めるべき(0シナリオ) (3)長期的な経済効果を明確にすべき。 (4)具体的な道筋を明確にすべき。	(1)一次エネルギー全体での議論を進めるべき 電力が一次エネルギーに占める割合は43%程度である。現在の議論はエネルギーに関する包括的なものになっていない。 熱利用等にもっと焦点を当てた議論を行うべきだと考える。 (2)原発依存から出来る限り早く脱却し、再エネ、省エネへの転換を進めるべき(0シナリオ) 以下の2つの理由から （1）事故時の破滅的な被害を及ぼすため 原発事故がさらに拡大していれば、壊滅的な被害となっていた。しかし、その点を考慮した議論が行われていない。また、近隣住民の精神的ダメージ等、数値ができない被害に関して加味していない議論が多い。 以上の理由から、原子力発電に関する議論では、リスクが過小評価されている可能性が高いと考える。 （2）再エネ、省エネの技術発達、普及を促進するため 3つのシナリオのいずれも再エネ、省エネを今後普及させていく旨が示されているが、普及のスピード は原発依存から完全に脱却した時の方が早くなると思われる。 国際競争力の面から考えると、技術発達・普及のスピードは大変重要となってくる。 (3)長期的な経済波及効果、雇用創出効果を明確にすべき 再エネ、省エネの技術発展、初期コストは高いが、長期的視点で見た場合の見返りは大きいと考えられる。 計算の前提を明確にした上で、長期的な経済波及効果、雇用創出効果を示すべき。 (4)具体的な道筋を明確にすべき 再エネに関して3つのシナリオいずれについても高い目標がかかげられているが、具体的にどのような道筋で達成するのかが不明瞭である。 例えば、再生可能エネルギーにより発電を行う企業への新規参入、新たなビジネスモデルの構築を促進するのであれば、 そのために託送料をどうするのか、卸電力市場活性化のためにどのような制度づくりを行うのか等、具体的な政策を示してほしい。
57882	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオを選択します。 そもそも時間軸を管理すらできないのに、 なぜ核を取り扱うことができると思うのでしょうか。	経済的負担が重くなると資料にはありますが 原子力発電をすすめても廃炉, 再処理, 処理済み燃料の処理の費用を考えると 経済的負担は後者の方が長く, はるかに負担になると思います。 火を使うことで技術が進化したという人がいますが, 火は水で消せるし, どんなに大きい山火事でも1年は続かない。 できないことはできないと諫虚になべきです。
57883	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発は全て廃炉にしてください、すぐにでもお願いします。	福島第一で惨りてないのですか？私はも5御免です。
57884	個人	無職	50代	男性	ゼロシナリオ以外にありません。すべての原子力発電所は不要です。	福島第一原子力発電所の事故は人災です。そして、その事故自体がまったく終息しておらず、今後孫子の世代を越えてまで、事故処理を続けていかなければなりません。ほかの原子力発電所にしても、既に耐用年数を過ぎ、また遠からずそれを迎えるのは分かり切ったことであり、その後処理はに長い年月が必要です。未来の人たちにこのような負の遺産を残してはいけません。
57885	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は即刻廃止すべき	「人間がコントロール出来ない様」を用いる事がどれほど危険で愚かな事か、明白である。 技術的に可能とか、営利目的とか、そんな次元ではなく、地球に住む生物の一員である人間として、選択すべきものではない。 いい加減に、「人間がすべてをコントロール出来る」などと言う危険で愚かな発想は捨てないと、人間自身が地球上で存続出来ない時が近い将来必ず来る。 代替エネルギーは必ずあるし、十分に賄える。
57886	個人	その他	40代	男性	2030年までには、(1)「原発0」を目指すべき。	2030年までには、(1)「原発0」を目指すべき。我が国は種々の災害が多く、現代の技術ではそれらに完全に安全に対処することができないことが、2011年の東日本大震災、及び福島第一原発事故で明らかになった。原発は万一の事故の際に、国民生活に多大な脅威をもたらす。2012年夏期においては、全国的に猛暑を記録しているにもかかわらず、原発をほとんど稼働させることなく、10～20%の予備率を確保している。エネルギー利用の効率化を進めれば、原発0で十分に国民生活は成り立つ。また緊急時の非常用に、天然ガス火力発電所を増設するべき。自然エネルギーは利用効率が悪く、大規模化により環境破壊も著しくなるため、設置条件等の検討を厳密に行う必要がある。
57887	個人	自営業	30代	男性	(1)ゼロシナリオ。事故が起きた時の被害が甚大で、放射性廃棄物の処理方法も不確定な原発はなるべくなら動かさない方がいい。そして今年の夏の需給状況を見るに、太陽光発電の増加などで補えば原発はゼロにできる筈	事故が起きた時の被害が甚大で、放射性廃棄物の処理方法も不確定な原発は「必要」がなければ動かさない方がいい。 「必要」とは何か？ 電力の供給だけの話なら今年の夏の状況を見るに、関西以外は原発なしでも電力不足にはなっていない。 関西電力管内で原発なしだった場合の供給力不足は猛暑の日のピークタイムに限られる。 それは太陽光発電を最大出力にできる時間と一致するため、メガソーラーの発電所にしろ、企業・家庭への普及の拡大にしろ、太陽光の増強だけでも十分に補える。 「必要」の理由として発電コストの増大による電気代の上昇、そこからくる企業の業績悪化、海外への拠点流出を挙げる意見を多く目にする。 しかし、それは現在の電力供給態勢が維持されることが前提となっている。 発送電事業を分離し、現在の大手電力会社以外の参入がしやすくなり、同地域内でも複数の電力会社を選べるようになればどうなるか？ 現在の地域内をほぼ単独の電力会社が独占している状況よりは競争の原理で値格が抑えられることは想像できる。 ぜひその場合を考慮して原発ゼロになった場合の電気代の上昇、経済活動に与える影響を厳密に試算してもらいたいと思う。 その上で変わらず経済に大きな悪影響があるということなら、もう一度考え直したいとは思うが、今の時点ではそうは思わない。 最後に一つ提案。 いずれにしろエネルギーの浪費を抑えることは今後もっと必要になってくる。 節電を促すためにも、電気に（あるいはガスにも）大きな税金をかけてはいかがでしょうか？ はっきり言って今の電気代は安過ぎると思います。 エアコンを数時間つけておいても数十円というところでしょうか？ 電気代の明細を見た時に夏は他の季節より数千円高いかと気づいても、その程度だと思う人も多いでしょう。 もし、今回決まった消費税の増税分を全部電気にかけるようにしたらどうなるでしょう。 電気代が今の数倍になってエアコンを控えることで万の単位が浮くなら、多くの人が節電をもっと心がけるようになるでしょう。 大げさな話と思われるかもしれませんが、消費税5%アップというのもかなり大きな話です。 全ての消費に影響が出る消費税より、電力にかけてエネルギーの節約を促す増税の方がいいのではないでしょうか？
57888	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロへ	原発は即時全面稼動停止、速やかに全面廃炉を希望します。
57889	個人	会社員・公務員	30代	女性	選択肢の設定方法自体に問題があるため、より具体的な内容にて再度パブコメを募るべきと考えます。	化石燃料の効率的な利用の具体策、再生可能エネルギーの種類の少なさ・導入コストの具体例等、原発依存度を下げるための他の方策がない。
57890	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発が絶対安全とは言えないことをわかっていながら、原発に頼るのは間違いであることはすべての国民がわかっているはずです。 私たち大人の責任において、未来の子供達に負の財産を残すことは絶対してはいけない。 また自然エネルギーを推進することで、新しい事業が生まれ雇用も確保できるはず。日本が生まれ変われるチャンスは今しかありませんね。
57891	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	日本の地理的条件を踏まえると、原子力とは、国土と国民を壊滅させる可能性があるエネルギーになりうることを知りました。そういうエネルギーを永久に使い続ける選択肢は、この国を次の世代に引き継ぐ者の一人として、選べません。
57892	個人	会社員・公務員	40代	女性	「2030年までに原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 国は再生可能エネルギー開発に尽力するべきです。	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年までに原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 ＜国は再生可能エネルギー開発に尽力するべき＞ この選択肢は「2030年までは原発が維持される」事が前提であり、国民を欺いています。再び原発事故が起これば日本は再起不能に陥ります。自然エネルギー比率を増やすことによって国民の活力を生み出すべきです。
57893	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ。 2020年と言わず、即座に。	まず福島の事例や、大飯でも未だに活断層の状態が不明なことなど、この国で稼働しつづけるのは危険だと感じます。 技術/経済面においても、廃炉や代替エネルギー開発において、新たな活路を見いだせるのではないかと思われます。
57894	個人	その他	30代	男性	「予防原則」を念頭に、提示案よりも温暖化対策を強化した「ゼロシナリオ」が望ましいと考えます。この上で日本の知恵を集結させ、各課題への解決策を探れば、世界から称賛される、より良い策が見つかると考えます。	「予防原則・予防的取組方法(※)」は、92年の国連環境開発会議で、世界の首脳同席の下、採択された考え方です。 ※　深刻な、又は不可逆的な被害の恐れがある場合には、完全な科学的確実性の欠如が、環境悪化を防止するための費用対効果の大きい対策を延期する理由として使われてはならないという考え方 これに照らし合わせると、原発事故リスクや核リスクを有するシナリオ（ゼロシナリオ以外のシナリオ）は、この原則に合致しないと考えられます。 ついては、「ゼロシナリオ」を支持します。 しかし、「ゼロシナリオ」においても、温室効果ガスの削減量が23パーセント減にとどまっており、これは気候変動に関する科学により要請される値（2020年時点で、1990年比最低25～40パーセント減）を下回るものです。気候変動も、やはり、予防原則・予防的取組方法と照らし合わせると、防 がねばならない事項であり、このことから、原発割合については「ゼロ」（ゼロシナリオ）ではあるものの、提示のシナリオよりも、温暖化対策を強化したものであるべきと考えます。 なお、提示のシナリオよりも温暖化対策を強化することは、省エネルギーや再生可能エネルギーをさらに進めることで可能です。また、省エネルギーや再生可能エネルギーをさらに進めることは、初期投資は掛かるものの、例えば、さらなる省エネルギーの進展については、エネルギー多消費産業を含め、多様な業種で、工場・事業場間のエネルギー効率に大きく差があることなどから、さらなる再生可能エネルギーの導入については、技術的には問題ない上、そのポテンシャルが十分にある（現在の発電設備容量等をはるかに凌ぐ）ことなどから、ともに十分可能です。 また、温暖化対策を強化したゼロシナリオを採用するに当たっては、一定の初期投資が掛かるなどの課題がありますが、これらの課題は、「予防原則・予防的取組方法」に反することではなく、ましてや、これらの課題に適切に対処することで、「Green Jobs（UNEP、ILO他）」に示されるように、新たな産業やそれに伴う雇用の創出も見込むこともできます。 以上のことから、温暖化対策を強化した「ゼロシナリオ」の採用を支持するとともに、それに向けて、日本の知恵を集結させ、安全保障、コスト、空洞化等の課題に対する解決策を探ること、このシナリオに適う新しい社会構造の創出に向けたスムーズな移行方法を探ることが重要と考えます。 現在、我が国は、東日本大震災や福島原発事故を受け、その対応が、世界から注目されています。このような道を選択することにより、より良い策を見つけ、世界から称賛されることにもつなげることができると考えますし、そのことを期待したいと思います。

57895	個人	その他	50代	女性	日本は脱原発を目指すべきである	多くの国民は福島の惨事を経験するまで、日本にこれほど多くの原発が存在する事に気づいてなかった。そして、どれほどエネルギーの無駄遣いをしてきていたかも今回初めて思い知らされた。少しの努力で家庭の電気代は半額になった。 繁華街のネオンやパチンコ店を始め、日本はあちこちで多くの電力が浪費されている。専門家の力を借りて社会全体で取り組めば消費エネルギーはかなり抑えられるはずである。 経済界は産業の発展を重視しているが、人間の命や健康があっての経済発展ではないか。経済大国となったことで日本人は幸せになったかという疑問は置いておくとしても、経済至上主義には多いに疑問を感じる。 福島の事故後、未だに原子炉の内部がどうなっているのか、つい先頃飛ばした風船カメラも期待を裏切る結果となり、解明されてないことが多々有る。 人間の手に負えないものを使うべきではない。 自然災害は年々規模が大きくなっていっていることを鑑みても、今後も想定外の災害被害にあう可能育は極めて大きい。 又、今回の事故に際しての東京電力や政府の危機管理や対策の甘さ、いい加減さに日本国民は信じられない思いでいっぱいである。 猛威をふるう自然災害のみならず、不安定な国際情勢のなか、テロリストの標的とされることも多いに考えられるという状況で、原発事故の可能性がゼロでない限り、また事故の対策が万全とは言えない限り、原発以外の環境への負担の少ない新しい代替えエネルギーの開発にこそ原発に振り分けられていた予算を費やすべきであると主張する。 以上、事前にまとめることなく締め切り間際の提出で説得力に欠く内容となってしまったのは否めないが、原発は全て廃棄することを私の意見としたい。
57896	個人	その他	40代	女性	将来原発はいりません。原発はできる限り早くゼロにして完全廃炉をお願いします。原発依存は0%希望します。 ※PDFファイルがエラーになり開きませんでした。 書き方不備の場合申し訳ありません。	3.11以降、切実に何を信用していいかわからなくなりました。 そしてひとつひとつの疑問について、なるべく公平に判断しようと、政府、民間、専門家の方々の意見を自分なりに調べ、考えてきました。 そんな私の現在の結論として、どう考えても原発を受け入れる判断は無い様に思います。 倫理的な部分だけではなく現実的にもです。 被爆国日本の日本人としても、世界に先駆けて勇気を持って未来を構築して行く事が今の日本の為すべき事だと思います。 本当に国民の声が国に届く事、切に願います。 よろしくお願い致します。
57897	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発0%シナリオ」を選択します。一刻も早く全原発をとめて廃炉にしたい。	日本には日本に合ったエネルギー政策があるはず。
57898	個人	会社員・公務員	20代	男性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します」	衣食住の安全と自然環境の保護をしてください。自然エネルギーの開発を推進してください。
57899	個人	自営業	30代	女性	2030年のエネルギー、環境に関する選択肢として原発依存度ゼロシナリオを強く希望します。	このまま原発依存の道を歩んでいくのは非常に危険であり、国民の「生きる」根源を揺るがしていくことになると思います。ふるさとを失い、耕す畑を失い、動物も含めたたくさんの命を奪ったあの福島の事故から、何かを学ぶとすれば、原発依存ゼロへの道を模索していくこと、これだけだと思います。そして自然エネルギー開発をすすめていくべきだと思います。核のごみの問題は誰にも解決できない。そんな負の遺産を子孫に残していくのはあまりにも無責任です。
57900	個人	自営業	40代	男性	原発廃止。	最終処理方法が見つからず、ただ地中深く埋めるしかない今、原発は廃止するべきである。 経済や安定供給において大事であることは良く分かります。 しかし福島の現状や放射性物質の全国散乱や太平洋における漁業資源にも影響がある以上廃止すべき。 今年夏の電力使用量から考えても可能なはず。 企業の海外移動も電気だけの理由でしょうか？ 安全な生活が出来る場所に人は住み着くものだと思います。
57901	個人	会社員・公務員	30代	女性	国内の原発全機の即刻停止と廃炉を求めます	原発の代替エネルギーが出来るまで原発を動かすのは、リスクが大きすぎます。また国内で放射能汚染があれば、付近の住民が家や仕事を失うだけで無く、被爆者やその子どもたちまで、影響のレベルが想像を絶します。廃炉による経済的なリスクがあったとしても、安全に生活できることに比べたら受け入れるべきリスクです。
57902	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度がゼロのシナリオを進めていくべき。	一昨年並みの酷暑でありながら、関西電力以外は原子力発電所からの供給なしで電力はまかなえた。関西電力にしても、大飯発電所の再稼働なしでも供給が足りたというデータも出てきている。発電所のゴミの処理も将来的に描けない状態であり、また、一度事故が起これば取り返しのつかないことになるので、代替エネルギー（太陽、風力、地熱、潮力）発電の効率性を高め、早急に原発を停止・解体していくことが必要だと考える。
57903	個人	学生	20代	女性	原発ゼロシナリオを採択していただきたい。原発作業委員が被曝しながら労働する環境では、原子力発電所の実質的な安全性は確立不可能であると考えるからである。自然エネルギー産業開発についても検討して欲しい。	原発0シナリオを支持します。 私は以下の様な理由から、原子力発電の安全性を確保するのは難しいと考えるからです。 まず原子力発電所は、作業員が被曝をするという危険な仕事です。 それゆえ、作業員に与えられた作業時間も限りがあり、じっくりと確認を行う余裕が与えられません。原子力発電所は非常に繊細な調整の必要な設計になっているはずです。それにもかかわらず、落ち着いて作業、確認できる環境が与えられていないということが、福島原発の大事故につながったのではないでしょうか。 さらに、設計上は完璧に安全装置が作動する仕組みが作れても、実際の作業、施工の面で設計通りには造られていないという問題があると考えています。原子力の技術者は、職人が育たないために現場には素人の作業員が新しいものほど経験不問という条件で作業員を募集し、なにが不正工事やら手抜きかも、全く知らないで作業しています。マニュアル化して作業を進めているそうですが、図面を見て作るのではなく、工場である程度組み立てた物を持ってきて、現場で１番と１番、２番と２番というように、ただ積木を積み重ねるようにして合わせていくだけで、今、自分が何をしているのか、どれほど重要なことをしているのか、全く分からないままに造っていくことになるのです。こういうことも、事故や故障がひんぱんに起こるようになった原因のひとつです。この問題を解決するには、現場でしっかりと責任を持ち、作業の全体を把握する職人・現場監督を育てる必要があります。 それにもかかわらず、被曝の問題があるために、新たに技術者を育てることが困難な環境であることが大きな問題です。原発の作業現場は暗くて暑いし、防護マスクもけけていて、互いに話をすることも出来ないような所で、身振り手振りで、ちゃんとした技術を教えることができません。このような、いつまでも技術者が育たないような環境で、果たして今後の安全確保などということが語れるのでしょうか？ 自然エネルギーの職人を育てていくほうが、現実的で将来性があるのではないでしょうか？WWFの自然エネルギー100%シナリオというものがあります。このプランそのものについては、現実的でない部分もあるのかもしれませんが、原子力にこだわり続けるよりも、海外からの需要も見込め、新しい日本の輸出産業にすることができるのではないでしょうか。現在の損得のみで考えず、将来的なビジョンを持ちたいと考えます。 最後に、素朴な気持ちですが、福島の事故が起こって、自分が食べる魚や野菜に対して、放射能汚染がないかどうかを確認したり、農家の人が汚染があるために農業を諦めるという状況は、とても不健康で残念に思います。 ぜひそのような不安を少しでも減らして行ける社会にしていきたいと考えます。政府の皆様もそのような私達のような意見を踏まえて十分検討していただけたらと考えています。 参考： 元原発作業員の監督員をされていた平井憲夫さんの記事　http://www.iam-t.jp/HIRAI/pageall.html 日本での自然エネルギー100%は可能　エネルギーシナリオを発表-WWF http://www.wwf.or.jp/activities/2011/11/1027418.html
57904	個人	パート・アルバイト	40代	女性	概要 選択肢として示された3つのシナリオではなく、原発をゼロにすると同時に、温暖化対策目標を強化した第4のシナリオを支持する。	3つのシナリオを見る際に、原発の比率だけに注目すると、「ゼロシナリオ」だけが支持できるように見える。（その理由は後に詳しく述べる）しかし、3つの選択肢では、いずれの場合もCO2削減目標の設定が低すぎ、2020年までに1990年比25%減という目標が達成できない。省エネの目標も不十分である。再生可能エネルギーの開発にも、もっと努力する必要があると思われる。 したがって、原発ゼロを目指すと同時に、省エネも進め、再生可能エネルギーを可能な限り増やしていくという第4の選択肢が必要だと思われる。 原発ゼロを目指すべき理由は、 1. 日本は地震国であり、原発を建てて安全な場所などーつもない。福島第一原発のような事故はどこででも起こる可能性があり、再び起これば、今回と同程度かそれ以上の被害が生じる恐れがある。福一も、収束した訳ではなく、現在も放射性物質が漏れ出し、事故の起きた原子炉や燃料の様子も直接確認できない。 2. 使用済み核燃料を安全に管理あるいは処理する技術・方法が未完成。放射線レベルが無害な程度になるまで10万年もの間、管理しなければならない。保管場所もいっぱいになり、新たな場所を探さなければならない状況。 3. 発電コストは、安いと言われているが、上記使用済み核燃料の処理、今回のような大事故の際の損害、賠償金などが含まれておらず、実は最も高くなる。 4. また、15%シナリオでも、実は今ある原発を安全度に無関係に全て再稼働して40年の減価償却を終えるまで使い続けるか、安全度の小さい原発を再稼働しなければ、原発の新設・増設が必要なことを考えると、選択肢として全く不十分。 第4の選択肢としては、WWFの呈示している「脱炭素社会に向けたエネルギーシナリオ提案」という提案がある。この提案が支持できる理由は以下の通りである。 1. 省エネルギーの様々な技術・方法について現状に基づいて具体的に想定・計算し、需要を大幅にしぼれる可能性がある事を示している。 2. 各自然エネルギーのポテンシャル想定を、環境省のポテンシャル調査を参考にしつつ吟味し、需要をどのように満たせるのか検討して示している。 3. エネルギーを電力と熱・燃料の需要に分けて総合的に検討している。（それによって、電力で熱をまかなうようなことを極力避け、効率的なエネルギー利用を考えていると言える） 4. 電力需要は、1日にうちでも、また年間を通して変動するが、その変動する需要を2050年において満たせるかどうかを、気象データなどをもとに行うダイナミック・シミュレーションを用いて確認している。 「自然エネルギーによる電力供給は不安定なので、ベース電源にできない」という議論もあるが、実は電力需要は上記のように変動するので、その変動部分を自然エネルギーで調整すればよい、という提案をしている。 この提案での2030年における原子力発電の占める割合は3.9%であり、ゼロではないという点が、少し残念ではある。しかし、この提案でも具体的に想定されていない、以下のような省エネルギーの方法を追加すれば、この時点での原発ゼロも可能ではないかと考える。 1. いろいろな場所に設置してある飲料自動販売機の数を減らす。 2. テレビの放送時間を短くする。 以上のような方法で、原発ゼロか、ゼロに近い数字にすることを目指したいと考える。
57905	個人	自営業	50代	男性	1）エネルギーの選択肢を増やすべき、2）原子力は収束に向けての技術開発の必要性、3）国家として自前のエネルギーを確保しない限り、次世代に禍根を残すことになる、4）エネルギーの分散と技術開発を早急に図る	昨年度はエネルギーについて大学での東工大社会人講座で勉強しました。その上での私の意見です。 1）「エネルギーの選択肢を増やすべき。」福島の原発事故を経て、原子力政策の転換は必須となっています。従来政策を推し進めれば成田空港のように対立の中での遅延が生じ、エネルギー政策全般が世界潮流から取り残されることになります。シェールガスを始めとして代替エネルギーはいくらでもありますし、また、再生可能エネルギー利用は化石燃料を使わないことと蓄電技術などの技術革新イノベーションを持っています（産業の裾野が広がる）。何よりも国民のやる気を押し上げます（原子力だとこうはいきません）。現時点での化石燃料調達コストはあまりにも高額で、これがさまざまなネックとなっていることはいうまでもありません。調達技術を向上させるべきです（調達の多様化）。 また、送電発電の事業分離は必須だと考えます。福島原発事故での電力会社の対応を見ていると、それら会社に「電気」という根幹を任せるわけに行かないことは明白です（以前は良しと考えていたのですが、幻想でした）。 2）原子力発電所の新規建設は無理でしょう。よしんば現在の設備が稼働したとしても、早晩その収束を考えねばなりません。このあたりの技術開発にはたくさんの課題があり、多くの研究者と技術者が必要となります。原子力の終わり＝技術の終わりではありません。 3）エネルギー確保が国家の根幹であることはいうまでもありません。中国やインドなどの経済発展によってますます拍車がかかり、エネルギー確保が国家の命運を決めるほどです。石油価格が上昇した現在、コスト的に開発をしなかったエネルギーに眼を向けられるようになりました。メタンハイドレートなど、近海海底にあるエネルギーは積極的に開発せねば将来の日本の姿を描くことができません。石炭の活用もしかりです。これらは国としては方向性を決めるだけで良いことです。規制という枠を作らず、オープンに受け入れるべきです。優秀な人材と企業が、方向にそってさまざまな問題を解決するはずです。 4）エネルギーの分散とは、大規模発電所の集中発電と送電を見直すということです。アメリカが宣言したことで、スマートグリットはすでに常識になっています。（1）多様な発電技術の開発、（2）送電技術の開発、（3）蓄電技術の開発、（4）省エネルギー技術の開発の四本柱はどれも欠くことができません。産業的な広がりのあるこれらを早急に国として推し進めるべきです。
57906	個人	法人等	50代	女性	エネルギー資源の乏しい日本にとり、供給源の多様性を確保することが重要である。このため、原子力ゼロシナリオは、多様性を否定しており、適切でない。	・原子力発電は国産の基幹エネルギーとして位置付けられていたところ、福島原子力発電所事故が起こり、潜在的な危険性が明らかになった。原子力発電所を運営する電力会社は、事故を真摯に反省し、危険性の顕在化を避けるべく種々の対策を講じるべきである。 ・軽水炉発電は世界中で利用されており、基本的に確立された技術といえる。日本としてこの確立された技術を大いに利用し、国民の暮らしに利することは重要である。また、海外諸国から日本の技術力に対する期待も高く、それに応えることも重要である。 ・3つのシナリオはいずれも原子力比率を中心に組み立てられており、現状から大いに飛躍が想定されている再生可能エネルギーの開発可能性についての考察が充分とはいえない。 ・政府としては、再生可能エネルギー開発のシナリオと実現可能性を正確に国民に説明し、産業界とともにその実現に取り組むことが重要であることはいうまでもない。 ・また、原子力発電については、万一の事態に備えを十分行うとともに、大きな課題である高レベル放射性廃棄物処分について真摯な努力を続けるべきである。これにより、過去数十年にわたり培ってきた国産技術を維持することが産業構造全体からみて重要と考える。 ・地球環境問題からみた二酸化炭素排出量低減の視点も忘れてはならない。 ・原子力比率をどの程度にするのが望ましいかは、産官学あげてデータをだし、技術と知恵を出して国民に十分説明してほしい。
57907	個人	無職	30代	女性	0%（即時）シナリオを選択します。	0%（即時）以外ありえません。原子力を推進することは作業員の被爆を無視した人道に悖るエネルギー政策であり、尚且つ、バックエンドとしての処理方法が定まっていないなか、未来の子どもたちにとんでもない負債と負の遺産を押し付けることにしかなりません。 今、手元の経済のために、また核抑止力のために、原子力を推進することは子どもたちのことを考えない短絡的な行為でしかないと思います。 即時停止、再稼動なし、と多くの国民の意見を反映し、即刻次の話合いに移るべき。 0%（即時）シナリオ以外ありえません。
57908	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオ 完全廃炉	地震国に原発は危険過ぎる。 これ以上子どもを産み育てることに不安を感じる。

57909	個人	自営業	30代	男性	原発を減らすのではなく、仮に不可能であってもあくまでもゼロを目指す事を掲げること。今、原子力発電に反対しなければならない理由	福島の事故による被害の甚大さ、核廃棄物の処理にかかる気の遠くなる年月や、この国の国土を考えれば原子力発電を行う事の危険性というのはもう火を見るよりも明らかです。これは安全性の向上などというレベルではなく、まだほとんど理解できていない現象を用いている原子力発電所の存在自体が有害なので、極力国土から排すというのは極当然の事ではないでしょうか。この国の力では到底コントロールできないという現実を突きつけられただけりなのですからなおさらです。 可能性を見つけた時にそれを実現しようとするのは科学者だけでなく人間の性故、テクノロジー=を否定するわけではありませんが、とにかく今この国で原発の是非を問う意味では圧倒的に反対の姿勢をとることにしました。 情報が不透明な現状において、果たして原発ゼロにする事がこの国にとって現実的なのかどうかすらもわかりませんが、今原発0を目指すという姿勢を強く持たなければ何も変わらないでしょう。恐らく役人や専門家は「もっと現実的な数字を言え」とでも言うのでしょうが、デモ運動もそうであるように、まず理想を掲げないわけにはいきません。国民の中に圧倒的な反対の意志がある事を政府に認めさせなければ、政府も対策を練ろうとはしないでしょう。 そして今の反原発運動は原発の反対という意味に加えて、まともな民主主義国家のための戦いであるという認識でいます。放射能による被害が今後どのようにこの国に影響を及ぼすのか、科学的な検証や精査を急ぐことは勿論必要ですが、例え仮に恐れていた程被害が出なかったとしても、今現在国民の大部分が圧倒的に原発に反対しているという事実を、政治が真剣に考慮して貰わない事にはエネルギー問題への取り組みは進展しません。
57910	個人	その他	50代	女性	私はゼロシナリオを支持します。日本は被爆国であり、かつ最悪の原発事故を抱えています。原発ゼロ社会を早急に実現化し、原子力放射線等の研究ではトップであることが日本の全世界に対する責務だと思っています。	同左。
57911	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	再処理も処分も手探りの状態で、核のゴミを後世に残す事、とても恥ずかしいと思います。 日本人の技術力で、原発は輸出できるまでの大きな産業の一つになってきた、それは誇らしい事だと思います。 しかし、これだけの大きな事故を起こした事により自らの過ちに気付き、次は核に頼る事のない、新たなエネルギー政策に転向し、そこにこそ日本人の技術力を、繊細ながらも大きな情熱を注いで欲しいと願います。 原発の開発、維持にかかる費用を、廃炉の為と新しい方向に使えるよう願います。 しかし、原発の研究は終わらせてはいけないと思っています。日本こそ、真摯に望まなくてはならない分野だと思っています。 地球上に原発が存在する限り福島と同じような、それ以上の事故が起こる可能性があります。 世界から支援を受けたように、その時には日本が一番に駆けつけ手を貸す、世界中に恩返しをしていく必要があると思っています。 そして、私が日本人として出来る事は電気の無駄遣いをやめる事だと思い、実施しています。 日本は変わるべき時が来たのだと思います。敗戦からの復興を成し遂げた日本なら、変われると思っています。 「原発ゼロシナリオ」で即時0%、希望です。
57912	個人	自営業	40代	男性	原発は必要ない。	日本人が覚悟して原発をとめ、再生エネルギーに切り替える。今しかない。
57913	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択。ただし将来的でなく即時ゼロを。	東日本大震災で原子力発電所の存在とそのしくみなどが広く知れわたる機会となりました。 福島第一原子力発電所は大事故を起こし、そして未だどうなるのかが見えない状態です。 そして地震大国の日本では原子力発電所は危険がありすぎます。 かつ、核のゴミは処理法方が未来任せという無責任さがあります。 原子力ほどコストや処理のかかるエネルギーは即時廃止すべきと考えます。 そのうち、という選択肢はないと思います。
57914	個人	会社員・公務員	40代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」で示されたなかで選ぶとすればゼロシナリオです。	まず原発をゼロにすると決めた上で、それに向けてエネルギー政策を考えたほうがいいと思います。 ゼロシナリオでは化石燃料の比率が増えるというシナリオになっていますが、それ以外の方法もあるはずです。 個人は実電の電力を買うしかないといういまの電力供給方法も変えて欲しいです。
57915	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0%に向かっていって欲しいです。日本は二度も原子爆弾を経験しています。絶対に人間が制御できるものではないと思う。自然のエネルギーを使い、自然と共に生きていくべき。	原発0%に向かっていって欲しいです。日本は二度も原子爆弾を経験しています。絶対に人間が制御できるものではないと思う。自然のエネルギーを使い、自然と共に生きていくべき。少しずつでもいい。子供たちに明るい未来を。
57916	個人	パート・アルバイト	40代	男性	稼働させている原子力発電所の廃炉を求めます。	世界中、国内中の反原発の意思を汲み取ろうとしない名ばかりの民主主義に失望しました。民衆の健康を日本政府が脅かしてはいけません。
57917	個人	無職	20代	女性	20～25シナリオの推奨	これから18年で、再生可能エネルギーに関する研究がどれ程進展するのかによって状況は変化すると思う。諸外国にても再生可能エネルギーの研究が福島第一原発事故以来活発になっているそうなので、国際協力を行い研究を進めれば、再生可能エネルギーや水素などを使用した発電の割合をもっと増やすことができるのではないかと考える。 これから先、この国が総使用電力を減少させることができるか否かを考えると、原子力発電のゼロというのは現実的ではないように思える。 世界各国で発生している自然災害を考えれば、化石燃料を使用した現在の火力発電の割合を増やすことは望ましくない上、経済的な負担にもなっているのならば尚更。 最終的な目標としては、原発ゼロを目指したい。 だが、この先数年は、安全対策を強化しながら原発を再稼働させるのが望ましいと私は考える。 異常気象の原因は分からってはいないが、二酸化炭素が原因の一端であると考えられている以上、経済的な負担も考慮し、火力発電が現状の発電方法のまま増加することは望ましくない。 再生可能エネルギーの研究を政府主導で推進し、技術の進歩を待つしかないのかもしれない。
57918	個人	パート・アルバイト	20代	女性	全部の原子力発電所の使用に反対です。	原子力発電所はできた当時から危ないと言われ続けて来ました。そしていま、原子力発電の事故によりにより、たくさんの被害者が出ています。同じような事故を起こさないためにも、別の可能性を模索する必要があるのではないでしょうか。
57919	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電の日本からの撤廃を希望します。	この度の震災で原子力発電の安全性に、管理体制も含め、疑問を感じています。 福島のように何か起こってからでは取り返しがつかない事態を起こすのであれば原子力発電が必要だと思ません。
57920	個人	学生	20代	男性	未来の話としては原子力ゼロシナリオでいくべきだと思います。現在について言えば動かす必要のなかった原子力発電は止めてもらうようお願いします。	原子力政策全体の事業計画の全体像が描けていないし、サイクル自体が計画破綻している。コスト的にも倫理的にも合わないと思います。 自然エネルギーの促進の方が発展的で健康的な日指し方だと考えます。 昔の人たちが考えたことで、結果的には間違っていた事業計画だと考えます。間違っていましたと間違いを認めても怒る人はいないと思います。冷静に事態を見直して欲しいと考えています。
57921	個人	その他	40代	男性	原発ゼロ、即時廃炉決定を望みます。	原発ゼロ、即時廃炉決定を望みます。新しいエネルギーは地熱をはじめ再生可能エネルギーの利用と新しいエネルギーな開発を目指すべきだと考えます。新エネルギーの開発は新しい経済発展をも進めるものと考えます。
57922	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオに賛成。 福島の原発事故の深刻な被害を目の当たりにし、国力や、国民の利便性のために、子孫にその負の遺産を背負わせることはできない。 これ以上責任を負えないものは廃棄が当然である。	震災＋原発事故で被害を被ったのは福島県民はもとより、多くの周辺県民にも及んだことを忘れてはならない。 地震大国の日本各地に設置された原発の危険性を思うと即廃止にすべき。 そして日本の技術を持って、原発に変わるエネルギーの確保、システム開発、それに見合った産業や生活の見直しを行うべき。 「国民の命」に正直に向き合って欲しい。
57923	個人	パート・アルバイト	20代	女性	即座に原発0政策をすすめることを希望します。	一社会人として、日本の、地球の住民として、どんな未来を求めるか考えたとき、やはり原発を稼働させなくてはならない現状ではだめなのだと思います。自然と共存する道を選ばないことには人間に未来はないと思うのです。これまでの人間の発展を完全になかった事にするわけではなく、うまく擦り合わせて行く事が、むしろ今だからこそできる。バイオマスや自然エネルギーにシフトすること、豊かさとはどういったことなのか今一度一人一人が見つめ直すこと、政治のあり方、人権、生きるとはなにか、この変革にあらゆることが関わっています。一つの大きなきっかけです。 行き詰まった日本が新たな境地を目指すときです。0に立ち返りましょう。
57924	個人	自営業	50代	男性	原発によるエネルギー供給の即時停止を求めます。 また、拙速にして偏向した今回のエネルギー選択の議論の進め方は全く同意できない。	国民生活の今後に関わる重大な事柄であるにも関わらず拙速に過ぎる。国民的議論の対象としてのエネルギー政策のシナリオはもっと時間をかけて国際関係、諸外国におけるエネルギー需給計画の予想も含めた相互関係の中で検討されるべきで、まったく場当たり的な提示にすぎない。また、目標としてはプランに示されるような消極的選択肢ではなく、将来を牽引すべき理想像としてのビジョンが組込まれていなければ国家戦略としての意味を成し得ない。 現在の原子力発電による問題点について 放射性物質は生命(遺伝情報)にとって未来永劫に非常に深刻なダメージを与える物質である。それはCO2や経済的側面と同列に比較対象できるものではない。 放射性物質を扱う施設は、これまで喧伝されてきたように、技術的に万が一のときも閉じ込めることが可能であるという神話から脱却すべきである。むしろ閉じ込めることが非常に困難であると言う素直な見地から全体を見直すべきである。 また、地震予知や断層、異常気象などについても全く完全ではなく、知りうる過去のある条件を前提にしたシュミレーションにすぎない砂上の楼閣である。それらから導き出される安全という評価は既知のものを超えた状況では簡単に瓦解する。そういう見地からも万が一、想定外の状況が起こったときに生命に深刻な被害や地球レベルでの汚染を引き起こし、回収不可能であるような放射性物質は扱ってはならない。それは地国においても同じであり、地球レベルで目指すべきビジョンである。 採掘の時点から道徳的、人道的に被曝という作業を伴い、人間性を剥奪するような物質はエネルギー資源として使用してはならない。 核廃棄物の処理方法についてあらゆる側面で行き詰まっている状況と、福島原子力発電所の廃炉と除染に伴う廃棄物処理量に見当がつけられない状況ではこれ以上核廃棄物を増やしてはならない。 現在国内に存在する全ての原子力発電所は一切運転停止をし、既知の危険度の評価に基づいた原子炉の封印・廃炉に向けた工程表を作成すべきである。 原子力発電をゼロにした場合のエネルギー供給について 当面は火力と水力をメインに利用した既存の発電所の発電量をベースにするべきであり、その発電容量に基づいた国家的な節電計画としてもいうべき第一次エネルギー使用計画を作成すべきである。無い電気は使えないのである。その中での切磋琢磨、工夫していくことが新しい技術の牽引とライフスタイルや価値感を作り上げていくと共に日本という国家が地球規模での環境破壊を抑制していく方向性を示し国際的な優位性と貢献ができる。 24時間営業に向かってきたライフスタイルを見直し、夜間の消灯・TVなどの停波、年中無休を無くし余裕のできた夜間電力は既存の揚力発電所を有効活用するのに生かせばよい。とりわけ24時間型の不要な電気エネルギーを減らすことはヒートアイランド現象の改善、人間性の回復、健康増進にもつながり新たな需要を喚起する。 節電=発電所を建設するの同じであり、計画停電では無く、何と何に電力を振り分ける必要があるのかを国民的議論も含めて検討し実行する必要がある。 企業などによっては自家発電による供給などの方向性が加速し、省エネ、節電関連技術と商品流通が活発になる。 再生可能エネルギーの多種開発とハイブリット化による安定化の研究に力を注ぐべし。一般的に既存技術に立脚した太陽光利用と風力発電が目立つが、それは第二次エネルギー使用計画に耐用年数、資産的価値を含めた容量を優込んで化石燃料からシフトしていくことになるが、すでに民間レベルでも様々な計画などが発表されており、ここでは割愛するがそれをそれだけ後押し／加速化できるのが、第一次エネルギー計画における新しい状況の改善につながる。また、1kw以下の小規模DIYタイプの発電機などの開発と一般家庭への普及は全てをそれでまかなうことはできなくてもリスク分散と災害時など役立つと思われる。それは教育的視点からも好ましい。一方で潮流発電、藻からの採油、有機太陽光発電、人工光合成技術によるCO2分離からのエネルギー獲得など、新技術こそが目指すべき未来のエネルギー資源であり、開発予算をつぎ込み、人材を育て知財確保するべき対象である。第三次計画にはこの新技術によるエネルギー供給の具体的な実現運用が示されるべきである。化石エネルギー資源獲得競争に伴う紛争と南北格差の是正、地球規模での平和と人間性の復活と向上の技術が新しい時代と地球環境をリードする。この方向性に向かうことをビジョンとしていくことこそが国家戦略であり放射能による地球汚染を引き起こし続けている日本が世界に対して貢を追い、世界の冠たる国家として、日本人の誇りを回復させることになり経済を牽引することを考えます。
57925	個人	その他	10代以下	女性	原発ゼロシナリオでお願いいたします 原発0% 即停止でお願いいたします	まだ！才ですが、親として。 原発事故で命の危機を感じました。 放射能こめんです。
57926	個人	会社員・公務員	40代	男性	・ゼロシナリオ以外のシナリオは認められない。 ・ゼロシナリオについても、可能な限り前倒しでの実現（即時ゼロ）を目指すものでなければならない。	・ゼロシナリオ以外のシナリオは認められない。 ・ゼロシナリオについても、可能な限り前倒しでの実現（即時ゼロ）を目指すものでなければならない。 4つの視点のうち「原子力の安全確保と将来リスクの低減」が今回の会議立ち上げの直接的な理由であり、この議論なくして会議の意味はないはずである。ところが各シナリオにおいて、この視点が具体的に取り上げられず、判断材料となるリスク評価が示されていない。 いやしくも今後の原発稼働を考えるのであれば、そしてこの会議が脱原発依存を謳うのであれば、稼働中の事故リスク、つまり再稼動により第2、第3のフクシマが生じる可能性と、その影響の評価をしなければならない。その意味で、今回のパブコメ率は国民意見を問うに値する内容にはおよそほど遠いと言わざるを得ない。評価の中身は、避難の経済的補償、健康被害への医療的、経済的補償から、除染費用等多岐にわたる。しかも、それらは、今後、相当な時間幅をもって出現する可能性が高いものである。現在、それらを正確に把握することなどできないものであるが、シナリオでは、はじめからそうした議論を省略しているのが一目瞭然である。 日本の原子力をめぐる状況は、経団連や電事連などの原発再稼動論者が見るほど甘くはない。原発再稼動するしないによらず、廃炉と放射性廃棄物の処分という極めて後ろ向きな仕事は、福島事故によって、いやが上にも加速し、かつ、人材を集める環境は厳しさを増した。一定の技能を有する貴重な人材をこうした分野につぎ込むこと自体、大きな損失だが、相当数のこれらの人材を投入しなければならないことを考えれば、原発再稼動など、2の次、3の次である。 こうしたことを無視できるのは、放射性廃棄物の世代間の受益負担のアンバランスを考えていない、福島の被害者への正当な補償を考えていないことの裏返しでしかない。 そうしたことが、上記の意見を述べる理由である。
57927	個人	会社員・公務員	40代	女性	あえて3つのシナリオの中から選ぶなら、ゼロシナリオ以外にはありえないと思います。2030年とは言わず、可能な限り早い段階で電力における原子力発電の占める割合をゼロにすべきだと思います。	以前から電子力発電の危険性は分かっているつもりでしたが、同時に安全性も信じていたのだと思います。今まで具体的に原子力発電に反対を唱えたことはありませでした。しかし、福島の事故が起こってしまった今では、もう原子力発電の安全性を信じることはできません。現在の住まいの近くには浜岡原発があり、東海沖地震発生の可能性も高いと聞きます。これ以上原子力の不安にさらされながら生活を続けることは耐えがたいと感じています。
57928	個人	無職	60代	男性	今回の東日本大震災で火山国の日本は地震による今後の電力の供給の見直しを検討せざるを得ない事が確定した。もともと光エネルギーの先進国であったはずの日本はいまは後進国にいなっている。原点に戻れ！	日本は被爆国であり原子力の恐ろしさはいかなるほかの国よりは経験豊富である。原子力の安全性が疑問視されている。被爆した福島の人々の結果は近い将来明確に身体に影響が出るであろう。このような状況に於いて、今本当に原子力発電所は必要かどうかは代替ネルギー――を十分検討した上で決定すべきであるのに簡単に再稼働してしまう。これは、国民投票にて決定すべきではないだろうか？政治家はよっき言ってど素人であり、再稼働の結論を決定するには時間をかけて進むべきなのに短期間で結論を出してしまうことは不思議で仕方がない。他の国を参考にしたのかどうかわからないがドイツの決定をもっと参考にすべきである。民主党は与党になったが経験者が少ないのが最大の欠点であり、方向性を決定する場合に官僚の指示に従うことが多い。 時間をかけて決定してほしい。
57929	個人	学生	20代	女性	原子力発電所をなくすべき！	福島原発事故を受け、原子力発電所の安全性が担保できないことが明らかになった今、原子力発電所はただちに廃止の方向にもっていくべきである。 原子力発電所が稼働していない状況でも電力は足りており、もし足りなくても、節電するなど原子力発電所を稼働させなくても停電しないような社会にすればよい。 利便性より安全性を担保することが国が本来すべきこと。
57930	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオで、即時ゼロ%を希望します。	世界的に自然エネルギーを推進しているのに、制御できない原子力を使っていくのは国策としても間違っていると思う。

57931	個人	会社員・公務員	30代	男性	今回の選択肢において私は「原発ゼロシナリオ」を指示します。	核廃棄物は後世に残す負の遺産だと思います。 たった何十年しか稼働させられない原発のために 10万年も後始末がかかるのはナンセンス。 3.11が起こり、原発は事故を防げないことが分かりました。 これだけ地震の多い国にそぐわないと考えます。 世界一といわれるような自然エネルギーの発展を望みます。 よって原発ゼロシナリオを指示します。
57932	個人	会社員・公務員	40代	男性	1、原発事故で安全神話崩れる 2、福島の悲劇二度と繰り返さない 3、日本の技術力で新エネルギー創設	原発反対
57933	個人	会社員・公務員	40代	女性	原子力エネルギーに依存していくことに反対です。日本の国土の特徴に見合った対策を私たち日本人が考えなくてはいけないと思います。速やかに次世代のエネルギーにシフトすることを望む。	原子力発電のリスクは、地震列島の日本に見合うエネルギーではない。原発エネルギーに依存しない社会に変えて行くことが必要。今回の事故でわかったことは、専門知識がある人でも東電自体も最発した原子をコントロールできはしなかったということです。専門家同士でも見解が複数ある。計器の数値以上に知識人の理論想像が必要だったこともよく見えた。事故となれば、目視できない以上、推測推論でしか状況をつかめないため、不完全な対処が最善策となったことに無力感を抱き、振り返っても推測予測、わずかな情報やかなりのタイムラグの後、知らされる事後報告の情報に不信と苛立ちしさを覚えた。今の日本の技術の粋を集めてさえ、原子力エネルギーはコントロールできず、ピンチの対策をとっても人間ができることはたかがしれていたことがはっきりしました。原発はもはや過去の遺物として早急に0%にするための社会づくりが必要だと考えます。東電や国、都道府県長が、たくさんの自国民を無駄に被曝させた罪は重いです。国民の最低限度の安心安全と健康と安らぎを国は保障すると憲法にうたっているのですから、次世代エネルギーに移行し2030年にはより環境に順応し循環でき、毒の少ない、害のない、日本の風土の特徴にあったエネルギーを見つけるべきです。継続した環境被曝、健康被害と放射線の影響を視野に入れるべきです。 環境に出す毒のリスクの少ない選択を考えて次世代にバトンをつなぐことをするべきです。それが2011を生きた大人が考えることです。
57934	個人	自営業	30代	男性	原発依存から自然エネルギーへの転換をお願いします	消去法で致し方ない選択肢の原発稼働による土地の汚染と次世代への負担は 歴史上今の20世代、この時代が義も忌み嫌われるものになると思います。 生まれて来た感謝と共に、子供たちや次世代にとって住みよい世界を構築することが 我々の世代が生きた誇りとなると思います。 もはや隠し立ての中での政治、経済は終焉を迎えています。 古いやり方では世界から置いていかれる一方です。 今こそ先進国に返り咲くべく、大きな転換をお願いします。
57935	個人	その他	20代	女性	原子力発電、ゼロシナリオを支持します。	・原子力発電、ゼロシナリオを支持します。 私たち、今生きているものは、大きな時間の流れのなかでは小さな点でしかありません。その限られている時間の中で、生き物としてするべき事は次の世代を残していくという事だけです。生まれて生きて年老いて死んで、土に還ります。全てはそのサイクルの中に収まるはずです。でも、放射性物質だけは違います。この先、何十年も何百年も残り、周りのものを傷つけます。消し方が分からない火を使い続けるのはやめるべきだと考えます。地球は人間のものではないのです。 ・地熱発電、ジオサーマル、太陽光発電で原子力発電低減を補うのが理想的だと考えます。 地熱は火山大国である日本が使う事のできる重要な資源の一つですが、開発コスト、開発リスクが高い、減水するなどのリスクがあり、持続可能なエネルギーとしては現実的ではないかもしれません。その点では太陽光、あるいはジオサーマルは装置を置くだけで熱をエネルギーに変換してくれます。コストが高いという見方もありますが、5年で元を取れるとの意見もあります。電気は毎日使うものだからこそ、作られている場所と使う人の距離が近い方が良いのではないでしょうか。ジオサーマルや太陽光は、自分にも感じる事のできる太陽の熱が、その場でエネルギーに変換されているというのを実感できます。たとえば日本ではUの土砂崩れ防止の為、コンクリートで覆われた斜面を至る所で見かけます。そういった斜面を太陽光発電パネルで覆うのはどうでしょうか。 経済学は本来大勢の人々がどうしたら、幸せに生活できるかを考える学問だそうです。だれかの犠牲の上にあるものではない、地球と地球に住む生き物の事を考えたクリーンで分かりやすいエネルギー政策を希望します。
57936	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発廃止！	これ以上子供たちから原発の恐怖にさらさないため、廃止が必須です。
57937	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望します	原発ゼロシナリオを希望します。 何よりも大切なのは、お金よりも尊い一つ一つの命です！ 日常を平和に暮らしたいです。 ただそれだけです。 美味しいお魚を美味しいと安心して食べれる未来を望みます。
57938	個人	無職	40代	男性	原発施設の維持管理コストが大きく事故が起きた時のリスクも大きい	原発ゼロ ＜理由＞燃料となるウランが石油や石炭と同じく枯渇性燃料であること。もんじゅの計画が頓挫し六ヶ所村の再処理工場も未だ本格稼働していないこと。原発施設でのトラブルが多いこと。使用済み核燃料の最終処分方法が確立されていないこと。事故が起きた時のリスクが非常に大きい。
57939	個人	自営業	40代	女性	原発は止めてほしい	コンビニは24時間やるの地域で一つでいい。たくさん電気を使っている企業は屋根にパネルつけたらいいし、それこそ24時間も稼働しんでいいモノ作りしたらいい。買って数年で壊れてアフターケアもまともにしんで新しいの売るようなモノ作りはゴミを増やしてエネルギー消費ばかり。 トイレは勝手に流れなくていいし、フタは使ったら閉める、水の蛇口も自分で閉める。ハンカチで手ふく。 便利がけっきょくて人間がアホになる。 少し前まで当たり前だったことなのに便利と怠惰は違う。 政治家の人は自分の子供や孫に残せる日本をかんがえてほしい。他人事ではないのですよ。
57940	個人	会社員・公務員	40代	男性	国のエネルギー安全保障の全体ビジョンを明確にし、その上で原子力のバックエンドと再生可能エネルギーのスケジュールを明瞭にした、エネルギー政策を示してほしい。	ポイントは3点。 エネルギー安全保障の全容が見えてこない。石油の代替エネルギーとしての原子力を謳うのであれば、現時点で原子力の再稼働に不安を残す中、どうやって安全保障を進めていくのか。例えば、韓国に石油備蓄基地を依頼するなどという報道が成されているが、それが本当であればまったく安全保障をわかっていない。ロシアからの天然ガスにしても同じこと。他国に安全保障の最終決定を委ねるのはナンセンスである。その上で、日本はどうしたいのか、その中で原子力もやむなし、というのであれば全体のエネルギービジョンを示した後に、提示をしてほしい。 原子力のバックエンドについては多くいわれているが、現在の廃炉を含めた流れの中で、福島以外の原発の廃炉・退役をどのように考えているのかがまったく見えてこない。学術会議もさじを投げたと報じられた高レベル放射性廃棄物の最終処分場のことだけではなく、使用済核燃料の中間貯蔵についても同様である。もしも核燃料サイクルをしない方向になるのであれば、その場合の使用済核燃料の法的位置づけも必要になるが、そのような議論はされていない。 再生可能エネルギーにシフトをするというが、それはまだ技術的、コスト的に無理なことは理解している。しかしながら、旧来型化石燃料に多くを頼るのも心許ない。ならば、どういった形で再生可能エネルギーを進めていくのか、善良買い取りなどのコスト面だけではなく、国としての明確なビジョン（安全保障とからめて）を示してほしい。 その上で、原子力が必要であるかどうかは、国民の声を聞いた上で判断してほしい。少なくとも1986年の東京会議で、原子力は過渡的エネルギーとしてこくさいてきにも認知されていることである。
57941	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発原発、ゼロシナリオを支持します。 現在稼働中の原発は即時停止をするべきです。停止中の原発も廃炉に向けて対策をとるよう希望します。	福島県の原発はまだ収束していません。一体だれが責任をどったのでしょうか？ またいつ起こるかもしれない原発事故も誰が責任をとれるのでしょうか？ 地震が活発化しているこの日本で地震が起きる可能性は大変大きいです。配管が地震によってずれればそれだけで放射性物質が漏れてしまいます。 また稼働しているだけで放射性物質は排出されています。 これ以上汚した日本、地球を子ども達に残したくありません。 放射性物質で汚されれば数十年～数百年単位でその場所に住む事は出来なくなります。食べもの、外で遊ぶことにも気を使い普通の生活ができなくなります。 電力は原子力だけではありません。 火力、水力、太陽光、地熱、風力様々なものがあります。また自家発電を有効利用すれば、電力は足りるはずです。 電力不足を理由に原発を動かす事はやめて下さい。 よろしくお願いします。
57942	個人	家事専業	40代	女性	2030年までに原発をゼロパーセントにする。全炉即時廃炉が望ましい。再生可能な自然エネルギーの研究・普及を国や自治体が主導し、電力システムを改革、地域分散型電力供給に切り替えていく。	日本は唯一の被爆国である。ヒロシマ・ナガサキを経験し、世界に核兵器のない未来を訴え続けてきた他ならぬ日本で、福島第一原子力発電所の大事故が起こり、フクシマという国土を失うに等しい放射能汚染が起き、全世界へと放射能汚染物質の拡散が起きてしまったことに対して、深い苦しみ、悲しみ、怒りを感じる。今まで、政治的・経済的なプロパガンダにだまされていた自分の愚かさにも腹が立つ。このような深刻な原発事故を引き起こしておいて、脱原発せずに、また長い物に巻かれてしまうなら、将来に渡って損根を残し、取り返しのつかない事故が再びどこかでおこり、未来の人達から、愚かな選択をし続けた愚かな世代の人々と言われてしまうであろう。未来の子供たちに、放射能汚染・被曝の恐怖に怯えなくても良い環境を残していくのは、人類としての最低限度の責任であると思う。核の平和利用などという幻想から早く目を覚まし、勇気を持って、あらゆる意味でしがらみのないクリーンなエネルギー循環によって成り立つ新しい社会を構築していかなければならない。2030年までに、原発をゼロパーセントにし、太陽光利用など、再生可能な自然エネルギーの研究・初期投資援助・普及を、国や自治体が主導する。電力システムを改革し、地域拡散型のエネルギー供給を進める。自然エネルギーから発電した電気を、自治体や、地域密着型中小電力企業が買い取り、地域で供給。エネルギーの地産地消こそ、未来のエネルギーシステムとして相応しい。
57943	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年の原発依存度0%を選択します。なぜならば、人間が核を完璧にコントロールすることは不可能だということを学んだからです。	現在の経済活動の一角を担う者として次世代にどのような地球を受継いでいかねばならないか。放射能汚染におびえる世界であって欲しくありません。 また、唯一原爆の被災者である日本人にとって、他人の悲しみの上に自分の幸せは成立しないと信じます。経済の観点からも、今こそ一致団結して新しいエネルギー政策の上に、日本のプレゼンスを世界にアピールできると、日本人の底力を信じます。今まで原子力の平和利用にご尽力されてこられた方々の力も必要です。今こそ新しい日本を・・・そのために私も自ら行動することを誓います。 ご英断をよろしくお願いいたします。
57944	個人	会社員・公務員	20代	男性	日本は、原発はゼロに向ってシフトしていくべきだと考えます。四季があり、水が、緑が豊かなこの土地で、あえて今後も原子力を利用したエネルギー政策に注力することは効率的ではありません。	福島から学びましょう。福島の現在の声を聞いて下さい。
57945	個人	会社員・公務員	30代	女性	日本は脱原発を目指すべきです	日本は段階的に脱原発を目指すべきです。 核兵器を製造する目的があると、世界ではみなされ始めています。 最初は石油、石炭に頼ったとしても、 日本に見合った自然エネルギーを探し出すべきです。 それは地熱かもしれませんし、日本と同じように温泉大国であるアイスランドは 地熱発電に成功しており、その技術のほとんどが日本のものです。 日本もできるはずです、温泉産業の保護などと共に、 国策として取り組んでいただきたい。 事故が起こった時のリスク、必要経費が膨大であることは 今回の福島で証明されました。安全でも安くもない原発のリスクに 早く目覚めて欲しいと切に願います。
57946	個人	学生	20代	男性	「ゼロシナリオ」を支持します。様々な問題を抱える今の原発関連事情を考えると、早期に全原発を廃炉にし、普及促進されていく予定の再生可能エネルギーの市場を拡大させていくことが大事なことであると考えます。	私は、提示されている3つのシナリオのうち、「ゼロシナリオ」を支持します。それを支持する理由は、今日の原発の状況には様々な大きい問題があると考える為です。 政府の国家戦略室エネルギー・環境会議は、「話そう　“エネルギーと環境のみらい”」の中の「エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点」において「原子力の安全確保と将来リスクの低減」を重要な1つの視点として挙げています。その中では「社会の安心・安全を持続可能な形で確保することが今は何よりも求められている。」と書かれています。この意見に私は賛成であり、国民の多くも賛成すると思います。そして私は、ゼロシナリオを採用することが、このことを実現することに最もつながると考えています。まず、今の段階ではとても原発が安全とは言うことができないと思います。それは福島での事故によって揺るがないものだと思います。また、使用済み核燃料、放射性廃棄物の処理の問題も全く解決せず、将来に大きな負担を残すことに今のままではなってしまいます。原発の安全性や使用済み核燃料、放射性廃棄物の処理について研究を続け、将来的にそれらが解決できるのであれば、解決後に原子力を重要な電源として考えていくことは正しいことだと思います。原子力を安全に持続可能に使用していけるのであれば二酸化炭素排出削減にも大きく貢献することができるからです。ただし、現在の原子力発電は、安心・安全・持続可能とはとても言えないのです。政府の国家戦略室エネルギー・環境会議の共通するシナリオとして、中長期的には原子力発電への依存度を減らすとありますが、それでは将来原子力発電の電源比率を維持、さらには発電所を増設する可能性も残されてしまうと私は考えます。よって、その可能性がない唯一の選択肢「ゼロシナリオ」を私は支持します。
57947	個人	家事専業	40代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」において、「0シナリオ」を強く支持します。	原発は、一度を制御出来なくなれば、たちまち百何十キロも離れた地域まで、高濃度の放射線物質がばら撒かれ、生物に欠かせない、水、空気、土を汚染してしまいます。 放射線で汚染された農産物や海産物を風評被害といい、国民に責任を押し付けています。 福島だけでなく多くのホットスポットと呼ばれる地域では、今も健康被害が起きる不安の毎日を送っている人々がたくさんいます。 福島第一では多くの作業員が大量の被爆を避けて作業に当たっています。 そして行き場のない核の廃棄物。 これらは、いつ迄続くのですか？ 何十年、何百年と放射能を出し続ける放射線物質を無毒化することは出来ません。 加えて、電力会社や政府に都合の悪い情報は、国民に知らされず、誰一人として責任を取っていないではありませんか。 これでは健康被害が起きても国民はまったく救われることはないでしょう。 2030年といわず、即刻原発依存0パーセントにするべきです。
57948	個人	会社員・公務員	20代	女性	即刻原発ゼロを希望します	女性として、子を産む立場から、これからの未来に、私達の子ども達に、原発の後始末をさせる世の中であっては行けない。 私達が残した負の財産を背負わせてはならない。 国民に対する政府のやり方には、大反対です。 原発の安全神話という名に置いて、自分たちの利益を最優先にし、私達国民の犠牲の上に成り立ってきた原発。そのような政府の姿勢が絶対に許せません。 原発が無ければ無いで、それ以外のエネルギーに転換して行けば良いわけで、何故政府がそれほどまでに原発に執着するのか、それはやはり自分たちの立場や都合しか考えていないからです。本当に私達のことを考えているのなら、原発なんて動かせないはずです。 私は、即刻原発ゼロを要求します。
57949	個人	会社員・公務員	30代	女性	エネルギー資源に乏しいわが国は、現時点で原子力をエネルギー源の選択肢から外してはならない。安全と信頼を確立した上で、今後も活用していく必要がある。	現時点で原子力をエネルギー源の選択肢から外す選択は決断すべきでありません。日本のエネルギー自給率はわずか4%であり、多様なエネルギー源を確保することが国力種持増強の基盤になると考えます。将来的には再生可能エネルギーの活用が温暖化対策の面からも重要ですが、技術とコストが現実的なレベルになるまでは、原子力を活用することが必要です。感情論ではなく、現実的に物事を考える議論が尽くされることを望みます。
57950	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発の再稼働に反対します。	原発の再稼働に反対します。 （理由） 1．原発は放射性廃棄物を生じ、長期的に見て地球の環境に悪影響を及ぼす。 2．原発から発生する微量の放射線は、原発作業員の内部被曝を引き起こす。 3．地震やテロ、その他の事故・災害の際に、周辺の住民の安全が保障されない。

57951	個人	無職	60代	男性	原子力推進のための予算を抑えて、再生エネルギー推進のための経費に振替えて、エネルギー政策を合理化する政策を推進する方策。	1. エネルギー政策の転換 　現在のエネルギー政策はあまりにも原子力推進に偏りすぎている。もともと再生可能ネルギー部門は日本が最先端を突っ走っていたのに、原子力発電をアメリカに協力を求めて推進する政策へ舵を切ってからは、再生可能エネルギーは極端に言えば相手にされなくなった。「50－50」なら再生エネルギーがドイツを始めとする西欧諸国にこんなに差を付けられることはなかったであろう。このブレを直すには、原子力関係予算は新規開発費は計上してはならない。現在ある施設の保全に要する経費のみに計上を限定するであろう。一点集中を原子力ではなく再生可能エネルギーに注ぐべきであると考えます。 2. 原子力研究者の行方 　現在、原子力関係に従事している研究者や学者は海外へ転出して研究を続ける方法もあり、原子炉保全や使用済み核燃料棒の始末について研究を継続する方法もある。再生可能エネルギーの推進研究へ転身する方法もある。日本は地震国ゆえに原発は廃業スべきである。 3. 計画の策定 　先ず、たとえば「10年後に原発をゼロにする」目標を立てることだ。それまでのエネルギー政策は、アメリカのシェールガスなども登場するから、適当な計画を立てて賄うことであろう。 了
57952	個人	自営業	40代	女性	唯一の脱原発シナリオである「原発ゼロ」を支持しますが、提示された3つのシナリオはいずれも温暖化対策目標が不充分なため、「原発ゼロ」を実現すると同時に「温暖化対策」も強化した第4のシナリオを希望します。	唯一の脱原発シナリオである「原発ゼロ」を支持しますが、提示された3つのシナリオはいずれも温暖化対策目標が不充分なため、「原発ゼロ」を実現すると同時に「温暖化対策」も強化した第4のシナリオを希望します。 専門家ではございませんので素人の一市民としての観点から、唯一の脱原発シナリオである「原発ゼロ」を支持する理由と、同時に「温暖化対策」の強化の必要性について以下に述べさせていただきます。 「原発ゼロ」を支持する理由: 最大の理由は、やはり「放射能」の問題があります。原発が存在する限り、日々、口にする食べ物や飲み物が放射能に汚染されていないかという不安が消えさることはないでしょう。また、放射能に汚染された廃棄物の処理の問題など多くの深刻な問題をはらんでいるため、一時的ではなく恒久的な「原発ゼロ」の状態を強く望んでおります。 第4のシナリオを求める理由: 温暖化対策と不充分な「省エネ」: 提示された3つの選択肢ではいずれも温暖化対策の目標が不充分なため、温暖化対策の観点からは、どのシナリオも選ぶことができず、第4のシナリオが必要となります。つまり、3つの選択肢では、まだまだ「省エネ」が不充分であり、このままでは二酸化炭素を放出する石炭火力発電への依存が続くと同時に、自然エネルギーの普及目標が不充分であるため、一向に温暖化対策が進まないといった事態になりかねません。温暖化対策は地球規模で解決すべき重要な問題であり、二酸化炭素の削減において日本も世界に貢献することは他の国々からの信頼を得ることにも通じます。こうした信頼が、日本経済にも好影響を与えるものと考えます。 　また、「省エネ」については、昨年の震災以降、たった一年で平均10%から15%も節電が可能になったということですから、まだまだ「省エネ」努力をする余地が存分にあるように感じています。私自身、さまざまな節電努力を実行したところ、この一年間で10%から20%も節電が可能になりました。在宅ワークの推進、服装の軽装化や勤務時間に柔軟性をもたせ、夏場の長期休暇の取得をしやすくするなど省エネには「ライフスタイルの見直し」が急務でしょう。 この「ライフスタイルの見直し」に関連して、電力需要の源として原発から自然エネルギーへの転換をさらに進める必要性を感じています。原発は地震や津波などの自然災害で停止すれば、広域の停電など工場の停止や企業活動のマヒなど幅広い深刻な影響があります。したがって自然エネルギーや小型の火力発電所等のローカル・分散型の自然災害に強い電力発電システムの方が日本には合っていると思います。 こうしたシステムはアフリカなど発展途上国やインドやブラジルなど新興国へ向けて輸出しやすいと思われるため、日本の経済の活性化にもつながるでしょう。世界の国々が日本の原発技術の安全性に対して不信感を抱いている現在、自然エネルギー技術をベースにした経済戦略の必要性を強く感じます。 　最後に今回のパブリックコメントの締切日について疑問を感じておりますので、この点についても少し書かせていただきます。「国民的な議論」を巻き起こすだけの十分な時間的猶予が無いように思えます。何よりも、なぜ命に関わるこのような大切なパブリックコメントの締切日を、一年でもっとも暑く、ただでさえも節電が求められる猛暑の中、多くの人にとって頭を働かせるのが困難と思われるこの時期に設定されたのか理解に苦しみます。国境に関係なく漂う放射能の特質からしても、日本のみならず地球規模の重大な問題であり、たった一度きりの「国民的議論」の場としてのパブリックコメント募集ではなく、今後もより広く深く今回のような機会を提供し続けていただきたいと切望しております。
57953	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 ぼくは、八百屋で働いていますが、今回の原発事故で放射性物質の検査の有無やこの野菜は大丈夫なのか、また被災地近くの野菜をどう扱うかなど、ぼくたちだけでは判断できない問題が発生し、今もこれといった解決方法がないまま曖昧な状況が続いています。個人の農家さんで自主的に検査をされているところもありますが、その数は少ないです。特に市場を経由してきたものに関していえば、ほぼ国がとっている対策状況に頼らざるを得ないのですが、それはとても大雑把で、たとえば、どこどこの農家さんがつくった野菜は基準を超えていないのか確認することができません。またそれを確認するためには、野菜を売っているぼくら が自主的に検査をするしかなく、その検査にかかる費用などはすべて売る側の努力義務になっているのが現状です。 これは明らかにおかしいことだと思います。 なので、 安全なエネルギー生産（自然エネルギーなど）を推進してください それがだめなら 使う人が選べるエネルギー供給方法にしてください あと ちゃんと後始末をしてください。
57954	個人	パート・アルバイト	50代	女性	脱原発。早期0%実現が重要。	・提示案では、原発を0にするか期限が示されていない。 ・全案とも省エネの見込みが　1 割だけで、固定はおかしい。3.11以来、多くの国民や団体が、自発的に節電を指向している. アセスメントを月ごとに行い、節電意識や実績の変化などを調べて動的なデータを基にアセスすなど、他の方法を模索してほしい。 ・自然エネルギーの導入見込みが外国の例を見ても、低い. 多くの国民が、自発的に発電に関わろうとしている今、根拠となるデータの洗い直しが必要ではないか. ・核燃料サイクル・再処理の余地を残すべきでない。子孫にツケをまわすのはおかしいし、余地を残すこと自体、政府に兵器化の可能性を感じる。 ・電力自由化や発送電分離などシステム改革も、明文化お願いします.
57955	個人	その他	10代以下	女性	原発0パーセントの未来を選びます。	停止していても 稼動していても 危険なことには変わりなく 停止してしまうと 今までかけたコストが すべて負債となってしまいます 原発を止めると 夏のピーク時に 企業の活動が、まままらず、経済界が困ります。 大企業に働いている方々も、休みが家族と過ごせない昨年のようなことはもういやでしょう。 とはいえ、地震や、テロにあった場合 停止している原発のほうが、ぐっと安全だそうです。 私の住んでいる、地域に近い原発がそうなったら。 避難や、子供の健康を心配しつつ暮らしたくはありません。 もう福島と同じことが起きることは考えたくありません。 原発すべてを 即時停止し、廃炉に お願いします。
57956	個人	家事専業	30代	女性	原発0%に向け持続可能エネルギーへの転換希望します。	持続可能エネルギーが可能、電力不足は?、数々の事実が明らかになっている。 日本が世界に向けても1歩先行く、持続可能エネルギーの開発に力を注ぐべき！ 日本の技術はすばらしい。海外に生活してそう思います。世界中が注目してます。日本の悪行も。すばらしいことも知っています。 経済、効率主体ではなく、本当に国民の安全を考えて欲しいです。何の為の政府か？！
57957	個人	自営業	50代	男性	原発割合ゼロ、それも可能な限り早く。未完成な核技術は人間社会と相容れない。再稼働も再処理も反対。原発をたたんでいくことで、産業構造も、政治も、価値観も、より持続可能な社会に向かうことを示すべき。	さまざまな考えが寄せられたと思うが、倫理的、合理的に考えるほど、原子力発電には将来性はない。 常に被曝労働と汚染の危険を抱え、そのための目ならましに交付金、宣伝費、寄付等多大なカネで自治体の自発性を奪い、政治や行政と企業と専門家の癒着を生み、市民を洗脳して健全な思考とコミュニティを麻痺させる。 そして何より、膨大で何万年も管理できない核廃棄物で環境を汚染し、ひとたび過酷事故が起きれば社会は崩壊する。その危険性を知りながらも存在し続ける正当な理由はない。経済発展という麻薬の奴隷になるなら別だが。 脱原発の対案を示す。温暖化対策、再生可能エネルギーに過度な期待とも言われるが、肝要なのは、この問題を電力需給だけに矮小化してはならない。事故以前にも顕在化していた、破綻寸前の財政、過剰な消費、少子高齢化などにまつわる日本社会の生きにくさや閉塞感を考えるとき、それは国と地域の関係や政策、産業とエネルギー構造の問題と密接に関わっている。 その歪さの根が明らかになってきた今、政治が大きく決断し、いわゆる原子力村から決別して市民が求める健全なエネルギー政策と持続可能な将来ビジョンをはっきり示すことだ。 具体的には、電力制度の自由化、発送電分離、立地自治体には廃炉による雇用と研究および一定年数の補助金交付、再生可能エネルギーや地域分散型のエネルギー供給に法整備と予算拡充、市民が自治体政策や企業に直接関与できる安全規制や防災計画。 そのような政策や政治主導にこそ、若者や地域に希望が生まれこそすれ、いつまでも廃棄物問題から目をそむけ、つかの間の恩恵にしがみつくような、目先利益の政治は全く時代遅れである。 7割が求めていることは実質国民投票に近い。この結果を計画策定に反映させる手順が、どのように透明に進められるのか、全国民が注視していることを、政府には肝に銘じていただきたい。
57958	個人	自営業	30代	女性	現在稼働中の原発の即時停止後、すみやかに原発依存度0%にシフトすることを求めます。	原発が起きた場合のみならず、通常の稼働中であっても、被爆労働者を生み出し続けています。 放射能汚染への環境的・健康的被害が、解消されるような医学や科学技術の発展の兆しは、現時点では皆無です。 解消できない危険すぎるものを、生み出し続けること事態が、許されない選択肢だと思います。
57959	個人	会社員・公務員	30代	女性	絶対原発はゼロ	日本という国に誇りをもちたい 子どもたちに胸をはって伝えられる選択をしたい 原発を残す選択肢はありません きちんとした目標があれば、目先の不都合はなんとでもなります 私たちの土地であり、生活ですから。 知恵を工夫をこらして、初めてのことにも挑戦して この数十年続いてきたスタイルをちょっと横において わくわくするような未来を描きたい もう失望や幻滅にまみれて足を止めたくはありません。
57960	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを選択します 人が管理する以上事故は高い頻度で起こる。 研究不足な放射線事故を繰り返してはならない。 故郷の環境を汚さないで。	完全な安全はありません。 そして、原子力事故の環境・社会・経済・人の心への影響は甚大・絶大です。 理論的に事故発生率が低いと言われても、設計や運営その他に人が関わっている以上、一定以上の確率でミスを生じ、将来悲惨な原子力事故が再発すると予想します。 長期間に渡る低線量被曝の人体への影響は、まだまだ研究が足りないように思えます。 広島原爆の被曝調査資料が今頃になって見つかるなどという状況をみても、今までの研究結果をそのまま信用することができません。 福島事故の影響も流動的で、放射性物質は川や湖に溜まりだし、また海へ流出して海洋生物へ蓄積し始めているようです。 山地では土壌と木の間でループし蓄積し続け、除染するにしてもその膨大な土壌を保管する場所もありません。 環境が汚染されるのは本当に悲しく、恐怖を感じます。ましてや故郷となると。 原発から100km圏に住む身として、福島事故の結果を十分に踏まえず、不完全な形で再稼働する大飯原発に怒りを覚えます。 地震大国に原発は適応しません。 次々と原発近辺に断層が見つかり、原子炉を冷却する配管は耐震性が低く見積もられ、原子炉は放射線による劣化で急速な冷却ができません。 安全対策を施しても、また別の問題が現れ、対策の繰り返し、コストはどんどん上昇するでしょう。 核廃棄物も解決策が未定のまま増え続けていきます。 極めて危険な放射性ゴミを未来に押し付けたくありません。 核燃料サイクルでプルトニウムを保有するのも技術を保有するのも危うさを感じます。 他国を威嚇する政策はやめるべきです。 原発ゼロシナリオへ向けて、2030年まで18年は長過ぎます。 半分以下の期間でなんとかならないでしょうか。 再生可能エネルギー発電を国を上げて推進してください。 電力会社の地域独占を解消してください。 電力送配電を自由化してください。 太陽光は新方式（赤外線変換膜）の発電効率が極めて良いらしいので実用化を急いでほしい。 水力は水利権の手続きの簡素化を。 風力は二次巻線型誘導発電機というのが効率がよいそうです。 効率の良い発電を考えて欲しいです。

						効率の良い発電方式を使ってください。 原発は発生する熱の3分の2を温排水として海に捨てているそうです。 海水は熱容量が大きく、熱を溜め込むと地球温暖化に影響しませんか？ アメリカは沢山の原発を稼働していますが、世界第二のCO2排出国です。原発と温暖化対策は関係なさそうです。 一国から高価なLNGを買わないで分散してください。 安価なシェールガスが韓国からも産出されるそうです。利用できませんか？ CO2排出量を減らすべく日本の技術を世界第一の排出国、中国に売り込んでください。 温暖化対策するなら、日本の排出量4%をどうこうするより、中国の石炭火力によるCO2排出を減らすべきです。 原発ゼロに向けて、立地地域の雇用が失われることがないよう、廃炉作業など、原発跡地の商業再利用など、雇用を確保してください。 メーカー等は、外国へ原発を輸出するよりも、自然エネルギー発電技術への大転換をお願いします。
57961	個人	無職	60代	男性	原発即時廃止すべきである。	生命、健康へのリスクと経済的リスクが高すぎると考える。 また、電力会社の地域独占的経営はそのリスクを国民に転嫁することによってなりたっている。 送発電を分離し、新たな電力会社の参入とガスコンバイン発電所等の新設・増設により原発は不要となる。
57962	個人	法人等	40代	男性	ゼロシナリオしかありえない。	今も溜まり続ける放射性廃棄物をどうするのか目途が立っていないではないか。将来、安全に廃棄できる技術を確立できるとは考えられない。エネルギー源は再生可能エネルギーを使用すること、或いは火力発電を使う場合でも天然ガスが良いと思う。石油は材料資源として捉えなおすと良い。
57963	個人	自営業	20代	女性	原発依存度ゼロを選択します。	ゼロシナリオ云うのは、やはりそれを目標にしての努力が必要不可欠と考えます。現在、政府においても国民世論もその為の努力が全くできてないように思います。 国民に問うというより、福島の方々に聞くべきです。いらないなら、廃炉。
57964	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオに賛成。 福島の原発事故の深刻な被害を目の当たりにし、国力や、国民の利便性のために、子孫にその負の遺産を背負わせることはできない。 これ以上責任を負えないものは廃棄が当然である。	震災＋原発事故で被害を被ったのは福島県民はもとより、多くの周辺県民にも及んだことを忘れてはならない。 地震大国の日本各地に設置された原発の危険性を思うと即廃止にすべき。 そして日本の技術を持って、原発に変わるエネルギーの確保、システム開発、それに見合った産業や生活の見直しを行うべき。 「国民の命」に正直に向き合って欲しい。
57965	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ	経済的な理由で福島のような事件は起こすべきではない。
57966	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は0%にすべきと考えます。	原発推進に群がる既得権益の集団により、実際どれだけの税金が使われているのでしょうか？クリーンでもエコでもありません。資源エネルギーも今まで開発を送らされてきています。公共施設の屋上には必ず太陽光パネルを設置していったら良いと思います。国の借金を子供の世代に押し付けるなというのなら、原発廃棄物はどうなるのですか？いつ処理ができるか分からないものをこれ以上続ける事は断固反対です。
57967	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択します！	原発ゼロシナリオを選択します！
57968	個人	自営業	30代	女性	原発はゼロのシナリオを希望します。	原発ゼロのシナリオにプラス、 長い年月がかかっても、自然エネルギーでの電力を増やし 水力・火力のように、人間を中心で考えず、 自然体系に影響を及ぼすやり方ではない方法を 普及させていく必要があると思っています。 それが最終的に人間の為でもあると思います。
57969	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 既得権者のための原発を押し付けるのはもうやめて。さっさと環境エネルギーで経済効果を生み出す手だてを考えるのが、3.11を経験した日本国政府の役目です。
57970	個人	自営業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。 福島原発の事故を経験した今、あらゆる努力をして脱原発をするということしか選択肢はないと思います。 電力の自由化、発送電分離、再生エネルギーの開発、省エネによる電力量削減など、やれるべきことがたくさんあり、それらのどれひとつやれないことではないのだから、未来の日本のためにどうかお願いします。
57971	個人	会社員・公務員	30代	男性	示された3案については、「原発ゼロシナリオ」を支持します。 ただし、再生可能エネルギーの構成比を高める施策として、発送電分離を行うべきであると考えます。	原発をいますぐゼロにはできないが、以下の2点から原発を稼働し続けることは大きなリスクを伴い、なるべく早期に原発をゼロにするべきと考え、「原発ゼロシナリオ」を支持します。 (1)今後も日本で大規模な地震が発生する可能性が高く、福島の原発事故と同様の事故が発生するリスクがある (2)原発を稼働しつづけることは、自らの子孫に対して、「核廃棄物」という負債を押し付けるだけでなく、増やす行為であること
57972	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオで、お願いします。	これだけの事故があった後に、グリーンエネルギーの比率を高め、できる限りの生活の安全を守るための転換をしないのは、国際的にみても批判は高まるばかりかと思います。「おりてゆく生活」の、最先端をいく方針を希望します。
57973	個人	その他	60代	女性	原発ゼロ	即廃炉に！
57974	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	電気の発電には原子力以外を使用すべき。	福島での原子力発電所事故の原因究明も出来ず、責任ある者の処分も なんら成されないことに対する説明を政府がしない限り、原子力発電所の稼働には反対だし、廃炉を進めるべき。化石燃料等の埋蔵量の発表もすべき。CO2問題など再度議論するべきである。
57975	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年原発ゼロシナリオで即時廃炉を希望します	再稼働した福井の原発の下には活断層があると言われています。 地震の活動期にある日本ではいつどこで大震災が起きるかわかりません。 原発が稼働させるリスクが高いことは国民の大半が気づいています。 今後はさらなる省エネや自然エネルギーを推進していくことそこれからの日本の役割だと思います。
57976	個人	家事専業	40代	女性	完全廃炉。原発は可能な限り早く、ゼロにするべき。	原発事故の収束作業に費やす費用や労働力を考えたら、廃炉や稼働停止による損失など、大したことないはず。経済が破綻したら、収束作業さえ続行できない。完全廃炉へ強力に舵切りしなくては、未来はない。原発は可能な限り早く、ゼロにするべき。
57977	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。 なるべく即時原発比率をゼロにすべきです。 核のごみ（使用済み燃料）は直接処分すべきです。 温暖化防止に関しても配慮したゼロシナリオを策定すべきです。	地震の多発する日本に原発を作って稼働させていることは無謀です。 即時稼働ゼロ、撤廃に向けて動きだすべきだと考えます。 原発の近隣に住んでいる方の不安を考えるとき、都会で電気を使い放題に暮らしてきたことが悔やまれてなりません。首都圏に作ることができないものを地方に押し付けるなど、すべきではありません。 福島の事故を契機として、原発ゼロに舵をきるときだと考えます。 それこそが、未来世代への私たちのいまできることだと思います。 温暖化防止に関しても配慮したゼロシナリオを策定すべきで、そのために、より自然エネルギーにシフトできるよう、政策を作るべきです。 もう、二度と国土を世界を放射能で汚してはならないと思っています。
57978	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年までに、原発をゼロにするべきである。 既存の原発は廃炉し、これ以上の増設は認められない。 つまり、ゼロシナリオを推進すべきである。	私は、現在、山口県に在住し、農業を仕事としている。 もし、原発事故が起こり、大地に放射性物質が落ちると、仕事を失ってしまう。 他の農業者もそうであり、漁業者も、林業者もそうである。 放射能への不安は、住民の生活に大きな影を落とす。 自分の体が健康ではないことは、その人の精神まで疲労させ、生きる活力を失わせる。その精神的な病は、周りで接する人にも伝染し、「普通」の日常生活に、これまでになかった生死に関わる「不安」を抱えさせながら、生きることを強いるものである。 また、原発建設の過程で、住民の心に大きな傷を残したことも事実。 身体の痛みに加え、人が一番苦しい時は、人を憎んだことを後悔する時である。また、人を裏切ったことを後悔する時である。 原発建設、そして、原発事故は、人生きる上で、将来への夢や希望、さらには、今生きる活力を、裏々にはどうしようもない圧倒的な力で、そぎとっていくものである。 際限なお金や、生活する上での豊富な利便性よりも、もっと前にある、生きるという行為自体を、瞬時に、また長期に渡りむしばむ。 安全性や、合理性を問う前に、倫理的な、人間的な論議が、もっと交わされるべきだと考える。
57979	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発は15シナリオを推進すべきと考える。	現状の電力供給能力を考えればいきなり0にするのは無謀すぎる。新世代の電力供給方法を模索・開発しながら段階的に原発を削減すべき。
57980	個人	自営業	30代	女性	原発は再稼働しないでください！ 危なすぎて、みんな不安でいっぱいです。	震災、このような事態になり、 放射能による 健康被害も多く報告されています。 これからは、内部被曝も懸念されています。 今、命を救う方へ、 日本人の遺伝子を紡ぐ方へと エネルギーシフトすべきだと思います。 これから使うお金は、未来に安心な選択を。 経済的にも、廃炉に向かうことで、職業も確保でき、 また、新しいエネルギー開発にむけて発展できるはずです。 原発再稼働、止めてください。 どうか、みんなで安心できる未来創造を 心よりお願い致します。
57981	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発がなくても、他の代替手段（天然ガスなど）により、当面の電力はまかなえます。電力不足による計画停電での脅しなど必要ありません。	原発がなくても、他の代替手段（天然ガスなど）により、当面の電力はまかなえます。電力不足による計画停電での脅しなど必要ありません。
57982	個人	パート・アルバイト	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します	絶対「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します
57983	個人	会社員・公務員	30代	男性	我が国の未来の為、原子力発電所はゼロにしなければなりません	私は以下の3点の理由から、2030年までに原子力発電所をゼロにする「ゼロシナリオ」を選択します。 1.福島第一原発の事故原因の解明ができていない 2.現在稼働中・停止中の原発についてもいつシビア・アクシデントが起きるかわからない 3.万一事故が起きた場合も放射能は無毒化することも消し去ることもできない 私は東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、この国に住む全ての人がエネルギー・環境に責任をもって選択をしなければならないと思います。 内閣は私達の意見を真摯に受け止め、より良い方向に舵を切られる事を願っています。 (削除)
57984	個人	その他	30代	男性	原発は一度事故が起これば取り返しがつきませんが、人間のすることに"絶対"はあり得ません。廃棄物等現在世代のみで対処できない問題を必然的に伴うため、賛成できません。原発0%の選択肢に賛成します。	原子力発電は、一度事故が起これば取り返しがつきません。また、人間のなすことに絶対安全はあり得ません。さらには、除染や放射性廃棄物など、現在の世代のみで対処できないような問題を必然的に伴います。そのような発電に賛成できません。原発0%の選択肢に賛成します。

57985	個人	自営業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。今すぐに原発は止めます。官民総力を挙げて自然エネルギー市場を急拡大させれば原発はいりません。地震国日本に原発は安全とは言えず、核は人間の手に負えません。	福島第一原発の現状把握は未だできず、収束廃炉にはまだまだ大変な行程を要し、今後かかる経費と労力は膨大です。また巨大地震が起こったら、放射能汚染は日本国土と国民の健康を損なうのみならず、影響は世界中の全ての生物の命に悪影響を及ぼします。電力使用のピークを押さえる技術開発や資源エネルギーの開発推進をすれば、日本の技術力は世界に貢献でき、その分野でトップになれます。 核廃棄物の処分・管理も最前の方法が決まってない状況での原発稼働は、将来への負の遺産が増えるばかりです。 電力発送電を分離し、新規参入させることによって競争原理を働かせます。電力は安くなります。風土に合った方法による発電を開発します。電力の地産地消は送電ロスを減らします。
57986	個人	家事専業	30代	女性	「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発0」を主張。原発の安全対策も貧弱、事故時の対応も不備だらけ、住民の被曝対策も不十分、被害の補償もままならず、環境汚染の影響は計り知れない。原発は不要。	多くの地震学者が、日本が巨大地震周期に入ったことを警告しているなか、大飯・志賀・敦賀原発などは原発直下に活断層が指摘されており、また「もんじゅ」美浜原発もわずか数百メートル横に活断層が走っているなど、地震などの自然災害をきっかけに原子力事故がおきる可能性は否定できないと思います。 たとえ、それらに対策を講じたとしても、国会事故調報告では、福島の事故は「あきらかに人災」であったと報告がなされています。「原発」に絶対の安全はないのだということは明らかです。 福島の事故では、ベント作業に手間取り、オフサイトセンターは機能せず、次々と爆発が起き放射性物質がまき散らされました。 住民の初期被曝を押さえるためのヨウ素剤の配布もなされず、SPEEDIのデータや米国から提供された放射能汚染の詳細地図を公開せず、多くの国民を無用に被曝させています。 放射能汚染により、居住地を奪われた人、生業を奪われた人、その補償が十分にできているのでしょうか。 未だに福島第一原発では放射性物質を放出し続けている中、海産物農産物の放射能汚染対策に苦しむ生産者、そして、安全な食材はと日々の食べ物に注意を払わなくてはならない消費者と、事故の影響はまだこれからも続きます。 それらに対し、事故が起きないような対策、事故が起きた際の対策、40年廃炉の費用、放射性廃棄物の安全な保管などの費用を全て合わせたら、「原発」が低コストの発電方法であるわけもない事は明白です。 政府は、水力、風力、地熱、地下熱、波力などの自然エネルギー、再生可能エネルギーを、この国のエネルギー政策の主軸になるよう体制を整えてほしいと思います。
57987	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	2030年には原発を0%とすること。2030年まで待つのではなく，大飯原発の再稼動を停止し，すべての原発を廃炉にすることを要請します。	日本は広島・長崎そしてビキニと三度原水爆の被害にあってきました。被爆した方々の原爆症発症の不安は67年経った今も続いています。しかし被爆者は恨みからではなく，再び自分たちのようなヒバクシャを作り出してはならないと言う思いから，核廃絶を訴えてきました。日本政府もそれを国是とし，国際社会に訴えてきたはずです。 しかし今回の福島の事故で，日本は世界中に放射能を拡散させた加害者になってしまいました。ヒロシマやナガサキの国でなぜフクシマが？という世界中の人々の疑問は，また私たち自身の問いでなければなりません。核の「平和利用」だから良く，絶対安全であると信じ込まされて来た私たちの考え方が問われているのです。 原爆直後のヒロシマに入り，悲惨な現状をつぶさに見た丸木夫妻は，「原爆の図」全15部の大作を描きました。その一つ，「原子野」は放射能により汚染された大地と人々を描いています。その経験を通して，原爆も原発も同じと直観した丸木夫妻は，2,000年にご亡くなるまで原発反対の市民の輪に加わっていました。 その夫妻の遺志を受け継ぐ原爆の図丸木美術館は，フクシマの事故を防げなかった私たち大人の責任を強く感じています。子どもたち，そして未来の世代に汚染された大地と健康の不安を残してしまいました。これ以上，同じ失敗は許されません。今，大飯原発再稼動によって，毎日広島原爆8個分の死の灰がつくり続けられています。その処分については全く決まっていないにも関わらず，何万年も保管しなければならない死の灰を，時代に残すという事は倫理的にも許されません。原発がなくてもやっていける社会，自然エネルギーを中心とする持続可能な社会をつくっていくことこそが，今回の事故から真に学ぶことでしょう。
57988	個人	家事専業	20代	女性	15シナリオを支持。運転継続か廃炉かに関らず現存する原発を可能な限り安全に管理する為には、国家・経済の安定したバックアップと人材の確保が不可欠。脱原発に拘泥しこれらに無理な負荷をかけるのは本末転倒。	15シナリオを支持します。原発の危険性は確かに存在しますが、運転するにせよ廃炉するにせよ、これらを可能な限り安全に管理する為には、国家と経済の安定したバックアップならびに人材の確保が不可欠です。僅か20年足らずでの全面停止は、エネルギーに関わる諸条件を考えるにあまりにもコストが高く、逆に安全管理に不安を生じさせかねません。
57989	個人	会社員・公務員	30代	男性	建設後、古い原子力発電所については即廃炉。その他は随時廃炉。再生エネルギーの開発、普及に予算をつけ、国家的に脱原発を取り込んで行く。送電線は国有化し、発電の自由化を進める。	原子力発電については、採掘、運搬、生成、発電、処理の前段階について、危険がありすぎる。環境や生物になるべく影響の少ない発電システムにもっと力を注ぐべき。現時点でも原子力発電に頼らなくてもよい状況である。無理に稼働させているのは電力会社の資産を計上する目的が大きい。また、送電線が発電所所有のものだと、発電の自由化が進まない。送電線は国有化するべきと考える。
57990	個人	会社員・公務員	40代	女性	即時原発ゼロを望みます。3つからは選べません。強いて選ぶなら「ゼロシナリオ」。	健やかに、安心して暮らしたい片だけです。 ただそれだけです。 原発の恐ろしさについて、今まで無関心だったことを悔やんでいます。 原発なくして電力不足だなんて、そんなウソには騙されません。
57991	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発依存度：ゼロシナリオを支持	3.11前の原子力発電の安全基準の設定及び利害関係内での原子力発電ありきの取り進め、保安院の形骸化と機能していなかった。また、原発事故後も対応も後手に周りとても扱える状況でない。地震大国の日本において安全な立地は無く、エネルギー政策上、多様性を考慮し、火力に加え地熱エネルギーや風力等の比率上げ、原子力発電の依存度をゼロにすべきである。
57992	個人	会社員・公務員	30代	女性	●原発は即時ゼロを望みます。 ●原発作業員の待遇改善と、福島県から関東地域まで、汚染地域に暮らす人の急ぎの脱出を願います。	チェルノブイリに学ぶというよりは無視して突き進む原発産業、のようで、情けなく、恐ろしく思いながらみています。 国以外の一般人が汚染地域の人を救おうと必死になっている姿に 感動をしつつ、がっかりしています。 まだ新しい原子力発電所を立てたいとか、 まだ動かしたいとか、 海外に輸出したいとか、 恥ですし、勝手ですし、人の命に関わる危険な産業だと 思い知ったのですから、やめましょう。 マスコミも政治もここまで信用ができないとは、 思いもしませんでした。事故が起こるまでは。 私が生きているうちに信用が回復できるならみてみたいです。 半ばあきらめていますが みせていただけますか。 がれきの広域処理についても除染についても、事故処理についても もっと海外の意見を聞いてください。 国民が信じる教授や専門家や医師などの考えをとりいれれば 話は早いです。 隠そうとか逃げようとか遠回りせずにさっぱり対処してほしいです。
57993	個人	自営業	80代以上	男性	夏でも家に羽毛服を着せる省エネ法改正は費用対効果で疑問あり。逆に地域の住文化を破壊しかねず強制不要。ZEH戦略で推奨される物は消費拡大に貢献しても、生産～廃棄処理迄の環境負荷は過大で抜本的な見直し必要	省エネ建築研究者、木造建築の専門家としてご意見申し上げます。 現在省エネ法改正により、北緯45度の北海道から同20度の南端まで南北3000kmを、法的に断熱強制しようとする動きがありますが、これは環境や地域経済にとって両刃の剣です。 選択肢の用意なくして、一律断熱を強制することは、脈々と受け継がれてきた地域の建築の作法、伝統の職人技や地域の生業、そして何より地域に根ざした建築文化を殺すものになりかねません。 住宅高断熱による省エネ期待は全体の1%程度とされ、このままでは低炭素社会実現、CO2削減を大義にした、モノ売りになりかねません。 失礼ながらCASBEEのモノ売り的発想にも、はなはだ疑問があり、抜本的な見直しを求めます。 ここはモノ(工業生産物)に頼らない知恵と、地域に根ざした力を動員する多様な選択肢を示すべきで、例えば衰退する一方の林業、造園、農業、地域工務店の力をプラスに変えるような、省エネ推進手法はできないものでしょうか。 また民生レベルの努力での低炭素社会実現のためには、むしろコンビニの出店規制や自販機の自粛。住宅関連の省エネ推進では家電、給湯、暖冷房の順に強く対策を講じるべきです。
57994	個人	無職	30代	男性	ゼロシナリオ支持です。	福島第一原発の事故で、多くの国民が被害を受けました。今も被害を受け続けている状態です。 原発は一度爆発したら誰にも手が付けられないということがわかりました。 安全な原発なんて存在しないということがわかりました。 ゼロシナリオ以外ありえない。 お金よりも電気よりも、命が大事。
57995	個人	自営業	30代	男性	原発を辞め、核融合発電に早急に切り替えて欲しい。その為に政府からの研究資金をもっと核融合に振り分けて欲しい。	原発を辞め、核融合発電に早急に切り替えて欲しい。その為に政府からの研究資金をもっと核融合に振り分けて欲しい。
57996	個人	家事専業	30代	女性	2030年の原発依存比率0%を希望	できる限り早い段階での原発からの撤退を希望
57997	個人	自営業	40代	男性	原発を即時ゼロにしてください。 関西の電力は足りているので大飯も即時止められるはず。	本パブリックコメントの趣旨は2030年のエネルギー政策となっていますが、20年も先です。原発0%という三択の選択肢においても、2030年までは何基かの原発を動かすという前提でこの政策が進められようとしております。現状、野田総理の独断で決められた大飯原発の再稼動が強引に進められてしまいました。そこには国民的な議論も、原発をどうしても再稼動しなくてはならない、だれもが納得するような説明はありませんでした。 また、この問題と密接に関連する新規発足の規制長も委員の人選が、原子力推進派で固められようとしています。これらの事実は事を拙速に、国民がこの問題に注目する前に全てを決めてしまおうという意図が感じられ、非常に由々しき事態であると考えます。 第一に福島の事故の収束。 第二に福島の事故の徹底検証。 以上のことが終わっていない段階で原子力発電所を動かす、建設するという事はあってはならないことだと考えます。
57998	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオしかない。福島の原発事故後、何も解決していないまま「安全です」と言い切り大飯原発の再稼動を決定した野田総理の顔が忘れられない。稼動しておらずとも廃棄物の問題が何十年も続く。	次世代の子供たちに危険と廃棄物の始末だけを残せない。中曽根政権以来、ほかの自然エネルギーへの取り組みはわずかで、選択肢すらなく原発に依存する形で進んできた。自然エネルギーへの移行を全力をあげとりくんでほしい。原発関係で雇用された人々が別の自然エネルギー、産業にも移行できるようにと願う。もともと東京電力＝原発経営者、でないはず。原子力の平和的利用、などというアメリカの手に乗るのはいいかげんやめて、唯一の被ばく国である日本が過去に学び、先頭をきって自然エネルギーを利用する国になるべき。被ばくは被ばく。地震がこの先も起こるのは明らかな事実。小さな国で原発をこれだけもっているというのは、今後も同じくりかえしが起こることは事実。地震はとめられない。しかし原発はゼロにし、原発事故は断じてふせぐべき。
57999	個人	その他	30代	女性	原発は即時廃止、火力で緊ぎつつ、太陽光等の自然エネルギーへの早急なシフトを！	今原子力をやめたら技術力が失なわれるなどと言われますが、自然エネルギー関連へ予算を多く配分することで、新たに自然エネルギー分野での技術力を高め、そこに新たな雇用もうまれ、資源輸入に頼らず、むしろ自然エネルギーによる発電施設を輸出していけるような、強い日本をつくることが出来ると思います。
58000	個人	家事専業	20代	女性	原発ゼロシナリオ 即時0%を希望します。	福島での事故が起きたのにも関わらず、原子力での発電は考えられない。